2025年度

シラバス

ホスピタリティ・ツーリズム学部

School of Hospitality & Tourism Management

SCHOOL OF
HOSPITALITY & TOURISM
MANAGEMENT

MEIKAI UNIVERSITY

明海大学

2025年度

シラバス

ホスピタリティ・ツーリズム学部

School of Hospitality & Tourism Management

共通科目（基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育・特別科目）

専門科目

目　次

共 通 科 目

基礎教育

学修の基礎Ⅰ …… 別 途 指 示　10
遠藤　信一　12
佐々木文彦　12
吉田　成利　14
学修の基礎Ⅱ …… 小野寺樹璃　16
髙橋　眞人　16
髙橋亜里沙　16
中部　直之　16
藤本　陽子　16
堀内　貴子　16
柳井まどか　16
山口　真葵　16
小野寺樹璃　18
中部　直之　18
山口　真葵　18
学修の基礎Ⅲ -a（データリテラシー　数理・推論）… 相川野々香　20
遠藤　恵祐　20
中島　達洋　20
中村　元紀　20
萩尾由貴子　20
前田新太郎　20
茂木　誠拓　20
学修の基礎Ⅲ -b（情報リテラシー）… 相川野々香　22
遠藤　恵祐　22
遠藤　信一　22
高橋　奈佳　22
中村　元紀　22
萩尾由貴子　22
前田新太郎　22
茂木　誠拓　22
渡部　綾子　22

人間力形成教育

人間存在の課題 …… 中根　弘之　24
社会生活と倫理 …… 中根　弘之　26
文学の世界 …… 川勝　麻里　28
森　晴彦　30
人類と文化 …… 山本早良紗　32
美とは何か …… 髙久　馨　34
記号と論理 …… 土屋　真一　36
コミュニケーション論 …… 山口　真葵　38
海谷　千波　40
心理学 …… 中嶋　一恵　42
林　哲也　44
からだと健康 …… 宮澤　慶　46
日本人の生活意識 …… 中根　弘之　48
堀内　貴子　50
性格とは何か …… 樋口　倫子　52
生命と遺伝子 …… 桑山　秀一　54
スポーツ科学講義 A …… 杉浦　雄策　56
矢島ますみ　58
スポーツ科学講義 B …… 杉浦　雄策　60
矢島ますみ　62
スポーツ科学演習 A …… 杉浦　雄策　64
矢島ますみ　66
矢島ますみ　68
スポーツ科学演習 B …… 杉浦　雄策　70
矢島ますみ　72
矢島ますみ　74
ボランティア講義 …… 小川　正純　76
人間形成ゼミナール …… 伊藤　直樹　78
杉浦　雄策　80
樋口　倫子　80
矢島ますみ　82
矢島ますみ　84
ボランティア活動 A …… 単位認定科目　86
ボランティア活動 B …… 単位認定科目　88
日本の歴史 …… 野田有紀子　90
国際関係論 …… 東　夢子　92
国際貢献論 …… 小川　正純　94

民族と宗教…… 岩田　成就　96
異文化コミュニケーション論…… 岡田　麻唯　98
日本語と日本文化 A …… 川勝　麻里　100
日本語と日本文化 B …… 川勝　麻里　102
フランス語とフランス文化 A…… 馬越　洋平　104
西村　美穂　106
フランス語とフランス文化 B…… 馬越　洋平　108
西村　美穂　110
ドイツ語とドイツ文化 A …… 諏佐ランカ　112
ﾘｰｽｻｰ ﾌﾗﾝｸ ﾍﾞｰﾀｰ　114
ドイツ語とドイツ文化 B …… 諏佐ランカ　116
ﾘｰｽｻｰ ﾌﾗﾝｸ ﾍﾞｰﾀｰ　118
スペイン語とスペイン文化 A…… ｺﾝｻﾞﾚｽ ｶﾞﾌﾞﾘｴﾙ　120
スペイン語とスペイン文化 B…… ｺﾝｻﾞﾚｽ ｶﾞﾌﾞﾘｴﾙ　122
韓国語と韓国文化 A …… 全　イジョング　124
韓国語と韓国文化 B …… 全　イジョング　126
中国語と中国文化 A …… 中島　祝　128
南　勇　130
余　瀾　132
中国語と中国文化 B …… 王　丹　134
南　勇　136
余　瀾　138
英語文化研究 A …… 小野　雅子　140
英語文化研究 B …… 小野　雅子　142
国際理解ゼミナール …… 小川　正純　144
異文化実地研修 A・B…… 単位認定科目　146
法学…… 櫻井　博子　147
日本国憲法…… 吉田　成利　149
経済のしくみ…… 野口　尚洋　151
社会と生活…… 櫻井　博子　153
田川　麻央　155
政治のしくみ…… 河野　武司　157
社会思想史…… 上野　大樹　159
日本企業論…… 粟沢　尚志　161
地理と環境…… 池田　和子　163
木山　三佳　165
自然環境論…… 磯田　尚子　167
都市と生活…… 中嶋　久人　169
生活と安全…… 笠嶋　義夫　171
行動科学…… 樋口　倫子　173
データのまとめ方 …… 新井　啓　175
数理の世界…… 中島　達洋　177
身近な物理…… 中島　達洋　179
現代物理のはなし …… 中島　達洋　181
身近な化学…… 藤井　大輔　183
笠嶋　義夫　185
科学技術と社会 …… 遠藤　信一　187
社会生活ゼミナール …… 新井　啓　189
中島　達洋　191

キャリア形成教育

キャリアプランニング Ⅰ …… 阿方由紀枝　193
下地　信也　193
濱﨑あゆみ　193
門田　薫　193
門田　薫　195
小野寺樹璃　197
行田　悦子　197
髙橋亜里沙　197
キャリアプランニング Ⅱ…… 阿方由紀枝　199
下地　信也　199
濱﨑あゆみ　199
門田　薫　199
大道　和夫　201
中部　直之　203
範　弘宇　203
林　苗　203
キャリアプランニング Ⅲ…… 阿方由紀枝　205
下地　信也　205
濱﨑あゆみ　205
門田　薫　205
大道　和夫　207
髙橋亜里沙　209
範　弘宇　209
林　苗　209

キャリアデザイン …… 阿方由紀枝 211
下地　信也 211
濱﨑あゆみ 211
門田　　薫 211
大道　和夫 213
範　　弘宇 215
インターンシップ A・B・C・D…… 単位認定科目 217
特別聴講科目 A・B・C・D …… 単位認定科目 219
ビジネススキル A・B・C・D…… 単位認定科目 220
ビジネスコミュニケーション A・B ‥ 安部　桂子 221
資本市場の役割と証券投資…… 廣部　恒忠 222
ビジネス実務における AI データサイエンスⅠ … 内苑　孝美 224
ビジネス実務における AI データサイエンスⅡ … 内苑　孝美 226

特別科目

アカデミック日本語Ⅰ …… 中部　直之 228
山口　真葵 230
髙橋亜里沙 232
範　　弘宇 232
アカデミック日本語Ⅱ …… 山口　真葵 234
髙橋亜里沙 236
小野寺樹璃 238
行田　悦子 238
アカデミック日本語Ⅲ …… 範　　弘宇 240
堀内　貴子 242
小野寺樹璃 244
田川　麻央 244
アカデミック日本語Ⅳ …… 小野寺樹璃 246
藤本　陽子 248
行田　悦子 250
範　　弘宇 250

専門科目

Academic English Ⅰ …… 伊勢　佳奈 254
ﾛｳｪﾅ ｼﾞｮﾝｿﾝ 256
Academic English Ⅱ …… 伊勢　佳奈 258
ﾛｳｪﾅ ｼﾞｮﾝｿﾝ 260
Academic English Ⅲ …… 伊勢　佳奈 262
ﾛｳｪﾅ ｼﾞｮﾝｿﾝ 264
Academic English Ⅳ …… 伊勢　佳奈 266
ﾛｳｪﾅ ｼﾞｮﾝｿﾝ 268
Advanced English skills A …… 伊勢　佳奈 270
ﾛｳｪﾅ ｼﾞｮﾝｿﾝ 272
Advanced English skills B …… 伊勢　佳奈 274
ﾛｳｪﾅ ｼﾞｮﾝｿﾝ 276
Advanced English skills C …… 伊勢　佳奈 278
Advanced English skills D …… 伊勢　佳奈 280
Business Chinese Ⅰ -a (Elementary)… 李　　思薇 282
Business Chinese Ⅰ -b (Pre-intermediate)… 李　　思薇 284
Business Chinese Ⅱ -a (Intermediate)… 李　　思薇 286
Business Chinese Ⅱ -b (Upper Intermediate)… 李　　思薇 288
Japanese A…… 林　　苗 290
Japanese B…… 林　　苗 292
Japanese C…… 林　　苗 294
Japanese D …… 林　　苗 296
Japanese E…… 行田　悦子 298
Japanese F…… 山口　真葵 300
Japanese Culture …… 信常　幸恵 302
Destination Studies A (Japan) … 上杉　恵美 304
Art and Culture…… 川村　一司 306
World Heritage …… ﾆｺﾗ ﾅｳﾓﾌ 308
Destination Studies B (Europe) ‥ ﾆｺﾗ ﾅｳﾓﾌ 310
Destination Studies C (America) ‥ ﾗｯｾﾙ ｳｴﾉ 312
Destination Studies D (Asia) …… 肖　　子睿 314
Destination Studies E (Oceania and the South Pacific)… 神末　武彦 316
Introduction to Hospitality …… 木内　伸樹 318
Introduction to Hospitality & TourismStudies Ⅰ… 神末　武彦 320
岩本　英和 322
Introduction to Hospitality & TourismStudies Ⅱ… ﾗｯｾﾙ ｳｴﾉ 324
Internship A・B・C・D・E・F・G・H… 単位認定科目 326
Internship (Overseas) A・B …… 単位認定科目 327
Hospitality and Volunteer Activities… 単位認定科目 328
Airline Business and operations… 水野　　徹 329
Hotel Business and operations… 大屋　了三 331

Food & Beverage Business and Operations … ダニエル チョン 333
Concierge/Business Networking … 川村 一司 335
Tourism and the Law …… 吉田 成利 337
Events & Meeting Management … 岩本 英和 339
Tourism Planning and Development … 白木 秀典 341
Tourism and the Society …… 中野 実 343
eCommerce …… 三輪 祥宏 345
Cruise Line Business and Operations … 上杉 恵美 347
Introduction to Marketing …… 水野 徹 349
Introduction to Management …… 白木 秀典 351
木内 伸樹 353
Principles of Accounting …… 白木 秀典 355
Principles of Finance …… 白木 秀典 357
Introduction to Business Innovation … 前田 篤志 359
Introduction to Economics …… 大石 隆介 361
Logical Thinking …… ジェイコブ シェア 363
Statistics Ⅰ …… ラッセル ウエノ 365
Statistics Ⅱ …… ラッセル ウエノ 367
Ethics and Compliance …… 吉田 成利 369
Leadership …… 大屋 了三 371
Cross Cultural Management …… 白木 秀典 373
International Business Relations … 大屋 了三 375
Business Strategy …… 大屋 了三 377
Services Marketing …… 水野 徹 379
Service Economics …… 大石 隆介 381
Destination Marketing …… ラッセル ウエノ 383
Destination Management …… ラッセル ウエノ 385
Human Resource Management … 木内 伸樹 387
Risk Management …… 神末 武彦 389
Distinguished Lectures in Hospitality & Tourism Management A … シュルーター キャロリン 391
Airline Management …… 水野 徹 393
Tourism Business Management … 髙松 正人 395
Hotel Business Management …… 立石 貴子 397
Practicum A (Product Planning and Sales Promotion) … ディーン ナカソネ 399
Practicum B (Destination Studies) … 川村 一司 401
Practicum C (Critical Thinking) … 白木 秀典 403
Practicum D (Presentation and Debate) … 伊勢 佳奈 405
Pre Seminar Ⅰ -a …… 吉田 成利 407
三木 和見 407
吉田 成利 409
Pre Seminar Ⅰ -b …… 吉田 成利 411
Pre Seminar Ⅱ -a …… 中野 実 413
Pre Seminar Ⅱ -b …… 中野 実 415
Seminar Ⅰ -a …… 吉田 成利 417
Seminar Ⅰ -b …… 吉田 成利 419
Seminar Ⅱ -a …… 吉田 成利 421
Seminar Ⅱ -b …… 吉田 成利 423
Academic English Ⅰ …… 菅原 千津 425
野上 文子 425
森川 慶子 425
番場 直之 427
Academic English Ⅱ／総合英語Ⅱ … 傍島由美子 429
野上 文子 429
番場 直之 429
傍島由美子 431
Academic English Ⅲ／総合英語Ⅲ … 野上 文子 433
番場 直之 433
野上 文子 435
Academic English Ⅳ／総合英語Ⅳ … 菅原 千津 437
野上 文子 437
番場 直之 437
森川 慶子 437
野上 文子 439
English Grammar Ⅰ -a …… 西村 美樹 441
濵﨑潤之輔 441
番場 直之 441
溝口優美子 441
English Grammar Ⅰ -b …… 野上 文子 443
濵﨑潤之輔 443
溝口優美子 443
English Grammar Ⅱ -a …… 濵﨑潤之輔 445
溝口優美子 445
English Grammar Ⅱ -b …… 菅原 千津 447
西村 美樹 447
濵﨑潤之輔 447
溝口優美子 447

English Writing Ⅰ -a…… 西村　美樹　449
English Writing Ⅰ -b…… 西村　美樹　451
English Writing Ⅱ -a…… 菅原　千津　453
English Writing Ⅱ -b…… 菅原　千津　455
傍島由美子　455
English Speaking Ⅰ -a …… ジェイコブ シェア　457
マーティン クロウリー　457
ロウェナ ジョンソン　457
English Speaking Ⅰ -b …… ジェイコブ シェア　459
マーティン クロウリー　459
ロウェナ ジョンソン　459
English Speaking Ⅱ -a …… ジェイコブ シェア　461
マーティン クロウリー　461
English Speaking Ⅱ -b …… ジェイコブ シェア　463
マーティン クロウリー　463
Advanced English skills A …… マーティン クロウリー　465
ロウェナ ジョンソン　465
Advanced English skills B …… ジェイコブ シェア　467
Advanced English skills C …… 番場　直之　469
濵﨑潤之輔　471
Advanced English skills E …… ジェイコブ シェア　473
マーティン クロウリー　473
Advanced English skills F …… ジェイコブ シェア　475
マーティン クロウリー　475
パーソナル・コミュニケーションリテラシーⅠ／ホテルサービス論… 阿部　佳　477
パーソナル・コミュニケーションリテラシーⅡ／エアラインサービス論… 木内　伸樹　479
パーソナル・コミュニケーション探究A（ビジネスネットワーキング）… 阿部　佳　481
パーソナル・コミュニケーション探究B（国際平和と観光）… 中野　実　483
パーソナル・コミュニケーション探究C（マイノリティと共生社会）… 肖　子睿　485
パーソナル・コミュニケーション探究D（グローバル化とSDGs）… 米倉　義友　487
サービスコミュニケーション実習Ⅰ -a … 藤井　直子　489
サービスコミュニケーション実習Ⅰ -b … 藤井　直子　491
サービスコミュニケーション実習Ⅱ… 藤井　直子　493
サービスコミュニケーション実習Ⅲ… 三木　和見　495
日本文化論…… 信常　幸恵　497
世界遺産論…… 山田　正芳　499
デスティネーション研究A（日本）… 山田　正芳　501
デスティネーション研究B（ヨーロッパ）… 山田　正芳　503
デスティネーション研究C（南北アメリカ）… 山田　正芳　505
デスティネーション研究D（アジア）… 山田　正芳　507
デスティネーション研究E（オセアニア、太平洋地域）… 山田　正芳　509
デスティネーション研究F（アフリカ、中東地域等）… 山田　正芳　511
ホスピタリティ論 …… 立石　貴子　513
ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅰ …… 岩本　英和　515
ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅱ …… 五十嵐潤子　517
エアラインビジネス論 …… 米倉　義友　519
ホテルビジネス論 …… 渭東　史江　521
交流創造ビジネス論／トラベルエージェンシービジネス論… 五十嵐潤子　523
ラクシャリー論 …… 神末　武彦　525
ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅰ（インフィニ国際線予約システム予約編・初中級）… 白木　一恵　527
ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅱ（インフィニ国際線予約システム運賃編・上級）… 白木　一恵　529
ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修A・B・C・D・E・F・G・H… 単位認定科目　531
ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修A・B… 単位認定科目　532
ホスピタリティ・ボランティア活動… 単位認定科目　533
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究A（フード・ビバレッジ）… 渭東　史江　534
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究B… 阿部　佳　536
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ⅰ（ブライダル・フューネラル ビジネス）／ブライダル・ヒューネラルビジネス論… 中川　貴之　538
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究C（法規）… 山田　正芳　540
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究D（エンターテイメント／テーマパークビジネス）… 森崎　泰助　542
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究E（ＭＩＣＥ）… 五十嵐潤子　544
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究F（地域創生）… 五十嵐潤子　546
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究G（ブライダルⅠ）… 村田　順子　548
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究H（ブライダルⅡ）… 村田　順子　550
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究I（クルーズビジネス）… 上杉　恵美　552
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究J（トラベルエージェント実務）… 山田　正芳　554
ホスピタリティ・ツーリズム産業研究J（トラベルエージェント実務）… 山田　正芳　556
マーケティング概論 …… 水野　徹　558
マネジメント総論 …… 二宮　秀生　560
アカウンティング基礎 …… 矢住　直子　562
ファイナンス基礎 …… 矢住　直子　564
イノベーション概論 …… 久保田英男　566
統計学Ⅰ …… 高橋　奈佳　568
統計学Ⅱ …… 高橋　奈佳　570
倫理とコンプライアンス…… 吉田　成利　572
リーダーシップ論 …… 米倉　義友　574
異文化マネジメント論 …… 三輪　祥宏　576
三輪　祥宏　578

国際ビジネス関係論 …… 肖　子睿 580
三輪　祥宏 580
経営戦略論 …… 白木　秀典 582
サービス・マーケティング論…… 米倉　義友 584
デスティネーション・マーケティング論… ラッセル　ウエノ 586
デスティネーション・マネジメント論… ラッセル　ウエノ 588
ヒューマンリソースマネジメント論… 久保田英男 590
米倉　義友 592
リスクマネジメント論 …… 久保田英男 594
交通経済システム論 A …… 宮田　淳 596
交通経済システム論 B …… 宮田　淳 598
特別講義 A …… 二宮　秀生 600
特別講義 B …… 内苑　孝美 602
エアラインマネジメント論…… 米倉　義友 604
観光事業マネジメント論／トラベルエージェンシーマネジメント論… 五十嵐潤子 606
フード & ビバレッジマネジメント論… 久保田英男 608
ホテルマネジメント論 …… 立石　貴子 610
IoT テクノロジー基礎 …… 番場　直之 612
デジタライゼーション概論…… 橋本　尚興 614
データ解析基礎 …… 前田　篤志 616
プロポーザル管理基礎 …… 式町久美子 618
デジタル・イノベーション実地研修… 単位認定科目 620
パーソナル・コミュニケーション実践演習A(ホテル商品企画)／ホスピタリティ・ツーリズム実践演習A(ホテル商品企画)… 渭東　史江 621
パーソナル・コミュニケーション実践演習B(地域研究)／ホスピタリティ・ツーリズム実践演習B(地域研究)… 木内　伸樹 623
パーソナル・コミュニケーション実践演習D(ロジカルシンキングディベート)／ホスピタリティ・ツーリズム実践演習D(ロジカルシンキング)… 橋本　尚興 625
パーソナル・コミュニケーション実践演習D(プレゼンテーション技法)／ホスピタリティ・ツーリズム実践演習D(プレゼンテーション技法)… ジェイコブ　シェア 627
パーソナル・コミュニケーション実践演習 E (コンシェルジュ)… 川村　一司 629
ロジカル思考 …… 櫻井　俊輔 631
デザイン思考 …… 櫻井　俊輔 633
デジタル・イノベーション探究A(デジタライゼーション・ビジネスモデル・プラットフォームビジネス)… 桑本　謙介 635
デジタル・イノベーション探究 B (顧客価値・顧客データ分析・CRM) … 前田　篤志 637
デジタル・イノベーション探究 C (プロジェクト管理)… 櫻井　俊輔 639
デジタル・イノベーション探究 D (デジタライゼーションと SDGs・国際社会)… 谷本　浩治 641
デジタル・イノベーション探究 E (オムニチャネル・OMO・D2C)… 渡辺　泰輔 643
デジタル・イノベーション探究 F (経営情報システムと情報セキュリティ)… 橋本　尚興 645
デジタル・イノベーション探究 G (AI・RPA・深層学習)… 前田　篤志 647
デジタル・イノベーション実践演習 B (プロポーザル管理・交渉)… 式町久美子 649
デジタル・イノベーション実践演習 C (データマイニング)… 前田　篤志 651
デジタル・イノベーション実践演習 D (デジタル・マーケティング技術)… 渡辺　泰輔 653

プレゼミナール I -a…… HT学部専任教員 655
プレゼミナール I -b…… HT学部専任教員 657
プレゼミナール II -a…… HT学部専任教員 659
プレゼミナール II -b…… HT学部専任教員 661
ケーススタディ I -a…… 五十嵐潤子 663
渭東　史江 665
木内　伸樹 667
肖　子睿 669
中野　実 671
二宮　秀生 673
橋本　尚興 675
前田　篤志 677
三輪　祥宏 679
ケーススタディ I -b…… 五十嵐潤子 681
渭東　史江 683
木内　伸樹 685
肖　子睿 687
中野　実 689
二宮　秀生 691
橋本　尚興 693
前田　篤志 695
三輪　祥宏 697
ケーススタディ II -a…… 五十嵐潤子 699
渭東　史江 701
上杉　恵美 703
木内　伸樹 705
肖　子睿 707
中野　実 709
二宮　秀生 711
橋本　尚興 713
三輪　祥宏 715
ケーススタディ II -b…… 五十嵐潤子 717
渭東　史江 719
上杉　恵美 721
木内　伸樹 723
肖　子睿 725
中野　実 727
二宮　秀生 729
橋本　尚興 731
三輪　祥宏 733

［共通科目］

○基礎教育

○人間力形成教育

○キャリア形成教育

○特別科目

学修の基礎Ⅰ

開講学科等：日英中経 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2025 年度入学生のみ履修可能

別途指示

▌授業の概要

この科目は、自己を理解し、大学を理解し、大学 4 年間でどのような自己を創り出すかを明確にデザインするための授業です。
わたしたちを取り巻く社会には解決すべきさまざまな課題があります。その解決策を提案し、有為な人材として社会に貢献するためには、「建学の精神」である「社会性」「創造性」「合理性」を身につけ、自らの考えを表現する方法を学ぶ必要があります。
この授業を通じて、自分自身を知り、明海大学に対する理解を深め、学生主体のグループワークを展開する中で課題解決力を身につけ、有為な人材として活躍するための力を身につけましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：明海大学の建学の精神が掲げる「社会性」「創造性」「合理性」が、社会に貢献するための課題解決の鍵であることを理解する。大学 4 年間で社会課題解決策の提案が出来るようになるために、自己の特性を理解し、大学での学び方を身につけ、グループワークを通じて課題解決を図るスキルを身につける。

個別目標：①明海大学を理解し、建学の精神について説明することができる
②自らの考えを他人に理解してもらえるように説明することができる
③自らを理解し、自分の特性を活かした「なりたいじぶん」を描くことができる
④大学生活を通じて「なりたいじぶん」になるためのロードマップをデザイン(設計)することができる

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

①提出物，プレゼンテーションスライドなどの作成　40 %
②発表など　40 %
③授業中の活動などアクティブラーニングの評価　20 %
（提出日時，所定のルールを守らないものは評価しない）
発表資料などが間に合わない場合は，「事前学修」「振り返り」が出来ていないものと判断し，減点する
※なお，5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって協働ワークを実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業回によって使用する）

▌教科書

『学修の基礎Ⅰ』(教科書)

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション 1（この授業の目的、manaba の使い方、ノートテイキング）** 授業内容：①この授業の目的について理解する ②大学 HP ログイン、manaba ログイン、respon 試行、start ログイン等の方法を理解する ③ノートテイキングの方法を理解し、学長講話・副学長講話を聴く準備をする 事前学修 2.0hr：大学 HP ログイン、manaba ログイン、respon 試行、G メールの設定などを確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：大学からのメッセージ 1　学長講話 /オリエンテーション 2（時間管理）** 授業内容：①学長講話 ②ノートテイキングの確認 ③時間管理の課題と方法を知る 事前学修 2.0hr：講話を聴き、それをただの体験で終わらせない準備を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：大学からのメッセージ 2　副学長講話「ホスピタリティは人のためならず」/オリエンテーション 3（メール管理）** 授業内容：①副学長講話 ②ノートテイキングの確認 ③ G メール(@meikai.ac.jp)の設定(PROG のメール受信確認、連絡を取る際の礼儀など) 事前学修 2.0hr：講話を聴き、それをただの体験で終わらせない準備を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：自己を知る 1　PROG テスト受験** 授業内容：自らを知るために PROG テストを受験する 事前学修 2.0hr：自らの特徴について考えておく 事後学修 2.0hr：テストを振り返り、自らについて改めて考える
5回	**授業テーマ：大学での学びの方法 1　学修ポートフォリオ　問題解決のためのメソッドの解説、プレゼン企画準備** 授業内容：①学修ポートフォリオのログインと活用方法 ②問題解決のためのメソッド解説(プレゼンテーション・ディスカッション指導) 事前学修 2.0hr：情報収集の手順などを調べておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントを復習する
6回	**授業テーマ：大学での学びの方法 2　身近なものを比較しよう (準備・発表 1)** 授業内容：複数のものを比較し何を選ぶべきか、自分の考えを理解し、賛同してもらうためにはどのようなプレゼンテーションが必要なのか、協働によるアクティブラーニングを実施する。後半には発表を開始する。 事前学修 3.0hr：自分が担当するプレゼンテーションスライドの作成をしておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

7回	**授業テーマ：大学での学びの方法３　身近なものを比較しよう (発表2)、振り返り** 授業内容：発表，プレゼンテーション資料の作成方法や発表態度について評価を受ける 事前学修 3.0hr：グループとしてのプレゼンテーションの作成 (各人の成果物を合成)、発表準備 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：大学での学びの方法４　社会課題に取り組もう (準備) (自大学に関する学修、図書館の活用)** 授業内容：大学生活を快適で楽しく過ごすためには現状の問題をどのように解決すれば良いのか (学問や大学教育全般に対する動機付け、自大学に関する学修を含む)情報収集として、図書館のデータベースなども活用 事前学修 3.0hr：情報収集の準備として、図書館のデータベースなどの活用方法を理解しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：大学での学びの方法５　インタビュー (アクティブラーニング)、評価** 授業内容：グループの提案を説明し、教員の意見・感想などをインタビューする 事前学修 3.0hr：教員に説明するためのスライド作成 事後学修 3.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：大学での学びの方法６　発表 (クラスでの発表)** 授業内容：社会課題の解決方法の提案、インタビュー結果を含め小クラスで発表する 事前学修 3.0hr：事前に発表できるようにスライドを作成する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
11回	**授業テーマ：大学での学びの方法７　コーチングスキルを身につけよう (カードゲームの実践)** 授業内容：コーチングスキル＝人の話を聞く・相手から引き出す能力を身につけることは、就職・会社においても有益であり、自主性、問題解決能力、モチベーションを高めることに有効と言われる。また、グループ活動にも有益であり、大学生同士の学び合いに効果が期待できる。そのために作成した教育用カードゲームを実践する。 事前学修 2.0hr：コーチングスキルとは何か、事前に調べておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
12回	**授業テーマ：自己を知る２　PROG テストの返却とフィードバック** 授業内容：PROG テストの返却とその見方を解説する。これにより、自らの強みとその活かし方、課題とその克服方法などを考える。 事前学修 2.0hr：PROG テストの振り返りが出来るように準備しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：大学での学びを考える１　どうしたら幸せになれるのか 1** 授業内容：幸せとはどういう状態なのか、いま何が問題なのか、改善すべき問題を探る。 幸せを細分化し、ターゲットを決める。ゴールを設定する。発表のためのプレゼンテーションスライドを作成 事前学修 2.0hr：どのような内容を提案するか、グループ内で調整する 事後学修 3.0hr：発表するためのプレゼンテーションスライドを作成する
14回	**授業テーマ：大学での学びを考える２　どうしたら幸せになれるのか 2** 授業内容：前回および家で作成したプレゼンテーションスライドを発表する 事前学修 2.0hr：教科書「ロードマップを考える」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
15回	**授業テーマ：大学での学びを考える３　ポートフォリオ、ロードマップの記入** 授業内容：本授業のまとめとして、ポートフォリオ、ロードマップを記入する。 自分自身の特性を理解し、目標を持って大学生活を充実させる。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオ、ロードマップが書けるように情報等を準備する 事後学修 2.0hr：ポートフォリオ、ロードマップを完成させる

学修の基礎Ⅰ

開講学科等：日英中 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：再履修クラス

遠藤　信一（えんどう　しんいち）**・佐々木　文彦**（ささき　ふみひこ）

▌授業の概要

この科目は、主体的・対話的・深い学びの実践によって、自己を理解し、大学を理解し、大学 4 年間でどのような自己を創り出すかを明確にデザインするための授業です。「自己を知る」「情報整理術」「学修計画やロードマップの作成」等さまざまな課題について考えます。明海大学での「自分さがし、自分づくり」を再スタートさせましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：明海大学について理解を深め、自分自身の特性を理解し、目標を持って大学生活を再スタートすることができる
個別目標：①自分自身の特性を理解し、わかりやすく伝えることができる
②明海大学を理解し、わかりやすく伝えることができる
③大学生活でどのような自分を創り出すか、明確に描くことができる

▌履修条件

授業は毎回必ず受講し、内容をしっかり理解すること

▌評価基準・方法

①毎回の「事前学修」および「振り返りシート」(提出および内容）60 %
②提出物　40 %
（提出日時、所定のルールを守らないものは評価しない）
※なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によってペアワークを実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業回によって使用する場合がある）

▌教科書

『学修の基礎Ⅰ』(入学年度に購入した教科書）

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：学修の基礎Ⅰの授業方法を知る。 事前学修 2.0hr：シラバス及び教科書を読み、授業全体の流れを確認する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：大学での学びの方法(1)メールと LMS** 授業内容：大学での学びの準備として、大学のメールと manaba の利用方法を確認する。 事前学修 2.0hr：「メールの書き方」について、HP などで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：自己を知る(1)ポートフォリオの作成** 授業内容：Google スプレッドシートを利用して、e ポートフォリオを作成する。 事前学修 2.0hr：e ポートフォリオ・ポートフォリオについて、HP などで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：大学での学びの方法(2)大学での学び方を知る** 授業内容：大学の理解を深めるため、教員・職員のこと、学内施設について改めて確認する。 事前学修 2.0hr：明海大学の HP で、学内の施設について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5回	**授業テーマ：自己を知る(2)時間管理** 授業内容：自分の特性を理解した上で、目標を持った大学生活を送るために自分のスケジュール管理を見直す。 事前学修 2.0hr：「スケジュール管理」について、HP などで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、スケジュール帳などにこれからの計画を記入する
6回	**授業テーマ：大学での学びの方法(3)ノートテイキング** 授業内容：大学でのノートテイキングの重要性を知る。 事前学修 2.0hr：これまでの受講した授業のノートを見直し、良い点と問題点を考える 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7回	**授業テーマ：情報整理術　アイディアの発想と情報の整理** 授業内容：大学で必要な思考の 1 つである「発想」と、それを整理する方法を知る。 事前学修 2.0hr：教科書「情報整理術」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：大学での学びの方法(4)情報検索** 授業内容：図書館の利用、Web での検索を通した情報検索の基本を知る。 事前学修 2.0hr：明海大学メディアセンターについて、HP などで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：大学での学びの方法(5)大学での学び方を考える** 授業内容：自分の学部・学科での学修内容・学修方法を知る。 事前学修 2.0hr：履修ガイドや HP で、自分の学科について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：自己を知る(3)マインドマップの作成** 授業内容：自分自身を多方面から見つめるために、マインドマップを作成する。 事前学修 2.5hr：マインドマップについて、HP などで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

11回	**授業テーマ：自己を知る(4)マインドマップから自己を見る** 授業内容：マインドマップから、好きなことや特性を見出し、自分自身の強みを見つける。 事前学修 2.0hr：作成したマインドマップの中から「キーワード」を探す 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
12回	**授業テーマ：自己を知る(5)自分自身の特性を客観的にみる** 授業内容：ジェネリックスキルについて知る。セルフチェックし、自分の特性を客観的にみる 事前学修 2.0hr：ジェネリックスキルについて、HP などで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：学修計画を立てる　ポートフォリオの記入** 授業内容：自分自身の特性を再確認し、大学生活でどのような自分を創り出すかを考える。 事前学修 2.0hr：教科書「学修計画を立てる」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：記入したポートフォリオを見直し、修正する
14回	**授業テーマ：ロードマップを考える　ロードマップの作成** 授業内容：大学生活でどのような自分を創り出すかを明確に描く。 事前学修 2.0hr：教科書「ロードマップを考える」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：記入したロードマップを見直し、修正する
15回	**授業テーマ：大学での学びを考える　ロードマップ実行のための指針** 授業内容：自分自身の特性を理解し、目標を持って改めて大学生活をスタートさせる。 事前学修 2.0hr：教科書「大学での学びを考える」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：記入したロードマップを見直し、修正する

学修の基礎 I

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

吉田　成利 (よしだ　なるとし)

▌授業の概要

The course aims to support each student to enjoy a meaningful academic life with basic academic skills.
A student creates one's pride as a "young expert in Japanese hospitality".
She or he sharpens one's study skills and clarifies one's vision and mission.
The contents of the lectures may be changed subject to educational circumstances.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：**M1/M2/M3**）

一般目標：A student learns basic study skills: reading, listening, writing and speaking.
This course gives each student a more sophisticated understanding of one's personality.
A student also learns the Japanese culture, history, social system, and esprit.
個別目標：Emphasis on group work.
Completing efficient academic presentations.
Spontaneous attitude at classroom discussions and extracurricular studies.

▌履修条件

This course is a compulsory subject for each GMM student.
Every student must actively and sincerely participate in each lecture.

▌評価基準・方法

Essays, presentations and in-class performance.
In each class, the lecturer will give you the feedback of short essays, etc. clearly.

▌フィードバック方法

Feedback will be done time to time after your performance and submission.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Certainly, the course must be active learning.）

▌授業での **PC** の利用（利用内容）

あり （Definitely, you must use your own PC in each class.）

▌教科書

Reading materials will be specified in class.

▌参考書

Supplementary reading materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introduction 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
2回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
3回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
4回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
5回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
6回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
7回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
8回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
9回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
10回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class

11回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
12回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
13回	**授業テーマ：Career planning for job hunting 1-1** 授業内容：Understanding the career planning and imagine your goal after the graduation. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
14回	**授業テーマ：Recruitment examinations for job hunting** 授業内容：Understanding the recent recruitment system in Japan. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review the previous class
15回	**授業テーマ：Conclusion** 授業内容：Conclusive session of this course 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review this course

学修の基礎Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：2025 年度入学生のみ履修可能

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**髙橋　眞人**（たかはし　まさと）・**髙橋　亜里沙**（たかはし　ありさ）・**中部　直之**（なかべ　なおゆき）・**藤本　陽子**（ふじもと　ようこ）・**堀内　貴子**（ほりうち　たかこ）・**柳井　まどか**（やない　まどか）・**山口　真葵**（やまぐち　まき）

▌授業の概要

日本語の運用能力の向上をめざし、論理的な思考力、表現力の育成をはかる。また、漢字・語句練習による語彙力の育成、談話完成練習による会話力の育成をはかる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：論理的で分かりやすい文章で意見を述べることができる。
その際に、基本的な漢字・語句を正しく使い、正しい引用方法で先行研究やデータを利用することができる。
また、適切な対面コミュニケーションができる。

個別目標：基本的な漢字・語句について正しく理解、表現できるようになる。
論理的な思考により、伝えたい内容を分かりやすく表現できるようになる。
入門書レベルの文章を読んで大意を把握できるようになる。
場面情報、言語情報を正確に把握したうえで、適切な対面コミュニケーションができるようになる。

▌履修条件

期限までに課題の提出を行うこと。授業内の活動に積極的に参加すること。遅刻や欠席をしないこと。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。
課題提出(小テスト・事前学修・事後学修・授業内課題・学修のふりかえり）60%、最終レポート 10 %、最終試験 30 %で評価する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プロセスライティングで文章作成を学ぶ。その中で、ピアレビュー、自己点検、発表を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章作成にワードを、テーマ決めや主張を支える証拠を探すために Web 検索をし、発表資料作成にパワーポイントを使用する。）

▌教科書

『学生のコミュニケーション・スキルの学び　グローバル社会を生きるためのレッスン』実教出版

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：コミュニケーションとは** 授業内容：本授業の概要についての説明を行う。また、事前テストを実施する。 事前学修 2.0hr：自分の経験から、良いコミュニケーション(文章・会話)には何が必要かを考える。 事後学修 2.0hr：コミュニケーション(文章・会話)について自分の考えを整理し、まとめる。
2回	**授業テーマ：情報を調整する** 授業内容：文章作成では、情報を調整する方法を学ぶ。会話では、感謝の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、送り仮名のつけ方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１回
3回	**授業テーマ：段落の構成を理解する** 授業内容：文章作成では、段落構成について学ぶ。会話では、延期の依頼の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、送り仮名のつけ方２を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第２回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第２回
4回	**授業テーマ：要約する** 授業内容：文章作成では、要約の方法を学ぶ。会話では、書類の提出時の会話を学ぶ。漢字・語句では、敬語の基本の形を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第３回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第３回
5回	**授業テーマ：文章の構造と理解する** 授業内容：文章作成では、文章の構造を学び、文章の構造が理解できることを目指す。会話では、手順の質問の場面の会話を学ぶ。漢字・語句では、敬語の特別な形を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第４回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第４回
6回	**授業テーマ：プランニング１(アイディアの抽出と整理)** 授業内容：文章作成では、文章の構想を練るプランニングを学ぶ。会話では、会議の場面で司会の話し方について学ぶ。漢字・語句では、ウチとソトを意識した敬語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第５回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第５回
7回	**授業テーマ：プランニング２(アイディアの構造化)** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを行う。会話では、遅刻の連絡場面での話し方を学ぶ。漢字・語句では、間違えやすい敬語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第６回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第６回
8回	**授業テーマ：主張を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの検討として、自分とは異なる主張の立場から見る方法を学ぶ。会話では、会議の場面で、自分の意見の適切な述べ方を学ぶ。漢字・語句では、改まった表現について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第７回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第７回
9回	**授業テーマ：理由を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの主張を支える理由の妥当性を考える。会話では、仕事などの進捗状況を責任者等に報告する際の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、熟語の構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第８回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第８回

10回	**授業テーマ：証拠となる客観的資料を探す** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングを見て、主張を支える理由の証拠となる資料を探す方法を学ぶ。会話では、会議の場面で結論を導くための話し方を学ぶ。漢字・語句では、漢字の構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第９回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第９回
11回	**授業テーマ：原稿を作成する** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを見て、主張、理由、証拠となるデータが論理的に適切につながっているかを検討する。会話では、企画について話し合う場面で、建設的な相談の話し方を学ぶ。漢字・語句では、四字熟語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１０回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１０回
12回	**授業テーマ：資料を作成する** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングに基づいて、意見文の文章作成を行う。会話では、その場にいない人に対する伝言を残す際の話し方を学ぶ。漢字・語句では、四字熟語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１１回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１１回
13回	**授業テーマ：発表する** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する際の資料を作成する。会話では、就職活動等で自己 PR を述べる際の話し方を学ぶ。漢字・語句では、対義語と誤字訂正を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１２回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１２回
14回	**授業テーマ：コメントをする** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する。また他者の発表を聞いて改善のための建設的なコメントを行う。会話では、就職活動等で志望動機を述べる際の話し方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１３回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１３回
15回	**授業テーマ：論理的な思考力・表現力とは** 授業内容：最終試験を行う。コース全体の振りかえりをする。文章作成ではライティングプロセスを振り返り、工夫した点や改善をした点について再度検討を行う。また、会話や漢字・語句で学んだことをまとめる。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」巻末問題 事後学修 2.0hr：これまでの復習をする。

学修の基礎Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：再履修クラス

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**中部　直之**（なかべ　なおゆき）・**山口　真葵**（やまぐち　まき）

▌授業の概要

日本語の運用能力の向上をめざし、論理的な思考力、表現力の育成をはかる。また、漢字・語句練習による語彙力の育成、談話完成練習による会話力の育成をはかる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：論理的で分かりやすい文章で意見を述べることができる。
その際に、基本的な漢字・語句を正しく使い、正しい引用方法で先行研究やデータを利用することができる。
また、適切な対面コミュニケーションができる。

個別目標：基本的な漢字・語句について正しく理解、表現できるようになる。
論理的な思考により、伝えたい内容を分かりやすく表現できるようになる。
入門書レベルの文章を読んで大意を把握できるようになる。
場面情報、言語情報を正確に把握したうえで、適切な対面コミュニケーションができるようになる。

▌履修条件

期限までに課題の提出を行うこと。授業内の活動に積極的に参加すること。遅刻や欠席をしないこと。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。
課題提出(小テスト・事前学修・事後学修・授業内課題・学修のふりかえり) 60%、最終レポート 10 %、期末試験 30 %で評価する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プロセスライティングで文章作成を学ぶ。その中で、ピアレビュー、自己点検、発表を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章作成にワードを、テーマ決めや主張を支える証拠を探すために Web 検索をし、発表資料作成にパワーポイントを使用する。）

▌教科書

『学生のコミュニケーション・スキルの学び　グローバル社会を生きるためのレッスン』実教出版

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：コミュニケーションとは** 授業内容：本授業の概要についての説明を行う。また、事前テストを実施する。 事前学修 2.0hr：自分の経験から、良いコミュニケーション(文章・会話)には何が必要かを考える。 事後学修 2.0hr：コミュニケーション(文章・会話)について自分の考えを整理し、まとめる。
2回	**授業テーマ：情報を調整する** 授業内容：文章作成では、情報を調整する方法を学ぶ。会話では、感謝の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、送り仮名のつけ方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１回
3回	**授業テーマ：段落の構成を理解する** 授業内容：文章作成では、段落構成について学ぶ。会話では、延期の依頼の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、送り仮名のつけ方２を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第２回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第２回
4回	**授業テーマ：要約する** 授業内容：文章作成では、要約の方法を学ぶ。会話では、書類の提出時の会話を学ぶ。漢字・語句では、敬語の基本の形を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第３回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第３回
5回	**授業テーマ：文章の構造と理解する** 授業内容：文章作成では、文章の構造を学び、文章の構造が理解できることを目指す。会話では、手順の質問の場面の会話を学ぶ。漢字・語句では、敬語の特別な形を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第４回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第４回
6回	**授業テーマ：プランニング１(アイディアの抽出と整理)** 授業内容：文章作成では、文章の構想を練るプランニングを学ぶ。会話では、会議の場面で司会の話し方について学ぶ。漢字・語句では、ウチとソトを意識した敬語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第５回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第５回
7回	**授業テーマ：プランニング２(アイディアの構造化)** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを行う。会話では、遅刻の連絡場面での話し方を学ぶ。漢字・語句では、間違えやすい敬語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第６回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第６回
8回	**授業テーマ：主張を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの検討として、自分とは異なる主張の立場から見る方法を学ぶ。会話では、会議の場面で、自分の意見の適切な述べ方を学ぶ。漢字・語句では、改まった表現について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第７回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第７回
9回	**授業テーマ：理由を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの主張を支える理由の妥当性を考える。会話では、仕事などの進捗状況を責任者等に報告する際の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、熟語の構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第８回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第８回

10回	**授業テーマ：証拠となる客観的資料を探す** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングを見て、主張を支える理由の証拠となる資料を探す方法を学ぶ。会話では、会議の場面で結論を導くための話し方を学ぶ。漢字・語句では、漢字の構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第９回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第９回
11回	**授業テーマ：原稿を作成する** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを見て、主張、理由、証拠となるデータが論理的に適切につながっているかを検討する。会話では、企画について話し合う場面で、建設的な相談の話し方を学ぶ。漢字・語句では、四字熟語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１０回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１０回
12回	**授業テーマ：資料を作成する** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングに基づいて、意見文の文章作成を行う。会話では、その場にいない人に対する伝言を残す際の話し方を学ぶ。漢字・語句では、四字熟語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１１回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１１回
13回	**授業テーマ：発表する** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する際の資料を作成する。会話では、就職活動等で自己 PR を述べる際の話し方を学ぶ。漢字・語句では、対義語と誤字訂正を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１２回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１２回
14回	**授業テーマ：コメントをする** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する。また他者の発表を聞いて改善のための建設的なコメントを行う。会話では、就職活動等で志望動機を述べる際の話し方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１３回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１３回
15回	**授業テーマ：論理的な思考力・表現力とは** 授業内容：コース全体の振りかえりをする。文章作成ではライティングプロセスを振り返り、工夫した点や改善をした点について再度検討を行う。また、会話や漢字・語句で学んだことをまとめる。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」巻末問題 事後学修 2.0hr：これまでの復習をする。

学修の基礎Ⅲ-a（データリテラシー　数理・推論）

開講学科等：日英中経不 HT 保　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**遠藤　恵祐**（えんどう　けいすけ）・**中島　達洋**（なかじま　たつひろ）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）・**前田　新太郎**（まえだ　しんたろう）・**茂木　誠拓**（もぎ　ともひろ）

▌授業の概要

これからの時代は「AI・データサイエンス」が基盤教養です。この講義では、「数字データリテラシー」と「データに基づく推論力」といったデータサイエンスの基礎を身につけるため、以下の項目を学びます：

・「数字データ」の加工法、解釈法、使用法（元データ・割合・率・確率・平均値など）

・正しい推論に必要な考え方と基本ツール（マトリクス・ロジックツリー・演繹的推論・帰納的推論）

担当教員によって授業運営方法は若干異なります。また、学修支援システム manaba を利用した反転授業が行われる場合もあります。各クラスの担当教員の指示に従って学習を進めてください。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：① 物事を数字化して捉える「数字データリテラシー」の基礎的素養を身につける。

② 得たデータから、適切な結論を論理的に導出することを可能とする「推論力（ロジカル・シンキング）」の基礎的素養を身につける。

個別目標：① 日常生活や仕事で目にする様々な数値データの意味を正しく読み取り、説明できる。

② 与えられたデータから、必要かつ適切な数値を計算し、その思考過程を適切にアウトプットできる。

③ 自分、あるいは他人（AI も含む）がデータから得た結論の妥当性を（簡単な場合には）判断できる。

▌履修条件

必修科目につき特にありません。

▌評価基準・方法

到達度確認テスト（2 回）50 %、授業時の課題（レポート& ドリル）50 %で評価します。

また、全授業数の 80 %以上の出席を評価の前提条件とします。

▌フィードバック方法

課題やテストのフィードバックは、学修支援システム manaba を通じて行い、各課題の成績は manaba で参照できるようにします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （できるだけ反転授業（基本事項は動画、問題演習は教室）の形に近づけます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、PC があると課題に取り組むときに便利です。）

▌教科書

中島達洋『数字データリテラシーのトレーニング』（開成出版、2025）

▌参考書

テキストの参考文献欄を参照してください。また、必要に応じて授業中に提示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス & プレイスメントテスト** 授業内容：ガイダンスで授業内容、成績評価方法について説明する。その後で、現時点での実力把握のためのプレイスメントテストを実施する。 事前学修 1.0hr：講義概要やテキストを読んで、授業内容のイメージを作っておく。 事後学修 3.0hr：プレイスメントテストの結果を見て「計算力」に問題があるときは、テキストの Lesson 0 を自習すること。
2 回	**授業テーマ：基本的な計算【Lesson 1】** 授業内容：分数の計算方法と一次方程式の解法について復習する。簡単に事前学習内容をさらった後に、manaba のドリルとレポート課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの「解説」を読む。manaba 上に動画や教材がアップされているときは、教員の指示に従って取り組む。 事後学修 2.0hr：テキスト練習問題の復習をする。教員の指示があるときは、manaba のドリルや補助プリントの問題に取り組む。
3 回	**授業テーマ：データリテラシー（数値データの加工と解釈）① 1 単位あたりの数値と"新しい量"の表現【Lesson 2】** 授業内容：異なる単位の割り算で求めることができる「1 あたり量」の意味を理解する。また、様々な文章題が同一の構造であることに気づく。簡単に事前学習内容をさらった後に、manaba のドリルとレポート課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの「解説」を読む。manaba 上に動画や教材がアップされているときは、教員の指示に従って取り組む。 事後学修 2.0hr：テキスト練習問題の復習をする。教員の指示があるときは、manaba のドリルや補助プリントの問題に取り組む。
4 回	**授業テーマ：データリテラシー（数値データの加工と解釈）② 割合計算の基本・割合が良いケース／実数が良いケース【Lesson 3】** 授業内容：割合の意味と計算方法について理解する。さらに割合が入れ子になった「内訳の内訳」の問題の解法を学ぶ。簡単に事前学習内容をさらった後に、manaba のドリルとレポート課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの「解説」を読む。manaba 上に動画や教材がアップされているときは、教員の指示に従って取り組む。 事後学修 2.0hr：テキスト練習問題の復習をする。教員の指示があるときは、manaba のドリルや補助プリントの問題に取り組む。
5 回	**授業テーマ：データリテラシー（数値データの加工と解釈）③ 増加率と減少率【Lesson 4】** 授業内容：「○%増」とか「○%減」という言葉の正しい意味を理解する。また、その応用として、「損益算」の問題へのアプローチ方法を学ぶ。簡単に事前学習内容をさらった後に、manaba のドリルとレポート課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの「解説」を読む。manaba 上に動画や教材がアップされているときは、教員の指示に従って取り組む。 事後学修 2.0hr：テキスト練習問題の復習をする。教員の指示があるときは、manaba のドリルや補助プリントの問題に取り組む。
6 回	**授業テーマ：データサイエンスの基礎① データの種類とクロス集計表【Lesson 5】** 授業内容：質的変数と量的変数、尺度などデータの種類を理解する。さらに、質的変数の分析ツールであるクロス集計表の作成方法や、それを使った「集合の問題」の解法について学ぶ。簡単に事前学習内容をさらった後に、manaba のドリルとレポート課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの「解説」を読む。manaba 上に動画や教材がアップされているときは、教員の指示に従って取り組む。 事後学修 2.0hr：テキスト練習問題の復習をする。教員の指示があるときは、manaba のドリルや補助プリントの問題に取り組む。
7 回	**授業テーマ：到達度確認テスト 1 対策講座** 授業内容：講義前半の内容を総括する「到達度確認テスト 1」に備え、重要事項の確認や、必須問題の解法の復習を行う。 事前学修 2.0hr：これまでのレポート問題を復習し、疑問点をピックアップしておく。 事後学修 2.0hr：到達度確認テスト 1 模試（manaba）を受験し、苦手ポイントを把握する。レポート問題の復習を繰り返す。
8 回	**授業テーマ：到達度確認テスト 1** 授業内容：第 2 回授業～第 7 回授業（Lesson 0 ～ Lesson 5）の内容を総括した到達度確認テスト 1 を実施する。テスト終了後、いくつかの注意すべき問題について解説する。 事前学修 3.0hr：Lesson 0 ～ Lesson 5 で学んだ内容を復習し、テストに備える。 事後学修 1.0hr：テスト問題（特にできなかった問題）を解き直してみる。友人と教え合うのも良い。

9回	**授業テーマ：データサイエンスの基礎② 記述統計量について知る【Lesson 6】** 授業内容：平均値・中央値・分散・標準偏差といったデータの特徴を表す量について学ぶ。簡単なデータからこれらの量を計算できるようにする。簡単に事前学習内容をさらった後に、manaba のドリルとレポート課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの「解説」を読む。manaba 上に動画や教材がアップされているときは、教員の指示に従って取り組む。 事後学修 2.0hr：テキスト練習問題の復習をする。教員の指示があるときは、manaba のドリルや補助プリントの問題に取り組む。
10回	**授業テーマ：データに基づく推論と分析① 正しい場合分けをする方法(ロジックツリー)【Lesson 7】** 授業内容：数え上げの問題を題材に、問題をモレなくダブリなく(MECE)場合分けし、それをツリー(樹形)状に整理する方法を学ぶ。簡単に事前学習内容をさらった後に、manaba のドリルとレポート課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの「解説」を読む。manaba 上に動画や教材がアップされているときは、教員の指示に従って取り組む。 事後学修 2.0hr：テキスト練習問題の復習をする。教員の指示があるときは、manaba のドリルや補助プリントの問題に取り組む。
11回	**授業テーマ：データリテラシー(数値データの加工と解釈)④ 確率の計算と期待値【Lesson 8】** 授業内容：確率について学習する。ツリーを使って問題を整理し、「積の法則」と「和の法則」の意味と使えるようになることを目標とする。さらに、確率変数の平均値「期待値」について学び、期待値が意思決定や金融商品の価値計算などに応用できることを、練習問題を通じて理解する。簡単に事前学習内容をさらった後に、manaba のドリルとレポート課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの「解説」を読む。manaba 上に動画や教材がアップされているときは、教員の指示に従って取り組む。 事後学修 2.0hr：テキスト練習問題の復習をする。教員の指示があるときは、manaba のドリルや補助プリントの問題に取り組む。
12回	**授業テーマ：データに基づく推論と分析② 推論のトレーニング(演繹的推論)【Lesson 9】** 授業内容：「P ならば Q」という命題がどんなときに成立するのかを理解する。さらに、命題の同値変形である対偶について学び、三段論法の使い方をトレーニングする。簡単に事前学習内容をさらった後に、manaba のドリルとレポート課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの「解説」を読む。manaba 上に動画や教材がアップされているときは、教員の指示に従って取り組む。 事後学修 2.0hr：テキスト練習問題の復習をする。教員の指示があるときは、manaba のドリルや補助プリントの問題に取り組む。
13回	**授業テーマ：データに基づく推論と分析③ 推論のトレーニング(帰納的推論・規則性の発見)【Lesson 10】** 授業内容：問題に対して、自分でデータを集め、そこから帰納的に考えて一般法則を見い出して解決する考え方を学習する。簡単に事前学習内容をさらった後に、manaba のドリルとレポート課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの「解説」を読む。manaba 上に動画や教材がアップされているときは、教員の指示に従って取り組む。 事後学修 2.0hr：テキスト練習問題の復習をする。教員の指示があるときは、manaba のドリルや補助プリントの問題に取り組む。
14回	**授業テーマ：到達度確認テスト 2 対策講座** 授業内容：講義後半の内容を総括する「到達度確認テスト 2」に備え、重要事項の確認や、必須問題の解法の復習を行う。 事前学修 2.0hr：これまでのレポート問題を復習し、疑問点をピックアップしておく。 事後学修 2.0hr：到達度確認テスト 2 模試(manaba)を受験し、苦手ポイントを把握する。レポート問題の復習を繰り返す。
15回	**授業テーマ：到達度確認テスト2** 授業内容：第 9 回授業～第 14 回授業(Lesson 6 ～ Lesson 10)の内容を総括した到達度確認テストを実施する。テスト終了後、いくつかの注意すべき問題について解説する。 事前学修 3.0hr：第 9 回授業～第 14 回授業(Lesson 6 ～ Lesson 10)で学んだ内容を復習し、テストに備える。 事後学修 1.0hr：テスト問題(特にできなかった問題)を解き直してみる。友人と教え合うのも良い。

学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**遠藤　恵祐**（えんどう　けいすけ）・**遠藤　信一**（えんどう　しんいち）・**高橋　奈佳**（たかはし　なか）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）・**前田　新太郎**（まえだ　しんたろう）・**茂木　誠拓**（もぎ　ともひろ）・**渡部　綾子**（わたべ　あやこ）

▌授業の概要

生成 AI の登場により、データサイエンスの分野も大きく変革を遂げようとしている。本学の学生として身につけるべき基礎教養として、Society5.0 社会・ビッグデータ・IoT・AI・ロボットなどについて学ぶ。なお、本科目では、データサイエンスの基礎として、

・生成 AI の利活用とその前提として必要な情報モラルについて理解すること
・データの利活用に関わる安全対策、情報モラルについて理解すること
・データの利活用のための分析スキルの基礎知識を習得すること
・データの利活用し、建学の精神を柱とした問題解決学習・プレゼンテーション技法を身につけること

を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：データサイエンス・生成 AI に関する知識、情報モラル・セキュリティの知識、「データを読む、説明する、扱う」能力などを踏まえて情報・データの利活用ができるようになること。

個別目標：1. データの利活用、AI(生成 AI を含む) 利活用の役割と事例を具体的に説明することができる。
2. データ利活用の倫理、セキュリティについて的確に説明することができる。
3. 文字入力や、ファイル操作、ネットワーク利用などの基本操作ができる。
4.Excel による実データの分析と可視化ができる。
5.PowerPoint を用いたプレゼンテーション資料の作成と適切な発表ができる。

▌履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。
Microsoft の Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題（85%）、タイピング試験（15 %）の合計点で評価する。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なるが実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （情報処理演習室を利用する）

▌教科書

保本正芳『基礎から始めるデータサイエンス』noa 出版（2022）
ISBN：978-4-908434-76-1

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。
担当教員によって授業方法・進行がことなります。詳細は担当教員に確認してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：講義の概要と進め方・インターネットの利活用** 授業内容：学修の基礎Ⅲ-b での授業の目的を理解する。また、大学のメール設定をし、大学や社会で必要なメールの書き方を学修する。合わせて、大学で利用している LMS である「manaba」の利用方法を確認する。タイピング練習方法を確認する。 現在進行中の社会変化（第４次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等）について学ぶ。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：シラバスおよび担当教員の指示内容を確認する。タイピング練習を行う。
2回	**授業テーマ：Windows の基礎：Windows の概要とウィンドウやファイルなどの操作方法・データサイエンスの役割** 授業内容：Windows の概要と基本的な操作方法を確認する。合わせて、データや AI の活用によって起きている社会の環境の変化について確認する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って参考資料などを確認する。タイピング練習を行う。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。タイピング練習を行う。
3回	**授業テーマ：情報モラルと情報セキュリティ：データを扱う上での留意事項** 授業内容：データ・生成 AI を扱う際の留意事項や、それらに対する取り組みについて学修する。また、データの中には機密情報や個人情報も多く含まれていることから、データを守るための原則と方法を確認する。 事前学修 2.0hr：データの扱いについて調べる。タイピング練習を行う。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。タイピング練習を行う。
4回	**授業テーマ：ビッグデータと生成 AI(1)：ビッグデータと生成 AI の活用領域と利活用のための技術** 授業内容：データ・生成 AI が利活用される領域・分野は広がりを見せている。そこで、データ・生成 AI が利活用される領域について学修する。また、生成 AI などを利活用する上で必要な留意点について学ぶ。 収集したデータを活用するために、データを解析する方法や技術について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビッグデータ・生成 AI の活用事例を調べる。タイピング練習を行う。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。タイピング練習を行う。
5回	**授業テーマ：ビッグデータと生成 AI(2)：ビッグデータと AI の課題解決への活用場面と最新動向** 授業内容：人がどのようにデータ・生成 AI を利活用しているのかについて具体的な例を確認し、利活用の方法や可能性について学修する。また、データ・生成 AI が活用されている最新のビジネスモデルや用語、技術を確認する。中でも生成 AI 等を活用した新しいビジネスモデル (シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど) などについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビッグデータ・生成 AI の活用したビジネスモデルを調べる。タイピング練習を行う。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。タイピング練習を行う。

6回	**授業テーマ：Excel（1）：Excel の基本** 授業内容：ビッグデータ、IoT 、生成 AI などによる社会の変化とデータ量の増加、計算機の処理性能の向上、AI の最新技術の活用例などを学び、データ解析と推論や流通システム、金融等におけるデータ・生成 AI 利活用事例などについて学ぶ。 データ分析には Excel を用いる。その前段階として、Excel の基本であるデータ入力、セル操作、ワークシート操作・計算式について説明し、実際に操作し、理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。タイピング練習を行う。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。タイピング練習を行う。
7回	**授業テーマ：Excel（2）：相対参照と絶対参照・基本の関数** 授業内容：Excel でデータを分析するときに利用する「関数」と、セル参照を使った計算方法について演習形式で説明し、実際に操作し、理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書を確認する。タイピング練習を行う。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。タイピング練習を行う。
8回	**授業テーマ：Excel（3）：「データを説明する、扱う」方法（顧客分析）** 授業内容：データ分析の練習として、データの集計（和、平均、代表値を計算したのち、グラフを作成する。グラフ作成では、優れた可視化と不適切なグラフ表現があるため、これについて理解し、「データを説明する、扱う」ための演習を実施する。。 事前学修 2.0hr：データの種類について調べておく。タイピング練習を行う。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。タイピング練習を行う。
9回	**授業テーマ：Excel（4）：「データを読む」方法・タイピング試験（仕入れ体験）** 授業内容：データの種類（量的変数、質的変数）・データの分布 (ヒストグラム)、代表値・代表値の性質の違い・データのばらつき、データに含まれる誤差の扱い、相関関係・相関係数について理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。タイピング練習を行う。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。これまでの課題の修正をする。
10回	**授業テーマ：Excel（5）：データを用いたデータ分析（公的統計データ・POS データの利用 1）** 授業内容：POS データや公的統計データから実践的なデータ分析の演習を行う。タイピング試験を実施する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。タイピングテスト結果を提出する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：Excel（6）：データを用いたデータ分析（公的統計データ・POS データの利用 1）** 授業内容：POS データや公的統計データを用いて、実践的なデータの集計の演習を行う。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：Excel（7）：実データを用いたデータの可視化と考察（公的統計データ・POS データの活用 2）** 授業内容：第 11 回授業で集計したデータを可視化し、これまで学修した内容を踏まえてデータ分析の結果を考察する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：PowerPoint（1）：プレゼンテーションの概要、スライド作成・編集** 授業内容：学修の基礎 I に関連させ、明海大学独自の問題解決メソッドによりながら、プレゼンテーションで利用する PowerPoint の基本的な操作を学修したのち、スライドのレイアウト、わかりやすいプレゼンの展開、色の表現方法などについて理解する。 その際、建学の精神との関連に留意する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：PowerPoint（2）：プレゼンテーションの適切な準備** 授業内容：第 15 回授業で発表するためのスライドを作成する。スライド作成には、第 13 回の授業で学修した内容を活用する。 なお、スライド作成にあたっては、建学の精神との関連に留意する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。発表練習をする。
15回	**授業テーマ：PowerPoint（3）：プレゼンテーションの適切な実行・まとめ：ルーブリックを用いた到達度の自己評価** 授業内容：第 14 回で作成したプレゼンテーションをグループで発表し、相互評価を行う。授業の最後に、授業全体のまとめと、この授業の到達度について評価する。 事前学修 2.5hr：発表練習をする。本科目の到達・個別目標を再確認し、これまでの学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容を復習する。

人間存在の課題

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中根　弘之（なかね　ひろゆき）

▌授業の概要

現代は様々な物質的発達の影で人間のあり方が問われている時代であると言うことができる。なぜなら「生きるために物質的に豊かになる」という本来の手段と目的が逆転し、「物質的に豊かになるために生きる」という状況に、人間性が押しつぶされるような状況が生じているからである。本講義では、西洋哲学・思想を中心に学習しながら、自己と世界のあり方を反省し、生きるの意味を自ら問いただすために必要な事項について講義する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：　西洋哲学の基礎的概念や諸問題について把握し、かつ、自己の存在と向き合う実存思想について深く理解することで自らの人生を反省することができることを目標とする。

個別目標：(1)西洋哲学の基礎的術語や諸命題について説明することができる。
(2)実存思想に属する哲学者の思想の特徴を説明することができる。

▌履修条件

主体的に自己のあり方、世界のあり方を考え、哲学思想を学ぶ意志のある学生であること。

▌評価基準・方法

中間テスト点３０点
まとめテスト点７０点
このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を３回出すので、２回以上の提出を求める。

▌フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。
同様に課題についても全体コメントを公表し、要望があれば学生個々に manaba を用いて指導する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

指定しない。資料は教室で配布する。

▌参考書

指定しない。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：西洋哲学思想とは何か　導入** 授業内容：単位取得の条件の確認、および西洋哲学の学問範囲、分類などの全体を概括する。 事前学修 2.0hr：哲学と呼ばれている学問について自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容の確認と自身が調べた内容の違いをノート学習する
2回	**授業テーマ：哲学入門　認識論１** 授業内容：真理判断に用いられる基準について学ぶ。具体的には対応説、整合説、有用説、合意説の 4 つであり、それぞれの該当する真理概念について検討する。 事前学修 2.0hr：「真理」と呼ばれるものの成立条件は何かを考える 事後学修 2.0hr：「真理」に関する様々な立場を説明できるようにノート整理を行う
3回	**授業テーマ：哲学入門　認識論２** 授業内容：認識の起源論として合理論と経験論、そしてカントの認識論雄それぞれについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：「物を知る」条件とは何かを考える 事後学修 2.0hr：経験論の限界について自分なりにまとめる
4回	**授業テーマ：哲学入門　認識論３** 授業内容：認識の妥当範囲について学ぶ。また実在論の中から、哲学の歴史的論争となった「普遍論争」について検討する。 事前学修 2.0hr：「何を知る」のかその対象となる範囲について考える 事後学修 2.0hr：実在論と観念論の違いについて自分なりに答えられるようにしておく
5回	**授業テーマ：哲学入門　存在論１　アリストテレスのカテゴリー論** 授業内容：アリストテレスの『形而上学』を中心として、「存在」の条件について検討する。 事前学修 2.0hr：アリストテレスの存在論について調べておく 事後学修 2.0hr：カテゴリーについて全て答えられるように自主学習する
6回	**授業テーマ：哲学入門　存在論２　存在の量について** 授業内容：一元論や多元論といった存在の量的差異の検討を行う。また、二元論から生じる「機会原因論」についても取り上げて検討する。 事前学修 2.0hr：一元論と多元論についてあらかじめ事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：種々の立場の主張の問題点をノート学習で自分なりに整理する
7回	**授業テーマ：哲学入門　存在論３　存在の質について** 授業内容：存在の質についても門愛代から唯物論とその批判、そして観念論と唯心論について検討する。 事前学修 2.0hr：唯物論と唯心論について事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：種々の立場の主張の問題点をノート学習で自分なりに整理する
8回	**授業テーマ：中間まとめとテスト** 授業内容：ここまで講義で扱ってきた西洋哲学の基本的な考えについて要点をまとめ、中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで講義で扱った認識論と存在論雄範囲について自分で復習しておく 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する
9回	**授業テーマ：人間存在の学としての実存思想…サルトルの問題提起** 授業内容：実存思想、実存主義について、これまで学んだ認識論的、存在論的な前提からどの点で変更がなされたか、サルトルの思想を軸に検討する。 事前学修 2.0hr：実存思想について事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
10回	**授業テーマ：パスカルの思想** 授業内容：パスカルの『パンセ』を軸に、実存思想の先駆けとなったモラリストの思想的特徴を紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：Ｂ. パスカルについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む

11回	**授業テーマ：ニーチェの思想** 授業内容：「神は死んだ」に代表される「ニヒリズム」の思想とそこから生じる実存的な価値世界について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：F. ニーチェについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
12回	**授業テーマ：キェルケゴールの思想** 授業内容：実存思想の代表的人物であるキェルケゴールの思想について「不安」「絶望」の概念を軸に紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：S. キェルケゴールについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
13回	**授業テーマ：ヤスパースの思想** 授業内容：ヤスパースの「実存哲学」を軸に、「限界状況」などよく知られているヤスパースの思想について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：K. ヤスパースについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
14回	**授業テーマ：ハイデガーの思想** 授業内容：ハイデガーの主張する「死に臨む存在」としての人間のあり方を「頽落」いているとされる「世人」のあり方から検討する。 事前学修 2.0hr：M. ハイデガーについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
15回	**授業テーマ：まとめと平常テスト** 授業内容：実存思想、実存主義の思想について要点をまとめ、期末テストを平常テストで実施する。 事前学修 2.0hr：１４回までの講義で習ったことをノート整理して学習する 事後学修 2.0hr：講義全体から人間存在のあるべき姿について考え、自分なりにまとめる。

社会生活と倫理

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中根　弘之（なかね　ひろゆき）

▌授業の概要

今日、価値観が多様化し、「善」について確固とした意見を持つことが困難になってきている。しかし、そんな状況にあっても我々は、生きている限り「どのように生きるべきか」考え、自ら「よい生」を選びとらなければならない。成熟した人格を持つ個人として社会生活をよりよく生きるため、本講義では西洋倫理学で用いられる概念を講じ、受講者の求める「よい生」へのヒントを提示したいと考える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：　西洋倫理学の基本的な知識の習得と、自分の置かれた状況に、習得した知識を活かして自分で分析し、立ち向かうことのできるような学生を育成することを目的とする。

個別目標：(1)倫理学の問題領域についての基礎知識を身に付け、説明することができる。
(2)「良心」について複数の視点から説明することができる。
(3)「他者」認識について複数の視点から説明することができる。
(4)「徳」について現代的意義を踏まえながら説明することができる。
(5)「幸福」について個人的「幸福」と社会的「幸福」の違いと関係性を説明することができる。

▌履修条件

主体的に善と悪を考え、倫理思想を学ぶ意志のある学生であること。講義時のノート作成に加え、日々の生活に対する洞察と反省を必要とするので、積極的に「よく生きること」について考える学生が望ましい。

▌評価基準・方法

中間テスト点３０点
まとめテスト点７０点
このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を３回出すので、２回以上の提出を求める。

▌フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。
同様に課題についても全体コメントを公表し、要望があれば学生個々に manaba を用いて指導する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教室で講義資料を配布する。

▌参考書

指定しない

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：倫理思想への導入…「よさ」と「よい人生」について** 授業内容：単位取得の条件の確認、および西洋倫理学の対象、範囲、分類などの全体を概括する。 事前学修 2.0hr：「倫理的」と形容される事件、事故、事象について考えておく 事後学修 2.0hr：講義で扱った事例と身の回りのことを照らしてノートを整理する
2回	**授業テーマ：良心について(1)…現象としての良心の分析** 授業内容：「良心」の働きを概括し、東洋思想と西洋思想に由来する概念としての「良心」の検討する。 事前学修 2.0hr：「良心」と呼ばれるものについて自分なりに考えておく 事後学修 2.0hr：講義で習った術語をノートの整理を通して行う
3回	**授業テーマ：良心について(2)…良心の働き方の諸相** 授業内容：石川文康の『良心論』に基づき、「共知」の構造と法則性を検討する。 事前学修 2.0hr：「良心」の働き方について、自身の経験を通して考えておく 事後学修 2.0hr：良心のあり方、働きの法則について復習する
4回	**授業テーマ：良心について(3)…良心を中心にした倫理思想について** 授業内容：良心を中心にしたデカルトとカントの倫理思想について概括する。 事前学修 2.0hr：先週まで学んだことを整理し、良心を巡る議論の問題点を考えておく 事後学修 2.0hr：デカルトとカントの倫理思想についてまとめておく
5回	**授業テーマ：他者について(1)…他者問題の諸相について** 授業内容：「他者認識」にまつわる問題性と他者の把握についての方法論の整理を行う。 事前学修 2.0hr：他者の存在について、自分の人間関係の諸相を反省しておく 事後学修 2.0hr：他者問題について学んだ術語についてノート整理を通して行う
6回	**授業テーマ：他者について(2)…「人格」の要件と「同感」について** 授業内容：一般的な「人格」概念として 4 つのポイントを紹介し、「感情移入」理論とヒュームとスミスの「同感」に基づく道徳感覚理論を紹介、検討する。 事前学修 2.0hr：「人格」存在の必要要件を自分なりに列挙してみる 事後学修 2.0hr：「人格」存在と「同感」について学んだことを自分の生活に当てはめて検討する
7回	**授業テーマ：他者について(3)…「関係」概念にもとづく他者理解について** 授業内容：自我と他者の「関係」概念に注目したブーバーとレヴィナスの「間主観性」理論を紹介、検討する。 事前学修 2.0hr：抽象的な他者と具体的他者の違いについて自分なりに整理する 事後学修 2.0hr：ブーバーとレヴィナスの思想について自分の考えをまとめておく
8回	**授業テーマ：中間まとめとテスト** 授業内容：「良心」と「他者」概念を中心に、これまで学習した理論のまとめと習熟度を測る中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで講義で扱った良心と他者の範囲を自分なりにまとめておく 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する
9回	**授業テーマ：徳について(1)…徳倫理学の歴史と諸相について** 授業内容：「徳」概念の基本をおさえ、東洋思想上の「徳」と「卓越性」を指す西洋的「徳」について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：「徳」と呼ばれる語について自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：社会に望まれる人間諸性質の共通点についてまとめておく

10回	**授業テーマ：徳について（2）…具体的な徳目の理解** 授業内容：具体的な「徳目」を東洋思想と西洋思想、そして我が国の古典的な「徳目」を挙げて検討する。 事前学修 2.0hr：「徳」に数え入れるものが何かを具体的に考えておく 事後学修 2.0hr：講義で扱われた様々な徳目を整理し、現代日本の徳目を自分なりにまとめる
11回	**授業テーマ：徳について（3）…ギリシアの徳倫理学について** 授業内容：ソクラテス、プラトン、アリストテレスの「徳倫理学」について、紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：ソクラテス、プラトン、アリストテレスについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：徳倫理学の特徴についてノートを整理し、自身が身についている道徳観との差をまとめる
12回	**授業テーマ：幸福について（1）…幸福の定義とその諸相** 授業内容：前回のアリストテレスの主張から「幸福主義」の倫理学を紹介し、「快楽主義」との違いを明示したうえで、「快楽主義」について紹介する。 事前学修 2.0hr：「幸福」と呼ばれる事項について公共概念と合わせて考えておく 事後学修 2.0hr：「幸福」中身について自身の定義をはっきりさせておく
13回	**授業テーマ：幸福について（2）…個人の快楽主義** 授業内容：キュレネ派の倫理思想からエピクロス派の独自の倫理まで個人を軸にした「快楽主義」の展開を概括する。 事前学修 2.0hr：個人を軸にした幸福追求にまつわる問題を検討しておく 事後学修 2.0hr：ヘゲシアスの「識見」について、自分ならどのようなものが当てはまるかを考えておく
14回	**授業テーマ：幸福について（3）…公共の福祉と功利主義** 授業内容：「功利主義」を中心に社会規模で考えられる「快楽主義」について、その問題を含めて検討する。 事前学修 2.0hr：個人の幸福追求の限界について考えておく 事後学修 2.0hr：「社会の幸福」という概念について功利主義の主張を吟味しておく
15回	**授業テーマ：まとめと平常テスト** 授業内容：「徳倫理学」と「功利主義」を軸にした倫理思想の特徴点をまとめ、期末テストを平常テストで実施する。 事前学修 2.0hr：テストに備え、これまで学習したないようについてまとめておく 事後学修 2.0hr：テスト後に、自身の解答から社会生活と倫理の全体像を構築する

文学の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生クラス

川勝　麻里（かわかつ　まり）

▌授業の概要

海外でも高く評価されるノーベル賞作家・川端康成について学ぶ。日本人で初めてノーベル文学賞を受賞できたのはなぜなのか。孤児としての生い立ちや、数々の仰天エピソードも交えながら、作家像を知る。また、代表作『伊豆の踊子』を、映画を理解の補助として、映画→小説→映画→小説の順に読み進め、松本清張の短編小説と比較しながら、川端の名作がいかに読み継がれていくのか考えていく。その他、短編もいくつか取り上げ、それまでの文学にない、独特の擬人法や、映画的表現を学ぶことで、今なお新しさを失わない新感覚派小説の面白さを味わい、川端作品の幅広さを知る。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本を代表する作家について、簡単な言葉で他者にも説明できるようになる。川端康成という作家を通して、日本の文学史の一端を学ぶ。
個別目標：原作をより深く理解し、名作が読み継がれていく過程を知る。実際の作家の生い立ちと、作中に描かれた事柄を区別しつつ、小説ならではの構造を読み解くことが出来るようにする。

▌履修条件

くわしくは授業で指示する。なお、この授業で扱う松本清張は『日本語と日本文化B』(担当：川勝麻里)でも扱っているので、あわせて受講すると理解が深まる。

▌評価基準・方法

授業内の作業 40%、試験 60%の結果に基づき総合的に評価する。授業内の作業にはリアクションペーパーの提出が含まれる。
課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

▌フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対してのコメントや回答を授業内でフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンはあれば便利だが、スマートフォンがあればよい。）

▌教科書

詳細は授業内で指示する。

▌参考書

授業で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに** 授業内容：授業のガイダンスと、川端康成についての簡単な紹介。 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 2.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の学習計画を立てる。
2回	**授業テーマ：川端康成について(生い立ち、ユニークな人物像、文壇状況、交友関係など)** 授業内容：孤児の生い立ち、無口、動物好き、読書の名人、文壇政治家、ゴーストライターによる代作、そして、川端を取り巻く人間関係について説明する。まずは作家に興味を持ち、これから読んでいく小説にさらに興味を持って取り組めるようにする。 事前学修 2.0hr：川端康成の年譜事項について見ておく。 事後学修 2.0hr：プリントや授業の話をまとめておく。
3回	**授業テーマ：川端康成と『伊豆の踊子』：実在モデルと小説の違い** 授業内容：『伊豆の踊子』のモデルとなった少女とその兄の実際の姿は、小説にえがかれている姿とは、ことなっている。そこで、その違いを読み解きながら、小説では何が描かれているのかを考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：モデルと実像の違いについて理解する。
4回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(１)旧制高等学校と踊り子について** 授業内容：『伊豆の踊子』の主人公の学生は、エリート学生であり、踊り子たちのような社会的に差別されている。そうした社会の中での違いをふまえて、小説を読んでいく。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：差別される踊り子とエリート学生主人公の格差を理解する。
5回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(２)主人公の金銭感覚について** 授業内容：主人公は茶屋で大金を支払っているが、それが当時の日本で、どれくらいの高額だったのか、同時代の資料から考える。また、そうした多くのお金を払ったのはなぜなのかを、読み解く。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を音読できるようにしておく。 事後学修 2.0hr：学習内容を箇条書きにしてまとめておく。
6回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(３)踊り子への差別について** 授業内容：踊り子たちが、どのような差別を受けているのか考える。小説を読む補助として、映画の DVD も視聴。 事前学修 2.0hr：小説を細かいところまで理解できるようにする。 事後学修 2.0hr：学習内容を箇条書きにしてまとめておく。
7回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(４)踊子のモデルと小説の違い** 授業内容：モデルと小説の違いを理解し、純文学として、この小説がどのように理想的につくられているのかを考える。 小説は現実をそのまま描いているわけではないので、その点について考える。 事前学修 2.0hr：『伊豆の踊子』を再度、読んでくる。 事後学修 2.0hr：モデルと実像の違いについて理解する。
8回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(５)孤児根性について** 授業内容：孤児根性を持って伊豆の旅に出てきた主人公は、孤児であることに必要以上にこだわっていた気持ちを捨てて、素直に自分と向き合うことができるようになる。孤児根性から癒されていく心の動きについて考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：孤児根性という言葉の意味を理解し、小説内でそれが解消されていく様子を理解する。
9回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(６)風景描写について** 授業内容：景色と主人公の感情が、どのように連動してうごいているのかを考える。 事前学修 2.0hr：再度、『伊豆の踊子』全体を読んでくる。 事後学修 2.0hr：主人公が孤児根性から癒されていく過程を、風景と結びつけて理解する。

10回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(7)リメイク小説：松本清張『天城越え』の風景描写** 授業内容：『天城越え』は『伊豆の踊子』を意識しながら書かれた小説なので、2作品を比べながら、風景描写を読んでいく。 同じ伊豆半島を舞台とし、同じ大正15年が背景となっているにもかかわらず、風景の描き方がちがっていることがわかる。主人公の心の変化と風景には関係があるということを学ぶ。 事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：『天城越え』が『伊豆の踊子』をどのように意識して書かれたか共通点を理解する。
11回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(8)リメイク小説：松本清張『天城越え』の金銭感覚** 授業内容：2つの小説を比較しながら、金銭感覚の違いが、純文学かミステリーかで、異なることに注目して、読み解く。 事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：金銭感覚その他、『天城越え』と『伊豆の踊子』の正反対な部分を理解し、作品を深く学ぶ。
12回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(9)リメイク小説：松本清張『天城越え』の心理的動機** 授業内容：松本清張が、川端康成をのりこえようとして、名作『伊豆の踊子』に対して、『天城越え』を執筆したということについて考える。 事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：『天城越え』の犯行動機を理解し、小説全体の読解をまとめる。
13回	**授業テーマ：もう1つの『伊豆の踊子』を読む―西河克己の2つめの『伊豆の踊子』(吉永小百合版)** 授業内容：授業前半では、DVD で西河克己監督の映画「伊豆の踊子」(山口百恵版) を見たが、後半からは、この監督がまったく同じタイトルで、別の女優をつかって撮影した映画「伊豆の踊子」(吉永小百合版) を見ていく。 事前学修 2.0hr：西河克己の『伊豆の踊子』(山口百恵版)を復習しておく。 事後学修 2.0hr：踊り子一行に対する差別について理解する。
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：これまでのプリントをまとめておく。
15回	**授業テーマ：試験** 授業内容：試験。 事前学修 2.0hr：試験に備えた学習。 事後学修 2.0hr：試験問題の不明点の復習。

文学の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

森　晴彦（もり　はるひこ）

▌授業の概要

文学は国内・外を通じ多様な形で存在し、研究されているが、本授業では身近にある広告等の表現技巧とその源泉を古典文学に求め、そこから文学的表現の世界に分け入り、本文批評や文学研究の諸方法を俯瞰した上で、物語の話型を学び、それがドラマにまで通底する点を見たい。童話の改変・分析の問題に触れ、次に引用の美学を確認、さらにリアリティ獲得の方法を、歴史小説や自然主義、私小説と非私小説に見、作品生成の背景や成立の場を考える。対立する作家論・テクスト論の方法を自在に用いて作品を追究、言語・思想・社会の影響下に織りなされる文学に言及する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：(1)広告表現のしくみ、物語の話型・しくみ、創作過程のしくみ、など「文学のしくみ (構造)」を知ることができる
　　(2)文学の果たす機能や役割を説明できる
個別目標：(1)文学作品について説明できる
　　(2)著名な作品・作家について説明できる

▌履修条件

特になし。
※第 1 回から学修支援システム manaba を使用できるスマホを含む電子機器を持参してください。

▌評価基準・方法

定期試験 60 %、課題として前半 7 回後に manaba から提出する学修内容振り返りシート（前半まとめ）30%、授業内における参加姿勢及び発言等 10 % 及び到達目標・一般目標の達成度に基づき、総合的に評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等の提出やフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業で毎回プリントを配布する。

▌参考書

必要に応じて授業内で掲示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：広告言語の構造～身近にある表現技巧の源泉** 授業内容：第 1 回は、広告言語と呼ばれるコマーシャルのコピーについてです。コマーシャルの言葉の使い方はレトリックと呼ばれる技巧が施されています。そのため、その使い方を含めてポスターのコピーや商品名のネーミングなども含め、日本古典文学の技法が活用されています。そのあたりを紐解いていきます。 事前学修 2.0hr：身近にある CM で言語的技法と思うものを 1 つピックアップしておく。 事後学修 2.0hr：本時を踏まえ、技法的な CM を探してみる。
2回	**授業テーマ：文学作品の生成と本文批評** 授業内容：第 2 回は、文学作品の生成と本文批評(ほんもんひひょう)です。初めての用語でしょうから丁寧に解説します。作者自身で書きかえる場合もあれば、時代を経て作品が改変されてしまう場合もあります。それを文献学や本文批評によって、より古い形はどのようなものだったのか、が探索できるわけです。皆さんの知る著名な作品の結末が違うなど例に見ていきます。 事前学修 2.0hr：書誌学・文献学について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを再読する。
3回	**授業テーマ：物語の生成～竹取物語を例に** 授業内容：第 3 回は、日本で最古の物語 (900 年頃か) といわれる『竹取物語』を例にして、作品の生成過程を追うことで物語の構造 (しくみ) を学びます。同時に、第 2 回の本文批評を用いて、「思想の作品への影響」についても考えてみます。 事前学修 2.0hr：竹取物語のストーリーについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを読んでおく。
4回	**授業テーマ：物語の変容～グリム童話初版から第 7 版に至る改変** 授業内容：第 4 回は、皆さんが「知っている」『グリム童話』を取り上げ、皆さんが「知らない」『グリム童話』の元の姿をお見せします。今回も第 2 回の本文批評を用いて、「作品の原初の形」(最初の姿、元の姿)を学びます。私たちの読んだテキストは物語が変容したものであることが判ります。 事前学修 2.0hr：グリム童話について簡潔に調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリント(明治時代刊行のシンデレラ)を読む。
5回	**授業テーマ：童話分析の諸問題～歴史社会・神話解釈・精神分析の問題点** 授業内容：第 5 回は、前回で読んだ『グリム童話』の作品や、読んではいませんが皆さんが知っている『グリム童話』を取り上げ、テキストの変容(本文批評／テキストクリティーク)をないがしろにすると分析も変わってしまう例を、歴史社会・神話解釈・精神分析の各方法と問題点を見ていきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のストーリーを確認してくる。 事後学修 2.0hr：本時で扱った方法を整理しておく。
6回	**授業テーマ：物語の構造～プロップの 31 機能を中心に現代に及ぶ** 授業内容：今回は、「話型学」という、物語や小説の、「話しの骨格」について学びます。話型とは服を脱がせれば人間の骨格は同じです。服によって見え方が違います。水戸黄門も浅見光彦も、骨格は同じ一「同じ話型」となる例です。著名な話型の形を紹介した後、プロップの 31 分類について説明し、物語の形の構造があることを学びます。 事前学修 2.0hr：プロップについて調べておく。 事後学修 2.0hr：物語や映画やゲームの展開と比較してみる。
7回	**授業テーマ：引用の織物～本歌取から芭蕉・漱石、啄木と谷村、長渕とあいだの場合** 授業内容：第 7 回は、「文学における引用という技法」を取り上げます。引用が当たり前の時代から、博学主義などといわれる近代を経て、現代ではオマージュとかリスペクトと呼ばれる類のものです。しかし、著作権やプライオリティの確保から、現代では、引用は出典を明記して断らないと盗作です。今回はその「引用」に関わる文学の世界を見ていきます。 事前学修 2.0hr：オマージュ、インスパイアという単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：本時で出てきた概念を時代別に整理しておく。7 回終了後 manaba から前半振り返りのまとめを出してもらいます。

8回	**授業テーマ：歴史小説の構造〜高瀬舟執筆の目的** 授業内容：第 8 回は明治の二大文豪(夏目漱石と森鷗外)の一人、森鷗外の『高瀬舟』という小説について学びます。『高瀬舟』の執筆目的とはなにか、考えていきます。資料にそって解説していきます。 事前学修 2.0hr：歴史小説、森鷗外について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読する。
9回	**授業テーマ：原話に付加される近代的自我〜芥川龍之介の作品を中心に** 授業内容：第 9 回は、原作を利用しながら、単なる脚色に終わらず、近代的な自我によって新たな「文学」となった芥川龍之介の作品を見たいと思います。芥川の苦悩が原話を変えた、というのが結論となります。また、一度書いた結末を書き換えている点についても言及します。それらを資料で確認しながら追究します。 事前学修 2.0hr：芥川について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読する。
10回	**授業テーマ：原作を改変する内面的世界〜中島敦・太宰治 1** 授業内容：中島敦の『山月記』について考えます。唐代の伝奇説話『人虎伝』を原作に書かれた小説です。『高瀬舟』も『羅生門』も『山月記』も原作のある小説です。それらの「新たな読み直し」をこの授業では志向しています。『山月記』には独自の運命観が出ているところがあります。その生成の背景と独自性について考察します。後半は、来週読む太宰治の生涯についても言及します。 事前学修 2.0hr：中島敦、太宰治について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読しておく。太宰治について調べておく。
11回	**授業テーマ：自伝脚色を駆使する私小説的装置〜太宰治 2、事実と虚構と自立するテクストと** 授業内容：多くの読者は、太宰の小説は太宰の実人生が書かれている、と思っているところです。私小説と多くの人は理解しています。太宰自身は、作品を自分の伝記のように読ませたい、という点をねらっています。そこでこの太宰の方法を、私小説的装置と名付け、事実と虚構の対比から、太宰ワールドに迫ってみようとします。 事前学修 2.0hr：太宰治について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時を踏まえて『富嶽百景』を構築された作品として読みを更新する。
12回	**授業テーマ：自然主義小説・私小説とアンチ私小説〜柳美里・福島次郎 VS 村上春樹・江國香織等** 授業内容：日本の自然主義と呼ばれる小説は、現実をそのままリアルに描写し、実際に起きたことをそのまま小説化することでリアリティを持たせるスタイルで、現代の私小説に繋がっています。他方、すべて想像から創る小説、すべてを零から作り上げる小説があります。小説世界は、この両極の間を、どちらに近づくか、になりますが、そのあたりを具体的に学びます。 事前学修 2.0hr：日本の自然主義とは何かしらべておく。 事後学修 2.0hr：小説の二潮流を念頭に作品を読み分ける。
13回	**授業テーマ：作品の詩と真実 短編の長編化〜蛍とノルウェイの森、事実と虚構** 授業内容：村上春樹の『ノルウェイの森』と『螢』を比較し、村上の初期の創作方法を探求します。『螢』は村上作品の繰り返す青年期のノスタルジックな世界の断片であり、その世界に触発され、その後を書き加えようと、『ノルウェイの森』を執筆するあたりを見ていきます。 事前学修 2.0hr：村上春樹について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを精読する。
14回	**授業テーマ：著名な翻案小説〜その原作の存在** 授業内容：知らない人は少ないはず、という皆さんが読んだことのある著名な小説には、外国文学の原作があり、原作とほぼ同じストーリーなのはあまり知られていません。誘発する事件も作品の背景にあります。それらを皆さんが知ることが難しい、しかし、作品成立の根幹に当たりますから、ぜひ知っておいてほしいと強く思いまして取り上げます。 事前学修 2.0hr：過去に読んだ感動や美談の小説はないか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布のプリントを精読する。翻案小説とは何か理解する。
15回	**授業テーマ：翻訳文学の世界〜翻訳文学の基礎的諸問題／授業のまとめ** 授業内容：翻訳文学の基礎的諸問題として、訳者の文体とは、にこだわってみます。ひいては訳した人の感覚というものにまで言及します。　村上春樹訳『キャッチャー・イン・ザ・ライ』(サリンジャー作、2006 年) を「窓」(入り口)として話を進めます。また、授業の総まとめについても行います。 事前学修 2.0hr：上田敏、村上春樹翻訳小説を調べておく。今までの授業内容を総復習しておく。 事後学修 2.0hr：文学について各自切り込み方が深化したか考え直してみる。

人類と文化

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

山本　早良紗（やまもと　さらさ）

▌授業の概要

本授業では、「文化人類学」にかんする基礎的な知識を学びます。文化人類学とは、「文化」という概念を手がかりに、さまざまな人間の行動や思考、制度などの差異に注目し、それらを多様性と普遍性という観点からとらえ、「人間とは何か」について考える学問です。そうした文化人類学の研究手法や視点を用いて、ものごとや世界について、これまでとはちがったとらえ方や切り取り方を学んでいきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：私たちにとって身近な問題関心である、人間の〈生〉の営みに関連するさまざまなテーマをとりあげながら、文化人類学の考え方を学びます。さらに、それらの知識をもとに、個別の事例に照らし合わせて比較検討する視座を養います。具体的には、既存の考え方や自身の価値観を相対化する視点を獲得するとともに、現代を生き抜く術として、〈他者〉との共生のあり方について、みずから考える力を養うことを目標とします。

個別目標：知識を習得するだけでなく、授業から離れた日々の生活の場においても、文化人類学的な考え方を用いて、これまでとはちがったものの見方ができるよう、実践につなげていくことを目指します。また、普段は「当たり前のこと」として気に留めないような事柄についても、改めて主題化し、問い直していく視座を身に付けることを目標とします。

▌履修条件

履修条件は、講義を聞き、学ぶ意思のある者。出席回数を稼ぐためだけに在室し、授業中にスマホ操作や私語、居眠りを繰り返すといった、講義を聞く意思のない者の受講はお断りします（常習者には注意喚起のうえ、開講途中であっても、受講をお断りする場合があります）。本授業は、「出席した回数」よりも、受講態度や授業への関心の高さ、授業内容の理解度を重視した評価を行います。そうした本授業の主旨を十分理解・了承したうえでの受講をお願いします。

▌評価基準・方法

【試験（5 割）＋平常点（5 割）】により評価を行います。平常点には、①毎授業後に manaba に提出されたコメントの内容から、理解度・関心の高さ・取り組みの姿勢を判断し算出する「コメント点」、および②授業の受講態度の２点が含まれます。出席するだけで得られる「出席点」は設けません。学期末に行う試験は、半期の講義内容すべての総まとめとなり、持ち込みは不可とします。また、試験を無断で欠席した場合、不正行為が行われた場合には、評価の対象外となります。

▌フィードバック方法

授業内容について質問や不明点があった場合には、教室で直接教員にたずねるか、manaba で提出するコメントに記載してください。内容によって、コメントに返信するかたちで回答、もしくは翌週の授業内でとりあげ、解説します。授業内容以外のことについて質問や相談がある場合には、manaba の個別指導コレクションを利用してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

指定しない。

▌参考書

授業内で適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の概要、予定、進め方、評価方法など、授業内容および授業運営にかんする基本的事項について解説します。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、本授業に期待する内容、学びたいことについて考え、まとめる。 事後学修 2.0hr：興味をもったテーマに関連する書籍を探し、読んでみる。
2回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：文化人類学とはどのような学問かについて、近接する学問分野との比較などを通して、まずはざっくりと解説します。 事前学修 2.0hr：文化人類学とはどのような学問か、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：文化人類学がどのような学問なのかについての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
3回	**授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方（1）** 授業内容：文化人類学が得意とするものの見方や研究手法、学問の特徴などについて解説していきます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：文化人類学に特徴的なものの見方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
4回	**授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方（2）** 授業内容：身近な事例をとりあげながら、文化人類学のものの見方・考え方について、より具体的に考える機会を設け、文化人類学という学問のあり方、特徴をしっかりと理解することを目指します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：文化人類学に特徴的なものの見方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
5回	**授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方（3）** 授業内容：文化人類学がめざす〈他者理解〉のあり方について解説するとともに、さらに身近な問題に引きつけて、〈他者〉との接合の仕方について考えます。 事前学修 2.0hr：文化人類学にかんする諸理論について、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：文化人類学が目指す自己と他者とのあり方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。また、文化人類学のものの見方を身近な事例に当てはめ、自分なりに問い直してみる。
6回	**授業テーマ：文化人類学の理論（1）** 授業内容：文化人類学にとって、最初の体系的な理論となった「文化進化論」について解説します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
7回	**授業テーマ：文化人類学の理論（2）** 授業内容：文化進化論の衰退後から現在にいたるまで、文化人類学を支える理論となっている「文化相対主義」について、文化進化論とのちがいをおさえながら、この理論の概要を解説します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。

8回	**授業テーマ：文化相対主義（1）** 授業内容：文化人類学を理解するうえで欠かせない「文化相対主義」の考え方について、しっかりと理解を定着させるために、この回では、映像像資料を用い、具体的な事例をもとに解説していきます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
9回	**授業テーマ：文化相対主義（2）** 授業内容：前回の映像像資料の内容をふまえて、文化相対主義の考え方を実践する方法について解説していきます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。また第５～９回全体を通して復習し、文化人類学の理論の通時的な流れを理解する。
10回	**授業テーマ：フィールドワーク（1）** 授業内容：文化人類学にとって欠かせない研究手法である「フィールドワーク」について、その歴史、および特徴や方法について解説します。 事前学修 2.0hr：人類学的フィールドワークとはどのようなものか、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
11回	**授業テーマ：フィールドワーク（2）** 授業内容：実際のフィールドワークの様子を、教員自身のフィールドワークの事例を用いて紹介します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。また第８～９回全体を通して復習し、人類学的フィールドワークの主眼および特徴を理解する。第１０～１１回全体を通して復習し、要点および重要箇所をまとめる。また、授業でとりあげた事例以外で、「結婚」にかんして自身のなかにどのような「あたりまえ」があるか改めて問い直し、相対化してみる。
12回	**授業テーマ：フィールドワーク（3）** 授業内容：前回の授業で紹介した、教員のフィールドワークの事例をふまえて、文化人類学的な問いの立て方やものごとの捉え方について、具体的に解説していきます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
13回	**授業テーマ：「死」の人類学（1）** 授業内容：最後は、具体的なテーマをもとに、文化人類学のものの見方・考え方を実践してみることを目的として、「死」という現象をテーマに挙げます。「死」をめぐって、自分自身のなかにある「あたりまえ」に気付き、あらためて主題化することを目指します。この回では、わが国における「死」のとらえ方・考え方、「死」をめぐる事象や葬送・葬儀の方法について考えます。 事前学修 2.0hr：文化人類学において、これまで「死」というテーマがどのように扱われてきたかを調べ、それをふまえて自身の問題意識を醸成させる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
14回	**授業テーマ：「死」の人類学（2）** 授業内容：前回の内容をふまえ、こんどは諸外国における「死」をめぐるさまざまな事例を紹介し、比較の視点を用いて、自分自身の「あたりまえ」を相対化し、人間の〈生〉の営みの多様性を学びます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を振り返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：第１３～１４回全体を通して復習し、要点および重要箇所をまとめる。また、授業でとりあげた事例以外で、「死」にかんして自身のなかにどのような「あたりまえ」があるか改めて問い直し、相対化してみる。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：授業全体の理解度をはかるため、まとめのテストを実施します。 事前学修 4.0hr：これまでの授業内容をふり返り、重要なポイントを整理してまとめ、理解を深めておく。 事後学修 1.0hr：テストを振り返り、理解が不足していた点を補う。また全授業をふり返り、人類学的なものの見方を用いて、社会におけるさまざまな問題や身近な出来事をとらえ直してみる。

美とは何か

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

髙久　馨（たかく　かおる）

▌授業の概要

芸術家たちは真に迫ったリアルな表現を目指して顔や人体を研究してきたが、同時に、芸術的、美的効果をあげるために、解剖学的正確さをあえて無視して、顔や人体をさまざまに誇張、変形、省略してきた。本講義ではまず第 10 回まで、顔や人体が人種、年齢、性別によってどのように違うか、それらの違いが古今東西の絵画、彫刻の中でどのように表現され、どのような印象、効果を見る者に与えているかを考察する。第 11 回目からは、美の諸問題について、西洋美術史や美学、精神分析などさまざまな観点から講義していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：(1)顔や人体の人種、年齢、性別による違いを知り、それらの違いが美術作品ではどのように表現されているかについて自ら観察する姿勢を身に着け、感じたことを言語化できるようになる。
(2)芸術作品を通じて、主に日本文化やヨーロッパ文化のエッセンスを学び、同時に芸術的感性の涵養と異文化の理解に努める。

個別目標：(1) 顔や人体の性差・人種差・年齢差について説明することができる。
(2) 芸術理論や作品に接したとき、常に自分の経験や美意識に引き付けて考えていく習慣を身に着け、美的感受性を練磨していく。

▌履修条件

(1) 授業中の居眠り、携帯・スマホの使用は厳禁。
(2) 思ったことや感じたことを臆せず発言しようという気持ちがある者。授業内容に関係することであれば、どのような意見、発言も歓迎します。

▌評価基準・方法

・期末試験 (50 %)、授業態度(授業に参加、協力しようとする姿勢) (20 %)、manaba の事前学修とリアクションペーパーの内容 (30 %) で評価する。また、授業回数の 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
・授業態度や manaba の事前学修の出来も重要な評価対象となる。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （口頭発表、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用せず。適宜プリントを配布し、美術作品はスライドで紹介する。

▌参考書

中尾喜保「生体の観察」、メヂカルフレンド社。 村澤博人「顔の文化を考える」(新潟大学ブックレット「顔から学ぶ」所収)。
宮下規久朗「ウォーホルの芸術」、光文社新書。 鈴木晶「図説フロイト」、河出書房新社。
その他の西洋近現代美術関連の参考文献については授業内で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：授業の内容、進め方、評価方法等について詳しく説明。** 授業内容：授業の内容、進め方、評価方法等について詳しく説明する。 事前学修 1.5hr：シラバスを読み、本講義に期待する内容や興味をひかれたことを考えておく。 事後学修 1.5hr：もう一度シラバスに目を通し、特に本講義の到達目標を強く意識する。
2回	**授業テーマ：顔と人体の美(1)性差について** 授業内容：主に顔、頸の男女の性差について詳しく説明する。また、あまり知られていない身体における性差についても述べる。 事前学修 2.0hr：顔と人体における性差にどのようなものがあるか調べておく。 事後学修 2.0hr：顔と人体(特に頸)の性差について具体的に説明できるようにする。
3回	**授業テーマ：顔と人体の美(2)顔の経年変化について(前半)** 授業内容：頭部と目もとの経年変化について、乳幼児期から老年期にいたるまでどのように変化していくのか詳述する。 事前学修 2.0hr：頭部と目もとにおける年齢差にどのような特徴があるか調べておく。 事後学修 2.0hr：頭部と目もとの経年変化について具体的に説明できるようにする。
4回	**授業テーマ：顔と人体の美(3)顔の経年変化について(後半)** 授業内容：口もとや顔の輪郭の経年変化について、乳幼児期から老人期にいたるまでどのように変化していくのか詳述する。 事前学修 2.0hr：顔の輪郭と口もとにおける年齢差にどのような特徴があるか調べておく。 事後学修 2.0hr：顔の輪郭と口もとの経年変化について具体的に説明できるようにする。
5回	**授業テーマ：顔と人体の美(4)魅力的な顔とは？** 授業内容：顔面における子どもの特徴、大人の特徴をふまえつつ、多くの人が魅力的と感じる顔の特徴とは何かについて述べる。 事前学修 2.0hr：自分はどのような顔が魅力的だと思うか、具体例をあげて述べられるようにしておく。 事後学修 2.0hr：多くの人が魅力的に感じる顔とはどのような顔か、また顔における幼児性と成熟さの特徴について説明できるようにする。
6回	**授業テーマ：顔と人体の美(5)「かわいらしさ」(幼児性)について** 授業内容：動物行動学者 K・ローレンツのベビー図式を紹介して、「かわいらしさ」とは何かについて述べる。また、日本人を理解するうえで重要なキーワードの一つとなって久しい「ネオテニー」についても紹介する。 事前学修 2.0hr：ヒトや動物のどのような形態的特徴をわれわれは「かわいらしい」と捉えるのか、事前に考えておく。 事後学修 2.0hr：ベビー図式の応用例を具体的に身近なものから探し出してみる。授業でとりあげた以外のネオテニーの例を調べる。
7回	**授業テーマ：顔と人体の美(6)目もとにおける上瞼の重要性** 授業内容：目と眉の間が広いか狭いかで目もとの印象はまったく違う。それぞれどのような印象を与えるのか、美術作品にはどのように利用、表現されているのかを詳述する。 事前学修 2.0hr：目と眉の間の長短でどのように目もとの印象が違うか、述べることができるようにしておく。 事後学修 2.0hr：目もとにおける上瞼の重要性について、具体例をあげて説明できるようにする。
8回	**授業テーマ：顔と人体の美(7)人種差、あるいは日本人の成り立ちについて** 授業内容：人種によって顔や身体にどのような違いがあるのか、その違いの理由は何かを詳述する。あわせて、現代日本人はどのような人種的特徴があるのか、どのような顔を「いい顔」ととらえてきたのかについても述べる。 事前学修 2.0hr：人種による体形、顔だちの違いについて、簡単に述べられるようにしておく。 事後学修 2.0hr：人種による体形や顔だちの違い、特に北方アジア系、南方アジア系のそれらの違いを説明できるようにする。

9回	**授業テーマ：顔と人体の美(8)左右対称・非対称の美** 授業内容：顔の造りや表情、身体だけでなく、広く建築物、庭園、衣服をも例にとりあげながら、左右対称・非対称がどのような印象を見る者に与えるのかを考察する。 事前学修 2.0hr：身の周りにあるもの(建築物、工業製品、衣服 etc)で左右対称・非対称のものを見出す。 事後学修 2.0hr：左右対称・非対称の美点・マイナス点について説明できるようにする。
10回	**授業テーマ：顔と人体の美：まとめ(ディスカッション)** 授業内容：9 回までの講義とはまた別の観点から顔と人体の美についての考察を深めてくれるようなエッセイを選び、それを受講者全員で読み、各自疑問に思ったことを出しあう。その後、それらのいくつかについて全員でディスカッションを行う。 事前学修 2.5hr：あらかじめ指定されたエッセイを事前に読んでおく。 事後学修 2.0hr：人間にとって顔とは何なのか、他者との関係において顔はどのように機能するのかについて考察を深める。
11回	**授業テーマ：美の追求にひそむ危険(口頭発表、ディスカッション)** 授業内容：美に追求にひそむ危険に関する小論文を読み、その具体例を、実在の人物や小説、マンガ等の登場人物からさがし出し、受講者の前でそれについて各自口頭発表(5-10 分程度)してもらう。その後、受講者全員でディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：美の追求にひそむ危険に関する小論文を熟読し、それにあてはまる具体例をさがし、口頭発表にまとめる。 事後学修 2.0hr：美の追求において特に問題になりうる点とは何かについて理解を深める。
12回	**授業テーマ：個性とオリジナリティ(１)** 授業内容：芸術家や芸術作品における個性とオリジナリティについて、近代とそれ以前ではどのように変わったか、主に西洋美術を例に詳述する。 事前学修 2.0hr：キリスト教やギリシャ神話を題材にした西洋美術の古典的な傑作をいくつか紹介するので、そのテーマについて調べる。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。
13回	**授業テーマ：個性とオリジナリティ(２)** 授業内容：芸術家や芸術作品における個性とオリジナリティについて、ポップアートを例に、それ以前とどのように変わったか、また現代にどのような影響を及ぼしたか詳述する。 事前学修 2.0hr：宮下規久朗「ウォーホルの芸術」の指定された箇所を読んでおく。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。
14回	**授業テーマ：美と精神分析** 授業内容：フロイトの夢と無意識についての理論を紹介し、それらがシュルレアリスムという芸術運動にどのような影響を与えたのかについて述べる。あわせて、現代におけるシュルレアリスムの影響についても考察する。 事前学修 2.0hr：鈴木晶「図説フロイト」の特に夢と無意識に関する箇所を読んでおく。ダリ、マグリット、キリコの画集に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。
15回	**授業テーマ：まとめと試験対策** 授業内容：どのような問題が試験で問われるのか、またその意義は何かについて詳述する。そうすることであわせて、これまでの講義のおさらいとする。 事前学修 2.0hr：全講義のノートと配布物に目を通し、それらを持参して講義に臨むこと。 事後学修 4.0hr：試験対策授業でふれた箇所をいま一度重点的に復習して試験に備える。

記号と論理

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

土屋　真一（つちや　しんいち）

▌授業の概要

本授業では接続表現の使い方、さまざまな論法を組み立てる方法、議論の構成の仕方などの事例を通して、論理学の基礎を養うことを目的としている。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：基礎的な論理の知識を身につけ、自分の思考を論理的に表現することを目標とする。

個別目標：・議論・論文の基本構成（接続表現・パラグラフ・アウトライン・論法・反論など）を理解し、説明することができる。
・記号論理の基礎的な知識を理解することができる。

▌履修条件

・遅刻や欠席をしないこと。（但し、やむを得ない場合は、事前に manaba で理由等を連絡すること。）
・期限までに課題の提出を行うこと。
・授業内の活動に積極的に参加すること。
・リーディングタスク等、授業の準備を怠らないこと。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。
課題等提出物による評価 40%、授業への参加・協力度 20%、最終試験 40%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba 或いは対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、授業内発表、コメントシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba による資料参照、課題等提出（スマホでも対応可））

▌教科書

篠澤和久、松浦明宏、信太光郎、文景楠（2020）『はじめての論理学 – 伝わるロジカル・ライティング入門』有斐閣

▌参考書

参考書等については、必要に応じて適宜紹介していく。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：シラバスや配布資料をもとに、概要、目標、評価基準、授業および課題提出などについての説明を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスに目を通し、講義概要を把握する。 事後学修 2.0hr：シラバスとテキストの内容を照らし合わせ、今後の事前学修に備える。
2回	**授業テーマ：論理とはなにか** 授業内容：論理を言葉の作法の一種と捉え、人間にとって普遍的な知を求める姿勢が、論理につながることを考察する。 事前学修 2.0hr：①自分自身にとって、身近な作法やマナーとは何か考えておく。②リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
3回	**授業テーマ：日本語と論理** 授業内容：普段使っている日本語のなかで、どのような場面で論理という作法（マナー）が要求されるかを明らかにする。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
4回	**授業テーマ：文と文のつながり**(1) 授業内容：議論における接続表現の重要性および、前提と結論の関係を示す接続表現（順接）について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
5回	**授業テーマ：文と文のつながり**(2) 授業内容：与えられた内容を明瞭に理解する接続表現および、議論の構造を複雑化する接続表現について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
6回	**授業テーマ：パラグラフと論文のしくみ** 授業内容：パラグラフと論文の構成ならび、論文の仕組みについて。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
7回	**授業テーマ：アウトラインの活用** 授業内容：論文やレポートを作成する手順および、アウトラインの活用について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
8回	**授業テーマ：論証の典型的パターン**(1) 授業内容：論証の一般的な型（単純論証、合流論証、結合論証）および、三段論法について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
9回	**授業テーマ：論証の典型的パターン**(2) 授業内容：説得のための論法および、条件文による論法について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
10回	**授業テーマ：反論の典型的パターン** 授業内容：論争の要素が含まれる議論のなかで、必要とされる反論の仕方について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
11回	**授業テーマ：反論の実践**(1) 授業内容：適切に反論するための３つの視点について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。

12回	**授業テーマ：反論の実践**(2) 授業内容：検証型反論をおこなう方法について。第 8 回から 11 回までの授業の総括。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
13回	**授業テーマ：記号論理**(1) 授業内容：論証の型と論理語、論理語としての「ない」、「または」、「ならば」、「そして」について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
14回	**授業テーマ：記号論理**(2) 授業内容：論証の記号化について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、第 9 章の演習問題を解く。10 章の部分は授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
15回	**授業テーマ：記号論理**(3) 授業内容：三段論法による議論について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。

コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生クラス

山口　真葵（やまぐち　まき）

▌授業の概要

大学生活で人間関係や活動の範囲を広げるために、重要な役割が果たすのがコミュニケーション能力である。
授業前半では、自己理解、他者理解、社会的スキル、異文化理解の観点からコミュニケーションの基礎的知識について学ぶと同時に、アクティビティを通して自らのコミュニケーション能力について客観的に捉え、今後、どのように磨いていけばよいのかを考える。後半では、オンライン上や、マーケティング、災害時におけるコミュニケーションの特徴や内容について学ぶ。最後に、「日本人学生と留学生の初対面」場面の実際の「会話」の映像やスクリプトを観察、分析することでコミュニケーションに対する理解を深める。授業では、発表やディスカッション、意見交換などの活動を積極的に取り入れ、論理的、客観的に思考できる力や、日本語を「話す力」「聞く力」の向上も目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：コミュニケーション学とはどのようなものかを理解し、それが現実社会でどのように反映されるかを分析する力を身につける。
自らのコミュニケーション能力向上のために何が必要かを客観的に考察できる力を習得する。
コミュニケーションに必要な日本語力を向上させ、批判的にそれを評価できる力を身につける。
授業活動を他者と協力して成しとげる重要性を認識し、協働する力を身につける。
個別目標：コミュニケーション学に関する基本的な文章を日本語で理解し、その内容をまとめて説明できる。
コミュニケーション学の基礎を理解した上で、現実場面にどのように生かせるかを分析できる。
自らの日本語によるコミュニケーション能力を理論に照らし合わせて客観的に判断できる。
日本語によるコミュニケーション能力を高め、学び考えたことを的確に表現できる。
他者の意見を的確に理解し、柔軟に異なる意見を認めることができる。

▌履修条件

この科目は留学生を対象とした科目です。全員が必ず事前にテキストの指定されたところを読んでくること。授業では、積極的に発言し、活動に参加することが要求されます。

▌評価基準・方法

振り返りレポート(20 %)、授業内活動(30 %)、発表(20 %)、まとめレポート(30 %)

▌フィードバック方法

授業や manaba を通してフィードバックを行います

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （指示があった場合、ノートパソコンかタブレットを持参すること。）

▌教科書

『大学 1 年生からのコミュニケーション入門』ナカニシヤ出版

▌参考書

『コミュニケーション論をつかむ』有斐閣
『会話データ分析の実際●身近な会話を分析してみる』ナカニシヤ出版
＊その他、適宜授業内でお知らせします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：大学生の学びとコミュニケーション** 授業内容：自己紹介をする。自分のコミュニケーションについて考える。 事前学修 2.0hr：テキスト 1 － 1 を読み検討・議論したいことについて考えてくる 事後学修 2.0hr：自分のコミュニケーションについて分析をする
2回	**授業テーマ：コミュニケーションとは** 授業内容：コミュニケーションの基本概念／　実際の場面を取り上げコミュニケーションを分析 事前学修 2.0hr：1 － 2 を読み検討・議論したいことについて考えてくる 事後学修 2.0hr：身の回りのコミュニケーションを分析する
3回	**授業テーマ：自己理解を深める** 授業内容：自己とは何か。 どうすれば自分を客観的に捉えられるのか、自分とのコミュニケーションの方法を学ぶ 事前学修 2.0hr：1 － 3,1 － 4 を読み検討・議論したいことについて考えてくる 事後学修 2.0hr：自分の今の状況を分析する。
4回	**授業テーマ：自分の考えを整理し、伝える** 授業内容：伝え方、見せ方に注意して伝えてみよう 事前学修 2.0hr：1 － 5, 1 － 6 を読み検討・議論したいことについて考えてくる 事後学修 2.0hr：授業での意見交換を踏まえて、どのような伝え方、内容、見せ方が効果的かまとめる(振り返りレポート)
5回	**授業テーマ：様々なコミュニケーション　①社会スキル②アサーション** 授業内容：１社会スキルについて基本的な知識を学び、自分のスキルを分析把握する ２自分のことを考えながら、他者についても配慮する方法について学び、自分のスキルを分析把握する。 事前学修 2.0hr：1 － 7, 1－8を読み検討・議論したいことについて考えてくる 事後学修 2.0hr：自分の社会スキル、アサーションスキルについて評価し、今後の課題を考える(振り返りレポート)
6回	**授業テーマ：コミュニケーションと異文化理解** 授業内容：１異文化理解をキーワードに文化とコミュニケーションについて考える ２立場によって見方が異なることについて考える 事前学修 2.0hr：1 － 9, 1 － 10 を読み検討・議論したいことについて考えてくる 事後学修 2.0hr：異文化理解について、考えをまとめて書く(振り返りレポート)
7回	**授業テーマ：社会関係とコミュニケーション** 授業内容：社会とコミュニケーションの関係について基本的に理解し、議論をする 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、議論ができるように準備 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート

8回	**授業テーマ：情報社会とコミュニケーション** 授業内容：情報社会とコミュニケーションについて基本的な内容を確認し、議論をする 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、議論ができるように準備(担当者は発表準備) 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
9回	**授業テーマ：マーケティング・コミュニケーション** 授業内容：マーケティングとコミュニケーションについて基本的な内容を確認し、議論する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、議論ができるように準備(担当者は発表準備) 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
10回	**授業テーマ：災害とコミュニケーション** 授業内容：災害時におけるコミュニケーションの特徴と内容を確認し、議論をする 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、議論ができるように準備(担当者は発表準備) 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
11回	**授業テーマ：バーチャル空間のコミュニケーション** 授業内容：バーチャル空間におけるコミュニケーションの特徴と内容を確認し、議論する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、議論ができるように準備(担当者は発表準備) 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
12回	**授業テーマ：初対面会話(接触場面)の二者会話の比較分析①** 授業内容：接触場面における初対面会話の映像・会話スクリプト 1 を見て、特徴を分析する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
13回	**授業テーマ：初対面会話(接触場面)の二者会話の比較分析②** 授業内容：接触場面における初対面会話の映像・会話スクリプト 2 を見て、特徴を分析し、１と比較する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
14回	**授業テーマ：初対面会話(接触場面)の三者会話の比較分析** 授業内容：接触場面における初対面会話の映像・会話スクリプト 3 を見て、特徴を分析し、１、２と比較する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
15回	**授業テーマ：授業の振り返りと総括** 授業内容：本授業の学びを総括する／まとめレポートの説明および作成 事前学修 2.0hr：自分の学びについてまとめてくる 事後学修 2.0hr：まとめレポート完成

コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

海谷　千波（かいや　ちなみ）

▌授業の概要

1．対象：「コミュニケーション」に疑問を持つ者、あるいは疑問を持ってみたい者。
2．目的：「コミュニケーション」に関する現象・言説を批判的に捉え、実践できる。
3．内容：(ア)「コミュニケーション」や諸問題に関する「常識」・「当然」・「当たり前」と、(イ)これらのこと「に／を」コミュニケートする可能性について学習する。
4．授業形式：(ア)概念・定義・構成要素・課題等を［再］整理し、(イ)グループやクラス全体で議論する。
ただし、履修登録者数や学生の学修状況に応じて、学修内容や活動に修正が加えられることもある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：「コミュニケーション」現象からのメッセージや問いかけに向き合い、その意味を見出し、応答できるようになる。
個別目標：1．知識・技能：「コミュニケーション」に関連する基本的な考え方を知り、説明できる。
2．思考・判断・表現：「コミュニケーション」に関連する諸問題について自ら考え、判断し、表現したり行動したりできる。
3．主体性・多様性・協働性：他者と関わる(コミュニケートする)ことで、多様性を認め合い、人間性を高め合おうとする。

▌履修条件

1．初回授業へ参加すること(※　班編成と座席表作成のため)。
2．初回授業で交わされた約束を守ること。
3．ノート PC、又はタブレット(※ キーボードを準備)を持参すること。

▌評価基準・方法

評価基準・方法
1．講義・議論(70 %：授業外学修 50 %を含む)
2．グループ発表(30 %：準備や他グループ発表評価も含む)
以上、1及び2により総合的に評価する。
【※単位修得の条件として、12 回以上の「出席」が必要。遅刻2回で欠席1回とする。】

▌フィードバック方法

必要に応じて、授業や manaba で課題を点検したり、コメントしたりする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッションとプレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 入力(レポート：授業の振り返り、発表の評価・コメント；プロジェクト：発表資料の作成)）

▌教科書

教員が編集する資料を使用する。

▌参考書

板場良久・池田理知子編(2011)．『よくわかるコミュニケーション学』．ミネルヴァ書房.
池田理知子編(2010)．『よくわかる異文化コミュニケーション』．ミネルヴァ書房.
鈴木敏恵(2012)．『課題解決力と論理的思考力が身につくプロジェクト学習の基本と手順』．教育出版株式会社.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：授業方針と課題・評価等** 授業内容：(1)シラバスと補足資料にしたがい、授業方針・内容・方法・評価の要点について理解するとともに、授業外学修の具体的な方法を知る。(2)「何のためにコミュニケーションを学びたいか」について考えたり、意見交換したりする。 事前学修 2.0hr：講義概要、とりわけ「授業の概要」、「履修条件」、「評価基準・方法」を熟読し、理解するとともに、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：講義概要とオリエンテーションを振り返り、「何のためにコミュニケーションを学びたいのか」についてまとめる。
2回	**授業テーマ：コミュニケーション(1)：コミュニケーション、コード、意味づけ** 授業内容：(1)そもそも「コミュニケーション」とはどのような現象なのか、その要点を理解する。(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書や参考資料等を熟読し、理解するとともに、議論の準備として要点や意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
3回	**授業テーマ：コミュニケーション(2)：フィードバック、コンテクスト、コミュニケーション・レベル** 授業内容：(1)コミュニケーション現象にはどのような影響力が働くのか、その要点を理解する。(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書や参考資料等を熟読し、理解するとともに、議論の準備として要点や意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
4回	**授業テーマ：言語コミュニケーション：言語メッセージ、レトリック、ロゴス・パトス・エトス** 授業内容：(1)言語メッセージはどのように説得力を持ちえるのか、その要点を理解する。(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書や参考資料等を熟読し、理解するとともに、議論の準備として要点や意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
5回	**授業テーマ：非言語コミュニケーション(1)：非言語メッセージ、身振り言語、視線** 授業内容：(1)非言語メッセージはどのように伝達されるのか、身振り言語や視線を例に要点を理解する。(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書や参考資料等を熟読し、理解するとともに、議論の準備として要点や意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
6回	**授業テーマ：非言語コミュニケーション(2)：近接学、身体接触行動、周辺言語** 授業内容：(1)非言語メッセージはどのように伝達されるのか、近接学や身体接触行動、そして周辺言語を例に要点を理解する。(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書や参考資料等を熟読し、理解するとともに、議論の準備として要点や意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。

7回	**授業テーマ：文化：文化、宗教、倫理観** 授業内容：(1)文化の三層構造を通じて文化とは何なのか、その要点を理解する。(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書や参考資料等を熟読し、理解するとともに、議論の準備として要点や意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
8回	**授業テーマ：社会：グローカリゼーション、マイノリティ、外国人就労者** 授業内容：(1)変化が激しく、予測不可能なこの時代に起こる様々な問題に関する要点を理解する。(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書や参考資料等を熟読し、理解するとともに、議論の準備として要点や意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
9回	**授業テーマ：教育：コミュニケーション能力、外国語教育、日本語教育** 授業内容：(1)コミュニケーションや言語に関する教育はどのようにあるべきか、その要点を理解する。(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書や参考資料等を熟読し、理解するとともに、議論の準備として要点や意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
10回	**授業テーマ：グループ発表準備(1)：テーマ設定** 授業内容：(1)グループ発表の方針、内容、方法等について理解する。(2)グループで解決すべきテーマを設定し、マインド・マップを使ってキーワードを考えながら、発表の全体像を想像する。 事前学修 2.0hr：トピックや関連情報について調べ、要点や自分の意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：グループで検討した文献や情報を調べ、熟読し、要点・概要をまとめる。
11回	**授業テーマ：グループ発表準備(2)：現状把握・課題設定** 授業内容：(1)グループで持ち寄った情報を整理する。(2)テーマに関する現状を把握し、課題を設定する。(3)現状と課題に関する発表資料を作成する。 事前学修 2.0hr：グループで決めたテーマについて、現状や課題に関する情報を収集する。 事後学修 2.0hr：授業での議論に基づき、発表原稿を推敲する。
12回	**授業テーマ：グループ発表準備(3)：原因追及と改善案提示** 授業内容：(1)テーマに関する現状と課題を整理する。(2)原因・理由・背景を突き止め、改善案を考える。(3)原因・理由・背景と改善案に関する発表資料を作成する。 事前学修 2.0hr：原因や改善案に関する情報を収集する。 事後学修 2.0hr：授業での議論に基づき、発表原稿を推敲する。
13回	**授業テーマ：グループ発表(1)：第1グループの発表と評価** 授業内容：第1グループが発表を実演する。聴衆はメモをとりながら発表を聞いた後、評価シートに評価やコメントを書き込む。 事前学修 3.0hr：発表原稿を完成させ、リハーサルを行う。 事後学修 1.0hr：他のグループ発表について振り返り、今後、自分がどのように「コミュニケーション」を図るかをまとめる。
14回	**授業テーマ：グループ発表(2)：第2グループの発表と評価** 授業内容：第2グループが発表を実演する。聴衆はメモをとりながら発表を聞いた後、評価シートに評価やコメントを書き込む。 事前学修 3.0hr：発表原稿を完成させ、リハーサルを行う。 事後学修 1.0hr：他のグループ発表について振り返り、今後、自分がどのように「コミュニケーション」を図るかをまとめる。
15回	**授業テーマ：まとめ：グループ発表に関する講評と講義の振り返り** 授業内容：(1)教員によるグループ発表の講評を理解するとともに、発表の改善点についてグループで検討する。(2)講義全体を振り返り、「コミュニケーション」に関する批判的思考や日常的実践の理解を深める。 事前学修 2.0hr：グループ発表全体を振り返り、今後の「コミュニケーション」に関するコメントを準備する。 事後学修 2.0hr：「何のためにコミュニケーションは学ばれるのか」をまとめ、他のコミュニケーション関連科目履修に活かせるようにする。

心理学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中嶋　一恵（なかしま　かずえ）

▌授業の概要

人の心は、知覚、記憶、思考、言語など、様々な機能を持っている。心の働きを科学的に解明する心理学は、それに応じて様々な専門分化した研究がなされている。

本講義では、心理学の成り立ち、人の心の仕組み及び働き、その概観について理解し、周囲の人との関わりの中で活用していくことができる力を養うことを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：基礎的な心理学に関する諸理論を学ぶことにより、人の心や行動の基盤を理解する。また、心理学で学んだ内容を、日常生活で生かせる力を身につける。

個別目標：1)基礎的な心理学の理論や知識を習得し、人の心の動きを科学的に理解できる。
2)日常生活において起こる諸問題に対して、心理学の知識を応用できる。
3)自己・他者の多様性を理解し、穏やかで円滑な人間関係の形成に関与できる。

▌履修条件

1)初回のガイダンスで説明する履修条件を理解し、順守できること。
2)授業では個別指導とアクティブラーニングの手法も取り入れていくため、自主的・積極的に学ぶ意欲があること。
3)授業方法の特性上、第 1 回授業後に受講動機・受講意欲を記述するレポートを提出していただき、履修者を 50 名に制限する予定である。

▌評価基準・方法

※原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
1)授業内で提示する課題作成(60 %)
2)最終レポート(40 %)
以上をもとに、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

毎回の課題、質問や意見共有などに対してのフィードバックは、翌週以降の授業内または学習支援システム manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学習支援システム manaba、respon を使用しての意見共有、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （学習支援システム manaba、ewspon を使用した意見共有、フィードバック、レポート作成 など）

▌教科書

指定なし

▌参考書

丹野義彦他著　「初めて出会う心理学」　有斐閣 2020
ジョエル・レビー著　「心理学の基礎講座」　NEWTON PRESS 2022

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：本講座の目的、授業の進め方、課題の取組み方、評価基準についてガイダンスを行う。また、心理学の位置づけについて概説を行う。 事前学修 2.0hr：履修動機を明確にし、心理学についての関心があることをまとめる。 事後学修 2.0hr：心理学についての自分の考えをまとめる。
2回	**授業テーマ：心理学入門** 授業内容：心理学とは何か、人の心を研究する意味、歴史的背景などを概説する。 事前学修 2.0hr：心理学の歴史について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、心理学の概要について自分の考えをまとめる。
3回	**授業テーマ：遺伝的気質特性** 授業内容：自身の遺伝的気質を理解し、特徴について概説する。 事前学修 2.0hr：遺伝的気質について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の遺伝的特性をまとめる。
4回	**授業テーマ：心理的発達** 授業内容：遺伝と環境との関係、新生児や子どもの能力・発達について学ぶ。 事前学修 2.0hr：遺伝と環境の関係について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、遺伝と環境との関係、自身の特性と発達との関係をまとめる。
5回	**授業テーマ：感覚** 授業内容：心と関係の深い脳や感覚器官のはたらき、仕組みについて概説する。 事前学修 2.0hr：脳機能について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、心と脳の関係についてまとめる。
6回	**授業テーマ：感情** 授業内容：感情が生じるメカニズムや社会的機能について概説する。 事前学修 2.0hr：感情について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り、自身の特性との関係についてまとめる。
7回	**授業テーマ：記憶** 授業内容：記憶研究についての流れや、記憶のメカニズムについて概説する。 事前学修 2.0hr：記憶について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
8回	**授業テーマ：心理的ストレス** 授業内容：心理的ストレスについて、ストレス状態のメカニズムについて概説する。 事前学修 2.0hr：ストレスについて、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
9回	**授業テーマ：性格と遺伝的気質の違い** 授業内容：性格とは何か、構造や役割を概説する。また、遺伝的気質との違いを、前半の講義で習得した理論や知識と照らし合わせて考えていく。 事前学修 2.0hr：性格について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の性格と特性についてまとめる。

10回	**授業テーマ：社会的認知①** 授業内容：コミュニケーションの入口としての印象形成の理論について概説する。 事前学修 2.0hr：印象形成の理論について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
11回	**授業テーマ：社会的認知②** 授業内容：コミュニケーションとは何かを概説する。 事前学修 2.0hr：コミュニケーションについて、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
12回	**授業テーマ：社会的認知③** 授業内容：コミュニティ形成における、自己・他者理解について概説する。 事前学修 2.0hr：コミュニティ心理学について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
13回	**授業テーマ：社会的認知④** 授業内容：パーソナリティ理論について概説する。 事前学修 2.0hr：パーソナリティ理論について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
14回	**授業テーマ：様々な心理学** 授業内容：各分野における心理学の特徴を紹介する。 事前学修 2.0hr：関心のある心理学分野について調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、興味のある分野についてまとめる。
15回	**授業テーマ：復習とまとめ** 授業内容：全講義内容を振り返り、心理学の知識と理論をまとめる。また、今後、自分の生活にどのように活かしていくのかを考える。 事前学修 2.0hr：本講義の内容を振り返り、疑問点などを明確にする。 事後学修 3.0hr：本講義の内容を振り返り、最終レポートにまとめる。

心理学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

林　哲也（はやし　てつや）

▌授業の概要

人間の歴史は多様性を知る歴史でもある。交通、通信の発達などにより、人間はより多様な価値観や社会現象との遭遇を繰り返してきた。現代社会はインターネットという技術を得て、その多様性との遭遇はさらに高速化、日常化している。そうした背景の中で、私たち一人ひとりの心も動揺させられやすく、健康との関連がより深まる時代となっている。一方人間は古くから「心とは何か」への探求を行ってきた。近年は心理学という学問領域が成立し、多くの知見から、複雑化する社会における私たちの心のあり方への応用も盛んに議論されている。

本講義では、心理学の理論を紹介しつつ、現代社会の捉え方や私たちの健康へいかに応用させていくかについての理解を深め、実践していける力を養うことを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：心理学の基礎的な理論を参照しながら、心と現代社会との関係、健康との関係について、生活実感をともなった理解をする。

個別目標：1) 自らの心理に影響を与えている身体の機能や社会との関係について理解を深め、説明することができる。
2) 日常生活における、自らの心理的特性や行動傾向についての理解を深め、説明することができる。
3) 健康で充実した生活を過ごすための、心理的なセルフケア行動を実践することができる。

▌履修条件

1）初回の授業に必ず出席し、履修上の諸注意を順守できること（特に不要な授業途中の入退室、私語は慎むこと）。2）授業ではアクティブラーニングの手法も取り入れていくため、自主的、積極的に学ぶ意欲があること。3）アクティブラーニングの実効性の観点から履修者が多数の場合は履修動機、履修意欲を記述するレポートをもとに履修者を選抜する可能性がある。

▌評価基準・方法

1) 授業への取り組みと、授業内で提示する質問や理解度チェックへの応答、授業ごとの小課題の作成（60 %）　2) 最終課題（レポート）（40 %）をもとに総合的に評価する。

※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とするが出席のみでの評価点は設けない。あくまで授業内での取り組み、提出された課題の内容を踏まえて評価をする。

▌フィードバック方法

毎回の小課題、授業中に行った respon による意見共有などに対するフィードバックを、学習支援システム manaba を通じて、あるいは翌週以降の授業内でのコメントによって行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学習支援システム manaba、respon を使用した意見共有、フィードバック、ディスカッションを中心に行う。受講人数、受講生の理解度も参考にしながらグループワーク、PBL（課題解決型学習）を用いることもある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （学習支援システム manaba、respon を使用した意見共有、フィードバック、ディスカッションを行う。スマホ、タブレットでも可。）

▌教科書

授業内でレジュメを配布。

▌参考書

無藤隆（他著）「新版　心理学」有斐閣　2018

下山晴彦（編）「よくわかる臨床心理学［改訂新版］」ミネルヴァ書房 2009

宗像恒次（他著）「ＳＡＴ法を学ぶ」金子書房 2007

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・心理学とは―本講義の目的―** 授業内容：履修にあたっての諸注意と講義の進め方についてのガイダンスを行う。また心理学の学術的な位置づけについて概説を行い、自身がもつ心理学のイメージとの対比について考える。 事前学修 2.0hr：履修動機と意欲、心理学について自分自身が持っている関心についてまとめる。 事後学修 2.0hr：自身がもつ心理学のイメージと学術的な心理学の位置づけについて、重なる点、異なる点についてまとめる。
2回	**授業テーマ：心理学の全体像―心理学の歴史とさまざまな分野―** 授業内容：心に対する探求は古代から哲学や宗教を中心に行われ、近年では実験、調査などの科学を中心とした心理学が発展している。その心理学の歴史と研究対象とするさまざまな分野の広さについて概説し、身近な問題との関連を考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学の歴史的・社会的な位置づけと研究対象となるさまざまな分野などについてまとめる。
3回	**授業テーマ：感覚と知覚－脳・神経の働きと環境の認識―** 授業内容：心と不可分の関係にある脳や周囲の環境の安全や危険を認識する感覚器官のはたらき、仕組みについての概説を行い、身近な心理的問題を取り上げて、身体機能の視点も踏まえた多角的な解釈を試みる。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心と脳の関係、環境を認識する感覚器官のはたらきについてまとめる。
4回	**授業テーマ：感情と社会―喜怒哀楽の機能と制御―** 授業内容：感情が生じるメカニズムや社会的な機能について概説を行い、身近な問題を取り上げて多角的に自己理解、他者理解を試みる。また自分の心のコントロール、他者との良好なコミュニケーションについても考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：感情の心理学的基礎理論と現代社会における感情の問題についてまとめる。
5回	**授業テーマ：心理的ストレスとは何か** 授業内容：思い通りに進まない事柄や突発的な出来事などから生じるストレス状態のメカニズムについて概説し、ストレス社会と言われる現代社会の構造から受ける影響、自身の健康を維持するための対処法について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理的ストレスの概念と、関連する社会問題についてまとめる。
6回	**授業テーマ：心理学と日常生活―身近な問題への応用―** 授業内容：第２回から第６回の内容を復習し、その理解をもとに日常生活で起こりがちな心理的問題を考える。教員から提示する事例、ケースに対してどのように思考し対処するか、セルフワークまたはグループワークを通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業の内容を踏まえ、自身の日常生活に応用して新たな理解を得られる場面があるか考える。 事後学修 2.0hr：第 6 回の授業を踏まえて、自身の日常生活場面について、さらに多角的な理解を試み、まとめる。

7回	**授業テーマ：社会的認知ー印象形成の理論ー** 授業内容：コミュニケーションの入口ともいうべき他者に対する印象形成のメカニズム、行動から他者の特性を推論する帰属のバイアスなどについて概説を行い、その理解を踏まえて自身が経験してきた人間関係を振り返る。また今後の他者理解について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：印象形成、帰属バイアスについての理論を自身の経験と関連づけてまとめる。
8回	**授業テーマ：社会的影響①ー他者・集団との関係ー** 授業内容：人が個人として選択しているように思える思考、行動も、他者や文化といった社会的影響を受けており、また何らかの影響を他者や文化に与えてもいる。社会心理学の観点を踏まえた心の理解について概説し、身近な問題と関連させて自身の心の経験を考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学的理論を応用させながら、他者、集団、組織、規範など、個人に及ぼす社会的影響についてまとめる。
9回	**授業テーマ：社会的影響②ー人間関係とコミュニケーションー** 授業内容：人生の豊かさや楽しみをもたらす一方で、葛藤や嫌悪が生じてしまうこともある人間関係。親密さや攻撃性を生み出すメカニズム、良好なコミュニケーションの構成要素について概説し、自身の人間関係やコミュニケーション傾向について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学的理論を応用させながら身近な人間関係について考察し、現代社会の問題も踏まえてまとめる。
10回	**授業テーマ：ライフサイクルと心理的問題** 授業内容：人間は生まれてから死ぬまで常に変化している。その中で生じる一定の時期に応じた発達段階ごとの心理的課題について、特に青年期、高齢期を取り上げて概説する。その理解を踏まえて自身の現在の心理的な発達課題、将来的に直面するであろう発達課題について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：生涯発達の視点から、各ライフステージにおける心理的問題についてまとめる。
11回	**授業テーマ：心理学と社会生活ー社会との関係への応用ー** 授業内容：第７回から第１０回の内容を復習し、その理解をもとに社会との関連で自身が抱える心理的問題を考える。教員から提示する事例、ケースに対してどのように思考し対処するか、セルフワークまたはグループワークを通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業の内容を踏まえ、自身が感じる社会との関係の問題に応用して、新たな理解を得られる場面があるか考える。 事後学修 2.0hr：第 11 回の授業を踏まえて、自身がもつ社会と関連した心理的課題について、さらに多角的な理解を試み、まとめる。
12回	**授業テーマ：自己と社会ー自分とは何かー** 授業内容：「自分のことなのによく分からない」といった現象のように、社会心理学の主要なテーマとして扱われる「自己」に関する理論について概説を行い、その理解を踏まえて自身の経験を重ね、自己理解の基礎づくりを試みる。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：自己に関する理論について整理し、自身を対象として「自己」についての新たな気づきについてまとめる。
13回	**授業テーマ：パーソナリティ理論** 授業内容：同じ人間であっても一人ひとりに無意識に行いがちな思考や行動の傾向がある。人格、性格を探究するパーソナリティ理論の概説と質問紙を使ったセルフワークを通して自己理解を深め、健康な生活に資する自分らしいセルフケアについて考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：パーソナリティ理論と自らのパーソナリティーについての気づきをまとめる。
14回	**授業テーマ：気質と本質的欲求** 授業内容：生まれもった遺伝的、生得的な要因である気質に基づく個性と、行動の基となる根源的な欲求についての理論を概説し、質問紙を使ったセルフワークを通して自己理解を深め、健康な生活に資する自分らしいセルフケアについて考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質、本質的欲求についての理論と気質コーチングを通じた自身の特性の気づきをまとめる。
15回	**授業テーマ：心理学と学生生活ー復習とまとめー** 授業内容：学生生活における心理的課題の理論について概説を行うとともに、これまでの授業の復習を行う。シラバスの個別目標について、各自の到達度を自己評価する。 事前学修 2.0hr：第 14 回までの内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業の内容と自らの生活を重ねて総合的に振り返る。

からだと健康

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

宮澤　慶（みやざわ　けい）

▌授業の概要

現代社会に生きる人間にとって健康は大切なものであり、かけがえのない財産である。自己実現のためにも、健康の保持・増進は重要である。本講義は、学生がからだの仕組みを理解し、健康に関する基本的知識を有する事を目的として、講義を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：学生が健康的な生活を送るための基本的な知識を持ち、自己の健康を管理でき、健康に関して科学的又は医学的な考え方ができるようになることを到達目標とする。

個別目標：(1) 各臓器の機能、役割について説明できる。
(2) 健康問題にかかわる要因について説明できる。
(3) 健康維持増進および病気の予防について説明でき、実践することができる。

▌履修条件

健康や栄養について興味をもつもの。

授業中の私語、入退室及び携帯電話の使用等の授業妨害行為、並びに不適切な行為を慎める者。問題のある行為が認められた受講停止を求める。原則遅刻・早退を認めない。

▌評価基準・方法

中間テストの成績、出席ペーパー、学修態度に基づき総合的に評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。(欠席事由等については『履修の手引』を参照すること。

▌フィードバック方法

出席ペーパーの回答が十分でない部分は講義時もしくは manaba 上で追加説明を行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （課題(出席ペーパー)等を用いて実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パワーポイントを使用して講義を行なう。）

▌教科書

適宜、資料を配布する。

▌参考書

今村裕行ら他 8 名著　「健康増進科学概論 －運動・栄養・休養－」(東京教学社) 2015

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：人体・医学・倫理・健康科学** 授業内容：講義に臨む態度について。 医学の進歩と払われた犠牲について。 事前学修 2.0hr：現代生活の特徴と QOL(生活の質)について考察しておく。未来にむけた医療のあり方について考える。 事後学修 2.0hr：医学の進歩とその意義について理解する。受講ルールをよく理解して遵守できるようにする。
2 回	**授業テーマ：人体と健康(肺)** 授業内容：呼吸について。 呼吸運動について。 喫煙と関連疾患について。 COPD について。 肺がんについて。 禁煙方法について。 事前学修 2.0hr：COPD と肺の健康について調べる。 事後学修 2.0hr：エネルギーを引き出す呼吸の仕組みやその調節機構および肺の健康について復習する。
3 回	**授業テーマ：人体と健康(心臓)** 授業内容：心臓について。 血液循環について。 血液の成分と働きについて。 循環調節について。 血圧について。 事前学修 2.0hr：心臓の役割や血液の循環について復習する。 事後学修 2.0hr：全身に栄養や酸素をめぐらす心臓のポンプ作用や血管の構造について復習する。
4 回	**授業テーマ：人体と健康(脳)　栄養と健康** 授業内容：神経について。 脳の構造について。 自律神経について。 脳卒中について。 神経系の病気について。 アルツハイマー症について。 事前学修 2.0hr：脳卒中・脳出血・脳梗塞について調べる。認知症について調べる。 事後学修 2.0hr：情報をコントロールする脳・神経系の働きや記憶・学習の仕組みについて復習する。
5 回	**授業テーマ：中間テスト 1　　1 回から 4 回の講義内容確認** 授業内容：第 1 回から第 4 回までの授業内容をテストする。 事前学修 3.0hr：中間テスト 1 を行なうので第 1 回から第 4 回までの授業内容を復習する。 事後学修 3.0hr：テストの内容を復習する。
6 回	**授業テーマ：応急手当と健康** 授業内容：心肺蘇生法について。 AED の使用法について。 RICE 処置などさまざまな救急法について。 歯の脱臼時の対応について。 バイタルサインについて。 事前学修 2.0hr：救急蘇生法と AED について調べる。 事後学修 2.0hr：心肺蘇生の方法や AED の使い方、および簡単な応急手当法について復習する。

7回	**授業テーマ：人体と健康(消化器)** 授業内容：消化器官について。 唾液について。 胃の構造と働きについて。 小腸について。 大腸について。 急性虫垂炎について。 大腸がんについて。 事前学修 2.0hr：食生活の飽食化・欧米化・簡便化について調べる。 事後学修 2.0hr：胃・腸の役割について復習する。
8回	**授業テーマ：人体と健康(肝臓)** 授業内容：栄養の消化について。 肝臓の構造と働きについて。 胆嚢の役割について。 膵臓の構造と働きについて。 肝炎とその種類について。 飲酒について。 事前学修 2.0hr：日本人の肝疾患のリスクファクターについて調べる。 事後学修 2.0hr：肝臓の役割、肝疾患について復習する。
9回	**授業テーマ：食事と健康** 授業内容：五大栄養素について。 ビタミンについて。 ビタミン欠乏症について。 食塩摂取と高血圧や脳血管疾患との関係について。 BMI について。 食事バランスガイドについて。 事前学修 2.0hr：五大栄養素について調べる。ビタミン欠乏症について調べる。食育について調べる。 事後学修 2.0hr：生命を維持するための栄養素がどのようにエネルギーや生体成分に変換されるかを復習する。
10回	**授業テーマ：中間テスト 2　 6 回から 9 回の講義内容** 授業内容：第 6 回から第 9 回までの授業内容をテストする。 事前学修 3.0hr：中間テスト 2 を行なうので第 6 回から第 9 回までの授業内容を復習する。 事後学修 3.0hr：テスト内容を復習する。
11回	**授業テーマ：人体と健康(腎臓)** 授業内容：腎臓の構造と働きについて。 泌尿器系にみられる疾患の種類について。 人工透析について。 糖尿病について。 事前学修 2.0hr：糖尿病の自覚症状と合併症について調べる。人工透析について調べる。 事後学修 2.0hr：腎臓の構造と尿を作る仕組みについて復習する。
12回	**授業テーマ：生活習慣病と健康** 授業内容：日本人の死因について。 メタボリックシンドロームについて。 特定健診について。 骨粗しょう症について。 痛風について。 事前学修 2.0hr：日本人の死亡原因について調べる。ヘルスプロモーションについて調べる。 事後学修 2.0hr：生活習慣病の種類や発症および予防対策について復習する。
13回	**授業テーマ：感染症予防と健康** 授業内容：感染について。 感染源と感染経路について。 ワクチンについて。 性感染症について。 動物や節足生物からの感染症について。 手洗いについて。 事前学修 2.0hr：新興感染症と再興感染症について調べる。STD について調べる。 事後学修 2.0hr：感染症対策について復習する。
14回	**授業テーマ：高齢化社会と健康** 授業内容：健康について。 生活習慣病予防について。 ヘルスプロモーションについて。 国際生活機能分類(ICF)について。 事前学修 2.0hr：日本の人口の問題点について調べる。 事後学修 2.0hr：ノーマライゼーションとバリアフリーについて復習する。
15回	**授業テーマ：テスト対策　歯科疾患と健康　まとめ** 授業内容：う蝕について。 歯周病について。 顎顔面領域の外傷について。 マウスガードについて。 期末テスト対策を行なうので第 1 回から第 14 回までの授業内容を復習する。 事前学修 3.0hr：第 1 回から第 14 回までの講義を復習する。 事後学修 3.0hr：全ての講義内容を復習し、期末テストに臨む。　からだの仕組みを理解し、自分の健康管理ができるようにする。

日本人の生活意識

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中根　弘之（なかね　ひろゆき）

▌授業の概要

我々人間は、ほぼ意図することなく一定の世界観・価値観に従って日々の生活を送っている。この世界観・価値観は日常生活において顧みられることなく、広義の「世間知」として習得されてきたものである。本講義はカントの人間学的な観点から、さまざまな現代日本の生活にまつわる「世間知」についてより深く反省を加え、成熟した人間になるために必要なことは何かを考える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：　自分の人生のあり方について、現代日本を取り巻く現状について学びながら反省し、自らの生き方について考えを深めることができるようになる。

個別目標：1）現代日本が直面している誕生と死にまつわる現状とその問題点について説明することができる
2）コミュニケーション能力の定義を理解し、日本のコミュニケーション空間の変質と現状について説明することができる
3）日本の宗教意識の特徴点を列挙し、説明することができる
4）価値の諸相について理解し、使用価値と交換価値の違いについて日本の現状から説明することができる

▌履修条件

新聞やニュースなどに関心を持ち、主体的に世の中の動きや自分自身のあり方について考える意志のある学生であること。

▌評価基準・方法

中間テスト点３０点
まとめテスト点７０点
このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を３回出すので、２回以上の提出を求める。

▌フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。
同様に課題についても全体コメントを公表し、要望があれば学生個々に manaba を用いて指導する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書は指定しない。
資料は教室で配布する

▌参考書

ＮＨＫ放送文化研究所『現代日本人の意識構造』[第九版]、２０２０他、必要に応じて提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：導入　人間学と日本人の意識** 授業内容：単位取得の条件の確認、およびこの講義で扱う日本を取り巻く問題圏とカントの「人間学」の視点を紹介し検討する。 事前学修 2.0hr：自分の人生のあり方を死ぬ瞬間まで考えてみる 事後学修 2.0hr：身の回りの「世間知」について考えて列挙する
2回	**授業テーマ：誕生と死　誕生にまつわる現状と意識** 授業内容：少子化の現状を様々なデータから紹介し、それにまつわる意識調査の情報を共有する。 事前学修 2.0hr：人間の誕生に関してどのようなことが問題になるのか考える 事後学修 2.0hr：誕生にまつわる現状と課題を整理し、望ましい誕生のあり方をまとめる
3回	**授業テーマ：誕生と死　死にまつわる現状** 授業内容：高齢、長寿化の現状について様々なデータを紹介し、それにまつわる意識調査の情報を共有する。 事前学修 2.0hr：自身の経験したあるいは想像する死にまつわることがらについて列挙する 事後学修 2.0hr：死にまつわる現状と課題を整理し、望ましい死のありかたをまとめる
4回	**授業テーマ：誕生と死　死に向かうということ** 授業内容：尊厳死や安楽死といった新しい形の死についての紹介とそれにまつわる意識調査のデータを共有し、人間学的な視点から少子高齢化問題をまとめる。 事前学修 2.0hr：死に直面した時の状況について考えてみる 事後学修 2.0hr：死に直面した時の自身の心の動きと命の重みを重ね合わせ、人間の生について思うところをまとめてみる
5回	**授業テーマ：孤独と仲間　孤独と仲間をめぐる現状** 授業内容：コミュニケーションの現状とそれに伴う意識調査の内容を紹介し、情報を共有する。 事前学修 2.0hr：現代のコミュニケーション状況の特徴について自分の考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：コミュニケーション不調の場合にみられる諸特徴について列挙しておく
6回	**授業テーマ：孤独と仲間　コミュニケーション能力の定義とコミュニケーション空間の変質について** 授業内容：コミュニケーション能力についていくつか具体的な定義を紹介し、スマートフォンを用いた SNS の各種サービスの使用現状を概括する。 事前学修 2.0hr：コミュニケーション能力と呼ばれているものについて自分の考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：コミュニケーション能力の様々な定義についてまとめておく
7回	**授業テーマ：孤独と仲間　孤独病と承認要求について** 授業内容：片田珠美『孤独病』を軸に孤独感が強すぎてコミュニケーション不調について検討する。 事前学修 2.0hr：孤独感が強すぎることによって生じるコミュニケーション障害について列挙しておく 事後学修 2.0hr：孤独感と承認欲求の関係について自分なりにまとめておく
8回	**授業テーマ：孤独と仲間　仲間と呼べるものは誰か** 授業内容：鴻上尚志『世間と空気』を軸に日本的集団意識の問題点や特徴を取り上げ、検討する。 事前学修 2.0hr：仲間集団についてその必要条件について自分なりにまとめておく 事後学修 2.0hr：「世間」集団を形成する時に守られるべきルールを自分なりにまとめておく
9回	**授業テーマ：中間まとめとテスト** 授業内容：これまで講義で扱った「誕生と死」、「孤独と仲間」の内容をまとめ、習熟度の確認のために中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで学習した内容のポイントを自分なりにまとめ、テストに備える。 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する

10回	**授業テーマ：神と仏　宗教をめぐる現状について** 授業内容：日本の宗教意識の現状について、各種の意識調査のデータを紹介し、共有する。 事前学修 2.0hr：日本の宗教の現状について自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：諸宗教のデータをまとめ、日本の宗教の動向をまとめておく
11回	**授業テーマ：神と仏　神道と仏教** 授業内容：日本の宗教において中心を占める神道と仏教について簡単に歴史をまとめ、自身の宗教理解を反省する。 事前学修 2.0hr：自分の身の回りの宗教的儀礼や行為について考え、ノートに列挙する 事後学修 2.0hr：自身が行ってきた宗教儀礼、宗教的行為を分類し整理する
12回	**授業テーマ：神と仏　日本的宗教意識について** 授業内容：日本の宗教意識を特徴づける「神仏習合」、「現世利益」、「祖先崇拝」の 3 つを軸に日本的宗教意識のあり方について検討する。 事前学修 2.0hr：超越的な存在について自分の考えをノートにまとめておく 事後学修 2.0hr：現世利益、祖先崇拝、神仏習合などの大事な概念についてまとめておく
13回	**授業テーマ：お金と価値　交換価値と使用価値** 授業内容：使用価値と交換価値の違いを具体的に検討した後、日本の平均収入の変化や経済的な豊かさについての意識調査を紹介し、情報共有する。 事前学修 2.0hr：お金で買えるものと買ってはいけないものの違いについて考えておく 事後学修 2.0hr：講義内容をまとめ、お金の歴史について調べておく
14回	**授業テーマ：お金と価値　資本主義の精神と疎外 -S. ゲゼルの思想-** 授業内容：ヴェーバーの『プロテスタンティズムの倫理と資本主義』の末尾に見られる未来図と、ゲゼルの価値を減じる貨幣システムについて学び、人間学的にまとめる。 事前学修 2.0hr：ヴェーバーの主張と地域通貨について調べておく 事後学修 2.0hr：理想的な交換価値と使用価値のあり方について考えておく
15回	**授業テーマ：まとめのテストと振り返り** 授業内容：「人間的な生き方」を軸にこれまで扱ってきた諸問題をまとめ、まとめのテストと振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：テストに備え、１４回までの講義内容をまとめておく 事後学修 2.0hr：これまでの講義内容を踏まえ、人間学的に自分自身の生活の「世間知」について考える

日本人の生活意識

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生クラス

堀内　貴子（ほりうち　たかこ）

▌授業の概要

日本人の生活意識（留学生クラス）では、日常の会話でなにげなく使われる言葉について書かれた文章を読む。そして、その内容を、自分の経験や自国の文化と比較しながら、日本人の感じ方や考え方について理解する。
また、理解したことを言語化し、クラスメートと話し合ったり、文章にまとめたりする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本人の言動に内在する価値観を理解し、それに対し、自らの考えを述べることができる。
個別目標：・日本語の文章を読んで、内容を正確に読み取ることができる。
・日常の会話でなにげなく使われる言葉に内在する日本人の考えや価値観を捉えることができる。
・日本人の考えや価値観に対する自分の考えを論理的に説明したり、文章にまとめたりすることができる。
・他者と意見交換をしながら、さらに自分の考えを深めることができる。

▌履修条件

留学生対象のクラスである。
事前事後課題を必ず行い、授業活動に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

試験 40 %・授業内評価 (小テスト、授業課題、振り返り)50 %、態度（授業への参加姿勢及び発言等）10 %。

▌フィードバック方法

授業内または manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

森田六郎『改訂新版　日本人の心が分かる日本語』アスク出版　ISBN：9784866393773

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーションと事前テスト** 授業内容：オリエンテーション、事前テスト 事前学修 2.0hr：テキストを読む 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
2回	**授業テーマ：内と外を分ける：内と外、世間** 授業内容：「内と外」「世間」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
3回	**授業テーマ：内と外を分ける：しつけ、けじめ** 授業内容：「しつけ」「けじめ」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
4回	**授業テーマ：内と外を分ける：素直、甘える** 授業内容：「素直」「甘える」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
5回	**授業テーマ：他人の目を意識する：人目、恥、照れる** 授業内容：「人目」「恥」「照れる」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
6回	**授業テーマ：周囲に配慮する：遠慮、気をつかう** 授業内容：「遠慮」「気をつかう」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
7回	**授業テーマ：周囲に配慮する：人並み、空気を読む** 授業内容：「人並み」「空気を読む」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
8回	**授業テーマ：人間関係を大切にする：つきあい、愛想、礼儀** 授業内容：「つきあい」「愛想」「礼儀」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
9回	**授業テーマ：人間関係を大切にする：本音と建て前、おかげさま** 授業内容：「本音と建て前」「おかげさま」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
10回	**授業テーマ：表現を押さえる：控えめ、ほのめかす、角を立てない** 授業内容：「控えめ」「ほのめかす」「角を立てない」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。

11回	**授業テーマ：精神主義を好む：がんばる、根性、無理** 授業内容：「がんばる」「根性」「無理」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
12回	**授業テーマ：精神主義を好む：修行、武士道** 授業内容：「修行」「武士道」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
13回	**授業テーマ：日本人の価値観：品、やまとなでしこ、派手・地味** 授業内容：「品」「やまとなでしこ」「派手・地味」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
14回	**授業テーマ：日本人の価値観：恩・義理、いさぎよい、もったいない** 授業内容：「恩・義理」「いさぎよい」「もったいない」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
15回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：今まで学んできたことについて、総復習を行う。 事前学修 2.0hr：今まで学んだことを確認する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。

性格とは何か

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

樋口　倫子 (ひぐち　のりこ)

▌授業の概要

性格(パーソナリティ)は、「人となり」や「その人らしさ」を指します。言動に現れるものから、内面に隠されたものまで、その人の人間性のすべてが、パーソナリティに含まれます。多くの人々は、自分自身のパーソナリティに関して悩んだり、自分と相手のパーソナリティの違いによって人間関係障害を体験したりします。本講義では、自分のパーソナリティについての理解を深め、前向きなライフキャリアにつながるパーソナリティの熟成と、自他のパーソナリティの違いを受け止め、互いを活かしあう人間関係構築につながる学びを深めます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：パーソナリティについての理解を深め、前向きなライフキャリアにつながるパーソナリティの成長や成熟を図ります。さらに、ニューロダイバーシティー(脳多様性)の概念の理解し、自他のパーソナリティの違いを受け止め、補完し合える人間関係構築につながる能力を涵養します。

個別目標：1)性格(パーソナリティ)の概念、を説明できる。
2)ニューロダイバーシティ(脳多様性)の概念を理解し、適切な対人関係を身につける。
3)自らの性格(パーソナリティ)について理解し、前向きなライフキャリアにつながるセルフコーチングを身につける。
4)自他の性格(パーソナリティ)の違いを把握し、補完しあうヒューマンスキルを身につける。

▌履修条件

授業は、ピア・インストラクションやグループによるダイアローグなどのクリエイティブ・ラーニングの手法で行われる。
そのため、仲間と共に学習し合う雰囲気を心がけてほしい。不得意な場合は、必ず相談のこと(一緒に考えます)。
履修者多数の場合、履修動機を基に履修者を決定する(最大受講人数 70 名程度)ため、第 1 回の講義に必ず出席すること(第一次募集 65 名)。第 2 回目に、第二次募集(5 名)を行う。

▌評価基準・方法

1)講義内での質問や応答(20%)と　学習の成果物①:講義ごとの小課題(60%)、学習の成果物②:最終課題(レポート)(20 %)によって総合的に評価します。

▌フィードバック方法

講義終了時の質疑応答、次回講義冒頭での課題についての全体コメント、manaba 上での個別コメントで行います。
個別指導は、ワークブックへのコメントを以って行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Think-Pair-Share Think-Group-Share　Dialogue　Reflecting-Talk）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの質問への回答　デジタル資料閲覧　データ共有）

▌教科書

①性格とは何かワークブック(￥600)
　購入方法については、講義内や manaba で案内いたします。
②配布資料

▌参考書

岡田康伸・他：パーソナリティの心理学　有斐閣

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　パーソナリティ心理学入門** 授業内容：1．このコースの学習の進め方をイメージする。 2．この講義では何を学ぶのかを理解する。 3．自分の性格や周りの人の性格の悩みなど、身近な問題を考える。 事前学修 2.0hr：履修動機と自分自身の性格について理解していることをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ視点から、自分自信の性格に関する気づきをまとめる。
2回	**授業テーマ：パーソナリティの把握(TAT)** 授業内容：TAT という投影法を用いた性格検査を実施して、自己分析を行う。 その結果を、Think-Pair-Share によって共有し、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック「TAT を使った自己イメージの理解」を読み、セルフチェックを実施し、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：自己イメージに関する気づきをまとめ、考察する。
3回	**授業テーマ：パーソナリティと自己効力感** 授業内容：行動と自己効力感について理解する。 自らの自己効力感について把握する。 自己効力感を高めること、成長型マインドセットについて話し合う。 安易に自己効力感を高めることのデメリットについて、話し合う。 事前学修 2.0hr：ワークブック「3．自己効力感」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：成長型マインドセットがパーソナリティ形成に与える影響についてまとめる。
4回	**授業テーマ：パーソナリティの諸理論(類型論と特性論)** 授業内容：パーソナリティの諸理論を理解する。 類型論タイプと特性論タイプのパーソナリティチェックを実施する。 Think-Pair － Share で気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質　あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：類型論と特性論、それぞれのパーソナリティのとらえ方についてまとめる。
5回	**授業テーマ：類型論①　遺伝的気質で知るあるがままの自分** 授業内容：類型論の一つである、遺伝的気質の自己チェックを行う。 人格気質とストレス気質の特徴やセルフケアについて理解する。 Think-Pair-Share で、人格気質の違いについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質　あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質の特徴から自らの強みと弱点を理解し、自らの能力を生かすセルフケアをまとめる。

6回	**授業テーマ：類型論②　気質コーチング（あるがままの自分と相手を生かすためのマネジメント）** 授業内容：6 つの気質の組み合わせのパターン毎の重複気質について理解する。 気質コーチングチャートに従って、ペアワークで重複気質の特徴とセルフケアを説明し合う。 Think-Pair-Share で、気質の違いについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質　あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質コーチングチャートを活用し、協力者を得てコーチングを実施する。
7回	**授業テーマ：ニューロダイバーシティー（脳多様性を尊重する）** 授業内容：ADHA 特性と自閉スペクトラム特性について理解する。 ２つ特性のチェックシートを実施し、自らの特性を理解する。 講義や Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 5 章 「ニューロダイバーシティ（脳多様性）を活かしあう」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：それぞれのニューロダイバーシティの特徴とセルフケアについてまとめる。
8回	**授業テーマ：前半の内容についてのまとめ** 授業内容：コースの前半で実施した内容（自己効力感・気質・ストレス行動特性）について、総合的に振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。 「それはなぜ重要と考えたのか」「今後どのように活用するのか」について、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：第 1〜7 回までの講義内容を復習するし、ポートフォリオのレポートを振り返る。 事後学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、レポートをまとめる。
9回	**授業テーマ：パーソナリティとストレス①（ストレス行動特性）** 授業内容：ストレスを生み出しやすい特性と、ストレスを活用できる特性について理解する。 ストレス行動特性を実施し、自らの特性を理解する。 講義や Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 1.0hr：ワークブック 6 章「ストレス行動特性からレジリエンス型特性へ」をよく読み、疑問点を明確にする。 事後学修 3.0hr：自分自身のストレスパーソナリティの特徴をまとめ、考察する。理解が不十分であった内容を、再度復習する。
10回	**授業テーマ：パーソナリティとストレス②　（メンタルヘルスコーチング）** 授業内容：メンタルヘルスコーチングをガイドラインを参考に、相手のストレス行動特性について、説明する。 相手に対し、どのようなストレス反応が生じやすく、それはどのようなストレス行動特性が関連しているのかについて説明する。 事前学修 2.0hr：ワークブック 8 章「メンタルヘルスティーチング＆コーチング」をよく読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：メンタルヘルスコーチングを協力者 2 名に実施し、その結果を考察する。
11回	**授業テーマ：ストレス反応とストレスコーピング** 授業内容：ストレス反応の種類、よいストレスと悪いストレス、ストレスコーピングについて理解する。 自分自身のストレスコーピングは、問題解決型か否か、情動コントロール型か否かについて振り返る。 ストレスコーピングの気づきを、Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 7 章 「ストレス反応とストレスコーピング」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：実行可能な積極的対処型のストレスコーピングを具体的に考えて、レポートにまとめる。
12回	**授業テーマ：タイムマネジメントによるストレスマネジメント** 授業内容：なりたい自分、ありたい自分について考えてみる。 有限な時間を、何を大事に生きるかに見通しを持つ。 ストレス関数によるストレスマネジメント理論を理解する。 具体的なストレスマネジメントを考え、Think-Pair-Share で気づきを深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック９章 「タイムマネジメントによるストレスマネジメント」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.5hr：レジリエンスを高める対処を復習し、実践する。
13回	**授業テーマ：Well-being のためのストレスマネジメント** 授業内容：気分が落ち込んだ時やストレスを抱えた時のセルフマネジメントの理論を理解する。 4 種類のストレスマネジメントシートを、セルフワークで実施する。 セルフワークでの気づきを、Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 10 章 「Well-being のためのストレスマネジメント」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.5hr：講義内で実施したワークを再度実施し、その気づきを得たのかをまとめる。
14回	**授業テーマ：Healthy Personality を育む** 授業内容：どのような要素が Healthy Personality につながるかを理解する。 自分自身のサヴァイヴァル型のパーソナリティ特性を振り返る。 なりたい自分・ありたい自分に必要な共生型パーソナリティ特性を考える。 気づきを Think-Group-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 11 章「Healthy Personality を育む」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.5hr：なりたい自分・ありたい自分に必要な共生型パーソナリティ特性に関する気づきをまとめる。
15回	**授業テーマ：コース全体のまとめ** 授業内容：コース全体の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオに目を通し、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択し、まとめてくる。 事後学修 3.0hr：前向きなライフキャリアにつながるパーソナリティの成長についての最終課題（レポート）を仕上げる。

生命と遺伝子

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

桑山　秀一（くわやま　ひでかず）

▌授業の概要

すべての生物には遺伝子が含まれています。遺伝子の構造は同じであることから、遺伝子の機能はすべての生物の存続にとって必須であることがわかります。本講義の前半では、まず生命の基本単位である細胞の構造や機能を学びます。さらに遺伝子の構造と機能について理解し、「遺伝子と生命」について学修します。中盤では、生命の誕生や進化の歴史を俯瞰しながら、単細胞からヒトのような高度な多細胞体の特徴に至るまでを順を追って学修します。終盤においては、「遺伝子と病気」や「遺伝子と地球環境」をテーマに遺伝子と社会の接点について学修します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：どのような学問においてもそれを行う主体が人間であるかぎり、生物に関する理解は必須です。本講義では、生命の営みに必須である遺伝子の構造や機能、その重要性について理解します。遺伝子を理解することにより、「生命とは何か？」という基本的かつ根源的な問いに対して自分なりの考察できるようになることを一般的な目標にします。

個別目標：授業を理解することにより、まず「生命とは何か？」という問いに興味を持つことを目標とします。本授業を履修することにより、「遺伝子と自分」との接点について考察し、今後自らの専攻する学問分野における諸問題を生物学的視点で考察できるようになることを個別目標とします。

個別目標：授業を理解することにより、まず「生命とは何か？」という問いに興味を持つことを目標とします。本授業を履修することにより、「遺伝子と自分」との接点について考察し、今後自らの専攻する学問分野における諸問題を生物学的視点で考察できるようになることを個別目標とします。

▌履修条件

生物や生命現象に興味があることを履修条件とする。

▌評価基準・方法

成績は、定期試験（70 %）とその他（出席、事後学修（レポート、授業態度）（30 %）の結果に基づき総合的に判断する。

単位取得の最低条件は、講義の 5 分の 4 以上（15 回の講義中 12 回）の出席（講義の出席と学習支援システム『manaba』によるレポートの提出により完結）と定期試験（『manaba』上で行う）の参加とする。

▌フィードバック方法

講師への質問や要望、欠席連絡等は、講師への電子メールや学習支援システム『manaba』の個別指導コレクションを通じて行うことができる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業中における講師から聴講生への質問や学生間における討論）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし

▌参考書

Biology: A Global Approach、Global Edition、Molecular Biology of the Cell 第７版、ゲノム（Genomes）第４版等

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イダンス、および「生命」とは何か？ という問いに対する最初の考察** 授業内容：ガイダンス（本講義の目的と概要） 本講義の目的と概要についての説明。 「生命とはなにか？」について一緒に考察する。 事前学修 2.0hr：自分が知っている生命現象をまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
2 回	**授業テーマ：細胞の構造** 授業内容：細胞の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：細胞とは何かについて、自分の知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
3 回	**授業テーマ：細胞の機能** 授業内容：細胞の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：細胞内では一体何が起こっているのかを自分なりに考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
4 回	**授業テーマ：遺伝子とは何か？** 授業内容：遺伝子とは何か？ ついて一緒に考察する。 事前学修 2.0hr：現在の遺伝子に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
5 回	**授業テーマ：遺伝子 DNA の構造** 授業内容：遺伝子 DNA の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：自身の DNA に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
6 回	**授業テーマ：遺伝子 DNA の機能** 授業内容：遺伝子 DNA の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：DNA の働きに関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
7 回	**授業テーマ：タンパク質の構造** 授業内容：タンパク質の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：タンパク質の構造に関する知識について整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
8 回	**授業テーマ：タンパク質の機能** 授業内容：タンパク質の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：タンパク質の機能に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解

9回	**授業テーマ：細胞が環境を感じるしくみ** 授業内容：細胞が環境を感じるしくみについて学修する。 事前学修 2.0hr：細胞が環境を感じるしくみについてまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
10回	**授業テーマ：細胞が動くしくみ** 授業内容：細胞が動くしくみについて学修する。 事前学修 2.0hr：細胞が運動するためには何が必要かを考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
11回	**授業テーマ：がん細胞** 授業内容：がん細胞について学修する。 事前学修 2.0hr：がんとは何かを生物学的に考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
12回	**授業テーマ：幹細胞とは何か？** 授業内容：幹細胞や iPS 細胞とは何か？ とそれらの医学的、社会的意義について学修する。 また、これらの事を理解するために細胞分化についても学修する。 事前学修 2.0hr：幹細胞や iPS 細胞について事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
13回	**授業テーマ：多細胞体生物の特徴と構造** 授業内容：多細胞体生物の特徴と構造について学修する。 また、単細胞から多細胞への生物進化に必要な細胞機能とその意義を学修する。 事前学修 2.0hr：単細胞と多細胞の違いをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
14回	**授業テーマ：遺伝子と地球環境** 授業内容：遺伝子と地球環境との関わりについて討論する。 事前学修 2.0hr：遺伝子と地球環境についてまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
15回	**授業テーマ：「生命と遺伝子」についての討論** 授業内容：各人の専門分野と「生命と遺伝子」との関連についての討論 事前学修 2.0hr：自身の興味や専攻分野と生命あるいは遺伝子との関わりを考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義前と講義後で自身の遺伝子に対する考え方の変化をまとめる。

スポーツ科学講義 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

＜アスリートの科学＞
世界で活躍するアスリートの心・技・体に焦点を当てる。実在するアスリートやその実話をもとに「競技スポーツ」の知られざる全貌に迫る。いまや、トップアスリートにとってスポーツ科学の導入は、必要不可欠である。試合の結果のみならず、そこに辿りつくまでのプロセスも実に興味深い。これを知れば、スポーツを「みる」ときの楽しさが倍増するだろう。授業では、動画、スライド、資料を存分に活用し、「アスリートの科学」を学ぶ。授業は、アカディミックアプローチによる interacitve な対話形式で行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：競技スポーツを「みる」ことで「人生を歩んでいくためのヒントを得る」ことができるようになる。
個別目標：正解のない問いに挑む。

▌履修条件

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。
但し、特段の事情のある者は、担当教員に直接コンタクトをとること。
教科書の購入を必須とする。

▌評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
授業への参加姿勢・課題レポート・教科書の活用度・アカディミックアプローチ (50%) および最終アカディミックアプローチ or 最終レポート (50%) の結果に基づき、総合的に判断する。

▌フィードバック方法

講義時の質疑応答、次回講義冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教科書・授業資料を活用した対話(アカディミックアプローチ)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー（ライフ出版社）

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方および留意点 事前学修 2.0hr：講義概容を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：教科書　1 章・6 章・7 章・8 章・9 章を読み、授業内容の総論について、理解する。
2 回	**授業テーマ：スポーツを考える** 授業内容：競技スポーツとは 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「スポーツの力」について、自分の意見や考えをまとめる。
3 回	**授業テーマ：スポーツとアスリート** 授業内容：競技スポーツにおける science and art 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「競技スポーツにおける science and art」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
4 回	**授業テーマ：スポーツリテラシー** 授業内容：体育とスポーツの連続体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「体育とスポーツの連続体」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
5 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの心を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの心を」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
6 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの技を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの技」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
7 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの体力・運動能力を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの体力・運動能力」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
8 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの才能を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの才能」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
9 回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：走高跳びのイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「走高跳びのイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
10 回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：水着のイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「水着のイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。

11回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：陸上競技アンダーハンドパスのイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「陸上競技アンダーハンドパスのイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
12回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：ドーピングとアンチドーピング 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「ドーピングとアンチドーピング」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
13回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：テクノロジーの発達と人間の真価 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「テクノロジーの発達と人間の真価」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
14回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツ文化を知る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「スポーツ文化」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
15回	**授業テーマ：スポーツ科学リテラシー** 授業内容：人生を歩くヒントを得る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：スポーツ科学・アスリートから、人生を学ぶ

スポーツ科学講義 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆講義授業◆【映像に学ぶメディアとしての身体】～社会とともに変化する身体～（前学期 月１）
本講義では、人文・社会科学的な観点から、「医科学の発達、価値観の変化とともに多様化する身体の様相」に関して、”身体の現在”を考察していきます。主たる視点は、ネット時代の身体、人工化する身体、男としての身体・女としての身体、ジェンダー、生命の尊厳とは等。豊富なビデオ資料を見ていただきます。＃授業内容は進行状況・クラスの状況により前後・変更します。
＃この授業テーマは、2024 年度（後学期月曜１）の「スポーツ科学講義 B」と同じですので履修の際にはお気を付けください。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：人生の中で「身体」を広く豊かにとらえていく”柔らかい感性と思考力”を身につけることを目標にします。自分が考えたことを文章で表したり、他人の考えを理解することによって改めて自分で考えを深め、課題を追及する力を高めていきます。
個別目標：①現代社会における医療や人権等の社会的課題について注目することができる。
②自分を取り巻く環境において、身体と社会的課題をみつけることができる。
③多様な課題に対して、自ら考え、まとめ記述することができる。

▌履修条件

「考える」ことが好きな方、授業に積極的に参加してくださる方、お待ちしています。

▌評価基準・方法

評価は、毎回の授業時の記述（60 %）manaba 利用による事前・事後学修（40 %）を基礎に、相対的に成績をつけます。評価対象（D～S）となるには４/５（12 回）の出席が必要です。定期テスト期間のテストは予定しないので、毎回の授業課題にしっかり取り組んでください。

▌フィードバック方法

授業内容への意見や感想を授業メンバーと manaba のプロジェクト欄や manaba の小テスト欄を有効に利用しながら互いにコメントすることによって、授業課題や授業のフィードバックをしていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業中に manaba を利用しますので、スマホ、タブレット、PC 等をご持参ください。）

▌教科書

適宜、提示いたします。

▌参考書

適宜、提示いたします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション：授業の進め方　ネット時代　SNS　誹謗中傷** 授業内容：学習の進め方の説明。現代社会が抱える身体をめぐる課題の視点を説明し、授業全体を概観する授業です。身体は、科学技術の進歩によっていよいよ変化し、新しい生活スタイルが創造されていく可能性を持っています。さて、これからの身体と社会は？ 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する。 事後学修 2.0hr：授業中に記入したメンバーの全記述を読み、意見、評価を行う。
2回	**授業テーマ：ネット社会１：性の欲望　デジタル技術“解放”か“堕落”か** 授業内容：ネットの時代。AI の技術によっても“性欲のバーチャル化”が進み、新たな幸福感が生み出されつつあります。ネット社会と人間特有の「性の欲望」について考えてまいります。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェックする。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
3回	**授業テーマ：ネット社会２：オンラインカジノ 底知れぬ闇** 授業内容：オンラインカジノは、インターネットを通じて賭け事を楽しむことができる場所ですが、日本ではオンラインカジノは法律で禁止されています。無意識に巻き込まれてしまうネット社会の闇。考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
4回	**授業テーマ：身体を知る１：「テストステロンの真実～謎多き男性ホルモン～」** 授業内容：AI やデジタル化によって身体をめぐる環境はいよいよ変わってきています。しかしながら、生身の体は、そうは簡単にコントロールできません。特に男性の生活様式に大きな影響を与えている、男性ホルモンといわれるテストステロンについて、理解していきます。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
5回	**授業テーマ：身体を知る２：「生殖レース：受精までの闘い」** 授業内容：”精子と卵子”の出会いは、意外に大変。現在、結婚希望年齢は「29.4 才」、出産希望年齢は「30.9 才」とのこと。最近では、妊娠を望んでいてもなかなか妊娠できず、不妊に悩んでいる話も多くなっています。受精という視点から人って何だろう？ と改めて考えてみます。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
6回	**授業テーマ：身体を知る３：「女性の生殖メカニズム」を知る** 授業内容：男性と女性の体の違い。一般的には、生殖のメカニズムが大きく異なります。今回は、女性の身体と生活について、理解してみましょう。同時に、「社会的な性」という視点でジェンダーという言葉があります。多様性についても考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
7回	**授業テーマ：生命の意味１：「幸せのかたち　出生前診断の現場で」** 授業内容：出生前診断は、妊娠中におなかの赤ちゃんについて先天性の病気や形態の異常がないかを調べる検査です。最近は簡便に検査ができるようにもなってきました。女性の体に宿った命、赤ちゃんの命、命の選別への懸念。多面的に考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
8回	**授業テーマ：生命の意味２：性と人権：性加害、性的同意を考える** 授業内容：近年　社会の話題となっている性加害。事例を紐解きながら、互いの存在の尊厳について考えてまいりしょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

9回	**授業テーマ：生命の意味３：人の命を守る方法：こうのとりのゆりかご　アメリカの政治と中絶** 授業内容：望まれる妊娠、望まれない妊娠、生む女性の権利、赤ちゃんの人権。日本では、妊娠 21 週 6 日までは、医師の同意があれば中絶が合法的に行われていますが、中絶は多くの国で非常に議論の多い問題となっており、政治的な課題とも言えます。考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
10回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって１：尊厳死　安楽死(日本の場合)** 授業内容：人は自分の最後を決めることができるのか？ その１。現在の日本では、安楽死は認められていませんが、安楽死(または医師補助自殺)が合法とされている国や地域にはいくつかあります。基本的な知識を身に着けてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
11回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって２：尊厳死　安楽死 (海外の場合)** 授業内容：人は自分の最後を決めることができるのか？ その２。 世界では、安楽死の合法化に関して大きな動きがあります。オランダ, ベルギー(2002 年), ルクセンブルク:(2009 年) に安楽死が合法化されました。スイスでは、安楽死は明確には認められていませんが、自殺幇助は広く行われそのため、終末期の医療を考慮する日本人がスイスでその選択を求めることがあるようです。考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
12回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって３：脳死　移植医療** 授業内容：日本では脳死に関する認識によって、臓器提供者が少ない現状があります。人の死の定義について考えてみましょう。海外では臓器移植は自国の自給自足に務め、移植ツーリズムを禁止するといった流れもあります。移植医療について考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
13回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって４：死刑　生きること、生きる権利、そして法整備** 授業内容：人は人を裁くことができるのか？ 考えていきます。多くの諸外国が、死刑を実施しない傾向にあります。日本と世界の死刑制度とを比較しながら考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
14回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって５：サイボーグと人間、オーダーメイド・ベビー** 授業内容：ゲノム編集ってなにをすることでしょう。CRISPR-Cas 9(クリスパー・キャス・ナイン)とは？ どこまで人は人の身体を操作・改造してよいのでしょうか？ 考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
15回	**授業テーマ：まとめ－身体は 21 世紀に何が求められているのか？ 生きること、生きる権利　差別** 授業内容：人の命、生活、法律、、、多様性社会における人の存在について考えていきます。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

スポーツ科学講義 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

＜健康スポーツの科学＞
スポーツの魅力は、「する」ことにあるといってよい。もともとスポーツには、遊び感覚で身体を動かすこと、それ自体に楽しさがある。また、体力年齢の低下を緩やかにしたり、生活習慣病も予防できる。実際にスポーツを実践している人たちは、心身共に健康な生活を送るために、日常生活の限られた時間の中で、真剣に楽しみ一所懸命に遊んでいる。授業ではスライド、資料を存分に活用し、「健康スポーツ科学」を学ぶ。なお、本授業は、社会の情勢を鑑み、学生対応(対面・遠隔)を機動的に行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：健康スポーツを「する」ことで、人生を歩んでいくときに欠かせない健康と体力をキープしていくことの重要性が理解できる。また、生涯を通じて実践するスポーツ種目の KNOW HOW と、身体とスポーツとの関係についても考えることができる。そして、「わたしの健康スポーツ(種目)」について、まとめられる。
個別目標：正解のない問いに挑む。

▌履修条件

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。
但し、特段の事情のある者は、担当教員にコンタクトをとること。
教科書の購入を必須とする。

▌評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
授業への参加姿勢・課題レポート・教科書の活用度 (50%) および最終レポート (50%) の結果に基づき、総合的に判断する。

▌フィードバック方法

講義時の質疑応答、次回講義冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教科書・授業資料を活用した対話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー（ライフ出版社）

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方と留意点 事前学修 2.0hr：講義概容を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：教科書　1 章・2 章・3 章・4 章・5 章・9 章を読み、授業内容の総論について、理解する。
2 回	**授業テーマ：スポーツと健康・体力** 授業内容：運動不足と生活習慣病　健康と体力を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「運動不足と生活習慣病　健康と体力を考える」について、自分の意見や考え、思いをまとめる。
3 回	**授業テーマ：身体をつくる** 授業内容：スタミナのある身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「スタミナのある身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
4 回	**授業テーマ：身体をつくる** 授業内容：力強い身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「力強い身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
5 回	**授業テーマ：身体をつくる** 授業内容：しなやかな身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「しなやかな身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
6 回	**授業テーマ：身体を都整える** 授業内容：骨・筋肉　女性の「やせすぎ」にご用心 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「骨・筋肉　女性のやせすぎ」について、自分の意見や考えをまとめる。
7 回	**授業テーマ：身体を整える** 授業内容：脂肪　肥満を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「脂肪　肥満を考える」について、自分の意見や考えをまとめる。
8 回	**授業テーマ：身体を整える** 授業内容：水分　熱中症を予防する 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「水分　熱中症を予防する」について、自分の意見や考えをまとめる。
9 回	**授業テーマ：身体を動かす** 授業内容：代表的な有酸素系・フィットネススポーツ 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「代表的な有酸素系・フィットネススポーツ」について、自分の意見や考えをまとめる。
10 回	**授業テーマ：身体を動かす** 授業内容：楽しくスポーツをする 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「楽しくスポーツをする」について、自分の意見や考えをまとめる。

11回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツは文化　スポーツと健康寿命社会　スポーツとまちづくり 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「スポーツは文化　スポーツと健康寿命社会」について、自分の意見や考えをまとめる。
12回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：フィジカル・リテラシー 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「フィジカル・リテラシー」について、自分の意見や考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツの未来を育てる① 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「スポーツの未来を育てる①」について、自分の意見や考えをまとめる。
14回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツの未来を育てる② 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「スポーツの未来を育てる②」について、自分の意見や考えをまとめる。
15回	**授業テーマ：科学知を生活知へ** 授業内容：わたしの健康スポーツ(種目)の実践を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「わたしの健康スポーツ(種目)の実践を考える」について、自分の意見や考えをまとめる。

スポーツ科学講義 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆講義授業◆【映像に学ぶエンターテイメントの世界】～ステージとエンターテイメント産業～（後学期 月 1）

本講義は、ショービジネスやエンターテイメント産業の発展を社会の変遷（歴史）とともに理解していきます。ダンス、ミュージカルの発展、ウォルト・ディズニーの人生と偉業、ミュージックビデオの発展の歴史、伝統芸能、巨大なエンタメイベント（グラディエーター、オリンピック等）について取り扱います。エンタメ産業、その将来を考えてまいりましょう。

＃この授業内容は、2024 年度 (前学期月曜１)の「スポーツ科学講義 A」と同テーマですので、履修の際にはお気を付けください。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：舞台表現やエンターテイメントの発展の歴史を理解することによって、人間の「遊び」「欲望」「楽しさ」とは何かを考え,「今後、流行るエンターテイメントの要素とは？」の答えを求めていきます。多くの歴史的な映像から過去を学び、そして未来を見つけていきます。

個別目標：①古代ギリシャから現代までのエンターテイメント産業の歴史の概略を述べることができる。
②ウォルト・ディズニーの人生と偉業について語ることができる。
③人々の欲求と社会の関係を「楽しさ」「Play」の視点から考えることができる。

▌履修条件

舞台やパフォーマンスを楽しむ心をお持ちの方、お待ちしています。

▌評価基準・方法

評価は、毎回の授業時の記述（60 %）、manaba を利用した事前・事後学修（40 %）を基礎に、相対的に成績をつけます。評価対象（D～S）となるには 4/5（12 回）の出席が必要です。定期テスト期間のテストは予定しないので、毎回の授業課題にしっかり取り組んでください。

▌フィードバック方法

授業内容への意見や感想を授業メンバーと manaba のプロジェクト欄を使って共有し、manaba の小テスト欄を有効に利用しながら互いにコメントすることによって、授業課題や授業のフィードバックをしていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業中に manaba を利用しますので、スマホ、タブレット、PC 等をご持参ください。）

▌教科書

特段にありません。

▌参考書

適宜、ご紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：授業の説明、エンタメ産業、そして映像の世界** 授業内容：エンターテイメント産業とは？ どんなジャンルがあるのか？ 授業の全体を概観します。 事前学修 2.0hr：シラバスを理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
2 回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「ミッキーマウスの誕生」と 1920 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー（1901-1966）の生涯を理解してまいりましょう。その１　ミッキーマウスが誕生する 1920 年代。 事前学修 2.0hr：1920 年代のアメリカ社会を理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
3 回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「アニメーションのパイオニア」と 1930 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー（1901-1966）の生涯を理解してまいりましょう。その２　ディズニーといえばアニメーション！「白雪姫」誕生。 事前学修 2.0hr：1930 年代のアメリカ社会を理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
4 回	**授業テーマ：授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「戦争と混乱の時代」と 1940・50 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー（1901-1966）の生涯を理解してまいりましょう。その３　ウォルトも社会も戦争に影響され混とんとした年代。 事前学修 2.0hr：1940 年代　50 年代のアメリカ社会を理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
5 回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「"夢の国" ディズニーランド」と 1960 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー（1901-1966）の生涯を理解してまいりましょう。その４　夢の国の完成（1955）、そして、、、。 事前学修 2.0hr：1960 年代のアメリカを理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
6 回	**授業テーマ：エンターテイメントを創る！　東京ディズニーランド開園とディズニー作品の成長の秘密** 授業内容：東京ディズニーランドがどのように浦安の地に存在するようになったのか？、ディズニーの作品の成長の秘密も考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：ディズニー作品がヒットする秘密を考えてみる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
7 回	**授業テーマ：アート・芸術表現者の歴史を理解する** 授業内容：アート・芸術表現にかかわった人の歴史を紐解く。現代のアーティストのメッセージとは？ 事前学修 2.0hr：芸術表現者は社会にどのようなメッセージを残してきたのか考えてみる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
8 回	**授業テーマ：ダンスの歴史を知る「ザッツ・ダンシング！」と映画産業** 授業内容：映像産業の歴史を理解する。ダンスはいつごろからはじまった？ ダンスの発展について理解します。 事前学修 2.0hr：今流行っているダンスはどんなダンス？ ダンスの発展について考えてくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
9 回	**授業テーマ：ミュージックｖｉｄｅｏの登場：KING OF POP マイケル・ジャクソンと音楽の表現者たち** 授業内容：アーティスト（歌手・俳優等）の社会へのメッセージを読み解く：マイケル・ジャクソンは何を残したのか？ 事前学修 2.0hr：ご自身の好きなアーティスト（歌手・俳優等）の社会へのメッセージとは何か考えてくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
10 回	**授業テーマ：ミュージカル　ブロードウェイの展開とアメリカ社会** 授業内容：アメリカ社会でどのようにミュージカルが発展していくか？ 社会変化と表現・エンタメ産業の発展について理解します。 事前学修 2.0hr：代表的なミュージカル映画の名作を調べておく。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

11回	**授業テーマ：エンターテイメント産業とアニメ：アメコミの世界と日本のアニメ** 授業内容：アメリカンコミックスはどのように発展したのか？　社会状況の変化とともに理解していきます。 事前学修 2.0hr：日本におけるアニメの発展について調べてみる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
12回	**授業テーマ：近代オリンピックの歴史、そして東京オリンピック　そして。** 授業内容：エンターテイメントとしての大規模イベントの意義を考える：オリンピック・パラリンピックの社会的意義は？ 事前学修 2.0hr：オリンピック・パラリンピックの歴史をざっくり調べてくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
13回	**授業テーマ：新しいエンタメの方向性を模索する　コラボレーション企画** 授業内容：コロナ禍を経て、新しいエンタメの在り方はあるでしょうか？ その可能性に考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：いま注目しているエンターテイメントとは？ 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
14回	**授業テーマ：古典の伝承：歌舞伎　市川團十郎　そして新作歌舞伎** 授業内容：日本には、多くの古典芸能・伝統芸能があります。能(のう)・狂言(きょうげん)歌舞伎(かぶき)等々。特に日本の代表的な舞台作品として「歌舞伎」があります。近年では、アニメの題材を用いたり。変化する歌舞伎世界についても理解していきます。 事前学修 2.0hr：歌舞伎の映像を見てくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
15回	**授業テーマ：将来に残したい記憶・記録・出来事　まとめのテスト** 授業内容：後世に残したい記憶・記録・映像・出来事ってどんなことでしょう。過去を理解し、そして未来を紡ぐ。エンタメ世界の視点からまとめてまいります。 事前学修 2.0hr：将来に残したい記憶・記録・出来事をあげてみましょう。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

＜ビギナーズ ゴルフ＞

10～20 歳代のプロゴルファーの活躍によって、ゴルフのイメージは大きく変わりつつある。ウェアーも華やかになり、ゴルフ場でプレーする女性も増えている。「紳士の社交場」としての景色も変わり、いまや性別・年齢を問わず、多くの人々が、健康スポーツとしてゴルフを楽しむようになった。ゴルフは基礎からきちんと習うと、意外にも短時間で上達する。まずはクラブを握り、振ってみることから、ゴルフの面白さ体験してみる。なお本授業は、社会情勢を鑑み、授業内容に対して機動的な対応を行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：ゴルフが教養や趣味として、あるいは将来のために、役立つようにする。これから経験するであろうさまざまな場面(余暇、仕事の一環“つきあい・接待”としてなど)、ゴルフ場でプレーできる基本的なマナーや、技術などの初歩的な実践能力が身につく。また授業を通じて、相互の協働関係を築いていくことができる。

個別目標：ゴルフを健康スポーツとし実践するために、個々のレベルに応じた楽しみ方およびコミュニケーション能力を習得する。

▌履修条件

ガイダンスに出席し、教員の指示に従うこと(人数調整を行なうので必ず出席すること)。集合教室は、別途指示する。

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。但し、特段の事情のある者は、担当教員にコンタクトをとること。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

ゴルフに関する基本的な知識や技能の習得とそれに基づく実践の完成度 (50%) およびコミュニケーション能力 (50%) を総合的に判断する。

▌フィードバック方法

演習時の質疑応答、次回演習

冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業資料を活用した対話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料を配布する。

▌参考書

Lecture ゴルフの基礎

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方および留意点 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：授業計画について、確認する。
2回	**授業テーマ：「ゴルフとのつきあい方」を考える。** 授業内容：健康・趣味。社交・仕事など 事前学修 2.0hr：「ゴルフ」について、興味をもち、調べる。 事後学修 2.0hr：「ゴルフのつきあい方」について、自分の目標を明確にする。
3回	**授業テーマ：「ドライバー・アイアン・パターの性能」について、学ぶ。** 授業内容：道具の特性について 事前学修 2.0hr：「ゴルフの用具」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「ドライバー・アイアン・パターの性能」について、理解し、まとめる。
4回	**授業テーマ：クラブ(アイアン)を正しく握って、とりあえず振ってみる。** 授業内容：身体感性を高める 事前学修 2.0hr：クラブ(アイアン)を正しく握れるよう、調べる。 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
5回	**授業テーマ：スイング動作を学習する(正面・背後)。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用① 事前学修 2.0hr：スイング動作における身体の動かし方を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
6回	**授業テーマ：スイング動作を学習する(正面・背後)。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用② 事前学修 2.0hr：まちがいのないスイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
7回	**授業テーマ：スイング動作を撮影する(正面・背後)** 授業内容：思考脳と作業脳の活用③ 事前学修 2.0hr：まちがいのないスイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
8回	**授業テーマ：スイング動作を分析する(エラーの発見および矯正)。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用④ 事前学修 2.0hr：撮影された動画を繰り返し、再生する。 事後学修 2.0hr：スイング動作のエラーを理解する。
9回	**授業テーマ：スイング動作を完成する。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑤ 事前学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
10回	**授業テーマ：学内のグリーンで、“パター動作”経験する(パター)。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑥ 事前学修 2.0hr：パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング

11回	**授業テーマ：ゴルフ練習場で、“打ち放し”を経験する(アイアン・ドライバー)。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑦ 事前学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
12回	**授業テーマ：ゴルフ独特の「ルールやマナー」を学ぶ。** 授業内容：ルールとレギュレーション 事前学修 2.0hr：試合の進行に関するルールやマーナーについて、理解する。 事後学修 2.0hr：試合の進行に関するルールやマーナーについて、まとめる。
13回	**授業テーマ：宿泊形式で、ゴルフを実践する(ショート・コース)** 授業内容：コミュニケーション能力を養う① 事前学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
14回	**授業テーマ：宿泊形式で、ゴルフを実践する(ショート・コース)** 授業内容：コミュニケーション能力を養う② 事前学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
15回	**授業テーマ：「ゴルフ・人とのつきあい方」** 授業内容：非認知能力の向上 事前学修 2.0hr：ゴルフに関する知識・技能の確認、コミニュケーション能力とは 事後学修 2.0hr：ゴルフ・人とのつきあい方をまとめる

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆【リズムダンス＆コアトレーニング(基礎)】前学期 火 4 /水 3

ダンスしたい人、動ける身体を獲得したい人向けの講座。コアトレーニングで身体を刺激し、リズムに乗りながら多様な動きを学びます。特に、ダンスではタップダンスやカスタネットの技術を習得し巧みな身体を創っていきます。授業は「ストレッチ」→「コアトレーニング」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」と展開します。クラスのメンバーの状況に合わせた授業運営(内容)を行いますので、ダンスが苦手な方も安心して履修してください。お時間があれば後期もご受講ください。

●初回火曜 4（4/8)あるいは水曜 3（4/9)に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします(10 名～15 名程度)。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：リズムの学習を基礎に、多様なダンスの身体の動かし方を習得し、コアトレーニングの方法を学ぶことによって、個々のライフスタイルに合った、健康で美しい身体づくりと意識の向上を目標とします。仲間とコミュニケーションを図りながら、クラス全体でスキルアップしていきます。

個別目標：①基本的なリズムの取り方(動き)や、コア(体の中心軸)に焦点を当てた身体の動かし方ができる。
②身体の機能を知り、自らのボディーイメージを作り、活動することができる。
③クラスのメンバーと一緒に協力して、効果的な学習活動ができる。

▌履修条件

定員 10 名～15 名程度。希望者は、必ず初回授業、火曜 4（4/8)あるいは、水曜 3（4/9)に出席のこと。
初回に人数調整と明海クラブの入館名簿を作成いたします。
技術を習得する実技授業ですので、お休みすることなく一歩一歩積み重ねていきましょう。

▌評価基準・方法

評価は授業への参加姿勢(70 %)、クラス仲間とのコミュニケーション(20 %)や達成度(10 %)の比重を基本に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

manaba も有効に利用しながら　授業時の実技映像を共有して(フードバックして)、課題達成を進めていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （実際にスタジオで仲間同士支えあって課題の身体技術を習得する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス(人数調整)** 授業内容：中心課題：授業内容を確認し、明海クラブの収容人数に合わせて人数調整。名簿を作成。タップシューズサイズ合わせ。リズムの取り方の基礎を実施します。 事前学修 1.0hr：シラバスを確認する 事後学修 3.0hr：自分の目標課題を見つける。
2回	**授業テーマ：1：自分の体と向かい合うエクササイズ理論を習得** 授業内容：Ｕｐ(準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down（クールダウン)。 中心課題：明海クラブを利用して実際に動いてみる。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3回	**授業テーマ：2：ストレッチの理論とストレッチポールの使い方を習得** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→(タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス) down。 中心課題：ストリートダンスのリズムの基礎を学ぶ。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ(チューブ)。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4回	**授業テーマ：3：リズムを身体で刻む方法や身体のパーツの動かし方を習得** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down。 中心課題：ジャズのリズムの基礎を学ぶ。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ(ステップ台)。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5回	**授業テーマ：4：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習１：カスタネット技術基礎** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの基礎を学ぶ１。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ(スライドボード)。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6回	**授業テーマ：5：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習２：タップ技術基礎** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの基礎を学ぶ２。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ(チューブ 2)。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
7回	**授業テーマ：6：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習３：連続した動き** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの基礎を学ぶ３。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ(ステップ台 2)。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

8回	**授業テーマ：7：一連のダンスムーブメントを習得する１：シャッフルステップからサイドステップへ** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの一連の動きを学ぶ１。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ（チューブ 3）。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：8：一連のダンスムーブメントを習得する２：セビジャーナス 1 番** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの一連の動きを学ぶ２。用具を使ってコアトレーニング（ステップ台 3）。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：9：一連のダンスムーブメントを習得する３：K-pop 曲で踊る** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの一連の動きを学ぶ３。用具を使ってコアトレーニング（スライドボード 3）。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：10：ダンススキルを高める１：カスタネットテクニック** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの作品を学ぶ 1。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：11：ダンススキルを高める２：タップテクニック** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの作品を学ぶ２。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：12：ダンススキルを高める３：良い音を出すということ** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの作品を学ぶ３。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14回	**授業テーマ：13：仲間と踊る１：K-pop 曲とセビジャーナス** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：ダンス作品のクオリティを高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：14：仲間と踊る２：お互いに見せ合う** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→発表会→ down。 中心課題：ダンス作品を見せ合い、評価する。 事前学修 1.5hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 3.5hr：自分の課題を確認し、今後の目標をみつける。

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆【ダンス＆ストレッチ（基礎）】前学期 水 4

リズミカルなダンステクニックを学び、ストレッチでしなやかで強いボディづくりを目指す講座。

ヒップホップ、タップダンス、フラメンコ（カスタネット技術）等の多様なダンステクニックの基礎を習得し、および、身体を整えるストレッチの方法を学習します。授業は「ストレッチ」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」と展開します。お時間があれば後期もご受講ください。

●初回水曜 4（4/9）に指定の【教室】で、人数調整し名簿を作成いたします（10 名〜15 名程度）。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：自分の身体のイメージを創って、しなやかで強い身体づくりの基礎を学びます。特にこのクラスでは、多様なダンスの基本のテクニックを学ぶことを重視します。仲間とコミュニケーションを図りながら、スキルアップしていきましょう。

個別目標：①基本的なダンスのリズムを理解し、乗ることができる（カスタネットを奏でながら踊るテクニックも身に付ける。タップダンスの基礎を身につける）。

②体のストレッチやリラクゼーションの方法を理解し、実践できる。

③クラスのメンバーと一緒に協力して、効果的な学習活動ができる。

▌履修条件

定員 10 名程度。希望者は、必ず初します。回授業、水曜 4（4/9）に指定教室に出席のこと。

初回に人数調整と明海クラブの入館名簿を作成いたします。

技術を習得する実技授業ですので、お休みすることなく一歩一歩積み重ねていきましょう。

▌評価基準・方法

評価は授業への参加姿勢（70 %）、クラス仲間とのコミュニケーション（20 %）や達成度（10 %）の比重を基本に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

manaba も有効に利用しながら　授業時の実技映像を共有して（フードバックして）、課題達成を進めていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （実際にスタジオで仲間同士支えあって課題の身体技術を習得する）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします。

▌参考書

適宜、資料紹介いたします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：0：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：中心課題：授業内容を確認し、明海クラブの収容人数に合わせて人数調整。名簿を作成。タップシューズサイズ合わせ。リズムの取り方の基礎を実施します。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する。 事後学修 2.0hr：自分の目標を設定する。
2回	**授業テーマ：1：身体のパーツとストレッチ（1）足首・足・腰　骨盤の位置を正してしっかりした姿勢に** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down(クールダウン) 中心課題：明海クラブを利用して実際に動いてみる。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！。 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3回	**授業テーマ：2：身体のパーツとストレッチ（2）引き上がったおしりをつくる・おなかを引き上げる** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4回	**授業テーマ：3：身体のパーツとストレッチ（3）ももの内側と下腹部を引き締める・すっきりした背中に 。** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5回	**授業テーマ：4：ヒップホップ、ジャズ＆バレエ等のムーブメントで軽やかに（1）リズムにのって** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6回	**授業テーマ：5：ヒップホップ、ジャズ＆バレエ等のムーブメントで軽やかに（2）ステップを使って** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
7回	**授業テーマ：6：ヒップホップ、ジャズ＆バレエ等のムーブメントで軽やかに（3）バランスを使って** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！。 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8回	**授業テーマ：7：タップ＆カスタネットで軽やかに（1）リズムにのって** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：8：タップダンス＆カスタネットで軽やかに（2）ステップを覚えて** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

10回	**授業テーマ：9：タップダンス＆カスタネットで軽やかに（3）動きをつないで** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：10：タップダンス＆カスタネットで軽やかに（4）簡単な一連の動きで踊って** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：11：ダンス・コンビネーション（1）音楽を通して踊る** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：12：ダンス・コンビネーション（2）友達と合わせて踊る** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14回	**授業テーマ：13：ダンス・コンビネーション（3）演技を見せあう。** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：14：リズム感が良くなりましたか？ 表現力がつきましたか？** 授業内容：Up →発表会→ down。 中心課題：ダンス作品を見せ合い、評価する。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の目標を再度確認する。

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

（Sport in Life に挑戦）
健康管理の手段および生涯スポーツとしての身体活動について、考え実践する。身体活動（スポーツ）を、日常生活の中に採り入れる工夫を個々で行なう。「いかに楽しんで、身体を動かすか」によって、意外なほど簡単に身体活動（スポーツ）を実践できることを体得し、今後の健康・体力づくりに活かしていく。なお授業は、アカディミックアプローチによる interactive な対話形式で行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：健康・体力づくりのひとつの手段として、自分に合った運動種目を選定し、実践する。身体を動かすことの達成感や新しい自分とので出会いを経験する。また授業を通じて、相互の協働関係を築いていく。
個別目標：個々に応じた「運動習慣の確立」を目指す。

▌履修条件

ガイダンスに出席し、教員の指示に従うこと（人数調整を行なうので必ず出席すること）。集合教室は、別途指示する。
履修登録修正期間の登録は、原則認めない。但し、特段の事情のある者は、担当教員に直接コンタクトをとること。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。
健康スポーツに関する基本的な知識や技能の習得とそれに基づく実践の完成度 (50%) およびコミュニケーション能力 (50%) を総合的に判断する。

▌フィードバック方法

演習時の課題に対する指導、次回演習冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業資料を活用した対話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー（ライフ出版社）

▌参考書

必要に応じて資料を配付する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：授業計画について、確認する。
2回	**授業テーマ：「健康スポーツ」について考える。** 授業内容：健康体力 事前学修 2.0hr：「健康・体力」について、興味をもち、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツとのつきあい方」について、自分の目標を明確にする。
3回	**授業テーマ：「運動種目①」について、学ぶ。** 授業内容：一人で実践するスポーツとは 事前学修 2.0hr：「一人で実践するスポーツ」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「運動種目の特性」について、理解し、まとめる。
4回	**授業テーマ：「運動種目②」ついて、学ぶ。** 授業内容：複数で実践するスポーツとは 事前学修 2.0hr：「複数で実践するスポーツ」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「運動種目の特性」について、理解し、まとめる。
5回	**授業テーマ：「日常における活動量」を知る。** 授業内容：身体活動とは 事前学修 2.0hr：「身体活動」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
6回	**授業テーマ：「日常における活動量」を知る。** 授業内容：生活活動とは 事前学修 2.0hr：「生活活動」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
7回	**授業テーマ：「健康スポーツ種目の実践①」を考える。** 授業内容：適切な強度・時間・頻度とは 事前学修 2.0hr：「スポーツ種目」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
8回	**授業テーマ：「健康スポーツ種目の実践②」を考える。** 授業内容：適切な強度・時間・頻度とは 事前学修 2.0hr：「スポーツ種目」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
9回	**授業テーマ：「積極的に、動く①」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って個人の記録をとる① 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
10回	**授業テーマ：「積極的に、動く②」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って個人の記録をとる② 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
11回	**授業テーマ：「アプリケーションソフトを使って、動く①」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って、グループで記録をとる① 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「「アプリケーションソフトを使って、スポーツ・運動」を実践する。

12回	**授業テーマ：「アプリケーションソフトを使って、動く②」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って、グループで記録をとる② 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「アプリケーションソフトを使って、スポーツ・運動」を実践する。
13回	**授業テーマ：「フィジカルリテラシー①」を考える。** 授業内容：体育とは 事前学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」を実践する。
14回	**授業テーマ：「フィジカルリテラシー②」を考える** 授業内容：スポーツとは 事前学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」について、深める 事後学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」を実践する。
15回	**授業テーマ：「スポーツとのつきあい方」について学ぶ。** 授業内容：Sport in Life に挑戦 事前学修 2.0hr：「スポーツの意義」「健康・体力」について、再考する。 事後学修 2.0hr：スポーツと健康について、まとめる。

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆【リズムダンス＆コアトレーニング（基礎プラスα）】後学期 火 4 /水 3

ダンスしたい人、動ける身体を獲得したい人向けの講座。コアトレーニングで身体の中心軸（コア）を鍛え、リズムに乗りながら多様な動きを学び、身体のバランスを整えます。特にダンスではタップダンスやカスタネットの技術の習得を行います。前期の基礎とプラスαの内容となりますが、クラスのメンバーの技術状況に合わせた授業運営（内容）を行いますので、安心して履修してください。授業は、「ストレッチ」→「コアトレーニング」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」と進みます。

●後期初回授業火曜 4（9/16）、水曜 3（9/17）に指定教室（別途掲示）で人数調整と名簿作り（10 名～15 名程度）をいたします。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：リズムの学習を基礎に、多様なダンスの身体の動かし方を習得し、コアトレーニングの方法を学ぶことによって、個々のライフスタイルに合った、健康で美しい身体づくりと意識の向上を目標とします。仲間とコミュニケーションを図りながら、クラス全体でスキルアップしていきます。

個別目標：①基本的なリズムの取り方（動き）や、コア（体の中心軸）に焦点を当てた身体の動かし方ができる。
②身体の機能を知り、自らのボディーイメージを作り、活動することができる。
③クラスのメンバーと一緒に協力して、効果的な学習活動ができる。

▌履修条件

定員 10 名～15 名程度。希望者は、必ず初回授業火曜 4（9/16）あるいは水曜 3（9/17）に出席のこと。
初回に人数調整と明海クラブの入館名簿を作成いたします。
技術を習得する実技授業ですので、お休みすることなく一歩一歩積み重ねていきましょう。

▌評価基準・方法

評価は授業への参加姿勢（70 %）、クラス仲間とのコミュニケーション（20 %）や達成度（10 %）の比重を基本に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

manaba も有効に利用しながら　授業時の実技映像を共有して（フードバックして）、課題達成を進めていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （実際にスタジオで仲間同士支えあって課題の身体技術を習得する）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします。

▌参考書

適宜、資料紹介いたします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：0 ＋α：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：中心課題：授業内容を確認し、明海クラブの収容人数に合わせて人数調整。名簿を作成。タップシューズサイズ合わせ。リズムの取り方の基礎を実施します。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する。 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2回	**授業テーマ：1：自分の体と向かい合うエクササイズ理論を習得** 授業内容：Ｕｐ（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎のタップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→down(クールダウン)。 中心課題：明海クラブを利用して実際に動いてみる。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3回	**授業テーマ：2：ストレッチの理論とストレッチポールの使い方を習得** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎のタップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：ストリートダンスのリズムの基礎と応用を学ぶ。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ（チューブ）。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4回	**授業テーマ：3：リズムを身体で刻む方法や身体のパーツの動かし方を習得** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎のタップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：ジャズのリズムの基礎＆応用を学ぶ。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ（ステップ台）。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5回	**授業テーマ：4：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習１：シャッフルステップとフラップ** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎のタップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの基礎＆応用を学ぶ１。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ（スライドボード）。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6回	**授業テーマ：5：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習２：連続ターン** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの基礎＆応用を学ぶ２。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ（チューブ 2）。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
7回	**授業テーマ：6：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習３：タイムステップ** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの基礎＆応用を学ぶ３。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ（ステップ台 2）。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

8回	**授業テーマ：7：一連のダンスムーブメントを習得する１：セビジャーナス 1 番** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの一連の動き (基礎＆応用)を学ぶ１。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ（チューブ 3）。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：8：一連のダンスムーブメントを習得する２：セビジャーナス 2 番** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの一連の動き (基礎＆応用)を学ぶ２。用具を使ってコアトレーニング（ステップ台 3）。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：9：一連のダンスムーブメントを習得する３：K-pop 曲で** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの一連の動き (基礎＆応用)を学ぶ３。用具を使ってコアトレーニング（スライドボード 3）。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：10：ダンススキルを高める１：コンパクトに動く** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（応用技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの作品 (基礎＆応用)を学ぶ 1。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：11：ダンススキルを高める２：動きの繋ぎに気を付けて** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの作品 (基礎＆応用)を学ぶ２。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：12：ダンススキルを高める３：全体の動きの流れに抑揚をつける** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの作品 (基礎＆応用)を学ぶ３。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14回	**授業テーマ：13：仲間と踊る１：K-pop 曲とミュージカル曲で踊る** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：ダンス作品のクオリティを高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：14：仲間と踊る２：チームごとにお互い見せ合う** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→発表会→ down。 中心課題：ダンス作品を見せ合い、評価する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を確認し、今後の目標をみつける。

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆【ダンス＆ストレッチ（基礎プラスα）】後学期 水 4

リズミカルなダンステクニックを学び、しなやかで強いボディづくりを目指す講座。ヒップホップ、バレエ、タップダンス、フラメンコ（カスタネット技術）等の多様なダンステクニックを習得し、および、身体を整えるストレッチの方法を学習します。授業は「ストレッチ」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」と展開します。前期の基礎とプラスαの内容となりますが、クラスのメンバーの技術状況に合わせた授業運営（内容）を行いますので、安心して履修してください。

●後期初回水曜 4（9/17）に指定の【教室】で、人数調整し名簿を作成します。（10 名～15 名程度）。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、２回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：自分の身体のイメージを創って、しなやかで強い身体づくりの基礎を学びます。特にこのクラスでは、多様なダンスの基本のテクニックを学ぶことを重視します。仲間とコミュニケーションを図りながら、スキルアップしていきましょう。

個別目標：①基本的なダンスのリズムを理解し、乗ることができる（カスタネットを奏でながら踊るテクニックも身に付ける。タップダンスの基礎を身につける）。
②体のストレッチやリラクゼーションの方法を理解し、実践できる。
③クラスのメンバーと一緒に協力して、効果的な学習活動ができる。

▌履修条件

定員 10 名～15 名程度。希望者は、必ず初回授業水曜４（9/17）に指定教室に出席のこと。
初回に人数調整と明海クラブの入館名簿を作成いたします。
技術を習得する実技授業ですので、お休みすることなく一歩一歩積み重ねていきましょう。

▌評価基準・方法

評価は授業への参加姿勢（70 %）、クラス仲間とのコミュニケーション（20 %）や達成度（10 %）の比重を基本に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

manaba も有効に利用しながら　授業時の実技映像を共有して（フードバックして）、課題達成を進めていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （実際にスタジオで仲間同士支えあって課題の身体技術を習得します）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします。

▌参考書

適宜、資料紹介いたします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：0：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：中心課題：授業内容を確認し、明海クラブの収容人数に合わせて人数調整。名簿を作成。タップシューズサイズ合わせ。リズムの取り方の基礎を実施します。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する。 事後学修 2.0hr：自分の目標を設定する。
2回	**授業テーマ：1：身体のパーツとストレッチ（1）足首・足・腰　骨盤の位置を正してしっかりした姿勢に** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（基礎のタップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down（クールダウン）。 中心課題：明海クラブを利用して実際に動いてみる。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3回	**授業テーマ：2：身体のパーツとストレッチ（2）引き上がったおしりをつくる・おなかを引き上げる** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（基礎のタップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4回	**授業テーマ：3：身体のパーツとストレッチ（3）ももの内側と下腹部を引き締める・すっきりした背中に** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（基礎のタップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5回	**授業テーマ：4：ヒップホップ、ジャズ＆バレエ等のムーブメントで軽やかに（1）リズムにのって** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（基礎のタップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6回	**授業テーマ：5：ヒップホップ、ジャズ＆バレエ等のムーブメントで軽やかに（2）ステップを使って** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
7回	**授業テーマ：6：ヒップホップ、ジャズ＆バレエ等のムーブメントで軽やかに（3）バランスを使って** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8回	**授業テーマ：7：タップ＆カスタネットで軽やかに（1）リズムにのって** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

9回	**授業テーマ：8：タップダンス＆カスタネットで軽やかに(2)ステップを覚えて** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック(プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：9：タップダンス＆カスタネットで軽やかに(3)動きをつないで** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック(プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：10：タップダンス＆カスタネットで軽やかに(4)簡単な一連の動きで踊って** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック(プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：11：ダンス・コンビネーション(1)音楽を通して踊る** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック(プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：12：ダンス・コンビネーション(2)友達と合わせて踊る** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック(プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14回	**授業テーマ：13：ダンス・コンビネーション(3)演技を見せあう。** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック(プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：14：リズム感が良くなりましたか？ 表現力がつきましたか？** 授業内容：Up →発表会→ down。 中心課題：ダンス作品を見せ合い、評価する。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の目標を再度確認する。

ボランティア講義

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

小川 正純（おがわ まさずみ）

▌授業の概要

身近にできるボランティアから海外で活動するボランティアにどのようなものがあるかについ学ぶとともに、ボランティアの意義について考える。災害ボランティア、障がい者支援、地方創成・地域活性化や在日外国人への支援、国際的な活動をするボランティについて理解する。また、日本が開発途上国に協力した事例として取り上げ、ボランティアとして支援する活動を考える。本授業では、講義を基にグループワーク、プレゼンテーション(グループごと)を通じて、ボランティアのあり方について理解を向上させる。この授業は「国際貢献論」の内容と一部関連・重複する部分がある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：ボランティアのあり方と意義、実際にボランティアをする際に自分が考えて行うべき知識・スキルを身につける。

個別目標：1．ボランティアの意義や役割を説明できる。
2．どのようなボランティア活動が必要とされ、ボランティア自身が活動から何を得られるか理解する。
3．グループワーク、プレゼンテーション(グループごと)で他者と協力して課題に取り組み、気づきを得るとともに、自分の考えを説明できる。

▌履修条件

1．国内および海外で行うボランティアについて関心があること。
2．グループワーク、プレゼンテーションに積極的に参加できること。
3．毎回簡潔な課題レポートを提出できること。

▌評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎回のふりかえりレポート 45 %、授業内における参加姿勢及び発言など 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導(コレクション)などでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク 、グループディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 PC を利用してグループディスカッションで発表するメモとレポートを作成するので、PC を持参してください。 第 12 回、13 回の授業ではグループワークのまとめ、プレゼンテーション資料を、PC を利用して作成し、第 14 回、15 回の授業では、PC を用いたプレゼンテーションを行います。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクションとスーパーボランティアについて** 授業内容：講義の目的、授業、グループワーク、プレゼンテーションの進め方、到達目標、評価方法とともに、スーパーボランティア尾畠春夫さんについて解説した後、グループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読むとともに、尾畠春夫さんについて関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
2回	**授業テーマ：ボランティアとは何か** 授業内容：ボランティアの定義、必要条件、どのような活動があるかについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3回	**授業テーマ：ボランティアの歴史と社会との関わり** 授業内容：日本におけるボランティアの歴史とボランティアと社会の関わり、大学生としてできるボランティアの活動について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4回	**授業テーマ：援助する前に考えよう** 授業内容：ワークショップを通して、開発途上国でものやお金を送る援助、援助が現地に与える影響等について考える。その後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5回	**授業テーマ：阪神・淡路大震災と東日本大震災のボランティア** 授業内容：阪神・淡路大震災と東日本大震災を契機とした日本におけるボランティア活動の広がりについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：阪神・淡路大震災と東日本大震災の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6回	**授業テーマ：障がい者とボランティア** 授業内容：障がい者とボランティアの関係、障がい当事者主体によるボランティア、バリアフリー化について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：障がい者とボランティアの関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7回	**授業テーマ：ナホトカ号事故重油流出処理ボランティア** 授業内容：ナホトカ号事故重油流出処理の際のボランティア活動に関する課題と教訓について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：ナホトカ号事故重油流出事故の関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

8回	**授業テーマ：国際ボランティアについて** 授業内容：JICA 海外協力隊をはじめ海外で活動する国際ボランティアについて解説する。授業の中で、協力隊経験者の体験談を含む海外協力隊セミナーを実施する(予定)。 事前学修 2.0hr：関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
9回	**授業テーマ：地方創成・地方活性化のボランティア** 授業内容：地域・地方の現状と課題、地方創成・地方活性化の事例、地域おこし協力隊の活動について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：地方創成・地方活性化の関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
10回	**授業テーマ：ボランティア・コーディネーション** 授業内容：ワークショップを通してボランティア・コーディネーションの重要性と、「される側から見たボランティア」について考える。その後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：ボランティア・コーディネーションについての関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
11回	**授業テーマ：在日外国人を支援するボランティア** 授業内容：日本にいる外国人を支援するボランティアに関する課題及び支援の必要性と意義について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：在日外国人の現状についての関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
12回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備①** 授業内容：開発途上国でボランティア活動をする際の支援内容について学ぶ。グループワークにより支援内容と裨益効果を考え、第 14 回、15 回の授業で発表するプレゼンテーションの準備を行う。 事前学修 2.0hr：関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。 13 回
13回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの作成②** 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション①** 授業内容：プレゼンテーションは第 14 回と第 15 回の授業で分けて行う。プレゼンテーションを行い、全員で意見交換を行う。プレゼンテーション資料の発表は PC を利用し、パワーポイント、キャンバなどで行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション②** 授業内容：第 14 回授業に続き、プレゼンテーションを行い、全員で意見交換を行う。プレゼンテーション資料の発表は PC を利用し、パワーポイント、キャンバなどで行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：授業全体のふりかえり。レポート作成。

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

伊藤　直樹 (いとう　なおき)

▌授業の概要

本講義は、対話し、議論し、発表する授業です。映画や漫画や自分たちで決めたテーマを題材にして、それについてグループでディスカッションし、その結果をプレゼンテーションしたり、文章にしたりします。
受講生は最初は初対面ですが、他学部であっても、だんだんと知り合いになり、テーマをとおしての議論も深まります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：対話する力を養うことです。他人の話しを聞き、それに対して自分の考えを話す。そして自分の考え方を相対化し、深めてゆくことです。
そしてそれを文章にする。
個別目標：質問する力をつけることです。人の話を聞くときに、ただ聞くのではなく、質問するつもりで聞く。
そしてその質問を自分にも振り向けます。すると、考え方が深まります。そしてそれを文章にする。それが「考えること」になるのです。
この作業をあるテーマでおこなったり、「映画」でおこなったりします。

▌履修条件

ディスカッションし、対話し、プレゼンテーションすることが授業内容です。言語は日本語を用いますので、それに十分な日本語力があることが条件です。また人前で話すことになりますので、それができることも条件です。ただ、人前で話すのがあまり得意でない人は、この授業をとおして、それを身に付けるというふうに考えてもよいでしょう。

▌評価基準・方法

グループ討議報告レポート 60 %、授業貢献度 40 %です。
レポートは、課題として出されたものの 2 ／ 3 以上を提出しなければ、カウントされません。
「授業貢献度」とは、出席や授業での討論への自発的参加などです。「聞く」だけの受け身的態度では評価は下がってしまいます。
また、4／5以上の出席がないと単位は取れません。
課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌フィードバック方法

manaba を用いておこないます。
適宜、前回の授業を取り上げて、再び議論をします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループ討議・発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章は PC での作成を推奨しています。）

▌教科書

教科書として使用しませんが、次の書籍を参考にします。
梶谷真司『考えるとはどういうことか』幻冬舎新書
梶谷真司『書くとはどういうことか』飛鳥新社

▌参考書

関連する書籍、作品などは授業中に紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：講義内容の説明** 授業内容：講義内容について説明します。単位の取得の条件、授業の展開、心構えなどについての説明です。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：議論することなどについて、自分なりのイメージをつくる。
2回	**授業テーマ：自己紹介と質問ゲーム：自己紹介を質問ゲームを使って行います。** 授業内容：自己紹介を、質問ゲームで行います。紹介者に質問をしますが、よりよい質問のみが、紹介者によって答えられます。どのような質問をすれば、答えてもらえるかを考えながら質問します。 事前学修 2.0hr：自己紹介する内容を考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを書く
3回	**授業テーマ：哲学対話についての説明：哲学対話とはどのようなものかを説明します。またレポートの書き方についても説明します。** 授業内容：哲学対話について、紹介ビデオを観ながら説明します。哲学対話のテーマを決めます。 残った時間で、レポートの書き方についても説明します。 事前学修 2.0hr：哲学対話について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。
4回	**授業テーマ：第 1 回「哲学対話」：設定されたテーマについて、みなで議論します。** 授業内容：前回決めた哲学対話のテーマを、問いのかたちにし、それについて議論します。 事前学修 2.0hr：テーマについて予め、自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：議論したテーマについてエッセイ・レポートを書く
5回	**授業テーマ：前回の哲学対話の内容を文章にします。** 授業内容：文章を書くとはどういうことかを説明した上で、前回の哲学対話の内容を文章にする作業をします。 事前学修 2.0hr：テーマについて予め、自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを仕上げます。
6回	**授業テーマ：あるテーマについてレポートを作成する** 授業内容：課されたテーマについてレポートを作成します。 事前学修 2.0hr：テーマについてあらかじめ自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを仕上げる
7回	**授業テーマ：映画を観て、議論する　第 1 回：議論の題材となる映画を観ます。** 授業内容：映画を観て議論する作業をおこないます。 第 1 回目は、議論するテーマを示したうえで、映画鑑賞をおこないます。 事前学修 2.0hr：映画についての自分なりのイメージをもっておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入

8回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第１回続き：映画の続きを観ます。** 授業内容：前回の映画鑑賞の続きです。 すこし時間が余りますので、映画の内容についておさらいします。 事前学修 2.0hr：前回までの映画内容の確認 事後学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく
9回	**授業テーマ：映画を観て、議論する。第１回の続きです。：設定されたテーマについて議論します。** 授業内容：予め与えられていたテーマに沿って、映画について議論します。 事前学修 2.0hr：議論するテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：議論内容についての報告レポート作成
10回	**授業テーマ：ディベート：議論をディベート形式で行います。** 授業内容：ディベートを行います。 ディベートは、予め、賛成／反対の立場を決めたうえで、その立場から議論するものです。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：議論内容についての報告レポート作成
11回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第２回：映画鑑賞** 授業内容：映画を観て議論する作業をおこないます。 今回も、議論するテーマを示したうえで、映画鑑賞をおこないます。 事前学修 2.0hr：映画について自分なりのイメージをもっておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入
12回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第２回続き：前回の映画の続きを観る** 授業内容：前回の映画鑑賞の続きです。 すこし時間が余りますので、映画の内容についておさらいします。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入
13回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第２回：設定されたテーマについて議論する** 授業内容：予め与えられていたテーマに沿って、映画について議論します。 すこし時間を残して、次回の哲学対話のテーマを決めます。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポート
14回	**授業テーマ：第２回「哲学対話」：設定されたテーマについてみなで議論します。** 授業内容：決めてあったテーマについて議論をします。 事前学修 2.0hr：あらかじめテーマについて考えておきます 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを書く
15回	**授業テーマ：レポート講評会：前回書いたレポートを発表し、みなで講評します。** 授業内容：前回のテーマについてのレポートをみんなでもちより、講評会をします。 事前学修 2.0hr：前回書いたレポートを発表できるようにしておきます 事後学修 2.0hr：感想シートの提出

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）・**樋口　倫子**（ひぐち　のりこ）

▌授業の概要

この授業では、ウェルネスに焦点を当て、受講生が健康的な生活を送るための知識とスキルを身につけることを目指します。身体的、精神的、社会的な健康に関する理論や実践的なアプローチを学び、個人と社会のウェルネスを向上させるための戦略や戦術 (スキル)を探求します。また、最新のウェルネスに関する研究についてもダイアローグし、受講生の豊かな生き方の実践に役立てられる学びをします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：からだとこころと社会のウェルネスを理解し、日常生活に活かす実践力を身につける。

個別目標：・ウェルネスの基本概念を理解する。
・前向きな自己成長行動をとりながら、価値観の異なる他者とかかわるコミュニケーションを身につける。
・トータルウェルネスを実現しようとする前向きな生き方(生活態度・行動)を試行する。
・心身の関係を見直し、より豊かな人生のマネジメント能力を身につける。

▌履修条件

他者と共に学習し合う雰囲気を工夫できること。不得意な場合は、必ず相談のこと(一緒に考えます)。
履修者多数の場合、履修動機を基に履修者を決定する(最大受講人数 20 名程度)ため、第 1 回の講義に必ず出席すること (
人数調整を行う)。課外活動(フィールドワーク)に参加できること。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。質問や発言による講義への参加度(25 %)と、学習の成果物①講義ごとの小課題(50 %)、学習の成果物②最終レポート課題(25 %)により総合的に評価する。

▌フィードバック方法

講義終了時の質疑応答、次回講義冒頭での課題についての全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Think-Pair-Share Think-Group-Share　フィールドワーク　ダイアローグ　リフレクティング）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし

▌参考書

講義内で、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：1．このコースの学習の進め方をイメージする。 2．この講義では何を学ぶのかを理解する。 3．ウェルネスの基本的な概念を紹介する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：豊かな生き方について、イメージしてみる。
2 回	**授業テーマ：ウェルネス入門** 授業内容：ウェルネスの定義と基本的な原則について、理解する。 ウェルネスの多次元性(身体的・精神的・社会的)について理解し、気づきを Think-Group-Share で共有する。 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：ウェルネスの基本概念について、考えたことをまとめる。
3 回	**授業テーマ：大学生のウェルネス** 授業内容：・大学生の客観的健康観と主観的健康観について、理解を深める。 ・大学生のウェルネスの現状と課題について、理解を深める。 ・大学生のウェルネスに関する気づきを Think-Group-Share で共有する。 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：大学生のウェルネスについて、考えたことをまとめる。
4 回	**授業テーマ：自己理解と自己熟達①** 授業内容：ありのままで自分らしく生きる 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：自らの戦術と戦略について、考えたことをまとめる。
5 回	**授業テーマ：自己理解と自己熟達②** 授業内容：目標や夢は、自分知り、自分らしく生きる”緒(いとぐち)” 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：自らの目標や夢について、考えたことをまとめる。
6 回	**授業テーマ：ウェルネスダイアローグ①** 授業内容：前半の学びを Think-Pair-Share で、言語化する。 スモールグループでリフレクティング・トークにより、印象に残ったテーマについて、深める。 リフレクティング・トークの気づきを、全体でシェアする。 事前学修 1.5hr：ポートフォリオから、前半の学びを振り返り、気づきをまとめてくる。 事後学修 2.5hr：ウェルネスダイアローグでの気づきをまとめる。
7 回	**授業テーマ：からだのウェルネス①** 授業内容：豊かに生きるために欠かせない(自己実現の基盤となる)健康・体力 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：自らの健康・体力について、考えたことをまとめる。
8 回	**授業テーマ：からだのウェルネス②** 授業内容：健康的生活デザイン能力の獲得 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：フィジカルリレラシーについて、考えたことをまとめる。

9回	**授業テーマ：こころのウェルネス①** 授業内容：こころのセルフケア(レジリエンスとストレスマネジメント)の理論と実践を学ぶ。 セルフワークやペアワークで、ストレスマネジメントを体験する。 事前学修 1.5hr：これまでに、こころのセルフケアとして、自分なりにどのようなことをやってきたかを振り返る。 事後学修 2.5hr：こころのセルフケアを 1 週間続けてみる(トライアル)。その結果について、まとめる。
10回	**授業テーマ：こころのウェルネス②** 授業内容：・2 種類の問題対処力(ポジティヴ・ケイパビリティとネガティヴ・ケイパビリティ)について理解する。 ・ポジティヴ・ケイパビリティによる問題対処法について、セルフワークを通して身に着ける。 ・ネガティヴ・ケイパビリティによる問題対処法について、ダイアローグを通して、考える。 事前学修 1.5hr：ポジティヴ・ケイパビリティとネガティヴ・ケイパビリティに関する資料を事前に詠み、疑問点を明らかにしてくる。 事後学修 2.5hr：ポジティヴ・ケイパビリティとネガティヴ・ケイパビリティを日常の中で活用し、その事例についてまとめる。
11回	**授業テーマ：社会のウェルネス①** 授業内容：共生・協働は、自分のみならず、他者をも成長・進化させる 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：自由と他者への理解、協力者の存在意義について、考えたことをまとめる。
12回	**授業テーマ：社会のウェルネス②** 授業内容：・公正な社会(差別や抑圧のない社会)と多様性尊重社会について考える。 ・新しい社会における障害支援やピア・サポートを考える。 事前学修 1.5hr：日本や世界の多様性尊重社会の取り組みや背景について調べてくる。 事後学修 2.5hr：新しい社会における障害支援やピア・サポートに関する考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：トータルウェルネス(ウェルネスのまちを探索する)** 授業内容：・ウェルネスのまちを探索する(フィールドワーク) ・フィールドワークを通して、からだとこころと社会のウェルネスを実感する。 事前学修 2.0hr：ウェルネスのまちのコンセプトを調べる。 事後学修 2.0hr：フィールドワークでの気づきをまとめる。
14回	**授業テーマ：ウェルネスダイアローグ②** 授業内容：後半の学びを Think-Pair-Share で、言語化する。 スモールグループでリフレクティング・トークにより、印象に残ったテーマについて、深める。 リフレクティング・トークの気づきを、全体でシェアする。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオによって後半の学びを振り返り、気づきをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：ウェルネスダイアローグでの気づきをまとめる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：コース全体の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを 1 つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、ダイアローグによって、気づきを深める。 事前学修 1.5hr：ポートフォリオを振り返り、自らがウェルネスについて学んだ重要なテーマを 1 つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについてまとめてくる。 事後学修 2.5hr：ダイアローグでの気づきを踏まえて、自分にとってのウェルネスに関するレポートを仕上げる。

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆少人数トークゼミ◆【エンターテイメント文化研究ゼミ～米ディズニーの経営学を中心に～】(前学期 月2　/後学期 月2)

　このゼミでは、書籍「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法 (日経ビジネス人文庫) 」や「どんな人も活躍できる ディズニーのしくみ大全」を通じて米ディズニーの経営学の考え方を理解しながら、遊び文化の現在とエンターテイメント産業のこれからの可能性を、仲間とともにディスカッションしていきます。ディズニーに興味のある方、大歓迎します。初回に人数調整(12 名～15 名程度)を実施しますので必ず出席してください。初回授業　4 月 7 日 (月 2)、後期は、9 月 15 日 (月 2)。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：ゼミナール【Seminar】とは、 大学で、小人数の学生が集まり、教師の指導の下に自ら研究し、発表・討論を行う形式の授業のことです。書籍「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を紐解きエンターテイメントのマネジメントを理解し、同時に、催事・イベントを on-line 調査やフィールドワークすることによって、物事の分析力をつけ視野を広げてまいります。

個別目標：①アミューズメント産業やエンターテイメント産業の現状を述べることができる。
②米ディズニーの経営システムを理解し、応用の視点をもつことができる。
③仲間とともにテーマに沿って対話・ディスカッションし、プレゼンテーションができる。

▌履修条件

12 名～15 名程度。ディスニーが好きな方、エンタメ産業の経営について興味・関心が強い方、研究心が旺盛な方、大歓迎です。履修希望者は初回前期は、4 月 7 日 (月 2)、後期は、9 月 15 日 (月 2) に必ず出席してください。
少人数のメンバーで運営する授業ですので、お休みすることなく一歩一歩積み重ねていきましょう。

▌評価基準・方法

評価は授業への参加姿勢(60 %)、クラス仲間とのコミュニケーション(30 %)や達成度(10 %)の比重を基本に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

個人やグループでの発表を予定しているので、manaba のプロジェクトや小テスト機能を有効に利用しながら情報・意見交換や授業内容のフィードバックをしていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回メンバー同士のディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （発表担当者はプレゼン資料を作成し、プレゼンしていただきます）

▌教科書

適宜

▌参考書

「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法 (日経ビジネス人文庫) 」ディズニー・インスティチュート (著)
「どんな人も活躍できる ディズニーのしくみ大全」大住 力 (著)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：セレクション(人数調整)とミーティング** 授業内容：授業内容について確認します。人数が多い場合(12 名～15 名程度)は、志望動機などうかがって、適正な人数にいたします。メンバーが決定後、お互いの興味関心の情報交換をし、授業の展開について確認します。 事前学修 2.0hr：シラバスを理解してくる。 事後学修 2.0hr：自分の好きな分野の遊び文化の状況をリサーチする。
2回	**授業テーマ：遊びの文化とはなにか？ アミューズメント産業・エンターテイメント産業とはなにか？** 授業内容：「遊びの文化とは何か？ アミューズメント産業・エンターテイメント産業とはなにか？」についてディスカッションします。 平行して、テキスト「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法 (日経ビジネス人文庫) 」を配布しますので、テキストの勉強をスタートします。 事前学修 2.0hr：遊び(Play) の定義について考えてくる。 事後学修 2.0hr：遊びの定義をまとめる。
3回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る　その 1 (ミッキーマウスの誕生)** 授業内容：ディズニー研究には、ウォルト・ディズニーについて理解することが大切です。その 1 回目。ウォルト・ディズニー(Walt Disney、1901 年- 1966 年)とミッキーの誕生について。 平行してテキスト「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法 (日経ビジネス人文庫) 」の発表分担を決める。 事前学修 2.0hr：興味のある遊びネタ・話題を調べる。 事後学修 2.0hr：アミューズメント産業・エンターテイメント産業の広がりをまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
4回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る　その 2 (アニメーションの創造)** 授業内容：ディズニー研究には、ウォルト・ディズニーについて理解することが大切です。その 2 回目。ディズニーのアニメーション創造の卓越さについて。 平行してテキスト【第一章　サービスこそディズニーのすべて】の発表＆ディスカッション。 事前学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーの実績(作品)について調べてくる。 事後学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーの作品を観てくる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
5回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る　その 3 (混乱の社会で)** 授業内容：ディズニー研究には、ウォルト・ディズニーについて理解することが大切です。その 3 回目。戦争と表現。社会の混乱とウォルトの生きざまについて。 平行してテキスト【第一章　サービスこそディズニーのすべて】(つづき)の発表＆ディスカッション。 事前学修 2.0hr：ディズニー社の歴史的展開を調べてくる。 事後学修 2.0hr：ウォルトが残した格言について調べておく(発表担当はプレゼン資料を作成)。
6回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る　その4(ディズニーランドの建設)** 授業内容：ディズニー研究には、ウォルト・ディズニーについて理解することが大切です。その４回目。1955 年　いよいよ夢の国が開幕です 平行してテキスト【第二章　ゲストを知ることがマジックのはじまり】の発表＆ディスカッション。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：ウォルトの人となりをまとめておく(発表担当はプレゼン資料を作成)。

7回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(1)ゲストロジーとゲストとの約束** 授業内容：ディズニーリゾートの強みはなにか？ ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの強みはなにか？ について比較研究。 平行してテキスト【第二章　ゲストを知ることがマジックのはじまり】(つづき)の発表＆ディスカッション。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
8回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(2)第一印象** 授業内容：ディズニーに関する話題、イベントの話題等、メンバー同士で共有。 平行してテキスト【第三章　キャストが起こすディズニー・マジック】の発表＆ディスカッション。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
9回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(3)サービスのカスタマイズ** 授業内容：ディズニーに関する話題、イベントの話題等、メンバー同士で共有。 平行してテキスト【第三章　キャストが起こすディズニー・マジック】(つづき)の発表&。ディスカッション。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
10回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(4)セットとは** 授業内容：ディズニーに関する話題、イベントの話題等、メンバー同士で共有。 平行してテキスト【第四章　感動を体感してもらう空間づくり】の発表＆ディスカッション。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
11回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(5)効果と五感** 授業内容：ディズニーに関する話題、イベントの話題等、メンバー同士で共有。 平行してテキスト【第四章　感動を体感してもらう空間づくり】(つづき)の発表＆ディスカッション 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
12回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(6)ゲストの不満** 授業内容：ディズニーに関する話題、イベントの話題等、メンバー同士で共有。 平行してテキスト【第五章　ディズニー・マジックは入口から】の発表＆ディスカッション。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：担当するフィールドワーク研究対象の調査方法・段取りを考えてくる。
13回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(7)不満を解消する** 授業内容：ディズニーに関する話題、イベントの話題等、メンバー同士で共有。 平行してテキスト【第五章　ディズニー・マジックは入口から】(つづき)の発表＆ディスカッション。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
14回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(8)クオリティ・サービス** 授業内容：ディズニーに関する話題、イベントの話題等、メンバー同士で共有。 平行してテキスト【第六章　魔法のサービスを実現させる】の発表＆ディスカッション。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
15回	**授業テーマ：まとめ：ディズニー社はどこにいくのか？** 授業内容：全体を通じたまとめ。ウォルト・ディズニー(Walt Disney、1901 年- 1966 年)がなした功績と、ディズニー社が今後どのように発展していくのかについて、およびエンターテインメント産業の将来像についてディスカッション。 事前学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーとディズニー社の歴史・功績についてまとめてくる。 事後学修 2.0hr：アミューズメント＆エンターテイメント産業についてまとめる。

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆少人数トークゼミ◆【劇場文化研究ゼミ】ミュージカルを見に行こう！（前学期 火3 /後学期 火3）

　このゼミは、ミュージカルや 2.5 次元舞台、歌舞伎等の舞台表現を題材に、実際に舞台鑑賞を実践することによって、東西劇場文化の特徴や面白さを”語る”クラスです。昨年は「美女と野獣」「アナと雪の女王」「進撃の巨人」等の作品を鑑賞しました。書籍「2.5 次元舞台へようこそ ミュージカル『テニスの王子様』から『刀剣乱舞』へ」も読み進めながら、現在の舞台表現について考えていきます。演劇やミュージカル舞台・芸能・芸術等の表現が好きな方、大歓迎です。初回に人数調整（12 名〜15 名程度）を実施しますので必ず出席してください。前期初回は、4 月 8 日（火 3）、後期は、9 月 16 日 (火 3)。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：ゼミナール【Seminar】とは、 大学で、小人数の学生が集まり、教師の指導の下に自ら研究し、発表・討論を行う形式の授業のことです。ゼミ仲間と舞台や表現について語り、西洋と日本の舞台の特徴について理解し説明できる力、日本＆世界の文化を語る力を身につけます。

個別目標：①日本と西洋の舞台表現の歴史を知り、特徴を述べることができる。
②日本の文化と西洋の文化の発展の歴史を比較し、概略を述べることができる。
③仲間と協調して、フィールドワークを実施し、有効なプレゼンテーションができる。

▌履修条件

定員 12〜15 名程度。舞台・芸能・ダンスの経験者、好きな方、大歓迎！ です。
履修希望者は初回の人数調整に必ず出席してください。少人数のメンバーで運営する授業ですので、お休みすることなく一歩一歩積み重ねていきましょう。ゼミの中心であるフィールドワーク（観劇活動）にお金（チケット代）がかかります。大学の活動助成金に申請しますが、ある程度の出費があることを心に留めておいてください。

▌評価基準・方法

評価は授業への参加姿勢（60 %）、クラス仲間とのコミュニケーション（30 %）や達成度（10 %）の比重を基本に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

授業のほか、授業外で観劇活動をしていただきますので、manaba のプロジェクトや小テスト機能を有効に利用しながら情報・意見交換や授業内容のフィードバックをしていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回メンバー同士のディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （発表担当者はプレゼン資料を作成し、プレゼンしていただきます）

▌教科書

2.5 次元舞台へようこそ ミュージカル『テニスの王子様』から『刀剣乱舞』へ (星海社新書) 新書 （教員が用意します）

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：セレクション(人数調整)とミーティング** 授業内容：授業内容について確認します。人数が多い場合は、志望動機などうかがい、ディスカッションに適正な人数にいたします。メンバーが決定後、自己紹介および、どんな舞台（作品）を見に行きたいか意見交換。 事前学修 1.0hr：シラバスを確認する。 事後学修 3.0hr：鑑賞したい舞台情報を収集する。
2回	**授業テーマ：舞台の面白さとは** 授業内容：舞台にはどのような舞台があるのか？ 舞台の面白さとは何かをメンバー同士ディスカッション。どの舞台（作品）を見に行くかをそれぞれ仮決定する。 事前学修 2.0hr：最新の舞台情報を確認する。 事後学修 2.0hr：具体的に舞台鑑賞のスケジュールを確認する。
3回	**授業テーマ：西洋と日本の表現の特徴は？ 身体・思想・メッセージ** 授業内容：日本と西洋の舞台の違い、舞台表現の違いをメンバー同士ディスカッション。 平行して、テキスト「2.5 次元舞台へようこそ ミュージカル『テニスの王子様』から『刀剣乱舞』へ」を配布、勉強をスタート。 事前学修 2.0hr：最新の舞台情報を確認する。 事後学修 2.0hr：鑑賞したい舞台情報を集める（鑑賞作品が決定した人はチケットの手配を始める）。
4回	**授業テーマ：ミュージカルや 2.5 次元舞台が語る世界って？ 〜何を表現しているのだろう？** 授業内容：ミュージカル（歌、ダンス、演劇）の特徴や現在上演しているミュージカルについて理解し、作品テーマについてメンバー同士ディスカッション。 平行して、テキスト「2.5 次元舞台へようこそ ミュージカル『テニスの王子様』から『刀剣乱舞』へ」の発表担当を決める 事前学修 2.0hr：最新の舞台情報を確認する（発表担当者は発表資料を作成する）。 事後学修 2.0hr：鑑賞したい舞台情報を集める（鑑賞作品が決定した人はチケットの手配を始める）。
5回	**授業テーマ：ミュージカルや 2.5 次元舞台が語る世界って？ 〜今なにが上演されているのだろう？** 授業内容：ミュージカル（歌、ダンス、演劇）の特徴や現在上演しているミュージカルについて理解し、表現方法について考える。 平行して、テキスト「第 1 章　2.5 次元舞台とは」の発表とディスカッション。 ＃舞台鑑賞を終えた人から、随時　鑑賞活動プレゼンとレポート作成。 事前学修 2.0hr：鑑賞したい舞台情報を確認する（発表担当者は発表資料を作成する）。 事後学修 2.0hr：鑑賞したい舞台情報を集める（鑑賞作品が決定した人はチケットの手配を始める）。
6回	**授業テーマ：ミュージカルや 2.5 次元舞台が語る世界って？ 〜私たちは何を見に行こう？** 授業内容：実際に鑑賞するミュージカル（歌、ダンス、演劇）を決定し、作品（あらすじ、表現方法、見るべきシーン等）について考える。 平行して、テキスト「第 2 章　2.5 次元舞台の元祖であり最先端！ すべてはミュージカル『 テニスの王子様 』から始まった」の発表とディスカッション。 ＃舞台鑑賞を終えた人から、随時　鑑賞活動プレゼンとレポート作成。 事前学修 2.0hr：鑑賞したい舞台情報を確認する（発表担当者は発表資料を作成する）。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。

7回	**授業テーマ：歌舞伎が語る世界って？ ～何を表現しているのだろう？** 授業内容：古典舞台である歌舞伎についてその歴史や世界観についての理解。 平行して　テキスト「纛 3 章　2.5 次元舞台誕生前夜　宝塚『 ベルサイユのばら 』とミュージカル『 テニスの王子様 』の間に」の発表とディスカッション。 ＃舞台鑑賞を終えた人は、随時　鑑賞活動プレゼンとレポート作成。 事前学修 2.0hr：歌舞伎の舞台情報を調べる(発表担当者は発表資料を作成する)。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
8回	**授業テーマ：歌舞伎が語る世界って？ ～今なにが上演されているのだろう？** 授業内容：現在、上演されている歌舞伎舞台の舞台、有名な作品についてご紹介。。。。 平行して　テキスト「第 4 章　2.5 次元舞台の発展と革命　劇場から飛び出した舞台『 弱虫ペダル 』の誕生」の発表とディスカション。 ＃舞台鑑賞を終えた人は、随時　鑑賞活動プレゼンとレポート作成。 事前学修 2.0hr：歌舞伎の舞台情報を調べる(発表担当者は発表資料を作成する)。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
9回	**授業テーマ：活動の中間まとめ** 授業内容：前半授業の活動のふりかえり(個人活動状況確認) 平行して　テキスト「第 5 章　2.5 次元舞台の可能性を信じる役者たち」の発表とディスカッション。 ＃舞台鑑賞を終えた人は、随時　鑑賞活動プレゼンとレポート作成。 事前学修 2.0hr：舞台批評を調べる(発表担当者は発表資料を作成する)。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
10回	**授業テーマ：鑑賞した舞台の報告と分析(１)観客について** 授業内容：テキスト「第 6 章　2.5 次元舞台を観てみませんか」の発表とディスカッション。 ＃舞台鑑賞を終えた人は、随時　鑑賞活動プレゼンとレポート作成。 事前学修 2.0hr：舞台批評を調べる(発表担当者は発表資料を作成する)。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
11回	**授業テーマ：鑑賞した舞台の報告と分析(２)作品構成について** 授業内容：テキスト「第 7 章　2.5 次元舞台だけじゃない「刀剣乱舞 」という 、全方位のコンテンツ　」の発表とディスカッション。 ＃舞台鑑賞を終えた人は、随時　鑑賞活動プレゼンとレポート作成。 事前学修 2.0hr：舞台批評を調べる(発表担当者は発表資料を作成する)。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
12回	**授業テーマ：鑑賞した舞台の報告と分析(３)舞台表現について** 授業内容：テキスト「第 8 章　2.5 次元舞台を愛する受け手の視点 」という 、全方位のコンテンツ　」の発表とディスカッション。 ＃舞台鑑賞を終えた人は、随時　鑑賞活動プレゼンとレポート作成。 事前学修 2.0hr：舞台批評を調べる(発表担当者は発表資料を作成する)。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
13回	**授業テーマ：ディスカッション：西洋と日本の舞台の特徴と作品の構造性について** 授業内容：実際にフィールドワークした経験、および学んだ知識を踏まて、古典作品、現代作品の特徴や構造についてディスカッション。 ＃舞台鑑賞を終えた人は、随時　鑑賞活動プレゼンとレポート作成。 事前学修 2.0hr：舞台批評を調べる(発表担当者は発表資料を作成する)。 事後学修 2.0hr：西洋・東洋の作品構造について比較してまとめる。
14回	**授業テーマ：ディスカッション：これから注目される舞台とは？** 授業内容：現代求められている作品テーマや技法はどのようなものでしょうか？ メンバーでディスカッション。 ＃舞台鑑賞を終えた人は、随時　鑑賞活動プレゼンとレポート作成。 事前学修 2.0hr：舞台批評を調べる(発表担当者は発表資料を作成する)。 事後学修 2.0hr：これから流行る作品テーマをまとめておく。
15回	**授業テーマ：まとめ：今、舞台で何が起こっている？** 授業内容：ここ数年、コロナ禍で、舞台やライブのエンターテイメント業界は、この数年、不安定な状況でしたが、新しい可能性として、ネット社会が広がり、ネットを通じた表現の場も広がっています。今後のこれからの舞台はどのように発展していくでしょうか？ 事前学修 2.0hr：活動の成果をまとめる。 事後学修 2.0hr：今後楽しみな舞台を確認する。

ボランティア活動 A

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

国内における社会貢献活動（ボランティア活動）の成果に対して単位を認定する科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：自己実現に向け努力することができるよう、ボランティア活動という経験を通して、社会と向き合い、自分自身の今と将来を見極める能力を身につける。

個別目標：1　ボランティア活動を通じて、自ら考えて行動することができる。
2　ボランティア活動の経験から得た情報や意見を報告会等で積極的に交換し、自身の言葉で社会貢献活動の意義を説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

以下の 4 点の条件をすべて充たすこと。

1　ボランティア講習会（理論編・実践編）の受講
2　学外施設・団体等における 60 時間以上の活動
3　活動日誌と終了レポートの作成
4　ボランティア活動報告会への参加

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （活動日誌及び終了レポートの作成、活動報告会等で使用する。）

▌教科書

適宜指示する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ボランティア講習会(理論編)** 授業内容：ボランティアの理論を学ぶ 事前学修 2.0hr：ボランティアとは何かを調べる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを復習する
2回	**授業テーマ：ボランティア講習会(実践編)** 授業内容：ボランティアの実践を学ぶ 事前学修 2.0hr：ボランティアの心構えやマナーを調べる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを復習する
3回	**授業テーマ：ボランティア活動①** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者と打合せを行う 事後学修 2.0hr：打合せで確認した活動内容等をまとめる
4回	**授業テーマ：ボランティア活動②** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
5回	**授業テーマ：ボランティア活動③** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
6回	**授業テーマ：ボランティア活動④** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
7回	**授業テーマ：ボランティア活動⑤** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
8回	**授業テーマ：ボランティア活動⑥** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
9回	**授業テーマ：ボランティア活動⑦** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
10回	**授業テーマ：ボランティア活動⑧** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
11回	**授業テーマ：ボランティア活動⑨** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる

12回	**授業テーマ：ボランティア活動⑩** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
13回	**授業テーマ：ボランティア活動⑪** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：活動内容をレポートにまとめる 事前学修 2.0hr：活動内容を振り返り、レポート作成の準備をする 事後学修 2.0hr：作成したレポートを確認し、活動内容や活動を通じて感じたこと等が簡潔にまとめられているか確認する
15回	**授業テーマ：ボランティア活動報告会** 授業内容：これまでの活動成果についてプレゼンテーションする 事前学修 2.0hr：報告会に向けて発表の準備をする 事後学修 2.0hr：これまでの活動のまとめを行う

ボランティア活動 B

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

国外における社会貢献活動（ボランティア活動）の成果に対して単位を認定する科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：自己実現に向け努力することができるよう、ボランティア活動という経験を通して、社会と向き合い、自分自身の今と将来を見極める能力を身につける。

個別目標：1　ボランティア活動を通じて、自ら考えて行動することができる。
2　ボランティア活動の経験から得た情報や意見を報告会等で積極的に交換し、自身の言葉で社会貢献活動の意義を説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

以下の 5 点の条件をすべて充たすこと。

1　国際ボランティア団体主催の事前オリエンテーション等への参加
2　事前・事後学修を含み総活動時間 90 時間以上の活動
3　活動日誌と終了レポートの作成
4　国際ボランティア団体が発行したプログラム修了証明書の提出
5　ボランティア活動報告会への参加

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （活動日誌及び終了レポートの作成、活動報告会等で使用する。）

▌教科書

適宜指示する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ボランティア活動①** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者と打合せを行う 事後学修 2.0hr：打合せで確認した活動内容等をまとめる
2回	**授業テーマ：ボランティア活動②** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
3回	**授業テーマ：ボランティア活動③** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
4回	**授業テーマ：ボランティア活動④** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
5回	**授業テーマ：ボランティア活動⑤** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
6回	**授業テーマ：ボランティア活動⑥** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
7回	**授業テーマ：ボランティア活動⑦** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
8回	**授業テーマ：ボランティア活動⑧** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
9回	**授業テーマ：ボランティア活動⑨** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
10回	**授業テーマ：ボランティア活動⑩** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる

11回	**授業テーマ：ボランティア活動⑪** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
12回	**授業テーマ：ボランティア活動⑫** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
13回	**授業テーマ：ボランティア活動⑬** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：活動内容をレポートにまとめる 事前学修 2.0hr：活動内容を振り返り、レポート作成の準備をする 事後学修 2.0hr：作成したレポートを確認し、活動内容や活動を通じて感じたこと等が簡潔にまとめられているか確認する
15回	**授業テーマ：ボランティア活動報告会** 授業内容：これまでの活動成果についてプレゼンテーションする 事前学修 2.0hr：報告会に向けて発表の準備をする 事後学修 2.0hr：これまでの活動のまとめを行う

日本の歴史

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

野田　有紀子（のだ　ゆきこ）

▌授業の概要

高校まで「歴史」の授業を受けてきた皆さんは、「歴史」というと昔の年号や用語の“暗記”ばかりの学問という印象を持っているかもしれませんが、実は「歴史」という学問は、歴史上の出来事や人物や物品を通して、現代までの流れを“考える”ための学問です。また、日本の歴史を考えるためには、日本のことだけでなく、日本と海外との“交流”や“比較”という視点も重要です。この講義では日本の歴史、とくに古代 (飛鳥時代・奈良時代・平安時代) のなかで、皆さんが身近に感じられるようないくつかの具体的テーマをとりあげて、国内外の文献や絵画、地図や系図、遺跡や文化財の写真など、さまざまな歴史資料を用いて、多角的・視覚的に解説します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本の歴史に関するさまざまな資料を観察し、その背景を知ることにより、現代の日本の姿は、過去の歴史の流れの上に形成されてきたものであることを理解できるようにしましょう。また、海外との交流や、外国人からの視点、日本と海外との比較といった、国際的な観点からも日本を見る姿勢を養いましょう。

個別目標：①日本の歴史を理解するために、さまざまな歴史資料を観察して、その背景や価値を理解できるようになる。
②日本と海外との交流や比較といった国際的視野を身につけられる。

▌履修条件

特にありませんが、日本の歴史や文化に興味をもって授業にのぞんでください。

▌評価基準・方法

定期試験は実施しません。
毎回、授業後に manaba から事後課題(小テスト)を提出してもらうことによって、内容理解を確認します。
全 15 回分の事後課題(小テスト)の提出率・合計点、授業への参加姿勢を合わせて、総合的に評価します(100 %)。
＊原則として、5 分の 4 以上の出席を評価対象とします。
＊授業を欠席した場合でも、事後課題(小テスト)は必ず提出してください。
＊欠席した場合は、事後課題(小テスト)に加え、manaba から【欠席者★追加課題】を提出してください。出席扱いとします。(公欠の場合をのぞく)

▌フィードバック方法

事後課題(小テスト)のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。
＊質問などがあれば、manaba から連絡してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しません。
＊毎回の授業前に、manaba を通じて資料 pdf を配布しますので、各自ダウンロードして予習してください。

▌参考書

特に指定しません。
(ある場合は授業ごとに紹介します)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに〜文化財の基礎知識①保存と活用** 授業内容：この講義では、「日本の歴史」を学習する上で「史跡」や「国宝」といった、文化財をたくさん紹介します。そこで第 1 回目の今回は、ガイダンスとして、文化財の基礎知識を学んでいきましょう。 事前学修 2.0hr：興味のある文化財の内容について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
2回	**授業テーマ：文化財の基礎知識②飛鳥の史跡めぐり** 授業内容：前半は、「文化財保護法」での分類のうち「記念物」(史跡など)について説明します。後半では、飛鳥時代(592〜710)に宮都が置かれた「飛鳥」(奈良県明日香村)の史跡めぐりをしましょう。 事前学修 2.0hr：飛鳥時代のおもな舞台となった奈良県明日香村の地理や史跡について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
3回	**授業テーマ：古代の遷都〜律令国家への道** 授業内容：「歴代遷宮」の時代から、藤原京まで、古代の都の史跡をたどりながら、律令国家が形成されていく過程について学びます。 事前学修 2.0hr：古墳時代から飛鳥時代までの遷都や歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
4回	**授業テーマ：平城京遷都〜律令国家の成立** 授業内容：日本古代の「遷都」は、「律令国家の形成」と深い関係があります。今回は奈良の都「平城京」の史跡めぐりと、遷都の理由を学びます。 事前学修 2.0hr：平城京への遷都や律令・戸籍の施行など、奈良時代の歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
5回	**授業テーマ：平安京遷都〜千年の都** 授業内容：いよいよ平安京に到着です!!まず平安京へ遷都した過程と理由について学習します。さらに、平安宮跡が現在どのように保存されているか確認しながら、史跡めぐりをしましょう。 事前学修 2.0hr：平安京への遷都や、京都の地理や史跡について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
6回	**授業テーマ：〈計画都市〉平安京〜かたちとくらし** 授業内容：〈計画都市〉として建設された「平安京」が、遷都後しだいに、かたちを変えていった過程と理由について学びます。さらに、平安京での都市民のくらしをさぐりましょう。 事前学修 2.0hr：平安時代の歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
7回	**授業テーマ：日本古代の風俗と唐風化** 授業内容：『魏志倭人伝』や、人物埴輪に見える日本古代の風俗が、律令国家の形成とともに、どのように「唐風化」していったかを学びます。 事前学修 2.0hr：魏志倭人伝の内容や、遣隋使・遣唐使の役割について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。

8回	**授業テーマ：唐風文化から国風文化へ** 授業内容：９世紀までの唐風文化が、１０世紀から国風文化(かな文字・かな文学、衣装など)に発展していった過程を学習します。 事前学修 2.0hr：文学・衣装など、平安時代の国風文化について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
9回	**授業テーマ：天皇と貴族～藤原道長の時代** 授業内容：今回と次回は、平安貴族社会における「天皇と貴族との関係」がテーマです。今回の前半は、「貴族」を説明します。後半では、「藤原氏」(北家)が、どうやって貴族トップになったかを学びます。 事前学修 2.0hr：平安初期から摂関期までの政治の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
10回	**授業テーマ：古代の専門職～貴族社会をどう生きるか** 授業内容：平安時代中期までに、藤原氏北家本流が「公卿」の地位をほぼ独占していくなか、ほかの氏族や傍流はどうやって生き残っていったかを学習します。 事前学修 2.0hr：陰陽師や武士など、平安時代のさまざまな職業について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
11回	**授業テーマ：日本古代の子ども～誕生から成人まで** 授業内容：現代日本で行う「誕生～成人までの通過儀礼」は、平安時代(９世紀)から記録されています。今回は平安貴族家庭の通過儀礼を学習しましょう。 事前学修 2.0hr：子どもの誕生や成長に関する儀礼について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
12回	**授業テーマ：平安貴族女性の生活～教育と仕事** 授業内容：まず平安貴族家庭の男子と女子の教育の違いについて説明します。つぎに、貴族女性の仕事をテーマに、皇族・貴族に仕える侍女「女房」と、伊勢神宮の巫女「斎王」について習びましょう。 事前学修 2.0hr：紫式部や清少納言といった平安時代の女性について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
13回	**授業テーマ：欧米から見た日本①日本事情の伝播** 授業内容：今回と次回は、これまで学んできた古代の「唐風化」と比較するため、中世～近代の「欧米化」について学習します。今回は中世～近世の日本事情を、欧米人がどのように記録・報告したかを学びましょう。 事前学修 2.0hr：宣教師の来日や、江戸時代の鎖国と出島について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
14回	**授業テーマ：欧米から見た日本②文明開化と欧米化** 授業内容：１９世紀後半(江戸時代末期～明治時代初め)、訪日した欧米人が見た日本の風俗と、明治政府による風俗の欧米化政策を学びましょう。 事前学修 2.0hr：明治時代の文明開化について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
15回	**授業テーマ：おわりに～海外に流出した日本文化財** 授業内容：１９世紀後半以降、日本の文化財が軽視・廃棄され、海外に流出した背景と、それを防ぐための文化財保護の法律や政策について学習します。 事前学修 2.0hr：文化財保護の法律や制度について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。

国際関係論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

東　夢子（あずま　ゆめこ）

▌授業の概要

この授業の目的は多極化する世界に移行し、不確実性を増しつつある今日において、日本をめぐる国際関係を考え、日本の重要性を認識し、明日の国際関係を洞察する力を養うことにある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：今まで日本にとって、一番重要な国際関係ー日米関係、日英関係、日露関係、日韓関係、日中関係、日本と東南アジアの関係などを顧みることによって、先人の英知を学び、危機の状況下における物事の見方、考え方を身に付けることができる。

個別目標：未来の国際社会で活躍する時に必要な先見性、合理性、国際関係に対する分析力を身に付けるということを目標とする。

▌履修条件

学習する意欲のある者。自己学習の習慣を有する者。特に自分で調べることがレポート作成の上で重要なので、自己学習能力が是非とも必要である。

▌評価基準・方法

①期末テストの代わりに、毎回(合わせて 15 回)のレポート 50 %、レポートに必要な予備知識のアンケート 10 %と授業への参加 40%等で総合的に評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

②レポートの提出が 12 回以上でなければ、不合格となる。

③毎回のレポートに字数の規定(毎回、3 問の課題があり、1 問は大体 300 文字～400 文字)があり、極端に字数が少ない場合、評価不能とされることがあるので、ご注意ください。

④レポートの提出と質問へのフィードバックは manaba を経由する。

▌フィードバック方法

授業中で説明します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

岩下哲典著『近現代日本の国際関係』北樹出版 ISBN978-4-7793-0285-5 C3021

▌参考書

1、國史大辭典 /国史大辞典編集委員会編出版 東京：吉川弘文館 , 1979.3-1997.4

2、教科書の参考文献及び各授業中で流す DVD の内容に沿う学術論文と著作。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：江戸幕府の政治構造と授業スタイルについての説明。 事前学修 2.0hr：1820 年代から 1950 年までの日本をめぐる大事件について簡単に調べる。 事後学修 2.0hr：授業中で指示された歴史用語について調べる。
2回	**授業テーマ：日本とオランダの関係＝シーボルトと日本開国** 授業内容：シーボルトと日本開国 事前学修 2.0hr：シーボルトについて「國史大辭典」などで調べる。 事後学修 2.0hr：シーボルトの伝記を読む。
3回	**授業テーマ：日米関係(日米和親条約)** 授業内容：ペリー来航幕府が知っていた。 事前学修 2.0hr：ペリー来航前後の日本をめぐる世界情勢について調べる。 事後学修 2.0hr：老中阿部正弘について調べる。
4回	**授業テーマ：日米関係** 授業内容：(日米修好通商条約)＝通商か亡国か 。ハリスと幕府交渉の過程。 事前学修 2.0hr：ハリスについて調べる。 事後学修 2.0hr：安政の五か国条約について調べる。
5回	**授業テーマ：慶喜大政奉還ー松平春嶽の構想** 授業内容：立憲思想の日本に芽生える過程。 事前学修 2.0hr：松平春嶽と徳川慶喜について調べる。 事後学修 2.0hr：日本立憲制度導入の思想的な基盤と過程について調べる。
6回	**授業テーマ：外交立国いまだ死なず** 授業内容：函館政権と国際関係法 事前学修 2.0hr：榎本武揚について調べる。 事後学修 2.0hr：明治新政府と列強との関係について調べる。
7回	**授業テーマ：大久保利通暗殺の悲劇** 授業内容：廃藩置県と武士の反乱とその背景。 事前学修 2.0hr：大久保利通と明治新政府の課題について調べる。 事後学修 2.0hr：征韓論について調べる。
8回	**授業テーマ：銀行は人々のために 。** 授業内容：日本における銀行誕生の経緯 事前学修 2.0hr：渋沢栄一について調べる。 事後学修 2.0hr：日本の近代経済について調べる。また、前半 7 回分のレポートと 8 回分のコメントシートの提出を用意する
9回	**授業テーマ：日露関係と日英関係** 授業内容：日清戦争と日露戦争の背景 事前学修 2.0hr：日清戦争について調べる。 事後学修 2.0hr：当時の国際情勢と日韓関係について調べる。
10回	**授業テーマ：日中関係** 授業内容：満州事変及び日中戦争 事前学修 2.0hr：三国干渉について調べる。 事後学修 2.0hr：満州建国と日中戦争について調べる。

11回	**授業テーマ：日独関係** 授業内容：三国同盟の締結と当時の国際情勢 事前学修 2.0hr：松岡洋右と当時の国際情勢について調べる。 事後学修 2.0hr：当時の日独関係と日米関係について調べる。
12回	**授業テーマ：日米関係 ＝日米開戦を回避せよ** 授業内容：日米開戦前夜の国際情勢 事前学修 2.0hr：南進論について調べる。 事後学修 2.0hr：チャーチル及び蒋介石について調べる。
13回	**授業テーマ：日米関係＝ 現在日米関係の原点** 授業内容：マッカーサーと天皇との会見 事前学修 2.0hr：サンフランシスコ講和条約などについて調べる。 事後学修 2.0hr：戦後の占領政策とマッカーサーについて調べる。
14回	**授業テーマ：海上自衛隊はこうして生まれた。** 授業内容：海上自衛隊と戦前海軍 事前学修 2.0hr：日米安保条約の流れについて調べる。 事後学修 2.0hr：自衛隊の誕生と日本の軍事力について調べる。
15回	**授業テーマ：原爆の絵** 授業内容：原爆の投下について考える 事前学修 2.0hr：1 回目～14 回目のレポートを再確認する。 事後学修 2.0hr：戦争と原爆についての感想を書く。

国際貢献論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

小川 正純（おがわ まさずみ）

▌授業の概要

国際貢献や国際協力について、日本が開発途上国を支援する政府開発援助 (ODA) や NGO、民間団体が行う支援、持続可能な開発目標 (SDGs) など様々な観点から考える。日本が支援する技術協力プロジェクトのケーススタディおよびワークショップを通して、技術協力プロジェクトの選定や計画策定の方法について学ぶ。本授業は、講義を基にグループワーク、プレゼンテーション(グループごと)を通じて、国際貢献や国際協力についての理解を向上させる。なお、この授業は「ボランティア講義」の内容と一部関連・重複する部分がある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：開発途上国をはじめとする地球規模の問題と国際貢献の意義を理解し、国際貢献を実際に行うための知識・スキルを身につける。

個別目標：1．国際社会がどのような国際貢献や国際協力を行っているか説明できる。
2．開発途上国の様々な問題に最適な開発プロジェクトを選定し、計画を策定できる。
3．グループワーク、プレゼンテーション(グループごと)で他者と協力して課題に取り組み、自分の意見を説明できる。

▌履修条件

1. 開発途上国をはじめとする世界の国々がどのような問題を抱え、どのようにそれら問題を解決すべきかについて考えることに関心があること。
2. グループワーク、プレゼンテーションに積極的に参加できること。
3. 毎回簡潔な課題レポートを提出できること。

▌評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎授業の課題レポート 45 %、授業内における参加姿勢及び発言等 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導(コレクション)などでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 PC を利用してグループディスカッションで発表するメモとレポートを作成するので、PC を持参してください。 第 12 回、13 回の授業ではグループワークのまとめ、プレゼンテーション資料を、PC を利用して作成し、第 14 回、15 回の授業では、PC を用いたプレゼンテーションを行います。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクションと国際協力とは何かについて** 授業内容：講義の目的、授業、グループワーク、プレゼンテーションの進め方、到達目標、評価方法とともに、国際貢献とは何かについて解説する。授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
2回	**授業テーマ：日本の国際協力** 授業内容：日本が国際機関や他国から受けた援助と日本が行っている政府開発援助 (ODA) について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3回	**授業テーマ：「地球にやさしい」とは？** 授業内容：開発途上国の問題についてクイズ形式のグループワークを行う。その後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4回	**授業テーマ：国連平和維持活動 (PKO) について** 授業内容：国連平和維持活動 (PKO) の内容、参加する意義は何か、PKO 参加に関する世論などについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：PKO についての情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5回	**授業テーマ：持続可能な開発目標 (SDGs) について** 授業内容：持続可能な開発目標 (SDGs) の内容、特徴、目標、企業の SDGs の取り組み等について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：SDGs について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6回	**授業テーマ：世界の状況を知る** 授業内容：グループワークにより、世界がどのように変化しているか理解する。また、国際社会の取り組みと成果を知り「持続可能」の意味を考える。その後、グループディスカッションの結果をグループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：近年の国際会議と国際社会の取り組みについて関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7回	**授業テーマ：国際 NGO** 授業内容：日本及び海外の国際 NGO がどのような活動を行っているか、また NGO がどのように国際社会に貢献しているか解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：NGO の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習、レポート作成。

8回	**授業テーマ：フェアトレードについて** 授業内容：フェアトレードとはどのようなものかと意義、認証ラベル、普及状況、今後のフェアトレードの方向性について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：フェアトレードについての関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
9回	**授業テーマ：国際ボランティアについて** 授業内容：JICA 海外協力隊をはじめ海外で活動する国際ボランティアについて解説する。授業の中で、協力隊経験者の体験談を含む海外協力隊セミナーを実施する(予定)。 事前学修 2.0hr：関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
10回	**授業テーマ：一村一品運動の世界への広がり** 授業内容：大分県発祥である一村一品運動に関する世界への広がりについて、キルギス一村一品プロジェクトについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：キルギスと一村一品運動について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
11回	**授業テーマ：プロジェクトの選定と計画策定** 授業内容：グループワークにより、日本が協力する開発プロジェクトの種類や方法、計画策定の手法、評価する視点を養う。その後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：JICA や NGO が行う開発プロジェクトについて関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
12回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備①** 授業内容：開発途上国で技術協力をする際の支援内容について学ぶ。グループワークにより支援内容と裨益効果を考え、第 14 回、15 回の授業で発表するプレゼンテーションの準備を行う。 事前学修 2.0hr：関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。
13回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの作成②** 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション①** 授業内容：プレゼンテーションは第 14 回と第 15 回の授業で分けて行う。プレゼンテーションを行い、全員で意見交換を行う。プレゼンテーション資料の発表は PC を利用し、パワーポイント、キャンバなどで行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション②** 授業内容：第 14 回授業に続き、プレゼンテーションを行い、全員で意見交換を行う。プレゼンテーション資料の発表は PC を利用し、パワーポイント、キャンバなどで行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：授業全体のふりかえり。レポート作成。

民族と宗教

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

岩田　成就（いわた　しげなり）

▌授業の概要

「我々はどこから来たか？　我々は何者か？　我々はどこへ行くのか？」　このような問いに、現代の科学は必ずしも答えてはくれません。しかし、科学的知識をどう用い、この世界でどう生きていくかは、この問いにどう答えるかにかかっています。もし、この問いに答える営みを「宗教」ないしは「宗教性」と呼ぶなら、どのような「宗教」「宗教性」をもつかによって、現代の世界で私たちが出会うさまざまな取り組みは、大きな影響をうけるのではないでしょうか。科学技術の革新が飛躍的に進むこれからの社会で、生きる意味を問い、深みを持った生活を送るために、「宗教」について知り、「宗教性」への感受性を身につけていきたいと思います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：自分の生まれ育った文化やその基盤となる宗教について意識し、自覚的にとらえなおすこと。以外の民族の文化や考え方を知り、人間の多様性を受け入れ、他者を受容するとともに、自分自身を理解すること。

個別目標：「宗教」についての偏見を取り除き、「宗教」がどんな人間にも関わりのある普遍的な営みであることを理解すること。世界の主要宗教（仏教、キリスト教、イスラム教など）や日本人の宗教性についての基本的な理解を持ち、信仰をもつ人の気持ちを理解できるようになること。今日の社会における宗教をめぐる様々な問題について理解し、自分の意見を述べることできるようになること。自分以外の民族の文化や考え方を知り、人間の多様性を受け入れ、他者を受容するとともに、人間の宗教性一般について理解し、自らの宗教性について自覚的になること。

▌履修条件

とくにありませんが、上記のような問いを考えたことがある人、宗教や宗教が関わる問題に関心がある人、世界の歴史や世界の現在の情勢に関心のある人に受講していただきたいと思います。

▌評価基準・方法

期授業への積極的な取り組み（リアペ、コメント、質問など）（40%）、および最終授業日に行う試験（60 %）により評価する。

▌フィードバック方法

授業内容へのコメント、質問などをリアクションペーパー、コメントとして提出してもらい次の授業で回答したり、必要に応じて簡単な課題を出したりする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業で配布するプリントが教科書のかわりとなる。

▌参考書

授業で多くの文献を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：世界の文明と宗教** 授業内容：オリエンテーション／宗教復興説／宗教衰退説／宗教変容説 事前学修 2.0hr：[宗教」という言葉で自分が何を思い浮かべているか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえ
2回	**授業テーマ：日本人の宗教性** 授業内容：日本人は「無宗教」か／創唱宗教と自然宗教／神様と仏様（神仏習合） 事前学修 2.0hr：「初詣」に行ったことのある人は、それが「宗教」かどうかを考えておくといよい。行ったことのない人は、「墓参り」「お祭り」「クリスマス」などについてでもよい。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
3回	**授業テーマ：ヒンドゥー教** 授業内容：インド宗教史／ヒンドゥー教の神々／世界観と教え／生活規範／ショナリズム 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で、古代インドの歴史を復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
4回	**授業テーマ：仏教①** 授業内容：釈迦の生涯と教え 事前学修 2.0hr：自分の苦しみの原因は何か？ 考えておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
5回	**授業テーマ：仏教②** 授業内容：大乗仏教と密教 事前学修 2.0hr：「仏」と「菩薩」の違い、「成仏」と「往生」の違いについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
6回	**授業テーマ：仏教③** 授業内容：日本の仏教（国家仏教／鎌倉新仏教／江戸国家仏教） 事前学修 2.0hr：家の人に聞くなどして、自分の家の宗教が何かを調べ、自分がそれを受け継いでいくかどうかについて考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
7回	**授業テーマ：儒教と道教** 授業内容：中国人の死生観／儒教／道教／共産主義 事前学修 2.0hr：身の回りのもの、考え方、習慣などの中に、中国由来のものがないか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
8回	**授業テーマ：神道** 授業内容：神道の原型／神話の原型／神道の教え／神仏習合／様々な神道 事前学修 2.0hr：近くにある神社にどんな神さが祀られており、どんな由来のある神社かを調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
9回	**授業テーマ：ユダヤ教** 授業内容：「ユダヤ人」の歴史／ユダヤ教の聖典（TNK）と「旧約聖書」／ユダヤ教の教え 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で古代オリエントや古代イスラエルの歴史について確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる

10回	**授業テーマ：キリスト教①** 授業内容：イエスの教えとキリスト教信仰 事前学修 2.0hr：高校の歴史の教科書で古代ローマ帝国やキリスト教の発生などについて確認しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
11回	**授業テーマ：キリスト教②** 授業内容：キリスト教の歴史(カトリック、オーソドックス、プロテスタント) 事前学修 2.0hr：高校の歴史の教科書で「宗教改革」について確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
12回	**授業テーマ：イスラム教①** 授業内容：ムハンマドの生涯／「イスラム世界」の展開／「イスラム世界」の現状 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で、イスラム世界のはじまりついて確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
13回	**授業テーマ：イスラム教②** 授業内容：イスラムの教えと規範 事前学修 2.0hr：ムスリム(イスラム教徒)の人たちの生活や習慣について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
14回	**授業テーマ：宗教過激主義と現代社会** 授業内容：「オウム真理教」と「イスラム過激主義」 事前学修 2.0hr：「地下鉄サリン事件」(1995 年)や「9.11 同時多発テロ事件」について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
15回	**授業テーマ：試験** 授業内容：授業内容への把握を問う試験を行う。 事前学修 2.0hr：プリントやノートを読み返し、授業内容を振り返っておく 事後学修 2.0hr：授業全体をふりかえる

異文化コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

岡田　麻唯（おかだ　まい）

▌授業の概要

異文化コミュニケーションの概念や理論を学び、理解する。それらを用いて、日常の出来事から異文化コミュニケーションについて考え、異なる文化背景の人々と、より良いコミュニケーションをするにはどうしたらよいかを考える。本クラスでは、講義だけでなく、個人ワーク、ペアワーク、グループワークを通して、学びを深めていくため、積極的な参加が求められる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：異文化コミュニケーションの基礎概念を理解する
個別目標：①自己の価値観や考え方、コミュニケーションの取り方を理解し、異なる他者の世界を理解することができる
②社会的課題や身近な人間関係を振り返り、異文化コミュニケーションの理論を用いて分析できる

▌履修条件

①授業は毎回受講し、授業の終わりに振り返りシートを提出すること。
②授業中のペアワーク、グループワーク等に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

授業後の振り返りシート（40 %）、中間課題（30 %）、グループプロジェクト課題・プロジェクトの振り返りレポート（30 %）、
※なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

manaba、または授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （回によってペアワークおよびグループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （発表準備に利用。毎回の振り返りシートは、Google form 使用のため、PC もしくは携帯から記入、提出すること。）

▌教科書

特定の教科書はありません。必要資料は授業で配布します。

▌参考書

授業内で紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：シラバスの内容について説明する。学生同士の自己紹介と異文化コミュニケーションのケーススタディについて話し合う。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業全体の流れを確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：コミュニケーションとは何か** 授業内容：コミュニケーションの定義と特徴について学ぶ。異文化コミュニケーションとは何か知識を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：文化とは何か** 授業内容：文化の定義と特徴について学び、日本文化の特徴について考える。文化とコミュニケーションの関係について知識を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：自己とアイデンティティ** 授業内容：自己の価値観や物の見方に影響を受けた文化について、ペアワークで振り返る。社会的アイデンティティとは何かを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5回	**授業テーマ：非言語コミュニケーション①** 授業内容：非言語コミュニケーションとは何か。表情、アイコンタクト、ジェスチャー、空間と対人距離、時間の感覚など、文化によって捉え方にどのような違いがあるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
6回	**授業テーマ：非言語コミュニケーション②** 授業内容：表情、アイコンタクト、ジェスチャー、空間と対人距離、時間の感覚など、文化によって捉え方にどのような違いがあるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7回	**授業テーマ：コミュニケーション・スタイル①　コンテクスト、中間課題** 授業内容：ハイコンテクスト文化とローコンテクスト文化について知識を深め、コンテクストとコミュニケーションの関係性を理解する。中間課題を提出する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：コミュニケーション・スタイル②　３つのスタイル** 授業内容：アグレッシブ・パッシブ・アサーティブのコミュニケーション・スタイルの事例を学び、自己のコミュニケーション・スタイルの傾向を分析する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：カルチャーショックと異文化適応** 授業内容：カルチャーショックとは何か、その特徴と対処法について知識を深める。異文化適応プロセスについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：異文化センシティビティモデル①** 授業内容：異文化センシティビティモデルについて学ぶ。自文化優越主義ステージの特徴について知識を深め、ケーススタディを用いてグループで話し合いを行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

11回	**授業テーマ：異文化センシティビティモデル②** 授業内容：異文化センシティビティモデルの文化相対主義ステージの特徴について知識を深め、ケーススタディを用いてグループで話し合いを行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
12回	**授業テーマ：グループプロジェクトの準備①** 授業内容：グループに分かれて、プロジェクトの話しあいと資料作成の準備を行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：グループプロジェクトの準備②** 授業内容：異文化コミュニケーション場面で誤解が起きた事例を紹介し、これまで学んだ異文化コミュニケーションの理論を使って分析したことを、パワーポイントを用いてまとめる。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
14回	**授業テーマ：グループプロジェクトの準備③、プロジェクト提出** 授業内容：異文化コミュニケーション場面で誤解が起きた事例を紹介し、これまで学んだ異文化コミュニケーションの理論を使って分析したことを、パワーポイントを用いてまとめて、授業内に提出する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
15回	**授業テーマ：グループプロジェクトの振り返りレポート提出、異文化コミュニケーション・スキル(まとめ)** 授業内容：グループプロジェクトの自己評価と他者評価のレポート提出を行う。これまでの学びから、異文化コミュニケーションに必要な能力とは何か、また日常の人間関係において、それをどのように活かせるのかについて考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

日本語と日本文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生選択科目

川勝　麻里（かわかつ　まり）

▌授業の概要

宮崎駿（ジブリ）のアニメーションは、日本の文学と日本文化の背景を学べる宝庫です。アニメーションに引用されている「ダイダラボッチ」「笠地蔵」「猿蟹合戦」などの神話伝説や昔話を、リスニングとリーディングの力を育てることも意識しながら、学んでいきます。また、昔話や神話を読み解くことが、明治時代の日本になぜ民俗学として必要とされたのか、その後の高度経済成長期には、民俗学はどのように消費されていくのか。古来の画像をもとに水木しげるが作り出した妖怪のビジュアルや、神々が零落したものが妖怪だとする柳田國男の理解を通して、日本文化のありようも学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：柳田國男という日本を代表する民俗学者の仕事を、ひとつの日本文化の生成のあり方として捉え、世界各国との交流が日本の伝統文化の再発見につながったことを知る。

個別目標：妖怪とは何か、幽霊との違いを、日本文化のありようとして説明できるようになる。
また、日本の文学・文化を学びつつ、日本の古典や昔話・神話を読むことができるようになる。

▌履修条件

※当該言語（日本語）を母語とする学生は、履修できません。
同じ高度経済成長期の日本の文化を扱うので、「日本語と日本文化B（留）」とセットで受講することが望ましい。

▌評価基準・方法

授業内リアクションペーパー 40%と、期末テスト 60%で総合的に評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提とする。
課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

▌フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対してのコメントや回答を授業内でフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンはあれば便利だが、スマートフォンがあればよい。）

▌教科書

毎回、プリントを配布する。

▌参考書

授業内で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに（作業のためのガイダンス）** 授業内容：授業のガイダンス。 事前学修 1.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 3.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の学習計画を立てる。
2回	**授業テーマ：高度経済成長期の妖怪** 授業内容：日本の高度経済成長期の文化を学ぶ、というのがこの授業の目的なので、高度経済成長とは何かの説明、そして、そこに妖怪がどうかかわるのかを学ぶ。 事前学修 1.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 3.0hr：授業をふまえて、プリントをもう一度読み直す。
3回	**授業テーマ：水木しげると日本の妖怪** 授業内容：日本の妖怪研究の第一人者であり、妖怪というものに、私たちがよくしっているビジュアルを与えたのが、水木しげるなので、DVD をもとに、日本にはどういう妖怪がいるのか学ぶ。自分の国にいる妖怪とくらべながら、学んでもらう。 事前学修 1.0hr：自国の妖怪についてピックアップしてくる。 事後学修 3.0hr：プリントで妖怪のなりたちと時代背景を復習する。
4回	**授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(1)日本の高度経済成長で消えていく妖怪たち** 授業内容：日本の高度経済成長が、このアニメーションにどう反映しているのかを考えながら、高度経済成長で消えかかっている妖怪が、このアニメーションにでてくる意味について考える。 事前学修 1.0hr：妖怪とは何かを考えてくる。 事後学修 3.0hr：妖怪の民俗学的定義を踏まえて、トトロやマックロクロスケを理解する。
5回	**授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(2)柳田國男の『妖怪談義』** 授業内容：柳田國男による妖怪の学術的定義と、アニメーションに描かれている妖怪を比べてみる。柳田が定義したことを、しっかり守って、アニメーションが作られていることがわかる。「妖怪」と「幽霊」の違いは何かについても考える。 事前学修 1.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 3.0hr：「妖怪」と「幽霊」の違いを理解し、柳田民俗学が映画にどう反映されているかまとめる。
6回	**授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(3)「笠地蔵」「猿蟹合戦」と、中尾佐助の照葉樹林文化論** 授業内容：『となりのトトロ』には「笠地蔵」「猿蟹合戦」の２つの昔話が引用されています。私自身の研究ももとにしながら、昔話をまず読んで学び、そのうえで、アニメーションにそれらがどう生かされているのかを考える。 事前学修 1.0hr：自国の昔話を思い出してくる。 事後学修 3.0hr：アジア文化（照葉樹林文化）の中で昔話の話型を理解する。
7回	**授業テーマ：柳田國男と民俗学、授業の中間まとめ** 授業内容：中間まとめ。manaba による理解テスト (練習問題) なども取り入れる。※テスト実施回は授業進度の都合で、ずれることがある。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を復習してくる。 事後学修 2.0hr：文明開化と民俗学の発展について、また、同じ話でも語り手によって異なる「語りの自由領域」について、理解する。
8回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(1)『古事記』** 授業内容：『もののけ姫』のなかに出てくる大和王権と蝦夷の関係について、『古事記』の漫画と現代語訳をプリントで読みながら、学ぶ。 事前学修 2.0hr：プリントで『古事記』の現代語訳を読んでくる。 事後学修 2.0hr：日本の昔話や神話のルーツを理解する。
9回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(2)「花咲爺さん」** 授業内容：『もののけ姫』のなかで引用されている昔話「花咲爺さん」を読む。 事前学修 2.0hr：必要があれば各国語の『もののけ姫』を予習してくる。 事後学修 2.0hr：「花咲爺さん」の話が製鉄民の民話であることを理解する。

10回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(3)ダイダラボッチ** 授業内容：『もののけ姫』のなかで引用されている「ダイダラボッチ」の伝説について、プリントを読み、日本の土地のなりたちと、ダイダラボッチの関係、製鉄をおこなっている土地 (タタラ場) とダイダラボッチの関係について、考える。 事前学修 1.0hr：巨人伝説について調べてくる。 事後学修 3.0hr：日本各地でダイダラボッチの語られ方が違うことを理解する。
11回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(4)リスニングとまとめ** 授業内容：『もののけ姫』を民俗学から読み解くまとめ。※リスニングの実施回は授業進度やコロナの感染状況によって変更することがある。 事前学修 1.0hr：リスニングの予習。 事後学修 3.0hr：リスニングの復習。
12回	**授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(1)バブル崩壊** 授業内容：バブル崩壊について、アニメーションを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：必要があれば各国語の『千と千尋の神隠し』を予習してくる。 事後学修 2.0hr：物語の背景となるバブル崩壊について理解する。
13回	**授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(2)神々の零落と、日本の神話** 授業内容：テーマパーク建設のために埋め立てられたり、信仰されなくなったことで力を失った神々が、アニメーションにどのように描かれているのか読み解くとともに、日本の神話がどのように反映されているのかも読み解く。また、「妖怪」とは何なのかについて考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：神が零落して妖怪になっていくこと、日本神話の反映などを理解する。
14回	**授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(3)リスニングとまとめ** 授業内容：リスニングとまとめ。※リスニングの実施回は授業進度やコロナの感染状況によって変更することがある。 事前学修 2.0hr：リスニングの予習。 事後学修 2.0hr：リスニングの復習。プリントを整理しておく。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ。 事前学修 3.0hr：試験に備えた学習。 事後学修 1.0hr：試験問題の不明点の復習。

日本語と日本文化Ｂ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生選択科目

川勝　麻里（かわかつ　まり）

▌授業の概要

前期の「日本語と日本文化Ａ」で、高度経済成長期の日本文化を学んだことを生かし、後期は、映画を通して、高度経済成長期の文化を学ぶ。推理小説『点と線』、直木賞受賞作『江分利満氏の優雅な生活』、ＳＦ小説『日本沈没』を通して、〈日本人〉がどのような国民として描かれてきたかにも注目していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：映像も参考にしながら、高度経済成長期の文学や、高度経済成長期に新しく作り出された言葉について学ぶ。それとともに、終戦からオイルショックまでの日本の歴史や文化を知ることができる。

個別目標：日本を研究したり、日本を訪れたりした外国人が見た「日本人らしさ」とは何なのかを考えることができる。

▌履修条件

※当該言語（日本語）を母語とする学生は、履修できません。

「日本語と日本文化Ａ（留）」とセットで受講することが望ましいが、Ａを受講していなくても問題ない。

▌評価基準・方法

授業内の作業 40%とテスト 60%で総合的に評価する。授業内の作業のなかには、リアクションペーパーも含まれる。

5 分の 4 以上の出席を評価の前提とする。

課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

▌フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対してのコメントや回答を授業内でフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンはあれば便利だが、スマートフォンがあれば問題ない。）

▌教科書

毎回、プリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜、指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに** 授業内容：ガイダンス。 事前学修 1.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 3.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の授業計画を立てる。
2回	**授業テーマ：松本清張と芥川賞―『点と線』がブームを呼び起こすまでの軌跡** 授業内容：松本清張についての概説と、高度経済成長期より少し前の日本の文化が、『点と線』にどのようにかかわるのかを説明。 事前学修 1.0hr：新聞のドラマ欄で松本清張を探してみる。 事後学修 3.0hr：プリントで復習。
3回	**授業テーマ：1950 年代(1)松本清張『点と線』(昭和 32 年)―映画と単語ノート** 授業内容：分からない言葉を調べながら一緒にミステリー小説を読む。授業内で答え合わせする。小説に対応する場面の映画を見て、さらに理解を深める。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読み、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：単語ノートの復習。
4回	**授業テーマ：1950 年代(2)『点と線』―映画とクイズ** 授業内容：犯人を推理しながら、manaba の機能を使いながら理解度クイズをおこなう。※クイズの実施回は進度などによって変更することがある。 事前学修 2.0hr：プリントを読み、犯人は誰か推理してくる。 事後学修 2.0hr：東京駅「４分間の空白」のトリックを復習。
5回	**授業テーマ：1950 年代(3)『点と線』―まとめ** 授業内容：『点と線』では、犯人がなぜ犯罪を犯したのかという心理的な動機が描かれる。その動機を理解するとともに、そうした動機を描こうとすることじたいが、当時のミステリーでは新しく、松本清張によって新しい文学が作られたことを文学史的に理解できるようにする。 事前学修 2.0hr：プリントを読み、犯人がなぜ犯罪をおかしたのか、動機を考えてくる。 事後学修 2.0hr：文学史のなかの清張の役割を復習。
6回	**授業テーマ：団地とマイホームの時代(附：ニュース映像ＤＶＤ)** 授業内容：ニュース映像 DVD を見ながら、高度経済成長期の日本文化を理解できるようにする。サラリーマン人口が増えて専業主婦が誕生すること、光化学スモッグなどの公害が車社会の到来によって始まり、核家族が多数となり、団地が郊外につくられ、海外旅行が自由化され、パンダブームが到来し、万博開催に合わせて新幹線が開通し、電化製品をそろえてマイホームを作ることが理想とされ、特に庭つきの住宅が憧れとなるといった時代背景を理解できるようにする。 事前学修 2.0hr：６０～７０年代日本で普及した電化製品を調べてくる。 事後学修 2.0hr：高度経済成長の復習(サラリーマンと専業主婦誕生、公害、団地、核家族、交通戦争等)。
7回	**授業テーマ：山口瞳と直木賞―『江分利満氏の優雅な生活』が出来るまで** 授業内容：『江分利満氏の優雅な生活』の概説。エブリマン(everyman)という名前であり、平均的でどこにでもいるような日本人として描かれた主人公を通して、高度経済成長期の日本人の生活を学ぶ。電化製品の普及、サントリーという会社が海外旅行自由化に合わせて広告で発信していた情報や、文化的に果たした意義なども考える。 事前学修 2.0hr：直木賞について調べてくる。 事後学修 2.0hr：主人公(東西電機社員)と山口瞳の実際(サントリー社員)の違いを理解する。
8回	**授業テーマ：1960 年代(1)山口瞳『江分利満氏の優雅な生活』(昭和 37 年)―映画と単語ノート** 授業内容：映画「江分利満氏の優雅な生活」を見て理解を深めながら、サラリーマンと主婦、社宅、核家族として構成された小説のなかの家族像を、読み解いていく。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んで、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：サラリーマン＋主婦、社宅、核家族等の同時代的要素を理解する。

9回	**授業テーマ：1960 年代(2)『江分利満氏の優雅な生活』―映画とクイズ** 授業内容：プリントを読み映画で内容を確認。manaba の機能を利用して理解度クイズをおこなう。※クイズの実施回は進度などによって変更することがある。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：公害、交通戦争、団地生活の弊害がどのように描かれているか理解する。
10回	**授業テーマ：1960 年代(3)『江分利満氏の優雅な生活』―『菊と刀』の日本人論** 授業内容：アメリカ人による日本人理解として全世界で有名になった『菊と刀』を読みながら、日本人の平均的サラリーマンであり、なおかつ日本人論の典型的特徴をそなえた人物として江分利が描かれていることを理解する。キリスト教世界では人間の弱さを示す飲酒が日本では人間らしさとして許容されており、勤勉に生きる日本人の努力は、個人ではなく村や社会や国家のためのものであって、期待される人間であろうとするのが日本人だとするなど、『菊と刀』は鵜呑みに出来ない部分もあるが、小説にはそうした日本人論のステレオタイプがそっくり反映されていると思われるので、それを読み解いていくことで、当時の日本人の理想的な生活や憧れが何だったのかを考える。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：江分利満(everyman)が日本人の典型として描かれていることを日本人論から理解する。
11回	**授業テーマ：オイルショックと『日本沈没』** 授業内容：オイルショックについての説明をしたあと、オイルショックと『日本沈没』をめぐる世紀末ブームとの関係を考える。 事前学修 2.0hr：オイルショックについて調べてくる。 事後学修 2.0hr：オイルショックと『日本沈没』ブームの関係を理解し、７０年代日本をキーワードで記憶する。
12回	**授業テーマ：1970 年代(1)小松左京『日本沈没』―小松左京の紹介** 授業内容：高度経済成長期になぜこの小説が書かれたのか、万国博覧会のテーマ企画との関係や、田中角栄の『日本列島改造論』との関係について説明する。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んで、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：小松左京の仕事の総体を理解する。単語ノートを復習。
13回	**授業テーマ：1970 年代(2)小松左京『日本沈没』―映画と原作** 授業内容：小説公開当時に作られた特撮映画「日本沈没」を DVD で補助として見ながら、『日本沈没』を読む。国土を失った日本人が、外交上、文化上、どのように生きていけるのか、地球人として生きていくために何が必要かを小説から考えるとともに、そうしたテーマが、東京オリンピックや万国博覧会で世界に活躍し始めた日本人の世界的地位に関係があることを読み解いていく。また、国土開発と自然破壊のテーマについても考察する。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：『日本列島改造論』(国土開発)、万博の未来学、などのキーワードを理解して復習する。
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：50 年代、60 年代、70 年代、と 10 年ごとに授業を進めてきた。そのまとめと試験対策。 事前学修 2.0hr：これまでの授業をキーワードでまとめる復習作業をする。 事後学修 2.0hr：高度経済成長の様子が、授業で取り上げた小説にどのように描かれていたかをまとめておく。
15回	**授業テーマ：テストと振り返り** 授業内容：テストと振り返り。 事前学修 3.0hr：テストに備えた学習。 事後学修 1.0hr：テストの不明点の復習。

フランス語とフランス文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

馬越　洋平（うまこし　ようへい）

▌授業の概要

フランス語やフランス文化を学ぶ授業になります。フランス語については、発音や文法などの基礎的な学習から始めてゆきます。フランス語入門者のための授業です。グループワーク(アクティブラーニング)として、教科書を用いながら学生同士でフランス語の会話の練習なども実施します。この授業を受けることで、フランスを旅行するのに十分な語学力を身に着けることができるでしょう。また、いくつかのテーマに分けてフランス文化の講義も行います。フランス文化を様々なテーマから取り上げる予定です。半期で一区切りとなります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：・発音、文法などの初歩的なフランス語を身につけて、平易な表現を使えるようにする。
　　・文化、歴史、生活などの面から、フランスという国の特色を理解する。異文化への理解を育む。
個別目標：・フランス語の仕組みを理解し、あいさつ、自己紹介、注文など、簡単な日常会話ができる。
　　・フランスという国の特徴を、文化、歴史、生活などの面から理解し、説明できる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生、及びそれと同等の語学力(フランス語)を有する学生は履修できません。

▌評価基準・方法

試験(６０%)、授業の参加度(２０%)、課題提出(２０%)。これらを総合的に判断して成績が決まります。原則として５分の４以上の出席を前提条件とします。

▌フィードバック方法

授業や manaba を通して伝える。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

カフェ・フランセ<新装版>、ニコラ・ガイヤール (著), 加藤豊子 (著), 中川高行 (著), フロランス・容子・シュードル (著), 柳嶋周 (著)、朝日出版社、(初版２０１６年)

▌参考書

必須ではないが、フランス語の辞書を手に入れていることが望ましい。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、アルファベ** 授業内容：授業のガイダンスから始める。フランス語のアルファベの読み方を確認する。フランスの地理や、日本語のなかに溶け込んだフランス語を取り上げる。 事前学修 2.0hr：フランスについてイメージしておく 事後学修 2.0hr：フランス語のアルファベの復習
2回	**授業テーマ：母音の発音、子音の発音、リエゾン、アンシェヌマン** 授業内容：フランス語の発音の勉強をする。母音、子音をフランス語の単語を例に確認する。リエゾンやアンシェヌマンと言った発音上の現象を学ぶ。 事前学修 2.0hr：フランス語のアルファベの復習 事後学修 2.0hr：「これは何ですか？」などの確認した表現の復習
3回	**授業テーマ：発音のまとめ、「フランスのカフェ文化」** 授業内容：前回の授業で学んだ発音の規則を復習する。「フランスのカフェ文化」の講義を行う。フランス文化がカフェという場所を中心に育まれていった経緯を学ぶ。 事前学修 2.0hr：発音の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
4回	**授業テーマ：第１課　自己紹介と挨拶、主語人称代名詞と動詞「です」** 授業内容：自己紹介と挨拶の表現を学ぶ。そのために主語人称代名詞や動詞「～です」などの文法の確認から始める。具体的に会話文で練習する。 事前学修 2.0hr：発音の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、確認した表現を覚える
5回	**授業テーマ：第１課　国籍、数字、「フランスの年中行事」** 授業内容：引き続き、自己紹介と挨拶の表現を学ぶ。国籍や数字もフランス語で言えるようにする。「フランスの年中行事」を知ることで、フランス人の一年の営みを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：主語人称代名詞、動詞「です」の復習
6回	**授業テーマ：第２課　はいといいえ、職業・身分の表現、住んでいる場所を言う** 授業内容：フランス語で職業や身分を言えるようにする。はいといいえを用いた応答を学ぶ。「住む」という動詞を確認する。 事前学修 2.0hr：主語人称代名詞、動詞「です」の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、動詞「住む」の復習
7回	**授業テーマ：第２課　er 動詞、「フランスの美術」** 授業内容：er 動詞の活用を確認する。前回の授業で学んだ表現を用いて、学生同士で会話の練習をする。「フランスの美術」を、映像で主要美術館をめぐりながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：er 動詞の活用を覚える
8回	**授業テーマ：第３課　否定文、不定冠詞、注文する** 授業内容：名詞の性と数、否定文、不定冠詞などの文法の確認から始める。フランスのカフェで注文するのに必要な表現を学ぶ。学生同士で会話の練習をする。 事前学修 2.0hr：er 動詞の活用の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、否定文、不定冠詞の復習
9回	**授業テーマ：第３課　注文する、「フランスの小説」** 授業内容：注文の表現の練習を引き続き行う。「フランスの小説」の主要作品を紹介する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習

10回	**授業テーマ：第４課　動詞「持っている」、否定の de、疑問文** 授業内容：動詞「持っている」の活用を確認する。否定の de を学ぶ。フランス語の疑問文を学ぶ。身の回り品に冠詞をつけてみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、動詞「持っている」の活用を覚える
11回	**授業テーマ：第４課　年齢やメールアドレスを聞く、「フランス映画」** 授業内容：例文を参考に、年齢やメールアドレスを聞けるようにする。フランス映画史をたどりながら、重要な「フランス映画」を紹介する。 事前学修 2.0hr：動詞「持っている」の活用復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
12回	**授業テーマ：第５課　所有形容詞、疑問詞、形容詞の性と数、人物を描写する** 授業内容：「私の」「君の」などの所有形容詞を覚える。「誰」、「どこ」などの疑問詞を学ぶ。形容詞を用いて人物を描写してみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：所有形容詞、形容詞の性と数、疑問詞の復習
13回	**授業テーマ：第５課　人物を描写する、国名、「シャンソンを聴くⅠ」** 授業内容：前回の授業で学んだ文法を思い出しながら、人物を問い、人物を描写する練習をする。「シャンソン」の名曲を、フランス語で歌詞を読みながら聴く。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
14回	**授業テーマ：前期のフランス語の復習** 授業内容：フランス語の練習問題を解いて、前期に習ったフランス語の復習を行う。授業時間内に答え合わせと解説を行う。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した問題の復習
15回	**授業テーマ：「シャンソンを聴くⅡ」、まとめ** 授業内容：フランス語の歌詞を読みながら、シャンソンの名曲を聴く。前期の授業のまとめを行う。 事前学修 2.0hr：前回確認した問題の復習 事後学修 2.0hr：全体の復習

フランス語とフランス文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

西村　美穂（にしむら　みほ）

▌授業の概要

テクストの題名『 En tandem ！』は、ふたりで一緒に！ という意味です。フランス語会話、シャンソン(歌)、ポエム(詩)、映画などを鑑賞しながら、フランス語の音をたくさん聞き、みんなで一緒に、フランス語の音やフレーズを何度も何度も声に出し、友達と協力しながら、使えるフランス語を身につけていきましょう。まずは、Alphabet（アルファベ)から。

フランス語と英語の似ているところと違うところを考えながら、フランスの文化、そしてフランス語圏の文化についても理解を深めていきましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：フランス語圏の人に、フランス語で簡単な自己紹介ができるようにする。

個別目標：①フランス語の母音を理解し、フランス語圏の人に理解してもらえる発音を目指す。
②綴り字の規則を覚え、フランス語が読めるようにする。
③友達と協力しながら、使えるフランス語を覚える。
④フランスやフランス語圏の文化に触れてみる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生は履修不可。

▌評価基準・方法

評価基準・方法：平常点(小テスト課題等) 40 %、評価テスト 60 %

評価テスト：最終回 15 回目に行う。詳しくは授業中に指示する。

▌フィードバック方法

授業内、または学修支援システム manaba を使用。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Takenori Yogo ” En tandem! ”, Hakusuisya,2022.

▌参考書

教室にて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Salut! Ça va?** 授業内容：①ガイダンス　②フランス語の簡単な挨拶　③アルファベ　 La chanson de l’Alphabet 事前学修 2.0hr：フランス、フランス語圏について知っていることを、書き留めてくる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
2回	**授業テーマ：発音記号の読み方＆綴り字の読み方** 授業内容：①フランス語母音字の発音記号の読み方＆綴り字の読み方　②発音記号を見ながら正しい発音で、Alphabet　を発音する 事前学修 2.0hr：パリについて知ってることを、書き留めてくる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
3回	**授業テーマ：Bonjour. Un café, s’il vous plaît. ①　カフェで注文してみよう！** 授業内容：①挨拶　②名詞の性と数　③不定冠詞　④提示表現 事前学修 2.0hr：パリの成り立ちについて調べる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
4回	**授業テーマ：Bonjour. Un café, s’il vous plaît. ②　 En tandem ！** 授業内容：①聞き取り　②数字 事前学修 2.0hr：フランス人とは何か考えてくる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
5回	**授業テーマ：Je suis étudiant. ①　自分のことについて話してみよう！** 授業内容：①動詞être, avoir　②国名、国籍、言語 事前学修 2.0hr：テクスト予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
6回	**授業テーマ：Je suis étudiant. ②　 En tandem ！** 授業内容：①否定文　②疑問文 事前学修 2.0hr：テクスト予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
7回	**授業テーマ：Mon grand frère habite à Paris. ①　家族のことを話そう！** 授業内容：①-er 動詞　habiter, porter　②形容詞 事前学修 2.0hr：テクスト予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
8回	**授業テーマ：Mon grand frère habite à Paris. ②　 En tandem ！** 授業内容：①所有形容詞　②場所の表現 事前学修 2.0hr：テクスト予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
9回	**授業テーマ：J’aime beaucoup le cinéma. ①　趣味や好きなことについてやりとりしよう！** 授業内容：①-er regarder manger　②定冠詞 事前学修 2.0hr：テクスト予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
10回	**授業テーマ：J’aime beaucoup le cinéma. ②　 En tandem ！** 授業内容：①どうして？ 尋ねる、答える表現　②好き嫌い表現 事前学修 2.0hr：テクストの予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出

11回	**授業テーマ：Vous avez votre carte d'étudiant? ①　年齢や持ち物についていってみよう！** 授業内容：①体調を伝える表現　②年齢を伝える表現 事前学修 2.0hr：テクスト予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
12回	**授業テーマ：Vous avez votre carte d'étudiant? ②　En tandem ！** 授業内容：①数字　②疑問形容詞 事前学修 2.0hr：テクストの予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
13回	**授業テーマ：Je vais au musée du Louvre à vélo. ①　交通手段や行き先を伝えよう** 授業内容：① aller, venir, prendre　②位置を示す表現　③疑問代名詞 事前学修 2.0hr：テクストの予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
14回	**授業テーマ：Je vais au musée du Louvre à vélo. ②　En tandem ！** 授業内容：①非人称構文 Il y a　②前置詞の縮約 事前学修 2.0hr：テクストの予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：自己紹介をしてみる。 事前学修 2.0hr：学習内容総復習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出

フランス語とフランス文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

馬越　洋平 (うまこし　ようへい)

▌授業の概要

フランス語やフランス文化を学ぶ授業になります。前期に引き続き、文法を中心にフランス語の基礎を学んでゆきます。フランス語は入門レベルの授業です。グループワーク(アクティブ・ラーニング)として、教科書を用いて学生同士でフランス語の会話の練習なども行います。比較級など前期の授業よりもより発展した内容になります。この授業を受けることで、フランスを旅行するのに十分な語学力を身に着けることができるでしょう。また、様々なテーマから、フランス文化の講義も行います。半期で一区切りとなります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：・発音、文法などの初歩的なフランス語を身につけて、平易な表現を使えるようにする。
　　・文化、歴史、生活などの面から、フランスという国の特色を理解する。異文化への理解を育む。
個別目標：・フランス語の仕組みを理解し、あいさつ、自己紹介、尋ねる、注文など、簡単な日常会話ができる。
　　・フランスという国の特徴を、文化、歴史、生活などの面から理解し、説明できる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生、及びそれと同等の語学力(フランス語)を有する学生は履修できません。

▌評価基準・方法

試験(６０%)、授業参加度(２０%)、課題提出(２０%)。これらを総合的に判断して成績が決まります。原則として５分の４以上の出席を前提条件とします。

▌フィードバック方法

授業や manaba を通して伝える。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

カフェ・フランセ<新装版>、ニコラ・ガイヤール (著), 加藤豊子 (著), 中川高行 (著), フロランス・容子・シュードル (著), 柳嶋周 (著)、朝日出版社、(初版２０１６年)

▌参考書

必須ではないが、フランス語の辞書を手に入れておくことが望ましい。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、前期の内容の復習** 授業内容：授業についてのガイダンスを行う。教科書とプリントを用いて、前期に習ったフランス語の文法のおさらいをする。 事前学修 2.0hr：発音、動詞の活用などの復習 事後学修 2.0hr：確認した文法の復習
2回	**授業テーマ：第６課　これは何ですか？　物の位置を言う** 授業内容：定冠詞や場所を表す語句を学んで、物の位置を表せるようにする。「これは何ですか」というフレーズを使って会話してみる。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：「これは何ですか？」などの確認した表現の復習
3回	**授業テーマ：第６課　定冠詞、場所を表す語句、「フランスのことわざと名言」** 授業内容：前回に引き続き、場所の表現を応用して会話の練習を行う。場所の表現と定冠詞に親しむ。フランスの「ことわざ」と「名言」を取り上げて考察する。 事前学修 2.0hr：前回確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
4回	**授業テーマ：第７課　好みを言う、形容詞の位置、～があります** 授業内容：「～が好きです」という表現を学ぶ。好きなこと、その程度も言えるようにする。「～があります」などの重要表現も学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、確認した表現を覚える
5回	**授業テーマ：第７課　様々な好みを言う、「パリについて」** 授業内容：フランス語で好みを聞き、好みを言ってみる。文化講義として「パリ」について歴史や文化などの観点から学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：好みの表現や形容詞の位置について復習
6回	**授業テーマ：第８課　天気の表現、比較級、非人称構文** 授業内容：フランス語の天気を表す表現を学ぶ。非人称構文、比較級などの文法知識も習得する。学生同士で、フランス語で天気や洋服について話してみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
7回	**授業テーマ：第８課　色と洋服、「フランスの地方について」** 授業内容：洋服や色に関する表現に親しむ。実際に人・物を比較級で比べてみる。「フランス地方」の魅力を、様々な都市を取り上げて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：比較級の復習
8回	**授業テーマ：第９課　部分冠詞、中性代名詞、動詞「取る」と「する」** 授業内容：部分冠詞や中性代名詞を学ぶ。頻出動詞「取る」と「する」の活用を覚える。それらを会話文のなかで実際に使ってみる。 事前学修 2.0hr：比較級の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
9回	**授業テーマ：第９課　～をします、朝食をとる、「フランスの世界遺産」** 授業内容：「朝食に～をとる」などをフランス語で言えるようにする。パリから地方まで、「フランスの世界遺産」を中心に、映像などを用いて学ぶ。 事前学修 2.0hr：動詞「取る」、「する」の活用の復習 事後学修 2.0hr：朝食をとるなどの確認した表現の復習
10回	**授業テーマ：第１０課 ～に行く、中性代名詞 y** 授業内容：動詞「行く」を学ぶ。他の頻出動詞も学ぶ。動詞「行く」や中性代名詞 y を使って会話する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習

11回	**授業テーマ：第１０課　乗り物、曜日や場所、招待する、「ワインについて」** 授業内容：乗り物を使った表現や、曜日、場所を組み合わせて文を作ってみる。フランス語で招待できるようにする。フランス文化における「ワイン」の重要性を講義する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：動詞「行く」など確認した表現の復習
12回	**授業テーマ：第１１課　日常生活と時間の表現、代名動詞** 授業内容：フランス語の時間の表現について学ぶ。代名動詞を使えるようにする。日常生活を語るための表現を覚える。 事前学修 2.0hr：動詞「行く」などの確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：時間・代名動詞などの確認した表現の復習
13回	**授業テーマ：第１１課　時間の言い方、代名動詞、「シャンソンを聴くⅢ」** 授業内容：前回覚えた時間の表現や代名動詞などを用いて、一日を描写してみる。「シャンソンを聴くⅢ」では、前期と同様で、歌詞を確認しながらシャンソンの名曲を聴く。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：時間の表現、代名動詞の復習
14回	**授業テーマ：後期のフランス語の復習** 授業内容：後期のフランス語の内容をおさらいするために練習問題を解く。授業時間内に答え合わせと解説を行う。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した問題の復習
15回	**授業テーマ：「シャンソンを聴くⅣ」、まとめ** 授業内容：後期の授業のまとめを行う。「シャンソンを聴くⅣ」では、引き続き歌詞を確認しながら、シャンソンの名曲を聴く。 事前学修 2.0hr：前回確認した問題の復習 事後学修 2.0hr：全体の復習

フランス語とフランス文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

西村　美穂（にしむら　みほ）

▌授業の概要

フランス語とフランス文化Ａで使用したテクスト『 En tandem ！』を引き続き勉強します。この題名は、ふたりで一緒に！ という意味のフランス語です。フランス語会話、シャンソン(歌)、ポエム(詩)、映画などを鑑賞しながら、フランス語の音をたくさん聞き、みんなで一緒に、フランス語の音やフレーズを何度も何度も声に出し、友達と協力しながら、使えるフランス語を身につけていきましょう。まずは、フランス文化Ａで学習したフランス語の読みから。

フランス語と英語の似ているところと違うところを考えながら、フランスの文化、そしてフランス語圏の文化についても理解を深めていきましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：習得したフランス語を使って、フランス語圏を旅行できるようにする。フランス語圏文化への理解も深めたい。
個別目標：①フランス語圏の人に理解してもらえる発音を目指す。
②綴り字の規則を覚え、フランス語が読めるようにする。
③友達と協力しながら、フランス語を覚える。
④フランスやフランス語圏の文化に触れてみる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生は履修不可。
フランス語とフランス文化Ａを受講していることが望ましい。

▌評価基準・方法

評価基準・方法：平常点(小テスト課題等) 40 %、評価テスト 60 %
評価テスト：最終回 15 回目に行う。詳しくは授業中に指示する。

▌フィードバック方法

授業内、または学修支援システム manaba を使用。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Takenori Yogo ” En tandem! ”, Hakusuisya,2022.

▌参考書

ドラ・トーザン　『パリジェンヌのパリ 20 区散歩』　ポプラ社
S. リキエル　『ソニア・リキエルのパリ散歩』　集英社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：フランス語の読み方** 授業内容：①ガイダンス　②フランス語母音字の発音記号の読み方 事前学修 2.0hr：フランス語圏について知っていることを書き出す。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
2 回	**授業テーマ：発音記号＆綴り字の読み方** 授業内容：①フランス語の綴り字の読み方　②発音記号を見ながら正しい発音 事前学修 2.0hr：ヨーロッパのフランス語について調べてみる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
3 回	**授業テーマ：D'habitude, je me couche à 1 heure. ①　毎日の習慣について話そう！** 授業内容：①題名動詞　②毎日の習慣 事前学修 2.0hr：北米のフランス語について調べてみる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
4 回	**授業テーマ：D'habitude, je me couche à 1 heure. ②　 En tandem ！** 授業内容：①時刻の表現　②天候の表現 事前学修 2.0hr：カリブ海地域のフランス語圏について調べてみる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
5 回	**授業テーマ：On va aller au café près de la gare!　①　人を誘ってみよう** 授業内容：①近接未来　②近接過去　③部分冠詞 事前学修 2.0hr：マグレブのフランス語圏について調べてみる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
6 回	**授業テーマ：On va aller au café près de la gare! ②　 En tandem ！** 授業内容：①不定代名詞　②時をあらわす表現 事前学修 2.0hr：ブラックアフリカのフランス語圏について調べてみる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
7 回	**授業テーマ：Il est moins cher que cette robe. ①　複数のものを比べよう！** 授業内容：①形容詞の比較級　②形容詞の最上級 事前学修 2.0hr：東南アジアのフランス語圏について調べてみる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
8 回	**授業テーマ：Il est moins cher que cette robe. ②　 En tandem!** 授業内容：①可能、許可、依頼の表現　②四季 事前学修 2.0hr：東南アジアのフランス語圏について調べてみる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
9 回	**授業テーマ：Alors,je la prends. ①　買い物をしよう** 授業内容：①直接目的語代名詞　②間接目的語代名詞 事前学修 2.0hr：太平洋のフランス語圏について調べてみる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出

10回	**授業テーマ：Alors,je la prends. ②　En tandem ！** 授業内容：①好みを表す表現　②数字 事前学修 2.0hr：フランコフォニー組織について調べてみる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
11回	**授業テーマ：Qu'est-ce que tu as fait demanche dernier?　①　自分の体験や過去のことを話そう！** 授業内容：①西暦　②時をあらわす表現 事前学修 2.0hr：テクスト予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
12回	**授業テーマ：Qu'est-ce que tu as fait demanche dernier? ②　En tandem ！** 授業内容：①複合過去　②過去分詞 事前学修 2.0hr：テクストの予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
13回	**授業テーマ：Écoutez et parlez beaucoup français! ①　アドバイスができるようになろう** 授業内容：①「〜から〜まで」の表現　②「どうやって」「どんな」を尋ねる表現 事前学修 2.0hr：テクストの予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
14回	**授業テーマ：Écoutez et parlez beaucoup français! ②　En tandem!** 授業内容：①序数　②非人称構文 Il faut ③　命令法 事前学修 2.0hr：テクストの予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：自分のことをフランス語で話してみよう！ 事前学修 2.0hr：テクスト総復習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出

ドイツ語とドイツ文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

ドイツと聞いて初めに何を想像しますか？ まずは誰もがビールにソーセージ、自動車産業にサッカーなどを連想するでしょう。そして第二次世界大戦や冷戦期の東西ドイツの分断なども思い出すことでしょう。しかしそれだけではありません。日本では明治時代以降、ドイツの様々な文化や社会制度を手本として取り入れて来ました。この授業では、ドイツの歴史、社会や文化、法律、そしてドイツ語の基礎を学ぶことを通じて、同時に私たちが住んでいる日本という国についての理解も深めていきます。前期の「ドイツ語とドイツ文化A」では歴史を中心に学ぶ予定ですが、授業テーマは随時変更することがあります。各テーマについて積極的に考えてもらうため、授業中の発言や意見交換、プレゼンをする機会を定期的に作ります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本の社会システムや問題点について理解するためには、海外の状況と比較することが有効です。外国の制度とそれに至るまでの歴史的過程を知ることで、日本とは異なった視点があることを知ることができ、日本の制度の特色や問題点に気づくことができます。日本の価値観や考え方だけにとらわれず、多面的でバランスのとれた見方ができるようになることがこの授業の到達目標です。また、ドイツ語の基礎知識を織り交ぜることで、新たな言語に対する理解を深めます。

個別目標：1. ドイツの歴史を中心に、社会制度や文化など、様々な特徴や問題について考え、日本との違いを説明できるようになる。
2. ドイツ語という言語の基礎知識を知って知的視野を広げる。

▌履修条件

ドイツという国およびドイツ語への興味関心、日本と異なる文化や考え方を学ぶ探求心、そして主体的に課題に取り組める方をお待ちしています。
※当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。

▌評価基準・方法

授業中の課題（グループワーク、発言・報告、小テスト等）：30 %
中間試験：30%
期末試験：40%
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上（15 回授業の場合は 12 回以上）出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリを通して課題提出を行うため、事前に使える準備をしておくこと

▌フィードバック方法

質問がある場合、授業後に担当者に直接聞いて下さい。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じてプレゼンテーションを課したり、ディベートやディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じてプレゼンテーションの際に使用する）

▌教科書

特定の教科書は使用しない。担当者が作成したレジュメやパワーポイント資料を使用する。

▌参考書

各テーマごとに参考書を履修者に提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：はじめに：ドイツについて** 授業内容：数ある外国の中でなぜドイツに関心できたのかを考える。 ドイツという国とその制度や文化について、なぜ自分が学びたい、どう学びたいか説明をする。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
2 回	**授業テーマ：歴史①ドイツの成り立ち** 授業内容：18 世紀頃までのドイツの歴史を概観する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
3 回	**授業テーマ：歴史②第二次世界大戦前までのドイツ** 授業内容：19～20 世紀初頭までのドイツの歴史を概観する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
4 回	**授業テーマ：日本におけるドイツ法の影響** 授業内容：明治期以降の日独関係の歴史を概観しながら、日本がドイツから受けた影響（法律分野など）について説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
5 回	**授業テーマ：消えない過去：ナチスドイツ** 授業内容：ナチスドイツの台頭、ヒトラー政権、当時の市民の状況について触れる。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
6 回	**授業テーマ：ＥＵとドイツ** 授業内容：ＥＵができるまでの歴史的発展を概説する。ＥＵ組織の基礎知識と制度やシステムについて説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
7 回	**授業テーマ：まとめ：中間の復習** 授業内容：これまで学んできたテーマについて、さらに考えて、深堀をしていく時間とする。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
8 回	**授業テーマ：ドイツとジェンダー①憲法の母たち** 授業内容：ドイツ基本法 3 条 2 項「男女は同権である」という一文の導入に関する歴史を振り返る。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

9回	**授業テーマ：ドイツとジェンダー②選択的夫婦別姓** 授業内容：ドイツがいかにして選択的夫婦別姓制度を取り入れるようになったかを説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
10回	**授業テーマ：ドイツとジェンダー③専業主婦** 授業内容：ドイツの専業主婦事情と、日本との専業主婦に対する考え方の違いを説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
11回	**授業テーマ：旧東ドイツ①社会状況と日常生活** 授業内容：旧東ドイツ(ＤＤＲ)時代の人々の日常生活について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
12回	**授業テーマ：旧東ドイツ②オスタルギー** 授業内容：東西ドイツ再統一とその後の旧東ドイツの状況について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
13回	**授業テーマ：ドイツの政治** 授業内容：ドイツの政治、選挙システム、政党について概説する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
14回	**授業テーマ：ドイツの移民について** 授業内容：ドイツの移民に関する歴史や政策、現在の課題について概説する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
15回	**授業テーマ：まとめ：総復習** 授業内容：全体の復習と今後の展望について説明する。 この授業を通じて何を学んだか、そしてこれから何をどう学んでいくか考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

ドイツ語とドイツ文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

リースナー　フランク　ペーター

▌授業の概要

ドイツ語については、発音をしっかり身につけ、やさしい日常会話に必要な文法を習得してもらい、初歩的な日常会話を練習します。
文化については、履修者は文化的なトピックについて特別な課題に取り組み、先生からフィードバックを受けます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本の社会の仕組みやそこに生起する問題について深く理解するための 1 つの方法は、外国の状況と比較することである。外国の制度や問題解決を参照することにより、日本におけるのとは異なった方法があることを知ることができる。また、外国の状況を知ることによりはじめて、日本の制度や文化のもつ際立った特色や問題点について気づくこともできる。こうした比較のためにドイツはきわめて適している。履修者がこうした、多面的でバランスのとれた見方ができるようになるための一助とすることを授業の到達目標としたい。

個別目標：日本とドイツのそれぞれの社会制度や文化、言語について、それぞれの特色や問題点を指摘し、相互に比較しながらそれぞれの利害得失について説明できるようになること、である。この授業を通して履修者が、ドイツ語という言語と、その言語が使われているドイツ社会に大いに関心をもち、知的視野を広げてくれることを願っている。
「ドイツ語検定 5 級」に合格できる。

▌履修条件

当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。主体的に課題に取り組み、自分にとって未知の問題でも、積極的に取り組もうという気持ちをもった学生に履修してほしい。

▌評価基準・方法

授業への参加度（授業への参加姿勢＋課題の提出の有無・出来具合）50 %、期末試験 50 %の結果に基づき、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

期末試験の具体的内容については、試験の 1,2 週間前に、説明します。
尚、課題および定期試験のフィードバックは、授業中行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて、プレゼンテーションを課したり、ディベートを行ってもらう。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

森公正・Frank Riesner『ドイツ語の泉』、同学社　ISBN 978-4-8102-0977-8

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：アルファベット、発音（母音、子音）** 授業内容：ドイツ語ではどれだけの文字を使うのかを説明します（英語で使用する文字に、さらに 4 文字余計に使用します）。 それらの文字が、語のなかでどのように発音されるかが、発音の問題です。初回の授業では、発音について、説明・練習をします。 事前学修 2.0hr：シラバスをもう一度確認し、テキストの発音部分を眺めておく。 事後学修 2.0hr：ドイツ語の文字の確認と、母音や子音の発音の復習。
2 回	**授業テーマ：発音（母音, 子音）、動詞の現在人称変化** 授業内容：発音の説明・練習の続きです。発音を終らせます。動詞、動詞の現在人称変化を導入します。 ドイツ語では、主語の人称（1 人称単数（「私は」）・2 人称単数（「君は」）……）に応じて、動詞が変化するという現象があります。それを人称変化と言います。 事前学修 2.0hr：テキストの今回の発音の部分を眺めておく。 事後学修 2.0hr：英語と比較しての、ドイツ語の動詞の確認する。
3 回	**授業テーマ：定動詞の位置、動詞の現在人称変化の練習** 授業内容：規則動詞の現在人称変化を練習し、文中の動詞の位置に注意すること。口調上注意すべき動詞の現在人称を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの口調上注意すべき動詞の現在人称変化や文中の動詞の位置の部分を予習しておく。 事後学修 2.0hr：口調上注意すべき動詞の現在人称変化や文中の動詞の位置の部分の復習しておく。
4 回	**授業テーマ：sein (である) の現在人称変化、動詞の現在人称変化の練習** 授業内容：sein 動詞の不規則現在人称変化の練習・規則現在人称変化復習です。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの動詞の現在人称変化の部分を予習しておく。 事後学修 2.0hr：動詞の現在人称変化の復習しておく。
5 回	**授業テーマ：名詞の性** 授業内容：名詞の性、男性名詞、女性名詞、中性名詞の特徴を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの第 2 課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：男性名詞、女性名詞、中性名詞の復習しておく。
6 回	**授業テーマ：名詞の性、冠詞の格変化（1）** 授業内容：名詞の性、冠詞の格変化の 1,4 格を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：冠詞の格変化の 1,4 の復習しておく。
7 回	**授業テーマ：名詞の性、冠詞の格変化 (2)** 授業内容：名詞の性、冠詞の格変化の 2,3 格を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは旧東西ドイツです。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：冠詞の格変化の 2,3 の復習しておく。

8回	**授業テーマ：不規則動詞 sein を復習、haben の導入** 授業内容：ドイツ語で圧倒的に使われる”sein”と、2 番目によく使われる”haben”という動詞の現在人称変化、および、発音の都合上、規則的な現在人称変化と若干変化が異なる動詞を扱います。 「ドイツ文化」のテーマは旧東西ドイツです。 事前学修 2.0hr：テキストの 2 課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：不規則動詞 sein や haben の現在人称変化の復習しておく。
9回	**授業テーマ：複数形** 授業内容：複数形の形が紹介されています。どのような語尾がありますか。 「ドイツ文化」のテーマはベルリンの壁崩壊です。 事前学修 2.0hr：複数形を予習しておく。 事後学修 2.0hr：複数形の復習しておく。
10回	**授業テーマ：複数形の格変化** 授業内容：複数形の格変化の導入 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (1) です。 事前学修 2.0hr：3 課の文法事項を予習しておく。 事後学修 2.0hr：複数形の格変化の復習しておく。
11回	**授業テーマ：男性弱変化名詞** 授業内容：複数形の使い方と特殊な形を紹介します。。 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (2) です。 事前学修 2.0hr：3 課の文法事項を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
12回	**授業テーマ：教科書の第 1、第 2、第 3 課の復習** 授業内容：動詞の現在人称変化、名詞の 1,2,3,4 格 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (3) です。 事前学修 2.0hr：テキストで第 1、第 2、第 3 課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：テキストで第 1、第 2、第 3 課を復習しておく。
13回	**授業テーマ：定冠詞の格変化の復習** 授業内容：定冠詞の使い方 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (1) です。 事前学修 2.0hr：定冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
14回	**授業テーマ：不定冠詞の格変化の復習** 授業内容：不定冠詞のの練習 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (2) です。 事前学修 2.0hr：不定冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
15回	**授業テーマ：第 1 課から第 3 課までの繰り返し** 授業内容：前期にやったことのまとめ 事前学修 2.0hr：これまでにやったことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：これまでにやったことを確実に身につけておく。

ドイツ語とドイツ文化Ｂ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

日本では明治時代以降、ドイツの様々な文化や社会制度を手本として取り入れて来ました。この授業では、ドイツ社会や文化、法律、そしてドイツ語の基礎を学ぶことを通じて、同時に私たちが住んでいる日本という国についての理解も深めていきます。履修者には各テーマについて積極的に考えてもらうため、授業中の発言や意見交換、プレゼンをする機会を定期的に作ります。なお、この科目は、前期「ドイツ語とドイツ文化Ａ」の後半部分です。歴史にまつわるテーマが中心だった前期に比べて、後期はドイツの社会問題やドイツの文化に関する割合が多くなっています。※授業内容は随時変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本の社会システムや問題点について理解するためには、外国の状況と比較することが有効です。外国の制度を知ることで、日本とは異なった視点があることを知ることができ、さらに日本の制度・文化の特色・問題点に気づくこともできます。日本の価値観や考え方だけにとらわれず、多面的でバランスのとれた見方ができるようになることがこの授業の到達目標です。また、ドイツ語の基礎知識を織り交ぜることで、新たな言語に対する理解を深めます。

個別目標：1. 日本とドイツの社会制度や文化・考え方など、様々な特徴や問題点を指摘し、相互を比較して違いを説明できるようになる。
2. ドイツ語という言語の基礎知識を知って知的視野を広げる。

▌履修条件

ドイツという国およびドイツ語への興味関心、日本と異なる文化や考え方を学ぶ探求心、そして主体的に課題に取り組める方をお待ちしています。
※当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。

▌評価基準・方法

授業中の課題（グループワーク、発言・報告、小テスト等）：30 %
中間試験：30%
期末試験：40%
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上（15 回授業の場合は 12 回以上）出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリを通して課題提出を行うため、事前に使える準備をしておくこと

▌フィードバック方法

質問がある場合、授業後に担当者に直接聞いて下さい。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて、プレゼンテーションを課したり、ディベートやディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて、プレゼンテーションの際に使用する）

▌教科書

特定の教科書は使用しない。担当者が作成したレジュメやパワーポイント資料を使用する。

▌参考書

各テーマごとに参考書を履修者に提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに：ドイツについて** 授業内容：前期の授業を振り返りながら、ドイツという国とその制度や文化について、どのように知識を深めていきたいかを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
2回	**授業テーマ：ドイツの教育制度** 授業内容：ドイツの教育システムを学びながら、日本の教育システムとの違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
3回	**授業テーマ：ドイツの大学制度** 授業内容：ドイツの大学制度を学びながら、日本の大学制度との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
4回	**授業テーマ：ドイツの職業訓練と仕事観** 授業内容：ドイツ人の職業に対する意識と仕事観について学びながら、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
5回	**授業テーマ：ドイツの産業と企業** 授業内容：ドイツの産業やドイツを代表とする企業について学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
6回	**授業テーマ：ドイツと貧困** 授業内容：ドイツにおける人々の経済事情や貧困について学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
7回	**授業テーマ：まとめ：中間の復習** 授業内容：これまで学んできたテーマについて、さらに考えて、深堀をしていく時間とする。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
8回	**授業テーマ：ドイツとＥＵ法** 授業内容：ＥＵ法と加盟国であるドイツとの関係について学び、日本の立法制度との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
9回	**授業テーマ：ドイツ人の働き方** 授業内容：ドイツにおける仕事事情（給与、休暇、残業、労働組合、職場におけるジェンダー）について学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

10回	**授業テーマ：ドイツの税金と社会保険** 授業内容：ドイツの税金制度や社会保険システムを学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
11回	**授業テーマ：ドイツの宗教と祭り** 授業内容：ドイツのキリスト教文化と代表的な祭り(カーニバル、オクトーバーフェスト、クリスマスマーケット)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
12回	**授業テーマ：ドイツに留学しよう①各地域の特色** 授業内容：ドイツ留学を検討する際に考えるべき、選ぶべき地域の特色について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
13回	**授業テーマ：ドイツに留学しよう②食文化や生活習慣** 授業内容：ドイツ留学を検討する際に考えるべき、ドイツ人の食文化や生活習慣について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
14回	**授業テーマ：ドイツに留学しよう③外国人として生活する** 授業内容：ドイツ留学を検討する際、自身が「外国人」として生活することについて考えてみる。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
15回	**授業テーマ：まとめ：総復習** 授業内容：全体の復習と今後の展望について説明する。 この授業を通じて何を学んだか、そしてこれから何をどう学んでいくか考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

ドイツ語とドイツ文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

リースナー　フランク　ペーター

▌授業の概要

ドイツ語については、『ドイツ語とドイツ文化 A』に引き続き、やさしい日常会話に慣れ親しんでもらうことを目指します。
文化については、履修者は文化的なトピックについての特別な課題に取り組み、先生からフィードバックを受けます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本の社会の仕組みやそこに生起する問題について深く理解するための 1 つの方法は、外国の状況と比較することである。外国の制度や問題解決を参照することにより、日本におけるのとは異なった方法があることを知ることができる。また、外国の状況を知ることによりはじめて、日本の制度や文化のもつ際立った特色や問題点について気づくこともできる。こうした比較のためにドイツはきわめて適している。履修者がこうした、多面的でバランスのとれた見方ができるようになるための一助とすることを授業の到達目標としたい。

個別目標：日本とドイツのそれぞれの社会制度や文化、言語について、それぞれの特色や問題点を指摘し、相互に比較しながらそれぞれの利害得失について説明できるようになること、である。この授業を通して履修者が、ドイツ語という言語と、その言語が使われているドイツ社会に大いに関心をもち、知的視野を広げてくれることを願っている。
「ドイツ語検定 5 級」に合格できる。

▌履修条件

当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。
尚、ドイツ語に関しては、『ドイツ語とドイツ文化 A』のレベルの内容（具体的には、ドイツ語の発音、現在人称変化、名詞の性・格の知識）を前提とすることを、承知しておいてください。

▌評価基準・方法

・授業への参加度（授業への参加姿勢＋課題の提出の有無・出来具合）50 %、期末試験 50 %の結果に基き、総合的に評価します。期末試験の具体的内容については、試験の 1,2 週間前に、説明します。

▌フィードバック方法

課題および定期試験のフィードバックは、授業中行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて、プレゼンテーションを課したり、ディベートを行ってもらう。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

森公正・Frank Riesner『ドイツ語の泉』、同学社 ISBN 978-4-8102-0977-8

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ドイツとドイツ語の基本情報** 授業内容：ドイツ語については、「ドイツ語とドイツ文化 A」で勉強した内容の復習 事前学修 2.0hr：これまでに学習したことを予習しておく。 事後学修 2.0hr：初回の授業の内容を復習しておく。
2 回	**授業テーマ：動詞の現在人称変化(不規則)** 授業内容：不規則動詞の現在人称変化の導入。 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (1) です。 事前学修 2.0hr：動詞の現在人称変化の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：不規則動詞の現在人称変化の復習をしておく。
3 回	**授業テーマ：命令形** 授業内容：命令形の導入。 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (2) です。 事前学修 2.0hr：命令形の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
4 回	**授業テーマ：nicht の位置** 授業内容：否定文の導入 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (3) です。 事前学修 2.0hr：否定文の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
5 回	**授業テーマ：定冠詞類** 授業内容：定冠詞類の導入 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (4) です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。(１格、２格、３格、４格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
6 回	**授業テーマ：不定冠詞類** 授業内容：不定冠詞類んの導入、所有代名詞の使い方 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (5) です。 事前学修 2.0hr：不冠詞の格変化を予習しておく。(１格、２格、３格、４格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
7 回	**授業テーマ：人称代名詞　１格、３格、４格** 授業内容：人称代名詞の導入、定冠詞類や不定冠詞類の練習 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (6) です。 事前学修 2.0hr：テキストの第５課を予習しておく。(２９ページ) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。

8回	**授業テーマ：文法的否定形 nicht , kein** 授業内容：nicht, kein の使い分け 「ドイツ文化」のテーマは 法制度 (1) です。 事前学修 2.0hr：nicht, kein を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
9回	**授業テーマ：２、３，４格支配の前置詞** 授業内容：２、３，４格支配の前置詞の導入。 「ドイツ文化」のテーマは 法制度 (2) です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。(２格、３格、４格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
10回	**授業テーマ：２、３，４格支配の前置詞の復習** 授業内容：３格、４格、スイッチ型前置詞のを復習しておく。 「ドイツ文化」のテーマは経済 (1) です。 事前学修 2.0hr：３格、４格の前置詞と冠詞類を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
11回	**授業テーマ：前置詞の融合形** 授業内容：前置詞と冠詞の組み合わせ方 「ドイツ文化」のテーマは経済 (2) です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
12回	**授業テーマ：縦続接続詞と副文** 授業内容：主文と副文の特徴の説明、副文の構造の導入。 「ドイツ文化」のテーマは経済 (３) です。 事前学修 2.0hr：動詞の位置を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
13回	**授業テーマ：第 4 の復習** 授業内容：第 4 の復習 「ドイツ文化」のテーマは教育 (1) です。 事前学修 2.0hr：命令形と動詞の現在人称不規則変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
14回	**授業テーマ：第 5、第 6 の復習** 授業内容：第 5、第 6 の復習 「ドイツ文化」のテーマは教育 (2) です。 事前学修 2.0hr：前置詞と冠詞類を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
15回	**授業テーマ：第課 4 から第 6 課までの繰り返し** 授業内容：後期にやったことのまとめ 事前学修 2.0hr：これまでにやったことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。

スペイン語とスペイン文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

ゴンサレス　ガブリエル

▌授業の概要

スペイン語は、使用人口が世界で 3 番目に多く、20 を超える国々で話されています。
本講座の中心目標は、スペイン語の基本を習得することです。それを通じて、スペイン語文化圏の理解にも努めます。
スペイン語圏を紹介するビデオも数回見ます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：スペイン語の基本を身に付けること。
　　スペイン語で最低限の会話のやり取りができるようになること。
個別目標：スペインとスペイン語圏の国の文化や習慣など理解できること。
　　スペイン語圏、スペイン語圏のビジネス界を理解する。

▌履修条件

1 年次からの開講科目。
スペイン語を母語とする学生は履修できません。

▌評価基準・方法

授業への参加度と宿題: 20%
学期中の小テスト: 20%
期末試験: 60%

▌フィードバック方法

Manaba の個別指導。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業で積極的な参加）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Manaba）

▌教科書

スペイン語とわたし
－日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション！ －
El español y yo. スペイン語教材研究会編者、2025 年 (改訂版)、朝日出版社

▌参考書

「本気で学ぶスペイン語」菅原昭江著、2011 年、同学社
「スペイン語ワークブック」小川雅美編著、2007 年、同学社
「先生と学ぶスペイン語」山下好孝、森淳子共著、2009 年、同学社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：スペイン語のアルファベット** 授業内容：授業の進め方について　2と3ページスペイン語のアルファベット、発音について 事前学修 2.0hr：2と3ページを読む 事後学修 2.0hr：スペイン語のアルファベット、発音について
2回	**授業テーマ：スペイン語の国際言葉** 授業内容：ユニットすでに知っているスペイン語の言葉4－7ページ. Preliminar: Tú ya sabes cosas 事前学修 2.0hr：4－7ページを読む 事後学修 2.0hr：固有名詞、教室で役に立つ表現、数字(0－10)
3回	**授業テーマ：スポーツ I** 授業内容：ユニット1スポーツとわたし　8－10ページ　Unidad 1: Los deportes y yo 事前学修 2.0hr：8－10ページを読む 事後学修 2.0hr：名詞の性、名詞の数、定冠詞、主語代名詞を勉強する
4回	**授業テーマ：スポーツ　II** 授業内容：ユニット1スポーツとわたし　11-13ページ　Unidad 1: Los deportes y yo 事前学修 2.0hr：11-13ページを読む 事後学修 2.0hr：「ser」動詞の現在形、疑問文、否定文を勉強する
5回	**授業テーマ：食べ物と料理　I** 授業内容：ユニット2食べ物とわたし14-16ページ 事前学修 2.0hr：14-16ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(名詞、定冠詞、主語)を勉強する
6回	**授業テーマ：食べ物と料理　II** 授業内容：ユニット2食べ物とわたし17-19ページ.　Unidad 2: Las comidas y yo 事前学修 2.0hr：17-19ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「ser」動詞、疑問文、否定文)を勉強する
7回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：ユニット1、2の中の小テストトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット1と2を小テストトレーニングする 事後学修 2.0hr：小テストトレーニングの振り返りをする
8回	**授業テーマ：旅行 I** 授業内容：ユニット旅行とわたし20-22ページ. Unidad 3: Los viajes y yo 事前学修 2.0hr：20-22ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(数字) を勉強する
9回	**授業テーマ：旅行 II** 授業内容：ユニット旅行とわたし23-25ページ. Unidad 3: Los viajes y yo 事前学修 2.0hr：23-25ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(職業、国籍) を勉強する

10回	**授業テーマ：音楽 I** 授業内容：ユニット音楽とわたし２６- ２８ページ. Unidad 4: La música y yo 事前学修 2.0hr：２６- ２８ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(不定冠詞、品質形容詞)を勉強する
11回	**授業テーマ：音楽 II** 授業内容：ユニット音楽とわたし２９- ３１ページ. Unidad 4: La música y yo 事前学修 2.0hr：２９- ３１ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(所有詞前置形)を勉強する
12回	**授業テーマ：趣味と仕事** 授業内容：ユニット趣味対仕事３２- ３３ページ. Unidad 5: Aficiones vs. Trabajo 事前学修 2.0hr：３２- ３３ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「tener」動詞、疑問詞)を勉強する
13回	**授業テーマ：仕事** 授業内容：ユニット趣味対仕事３４- ３５ページ. Unidad 5: Aficiones vs. Trabajo 事前学修 2.0hr：３４- ３５ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(指示の形容詞と代名詞)を勉強する
14回	**授業テーマ：趣味** 授業内容：ユニット趣味対仕事３６- ３７ページ. Unidad 5: Aficiones vs. Trabajo 事前学修 2.0hr：３６- ３７ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「estar」動詞、「haber」動詞)を勉強する
15回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：まとめ　ユニット３、４と５の試験のトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット３、４と５を勉強トレーニングする 事後学修 2.0hr：前期の復習を勉強する

スペイン語とスペイン文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

ゴンサレス　ガブリエル

▌授業の概要

スペイン語は、使用人口が世界で 3 番目に多く、20 を超える国々で話されています。
本講座の中心目標は、スペイン語の基本を習得することです。それを通じて、スペイン語文化圏の理解にも努めます。
スペイン語圏を紹介するビデオも数回見ます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：スペイン語の基本を身に付けること。
　　スペイン語で最低限の会話のやり取りができるようになること。
個別目標：スペインとスペイン語圏の国の文化や習慣など理解できること。
　　スペイン語圏、スペイン語圏のビジネス界を理解する。

▌履修条件

1 年次からの開講科目。
スペイン語を母語とする学生は履修できません。

▌評価基準・方法

授業への参加度と宿題: 20%
学期中の小テスト: 20%
期末試験又は小テスト: 60%

▌フィードバック方法

Manaba の個別指導。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業で積極的な参加）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Manaba）

▌教科書

スペイン語とわたし
－日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション！ －
El español y yo. スペイン語教材研究会編者、2025 年 (改訂版)、朝日出版社

▌参考書

「本気で学ぶスペイン語」菅原昭江著、2011 年、同学社
「スペイン語ワークブック」小川雅美編著、2007 年、同学社
「先生と学ぶスペイン語」山下好孝、森淳子共著、2009 年、同学社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：授業の進め方について 事前学修 2.0hr：前期の復習 事後学修 2.0hr：前期の復習を勉強する
2 回	**授業テーマ：ショーとエンターテイメント I** 授業内容：ユニット６ユニット映画　演劇等とわたし３８-４０ページ Unidad 6: Los espect ´ aculos y yo 事前学修 2.0hr：３８-４０ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容（GUSTAR 動詞）を勉強す
3 回	**授業テーマ：ショーとエンターテイメント II** 授業内容：ユニット６ユニット映画　演劇等とわたし４１-４３ページ Unidad 6: Los espectáculos y yo 事前学修 2.0hr：４１-４３ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容（GUSTAR と同じように用いられる動詞、比較表現 II）を勉強する
4 回	**授業テーマ：伝統 I** 授業内容：ユニット７色々な習慣４４-４５ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：４４-４５ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容（語幹母音変化動詞）を勉強する
5 回	**授業テーマ：伝統 II** 授業内容：ユニット７色々な習慣４６-４７ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：４６-４７ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容（ 再帰動詞）を勉強する
6 回	**授業テーマ：伝統 III** 授業内容：ユニット７色々な習慣４８- ４９ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：４８-４９ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容（居間、天候表現）を勉強する
7 回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：ユニット６と７の中の小テスト 事前学修 2.0hr：ユニット６と７を小テストトレーニングする 事後学修 2.0hr：小テストの振り返りをする
8 回	**授業テーマ：買い物に行く I** 授業内容：ユニット８買い物に行く５０-５１ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：５０-５１ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容（食べ物と飲み物）を勉強する
9 回	**授業テーマ：買い物に行く II** 授業内容：ユニット８買い物に行く５２-５３ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：５２- ５３ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容（レシピ）を勉強する

10回	**授業テーマ：買い物に行く III** 授業内容：ユニット8買い物に行く５４- ５５ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：５４- ５５ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(衣服とアクセサリー、品質形容詞、色)を勉強する
11回	**授業テーマ：家族と友達 I** 授業内容：ユニット9家族と友人５６-５８ページ Unidad 9: Familia y amigos 事前学修 2.0hr：５６- ５８ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(体の部分の名称)を勉強する
12回	**授業テーマ：家族と友達 II** 授業内容：ユニット9家族と友人５９-６１ページ Unidad 9: Familia y amigos 事前学修 2.0hr：５９-６１ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(状態、体調・感情表現)を勉強する
13回	**授業テーマ：祭り I** 授業内容：ユニット１０行事　お祭り等とわたし６２-６４ページ Unidad 10: Las fiestas y yo 事前学修 2.0hr：６２- ６４ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(日常生活を表す動詞)を勉強する
14回	**授業テーマ：祭り II** 授業内容：ユニット１０行事　お祭り等とわたし６５-６８ページ Unidad 10: Las fiestas y yo 事前学修 2.0hr：６５- ６８ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(曜日、頻度を表す副詞表現)を勉強する
15回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：まとめ　ユニット8、9と１０の試験のトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット8、9と１０を勉強する 事後学修 2.0hr：後期の復習を勉強する

韓国語と韓国文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

全 イジョング（じょん いじょんぐ）

▌授業の概要

韓国の言葉と文化に対する理解を深め、音声や文字、語彙、表現、文構造などについて、日本語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読み書きに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、活用できる基礎的な技能を身につけていく授業です。また、ハングルキーボード使用法の習熟なども行われます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：(1) 自然なイントネーションや正確な発音を身につける。
(2) 綴り字と発音の違いについて習得し、単語やフレーズを正しく発音できるようになる。
(3) 積極的なコミュニケーション能力の素地を養う。
(4) ハングルキーボード使用法の習熟を図り、ハングルワードの作成やネット検索ができるようになる。

個別目標：(1) 正しく発音できて、音声を聴き正しく書き取れる。
(2) 発話練習を繰り返し、簡単な挨拶、自己紹介ができる。
(3) パソコンを使った検索やハングルワードの作成ができる。

▌履修条件

・韓国語や朝鮮語を母語とする学生及びそれと同等に堪能な学生は履修できない。
・授業は毎回必ず受講し、内容をしっかり理解すること。
・グループワークを行うので遅刻や欠席をしないこと。
・教科書は必ず購入すること。
・履修者の抽選を行うので第 1 回目の授業に出席すること。(出席できない事情がある場合は事前にご相談ください。)

▌評価基準・方法

・学期末試験 (40%)、授業時の小テスト及び「振り返りシート」(30%)、課題・学習態度 (30%) によって総合的に評価する。
・5 分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
・課題などのフィードバックは学修支援システム manaba を通して行う。
＊再試験は行わない。

▌フィードバック方法

課題をはじめ「小テスト」、授業後の質疑応答などは大学の学修支援システム (manaba) を利用し行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ワードソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

ジョン・イジョング著 『一人でできる韓国語発音トレーニング』(ask 出版)

▌参考書

適宜資料を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション、「ハングルとは何か」** 授業内容：ハングルができる前の朝鮮半島の文字生活に身て、それからハングルの制字原理や制字思想など、ハングル誕生に関わるいくつかの事柄について触れて行く。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業の概要を理解する。 事後学修 2.0hr：配布された資料を読み直し「確認問題」に取り組む。講義動画を閲覧する。
2 回	**授業テーマ：「短母音、半母音Ⅰ」** 授業内容：短母音 8 つと半母音 (ヤ系) 6つの習得する (書き方、発音方法などをしっかり覚える)。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧しハングル母音について学修する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
3 回	**授業テーマ：「半母音Ⅱ、二重母音、基本子音字」/小テスト** 授業内容：半母音 (ワ系) 6つと二重母音 1 つの書き方、発音方法を覚え、発音の練習を行う。また、14 個の基本子音字の書き方、発音方法などを覚え、母音と組み合わせて読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
4 回	**授業テーマ：「二重子音字、ハングル字母表の読み練習」** 授業内容：基本子音字と二重子音字の音の違いを理解し発音練習に取り組む。ハングル字母表をつくり、読みの練習をする。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
5 回	**授業テーマ：「パッチム、聞き取り小テスト」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。パッチムの仕組み、読み方などの説明。パッチムのついた単語の聞き分け、言い分けの練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧しバッチムについて予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
6 回	**授業テーマ：「バッチムの読み練習、ハングルキーボード使用法」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。パッチムがついた単語を読む練習。書き取りテスト実施。ハングルキーボード使用法を習熟に取り組む。ワード入力練習やハングルでネット検索を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧する。読みながら書く練習をする。 事後学修 2.0hr：バッチムを繰り返し音読する。ワードの打ち方を習熟させる。
7 回	**授業テーマ：「読み書き練習、仮名のハングル表記/小テスト」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。単語を聴き正確に書き取る練習を繰り返し行う。日本語の仮名をハングル表記法を覚え、人名や地名を使い書き方の練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を声に出して数回読み予習する。 事後学修 2.0hr：声の上がり下がりの調子や息の出し方に注意し発話練習をする。

8回	**授業テーマ：「発音のルール」(連音化、弱音化)/小テスト」** 授業内容：綴りと発音について把握し発音のルールを覚える。歌の歌詞を使い、連音化と弱音化を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：「発音のルール」(濃音化、激音化、流音化)/小テスト」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。歌の歌詞、簡単な語彙を使い、濃音化、激音化、流音化を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：「発音のルール」(鼻音化、口蓋音化 、添加)** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。歌の歌詞、簡単な語彙を使い、鼻音化、口蓋音化 、添加を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：「韓国語の文法の仕組み、品詞について」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。日本語と韓国語の文章を比較しながら共通点と違いを把握する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、「確認問題」に取り組む。
12回	**授業テーマ：「日常の挨拶の言葉」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。簡単な挨拶言葉の発音をチェックし、発話の練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：音声教材を聴き何度も音読する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：「体言の叙述」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。体言の叙述表現について習得する。作文に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、「確認問題」に取り組む。
14回	**授業テーマ：「体言の否定形、自己紹介発表/小テスト」** 授業内容：フィードバックを行う。体言の否定形表現について習得する。作文に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。自己紹介文を作成しておく。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：まとめ、各自発表 (品物や人物、場所などを紹介する)** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。学習してきた内容をおさらいする。グループ別に発表する。 事前学修 2.0hr：試験に備えてまとめをする。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。

韓国語と韓国文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

全 イジョング（じょん いじょんぐ）

▌授業の概要

授業の進め方は、初級・中級レベルの実用的な表現やよりネイティブに近い言い回しを覚え、韓国語で発信するための準備運動(作文作り、内容をコンパクトにまとめる) をし、話すステップへ移行していきます。誰かに説明する時に求められる語彙力や要約力を高め、上手に話せる力をしっかり磨きます。また、K-POP や韓国ドラマ等にも触れ、自然で伝わりやすい表現方法を丁寧に説明します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：基礎文法を固めながら語彙力や要約力を高め、読解力を養うとともにプレゼンテーションに役立つ能力を身に付ける。
個別目標：・文章を読む上で必要な読解力を高めていく。
・文章の要点を掴んで簡潔にまとめる力を養う。
・韓国語の TOPIK2-３級の合格を目指す。

▌履修条件

・「韓国語と韓国文化 A」を履修ずみであることが望ましい。(履修済みでない場合は担当教員へご相談ください)。
・授業は毎回必ず受講し、内容をしっかり理解すること。
・グループワークを行うことが多いので遅刻や欠席をしないこと。
・履修者の抽選を行いますので必ず第１回目の授業にご出席ください。

▌評価基準・方法

・学期末試験 (40%)、授業時の小テスト及び「振り返りシート」(30%)、課題・学習態度 (30%) によって総合的に評価する。
・5 分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
・課題などのフィードバックは学修支援システム manaba を通して行う。
＊再試験は行わない。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックをはじめ「レポート提出」、「小テスト」、「授業後の質疑応答」などは大学の学修支援システム (manaba) を利用し行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ワードソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

テキストは学修支援システム manaba に掲載する。

▌参考書

Never 検索辞書
ジョンイジョング著『一人でできる韓国語トレーニング』(ask 出版)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：用言の叙述表現** 授業内容：用言の叙述表現につて学習する。作文づくりあり。発話練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義概要を理解する。講義動画を閲覧する。 事後学修 2.0hr：講義動画を閲覧し学習した内容を復習し、課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：不規則用言について/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。不規則用言活用をする用例を確認し、作文づくりに取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：指示詞と疑問詞/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。指示詞と疑問詞を学習する。グループ別に発表する。 事前学修 2.0hr：疑問詞と指示詞の講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習したものを復習し、課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：動詞・形容詞の否定形/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。用言の否定形について学習する。文章作りに取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：漢数字/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。漢数字を学習しテキストの「練習問題」に取り組む。会話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：存在詞/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。存在詞の言い回しをまとめる。日本語の文章を韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：固有数字/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。固有数字について学習。日本語の文章から韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：過去形/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。過去形を学習した後、テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：文の接続 (状態・動作の羅列)** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。文の接続表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：仮定・条件表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。仮定・条件表現叙述表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：許可・不許可表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。許可・不許可表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：勧誘形表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。勧誘表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：連体形/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。連体形について学習する。連体形を使った文章作りをし発話練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：可能・不可能表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。可能・不可能表現について学習する。日本語の文章から韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：基本文法のまとめ。振り返りシート完成** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。前期の授業で学習された内容を確認し、「振り返りシート」を完成する。 事前学修 2.0hr：基礎文法のまとめ、振り返りシートを作成する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習する。

中国語と中国文化 A

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中島　祝（なかじま　はじめ）

▌授業の概要

初学者を対象が中国語「普通話」の基礎を学ぶ科目である。中国および中国語の概要に始まり、発音、文法、表現などについて、講義および演習を通じて理解を促す。さらに中国文化についても紹介する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：中国の現状を知るとともに、中国語で簡単な文章を理解し、聴き取り、話し、読み、書くことができる。

個別目標：1. 中国と中国文化について知る。
2. ピンインを読むことができる。
3. 基本文型を用いて表現できる。

▌履修条件

中国語を母語とする学生は履修できない。

▌評価基準・方法

学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは教場またはオンラインで行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

中国語ポイント 55（白水社）

▌参考書

授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：中国と中国語の概要** 授業内容：中国がどのような国であり、中国語がどのような言語であるか説明する。 事前学修 2.0hr：中国について文献等の資料を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、さらに自ら資料を精読して理解を深める。
2回	**授業テーマ：普通話、ピンイン、簡体字** 授業内容：普通話がどのようなものであるか説明し、普通話と不可分のピンインや簡体字を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
3回	**授業テーマ：文の構造** 授業内容：中国語の文を構成するには主語、述語、目的語などを適切な語順で配列する必要があることを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
4回	**授業テーマ：人称代名詞、是** 授業内容：一人称、二人称、三人称、単数、複数などの人称代名詞を紹介し、動詞「是」を用いた文の構成方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
5回	**授業テーマ：疑問文、名前** 授業内容：疑問文の作り方、および氏名の名乗り方を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
6回	**授業テーマ：動詞述語文、指示代名詞** 授業内容：近称や遠照の指示代名詞を紹介し、それらを用いて動詞述語文を構成する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
7回	**授業テーマ：疑問詞、的** 授業内容：疑問詞を用いた疑問文のつくり方、および「的」を用いた定語の用法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
8回	**授業テーマ：形容詞述語文、有** 授業内容：形容詞述語文のつくり方、および動詞「有」の用法について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
9回	**授業テーマ：反復疑問文、也、都** 授業内容：反復疑問文を紹介するとともに、状語として副詞を用いる方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
10回	**授業テーマ：場所代名詞、在** 授業内容：場所を指示する代名詞を紹介し、さらに動詞「在」を用いて文を構成する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
11回	**授業テーマ：動詞の重ね型、省略疑問文** 授業内容：動詞の重ね型について説明し、さらに語気助詞を用いた省略疑問文を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

12回	**授業テーマ：数詞、量詞** 授業内容：数の発音を練習し、1 個のりんご、3 冊の本などをどう表現するか説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
13回	**授業テーマ：幾と多少、語気助詞** 授業内容：疑問詞を用いて数量を尋ねる方法を紹介し、さらに語気助詞について詳説する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
14回	**授業テーマ：存在、連動文** 授業内容：動詞「有」を用いて存在を表現する方法を説明し、さらに連動文という型を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
15回	**授業テーマ：月日、時刻** 授業内容：月日、曜日、時刻などの表現方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

中国語と中国文化 A

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

南　勇（なん　ゆう）

▌授業の概要

この授業は、中国語を学ぼうとする初心者を対象とする基礎科目である。まず「四声」を特徴とする中国語発音をしっかり身につけて、はじめの段階から中国語をきれいに発音できるように力を入れる。また、基本単語、基本文型と文法知識をマスターして、簡単な会話ができることを目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：学習者が中国語の発音と基本文法をマスターして、実際に中国人と簡単な会話ができるようになることによって、中国語を勉強する意欲とモチベーションを高める。

個別目標：中国語の国家試験にあたる「漢語レベル試験」(HSK)の 1 級に挑む自信と実力を身につける。

▌履修条件

中国語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できない。

▌評価基準・方法

定期試験 70 %、宿題と確認小テスト 20 %、授業内における参加姿勢及び発言など 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

宿題、課題小テストと理解度確認のフィードバックは、学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （各課の宿題などはスマートフォン& PC、試験の時は PC で行う。）

▌教科書

『新 HSK にチャレンジ！ 一年生の中国語』　南勇著　朝日出版社

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス。発音編 1 四声と単母音** 授業内容：授業の特徴、進み方、勉強法など。そして体験授業として発音編 1「四声」と単母音を勉強する。 事前学修 2.0hr：YouTube から中国語の短い映像を視聴して、中国語を体験してみる。 事後学修 2.0hr：中国語発音の基本「四声」と単母音を熟練して暗記する。
2 回	**授業テーマ：発音編 2 子音** 授業内容：子音の発音を勉強する。 事前学修 2.0hr：教科書付き CD から子音の音声を聞き、発音してみる。分からない箇所はメモして授業で先生に聞く。 事後学修 2.0hr：繰り返し音声を聞き、暗記する。
3 回	**授業テーマ：発音編 3 複母音** 授業内容：複母音の発音を勉強する 事前学修 2.0hr：複母音を予習する。 事後学修 2.0hr：複母音を暗記し、宿題を提出する。
4 回	**授業テーマ：発音編 4 鼻母音** 授業内容：鼻母音の発音を勉強する。 事前学修 2.0hr：鼻母音の発音を予習する。 事後学修 2.0hr：鼻母音を暗記する。特に-n と-ng の区別を理解する。
5 回	**授業テーマ：発音編 5 発音編のまとめ** 授業内容：発音編の全体をまとめて、体系化する。小テストを行う 事前学修 3.0hr：発音編全体を復習し、小テストの準備をしっかりする。 事後学修 2.0hr：小テストの結果を踏まえて、問題点と弱点をピンポイントで復習する。
6 回	**授業テーマ：第 1 課** 授業内容：人称代名詞。動詞「是」。名前の言い方。 事前学修 2.0hr：第 1 課の内容を予習する。 事後学修 2.0hr：日本語の「～は」、英語の b 動詞と「是」との区別をしっかり理解する。
7 回	**授業テーマ：第 2 課** 授業内容：動詞述語文。語気助詞「吧」。疑問詞疑問文。 事前学修 2.0hr：第 2 課を予習する。 事後学修 2.0hr：日本語の基本語順と中国語の語順を比較して理解を深める。
8 回	**授業テーマ：第 3 課** 授業内容：指示代名詞 1 こそあど。「的」。省略疑問文。 事前学修 2.0hr：第 3 課を予習する。 事後学修 2.0hr：日本語の指示代名詞と比較して理解を深める。
9 回	**授業テーマ：第 4 課** 授業内容：形容詞述語文。助動詞「想」。動詞の重ね型。 事前学修 2.0hr：第 4 課を予習する。 事後学修 2.0hr：第 1 回目の確認小テスト(1 課～４課)を提出する。
10 回	**授業テーマ：第 5 課** 授業内容：時間の表現 1。所有を表す「有」。反復疑問文。 事前学修 2.0hr：第 5 課を予習する。 事後学修 2.0hr：日本語の時間表現と比較して、中国語の時間表現を覚える。
11 回	**授業テーマ：第 6 課** 授業内容：数の数え方。量詞。数量の疑問表現。 事前学修 2.0hr：中国語で 1 ～ 100 を数えてみる。 事後学修 2.0hr：数え方をしっかりマスターする。
12 回	**授業テーマ：第 7 課** 授業内容：指示代名詞 2 場所。方位詞。存在を表す「有」と「在」。 事前学修 2.0hr：第 7 課を予習する。 事後学修 2.0hr：日本語と比較しながら、場所、位置、時間の表現をしっかりまとめてみる。

13回	**授業テーマ：第８課** 授業内容：時間の表現 2 年月日・曜日。変化を表す「了」。年齢の言い方。 事前学修 2.0hr：第 8 課を予習する。 事後学修 2.0hr：「了」は重点と難点。しっかり理解する。第 2 回目の確認小テスト（第 5 課～第 8 課）を提出する。
14回	**授業テーマ：総復習** 授業内容：前期の第 1 課～第 8 課を復習する。模擬テストを行う 事前学修 3.5hr：まず自分流で復習し、不明なところをメモして授業で先生に聞く。 事後学修 3.0hr：模擬テストをもう一回やってみて、弱点を徹底的にクリアする。
15回	**授業テーマ：理解度の確認と解説** 授業内容：出された課題を解答、提出する。その結果を検証する。 事前学修 3.5hr：前期の学習内容を全面的に復習し、体系的に理解する。 事後学修 3.0hr：解答を間違った問題を中心に、レベルアップを図る。

中国語と中国文化 A

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

余　瀾（よ らん）

▌授業の概要

初心者を対象に中国語の基礎を学ぶ科目です。テキストに沿って、中国語の発音、会話と文法の基礎を学びます。また、中国社会や文化についても紹介します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：中国のことを知るとともに、中国語の基礎文法を理解し、日常会話（日付、曜日、誕生日、年齢、金額、食事の注文、ペット、好きな、色、果物など 12 場面）を聴き取り、話し、読み、書くことができる。

個別目標：到達目標は次です。

①中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につけます。
②中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができます。
③簡単な日常会話ができます。
④中国語の初級文法について理解することができます。
⑤中国の社会と文化について理解します。

▌履修条件

中国語の初修者。中国語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。

▌評価基準・方法

成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となります。
配分は、毎回行なう会話の発表が 20 %、単語テストが 20 %、期末テストが 60 %です。

▌フィードバック方法

授業中学生に指導します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （役を決め、短い会話を寸劇で演じながら覚えます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

あなたが主役演じる入門中国語　朝日出版社

▌参考書

授業中に指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：教科書の「発音」。中国、中国語、普通話、ピンイン、四声・単母音** 授業内容：中国はどんな国なのか、中国語はどのような言語なのかを簡単に説明します。普通話とピンインについて説明します。単母音と四声の発音を練習します。 事前学修 2.0hr：中国についての資料を読む。 事後学修 2.0hr：単母音と四声を練習します。
2 回	**授業テーマ：教科書の「発音」。複母音・子音** 授業内容：複母音・子音を練習します。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
3 回	**授業テーマ：教科書の「発音」。鼻母音・ピンインのつづりのルール** 授業内容：鼻母音を練習します。ピンインのつづりのルールを説明します。 中国の社会と文化①中国の大学生活 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
4 回	**授業テーマ：教科書の第 1 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」（曜日と日付）を練習します。 「文法ポイント」で「数字」・「日付」・「曜日」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
5 回	**授業テーマ：教科書の第 2 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」（年齢と誕生日）を練習します。 「文法ポイント」で「人称代名詞」と「A 的 B」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 中国の社会と文化②中国人の名付け方 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
6 回	**授業テーマ：教科書の第 3 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」（時刻）を練習します。 「文法ポイント」で「時刻」と変化を表す「～了」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

7回	**授業テーマ：教科書の第 4 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(チケットは一枚いくら？)を練習します。 「文法ポイント」で「動詞述語文」、「数詞＋量詞＋名詞」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 中国の社会と文化③中国の「鬼」と日本の「鬼」 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
8回	**授業テーマ：教科書の第 5 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(あなたの携帯番号は？)を練習します。 「文法ポイント」で判断文「A 是 B」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
9回	**授業テーマ：教科書の第 6 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(何名様ですか？)を練習します。 「文法ポイント」で「指示代名詞」と疑問詞「什麽」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 中国の社会と文化④中国人のお酒の飲み方 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
10回	**授業テーマ：教科書の第 7 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(入国審査)を練習します。 「文法ポイント」で選択疑問文判断文「～還是～」、「連動文」、「在＋場所＋動作」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
11回	**授業テーマ：教科書の第 8 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(買い物)を練習します。 「文法ポイント」で「喜歓」、「這・那・哪＋量詞＋名詞」、「動詞の重ね型」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 中国の社会と文化⑤中国人の挨拶時の身体動作 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
12回	**授業テーマ：教科書の第 9 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(肩をもんであげましょう)を練習します。 「文法ポイント」で「形容詞述語文」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
13回	**授業テーマ：教科書の第 10 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(ワンちゃんが可愛いね！)を練習します。 「文法ポイント」で「形容詞の比較文」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 「書く練習」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
14回	**授業テーマ：教科書の第 11 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(飲み物を注文する)を練習します。 「文法ポイント」で注文する時「来～」、 省略疑問文「～呢」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
15回	**授業テーマ：教科書の第 12 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(お昼何を食べるの？)を練習します。 「文法ポイント」で判断文「主述述語文」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

中国語と中国文化 B

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

王　丹（おう　たん）

▌授業の概要

初心者を対象に、中国語を学ぶ楽しさを知り、文化として中国語を学ぶ意味を主眼に置きながら、初級中国語を習得する。具体的に、発音の表記記号ピンインから始まり、初級文法を系統的に学び、日常会話を習得していく。また、中国の生活、社会、歴史など文化的な要素に触れ、中国語を学ぶ意味を深めていく。中国語学習をメインとする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：中国語の発音については、仕組みの特徴を理解し、読み書きできる。
中国語の文字については、日本語漢字との違いを区別することができ、書けるようになる。
中国語の基礎文法については、その仕組みを理解し、運用することができる。
中国の文化については、中国の生活、社会などに関することを概略的に言える。

個別目標：「中国語と中国文化 B」の学習を通じ、日常挨拶、買い物、レストランでの注文、道尋ね、家族構成の紹介、旅行や留学など日常生活についての表現ができる。また、初級文法を一通り学習でき、中国語検定試験４級の合格を目指せる。

▌履修条件

初学者を対象とする。当該言語（中国語）を母語とする学生及びそれと同等に堪能な学生は履修不可。

▌評価基準・方法

❶　試験 80 %：学習到達度を測定するため、授業内で小テストを実施する。テストの成績によって、以降の授業の進み方を見直し、改善していくことができる。

❷　受講状況 20 %：授業内容によって、課題提出や口頭発表等のこともある。また、しっかり出席することも重要。

＊原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

manaba 実施。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （対話練習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書：「しゃべっていいとも中国語　トータル版」
著者：陳淑梅　劉光赤
朝日出版社

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：「中国語」の仕組みと発音の慣らし** 授業内容：「中国語」の仕組みと発音記号ピンインの構造についての説明及び数字の発音の慣らし。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業概要を理解する。 事後学修 2.0hr：本日学習した内容の復習。
2 回	**授業テーマ：授業テーマ:「発音編」第 1 課～第４課、基本挨拶の学習** 授業内容：・単母音、声調、子音 ・日常の挨拶を学習する。 事前学修 2.0hr：中国語を学ぶ意味について考え、数字の発音を練習する。 事後学修 2.0hr：「発音編」第１課～第４課の内容の復習。
3 回	**授業テーマ：名前について** 授業内容：名前の言い方、名前の尋ね方。 人称代名詞 ピンイン（発音）の小テスト実施。（第 1 課～第４課） 事前学修 2.0hr：ピンイン、数字と基本の挨拶の暗唱。 事後学修 2.0hr：第５課　初対面挨拶の仕方の確認。
4 回	**授業テーマ：歓迎パーティー** 授業内容：動詞、助詞、疑問詞の学習。 肯定文、否定文、疑問文の学習。 事前学修 2.0hr：第５課　人称代名詞の復習。 事後学修 2.0hr：第 6 課の「文法要点」について理解できているかの確認。
5 回	**授業テーマ：タクシーに乗る** 授業内容：基本語順、連動文の学習。 指示代名詞の導入。 小テストの実施。（第 5 課～第 6 課） 事前学修 2.0hr：第 5 課～第 6 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第 7 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
6 回	**授業テーマ：宿泊する** 授業内容：助動詞、所有と存在を表す動詞、指示代名詞の学習。 事前学修 2.0hr：第 7 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第８課の単語を覚え、会話文を熟読し、ホテルでチェックインする時の言い方を覚える。
7 回	**授業テーマ：道を尋ねる** 授業内容：所在を表す動詞、方位詞、前置詞の学習。 事前学修 2.0hr：第 8 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：道の尋ね方を確認すること。第７課～第９課の内容を復習する。

8回	**授業テーマ：ショッピングをする** 授業内容：数字、価格の言い方。 形容詞、副詞、形容詞述語文の学習。 小テストの実施(第７課～第９課)。 事前学修 2.0hr：第７課～第９課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第 10 課　買い物の場面の会話確認。
9回	**授業テーマ：おしゃべりをする** 授業内容：年月日、曜日、年齢の言い方。 年齢の尋ね方。 事前学修 2.0hr：第 10 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第 11 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
10回	**授業テーマ：料理を注文する** 授業内容：量詞、動詞の重ね型。 料理の名前、注文の仕方。 事前学修 2.0hr：第 11 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第 12 課の単語を覚え、会話文を熟読する。第 10 課～第 12 課の内容の復習。
11回	**授業テーマ：サッカーのチケットを買う** 授業内容：時刻の言い方。 文末の「了」について。 小テストの実施(第 10 課～第 12 課)。 事前学修 2.0hr：第１ 2 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第 13 課単語を覚え、会話文を熟読する。
12回	**授業テーマ：足裏マッサージ** 授業内容：時間詞。 動作の完了を表す「了」について。 事前学修 2.0hr：第 13 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第 14 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
13回	**授業テーマ：フロントで** 授業内容：前置詞「給」、助動詞「可以」、「能」の学習。 事前学修 2.0hr：第 14 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第 15 課の単語を覚え、会話文を熟読する。ホテルフロントでの様々な頼みことができるかの確認。
14回	**授業テーマ：電話をかける** 授業内容：動詞の現在進行形。 助動詞「会」 小テストの実施(第 13 課～第 15 課)。 事前学修 2.0hr：第 13 課～第 15 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第１課～第 16 課の内容の復習。
15回	**授業テーマ：授業のまとめ** 授業内容：試験の詳細は別途告知する。 事前学修 2.0hr：第１課～第 15 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：特に無し

中国語と中国文化 B

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

南　勇（なん　ゆう）

▌授業の概要

前期と同じく発音を重視する。毎課の会話文を朗読することによって、きれいな発音を身につける。また、基本単語、基本文型と文法知識をマスターして、簡単な会話ができることを目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：学習者が中国語の発音と基本文法をマスターして、実際に中国人と簡単な会話ができるようになることによって、中国語を勉強する意欲とモチベーションを高める。

個別目標：中国語の国家試験にあたる「漢語レベル試験」(HSK)の 2 級に挑む自信と実力を身につける。

▌履修条件

中国語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できない。

▌評価基準・方法

定期試験 70 %、宿題と確認小テスト 20 %、授業内における参加姿勢及び発言など 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

宿題、課題小テストと理解度確認のフィードバックは、学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （各課の宿題などはスマートフォン& PC、試験の時は PC で行う。）

▌教科書

『新 HSK にチャレンジ！ 一年生の中国語』　南勇著　朝日出版社

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：前期内容の復習** 授業内容：前期の試験問題をもう一回やって、前期に勉強した内容を復習・整理する。 事前学修 2.0hr：前期の学習内容(ピンインと 1 課～8 課)を復習する。 事後学修 2.0hr：前期の長所と短所を分析し、後期の学習計画を立てる。
2 回	**授業テーマ：第 9 課** 授業内容：完了を表す「了」。前置詞「給」。主述述語文。 事前学修 2.0hr：第 9 課を予習する。 事後学修 2.0hr：日本語の「～た」と中国語の「了」を比較して理解を深める。
3 回	**授業テーマ：第 10 課** 授業内容：時間の表現 3 時刻。連動文。疑問詞「怎么」。 事前学修 2.0hr：第 10 課を予習する。 事後学修 2.0hr：時間の表現 1・２・3 をまとめて体系的に整理してみる。
4 回	**授業テーマ：第 11 課** 授業内容：前置詞「在」。二重目的語。前置詞「跟」。 事前学修 2.0hr：第 11 課を予習する。 事後学修 2.0hr：前期勉強した動詞「在」とこの課で勉強した前置詞「在」の違いを理解する。
5 回	**授業テーマ：第 12 課** 授業内容：経験を表す「過」。動作量補語。お金の言い方。 事前学修 2.0hr：第 12 課を予習する。 事後学修 3.0hr：第 9 課～第 12 課の確認小テストを提出する。
6 回	**授業テーマ：第 13 課** 授業内容：時間量。時間量補語。「从・到・离」。 事前学修 2.0hr：第 13 課を予習する。 事後学修 2.0hr：すでに勉強した時間の表現 123 と時間量の違いを考える。
7 回	**授業テーマ：第 14 課** 授業内容：助動詞「会・能・可以」。 事前学修 2.0hr：第 14 課を予習する。 事後学修 2.0hr：３つの助動詞の共通点と相違点を理解する。
8 回	**授業テーマ：第 15 課** 授業内容：比較の表現。「是～的」構文。様態補語。 事前学修 2.0hr：第 15 課を予習する。 事後学修 2.0hr：日本語の比較表現と比較して中国語の比較文をより深く理解する。
9 回	**授業テーマ：第 16 課** 授業内容：「快～了」。方向補語。持続を表す「着」。 事前学修 2.5hr：第 16 課を予習する。 事後学修 3.0hr：第 13 課～ 16 課の確認小テストを提出する。
10 回	**授業テーマ：第 17 課** 授業内容：結果補語。処置を表す「把」。使役を表す「讓」。 事前学修 2.0hr：第 17 課を予習する。 事後学修 2.0hr：難易度の高い「把」の使い方をしっかり理解する。
11 回	**授業テーマ：第 18 課** 授業内容：進行を表す「在」。可能補語。禁止を表す「別」。 事前学修 2.0hr：第 18 課を予習する。 事後学修 2.0hr：この課の文法項目をしっかりまとめる。
12 回	**授業テーマ：第 19 課** 授業内容：方向を表す前置詞「往」。対象を表す前置詞「対」。選択疑問文「還是」。 事前学修 2.0hr：第 19 課を予習する。 事後学修 2.0hr：この課の文法をしっかりまとめる。

13回	**授業テーマ：第 20 課** 授業内容：因果関係を表す「因為～所以」。疑問詞の不定用法。疑問詞の任意用法。 事前学修 2.0hr：第 20 課を予習する。 事後学修 3.0hr：第 17 課~20 課の確認小テストを提出する。
14回	**授業テーマ：総復習** 授業内容：後期全体を復習する。 事前学修 3.0hr：復習して、まだ充分理解していないところを見つけて、授業でみなと一緒に解決する。 事後学修 3.0hr：模擬テストをやってみる。
15回	**授業テーマ：理解度の確認と解説** 授業内容：課題を出して理解度を検証する。 事前学修 3.0hr：後期全般を復習する。 事後学修 3.0hr：本物の HSK 試験(過去問)に挑戦して、自分の実力を試す。

中国語と中国文化 B

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

余　瀾（よ らん）

▌授業の概要

初心者を対象に中国語の基礎を学ぶ科目です。テキストに沿って、中国語の発音、会話と文法の基礎を学びます。また、中国社会や文化についても紹介します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：中国のことを知るとともに、中国語の基礎文法を理解し、日常会話（日付、曜日、誕生日、年齢、金額、食事の注文、ペット、好きな、色、果物など 12 場面）を聴き取り、話し、読み、書くことができる。

個別目標：到達目標は次です。

①中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につけます。
②中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができます。
③簡単な日常会話ができます。
④中国語の初級文法について理解することができます。
⑤中国の社会と文化について理解します。

▌履修条件

中国語の初修者。中国語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。

▌評価基準・方法

成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となります。
配分は、毎回行なう会話の発表が 20 %、単語テストが 20 %、期末テストが 60 %です。

▌フィードバック方法

授業中学生に指導します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （役を決め、短い会話を寸劇で演じながら覚えます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

あなたが主役演じる入門中国語　朝日出版社

▌参考書

授業中に指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：教科書の「発音」。中国、中国語、普通話、ピンイン、四声・単母音** 授業内容：中国はどんな国なのか、中国語はどのような言語なのかを簡単に説明します。普通話とピンインについて説明します。単母音と四声の発音を練習します。 事前学修 2.0hr：中国についての資料を読む。 事後学修 2.0hr：単母音と四声を練習します。
2 回	**授業テーマ：教科書の「発音」。複母音・子音** 授業内容：複母音・子音を練習します。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
3 回	**授業テーマ：教科書の「発音」。鼻母音・ピンインのつづりのルール** 授業内容：鼻母音を練習します。ピンインのつづりのルールを説明します。 中国の社会と文化①中国の大学生活 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
4 回	**授業テーマ：教科書の第 1 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」（曜日と日付）を練習します。 「文法ポイント」で「数字」・「日付」・「曜日」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
5 回	**授業テーマ：教科書の第 2 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」（年齢と誕生日）を練習します。 「文法ポイント」で「人称代名詞」と「A 的 B」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 中国の社会と文化②中国人の名付け方 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
6 回	**授業テーマ：教科書の第 3 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」（時刻）を練習します。 「文法ポイント」で「時刻」と変化を表す「～了」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

7回	**授業テーマ：教科書の第 4 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(チケットは一枚いくら？)を練習します。 「文法ポイント」で「動詞述語文」、「数詞＋量詞＋名詞」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 中国の社会と文化③中国の「鬼」と日本の「鬼」 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
8回	**授業テーマ：教科書の第 5 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(あなたの携帯番号は？)を練習します。 「文法ポイント」で判断文「A 是 B」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
9回	**授業テーマ：教科書の第 6 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(何名様ですか？)を練習します。 「文法ポイント」で「指示代名詞」と疑問詞「什麽」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 中国の社会と文化④中国人のお酒の飲み方 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
10回	**授業テーマ：教科書の第 7 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(入国審査)を練習します。 「文法ポイント」で選択疑問文判断文「～還是～」、「連動文」、「在＋場所＋動作」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
11回	**授業テーマ：教科書の第 8 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(買い物)を練習します。 「文法ポイント」で「喜歓」、「這・那・哪＋量詞＋名詞」、「動詞の重ね型」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 中国の社会と文化⑤中国人の挨拶時の身体動作 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
12回	**授業テーマ：教科書の第 9 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(肩をもんであげましょう)を練習します。 「文法ポイント」で「形容詞述語文」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
13回	**授業テーマ：教科書の第 10 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(ワンちゃんが可愛いね！)を練習します。 「文法ポイント」で「形容詞の比較文」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 「書く練習」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
14回	**授業テーマ：教科書の第 11 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(飲み物を注文する)を練習します。 「文法ポイント」で注文する時「来～」、 省略疑問文「～呢」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
15回	**授業テーマ：教科書の第 12 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(お昼何を食べるの？)を練習します。 「文法ポイント」で判断文「主述述語文」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

英語文化研究 A

開講学科等：日中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

小野　雅子（おの　まさこ）

▌授業の概要

翻訳者・トラベルライターとして活躍する著者が、興味深いトピックについて書いた平易な英文をよみ、米国社会が現状抱えている問題の一端を知る。米国の社会問題を知ることで、米国のみならず日本、ひいては世界の社会問題について考える姿勢を養う。
同時に英語力の向上にも力を入れる。教科書各チャプター冒頭の説明文読解を通して読解力の強化・語彙の増強に取り組む。時間が許せば、教科書掲載の会話と各チャプターのトピックに関連した動画（英語で発信されているもの）の視聴を通し、聴く力も養う。
毎回の授業では小テストを行う。授業前には、教科書の指定箇所の内容把握が求められる。また動画については授業前後の視聴が求められる場合もある。授業外で取り組む課題が出された場合は必ず提出しなければならないし、学期末のまとめテストは必ず受けなければならない。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：1．米国の社会問題を知ることで、他国の社会について自ら興味を持って学んでいく姿勢を身につける。
　　2．平易な英文を読み、その英文に関連した会話を聴くことで、読解力と語彙力を高める。
　　3．英語で発信された動画を視聴し、広く現代社会の問題に触れ、視野を広げる。
個別目標：1．教科書で紹介されたトピックについて一通り理解し、日本語で説明できる。
　　2．教科書で紹介されたトピックについて、日本語で自分の考えを述べることができる。
　　3．教科書で紹介されたトピックについて、米国以外の外国や日本の状況を知り、比較できる。
　　4．視聴した動画の内容を一通り理解し、教科書との関連において日本語で説明できる。

▌履修条件

1．英語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。
2．教科書を購入し、毎回持参すること。（教科書を購入しない場合は単位の取得は出来ません。）
3．十分な日本語運用能力があること。特に十分な読み書きの能力があること。
4．指定された課題に授業内外で取り組み、締め切り厳守で提出できること。（出席しているだけでは単位の取得は出来ません。）
5．欠席のみならず遅刻・早退に対し相応の減点があることを予め承知していること。

▌評価基準・方法

学期末のまとめテスト 30%、平常授業中の小テスト・課題、授業外の課題等 70%、
（評価割合に変更が生じる場合は、速やかに周知する。）

▌フィードバック方法

授業時間内に口頭で、また授業時間外に学修支援システム manaba 及び Google Classroom を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアで教科書の会話練習、グループで教科書のトピックについて意見交換）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 及び Google Classroom を用いて授業時間内で課題・小テストに取り組む）

▌教科書

著者：Alexander Farrell
書名：America Today: Culture, Society and History（米国の今：文化・社会・歴史）
出版社：松柏社
本体価格：1,980 円

▌参考書

英和・和英辞書（紙の辞書・電子辞書共に可。大学入学までに使用してきたもので構わない。）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：授業の概要説明、履修動機の共有、教科書の紹介 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、出来れば書店で教科書を手に取って斜め読みしてみる。（履修が確定している場合は購入する。） 事後学修 2.0hr：教科書を購入したら目次に目を通し、各チャプターがどのような内容であるか想像してみる。
2回	**授業テーマ：授業の進め方詳細及び Chapter 1:ブラック・ライブズ・マター運動（第 1 回）** 授業内容：教科書の各チャプター内容紹介、使い方説明、Google Classroom の使い方を説明する。テキストの reading passage 部分を分担して和訳し、教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：ブラック・ライブズ・マター運動がどのようなものか調べる。テキストの指定箇所を読み、未習表現については調べてた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をして、日本国内の人種差別問題について考える。
3回	**授業テーマ：Chapter 1:ブラック・ライブズ・マター運動（第 2 回）** 授業内容：引き続き教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。チャプターテーマに沿った会話の内容を理解するため教科書掲載の練習問題に答えた後、音読練習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
4回	**授業テーマ：Chapter 2:女子サッカーの世界（第 1 回）** 授業内容：テキストの reading passage 部分を分担して和訳し、教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、未習表現については調べてた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
5回	**授業テーマ：Chapter 2:女子サッカーの世界（第 2 回）** 授業内容：引き続き教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。チャプターテーマに沿った会話の内容を理解するため教科書掲載の練習問題に答えた後、音読練習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
6回	**授業テーマ：Chapter 4:ネイティブ・アメリカンの居留地（第 1 回）** 授業内容：テキストの reading passage 部分を分担して和訳し、教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、未習表現については調べてた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。

7回	**授業テーマ：Chapter 4:ネイティブ・アメリカンの居留地(第 2 回)** 授業内容：引き続き教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。チャプターテーマに沿った会話の内容を理解するため教科書掲載の練習問題に答えた後、音読練習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
8回	**授業テーマ：Chapter 8:人工知能(AI)が偏見？(第 1 回)** 授業内容：テキストの reading passage 部分を分担して和訳し、教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、未習表現については調べてた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
9回	**授業テーマ：Chapter 8:人工知能(AI)が偏見？(第 2 回)** 授業内容：引き続き教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。チャプターテーマに沿った会話の内容を理解するため教科書掲載の練習問題に答えた後、音読練習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
10回	**授業テーマ：Chapter 11:米国のドリーマーたち(第 1 回)** 授業内容：テキストの reading passage 部分を分担して和訳し、教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、未習表現については調べてた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
11回	**授業テーマ：Chapter 11:米国のドリーマーたち(第 2 回)** 授業内容：引き続き教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。チャプターテーマに沿った会話の内容を理解するため教科書掲載の練習問題に答えた後、音読練習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
12回	**授業テーマ：TED Talk (第 1 回)** 授業内容：翌週視聴する TED Talk に関連した英文を読み、和訳した後、内容理解確認問題に答えながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：配布された文書の指定箇所を読み、和訳する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
13回	**授業テーマ：TED Talk (第 2 回)** 授業内容：TED Talk を視聴し、内容理解確認問題に答えながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された TED Talk を見ておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
14回	**授業テーマ：前期授業の総括と学期末のまとめテスト(1)** 授業内容：前期授業で取り上げた問題について振り返り、自分の考えをまとめる。教科書の内容について試験で理解度を確認する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返って疑問点を確認し、試験の準備をする。 事後学修 2.0hr：前期の授業全般と試験の復習をする。
15回	**授業テーマ：前期授業の総括と学期末のまとめテスト(2)** 授業内容：前期授業で取り上げた問題について振り返り、自分の考えをまとめる。教科書の内容について試験で理解度を確認する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返って疑問点を確認し、試験の準備をする。 事後学修 2.0hr：前期の授業全般と試験の復習をする。

英語文化研究 B

開講学科等：日中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

小野　雅子（おの　まさこ）

▌授業の概要

翻訳者・トラベルライターとして活躍する著者が、興味深いトピックについて書いた平易な英文をよみ、米国社会が現状抱えている問題の一端を知る。米国の社会問題を知ることで、米国のみならず日本、ひいては世界の社会問題について考える姿勢を養う。
同時に英語力の向上にも力を入れる。教科書各チャプター冒頭の説明文読解を通して読解力の強化・語彙の増強に取り組む。時間が許せば、教科書掲載の会話と各チャプターのトピックに関連した動画(英語で発信されているもの)の視聴を通し、聴く力も養う。
毎回の授業では小テストを行う。授業前には、教科書の指定箇所の内容把握が求められる。また動画については授業前後の視聴が求められる場合もある。授業外で取り組む課題が出された場合は必ず提出しなければならないし、学期末のまとめテストは必ず受けなければならない。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：1．米国の社会問題を知ることで、他国の社会について自ら興味を持って学んでいく姿勢を身につける。
　　2．平易な英文を読み、その英文に関連した会話を聴くことで、読解力と語彙力を高める。
　　3．英語で発信された動画を視聴し、広く現代社会の問題に触れ、視野を広げる。
個別目標：1．教科書で紹介されたトピックについて一通り理解し、日本語で説明できる。
　　2．教科書で紹介されたトピックについて、日本語で自分の考えを述べることができる。
　　3．教科書で紹介されたトピックについて、米国以外の外国や日本の状況を知り、比較できる。
　　4．視聴した動画の内容を一通り理解し、教科書との関連において日本語で説明できる。

▌履修条件

1．英語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。
2．教科書を購入し、毎回持参すること。(教科書を購入しない場合は単位の取得は出来ません。)
3．十分な日本語運用能力があること。特に十分な読み書きの能力があること。
4．指定された課題に授業内外で取り組み、締め切り厳守で提出できること。(出席しているだけでは単位の取得は出来ません。)
5．欠席のみならず遅刻・早退に対し相応の減点があることを予め承知していること。

▌評価基準・方法

学期末のまとめテスト 30%、平常授業中の小テスト・課題、授業外の課題等 70%、
(評価割合に変更が生じる場合は、速やかに周知する。)

▌フィードバック方法

授業時間内に口頭で、また授業時間外に学修支援システム manaba 及び Google Classroom を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアで教科書の会話練習、グループで教科書のトピックについて意見交換）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 及び Google Classroom を用いて授業時間内で課題・小テストに取り組む）

▌教科書

著者：Alexander Farrell
書名：America Today: Culture, Society and History（米国の今：文化・社会・歴史）
出版社：松柏社
本体価格：1,980 円

▌参考書

英和・和英辞書(紙の辞書・電子辞書共に可。大学入学までに使用してきたもので構わない。)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction（ただし後期から新たに履修する学生不在の場合は別内容）** 授業内容：授業の概要説明、履修動機の共有、教科書の紹介 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、出来れば書店で教科書を手に取って斜め読みしてみる。(履修が確定している場合は購入する。) 事後学修 2.0hr：教科書を購入したら目次に目を通し、各チャプターがどのような内容であるか想像してみる。
2回	**授業テーマ：授業の進め方詳細及び Chapter 5:チップの払い方(第 1 回)** 授業内容：教科書の各チャプター内容紹介、使い方説明、Google Classroom の使い方を説明する。テキストの reading passage 部分を分担して和訳し、教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：ブラック・ライブズ・マター運動がどのようなものか調べる。テキストの指定箇所を読み、未習表現については調べてた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をして、日本国内の人種差別問題について考える。
3回	**授業テーマ：Chapter 5: Chapter 5:チップの払い方(第 2 回)** 授業内容：引き続き教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。チャプターテーマに沿った会話の内容を理解するため教科書掲載の練習問題に答えた後、音読練習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
4回	**授業テーマ：Chapter 7:セサミストリート(第 1 回)** 授業内容：テキストの reading passage 部分を分担して和訳し、教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、未習表現については調べてた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
5回	**授業テーマ：Chapter 7:セサミストリート(第 2 回)** 授業内容：引き続き教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。チャプターテーマに沿った会話の内容を理解するため教科書掲載の練習問題に答えた後、音読練習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
6回	**授業テーマ：Chapter 10:米国のユニークな食文化の融合(第 1 回)** 授業内容：テキストの reading passage 部分を分担して和訳し、教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、未習表現については調べてた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。

7回	**授業テーマ：Chapter 10:米国のユニークな食文化の融合(第 2 回)** 授業内容：引き続き教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。チャプターテーマに沿った会話の内容を理解するため教科書掲載の練習問題に答えた後、音読練習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
8回	**授業テーマ：Chapter 12:ビリー・アイリッシュ(第 1 回)** 授業内容：テキストの reading passage 部分を分担して和訳し、教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、未習表現については調べてた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
9回	**授業テーマ：Chapter 12:ビリー・アイリッシュ(第 2 回)** 授業内容：引き続き教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。チャプターテーマに沿った会話の内容を理解するため教科書掲載の練習問題に答えた後、音読練習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
10回	**授業テーマ：Chapter 6:米国が抱える薬物問題の現在(第 1 回)** 授業内容：テキストの reading passage 部分を分担して和訳し、教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、未習表現については調べてた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
11回	**授業テーマ：Chapter 6:米国が抱える薬物問題の現在(第 2 回)** 授業内容：引き続き教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。チャプターテーマに沿った会話の内容を理解するため教科書掲載の練習問題に答えた後、音読練習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
12回	**授業テーマ：TED Talk (第 1 回)** 授業内容：翌週視聴する TED Talk に関連した英文を読み、和訳した後、内容理解確認問題に答えながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：配布された文書の指定箇所を読み、和訳する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
13回	**授業テーマ：TED Talk (第 2 回)** 授業内容：TED Talk を視聴し、内容理解確認問題に答えながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された TED Talk を見ておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
14回	**授業テーマ：前期授業の総括と学期末のまとめテスト(1)** 授業内容：前期授業で取り上げた問題について振り返り、自分の考えをまとめる。教科書の内容について試験で理解度を確認する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返って疑問点を確認し、試験の準備をする。 事後学修 2.0hr：前期の授業全般と試験の復習をする。
15回	**授業テーマ：前期授業の総括と学期末のまとめテスト(2)** 授業内容：前期授業で取り上げた問題について振り返り、自分の考えをまとめる。教科書の内容について試験で理解度を確認する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返って疑問点を確認し、試験の準備をする。 事後学修 2.0hr：前期の授業全般と試験の復習をする。

国際理解ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

小川　正純（おがわ　まさずみ）

▌授業の概要

人種や民族、性に関する多様性、多文化共生、難民問題、宗教が世界情勢に及ぼす影響、気候変動などの国際問題について学ぶ。また、世界には多様な言語や文化を持つ人びとが住んでおり、大きな貧富の差があることをワークショップで体験し、私たちが暮らす日本は世界のどこに位置するのか考える。これらを通して受講者の国際問題を理解する力、異なる宗教や人種を越えて多様な人々と共生できる人間力の醸成を目指す。本授業では、講義を基にグループワーク、プレゼンテーション(グループごと)を通じて、国際問題についての理解を向上させる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：世界情勢、異文化、宗教、人種問題などの多様性と多文化共生、気候変動などについて理解し、世界を正しく読み解く知識・スキルを身につける。

個別目標：1．世界の情勢とその背景、宗教が世界に及ぼす影響、多様性や多文化共生、気候変動などについて説明できる。
2．グループワーク、プレゼンテーション(グループごと)で他者と協力して課題に取り組み、気づきを得るとともに、自分の考えを説明できる。

▌履修条件

1．世界情勢や異文化、人種・性などの多様性、気候変動など地球規模の問題について関心があること。
2．グループワーク、プレゼンテーションに積極的に参加できること。
3．毎回簡潔な課題レポートを提出できること。

▌評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎回のふりかえりレポート 45 %、授業内における参加姿勢及び発言など 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導(コレクション)などでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 PC を利用してグループディスカッションで発表するメモとレポートを作成するので、PC を持参してください。 第 13 回、14 回の授業ではグループワークのまとめ、プレゼンテーション資料を、PC を利用して作成し、第 15 回の授業では、PC を用いたプレゼンテーションを行います。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクションと日本を取り巻く世界情勢** 授業内容：講義の目的、授業、グループワーク、プレゼンテーションの進め方、到達目標、評価方法とともに、日本を取り巻く情勢について解説した後、グループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：日本を取り巻く世界情勢などについてのニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
2回	**授業テーマ：世界情勢①　アメリカ、ヨーロッパの動向** 授業内容：アメリカ、ヨーロッパの動向、ウクライナ情勢について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：日本と世界の状況についてのニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3回	**授業テーマ：世界情勢②　アジア・中東の動向** 授業内容：近隣諸国の動向、ミャンマー情勢、IT 大国としてのインド、パレスチナ紛争について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：日本を取り巻く情勢について関連のニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4回	**授業テーマ：世界を正しく読み解く** 授業内容：クイズとグループワークにより、先入観や思い込みでなく、事実やデータに基づき正しく世界を読み解く視点を身につける。授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：世界情勢についての関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5回	**授業テーマ：多文化共生について** 授業内容：ヘイトスピーチ、入管施設問題、日本の難民受け入れ状況、技能実習生の問題について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：多文化共生の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6回	**授業テーマ：難民問題について** 授業内容：難民問題に関するワークショップを実施し、難民問題に対する基礎的な事実を把握するとともに、日本の難民受け入れをめぐる状況について考える。その後、グループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：難民問題の関連の情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7回	**授業テーマ：宗教が世界に及ぼす影響** 授業内容：イスラム教、キリスト教、ユダヤ教が世界に及ぼす影響について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：世界情勢と宗教の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

8回	**授業テーマ：世界情勢と宗教について** 授業内容：パレスチナ問題、ロヒンギャ問題、カシミール問題、北アイルランド問題と宗教の関連について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：世界情勢と宗教の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
9回	**授業テーマ：「世界がもし 100 人の村だったら」ワークショップ** 授業内容：世界には、多様な言語や文化を持つ人びとが住んでおり、そこには大きな貧富の差があることを、シミュレーション(疑似体験)のワークショップで体験し、私たちが暮らす日本は世界のどこに位置するのか考える。 事前学修 2.0hr：世界情勢についてのニュースなどを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
10回	**授業テーマ：ダイバーシティ(多様性)について** 授業内容：ダイバーシティ(多様性)とは何か、人種、民族、性の多様性について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：ダイバーシティ(多様性)について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
11回	**授業テーマ：気候変動について** 授業内容：クイズとワークショップを通して、気候変動の原因やその影響について学び、身近な問題として捉えなおす。その後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：気候変動について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
12回	**授業テーマ：世界と日本の観光の動向** 授業内容：世界と日本の観光動向、オーバーツーリズムの問題、日本の観光戦略について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：世界と日本の観光についての関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
13回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備①** 授業内容：各グループで関心がある国際問題を選定し、テーマとプレゼンテーションをする内容について話し合う。ディスカッションを基に第 15 回に発表するプレゼンテーションの資料作成の準備を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションを行う国際問題を考えておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。
14回	**授業テーマ：グループワーク:プレゼンテーションの準備②** 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：プレゼンテーションを行い、全員で意見交換を行う。プレゼンテーション資料の作成及び発表は PC を利用し、パワーポイント、キャンバなどで行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

異文化実地研修 A・B

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要
本学と協定を締結している海外の大学等において、特定の分野について集中的な研修を行うとともに、異なる文化社会の側面に触れることにより、より高度な知識や技能を備えた国際社会に活躍する人材を育成することを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）
一般目標：学部・学科、派遣先によって異なる。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。
個別目標：学部・学科、派遣先によって異なる。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌履修条件
GPA 及び修得単位等による出願資格を設ける。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌評価基準・方法
学部・学科、派遣先によって異なり、国内における事前・事後研修への参加及び派遣先での研修期間を修了することにより単位認定する。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌フィードバック方法
必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （フィールドワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （報告書の作成）

▌教科書
派遣大学等で別途指示する。

▌参考書
派遣大学等で別途指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ
異文化実地研修

授業内容
60 時間相当分の研修内容とする。
派遣先、研修時期・期間及び認定される単位数等詳細については、履修の手引を参照すること。

事前学修
15 時間相当分の事前学修とする。
事前のオリエンテーション等で指示する。

事後学修
15 時間相当分の事後学修とする。
事前のオリエンテーション等で指示する。

法学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

櫻井　博子 (さくらい　ひろこ)

▌授業の概要

社会のルールの一つである法は、私たちの生活の様々な場面で関わっている。そのため、法律に関する基礎的な知識や考え方を学ぶことは、社会生活を送るうえでも有用である。
この授業では、私たちの生活に身近な法制度に関する基礎的知識を理解するし、現実の社会の具体的問題を「法的」に検討することを目的とする。
また、法を学ぶことを通じ、法律の規定にも様々な解釈の仕方があること、物事の解決に「唯一の正解」は存在しないことを知り、物事を多面的にとらえることを意識し、自分自身で考えてみるための基礎となる力を涵養する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：将来社会人となった際、直面し得る問題を、自身で処理できる能力を涵養するために、法の論理的なものの考え方の重要性を理解した上で、基礎的な法律の知識を身につける。
個別目標：(1) 社会のなかで法が果たす役割や法の意義を、具体的な事例とともに説明できる。
(2) 具体的な法制度の機能を、その制度の成り立ちや社会での現実的な意義等を踏まえて評価できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

各回の講義内容を復習する確認問題(小テスト)と期末試験の結果の合計(90 %)、授業内における参加姿勢等(10 %)、
到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
なお、講義ごとの課題は、学修支援システム manaba を通して行い、次回の授業で解説を行う。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの入力(スマートフォンで可能)）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

初回講義と講義中に適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、私たちの生活にかかわる法の種類とその分類** 授業内容：法とは何か、法の種類、法の分類 事前学修 1.5hr：ニュースや新聞等で、「法」に関わるものがどれくらいあるのか確認してみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
2回	**授業テーマ：ルールとその「適用」** 授業内容：法の適用による紛争の解決、解釈の必要性、条文の構造、法の解釈、解釈の技術 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
3回	**授業テーマ：国の仕組みに関する法(1)** 授業内容：憲法の役割と構造、人権(人権の種類、人権の制約、精神的自由、経済的自由、社会権) 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
4回	**授業テーマ：国の仕組みに関する法(2)** 授業内容：統治(三権分立、立法権(国会)の役割、行政権と議院内閣制、司法権の役割) 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
5回	**授業テーマ：取引社会と法(1)** 授業内容：日常生活を取り巻く契約と民法、契約と債権の発生、自由で健全な意思が結ぶ契約関係 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
6回	**授業テーマ：取引社会と法(２)** 授業内容：意思表示の構造、意思表示の瑕疵と意思の不存在、消費者保護のための特別法 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
7回	**授業テーマ：取引社会と法(３)** 授業内容：契約の意義、契約成立後の法律関係、履行遅滞、履行不能、その他の債務不履行、損害賠償 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
8回	**授業テーマ：取引社会と法(４)** 授業内容：住まいをめぐる法律関係、不法行為に基づく責任 (契約によらない債権債務の発生)、製造物責任法による消費者の保護 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
9回	**授業テーマ：家族にかかわる法(１)** 授業内容：夫婦間の法律関係、親子関係、離婚 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
10回	**授業テーマ：家族にかかわる法(２)** 授業内容：相続、法定相続人と法定相続分、相続の承認と放棄、遺産分割 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。

11回	**授業テーマ：犯罪にかかわる法** 授業内容：刑法とは、犯罪の成立と構成要件、犯罪の成立を阻却する事由 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
12回	**授業テーマ：責任と裁判制度** 授業内容：裁判と裁判手続の種類、裁判所と審級、民事裁判、刑事裁判 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
13回	**授業テーマ：企業に関する法** 授業内容：法人制度、法人に関する法律、法人の活動、会社 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
14回	**授業テーマ：雇用と労働関係に関する法** 授業内容：労働契約、労働者を保護する様々な制度、派遣労働における労働形態 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
15回	**授業テーマ：講義のまとめ** 授業内容：これまでの授業内容の総括 事前学修 1.5hr：これまでの講義内容を復習する。 事後学修 2.5hr：これまで学んできた内容を復習し、課題に解答する。

日本国憲法

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

吉田　成利 (よしだ　なるとし)

▌授業の概要

日本国憲法に関する身近な事例を素材とし、日本国民の権利義務や国家統治について学ぶ。
毎回の講義後、小レポートを条件に従い Manaba へ期限内に提出することが求められる。体育会の活動や就活、インターンなどで講義に出席できない場合や、履修修正などで遅れて履修を開始した場合には、必ず Manaba かメールで担当教員に連絡すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本国憲法に関する知識を習得し、客観的で公正な法的思考を会得する。
個別目標：(1) 日本国憲法が日本の国益を守り、国際未来社会における「この国のかたち」を描けていけるのか、各人が合理的な意見を創造する。
(2) 偏りのある意見や報道に惑わされることなく、日本の現実に即した憲法のあるべき姿について、各人が説明できる。
(3) 日々のニュースを憲法の観点からとらえ、自分なりの説明ができる。

▌履修条件

(1) 必ず指定された教科書を購入すること。教科書がないと、レポートが作成できません。
(2) 毎回の小レポートを、期限までに条件を守って本講義の Manaba の指定された提出先へ提出すること。

▌評価基準・方法

各自が所有する指定された教科書のみ持込可能である期末試験(60 %)、
毎回の講義終了後に提出する小レポート(30%)、
授業内の発言・姿勢(10%。講義内で教員により指名された際に真摯に回答しないと加点されない。)
毎回の講義冒頭に、前回の講義内容および小レポートについてフィードバックがなされる。

▌フィードバック方法

毎回の小レポート提出後に講義内でフィードバックを行います。必ず期限までに小レポートを提出してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回または 2 回に一度、教員にあてられ自分の意見を求められる）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回の講義資料を Manaba にアップし、レポート作成も PC で行う。）

▌教科書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』(慶應義塾大学出版会、2020 年)

▌参考書

適宜指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：法学における憲法の位置づけ** 授業内容：序論とオリエンテーション。 事前学修 2.0hr：憲法改正のニュースについて調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
2回	**授業テーマ：日本国憲法の基本原理と基本構造** 授業内容：日本国憲法の核となる原理と構造について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：天皇と譲位** 授業内容：我が国の象徴である天皇について、憲法はどのように規定しているのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
4回	**授業テーマ：人権保障とその限界** 授業内容：人権や自由は人としての当然の権利である一方、絶対ではないことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
5回	**授業テーマ：信教の自由と靖国神社参拝** 授業内容：宗教を信じる自由と信じなくても良い自由について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
6回	**授業テーマ：表現の自由とプライヴァシー侵害** 授業内容：言いたいことを言う自由について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
7回	**授業テーマ：婚姻の自由と同性婚** 授業内容：結婚とは男女の合意に基づくものであると日本国憲法が規定していることについて、LGBTQ の問題について、憲法が果たすべき役割について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
8回	**授業テーマ：学問の自由と教育無償化** 授業内容：教育について憲法はどのように規定しているのか学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
9回	**授業テーマ：社会権と勤労の義務** 授業内容：我々が労働するという行為について憲法はどのように規定しているのか学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
10回	**授業テーマ：国会と参政権** 授業内容：立法府こそが国家権力の最高機関であることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

11回	**授業テーマ：内閣と行政機構** 授業内容：内閣総理大臣は日本で最強の権力者なのか？ 学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：司法府と裁判員制度** 授業内容：裁判所と国民の司法参加について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：地方自治と地方創生** 授業内容：地方分権を進めれば日本はより活性化するのだろうか？ 学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：憲法９条と集団的自衛権** 授業内容：憲法 9 条と平和主義、自衛隊、そして日米安保条約の存在意義について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：憲法改正とその必然性** 授業内容：憲法改正の歴史的・社会的必然性について学び、結論付ける。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

経済のしくみ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

野口　尚洋 (のぐち　なおひろ)

▌授業の概要

本講義では、経済の仕組みについて理論と現実の両面から説明していきます。経済学の理論はミクロ経済学とマクロ経済学に大きく分けることが出来ます。前半はミクロ経済学の分野で市場の話を中心に説明していきます。後半はマクロ経済学の分野で日本の国全体の経済について説明していきます。「経済のしくみ」という講義名にあるように、経済学の理論だけでなく、経済学の理論を使って現実の経済のしくみを理解することを主眼に置き、なるべく身近な例を用いて説明していきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：身の回りに起こっている経済の問題について、自分で考えを持てるようにことができるようになります。経済の話は、アルバイトなど普段の生活から、就職活動や就職後も常に関係するものです。そのときの判断の基礎となるものだと考えています。また、現実のデータやグラフを多く紹介する予定です。一般常識としての知識も得ることができます。

個別目標：身の回りに現実に起きている経済問に興味をもち，その理由を自分で考え，行動判断の基礎とできる。

▌履修条件

5 分の 4 (80 %)以上出席することが履修条件です。また、経済学はグラフを多用しますので、自分で手を動かしながら自分で頭で考えることが重要です。したがって、主体的に授業に参加できる学生の履修を望みます。また、授業中に静粛を保てない学生の履修は遠慮下さい。

▌評価基準・方法

小テスト (30%)、期末試験 (70%) で評価します。学生の履修状況、講義の進度によっては中間試験を課すこともあります。また、原則 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件としますが、成績評価の対象にはしません。

▌フィードバック方法

小テストと期末試験のフィードバックは学習支援システム manaba を通して行いますので、必ず確認してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定しません。プリントにより授業を行います。授業で使用したプリントは manaba のコースコンテンツにもアップロードいたしますので、欠席した回の授業に関するプリントは、各自ダウンロードし、プリント・アウトして下さい。

▌参考書

参考書は適宜指定します。代表的な参考書として以下を挙げておきます。

前半のミクロ経済学分野：安藤至大『ミクロ経済学の第 1 歩』有斐閣 2013 年

後半のマクロ経済学分野：柴田章久・宇南山卓『マクロ経済学の第一歩』有斐閣　2013 年

全体の参考書：伊藤元重 『入門　経済学　第４版』日本評論社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・履修に当たっての諸注意と授業内容全体の説明・経済学独特の考え方(インセンティブ)** 授業内容：授業内容の全体と注意事項等、履修にあたり必要と思われる内容を説明します。その後に授業を行います。また、授業中に DVD を視聴します。 事前学修 1.0hr：繰り返し，シラバスをよく読んでくること 事後学修 3.0hr：この授業の履修に当たっての約束事項と授業の全般的内容を確認すること．経済学独特の考え方に触れる。manaba のアンケートの答える。
2 回	**授業テーマ：経済学独特の考え方(トレード・オフ、交換の利益、機会費用)** 授業内容：貿易の比較優位の理論を例に、トレード・オフ、交換の利益、機会費用について説明していきます。具体的な数値例を用いて説明していきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを読み、インセンティブについて復習しておく。 事後学修 2.0hr：トレード・オフ、機会費用について現実の実例を考える。期限までに、manaba の小テストを受験する。
3 回	**授業テーマ：企業の諸費用費用と利潤最大化** 授業内容：企業の費用についてグラフを描きながら解説していきます。特に「限界」の概念は経済学で必須の概念ですので丁寧に説明していきます。その後に企業の利潤最大化行動を考えます。最後にオリエンタルランドを例にとり損益分岐点における入場者数を求めていきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントにある問題を解き、間違えた問題は考え方をまとめておく。 事後学修 2.0hr：各費用の図を自分で導出し、自分で描いてみる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
4 回	**授業テーマ：市場の均衡と価格調整** 授業内容：市場についてみていきます。財の種類と需要曲線、供給曲線の変化の関係を分析していきます。また、次回の導入として、余剰の基本的な概念まで説明します。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントにある問題を解き、間違えた問題は考え方をまとめておく。 事後学修 2.0hr：非常に大事な「余剰」の概念を復習する。期限までに、manaba の小テストを受験する。
5 回	**授業テーマ：余剰分析** 授業内容：余剰の概念について説明し、その後に課税の効果について説明します。内容的には「経済のしくみ」の中で最も難しい内容だと思いますが、経済学の独特の考え方につながりますので、しっかり授業を聞いてください。 事前学修 2.0hr：供給曲線と需要曲線の導出をもう 1 度確認する。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題に関して、余剰の図を自分で描き、消費者余剰・生産者余剰・総余剰について確認する。期限までに、manaba の小テストを受験する。
6 回	**授業テーマ：保険のしくみ** 授業内容：消費者の効用最大について簡単に触れ、その後、保険のしくみと情報の非対称性について説明していきます。 事前学修 2.0hr：限界の概念をもう一度復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。情報の非対称性があるときの対策をまとめる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
7 回	**授業テーマ：ゲーム理論について理解する** 授業内容：色々な例を交えながらゲーム理論について説明していきます。具体的にはナッシュ均衡をメインに説明していきます。 事前学修 2.0hr：第４回の配布プリントの問題を解きながら、企業の利潤最大化をもう 1 度確認する 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。

8回	**授業テーマ：経済をマクロからとらえる** 授業内容：この回からはマクロ経済学の分野に入ります。GDP など一般常識として知っておくべき言葉の説明と戦後の日本経済の歩みについて説明していきます。 事前学修 2.0hr：配布プリントの GDP 成長率の図の指定の年に何があったか調べておく。 事後学修 2.0hr：戦後、日本の GDP の動きと、GDE と GDI の各構成要素のデータを調べる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
9回	**授業テーマ：財市場の分析** 授業内容：財市場を分析し、GDP の大きさがどのように決まるのかを説明する。その後、財政政策の効果について説明する。 事前学修 2.0hr：公共事業の具体例や減税についての近年の各党の主張を調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題をとき、財政政策の有効性を確認する。期限までに、manaba の小テストを受験する。
10回	**授業テーマ：貨幣市場の分析** 授業内容：貨幣とは何かから始まり、貨幣市場の説明をしていきます。実際に日本銀行のホームページを見ながら貨幣の歴史も振り返ります。 事前学修 2.0hr：日本銀行のホームページから貨幣博物館のサイトへいき、貨幣の歴史について調べる。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題をとき、貨幣の需要と供給、金融政策についてまとめる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
11回	**授業テーマ：物価の変動と失業を理解する** 授業内容：物価とインフレについて実際のデータを見ながら解説していきます。また、労働市場についても説明していきます。 事前学修 2.0hr：第 8 回のプリントから物価の上昇した時期と低下した時期にどのような経済的出来事があったかを調べておく。 事後学修 2.0hr：インフレとデフレの仕組みと影響，労働市場について復習しておく。期限までに、manaba の小テストを受験する。
12回	**授業テーマ：利子、債券、株についての理解する。** 授業内容：複利計算を説明していきます。また、債権と株の違いを説明し債券価格と株価の決まり方を説明していきます。 事前学修 2.0hr：第 6 回講義の余剰を復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。
13回	**授業テーマ：為替レートの決定と貿易の関係を理解する。** 授業内容：為替レートの決定を短期と長期に分けて説明します。また、為替レートの変動が貿易に与える影響についてもみていきます。さらに、国際収支統計を確認し、現在に日本の貿易状況を説明します。 事前学修 2.0hr：第 2 回のプリントから、絶対優位・比較優位の理論を復習する。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。
14回	**授業テーマ：日本の財政と社会保障制度** 授業内容：現実の日本財政を予算、税、国債、プライマリー・バランスに分けて解説していきます。また、年金を中心に社会保障制度についても触れていきます。 事前学修 2.0hr：第 7 回講義の保険のしくみを復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。
15回	**授業テーマ：これまでの復習と授業内試験** 授業内容：これまでの復習を行い、授業内試験を実施後その解説を行う。 事前学修 3.0hr：manaba で受験した小テストをもう一度復習する。manaba で配布する昨年度の問題を解いて答え合わせを行う。 事後学修 2.0hr：授業内試験で間違えた問題をもう一度解き直し、理解を深める。

社会と生活

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

櫻井　博子 (さくらい　ひろこ)

▌授業の概要

私たちが生活している社会の仕組みは、そのほとんどが「法律」によって作られている。この授業では、私たちの生活に身近な法制度に関する基礎的知識を理解し、現実の社会の具体的問題を「法的」に検討する。履修者が社会生活を送るなかでかかわる法律の仕組みを正確に、またより深く理解することができるようになるという「社会人基礎力」と、法を学ぶことを通じ、法律の規定にも様々な解釈の仕方があること、物事の解決に「唯一の正解」は存在しないことを知り、物事を多面的にとらえることができるようになる「論理力」を身に着けることを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：将来社会人となった際、直面し得る問題を、自身で処理できる能力を涵養するために、法の論理的なものの考え方の重要性を理解した上で、基礎的な法律の知識を身につける。

個別目標：(1) 社会のなかで法が果たす役割や法の意義を、具体的な事例とともに説明できる。
(2) 具体的な法制度の機能を、その制度の成り立ちや社会での現実的な意義等を踏まえて評価できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

各回の講義内容を復習する確認問題（小テスト）と期末試験の結果の合計（90 %）、授業内における参加姿勢等（10 %）、
到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
なお、講義ごとの課題は、学修支援システム manaba を通して行い、次回の授業で解説を行う。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの入力(スマートフォンで可能)）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

初回講義と講義中に適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、私たちの生活にかかわる法の種類とその分類** 授業内容：法とは何か、法の種類、法の分類 事前学修 1.5hr：ニュースや新聞等で、「法」に関わるものがどれくらいあるのか確認してみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
2回	**授業テーマ：ルールとその「適用」** 授業内容：法の適用による紛争の解決、解釈の必要性、条文の構造、法の解釈、解釈の技術 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
3回	**授業テーマ：取引社会と法(1)** 授業内容：日常生活を取り巻く契約と民法、契約と債権の発生、自由で健全な意思が結ぶ契約関係 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
4回	**授業テーマ：取引社会と法(2)** 授業内容：意思表示の構造、意思表示の瑕疵と意思の不存在、 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
5回	**授業テーマ：取引社会と法(3)** 授業内容：消費者を保護するための法、制限行為能力者制度 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
6回	**授業テーマ：取引社会と法(4)** 授業内容：契約の意義、契約成立後の法律関係、履行遅滞、履行不能、その他の債務不履行、損害賠償 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
7回	**授業テーマ：取引社会と法(5)** 授業内容：住まいをめぐる法律関係、不法行為に基づく責任 (契約によらない債権債務の発生)、 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
8回	**授業テーマ：「物に対する権利** 授業内容：所有権、占有権、知的財産権 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
9回	**授業テーマ：金銭の貸借に関する法** 授業内容：人的担保、物的担保、割賦販売法 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
10回	**授業テーマ：企業に関する法** 授業内容：法人制度、法人に関する法律、法人の活動、会社 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。

11回	**授業テーマ：家族にかかわる法(2)** 授業内容：夫婦間の法律関係、親子関係、離婚 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
12回	**授業テーマ：家族にかかわる法(2)** 授業内容：相続、法定相続人と法定相続分、相続の承認と放棄、遺産分割 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
13回	**授業テーマ：企業に関する法** 授業内容：法人制度、法人に関する法律、法人の活動、会社 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
14回	**授業テーマ：雇用と労働関係、社会保障に関する法** 授業内容：労働契約、労働者を保護する様々な制度、派遣労働における労働形態、社会保障制度 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
15回	**授業テーマ：講義のまとめ** 授業内容：これまでの授業内容の総括 事前学修 1.5hr：これまでの講義内容を復習する。 事後学修 2.5hr：これまで学んできた内容を復習し、課題に解答する。

社会と生活

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生クラス

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

絶えず変化し複雑な日本社会の特徴を探ることを目的とする。なぜそうなっているのか、どうしたらよいのかを考える。毎回、特定の社会領域に焦点を当てて、資料を読み解きながら進めていく。その際、日本語で自分の意見をまとめたりクラスメートと意見を交換したりする。コース前半には基礎知識に関する小テストがある。後半にはグループや個人で行った学習の成果を発表し、質疑応答をして学習を深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本の現代社会におけるさまざまな問題について正しく理解し、適切な判断、提言ができる。

個別目標：(1) 現代社会における問題を取り上げた資料を正確に読み取ることができる。
(2) 現代社会における問題について資料を集め、因果関係、取り組みなどを体系的に整理できる。
(3) 集めた資料をもとに、倫理性に配慮しながら他者に向けて自分の言葉で説明したり自分の立場でできることを提言したりできる。
(4) 他者との意見交換を通じて自分とは異なる価値観や考え方について比較対照し、一定の理解ができる。

▌履修条件

留学生である。
manaba の情報を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
積極的に授業に参加する。

▌評価基準・方法

テスト 40%、課題提出 30%、発表 20 %、授業参加度 10%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは対面授業および manaba から行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回グループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （発表準備の回で利用する。また、manaba、respon を使用する（スマートフォン対応可）。）

▌教科書

開講時に提示する。

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、テスト** 授業内容：授業目標、授業の進め方を伝える。現在の社会の中で自分はどのような立場でどのような役割を担っているのか考え、社会的自我について学習する。 事前学修 2.0hr：日本の新聞を読んで現代社会の問題をみつける。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：家族の捉え方** 授業内容：社会集団の一つである「家族」の定義や範囲が複雑であることを押さえたうえで、日本の家族構成の変化と少子高齢化の影響について資料を読んで、家族の多様化に関する理解を深めていく。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：家族関係** 授業内容：核家族化が進んだ日本では、家族のメンバー間の関係にどのような特徴があるか、なぜそうなっているのか、家族に何が期待されているのか資料を読み、履修者の国の状況と比較する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：ジェンダー** 授業内容：性別による社会的格差を取り上げ、なぜそうなってしまっているのかいくつかの概念とデータから読み解く。社会において平等や公平性が保たれていない場面を調べて報告する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：学校** 授業内容：日本の学校と自国の学校を比較し、教え方や指導の仕方など日本の学校の特徴を見つけ出す。また、日本の学校が生み出している問題とその背景について学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：教育制度** 授業内容：義務教育を終えたあと教育段階である高校に焦点を当て、受験など日本の教育制度の特徴を読み解く。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：孤独と孤立** 授業内容：日本の子どもや若者にとっての「友達」の実情を、友だちの数や「スクールカースト」などに焦点を当てて他国と比較しながら検討する。そのうえで学校における友達の在り方について考える。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：人間関係** 授業内容：大人にとっての「友達」の数や偏りについて論じたうえで「友達」以外の幅広い対象も含めて「人間関係」に関する日本の特性、および問題状況について話し合う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：格差社会** 授業内容：日本人の階層意識が一億総中流社会から格差社会へと変化してきた経緯を学習したうえで、格差拡大について調べる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

10回	**授業テーマ：経済・働き方** 授業内容：日本の経済的活力の長期的な推移をあらわす資料を読んだうえで、働くことへの考え方について他国と比較した資料を読み解き、働き方に対する日本の特徴をまとめる。職場の事例をもとに将来の働き方について議論する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：政治・社会参加** 授業内容：「民主主義」とはどのようなものかいくつかの議論を参照する。日本の若者の政治意識を検討し、なぜ若者の政治意識が低調になっているのかいくつかの仮説を読んで、意見をまとめる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：発表準備①データ収集** 授業内容：これまで学習してきたテーマの中から掘り下げたいことを調査し、資料を集める。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：発表準備②資料作成** 授業内容：集めた資料を整理し、発表原稿を書く。その後、ポスターとしてまとめる。原稿、ポスターをもとに話し方の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：発表** 授業内容：質問にはどのようなタイプがあるか、質問のタイミングとマナーについて学習したあと、ポスター発表会を行う。発表会では質疑応答を取り入れ議論をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：学習の振り返り、テストとフィードバック** 授業内容：第 1 回から第 14 回までの学習をふりかえり、ノートを整理する。テストを受けて、自らの成長を実感する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

政治のしくみ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

河野　武司 (こうの　たけし)

▌授業の概要

本講義では、政治のしくみ(制度と過程)について、理論と現実の両面から説明します。具体的には、日本政治を前提に、選挙制度など代議制民主主義を支える様々な制度や、政・官・財の「鉄の三角関係」、メディア、インターネットなどが政策決定に及ぼす影響を中心に、政策決定における現実について紹介していく予定です。その際、必要に応じて、政治に関する専門用語や理論を解説します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本政治の現実を理解し、他者に対してどうしてそうなのかを理論的に説明できる力を身に付けていただければと思っています。
個別目標：選挙において、主体的に選び、投票することができる情報を持った有権者となることを目指していただければと思っています。

▌履修条件

私が話したこと、板書したことを要領よくまとめ、自らの手でこの講義を受講したことの証としてのノートを作って、それを教科書の代わりとしてください。試験にあたっては、「すべて持込可」を予定していますので、自らがまとめたノートが非常に重要となります。聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥。不明な点があったら、授業の途中で構いませんから質問して、ノートを充実させてください。

▌評価基準・方法

期末試験 (80 %)、平常点(20 %：私からの質問に対する回答や疑問点に対する問題の提起といった普段の受講態度、場合によっては小テストも実施し、その結果も含める場合があります)で評価します。

▌フィードバック方法

定期試験等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定しません。

▌参考書

授業中に適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス(インセンティブ)** 授業内容：・履修に当たっての諸注意と授業内容の説明。 事前学修 2.0hr：シラバスを繰り返し読んでおいてください。 事後学修 2.0hr：この授業の履修に当たっての約束事項と授業の全般的内容を確認してください。
2 回	**授業テーマ：政治とは何か** 授業内容：・政治と国家→政治概念論争、様々な政治の定義の紹介 事前学修 2.0hr：アリストテレスによる「ポリスを必要としない者は、神か野獣に違いない」という言葉を調べましょう。 事後学修 2.0hr：自らの政治に関する定義について考えてください。
3 回	**授業テーマ：民主主義とは何か** 授業内容：・プラトンが理想とした哲人王による政治は民主主義か、直接民主制と間接民主制の長短 事前学修 2.0hr：民主主義とは何かについて考えておいてください。 事後学修 2.0hr：民主主義に関する説明を整理してください。
4 回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ①** 授業内容：・立憲主義、三権分立、様々な政治システム(大統領制、半大統領制、議院内閣制)、議会における一院制と二院制 事前学修 2.0hr：「絶対的権力は絶対的に腐敗する」という言葉を調べましょう。 事後学修 2.0hr：日本に首相公選制が相応しいか否か考えてみましょう。
5 回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ②　様々な選挙制度** 授業内容：・代表の意味(国民代表、地域代表、職能代表)、様々な選挙制度(小選挙区制、大選挙区制、比例代表制、混合システム) 事前学修 2.0hr：日本の衆議院の選挙制度(小選挙区比例代表並立制)について調べておいてください。 事後学修 2.0hr：日本の衆議院に相応しい選挙制度について、自身の考えをまとめましょう。
6 回	**授業テーマ：日本の選挙の諸問題** 授業内容：・政治的景気循環と政治的波乗り(7 条解散の是非)、一強多弱、重複立候補の是非 事前学修 2.0hr：自身が特に感じる日本政治における問題点を一つ挙げてみましょう。 事後学修 2.0hr：自身が挙げた日本政治の問題点の解決策について考えましょう。
7 回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ③　政党** 授業内容：・政党システム論とデュヴェルジェの法則、日本の政党システムとしての 55 年体制 事前学修 2.0hr：55 年体制について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：日本の政党システムにおける問題点についてまとめましょう。
8 回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ④　民主的選挙の 5 原則** 授業内容：・普通選挙、平等選挙、直接選挙、秘密選挙、投票の自由 事前学修 2.0hr：間接投票を採用しているアメリカの大統領選挙のしくみについて調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：義務投票制の是非について考察してみましょう。
9 回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ⑤　投票参加** 授業内容：・投票参加の計算式(期待効用モデル)、投票率の向上策 事前学修 2.0hr：投票参加の計算式について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：自身のオリジナルな投票率の向上策について考えましょう。
10 回	**授業テーマ：民主主義を支える仕組み⑥　投票方向の決定** 授業内容：・選挙における選択の基準(支持政党、争点、業績評価、選挙区に利益をもたらす政治家か否か) 事前学修 2.0hr：自身の過去の選挙における投票を振り返っておいてください。 事後学修 2.0hr：どのような基準で投票を行うのがよいかについて考えてみましょう。
11 回	**授業テーマ：政策決定における諸問題①　メディアの役割** 授業内容：・メディアは政府の活動を監視する番犬か、政府の飼い犬か、選挙におけるアナウンスメント効果 事前学修 2.0hr：メディアの報道によって自身の考えや行動が変わったことがあるか否かについて思い出してください。 事後学修 2.0hr：メディアの政治的役割について自身の考えをまとめましょう。

12回	**授業テーマ：政策決定における諸問題②　選挙政治と利益団体政治** 授業内容：・圧力団体政治と鉄の三角形、利益団体自由主義（多元主義と労働抜きのコーポラティズム） 事前学修 2.0hr：アメリカで最大の利益団体として知られる全米ライフル協会について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：政策を巡る自由市場が機能するか否かについて考えましょう。
13回	**授業テーマ：政策決定における諸問題③　利益の集中とコストの分散** 授業内容：・市民における合理的無知と政策決定における反消費者生産者支持の偏向、利益の組織化と政治的企業家 事前学修 2.0hr：孔子の「民は之に由らしむべし、知らしむべからず」という言葉を調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：政治現象を合理的選択という観点から説明することの妥当性について考えましょう。
14回	**授業テーマ：インターネットと民主主義** 授業内容：・インターネットは民主主義の敵か、インターネットが可能とする新しい民主主義の形（陪審制デモクラシー、カウンターデモクラシー） 事前学修 2.0hr：キャス・サンスティーンが書いた『民主主義はインターネットの敵か』の内容について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：インターネットを利用した 21 世紀にふさわしい新たな民主主義のしくみについて自身で考えてみましょう。
15回	**授業テーマ：授業の総括と質疑応答** 授業内容：まとめとして、これまでの授業内容を振り返るとともに、受講生からの質問に答えます。 事前学修 3.0hr：自らがまとめたノートを確認し、疑問点を抽出しておいてください。 事後学修 3.0hr：自らがまとめたノートを試験に備えて完成させ、繰り返し確認してください。

社会思想史

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

上野　大樹 (うえの　ひろき)

▌授業の概要

経済学をはじめとする社会科学を学ぶ上で必須となるのが、近代社会についての思想・理論についての理解である。本講義では、社会思想・社会理論・経済思想・政治思想について歴史的な視点から学んでいく。今日われわれが生きている複雑な社会をトータルに理解するためには、表層的な現象面だけでなく、その背景にある構造を把握する必要がある。しかし、経済学を含む社会科学は専門分化が著しく、個々の専門科目を修めていくだけでは社会の全体像をつかみ取ることは容易ではない。本講義では、社会について総合的・学際的な視点から分析を重ねた思想家たちの考えを、その歴史的背景とも関連づけながら詳しく紹介していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：(1) 社会を総合的な視点から理解するための思想・理論について理解を深める。
(2) 人類社会の歴史的・段階的な発展について、俯瞰的な視座から把握することができる。
(3) 経済や政治など機能分化した諸領域と全体社会との関係について、歴史的な観点から説明することができる。

個別目標：(1) 古代ギリシア・ローマ世界の思想・文化がその後の世界にどのような影響を与えたのかを理解し、説明できる。
(2) ヨーロッパで出現した近代社会の基本的な特徴について、歴史的な観点から把握し説明することができる。
(3) 近代社会の経済面での大きな特徴である資本主義・産業化について、アダム・スミスやカール・マルクスといった社会思想家がどのように分析を行ったのかを理解し、説明できる。
(4) 20 世紀以降の人類社会・地球社会が直面するさまざまな課題について、本授業で学ぶ社会思想家の考え方や理論を用いて自分なりの見解を提示することができる。

▌履修条件

高校世界史(あるいは歴史総合)の教科書を復習しておくことが望ましい。特に 15・16 世紀から現代史まで。

▌評価基準・方法

期末試験 60 %、授業内容を振り返るための小レポート(3〜4 回程度) 30%、授業時の積極的な参加や発言 10 %

▌フィードバック方法

小レポートの内容や授業後に受けた質問について各回の授業冒頭等で全体と(匿名で)共有して答えるとともに、以降の授業内容にも適宜フィードバックを行っていく。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

・大澤真幸『社会学史』(講談社現代新書、2019 年)【前期】
・北垣徹『社会学の問い』(中川書店、2022 年)【後期】

▌参考書

山脇直司『ヨーロッパ社会思想史　新版』(東京大学出版会、2024 年)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：社会思想史・概論** 授業内容：社会思想史とはなにか？　なぜ社会思想史を学ぶのか？ 事前学修 2.0hr：インターネットの検索エンジンなどを使って、「社会思想史」についての事典上の定義を複数(3 つ以上)調べてきてください。 事後学修 2.0hr：教科書を入手し、まずは序と目次を熟読する。本書序文の内容と授業で説明したこととがどのように関連するか、あるいは異なる部分があるとすればどこか、考えてくること。
2回	**授業テーマ：現代の社会問題と社会思想の視点** 授業内容：現代社会における医療・福祉に関する諸問題を取り上げ、社会思想の歴史からみたときに何が言えるのかを考える。それを通じて、社会思想史を学ぶことのアクチュアリティを理解する。 事前学修 2.0hr：現代日本の医療・福祉や社会政策について昨今どのようなことが問題となっているか、調べてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて、あらためて現代日本の医療福祉の課題や将来像について考えてみる。
3回	**授業テーマ：古代ギリシア・ローマの政治思想** 授業内容：政治や国家の語源ともなったポリス(都市国家)で展開された民主主義・共和主義とその思想的基盤について学ぶ。 事前学修 2.0hr：『社会学史』第１部・１「古代の社会理論　アリストテレス」を読んでくる。理解できた点と分からなかった点を腑分けしておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえてもう一度教科書の該当箇所を読み、理解の進展を確認する。
4回	**授業テーマ：古代ギリシア・ローマの経済思想と社会思想** 授業内容：公的領域で展開された政治に比して、大家族を中心とした私的領域で営まれた経済活動への評価は低かったが、現代の家政学や経営学にも通じる理論を展開した古代の思想家を概観する。 事前学修 2.0hr：前回登場したキーワードについて事典類で調べてくる。 事後学修 2.0hr：配布資料を読む。
5回	**授業テーマ：中世の社会思想** 授業内容：宗教(特にキリスト教)と世俗社会の関係について学ぶとともに、キリスト教世界のもとでの政治と経済の位置づけについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：前回登場したキーワードについて事典類で調べてくる。 事後学修 2.0hr：今回登場したキーワードについて事典類で調べてくる。
6回	**授業テーマ：社会契約論 (1)：ホッブズ・ロック** 授業内容：近代社会の理論的・思想的基礎を構築した社会契約説について学ぶ。 事前学修 2.5hr：『社会学史』第１部２「社会契約の思想」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえてもう一度教科書の該当箇所を読み、理解の進展を確認する。
7回	**授業テーマ：社会契約論 (2)：ルソーとフランス革命** 授業内容：近代社会の理論的・思想的基礎を構築した社会契約説について学ぶ。 事前学修 2.5hr：『社会学史』第１部２「社会契約の思想」を再読してくる。 事後学修 2.0hr：高校世界史の教科書をもとに市民革命(英米仏の諸革命)と産業革命について復習する。
8回	**授業テーマ：社会契約説批判と歴史社会学の誕生** 授業内容：スコットランド啓蒙について学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習。

9回	**授業テーマ：アダム・スミスと経済学の生誕** 授業内容：ヒュームとアダム・スミスの社会思想・歴史叙述・政治経済学について概観する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習。
10回	**授業テーマ：社会科学の誕生と初期社会主義の潮流** 授業内容：フランス革命以降の産業社会・労働社会をめぐる思想と実践について概観する。 事前学修 2.5hr：『社会学史』第１部３「社会科学の誕生」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて、もう一度教科書の該当箇所を再読する。
11回	**授業テーマ：スミスからマルクスへ** 授業内容：労働価値説と古典派経済学に対する 19 世紀産業革命以降の批判的展開について、ドイツを中心に理解する。 事前学修 2.5hr：『社会学史』第１部４「マルクス」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
12回	**授業テーマ：ヴェーバーとジンメルにおける社会学の誕生** 授業内容：18 世紀の啓蒙思想や 19 世紀前半の社会主義・産業主義の思想を踏まえて、近代知としての社会学がどのように出現してきたかを 19 世紀後半以降のドイツに焦点を当てて理解する。 事前学修 3.0hr：『社会学史』第２部３「ジンメル」、４「ヴェーバー」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
13回	**授業テーマ：ヴェーバー、フロイト、デュルケーム** 授業内容：社会学と精神分析の関係について、世紀末の時代背景を把握しつつ理解を深める。 事前学修 3.0hr：『社会学史』第２部１「フロイト」、２「デュルケーム」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
14回	**授業テーマ：社会システム論の誕生** 授業内容：20 世紀の社会学、特にパーソンズの構造機能主義と、現象学を基盤とするミクロ社会学の展開について学ぶ。 事前学修 3.0hr：『社会学史』第３部１「パーソンズ」、２「〈意味〉の社会学」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
15回	**授業テーマ：社会システム論の発展** 授業内容：フランス現代思想の基礎を学び、さらにルーマンによる社会システム論の「転回」についてポストモダンの時代状況と関連づけながら理解を深める。 事前学修 3.0hr：『社会学史』第３部３「意味構成的なシステムの理論」、４「社会学の未来に向けて」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。

日本企業論

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

粟沢　尚志（あわさわ　たかし）

▌授業の概要

本科目は教育目標「人間力形成」達成のための科目です。日本企業の過去・現在・未来に関心をもつ学生を対象に、経済学と経営学の二つの分析視点から、日本企業の組織・行動・成果を体系的に理解するために必要な幅広い教養的知識・技能のほかに、主体的に学ぶ態度を含む能力の養成を目指しています。授業で探究する主な課題は、日本企業の取引慣行（雇用・生産・流通）の特徴、グローバル市場での外国企業との競争と協調の実態、組織と戦略の独自性がもたらすイノベーションという日本企業が直面する課題です。毎回、授業内課題を課して理解を深めるとともに、受講生の能動的授業参加を求めます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：(1) 日本企業の活動（組織・行動・成果）を理解するために必要となる経済学と経営学の基本的な考え方の基礎を身につけることができる。
(2) 日本の企業・取引システムの歴史と現代日本企業の課題を理解するために必要な基礎的な知識と技能を修得することができる。

個別目標：(1) 日本企業に特徴的な雇用・生産・流通慣行を理解するのに必要となる制度的・戦略的補完性の重要性を説明できる。
(2) 日本企業の組織と戦略とイノベーションの相互関係を解明する複数の仮説モデルを説明できる。
(3) 日本に強く見られる経営倫理観（渋沢栄一の道徳経済合一説）を理解し、その今日的な実践（たとえばＳＤＧｓ）を卒業後に可能にする。

▌履修条件

履修に必要な予備的知識として「経済のしくみ」を履修することが望ましい。

▌評価基準・方法

manaba のレポート機能を使った毎週の課題（60 %）と、manaba の小テスト機能を使った最終試験（40 %）の合計点から評価する。

▌フィードバック方法

模範解答やコメントを提示します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （動画を使った視覚的な理解をはかります。）

▌教科書

指定なし。

▌参考書

加護野忠雄・山田幸三編『日本のビジネスシステム』有斐閣、2016 年.
丸山雅祥『経営の経済学　第 3 版』有斐閣、2017 年.
加藤健太・大石直樹『ケースに学ぶ日本の企業』有斐閣、2013 年.
橘川武郎・平野創・板垣暁編『日本の産業と企業』有斐閣、2014 年.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション：日本型経営とアメリカ型経営** 授業内容：教材（レジュメ）と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
2回	**授業テーマ：「ダイキン」のブルーオーシャン戦略** 授業内容：教材（レジュメ）と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
3回	**授業テーマ：「コマツ」の極限ブランド戦略** 授業内容：教材（レジュメ）と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
4回	**授業テーマ：「アサヒビール」が業界トップになるまでの戦略ストーリー** 授業内容：教材（レジュメ）と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
5回	**授業テーマ：「村田製作所」のオープンイノベーション戦略** 授業内容：教材（レジュメ）と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
6回	**授業テーマ：「公文」による教育のモジュール化** 授業内容：教材（レジュメ）と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
7回	**授業テーマ：「伊那食品工業」による《年輪経営》** 授業内容：教材（レジュメ）と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
8回	**授業テーマ：幸せの量産をパーパスとする「トヨタ自動車」** 授業内容：教材（レジュメ）と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
9回	**授業テーマ：「ルミネ」のコーペティション戦略** 授業内容：教材（レジュメ）と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成

10回	**授業テーマ：機会を活用した「ベネッセ」の多角化戦略** 授業内容：教材(レジュメ)と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
11回	**授業テーマ：「ヤマト運輸」の先義後利(せんぎこうり)の経営** 授業内容：教材(レジュメ)と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
12回	**授業テーマ：「スバル自動車」の共通善に向けた差別化戦略** 授業内容：教材(レジュメ)と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
13回	**授業テーマ：弱者の経営戦略で生き残る「銚子電鉄」** 授業内容：教材(レジュメ)と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：プリントを用いた予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
14回	**授業テーマ：「パナソニック」と経営の神様と呼ばれた松下幸之助の経営哲学** 授業内容：教材(レジュメ)と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
15回	**授業テーマ：日本企業と渋沢栄一の経営哲学** 授業内容：教材(レジュメ)と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成

地理と環境

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

池田　和子（いけだ　かずこ）

▌授業の概要

本講義は、人文地理学のなかでも環境と人との相互作用に焦点を当てる。本講義での「環境」は、自然環境にとどまらずそれまでに蓄積された地域の資源や既存の産業、人々の行動様式などを含む。

講義は 2 つの柱からなり、1 つは事例研究を通じて変化の具体的なプロセスとその背景にある地理的な考え方を学習する。もう 1 つは地図の技能に関わるもので、地域の特徴やその変化を地図からよみとる。また作図から、効果的な図とは何かを学んでいく。

前期と後期は学びの目標と毎回のテーマは同じであるが、事例研究と地図技能の配分が異なる。前期は事例研究に重点を置き、後期は地図技能を中心とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：地域を観察し、地域の個性が多様な要素の絡み合いから生じ、変化し続けている様子を捉えられるようになる。地域をよみとくための基礎知識を習得する。
地図、特に地形図を読むための基礎知識を習得する。また主題図の作図に関する基礎知識を習得し、効果的な作図について工夫できるようになる。

個別目標：・地理的スケールを意識しながら地域を観察することができる。
・地図や統計などの資料を読みとることができる。
・書かれた内容を適切に理解し、自分の考えを述べることができる。
・与えられたテーマについてグループディスカッションができる。

▌履修条件

高校で地理を履修していなくても構いませんが、積極的に学ぶ姿勢を求めます。

▌評価基準・方法

平常評価（講義中の課題）40%、最終試験（教場）60%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

講義での課題に対するフィードバックは翌週の講義中に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、地図の作図・読図）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （統計検索、ウェブ GIS の活用）

▌教科書

なし。配付資料にて行う。

▌参考書

適宜指示する。

高校生向けの地図帳や参考書があれば理解を助ける。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：(大学の)地理学とは、本講義の内容や評価方法について理解する。 事前学修 2.0hr：これまでに学校で学んだ「地理」のイメージや印象を考えてみる。 事後学修 2.0hr：「地理」のイメージが変化したかや、授業の内容から考えたことを文章にまとめてみる。
2回	**授業テーマ：浦安を知る①／地形図の基本** 授業内容：地形図の基礎を学び、実際に浦安の地形図を読みとる。また低地の土地利用について学ぶ。 事前学修 2.0hr：「地形図」とは何かを確認する。 事後学修 2.0hr：地理院地図で関心のある場所を見てみる。機能のいくつかを利用してみる。
3回	**授業テーマ：浦安を知る②／「地図感覚」をやしなう** 授業内容：時期の異なる浦安の地形図を比較し、浦安がどのように変化してきたかを読みとる。また、感覚的に地形図を理解することについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：地形図に関する課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：農林水産業の盛んな地域①／山地の地形図** 授業内容：実証研究論文を用いて、事例地域の特徴とその変化を読みとる。 山地の地形図で、等高線の読み方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：地形図に関する課題に取組む。
5回	**授業テーマ：農林水産業の盛んな地域②** 授業内容：農業立地の基礎と、事例となる品目の特徴について学ぶ。これを踏まえて論文を精読する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：身近な農業生産の場について、授業の内容があてはまるか異なるかを考える。
6回	**授業テーマ：農林水産業の盛んな地域③／自然環境の利用と災害リスク** 授業内容：扱う実証研究論文に関係する、発展的な知識について学ぶ。環境と人間との関わりとその変化について、より抽象的に理解する。また自然の恩恵と災害リスクが表裏一体であることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：4〜6 回目を通して、考えたことをまとめておく。
7回	**授業テーマ：製造業の盛んな地域①／統計データの利用** 授業内容：実証研究論文を用いて、事例地域の特徴とその変化を読みとる。論文で扱われている統計にはどのようなものがあるかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：関心のある事柄について、統計情報を探してみる。
8回	**授業テーマ：製造業の盛んな地域②／統計データの分析** 授業内容：工業立地の基礎と、事例となる産業の特徴、戦後日本の工業発展について学ぶ。これを踏まえて改めて論文の内容を理解する。また論文で扱われている統計データを実際に分析してみる。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 3.0hr：7〜8 回目を通して、考えたことをまとめておく。

9回	**授業テーマ：主題図と GIS（地理情報システム）の利用** 授業内容：主題図および、GIS による作図と分析について理解するとともに、実際にウェブ GIS を使うなどして主題図を作成する。 事前学修 2.0hr：主題図とは何か調べてみる。 事後学修 3.0hr：主題図作成の課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：第三次産業の盛んな地域①／主題図の重ね合わせ** 授業内容：実証研究論文を用いて、事例地域の特徴とその変化を読みとる。また、主題図を重ね合わせることについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：身近なサービス業の場について、授業の内容があてはまるか異なるかを考える。
11回	**授業テーマ：第三次産業の盛んな地域②** 授業内容：事例となる産業の、立地の基礎や産業史、近年の動向について理解する。これを踏まえて論文を精読する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：これまで学んだ事例の、産業としての違いを考える。
12回	**授業テーマ：第三次産業の盛んな地域③** 授業内容：扱う実証研究論文に関係する、発展的な知識について学ぶ。環境と人間との関わりとその変化について、より抽象的に理解する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：10～12 回目を通して、考えたことをまとめておく。
13回	**授業テーマ：時計の歴史①と地図・緯度・経度** 授業内容：時計の歴史をたどりながら、地図や特に緯度・経度との関わりについて理解する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：関心を持った事柄について調べる。
14回	**授業テーマ：時計の歴史②と地球・標準時・暦** 授業内容：時計の歴史をたどりながら、地球を知ることや標準時・暦との関わりについて理解する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：関心を持った事柄について調べる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：全体のまとめ、試験について 事前学修 3.0hr：これまでの復習をしておく。 事後学修 3.0hr：これまでに学んだことへの理解を深める。

地理と環境

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生クラス

木山　三佳（きやま　みか）

▌授業の概要

地理と環境(留学生クラス)では、文章、図版、データ、写真など様々な情報を統合し、様々な現代的なテーマのシステム的な理解をすることで、現実世界の諸事象の観察や洞察を行う力を養う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：自然と人文環境の両者を理解できるような複眼的な思考ができる。

個別目標：①様々なスケールごとに人と環境の関わりについて、情報を深く読み取り、課題の解決方法を理論的に表現できる。
②文章、地図、図表、写真、統計データなどの資料を集め、倫理性に配慮し、活用できる。
③地図、統計データ等の情報を処理し文章と統合して、内容を正確に理解する
④課題達成のために他者との協働作業を行うことができる。
⑤地理と環境に対するシステム的な思考力を適切に評価し、計画をたて、能動的に学習し、正しく振り返ることができる。

▌履修条件

毎回出席する。manaba のコースニュースでの連絡を読むこと。提出期限を守ること。授業活動に積極的に参加する。使えるリソースを適切に利用する。

▌評価基準・方法

平常評価（通常週の課題提出による評価）50%、最終試験 50%の割合で評価する。詳細は第 1 回授業で説明をする。

▌フィードバック方法

毎回、コメントシートで質問等を受け付ける。
課題及び試験のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （コンセプトテスト・ピアインストラクション・コメントシート・ジグソー活動）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （地図、データなどの検索に利用する。）

▌教科書

高橋伸夫ほか　『改定新版ジオグラフィー入門』古今書院

▌参考書

授業で指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：科目の概要、目標、評価基準、授業および課題提出などについての説明を行い、事前テストを行う。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク・アンケート 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
2回	**授業テーマ：人間環境と人間社会** 授業内容：地形、気候などの自然環境と政治、経済活動などの社会環境との関わりを複眼的に分析する、という地理学の本質的な考え方を理解する。高知県を例にとって日本の産業構造の変化を自然条件、社会条件から分析する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
3回	**授業テーマ：日本を縮める新幹線** 授業内容：日本の新幹線の延伸を年代別の地図から読み解く。時間距離という概念を理解し、新幹線の延伸の背景にある、日本の人口分布の変化、鉄道を用いた物流システムの変化などから日本経済の発展を分析する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
4回	**授業テーマ：分布図で見るオーストラリア** 授業内容：オーストラリアの人口分布と耕地の分布を比較する。鉱業、畜産業などの分布図と地域ごとの産業構造を比較した表を対照させてオーストラリアの自然条件と産業構造を理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
5回	**授業テーマ：選挙にみる地理学** 授業内容：衆議院総選挙結果と人口指標の推移、地域別投票率、政党別獲得議席数などから日本の政治の地域性を理解する。一票の格差、ゲリマンダー選挙区など選挙制度上の問題について考える。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
6回	**授業テーマ：人々の行動を分析する** 授業内容：社会生活基本調査による生活時間の増減と男女有業者の週平均活動時間から日本人の生活活動の分析を時間の側面から把握する。それにパーソントリップ調査を加えて、子どもを持つ夫婦の生活を時間移動から分析し、日本の少子化問題を考える。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：小テスト・レポート・コンセプトマップを作成する。
7回	**授業テーマ：頭のなかの地図** 授業内容：人間が頭の中に持つ認知地図の要素、構造を理解し、いかに形成されるか、どのような要因で認知地図の歪みが生じるかを事例から理解する。認知地図がサーベイマップなのかルートマップなのかという議論を学ぶ。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。
8回	**授業テーマ：地図は語る** 授業内容：縮尺、地図記号など地形図の見方の基本を学ぶ。1961 年、1970 年、1994 年の浦安市の地形図を比較し、漁師町から住宅・文教・レジャー施設を持つ海浜ニュータウン地域へと変容した浦安の都市化を理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。
9回	**授業テーマ：地形図の読み取り** 授業内容：同じ地域の年代の異なる地形図を読み取り、その地域における産業の変遷などを推測する。ジグソー活動によって、他の学習者と協力してタスクシートを完成させる。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。

10回	**授業テーマ：人はいかに分布するか** 授業内容：人が居住する範囲であるエクメーネにおける人の分布を表す方法として、人口密度、一人あたり面積、人口接近度などの用語を学び、各国のデータを用いて実態を分析する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：小テスト　・コンセプトマップを作成する。
11回	**授業テーマ：人は移動する** 授業内容：移動者数の推移や地域ごとの人口変動のタイプから、地方の中心県が周辺県からの流入と東京への転出を行うという都市システムを理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：小テスト
12回	**授業テーマ：都市の内部に構造をみる** 授業内容：都市地理学における古典的内部構造モデル、同心円地帯モデル、セクターモデル、多核心モデルを理解し、都市の内部構造が形成される要因とプロセスを理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。
13回	**授業テーマ：東京一極集中は進む** 授業内容：日本の地域別人口の歴史的変化から東京一極集中の背景を理解する。主要都市の経済的中枢管理機能を比較し東京にある行政的中枢管理機能の集中と首都機能移転を巡る議論を考える。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。
14回	**授業テーマ：都市は気候を変える** 授業内容：環八雲やヒートアイランドなどの現象を通して都市気候が発生する仕組みを学ぶ。人口集中によって地表面の特性が変わり、代謝熱によるエアロゾルの発生が都市気候の背景にあることを理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
15回	**授業テーマ：最終試験とフィードバック** 授業内容：最終試験を行いフィードバックを行う。コース全体の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：アンケート

自然環境論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

磯田　尚子（いそだ　しょうこ）

▌授業の概要

現代社会における最も重要な課題のひとつである環境問題について、その原因や発生のメカニズムは何か、何が問題となっているか、そして解決のためにどのようなしくみを構築すべきかを学ぶ。環境法政策学をに中心として、自然保護に関する環境倫理学・環境哲学の知見をも取り入れながら、法的なしくみの現状と課題について学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：環境問題に関する法的なしくみについて、基本的な知識を習得するとともに、持続可能な社会、自然と人間の共生に向けて何が必要かを理解する。

個別目標：環境問題に関する法的な制度やしくみについて、専門用語とその内容を、自分の言葉できちんと説明できるようになる。

▌履修条件

学問に対する誠実な姿勢を有し、自主的、積極的に学ぶ学生を歓迎する。

▌評価基準・方法

筆記試験９０%、レポートまたは授業中の発表・発言１０%を総合して成績評価を行う。
原則として、授業回数１５回のうち５分の４以上の出席を評価の前提基準とする。

▌フィードバック方法

レポートのフィードバックは、授業内で行い、筆記試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子(編著)『多元的環境問題論(増補改訂版)』(ぎょうせい)
ISBN978-4-324-08009-2

▌参考書

講義において適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、環境問題の歴史 1（公害問題）** 授業内容：初めに、授業の概要・進め方や評価方法、留意事項について説明する。続いて、日本の公害の歴史を概観した後、戦前の公害問題の典型例である足尾鉱毒事件を取り上げ、この時代の公害問題の原因や背景を考える。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．１．１を熟読する。 事後学修 2.0hr：足尾鉱毒事件について調べる。
2回	**授業テーマ：環境問題の歴史 2（四大公害訴訟）** 授業内容：戦後高度経済成長期に起こった四大公害事件から学びを得るとともに、四大公害訴訟を通じて形成された法理論の内容と意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章２．１．２～２．１．４を熟読する。 事後学修 2.0hr：四大公害訴訟を通して形成された法理論を４つ挙げて、それぞれについて説明する。
3回	**授業テーマ：環境問題の歴史 3（公害の未然防止）** 授業内容：高度経済成長後の公害裁判において課題となった公害の未然防止に関し、差止訴訟の事例を紹介しながら、裁判で用いられた論理を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章２．１．５を熟読する。 事後学修 2.0hr：受忍限度論について説明する。
4回	**授業テーマ：環境基本法の制定と環境基本計画** 授業内容：公害問題と環境問題の根本的な違いを知るとともに、環境基本法と環境基本計画の内容を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章２．１．６および２．２．１を熟読する。 事後学修 2.0hr：環境基本法の特徴を述べる。
5回	**授業テーマ：環境保全手法** 授業内容：公害問題の時代から有効であった規制的手法と、環境問題の解決のために新たに導入されてきている経済的手法の２つを中心に、協定的手法、情報的・教育的手法その他を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．２．３～２．２．４を熟読する。 事後学修 2.0hr：規制的手法と経済的手法を比較する。
6回	**授業テーマ：環境保全のための理念と基本原則** 授業内容：環境問題の解決のために採用されている理念や基本原則のうち、持続可能な開発/発展(SD)と汚染者負担原則(PPP)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：持続可能な開発/発展、汚染者負担原則について調べる。 事後学修 2.0hr：環境と経済の同時達成について具体例を調べる。
7回	**授業テーマ：大気環境１（大気汚染、酸性雨、オゾン層破壊）** 授業内容：大気汚染、国境を越えて被害が生ずる酸性雨、さらに地球規模で影響があるオゾン層破壊について、その発生メカニズムと影響と法的な対策を学ぶ。 事前学修 2.0hr：酸性雨とオゾン層破壊のそれぞれについて、発生メカニズムと影響について説明する。 事後学修 2.0hr：大気汚染、酸性雨、オゾン層破壊のそれぞれについて、どんな対策が取られているか説明する。
8回	**授業テーマ：大気環境２（気候変動）** 授業内容：今世紀最大の環境問題である気候変動について、その発生メカニズム、影響、法的な対策の歴史と現状(気候変動枠組条約、京都議定書、パリ協定)を学ぶ。 事前学修 2.0hr：気候変動(地球温暖化)の発生メカニズムと影響について説明する。 事後学修 2.0hr：京都議定書とパリ協定の内容を説明する。
9回	**授業テーマ：土壌環境（土壌汚染）** 授業内容：土壌汚染の特徴を理解するとともに、土壌汚染問題のタイプと対策の歴史、土壌汚染対策法の内容を意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．４を熟読する。 事後学修 2.0hr：土壌汚染対策法の内容について説明する。
10回	**授業テーマ：廃棄物 1（廃棄物法制度の概要）** 授業内容：廃棄物関連の法律の全体像をつかんだ後、廃棄物処理法、資源有効利用促進法、リサイクル関連の法律の内容と意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．６を熟読する。 事後学修 2.0hr：廃棄物処理法、リサイクル関連の法律、グリーン購入法の内容について説明する。

11回	**授業テーマ：廃棄物 2（循環型社会形成に向けて）** 授業内容：リサイクル関連の法律の進展を知るとともに、循環型社会形成推進基本法で定める理念や原則を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．６を熟読する。 事後学修 2.0hr：循環型社会形成推進基本法の内容について説明する。
12回	**授業テーマ：生物環境 1（自然の権利）** 授業内容：自然を原告として提訴する自然の権利訴訟について、日本の訴訟とそのモデルとなったアメリカの訴訟を通して、ある地域の開発について地域住民以外の者が法的に意見を述べることについて考えるとともに、自然に権利を付与する法政策的な意義を論じる。 事前学修 2.0hr：教科書第 1 章１．５．４及び第４章 4.2.3 を熟読する。 事後学修 2.0hr：自然の権利を主張する意義について論じる。
13回	**授業テーマ：生物環境 2（自然保護思想史）** 授業内容：２０世紀初めに誕生した自然保護に当初から２つの異なる潮流(保全、保存)があったこと、その後の展開として、土地倫理、ディープ・エコロジー、さらに、現在の社会派、女性派、生命地域主義への分化を学び、自然保護の目的、手法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書第４章４．２～４．３を熟読する。 事後学修 2.0hr：自然保護する目的と方法について、２つの異なる思想を比較する。
14回	**授業テーマ：生物環境 3（自然環境保全制度）** 授業内容：日本の自然環境保全のための法律４つ(自然公園法、自然環境保全法、種の保存法、鳥獣保護法)の内容を理解し、国法レベルでの自然保護手法の特徴について考える。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．５．３を熟読する。 事後学修 2.0hr：自然環境保全のための４つの法律の内容について説明する。
15回	**授業テーマ：生物環境 4（里山の保全）、総括** 授業内容：近年の里山保全についての政策転換、地方自治体の条例の内容を学ぶ。そして、これまでの授業を振り返る。 事前学修 2.0hr：これまでの授業のノートを振り返る。 事後学修 2.0hr：関心のある自然地域または生物がどのように保護されているか調べる。

都市と生活

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中嶋　久人 (なかじま　ひさと)

▌授業の概要

20 世紀後半以降の世界は、都市化が進展し、都市的な生活が村落地域でも浸透しているようになっている。それでも、大都市の中心地域は、他地域とは違った様相を示している。本授業では、大都市の中心地域の一例として東京中心部を把握し、微視的に住民それぞれによる都市における生活の様相をとらえ、さらに巨視的に都市全体を俯瞰して経営の対象としての都市を歴史的に考察し、生活と都市という二つの契機が結びついている状況を検討したい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：それぞれの住民にとって大都市において生活することのあり方を把握し、その上で、そのような住民の生活をもとに都市全体を経営することを歴史的に検討する。このことは、学問的課題であると同時に、それぞれにとっての生活的課題であり、さらには都市全体の社会的課題である。この授業で学習したことをもとに、新たな学問的課題に取り組むとともに、都市で生活することの基礎知識を習得し、都市全体を経営する視点を展望することができる。

個別目標：①東京北部を主要な対象としている吉見俊哉『東京裏返し』を教科書にして、講師が「街歩き」＝フィールドワークにおいて撮影した写真や講師自身の生活体験などを交えて、都心部で生活するということについて、地理的環境や前近代の伝統などの影響もふまえて、イメージを形成することができる。

②「破壊と復興が築いた都市」「帝都・首都圏とインフラの拡大」「近代都市を生きる民衆」など七つのテーマで東京全体の近現代都市を考察した源川真希『東京史』を教科書にして、都市全体を俯瞰した都市経営を構想することができる。

③コメントペーパー作成、討論、教場レポート提出、論述試験などを通じて、論理的に自己の考え方を表現することに習熟することができる。

▌履修条件

履修条件は特にない。他用の折でもよいので「街歩き」＝フィールドワークを行い、さらに、教科書や講師の提示した参考文献に目を通すという積極的な姿勢が望まれる。

▌評価基準・方法

評価基準は、試験 60 %平常点 40 %とする。定期試験については五分の四以上の出席を条件とする。平常点は、授業中に教場にてレポートを提出してもらい、それを中心として、コメントペーパーの提出・記入や授業態度なども総合して評価する。

▌フィードバック方法

授業でコメントペーパーをもとに討論を行い、それによってフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （コメントペーパーを配布し授業中にそれをもとに討論する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

吉見俊哉『東京裏返し一社会学的街歩きガイド』(集英社新書 1033B 2020 年　980 円＋税)

源川真希『東京史一七つのテーマで巨大都市を読み解く』(ちくま新書 1727 2023 年　900 円＋税)

▌参考書

東京の地理に詳しくないものは東京の地図を持参することが望ましい。その他、教科書に挙げられている文献を中心に授業の進行に合わせて必要に応じ適宜指定する予定である。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：本授業の運営方法、講師・学生の自己紹介、教科書の概要説明** 授業内容：本授業の運営についてガイダンスを行う。講師の自己紹介の後、学生が自身の自己紹介と本授業に期待することを述べる。その後、本授業の到達目標・運営方法などを説明し、吉見『東京裏返し』と源川『東京史』について、序章にあたる部分を中心にそれぞれの概要を述べる。 事前学修 2.0hr：『東京裏返し』の「はじめに」と『東京史』の「プロローグ」を中心に目を通すこと。本授業に期待することを検討しておくこと。 事後学修 2.0hr：本日の講義内容を把握しておくこと。教科書の序章部分で挙げられた文献に目を通すこと。
2回	**授業テーマ：「都電荒川線に乗って東京を旅する」(『東京裏返し』第一日)** 授業内容：「都電荒川線に乗って東京を旅する」(『東京裏返し』第一日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
3回	**授業テーマ：「秋葉原ー上野ー浅草間に路面電車を復活させる」(『東京裏返し』第二日)** 授業内容：「秋葉原ー上野ー浅草間に路面電車を復活させる」(『東京裏返し』第二日)(『東京裏返し』第一日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
4回	**授業テーマ：「動物園を開放し、公園を夜のミュージアムパークに」(『東京裏返し』第三日)** 授業内容：「動物園を開放し、公園を夜のミュージアムパークに」(『東京裏返し』第三日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
5回	**授業テーマ：「都市にメリハリをつけながら、古い街並みを守る」(『東京裏返し』第四日)** 授業内容：「都市にメリハリをつけながら、古い街並みを守る」(『東京裏返し』第四日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
6回	**授業テーマ：「都心北部で大学街としての東京を再生させる」(『東京裏返し』第五日)** 授業内容：「都心北部で大学街としての東京を再生させる」(『東京裏返し』第五日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
7回	**授業テーマ：「武蔵野台地東端で世界の多様な宗教が連帯する」(『東京裏返し』第六日)** 授業内容：「武蔵野台地東端で世界の多様な宗教が連帯する」(『東京裏返し』第六日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。

8回	**授業テーマ：「未来都市東京を江戸にする」(『東京裏返し』第七日)** 授業内容：「未来都市東京を江戸にする」(『東京裏返し』第七日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
9回	**授業テーマ：「破壊と復興が築いた都市」(『東京史』第１章)** 授業内容：「破壊と復興が築いた都市」(『東京史』第１章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
10回	**授業テーマ：「帝都・首都圏とインフラの拡大」(『東京史』第２章)** 授業内容：「帝都・首都圏とインフラの拡大」(『東京史』第２章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
11回	**授業テーマ：「近代都市を生きる民衆」(『東京史』第３章)** 授業内容：「近代都市を生きる民衆」(『東京史』第３章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
12回	**授業テーマ：「自治と政治」(『東京史』第４章)** 授業内容：「自治と政治」(『東京史』第４章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
13回	**授業テーマ：「工業化と脱工業化のなかで」(『東京史』第５章)** 授業内容：「工業化と脱工業化のなかで」(『東京史』第５章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
14回	**授業テーマ：「繁華街・娯楽と都市社会」(『東京史』第６章)** 授業内容：「繁華街・娯楽と都市社会」(『東京史』第６章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
15回	**授業テーマ：「高いところ低いところ」(『東京史』第７章)** 授業内容：「高いところ低いところ」(『東京史』第７章)について、「エピローグ　東京を通して見た近現代」も含めて、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。

生活と安全

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

笠嶋　義夫 (かさしま　よしお)

▌授業の概要

人間が生活をしていく上で、「安全」は最も重要な要素である。しかし、その範囲はあまりに広いので、本講義では、「地球温暖化とエネルギー問題」「食糧問題」「水問題」「廃棄物問題」に焦点をあてる。国連が SDG ｓを提唱してから、世界的に注目され、最も重要でかつ解決しなければならない分野と位置づけされている問題ばかりである。これらの問題から、現代における人間社会の「安全」とは何かを考えてみる。なお、社会情勢と密接に関係している科目のため、社会情勢の変化により、講義の進行順序を入れ替えたり、少し内容を変更することがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：人間が「生活」していくうえで、避けることのできない問題である、「地球温暖化とエネルギー問題」、「食糧問題」、「水問題」、「廃棄物問題」のかかえている重要な要素を理解する。

個別目標：(1)「地球温暖化とエネルギー問題」、「食糧問題」、「水問題」、「廃棄物問題」それぞれについて、概略を説明できる。
(2)これらの問題について、どのように対応すべきか、個別に説明できる。
(3)これらの問題が身近に差し迫ったとき、どのように、人間が「安全に」生活していけるのか、その道筋を判断できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

4 回の大きなレポート(講義の振り返りを含む)で 64 点満点(16 点満点× 4 回)、講義の振り返りシート(前述の「大きなレポート」以外)が 36 点満点(4 点満点× 9 回)で、合計 100 点満点とします。レポートは、提出したからといって、「満点」が与えられるのではありませんので、くれぐれも注意のこと。レポートは、ほぼ毎回出ることになります。

▌フィードバック方法

レポートのフィードバックは、講義または manaba で行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義の振り返りシートの提出とそのフィードバック）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レポートは、ワードファイルで提出してもらいます。）

▌教科書

「新版(第３版)　環境の科学」中田昌宏・笠嶋義夫　著　(三共出版)

あと、必要に応じてプリントを pdf または jpeg、パワーポイントで manaba にアップします。manaba を見れるものを持参してください(講義でプリントは配布しません)。

▌参考書

「森が消えれば海も死ぬ」第 2 版　松永勝彦　著　(講談社)

「地球の限界」オーウェン・ガフニー/ヨハン・ロックストローム　著　戸田早紀　訳　(河出書房新社)

「世界で最初に飢えるのは日本」鈴木宣弘　著　(講談社)

「牡蠣養殖 100 年　汽水の匂いに包まれて」畠山重篤著(株式会社マガジンランド)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンスと本講義の概略** 授業内容：ガイダンスで講義内容・学習方法・評価方法について解説する。その後、本講義の概略を解説し、現代社会の抱えている問題を提起する。 事前学修 2.0hr：インターネットなどで、地球上の環境問題でどんなことが起きているかをしらべてみてください。 事後学修 2.0hr：事前学修と講義を聴いたうえで、自分なりに再度環境問題について考えてみてください。
2回	**授業テーマ：地球温暖化の現況** 授業内容：地球の成り立ちから振り返り、IPCC 報告書をもとに、地球温暖化とはどのような状態であるかを説明する。 事前学修 1.5hr：地球温暖化によって、どのようなことが地球上で起こっているかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
3回	**授業テーマ：パリ協定** 授業内容：温暖化対策の世界的な取り組みである「パリ協定」について、その成り立ちと中身について解説する。 事前学修 1.5hr：「京都議定書」と「パリ協定」について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
4回	**授業テーマ：原子力発電** 授業内容：地球温暖化対策の一番手といわれる「原子力発電」。その利点と欠点を探る。あわせて、福島原発の事故についてと、現況についても触れる。 事前学修 1.5hr：原子力発電のしくみと、福島原発の事故と現況について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
5回	**授業テーマ：再生可能エネルギー** 授業内容：再生可能エネルギーについて、風力発電と、太陽光発電を中心に、その原理と、先進事例について学ぶ。 事前学修 1.5hr：再生可能エネルギー導入事例として、ヨーロッパではどのようなことが行われているかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
6回	**授業テーマ：世界の森林問題** 授業内容：世界の森林のあり方について、アマゾンを中心に考える。あわせて、世界各地の森林保護運動にも触れる。 事前学修 1.5hr：世界各地の森林保護運動について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
7回	**授業テーマ：日本の森林問題** 授業内容：日本の森林のあり方について考える。森林が荒廃している現況、森林がどのように人類の営みに影響を与えているかを考える。 事前学修 1.5hr：日本の森林は、なぜ荒廃しているのか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
8回	**授業テーマ：電気自動車(EV)** 授業内容：CO2 排出が制限されていく中で、次世代自動車として注目されている電気自動車の利点と欠点をみる。 事前学修 1.5hr：電気自動車について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。

9回	**授業テーマ：世界の食糧問題** 授業内容：途上国では深刻な食糧問題が、世界で見ると見方が大きく変わる。その点を解説する。 事前学修 1.5hr：現在の世界の食糧事情について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
10回	**授業テーマ：日本の食糧問題** 授業内容：食料自給率が、先進国の中では最も低い日本。その食糧事情と、食品ロスについて考える。 事前学修 1.5hr：日本の食品ロスについて、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
11回	**授業テーマ：水問題** 授業内容：人間が生きていくうえで最も必要なもの。日本でも世界でも、水を得るためにどのような問題点があるかを考える。 事前学修 1.5hr：日本の食料事情で、どのような問題が起こっているか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
12回	**授業テーマ：オゾン層と紫外線** 授業内容：オゾン層がどのように「有害紫外線」から、地球上の生き物を守っているか、またオゾンホールを中心にオゾン層破壊の問題について考える。 事前学修 1.5hr：オゾン層破壊のメカニズムを、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
13回	**授業テーマ：代替フロンの問題** 授業内容：オゾン層を破壊しないで、フロンの性質を持つ「代替フロン」。その問題点と、解決方法を探る。 事前学修 1.5hr：代替フロンについて、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
14回	**授業テーマ：廃棄物問題** 授業内容：国土が狭いゆえに抱える日本のアキレス腱。その実態と、世界と日本の新しい取り組みについて説明する。あわせて、「海洋プラスチックゴミ(マイクロプラスチック)」の問題にも触れる。 事前学修 1.5hr：日本と世界の「廃棄物」の処理方法と、有効活用について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
15回	**授業テーマ：日本はどうあるべきか** 授業内容：今までの講義を振り返りながら、「日本はどうあるべきか」について考える。 事前学修 1.5hr：今までの講義(１４回分)の内容を見返してみてください。 事後学修 3.0hr：講義振り返りシートの作成。

行動科学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

樋口　倫子 (ひぐち　のりこ)

▌授業の概要

行動科学という学問は、学際的な研究分野で人間の行動を総合的に解明し、予測・制御しようとする実証的経験科学です。ビジネス領域では、どのようにしたら人はやる気が高まり行動を起こし、パフォーマンス向上につながるのか、また保健医療領域では、どのようにしたら、人は不健康行動を変容させ健康行動を継続することができるかなどが研究され、日常的に応用活用されている学問です。
本講義では、新しい時代に必要とされるヒューマニティに根差した人間の行動にかかわる諸理論を学びます。特に、Well-being(人と共に、こころ豊かに生きる) につながる理論に関する理解を深め、日常生活での実践に還元できることを目的としています。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：人間の行動にかかわる諸理論を理解し、その理論を基盤とした「人と共に、こころ豊かに生きる」ために何ができるかを考える力を涵養する。社会において、互いの多様性を尊重しあい Well-being を実現する態度とコミュニケーション(社会性・合理性・創造性)を身につける。
個別目標：1)人間の行動にかかわる諸理論を説明できる。
2)様々な場面における人間の行動を、多角的視点から考える。
3)自他共に活かし、前向きに生きるためのヒューマン・スキルを習得し、日常生活に応用できる。
4)前向きな自己成長行動をとりながら、価値観の異なる他者とかかわるコミュニケーションを身につける。

▌履修条件

授業は、対話的にピア・エデュケーション、クリエーティブ・ラーニングの手法で行われます。
そのため、仲間と共に学習し合う雰囲気を一緒につくりましょう。
履修者多数の場合、履修動機を基に履修者を決定する(最大受講人数 80 名程度)ため、第 1 回の講義に必ず出席してください。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。質問や発言による講義への参加度(25 %)と、学習の成果物①講義ごとの小課題(50 %)、学習の成果物②最終レポート課題(25 %)により総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、翌週以降の講義の冒頭や学修支援システム manaba で、全体に対して行う。
理解が不十分な場合には、補習を実施する。
個別指導は、ワークブックへのコメントを以って行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Think-Pair-Share Thik-Group-Share　Dialogue　Refrecing-Talk）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの質問への回答　デジタル資料閲覧　データ共有）

▌教科書

1）Well-being の行動科学ワークブック(￥600)
登校日にワークブックを購入してください。購入方法は、講義内や manaba で案内します。
2)配布資料

▌参考書

授業内で、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：行動科学入門** 授業内容：1．このコースの学習の進め方をイメージする。 2．この講義では何を学ぶのかを理解する。 3．人々の行動に関する多様な考え方を、身近な事例から考える。 事前学修 2.5hr：行動科学を履修する目的を 400 文字程度でまとめる(manaba で提出を求めます)。 事後学修 1.5hr：タイプ A 行動特性のチェックから、自分の行動のパターンを分析、考察する。
2回	**授業テーマ：Well-being と自己理解(エゴグラムを活用した自己理解)** 授業内容：エゴグラムのワークシートを活用し、自己理解を深める。 エゴグラム特徴と頃の行動パターンをセルフワークで考察する。 Think-Pair-Share により、自己理解・他者理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 1 章「Well-being と自己理解」を読み、エゴグラムのチェックを実施する。 事後学修 2.0hr：エゴグラムから、自分の行動のパターンや人間関係を分析、考察する。
3回	**授業テーマ：Well-being と自己理解②(エゴグラムを活用した他者理解)** 授業内容：エゴグラム特徴と、人間関係の特徴をセルフワークで考察する。 人間関係の改善のために、どの領域を高める必要があるかを考える。 Think-Pair-Share により、自己理解・他者理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第２章「Well-being のコミュニケーション」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、日常の非言語コミュニケーションの改善について考察する。
4回	**授業テーマ：安心できる人間関係をつくる①　非言語コミュニケーション・アクティブ・リスニング** 授業内容：気持ちの交流に不可欠な非言語領域(表情、声、視線、姿勢と動作)について理解する。 人間関係に効果的に働く非言語について考える。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 2 章「Well-being の非言語コミュニケーション」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、非言語コミュニケーションの改善について考察する。
5回	**授業テーマ：安心できる人間関係をつくる③　沈黙と傾聴** 授業内容：「話す」と「きく」からなるコミュニケーションの半分を占めている「きく」について考える。 沈黙のゲームを通して、「きく」ことの影響力を確かめる。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック３章 「Well-being とリスニング」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：効果的な沈黙姿勢とブロッキングリストをまとめ、これまでの自分の聴き方を分析し、改善策を検討する。

6回	**授業テーマ：自己イメージとグループダイナミクス** 授業内容：自己抑制型行動特性と対人依存型行動特性の視点から、自らのコミュニケーションを振り返る。 価値交流のグループワークを体験する。 体験学習から得たコミュニケーションの気づきを、Think-Group-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 1 章「1.5 パーソナリティチェック」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、自他の能力を引き出すコミュニケーションを考察する。
7回	**授業テーマ：共感の時代の Well-being** 授業内容：なぜ共感の時代なのかを考える。 共感的な聴き方を、ペアで体験する。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 3 章「Well-being のリスニングスキル」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：協力者を得て、共感的な聴き方を再度行ってみる。その結果や気づきをまとめる。
8回	**授業テーマ：コース前半のまとめ** 授業内容：コース前半の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。 事後学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、レポートをまとめる。
9回	**授業テーマ：Well-being のアサーション①　アサーション入門** 授業内容：自他を尊重したコミュニケーションとしてのアサーションについて知る。 自らの表現型(アサーティヴ、ノンアサーティヴ、アグレッシヴ)を、セルフチェックを通して振り返る。 アサーティヴに、「謝る」「励ます」を、ペアで体験学習し、Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章 Well-being のアサーションを読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：共感のワークを、2 名の協力者を得て復習する。
10回	**授業テーマ：Well-being のアサーション②　アサーティヴにお願いする・断る** 授業内容：アサーティヴに「お願いする・断る」ための伝え方を理解する。 アサーティヴに「お願いする・断る」をグループで体験学習し、Think-Group-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章 Well-being のアサーションを読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：アサーションを日常会話に取り入れ、自己観察した結果を、分析及び考察する。
11回	**授業テーマ：Well-being を実現する支援スキル①　基本姿勢とコーチング法** 授業内容：援助者コンピテンシー・セルフアセスメントを実施する。 援助の基本姿勢と行動段階ごとの支援法について理解する。 コーチングの理論を理解する。 コーチングのガイドラインを活用し、ペアで体験学習する。 体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 6 章 「Well-being の対人援助」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：協力者を得てコーチングを実施し、そのプロセスを記録し考察する。
12回	**授業テーマ：Well-being を実現する支援スキル②　―カウンセリング法** 授業内容：カウンセリングの理論を理解する。 カウンセリングのガイドラインを活用し、ペアでカウンセリング体験をする。 体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 6 章 「Well-being の対人援助」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：協力者を得てカウンセリングを実施し、そのプロセスを記録し考察する。
13回	**授業テーマ：Well-being のダイアローグ①　対話姿勢と外在化の姿勢** 授業内容：対話と会話の違いについて理解する。 オープンダイアローグの理論と実践について理解する。 オープンダイアローグの動画をみて、モデル学習する。 気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 5 章 「Well-being のダイアローグ」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：身近な人との会話の中で、対話(ダイアローグ)の基本姿勢を試し、その結果をまとめる。
14回	**授業テーマ：Well-being のダイアローグ②　リフレクティング・トーク** 授業内容：リフレクティング・トークの理論と実践を理解する。 ガイドラインを活用し、グループでリフレクティング・トークを体験をする。 体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 2.0hr：5 章の 5.2 オープンダイアローグの講を読んで、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：リフレクティング・トークの体験を振り返り、今後どのように生かせるかを考えてまとめる。
15回	**授業テーマ：コース全体のまとめ** 授業内容：コース全体の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオに目を通し、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択し、まとめてくる。 事後学修 2.0hr：このコースでの学びの活用に関する最終課題に取り組む。

データのまとめ方

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

新井　啓（あらい　けい）

▌授業の概要

各学部に設置されている統計関連の専門科目の基礎となる統計学の基礎的な考え方を学ぶ授業です。2018 年ころから GAFA による個人情報の利用が世界的に問題になっており、データの分析技術以前にデータを収集する前の段階において個人情報保護法を理解しなければならない世界になりました。そこでこの授業でも個人情報保護法の基礎的な考え方も説明します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：平均や標準偏差などの統計学の基礎的な知識と個人情報保護法の基礎的な考え方とプライバシー権を理解できること。
個別目標：プライバシー権と個人情報保護法の基礎的な考え方を理解できる。

▌履修条件

統計学に関心があること。

▌評価基準・方法

毎回の授業時に行う manaba の小テスト（50%）、事前・事後学修（50 %）

▌フィードバック方法

小テストや定期試験などの結果は学習支援システムの manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

新井啓『プロ野球と経済　２０１８』開成出版。

▌参考書

特に指定しない。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：統計とは？** 授業内容：統計と経済の関係。統計に法律の知識が必要なのはなぜ？ 事前学修 2.0hr：教科書の 1 から 3 ページをよく読むこと。 事後学修 2.0hr：授業ノートの復習
2 回	**授業テーマ：標本と母集団** 授業内容：標本とは？　母集団とは？ 事前学修 2.0hr：教科書の 4 から 6 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 2 回目の授業ノートの復習
3 回	**授業テーマ：個人のデータと個人情報保護法。** 授業内容：個人の情報はなぜ重要なのか？　個人情報の保護はなぜ必要なのか？　フェイスブックと個人情報の経済問題。バックアップデータはどんなデータになるのか？ 事前学修 2.0hr：教科書の 7 から 8 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 3 回目の授業ノートの復習
4 回	**授業テーマ：データをどうまとめるのか？** 授業内容：データの中心の尺度とばらつきの尺度。ヒストグラム。標準偏差の意味。 事前学修 2.0hr：教科書の 9 から 11 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 4 回目の授業ノートの復習
5 回	**授業テーマ：著作権と肖像権** 授業内容：著作権とは？　YouTube を利用する際の注意点　肖像権 事前学修 2.0hr：教科書の 65 から 68 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 5 回目の授業ノートの復習
6 回	**授業テーマ：インターネットの利用で損害を被った場合** 授業内容：民事訴訟法の基礎 事前学修 2.0hr：教科書 69 ページから 71 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 6 回目の授業ノートの復習
7 回	**授業テーマ：インターネットの利用で犯罪に巻き込まれてしまったら** 授業内容：刑事訴訟法の基礎 事前学修 2.0hr：教科書 67 ページから 72 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 7 回目の授業ノートの復習
8 回	**授業テーマ：個人情報保護法と憲法の基礎。** 授業内容：憲法におけるプライバシー権とは？　SNS を利用する上での表現の自由（憲法 21 条）。 事前学修 2.0hr：教科書 99 ページから 100 ページ読むこと 事後学修 2.0hr：第 8 回目の授業ノートの復習
9 回	**授業テーマ：企業法の基礎** 授業内容：商法と会社法。内部統制制度と企業の情報の管理。 事前学修 2.0hr：教科書 101 ページから 103 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 9 回目の授業ノートの復習
10 回	**授業テーマ：情報法の基礎** 授業内容：モノとしての放映権の経済問題。匿名加工データと深層学習。 事前学修 2.0hr：教科書 115 ページから 118 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 10 回目の授業ノートの復習
11 回	**授業テーマ：情報刑法の基礎** 授業内容：刑法とは？　アメリカの経済とヨーロッパの経済の違い。 事前学修 2.0hr：教科書 110 ページから 113 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 11 回目の授業ノートの復習
12 回	**授業テーマ：SPI の基礎的問題** 授業内容：数学を中心にして、国語・英語・地理歴史。 事前学修 2.0hr：教科書 145 ページから 148 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 12 回目の授業ノートの復習

13回	**授業テーマ：個人情報保護法と民法の基礎。** 授業内容：民法とは？　契約とは？　学籍番号は個人情報？　オプトアウトとオプトインの違い 事前学修 2.0hr：教科書 119, 135 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 13 回目の授業ノートの復習
14回	**授業テーマ：個人情報保護法と行政法の基礎。** 授業内容：行政法とは？　行政法と憲法の関係。行政機関が保有する個人情報とは？　仮名加工データ。 事前学修 2.0hr：教科書 86 ページから 90 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 14 回目の授業ノートの復習
15回	**授業テーマ：セイバーメトリックス** 授業内容：プロ野球と統計学の関係。日本のプロ野球のドラフト制度。収益分配制度。 事前学修 2.0hr：教科書 136, 144 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 15 回目の授業ノートの復習

数理の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

私たちの身の回りでは、速さや成長、面積や確率など、変化し続けるものや果てしなく広がるものがたくさんあります。一見複雑に見えるこうした現象も、微分と積分を使えば驚くほどすっきりと説明できます。この授業では、「そもそも微分や積分は何をとらえようとしているのか」という根本に立ち返り、無限や極限の感覚を養いながら、数学的にものごとを捉える力を身につけます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：数学的にものごとを考える力をつける。

個別目標：① 微分・積分の概念を直感的・論理的に理解する。
② 簡単な関数について微分や積分を計算し、現象の理解に活用できるようになる。
③ 微分や積分の計算結果の意味を理解して、利用できるようになる。

▌履修条件

少なくとも 2 回目の授業からは必ず出席してください。履修修正で 1，2 回目の授業に出ていない場合の措置は行わず欠席とします。

▌評価基準・方法

毎回の授業中や事後学習にて提出する課題の得点の合計を 100 点満点に換算して評価します。
課題としては、manaba のドリルや小テスト、レポート（manaba を通じて提出します）が用意されています。
中間試験や定期試験はありません。詳しくは第 1 回授業の「ガイダンス」で説明します。

▌フィードバック方法

課題やテストのフィードバックは、主に学習支援システム manaba を通じて行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学んだことや演習問題を学生同士で説明しあう時間を設けるなど。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、PC があると課題に取り組むときに便利です）

▌教科書

教科書は使用しません。必要に応じてプリント教材を manaba にて配布します。

▌参考書

小林俊行「地力をつける微分と積分」（岩波書店）
【購入する必要はありませんが、事実上のテキストで、この本に沿って講義を進める予定です。】

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：ガイダンスにて、講義内容の紹介、受講に際しての注意事項、成績評価方法について説明する。その後で、簡単なミニ講義（2 桁のかけ算を楽にする方法紹介）をして、課題提出の練習（この課題も成績評価対象）をする。 事前学修 1.0hr：この講義概要を読んで、講義内容についてのイメージを作っておく。 事後学修 3.0hr：注意事項を頭に入れる。練習用の課題に取り組み、提出する。
2 回	**授業テーマ：単項式・多項式・一般の関数** 授業内容：単項式 x^n を組み合わせて様々な形の関数が作れることを見る。関数の主要な項を取り出す方法として「2 項展開」を用いる。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
3 回	**授業テーマ：複利のはなし** 授業内容：複利計算と音律が同じ理屈で構成されていることを説明する。また、複利計算の極限としてネイピア数が導かれることを見る。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
4 回	**授業テーマ：微分の定義** 授業内容：微分の定義と意味を学習し、単項式 x^n の微分公式を導出する。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
5 回	**授業テーマ：指数関数の性質** 授業内容：微分しても変わらない関数の性質を調べ、これが指数関数 $y=ex$ であることを見る。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。授業の振り返りレポートに回答する。
6 回	**授業テーマ：微分を感じる** 授業内容：大地の傾斜、速度、加速度、さらに経済学の効用を通じて、日常生活の中で微分を感じる場面を紹介する。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
7 回	**授業テーマ：微分に関するいくつかの公式** 授業内容：微分に関するいくつかの公式を、身近な例を使って導出する。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
8 回	**授業テーマ：微分方程式と指数関数** 授業内容：簡単な微分方程式を解いて得られる指数関数が、自然界のいろいろなところに登場することを具体的に見る。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
9 回	**授業テーマ：三角関数の微分と指数関数** 授業内容：三角関数の微分について考察する。指数関数の変数を複素数まで拡張することで、指数関数と三角関数を繋げる「オイラーの公式」が得られることを見る。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
10 回	**授業テーマ：2 階微分を感じる** 授業内容：微分して得られた導関数をもう 1 度微分して得られる 2 階微分を感じる例として、ニュートンの運動方程式を取り上げる。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。

11回	**授業テーマ：多変数関数と偏微分** 授業内容：多変数関数がどんなものか説明し、偏微分という操作を定義する。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
12回	**授業テーマ：偏微分を幾何学的に理解する** 授業内容：2 変数関数を 3D グラフや等高線を使って「見る」ことによって、偏微分の公式の幾何学的側面を体感する。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
13回	**授業テーマ：制約条件がある場合の極大・極小** 授業内容：制約条件がある場合の最適化の基本的な考え方である「ラグランジュの未定乗数法」について説明する。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
14回	**授業テーマ：一変数関数の積分** 授業内容：「細かく分けて積み上げる」ことで面積や体積を求める作業を通じて、積分という計算の意味を知る。さらに一変数関数の積分を定義する。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
15回	**授業テーマ：一変数関数の積分で表される様々な量** 授業内容：面積、体積、密度と重さの関係、力のモーメント、確率など、一変数の積分で表すことができる量を具体的に見る。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。

身近な物理

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

この講義では、私たちの身のまわりの感覚や常識を反映した物理学である「古典物理学」に焦点を当てます。具体的には、ニュートンの法則による物体の運動、電気と磁気の関係、光や音を表す波動、そして熱エネルギーの法則などを取り上げます。これらの概念を通じて、日常の出来事や技術の原理を理解し、身近な物理現象に対する興味と洞察力を高めることを目指します。なお、「自然の書物は数学の言葉によって書かれている（ガリレオ）」以上、数学は必須ですが、その使用は最低限に留め、物理学初心者に優しい内容での提供を予定しています。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日常生活で経験するさまざまな物理現象について理解を深め、科学的な視点から説明できる能力を身につける。
個別目標：① 古典物理学で取り扱う物理法則を説明できる。
② 数少ない基本法則から、身近な現象を科学的に分析できる。
③ 物理学の歴史を通じ、物理学がどんな学問かを理解する。

▌履修条件

1 回目の授業から参加すること。なお、履修変更（補正）で 1，2 回目の授業に出ていない場合の調整はしません（単純に欠席になります）。

▌評価基準・方法

授業ごとに実施する課題（授業前に実施する復習テスト、授業中の理解確認のための理解確認テストやレポート）の合計得点のみで評価します。定期試験はありません。

▌フィードバック方法

課題やテストのフィードバックは、学修支援システム manaba を通じて行い、各課題の成績は manaba で参照できるようにします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （話し合いながら演習問題を解く、講義内容を学生同士で説明し合うなど。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、PC があると課題に取り組むときに便利です）

▌教科書

特定の教科書は使いません。

▌参考書

朝永振一郎「物理学とは何だろうか 上下」（岩波新書）
西成活裕「東大の先生！　文系の私に超わかりやすく物理を教えてください！」（かんき出版）
鎌田浩毅・米田誠「一生モノの物理学―文系でもわかるビジネスに効く教養」（祥伝社）
松尾泰監修「東京大学の先生伝授　文系のためのめっちゃやさしい物理」（株式会社ニュートンプレス）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義内容の概要紹介・受講に際しての注意事項や成績評価方法の説明 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読んでおく。気になる身のまわりの物理現象を考えておく。 事後学修 2.0hr：概要で述べられていた物理法則や人物について調べ、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
2 回	**授業テーマ：力学 ― 位置と速さを記述する ―** 授業内容：速度と加速度の定義・ニュートンの運動方程式・等加速度直線運動 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
3 回	**授業テーマ：平面上の運動** 授業内容：速度ベクトル・加速度ベクトル・放物線軌道 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
4 回	**授業テーマ：円運動と万有引力** 授業内容：等速円運動・遠心力・万有引力の法則 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
5 回	**授業テーマ：力学的エネルギー保存則** 授業内容：仕事・運動エネルギーと位置エネルギー・力学的エネルギー保存則と一般のエネルギー保存則 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
6 回	**授業テーマ：熱力学とは？** 授業内容：熱の定義・熱力学が扱うもの・理想気体の状態方程式・熱力学第一法則 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
7 回	**授業テーマ：カルノーサイクルと熱力学第 2 法則** 授業内容：カルノーサイクル・カルノーの定理・熱力学第 2 法則 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
8 回	**授業テーマ：熱力学の応用** 授業内容：雲ができる仕組み・エアコンの仕組み 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
9 回	**授業テーマ：波とは何か？** 授業内容：波を記述するときの基本量（波長・周期・振動数・振幅・速度）・波の基本公式・音の正体 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
10 回	**授業テーマ：波の諸性質① ―重ね合わせの原理・屈折・散乱 ―** 授業内容：ノイズキャンセリングの仕組み・シャボン玉が虹色に光る理由・空はどうして青いのか 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。

11回	**授業テーマ：波の諸性質② ―回折・ドップラー効果 ―** 授業内容：屋内で電波が届く理由・サイレンの音の高さが変化する理由 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
12回	**授業テーマ：電気の歴史** 授業内容：電気の発見からコンピュータ誕生までの歴史 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
13回	**授業テーマ：電磁気の理論** 授業内容：電場と磁場・クーロン力とローレンツ力・電磁誘導・Maxwell 方程式・モーターと発電機の仕組み 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
14回	**授業テーマ：電磁気学の応用** 授業内容：ラジオ受信の仕組み・MRI（Magnetic Resonance Imaging）の原理 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
15回	**授業テーマ：古典物理学(相対性理論を除く)の総まとめ** 授業内容：第 2 回から第 14 回までの授業内容の振り返り・古典物理学の体系的まとめ 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業でこれまでに実施した理解確認のための課題を復習し、最後の「総復習テスト」を受験・提出する。

現代物理のはなし

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

この講義では 20 世紀に生まれた相対性理論と量子力学に焦点を当てます。相対性理論では、巨大な物体や光速で移動する物体の挙動を理解し、時間や空間の新しい側面を開示します。一方、量子力学は、極小のスケールでの粒子やエネルギーの挙動を解明します。波動粒子二重性や不確定性原理など、古典物理学では説明できない現象に挑戦します。これらの理論は直感に反するかもしれませんが、現代科学や技術の基盤を築く鍵を握っています。なお、「自然の書物は数学の言葉によって書かれている（ガリレオ）」以上、数学は必須ですが、その使用は最低限に留め、物理学初心者に優しい内容での提供を予定しています。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：量子力学と相対性理論という現代物理学の基礎的な概念を探求し、私たちの日常的な常識や直感が通用しない物理現象について理解を深める。
個別目標：① 量子力学が示す粒子と波動の二重性や不確定性原理といった、不思議で新しい世界についての知識を得る。
② 相対性理論を通じて、時間や空間に対する「あたりまえ」の概念をアップデートする。
③ 量子力学が現代社会で必須のツールになっていることを理解する。

▌履修条件

1 回目の授業から参加すること。なお、履修変更（補正）で 1，2 回目の授業に出ていない場合の調整はしません（単純に欠席になります）。

▌評価基準・方法

授業ごとに実施する課題（授業前に実施する復習テスト、授業中の理解確認のための理解確認テストやレポート）の合計得点のみで評価します。定期試験はありません。

▌フィードバック方法

課題やテストのフィードバックは、学修支援システム manaba を通じて行い、各課題の成績は manaba で参照できるようにします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （話し合いながら演習問題を解く、講義内容を学生同士で説明し合うなど。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、PC があると課題に取り組むときに便利です）

▌教科書

特定の教科書は使いません。

▌参考書

ウォルター・ルーウィン「これが物理学だ！」（文藝春秋）
松尾泰（監修）「文系のためのめっちゃやさしい量子論」（ニュートンプレス）
南部陽一郎「クォーク 素粒子物理はどこまで進んできたか」（講談社）
ヨビノリたくみ「難しい数式はまったくわかりませんが、相対性理論を教えてください! 」（SB クリエイティブ）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義内容の概要紹介・受講に際しての注意事項や成績評価方法の説明 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読んでおく。相対性理論や量子力学について、ネット等で調べておく。 事後学修 2.0hr：概要で述べられていた物理法則や人物について調べ、次回の復習テストに備える。
2 回	**授業テーマ：光速の測定** 授業内容：光速測定の歴史・Maxwell 方程式と電磁波・電磁波＝光 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
3 回	**授業テーマ：特殊相対性理論①** 授業内容：光速度一定の原理・同時性の破綻・時間の遅れ・空間の収縮 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
4 回	**授業テーマ：特殊相対性理論②** 授業内容：双子のパラドックス・質量とエネルギーの等価性・$E = mc^2$ 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
5 回	**授業テーマ：一般相対性理論** 授業内容：等価原理・重力＝時空の幾何学・アインシュタインの重力方程式・GPS の正確さの秘密 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
6 回	**授業テーマ：ブラックホールと膨張する宇宙** 授業内容：ブラックホール・シュバルツシルト半径・膨張宇宙論・ハッブルの法則・重力波 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
7 回	**授業テーマ：「量子」概念の誕生 ― 前期量子論 ―** 授業内容：量子力学誕生前の歴史・黒体輻射とプランクの法則・アインシュタインの光電効果理論・ボーアの原子モデルと対応原理 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
8 回	**授業テーマ：量子力学の誕生** 授業内容：量子力学成立の歴史・ハイゼンベルクの行列力学・シュレーディンガーの波動力学・波動関数の確率解釈・EPR パラドックス 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
9 回	**授業テーマ：量子力学とは何か？** 授業内容：2 重スリットの実験・波と粒子の二重性・確率振幅とその意味・重ね合わせの原理 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。

10回	**授業テーマ：スピン：ボソンとフェルミオン** 授業内容：真に量子力学的な量スピン・ボソンとフェルミオンの違い・パウリの排他原理・ボソン多体系の物理(ボース・アインシュタイン凝縮・超流動と超電導) 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
11回	**授業テーマ：スピン 1/2 ― 2 状態系の量子力学 ―** 授業内容：状態ベクトル・ベクトルの内積と行列の掛け算・固有値と固有ベクトル・状態の期待値とゆらぎの計算・固有状態と重ね合わせ 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
12回	**授業テーマ：パウリの排他原理がもたらすもの** 授業内容：原子の電子配置・元素の周期律表を説明する・固体のバンド理論・導体と半導体と絶縁体の構造的違い 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
13回	**授業テーマ：素粒子の標準模型** 授業内容：物質を作る粒子クォークとレプトン・力を伝えるゲージボソン・質量を生成するヒッグス粒子 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
14回	**授業テーマ：量子を使った最新技術** 授業内容：量子コンピュータとその仕組み・量子暗号 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリント画を使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
15回	**授業テーマ：現代物理学(相対性理論と量子力学)を振り返ろう！** 授業内容：第 2 回から第 14 回までの授業内容の振り返り・現代物理学の体系的まとめ 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：これまでの授業で実施した理解確認のための課題を復習し、最後の「復習テスト」を受験・提出する。

身近な化学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

藤井　大輔（ふじい　だいすけ）

▌授業の概要

私たちの身の回りには、自然界で産出された物質や、人工的につくられた物質が数多く存在し私たちの生活と密接に結びついています。
本講義は、身の回りにある物質の性質に着目し様々な現象が発現する原理を物理的化学的に捉えるなど、現代を生きるために大切な科学知識を習得し、自らの生活において課題発見・解決を行う力を高めることを目的とします。
日常に着目するなかで様々な科学の法則や構造にも簡単に触れますが高校での化学の履修の有無は問いません。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：化学の面白さや重要性を知り、化学と現代社会の関係を理解するとともに、日常を科学的に見る目を養うなど科学リテラシーを身につける。
個別目標：①様々な物質の性質を理解しこれまでの技術の進歩とこれからの発展について大観できることができる。
②身の回りの現象について科学的に説明することができる。
③科学事象を自らの言葉で表現できるようになるなど、実社会の様々な場面で多面的なものの見方ができるようになり課題解決に必要な基礎力を身に付けることができる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

manaba を活用した小テスト（５０%）やレポート（３０%）、調査研究報告（２０%）、授業への参加度（授業中に使用する教材ペーパーの完成提出　割合は小テストに含む）等を総合評価する。

▌フィードバック方法

小テスト、レポート等のフィードバックは、学修支援システム manabu を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、グループワーク、講義の度に行う小テストの提出）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （個人所要のスマートフォンや PC（小テストや教材ペーパー等はワードで提出））

▌教科書

使用しない（毎回パワーポイントファイルを用意します。）

▌参考書

特になし　ただし高校で使用した理科・専門（化学関係）の教科書がある場合は適宜参考にしてください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、科学技術の進歩について考えてみよう** 授業内容：講義の内容、評価方法について解説する。 科学と人間生活をテーマに科学技術全般について、その始まりから今後の活用について概説する。 事前学修 2.0hr：興味がある身の回りの化学現象について調べる。 事後学修 2.0hr：興味を持った化学現象が発現する原因を予測する。
2回	**授業テーマ：水について考えてみよう** 授業内容：水は人体を構成する主な成分です。水の構造や性質を知り、水がもたらす様々な現象の要因について理解する。 キーワード　分子構造、電気陰性度、水素結合、状態変化、浸透圧　超臨界流体、過熱水蒸気、硬水・軟水 事前学修 1.5hr：水について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
3回	**授業テーマ：発酵について考えてみよう** 授業内容：微生物の力を借りて製造する発酵食品について理解する。 キーワード 微生物の役割　アルコール発酵　酒の種類、味噌や醤油の製造 事前学修 1.5hr：発酵について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
4回	**授業テーマ：色と光の科学** 授業内容：色の見え方や化学反応における発色について理解する。 キーワード　光の 3 原則、波長、炎色反応、生物発光 事前学修 1.5hr：色について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
5回	**授業テーマ：栄養の化学について考えてみよう** 授業内容：私たちの体を作り健康を維持するために必要な５代栄養素が体の中でどのような役割を果たしているか理解する。 キーワード　炭水化物、タンパク質　必須アミノ酸　クエン酸回路　酵素 事前学修 1.5hr：栄養素について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
6回	**授業テーマ：薬と毒について考えてみよう** 授業内容：薬の効能と作用の仕方を理解する。また毒の特性を理解し日常生活における安全にむけた態度を養う。 キーワード　薬剤、ペニシリン、抗生物質、ウイルス、自然毒 事前学修 1.5hr：栄養素について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
7回	**授業テーマ：衣類で使われている様々な繊維の性質について考えてみよう** 授業内容：繊維には天然繊維と化学繊維がある。それぞれの特性を理解し繊維製品の上手な利用方法や管理方法について理解する。 キーワード　天然繊維　合成繊維　炭素繊維　機能性繊維 事前学修 1.5hr：衣類に使われている繊維について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
8回	**授業テーマ：衣類の汚れはどのように落とすのか考えてみよう** 授業内容：洗剤の分子構造や汚れが落ちるメカニズムを知り効率的に汚れを取り除く方法を理解する。 キーワード　石鹸　界面活性剤　疎水性　親水性　ミセル　漂白剤　コロナ　消せるボールペン 事前学修 1.5hr：汚れについて知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。

9回	**授業テーマ：日用品に使われている化学のしくみをについて考えてみよう** 授業内容：普段何気なく使用している電化製品に着目してどのような原理が応用されているのか理解する。 キーワード　カイロ　冷蔵庫　ヒートポンプ　調湿　液晶　電子レンジ　オーブン 事前学修 1.5hr：日用品に使われている化学の仕組みについて知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
10回	**授業テーマ：金属の特徴を知り、産業における利用状況を考えてみよう** 授業内容：鉄や銅の性質を知り使用に係る時代変遷を理解する。 キーワード　鉄　銅　さび　合金　めっき 事前学修 1.5hr：金属について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
11回	**授業テーマ：石油からつくられる物質について考えてみよう** 授業内容：プラスチック製品は人間の生活を豊かにしてきたが、昨今は環境汚染問題にも言及されている。プラスチックの製法や種類、リサイクルについて理解する。 キーワード　石油　分留　熱可塑性樹脂　熱硬化性樹脂　マイクロプラスチック　接着剤 事前学修 1.5hr：石油から作られる物質について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
12回	**授業テーマ：生活に必要なエネルギー源の変遷について考えてみよう** 授業内容：人間が生きていくために必要なエネルギーの活用の変遷とその性質について理解し、今後の望ましいエネルギー利用について考える。 キーワード　石炭　石油　天然ガス　原子力発電　太陽光発電　電気　電池 事前学修 1.5hr：エネルギー源の変遷について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
13回	**授業テーマ：地球環境について考えてみよう** 授業内容：大気成分の変化と人間生活に着目し地球環境について考える。 キーワード　大気成分　二酸化炭素　フロン　オゾン層　酸性雨 事前学修 1.5hr：地球環境について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
14回	**授業テーマ：興味を持った身近な科学現象やそれが発現する原理について調べレポートする。**① 授業内容：４月から７月において話題になったことや、今後、発展が予想される技術等について自ら調べた内容をレポートする。 事前学修 3.0hr：題材を決める。 事後学修 1.0hr：他の人の発表を聞き自分の発表にいかす。
15回	**授業テーマ：興味を持った身近な科学現象やそれが発現する原理について調べレポートする。**② 授業内容：４月から７月において話題になったことや、今後、発展が予想される技術等について自ら調べた内容をレポートする。 事前学修 3.0hr：題材を決める。 事後学修 1.0hr：授業全体の振り返りシートを作成する。

身近な化学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

笠嶋　義夫（かさしま　よしお）

▌授業の概要

本講義は、身近にある化学物質を通して、化学の成り立ち、化学の基礎知識、化学物質の応用例を学ぶとともに、「科学」の発展がいかなるものであったかを、「化学」を通して理解することを目的とする。文系の学生のみなさんにも、わかりやすいように、そこは意識して解説するつもりです。この講義では、化学の基本的な原理や、技術が生まれた背景、歴史的流れなどを中心に扱いますので、「元素記号を覚える」「化学反応式をつくる」というようなことはやりません。なお、講義の進行や社会情勢により、講義の順番を入れ替えることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：「化学」を通して、社会の発展や現代の生活において、「科学」がどのような役割を担ってきたかを理解する。
個別目標：(1)「化学」が身近な生活にとって必要不可欠なものであることを、実例を挙げて説明することができる。
(2)「化学」の発展が、人間生活と密接につながってきたことを、実例により説明することができる。
(3) 「化学」を通して、「科学」と「人間生活」とのかかわりを説明することが出来る。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

2 回の大きなレポート(20 点満点レポート 1 回、10 点満点レポート 1 回)と、毎回課す講義の振り返りシート(5 点× 14 回＝ 70 点満点)で、合計 100 点満点として評価を行います。なお、すべてのレポートは、評価をつけます。提出したからといって、「満点」とは限りませんので、くれぐれも注意すること。

▌フィードバック方法

フィードバックは、manaba の評価欄または講義で行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義の振り返りシートの提出とそのフィードバック）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （講義の振り返りシートは、ワードで提出してもらいます。）

▌教科書

初回以外は、jpeg または pdf、パワーポイントファイルを用意します。manaba にアップしますので、manaba が見れるものを用意してください(講義でプリントは配布しませんので、注意のこと)。

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：この講義の内容、進め方、評価方法について解説する。あわせて、「化学」の持つイメージを確認する。 事前学修 3.0hr：「化学」が身近に使われている事例を自分なりに調べてみてください。 事後学修 1.0hr：講義を聴いて、事前学修で調べた内容が正しかったか、検証してみてください。
2 回	**授業テーマ：プルシアンブルー** 授業内容：プルシアンブルーは、「世界で最初に開発された顔料」であるが、これがどのような変遷を経て現代にあるか、また現代での利用法などについて解説する。 事前学修 1.5hr：「プルシアンブルー」とは何かを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
3 回	**授業テーマ：色** 授業内容：色の見え方には発光と補色の 2 通りがある。まず、この違いと、仕組みを学習し、ヒト以外の動物の色の認識、植物の色の認識を学習し、あわせて前回の講義とのつながりを考える。 事前学修 1.5hr：「色」の見え方を自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
4 回	**授業テーマ：花火** 授業内容：化学の技術の「粋」といわれる花火。その原理と構造、歴史的流れについて解説する。 事前学修 1.5hr：打ち上げ花火の構造を自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
5 回	**授業テーマ：古伊万里** 授業内容：日本における窯業の大きな変遷期の一つが、江戸時代の古伊万里の誕生である。窯業のそれまでの流れをみるとともに、古伊万里の製法と化学の関係について探る。 事前学修 1.5hr：「磁器」はどのようにつくられるかを自分なりに調べてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
6 回	**授業テーマ：ファインセラミックス** 授業内容：現代の最先端で使われているセラミックとはどのようなものか、その製法と、前回の講義の古伊万里の製法との関係について、考察する。 事前学修 1.5hr：「ファインセラミックス」とはどのようなものか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
7 回	**授業テーマ：イベルメクチン** 授業内容：抗寄生虫薬である、イベルメクチンの開発の流れと、現代社会に与えたインパクトについて解説する。 事前学修 1.5hr：「イベルメクチン」とはどういう薬か、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成
8 回	**授業テーマ：接着剤** 授業内容：現代社会では、もはや必須のものとなった接着剤。「ものがくっつく原理」と、接着剤の用途、接着剤がもたらした技術革新について解説する。 事前学修 1.5hr：「でんぷん」とはどのようなものか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
9 回	**授業テーマ：カロザース** 授業内容：ナイロンと、合成ゴムを開発した、ウォーレス・カロザースの偉業について考えてみる。 事前学修 1.5hr：「ナイロン」はどのように発明されたかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。

10回	**授業テーマ：ダイヤモンド** 授業内容：天然から人工まで、宝飾用から産業用まで、発見の過程と意外な用途まで探る。 事前学修 1.5hr：「ダイヤモンド」はなぜきらきら光るのかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
11回	**授業テーマ：ルビーとサファイア** 授業内容：ルビーとサファイアは、どこが同じで、どこが違うのか、を探るとともに、工業用用途についても考えてみる。 事前学修 1.5hr：サファイアとルビーの違いを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
12回	**授業テーマ：炭素繊維** 授業内容：炭素繊維の開発過程について学ぶとともに、炭素繊維が現代社会にどのような影響を及ぼしたかを考えてみる。 事前学修 1.5hr：炭素繊維はどこに使われているかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
13回	**授業テーマ：でんぷん(1)でんぷんの種類** 授業内容：でんぷんの種類と、その用途(食品用から、他の用途まで)について解説する。 事前学修 1.5hr：でんぷんの種類について、自分なりに調べてみる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成
14回	**授業テーマ：でんぷん(2)「コメとでんぷん」** 授業内容：「コメ」を炊く過程でどのようにでんぷんが変化するか、でんぷんの種類の違いでコメの食味にどのような変化を与えるか、など、コメとでんぷんの関係について、考察する。 事前学修 1.5hr：コメの中に含まれているでんぷんについて調べておくこと。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
15回	**授業テーマ：リチウムイオン電池** 授業内容：現代において、最も必要とされている 2 次電池の代表格。その原理と応用、そして問題点について考えてみる。 事前学修 1.5hr：リチウムイオン電池がどのようなところに使われているかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。

科学技術と社会

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

遠藤　信一（えんどう　しんいち）

▌授業の概要

本科目は，科学技術と社会との関わりをテーマとするが，様々な社会課題の解決に立ち向かえるようにするために，解決すべき目標を設定できること，必要な情報を収集し，加工できることなどを目指す。問題解決にあたっては，建学の精神を問題解決学習の柱と捉え，学修の基礎Ⅰ やⅢ b での学びを前提としながら，他人を説得できるレベルに到達してもらいたい。それゆえ「プレゼンテーションスキルを高めたい」，「どうやって情報収集すれば良いのかわからない」といった悩みを持つ学生諸君のニーズに応えたいと思う。自分のプレゼン力，問題解決力をつけたい諸君を歓迎する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：社会課題をどの側面から斬っていくのか，建学の精神を道しるべとして，問題解決の方法や手順を身につける。中でも，学修の基礎Ⅰ やⅢ b での学びに基づくデータの利活用は必須と考えている。
また，この授業では，科学技術と社会との関わりに注目し，プレゼンテーションスライドを作成し，発表できるようにする。各自が作成，発表の双方を行うことを必須とする (合理的配慮申請がある場合を除く)。

個別目標：①建学の精神を問題解決学習の柱とすることができる
②課題を自ら発見し，情報を分析し，解決の道筋を考えることができる
③主権者に必要な情報活用能力を身につける
④情報モラル，技術者倫理，企業倫理などについて理解している
⑤他人を説得するために必要なプレゼンテーション作成や発表ができる

▌履修条件

建学の精神に基づいて，プレゼンテーションスキルや問題解決能力を高めたいと考えていること
授業に出席し，発表，ファイルの提出などが出来ること

▌評価基準・方法

【評価基準】
1，授業内で指示する「Worksheet」(提出および内容)：20 %
2，協働学習によるプレゼンテーションスライドの作成および提出：40 %
3，プレゼンテーションの発表：40 %
※プレゼンテーションスライドのファイル提出を最終課題の提出とします

▌フィードバック方法

課題に対し全体に対する講評，発表など協働学習に対する授業時間内での講評，manaba のコンテンツへの掲載など

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （協働学習による発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンスライドの作成などに使用）

▌教科書

指定しない
授業ごとに資料を提示

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　本授業の進め方** 授業内容：この授業の目的，授業方法・課題・評価について説明する。 建学の精神に基づいた明海大学独自の問題解決の手順について理解する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み，授業全体の流れを確認する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントを復習する。
2回	**授業テーマ：脳に汗をかく(１)心理学的アプローチ** 授業内容：「ハインツのジレンマ」や「カルディアネスの板」などのジレンマ問題について考える。 事前学修 2.0hr：「ハインツのジレンマ」や「カルディアネスの板」について検索する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ送信する。
3回	**授業テーマ：脳に汗をかく(2)功利主義からのアプローチ** 授業内容：功利主義の考え方について学び，得をすることが人間にとって最も大切なことなのか，考える。 事前学修 2.0hr：功利主義について予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ送信する。
4回	**授業テーマ：脳に汗をかく(3)データを読む　情報を利用しない弁当屋が潰れる理由** 授業内容：平均 150 個売れる弁当屋が「今日は晴れて行楽日和だから 200 個作る」ということを繰り返していたら潰れてしまった。「間口を広げたら味が落ちた」とはどういうことなのか，その仕組みについてデータ解析の観点から考える。 事前学修 2.0hr：平均と何がわかれば売れる数を予測出来るのか，考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントをまとめる。
5回	**授業テーマ：プレゼンテーションの基礎(1)明海大学独自の問題解決方法** 授業内容：プレゼンテーションの基礎を学び，自分たちが薦めるものの順位を合理的につける。そのための手法を示した上で協働学習を行う。 事前学修 2.0hr：グループを作っておく。また，ランキングをつけたいことを選んでおく。 事後学修 3.0hr：プレゼンスライドを完成させる。
6回	**授業テーマ：プレゼンテーションの基礎(2)明海大学独自の問題解決方法** 授業内容：(1)のスライドを作成し，提出する。 事前学修 3.0hr：発表のためのプレゼンテーションスライドで使用するデータを収集。 事後学修 3.0hr：プレゼンテーションスライドを完成させる。
7回	**授業テーマ：プレゼンテーションの基礎(3)明海大学独自の問題解決方法** 授業内容：(1)のスライドに基づき，発表する。 事前学修 3.0hr：発表のためのプレゼンテーションスライドを完成させ，発表練習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ送信する。ファイルを提出する。

8回	**授業テーマ：企業人として必要な説得力　説明の理解と説得の違い** 授業内容：他人を説得することについて考える。どのような説得方法があるのか，データを示す必要はないのか，『今日の昼ご飯に何を食べるべきか』を説得出来る材料を用意し，受講者を説得する。 事前学修 2.0hr：他人を説得し，賛同してもらうには何が必要か，考えてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントをまとめる。
9回	**授業テーマ：科学技術からの国際交流(1)明海大学独自の問題解決方法の実践** 授業内容：国際交流では，エネルギー環境分野を交流テーマとする場合が多い。そのために必要なわが国の電力事情や東南アジアの電力事情について学ぶ。 事前学修 2.0hr：わが国の電力事情について調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントを復習する。
10回	**授業テーマ：科学技術からの国際交流(2)明海大学独自の問題解決方法の実践** 授業内容：東南アジアの学校との交流を念頭に，お勧めする発電方法について提案するため，プレゼンテーションスライドの作成に着手する。 事前学修 3.0hr：プレゼンのテーマを考えておく。グループを作っておく。 事後学修 3.0hr：プレゼンテーションスライドの作成。
11回	**授業テーマ：科学技術からの国際交流(3)明海大学独自の問題解決方法の実践** 授業内容：(2)について，発表を行う。 事前学修 3.0hr：発表のためのプレゼンテーションスライドを完成させ，発表練習する。 事後学修 3.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ，送信する。
12回	**授業テーマ：魅力ある人とは？(1)明海大学独自の問題解決方法の応用** 授業内容：大学生であっても社会人であっても魅力ある人はいるものである。必ずしも容姿の問題ではなく，どのような人が魅力あると考えられるのか，プレゼンテーションスライドの作成を開始する。 事前学修 2.0hr：グループを作り，提案内容を考えてくる。 事後学修 3.0hr：発表するためのプレゼンテーションスライドの作成に着手する。
13回	**授業テーマ：魅力ある人とは？(2)明海大学独自の問題解決方法の応用** 授業内容：(1)のスライドを作成し，提出する。 事前学修 3.0hr：チームの仲間と十分話し合いをしておく。 事後学修 3.0hr：発表するためのプレゼンテーションスライドを作成し，班員と合成する
14回	**授業テーマ：魅力ある人とは？(3)明海大学独自の問題解決方法の応用** 授業内容：(1)の発表を行い，各チームの内容を検討する。それに基づきスライドを修正し提出する。 事前学修 3.0hr：プレゼンスライドを完成させ，発表練習をする。 事後学修 3.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ，送信する。修正したプレゼンのファイルを提出する。
15回	**授業テーマ：授業全体のまとめ　明海大学独自の問題解決方法のまとめ** 授業内容：これまでの学修内容をまとめ，他人を説得するためにはどのような説得方法があるのか，どのようなデータを示すことが効果的なのかまとめ，レポートを作成する。 事前学修 2.0hr：いままでのプレゼンスライドなどを振り返る。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ，送信する。

社会生活ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

新井　啓（あらい　けい）

▌授業の概要
社会に出て役に立ついろいろな法律を勉強します。なお講義の理解力向上のため、SPI に対応するための基礎的問題を解くことと、経済や法律などの身近な長文の読解問題を解くことを毎回行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）
一般目標：社会人として最低限理解しておくべき法律の基礎知識を身につけることです。
個別目標：立憲主義の意味を理解できる。憲法と民法の関係を理解できる。

▌履修条件
データのまとめ方の授業を履修していることが望ましい。

▌評価基準・方法
毎回の授業時に行う manaba の小テスト(50%)、事前・事後学修(30 %)、授業に取り組む姿勢 (20%)。

▌フィードバック方法
小テストや定期試験などの結果は学習支援システムの manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
特になし

▌参考書
特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：法学入門** 授業内容：法とは何か？　定義と趣旨。規則と法則の違い。法的安定性とは？　身近な法律である道路交通法 事前学修 2.0hr：道路交通法について調べてくること 事後学修 2.0hr：第 1 回目の授業課題の復習
2回	**授業テーマ：経済と労働法** 授業内容：経済とはどのようなものなのか？　マクロ経済学とミクロ経済学の考え方の違い。労働基準法。職業安定法 事前学修 2.0hr：気になる最近の経済ニュースについて調べてくること 事後学修 2.0hr：第 2 回目の授業課題の復習
3回	**授業テーマ：憲法(総論)** 授業内容：立憲主義とは？　憲法とはどのようなものなのか？ 事前学修 2.0hr：日本国憲法の前文と９条などの重要な条文を調べてくること 事後学修 2.0hr：第 3 回目の授業課題の復習
4回	**授業テーマ：憲法(基本的人権)** 授業内容：憲法１３条と基本的人権 事前学修 2.0hr：人権とはどのようなものなのかをしらべてくること 事後学修 2.0hr：第 4 回目の授業課題の復習
5回	**授業テーマ：憲法(統治機構)** 授業内容：三権分立は何のために必要なのか？ 事前学修 2.0hr：三権分立とはどのようなものなのかを調べてくること 事後学修 2.0hr：第 5 回目の授業課題の復習
6回	**授業テーマ：民法(総則)** 授業内容：パンデクテン方式とは？　総則とはどのようなものであるのか？　公共の福祉とはどのようなものであるのか？ 事前学修 2.0hr：第 5 回の授業内容の復習 事後学修 2.0hr：第 6 回目の授業課題の復習
7回	**授業テーマ：民法(債権)** 授業内容：人と人の関係ができるのは、どのような場合なのか？　契約と約束の違い。 事前学修 2.0hr：自分が結んでいる契約にはどのようなものがあるのかを調べてくること 事後学修 2.0hr：第 7 回目の授業課題の復習
8回	**授業テーマ：民法(物権)** 授業内容：不動産と民法。借地借家法。 事前学修 2.0hr：確率の意味を調べてくること 事後学修 2.0hr：第 8 回目の授業課題の復習
9回	**授業テーマ：SPI の一般教養問題** 授業内容：数学、国語(読めそうで読めない漢字が中心)、英語、地理・歴史。 事前学修 2.0hr：第 8 回の授業内容の復習 事後学修 2.0hr：第 9 回目の授業課題の復習
10回	**授業テーマ：民法(家族法)** 授業内容：婚姻、親子、相続。 事前学修 2.0hr：相続の時にはどのようなことをする必要があるのかを調べてくること 事後学修 2.0hr：第 10 回目の授業課題の復習
11回	**授業テーマ：個人情報保護法、著作権法** 授業内容：プライバシー権と憲法１３条 マイナンバー法、レポートを書く場合に、なぜ著作権を気にしなければならないのか？ 事前学修 2.0hr：著作権法とはどのようなものなのかを調べてくること 事後学修 2.0hr：第 11 回目の授業課題の復習
12回	**授業テーマ：刑法** 授業内容：SNS を利用する時の注意点(名誉毀損罪など)。犯罪に巻き込まれないために必要な刑法の知識。 事前学修 2.0hr：新聞などで気になった犯罪事件を調べてくること 事後学修 2.0hr：第 12 回目の授業課題の復習

13回	**授業テーマ：会社法** 授業内容：出資と株式。株式会社とは？　株式会社の取締役会とは？　株式売買の必要性　手形小切手法 事前学修 2.0hr：株式会社とはどのような会社なのかを調べてくること 事後学修 2.0hr：第 13 回目の授業課題の復習
14回	**授業テーマ：特定商品取引法　消費者契約法** 授業内容：訪問販売の注意点。 事前学修 2.0hr：第１３回までに学習した法律の知識の復習 事後学修 2.0hr：第 14 回目の授業課題の復習
15回	**授業テーマ：行政法** 授業内容：福祉国家という考えと行政法。行政法はなぜ必要なのか？ 事前学修 2.0hr：14 回目までの法律の問題の復習を行なってくること 事後学修 2.0hr：第 15 回目の授業課題の復習

社会生活ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

SPI3 は，最も多くの企業が課している採用適性検査です。このゼミナールでは，社会人としての基本的な計算能力・論理的思考力・情報処理能力を測定する「SPI3 非言語能力検査」対策の学習を支援します。SPI3 の現状に合わせて「推論分野」の演習や解説に重点を置いた内容になっています。また，導入後間もない「構造的把握力検査」(数学の文章題において，問題の構造が似ているものを選ぶタイプの問題)の問題にも触れています。
毎回の授業は、manaba にアップした講義動画を視聴して基本事項を学んでもらい、教室では課題への取り組みを通じて学習内容を確認していく反転授業スタイルです。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：① SPI3 非言語問題の基本問題を自力で解けるようになる。
② 参考書の解説を自力で理解し，SPI3 対策を自習できるようになる。
個別目標：① 割合、速さ、損益算などの文章題や、場合の数、確率の基本問題を確実に解くことができる。
② 様々な出題形式の「推論問題」へのアプローチ方法を身につける。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

到達度テスト(2 回) 40 %、毎回の授業の課題(小テスト・ドリル・レポート) 60 %の割合で総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題やテストのフィードバックは、主に学習支援システム manaba を通じて行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （できるだけ反転授業(基本事項は動画、問題演習は教室)の形に近づけます）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、PC があると課題に取り組むときに便利です）

▌教科書

教科書は使用しません。
教材として、教材の PDF ファイルを配布します。

▌参考書

市販の対策本など、必要に応じて授業内で紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・【SPI3 対策】割合のキホン** 授業内容：最初にこの授業のガイダンス。その後で、割合の問題のうち「内訳の内訳」と「変化率」の考え方を学ぶ。事前学習の内容を簡単に復習した後で、配布教材の問題に解答し、レポートとして提出する。 事前学修 2.0hr：SPI3 について簡単に調べておく。manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 3.0hr：manaba で出題される授業内容確認用のドリルに取り組み、提出する。
2 回	**授業テーマ：【SPI3 対策】損益算** 授業内容：モノの価格の変化をテーマとする「損益算」の解法を学ぶ。原価・定価・売価の違いや、利益率・割引率の扱い方を理解していく。事前学習の内容を簡単に復習した後で、配布教材の問題に解答し、レポートとして提出する。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba で出題される授業内容確認用のドリルに取り組み、提出する。
3 回	**授業テーマ：【SPI3 対策】表の活用** 授業内容：「集合」と「代金の清算」の問題を表を使って解くことを学ぶ。事前学習の内容を簡単に復習した後で、配布教材の問題に解答し、レポートとして提出する。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba で出題される授業内容確認用のドリルに取り組み、提出する。
4 回	**授業テーマ：【SPI3 対策】速さの問題** 授業内容：「速さの問題」の解法を学ぶ。速さの公式を用いるだけの基本問題だけでなく、速さを持つ対象が 2 つある「旅人算」も扱う。事前学習の内容を簡単に復習した後で、配布教材の問題に解答し、レポートとして提出する。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba で出題される授業内容確認用のドリルに取り組み、提出する。
5 回	**授業テーマ：【SPI3 対策】場合の数基礎編(順列と組み合わせ)** 授業内容：順列と組み合わせの公式を使う問題の解法をマスターする。合わせて、場合分けの方法、積の法則、和の法則を理解する。事前学習の内容を簡単に復習した後で、配布教材の問題に解答し、レポートとして提出する。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba で出題される授業内容確認用のドリルに取り組み、提出する。
6 回	**授業テーマ：【SPI3 対策】場合の数応用編** 授業内容：場合の数の典型問題である「円順列」、「同じものを含む順列」、「重複順列」、「重複組み合わせ」の考え方を学ぶ。事前学習の内容を簡単に復習した後で、配布教材の問題に解答し、レポートとして提出する。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba で出題される授業内容確認用のドリルに取り組み、提出する。
7 回	**授業テーマ：【SPI3 対策】確率** 授業内容：場合の数の考え方を使う問題の解法をマスターする。さらに、与えられた確率を積の法則や和の法則を組み合わせるタイプの解法も解説する。事前学習の内容を簡単に復習した後で、配布教材の問題に解答し、レポートとして提出する。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba で出題される授業内容確認用のドリルに取り組み、提出する。
8 回	**授業テーマ：到達度テスト 1 とその解説** 授業内容：第 1 回～第 7 回授業で学んだことのテストを実施。45 分～ 50 分程度のテスト時間で解答してもらい、終了後に正解解説を行なう。 事前学修 2.0hr：テストに向けて，2 回～ 7 回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：できなかった問題の解答を作ってみる。manaba で公開する「テスト正解・解説」をよく読んで復習する。

9回	**授業テーマ：【SPI3 対策】推論① P が正しければ Q も正しい・並び順** 授業内容：命題「P ならば Q」の成立条件について理解する。さらに、与えられた情報から考えられる並び順を全て書き下す方法を学ぶ。事前学習の内容を簡単に復習した後で、manaba のドリル問題に「合格」するまで取り組む。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba のドリルで取り組んだ問題、特に間違えた問題の復習をする。
10回	**授業テーマ：【SPI3 対策】推論② 平均・人口密度と食塩水** 授業内容：割り算で定義される平均・人口密度・食塩水の濃度について統一的に理解し、これらをテーマとする問題の解法を学ぶ。事前学習の内容を簡単に復習した後で、manaba のドリル問題に「合格」するまで取り組む。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba のドリルで取り組んだ問題、特に間違えた問題の復習をする。
11回	**授業テーマ：【SPI3 対策】推論③ 内訳** 授業内容：与えられた情報から考えられる内訳を全て書き下す方法を学ぶ。さらに、全て書き下さなくても良い解法にも触れる予定。事前学習の内容を簡単に復習した後で、manaba のドリル問題に「合格」するまで取り組む。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba のドリルで取り組んだ問題、特に間違えた問題の復習をする。
12回	**授業テーマ：【SPI3 対策】推論④ 複数選択問題** 授業内容：最も高難度である「複数選択問題」に取り組む。厳選した例題の解き方を解説し、その後で類題ドリルに取り組む。ドリルでは「合格」するまで頑張ってもらう。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba のドリルで取り組んだ問題、特に間違えた問題の復習をする。
13回	**授業テーマ：【SPI3 対策】表や資料の読み取り** 授業内容：表や資料を読み取って解く問題の解説をする。特に割合の問題が中心となる。事前学習の内容を簡単に復習した後で、manaba のドリル問題に「合格」するまで取り組む。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba のドリルで取り組んだ問題、特に間違えた問題の復習をする。
14回	**授業テーマ：【SPI3 対策】構造的把握力検査** 授業内容：設問の答えを求めるのではなく、解き方の構造が同じ設問を選ぶという独特なタイプの問題に取り組み、その考え方を学ぶ。事前学習の内容を簡単に復習した後で、manaba のドリル問題に「合格」するまで取り組む。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba のドリルで取り組んだ問題、特に間違えた問題の復習をする。
15回	**授業テーマ：到達度テスト 2 とその解説** 授業内容：第 9 回〜第 14 回授業で学んだことのテストを実施。45 分〜 50 分程度のテスト時間で解答してもらい、終了後に正解解説を行なう。 事前学修 2.0hr：テストに向けて，9 回〜 14 回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：できなかった問題の解答を作ってみる。manaba で公開する「テスト正解・解説」をよく読んで復習する。

キャリアプランニング Ⅰ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**下地　信也**（しもじ　しんや）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）・**門田　薫**（もんでん　かおる）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの成長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学習に導く。この授業では、就業観の醸成に焦点をあて①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、就業観の醸成やジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：①**就業観を醸成**するために自分の進路における選択肢となり得る職業や仕事について理解を深める。
②**ジェネリックスキル (対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)** の中身や重要性を理解しその力を伸ばす。

個別目標：【社会人インタビュー】①目的を理解し自分の将来像を意識してインタビューに取り組むことができる②他者のレポートと比較し自分のレポートの改善点を言語化することができる③将来を見据え大学生活で取り組む活動を探り実践できる【自己理解】①自分の強みを文章で伝えることができる②ジェネリックスキルを理解し自己評価できる。

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:40%、学修内容振り返り:40%、自己ＰＲ:10%、MEIKAI SPI 模擬試験 (マークシート):10% ※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や PowerPoint,Word ソフトによる課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。自己 PR の添削にかかる費用として￥3,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標、MEIKAI SPI の目的と使い方について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバス (特に受講ルールについて) を読んで理解し授業に取り組むイメージをする 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：キャリアの理論** 授業内容：キャリアに関する理論を学び、自分の気づきや考えを言語化し、自分の将来を考えてみる。 事前学修 2.0hr：受講ルールやマニュアルを読み返し、MEIKAI SPI を操作し問題に取り組む 事後学修 2.0hr：キャリアに関する理論について、インターネット等で調べておく
3回	**授業テーマ：なりたいじぶんをイメージする** 授業内容：大学を卒業して社会で活躍するじぶんをイメージし言語化する。 事前学修 2.0hr：なりたい社会人像について考え整理しておく 事後学修 2.0hr：なりたいじぶんに近づくために必要な知識・スキルなどについて情報収集しておく
4回	**授業テーマ：アクションプランを考える** 授業内容：なりたいじぶんに近づくために現在の自分に必要な活動を考え、具体的なアクションプランを作成する。 事前学修 2.0hr：前学期に「学修の基礎Ⅰ」で受験した PROG の結果報告書と強化書を読み返しておく 事後学修 2.0hr：アクションプランを実行できるようにスケジューリングする
5回	**授業テーマ：「働く」ことについて考える** 授業内容：プロのライターが取材し作成した社会人のインタビュー記事を読み、仕事との向き合い方について考察する。 事前学修 2.0hr：就職ジャーナルやスタディサプリの記事を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業のワークを参考に就職ジャーナルなどの記事を読む
6回	**授業テーマ：ディスカッションの流れとポイント** 授業内容：ディスカッションの流れとポイントを学び、グループでディスカッションを体験する。 事前学修 2.0hr：参考にできるグループディスカッションの動画を探す 事後学修 2.0hr：グループディスカッションのテーマについて情報収集する
7回	**授業テーマ：ディスカッション実践** 授業内容：ディスカッションの流れとポイントを意識し、合意形成できるようディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションのテーマについて自分の意見を考えておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションの動画を視聴し自分の課題を整理しておく
8回	**授業テーマ：ここまでの振り返り** 授業内容：ここまでの授業で学修した内容を振り返り、どのように実践していくかを考える。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業内容や記録を見直しておく 事後学修 2.0hr：今後の活動について、具体的に考え言語化する
9回	**授業テーマ：社会人インタビューの共有と振り返り** 授業内容：自分の「社会人インタビュー」を伝え、他者の社会人インタビューを聞き、働くことについて考察する。 事前学修 2.0hr：社会人インタビューを完成させておく 事後学修 2.0hr：インタビューした社会人の職業について情報収集しておく

10回	**授業テーマ：自己理解** 授業内容：強み探索ワークを通じて、自分の強みを探索する。また、強みに関係する過去の出来事を言語化する。 事前学修 2.0hr：自分の強みを考え、これまでの出来事を思い出し書き出しておく 事後学修 2.0hr：自分の強みと裏付けるエピソードを文章にしてみる
11回	**授業テーマ：自己 PR 作成** 授業内容：自分の強みと裏付けとなるエピソードを 1 つ以上挙げ、他者に伝わるよう具体的な文章にする。 事前学修 2.0hr：自分の強みを明確にし裏付けるエピソードを見つけておく 事後学修 2.0hr：授業で書いた自己 PR を読み直し改善点を明確にしておく
12回	**授業テーマ：自己 PR 完成** 授業内容：自己 PR の結論となる強みとそれを裏付けるエピソードを 200 文字の文章にする。 事前学修 2.0hr：自分の強みと裏付けるエピソードを文章にしてみる 事後学修 2.0hr：自己 PR を完成させ提出できるようにする
13回	**授業テーマ：社会人に学ぶ** 授業内容：教員の経験や知識を基に「社会で働く」ことをイメージする。 事前学修 2.0hr：興味のある仕事について調べておく 事後学修 2.0hr：目指したい社会人像を言語化しておく
14回	**授業テーマ：キャリアプランニング Ⅰ 授業の振り返り** 授業内容：キャリアプランニング Ⅰ の学修を振り返り、学んだ内容と自分の気づきや考えについて言語化する。また、公務員クラスについての説明を行う。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業内容や記録を見直しておく 事後学修 2.0hr：なりたいじぶんとアクションプランの振り返りをしておく
15回	**授業テーマ：授業と目標の振り返りと春季休暇のアクションプラン作成** 授業内容：授業 14 回の学びを振り返り、進級した後の姿を想像しながら、春季休暇の行動計画を作成する。 事前学修 2.5hr：第 1 回～第 14 回授業の資料を見直す 事後学修 2.5hr：今回の振り返りを基に、春季休暇に取り組むことをより具体的にする

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラムクラス

門田　薫 (もんでん　かおる)

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの成長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学習に導く。この授業では、就業観の醸成に焦点をあて①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：①**日本における就職および就職活動**について情報を収集・整理しながら理解を深める。
②**ジェネリックスキル (対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)** の中身や重要性を理解しその力を伸ばす。

個別目標：【社会環境理解】①日本における就職の知識を習得し、準備に必要な活動について理解する。【自己理解】①自分の強みを文章で伝えることができる②ジェネリックスキルを理解し自己評価できる。【プレゼンテーション】自分の将来についての考えなどをプレゼンテーション形式で伝えることができるようになる。

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:50%、学修内容振り返り:40%、自己ＰＲ:10%とする。※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバス (特に授業ルールについて) を読んで理解し授業に取り組むイメージをする 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：自己紹介と MEIKAI SPI の活用** 授業内容：自己紹介ワークでクラスメンバーと交流する。MEIKAI SPI の目的と活用方法を理解し操作する。 事前学修 2.0hr：受講ルールやマニュアルを読み返し理解しておく 事後学修 2.0hr：MEIKAI SPI の練習問題を解く
3回	**授業テーマ：日本の就職と就職活動 (知識編)** 授業内容：日本における新卒採用の現状や採用環境について解説を聞き理解する。 事前学修 2.0hr：日本の就職について、関連サイトで探索しておく 事後学修 2.0hr：今後の目標や行動計画について考えを整理する
4回	**授業テーマ：日本の就職と就職活動 (キャリア形成編)** 授業内容：日本における新卒採用の現状や採用環境について理解した上で、自分の日本でのキャリアを考える。 事前学修 2.0hr：第 3 回授業の内容を振り返る 事後学修 2.0hr：日本でのキャリアをどう形成するか検討する
5回	**授業テーマ：MGO 探索とビジネスメール** 授業内容：MGO プログラムを理解し学内で情報収集できる場所を確認する。また、ビジネスメールの書き方を理解する。 事前学修 2.0hr：ビジネスメールについて関連資料を読む 事後学修 2.0hr：授業で確認した情報収集について振り返る
6回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの作成** 授業内容：卒業時点での目標を考え、1 年・半年・1 ヶ月単位で、具体的な行動計画を立てる。 事前学修 2.0hr：将来のキャリアに向かうための目標や具体的な行動について考えておく 事後学修 2.0hr：アクションプランを実行できるようにスケジューリングする
7回	**授業テーマ：「働く」ことについて考える** 授業内容：プロのライターが取材し作成した社会人のインタビュー記事を読み、仕事との向き合い方について考察する。 事前学修 2.0hr：就職ジャーナルやスタディサプリの記事を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業のワークを参考に就職ジャーナルなどの記事を読む
8回	**授業テーマ：自己理解** 授業内容：強み探索ワークを通じて、自分の強みを探索する。また、強みに関係する過去の出来事を言語化する。 事前学修 2.0hr：自分の強みを考えこれまでの出来事を思い出し書き出しておく 事後学修 2.0hr：自分の強みと裏付けるエピソードを文章にしてみる
9回	**授業テーマ：自己 PR 作成** 授業内容：自分の強みと裏付けとなるエピソードを 1 つ以上挙げ、他者に伝わるよう具体的な文章にする。 事前学修 2.0hr：自分の強みを明確にし裏付けるエピソードを見つけておく 事後学修 2.0hr：授業で書いた自己 PR を読み直し改善点を明確にしておく
10回	**授業テーマ：ここまでの学修を振り返る** 授業内容：ここまでに学修した内容を振り返り、今後必要な活動を整理する。 事前学修 2.0hr：前回までの授業を振り返っておく 事後学修 2.5hr：今後必要な活動について具体的に計画立案する

11回	**授業テーマ：プレゼンテーション理解** 授業内容：プレゼンテーションに必要な要素について学ぶ。 事前学修 2.0hr：インターネット等でプレゼンテーションに必要なことを調べておく 事後学修 2.0hr：授業の内容を基に、プレゼンテーションの内容を検討する
12回	**授業テーマ：プレゼンテーション作成** 授業内容：前回授業で学修したことを踏まえて、自分がプレゼンテーションする内容を決め、スライドを作成する。 事前学修 2.0hr：自分がプレゼンテーションしたい内容を決め情報収集しておく 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションで使用するスライドを完成させる
13回	**授業テーマ：プレゼンテーション実践** 授業内容：準備してきた内容を、スライドを使用してプレゼンテーションする。 事前学修 2.0hr：本番での発表を意識しプレゼンテーションの練習をする 事後学修 2.0hr：自分のプレゼンテーションの改善点を明確にしておく
14回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの振り返り** 授業内容：START を活用し、なりたいじぶんとアクションプランを見直し、今後の活動計画を考える。 事前学修 2.0hr：START の記録を確認し、自分活動状況を整理しておく 事後学修 2.0hr：見直した内容と今後の活動計画を完成させ START に記録しておく
15回	**授業テーマ：授業の振り返りと夏季休暇のアクションプラン作成** 授業内容：第 14 回までの学びを振り返り、進級した後の姿を想像しながら、夏季休暇の行動計画を作成する。 事前学修 2.0hr：第 1 回～第 14 回授業の資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：今回の振り返りを基に春季休暇に取り組むことをより具体的にしておく

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：留学生クラス

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**行田　悦子**（こうだ　えつこ）・**髙橋　亜里沙**（たかはし　ありさ）

▌授業の概要

キャリアプランニングでは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニング I では、日本社会で触れる話題を正確に理解し、自らの主張を表現するための日本語能力を身につける。授業外に事前学修、事後学修課題がある。ほぼ毎回授業内に小テストを行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本社会に関わる論理的でやや複雑な文章や抽象度の高い文章の内容を理解し、適切な表現や文体を産出できる。自分の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 日本文化に関わる文章を読ん正確に理解できる。
(2) 論説、評論などに出てくる語彙・表現が正確に使うことができる。
(3) 論説、評論などの内容を要約し、他者と意見を交換することができる。
(4) 自分の日本語能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、能動的に学習を実行することができる。
(5) 学習成果を正しくふりかえることができる。

▌履修条件

(1) 留学生を対象とするクラスである。
(2) 日本語能力を測る資格試験を受験する。
(3) 毎回出席し、授業活動に積極的に参加する。
(4) 課題の提出日を守る。
(5) 自らの日本語能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。
(6) 授業外の講座、模擬試験に積極的に参加する。

▌評価基準・方法

資格試験 40 %、課題提出 30 %、テスト 20%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークをする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を利用する。）

▌教科書

目黒真実『中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語の世界①** 授業内容：授業概要や到達目標、履修条件等についてのガイダンスを行う。また、教科書『日本語の世界① (「低下する漢字能力」「漢字はお好き？」)』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：日本語の世界②** 授業内容：教科書『日本語の世界② (「日本語の乱れ」「ラッキョウ文化論」)』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：日本の文化** 授業内容：教科書『日本の文化』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：日本人の行動様式** 授業内容：教科書『日本人の行動様式』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：言語とコミュニケーション** 授業内容：教科書『言語とコミュニケーション』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：異文化理解** 授業内容：教科書『異文化理解』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：環境と人間** 授業内容：教科書『環境と人間』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：IT と情報社会** 授業内容：教科書『IT と情報社会』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：生物と自然** 授業内容：教科書『生物と自然』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：人生と生き方** 授業内容：教科書『人生と生き方』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：子どもと教育** 授業内容：教科書『子どもと教育』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：報道とマスコミ** 授業内容：教科書『報道とマスコミ』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：科学と技術** 授業内容：教科書『科学と技術』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：生命と倫理** 授業内容：教科書『生命と倫理』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：まとめとコース全体の振り返り、テストとフィードバック** 授業内容：これまで学修した内容を振り返り、学んだことや気付いたことについてまとめ、グループで意見交換を行う。テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**下地　信也**（しもじ　しんや）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）・**門田　薫**（もんでん　かおる）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの成長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学習に導く。この授業では、企業・団体および仕事の研究を通じて①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、企業や仕事を研究する観点を理解し、ジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：①**企業や仕事を研究する観点**を理解し、進路選択において主体的に活用できるようになる。
②**ジェネリックスキル (対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)** を伸ばすための具体的な行動計画を立て実行することができる。

個別目標：【社会理解】①必要な情報を理解しその情報源を探索することができる②学修するフレームを活用することができる②自分の興味・関心と照らし合わせて考えることができる【自己理解】自分の強みと裏付ける出来事を文章で伝えることができる【目標設定】1 年次の「なりたい自分とアクションプラン」を振り返り改善した上で、実行できる行動計画を立案することができる。

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:40%、学修内容振り返り:40%、自己ＰＲ:10%、MEIKAI SPI 模擬試験 (Web テスティング):10%とする。※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。自己 PR の添削にかかる費用として￥3,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み授業の概要や評価について理解しておく 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：キャリアの理論** 授業内容：進路の選択肢をイメージし、キャリア形成について考える。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠで考えた自分のキャリアについての資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：授業で得たアドバイスやヒントを参考に自分の将来について考える
3回	**授業テーマ：これまでの自分を振り返る** 授業内容：モチベーショングラフを作成し、これまでの自分を振り返る。 事前学修 2.0hr：モチベーショングラフについて検索し情報収集しておく 事後学修 2.0hr：モチベーショングラフで気づいた自分の価値観を整理しておく
4回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの作成** 授業内容：キャリアプランニングⅠで考えた「なりたいじぶんとアクションプラン」を基に、あらためて検討し作成してみる。 事前学修 2.0hr：1 年次に受験した PROG の結果報告書と強化書を読み返しておく 事後学修 2.0hr：アクションプランを実行できるようにスケジューリングする
5回	**授業テーマ：社会人に学ぶ** 授業内容：社会人の経験や知識を参考にし、今後の大学生活で取り組む活動を考える。 事前学修 2.0hr：大学在学中に取り組む活動をリストアップしておく 事後学修 2.0hr：大学在学中に取り組む活動を検討しスケジューリングする
6回	**授業テーマ：ディスカッションの復習** 授業内容：キャリアプランニングⅠで学修したディスカッションを復習し、グループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠのディスカッション関連の授業を復習しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションの手本となる動画を探して視聴する
7回	**授業テーマ：ディスカッション実践** 授業内容：前回授業で実施したグループディスカッションを振り返り、改善できるように実践する。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションにおける自分の課題を整理しておく 事後学修 2.0hr：授業で実践したグループディスカッションを振り返っておく
8回	**授業テーマ：企業や職業について知る** 授業内容：企業の扱う商品やサービスについて情報を収集し分析する。 事前学修 2.0hr：興味のある企業や仕事について就活サイトで調べておく 事後学修 2.0hr：授業で学修したことを復習しておく
9回	**授業テーマ：企業を比較する** 授業内容：同じような商品やサービスを提供している企業を比較し、それぞれの特徴を理解する。 事前学修 2.0hr：就活サイトや業界地図で同業 2 社を見つけておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を踏まえ、自分の興味がある企業を調べておく

10回	**授業テーマ：職業を比較する** 授業内容：様々な職業を調べ、企業によってどんな違いがあるのか理解する。 事前学修 2.0hr：就活サイト等でどのような職業 (職種) があるのかを調べておく 事後学修 2.0hr：自分の興味のある職業 (職種) について調べて記録しておく
11回	**授業テーマ：社会を知り自分との接点を探索する** 授業内容：学修してきた社会と自分について情報を整理し、社会とどう接点を持つか考える。 事前学修 2.0hr：これまでの学修内容と記録を見直しておく 事後学修 2.0hr：社会とどのように接点を持つか、現時点で考えられることを記録しておく
12回	**授業テーマ：自己理解** 授業内容：キャリアプランニングⅠで探索したストレングス、キャリアプランニングⅡで作成したモチベーショングラフを踏まえて、自分について発見したことや再確認したことを言葉にして伝える。 事前学修 2.0hr：ストレングスとモチベーショングラフを見直しておく 事後学修 2.0hr：自己理解した内容を文章にしてまとめておく
13回	**授業テーマ：自己 PR 作成** 授業内容：前回授業の学修を活用し、自分らしさを伝える自己 PR を作成する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠで返却された添削データを確認しておく 事後学修 2.0hr：自己 PR を完成させ提出する
14回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの振り返り** 授業内容：なりたいじぶんを確認し、必要であれば修正する。また、アクションプランを振り返り、今後の活動を検討する。 事前学修 2.0hr：なりたいじぶんとアクションプランの記録と進捗を確認しておく 事後学修 2.0hr：なりたいじぶんとアクションプランの修正版を完成させ記録しておく
15回	**授業テーマ：授業の振り返り** 授業内容：授業で学んだことを振り返り、今後の活用を想像し、夏季休暇の過ごし方を考える。 事前学修 2.0hr：第 1 回～第 14 回授業の資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：今回の振り返りを基に夏季休暇に取り組むことをより具体的にしておく

キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：公務員クラス

大道　和夫（おおみち　かずお）

▌授業の概要

本授業では、公務員試験対策に特化した科目の知識を身につける事を目的とする。
公務員は全体の奉仕者として、国民の生活に密着した不可欠なサービスを提供する業務を執行するが、そのために必要な基礎的な知識を修得する事を支援する。教養科目と言われている 5 科目(数的処理・文章理解・社会科学・人文科学・自然科学)と SPI、面接・論文の対策も行う。オムニバス形式の授業である。
※授業の他、全 15 回の講座を実施する。講座の詳細内容は別途指示する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：①公務員試験の試験科目は一般知識・一般知能に分けられ、多岐にわたるが、教養科目には何があるのか、その対策として何をすればよいのかを身につけること。
②試験問題には、出題頻度・難易度が様々であるが、基礎的問題を解答出来る能力を身につけること。
個別目標：①一般知識は、中学・高校で学んだ知識が問われているので、各科目について高校までの知識を身につけること。
②一般知能は公務員試験独自の問題であるが、パターンがあるので、そのパターンの対応能力を身につけること。

▌履修条件

必修科目である。
2024 年度キャリアプランニング I の授業内アンケートで本クラスの履修を希望した者およびキャリアサポートセンター窓口で指定の期間に所定の手続きをした者。本授業の他に実施する講座(全 15 回)も必ず受講すること。

▌評価基準・方法

全授業の 4/5 の出席を成績評価の前提とする。本授業だけでなく継続時限で実施する講座も出席することで「授業に出席した」とみなされる。【評価】
授業内で学んだ科目の確認テスト：50 %、指定課題の期限内提出と内容：20 %、定期試験：30 %

▌フィードバック方法

対面授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

オリジナル教材を使用。教材費として￥7,400(自己負担) を回収する。
管理・研究棟 2 階の証紙券売機で￥7,400 の証紙を購入し、第 1 回授業で教員に提出すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・人文科学 1 回目** 授業内容：ガイダンス①公務員試験の概要(職種・試験科目・試験日程)②2年次の授業の目的・到達目標 人文科学　人文科学の各科目の概要(世界史・日本史・地理・思想・文学芸術)、世界史(基礎)：古代、中世、近世 事前学修 2.0hr：シラバスを読み理解しておく 事後学修 2.0hr：公務員試験の概要について復習し授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
2回	**授業テーマ：SPI・数的処理 1 回目** 授業内容：四則逆算、つるかめ算、n 進法、年齢算 事前学修 2.0hr：四則逆算、つるかめ算、n 進法、年齢算について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
3回	**授業テーマ：人文科学 2 回目** 授業内容：世界史(基礎)：近現代、中国史、日本史(基礎)：古代、中世 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
4回	**授業テーマ：SPI・数的処理 2 回目** 授業内容：濃度算、命題 事前学修 2.0hr：濃度算、命題について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
5回	**授業テーマ：SPI・数的処理 3 回目** 授業内容：場合の数、確率 事前学修 2.0hr：場合の数、確率について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
6回	**授業テーマ：社会科学 1 回目** 授業内容：社会科学のガイダンスと社会保障 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
7回	**授業テーマ：社会科学 2 回目** 授業内容：市場の仕組み・経済循環、国民所得と経済理論 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
8回	**授業テーマ：人文科学 3 回目** 授業内容：日本史(基礎)：近世、近現代 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
9回	**授業テーマ：人文科学 4 回目** 授業内容：地理(基礎)：自然地理、地誌／人文科学前期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

10回	**授業テーマ：社会科学 3 回目** 授業内容：景気循環、財政・金融政策、国際経済、法律概論、日本国憲法で保障されている人権 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
11回	**授業テーマ：社会科学 4 回目** 授業内容：政治制度、補足・まとめ、問題演習、社会科学前期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
12回	**授業テーマ：SPI・数的処理 4 回目** 授業内容：旅人算、流水算、通過算 事前学修 2.0hr：旅人算、流水算、通過算 について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
13回	**授業テーマ：SPI・数的処理 5 回目** 授業内容：仕事算、推論(うそつき、席順、順序) 事前学修 2.0hr：仕事算、推論(うそつき、席順、順序)について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
14回	**授業テーマ：SPI・数的処理 6 回目** 授業内容：損益算、暗号 事前学修 2.0hr：損益算、暗号 について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
15回	**授業テーマ：SPI・数的処理 7 回目** 授業内容：サイコロ、図形、展開図/数的処理前期確認テスト 事前学修 2.0hr：サイコロ、図形、展開図について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする

キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：留学生クラス

中部　直之（なかべ　なおゆき）・**範　弘宇**（はん　こうう）・**林　苗**（りん　みょう）

▌授業の概要

キャリアプランニングでは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニングⅡでは、日本社会で触れる話題を正確に理解し、自らの主張を表現するための日本語能力を身につける。授業外に事前学修、事後学修、課題を行う。ほぼ毎回、小テストがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本社会に関わる論理的でやや複雑な文章や抽象度の高い文章の内容を理解することを目指す。
　　自身の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育成する。
個別目標：(1) 幅広い分野に渡る抽象度の高い日本語の文章を読んで正確に理解できる。
　　(2) 正しい文法知識と語彙を増やし、正確に産出できる。
　　(3) 日本社会に関わる背景知識を増やす。

▌履修条件

留学生クラスである。
日本語能力を測る資格試験を受験する。
課題提出の期限を守る。
積極的に授業に参加する。
授業外の講座、模擬試験に積極的に参加する。

▌評価基準・方法

資格試験 40 %、テスト 20%、課題提出 20 %、スキルアップ講座 10%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークをする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を利用する。）

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

授業時に随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語の世界** 授業内容：教科書の「日本語の世界」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、日本語についての考えをあげ、グループワークを行い、意見交換をする。 事前学修 2.0hr：自身の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補うために必要な学習計画を立てる。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：日本の文化** 授業内容：教科書の「日本の文化」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、日本の文化について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：日本人の行動様式** 授業内容：教科書の「日本人の行動様式」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、日本人の行動様式について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：言語とコミュニケーション** 授業内容：教科書の「言語とコミュニケーション」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、言語とコミュニケーションについて意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：異文化理解** 授業内容：教科書の「異文化理解」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、異文化について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：環境と人間** 授業内容：教科書の「環境と人間」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、環境と人間について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：IT と情報社会** 授業内容：教科書の「IT と情報社会」の文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、IT と情報社会について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：生物と自然** 授業内容：教科書の「生物と自然」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、生物と自然について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

9回	**授業テーマ：心理と哲学** 授業内容：教科書の「心理と哲学」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、心理と哲学について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：教育と学び** 授業内容：教科書の「教育と学び」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、教育と学びについて意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：報道とマスコミ** 授業内容：教科書の「報道とマスコミ」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、報道とマスコミについて意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：科学と技術** 授業内容：教科書の「科学と技術」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、科学と技術について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：現代の社会** 授業内容：教科書の「現代の社会」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、現代の社会について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：余暇と娯楽** 授業内容：教科書の「余暇と娯楽」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、余暇と娯楽について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：総まとめと振り返り、テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習した内容を振り返り、学んだことや気づいたことについてまとめ、グループで意見交換を行う。テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**下地　信也**（しもじ　しんや）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）・**門田　薫**（もんでん　かおる）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの成長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学習に導く。この授業では、相手視点で課題解決に取り組み①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を使用する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、相手視点で課題解決に取り組み、ジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：①相手視点を理解した上で課題解決に取り組むことができ、この体験を進路選択において主体的に活用できるようになる。
②ジェネリックスキル (対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力) を伸ばすための具体的な行動計画を立て実行することができる。

個別目標：【課題解決】①課題を発見することができる②課題に対する適切な解決策を複数挙げることができる③②を実行するための具体的な行動を挙げ実行することができる④①～③について言語化しわかりやすく伝えることができる【自己理解】完成度の高い (採用選考通過を見据えた) 自己 PR を作成できる【目標設定】キャリアプランニングⅡの目標と行動計画を振り返り改善した上で、実行できる行動計画を立案することができる

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:40%、学修内容振り返り:40%、自己ＰＲ:10%、MEIKAI SPI 模擬試験 (テストセンター):10%とする。※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や PowerPoint,Word ソフトによる課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。自己 PR の添削にかかる費用として￥3,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション (授業の目的・受講ルール・評価方法の理解、社会で求められる力の理解)** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバス (特に受講ルールについて) を読んで理解し授業に取り組むイメージをする 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：キャリアの理論** 授業内容：キャリアの理論を学び、自分の今後のキャリア形成にどう活用するかを考える。 事前学修 2.0hr：キャリアの理論について、インターネットや書籍で調べておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習しておく
3回	**授業テーマ：なりたいじぶんととアクションプラン** 授業内容：なりたいじぶんを確認し、近づくために必要なアクションプランを作成する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅡで記録したなりたいじぶんとアクションプランを見直しておく 事後学修 4.0hr：アクションプランを実行できるようにスケジューリングする
4回	**授業テーマ：自己 PR の作成** 授業内容：自分らしさを伝えることのできる自己 PR を、キャリアプランニングの集大成として完成させる。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅡで返却された添削済みの自己 PR を確認しておく 事後学修 2.0hr：自己 PR を完成させ提出する
5回	**授業テーマ：ディスカッション実践** 授業内容：キャリアプランニングⅠ、Ⅱで学修した内容を踏まえ、キャリアプランニングの集大成としてグループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠ、Ⅱのディスカッション関連の授業について復習しておく 事後学修 2.0hr：授業で実践したグループディスカッションについて、自己評価し改善点を明確にしておく
6回	**授業テーマ：求める人物像** 授業内容：人材採用において重要な求める人物像について、ワークを通じて理解する。 事前学修 2.0hr：企業のホームページや就活サイトで企業の求める人物像を確認しておく 事後学修 2.0hr：気になる企業を見つけ、求める人物像を調べておく
7回	**授業テーマ：企業についてイメージする** 授業内容：企業の情報について整理し、どのような社風・風土なのか、何を求められそうなのかをイメージし言語化する。 事前学修 2.0hr：就活サイトやホームページで企業の情報を収集し整理しておく 事後学修 2.0hr：興味のある企業について、情報収集しイメージしてみる
8回	**授業テーマ：職業についてイメージする** 授業内容：職業の情報について整理し、どんな環境でどんな人達と関わり、何を求められそうなのかをイメージし言語化する。 事前学修 2.0hr：就活サイト等で複数の職業を調べておく 事後学修 2.0hr：興味のある職業について、情報収集しイメージしてみる
9回	**授業テーマ：社会人に学ぶ** 授業内容：社会人の経験や知識から、自分のキャリアについて可能性を広げて感がる。 事前学修 2.0hr：これまで記録してきたなりたいじぶんについて確認しておく 事後学修 2.0hr：今後のキャリアについて言語化し記録しておく

10回	**授業テーマ：ワークバリュー** 授業内容：働く上で大事にしたい価値観を言語化する。 事前学修 2.0hr：これまでに記録した自己理解関連について確認しておく 事後学修 2.0hr：自分のワークバリューを整理して記録しておく
11回	**授業テーマ：自分史を作成する** 授業内容：キャリアプランニングで探索してきた自分について、総まとめとして自分史を作成し伝える。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングにおける自己理解関連の学修を振り返り、記録を確認しておく 事後学修 2.0hr：自分史の記録を完成させ提出する
12回	**授業テーマ：社会との接点を考える** 授業内容：前回まとめた自分史を踏まえ、どのように社会と接点を持つかを言語化し伝える。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングにおける社会理解の学修を振り返り、自分との接点を考えておく 事後学修 2.0hr：自分史に社会との接点を追記し提出する
13回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの振り返り** 授業内容：なりたいじぶんとアクションプランを見直し、今後の活動について考える。 事前学修 2.0hr：なりたいじぶんとアクションプランの記録を確認しておく 事後学修 2.0hr：今後の活動を具体的にしスケジューリングする
14回	**授業テーマ：キャリアプランニングⅢ授業の振り返り** 授業内容：キャリアプランニングⅠ～Ⅲまでを振り返り、何を学び、気づき、今後のキャリア選択に対する準備ができたのかを言語化し伝える。 事前学修 2.0hr：これまでの授業の資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：今後の自分のキャリアを考え言語化し記録しておく
15回	**授業テーマ：自分史の共有と振り返り** 授業内容：作成した自分史をグループとクラスで共有し相互に学び合う。 事前学修 2.0hr：作成した自分史を確認しておく 事後学修 2.0hr：これまでの学修内容と記録を確認し、今後のキャリアに向けた活動を具体的に考え記録する

キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：公務員クラス

大道　和夫（おおみち　かずお）

▌授業の概要

本授業では、公務員試験対策に特化した科目の知識を身につける事を目的とする。
公務員は全体の奉仕者として、国民の生活に密着した不可欠なサービスを提供する業務を執行するが、そのために必要な基礎的な知識を修得する事を支援する。後期では、数的処理・社会科学・人文科学は演習問題を使用し解き方を身につけていく。文章理解は基礎から学習していく。オムニバス形式の授業である。
※授業の他、全 15 回の講座を実施する。講座の詳細内容は別途指示する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：前学期で修得した知識を基にして、新たな問題についても自分の力で正解にたどり着ける能力を身につけること。
個別目標：前学期に学習した問題は確実に解くことができ、新たな問題についても自分の力で解くことができるように、予習復習を繰り返す習慣を身につけること。

▌履修条件

必修科目である。
2025 年度前学期開講のキャリアプランニングⅡ (公務員クラス) の単位を取得していること。

▌評価基準・方法

全授業の 4/5 の出席を成績評価の前提とする。本授業だけでなく継続時限で実施する講座も出席することで「授業に出席した」とみなされる。【評価】
授業内で学んだ科目の確認テスト：50 %、指定課題の期限内提出と内容：20 %、定期試験：30 %

▌フィードバック方法

対面授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

オリジナル教材を使用。教材費として￥4,700 円(自己負担)を回収する。管理・研究棟 2 階の証紙券売機で￥4,700 の証紙を購入し、第 1 回授業で担当教員に証紙を提出すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：数的処理 1 回目** 授業内容：n 進法、濃度算、命題の復習、及び約数と倍数、比 事前学修 2.0hr：n 進法、濃度算、命題の復習、及び約数と倍数、比について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
2回	**授業テーマ：社会科学 1 回目** 授業内容：消費者と生産者の行動、市場と経済厚生 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
3回	**授業テーマ：人文科学 1 回目** 授業内容：世界史(実践)：世界史問題演習(古代、中世、近世、近現代、中国史) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
4回	**授業テーマ：人文科学 2 回目** 授業内容：日本史(実践)：日本史問題演習(古代、中世、近世、近現代) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
5回	**授業テーマ：社会科学 2 回目** 授業内容：憲法；統治機構、日本国憲法の特徴 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
6回	**授業テーマ：社会科学 3 回目** 授業内容：選挙制度、国際政治 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
7回	**授業テーマ：人文科学 3 回目** 授業内容：地理(実践)：地理問題演習(自然地理、地誌) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
8回	**授業テーマ：人文科学 4 回目** 授業内容：人文科学(総まとめ)：世界史、日本史、地理のポイントチェック、人文科学後期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
9回	**授業テーマ：文章理解 1 回目** 授業内容：文章理解解き方のポイント 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
10回	**授業テーマ：社会科学 4 回目** 授業内容：社会：環境・医療問題、科学技術、文化等 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

11回	**授業テーマ：社会科学 5 回目** 授業内容：補足、まとめ、問題演習①、問題演習②、社会科学後期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
12回	**授業テーマ：数的処理 2 回目** 授業内容：場合の数、確率の復習、及び集合、試合の勝敗 事前学修 2.0hr：場合の数、確率の復習、及び集合、試合の勝敗について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
13回	**授業テーマ：数的処理 3 回目** 授業内容：速さ、仕事算の復習、及び軌跡、一筆書き 事前学修 2.0hr：速さ、仕事算の復習、及び軌跡、一筆書きについて予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
14回	**授業テーマ：数的処理 4 回目** 授業内容：推論、損益算、暗号の復習、及び積み木、切断面 事前学修 2.0hr：推論、損益算、暗号の復習、及び積み木、切断面について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
15回	**授業テーマ：数的処理 5 回目** 授業内容：サイコロ、図形、展開図の復習、及び資料解釈/数的処理後期の確認テスト 事前学修 2.0hr：サイコロ、図形、展開図、資料解釈について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする。

キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：留学生クラス

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）・**範　弘宇**（はん　こうう）・**林　苗**（りん　みょう）

▌授業の概要

キャリアプランニングは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニングⅢでは、日本社会で成果をあげるためにビジネス日本語について学習する。授業外に事前学修、事後学修、課題がある。小テストはほぼ毎回、授業内に行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本社会、文化的な背景、心理的な状況を理解したうえで、ビジネス上の課題に対して適切に対応する力を育成する。限られたビジネス場面で日本語による適切なコミュニケーションができる。
個別目標：(1) 標準的な日本語で話されれば、社内で行われる議論等で担当領域の議論の流れを理解することができる。
(2) 担当領域の文書や記事、メールを読み解くことができる。
(3) 担当領域に関連するテーマについて、多様な選択肢の利点や不利な点を示しながら主張することができる。
(4) 担当領域に関する事柄を詳細に書くことができる。
(5) 自身の考えの根拠を示しながら説明する文章を書くことができる。

▌履修条件

留学生クラスである。
日本語能力を測る資格試験、ビジネス日本語能力を測る資格試験を受験する。
授業活動に積極的に参加する。
課題の提出日を守る。
授業外の講座、模擬試験等に積極的に参加する。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 20%、テスト 20%、講座 10%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 manaba、respon を使用する（スマートフォン対応可）。）

▌教科書

木山三佳・田川麻央『学生・留学生のためのキャリアプランニング』実教出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：ビジネスで必要な日本語能力とはどのようなものかを確認する。そのうえで、現時点でどの程度のビジネス日本語能力があるのか事前テストで測る。テストの成績をもとに、どのように能力を伸ばしていくか計画を立てる。 事前学修 2.0hr：BJT ビジネス日本語能力テストについて調べる。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：就職活動** 授業内容：就職活動では選考の材料となる提出書類の作成や面接試験など重要なことがある。その中で、エントリーシートなどの書類の書き方、面接時の話し方を学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：入社** 授業内容：入社後、新入社員は初対面の人とコミュニケーションをとる機会が多い。その一つとして自己紹介があり、話を聞いた人が記憶に残る一言が言えるよう練習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：基本的な業務** 授業内容：基本的な業務の一つとして伝言を取り上げる。また、稟議についても学ぶ。稟議は、社内で物品を購入するときなどに説明を書類に書いて、承認を受けることで一連の流れを学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：報告** 授業内容：上司や先輩、同僚への報告を取り上げる。仕事は同じ目標を持つ人々とうまく連携できるよう、わかりやすく伝えられるよう学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：謝罪** 授業内容：謝罪について取り上げる。仕事でミスがあったときに早い段階で上司に正確に事実を報告し、素直に謝罪できるよう学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：インターンシップの受け入れ** 授業内容：インターンシップの受け入れ側の仕事について取り上げる。会社側の立場になって自社を紹介し、業務や職種を理解してもらうとともに、さまざまなリスク管理について学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：会議の準備** 授業内容：会議の準備においては、会場の予約、機器の設置、会議議題の決定、前回の議事録の作成など、様々な資料を作成、配布する、欠席者への対応など一連の業務を学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：会議** 授業内容：会議では、各種の報告と意志決定をおこなう審議が行われる。議長の指示に従い、発言したり反対意見を述べたりする。意見の述べ方、議事録の作成など一連のやりとりを学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：取引** 授業内容：取引について取り上げる。良い関係を築くコミュニケーションを基本とし、正確な情報のやり取りを行う。不明な点がないように、お互いの話を引用した形で質問するなどの工夫も学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：苦情** 授業内容：苦情について取り上げる。苦情の対応を誤ると大きな問題に発展することもあり、より良いコミュニケーションが求められるためその対応方法を学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：商談** 授業内容：商談について取り上げる。相手に必要な情報を正確に伝えるとともに、相談や注文を受けた時の対応の仕方、不明慮な点があるときの聞き返しなどを学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：社会貢献** 授業内容：企業が果たすべき社会的責任について学ぶ。社会貢献としてさまざまな活動を行うときに必要なコミュニケーションについて学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：実力判定テスト、フィードバック** 授業内容：これまで学習した内容が身に付いたかどうか実力判定テストで測る。テストの結果より得られた強み、弱みをもとに学習を振り返る。また教師からもフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：コース全体をふりかえり、改善点をみつける** 授業内容：コースの目標とこれまでの活動を照らし合わせて学習を振り返り、自身のビジネス日本語能力を的確に分析する。就職に向けて活動計画を立てる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**下地　信也**（しもじ　しんや）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）・**門田　薫**（もんでん　かおる）

▌授業の概要

一般企業での就業経験があり、キャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験を活かし就職活動において主体的に行動できることを目的として支援する。受講生が納得のいく進路を決定するために就職活動の準備をする。事前準備(企業・仕事研究、自己 PR・志望動機作成)と実践及び振り返りにより改善を重ね就活力を伸ばす。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験があり、キャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験を活かし、就職活動において主体的に行動できることを目的として、情報の収集や分析、計画立案及び振り返り等、就職活動に活用できる知識を与える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：この授業の目的は、就職活動を乗り越え社会で活躍する人材となるために必要な力とスキルを伸ばすことである。キャリアデザインでは、就職活動準備を就職スキルの向上に焦点をあてる。また、日頃から意識できるよう「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

個別目標：【企業・仕事研究】キャリアプランニングの学修を活用し就職活動における企業選択に十分な情報収集・分析をする【自己 PR】自分の強みと裏付けるエピソードを選考通過レベルで準備する【志望動機】企業・仕事研究で得た情報と自己 PR をつなげ入社後どう貢献できるかを伝えられる【グループディスカッション・面接】選考通過レベルのスキルを身に付ける【インターンシップ】インターンシップに参加し早期選考につなげる

▌履修条件

2 年生修了時に、60 単位以上取得していること(就職活動にある程度の時間が割ける状態)が望ましい。

留学生については、日本語能力試験で N1 を取得しており、MGO 留学生プログラムの要件を満たしていること。

▌評価基準・方法

重要課題:30%、学修内容振り返り:30%、インターンシップ参加：30%、MEIKAI SPI の模擬試験 (テストセンター):10% ※それ以外に、就活コーチとの面談実施・OBOG セミナー参加・学内業界研究セミナー参加を単位認定要件とする。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。詳細については第 2 回授業で説明する。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。適職診断テスト受検の費用として￥6,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(履修登録のルールを理解し正しく手続きする)** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み理解しておく 事後学修 2.0hr：資料を読み返し正しく履修登録の手続きをする	16回	**授業テーマ：PROG 受験** 授業内容：社会で求められる基礎力を測り、自分の強みを認識するという目的を理解し正しく PROG を受験する。 事前学修 2.0hr：1 年生で受験した PROG の結果を見直しておく 事後学修 2.0hr：ジェネリックスキルについて再確認しておく
2回	**授業テーマ：就活スケジュールと準備確認** 授業内容：就活スケジュール (カードゲームを実施予定) と必要な準備を確認する。 事前学修 2.0hr：就職活動の流れについて調べておく 事後学修 2.0hr：就活サイトで企業情報を見ておく	17回	**授業テーマ：コーチ支援に関する授業** 授業内容：就活コーチの支援を受ける手続き (求人 NAVI) を理解し実践する。 事前学修 2.0hr：求人 NAVI で就活に関する情報を確認する 事後学修 2.0hr：就活コーチの面談予約を確認しスケジュールに入れる
3回	**授業テーマ：就活サイトの使い方** 授業内容：就職活動において情報源となる就活サイトの使い方を説明し活用してみる。 事前学修 2.0hr：就活サイトで企業検索をしておく 事後学修 2.0hr：就活サイトで企業情報を検索し、イベント等の予約をしてみる	18回	**授業テーマ：オープンカンパニーを振り返る** 授業内容：参加したオープンカンパニーを振り返り経験について言語化する。 事前学修 2.0hr：オープンカンパニーを振り返る準備をしておく 事後学修 2.0hr：授業の内容を踏まえ、選考を受ける企業を検討する
4回	**授業テーマ：なりいたいじぶんとアクションプラン** 授業内容：就職活動におけるアクションプランを作成する。 事前学修 2.0hr：記録したなりたいじぶんとアクションプランを確認しておく 事後学修 2.0hr：就職活動におけるアクションプランをスケジューリングする	19回	**授業テーマ：就活の軸を言語化する** 授業内容：これまでの就職活動で得た経験を振り返り就活の軸を再検討する。 事前学修 2.0hr：就職活動の状況を共有できるよう準備しておく 事後学修 2.0hr：就活の軸を使い就活サイト等で選考を受ける企業を選ぶ
5回	**授業テーマ：応募準備：ガクチカ作成** 授業内容：キャリアプランニングで作成と改善を重ねてきた自己 PR を確認しガクチカを作成する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで作成した自己 PR をすべて見直しておく 事後学修 2.0hr：明海大学の履歴書に合わせて自己 PR とガクチカを完成させる	20回	**授業テーマ：PROG 結果活用** 授業内容：PROG の結果を参考に自分の強みを確認し、企業選択につなげる。また、1 年次より伸びた力やその要因について考える。 事前学修 2.0hr：PROG の結果を確認しジェネリックスキルを再確認しておく 事後学修 2.0hr：PROG の結果から自分の強みを確認し、紐づく経験を記録しておく
6回	**授業テーマ：応募準備：志望動機作成** 授業内容：自己 PR・ガクチカとつながりを意識して志望動機を書いてみる。 事前学修 2.0hr：志望動機の書き方について情報収集しておく 事後学修 2.0hr：明海大学の履歴書に合わせて志望動機を作成してみる	21回	**授業テーマ：就活進度別選考準備 (グループディスカッション)** 授業内容：本選考を見据え、グループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：これまでに取り組んだグループディスカッションを振り返っておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションを振り返り改善点を明確にしておく
7回	**授業テーマ：R-CAP 結果解説** 授業内容：R-CAP の結果を正しく理解し就職活動への活用法を知る。 事前学修 2.0hr：PROG の結果を読み直し自己理解を深めておく 事後学修 2.0hr：R-CAP の結果をあらためて読み自分について言語化しておく	22回	**授業テーマ：就活進度別選考準備 (面接)** 授業内容：本選考を見据え、面接練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：自己 PR やガクチカ、志望動機を伝えられるようにしておく 事後学修 2.0hr：授業で実践した面接練習を振り返り、改善点を整理しておく
8回	**授業テーマ：フセンゲーム** 授業内容：ジョブカタログの言葉と KJ 法を使い、自分の就活の軸を言語化する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り就活の軸を言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業のワークを参考に就活の軸を再検討する	23回	**授業テーマ：OBOG セミナー参加準備** 授業内容：OBOG セミナーの目的や概要、必要な事前準備について理解する。 事前学修 2.0hr：OBOG セミナー参加予定企業について調べておく 事後学修 2.0hr：OBOG セミナー当日の動き方を検討する

9回	**授業テーマ：オープンカンパニーの選び方** 授業内容：オープンカンパニーの選択基準を考え実践する。 事前学修 2.0hr：就活サイトや企業のホームページで企業情報を収集する 事後学修 2.0hr：授業で得たアドバイスを活用しオープンカンパニーの情報を探し企業研究する	24回	**授業テーマ：OBOG セミナー参加** 授業内容：OBOG が参加する企業の説明を聞き、企業や仕事の理解を深める。 事前学修 2.0hr：身だしなみを整え OBOG セミナーに参加する企業について調べる 事後学修 2.0hr：OBOG セミナーで得た情報や気づきを振り返る
10回	**授業テーマ：グループディスカッション実践** 授業内容：グループディスカッションの練習をする。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで学修した内容を復習しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションを振り返り課題を明確にしておく	25回	**授業テーマ：OBOG セミナーの振り返り** 授業内容：OBOG セミナーで得られたことを言語化し、事前準備が妥当であったかを振り返る。 事前学修 2.0hr：OBOG セミナーで得た情報や気づきを振り返る 事後学修 2.0hr：企業や仕事について知りたいことを整理しておく
11回	**授業テーマ：オープンカンパニー参加体験** 授業内容：オープンカンパニーを模擬体験し参加する実感を持つ。また、選考準備の改善点を整理する。 事前学修 2.0hr：就活サイト等でオープンカンパニーのプログラムについて調べる 事後学修 2.0hr：就活サイト等でオープンカンパニーの情報を収集しエントリーする	26回	**授業テーマ：面接練習 (1) 会話のキャッチボール** 授業内容：採用選考に向けて企業の意図を理解し、会話のキャッチボールを意識して面接練習する。 事前学修 2.0hr：自己 PR・ガクチカ・志望動機など、応募書類の内容を確認しておく 事後学修 2.0hr：面接練習で改善が必要な点を明確にする
12回	**授業テーマ：先輩(内定した４年生)に学ぶ** 授業内容：パネルディスカッション形式で先輩の体験談を聞き就職活動の参考にする。 事前学修 2.0hr：これまでの就職活動を振り返り悩みや疑問を言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業での学修をヒントにし今後の行動計画を立てる	27回	**授業テーマ：面接練習 (2) 自己 PR と志望動機** 授業内容：前回の面接練習を踏まえ改善すべき点を意識しながら、自己 PR と志望動機を伝える練習をする 事前学修 2.0hr：自己 PR・ガクチカ・志望動機など、応募書類の内容を確認しておく 事後学修 2.0hr：面接練習を振り返り、改善点を解決しておく
13回	**授業テーマ：仕事研究セミナー振り返り** 授業内容：仕事研究セミナーで収集した情報と自分の強みを照らし合わせ、マッチングポイントを考える。 事前学修 2.0hr：仕事研究セミナーを振り返り、情報を整理しておく 事後学修 2.0hr：仕事研究セミナーで経験を踏まえ、今後の就職活動を検討する	28回	**授業テーマ：面接練習 (3) 同窓生と模擬面接** 授業内容：社会人の代表として同窓生をゲストとして迎え、模擬面接を実践する。 事前学修 2.0hr：前回の面接練習で見つけた自分の改善点を意識しておく 事後学修 2.0hr：面接で伝える内容を準備し、自主的に伝える練習をする
14回	**授業テーマ：就職活動となりたいじぶんとアクションプラン** 授業内容：就職活動の現状を整理し、なりたいじぶんとアクションプランを見直す。 事前学修 2.0hr：なりたいじぶんとアクションプランを確認しここまでの就職活動を整理しておく 事後学修 2.0hr：今後の就職活動についてアクションプランをスケジューリングする	29回	**授業テーマ：就活進度別選考準備 (課題別編)** 授業内容：グループディスカッション、面接、応募書類など、採用選考において準備が必要な面をトレーニングする。 事前学修 2.0hr：自分の選考における課題を確認しておく 事後学修 2.0hr：授業での練習を踏まえ、さらに選考準備を進める
15回	**授業テーマ：夏季休暇の活動計画立案** 授業内容：夏季休暇中に取り組む、就職活動について具体的にしておく 事前学修 2.0hr：夏季休暇中の就職活動計画を整理しておく 事後学修 2.0hr：授業で検討した内容を夏季休暇中の就職活動計画に反映させる	30回	**授業テーマ：就職活動振り返りと今後の行動計画立案** 授業内容：今後の就活において、改善点や具体的な行動について言語化し伝え合う。 事前学修 2.0hr：就職活動の進捗を整理し伝えられるように準備する 事後学修 2.0hr：授業で明確になった現状を見直し今後の計画を再確認する

キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：公務員クラス

大道　和夫（おおみち　かずお）

▌授業の概要

本授業では、2 年次に学習した知識をもとに、公務員試験の多くの過去問を解くことにより、実戦力を身につけることを目的とする。
公務員試験においては、過去に出題した問題を、視点を少し変えて再度出題することが多いので、形式に惑わされないように過去問を丁寧に検討することにより、柔軟な対応力を修得する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：2 年次に身につけた知識をもとにして、様々な問題について、正誤を正しく判断できる能力を獲得すること。
個別目標：①不得意科目を克服すること。
②新しく加わる科目の自然科学・論文・面接の知識を身につけること。特に論文は、過去に出題された課題で出来るだけたくさん書いてみること。

▌履修条件

選択科目である。2024 年度キャリアプランニングⅡ・Ⅲ (公務員クラス) の単位を取得していること。

▌評価基準・方法

全授業の 4/5 の出席を成績評価の前提とする。本授業だけでなく継続時限で実施する講座も出席することで「授業に出席した」とみなされる。【評価】
授業内で学んだ科目の確認テスト：50 %、指定課題の期限内提出と内容：20 %、定期試験：30 %

▌フィードバック方法

授業内と学習支援システム manaba で実施。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

オリジナル教材を使用。教材費として前学期￥6,900・後学期￥8,700 を自己負担として回収する。それぞれ第 1 回授業で担当教員に証紙を提出すること。管理・研究棟 2 階の証紙券売機で購入すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：人文科学 1 回目** 授業内容：ガイダンス(試験内容の確認、合格に向けて取り組むべきこと)、人文科学：世界史の問題演習と解説講義 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	16回	**授業テーマ：数的処理_後学期 1 回目** 授業内容：整数問題、不定方程式・場合の数、経路計算、速度計算 1 事前学修 2.0hr：整数、自然数、無理数、場合の数、速度の計算について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
2回	**授業テーマ：自然科学 1 回目** 授業内容：ガイダンス・自然科学(地学) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	17回	**授業テーマ：自然科学_後学期 1 回** 授業内容：自然科学(生物)(数学)(物理)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
3回	**授業テーマ：自然科学 2 回目** 授業内容：自然科学(数学)(生物)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	18回	**授業テーマ：自然科学_後学期 2 回目** 授業内容：自然科学(生物)(化学)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする/自然科学後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
4回	**授業テーマ：自然科学 3 回目** 授業内容：自然科学(化学)(物理)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする/自然科学前期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	19回	**授業テーマ：社会科学_後学期 1 回目** 授業内容：民主政治の基本原則・選挙制度、費用曲線と供給曲線の導出・余剰分析 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
5回	**授業テーマ：社会科学 1 回目** 授業内容：行政国家に対する統制・選挙制度、市場全体の需要供給曲線と資源配分の最適化・不完全競争市場 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	20回	**授業テーマ：時事_後学期 1 回目** 授業内容：社会で起こった出来事について学習する 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
6回	**授業テーマ：人文科学 2 回目** 授業内容：日本史の問題演習と解説講義 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	21回	**授業テーマ：面接・論文_後学期 1 回目** 授業内容：前学期の授業内容を踏まえ、取り組みやすい課題を取り上げ、本試験に向けて論文作成を行う。また、公務員試験の面接について最新の情報をもとに、模擬面接(個人)を実施する。 事前学修 2.0hr：面接・論文試験について調べておく 事後学修 2.0hr：授業で習ったことをまとめて活用できるように整理しておく
7回	**授業テーマ：社会科学 2 回目** 授業内容：日本の戦後政治史・国際法と国際関係、財政・金融政策 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	22回	**授業テーマ：社会科学_後学期 2 回目** 授業内容：主要国の政治制度・国際法と国際機関、国際貿易の基礎理論・財政政策と金融政策 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
8回	**授業テーマ：面接・論文 1 回目** 授業内容：論文 1 回目(基礎編)公務員試験の論文と最近の試験傾向などの説明 面接 1 回目(基礎編)公務員試験の面接と最近の試験傾向などの説明 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	23回	**授業テーマ：社会科学_後学期 3 回目** 授業内容：日本国憲法が保障する人権・日本の統治制度、国際経済協力・戦後日本経済史・社会科学後期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

9回	**授業テーマ：文章理解 1 回目** 授業内容：現代文・英文それぞれの解き方やより実践的な問題の解き方等 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	24回	**授業テーマ：面接・論文_後学期 2 回目** 授業内容：論文：より発展的な課題を取り上げ、本試験に向けて実践的な授業を行う。 面接：１回目の授業を基に、模擬面接(個人及び集団)を行う。 事前学修 2.0hr：前回の面接・論文の授業で学んだ内容について復習しておく 事後学修 2.0hr：授業で習ったことをまとめて活用できるように整理しておく
10回	**授業テーマ：人文科学 3 回目** 授業内容：地理の問題演習と解説講義/人文科学前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	25回	**授業テーマ：時事_後学期 2 回目** 授業内容：時事試験対策テキストに沿って解説授業を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
11回	**授業テーマ：社会科学 3 回目** 授業内容：日本国憲法の仕組み、戦後の日本の経済事情・社会科学前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	26回	**授業テーマ：数的処理_後学期 2 回目** 授業内容：速度計算 2、ニュートン算、濃度計算、論理、ベン図の作成、線分図など 事前学修 2.0hr：速度計算 2、ニュートン算、濃度計算、論理、ベン図の作成、線分図について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
12回	**授業テーマ：数的処理 1 回目** 授業内容：整数の性質、濃度計算・割合、速さの考え方 事前学修 2.0hr：整数の性質、濃度計算・割合、速さの考え方について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	27回	**授業テーマ：数的処理_後学期 3 回目** 授業内容：対応、試合、順序、位置関係の問題など 事前学修 2.0hr：対応、試合、順序、位置関係の問題について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
13回	**授業テーマ：数的処理 2 回目** 授業内容：速度計算、場合の数・確率、図形の性質 事前学修 2.0hr：速度計算、場合の数・確率、図形の性質について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	28回	**授業テーマ：数的処理 4 回目** 授業内容：図形、求積の問題、空間把握のパズル、回転体の考え方など 事前学修 2.0hr：図形、求積の問題、空間把握のパズル、回転体の考え方について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
14回	**授業テーマ：数的処理 3 回目** 授業内容：順序、論理、対応、試合の問題など 事前学修 2.0hr：順序、論理、対応、試合の問題について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	29回	**授業テーマ：数的処理 5 回目** 授業内容：立体構成、展開図の問題、資料解釈など、後学期数的処理の確認テスト 事前学修 2.0hr：立体構成、展開図、資料解釈について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
15回	**授業テーマ：数的処理 4 回目** 授業内容：真偽、位置関係の問題、空間把握の問題/前学期数的処理の確認テスト 事前学修 2.0hr：真偽、位置関係、空間把握について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	30回	**授業テーマ：模擬試験** 授業内容：本番を意識した模擬試験を行う。 事前学修 2.0hr：各科目のまとめをしておく 事後学修 2.0hr：自己採点をもとに試験に向けて学習計画を立てておく

キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

範　弘宇（はん　こうう）

▌授業の概要

キャリアデザインでは、就職活動及び就職後に必要な日本語能力を育成する。具体的には、日本の企業文化の理解を深めるとともに、ビジネス場面で求められる日本語表現やビジネスマナー、日本のしきたりなどを幅広く学ぶ。さらに、ビジネス文書の書き方、ビジネス場面の会話に使われる語彙と表現を学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：就職活動を乗り切り、社会で活躍する人材となるために必要な日本語能力を習得する。

個別目標：(1) 日本のビジネスマナーやコミュニケーションに関する知識があり、状況に応じた適切な語彙・表現が支障なく使うことができる。
(2) 相手の発言に言葉どおりではない意図が暗示されている場合、その意図を的確に察知し、適切な対応をとることができる。
(3) 一般的な社内文書、ビジネス文書、および手紙やメールなどの文章を、それぞれの形式に則って書くことができる。
(4) ビジネス場面での文書による報告を、的確な情報を選択し、論理的な構成で、かつ簡潔な文章で書くことができる。

▌履修条件

・留学生を対象とするクラスである。
・課題の提出期限を守る。
・資格試験を積極的に受験する。

▌評価基準・方法

課題提出 40%、テスト 30%、資格取得 30%で評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba 及び対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、ロールプレイ、ペアワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する（スマートフォン対応可））

▌教科書

羽鳥美由紀『日本で働くための本　就活生から社会人まで』アスク出版
村野節子、向山陽子、山辺真理子『タスクで学ぶ日本語ビジネスメール・ビジネス文書』スリーエーネットワーク

▌参考書

白崎佐夜子『8 の基本ルールで学ぶ外国人のための仕事のメールの書き方』スリーエーネットワーク
ビジネス総合研究会『しっかり役立つビジネス文書実例集』法研
村野節子、山辺真理子、向山陽子『ロールプレイで学ぶビジネス日本語』スリーエーネットワーク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、仕事中の心得** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。そのうえで事前テストを受ける。学生と社会人との違い、就業時間に関するルールを理解する。遅刻・早退・欠勤の際のすべきことを学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、この授業について理解しておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	16回	**授業テーマ：前学期の復習、ビジネスメールの基本** 授業内容：前学期に学習したビジネス場面で求められる日本語表現やビジネスマナーの復習テストとフィードバックを受ける。社内メールと社外メールの違いを理解する。ビジネスメールの構成、基本マナー、よく使う表現を学び、状況に応じたメールを作成する。 事前学修 2.0hr：ビジネスメールで役に立つ表現の意味と使い方を調べておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
2回	**授業テーマ：仕事中の態度** 授業内容：話し方と聞き方、指示の受け方、依頼と謝罪の仕方を理解する。依頼と謝罪をする表現、依頼を断る表現を学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	17回	**授業テーマ：ビジネス文書の基本** 授業内容：社内文章と社外文章の違い、それぞれの種類と特徴を理解する。様々な種類のビジネス文書を読み、構成、書式、表現の共通点と相違点を学ぶ。ビジネス文書の目的、対象者、内容に応じた適切な構成、基本マナー、よく使う表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビジネス文書で役に立つ表現の意味と使い方を調べておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
3回	**授業テーマ：仕事中の進め方** 授業内容：情報共有の意義、仕事の優先順位のつけ方、情報管理の注意点を理解する。報告する際に、話の組み立て方、効果的な伝え方と表現を学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	18回	**授業テーマ：お知らせ(社内)** 授業内容：社内お知らせメールの作成のポイント、お知らせへの返信メールのポイントを理解する。社内お知らせメールの構成、書式、表現を学び、新入社員歓迎会のお知らせメールを作成する。届いたお知らせメールの返信を作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
4回	**授業テーマ：人間関係** 授業内容：会社での上下関係、ハラスメントの種類と対処法を理解する。上司や先輩とのつき合い方と注意点、敬語の種類と使い分けを学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	19回	**授業テーマ：お知らせ(社外)** 授業内容：社外お知らせメールの作成のポイント、お知らせへの返信メールのポイントを理解する。社外お知らせメールの構成、書式、表現を学び、展示会のお知らせメールを作成する。展示会のお知らせへの返信・転送メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
5回	**授業テーマ：第一印象の大切さ、名刺交換** 授業内容：身だしなみのポイント、あいさつの基本、おじぎの基本と種類を理解する。名刺交換の基本と仕方を学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	20回	**授業テーマ：お礼(社外)、日報(社内)** 授業内容：お礼メールの作成のポイントを理解し、展示会への来訪のお礼メールを作成する。日報の構成、書式、表現を学び、営業日報を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した営業日報をチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。

6回	**授業テーマ：立ち居ふるまい、来客対応** 授業内容：美しい立ち居ふるまいの基本、物の受け渡し、ドアの開閉の基本を理解する。会議室、車、エレベーターなどの席次の基本、案内・お茶出しの流れと仕方を学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	21回	**授業テーマ：送付依頼** 授業内容：送付依頼メールの作成のポイント、送付依頼への返信メールのポイントを理解し、送付依頼メールと返信メールを作成する。発注と受注の違い、それぞれのポイントを理解し、発注メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
7回	**授業テーマ：企業訪問** 授業内容：企業訪問時の流れ、訪問・社外打ち合わせをする前に準備すべきことを理解する。訪問時の上司・取引先担当者の紹介の仕方を学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	22回	**授業テーマ：納期延長依頼** 授業内容：納期延長依頼メールの作成のポイント、納期延長依頼への返信メールのポイントを理解し、納期延長依頼メールと返信メールを作成する。代金振込通知メールの作成のポイントを理解し、通知メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
8回	**授業テーマ：電話対応** 授業内容：電話対応の基本、携帯電話のマナーを理解する。電話の受け方・かけ方の基本の流れ、取り次ぎ・用件伝達の表現を学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	23回	**授業テーマ：照会(在庫)** 授業内容：在庫照会メールの作成のポイント、在庫照会への回答メールのポイントを理解する。在庫照会メールと回答メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
9回	**授業テーマ：会議** 授業内容：会議の準備とマナー、プレゼンテーションの流れとテクニックを理解する。会議における意見・提案の方法と表現を学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	24回	**授業テーマ：照会(商品未着・数量不足)** 授業内容：問い合わせメールとお詫びメールの作成のポイントを理解する。商品未着についての問い合わせメールと商品未着のお詫びメールを作成する。納品と納入の違いを理解し、納品数量の照会メールと数量不足のお詫びメールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
10回	**授業テーマ：ビジネスメール、ビジネス文書** 授業内容：ビジネスメールのマナー、ビジネス文書の種類とルールを理解する。メール・文書の基本構成、よく使う表現を学び、メール作成の応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	25回	**授業テーマ：社内会議１(クレームを受ける)** 授業内容：議事録の構成、書式、表現を学び、議事録を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した議事録をチェックし合い、修正する。議事録の送付メールを作成する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
11回	**授業テーマ：異文化理解、食事のマナー** 授業内容：日本の察しの文化、パーソナルスペース、朝礼・研修制度を理解する。和食の基本マナーを理解し、箸の使い方、乾杯時に使う表現を学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	26回	**授業テーマ：依頼(セミナーの講師)** 授業内容：依頼メールのポイント、依頼に対する断るメールのポイントを理解する。講師依頼メールと断るメールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
12回	**授業テーマ：日本のしきたり、個人宅訪問の基本** 授業内容：冠婚葬祭の基本とマナー、贈る品物のポイントを理解する。お中元とお歳暮を送る際に使う表現、贈り物を受け取ったる際に使う表現を学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	27回	**授業テーマ：稟議書(伺い書)** 授業内容：稟議書の構成、書式、表現を学び、セミナー関連の稟議書を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した稟議書をチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
13回	**授業テーマ：自己分析** 授業内容：自分を知ることの大切さを理解する。客観的な視点で自己分析を行うための手順を学ぶ。その手順に沿って自己分析を行い、自分の強みや弱み、興味関心などを明確にする。自分に合った就職先を具体的に考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	28回	**授業テーマ：社内会議２(新規顧客を開拓する)** 授業内容：議事録の構成、書式、表現を復習し、議事録を具体的な内容で作成する。注意するメールのポイントを理解し、後輩に議事録について注意するメールを作成する。ペアワークで作成した議事録とメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
14回	**授業テーマ：応募から内定まで①応募書類** 授業内容：就職活動の流れを理解する。エントリシートや履歴書の構成要素と記載事項、自己 PR や志望動機を効果的に表現するためのポイントを学ぶ。具体的なエピソードや実績を盛り込み、説得力のある履歴書を作成する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	29回	**授業テーマ：出張報告** 授業内容：出張報告書の構成、書式、表現を学び、出張報告書を作成する。ペアワークで作成した報告書をチェックし合い、修正する。催促メールの作成のポイント、催促に対する返信メールの作成のポイントを理解する。出張経費精算書提出の催促メールと催促メールに対する返信を作成する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
15回	**授業テーマ：応募から内定まで②面接、まとめ・総復習** 授業内容：面接の種類と基本的な流れを理解する。面接時の注意点・自己 PR の方法と表現を学び、ロールプレイで応用練習をする。これまで学習した日本の企業文化とビジネス場面で求められる日本語表現やビジネスマナーを整理する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	30回	**授業テーマ：まとめ・総合練習、始末書、最終テストとフィードバック** 授業内容：始末書の構成、書式、表現を学び、始末書を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した始末書をチェックし合い、修正する。これまで学習したビジネスメールとビジネス文書の構成や書き方を整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。

インターンシップ A・B・C・D

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

本学が定める企業等における実習・研修的な就業体験（インターンシップ）の成果に対して単位を認定する科目である。
この単位認定制度は、学生が自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことにより、学習意欲を喚起し、さらに、高い就業意識の涵養や自分の適性にあった職業について考える機会を提供することを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：将来のキャリア形成のために、働くこととは何かを理解する。
個別目標：①業種及び職種形態に対するイメージのギャップを解消し、進路の方向性を判断することができる。
②社会人のマナーを理解し、身につけることができる。
③自己の強みや弱みを見つけ、学修における個々の目標を明確にできる。

▌履修条件

目的意識を持って就業体験に臨める学生。
詳細については、当該年度の実施要項及びガイダンス等で確認すること。

▌評価基準・方法

各 5 日以上 40 時間以上の研修時間を要する。
本人レポート、派遣先からの報告書、事前研修会の出席及び報告内容等よって単位を認定する。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク、プレゼンテーション等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （研修機関における資料、レポートの作成及び事後学修におけるレポートの作成等）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：エントリーシート、面接** 授業内容：エントリーシートの書き方、面接の受け方を学ぶ 事前学修 0.5hr：エントリーシートとは何かを調べる 事後学修 0.5hr：面接指導を受ける	16 回	**授業テーマ：就業体験⑬** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
2 回	**授業テーマ：履歴書** 授業内容：履歴書の書き方を学ぶ 事前学修 0.5hr：履歴書とは何かを調べる 事後学修 0.5hr：履歴書を実際に書く	17 回	**授業テーマ：就業体験⑭** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
3 回	**授業テーマ：ビジネスマナー** 授業内容：ビジネスマナー等を学ぶ 事前学修 0.5hr：事前研修資料を読み理解する 事後学修 0.5hr：事前研修で学んだことを復習する	18 回	**授業テーマ：就業体験⑮** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
4 回	**授業テーマ：就業体験①** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：業界・企業等研究を行う 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	19 回	**授業テーマ：就業体験⑯** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
5 回	**授業テーマ：就業体験②** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	20 回	**授業テーマ：就業体験⑰** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
6 回	**授業テーマ：就業体験③** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	21 回	**授業テーマ：就業体験⑱** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
7 回	**授業テーマ：就業体験④** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	22 回	**授業テーマ：就業体験⑲** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
8 回	**授業テーマ：就業体験⑤** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	23 回	**授業テーマ：就業体験⑳** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
9 回	**授業テーマ：就業体験⑥** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	24 回	**授業テーマ：就業体験㉑** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
10 回	**授業テーマ：就業体験⑦** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	25 回	**授業テーマ：就業体験㉒** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
11 回	**授業テーマ：就業体験⑧** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	26 回	**授業テーマ：就業体験㉓** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する

12回	**授業テーマ：就業体験⑨** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	27回	**授業テーマ：就業体験㉔** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
13回	**授業テーマ：就業体験⑩** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	28回	**授業テーマ：就業体験㉕** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
14回	**授業テーマ：就業体験⑪** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	29回	**授業テーマ：就業体験㉖** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
15回	**授業テーマ：就業体験⑫** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	30回	**授業テーマ：報告会** 授業内容：これまでの活動成果についてプレゼンテーションする 事前学修 0.5hr：報告会に向けて発表の準備をする 事後学修 0.5hr：これまでの研修のまとめを行う

特別聴講科目 A・B・C・D

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

【①千葉県私立大学(短期大学を含む。)及び放送大学間の単位互換制度】
　専門領域にとらわれない幅広く深い教養を身につけ、豊かな人間性を養うことを目的とし、協定を締結している他の大学等において履修した授業科目について修得した単位を本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定する。
【②学内において実施する語学研修】
　学内において実施する語学研修の成果に対して単位を認定する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
　　②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。
個別目標：①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
　　②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌履修条件

①「派遣学生出願要項(本学)」及び協定大学等における募集要項で確認すること。
　なお、協定大学等については「履修の手引」又は「派遣学生出願要項(本学)」を参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌評価基準・方法

①協定大学等における開放授業科目の単位を修得した場合、所定の手続きを行うことにより本科目に置き換えて単位の認定をする。
　なお、単位認定方法(手続)等については、「履修の手引」又は「派遣学生出願要項(本学)」を参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌参考書

①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

特別聴講科目 A・B・C・D

授業内容

30 時間相当分の講義内容とする。
①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

事前学修

30 時間相当分の事前学修とする。
①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

事後学修

30 時間相当分の事後学修とする。
①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

ビジネススキル A・B・C・D

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

TOEFL iBT、TOEIC Listening & Reading Test、実用英語技能検定などの技能審査や、各種資格取得等の成果を本大学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定する科目である。この単位認定制度は、より実践的な技術・技能を身につけることを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：技能審査及び各種資格取得等の合格要件を満たす。
個別目標：技能審査及び各種資格取得等の合格要件に準ずる。

▌履修条件

単位認定科目のため特になし。

▌評価基準・方法

単位の認定には、申請手続きが必要となる。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

ビジネススキル A・B・C・D

授業内容

30 時間相当分の講義内容とする。
単位認定制度及び単位認定を受けることのできる技能審査・各種資格等の詳細については、履修の手引等を参照すること。

事前学修

30 時間相当分の事前学修とする。

事後学修

30 時間相当分の事後学修とする。

ビジネスコミュニケーション A・B

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：集中 ｜ 備考：ビジネスコミュニケーションプログラム

安部　桂子（あべ　けいこ）

▌授業の概要

企業が採用したい大学生に求める資質として、積極性、責任感、コミュニケーション能力等があげられます。とりわけ、マナーを含む「コミュニケーション能力」は、国内のみならずグローバルなビジネスの世界においても、円滑で信頼のある人間関係を構築するために欠かせない能力のひとつです。集中プログラムでは、主にマナーとコミュニケーションについて学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：実社会で必要となる正しい敬語遣いやビジネスマナーの基本を学習し自分自身の印象や表現力を向上させ、好印象を与える面接対応ができるようになる。

個別目標：相手に好印象を与える挨拶、表情、身だしなみ、敬語遣い、態度所作を身につけることができる。
自分自身が相手に与える印象を客観的に確認することができ、自らの課題を克服することができる。

▌履修条件

学事課（教務担当）で各自履修申請を行う。学事課（教務担当）の指示に従ってください。
また、1 クラス 10 名以内とし、受講者は先着順とします。

▌評価基準・方法

評価は S・A・B・C の評価ではなく N（認定）の判定とし、担当教員が下記の基準で判断します。
無遅刻、無欠席で受講した場合のみ単位を認定します。

▌フィードバック方法

最終講義内でコメントを行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （他の学生の前で、自己紹介や自分自身の考えを発表する）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しません。

▌参考書

必要に応じ教室もしくはオンライン授業内で案内します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

第 1 回：プレゼンテーション演習－(1)（自己紹介）
第 2 回：プレゼンテーション演習－(2)（自己分析）
第 3 回：ビジネスコミュニケーション－ 1（非言語）
第 4 回：ビジネスコミュニケーション－ 2（言語）
第 5 回：ビジネスコミュニケーション－ 3（ホスピタリティ）
第 6 回：ビジネスコミュニケーション－ 4（実技）
第 7 回：プレゼンテーション演習－(3)（総合演習）
第 8 回：プレゼンテーション演習－(4)（総合演習）

授業内容

第 1 回：一人一人が自分自身の目標や強み等を発表することによって、コミュニケーションの第一歩としての第一印象の重要性について学ぶ。
第 2 回：一人一人が自分自身の目標や強み等を発表することによって、自分自身の第一印象を確認し、課題を認識する。
第 3 回：非言語（表情、身だしなみ、立ち居振る舞い等）の重要性について理解し、演習によって実際に身につける。
第 4 回：正しく美しい敬語表現を学ぶ。
第 5 回：ホスピタリティの基礎を解説し、実生活や企業活動で実践されている事例を取り上げ、更に自分自身がどのように行動化するか考え発表する。
第 6 回：好印象を与える話し方や聴き方を学ぶ。
第 7 回：模擬面接を実施し（ビデオ録画）、自分自身の視覚情報・聴覚情報・言語情報の印象を確認し、今後の各種面接に役立てるよう課題を認識する。
第 8 回：模擬面接を実施し（ビデオ録画）、自分自身の視覚情報・聴覚情報・言語情報の印象を確認し、今後の各種面接に役立てるよう課題を認識する。

事前学修

第 1 回・第 2 回事前学修　2.0hr：自分自身の強みと弱みを整理し口頭表現できるよう準備しておく。
第 3 回・第 4 回事前学修　2.0hr：第一印象を決定づける視覚情報について考えておく。正しい敬語遣いについて予習しておく。
第 5 回・第 6 回事前学修　2.0hr：ホスピタリティを感じた体験を整理しておく。
第 7 回・第 8 回事前学修　2.0hr：時事関連の情報を収集し、自分自身の意見を自らの言葉で表現できるように準備しておく。

事後学修

第 1 回・第 2 回事後学修　2.0hr：好印象を与えるプレゼンテーションの要素について復習する。
第 3 回・第 4 回事後学修　2.0hr：視覚情報としての自分の課題を振り返り整理する。正しい敬語遣いについて振り返り日常的に声に出してみる。
第 5 回・第 6 回事後学修　2.0hr：日常生活の中で、相手に対する共感性を実際に行動化してみる。
第 7 回・第 8 回事後学修　2.0hr：自分自身のプレゼンテーション能力について反省点を整理し、実際の就職活動開始までに再度シミュレーションする。

資本市場の役割と証券投資

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）

廣部　恒忠 (ひろべ　つねただ)

▌授業の概要

野村證券株式会社派遣講師が本授業を通じ、資本市場と証券投資に関する知識を与えている。
少子高齢化や人口減少などの人口動態の変化、「金利のある世界」への移行、成年年齢の引き下げなど我々の日常生活を取り巻く環境が著しく変化している中、自己責任の原則の下、一般生活者・消費者或いは貯蓄・投資者として賢くふるまうためには、ファイナンスに関する実践的な知識が必要不可欠となってきている。このような社会情勢等を鑑み、明海大学と野村證券株式会社が、活力ある社会と経済を形成していくための人材を育成する社会的使命を共有しつつ、広く人類・社会のより豊かな発展に寄与するため、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」を開設し、資本市場と証券投資に関して実践的に学んでいくものである。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：・経済ニュースがわかるようになる。
・自分で投資できる力が身につく。
・社会人基礎力が身につく。
個別目標：・リスクとリターンの関係がわかる。　・証券投資におけるリスクを理解できる。
・債券と株式における違いを理解できる。　・投資信託の種類がわかる。
・成長産業について理解できる。

▌履修条件

金融業界に興味のある者。1 クラス 50 名以内とし、これを超える場合は成績等を勘案し選抜する。事前の産学連携教育プログラムガイダンスに出席し、履修すること。

▌評価基準・方法

授業への取り組み（40 %）及び参加態度（60 %）に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

授業中に適宜、或いは manaba を通じて実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし

▌参考書

「新・入門証券論」榊原茂樹、城下賢吾、岡村秀夫、山口聖、月岡靖智、北島孝博 著／有斐閣コンパクト

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：ガイダンス 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおくこと 事後学修 2.0hr：第 1 回目授業の復習
2 回	**授業テーマ：経済情報の捉え方** 授業内容：様々な経済情報を通じて、どのように「経済」というものが成り立っているのかを理解していく。企業、家計、国、海外と各項目に分けることによってその関連性を確認し、経済情報の捉え方を学習する。 事前学修 2.0hr：経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 2 回目授業の復習
3 回	**授業テーマ：金融資本市場の役割とその変化** 授業内容：金融市場への理解を深める意味で、金融の仕組み、我が国の資金循環の状況、経済と関連した最近の構造的変化などを解説し、今後の展望を交えながら金融市場の役割を学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 3 回目授業の復習
4 回	**授業テーマ：債券市場の役割と投資の考え方 (基礎編)** 授業内容：債券の基本、債券と株式の違い、債券と預金の違い、債券の種類について学習する。また、債券投資のリスク、利率と利回りの違い、利回り計算の具体例を示し、計算問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 4 回目授業の復習
5 回	**授業テーマ：債券市場の役割と投資の考え方 (応用編)** 授業内容：債券価格（＝金利）の変動と景気・政策・需給などとの関連について理解を深める。また、債券投資に伴う投資リスクについても学習し、グローバルな債券投資についても学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 5 回目授業の復習
6 回	**授業テーマ：外国為替相場とその変動要因** 授業内容：外国為替に関する基本的な用語、メカニズムを学び、経済の動きとの関連に関し学習することにより、日本経済と世界経済との連動に対する理解を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 6 回目授業の復習
7 回	**授業テーマ：株式市場の役割と投資の考え方 (基礎編)** 授業内容：株式の誕生からその意義、原則などの基礎知識と、株式投資の魅力や株式市場について学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 7 回目授業の復習
8 回	**授業テーマ：株式市場の役割と投資の考え方 (応用編)** 授業内容：株価の分析、評価方法を踏まえた銘柄選択の考え方などについて理解を深める。また、投資情報として投資に関するレポートなどを紹介する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 8 回目授業の復習

9回	**授業テーマ：投資信託の役割とその仕組み** 授業内容：「投資信託」という言葉の意味から、特徴、仕組みなどについて学習する。また、投資信託の選び方や最近注目されている投資信託についても、具体的に学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 9 回目授業の復習
10回	**授業テーマ：リスク・リターンとポートフォリオ分析** 授業内容：「投資とは」、「リスクとは」、「リターンとは」という基礎知識について学習した後、リスクコントロールの基本的な考え方とその具体的な手法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 10 回目授業の復習
11回	**授業テーマ：産業展望と投資の考え方** 授業内容：日本の成長産業についてや、コロナ後を見据えた世界と日本の成長戦略について学ぶ。 また現在の政権の政策と成長テーマについて、現在の新聞やニュースなど時事問題を理解できるように学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 11 回目授業の復習
12回	**授業テーマ：行動ファイナンス～投資家心理について～** 授業内容：証券投資を行なう際の心構えとして、私たちの投資判断に影響を与える様々な心理的バイアスについて理解するとともに、その具体例を通して対処法と投資行動への応用法や「行動ファイナンス」の基本を学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 12 回目授業の復習
13回	**授業テーマ：ライフプランニングと資産形成** 授業内容：なぜライフプランが必要なのか、充実した将来のために必要な「ライフプラン」についての考え方を学習する。将来に予想される環境の理解と、私たちの暮らしに影響を与える年金制度改革の概要についても学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 13 回目授業の復習
14回	**授業テーマ：資産形成制度について** 授業内容：社会人になるにあたり知っておくべき資産形成制度について、主な制度内容を学習する。また少額投資非課税制度（NISA）、確定拠出年金の詳細に触れていく。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 14 回目授業の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 1～15 回目授業の復習

ビジネス実務における AI データサイエンス Ⅰ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：Trip7 AI データサイエンスプログラム（寄附講座）

内苑　孝美（うちぞの　たかみ）

▌授業の概要

本講義の目標は、職場で活用される AI 技術を体験し、AI の基礎と最新技術について学び、テキスト生成 AI を活用した効率的なコンテンツ作成および AI プログラムの構築方法の基本を修得することである。また、Excel を用いたデータ操作を実践し、生成 AI を活用してホームページを作成することによって、AI 技術を実務とビジネスに応用できるスキルを身につける。講義の最終課題として、修得した AI データサイエンスの知識を活かして、各自でマイホームページの作成に取り組んでもらう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：AI の基本概念と最新技術を理解し、テキスト生成および AI プログラム作成、データ操作、生成 AI を活用したマイホームページ作成を通じて、AI データサイエンス技術をビジネス実務に応用できる実践的なスキルを身につける。

個別目標：① AI データサイエンスの基本概念と最新技術の概要を説明できる。
② 様々なビジネス分野における具体的な AI データサイエンスの活用事例について理解できる。
③ 基本的な AI プログラムを構築し、その仕組みを理解できる。
④ Excel を用いてデータの操作と分析を効果的に伝えることができる。
⑤ 生成 AI を用いてマイホームページの作成ができる。

▌履修条件

AI データサイエンスに興味があり、AI を活用した実践的なデータ分析スキルを身につけたい方。

▌評価基準・方法

小テスト 30 %、成果物発表 70 %程度の割合で評価する。
また、全授業数の 4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価およびフィードバックは授業内で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なる。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業内で PC を利用したデータ収集と分析等を行いますので毎回 PC を持参してください。）

▌教科書

教科書：特になし。
その他：レジュメを配布する。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：AI の概要(1)** 授業内容：AI とは。データ科学との関係。 事前学修 1.0hr：シラバスを読む。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：AI の概要(2)** 授業内容：AI の実用例と社会的影響、将来の動向。 事前学修 1.0hr：AI の現状を調べておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、自ら AI の実用例を調べる。
3 回	**授業テーマ：テキスト生成 AI の活用(1)** 授業内容：生成 AI の主要な技術や学習方法を理解し、モデルの仕組みを把握する。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：テキスト生成 AI の活用(2)** 授業内容：生成 AI の活用事例。使用時のポイントと基本的な生成手法。 事前学修 1.0hr：生成 AI の活用事例を調べておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：テキスト生成 AI の活用(3)** 授業内容：生成 AI で文章生成とやコンテンツ制作の方法。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
6 回	**授業テーマ：AI プログラムの作り方(1)** 授業内容：Python の基本構文、データ型、環境設定、プログラム作成の基礎。 事前学修 1.0hr：担当教員の指示に従って資料を確認する。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
7 回	**授業テーマ：AI プログラムの作り方(2)** 授業内容：制御構造、関数、リスト内包表記。効率的にコードを書く方法。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
8 回	**授業テーマ：AI プログラムの作り方(3)** 授業内容：クラスの定義と継承。オブジェクト指向プログラミングの基礎。Python を使用してコンソール商品管理システムを開発する。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
9 回	**授業テーマ：Excel による実践的データ操作(1)** 授業内容：セルの使い方、数式の設定、基本的なデータ入力・編集、データ管理の基礎。 事前学修 1.0hr：担当教員の指示に従って資料を確認する。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。

10回	**授業テーマ：Excel による実践的データ操作(2)** 授業内容：データの並べ替え、フィルタリング、重複データの削除。Trip7 社のビジネスデータクリーニングをする。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
11回	**授業テーマ：Excel による実践的データ操作(3)** 授業内容：VLOOKUP、HLOOKUP、INDEX、MATCH 関数の使用。条件付き書式を含めた複雑なデータの操作。経営上の意思決定、実稼働データを仮説検証。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
12回	**授業テーマ：Excel による実践的データ操作(4)** 授業内容：ピボットテーブルやグラフ、ダッシュボードの作成。データ分析結果を効果的に伝える方法。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
13回	**授業テーマ：生成 AI でホームページの作成(1)** 授業内容：生成 AI を使ってビジネスイベントのウェブサイトをつくる。マルチ言語でスローガンや宣伝文を作成する。 事前学修 1.0hr：担当教員の指示に従って資料を確認する。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
14回	**授業テーマ：生成 AI でホームページの作成(2)** 授業内容：ウェブサイトにインタラクティブな機能を加え、顧客意向情報を収集し分類する機能を実現。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
15回	**授業テーマ：生成 AI でホームページの作成(3)** 授業内容：最終的な成果物を発表し、フィードバックを行う。 事前学修 1.0hr：表を練習する。これまでの学修内容を復習する。 事後学修 3.0hr：学修内容を復習する。

ビジネス実務における AI データサイエンスⅡ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：Trip7 AI データサイエンスプログラム（寄附講座）

内苑　孝美（うちぞの　たかみ）

▌授業の概要

本講義の目標は、AI（人工知能）とデータ分析の基礎から応用に至るまでの内容を学び、ビジネスシーンにおいて即戦力として活用できるスキルを修得することである。具体的には、画像生成 AI、Power BI を活用したデータ分析技術、Python プログラミングの基礎、そして生成 AI を活用した企業ホームページ作成技術に焦点を当てて、理論と実践のスキルを身につける。講義の最終課題として、修得した AI データサイエンスの知識を活かして、指定条件で企業ホームページの作成に取り組んでもらう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：AI の基本知識とその歴史的背景を理解し、画像生成 AI と Python を活用でき、Power BI を用いてデータ分析と可視化を実現し、生成 AI を活かして企業ホームページとデザインを効率的に作成できる。

個別目標：① AI の歴史と背景を説明できる。
② AI を用いて画像生成ができる。
③ Python プログラミング基礎を理解できる。
④ Power BI を用いてレポート作成ができる。
⑤ 生成 AI で企業ホームページとデザイン生成ができる。

▌履修条件

AI データサイエンスに興味があり、AI を活用した実践的なデータ分析スキルを身につけたい方。

▌評価基準・方法

小テスト 30 %、成果物発表 70 %程度の割合で評価する。
また、全授業数の 4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価およびフィードバックは授業内で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なる。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業内で PC を利用したデータ収集と分析等を行いますので毎回 PC を持参してください。）

▌教科書

教科書：特になし。
その他：レジュメを配布する。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：AI の歴史（1）** 授業内容：AI の定義、起源、初期の研究事例。AI 発展の歴史的背景とその影響。 事前学修 1.0hr：シラバスを読む。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：AI の歴史（2）** 授業内容：機械学習とディープラーニングの基礎。データサイエンスとの関連性、現代 AI の応用分野、将来の可能性。 事前学修 1.0hr：AI の応用分野を調べておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
3 回	**授業テーマ：画像生成 AI の活用（1）** 授業内容：画像生成 AI の基本概念、技術的基盤、代表的なモデルとその仕組み。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：画像生成 AI の活用（2）** 授業内容：画像生成 AI の環境構築、テキストから画像を生成する方法、カスタマイズの基本。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：画像生成 AI の活用（3）** 授業内容：画像生成 AI の応用分野を探求し、倫理的問題と法律的観点を理解しながら実践的な画像生成を行う。 事前学修 1.0hr：AI 技術の懸念と倫理的な問題を事前に調べておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
6 回	**授業テーマ：Python 基礎（1）** 授業内容：基本的なプログラミング概念、Python 開発環境の構築、最初のプログラムを作成する。 事前学修 1.0hr：担当教員の指示に従って資料を確認する。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
7 回	**授業テーマ：Python 基礎（2）** 授業内容：プログラムの構造、効率的で読みやすいコードの書き方。実践演習。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
8 回	**授業テーマ：Python 基礎（3）** 授業内容：オブジェクト指向プログラミングの基礎。実践演習。Python Flask を使用して製品管理 Web サイトを開発する。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
9 回	**授業テーマ：Power BI による実践的データ操作（1）** 授業内容：ビジネスインテリジェンス（BI）の基本概念、Power BI の概要、インストール方法、基本的な操作方法。 事前学修 1.0hr：担当教員の指示に従って資料を確認する。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。

10回	**授業テーマ：Power BI による実践的データ操作（2）** 授業内容：Power Query を活用したデータのクリーニング手法、簡単なデータモデリングの作成方法。株式会社 Trip7 の実際の売上金額時系列を分析する。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
11回	**授業テーマ：Power BI による実践的データ操作（3）** 授業内容：Power BI の可視化コンポーネント、ビジネスレポートの保管場所（ワークスペース）を作成する、会社レポートの管理と運用。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
12回	**授業テーマ：Power BI による実践的データ操作（4）** 授業内容：実際のケースを基に、Power BI を使ったデータ分析とレポート作成を実践する。株式会社 Trip7 の実際営業契約を分析、レポートを発行する。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
13回	**授業テーマ：生成 AI で企業ホームページの作成（1）** 授業内容：企業ホームページの重要性と構成要素。生成 AI を使って Trip7 社のホームページの HTML コードを生成する。 事前学修 1.0hr：担当教員の指示に従って資料を確認する。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
14回	**授業テーマ：生成 AI で企業ホームページの作成（2）** 授業内容：ホームページの基本的なレイアウト設計、生成 AI を活用して Trip7 社のホームページのメディアデータを生成する。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
15回	**授業テーマ：生成 AI で企業ホームページの作成（3）** 授業内容：最終的な成果物を発表し、フィードバックを行う。 事前学修 1.0hr：発表を練習する。これまでの学修内容を復習する。 事後学修 3.0hr：学修内容を復習する。

アカデミック日本語 I

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

中部　直之（なかべ　なおゆき）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語 I の内容は「文法」である。専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解するために重要な文法・表現を学習する。授業外には事前学修、事後学修、課題に取り組み、授業内では毎回小テストがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：大学の授業で使う文法的表現の意味・機能・文法などの規則を、正しく理解して、適切な場面で正しく使うことができる。
自分の文法能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習能力を育てる。

個別目標：(1) 一文レベル、談話レベルで文法的表現を正しく理解できる。
(2) それぞれの文法的表現がどのような場面で使われているかを理解し、一文レベル、および談話レベルで正しく使うことができる。
(3) オンラインリソースを活用し、それぞれの文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
(4) 自分の文法能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生クラスである。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、スキルアップ講座 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する（スマートフォン対応可）。）

▌教科書

福島佐知、友松悦子、中村かおり『新完全マスター文法 N1』スリーエーネットワーク

▌参考書

『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、時間関係** 授業内容：授業の概要、目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、理解する。その後、事前テストを受ける。時間関係を表す文法表現「～が早いか」「～や否や」「～なり」「そばから」「てからというもの (は)」「～にあって」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 1 を練習する。	16回	**授業テーマ：結末・最終の状態、前学期の復習** 授業内容：結末・最終の状態を表す表現「～に至って」「～に至っては」「～始末だ」「～っぱなしだ」を練習する。第１回から第１５回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 16 を練習する。
2回	**授業テーマ：範囲の始まり・限度** 授業内容：範囲の始まり・限度を表す文法表現「～を皮切りに(して)」「～に至るまで」「～を限りに」「～をもって」「～といったところだ」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 2 を練習する。	17回	**授業テーマ：強調** 授業内容：強調を表す表現「～たりとも～ない」「～すら」「～だに」「～にして」「～あっての」「～からある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 17 を練習する。
3回	**授業テーマ：限定・非限定・付加** 授業内容：限定・非限定・付加を表す文法表現「～をおいて」「～ならでは」「～にとどまらず」「～はおろか」「～もさることながら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 3 を練習する。	18回	**授業テーマ：主張・断定** 授業内容：主張・断定を表す表現「～までもない」「～までだ」「～ばそれまでだ」「～には当たらない」「～でなくてなんだろう(か)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 18 を練習する。
4回	**授業テーマ：例示** 授業内容：例示を表す文法表現「～なり～なり」「～であれ～であれ」「～といい～といい」「～といわず～といわず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 4 を練習する。	19回	**授業テーマ：評価・感想** 授業内容：評価・感想を表す表現「～に足る」「～に堪える」「～といったらない」「～かぎりだ」「～極まる／極まりない」「～とは」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 19 を練習する。
5回	**授業テーマ：関連・無関係** 授業内容：関連・無関係を表す文法表現「～いかんだ」「～いかんにかかわらず」「～をものともせず(に)」「～をよそに」「～ならいざしらず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 5 を練習する。	20回	**授業テーマ：心情・強制的思い** 授業内容：心情・強制的思いを表す表現「～てやまない」「～に堪えない」「～ないではすまない」「～ないではおかない」「～禁じ得ない」「～余儀なくされる」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 20 を練習する。
6回	**授業テーマ：様子** 授業内容：様子を表す文法表現「～ばかりだ」「～ばかり(に)」「～ともなく」「～ながらに(して)」「～きらいがある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 6 を練習する。	21回	**授業テーマ：文の組み立て** 授業内容：文の組み立てルール「後に否定の言い方が来るもの」「疑問詞につくもの」「数字につくもの」、名詞を説明「後に名詞が来るもの」「名詞を説明する形式」「名詞につくもの」「名詞・動詞辞書形につながるもの」「動詞辞書形につながるもの」を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 21 を練習する。
7回	**授業テーマ：付随行動** 授業内容：付随行動を表す文法表現「～がてら」「～かたがた」「～かたわら」を練習する。第１回から第４回の復習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 7 を練習する。	22回	**授業テーマ：時制** 授業内容：時制を表す用法「現在の文の特別な用法」「過去形の文の特別な用法」「動詞のている形の特別な用法」「名詞を説明する文の時制」を整理し、文章の中で使えるよう練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 22 を練習する。

8回	**授業テーマ：逆接** 授業内容：逆接を表す文法表現「～ところを」「～ものを」「～とはいえ」「～といえども」「～と思いきや」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 8 を練習する。	23回	**授業テーマ：条件を表す文** 授業内容：仮定か確定かの判断、反実仮想、前置き表現など条件を表す文法形式を整理し、文章の中で使えるよう練習する。第１回から第２０回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 23 を練習する。
9回	**授業テーマ：条件** 授業内容：条件を表す文法表現「～とあれば」「～たら最後」「～ようでは」「～なしに(は)」「～くらいなら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 9 を練習する。	24回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 1,2** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「動詞の使い方」「自他動詞の使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 24 を練習する。
10回	**授業テーマ：逆接条件** 授業内容：逆接表現「～(よ)うと(も)」「～(よ)うと～まいと」「～であれ」「～たところで」「～ば～で」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 10 を練習する。	25回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 3,4** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「受け身・使役・使役受け身の使い分け」「～てあげる・～てもらう・～てくれるの使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 25 を練習する。
11回	**授業テーマ：目的・手段** 授業内容：目的・手段を表す文法表現「～べく」「～んがため(に)」「～をもって」を練習する。第１回～第８回の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 11 を練習する。	26回	**授業テーマ：模擬試験とフィードバック** 授業内容：これまで学習した文法をどの程度理解しているか測定するテストを実施する。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 26 を練習する。
12回	**授業テーマ：原因・理由** 授業内容：原因・理由を表す表現「～ばこそ」「～とあって」「～ではあるまいし」「～手前」「～ゆえ(に)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 12 を練習する。	27回	**授業テーマ：指示表現「こ・そ・あ」の使い分け、「は・が」の使い分け** 授業内容：文章中に出てくる指示表現の使い分けと「は・が」の使い分けを整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 27 を練習する。
13回	**授業テーマ：可能・不可能・禁止** 授業内容：可能・不可能・禁止を表す表現「～にかたくない」「～に～ない」「～てはいられない」「～べくもない」「～べからず」「～まじき」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 13 を練習する。	28回	**授業テーマ：接続表現** 授業内容：文章の展開を助け、文章のまとまりをもたせる役割をもつ接続表現を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 28 を練習する。
14回	**授業テーマ：話題・評価の基準** 授業内容：話題・評価の基準を表す表現「～ときたら」「～ともなると」「～ともあろう」「～たるもの」「～なりに」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 14 を練習する。	29回	**授業テーマ：省略・繰り返し・言い換え、文体の一貫性、話の流れを考える** 授業内容：文章中の省略、繰り返し、言い換えを理解する。文体の一貫性を保つための表現「硬い表現」「会話で使う表現」を整理し、練習する。話しの進め方にかかわる表現を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 29 を練習する。
15回	**授業テーマ：比較対照、中間テストとフィードバック** 授業内容：比較対照を表す表現「～にひきかえ」「～にもまして」「～ないまでも」を練習する。第１回～第１４回の内容をテストで復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 15 を練習する。	30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：第１回から第２９回までに学習した内容を最終テストする。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 30 を練習する。

アカデミック日本語Ⅰ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

山口　真葵（やまぐち　まき）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。「アカデミックⅠ」は日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：背景の異なるさまざまな人と一緒に働くことを想定し、社内外の人と担当領域から一般的なものまで幅広い話題について、流暢に、正確に、そして効果的に言葉を用いて、言いたいことを概ね表現できる。その場にふさわしい丁寧さで自然なコミュニケーションをとることができる。

個別目標：(1) 日本語話者を相手に一般的な事柄についてストレスを感じさせることなく流暢に会話することができる。
(2) 日本のビジネスマナー、コミュニケーションスタイルに関する基本的な知識があり、状況に応じた表現を使い分けることができる。
(3) 相手の発言に言葉の内容とは異なる意図が含まれている場合、その意図を概ね理解して的確に対応することができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで、N1 取得者を対象とする。
日本語のコミュニケーション能力を測る資格試験を受験する。
授業への主体的な参加を求める。
課題提出の期限を守る。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、テスト 30%、課題提出 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba および対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回ペアおよびグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可)。）

▌教科書

村野節子・山辺真理子・向山陽子『上級レベル　ロールプレイで学ぶビジネス日本語』スリーエーネットワーク
牧野成一 (監)『PJC 実践日本語コミュニケーション検定ガイドブック』ウィネット出版

▌参考書

JAL アカデミー株式会社『改訂新版 ビジネス日本語用例辞典』アスク
公益財団法人日本電信電話ユーザー協会編『もしもし検定電話対応技能検定３・４級公式問題集』日本経済新聞出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、自己紹介を行う(社内)** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価方法について理解する。そのあと、社内で自己紹介を行う場面の会話を聞いて語彙と表現を学習し、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。 事前学修 2.0hr：ビジネスにおける日本語コミュニケーションにおいて必要な知識をまとめる。 事後学修 2.0hr：自身の日本語ビジネス日本語コミュニケーション能力について客観的に分析し、目標を立てる。	16回	**授業テーマ：私の言い分「私は能力のある人間です」異文化ロールプレイ「自慢話と自己アピール」、前学期の復習** 授業内容：私の言い分「私は能力のある人間です」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「自慢話と自己アピール」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。前学期の復習をする。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。前学期の復習をしておく。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
2回	**授業テーマ：自己紹介を行う(社外)** 授業内容：社外で自己紹介を行う場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開、表現を学習する。PJC の概要を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。PJC について調べる。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	17回	**授業テーマ：私の言い分「お茶くみは誰の仕事？」異文化ロールプレイ「仕事の範囲」、会議・打ち合わせ、面接** 授業内容：私の言い分「お茶くみは誰の仕事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「仕事の範囲」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。「会議・打ち合わせ、面接」について学習する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
3回	**授業テーマ：電話を受ける、社会人としての心構え** 授業内容：電話を受ける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。社会人としての心構えを学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	18回	**授業テーマ：私の言い分「家庭と仕事、どっちが大事？」異文化ロールプレイ「休暇の申請」** 授業内容：私の言い分「家庭と仕事、どっちが大事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「休暇の申請」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
4回	**授業テーマ：アポイントを取る、人間関係の作り方①コミュニケーションを取る際の留意点、敬語** 授業内容：アポイントを取る場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。コミュニケーションを取る際の留意点、敬語を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	19回	**授業テーマ：私の言い分「会議で使う資料はいつまでに作ればいい？」異文化ロールプレイ「指示の仕方」** 授業内容：私の言い分「会議で使う資料はいつまでに作ればいい？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「指示の仕方」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
5回	**授業テーマ：会議に参加する、人間関係の作り方②効果的な伝え方、話の組み立て方、ビジネスにおける指示の受け方、確認の仕方** 授業内容：会議に参加する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。効果的な伝え方、話の組み立て方、ビジネスにおける指示の受け方、確認の仕方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	20回	**授業テーマ：私の言い分「沈黙は金？」異文化ロールプレイ「ミーティングでの発言」** 授業内容：私の言い分「沈黙は金？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「ミーティングでの発言」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。

6回	**授業テーマ：クレームを受ける、人間関係の作り方③あいづちの打ち方、依頼の断り方、日本文化特有のコミュニケーション** 授業内容：クレームを受ける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。あいづちの打ち方、依頼の断り方、日本文化特有のコミュニケーションを学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	21回	**授業テーマ：私の言い分「どうして謝らなきゃいけないの？」異文化ロールプレイ「謝罪」** 授業内容：私の言い分「どうして謝らなきゃいけないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「謝罪」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
7回	**授業テーマ：クレームを報告する、効率的な仕事の進め方①報告連絡相談、PDCA、仕事の優先順位** 授業内容：クレームを報告する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。報告連絡相談、PDCA、仕事の優先順位を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	22回	**授業テーマ：私の言い分「もう解決したんじゃないの？」異文化ロールプレイ「報告ー解決済みの小さなトラブル」** 授業内容：私の言い分「もう解決したんじゃないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「報告ー解決済みの小さなトラブル」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
8回	**授業テーマ：クレームを処理する、効率的な仕事の進め方②来客対応** 授業内容：クレームを処理する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。来客対応を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	23回	**授業テーマ：私の言い分「報連相は大事？」異文化ロールプレイ「報告・連絡・相談」** 授業内容：私の言い分「報連相は大事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「報告・連絡・相談」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
9回	**授業テーマ：会議で提案する、効率的な仕事の進め方③電話応対** 授業内容：会議で提案する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。電話応対を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	24回	**授業テーマ：私の言い分「情報の共有って？」異文化ロールプレイ「メールでの情報の共有」** 授業内容：私の言い分「情報の共有って？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「メールでの情報の共有」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
10回	**授業テーマ：新規顧客を開拓する、効率的な仕事の進め方④アポイントメント** 授業内容：新規顧客を開拓する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。アポイントメントについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	25回	**授業テーマ：私の言い分「人前で怒るなんて！」異文化ロールプレイ「メンツー人前での叱責」** 授業内容：私の言い分「人前で怒るなんて！」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「メンツー人前での叱責」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
11回	**授業テーマ：新規顧客とアポイントをとる、効率的な仕事の進め方④名刺交換、E メール** 授業内容：新規顧客とアポイントをとる場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。名刺交換、E メールの活用方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	26回	**授業テーマ：私の言い分「目標は高いほうがいいに決まっているじゃない？」異文化ロールプレイ「目標設定と評価」** 授業内容：私の言い分「目標は高いほうがいいに決まっているじゃない？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「目標設定と評価」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
12回	**授業テーマ：商品を売り込む、模擬問題①基礎知識編とフィードバック** 授業内容：商品を売り込む場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。基礎知識の習得を模擬問題で確認する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	27回	**授業テーマ：私の言い分「能力だけじゃいけないの？」異文化ロールプレイ「同僚の昇進と不満」** 授業内容：私の言い分「能力だけじゃいけないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「同僚の昇進と不満」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
13回	**授業テーマ：催促の電話をかける、他社訪問、接遇・接客、クレーム対応** 授業内容：催促の電話をかける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。他社訪問、接遇・接客、クレーム対応を学習する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	28回	**授業テーマ：私の言い分「縁故採用のどこが問題？」異文化ロールプレイ「コネ縁故採用」** 授業内容：私の言い分「縁故採用のどこが問題？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「コネ縁故採用」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
14回	**授業テーマ：交渉を進める、模擬問題②事例編とフィードバック** 授業内容：交渉を進める場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。模擬問題②事例編を行い、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	29回	**授業テーマ：私の言い分「残業は当たり前？」異文化ロールプレイ「残業」** 授業内容：私の言い分「残業は当たり前？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「残業」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
15回	**授業テーマ：受注に成功する、中間テストとフィードバック** 授業内容：受注に成功する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。中間テストとフィードバックを受け、学習内容を整理する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	30回	**授業テーマ：私の言い分「最高の接待はお腹がすくもの？」、最終テストとフィードバック** 授業内容：私の言い分「最高の接待はお腹がすくもの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：自身の日本語ビジネス日本語コミュニケーション能力について客観的に分析し、１年間の成長をまとめる。

アカデミック日本語Ⅰ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）・**範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅰの内容は文法である。専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解するために重要な文法・表現を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：大学の授業で使う文法的表現の意味・機能・文法などの規則を、正しく理解して、適切な場面で正しく使うことができる。
文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
自分の文法能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習能力を育てる。

個別目標：(1) 一文レベル、談話レベルで文法的表現を正しく理解できる。
(2) それぞれの文法的表現がどのような場面で使われているかを理解し、一文レベル、および談話レベルで正しく使うことができる。
(3) オンラインリソースを活用し、それぞれの文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
(4) 自分の文法能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みである。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、スキルアップ講座 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可)。）

▌教科書

福島佐知・友松悦子・中村かおり『新完全マスター文法 N1』スリーエーネットワーク

▌参考書

友松悦子・和栗 雅子・宮本 淳『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、時間関係** 授業内容：授業の概要、目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、理解する。その後、事前テストを受ける。時間関係を表す文法表現「～が早いか」「～や否や」「～なり」「そばから」「てからというもの(は)」「～にあって」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 1 を練習する。	16回	**授業テーマ：結末・最終の状態** 授業内容：結末・最終の状態を表す表現「～に至って」「～に至っては」「～始末だ」「～っぱなしだ」を練習する。第１回から第１５回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 16 を練習する。
2回	**授業テーマ：範囲の始まり・限度** 授業内容：範囲の始まり・限度を表す文法表現「～を皮切りに(して)」「～に至るまで」「～を限りに」「～をもって」「～といったところだ」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 2 を練習する。	17回	**授業テーマ：強調** 授業内容：強調を表す表現「～たりとも～ない」「～すら」「～だに」「～にして」「～あっての」「～からある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 17 を練習する。
3回	**授業テーマ：限定・非限定・付加** 授業内容：限定・非限定・付加を表す文法表現「～をおいて」「～ならでは」「～にとどまらず」「～はおろか」「～もさることながら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 3 を練習する。	18回	**授業テーマ：主張・断定** 授業内容：主張・断定を表す表現「～までもない」「～までだ」「～ばそれまでだ」「～には当たらない」「～でなくてなんだろう(か)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 18 を練習する。
4回	**授業テーマ：例示** 授業内容：例示を表す文法表現「～なり～なり」「～であれ～であれ」「～といい～といい」「～といわず～といわず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 4 を練習する。	19回	**授業テーマ：評価・感想** 授業内容：評価・感想を表す表現「～に足る」「～に堪える」「～といったらない」「～かぎりだ」「～極まる／極まりない」「～とは」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 19 を練習する。
5回	**授業テーマ：関連・無関係** 授業内容：関連・無関係を表す文法表現「～いかんだ」「～いかんにかかわらず」「～をものともせず(に)」「～をよそに」「～ならいざしらず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 5 を練習する。	20回	**授業テーマ：心情・強制的思い** 授業内容：心情・強制的思いを表す表現「～てやまない」「～に堪えない」「～ないではすまない」「～ないではおかない」「～禁じ得ない」「～余儀なくされる」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 20 を練習する。
6回	**授業テーマ：様子** 授業内容：様子を表す文法表現「～ばかりだ」「～ばかり(に)」「～ともなく」「～ながらに(して)」「～きらいがある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 6 を練習する。	21回	**授業テーマ：文の組み立て** 授業内容：文の組み立てルール「後に否定の言い方が来るもの」「疑問詞につくもの」「数字につくもの」、名詞を説明「後に名詞が来るもの」「名詞を説明する形式」「名詞につくもの」「名詞・動詞辞書形につながるもの」「動詞辞書形につながるもの」を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 21 を練習する。

7回	**授業テーマ：付随行動** 授業内容：付随行動を表す文法表現「～がてら」「～かたがた」「～かたわら」を練習する。第１回から第４回の復習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 7 を練習する。
8回	**授業テーマ：逆接** 授業内容：逆接を表す文法表現「～ところを」「～ものを」「～とはいえ」「～といえども」「～と思いきや」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 8 を練習する。
9回	**授業テーマ：条件** 授業内容：条件を表す文法表現「～とあれば」「～たら最後」「～ようでは」「～なしに(は)」「～くらいなら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 9 を練習する。
10回	**授業テーマ：逆接条件** 授業内容：逆接表現「～(よ)うと(も)」「～(よ)うと～まいと」「～であれ」「～たところで」「～ば～で」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 10 を練習する。
11回	**授業テーマ：目的・手段** 授業内容：目的・手段を表す文法表現「～べく」「～んがため(に)」「～をもって」を練習する。第１回～第８回の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 11 を練習する。
12回	**授業テーマ：原因・理由** 授業内容：原因・理由を表す表現「～ばこそ」「～とあって」「～ではあるまいし」「～手前」「～ゆえ(に)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 12 を練習する。
13回	**授業テーマ：可能・不可能・禁止** 授業内容：可能・不可能・禁止を表す表現「～にかたくない」「～に～ない」「～て(は)いられない」「べくもない」「～べからず」「～まじき」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 13 を練習する。
14回	**授業テーマ：話題・評価の基準** 授業内容：話題・評価の基準を表す表現「～ときたら」「～ともなると」「～ともあろう」「～たるもの(は)」「～なりに」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 14 を練習する。
15回	**授業テーマ：比較対照、総合練習、中間テストとフィードバック** 授業内容：比較対照を表す表現「～にひきかえ」「～にもまして」「～ないまでも」を練習する。第１回～第１４回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 15 を練習する。
22回	**授業テーマ：時制** 授業内容：時制を表す用法「現在の文の特別な用法」「過去形の文の特別な用法」「動詞のている形の特別な用法」「名詞を説明する文の時制」を整理し、文章の中で使えるよう練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 22 を練習する。
23回	**授業テーマ：条件を表す文** 授業内容：仮定か確定かの判断、反実仮想、前置き表現など条件を表す文法形式を整理し、文章の中で使えるよう練習する。第１回から第２０回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 23 を練習する。
24回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 1,2** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「動詞の使い方」「自他動詞の使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 24 を練習する。
25回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 3,4** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「受け身・使役・使役受け身の使い分け」「～てあげる・～てもらう・～てくれるの使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 25 を練習する。
26回	**授業テーマ：模擬試験とフィードバック** 授業内容：これまで学習した文法をどの程度理解しているか測定するテストを実施する。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 26 を練習する。
27回	**授業テーマ：指示表現「こ・そ・あ」の使い分け、「は・が」の使い分け** 授業内容：文章中に出てくる指示表現「こ・そ・あ」の使い分けと「は・が」の使い分けを整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 27 を練習する。
28回	**授業テーマ：接続表現** 授業内容：文章の展開を助け文章のまとまりをもたせる役割をもつ接続表現を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 28 を練習する。
29回	**授業テーマ：省略・繰り返し・言い換え、文体の一貫性、話の流れを考える** 授業内容：文章中の省略、繰り返し、言い換えを理解する。文体の一貫性を保つための表現「硬い表現」「会話で使う表現」を整理し、練習する。話しの進め方にかかわる表現を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 29 を練習する。
30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：第１回から第２９回までに学習した内容をテストする。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 30 を練習する。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

山口　真葵（やまぐち　まき）

▌授業の概要

「アカデミック日本語」では大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。「アカデミック日本語Ⅱ」の内容は読解である。さまざまな目的で書かれた長くて複雑な文章の中身を詳細に理解できるようになることを目指す。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：大学の授業で使う教科書や専門書、授業の課題を取り組むために必要な資料等を読んで、正しく内容を理解できる。
　　要点の把握を含め、理解のために多様な読解ストラテジーを駆使でき、文脈上の手がかりから理解の当否を確かめることができる。
　　自分の読解能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の構造を理解して、要旨を把握できる。
　　(2) 文章の論理的な構造（主張と根拠、事実と考察など）を正しく理解できる。
　　(3) 事実と意見を分けるなど文脈上の手がかりを見落とすことなく読むことができる。
　　(4) 読む目的に応じて適切な読解ストラテジーを選択し、使い分けることができる。
　　(5) 書き手の意図を読み取り、正確に別の言葉で言い換えることができる。
　　(6) 自分の読解能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生クラスである。
各学期に日本語能力を測る資格試験を受験する。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30%とテスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回ペアワークもしくはグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

奥山貴之、宇津木奈津子、東会娟『考える人の上級日本語読解』凡人社
上田暢美、内田嘉美、桑島卓男、糠野永未子、吉田歌織、若林佐恵里、安達万里江『とりあえず日本語能力試験対策 読解 N1』ココ出版

▌参考書

授業で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解し、事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：新聞等日本語の文章を読む。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：貿易の基本原理－比較優位** 授業内容：文章「貿易の基本原理－比較優位」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：ゲームの今と将来** 授業内容：文章「ゲームの今と将来」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：グローバル化とどう向き合うか** 授業内容：文章「グローバル化とどう向き合うか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：ゲームは悪影響を及ぼすのか？** 授業内容：文章「ゲームは悪影響を及ぼすのか？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：ある熟年夫婦の関係性** 授業内容：文章「ある熟年夫婦の関係性」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：私の名は。** 授業内容：文章「私の名は。」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：女性の働き方** 授業内容：文章「女性の働き方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：多言語状況を考える** 授業内容：文章「多言語状況を考える」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：第 4 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 4 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：第 1 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 1 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：いのちの『終わり』は誰が決めるのか** 授業内容：文章「いのちの『終わり』は誰が決めるのか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：幸福度の低い日本の子ども** 授業内容：文章「幸福度の低い日本の子ども」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：いのちを“つくって”もいいですか** 授業内容：文章「いのちを“つくって”もいいですか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：『自尊感情を高めよう』を再考** 授業内容：文章「『自尊感情を高めよう』を再考」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：科学は魔法？** 授業内容：文章「科学は魔法？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：第 2 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 2 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：科学と社会の関係が変わるとき** 授業内容：文章「科学と社会の関係が変わるとき」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：高度経済成長期の日本** 授業内容：文章「高度経済成長期の日本」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：第 5 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 5 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：高持続可能な社会** 授業内容：文章「高持続可能な社会」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：研究とは―研究は勉強とまったく違う** 授業内容：文章「研究とは―研究は勉強とまったく違う」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：第 3 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 3 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：フィールドワーク研究の意義** 授業内容：文章「フィールドワーク研究の意義」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：人生の先輩が教えるキャリアのつくり方** 授業内容：文章「人生の先輩が教えるキャリアのつくり方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：レジュメ作成** 授業内容：レジュメ作成例を参考にしながらレジュメを作成する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは** 授業内容：文章「変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：レジュメ発表** 授業内容：作成したレジュメの発表を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための中間テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとコース全体の振り返り** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための最終テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅱの内容は読解である。ビジネスにかかわる新聞記事によく見られる語彙・表現の習得、未知語への対応のしかたなどの練習を通じて正確な理解を身に付ける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日常的なビジネス文書、ビジネスに関する新聞の資料を読み、内容を正確に理解できる。
個別目標：(1)日本語で新聞記事を正確に読むことができる。
(2)ビジネスにかかわる資料を読んで、企画を提案するプレゼンテーションができる。
(3)他者と意見を交換し、さまざまな価値観、考え方について比較し、対照できる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
各学期にビジネス日本語能力を測る資格試験を受験する。
自分の読解能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、テスト 30%、課題提出 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回資料を集める際に PC を利用する。manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可)。）

▌教科書

澁川晶・高橋紗弥子・庵功雄『留学生のためのジャーナリズムの日本語―新聞・雑誌で学ぶ重要語彙と表現―』スリーエーネットワーク
近藤彩・品田潤子・金孝卿・内海美也子『課題達成のプロセスで学ぶビジネスコミュニケーション〈改訂新版〉』ココ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：授業の内容、進め方について説明を聞き、これからどんなことを学習するのかイメージし、目的意識を持って学習を進められるよう動機づけを行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでコースの内容を把握する。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：企業の求める人材** 授業内容：仕事で成果を上げるためのスキルについて日本と自国の共通点を見出す。自分の専門分野や関心の範囲で企業ガイダンスや説明会資料を読み、企業の求める人材を理解する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：体に関連のある語彙・表現** 授業内容：体に関連のある語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：企業ガイダンス** 授業内容：企業ガイダンスを聞いて、重要事項を漏らさずノートをとる練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：体に関連のある語彙・表現が含まれた読解** 授業内容：体に関連のある語彙・表現の知識を整理する。体に関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：会社概要の調査** 授業内容：企業のパンフレット、企業のホームページ等ある程度長い文章にざっと目を通して読み、ポイントを理解する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(1)身近なものに関連のある語彙・表現** 授業内容：身近なものに関連のある語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：就職のための提出書類** 授業内容：長所や短所をはじめ簡単な自己 PR 文を就職のための提出資料に書き、クラスメートと評価しあう。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：身近なものに関連のある語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：身近なものに関連のある語彙・表現の知識を整理する。体に関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：会議の内容** 授業内容：参加した会議の内容を理解して、参加者から出たいろいろな情報や議論をまとめて議事録に書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(2)戦いに関連のある語彙・表現** 授業内容：戦いに関連のある語彙・表現語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：図表の理解** 授業内容：社内会議などで企業の販売実績や市場の動向を示すグラフを見ながら、現状を理解する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7回	**授業テーマ：戦いに関連のある語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：戦いに関連のある語彙・表現語彙・表現の知識を整理する。体に関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：会議内容の整理と報告** 授業内容：参加した会議の内容を理解して、参加していない人に明瞭で簡潔なメールを書いて報告する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(３)社会的背景を持つ語彙・表現** 授業内容：社会的背景を持つ語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：SWOT 分析(１)手順** 授業内容：マーケティングにおける SWOT 分析の方法を学習し、ビジネスに関する記事を特定の視点から分析する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：社会的背景を持つ語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：社会的背景を持つ語彙・表現の知識を整理する。体に関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：SWOT 分析(２)資料の収集と分析** 授業内容：自らの関心に従って企業を一つ決め、新聞記事、雑誌記事、企業のホームページの情報を集める。そのうえで、ＳＷＯＴ分析を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：もとの形から変化している語彙・表現** 授業内容：もとの形から変化している語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：戦略** 授業内容：ＳＷＯＴ分析の結果から、問題解決のための戦略を考える。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：もとの形から変化している語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：もとの形から変化している語彙・表現の知識を整理する。体に関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：戦略の根拠** 授業内容：戦略の根拠を説明するための資料を集める。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：今後の学習にむけて** 授業内容：これまで学習したことを振り返りながら長文を読み、「慣用表現」「時間を表す表現」「カギ括弧のついたことば」「筆者の価値観を表す表現」などにも注目して読む練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：原稿の作成** 授業内容：プレゼンテーションで受け手に与える影響を考えイメージしながら、伝えること、その表現方法について準備する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：総合練習** 授業内容：これまで学習してきたストラテジーを用いて比較的長い新聞記事を読む練習を行う。内容理解を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：プレゼンテーション資料の作成** 授業内容：集めた情報や企画のアイデアを整理し、わかりやすいプレゼンテーションの資料を作る。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：現代社会ニュースの紹介** 授業内容：特別な立場や視点から取り上げた現代社会に関する複数の新聞記事を読む。共通点を見抜き、含意された意見や立場を比較しながら詳細に内容を報告する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：発表と他者評価** 授業内容：用意したプレゼンテーションをはっきりとした声でわかりやすく伝える。プレゼンテーションで話し手の発話を正しく理解したかどうか確認するための質問をしたり説明が曖昧だった部分に対して指摘をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テスト・フィードバック** 授業内容：これまで学習したことをある程度長く複雑な文章の中でも理解できるかどうか中間テストを行う。その後、解答と解説等フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：コース全体のふりかえり・最終テストとフィードバック** 授業内容：コース全体を振り返り、自らの成長を実感する。これまで学習してきたことが定着しているかどうか最終テストで確かめたあと、解説を聞きフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス（留 S）

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**行田　悦子**（こうだ　えつこ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅱの内容は読解である。さまざまな目的で書かれた長くて複雑な文章の中身を詳細に理解できるようになることを目指す。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：大学の授業で使う教科書や専門書、授業の課題を取り組むために必要な資料等を読んで、正しく内容を理解できる。
　　要点の把握を含め、理解のために多様な読解ストラテジーを駆使でき、文脈上の手がかりから理解の当否を確かめることができる。
　　自分の読解能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の構造を理解して、要旨を把握できる。
　　(2) 文章の論理的な構造（主張と根拠、事実と考察など）を正しく理解できる。
　　(3) 事実と意見を分けるなど文脈上の手がかりを見落とすことなく読むことができる。
　　(4) 読む目的に応じて適切な読解ストラテジーを選択し、使い分けることができる。
　　(5) 書き手の意図を読み取り、正確に別の言葉で言い換えることができる。
　　(6) 自分の読解能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みである。
各学期に日本語能力を測定する資格試験を受験する。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
自分の読解能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30%とテスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回ペアワークもしくはグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

奥山貴之、宇津木奈津子、東会娟『考える人の上級日本語読解』凡人社
上田暢美、内田嘉美、桑島卓男、糠野永未子、吉田歌織、若林佐恵里、安達万里江『とりあえず日本語能力試験対策 読解 N1』ココ出版

▌参考書

授業で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解し、事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：新聞等日本語の文章を読む。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：貿易の基本原理−比較優位** 授業内容：文章「貿易の基本原理−比較優位」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：ゲームの今と将来** 授業内容：文章「ゲームの今と将来」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：グローバル化とどう向き合うか** 授業内容：文章「グローバル化とどう向き合うか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：ゲームは悪影響を及ぼすのか？** 授業内容：文章「ゲームは悪影響を及ぼすのか？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：ある熟年夫婦の関係性** 授業内容：文章「ある熟年夫婦の関係性」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：私の名は。** 授業内容：文章「私の名は。」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：女性の働き方** 授業内容：文章「女性の働き方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：多言語状況を考える** 授業内容：文章「多言語状況を考える」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：第 4 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 4 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：第 1 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 1 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：いのちの『終わり』は誰が決めるのか** 授業内容：文章「いのちの『終わり』は誰が決めるのか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7回	**授業テーマ：幸福度の低い日本の子ども** 授業内容：文章「幸福度の低い日本の子ども」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：いのちを“つくって”もいいですか** 授業内容：文章「いのちを“つくって”もいいですか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：『自尊感情を高めよう』を再考** 授業内容：文章「『自尊感情を高めよう』を再考」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：科学は魔法？** 授業内容：文章「科学は魔法？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：第 2 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 2 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：科学と社会の関係が変わるとき** 授業内容：文章「科学と社会の関係が変わるとき」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：高度経済成長期の日本** 授業内容：文章「高度経済成長期の日本」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：第 5 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 5 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：高持続可能な社会** 授業内容：文章「高持続可能な社会」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：研究とは―研究は勉強とまったく違う** 授業内容：文章「研究とは―研究は勉強とまったく違う」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：第 3 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 3 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：フィールドワーク研究の意義** 授業内容：文章「フィールドワーク研究の意義」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：人生の先輩が教えるキャリアのつくり方** 授業内容：文章「人生の先輩が教えるキャリアのつくり方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：レジュメ作成** 授業内容：レジュメ作成例を参考にしながらレジュメを作成する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは** 授業内容：文章「変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：レジュメ発表** 授業内容：作成したレジュメの発表を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための中間テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとコース全体の振り返り** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための最終テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

範　弘宇（はん　こうう）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は「聴解」と「漢字」である。「聴解」はニュースを中心に学習する。「漢字」は大学生活、社会における言語活動で必要な文字を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に取り組み、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：ニュースを正確に聞き取り、内容を正しく理解することができる。
聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換え説明することができる。
大学生活で必要な日本語を理解するために必要な漢字を読んだり書いたりすることができる。

個別目標：(１)一般的なニュースを聞き、内容を正しく理解できる。
(２)聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えることができる。
(４)講義に必要な漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
(５)自分の聴解能力、漢字能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

N2 を取得した留学生のクラスである。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

佐藤尚子、佐々木仁子『留学生のための漢字の教科書 上級 1000[改訂版] 』 国書刊行会
瀬川由美・紙谷幸子『改訂版 ニュースの日本語聴解 50 中級後半ー上級レベル 』 スリーエーネットワーク
藤田朋世、塩川絵里子、青木幸子『スピードマスター聴解 N1』 J リサーチ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、経済・金融１シェアオフィス(聴解)、入国手続き(漢字)** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について説明する。シェアオフィスをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習をする。入国手続きにかかわる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：初級・中級で学習した漢字の上級での読み方を確認する。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１を練習する。	16回	**授業テーマ：社会・生活１ごみ拾い(聴解)、自然と災害(漢字)** 授業内容：聴解ではごみ拾いをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。自然と災害にかかわる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１６を練習する。シャドーイング練習をする。
2回	**授業テーマ：経済・金融２お歳暮商戦(聴解)、在留カード(漢字)** 授業内容：聴解ではお歳暮商戦をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。在留カードで使われる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２を練習する。シャドーイングをする。	17回	**授業テーマ：社会・生活２田んぼアート(聴解)(聴解)、事件(漢字)** 授業内容：聴解では田んぼアートをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事件にかかわる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１７を練習する。シャドーイング練習をする。
3回	**授業テーマ：経済・金融３冷凍食品専門店(聴解)、大学(漢字)** 授業内容：聴解では冷凍食品専門店をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。大学に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３を練習する。シャドーイング練習をする。	18回	**授業テーマ：社会・生活３教師不足(聴解)、事故・裁判(漢字)** 授業内容：聴解では教師不足をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事故・裁判にかかわる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１８を練習する。シャドーイング練習をする。
4回	**授業テーマ：経済・金融４ノンアルコール飲料(聴解)、学生生活(漢字)** 授業内容：聴解ではノンアルコース飲料をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。学生生活に関わる漢字を練習する。ポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル４を練習する。シャドーイング練習をする。	19回	**授業テーマ：社会・生活４グランピング施設(聴解)、政治・経済(漢字)** 授業内容：聴解ではグランピング施設をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。政治・経済にかかわる漢字を学習する。ポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１９を練習する。シャドーイング練習をする。
5回	**授業テーマ：経済・金融５食中毒(聴解)、就職活動Ⅰ(漢字)** 授業内容：聴解では就職活動で使われる漢字を学習する。聴解では勧誘の機能を中心に人間関係、話されている場面、重要表現を聞き取る練習をする。ポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル５を練習する。シャドーイング練習をする。	20回	**授業テーマ：社会・生活５リモートワーク(聴解)、国際・スポーツ(漢字)** 授業内容：聴解ではリモートワークをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。国際・スポーツに関わる漢字を学習する。概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２０を練習する。シャドーイング練習をする。
6回	**授業テーマ：経済・金融６機内食(聴解)、就職活動Ⅱ(漢字)** 授業内容：聴解では機内食をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動に関する漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル６を練習する。シャドーイング練習をする。	21回	**授業テーマ：社会・生活６ジョブ型雇用(聴解)、社会・産業(漢字)** 授業内容：聴解ではジョブ型雇用をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。社会・産業にかかわる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２１を練習する。シャドーイング練習をする。

7回	**授業テーマ：経済・金融７農林水産物(聴解)、地名(漢字)** 授業内容：聴解では農林水産物をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。地名に関わる漢字を練習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う 事後学修 2.0hr：漢字ドリル７を練習する。シャドーイング練習をする。
8回	**授業テーマ：経済・金融８東京株式市場(聴解)、歴史(漢字)** 授業内容：聴解では東京株式市場をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。町を紹介するときに必要な漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル８を練習する。シャドーイング練習をする。
9回	**授業テーマ：経済・金融９中間決算(聴解)、日本文化(漢字)** 授業内容：聴解では中間決算をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日本文化に関する漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル９を練習する。シャドーイング練習をする。
10回	**授業テーマ：経済・金融 10 火災保険料(聴解)、世界遺産(漢字)** 授業内容：聴解では火災保険料をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。世界遺産に関わる漢字を練習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１０を練習する。シャドーイング練習をする。
11回	**授業テーマ：経済・金融 10 火災保険料(聴解)、日常語彙Ⅰ(漢字)** 授業内容：聴解では建設業準大手をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙に関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１１を練習する。シャドーイング練習をする。
12回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、経済・金融 12 大型商業施設(聴解)、日常語彙Ⅱ(漢字)** 授業内容：聴解では大型商業施設をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙に関わる漢字を練習する。聴解能力がどのくらいあるか測るためのテストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１２を練習する。シャドーイング練習をする。
13回	**授業テーマ：経済・金融 13 秩父宮ラグビー場(聴解)、旅行(漢字)** 授業内容：聴解では秩父宮ラグビー場をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。旅行に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１３を練習する。
14回	**授業テーマ：経済・金融 14 外国為替市場(聴解)、人間の体(漢字)** 授業内容：聴解では外国為替市場をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。人間の体に関わる漢字を練習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１４を練習する。シャドーイング練習をする。
15回	**授業テーマ：経済・金融 15 円安(聴解)、医療(漢字)、中間テストとフィードバック** 授業内容：聴解では円安をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。医療に関わる漢字を練習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理し、中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１５を練習する。
22回	**授業テーマ：社会・生活７結婚観(聴解と会話)、芸術(漢字)** 授業内容：聴解では結婚観をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。芸術にかかわる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２２を練習する。シャドーイング練習をする。
23回	**授業テーマ：社会・生活８ヤングケアラー(聴解)、農業(漢字)** 授業内容：聴解ではヤングケアラーをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。農業に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２３を練習する。シャドーイング練習をする。
24回	**授業テーマ：社会・生活９台風(聴解)、生物学Ⅰ(漢字)** 授業内容：聴解では台風をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学にかかわる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２４を練習する。シャドーイング練習をする。
25回	**授業テーマ：社会・生活 10 地震(聴解)、生物学Ⅱ(漢字)** 授業内容：聴解では地震をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学にかかわる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２５を練習する。シャドーイング練習をする。
26回	**授業テーマ：社会・生活 11 地震の被害(聴解)、漢語の語構成(漢字)** 授業内容：聴解では地震の被害をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。漢語の語構成に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２６を練習する。シャドーイング練習をする。
27回	**授業テーマ：社会・生活 12 コミケ(聴解)、熟語の読み方(漢字)** 授業内容：聴解ではコミケをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。熟語の読み方にかかわる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２７を練習する。シャドーイング練習をする。
28回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、社会・生活 13 カプセルトイ(聴解)、様子・態度(漢字)** 授業内容：。聴解ではカプセルトイをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。様子・態度にかかわる漢字を学習する聴解能力がどのくらいあるか測るためにテストを行ったあと、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２８を練習する。シャドーイング練習をする。
29回	**授業テーマ：社会・生活 14 フィッシング詐欺(聴解と会話)、心情(漢字)** 授業内容：聴解ではフィッシング詐欺をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。心情にかかわる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２９を練習する。
30回	**授業テーマ：まとめ・総合練習、社会・生活 15 痴漢逮捕(聴解)、状態(漢字)、最終テストとフィードバック** 授業内容：聴解では痴漢逮捕をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。状態にかかわる漢字を学習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３０を練習する。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス（留 H）

堀内　貴子（ほりうち　たかこ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は聴解、聴読解である。スピーチ、講演会、顧客による説明などを理解したり、聞きながら資料を見て要求された課題を達成することを目指す。また、社内外の人との担当領域および一般的な話題について自然なコミュニケーションをとることを目指す。毎回、事前学修、事後学修がある。授業では小テストをほぼ毎回、実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：就労場面でのやりとり、独話を正確に聞き取ることができ、聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えて説明することができる。社内外の人とその場にふさわしい丁寧さで円滑にコミュニケーションをとることができる。

個別目標：(1) 標準的な日本語で特殊な慣用表現などが使われていなければ、講演会、スピーチ、顧客による説明などを理解することができる。
(2) 自社や競合他社のニュースを聞いて理解することができる。
(3) 社内外の人と担当領域から一般的なものまで幅広い話題について流暢かつ正確に、言いたいことを表現できる。
(4) その場にふさわしい丁寧さで自然なコミュニケーションをとることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
自分の読解能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%によって評価する。

▌フィードバック方法

対面授業および manaba でフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回ペアもしくはグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する（スマートフォン対応可）。）

▌教科書

木山三佳・田川麻央『学生・留学生のためのキャリアプランニング』実教出版
小野塚 若菜・篠﨑 佳子・島 恭子・吉沢 由香里『ビジネス日本語 オール・イン・ワン問題集』ジャパンタイムズ

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：ビジネスで必要な日本語能力とはどのようなものかを確認する。そのうえで、現時点でどの程度のビジネス日本語能力があるのか事前テストで測る。テストの成績をもとに、どのように能力を伸ばしていくか計画を立てる。 事前学修 2.0hr：BJT ビジネス日本語能力テストについて調べる。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：社内一斉メール、会議準備** 授業内容：メールを読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。会議準備に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：就職活動** 授業内容：就職活動では選考の材料となる提出書類の作成や面接試験など重要なことがある。その中で、エントリーシートなどの書類の書き方、面接時の話し方を学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：電話とお詫び** 授業内容：お詫びに関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。電話でのやりとりを聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：入社** 授業内容：入社後、新入社員は初対面の人とコミュニケーションをとる機会が多い。その一つとして自己紹介があり、話を聞いた人が記憶に残る一言が言えるよう練習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：お知らせ文書** 授業内容：お知らせ文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：基本的な業務** 授業内容：基本的な業務の一つとして伝言を取り上げる。また、稟議についても学ぶ。稟議は、社内で物品を購入するときなどに説明を書類に書いて、承認を受けることで一連の流れを学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：キャッチコピー、同僚との雑談** 授業内容：同僚との雑談を聞き取り、親しい同僚との話し方を学ぶ。キャッチコピーなど書類を見ながら話を聞き取って、要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：報告** 授業内容：上司や先輩、同僚への報告を取り上げる。仕事は同じ目標を持つ人々とうまく連携できるよう、わかりやすく伝えられるよう学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：値下げ交渉** 授業内容：値下げ交渉のやりとりを聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：謝罪** 授業内容：謝罪について取り上げる。仕事でミスがあったときに早い段階で上司に正確に事実を報告し、素直に謝罪できるよう学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：営業** 授業内容：営業のやりとりを聞き、公的場面での話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7回	**授業テーマ：インターンシップの受け入れ** 授業内容：インターンシップの受け入れ側の仕事について取り上げる。会社側の立場になって自社を紹介し、業務や職種を理解してもらうとともに、さまざまなリスク管理について学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：会議の準備** 授業内容：会議の準備においては、会場の予約、機器の設置、会議議題の決定、前回の議事録の作成など、様々な資料を作成、配布する、欠席者への対応など一連の業務を学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：会議** 授業内容：会議では、各種の報告と意志決定をおこなう審議が行われる。議長の指示に従い、発言したり反対意見を述べたりする。意見の述べ方、議事録の作成など一連のやりとりを学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：取引** 授業内容：取引について取り上げる。良い関係を築くコミュニケーションを基本とし、正確な情報のやり取りを行う。不明な点がないように、お互いの話を引用した形で質問するなどの工夫も学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：苦情** 授業内容：苦情について取り上げる。苦情の対応を誤ると大きな問題に発展することもあり、より良いコミュニケーションが求められるためその対応方法を学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：商談** 授業内容：商談について取り上げる。相手に必要な情報を正確に伝えるとともに、相談や注文を受けた時の対応の仕方、不明慮な点があるときの聞き返しなどを学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：社会貢献** 授業内容：企業が果たすべき社会的責任について学ぶ。社会貢献としてさまざまな活動を行うときに必要なコミュニケーションについて学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：実力判定テスト、フィードバック** 授業内容：これまで学習した内容が身に付いたかどうか実力判定テストで測る。テストの結果より得られた強み、弱みをもとに学習を振り返る。また教師からもフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テストとフィードバック** 授業内容：中間テストとフィードバックを受け、現時点のビジネス能力を把握する。今後の学習計画を立てる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
22回	**授業テーマ：売り上げ** 授業内容：売り上げに関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。売上に関わる文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
23回	**授業テーマ：個人情報** 授業内容：個人情報に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。個人情報に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
24回	**授業テーマ：顧客満足調査** 授業内容：顧客満足調査に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
25回	**授業テーマ：出張** 授業内容：出張に関する話を聞き取り、話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。出張に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
26回	**授業テーマ：販売員増員の提案、パッケージ案** 授業内容：販売員増員の提案に関する話を聞き取り、話し方を学ぶ。パッケージ案に関する書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
27回	**授業テーマ：インタビュー** 授業内容：インタビューに関する話を聞き取り、公的場面での話し方を学ぶ。インタビューを依頼する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
28回	**授業テーマ：日程調整、衣料品業界** 授業内容：日程調整、衣料品業界に関するやりとりを聞き取り、公的場面での話し方を学ぶ。日程調整に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
29回	**授業テーマ：展示会、業界フローチャート** 授業内容：展示会に関わる資料、業界フローチャートを見ながら話を聞きとり、要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習してきた語彙表現、読解、聴解、聴読解のテストに取り組む。その後、フィードバックを受ける。コース全体を振り返り、社会生活にどう生かすかを考える。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**田川　麻央**（たがわ　まお）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は「聴解」と「漢字」である。「聴解」はニュースを中心に学習する。「漢字」は大学生活、社会における言語活動で必要な文字を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に取り組み、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：ニュースを正確に聞き取り、内容を正しく理解することができる。
聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換え説明することができる。
大学生活で必要な日本語を理解するために必要な漢字を読んだり書いたりすることができる。

個別目標：(1)一般的なニュースを聞き、内容を正しく理解できる。
(2)聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えることができる。
(4)講義に必要な漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
(5)自分の聴解能力、漢字能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済である。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

佐藤尚子、佐々木仁子『留学生のための漢字の教科書 上級 1000[改訂版] 』 国書刊行会
瀬川由美・紙谷幸子『改訂版 ニュースの日本語聴解 50 中級後半ー上級レベル 』 スリーエーネットワーク
藤田朋世、塩川絵里子、青木幸子『スピードマスター聴解 N1』 J リサーチ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、経済・金融１シェアオフィス(聴解)、入国手続き(漢字)** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について説明する。シェアオフィスをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習をする。入国手続きにかかわる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：初級・中級で学習した漢字の上級での読み方を確認する。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１を練習する。	16回	**授業テーマ：社会・生活１ごみ拾い(聴解)、自然と災害(漢字)** 授業内容：聴解ではごみ拾いをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。自然と災害にかかわる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１６を練習する。シャドーイング練習をする。
2回	**授業テーマ：経済・金融２お歳暮商戦(聴解)、在留カード(漢字)** 授業内容：聴解ではお歳暮商戦をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。在留カードで使われる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２を練習する。シャドーイングをする。	17回	**授業テーマ：社会・生活２田んぼアート(聴解)(聴解)、事件(漢字)** 授業内容：聴解では田んぼアートをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事件にかかわる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１７を練習する。シャドーイング練習をする。
3回	**授業テーマ：経済・金融３冷凍食品専門店(聴解)、大学(漢字)** 授業内容：聴解では冷凍食品専門店をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。大学に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３を練習する。シャドーイング練習をする。	18回	**授業テーマ：社会・生活３教師不足(聴解)、事故・裁判(漢字)** 授業内容：聴解では教師不足をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事故・裁判にかかわる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１８を練習する。シャドーイング練習をする。
4回	**授業テーマ：経済・金融４ノンアルコール飲料(聴解)、学生生活(漢字)** 授業内容：聴解ではノンアルコース飲料をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。学生生活に関わる漢字を練習する。ポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル４を練習する。シャドーイング練習をする。	19回	**授業テーマ：社会・生活４グランピング施設(聴解)、政治・経済(漢字)** 授業内容：聴解ではグランピング施設をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。政治・経済にかかわる漢字を学習する。ポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１９を練習する。シャドーイング練習をする。
5回	**授業テーマ：経済・金融５食中毒(聴解)、就職活動Ⅰ(漢字)** 授業内容：聴解では就職活動で使われる漢字を学習する。聴解では勧誘の機能を中心に人間関係、話されている場面、重要表現を聞き取る練習をする。ポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル５を練習する。シャドーイング練習をする。	20回	**授業テーマ：社会・生活５リモートワーク(聴解)、国際・スポーツ(漢字)** 授業内容：聴解ではリモートワークをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。国際・スポーツに関わる漢字を学習する。概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２０を練習する。シャドーイング練習をする。

6回	**授業テーマ：経済・金融６機内食(聴解)、就職活動Ⅱ(漢字)** 授業内容：聴解では機内食をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動に関する漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル６を練習する。シャドーイング練習をする。	21回	**授業テーマ：社会・生活６ジョブ型雇用(聴解)、社会・産業(漢字)** 授業内容：聴解ではジョブ型雇用をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。社会・産業にかかわる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２１を練習する。シャドーイング練習をする。
7回	**授業テーマ：経済・金融７農林水産物(聴解)、地名(漢字)** 授業内容：聴解では農林水産物をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。地名に関わる漢字を練習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う 事後学修 2.0hr：漢字ドリル７を練習する。シャドーイング練習をする。	22回	**授業テーマ：社会・生活７結婚観(聴解と会話)、芸術(漢字)** 授業内容：聴解では結婚観をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。芸術にかかわる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２２を練習する。シャドーイング練習をする。
8回	**授業テーマ：経済・金融８東京株式市場(聴解)、歴史(漢字)** 授業内容：聴解では東京株式市場をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。町を紹介するときに必要な漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル８を練習する。シャドーイング練習をする。	23回	**授業テーマ：社会・生活８ヤングケアラー(聴解)、農業(漢字)** 授業内容：聴解ではヤングケアラーをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。農業に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２３を練習する。シャドーイング練習をする。
9回	**授業テーマ：経済・金融９中間決算(聴解)、日本文化(漢字)** 授業内容：聴解では中間決算をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日本文化に関する漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル９を練習する。シャドーイング練習をする。	24回	**授業テーマ：社会・生活９台風(聴解)、生物学Ⅰ(漢字)** 授業内容：聴解では台風をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学にかかわる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２４を練習する。シャドーイング練習をする。
10回	**授業テーマ：経済・金融 10 火災保険料(聴解)、世界遺産(漢字)** 授業内容：聴解では火災保険料をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。世界遺産に関わる漢字を練習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１０を練習する。シャドーイング練習をする。	25回	**授業テーマ：社会・生活 10 地震(聴解)、生物学Ⅱ(漢字)** 授業内容：聴解では地震をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学にかかわる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２５を練習する。シャドーイング練習をする。
11回	**授業テーマ：経済・金融 10 火災保険料(聴解)、日常語彙Ⅰ(漢字)** 授業内容：聴解では建設業準大手をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙に関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１１を練習する。シャドーイング練習をする。	26回	**授業テーマ：社会・生活 11 地震の被害(聴解)、漢語の語構成(漢字)** 授業内容：聴解では地震の被害をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。漢語の語構成に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２６を練習する。シャドーイング練習をする。
12回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、経済・金融 12 大型商業施設(聴解)、日常語彙Ⅱ(漢字)** 授業内容：聴解では大型商業施設をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙に関わる漢字を練習する。聴解能力がどのくらいあるか測るためのテストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１２を練習する。シャドーイング練習をする。	27回	**授業テーマ：社会・生活 12 コミケ(聴解)、熟語の読み方(漢字)** 授業内容：聴解ではコミケをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。熟語の読み方にかかわる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２７を練習する。シャドーイング練習をする。
13回	**授業テーマ：経済・金融 13 秩父宮ラグビー場(聴解)、旅行(漢字)** 授業内容：聴解では秩父宮ラグビー場をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。旅行に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１３を練習する。	28回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、社会・生活 13 カプセルトイ(聴解)、様子・態度(漢字)** 授業内容：。聴解ではカプセルトイをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。様子・態度にかかわる漢字を学習する聴解能力がどのくらいあるか測るためにテストを行ったあと、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２８を練習する。シャドーイング練習をする。
14回	**授業テーマ：経済・金融 14 外国為替市場(聴解)、人間の体(漢字)** 授業内容：聴解では外国為替市場をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。人間の体に関わる漢字を練習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１４を練習する。シャドーイング練習をする。	29回	**授業テーマ：社会・生活 14 フィッシング詐欺(聴解と会話)、心情(漢字)** 授業内容：聴解ではフィッシング詐欺をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。心情にかかわる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２９を練習する。
15回	**授業テーマ：経済・金融 15 円安(聴解)、医療(漢字)、中間テストとフィードバック** 授業内容：聴解では円安をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。医療に関わる漢字を練習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理し、中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１５を練習する。	30回	**授業テーマ：まとめ・総合練習、社会・生活 15 痴漢逮捕(聴解)、状態(漢字)、最終テストとフィードバック** 授業内容：聴解では痴漢逮捕をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。状態にかかわる漢字を学習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３０を練習する。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容は語彙と作文である。複雑な話題について明確でしっかりとした構成の詳細なテクストを作る。自己の視点から意見を述べたり説明したりできるようになることを目指して、テクストを構成する字句、結束表現、文法表現等を学習する。毎回事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：大学の学修に必要なレポートおよび文章を明瞭かつ論理的に書くことができる。
重要点を強調し、補助的事項、理由、関連する事例を付け加え、論点を展開し、適切な結論で終わることができる。
自分の語彙・文法表現能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の種類によって適切な構造を持つ文章を書ける。
(2) 文章を書くための準備で、倫理的な行動を選択し、レポートに必要な資料を集められる。
(3) 文章を書くための準備で、資料を読んで正しく理解できる。文章を書く過程で他者との意見交換を通じて他者の視点を取り入れ、文章に反映させられる。
(4) 自分の作文能力、語彙能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生クラスである。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回、グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回、manaba、respon を使用する。）

▌教科書

田中祐輔(編)『《書き込み式》表現するための語彙文法練習ノート〈上〉―語/コロケーション/慣用句/表現文型』 凡人社
田川麻央・德田恵『プロセス重視で学ぶ日本語ライティング』 DTP 出版

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、レッスン 1 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。事前テストを受ける。レッスン 1 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：これまでに学んだ単語を復習しておく。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 1 を練習する。	16回	**授業テーマ：レッスン 8 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 8 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 16 を練習する。
2回	**授業テーマ：レッスン 1 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 1 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 2 を練習する。	17回	**授業テーマ：まずやってみよう** 授業内容：レポートを書くのに必要な知識は何か、どのようなレポートが求められているかを知り、学習意欲を高める。コース終了後のできるようになった自分をイメージする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 17 を練習する。
3回	**授業テーマ：レッスン 2 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 2 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 3 を練習する。	18回	**授業テーマ：書き言葉** 授業内容：レポートに必要な「書き言葉」を学習する。話し言葉と書き言葉の使い分けについて学び、書き換え練習を通じてレポートに必要な表現、言い回しを身に付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 18 を練習する。
4回	**授業テーマ：レッスン 2 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 2 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 4 を練習する。	19回	**授業テーマ：段落** 授業内容：段落とは何か、段落内はどのような構成にするかを学習する。中心文と支持文を区別する練習や、中心文に対して支持文でどう具体的に書くかを練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 19 を練習する。
5回	**授業テーマ：レッスン 3 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 3 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 5 を復習する。	20回	**授業テーマ：三段構成法** 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれどのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 20 を復習する。

6回	**授業テーマ：レッスン 3 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 3 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 6 を練習する。	21回	**授業テーマ：アイデアの抽出** 授業内容：レポートのテーマを考える。ブレーンストーミングの方法を学習し、アイデアを書き出す。そのうえで自分のレポートのテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 21 を練習する。
7回	**授業テーマ：レッスン 4 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 4 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 7 を練習する。	22回	**授業テーマ：資料検索** 授業内容：図書館や新聞記事のデータベースなど資料の探し方、注意点を学習する。自分のテーマに関わる資料を探して読み、基礎知識を身に付ける。集めた資料を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 22 を練習する。
8回	**授業テーマ：レッスン 4 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 4 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 8 を練習する。	23回	**授業テーマ：論理的つながりの検討** 授業内容：論理的なつながりのある文章とはどのようなものかを学習する。クラスメートにレポートの構成について説明し、論理的につながっているかどうか評価してもらう。必要があれば、資料を増やしたり減らしたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 23 を練習する。
9回	**授業テーマ：レッスン 5 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 5 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 9 を練習する。	24回	**授業テーマ：資料の引用** 授業内容：資料の引用方法、注意点を学習する。集めた資料をもとに引用文を書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 24 を練習する。
10回	**授業テーマ：レッスン 5 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 5 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 10 を復習する。	25回	**授業テーマ：参考文献リストの書き方** 授業内容：参考文献の書き方、注意点を学習する。集めた資料をもとに参考文献リストを書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 25 を復習する。
11回	**授業テーマ：レッスン 6 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 6 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 11 を練習する。	26回	**授業テーマ：図表の説明** 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 26 を練習する。
12回	**授業テーマ：レッスン 6 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 6 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 12 を練習する。	27回	**授業テーマ：レポートの執筆** 授業内容：これまで学習したレポートの書き方を思い出し、適切な表現を用いて、論理的で説得力のある原稿を執筆する。必要があれば資料を追加したり省いたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 27 を練習する。
13回	**授業テーマ：レッスン 7 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 7 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 13 を練習する。	28回	**授業テーマ：題名の決定** 授業内容：読み手に内容が伝わり読みたいと思わせるような題名の付け方を学習する。そのうえで、自分のレポートにふさわしい題名を付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 28 を練習する。
14回	**授業テーマ：レッスン 7 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 7 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 14 を練習する。	29回	**授業テーマ：課題レポートの評価** 授業内容：書き上げたレポートをクラスメートと交換して読み、質疑応答をする。互いに評価をする。必要があれば、レポートを修正し、最終版を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 29 を練習する。
15回	**授業テーマ：レッスン 8 文字・語彙・コロケーション、中間テストとフィードバック** 授業内容：レッスン 8 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 15 を復習する。	30回	**授業テーマ：まとめ・コース全体のふりかえり、最終テストとフィードバック** 授業内容：レポートを完成するまでのプロセスを思い出し、コンセプトマップを作成する。クラスメートに作成したコンセプトマップを披露し、不足していることがあれば書き足す。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 30 を練習する。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

藤本　陽子（ふじもと　ようこ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容はビジネス文書の書き方、作成である。実務に役立つ文書作成技能について知識と技能の基本を身に付ける。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日常的な社内文書、ビジネス文書、および手紙やメールなどを自然な言い回し、表現を使って、読み手に負担のないよう書くスキルを身に付ける。

個別目標：(1) 日常的な社内文書、ビジネス文書、および手紙やメールなどの文章を形式を整えて書くことができる。
(2) ビジネス場面での日常的な文書による報告を簡潔に書くことができる。
(3) ビジネス場面での文書にかかわる慣習、マナーなどの知識を獲得する。
(4) 自らのビジネス日本語能力を客観的に把握し、弱点を強化する。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
自分のビジネス文書作成能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

課題提出 50%、テスト 50%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可)。）

▌教科書

『ビジネス文書検定第６６回～７１回実問題集３級』早稲田教育出版
『ビジネス文書検定第６６回～７１回実問題集１，２級』早稲田教育出版

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価についての説明を理解する。その後、ビジネス文章の作成能力がどの程度あるか事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：3 級第 66 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：3 級第 71 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：2 級第 71 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：3 級第 71 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：2 級第 71 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：3 級第 71 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：2 級第 71 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：3 級第 70 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：2 級第 70 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：3 級第 70 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：2 級第 70 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：3 級第 70 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：2 級第 70 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：3 級第 69 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：2 級第 69 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：3 級第 69 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：2 級第 69 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：3 級第 69 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：2 級第 69 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：3 級第 68 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：2 級第 68 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：3 級第 68 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：2 級第 68 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：3 級第 68 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：2 級第 68 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：3 級第 66 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：2 級第 67 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：3 級第 66 回表現技能、中間テストとフィードバック** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：2 級第 67 回表現技能、最終テストとフィードバック** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。テストとフィードバックを受ける。コース全体を振り返り、整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

行田　悦子（こうだ　えつこ）・**範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容は語彙と作文である。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテクストを作り、自己の視点から説明できるようになることを目指して、テクストを構成する字句、結束表現、文法表現等を身に付ける。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：大学の学修に必要なレポートおよび文章を明瞭かつ論理的に書くことができる。重要点を強調し、補助的事項、理由、関連する事例を付け加え、論点を展開し、適切な結論で終わることができる。
自分の語彙・文法表現能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の種類によって適切な構造を持つ文章を書ける。
(2) 文章を書くための準備で、倫理的な行動を選択し、レポートに必要な資料を集められる。
(3) 文章を書くための準備で、資料を読んで正しく理解できる。文章を書く過程で他者との意見交換を通じて他者の視点を取り入れ、文章に反映させられる。
(4) 自分の作文能力、語彙能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みである。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可)。）

▌教科書

田中祐輔(編)『《書き込み式》表現するための語彙文法練習ノート〈上〉―語/コロケーション/慣用句/表現文型』凡人社
田川麻央・德田恵『プロセス重視で学ぶ日本語ライティング』DTP 出版

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、レッスン 1 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。事前テストを受ける。レッスン 1 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：これまでに学んだ単語を復習しておく。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 1 を練習する。	16回	**授業テーマ：レッスン 8 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 8 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題演習を行なう。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 16 を練習する。
2回	**授業テーマ：レッスン 1 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 1 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 2 を練習する。	17回	**授業テーマ：まずやってみよう** 授業内容：レポートを書くのに必要な知識は何か、どのようなレポートが求められているかを知り、学習意欲を高める。コース終了後のできるようになった自分をイメージする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 17 を練習する。
3回	**授業テーマ：レッスン 2 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 2 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 3 を練習する。	18回	**授業テーマ：書き言葉** 授業内容：レポートに必要な「書き言葉」を学習する。話し言葉と書き言葉の使い分けについて学び、書き換え練習を通じてレポートに必要な表現、言い回しを身に付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 18 を練習する。
4回	**授業テーマ：レッスン 2 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 2 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 4 を練習する。	19回	**授業テーマ：段落** 授業内容：段落とは何か、段落内はどのような構成にするかを学習する。中心文と支持文を区別する練習や、中心文に対して支持文でどう具体的に書くかを練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 19 を練習する。
5回	**授業テーマ：レッスン 3 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 3 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 5 を復習する。	20回	**授業テーマ：三段構成法** 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれどのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 20 を復習する。

6回	**授業テーマ：レッスン 3 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 3 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 6 を練習する。
7回	**授業テーマ：レッスン 4 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 4 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 7 を練習する。
8回	**授業テーマ：レッスン 4 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 4 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 8 を練習する。
9回	**授業テーマ：レッスン 5 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 5 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 9 を練習する。
10回	**授業テーマ：レッスン 5 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 5 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 10 を復習する。
11回	**授業テーマ：レッスン 6 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 6 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 11 を練習する。
12回	**授業テーマ：レッスン 6 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 6 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 12 を練習する。
13回	**授業テーマ：レッスン 7 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 7 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 13 を練習する。
14回	**授業テーマ：レッスン 7 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 7 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 14 を練習する。
15回	**授業テーマ：レッスン 8 文字・語彙・コロケーション、中間テストとフィードバック** 授業内容：レッスン 8 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 15 を復習する。
21回	**授業テーマ：アイデアの抽出** 授業内容：レポートのテーマを考える。ブレーンストーミングの方法を学習し、アイデアを書き出す。そのうえで自分のレポートのテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 21 を練習する。
22回	**授業テーマ：資料検索** 授業内容：図書館や新聞記事のデータベースなど資料の探し方、注意点を学習する。自分のテーマに関わる資料を探して読み、基礎知識を身に付ける。集めた資料を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 22 を練習する。
23回	**授業テーマ：論理的つながりの検討** 授業内容：論理的なつながりのある文章とはどのようなものかを学習する。クラスメートにレポートの構成について説明し、論理的につながっているかどうか評価してもらう。必要があれば、資料を増やしたり減らしたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 23 を練習する。
24回	**授業テーマ：資料の引用** 授業内容：資料の引用方法、注意点を学習する。集めた資料をもとに引用文を書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 24 を練習する。
25回	**授業テーマ：参考文献リストの書き方** 授業内容：参考文献の書き方、注意点を学習する。集めた資料をもとに参考文献リストを書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 25 を復習する。
26回	**授業テーマ：図表の説明** 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 26 を練習する。
27回	**授業テーマ：レポートの執筆** 授業内容：これまで学習したレポートの書き方を思い出し、適切な表現を用いて、論理的で説得力のある原稿を執筆する。必要があれば資料を追加したり省いたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 27 を練習する。
28回	**授業テーマ：題名の決定** 授業内容：読み手に内容が伝わり読みたいと思わせるような題名の付け方を学習する。そのうえで、自分のレポートにふさわしい題名を付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 28 を練習する。
29回	**授業テーマ：課題レポートの評価** 授業内容：書き上げたレポートをクラスメートと交換して読み、質疑応答をする。互いに評価をする。必要があれば、レポートを修正し、最終版を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 29 を練習する。
30回	**授業テーマ：まとめ・コース全体のふりかえり、最終テストとフィードバック** 授業内容：レポートを完成するまでのプロセスを思い出し、コンセプトマップを作成する。クラスメートに作成したコンセプトマップを披露し、不足していることがあれば書き足す。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 30 練習する。

［専門科目］

Academic English Ⅰ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

伊勢　佳奈 (いせ　よしな)

▌授業の概要

This is a set course with Advanced English Skills A. The course is designed to prepare students for the TOEFL iBT test. Students will be familiar with the format and with the types of questions asked in each section of reading, listening, speaking, and writing as the TOEFL iBT test is structured into these four areas. The curriculum places emphasis on the skills work and practices of each section. Students will practice, build and develop skills and strategies necessary in order to be successful on the test. Students are recommended to take the TOEFL iBT or IELTS test twice per semester.

The course syllabus is subject to change depending on the class needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Students improve their reading, listening, speaking, and writing skills at the level of English-speaking universities. The goal is to score a minimum of 50 (5.0 for IELTS; 460 for ITP) in the first semester.

個別目標：Strength and weakness of each student in the areas are determined and targeted for improvement. Each student is encouraged to score higher in the areas than his/her previous TOEFL iBT/IELTS or ITP test score taken.

▌履修条件

Students are also required to enroll in Advanced English Skills A.

▌評価基準・方法

Grades will be based strictly on attendance/attitude/performance, class works, assignments, and a final exam.

▌フィードバック方法

Feedback to the students will be given in the class for the class works of reading, listening, speaking, and writing sections, and through Google Classroom for the assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Required for speaking activities.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC required for class works and assignments.）

▌教科書

ETS The Official Guide to the TOEFL iBT Test 7th edition (ISBN: 978-1265477318)

▌参考書

Other materials as appropriate may be introduced in the class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction and Overview of the TOEFL iBT Test** 授業内容：Course Orientation/Chapter 1: About the TOEFL iBT Test 事前学修 0.5hr：preview the textbook 事後学修 1.0hr：review as specified
2回	**授業テーマ：Reading Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 2: Reading Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
3回	**授業テーマ：Listening Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 3: Listening Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
4回	**授業テーマ：Speaking Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 4: Speaking Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
5回	**授業テーマ：Writing Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 5: Writing Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
6回	**授業テーマ：More Reading Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 2: Reading Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
7回	**授業テーマ：More Listening Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 3: Listening Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
8回	**授業テーマ：More Speaking Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 4: Speaking Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
9回	**授業テーマ：More Writing Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 5: Writing Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
10回	**授業テーマ：English Grammar, Usage, Mechanics, Style, Organization, and Development** 授業内容：Chapter 10: Writer's Handbook for English Language Learners 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

11回	**授業テーマ：English Grammar, Usage, Mechanics, Style, Organization, and Development** 授業内容：Chapter 10: Writer's Handbook for English Language Learners 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
12回	**授業テーマ：More Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Authentic TOEFL iBT Practice Test 1 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
13回	**授業テーマ：More Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Authentic TOEFL iBT Practice Test 1 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
14回	**授業テーマ：More Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Authentic TOEFL iBT Practice Test 1 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
15回	**授業テーマ：Semester 1 Final Class** 授業内容：Final Exam/Course Review 事前学修 2.0hr：prepare for the exam as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

Academic English Ⅰ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ロウェナ　ジョンソン

▌授業の概要

This course will prepare students to pass the IELTS exam with a minimum score of 5.5. The course will cover all four skills (speaking, reading, listening, and writing) and there will be a strong focus on practice tests to assess students abilities and areas for improvement. Students will receive individual advice and support to ensure they reach their full potential and are confident when sitting the IELTS exam.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：This course aims to help every student achieve a minimum score of 5.5 on the IELTS exam. Students will gain confidence in test taking skills.

個別目標：This course will help every student achieve a minimum score of 5.5 on the IELTS exam.

▌履修条件

Students are required to attend class every week and complete all homework assignments fully. There will be practice tests conducted throughout the course and students must prepare to sit these exams under test conditions.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated on a final exam (100%). Students will continually take practice tests and receive feedback and comments on areas of improvement.

▌フィードバック方法

Feedback will be given during every class and after every practice test and final exam.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

The Official Cambridge guide to IELTS

▌参考書

The Official Cambridge guide to IELTS

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：IELTS Listening skills: 1** 授業内容：Understanding the context. Using the correct spelling. Writing numbers. 事前学修 3.0hr：Read pages 5-12 of the textbook. 事後学修 3.0hr：Complete unit 1 and read unit 1: reading skills
2回	**授業テーマ：IELTS Reading Skills: 1** 授業内容：Using the features of a reading passage. Skimming a passage and speed reading. Global understanding. 事前学修 3.0hr：Complete unit 1: listening skills and read unit 1: reading skills. 事後学修 3.0hr：Complete unit 1: reading skills and read unit 1: writing skills.
3回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 1** 授業内容：Understanding graphs, tables and charts. More complex charts. Improve your Task Achievement score. 事前学修 3.0hr：Complete unit 1: reading skills and read unit 1: writing skills. 事後学修 3.0hr：Complete unit 1: writing skills and read unit 1: speaking skills
4回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 1** 授業内容：Getting ready to speak. Part 1-talking about familiar topics. Using the right tense. 事前学修 2.0hr：Complete unit 1: writing skills and read unit 1:speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 1: speaking skills and read unit 2: listening skills..
5回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 2** 授業内容：Following a conversation. Identifying the speakers. Identifying function. Understanding categories. 事前学修 2.0hr：Complete unit 1: speaking skills and read unit 2: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: listening skills and read unit 2: reading skills.
6回	**授業テーマ：IELTS reading skills: 2** 授業内容：Descriptive passage. Scanning for details. Using words from the passage. 事前学修 2.0hr：Complete unit 2: listening skills and read unit 2: reading skills. 事後学修 2.0hr：Take one practice test under test conditions.
7回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 2** 授業内容：Comparing and contrasting graphs and tables. Avoiding repetitions. Comparing and contrasting data. 事前学修 2.0hr：Reflect on practice test scores. Read unit 2: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: writing skills, read unit 3: speaking skills.

8回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 3** 授業内容：Part 2 - Giving a talk. Understanding the task. Improving fluency and coherence. Organising your notes and your talk. 事前学修 2.0hr：Complete unit 2 writing skills, read unit 3: speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: speaking skills, read unit 3: listening skills.
9回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 3** 授業内容：Recognising paraphrase. Identifying distractors. Recognising paraphrase. Selecting from a list. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 speaking skills, read unit 3: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 listening skills, read unit 3: reading skills.
10回	**授業テーマ：IELTS Reading skills: 3** 授業内容：Understanding the main idea. Locating and matching information. How ideas are connected. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 listening skills, read unit 3: reading skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 reading skills, read unit 3: writing skills.
11回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 3** 授業内容：Describing diagrams. Describing a process - coherence and cohesion. Lexical resource - being accurate. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 reading skills, read unit 3: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 writing skills, read unit 3: speaking skills.
12回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 3** 授業内容：Talking about abstract topics. Agreeing and disagreeing. Improving your Lexical Resource score. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 writing skills, read unit 3: speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 speaking skills. Revise for the test.
13回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
14回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
15回	**授業テーマ：Final Exam and feedback.** 授業内容：Final exams and feedback. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Review the course.

Academic English Ⅱ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

伊勢　佳奈 (いせ　よしな)

▌授業の概要

This is a set course with Advanced English Skills B. Following the first semester, the course is designed to further prepare students for the TOEFL iBT test. Students will be more familiar with the format and with the types of questions asked in each section of reading, listening, speaking, and writing as the TOEFL iBT test is structured into these four areas. The curriculum places further emphasis on the skills work and practices of each section. Students will further practice, build and develop skills and strategies necessary in order to be successful on the test. Students are recommended to take the TOEFL iBT or IELTS test twice per semester.
The course syllabus is subject to change depending on the class needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Students improve their reading, listening, speaking and writing skills at the level of English-speaking universities. The goal is to score a minimum of 60 (5.5 for IELTS; 500 for ITP) in the first year in order to proceed to the second year.
個別目標：Strength and weakness of each student in the areas are determined and targeted for improvement. Each student is encouraged to score higher in the areas than his/her previous TOEFL iBT/IELTS or ITP test score taken.

▌履修条件

Students are required to enroll in Advanced English Skills B as well.

▌評価基準・方法

Grades will be based strictly on attendance/attitude/performance, class works, assignments, a final exam, and an achievement of the minimum required score in TOEFL iBT (60) or IELTS (5.5) to receive credit for this course.

▌フィードバック方法

Feedback to the students will be given in the class for the class works of reading, listening, speaking, and writing sections, and through Google Classroom for the assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Required for speaking activities.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC required for class works and assignments.）

▌教科書

ETS The Official Guide to the TOEFL iBT Test 7th edition (ISBN: 978-1265477318)

▌参考書

Other materials as appropriate may be introduced in the class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction/Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Course Orientation/Chapter 7: Authentic TOEFL IBT Practice Test 2 事前学修 1.0hr：review the materials studied in the first semester 事後学修 2.0hr：review as specified
2回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 7: Authentic TOEFL IBT Practice Test 2 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
3回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 7: Authentic TOEFL IBT Practice Test 2 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
4回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 8: Authentic TOEFL IBT Practice Test 3 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
5回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 8: Authentic TOEFL IBT Practice Test 3 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
6回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 8: Authentic TOEFL IBT Practice Test 3 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
7回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 9: Authentic TOEFL IBT Practice Test 4 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
8回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 9: Authentic TOEFL IBT Practice Test 4 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
9回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 9: Authentic TOEFL IBT Practice Test 4 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
10回	**授業テーマ：More Reading and Listening Practice Tasks** 授業内容：Reading and Listening Practice Tasks 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

11回	**授業テーマ：More Speaking and Writing Practice Tasks** 授業内容：Speaking and Writing Practice Tasks 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
12回	**授業テーマ：More Reading and Listening Practice Tasks** 授業内容：Reading and Listening Practice Tasks 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
13回	**授業テーマ：More Speaking and Writing Practice Tasks** 授業内容：Speaking and Writing Practice Tasks 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
14回	**授業テーマ：Exam Preparation** 授業内容：Review of Reading, Listening, Speaking, and Writing Sections 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
15回	**授業テーマ：Semester 2 Final Class** 授業内容：Final Exam/Course Review 事前学修 2.0hr：prepare for the exam as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

Academic English Ⅱ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ロウェナ　ジョンソン

▌授業の概要

This course will prepare students to pass the IELTS exam with a minimum score of 5.5. The course will cover all four skills (speaking, reading, listening, and writing) and there will be a strong focus on practice tests to assess students abilities and areas for improvement. Students will receive individual advice and support to ensure they reach their full potential and are confident when sitting the IELTS exam.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：This course aims to help every student achieve a minimum score of 5.5 on the IELTS exam. Students will gain confidence in test taking skills.

個別目標：This course will help every student achieve a minimum score of 5.5 on the IELTS exam.

▌履修条件

Students are required to attend class every week and complete all homework assignments fully. There will be practice tests conducted throughout the course and students must prepare to sit these exams under test conditions.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated on attendance, attitude, performance, class work, assignments, a final exam and an achievemnet of the minimum required score in IELTS (5.5).

Students will continually take practice tests and receive feedback and comments on areas for improvement.

▌フィードバック方法

Feedback will be given during every class and after every practice test and final exam.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

The Official Cambridge guide to IELTS

▌参考書

The Official Cambridge guide to IELTS

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：IELTS Listening skills: 1** 授業内容：Understanding the context. Using the correct spelling. Writing numbers. 事前学修 3.0hr：Read pages 5-12 of the textbook. 事後学修 3.0hr：Complete unit 1 and read unit 1: reading skills
2回	**授業テーマ：IELTS Reading Skills: 1** 授業内容：Using the features of a reading passage. Skimming a passage and speed reading. Global understanding. 事前学修 3.0hr：Complete unit 1: listening skills and read unit 1: reading skills. 事後学修 3.0hr：Complete unit 1: reading skills and read unit 1: writing skills.
3回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 1** 授業内容：Understanding graphs, tables and charts. More complex charts. Improve your Task Achievement score. 事前学修 3.0hr：Complete unit 1: reading skills and read unit 1: writing skills. 事後学修 3.0hr：Complete unit 1: writing skills and read unit 1: speaking skills
4回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 1** 授業内容：Getting ready to speak. Part 1-talking about familiar topics. Using the right tense. 事前学修 2.0hr：Complete unit 1: writing skills and read unit 1:speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 1: speaking skills and read unit 2: listening skills..
5回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 2** 授業内容：Following a conversation. Identifying the speakers. Identifying function. Understanding categories. 事前学修 2.0hr：Complete unit 1: speaking skills and read unit 2: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: listening skills and read unit 2: reading skills.
6回	**授業テーマ：IELTS reading skills: 2** 授業内容：Descriptive passage. Scanning for details. Using words from the passage. 事前学修 2.0hr：Complete unit 2: listening skills and read unit 2: reading skills. 事後学修 2.0hr：Take one practice test under test conditions.
7回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 2** 授業内容：Comparing and contrasting graphs and tables. Avoiding repetitions. Comparing and contrasting data. 事前学修 2.0hr：Reflect on practice test scores. Read unit 2: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: writing skills, read unit 3: speaking skills.

8回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 3** 授業内容：Part 2 - Giving a talk. Understanding the task. Improving fluency and coherence. Organising your notes and your talk. 事前学修 2.0hr：Complete unit 2 writing skills, read unit 3: speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: speaking skills, read unit 3: listening skills.
9回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 3** 授業内容：Recognising paraphrase. Identifying distractors. Recognising paraphrase. Selecting from a list. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 speaking skills, read unit 3: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 listening skills, read unit 3: reading skills.
10回	**授業テーマ：IELTS Reading skills: 3** 授業内容：Understanding the main idea. Locating and matching information. How ideas are connected. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 listening skills, read unit 3: reading skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 reading skills, read unit 3: writing skills.
11回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 3** 授業内容：Describing diagrams. Describing a process - coherence and cohesion. Lexical resource - being accurate. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 reading skills, read unit 3: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 writing skills, read unit 3: speaking skills.
12回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 3** 授業内容：Talking about abstract topics. Agreeing and disagreeing. Improving your Lexical Resource score. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 writing skills, read unit 3: speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 speaking skills. Revise for the test.
13回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
14回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
15回	**授業テーマ：Final Exam and feedback.** 授業内容：Final tests and feedback. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Review the course.

Academic English Ⅲ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

伊勢　佳奈 (いせ　よしな)

▌授業の概要

The course provides in-depth instruction in the four areas of reading, listening, speaking, and writing to the students with the existing knowledge of TOEFL iBT test as studied in the first year. The aim of the course is for the students to score higher on the test and to prepare them for their study abroad program (for Japanese nationals). Students are recommended to take the TOEFL iBT or IELTS test twice per semester.
The course syllabus is subject to change depending on the class needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Students improve their reading, listening, speaking, and writing skills at the level of English-speaking universities. The goal is to score a minimum of 70 (6.0 for IELTS) this semester, and eventually to score a minimum of 80 (6.5 for IELTS) in order to proceed to the third year and for the Japanese nationals, to participate in the one-year study abroad program, leading them to the broadening of an individual's perspective and corresponding to globalization.

個別目標：Each student is encouraged to score higher in the four areas than his/her previous TOEFL iBT or IELTS test score taken.

▌履修条件

Students need to have scored a minimum of 60 in TOEFL iBT (5.5 for IELTS; 500 for ITP) and to have passed the Academic English II course.

▌評価基準・方法

Grades will be strictly based on attendance/attitude/performance, class works, assignments, and a final exam.

▌フィードバック方法

Feedback to the students will be given in the class for the class works of reading, listening, speaking, and writing sections, and through Google Classroom for the assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Required for speaking activities.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC required for class works and assignments.）

▌教科書

Barron's TOEFL iBT 18th Edition (ISBN: 978-1506290539)

▌参考書

Other materials as appropriate may be introduced in the class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction/Course Orientation/Pre-Test** 授業内容：Course Orientation/Chapter 1: Study Plan/Chapter 2: Orientation/Chapter 3: Pretest- Model Test 1 事前学修 1.0hr：review the materials studied in the first year and preview the textbook 事後学修 2.0hr：review as specified
2回	**授業テーマ：Pretest** 授業内容：Chapter 3: Pretest- Model Test 1 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
3回	**授業テーマ：Reading Section Practice Tasks & Strategies** 授業内容：Chapter 4: Review of TOEFL iBT Sections 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
4回	**授業テーマ：Listening Practice Tasks & Strategies** 授業内容：Chapter 4: Review of TOEFL iBT Sections 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
5回	**授業テーマ：Speaking Practice Tasks & Strategies** 授業内容：Chapter 4: Review of TOEFL iBT Sections 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
6回	**授業テーマ：Writing Practice Tasks & Strategies** 授業内容：Chapter 4: Review of TOEFL iBT Sections 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
7回	**授業テーマ：Campus Vocabulary, Taking Notes, Paraphrasing, Summarizing, & Synthesizing** 授業内容：Chapter 5: Academic Skills 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
8回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 2 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
9回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 2 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
10回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 2 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

11回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 3 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
12回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 3 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
13回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 3 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
14回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Reading & Listening Sections 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
15回	**授業テーマ：Final Exam/Semester 1 Final Class** 授業内容：Speaking & Writing Sections/Course Review 事前学修 2.0hr：prepare for the exam as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

Academic English Ⅲ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ロウェナ　ジョンソン

▌授業の概要

This course will prepare students to pass the IELTS exam with a minimum score of 6.5. The course will cover all four skills (speaking, reading, listening, and writing) and there will be a strong focus on practice tests to assess students abilities and areas for improvement. Students will receive individual advice and support to ensure they reach their full potential and are confident when sitting the IELTS exam. Course content is subject to change based on students' needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：The goal of this class is for every student to achieve a minimum score of 6.5 on the IELTS exam. Students will gain confidence in test taking skills and techniques.

個別目標：The goal of this class is for every student to achieve a minimum score of 6.5 on the IELTS exam.

▌履修条件

Students are required to attend class every week and complete all homework assignments fully. There will be practice tests conducted throughout the course and students must prepare to sit these exams under test conditions.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated on a final exam (100%). Students will continually take practice tests and receive feedback and comments on areas of improvement.

▌フィードバック方法

Feedback will be given during class and after every practice test and final exam.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

The Official Cambridge Guide to IELTS.

▌参考書

The Official Cambridge Guide to IELTS.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：IELTS Listening skills: 4** 授業内容：Places and directions. Describing a place. Following directions. Labelling a map. 事前学修 2.0hr：Read pages 5-12 of the textbook. 事後学修 2.0hr：Complete unit 4: listening skills and read unit 4: reading skills
2回	**授業テーマ：IELTS Reading skills: 4** 授業内容：Locating and matching information. Identifying types of information. How ideas are connected. 事前学修 2.0hr：Complete unit 4: listening skills and read unit 4:reading skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 4: reading skills and read unit 4: writing skills.
3回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 4** 授業内容：Describing a map. Describing changes in a place. Grammatical accuracy. 事前学修 2.0hr：Complete unit 4: reading skills and read unit 4: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 4: writing skills and read unit 4: speaking skills
4回	**授業テーマ：IELTS Speaking skills: 2** 授業内容：Understanding the task. Improving fluency and coherence. Organising your notes and your talk. 事前学修 2.0hr：Complete unit 4: writing skills and read unit 2: speaking skills 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: speaking skills and read unit 5: listening skills
5回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 5** 授業内容：Listening for actions and processes. Understanding mechanical parts. Describing an action or process. 事前学修 2.0hr：Complete unit 2: speaking skills and read unit 5: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 5: listening skills and read unit 5: reading skills.
6回	**授業テーマ：IELTS Reading skills: 5** 授業内容：Discursive passages. Identifying theories and opinions. Matching features. 事前学修 2.0hr：Complete unit 5: listening skills and read unit 5: reading skills. 事後学修 2.0hr：Take one practice test under test conditions.
7回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 5** 授業内容：Understanding the task. Improving your score. Checking and correcting. 事前学修 2.0hr：Reflect on practice test scores. Read unit 5: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 5: writing skills, read unit 3: speaking skills.

8回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 3** 授業内容：Talking about abstract topics. Agreeing and disagreeing. Improving your Lexical Resourse score. 事前学修 2.0hr：Complete unit 5: writing skills, read unit 3: speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3: speaking skills, read unit 6: listening skills.
9回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 6** 授業内容：Identifying attitudes and opinions. Persuading and suggesting. Reaching a decision. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 speaking skills, read unit 6: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 6: listening skills, read unit 6: reading skills.
10回	**授業テーマ：IELTS Reading Skills: 6** 授業内容：Multiple choice questions. Understanding longer pieces of text. Different types of multiple choice. Identifying a writer's purpose. 事前学修 2.0hr：Complete unit 6 listening skills, read unit 6: reading skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 6 reading skills, read unit 6: writing skills.
11回	**授業テーマ：IELTS writing skills: 6** 授業内容：Understanding the task. Planning and organising your ideas. Writing an introduction. 事前学修 2.0hr：Complete unit 6: reading skills, read unit 6: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 6 writing skills, read unit 4: speaking skills.
12回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 4** 授業内容：Dealing with problems. Pronunciation, intonation and 'chunking'. Assessing yourself and improving your score. 事前学修 2.0hr：Complete unit 6 writing skills, read unit 4: speaking skills. 事後学修 4.0hr：Complete unit 4 speaking skills. Revise for the test.
13回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
14回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
15回	**授業テーマ：Final Exam and feedback.** 授業内容：Final exam and feedback. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 3.0hr：Review the course.

Academic English Ⅳ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

伊勢　佳奈 (いせ　よしな)

▌授業の概要

The course continues to provide in-depth instruction in the four areas of reading, listening, speaking, and writing to the students with the existing knowledge of TOEFL iBT test as studied in the first semester of the second year. The aim of the course is for the students to score higher on the test and to prepare them for their study abroad program (for Japanese nationals). Students are recommended to take the TOEFL iBT or IELTS test twice per semester.

The course syllabus is subject to change depending on the class needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Students improve their reading, listening, speaking, and writing skills at the level of English-speaking universities. The goal is to score a minimum of 80 (6.5 for IELTS) in order to proceed to the third year and for the Japanese nationals, to participate in the one-year study abroad program, leading to the broadening of an individual's perspective and corresponding to globalization.

個別目標：Each student is encouraged to score higher in the four areas than his/her previous TOEFL iBT or IELTS test score taken.

▌履修条件

Students need to have scored a minimum of 60 in TOEFL iBT (5.5 for IELTS; 500 for ITP).

▌評価基準・方法

Grades will be strictly based on attendance/attitude/performance, class works, assignments, a final exam, and an achievement of the minimum required score in TOEFL iBT (80) or IELTS (6.5) to receive credit for this course.

▌フィードバック方法

Feedback to the students will be given in the class for the class works of reading, listening, speaking, and writing sections, and through Google Classroom for the assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Required for speaking activities.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC required for class works and assignments.）

▌教科書

Barron's TOEFL iBT 18th Edition (ISBN: 978-1506290539)

▌参考書

Other materials as appropriate may be introduced in the class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction/Course Orientation/Reading, Listening, Speaking, Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 4 事前学修 1.0hr：review the materials studied in the first semester 事後学修 2.0hr：review as specified
2回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 4 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
3回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 4 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
4回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 5 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
5回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 5 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
6回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 5 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
7回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 6 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
8回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 6 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
9回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 6 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
10回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 7 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

11回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 7 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
12回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Model Test 7 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
13回	**授業テーマ：More Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Review 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
14回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Reading & Listening Sections 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
15回	**授業テーマ：Final Exam/Semester 2 Final Class** 授業内容：Speaking & Writing Sections/Course Review 事前学修 2.0hr：prepare for the exam as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

Academic English Ⅳ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ロウェナ　ジョンソン

▌授業の概要

This course will prepare students to pass the IELTS exam with a minimum score of 6.5. The course will cover all four skills (speaking, reading, listening, and writing) and there will be a strong focus on practice tests to assess students abilities and areas for improvement. Students will receive individual advice and support to ensure they reach their full potential and are confident when sitting the IELTS exam. Course content is subject to change based on students' needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：The goal of this class is for every student to achieve a minimum score of 6.5 on the IELTS exam. Students will gain confidence in exam taking skills and techniques.

個別目標：The goal of this class is for every student to achieve a minimum score of 6.5 on the IELTS exam.

▌履修条件

Students are required to attend class every week and complete all homework assignments fully. There will be practice tests conducted throughout the course and students must prepare to sit these exams under test conditions.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated on attendance, attitude, performance, class work, assignments, a final exam and an achievemnet of the minimum required score in IELTS (6.5).

Students will continually take practice tests and receive feedback and comments on areas for improvement.

▌フィードバック方法

Feedback will be given during class and after every practice test and final exam.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

The Official Cambridge Guide to IELTS.

▌参考書

The Official Cambridge Guide to IELTS.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：IELTS Listening skills: 1** 授業内容：Understanding the context. Using the correct spelling. Writing numbers. 事前学修 2.0hr：Read pages 5-12 of the textbook. 事後学修 2.0hr：Complete unit 1: listening skills and read unit 1: Reading skills
2 回	**授業テーマ：IELTS Reading Skills: 1** 授業内容：Using the features of a reading passage. Skimming a passage and speed reading. Global understanding. 事前学修 2.0hr：Complete unit 1:Listening skills and read unit 1: Reading skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 1: reading skills and read unit 1: Writing skills.
3 回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 1** 授業内容：Understanding graphs, tables and charts. More complex charts. Improve your Task Achievement score. 事前学修 2.0hr：Complete unit 1: reading skills and read unit 1: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 1: writing skills and read unit 1: speaking skills
4 回	**授業テーマ：IELTS Speaking skills: 1** 授業内容：Getting ready to speak. Part 1-talking about familiar topics. Using the right tense. 事前学修 2.0hr：Complete unit 1: writing skills and read unit 1:speaking skills 事後学修 2.0hr：Complete unit 1: speaking skills and read unit 2: listening skills
5 回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 2** 授業内容：Following a conversation. Identifying the speakers. Identifying function. Understanding categories. 事前学修 2.0hr：Complete unit 1: speaking skills and read unit 2: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: listening skills and read unit 2: reading skills.
6 回	**授業テーマ：IELTS Reading skills: 2** 授業内容：Descriptive passages. Scanning for details. Using words from the passage. 事前学修 2.0hr：Complete unit 2: listening skills and read unit 2: reading skills. 事後学修 3.0hr：Take one practice test under test conditions.
7 回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 2** 授業内容：Comparing and contrasting graphs and tables. Avoiding repetitions. Comparing and contrasting data. 事前学修 2.0hr：Reflect on practice test scores. Read unit 2: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: writing skills, read unit 3: speaking skills.

8回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 2** 授業内容：Understanding the task. Improving fluency and coherence. Organising your notes and your talk. 事前学修 2.0hr：Complete unit 2 writing skills, read unit 2: speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: speaking skills, read unit 3: listening skills.
9回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 3** 授業内容：Recognising paraphrase. Identifying distractors. Selecting from a list. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 speaking skills, read unit 3: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 listening skills, read unit 3: reading skills.
10回	**授業テーマ：ILETS Reading Skills: 3** 授業内容：Understanding the main idea. Locating and matching information. How ideas are connected. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 listening skills, read unit 3: reading skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 reading skills, read unit 3: writing skills.
11回	**授業テーマ：IELTS writing skills: 3** 授業内容：Describing diagrams. Describing a process - coherence and cohesion. Lexical resource - being accurate. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 reading skills, read unit 3: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 writing skills, read unit 3: speaking skills.
12回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 3** 授業内容：Talking about abstract topics. Agreeing and disagreeing. Improving your Lexical Resourse score. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 writing skills, read unit 3: speaking skills. 事後学修 3.0hr：Complete unit 3 speaking skills. Revise for the test.
13回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
14回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final Exam 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam 事後学修 4.0hr：Review the course
15回	**授業テーマ：Final Exam and feedback.** 授業内容：Final exam and feedback. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 2.0hr：Review the course.

Advanced English skills A

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

伊勢　佳奈 (いせ　よしな)

▌授業の概要

This is a set course with Academic English I. The course is designed to prepare students for the TOEFL iBT test. Students will be familiar with the format and with the types of questions asked in each section of reading, listening, speaking, and writing as the TOEFL iBT test is structured into these four areas. The curriculum places emphasis on the skills work and practices of each section. Students will practice, build and develop skills and strategies necessary in order to be successful on the test. Students are recommended to take the TOEFL iBT or IELTS test twice per semester. The course syllabus is subject to change depending on the class needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Students improve their reading, listening, speaking, and writing skills at the level of English-speaking universities. The goal is to score a minimum of 50 (5.0 for IELTS; 460 for ITP) in the first semester.

個別目標：Strength and weakness of each student in the areas are determined and targeted for improvement. Each student is encouraged to score higher in the areas than his/her previous TOEFL iBT/IELTS or ITP test score taken.

▌履修条件

Students are also required to enroll in Academic English I.

▌評価基準・方法

Grades will be based strictly on attendance/attitude/performance, class works, assignments, and a final exam.

▌フィードバック方法

Feedback to the students will be given in the class for the class works of reading, listening, speaking, and writing sections, and through Google Classroom for the assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Required for speaking activities.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC required for class works and assignments.）

▌教科書

ETS The Official Guide to the TOEFL iBT Test 7th edition (ISBN: 978-1265477318)

▌参考書

Other materials as appropriate may be introduced in the class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction and Overview of the TOEFL iBT Test** 授業内容：Course Orientation/Chapter 1: About the TOEFL iBT Test 事前学修 0.5hr：preview the textbook 事後学修 1.0hr：review as specified
2回	**授業テーマ：Reading Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 2: Reading Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
3回	**授業テーマ：Listening Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 3: Listening Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
4回	**授業テーマ：Speaking Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 4: Speaking Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
5回	**授業テーマ：Writing Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 5: Writing Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
6回	**授業テーマ：More Reading Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 2: Reading Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
7回	**授業テーマ：More Listening Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 3: Listening Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
8回	**授業テーマ：More Speaking Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 4: Speaking Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
9回	**授業テーマ：More Writing Section Practice Tasks** 授業内容：Chapter 5: Writing Section 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
10回	**授業テーマ：English Grammar, Usage, Mechanics, Style, Organization, and Development** 授業内容：Chapter 10: Writer's Handbook for English Language Learners 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

11回	**授業テーマ：English Grammar, Usage, Mechanics, Style, Organization, and Development** 授業内容：Chapter 10: Writer's Handbook for English Language Learners 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
12回	**授業テーマ：More Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Authentic TOEFL iBT Practice Test 1 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
13回	**授業テーマ：More Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Authentic TOEFL iBT Practice Test 1 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
14回	**授業テーマ：More Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 6: Authentic TOEFL iBT Practice Test 1 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
15回	**授業テーマ：Semester 1 Final Class** 授業内容：Final Exam/Course Review 事前学修 2.0hr：prepare for the exam as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

Advanced English skills A

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ロウェナ　ジョンソン

▌授業の概要

This course will prepare students to pass the IELTS exam with a minimum score of 5.5. The course will cover all four skills (speaking, reading, listening, and writing) and there will be a strong focus on practice tests to assess students abilities and areas for improvement. Students will receive individual advice and support to ensure they reach their full potential and are confident when sitting the IELTS exam.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：This course aims to help every student achieve a minimum score of 5.5 on the IELTS exam. Students will gain confidence in test taking skills.

個別目標：This course will help every student achieve a minimum score of 5.5 on the IELTS exam.

▌履修条件

Students are required to attend class every week and complete all homework assignments fully. There will be practice tests conducted throughout the course and students must prepare to sit these exams under test conditions.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated on a final exam (100%). Students will continually take practice tests and receive feedback and comments on areas of improvement.

▌フィードバック方法

Feedback will be given during every class and after every practice test and final exam.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

The Official Cambridge guide to IELTS

▌参考書

The Official Cambridge guide to IELTS

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：IELTS Listening skills: 1** 授業内容：Understanding the context. Using the correct spelling. Writing numbers. 事前学修 3.0hr：Read pages 5-12 of the textbook. 事後学修 3.0hr：Complete unit 1 and read unit 1: reading skills
2 回	**授業テーマ：IELTS Reading Skills: 1** 授業内容：Using the features of a reading passage. Skimming a passage and speed reading. Global understanding. 事前学修 3.0hr：Complete unit 1: listening skills and read unit 1: reading skills. 事後学修 3.0hr：Complete unit 1: reading skills and read unit 1: writing skills.
3 回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 1** 授業内容：Understanding graphs, tables and charts. More complex charts. Improve your Task Achievement score. 事前学修 3.0hr：Complete unit 1: reading skills and read unit 1: writing skills. 事後学修 3.0hr：Complete unit 1: writing skills and read unit 1: speaking skills
4 回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 1** 授業内容：Getting ready to speak. Part 1-talking about familiar topics. Using the right tense. 事前学修 2.0hr：Complete unit 1: writing skills and read unit 1:speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 1: speaking skills and read unit 2: listening skills..
5 回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 2** 授業内容：Following a conversation. Identifying the speakers. Identifying function. Understanding categories. 事前学修 2.0hr：Complete unit 1: speaking skills and read unit 2: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: listening skills and read unit 2: reading skills.
6 回	**授業テーマ：IELTS reading skills: 2** 授業内容：Descriptive passage. Scanning for details. Using words from the passage. 事前学修 2.0hr：Complete unit 2: listening skills and read unit 2: reading skills. 事後学修 2.0hr：Take one practice test under test conditions.
7 回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 2** 授業内容：Comparing and contrasting graphs and tables. Avoiding repetitions. Comparing and contrasting data. 事前学修 2.0hr：Reflect on practice test scores. Read unit 2: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: writing skills, read unit 3: speaking skills.

8回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 3** 授業内容：Part 2 - Giving a talk. Understanding the task. Improving fluency and coherence. Organising your notes and your talk. 事前学修 2.0hr：Complete unit 2 writing skills, read unit 3: speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: speaking skills, read unit 3: listening skills.
9回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 3** 授業内容：Recognising paraphrase. Identifying distractors. Recognising paraphrase. Selecting from a list. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 speaking skills, read unit 3: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 listening skills, read unit 3: reading skills.
10回	**授業テーマ：IELTS Reading skills: 3** 授業内容：Understanding the main idea. Locating and matching information. How ideas are connected. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 listening skills, read unit 3: reading skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 reading skills, read unit 3: writing skills.
11回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 3** 授業内容：Describing diagrams. Describing a process - coherence and cohesion. Lexical resource - being accurate. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 reading skills, read unit 3: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 writing skills, read unit 3: speaking skills.
12回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 3** 授業内容：Talking about abstract topics. Agreeing and disagreeing. Improving your Lexical Resource score. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 writing skills, read unit 3: speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3 speaking skills. Revise for the test.
13回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
14回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
15回	**授業テーマ：Final Exam and feedback.** 授業内容：Final tests and feedback. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Review the course.

Advanced English skills B

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

伊勢　佳奈 (いせ　よしな)

▌授業の概要

This is a set course with Academic English II. Following the first semester, the course is designed to further prepare students for the TOEFL iBT test. Students will be more familiar with the format and with the types of questions asked in each section of reading, listening, speaking, and writing as the TOEFL iBT test is structured into these four areas. The curriculum places further emphasis on the skills work and practices of each section. Students will further practice, build and develop skills and strategies necessary in order to be successful on the test. Students are recommended to take the TOEFL iBT or IELTS test twice per semester.
The course syllabus is subject to change depending on the class needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Students improve their reading, listening, speaking and writing skills at the level of English-speaking universities. The goal is to score a minimum of 60 (5.5 for IELTS; 500 for ITP) in the first year in order to proceed to the second year.

個別目標：Strength and weakness of each student in the areas are determined and targeted for improvement. Each student is encouraged to score higher in the areas than his/her previous TOEFL iBT/IELTS or ITP test score taken.

▌履修条件

Students are required to enroll in Academic English II as well.

▌評価基準・方法

Grades will be based strictly on attendance/attitude/performance, class works, assignments, and a final exam.

▌フィードバック方法

Feedback to the students will be given in the class for the class works of reading, listening, speaking, and writing sections, and through Google Classroom for the assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Required for speaking activities.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC required for class works and assignments.）

▌教科書

ETS The Official Guide to the TOEFL iBT Test 7th edition (ISBN: 978-1265477318)

▌参考書

Other materials as appropriate may be introduced in the class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction/Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Course Orientation/Chapter 7: Authentic TOEFL iBT Practice Test 2 事前学修 1.0hr：review the materials studied in the first semester 事後学修 2.0hr：review as specified
2回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 7: Authentic TOEFL iBT Practice Test 2 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
3回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 7: Authentic TOEFL iBT Practice Test 2 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
4回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 7: Authentic TOEFL iBT Practice Test 3 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
5回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 7: Authentic TOEFL iBT Practice Test 3 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
6回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 7: Authentic TOEFL iBT Practice Test 3 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
7回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 7: Authentic TOEFL iBT Practice Test 4 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
8回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 7: Authentic TOEFL iBT Practice Test 4 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
9回	**授業テーマ：Reading, Listening, Speaking, and Writing Practice Tasks** 授業内容：Chapter 7: Authentic TOEFL iBT Practice Test 4 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
10回	**授業テーマ：More Reading and Listening Practice Tasks** 授業内容：Reading and Listening Practice Tasks 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

11回	**授業テーマ：More Speaking and Writing Practice Tasks** 授業内容：Speaking and Writing Practice Tasks 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
12回	**授業テーマ：More Reading and Listening Practice Tasks** 授業内容：Reading and Listening Practice Tasks 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
13回	**授業テーマ：More Speaking and Writing Practice Tasks** 授業内容：Speaking and Writing Practice Tasks 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
14回	**授業テーマ：Exam Preparation** 授業内容：Review of Reading, Listening, Speaking, and Writing Sections 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
15回	**授業テーマ：Semester 2 Final Class** 授業内容：Final Exam/Course Review 事前学修 2.0hr：prepare for the exam as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

Advanced English skills B

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ロウェナ　ジョンソン

▌授業の概要

This course will prepare students to pass the IELTS exam with a minimum score of 6.5. The course will cover all four skills (speaking, reading, listening, and writing) and there will be a strong focus on practice tests to asses students abilities and areas for improvement. Students will receive individual advice and support to ensure they reach their full potential and are confident when sitting the IELTS exam.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：The goal of this class is for every student to increase their confidence in English, gain a greater understanding of test taking skills and achieve a minimum score of 6.5 on the IELTS exam.

個別目標：The goal of this class is for every student to achieve a minimum score of 6.5 on the IELTS exam.

▌履修条件

Students are required to attend class every week and complete all homework assignments fully. There will be practice tests conducted throughout the course and students must prepare to sit these exams under test conditions.

▌評価基準・方法

The course will be evaluated through a final practice IELTS exam covering all four language skills (100%).

▌フィードバック方法

Test papers will be returned to students with time in class to discuss how to improve and areas to focus on. Feedback will be given during every class with specific areas for students to focus on identified.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

The Official Cambridge Guide to IELTS

▌参考書

The Official Cambridge Guide to IELTS

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：IELTS Listening skills: 4** 授業内容：Places and directions. Describing a place. Following directions. Labelling a map. 事前学修 2.0hr：Read the contents page of the textbook 事後学修 2.0hr：Complete unit 4: listening skills and read unit 4: reading skills
2回	**授業テーマ：IELTS Reading Skills: 4** 授業内容：Locating and matching information. Identifying types of information. How ideas are connected. 事前学修 2.0hr：Complete unit 4: Listening skills and read unit 4: reading skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 4: Reading skills and read unit 4: Writing skills.
3回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 4** 授業内容：Describing a map. Describing changes in a place. Grammatical accuracy. 事前学修 2.0hr：Complete unit 4: reading skills and read unit 4: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 4: writing skills and read unit 4: speaking skills
4回	**授業テーマ：IELTS Speaking skills: 2** 授業内容：Understanding the task. Improving fluency and coherence. Organising your notes and your talk. 事前学修 2.0hr：Complete unit 4: writing skills and read unit 2:speaking skills 事後学修 2.0hr：Complete unit 2: speaking skills and read unit 5: listening skills
5回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 5** 授業内容：Listening for actions and processes. Understanding mechanical parts. Describing an action or process. 事前学修 2.0hr：Complete unit 2: speaking skills and read unit 5: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 5: listening skills and read unit 5: reading skills.
6回	**授業テーマ：IELTS Reading skills: 5** 授業内容：Discursive passages. Identifying theories and opinions. Matching features. 事前学修 2.0hr：Complete unit 5: listening skills and read unit 2: reading skills. 事後学修 2.0hr：Take one practice test under test conditions.
7回	**授業テーマ：IELTS Writing skills: 5** 授業内容：Understanding the task. Improving your score. Checking and correcting. 事前学修 2.0hr：Reflect on practice test scores. Read unit 5: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 5: writing skills, read unit 3: speaking skills.

8回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 3** 授業内容：Talking about abstract topics. Agreeing and disagreeing. Improving your Lexical Resourse score. 事前学修 2.0hr：Complete unit 5: writing skills, read unit 3: speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 3: speaking skills, read unit 6: listening skills.
9回	**授業テーマ：IELTS listening skills: 6** 授業内容：Identifying attitudes and opinions. Persuading and suggesting. Reaching a decision. 事前学修 2.0hr：Complete unit 3 speaking skills, read unit 6: listening skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 6: listening skills, read unit 6: reading skills.
10回	**授業テーマ：IELTS Reading Skills: 6** 授業内容：Multiple choice questions. Understanding longer pieces of text. Different types of multiple choice. Identifying a writer's purpose. 事前学修 2.0hr：Complete unit 6 listening skills, read unit 6: reading skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 6 reading skills, read unit 6: writing skills.
11回	**授業テーマ：IELTS writing skills: 6** 授業内容：Understanding the task. Planning and organising your ideas. Writing an introduction. 事前学修 2.0hr：Complete unit 6: reading skills, read unit 6: writing skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 6 writing skills, read unit 4: speaking skills.
12回	**授業テーマ：IELTS speaking skills: 3** 授業内容：Dealing with problems. Pronunciation, intonation and 'chunking'. Assessing yourself and improving your score. 事前学修 2.0hr：Complete unit 6 writing skills, read unit 4: speaking skills. 事後学修 2.0hr：Complete unit 4 speaking skills. Revise for the test.
13回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
14回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Final exam. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Revise for the final exam.
15回	**授業テーマ：Final Exam and feedback.** 授業内容：Final exam and feedback. 事前学修 4.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 4.0hr：Review the course.

Advanced English skills C

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

伊勢　佳奈 (いせ　よしな)

▌授業の概要

The course is on Communication Studies. Communication Studies is an academic field that deals with processes of human communication and behavior. Communication, the use of messages to generate meaning, is a fundamental and essential part of life. This course provides an approach of theories and applications as to how verbal and nonverbal communications affect humans in different settings of interpersonal social interactions. The practicum experience will provide students with the opportunity to apply theories and principles in practice.
The course syllabus is subject to change depending on the class needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Knowing how to communicate is a key factor to success. Through the effective practices of communication, students will be able to improve personal, social, cultural and professional experiences between individuals and enterprises that they may encounter in this global world.

個別目標：An individual student will learn how to build and convey messages effectively. The course will help a student to become more confident, more articulate and to become a better communicator and an interpreter of communication.

▌履修条件

An interest and a desire to improve in communication.

▌評価基準・方法

Grades will be strictly based on attendance/attitude/performance, class works, assignments, exams, and a research project.

▌フィードバック方法

Feedback to the students will be given in the class for the class works, and through Google Classroom for the assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Required for communication activities.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC required for Digital PDF, class works and assignments.）

▌教科書

Communication in the Real World: An Introduction to Communication Studies (University of Minnesota Libraries Publishing)
https://open.lib.umn.edu/communication/(”Digital PDF”)

▌参考書

The Basics of Communication Studies 2nd Edition (Scott McLean)
Other materials as appropriate may be introduced in the class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction/History, Process, and Principles of Communication** 授業内容：Course Orientation/Chapter 1: Introduction to Communication Studies 事前学修 0.5hr：download the PDF and preview the material 事後学修 1.0hr：review as specified
2回	**授業テーマ：Perceiving Self and Others** 授業内容：Chapter 2: Communication and Perception 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
3回	**授業テーマ：Meaning and Functions of Language** 授業内容：Chapter 3: Verbal Communication 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
4回	**授業テーマ：Principles, Functions, and Types of Nonverbal Communication** 授業内容：Chapter 4: Nonverbal Communication 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
5回	**授業テーマ：Functions and Importance of Listening** 授業内容：Chapter 5: Listening 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
6回	**授業テーマ：Principles of Interpersonal Communication and Self-Disclosure** 授業内容：Chapter 6: Interpersonal Communication Processes 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
7回	**授業テーマ：Midterm Exam** 授業内容：Written Test on Chapters 1-6 事前学修 2.5hr：prepare for the exam as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
8回	**授業テーマ：Foundations of Relationships and Types of Relationships** 授業内容：Chapter 7: Communication in Relationships 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
9回	**授業テーマ：Explorations of Cultural Identity and Intercultural Communication** 授業内容：Chapter 8: Culture and Communication 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
10回	**授業テーマ：Development and Dynamics of Small Groups** 授業内容：Chapter 13: Small Group Communication 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified

11回	**授業テーマ：Roles and Communication in Small Groups** 授業内容：Chapter 14: Leadership, Roles and Problem Solving in Groups 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
12回	**授業テーマ：Functions and Theories of Mass Communication** 授業内容：Chapter 15: Media, Technology and Communication 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
13回	**授業テーマ：New Media Technologies, Society, Self, and Realtionships** 授業内容：Chapter 16: New Media and Communication 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
14回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Written Test on Chapters 7, 8, 13-16 事前学修 2.5hr：prepare for the exam as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
15回	**授業テーマ：Semester 1 Final Class** 授業内容：Project Presentation/Course Review 事前学修 3.0hr：prepare for the research project as specified 事後学修 1.0hr：review as specified

Advanced English skills D

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

伊勢　佳奈 (いせ　よしな)

▌授業の概要

The course is on Presentations. The course is designed to prepare students on how to deliver presentations. Presentation skills are a powerful tool to become an effective communicator which is a valuable life skill. Students learn and practice the public speaking skills which enable them to improve all areas of the language (such as speaking, reading, writing, listening, vocabulary, phonology and grammar), time management and to build confidence speaking in front of an audience.

The course syllabus is subject to change depending on the class needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Students learn to analyze audience and goals, plan, research, structure and effectively deliver ideas.

個別目標：Strength and weakness of each student in the areas of the presentation skills are determined and targeted for improvement. Each student is encouraged to improve the communication skill which is vital for an individual's academic, social and work lives.

▌履修条件

Not limited to, but recommended to have taken the Advanced English Skills C (Communication Studies) course in the first semester.

▌評価基準・方法

Grades will be based strictly on attendance/attitude/performance, class works, assignments, class presentations, and an exam.

▌フィードバック方法

Feedback to the students will be given in the class for the class works, and through Google Classroom for the assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Required for communication activities.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC required for class works and assignments.）

▌教科書

The Art of Public Speaking 12th Edition (Stephen E. Lucas)

ISBN-10: 1259095673 or ISBN-13: 978-1259095672

▌参考書

Other materials as appropriate may be introduced in the class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction/Principles of Public Speaking** 授業内容：Course Orientation/Chapter 1: Speaking in Public 事前学修 0.5hr：preview the textbook 事後学修 1.0hr：review as specified
2回	**授業テーマ：Guidelines for Ethical Speaking and Listening** 授業内容：Chapter 2: Ethics and Public Speaking/Chapter 3: Listening 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
3回	**授業テーマ：Preparing Speech** 授業内容：Chapter 4: Giving Your First Speech/Chapter 5: Selecting a Topic and a Purpose 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
4回	**授業テーマ：Audience Analysis and Researching** 授業内容：Chapter 6: Analyzing the Audience/Chapter 7: Gathering Materials 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specifid
5回	**授業テーマ：First Class Presentation/Examples, Statistics, Testimonies, and Citations as Supporting Materials** 授業内容：Class Presentation 1/Chapter 8: Supporting Your Ideas 事前学修 3.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
6回	**授業テーマ：Main Points of Speech** 授業内容：Chapter 9: Organizing the Body of the Speech 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
7回	**授業テーマ：Introduction and Conclusion of Speech** 授業内容：Chapter 10: Beginning and Ending the Speech 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
8回	**授業テーマ：Preparation Outline and Speaking Outline** 授業内容：Chapter 11: Outlining the Speech 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
9回	**授業テーマ：Using Language Accurately, Clearly, Vividly, and Appropriately** 授業内容：Chapter 12: Using Language/Chapter 13: Delivery 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
10回	**授業テーマ：Second Class Presentation/Guidelines for Preparing and Presenting Visual Aids** 授業内容：Class Presentation 2/Chapter 14: Using Visual Aids 事前学修 3.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
11回	**授業テーマ：Guidelines for Informative Speaking** 授業内容：Chapter 15: Speaking to Inform 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified

12回	**授業テーマ：Psychology of Persuasion, Kinds of Persuasive Speeches, and How to Appeal** 授業内容：Chapter 16: Speaking to Persuade/Chapter 17: Methods of Persuasion 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
13回	**授業テーマ：Kinds of Special Occasion Speeches** 授業内容：Chapter 18: Speaking on Special Occasions/Chapter 19: Speaking in Small Groups 事前学修 1.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
14回	**授業テーマ：Final Exam** 授業内容：Written Test on Chapters covered 事前学修 2.5hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified
15回	**授業テーマ：Semester 2 Final Class** 授業内容：Class Presentation 3/Course Review 事前学修 3.0hr：prepare as specified 事後学修 1.0hr：review as specified

Business Chinese Ⅰ-a (Elementary)

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

李　思薇（り　すうぇい）

▌授業の概要

This introductory Chinese course is designed to cover the first semester of study at the college level. Students develop real-life communicative skills as they discuss topics related to everyday life and learn useful grammatical structures. There is an emphasis on practicing a broad range of written and verbal communication skills and building cultural understanding. This course is suited for students who want a comprehensive introduction to the Chinese language. Coordinated practice develops students' listening, speaking, reading, and writing and builds proficiency in using the Chinese language in a variety of real-life situations. This course also helps students to develop interpretive, interpersonal, and presentation skills. Students are expected to preview and review for each class.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Our goal is to achieve basic linguistic and conversational competence in the Chinese language. Students will learn Chinese pinyin and its four tones, and to understand Chinese culture. Students will work on all the language skills - listening, speaking, reading, and writing. Students are also expected to work on building vocabulary and remembering sentence patterns to develop their spoken and written skills.

個別目標：By the end of the semester, the students are expected to be able to engage in a simple conversation, read and translate Chinese passages, and write a short essay related to daily life.

▌履修条件

None

▌評価基準・方法

Students will be evaluated by class participation and activities 20%, homework and assignment 30%, review exercises 5%, quizzes and tests 45%.

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be given for each assignment both by email and in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group Activity, individual and/or pair presentation, and conversation about the text）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （Taking notes by hand is part of practicing writing Chinese vocabulary）

▌教科書

Integrated Chinese Volume 1, 4th Edition, Simplified Characters by Yuehua Liu et al. Cheng & Tsui company, including the textbook, workbook, and CDs.

▌参考書

Other reading materials will be specified in class

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction【Basics】(1)** 授業内容：1. Syllabic structure, Pinyin, and pronunciation 2. Four tones and neutral tones 事前学修 1.0hr：Study textbook P2 - P12. Listen to audio, familiarize pinyin and practice pronunciation. 事後学修 1.0hr：Review P2-P12, preview P13-20. Listen to audio, practice pronunciation. Complete assignments.
2回	**授業テーマ：Introduction【Basics】(2)** 授業内容：1. Writing System 2. Important grammatical features 3. Useful expressions 事前学修 1.0hr：Preview P13-P20. Listen to audio, practice pinyin and tones. complete assignments. 事後学修 1.0hr：Listen to audio, practice pinyin and tones, prepare for quiz, preview Lesson 1, complete assignments.
3回	**授業テーマ：Lesson 1【Greetings】 Part I** 授業内容：1.【Basic】quiz 2. Exchange basic greetings, ask for a person's names and introduce yourself 3. Grammars 4. Language practice 事前学修 1.0hr：Prepare for quiz. Preview Part I, studay vocabulary, practice reading and listening along with audio, Dialogue comprehension. 事後学修 1.0hr：Review Part I. Study Part II vocabulary, dialogue, grammars, listen to audio,and complete assignments.
4回	**授業テーマ：Lesson 1 【Greetings】 Part II** 授業内容：1. Ask whether someone is a teacher or a student 2. Ask where someone's from 3. Grammars 4. Language practice 5. Cultural Literacy 事前学修 1.0hr：Study Part II vocabulary, grammar.Practice reading and listening along with audio, Dialogue comprehension. 事後学修 1.0hr：Prepare Lesson 1 quiz. Preview Lesson 2 Part I, practice listening and reading along with audio, complete assignments.
5回	**授業テーマ：Lesson 2 【Family】 Part I** 授業内容：1. Lesson 1 quiz 2. Use basic kinship terms to describe a family photo 3. Grammars 4. Language practice 事前学修 1.0hr：Study Part I vocabulary and grammar, Practice reading and listening along with audio, Dialogue comprehension. 事後学修 1.0hr：Review the lesson. Study Part II vocabulary,grammar,dialogue,cultural literacy; practice listening and reading along with audio, complete assignments.

6回	**授業テーマ：Lesson 2【Family】 Part II** 授業内容：1. Ask about someone's profession 2. Name some common professions 3. Grammars 4. Language practice 5. Cultural Literacy 事前学修 1.0hr：Study part II, dialogue, vocabulary, grammar,Cultrual literacy. Practice reading and listeniong along with audio,Dialogue comprehension. 事後学修 1.0hr：Prepare for midterm exam.
7回	**授業テーマ：Mid term exam** 授業内容：1. Lesson 2 quiz. 2. Review Lessons 【Basic】, 1 and 2 事前学修 1.0hr：Review Lessons 【Basic】, 1 and 2 vocabulary, grammar, dialogues; homework assignments and quizzes. Practice speaking. 事後学修 1.0hr：Study Lesso 3 part I vocabulary, grammar, dialogue, Practice reading and listening along with audio. complement assignments.
8回	**授業テーマ：Lesson 3 【Dates and Time】 Part I** 授業内容：1. Discuss mid-term exam results 2. Study times and dates, talk about ages and birthdays 3. Grammars 4. Language practice 事前学修 1.0hr：Study Part I vocabulary, grammar, dialogue, language notes. Practice reading and listening along with audio.Dialogue comprehension. complement assignments 事後学修 1.0hr：Review the lesson. Preview Part II practice listening and reading along with audio, complete assignments.
9回	**授業テーマ：Lesson 3 【Dates and Time】 Part II** 授業内容：1. Arrange a dinner date with someone 2. Grammars 3. Language practice 4. Cultural Literacy 事前学修 1.0hr：Study Part II vocabulary, language notes, grammar, dialogue, Cultural Literacy. Practice reading and listening along with audio.Dialogue comprehension. 事後学修 1.0hr：Prepare Lesson 3 quiz. Preview Lesson 4, listen to audo, read along with audio, complete assignments.
10回	**授業テーマ：Lesson 4 【Hobbies】 Part I** 授業内容：1. Lesson 3 quiz 2. Name common hobbies and ask about someone' s hobbies 3. Grammars 4. Language practice 事前学修 1.0hr：Preview Lesson 4 Part I vocabulary, grammar, langugage notes, dialogue. Practice listening and reading along with audio.Dialogue comprehension. 事後学修 1.0hr：Review the lesson, listen to audio, practice reading long with audio. Complete Part II assignments
11回	**授業テーマ：Lesson 4 【Hobbies】 Part II** 授業内容：1. Make plans for the weekend with friends 2. Grammars 3. Language practice 4. Cultural Literacy 事前学修 1.0hr：Preview Lesson 4 Part II vocabulary, grammar, language notes, dialogue. Practice listening and reading along with audio. 事後学修 1.0hr：Prepare for lesson 4 quiz, Preview Lesson 5, practice reading and listening along with audio. complete assignments
12回	**授業テーマ：Lesson 5【Visiting Friends】Part I** 授業内容：1. Lesson 4 quiz 2. Welcome a visitor, introduce one person to another 3. Grammars 4. Language practice 事前学修 1.0hr：Prepare Lesson 4 quiz. Preview Lesson 5 Part I vocabulary, grammar, dialogue. Practice listening and reading along with audio. 事後学修 1.0hr：Review the lesson, preview Part II, practice listening and reading along with audio. Complete Part II assignments.
13回	**授業テーマ：Lesson 5【Visiting Friends】Part II** 授業内容：1. Ask for beverages as a guest and offer beverages to a visitor. 2. Describe a visit to a friend' s place 3. Grammars 4. Language practice 5. Cultural Literacy 事前学修 1.0hr：Preview Lesson 5 Part II vocabulary, grammar,cultural literacy. Practice listening and reading along with audio. Dialogue comprehension. 事後学修 1.0hr：Prepare lesson 5 quiz, practice listening and reading along with audio.
14回	**授業テーマ：Final exam overview** 授業内容：1. Lesson 5 quiz 2. Overview Lessons 1-5 事前学修 1.0hr：Prepare for Lesson 5 quiz. 事後学修 1.0hr：Overview Lessons 1-5 vocabulary, grammar, dialogue; homework assignment, listening comprehension. Practice speaking.
15回	**授業テーマ：Final exam** 授業内容：Lessons 1-5 事前学修 1.0hr：Overview Lessons 1-5 vocabulary, grammar, dialogue; homework assignment, listening comprehension. Practice speaking. 事後学修 1.0hr：Continue to practice reading, listening and speaking 15 minutes a day. Review Lessons 1-5.

Business Chinese Ⅰ-b (Pre-intermediate)

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

李　思薇（り　すうぇい）

▌授業の概要

This course is the continuation of first semester Chinese I-a and is designed to cover the second semester of study at the college level to further students' communication and language skills. Students must have successfully completed the first semester of Chinese or its equivalent at Meikai University or elsewhere. This course also emphasizes practicing a broad range of written and verbal communication skills and building cultural understanding. This course is suited for students who want to further their study of the Chinese language. Coordinated practice enhances students' listening, speaking, reading and writing and builds proficiency in using the Chinese language in a variety of real-life situations. This course also incorporates interpretive, interpersonal, and presentational communication skills.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：We will continue our goal to achieve basic linguistic and conversational competence in the Chinese language. Students should master Chinese pinyin and its four tones, and further understand Chinese culture. Students will continue to work on all the language skills - listening, speaking, reading, and writing. Students are also expected to work on building vocabulary and remembering sentence patterns to enhance their spoken and written skills. In this course we will focus more on writing and presentational skills.

個別目標：By the end of the semester, the students are expected to be able to initiate a phone conversation, set up an appointment, ask a favor, talk about experience in learning Chinese, discuss academic achievement, discuss different means of transportation, express gratitude after receiving a favor, etc. The students should be able to conduct simple, practical conversations, give a presentation in Chinese, and write short passages on daily topics such as school life, shopping, transportation, dining etc.

▌履修条件

A grade of C or higher on Chinese I-a or equivalent

▌評価基準・方法

Students will be evaluated by class participation and activities 20%, homework and assignment 30%, review exercises 5%, quizzes and tests 45%.

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be given for each assignment both by email and in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり（Group activity, individual and/or pair presentation, practice speaking with classmates. Students also are asked to use newly learnt vocabulary, grammar to make sentences）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （Taking notes by hand is part of practicing writing Chinese characters.）

▌教科書

Integrated Chinese volume 1 & volume 2, 4th Edition, simplified characters by Yuehua Liu et al. Cheng & Tsui company, including the textbook, workbook, and CDs.

▌参考書

Other study materials will be specified in class

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Lesson 6【Making Appointments】 Part I** 授業内容：1. Pop quiz on Lessons 1-5 2. Making a phone conversation 3. Set up an appointment with a teacher on the phone 4. Grammars 5. Language practice 事前学修 1.0hr：Review Lessons 1-5.Preview lesson 6 part 1 vocabulary, grammar; dialogue comprehension, Complete Lesson 6 Part I assignment 事後学修 1.0hr：Review the lesson, practice reading and listening along with audio. Study Part IIComplete assignment.
2回	**授業テーマ：Lesson 6【Making Appointments】 Part II** 授業内容：1. Ask a favor 2. Ask someone to return your call 3. Grammars 4. Language practice 5. Cultural Literacy 事前学修 1.0hr：Study Part II vocabulary, grammars, dialogue, language notes,Cultural literacy. practice listening and reading along with audio. 事後学修 1.0hr：Prepare for Lesson 6 quiz.Study Lesson 7 Part I, complete assignments. Practice readng and listening along with audio.
3回	**授業テーマ：Lesson 7【Studying Chinese】 Part I** 授業内容：1. Lesson 6 quiz 2. Discuss your experience learning Chinese 3. Grammars 4. Language practice 事前学修 1.0hr：Study Part I vocabulary, grammars, dialogue, language notes, practice listening and reading along with audio.Dialogue comprehension. 事後学修 1.0hr：Review the lesson, Study Part II, complete assignments. Practice reading and listening along with audio
4回	**授業テーマ：Lesson 7【Studying Chinese】 Part II** 授業内容：1. Talk about your study habits. 2. Describe typical classroom situations 3. Grammars 4. Language practice 5. Cultural Literacy 事前学修 1.0hr：Study Part II vocabulary, grammars, dialogue, language notes, practice listening and reading along with audio. 事後学修 1.0hr：Prepare for Lesson 7 quiz. Study Lesson 8 Part I, complete assignments.Practice reading and listening along with audio.

5回	**授業テーマ：Lesson 8 【School Life】 Part I** 授業内容：1. Lesson 7 quiz 2. Describe a student' s daily routine 3. Learn to write a simple diary entry or blog post 4. Grammars 5. Language practice 事前学修 1.0hr：Study Part I vocabulary, grammars, diary, language notes, practice listening and reading along with audio. 事後学修 1.0hr：Review the lesson. Study Part II, complete assignments, and practice reading and listening with audio.
6回	**授業テーマ：Lesson 8【School Life】 Part II** 授業内容：1. Write a brief letter to update a friend on recent activities 2. Write an email invite a friend 3. Grammars 4. Language practice 5. Cultural literacy 事前学修 1.0hr：Study Part II vocabulary, grammars, letter, language notes, practice listening and reading along with audio. 事後学修 1.0hr：Prepare for Lesson 8 quiz. Practice reading and listening along with audio.
7回	**授業テーマ：Prepare for mid-term exam** 授業内容：1. Lesson 8 quiz 2. Review Lessons 6 - 8 事前学修 1.0hr：Review Lessons 6 – 8 vocabulary, grammars, exercises, texts, etc. Practice listening, reading, and speaking. 事後学修 1.0hr：Prepare for midterm exam.
8回	**授業テーマ：Midterm exam** 授業内容：Covers Lessons 6 – 8 事前学修 1.0hr：Prepare for mid-term exam, focus on Lessons 6 – 8 事後学修 1.0hr：Study Lesson 9 Part I vocabulary, grammar, dialogue, practice listening and reading along with audio, complete assignments
9回	**授業テーマ：Lesson 9【Shopping】 Part I** 授業内容：1. Discuss mid-term exam results 2. Learn colors, sizes, and Chinese currency 3. Learn payment methods 4. Grammars, language practice 事前学修 1.0hr：Study Part I vocabulary, grammars, dialogue, exercises. Practice reading and listening along with audio. Dialogue comprehension. 事後学修 1.0hr：Review the lesson. Study Part II,Practice reading and listening along with audio, complete assignments.
10回	**授業テーマ：Lesson 9 【Shopping】Part II** 授業内容：1. Exchange merchandise 2. How to ask for merchandise in a different size or color 3. Grammars 4. Language practice 5. Cultural Literacy 事前学修 1.0hr：Study Part II vocabulary, grammars, dialogue, exercises.Practice reading and listening. Dialogue comprehension 事後学修 1.0hr：Prepare for Lesson 9 quiz. Study Lesson 10 Part I, practice reading and listening, complete assignments.
11回	**授業テーマ：Lesson 10 【Transportation】 Part I** 授業内容：1. Lesson 9 quiz 2. Discuss different means of transportation 3. How to ride subway/bus, transfer from one to another 4. Grammars 5. Language practice 事前学修 1.0hr：Study Part I vocabulary, grammars, dialogue, exercises. Practice reading and listening along with audio.dialogue comprehension 事後学修 1.0hr：Review the lesson. Study Part II, practice listening and reading, complete assignments
12回	**授業テーマ：Lesson 10 【Transportation】Part II** 授業内容：1. Express gratitude after receiving a favor 2. Offer New Year wishes 3. Grammars 4. Language practice 5. Cultural literacy 事前学修 1.0hr：Study Part II vocabulary, grammars, email, exercises, practice reading and listening. Email comprehension. 事後学修 1.0hr：Prepare Lesson 10 quiz. Review P283 – P288.
13回	**授業テーマ：Wrapping up** 授業内容：1. Lesson 10 quiz 2. Review how some of the functional expressions from Lessons 6 – 10 3. Share list of any other casual expressions you would like to learn about 事前学修 1.0hr：Prepare Lesson 10 quiz. After reviewing P283 – P288, make a list of any other casual expressions you wish to learn, then share it in class. 事後学修 1.0hr：Review Lessons 9 – 10. Complete assignments as directed.
14回	**授業テーマ：Prepare for final** 授業内容：Review Lessons 6-10, focus on Lessons 9-10 事前学修 1.0hr：Review Lessons 9 – 10, practice listening, reading, and speaking. 事後学修 1.0hr：Prepare for final exam on Lessons 6-10 with focus on Lessons 9 – 10.
15回	**授業テーマ：Final exam** 授業内容：Final exam for Lessons 6-10 with focus on Lessons 9-10 事前学修 1.0hr：Prepare for final. 事後学修 0.5hr：Continue to practice reading, listening and speaking 15 minutes a day.

Business Chinese Ⅱ-a (Intermediate)

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

李　思薇（り　すうぇい）

▌授業の概要

Chinese II-a is the continuation of the first year course, Chinese I. It's designed for students who already have a basic level of Chinese. Students must have successfully completed the first-year Chinese course at Meikai University or its equivalent elsewhere. This second-year course builds upon the skills developed in the previous course, Chinese I, extending students' ability to understand and express themselves in Chinese with richer vocabulary and sentence structures, and continues to further the overview of Chinese language and culture through listening, speaking, reading, and writing in variety of everyday situations. In this course, we will have group work or/and presentations.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Students will extend their Chinese communication skills relating to a variety of real life situations. They are expected to respond and interact with peers and teacher in Chinese in class, and are expected to give presentations using appropriate Chinese. Students will also explore the customs, history, and art forms of Chinese people to deepen their understanding of the culture. Students should be able to write a short essay on everyday life topics as well.

個別目標：At the end of the course, students will be able to give extended information about themselves, their families and friends, daily life, and their immediate environment. Students should be able to write short passages on real life topics such as school life, dining, directions, seeing a doctor, dating etc. Students are also expected to use linguistic rules and vocabulary with confidence, and further their understanding of Chinese culture.

▌履修条件

A grade of C or higher on Chinese I-b (Integrated Chinese Volume 1) or equivalent

▌評価基準・方法

Students will be evaluated by class participation and activities 20%, homework and assignment 30%, review exercises 5%, quizzes and tests 45%.

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be given for each assignment both by email and in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group Activity, individual and/or pair presentation, and conversation about the text）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （Taking notes by hand is part of practicing writing Chinese vocabulary）

▌教科書

Integrated Chinese Volume 2 , 4th Edition, Simplified Characters by Yuehua Liu et al. Cheng & Tsui company, including the textbook, workbook, and CDs.

▌参考書

Other study materials will be specified in class

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Lesson 11【Weather】Part I** 授業内容：1. Pop quiz on Lessons 1-10 2. Talk about the weather in basic terms 3. Compare weather in two places 4. Grammars 5. Language practice v 事前学修 1.5hr：Study Part I vocabulary,grammar,dialogue comprehension. Reading and listening along with audio. Complete Part I assignments. 事後学修 1.5hr：Review Part I, practice listening and reading along with audio. Study Part II, complete assignments.
2回	**授業テーマ：Lesson 11【Weather】Part II** 授業内容：1. Talk about what you can do in nice or bad weather 2. Present a simple weather forecast 3. Grammars 4. Language practice 事前学修 1.5hr：Study Part II vocabulary, grammar. Dialogue comprehension. Reading and listening practice along with audio. 事後学修 1.5hr：Prepare for Lesson 11 quiz, practice listening and reading along with audio. Study Lesson 12 Part I, complete assignments.
3回	**授業テーマ：Lesson 12【Dining】 Part I** 授業内容：1. Lesson 11 quiz 2. How to ask if there are seats available at a restaurant 3. Order some Chinese dishes 4. Grammars 5. Cultural Literacy 事前学修 1.5hr：Review Lesson 11. Study Part I vocabulary,grammar,Dialogue comprehension.Reading and listening practice with audio. 事後学修 1.5hr：Review the lesson, Study Part II, complete assignments. Practice reading and listening along with audio
4回	**授業テーマ：Lesson 12【Dining】Part II** 授業内容：1. Describe your dietary preferences and restrictions 2. Ask for recommendations 3. Grammars 4. Language practice 事前学修 1.5hr：Study Part II vocabulary, grammar.Practice reading and listening along with audio, Dialogue comprehension. 事後学修 1.5hr：Prepare for Lesson 12 quiz, practice listening and reading along with audio. Study Lesson 13 Part I, complete assignments.

5回	**授業テーマ：Lesson 13 【Asking Directions】 Part I** 授業内容：1. Lesson 12 quiz 2. Ask for and give directions 3. Identify locations by using landmarks as references 4. Grammars 5. Language practice 事前学修 1.5hr：Review Lesson 12. Study Part I vocabulary,grammar. Dialogue comprehension. Reading and listening practice along with audio. 事後学修 1.5hr：Review Part I, practice listening and reading along with audio. Study Part II, complete assignments
6回	**授業テーマ：Lesson 13 【Asking directions】Part II** 授業内容：1. Describe whether two places are close to or far away from each other 2. Grammars 3. Language practice 4. Cultural Literacy 事前学修 1.5hr：Study Part II vocabulary, grammar. Dialogue comprehension. Reading and listening practice along with audio. 事後学修 1.5hr：Prepare for Lesson 13 quiz, practice listening and reading along with audio.
7回	**授業テーマ：Review for Mide term exam** 授業内容：1. Lesson 13 quiz 2. Review Lessons 11-13 事前学修 1.5hr：Review Lessons 11-13 vocabulary, grammar, dialogues, assignments. Reading and listening practice along with audio. 事後学修 1.5hr：Review Lessons 11 － 13, textbook, workbook, and quizzes. Reading and listening along with audio. Practice speaking.
8回	**授業テーマ：Mid-term exam** 授業内容：Exam on Lessons 11-13 事前学修 1.5hr：Review Lessons 11 － 13, prepare for mid-term exam. Reading and listening practice along with audio, and practice speaking. 事後学修 1.5hr：Study Lesson 14 Part I vocabulary, grammar. Dialogue comprehension. Reading and lstening along with audio, complete assignments.
9回	**授業テーマ：Lesson 14 【Birthday Party】 Part** 授業内容：1. Discuss mid-term exam results. 2. Ask a friend to go to a party with 3. Suggest things to bring to a get-together 4. Grammars 事前学修 1.5hr：Study Part I vocabulary,grammar. Dialogue comprehension. Reading and listening practice along with audio. 事後学修 1.5hr：Review Part I, practice listening and reading along with audio. Study Part II, complete assignments.
10回	**授業テーマ：Lesson 14 【Birthday Party】Part II** 授業内容：1. Describe a duration of time 2. Talk about the year of your birth and your Chinese zodiac sign 3. Grammars 4. Language practice 事前学修 1.5hr：Study Part II vocabulary, grammar. Dialogue comprehension. Reading and listening practice along with audio. Practice speaking. 事後学修 1.5hr：Prepare for Lesson 14 quiz, practice listening and reading along with audio. Study Lesson 15 Part I, complete assignments.
11回	**授業テーマ：Lesson 15 【Seeing a doctor】 Part I** 授業内容：1. Lesson 14 quiz 2. Describe common cold and allergy symptoms 3. Understand instructions on when and how often to take medications 4. Grammars 5. Language practice 事前学修 1.5hr：Study Part I vocabulary, grammar, and related exercises. Dialogue comprehension. Reading and listening practice along with audio. 事後学修 1.5hr：Review Part I, practice listening and reading along with audio. Study Part II, complete assignments.
12回	**授業テーマ：Lesson 15【Seeing a doctor】Part II** 授業内容：1. Talk about why you do or don’ t want to see the doctor. 2. Urge others to see a doctor when they are not feeling well 3. Grammars 4. Language practice 事前学修 1.5hr：Study Part II vocabulary,grammar, and related exercises. Dialogue comprehension. Reading and listening practice along with audio. 事後学修 1.5hr：Prepare for Lesson 15 quiz, practice listening and reading along with audio. Prepare for Lesson 15 quiz, practice listening and reading. Cultural comparison: medical care and food between China and your country.
13回	**授業テーマ：Cultural comparison** 授業内容：1. Lesson 15 quiz 2. Comparing medical care and food between China and your country 事前学修 1.5hr：Prepare for Lesson 15 quiz. Study pages 128 － 129, 158 － 160, comparing medical care and food in China and in your country. 事後学修 1.5hr：Review Lessons 11 － 15, vocabulary, grammar, dialogues,assignments, and quizzes.
14回	**授業テーマ：Review for final exam** 授業内容：Review Lessons 11 － 15 事前学修 1.5hr：Review Lessons 11-15, vocabulary, grammar, assignments, and quizzespractice listening and reading along with audio. 事後学修 1.5hr：Prepare for final exam, practice listening and reading along with audio, and speaking.
15回	**授業テーマ：Final exam** 授業内容：Final exam on Lessons 11-15, with focus on Lessons 14 － 15, 事前学修 1.5hr：Prepare for final exam, practice listening and reading, and speaking 事後学修 1.0hr：Continue to practice reading, listening and speaking 15 minutes a day. Review Lessons 11-15.

Business Chinese Ⅱ-b (Upper Intermediate)

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

李　思薇（り　すうぇい）

▌授業の概要

Chinese II-b is the continuation of the course Chinese II-a. To take this course, students must have successfully completed the previous Chinese course (II-a) at Meikai University or its equivalent elsewhere. This course builds upon the skills developed in the previous Chinese courses, strengthening students' Chinese language ability comprehensively through listening, speaking, reading, and writing in variety of everyday situations. This course continues to extend students' ability to understand and express themselves in Chinese with richer vocabulary and more complicated sentence structures. In this course, we will continue to have group work and/or presentations. The course also continues to further students' knowledge of Chinese culture.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：At the end of this course, students will be able to engage in a conversation with more detailed information about themselves, their daily life, and their surrounding environments in Chinese. Students will also be able to increase their understanding of Chinese language and culture. In addition, students should be able to write short essays on everyday life topics.

個別目標：Students will enhance their Chinese communication skills in the context of a variety of real life situations. They are expected to interact with peers and teacher through group work and presentations in class, and are expected to write short essays about, and to communicate effectively with native Mandarin Chinese speakers in practical settings on the following topics: renting a apartment, talking about sports, travel plans, checking in at airport and etc. Students are expected to prepare before each lesson and review after each lesson.

▌履修条件

A grade of C or higher on Chinese II-a or equivalent

▌評価基準・方法

Students will be evaluated by class participation and activities 20%, homework and assignment 30%, review exercises 5%, quizzes and tests 45%.

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be given for each assignment both by email and in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group Activity, individual and/or pair presentation, and conversation about the text）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （Taking notes by hand is part of practicing writing Chinese characters）

▌教科書

Integrated Chinese Volume 2 & Volume 3, 4th Edition, Simplified/Traditional Characters by Yuehua Liu et al. Cheng & Tsui company, including the textbook, workbook, and CDs

▌参考書

Other study materials will be specified in class

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Lesson 16 【Dating】 Part I** 授業内容：1. Pop quiz on Lessons 11-15 2. Describe how long you' ve known someone 3. Making plan with friends 4. Grammars 5. Language practice 事前学修 1.5hr：Study Part I vocabulary, grammar, dialogue, and related exercises. Reading and listening along with audio. complete assignments. 事後学修 1.5hr：Review Part I. Study Part II, practice listening and reading along with audio, complete assignments.
2回	**授業テーマ：Lesson 16 【Dating】 Part II** 授業内容：1. End a phone conversation politely 2. Grammars 3. Language practice 事前学修 1.5hr：Study Part II vocabulary, dialogue, language notes, grammars, and related exercises. Listen to audio. 事後学修 1.5hr：Prepare for Lesson 16 quiz. Study Lessons 17 Part I, practice listening and reading along with audio, complete assignments.
3回	**授業テーマ：Lesson 17【Renting an Apartment】 Part I** 授業内容：1. Lesson 16 quiz 2. Describe your current and ideal dwellings 3. State how long you have been living at your current residence 4. Grammars 5. Language practice 事前学修 1.5hr：Prepare for Lesson 16 quiz. Study Lesson 17 Part I vocabulary, grammar, narrative, and related exercises. Practice listening. 事後学修 1.5hr：Review Part I. Study Part II, practice listening and reading along with audio, complete assignments.
4回	**授業テーマ：Lesson 17【Renting an Apartment】 Part II** 授業内容：1. Explain why a place is or isn' t right for someone 2. Discuss and negotiate rent, utilities, and security deposits. 3, Grammars 4. Language practice 事前学修 1.5hr：Study Part II vocabulary, dialogue,grammars, and related exercises. Practice reading and listening along with audio 事後学修 1.5hr：Prepare for Lesson 17 quiz. Study Lessons 18 Part I, practice listening and reading along with audio, complete assignments.
5回	**授業テーマ：Lesson 18【Sports】 Part I** 授業内容：1. Lesson 17 quiz 2. Name and discuss some popular sports 3. Grammars 4. Language practice 事前学修 1.5hr：Study Part I vocabulary, dialogue, grammars, and related exercises.Practice reading and listening along with audio. 事後学修 1.5hr：Review Part I. Study Part II, practice listening and reading along with audio, complete assignments.

6回	**授業テーマ：Lesson 18【Sports】 Part II** 授業内容：1. Talk about your exercise habits 2. Compare soccer and American football in simple terms 3. Grammars 4. Language practice 事前学修 1.5hr：Study Part II vocabulary, dialogue, grammars, and related exercises. Practice reading and listening along with audio. 事後学修 1.5hr：Prepare for Lesson 18 quiz. Practice listening and reading along with audio.
7回	**授業テーマ：Review for midterm exam** 授業内容：1. Lessons 18 quiz 2. Review Lessons 16-18 3. Practice speaking 事前学修 1.5hr：Review Lessons 16-18 vocabulary, grammar,exercises,quizzes, reading and listening comprehensions. 事後学修 1.5hr：Prepare for midterm exam on Lessons 16-18. Practice reading and listening along with audio, and prepare for speaking.
8回	**授業テーマ：Midterm exam** 授業内容：Midterm exam on Lessons 16-18 事前学修 1.5hr：Prepare for midterm exam on Lessons 16-18. Practice reading and listening along with audio, and prepare for speaking. 事後学修 1.5hr：Study Lesson 19 Part I, practice listening and reading along with audio, complete assignments.
9回	**授業テーマ：Lesson 19 【Travel】Part I** 授業内容：1. Discuss mid-term exam results. 2. Talk about your plans, and describe your travel itinerary 3. Grammars 4. Language practice 事前学修 1.5hr：Study Part I vocabulary, dialogue, grammars,and related exercises. Practice reading and listening along with audio. 事後学修 1.5hr：Review Part I. Study Part II, practice listening and reading along with audio, complete assignments.
10回	**授業テーマ：Lesson 19【Travel】Part II** 授業内容：1. Ask for discounts, compare airfares and routes. 2. Ask about seat assignments and request meal accommodations 3. Grammars 4. Language practice 事前学修 1.5hr：Study Part II vocabulary, dialogue, grammars, and related exercises. Practice reading and listening along with audio. 事後学修 1.5hr：Prepare for Lesson 19 quiz. Study Lessons 20 Part I, practice listening and reading along with audio, complete assignments.
11回	**授業テーマ：Lesson 20 【At the Airport】 Part I** 授業内容：1. Lesson 19 quiz 2. Check in at the airport 3. Wish departing friends a safe journey 4. Grammars 5. Language practice 事前学修 1.5hr：Study Part I vocabulary, dialogue, grammars, and related exercises. Practice reading and listening along with audio. 事後学修 1.5hr：Review Part I. Study Part II, practice listening and reading along with audio, complete assignments.
12回	**授業テーマ：Lesson 20 【At the Airport】 Part II** 授業内容：1. Greet guests at the airport 2. Compliment someone’s language ability 3. Grammars 4. Language practice 事前学修 1.5hr：Study Part II vocabulary, dialogue, grammars, and related exercises. Practice reading and listening. 事後学修 1.5hr：Prepare for Lesson 20 quiz. Study pages 276－277, 308－310, and prepare for cultural comparison
13回	**授業テーマ：Cultural literacy** 授業内容：1. Lesson 20 quiz 2. Compare Chinese culture to your country’s culture 事前学修 1.5hr：Prepare for Lesson 20 quiz. Study pages 276－277, 308－310. Compare cultures between China and your country. 事後学修 1.5hr：Review Lessons 16－20, practice listening and reading along with audio.
14回	**授業テーマ：Review for final exam** 授業内容：1. Review Lessons 16-20 with focus on Lessons 19-20 2. Speaking exercise 事前学修 1.5hr：Review Lessons 16-20, vocabulary, grammar, exerciese, quizzes. practice listening and reading along with audio, and speaking. 事後学修 1.5hr：Prepare for final exam.
15回	**授業テーマ：Final exam** 授業内容：Final exam on Lessons 16-20 with focus on Lessons 19-20 事前学修 1.5hr：Prepare for final exam. Review workbook and textbook, quizzes and exercises. Practice listening and speaking. 事後学修 0.5hr：Continue to study Chinese 15 minutes a day.

Japanese A

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

林　苗（りん　みょう）

▌授業の概要

This course is designed for students with no or little background in Japanese. In the course, students will learn basic knowledge of Japanese such as Japanese characters, vocabulary, grammar, and basic sentence patterns necessary for communication with people from a variety of cultural background.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：The goals of this class are to acquire basic knowledge of Japanese that is necessary for communication and develop Japanese communication skills and deepen understanding of Japan.

個別目標：By the end of the course, students are expected to be able to

① read and write words written in hiragana and katakana.
② give simple explanations of things related to themselves.
③ ask simple questions about daily life and understand the answers of others.

▌履修条件

Students are required to take Japanese C with this course.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via term-end exam (40%), assignments (30%), quiz (20%), and reflection (10%).
To obtain a passing grade, students must attend 4/5 of the classes.

▌フィードバック方法

Feedback will be provided in the lesson or through the learning support system manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion, Group work, Presentation）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （In order to share class material.Please bring your laptop or tablet.）

▌教科書

to be distributed in class.

▌参考書

AJALT (著)『Japanese for Busy People 日本語Ⅰ: Kana Version』Kodansha International 出版社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance and classroom expressions** 授業内容：Useful Expressions/Online tools 事前学修 1.0hr：Read the syllabus of this class 事後学修 1.0hr：Read course materials and the schedule.
2回	**授業テーマ：Lesson 1　Hiragana** 授業内容：Read and Write Hiragana 事前学修 1.0hr：Read Lesson1 事後学修 1.0hr：Hiragana worksheet
3回	**授業テーマ：Lesson 2　Katakana** 授業内容：Read and Write Katakana 事前学修 1.0hr：Read Lesson2 事後学修 1.0hr：Katakana worksheet
4回	**授業テーマ：Review of Lesson1 and Lesson2** 授業内容：Review Lesson 1 and Lesson 2 事前学修 1.0hr：Review Lesson1 and Lesson2 事後学修 1.0hr：Worksheet for L1 & L2 review
5回	**授業テーマ：Lesson 3　Introductions** 授業内容：Talk about nationalities and occupations. Introduce yourself and others, at yourworkplace or at a party. 事前学修 1.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 1.0hr：complete an assignment.
6回	**授業テーマ：Lesson 4 Exchanging business cards** 授業内容：Talk about a nearby object and its owner. Ask for telephone numbers. 事前学修 1.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 1.0hr：complete an assignment.
7回	**授業テーマ：Review of Lesson 3 and Lesson 4** 授業内容：Review Lesson 3 and Lesson 4 事前学修 1.0hr：Review Lesson3 and Lesson4 事後学修 1.0hr：Worksheet for L3 & L4 review
8回	**授業テーマ：Lesson 5　Asking about business hours** 授業内容：Talk about the times of meetings and parties. Ask the hours of services in stores and hotels. 事前学修 1.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 1.0hr：complete an assignment.
9回	**授業テーマ：Lesson 6　Shopping,part Ⅰ** 授業内容：Ask the prices of items in a store and make a purchase. 事前学修 1.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 1.0hr：complete an assignment.

10回	**授業テーマ：Lesson 7　Shopping,part Ⅱ** 授業内容：Ask what the size,color,and country of origin of an item is,and buy the item. Buy one or more of an item, telling the clerk how many you need. 事前学修 1.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 1.0hr：complete an assignment.
11回	**授業テーマ：Review of Lesson 5, Lesson 6, Lesson 7** 授業内容：Review Lesson5, Lesson6, Lesson7 事前学修 1.0hr：Review Lesson 5, Lesson 6, Lesson 7 事後学修 1.0hr：Worksheet for L5 & L6 & L7 review
12回	**授業テーマ：Lesson 8　Confirming schedules** 授業内容：Talk about where you will go,when,and with whom. 事前学修 1.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 1.0hr：complete an assignment.
13回	**授業テーマ：Lesson 9　Visiting another company** 授業内容：Talk about travel destinations,places and people to visit,dates and times,and means of transportation. 事前学修 1.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 1.0hr：complete an assignment.
14回	**授業テーマ：Review of Lesson 8 and Lesson 9** 授業内容：Review Lesson8 and Lesson9 事前学修 1.0hr：Review Lesson8 and Lesson9 事後学修 1.0hr：Worksheet for L8 & L9 review
15回	**授業テーマ：Lesson 10　At a party** 授業内容：Term-end exam ／ Lesson10 事前学修 1.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 1.0hr：complete an assignment.

Japanese B

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

林　苗（りん　みょう）

▌授業の概要

The aim of the course is to help students develop communicative skills using basic Japanese. In the course, students will learn basic knowledge of Japanese such as orthographic system, vocabulary, grammar, and basic sentence patterns necessary for communication with people from a variety of cultural background.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：The goals of this class are to deepen understanding of Japan, develop Japanese communication skills in situations where international cultural exchange takes place and acquire knowledge of Japanese that is necessary for communication.

個別目標：By the end of the course, students are expected to be able to

① read words written in very basic kanji.
② interact with others about interests and entertainment.
③ give simple explanations of directions and locations.
④ express their own ideas and their opinions using simple expressions.

▌履修条件

Students are required to take Japanese D with this course.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via assignments (60%), quizzes (20%), an essay & presentation (10%) and a reflection sheet (10%).
To obtain a passing grade, students must attend 4/5 of the classes.

▌フィードバック方法

Feedback will be provided in the lesson or through the learning support system manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion, Group work, Presentation）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （In order to share class material.Please bring your laptop or tablet.）

▌教科書

to be distributed in class.

▌参考書

斎藤仁志・深澤道子・酒井理恵子・中村雅子 (著)『シャドーイング日本語を話そう！ 就職・アルバイト・進学面接編 [英語・中国語・韓国語訳版]』くろしお出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance and Pre-Assignment** 授業内容：Guidance and Pre-Assignment 事前学修 1.0hr：Read a syllabus of this class. 事後学修 2.0hr：Complete specified assignments.
2回	**授業テーマ：Lesson 1** 授業内容：Small talk. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
3回	**授業テーマ：Lesson 2** 授業内容：Appointment by phone. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
4回	**授業テーマ：Review and Quiz ①** 授業内容：Review and Quiz of Lesson 1 and Lesson 2 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
5回	**授業テーマ：Lesson 3** 授業内容：The Part-Time Job Interview. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
6回	**授業テーマ：Lesson 4** 授業内容：Full Coversation Practice. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
7回	**授業テーマ：Review and Quiz ②** 授業内容：Review and Quiz of Lesson 3 and Lesson 4 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
8回	**授業テーマ：Lesson 5** 授業内容：University and Technical School Admissions Interviews. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
9回	**授業テーマ：Lesson 6** 授業内容：Full Coversation Practice. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
10回	**授業テーマ：Review and Quiz ③** 授業内容：Review and Quiz of Lesson 5 and Lesson 6 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.

11回	**授業テーマ：Lesson 7** 授業内容：Group Interview. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
12回	**授業テーマ：Lesson 8** 授業内容：Group Discussion. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
13回	**授業テーマ：Review and Quiz ④** 授業内容：Review and Quiz of Lesson 7 and Lesson 8 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
14回	**授業テーマ：Lesson 9** 授業内容：Personal Appeal. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
15回	**授業テーマ：Presentations** 授業内容：Presentations of the Individual Interview 事前学修 2.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 2.0hr：Review the course.

Japanese C

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

林　苗（りん　みょう）

▌授業の概要

This course is designed for students with no or little background in Japanese. In the course, students will learn basic knowledge of Japanese that is necessary for communication in everyday life through various kinds of activities.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：The goals of this class are to acquire basic knowledge of Japanese that is necessary for communication and develop Japanese communication skills and deepen understanding of Japan.

個別目標：To acquire Japanese expressions to achieve tasks
To have knowledge of Japanese culture in everyday life
To be able to express your thoughts and opinions in simple Japanese

▌履修条件

Students are required to take Japanese A with this course.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via term-end exam (30%), assignments (40%), quiz (20%), and reflection (10%).
To obtain a passing grade, students must attend 4/5 of the classes.

▌フィードバック方法

Feedback will be provided in the lesson or through the learning support system manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion, Group work, Presentation）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （In order to share class material.Please bring your laptop or tablet.）

▌教科書

to be distributed in class.

▌参考書

AJALT (著)『Japanese for Busy People 日本語Ⅰ: Kana Version』Kodansha International 出版社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance & Pre test** 授業内容：Guidance & Pre test 事前学修 1.0hr：To check coursebook for communicative language competencies. 事後学修 1.0hr：Read course materials and the schedule.
2回	**授業テーマ：Lesson 1 Going to nikko** 授業内容：Talk abou tourist destinations. Describe what is inside a building. 事前学修 1.0hr：Read Lesson1 事後学修 1.0hr：Listening practice for Lesson 1
3回	**授業テーマ：Lesson 2 Looking for a parking lot** 授業内容：Talk about numbers of things or people that exist in a particular place. Talk about the whereabouts of things and people. 事前学修 1.0hr：Read Lesson2 事後学修 1.0hr：Listening practice for Lesson2
4回	**授業テーマ：Review of Topic 1（A weekend excursion）** 授業内容：Review Topic 1 事前学修 1.0hr：Review of Topic 1 事後学修 1.0hr：Conversation task for Topic 1
5回	**授業テーマ：Lesson 3 Making plans for the weekend** 授業内容：Talk about everyday doing-what you will do, when, and where. 事前学修 1.0hr：Read Lesson3 事後学修 1.0hr：Listening practice for Lesson 3
6回	**授業テーマ：Lesson 4 At a tempura restaurant** 授業内容：State how frequently you do something and give a brief reason for why you do it. Order food at a restaurant. 事前学修 1.0hr：Read Lesson4 事後学修 1.0hr：Listening practice for Lesson4
7回	**授業テーマ：Review of Topic 2（Dining out）** 授業内容：Review Topic 2 事前学修 1.0hr：Review of Topic 2 事後学修 1.0hr：Conversation task for Topic 2
8回	**授業テーマ：Lesson 5 Receiving hospitality** 授業内容：Talk about the characteristics of things and people. Use basic greetings when visiting people and receiving guests. 事前学修 1.0hr：Read Lesson5 事後学修 1.0hr：Listening practice for Lesson 5
9回	**授業テーマ：Lesson 6 Giving compliments** 授業内容：Talk about giving and receving gifts. Praise someone's possessions. 事前学修 1.0hr：Read Lesson 6 事後学修 1.0hr：Listening practice for Lesson 6

10回	**授業テーマ：Lesson 7 Expressing gratitude** 授業内容：Express your thoughts about experiences. Express gratitude. Make a telephone call. 事前学修 1.0hr：Read Lesson7 事後学修 1.0hr：Listening practice for Lesson7
11回	**授業テーマ：Review of Topic 3（Visiting a japanese home）** 授業内容：Review Topic 3 事前学修 1.0hr：Review of Topic 3 事後学修 1.0hr：Conversation task for Topic 3
12回	**授業テーマ：Lesson 8 Invitations** 授業内容：Talk about events. Invite someone/be invited to an event. Make plans with someone. 事前学修 1.0hr：Read Lesson8 事後学修 1.0hr：Listening practice for Lesson8
13回	**授業テーマ：Lesson 9 Participatinig in a festival** 授業内容：Taik about what you own. Offer to help someone/accept or reject someone's offer. Give a reason for offering someone something,inviting someone to do somgthing,or refusing someone's invitation. 事前学修 1.0hr：Read Lesson9 事後学修 1.0hr：Listening practice for Lesson9
14回	**授業テーマ：Review of Topic 4 (Going to a festival)** 授業内容：Review Topic 4 事前学修 1.0hr：Review of Topic 4 事後学修 1.0hr：Conversation task for Topic 4
15回	**授業テーマ：Lesson 10 Talking about plans** 授業内容：Talk about your schedule /Term-end exam 事前学修 1.0hr：Read Lesson10 事後学修 1.0hr：Listening practice for Lesson10

Japanese D

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

林　苗（りん　みょう）

▌授業の概要

This course provide opportunities to develop communication skills for everyday life. In Japanese D you will learn expressions through activities to achieve the tasks you face in everyday life.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Through activities, deepen understanding of Japanese culture and acquire Japanese language skills to promote communication with others in multiple cultures.

個別目標：To acquire Japanese expressions to achieve tasks
To have knowledge of Japanese culture in everyday life
To be able to express your thoughts and opinions in simple Japanese

▌履修条件

Students are required to take Japanese B with this course.

▌評価基準・方法

Students are evaluated by assignments (60%), quizzes (20%), final assignment & presentation (10%) and reflection papers (10%).
In principle, at least four-fifths of attendance is a prerequisite for evaluation.

▌フィードバック方法

Feedback on assignments is given during class or through the learning support system Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion, Group work, Presentation.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （In order to share class material.Please bring your laptop or tablet.）

▌教科書

to be distributed in class.

▌参考書

斎藤仁志・深澤道子・酒井理恵子・中村雅子 (著)『シャドーイング日本語を話そう！ 就職・アルバイト・進学面接編 [英語・中国語・韓国語訳版]』くろしお出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance & Pre Test** 授業内容：Guidance & Pre-Test 事前学修 2.0hr：Read course materials and the schedule. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
2回	**授業テーマ：Lesson 1** 授業内容：Questions About Your Strong and Weak Points. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
3回	**授業テーマ：Lesson 2** 授業内容：Questions About University and Study. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
4回	**授業テーマ：Review and Quiz ①** 授業内容：Review and Quiz of Lesson 1 and Lesson 2 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
5回	**授業テーマ：Lesson 3** 授業内容：Questions About Extracular Activities. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
6回	**授業テーマ：Lesson 4** 授業内容：Questions About Your Future. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
7回	**授業テーマ：Review and Quiz ②** 授業内容：Review and Quiz of Lesson 3 and Lesson 4 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
8回	**授業テーマ：Lesson 5** 授業内容：Questions About Your Skills and Abilities. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
9回	**授業テーマ：Lesson 6** 授業内容：Questions for Foreigners. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
10回	**授業テーマ：Review and Quiz ③** 授業内容：Review and Quiz of Lesson 5 and Lesson 6 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
11回	**授業テーマ：Lesson 7** 授業内容：Questions About Personal Character. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.

12回	**授業テーマ：Lesson 8** 授業内容：One-Minute Personal Appeal. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
13回	**授業テーマ：Review and Quiz ④** 授業内容：Review and Quiz of Lesson 7 and Lesson 8 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
14回	**授業テーマ：Lesson 9** 授業内容：Collection of phrases and answers for when you have trouble. 事前学修 2.0hr：prepare as specified. 事後学修 2.0hr：To complete assignments after the class as instructed.
15回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Presentation and course reflection 事前学修 2.0hr：Revise for the final exam. 事後学修 2.0hr：Review the course.

Japanese E

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

行田　悦子（こうだ　えつこ）

▌授業の概要

This course provides opportunities to acquire knowledge of Japanese business communication skills. Specifically, students learn the different business cultures. For example, how to learn from taking part in an intership to join a company, and how to fill out documents.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：By the end of this course, students will be able to use business communication skills at the Japanese firm.

個別目標：・Students will be able to understand Japanese speech intention and business practices of Japan.

・Students will be able to use appropriate expressions when working with Japanese.

▌履修条件

・Students are required to take Japanese F.

・Classes are preparation based. Each lesson will proceed under the assumption that the student has prepared. Please check the schedule and manaba for the preparations and assignments.

・If you will be absent, contact the instructor and explain the the reason for your absence.

▌評価基準・方法

The performance on the following items will be taken into account for the course grade: Participation in class activities 15%, Assignments 20%, Quizzes 15%, Oral performance 20%, and Final Exam 30%.

Students are required to attend 4/5（80%) or more of the scheduled classes in order to qualify to receive credits for the course.

▌フィードバック方法

Feedback on assignments and examinations will be provided in class and through the study supports system manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair/Group work, Mini-presentation, Discussion.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Bring your own PC, tablet or other device.）

▌教科書

『中級レベルロールプレイで学ぶビジネス日本語ー就活から入社まで』村山節子、山辺真理子、向山陽子　スリーエーネットワーク,2018

ISBN-10:4883197700

ISBN-13:978-4883197705

Purchase the textbook and be sure to bring it with you on the first day.

▌参考書

Will specify the reference books at class time.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance and self-evaluation** 授業内容：Course Introduction. Evaluate your current Japanese level and set your own learning goal and plan. 事前学修 2.0hr：Read the class syllabus. 事後学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba.
2回	**授業テーマ：1.Obtain information on internship** 授業内容：Importance of internship. Ask for information about internships at the Career Center. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. Complete an assignment for the next class through manaba.
3回	**授業テーマ：2.Apply for an internship /Create a resume** 授業内容：Prepare an internship application. Introduce yourself, strengths, and weaknesses. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. Complete an assignment for the next class through manaba.
4回	**授業テーマ：3.Take part in an internship** ① 授業内容：Work in a multilingual environment where Japanese is the primary language. Self-introduction, Greetings. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. Complete an assignment for the next class through manaba.
5回	**授業テーマ：4.Take part in an internship** ② 授業内容：Understand the Japanese company culture. Organization Chart. Different speaking styles. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. complete an assignment for the next class through manaba.
6回	**授業テーマ：5.Have job interview** ① 授業内容：Prepare for a job interview. Analyze your strengths and weaknesses and talk about them effectively. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. complete an assignment for the next class through manaba.
7回	**授業テーマ：6.Have job interview** ② **/Oral performance** 1 **:State the reason for applying the interview and your strengths** 授業内容：Participate in group discussions. Argue from data and experience. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. complete an assignment for the next class through manaba.
8回	**授業テーマ：7.Write and Talk about internship experience** ① 授業内容：Reflect and report on your internship experience. Explain what you have learned and experience with specific examples and data. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. complete an assignment for the next class through manaba.

9回	**授業テーマ：8.Write and Talk about internship experience ② /Oral performance 2：Speech** 授業内容：Analyze the Japanese workplace. Express gratitude to the internship supervisor. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. complete an assignment for the next class through manaba.
10回	**授業テーマ：9.Talking on the phone** 授業内容：Answer internal and external calls. Learn formal business expressions. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class. through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. complete an assignment for the next class through manaba.
11回	**授業テーマ：10.Convey message and information** 授業内容：Confirm or Change the schedule. Receive messages and write notes appropriately for business situations. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. complete an assignment for the next class through manaba.
12回	**授業テーマ：11.Arrange an appointment /Oral performance 3：Role play** 授業内容：Ask for the availability of clients. Reserve a meeting room. Send information to group members. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. complete an assignment for the next class through manaba.
13回	**授業テーマ：12.Apologize** 授業内容：Explain the situation or the problem, and apologize. Suggest appropriate solutions. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary. complete an assignment for the next class through manaba.
14回	**授業テーマ：13.Consult your supervisor for advice /Review for final exam** 授業内容：Explain the problem and ask for advice on a solution. Ask for permission. Review the course, and clarify what you don't understand yet. 事前学修 2.0hr：Complete an assignment before the class through manaba. Review the course for final exam. 事後学修 2.0hr：Review expressions and vocabulary for final exam.
15回	**授業テーマ：Final exam and Reflection** 授業内容：Final exam and feedback. Reflect on your learning. Evaluate and set a new goal and learning plan for your career. 事前学修 2.0hr：Review and prepare for final exam. 事後学修 2.0hr：Review the course and begin a new learning plan for your new goals.

Japanese F

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

山口　真葵（やまぐち　まき）

▌授業の概要

In this course, students will learn business communication skills for working in Japanese companies. Specifically, students will learn conversational expressions used when working in Japanese companies and business rules specific to Japanese culture.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：By the end of this course, students will be able to use business comminication skills at the Japanese firm.

個別目標：・Students will be able to understand Japanese speech intention and business practices of Japan.

・Students will be able to use appropriate expressions when working with Japanese.

▌履修条件

・Students are required to take Japanese E.

・Students have homework every time.Please submit your assignments on time.

・If you have to be absent, please contact the teacher.

▌評価基準・方法

Final Exam 30%, Evaluation in class 70% (short test, Course assignment, Homework, Self-reflection).

Student needs to attend 4/5 of the class sessions.

▌フィードバック方法

Provide feedback through the learning support system ”manaba” and in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり（This class will be a collaborative learning experience. Specifically, students will practice and evaluate business conversations with classmates. We will also discuss how to solve problems that arise in business situations in Japan.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『にほんごで働く！ ビジネス日本語 30 時間』宮崎道子・郷司幸子, スリーエーネットワーク

『外国人のための日本語敬語の使い方基本表現 85』清ルミ,J リサーチ出版

＊ Instructions on how to purchase the textbook will be provided in the first class. Please wait for the explanation before making the purchase.

▌参考書

Introduce as appropriate.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance & pre-test** 授業内容：An overview of this class will be given. A pre-test will also be given. 事前学修 2.0hr：Read the class syllabus. 事後学修 2.0hr：complete an assignment before the class.
2回	**授業テーマ：Introduction ①** 授業内容：(1) Introduce yourself (2) Greet people from other companies (3) Introduce your company’s people to other people 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
3回	**授業テーマ：Introduction ②** 授業内容：(1) Introduce yourself (2) Greet people from other companies (3) Introduce your company’s people to other people 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
4回	**授業テーマ：Greeting ①** 授業内容：(1) Greetings when you take a day off or leave early (2) Greetings when you see someone you haven’t seen in a while (3) Say congratulations (4) When you leave the company or are transferred 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
5回	**授業テーマ：Greeting ②** 授業内容：(1) Greetings when you take a day off or leave early (2) Greetings when you see someone you haven’t seen in a while (3) Say congratulations (4) When you leave the company or are transferred 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
6回	**授業テーマ：Make a call & receive a call ①** 授業内容：(1) Tell the person you are not available (2) Ask for a message (3) Confirm the message (4) Ask for the person’s company name or name back 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
7回	**授業テーマ：Make a call/receive a call ②** 授業内容：(1) Tell the person you are not available (2) Ask for a message (3) Confirm the message (4) Ask for the person’s company name or name back 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
8回	**授業テーマ：Paying Attention/Receiving Attention ①** 授業内容：(1) Give a warning and apologize (2) Give a warning euphemistically (3) Complain and apologize to people at other companies. 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
9回	**授業テーマ：Paying Attention/Receiving Attention ②** 授業内容：(1) Give a warning and apologize (2) Give a warning euphemistically (3) Complain and apologize to people at other companies. 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.

10回	**授業テーマ：Asking and refusing ①** 授業内容：(1) Make a request to your boss (2) Confirm the request (3) Refuse the boss's request (4) Negotiate the price (5) Refuse the solicitation 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
11回	**授業テーマ：Asking and refusing ②** 授業内容：(1) Make a request to your boss (2) Confirm the request (3) Refuse the boss's request (4) Negotiate the price (5) Refuse the solicitation 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
12回	**授業テーマ：Ask permission ①** 授業内容：(1) Ask your supervisor for permission (2) Ask someone from another company for permission 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
13回	**授業テーマ：Ask permission ②** 授業内容：(1) Ask your supervisor for permission (2) Ask someone from another company for permission 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
14回	**授業テーマ：Make an appointment ①** 授業内容：(1) Make an appointment with someone in your company (2) Make an appointment with someone in another company (ask permission or make a proposal) (3) Make an appointment with someone you are not acquainted with (4) Change an appointment 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.
15回	**授業テーマ：Summary** 授業内容：Through a review of the entire course, students will review the proper use of honorific and business expressions and how these expressions are used in different situations. 事前学修 2.0hr：complete an assignment before the class. 事後学修 2.0hr：complete an assignment.

Japanese Culture

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

信常　幸恵（のぶつね　ゆきえ）

▌授業の概要

The purpose of this course is to help students deepen their knowledge about Japanese culture. Students will be able to explain Japanese culture to foreign visitors with confidence. Students will be required to actively participate in group discussions in class.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：At the end of the course, students are expected to have deeper understanding of Japanese culture including foreign peoples' viewpoint. Students will be able to understand the important points of various questions about Japan from foreign visitors.

個別目標：At the end of the course, students will be able to answer various questions about Japan from foreign visitors. Students will be able to explain Japanese Culture using their own words.

▌履修条件

Students who are interested in taking this course should have a positive attitude and interest in Japanese culture, society and history.

▌評価基準・方法

Grading will be based on active participation in class and group discussion 40%
In-class quizzes 40% and final quiz 20%

▌フィードバック方法

Feedback will be carried out through 'manana.'
Students can have complementary feedback in person.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （group discussion）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

None. A number of hand-outs will be distributed in class.

▌参考書

Reference books will be introduced in class

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance** 授業内容：The purpose of this course, grading method, and reference materials will be introduced. 事前学修 1.0hr：Information gathering 事後学修 3.0hr：Review the previous class
2回	**授業テーマ：Geography and History 1** 授業内容：Learn about the geography and history of Japan. (From the Jomon Period to the Azuchi-Momoyama Period) 事前学修 2.0hr：Read handouts and grasp the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
3回	**授業テーマ：Geography and History 2** 授業内容：Learn about the geography and history of Japan. (since the Edo period) 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
4回	**授業テーマ：Sightseeing** 授業内容：Learn about typical tourist destinations in Japan. (Tokyo, Kyoto, and other places) 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
5回	**授業テーマ：Japanese Cuisine** 授業内容：Learn about the characteristics of Japanese cuisine. 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
6回	**授業テーマ：Theatrical Arts and Music** 授業内容：Learn about traditional Japanese performing arts (Kabuki, Noh, Bunraku, etc.). 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
7回	**授業テーマ：Arts and Crafts** 授業内容：Learn about the characteristics of Japanese arts and handicrafts. 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
8回	**授業テーマ：Sports and Games** 授業内容：Learn about Japan's popular sports and games. 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
9回	**授業テーマ：Religion** 授業内容：Learn about the characteristics of Japanese religions, focusing on Shintoism and Buddhism. 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
10回	**授業テーマ：Cultural Events and Holidays** 授業内容：Learn about the characteristics of Japanese annual events and national holidays. 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class

11回	**授業テーマ：Lifestyle** 授業内容：Learn about the characteristics of the Japanese lifestyle. 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
12回	**授業テーマ：Education** 授業内容：Learn about the characteristics of Japanese education. 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
13回	**授業テーマ：Business** 授業内容：Learn about the characteristics of Japanese business practices. 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
14回	**授業テーマ：Japanese People** 授業内容：Learn about the characteristics of the Japanese people, focusing on cultural aspects. 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class
15回	**授業テーマ：Review and final quiz** 授業内容：Review Japanese culture in general and discuss how to perceive Japanese culture in class. 事前学修 2.0hr：Read handouts and seize the point 事後学修 2.0hr：Review the previous class

Destination Studies A (Japan)

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

上杉　恵美 (うえすぎ　めぐみ)

▌授業の概要

This course will study a variety of tourist destinations in Japan and explore the tourism resources and possibilities of each region.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：The goal of this course is to develop the knowledge of major tourist destinations in Japan and to create attractive tour plans targeted at overseas visitors to Japan based on in-depth research conducted in class.

個別目標：・Students will obtain basic knowledge of major tourist destinations in Japan.
・Students will conduct in-depth research on tourism resources in Japan.
・Students will create tour plans targeted at overseas tourists to Japan and give presentations on the plans.

▌履修条件

This course is intended for students who are interested in tourism and regional development in Japan, creating travel products, planning tours, or becoming interpreter-guides.

▌評価基準・方法

Grading will be based on assignments (40%), tour planning and presentation (30%), and the final exam (30%).

▌フィードバック方法

Feedback will be conducted through the learning support system manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Class excursion）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Small tests, reports and presentations）

▌教科書

None

▌参考書

Teikoku's Discovery ATLAS of JAPAN (Teikoku-Shoin 2019)
Useful information will be provided in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Self-Introduction, Latest status of travel to Japan, characteristics of tourist destinations in Japan 事前学修 2.0hr：Read the course summary and think about what you want to achieve in this course. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.
2回	**授業テーマ：Regional Studies Kanto (1)** 授業内容：Tourist destinations in the Kanto Region and their characteristics 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on tourist destinations in the Kanto Region. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.
3回	**授業テーマ：Regional Studies Kanto (2)** 授業内容：Tourist destinations in the Kanto Region and their characteristics 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on tourist destinations in the Kanto Region. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.
4回	**授業テーマ：Regional Studies Hokkaido** 授業内容：Tourist destinations in Hokkaido and their characteristics 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on tourist destinations in Hokkaido. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.
5回	**授業テーマ：Regional Studies Tohoku** 授業内容：Tourist destinations in the Tohoku Region and their characteristics 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on tourist destinations in the Tohoku Region. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.
6回	**授業テーマ：Regional Studies Chubu** 授業内容：Tourist destinations in the Chubu Region and their characteristics 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on tourist estinations in the Chubu Region. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.
7回	**授業テーマ：Regional Studies Kinki** 授業内容：Tourist destinations in the Kinki Region and their characteristics 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on tourist destinations in the Kinki Region. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.
8回	**授業テーマ：Regional Studies Chugoku** 授業内容：Tourist destinations in the Chugoku Region and their characteristics 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on tourist destinations in the Chugoku Region. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.
9回	**授業テーマ：Regional Studies Shikoku** 授業内容：Tourist destinations in the Shikoku Region and their characteristics 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on tourist destinations in the Shikoku Region. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.
10回	**授業テーマ：Regional studies Kyushu** 授業内容：Tourist destinations in the Kyushu Region and their Characteristics 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on tourist destinations in the Kyushu Region. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.
11回	**授業テーマ：Regional studies Okinawa and the Southwest Islands** 授業内容：Tourist destinations in Okinawa and the Southwest Islands including Yakushima and Amami Islands, and their characteristics 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on tourist destinations in Okinawa and the Southwest Islands. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned.

12回	**授業テーマ：Creating a tour plan** 授業内容：In-depth research on tourist destinations and creation of an attractive tour plan. 事前学修 2.0hr：Conduct prior research for a tour plan. 事後学修 2.0hr：Prepare for the presentation.
13回	**授業テーマ：Presentations of tour plans (1)** 授業内容：Presentations of tour plans and evaluation. 事前学修 2.0hr：Prepare for the presentation. 事後学修 2.0hr：Review the presentations.
14回	**授業テーマ：Presentations of tour plans (2)** 授業内容：Presentations of tour plans and evaluation. 事前学修 2.0hr：Prepare for the presentation. 事後学修 2.0hr：Review the presentations.
15回	**授業テーマ：Conclusion** 授業内容：Future direction of the inbound travel market in Japan. 事前学修 2.0hr：Review all the lessons and write what you have learned in this course. 事後学修 2.0hr：Prepare for the final exam.

Art and Culture

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

川村　一司（かわむら　かずし）

▌授業の概要

The course is designed for students who are seeking management positions in the global hospitality industry.
Since it is essential for management level persons to employ culturally diverse knowledge to deal with various social problems,
you will obtain the deep roots of the Japanese culture and history through the courses.
After completion of the courses, you will possess the ability to contrast and compare your own culture and Japanese ones.
The schedule, time, date and contents may be changed or combined.
Additional attendance will be required which be on June 20th, from 7:00P.M. ”Kabuki performance”. Venue will be accnounced after registration.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：to understand the history, tradition and characteristics of Japanese culture and arts.
to learn the lifestyle and the way of thinking in the society of Japan.
個別目標：to be able to identify and to describe major Japanese culture and arts.
to understand Japanese traditional arts in detail.
to be able to explain and introduce Japanese traditional arts.
to know it’ s relation and influence on the current Japanese systems and habits.

▌履修条件

The session will be sometimes held on irregular days.
You are required to join each respective session in a proper manner.
The schedule will be timely announced in the course.
We will make on site visit depends on the sessions.

▌評価基準・方法

Homework Assignment /Report and Presentation 80%
Positive activity, output and challenge in the class 20%
80% attendance is mandatory

▌フィードバック方法

Feedback for your work would be mainly provided in the session.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion and presentation）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Presentation and report）

▌教科書

none

▌参考書

to be announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Orientation** 授業内容：Making a course overview and objectives 事前学修 2.0hr：to find what you know about art 事後学修 2.0hr：to review and clearly understand objectives of the course
2回	**授業テーマ：Peforming arts experience Noh** 授業内容：Review and summarize Noh 事前学修 2.0hr：to research Noh in advance 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class
3回	**授業テーマ：Introduction of Shinto from global view** 授業内容：Lecture on the basic idea of Shinto and its influence on the modern lifestyle in Japan. 事前学修 2.0hr：to research and make a report about Shinto in advance. 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class
4回	**授業テーマ：Japanese Shinto relating to lifestyle, culture and art** 授業内容：Making an on-site visit to shrine and having a lecture by the Shinto priest 事前学修 2.0hr：to research and make a report about Shinto in advance 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class
5回	**授業テーマ：Japanese shinto on site visit** 授業内容：Making an on-site visit to the Art Centre and having a lecture by the specialist 事前学修 2.0hr：to research and make a report about Shinto in advance 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class
6回	**授業テーマ：Performing arts experience - Bunraku** 授業内容：Making an on-site visit to the National Theater and find out the history and its hidden influence on the Japanese culture and life 事前学修 2.0hr：to research and make a report about Bunraku in advance 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand the Bunraku
7回	**授業テーマ：Performing arts experience - Bunraku** 授業内容：Review and summarize the Bunrau 事前学修 2.0hr：to research and make a report about Bunraku in advance 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand the Bunraku
8回	**授業テーマ：Japanese Manner** 授業内容：Lecture on Japanese manner and etiquet which has been inherited for more than 1000 years. 事前学修 2.0hr：to research Japanese manner in advance 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class

9回	**授業テーマ：Mid term presentation and lecture on Japanese traditional crafts.** 授業内容：You will make a mid term presentation and will have brief lecture on Japanese tradtional crafts. 事前学修 2.0hr：to prepare for the mid term presentation. 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class
10回	**授業テーマ：Traditional crafts of Japan, lecture from Art Centre** 授業内容：Makind an on-site visit to the Art Centre and having a lecture by the specialist. 事前学修 2.0hr：to research Japanese tradtional crafts in advance. 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class
11回	**授業テーマ：Spirit of Do, tea ceremony.** 授業内容：Having a first-hand lecture by the specialist and reviews it during the class. 事前学修 2.0hr：to research and make a report about the way of Do and Tea ceremony. 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class
12回	**授業テーマ：Spirit of Do, flower arrangement and calligraply.** 授業内容：Having a first-hand lecture by the specialist and reviews it during the class. 事前学修 2.0hr：to research and make a report about the way of Do, flower arrangement and calligraphy. 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class
13回	**授業テーマ：Research and presentation on Peforming arts.** 授業内容：Review and summarize the arts in general. 事前学修 2.0hr：to research and make a report about Japanese performing arts. 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class.
14回	**授業テーマ：Performing arts in general** 授業内容：Review and summarize the arts in general 事前学修 2.0hr：to find what you know about traditional performing arts in Japan 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class
15回	**授業テーマ：Wrapping up** 授業内容：Presentation on the relationship between the traditional arts and modern lifestyle 事前学修 3.0hr：to prepare for the presentation ”the influence of Japanese traditional arts to the lifestyle of Japan 事後学修 2.0hr：to review and make sure to understand what you learn in the class

World Heritage

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：集中 ｜ 備考：GMM 対象科目

ニコラ　ナウモフ

▌授業の概要

This course provides an introduction to World Heritage and World Heritage sites. You will learn more about the history of UNESCO, World Heritage Centre and The World Heritage Convention (1972). You will explore the inscription criteria of the World Heritage List and learn more about the Outstanding Universal Value.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：The unit will enable you to locate and explore the most visited World Heritage sites, learn more about their history and study their appeal as tourist destinations.

個別目標：
- Be able to explain the history of World Heritage and discuss the principles of the World Heritage Convention
- Be able to locate cultural, natural and mixed World Heritage Sites
- Be able to explain the interrelationship between World Heritage and tourism

▌履修条件

All lectures contain many case studies from different parts of the world, various activities in which you are required to actively participate, and in class tasks in which you are expected to work individually or as a part of a group.

▌評価基準・方法

The assessment for this module is based on a final exam (100%).

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

1)Labadi, S. (2013). UNESCO, Cultural Heritage, and Outstanding Universal Value: Value-based Analyses of the World Heritage and Intangible Cultural Heritage Conventions. USA: AltaMira Press.

2)Di Giovine, M. (2009) The Heritage – scape: UNESCO, World Heritage, and Tourism. Lanham, MD: Lexington Books.

▌参考書

1)UNESCO World Heritage Centre (whc.unesco.org)

2)UNESCO (1972). Convention Concerning the Protection of the World Cultural and Natural Heritage. Available at: http://whc.unesco.org/en/conventiontext/,

3)UNESCO (2005). Operational Guidelines for the Implementation of the World Heritage Convention. Paris: UNESCO World Heritage Centre.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to World Heritage: introduction to the unit; introduction to heritage and tourism; overview of World Heritage sites; main destinations** 授業内容：The course overview will be instructed and placed on World Heritage sites within the context of tourism. 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
2回	**授業テーマ：History of World Heritage and World Heritage Convention** 授業内容：The history of World Heritage and World Heritage Convention will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
3回	**授業テーマ：Types of World Heritage: cultural, natural and mixed** 授業内容：The typology of World Heritage will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
4回	**授業テーマ：Inscription Criteria and the World Heritage List** 授業内容：Inscription Criteria and the World Heritage List will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
5回	**授業テーマ：Intangible Heritage and Intangible Heritage Convention (2003)** 授業内容：Intangible Heritage and Intangible Heritage Convention will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
6回	**授業テーマ：World Heritage : Protection and Conservation** 授業内容：The method and procedure to protect and conserve world heritage will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
7回	**授業テーマ：World Heritage & Tourism** 授業内容：World Heritage in the context of tourism will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
8回	**授業テーマ：World Heritage & Local Communities** 授業内容：World Heritage in the context of local communities will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
9回	**授業テーマ：Destination Studies: World Heritage Sites in Europe** 授業内容：World Heritage Sites as destinations/attractions in Europe will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson

10回	**授業テーマ：Destination Studies: World Heritage Sites in North America** 授業内容：World Heritage Sites as destinations/attractions in North America will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
11回	**授業テーマ：Destination Studies: World Heritage Sites in South America** 授業内容：World Heritage Sites as destinations/attractions in South America will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
12回	**授業テーマ：Destination Studies: World Heritage Sites in Africa** 授業内容：World Heritage Sites as destinations/attractions in Africa will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
13回	**授業テーマ：Destination Studies: World Heritage Sites: Australia & Oceania** 授業内容：World Heritage Sites as destinations/attractions in Australia and Oceania will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
14回	**授業テーマ：Destination Studies: World Heritage Sites: Asia** 授業内容：World Heritage Sites as destinations/attractions in Asia will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
15回	**授業テーマ：Review and future of World Heritage: review of all topics covered; future of World Heritage List, tourism and the development of World Heritage destinations** 授業内容：The course content will be summarized, and the future of the World Heritage List, tourism, and the development of World Heritage destinations will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the final class and think of questions to ask 事後学修 4.0hr：Prepare for the final examination

Destination Studies B (Europe)

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：集中 ｜ 備考：GMM 対象科目

ニコラ　ナウモフ

▌授業の概要

Destination Europe looks at destinations in Europe that both leisure and business travellers visit. You will explore the variety of destinations, analyse where they are located and discuss the features that make them popular. The unit will enable you to locate and explore the most visited destinations that comprise the European travel market, learn more about their history and culture and study the importance of tourism from economic and socio-cultural perspectives.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Overall understanding of European destinations and you will develop knowledge of the appeal of destinations for different leisure experiences and gain an understanding of the factors affecting the development and decline of selected destinations.

個別目標：
- Be able to name and locate the countries that comprise Europe
- Be able to locate major airport hubs and leisure destinations within the European travel market
- Be able to differentiate between different types of holidays available in Europe to meet differing visitor motivations
- Be able to explain the factors and features determining the appeal of leisure destinations in the European travel market for international visitors

▌履修条件

All lectures contain many case studies from different parts of the world, various activities in which you are required to actively participate, and in class tasks in which you are expected to work individually or as a part of a group.

▌評価基準・方法

The assessment for this module is based on a final exam (100%).

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Group presentation）

▌教科書

Boniface, B. & Cooper, C. (2009) Worldwide Destinations: The Geography of Travel & Tourism. Oxford: Butterworth-Heinemann.

▌参考書

1)Lonely Planet (www. Lonelyplanet.com) 2)Rough Guide (www.roughguide.com) 3)Tourism Concern (www.tourismconcern.org.uk)
4)Travel Weekly (www.travelweekly.co.uk) 5)World Travel Guide (www.worldtravelguide.net)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to Europe** 授業内容：Introduction to the unit, overview of Europe, main destinations, statistics of international tourists, type of tourism 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
2回	**授業テーマ：Destination Studies:United Kingdom** 授業内容：United Kingdom 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
3回	**授業テーマ：Destination Studies: Republic of Ireland** 授業内容：Republic of Ireland 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
4回	**授業テーマ：Destination Studies: France** 授業内容：France 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
5回	**授業テーマ：Destination Studies: Italy** 授業内容：Italy 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
6回	**授業テーマ：Destination Studies: Spain** 授業内容：Destination Studies: Spain 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
7回	**授業テーマ：Destination Studies: Germany, Austria, Switzerland** 授業内容：Destination Studies: Germany, Austria, Switzerland 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
8回	**授業テーマ：Destination Studies: Portugal** 授業内容：Destination Studies: Portugal 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
9回	**授業テーマ：Destination Studies: Central Europe** 授業内容：Destination Studies: Central Europe 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson

10回	**授業テーマ：Destination Studies: Scandinavia** 授業内容：Destination Studies: Scandinavia 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
11回	**授業テーマ：Destination Studies: Benelux** 授業内容：Destination Studies: Benelux 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
12回	**授業テーマ：Destination Studies: Andorra, San Marino, Liechtenstein, Monaco** 授業内容：Destination Studies: Andorra, San Marino, Liechtenstein, Monaco 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
13回	**授業テーマ：Destination Studies: Eastern Europe** 授業内容：Destination Studies: Eastern Europe 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
14回	**授業テーマ：Destination Studies: Bulgaria** 授業内容：Destination Studies: Bulgaria 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
15回	**授業テーマ：Review and future of European tourism** 授業内容：review of all topics covered: future of European tourism and the development of new destinations 事前学修 2.0hr：Prepare for the final class and think of questions to ask 事後学修 4.0hr：Prepare for the final examination

Destination Studies C (America)

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1 ｜ 備考：GMM 対象科目

ラッセル　ウエノ

▌授業の概要

This course will introduce students to key aspects of important destinations in the United States. Each destination will illustrate concepts and processes that are essential for understanding and analyzing tourism destinations in general. Different types of destinations will be covered (nature-based, urban, resort, heritage, etc.), and both successful and unsuccessful examples will be analyzed.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Students will develop the knowledge and skills to analyze different types of tourism destinations. Students will be able to examine destinations in terms of different strategic issues (transportation, marketing, branding, etc.)

個別目標：Students wil be able to explain characteristics of different types of American destinations.
Students wil be able to analyze the strategic issues of the destination.
Students wil be able to explain key concepts of tourism marketing and branding.

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class sessions by reading assigned material.

▌評価基準・方法

Evaluation will be based on participation (30%), class project (30%), and final exam (40%).

* Feedback on assignments will be provided through manaba.

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC and internet connection is needed to take this course.）

▌教科書

Not specified

▌参考書

Reading materials will be specified in class.
Atlases and maps are essential.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to the course** 授業内容：The structure and goals of the course will be reviewed, including: content framework, sequence of topics, grading method, classwork expectations, and learning objectives. 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review material on the first class
2回	**授業テーマ：The importance of studying destinations** 授業内容：The basic geography and history of America will be briefly reviewed, including: major destination areas, primary natural features and attractions, and key historical developments. 事前学修 2.0hr：Think about the importance of studying destinations 事後学修 2.0hr：Review and understand further about the importance of studying destinations
3回	**授業テーマ：Las Vegas** 授業内容：The history and development of Las Vegas as a tourism destination will be covered, with an emphasis on marketing strategies. 事前学修 2.0hr：Research about Las Vegas 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Las Vegas
4回	**授業テーマ：The Pacific Northwest** 授業内容：Popular attractions in the Pacific Northwest area, including Seattle and Portland, will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about The Pacific Northwest 事後学修 2.0hr：Review and understand further about The Pacific Northwest
5回	**授業テーマ：San Francisco** 授業内容：The city of San Francisco and the Bay Area will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about San Francisco 事後学修 2.0hr：Review and understand further about San Francisco
6回	**授業テーマ：New York City** 授業内容：The attractions of New York City will be covered, within the context of New York State tourism. 事前学修 2.0hr：Research about New York City 事後学修 2.0hr：Review and understand further about New York City
7回	**授業テーマ：Disneyland (California) and Disney World (Florida)** 授業内容：Disney theme parks in Anaheim (California) and Orlando (Florida) will be covered. Recent political aspects of these parks will also be discussed. 事前学修 2.0hr：Research about Disneyland (California) and Disney World (Florida) 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Disneyland (California) and Disney World (Florida)
8回	**授業テーマ：Florida** 授業内容：Florida and other destinations in the Southeastern region will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about Florida 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Florida
9回	**授業テーマ：National Parks** 授業内容：Key national parks and the national park system in the U.S. will be covered, with discussion of overcrowding pressures on the parks. 事前学修 2.0hr：Research about National Parks 事後学修 2.0hr：Review and understand further about National Parks
10回	**授業テーマ：Off the Beaten Path** 授業内容：Several destinations that are less well known and/or distant from population centers will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about Off the Beaten Path 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Off the Beaten Path

11回	**授業テーマ：The Great American Road Trip** 授業内容：The Great American Road Trip, as both a tradition and a cultural symbol, will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about The Great American Road Trip 事後学修 2.0hr：Review and understand further about The Great American Road Trip
12回	**授業テーマ：Los Angeles/Hollywood** 授業内容：Los Angeles, Hollywood, and Southern California in general will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about Los Angeles/Hollywood 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Los Angeles/Hollywood
13回	**授業テーマ：New England** 授業内容：The New England region of the U.S. will be covered as an example of regional destination marketing, along with an emphasis on heritage tourism. 事前学修 2.0hr：Research about New England 事後学修 2.0hr：Review and understand further about New England
14回	**授業テーマ：Project presentations** 授業内容：This session will be reserved for presentations and/or other work assignments. 事前学修 3.5hr：Prepare for project presentations 事後学修 0.5hr：Review your presentaion
15回	**授業テーマ：Summary** 授業内容：The course content will be summarized and placed within the context of destination America' s tourism industry. 事前学修 2.0hr：Review all the topics covered by this course and pick up some questions 事後学修 3.0hr：Think about the future of these destinations and prepare for the final exam

Destination Studies D (Asia)

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2 ｜ 備考：GMM 対象科目

肖　子睿（しょう　しえい）

▌授業の概要

In today’s world, almost any place on Earth can become a tourist destination. This course focuses on Asia, highlighting the countries and regions that attract the most visitors.

China, Singapore, South Korea, and Vietnam — an emerging tourism market — are some of Asia’s top destinations. This course will explore their histories, cultures, and customs.

Students will examine the historical, cultural, and social aspects of these countries to understand why they are popular among tourists. They will also have the chance to research an Asian country or region of their choice and present their findings to the class.

By the end of the course, students will gain a deeper understanding of Asia’s diverse landscapes, traditions, and attractions, as well as its important role in global tourism.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：Acquire knowledge about tourism in various Asian countries, as well as related information, and deepen understanding of each country and region.

個別目標：・Acquire knowledge about tourism in various Asian countries.
・Be able to introduce this knowledge to others.
・Discover the new charms of Asia.

▌履修条件

A student who is eager to conduct extensive research on countries or regions in Asia, and actively engage in information sharing and exchanging opinions

▌評価基準・方法

Evaluation will be based on participation in class30%, the final exam30%, and presentations40%, comprehensively. Attendance of 80% or more is generally a prerequisite for evaluation.

▌フィードバック方法

The feedback will be provided either individually or through the learning support system － Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Data collection, organization, and preparation for presentations using PowerPoint）

▌教科書

None

▌参考書

None

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance** 授業内容：Outline the course, explain evaluation criteria, and describe how the class will be conducted. Introduce Asia in general. 事前学修 2.0hr：Researching about countries in Asia, considering topics of interest. 事後学修 2.0hr：Selecting the Asian country of interest.
2回	**授業テーマ：Case Study Target Country: China（1）** 授業内容：Overview of China（Ethnicity、Language、Area、Currency） 事前学修 2.0hr：Researching basic information about China, reflecting on interest in China. 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class
3回	**授業テーマ：Case Study Target Country: China（2）** 授業内容：Learn about the first-tier cities: Beijing, Shanghai, Guangzhou。① 事前学修 2.0hr：Researching about Beijing, Shanghai, Guangzhou, and Shenzhen. 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class
4回	**授業テーマ：Case Study Target Country: China（3）** 授業内容：Learn about the first-tier cities: Beijing, Shanghai, Guangzhou, and Shenzhen. ② Preparing for a Presentation。 事前学修 2.0hr：Researching about Beijing, Shanghai, Guangzhou, and Shenzhen 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class
5回	**授業テーマ：Case Study Target Country: China（4）** 授業内容：Learn about Hong Kong and Macau. Learn about tourism policies, transportation, accommodation, and dining in China. 事前学修 2.0hr：Researching about Hong Kong and Macau。Researching bout tourism policies, transportation, accommodation, and dining in China. 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class
6回	**授業テーマ：Case Study Target Country: China（5）** 授業内容：Explore China’s World Heritage Sites: the Forbidden City, the Great Wall, the Summer Palace, the Temple of Heaven, and the Jiuzhaigou Valley. Preparing for a Presentation。 事前学修 2.0hr：Researching about China’s World Heritage Sites: the Forbidden City, the Great Wall, the Summer Palace, the Temple of Heaven, and the Jiuzhaigou Valley. 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class
7回	**授業テーマ：Case Study Target Country: Singapore（1）** 授業内容：Overview of Singapore（Ethnicity、Language、Area、Currency） 事前学修 2.0hr：Researching basic information about Singapore, reflecting on interest in Singapore. 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class

8回	**授業テーマ：Case Study Target Country: Singapore（2）** 授業内容：Make a map of Singapore. Describing tourist attractions. 事前学修 2.0hr：Researching about tourism, transportation, accommodation, and dining in Singapore. 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class
9回	**授業テーマ：Case Study Target Country: South korea　（1）** 授業内容：Overview of South　Korea（Ethnicity、Language、Area、Currency） 事前学修 2.0hr：Researching basic information about South Korea, reflecting on interest in South Korea. 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class
10回	**授業テーマ：Case Study Target Country: South Korea（2）** 授業内容：Learn about the tourism and transportation situation in South　Korea. Preparing for a Presentation。 事前学修 2.0hr：Researching about tourism, transportation, accommodation, and dining in South Korea. 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class
11回	**授業テーマ：Case Study Target Country: Vietnam（1）** 授業内容：Overview of Vitnam（Ethnicity、Language、Area、Currency） 事前学修 2.0hr：Researching basic information about Vitnam, reflecting on interest in Vitnam. 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class
12回	**授業テーマ：Case Study Target Country: Vietnam(2)** 授業内容：Learn about the tourism and transportation situation in Vitenam. Preparing for a Presentation。 事前学修 2.0hr：Researching about tourism, transportation, accommodation, and dining in Vitnam. 事後学修 2.0hr：Reflecting on the learning content in the class
13回	**授業テーマ：Presentation about the researched country** 授業内容：Discussing each other's presentation about the countries. Create a booklet. 事前学修 2.0hr：Conducting detailed research on the Asian country of interest 事後学修 2.0hr：Summarizing the research
14回	**授業テーマ：Presentation about the researched country** 授業内容：Discussing each other's presentation about the countries. Create a booklet. 事前学修 2.0hr：Preparing for the presentation. 事後学修 2.0hr：Finalizing the research into tourism products.
15回	**授業テーマ：Summary of the class** 授業内容：Discussing the Asia travel products offered by various travel agencies. 事前学修 2.0hr：Finding some Asia travel products offered by travel agencies 事後学修 2.0hr：Confirming that the learned content can be applied in the future

Destination Studies E (Oceania and the South Pacific)

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2 ｜ 備考：GMM 対象科目

神末　武彦（こうずえ　たけひこ）

▌授業の概要

This course will introduce students to key aspects of important destinations in Oceania, a geographical region consisting of numerous countries and territories that are mostly islands. The course will lead you through historical background, people and culture, and economy of each destination and will illustrate concepts and processes that are essential for understanding and analyzing tourism destinations in general. Both positive and negative impacts will be analyzed and studied.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM2）

一般目標：The competencies/learning outcomes connect to the student learning outcomes of GMM’s Diploma Policy #2, “Ability to learn and improve both Japanese and English and to use those languages to communicate with people from around the world based on their own experiences to studying overseas”, students should be able to

1.Communicate effectively in classroom to be able to work and function in the diverse community.
2.Demonstrate leadership and teamwork to achieve common goals.
3.Use knowledge of multicultural perspective to understand different cultures and languages and practices of that place.
4.Discuss in English and obtain skills to be able to communicate with people from around the world.

個別目標：Upon successful completion of this course, the student should be able to:

1.Describe the uniqueness and differences between the destinations along with the latest events and attractions in Oceania and the South Pacific region.
2.Describe the history, culture, economy, people, community and climate that creates that destination.
3.Identify the capitals, major tourist attractions, major cities, airports, airlines, methods of transportation, currency, and lodging options.
4.Develop and gain knowledge and skills to analyze different types of tourism destinations.
5.Explain the complex problems and issues related to tourism in these destinations.
6.Use knowledge of best practices to become a sustainable destination.

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class sessions by reading assigned material.

▌評価基準・方法

Participation 6%
Reflection papers 24%
Presentation 20%
Mid-Term Exam 20%
Final Exam 30%

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussions, group work, and problem-solving-learning）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Recommended to bring your Laptop to class. Course materials will be distributed through Manaba.）

▌教科書

Not specified

▌参考書

Reading materials will be specified in class.
Atlases and maps are essential.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to Oceania** 授業内容：Explanation about the class. Overview of the region. 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Oceania
2回	**授業テーマ：Destination Studies Micronesia (Guam)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Guam 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Guam
3回	**授業テーマ：Destination Studies Micronesia (Saipan)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Saipan 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Saipan
4回	**授業テーマ：Destination Studies Micronesia (Federated States of Microneisa)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Federated States of Micronesia 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Federated States of Micronesia
5回	**授業テーマ：Destination Studies Melanesia (Papua New Guinea)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Papua New Guinea 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Papua New Guinea
6回	**授業テーマ：Destination Studies Melanesia (Vanuatu)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Vanuatu 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Vanuatu

7回	**授業テーマ：Destination Studies Melanesia (New Caledonia)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about New Caledonia 事後学修 2.0hr：Review and understand further about New Caledonia
8回	**授業テーマ：Destination Studies Melanesia (Fiji)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Fiji 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Fiji
9回	**授業テーマ：Destination Studies Polynesia (Samoa)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Samoa 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Samoa
10回	**授業テーマ：Destination Studies Polynesia (Tahiti)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Tahiti 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Tahiti
11回	**授業テーマ：Destination Studies Polynesia (Rapa Nui)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Rapa Nui 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Rapa Nui
12回	**授業テーマ：Destination Studies Polynesia (Hawaii)** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Hawaii 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Hawaii
13回	**授業テーマ：Destination Studies Australia** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about Australia 事後学修 2.0hr：Review and understand further about Australia
14回	**授業テーマ：Destination Studies New Zealand** 授業内容：History, culture, economy, people, community, and tourism of the destination. 事前学修 2.0hr：Research about New Zealand 事後学修 2.0hr：Review and understand further about New Zealand
15回	**授業テーマ：The future of the small island destinations** 授業内容：To think of the future of these destinations. Preparation for the exam 事前学修 4.0hr：Review all the topics covered by this course and develop some questions 事後学修 4.0hr：Think about the future of these destinations and prepare for the final exam

Introduction to Hospitality

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1 ｜ 備考：GMM 対象科目

木内　伸樹（きうち　のぶき）

▌授業の概要

This course aims to acquire comprehensive understanding of hospitality and its basic practical skills. For that purpose, the course is divided into three learning frameworks. In the first 5 classes, we will learn the basic knowledge of hospitality by understanding the meaning of the word hospitality and the origin of its concept. In the second 5 classes, we will see some example scenes where hospitality is delivering from different perspectives and understand more better way of delivering or demonstrating good hospitality by having some discussions in the class. In the third 5 classes, we will pick up and research some companies from the hospitality industry and acquire the awareness of hospitality by having discussions about those companies' management philosophy and customers' review.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Learn the basic knowledge of hospitality and some examples of the way of demonstrating hospitality.
Be able to imagine what kind of hospitality do customers expect under some circumstances.
Be able to acquire the ability to think of an appropriate way of demonstrating hospitality on those circumstances.

個別目標：Not only acquire the knowledge of hospitality, but also be able to demonstrate genuine hospitality in a scene of daily social interactions.
Be able to understand what kind of hospitality people around you and customers of the hospitality industry expect and to make a stepping-stone to your future career success.

▌履修条件

None

▌評価基準・方法

Final exam 50%, Presentation 20%, Report 20%, Class contribution 10%
80% attendance records will be required for the final evaluation.

▌フィードバック方法

Feedback on the final exam will be provided through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Presentation, Discussion）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Presentation, Examination）

▌教科書

Not specified

▌参考書

Reading materials will be specified in class

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction and find the hospitality related occupations** 授業内容：Introduce the course contents, the course flow and a valuation standard. Also discussing about what hospitality occupations are available. 事前学修 2.0hr：Read the course syllabus. Search and note the hospitality related occupations. 事後学修 2.0hr：Summarise what hospitality related occupations are available.
2回	**授業テーマ：History of hospitality** 授業内容：Confirm the etymology of the word ‘Hospitality’, and understand the construction of the modern hospitality concept while learning and discussing the history of travel and accommodation. 事前学修 2.0hr：Search and note the etymology of the word ‘Hospitality’. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
3回	**授業テーマ：Western hospitality** 授業内容：Learn and understand the relationship between Christianity and hospitality, as Christianity has a great influence on the development of hospitality culture in the West. 事前学修 2.0hr：Search and note hospitality culture in the Western countries. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
4回	**授業テーマ：Japanese hospitality 1** 授業内容：Consider the meaning of ‘Motenashi’ in Japan, and learn and understand the development of hospitality culture in the East and its differences from the West. 事前学修 2.0hr：Search and note what ‘Motenashi’ is in Japan. 事後学修 2.0hr：Review the class contents and summarise the difference between the West and the East.
5回	**授業テーマ：Japanese hospitality 2** 授業内容：Understand Japanese tea ceremony ‘Sado’ and learn more about Japanese hospitality. 事前学修 2.0hr：Search and note what tea ceremony ‘Sado’ is in Japan. 事後学修 2.0hr：Review the class contents and summarise what Japanese hospitality is.
6回	**授業テーマ：The difference between hospitality and service** 授業内容：Confirm the etymology of the word ‘Service’, and understand and discuss about the meaning of it while comparing with hospitality. 事前学修 2.0hr：Search the definition of service and compare between hospitality and service. Found the difference between these two and note them. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the difference between hospitality and service.
7回	**授業テーマ：Hospitality mindset** 授業内容：Based on the meaning of hospitality concept what we have learnt so far, consider and discuss about when and how we can demonstrate genuine hospitality at every scene. 事前学修 2.0hr：Think of what scenes of social interactions are required hospitality and note them. 事後学修 2.0hr：Summarise how to deliver genuine hospitality, and imagine yourself doing it.
8回	**授業テーマ：Presentation 1 + Hospitality expectation** 授業内容：Each student present hospitality of their own culture and consider what expectations of different categories or classes of hotels and restaurants. 事前学修 3.0hr：Prepare your presentation. 事後学修 1.0hr：Review and summarise hospitalities of each culture and the difference of hospitality expectations.

9回	**授業テーマ：Airline service and hospitality 1** 授業内容：Study about ground staff of the airlines and understand the role including at the checking-in area, the lounges, the gate area and the arrival area. 事前学修 2.0hr：List what services are available at the airport. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the ground staff role.
10回	**授業テーマ：Airline service and hospitality 2** 授業内容：Study about cabin crew and understand the role including the recruitment and training procedures, flight operation from briefing to de-briefing and the life style. 事前学修 2.0hr：List what services are available during the flight. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the cabin crew role.
11回	**授業テーマ：Airline ranking and service evaluation** 授業内容：Check the latest world airline ranking and cabin service ranking. Find out what aspects are evaluated and understand customers' view about airline service. 事前学修 2.0hr：Think of what service you expect before your air travel. 事後学修 2.0hr：Summarise what aspects customers expect and how they evaluate those aspects.
12回	**授業テーマ：Presentation 2** 授業内容：Each student presents their hospitality experience. Presentation details will be announced at the first class. 事前学修 3.0hr：Prepare your presentation. 事後学修 1.0hr：Note and summarise what experiences other students had.
13回	**授業テーマ：Hospitality management** 授業内容：Study how companies or organizations make effort to improve their customer satisfaction. 事前学修 2.0hr：Check the website of some companies providing excellent service you think and note them. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
14回	**授業テーマ：Customer complaints** 授業内容：Understand what kind of complaints customer service staff receive and consider some impacts of complaints on those staff. 事前学修 2.0hr：List some complaints you have received or seen before. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
15回	**授業テーマ：Conclusion + Test** 授業内容：Review and conclude the course and take your final test. 事前学修 3.0hr：Prepare for your final test. 事後学修 1.0hr：Summarise the course by yourself.

Introduction to Hospitality & TourismStudies Ⅰ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2 ｜ 備考：GMM 対象科目

神末　武彦（こうずえ　たけひこ）

▌授業の概要

Introducing the world's largest and growing industry, Tourism. It is recognized that tourism is a major force of the world economy that is growing in global importance. This introductory course will enable you to understand tourism not only as an activity but also as an economic sector.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：The competencies/learning outcomes connect to the student learning outcomes of GMM's Diploma Policy #1, "Ability to become a leader in the domestic and/or global fields requiring advanced communication skills, with extensive knowledge of management", students should be able to

1.Lead with the knowledge of the foundations of "Hospitality & Tourism management" with a responsible and sustainable approach.
2.Demonstrate knowledge of multicultural perspective to meet the diverse community of tourism.
3.Develop skills by applying key management concepts and principles.
4.Use knowledge and skills associated with logical and critical thinking, problem solving and decision making to function effectively in the community and industry.
5.Demonstrate leadership and teamwork to achieve common goals.
6.Demonstrate "professionalism" by conducting in a professional and ethical manner.

個別目標：Upon successful completion of this course, the student should be able to:

1.Understand the basic theory of Hospitality and Tourism Business
2.Understand the complex, multi-faceted industry that is made up of many interrelated components.
3.Distinguish the key aspects that define the structure, elements and processes of tourism.
4.Illustrate the historical background from Domestic and International tourism.
5.Elaborate on the economic impacts, both positive and negative of tourism.
6.Elaborate on the social/cultural and environmental impacts, both positive and negative of tourism.
7.Distinguish the concepts and principles of sustainability (economic, environmental, ethical issues and social/cultural) and assess the best practices of destinations and tourism operations.
8.Discuss the future challenge and opportunities of tourism.

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class sessions by reading assigned material.

▌評価基準・方法

Participation 10%
Reflection Papers 30%
Mid-Term Exam 25%
Final Exam 35%

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり（Group discussions, group work, and problem-solving-learning）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり（Recommended to bring your Laptop to class. Course materials will be distributed through Manaba）

▌教科書

Not specified

▌参考書

Not specified. All needed materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction; What is Hospitality & Tourism, Overview of tourism** 授業内容：Overview of the hospitality and tourism industry. 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review to understand further about Hospitality & Tourism
2回	**授業テーマ：Styles of Tourism** 授業内容：Defining tourism is not simple; it is a complex industry comprising many different businesses. To understand the common theme/style, provide products and services to tourists/visitors. 事前学修 2.0hr：Think and research about different styles of tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
3回	**授業テーマ：Tourism history (World)** 授業内容：Looking through world history to understand tourism development in the early days. 事前学修 2.0hr：Think and research about the history of tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
4回	**授業テーマ：Tourism History (Japan)** 授業内容：Looking through regional history to understand how tourism began and developed in Japan. 事前学修 2.0hr：Think and research about the history of tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
5回	**授業テーマ：The impact of tourism (Positive)** 授業内容：Tourism is one of the largest industries in the world; it forms the backbone of many destination economies. Tourism positively impacts the economy as it boosts, and this will be an opportunity to examine it closely. 事前学修 2.0hr：Think and research about the positive impact of tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture

6回	**授業テーマ：The impact of tourism (Negative)** 授業内容：Tourism is one of the largest industries in the world; it forms the backbone of many destination economies. Tourism positively impacts the economy as it boosts, and this will be an opportunity to examine the opposite, its negative impact on the destination. 事前学修 2.0hr：Think and research about the negative impact of tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
7回	**授業テーマ：Mid-Term Exam** 授業内容：The mid-term exam will include the contents from classes one to six. 事前学修 2.0hr：Prepare for the exam 事後学修 2.0hr：Review the test result
8回	**授業テーマ：Pro-poor tourism** 授業内容：Understand and learn about how tourism could make a difference in poverty. 事前学修 2.0hr：Think and research about what we can do about poverty through tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
9回	**授業テーマ：Eco Tourism** 授業内容：Understand eco-tourism to minimize the risk of destruction and why we must practice it. 事前学修 2.0hr：Think and research about eco tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
10回	**授業テーマ：Tourism and Events 1 (MICE)** 授業内容：Understand the profound relationship between tourism and events. What is MICE and its importance? 事前学修 2.0hr：Think and research about the relationship between tourism and events 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
11回	**授業テーマ：Tourism and Events 2 (Sports, Music, and Others)** 授業内容：Understanding the relationship between tourism and events. Sports, Music, and Other Events. 事前学修 2.0hr：Think and research about the relationship between tourism and events 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
12回	**授業テーマ：Ethics, Human rights and tourism** 授業内容：As mobility increases, ethics and human rights are frequently questioned. Understand what is happening and seek solutions through the class. 事前学修 2.0hr：Think and research about the relationship between ethics, human rights and tourism. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
13回	**授業テーマ：Sustainable /Responsible tourism** 授業内容：As tourism gets popular and the destinations with more people than expected, it is a great time to recognize the importance of sustaining the destinations as it is better for future generations. As we think of sustainability as a destination, travelers need to consider being responsible travelers. 事前学修 2.0hr：Think and research about sustainable and responsible tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
14回	**授業テーマ：The future of Tourism** 授業内容：What will be the future of tourism? Understanding and looking into the future of tourism from the contents we have learned from. 事前学修 2.0hr：Think and research about the future of tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about future of tourism
15回	**授業テーマ：Summary** 授業内容：Summarize the course and prepare for the final exam. 事前学修 2.0hr：Review all class works and prepare for questions 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and prepare for the fianl exam

Introduction to Hospitality & TourismStudies Ⅰ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1 ｜ 備考：GMM9 月入学生対象科目

岩本　英和（いわもと　ひでかず）

▌授業の概要

Introducing the world's largest and growing industry, Tourism. It is recognized that tourism is a major force of the world economy that is growing in global importance. This introductory course will enable you to understand tourism not only as an activity but also as an economic sector.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Understanding the basic theory of Hospitality & Tourism.

個別目標：Students will be able to understand and explain about the historical background, economic/cultural/social impacts, ethical issues, sustainability and future challenges and opportunities of tourism.

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class sessions by reading assigned material.

▌評価基準・方法

Short test through Manaba (40%), and final exam (60%).

▌フィードバック方法

If you have any questions or requests regarding lecture content, we will provide feedback through lectures and manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Short tests through Manaba）

▌教科書

Not specified

▌参考書

Reading materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction; What is Hospitality & Tourism** 授業内容：This lecture introduces definition of hospitality and tourism. 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review to understand further about Hospitality & Tourism
2回	**授業テーマ：The history of world's tourism** 授業内容：This lecture introduces the history of world's tourism. 事前学修 2.0hr：Prepare history of world's tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about world tourism history
3回	**授業テーマ：The history of Japan's tourism** 授業内容：Comparing with the history of world's tourism, this lecture introduces the history of Japan's tourism. 事前学修 2.0hr：Prepare Japan history of tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about Japan tourism history
4回	**授業テーマ：Economic impacts of tourism** 授業内容：This lecture introduces how tourism industry brings economic impact at tourism destination. 事前学修 2.0hr：Prepare economic impacts of tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about economic impacts of tourism
5回	**授業テーマ：Environmental and Social/Cultural impacts of Tourism** 授業内容：We will learn environmental, social and cultural impacts which tourism industry produces. 事前学修 2.0hr：Prepare environmental and social/cultural impacts or tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about environmental and social/cultural impacts of tourism
6回	**授業テーマ：Tourism and the environment (ecotourism)** 授業内容：We will learn the environmental-friendly tourism, ecotourism. 事前学修 2.0hr：Prepare eco tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about tourism and the environment
7回	**授業テーマ：Pro-poor tourism** 授業内容：This lecture will discuss whether or not tourism industry has a potential to solve poverty. 事前学修 2.0hr：Prepare pro-poor tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about pro-poor tourism
8回	**授業テーマ：Tourism and Events (MICE)** 授業内容：We will learn the event tourism, called MICE. 事前学修 2.0hr：Prepare MICE 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about tourism and events
9回	**授業テーマ：Tourism and Events (Sports)** 授業内容：We will learn the sports tourism. 事前学修 2.0hr：Prepare sports events 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about tourism and events
10回	**授業テーマ：New tourism (Green tourism, Health tourism, Long stay, etc.)** 授業内容：We will learn new tourism including green tourism, health tourism, long stay, and so on. 事前学修 2.0hr：Prepare new tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about new tourism
11回	**授業テーマ：Ethics in tourism** 授業内容：We will learn the importance of ethics in tourism industry. 事前学修 2.0hr：Prepare ethics in tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about ethics in tourism
12回	**授業テーマ：Human rights and tourism** 授業内容：We will learn the importance of human right. 事前学修 2.0hr：Prepare human rights and tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about human rights and tourism

13回	**授業テーマ：effect of Covid-19 in tourism industry** 授業内容：We will learn how much effect covid-19 has on tourism industry. 事前学修 2.0hr：Prepare sustainabe tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about sustainable tourism
14回	**授業テーマ：The future of Tourism** 授業内容：We will learn the tourism polity through case study in the post-Covid-19. 事前学修 2.0hr：Think of what kind of changes could happen in future tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about future of tourism
15回	**授業テーマ：Summary** 授業内容：We will review the whole session and discuss the tourism industry after ten or twenty years. 事前学修 2.0hr：Review all the class works and prepare for questions 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and prepare for the fianl exam

Introduction to Hospitality & TourismStudies Ⅱ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ラッセル　ウエノ

▌授業の概要

This course is designed to capture the basic components of the business from both theoretical and practical perspectives that constitute the Hospitality & Tourism Industry from a global perspective. Analysis of links between hotel, food, transportation, recreation, and other tourism-related industries will be addressed.

The curriculum contents are subject to change based on teaching environments and students' interests.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：The competencies/learning outcomes connect to the student learning outcomes of GMM's Diploma Policy #1, "Ability to become a leader in the domestic and/or global fields requiring advanced communication skills, with extensive knowledge of management", students should be able to

1. To understand the overall business fields that the " Hospitality & Tourism" Industry offers.

個別目標：Upon successful completion of this course, the student should be able:

1. To distinguish the business development, organization, and operational characteristics of the various sectors of the hospitality and tourism industry (travel/tourism, lodging, food/beverage, recreation, and special events), and describe how they are interrelated.
2. To differentiate the products, services, and systems offered by the various sectors of the hospitality and tourism industry's leisure and business markets.
3. To identify the career opportunities, job qualifications, and benefits provided by the various sectors of the hospitality and tourism industry.

▌履修条件

None

▌評価基準・方法

Students will be evaluated by the criteria described below.

-30 % Engagement and Contribution to the class

-30 % Assignments

-40 % Final exam

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC and internet connection is needed to take this course.）

▌教科書

Exploring the Hospitality Industry, 4th edition by John R. Walker., Pearson

▌参考書

Reading materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Orientation of the course & introduction to the hospitality and tourism industry** 授業内容：The structure and goals of the course will be reviewed, including: content framework, sequence of topics, grading method, classwork expectations, and learning objectives. 事前学修 2.0hr：Read the Course summary and think about what you want to achieve after finishing this course. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
2回	**授業テーマ：Hospitality Spirit** 授業内容：Different ideas and practices of hospitality in the context of culture and the hospitality industry will be considered as a way to frame the topics in this course. 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
3回	**授業テーマ：Tourism** 授業内容：A general discussion of tourism and the tourism industry will be conducted. Students will be encouraged to reflect on the structure of the industry and its many constituent components. 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
4回	**授業テーマ：Lodging** 授業内容：Sector focus: the lodging industry. What are its different forms, and how is it changing? 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
5回	**授業テーマ：Lodging Operations** 授業内容：Operational focus on the lodging industry: What are its different parts, and what kinds of employees are required? 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
6回	**授業テーマ：Cruising** 授業内容：Sector focus: the cruise industry. What are its different forms, and how is it changing? 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
7回	**授業テーマ：Restaurants** 授業内容：Sector focus: the restaurant industry. What are its different forms, and how is it changing? 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.

8回	**授業テーマ：Restaurant Operations** 授業内容：Operational focus on the restaurant industry: What kinds of employees are required for the different types of restaurants (and food service in general)? 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
9回	**授業テーマ：Managed Services** 授業内容：Sector focus: managed service. What are its different forms, and how is it changing? 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
10回	**授業テーマ：Beverage** 授業内容：The key role of beverages in hospitality operations in terms of service and business profitability. Trends in beverage consumption, and the tie between beverage production and tourism. 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
11回	**授業テーマ：Clubs** 授業内容：An introduction to clubs and club management, and their unique characteristics in terms of membership and operations. 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
12回	**授業テーマ：Theme Parks and Attractions** 授業内容：A brief overview of theme parks: different types, components, and the unique requirements of maintaining the brand "theme." 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
13回	**授業テーマ：Gaming Entertainment** 授業内容：An introduction to gaming and especially casinos, focusing on the unique jobs within the sector and the larger social context of gambling. 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
14回	**授業テーマ：Meetings, Conventions & Expos** 授業内容：An overview of the meetings, incentive, convention and exhibition (MICE) market, particularly on its importance to business professions. 事前学修 2.0hr：Conduct prior research on the topic and prepare for the contribution in the class. 事後学修 2.0hr：Review the points you have learned and prepare to present in the beginning of the next class.
15回	**授業テーマ：Summary (review of 14 lessons)** 授業内容：The course content will be summarized and placed within the context of career and employment opportunities for students. 事前学修 2.0hr：Review all 14 lessons and summarize the topic that you have learned from this course. 事後学修 4.0hr：Prepare for the Final Exam

Internship A・B・C・D・E・F・G・H

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 各 4 単位 ｜ 備考：GMM 対象科目

単位認定科目

▌授業の概要

A student must do an internship at a company within the hospitality and tourism industry in order to succeed in business. The student begins the internship following the instruction by the company.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：The module guides a student towards selecting an occupation after his or her graduation and learning required basic skills for the job quickly.

個別目標：A student can understand actual business contents and social manner through the internship and develop him or herself.

▌履修条件

A student must meet the requirement for his or her advancement.

▌評価基準・方法

・Each Internship must be over 120 hours.

・Assessment will be by way of reports from the student and the company confirming that he or she had done the internship, in addition to teaching reports from internship tutors and pre-seminar/case-study tutors before/after the internship.

▌フィードバック方法

Feedback will be provided at the internship debriefing session.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Internship training）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

None

▌参考書

None

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

Fill in the gap between the prior image and the reality of the job through the internship, learning the work environment and its unique occupational profile.

授業内容

Follow the instructions by the company and conduct on-the-job training according to the training schedule.

事前学修

Confirm and prepare one’s duty at his or her internship.

事後学修

Review one’s daily business outline at students’ internship.

After completing the internship period, students must participate in the debriefing session and make a presentation about their own experiences individually.

Internship (Overseas) A・B

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位 ｜ 備考：GMM 対象科目

単位認定科目

▌授業の概要

Students experience internships in HT industries at overseas facilities, which will include the study in advance, the overseas training and the business practice. Students must take the study in advance and the ex post facto study with internship tutors and each pre-seminar/case-study tutor.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：Fill in the gap between the prior image and the reality of the job through the internship, learning its work enviroment and its unique occupational profile.

個別目標：Obtain basic understanding on the responsibilites requried in the work and feed back experiences to other students.

▌履修条件

A student must meet the requirement for his or her advancement.

▌評価基準・方法

・Each Internship must be over 120 hours.

・Reports from the student, the overseas company, and relevant HT tutors before/after the internship.

▌フィードバック方法

manaba will be used to send out the feedback to the students.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

None

▌参考書

Reference materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

Per business practice, a student begins the internship following the instruction by the company.

授業内容

Actual work experiences in the hospitality & tourism industry.

事前学修

Confirm and prepare one’s duties at his or her internship.

事後学修

Review one’s daily business outline at his or her internship.

Hospitality and Volunteer Activities

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 4 単位 ｜ 備考：GMM 対象科目

単位認定科目

▌授業の概要

This program offers students opportunities to participate in volunteer activites at domestic facilities. It will include preparatory study, advance trainings, on-site trainings, submission of reports, and the final presentation.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：To experience the operation of the facility and contribute to society through volunteer activities.

個別目標：・To acquire broader points of view through social activities.

・To improve communication skills through meeting people of different age groups.

▌履修条件

Students must have willingness to engage in volunteer activities as a social contribution.

▌評価基準・方法

The credits are given based on the following results:

・Preparatory study and advance trainings

・Volunteer activities at one facility for a total of 150 hours and more.

Conduct on-site activities for at least 19 days with a maximum of 8 hours of activity per day. (Break time is not included in the activity time.)

・Reports on activities

(1) Reports based on instructions or requests from the facility

Time for creating a report at the facility can be counted as part of volunteer activities.

(2) Report as a post-study

Time for creating a report at home cannot be counted as volunteer activities.

・Evaluations by the facility manager and relevant HT tutors

・Final presentation

▌フィードバック方法

Feedback will be conducted through e-mail.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Volunteer activities at one facility for a total of 150 hours and more）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Preparatory study, writing reports）

▌教科書

None

▌参考書

Reference materials will be specified in preparatory study and advance trainings.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

Students will learn about local community and develop communication skills through on-sight volunteer activities at public facilities in Urayasu City.

授業内容

Students will participate in volunteer activities at one facility for a total of 150 hours and more after preparatory study and advance trainings. Submission of reports as post-study and the final presentation are required.

事前学修

Collect information and learn about the facility in preparatory study.

事後学修

Review the volunteer activities and write a report. Give a presentation on the acitivities.

Airline Business and operations

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2 ｜ 備考：GMM 対象科目

水野　徹（みずの　とおる）

▌授業の概要

Airline Business: Course Description

We will walk through the operational aspects of the airline business model through a combination of case analysis and lectures. You are expected to read the cases and be ready for case questions in advance of each session. It is very important that you will be ready for in-class case discussions which will be followed by lectures on the underlying marketing principles and analytical tools behind the cases.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Overall Objectives:

1. To understand the operational aspects of the airline business model (DP1)
2. To read and analyze business cases and apply the basic principles and analytical tools (DP1)

個別目標：Expected Achievements:

1. Students should be able to understand basic business model of the airline industry
2. Students should be able to analyze actual airline business cases and write up a summary of their analysis

▌履修条件

Prerequisite:

1. Complete the reading assignments prior to each session
2. Proactively speak out in the class
3. Papers must be submitted by the defined deadline date
4. Should be able to communicate with the instructor through manaba

▌評価基準・方法

Grading Policy:　The performance will be graded on the basis of final exam (50%), case write-ups (20%) and class participation and contribution (30%). Attendance of 80% or higher will be the prerequisite for granting a credit for this course. The grading of the assignments will be communicated through manaba.

▌フィードバック方法

manaba will be used to send out the feedback to the students.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Analysis on business cases has to be completed prior to each session）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Reading the business cases and responding to the case questions required PCs.）

▌教科書

Textbooks:　Case packet and hand-outs will be provided in manaba.

▌参考書

None

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Class Guidance and Introduction to Airline Industry** 授業内容：Class guidance, overview of the course and its objectives, grading policy, weekly assignments, and how the students should read business cases will be addressed during this session. 事前学修 1.5hr：Read the syllabus and prepare your goal in this course 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
2回	**授業テーマ：Legal Issues Relating to the Airline Industry** 授業内容：Lectures on the historic mile stones of airline regulations, airline license, traffic rights, and safety & security regualation will be addressed during this session. 事前学修 1.5hr：Research laws that may be relevant to the airline industry and be ready share your research with your class 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
3回	**授業テーマ：Airports** 授業内容：Class discussions on the business case ”FBO Inc.” and lectures on airports in Japan, financing the operations of airports, and global hub airports in the world. 事前学修 1.5hr：Read the case ”FBO Inc.” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
4回	**授業テーマ：Reservations and Sales** 授業内容：Class discussions on the business case ”Analytics of Overbooking” and lectures on elasticity of airline demand, variation of passenger demand, revenue management, and airline distribution. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Analytics of Overbooking” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
5回	**授業テーマ：Revenue Management** 授業内容：Class discussions on the business case ”Forecasting and Revenue Management at Balearic Airline” and lectures on overselling & overbooking, maximization of revenue, orice discrimination, expected marginal seat revenue (EMSR), and revenue managemnt in the context of the entire network. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Forecasting and Revenue Management at Balearic Airline” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
6回	**授業テーマ：Airline Services & Products** 授業内容：Class discussions on the business case ”Singapore Airlines” and lectures on inflight facilities and products, inflight entertainment, and airport products & services. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Singapore Airlines” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis

7回	**授業テーマ：Cargo Operations** 授業内容：Class discussions on the business case ”Lufthansa Cargo AG” and lectures on cargo capacity & demand, import & export, the roles of freight forwarders, integrators, and cargo dedicated airlines. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Lufthansa Cargo AG” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
8回	**授業テーマ：Passenger and Ground Handling** 授業内容：Class discussions on the business case ”United Airlines Inc.” and lectures on customer services at airports, baggage services, contract of carriage, and operations management. 事前学修 1.5hr：Read the case ”United Airlines Inc.” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
9回	**授業テーマ：Catering** 授業内容：Class discussions on the business case ”Vistara: U-Turn in catering” and lectures on inflight catering in the premium class cabins, offering of special meals, and unique operations of inflight catering. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Vistara: U-Turn in catering” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
10回	**授業テーマ：Low Cost Carriers** 授業内容：Class discussions on the business case ”Ryanair Compact Case” and lectures on the business model of the low cost carriers (LCCs), LCC penetration, dual branding & franchising, and LCCs under COVID-19. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Ryanair Compact Case” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
11回	**授業テーマ：Service Quality** 授業内容：Viewing the video on Shinkansen in Japan, followed by class discussions on the quality of the service in the transportation sector. 事前学修 1.5hr：Research the service quality of Shinkansen in Japan 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
12回	**授業テーマ：Airline Marketing (1)** 授業内容：Class discussions on the business case ”ZIPAIR’s Peculiar Brand Element Issue” and lectures on 4 Ps and STP of airline industry. 事前学修 1.5hr：Read the case ”ZIPAIR’s Peculiar Brand Element Issue” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
13回	**授業テーマ：Airline Marketing (2)** 授業内容：Class discussions on the business case ”Sri Lankan Airlines Turnaround”. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Sri Lankan Airlines Turnaround” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
14回	**授業テーマ：Current Issues of the Airline Industry** 授業内容：Review of the airline business models from the previous 13 sessions. 事前学修 1.5hr：What is your guess on the furure issues at the airline industry? 事後学修 2.5hr：Review hand-out
15回	**授業テーマ：Wrap-up and case analysis excercise** 授業内容：Wrap up on the course with particular emphasis on the final exam. 事前学修 1.5hr：Review all hand-outs from sessions 1 through 14 事後学修 2.5hr：Review hand-out

Hotel Business and operations

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1 ｜ 備考：GMM 対象科目

大屋　了三（おおや　りょうぞう）

▌授業の概要

Course Description Hotel Business and Operations

The hotel industry has a long history, dating back to BC.　And as long as there has been travel, hotels will continue to be an important part of society's infrastructure.　In this course, students will learn about the relationship between the hotel industry and society and the essential elements of hotel management, focusing on the following points

1. The relationship between the hotel industry and society, its characteristics, recent changes and challenges.
2. Practical know-how of hotel development and management.
3. The difficulties and joys of the hotel business through the instructor's experience.
4. Visit two hotels with different concepts, conduct SWOT analysis, and discuss ideas for strengthening competitiveness based on SWOT analysis.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Overall objectives:

Understand the basic structure, management method, current situation, issues, etc. of the hotel business

個別目標：Specific achievements expected:

1.Explain the process and frameworks of development, operation, marketing, human resources and other important elements for the hotel business

2.Explain the characteristics of the hotel business from the perspective of comparison with other industries

3.Explain the purpose of SWOT analysis as a key marketing activity

▌履修条件

Prerequisite:

1.Each assignment must be submitted by the deadline

2.Each student must actively participate in group tasks

▌評価基準・方法

Grading policy:

Examination:50%, Class contribution:30%, Report 20%.

▌フィードバック方法

1. Feedback on submitted assignments will be provided in MANABA.
2. Feedback on the results of group work will be given in class in a timely manner.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Hotel inspection tours and various group tasks）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Teaching materials will be uploaded in MANABA prior to each class.

Also, supplementary materials will be distributed from time to time.

▌参考書

Reference books: None, but the relevant internet websites and other information sources will be introduced in classes if necessary

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance and instruction** 授業内容：1. Knowing each other in the class by self-introduction 2. Guidance of grading, how to proceed the class, instructor's expectation for students 3. Current Overview and Outlook for Tourism 事前学修 2.0hr：Read the class guidance and syllabus 事後学修 2.0hr：Review the class guidance and syllabus
2回	**授業テーマ：Overview of Hotel industry** 授業内容：1.Brief history of the hotel industry 2.How the hotel industry contributes to the world 3.Stakeholders of hotel business 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class.
3回	**授業テーマ：Various Types of Hotel and Hotel Chains** 授業内容：1.Learn various types of hotels: Classification by both marketing and management perspectives 2.Learn why we need to classify hotels 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
4回	**授業テーマ：Overview of Hotel Management** 授業内容：Learn about how to run a hotel by knowing basic hotel management frameworks, hotel organization and functions of each department 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
5回	**授業テーマ：Hotel Development 1:Market research, concept, targeted customers, location, facility plan and planning organization** 授業内容：Learn the process to develop a hotel such as market research, concept study, focusing on targeted customers, location, facility plan and planning organization 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
6回	**授業テーマ：Hotel Development 2: Project cost and Feasibility study** 授業内容：Learn about the essential elements for a hotel to be a viable business and an overview of feasibility studies to prove business viability 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class

7回	**授業テーマ：Hotel Operations 1:Sales and Marketing** 授業内容：1.Lean about critical process to increase hotel revenue such as market segmentation, sales activities, revenue management 2.KPI(Key Performance Index) calculation Exercise 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
8回	**授業テーマ：Hotel Operations 2: On-site operations of a hotel** 授業内容：Learn an overview of on-site hotel operations such as rooms operations, food and beverage operations and banquet operations 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
9回	**授業テーマ：Hotel Operations 3: Human resources and guest satisfaction** 授業内容：1.Learn the essence of Human resources management in hospitality business such as recruitment, employee engagement, training, evaluation and rewarding 2.Learn important points of guest satisfaction 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Record your observations
10回	**授業テーマ：Hotel Inspection tour 1** 授業内容：An inspection tour will be conducted at Hotel A. Students will record their observations on the template provided by the instructor. 事前学修 2.0hr：Find out about the hotel we are visiting 事後学修 2.0hr：Record your observations
11回	**授業テーマ：Hotel Operations 4: Accounting and finance/The role of a General Manager** 授業内容：1.An overview of basic accounting and finance in the hotel business, including financial accounting, management accounting, forecasting, and various business plans disclosed to stakeholders 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
12回	**授業テーマ：Hotel Inspection tour 2** 授業内容：An inspection tour will be conducted at Hotel B. Students will record their observations on the template provided by the instructor. 事前学修 2.0hr：Find out about the hotel we are visiting 事後学修 2.0hr：Record your observations
13回	**授業テーマ：Workshop 1: SWOT Analysis** 授業内容：Learn about SWOT, an important marketing process, by conducting workshops in the following ways: 1. Divide the class into small groups and conduct a SWOT analysis of the two hotels visited 2. Each team will develop ideas to strengthen the competitiveness of each hotel based on the SWOT analysis, creating a unified view 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and work on the group task
14回	**授業テーマ：Workshop 2: Development of SWOT analysis and action plans** 授業内容：1. Based on the results of the SWOT analysis, each team will develop an action plans to strenghten competitiveness of the subject hotels. 3. Create presentation materials of SWOT analysis and action plans. 事前学修 2.0hr：Work on the group task 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete group task
15回	**授業テーマ：Present the outcome of the workshop, and Wrap up for the entire course** 授業内容：1. Each team will present the outcome of the workshop. 2. Review key points emphasized in each class 事前学修 2.0hr：Review all the lectures 事後学修 3.0hr：Prepare for the examination

Food & Beverage Business and Operations

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：集中 ｜ 備考：GMM 対象科目

ダニエル　チョン

▌授業の概要

Introducing the foodservice sectors focusing on Food and Beverage operations. The Food and Beverage Industry is the second largest segment in the hospitality industry apart from accommodations. This introductory course will enable you to understand the Food and Beverage Industry not only from an operational perspective but also from a managerial perspective.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Recognize and describe the basic concepts of Food and Beverage operations.

個別目標：Realize the key success factors of running a foodservice operation considering differentiation in concepts, characteristics, target market, cultural/social impacts, ethical issues, and sustainability of the business.

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class sessions by reading assigned material.

▌評価基準・方法

The evaluation will be based on participation (20%), and final exam (80%).

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （There is experiential learning with the use of actual food and beverage materials.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Cousins, J., Lillicrap, D., & Weekes, S. (2020). Food and beverage service (10th Edition). Hachette UK.

▌参考書

Reading materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction; The Foodservice Industry** 授業内容：The overview of this course and the food service industry will be covered. 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review the segments available in the foodservice industry
2回	**授業テーマ：The Foodservice Consumers** 授業内容：The customers of the food service industry will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about the foodservice consumers 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about the foodservice consumers
3回	**授業テーマ：F&B Productions and Organizations** 授業内容：The productions and organizations of the food and beverage service industry will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about F&B productions and organizations 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about F&B productions and organizations
4回	**授業テーマ：F&B Personnel Attributes** 授業内容：The Personnel Attributes in the food and beverage service industry will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about F&B personnel attributes 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about F&B personnel attributes
5回	**授業テーマ：F&B Personnel Essential Skills** 授業内容：The Personnel Essential Skills required for the food and beverage service will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about F&B Personnel essential skills 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about F&B personnel essential skills
6回	**授業テーマ：F&B Service Areas** 授業内容：The food and beverage service area will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about F&B service areas 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about F&B service areas
7回	**授業テーマ：F&B Service Equipment** 授業内容：The types of equipment in the food and beverage service will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about F&B service equipment 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about F&B service equipment
8回	**授業テーマ：Foodservice Menu and Development** 授業内容：The Menu and Development for the food service will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about foodservice menu and development 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about foodservice menu and development
9回	**授業テーマ：International and Classical Dishes** 授業内容：The International and Classical Dishes in the food service will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about international and classical dishes 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about international and classical dishes
10回	**授業テーマ：Classical Cheeses and Desserts** 授業内容：The classical cheeses and desserts in the food services menu will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about classical cheese and desserts 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about classical cheeses and desserts
11回	**授業テーマ：Non-Alcoholic Beverages** 授業内容：Non-Alcoholic Beverages in the service will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about Non-Alcoholic Beverages 事後学修 2.0hr：Review today' s lecture and research about Non-Alcoholic beverages

12回	**授業テーマ：Alcoholic Beverages** 授業内容：Alcoholic Beverages in the service will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about alcoholic beverages 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about alcoholic beverages
13回	**授業テーマ：Wine Tasting Techniques** 授業内容：The techniques of Wine Tasting will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about wine tasting techniques 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about wine tasting techniques
14回	**授業テーマ：Western Fine Dining Service Sequence** 授業内容：The Sequence of Western Fine Dining Service will be covered. 事前学修 2.0hr：Read about western fine dining service sequence 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about western fine dining service sequence
15回	**授業テーマ：Summary** 授業内容：The course content will be summarized. 事前学修 2.0hr：Review all the class works and prepare for questions 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and prepare for the final exam

Concierge/Business Networking

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

川村　一司（かわむら　かずし）

▌授業の概要

The aim of this course is to help students to master and acquire the professional hospitality in all kinds of industries.
Throughout the courses, basic skills and mindsets of hotel concierges are introduced by learning real episodes.
Students are required to consider their meaning and the philosophy of the hospitality profession reflected in them.
In each class, students are expected to positively play a part in discussion, workshops, and outputs to learn the business stage of hospitality.
The schedule or contents may be changed or combined.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：to obtain basic knowledge, skill and attitude of professional hospitality management through studying practical cases of the hotel concierge as material.

個別目標：to master basic knowledge and spirit of concierge.
to master the attitude of professional hospitality management in practice.
to be able to differentiate the importance of business networking as a hospitality professional.
to be able to recite the uniqueness of the Japanese hospitality.
to be able to explain what ”hospitality” is as a professional hospitality manager.

▌履修条件

none

▌評価基準・方法

80% presence is mandatory
examination 40%
presentation & homework assignments/positive activity, output and challenge in the class/performance with hospitality and proper manner 60%

▌フィードバック方法

Feedback for your work would be mainly provided in the session.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion and presentation）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Presentation and report）

▌教科書

none

▌参考書

to be announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance** 授業内容：Course overview and objectives 事前学修 2.0hr：find what you know about concierge 事後学修 2.0hr：confirm the purpose of the class
2回	**授業テーマ：Introduction to the concierge** 授業内容：To know the roles and features of the concierge 事前学修 2.0hr：consider the purpose of the concierge profession 事後学修 2.0hr：confirm the purpose of the concierge profession
3回	**授業テーマ：Regular tasks of the concierge** 授業内容：To know the daily tasks and responsibility. 事前学修 2.0hr：consider the regular daily tasks of concierge 事後学修 2.0hr：confirm and clarify the meaning of each task of the concierge
4回	**授業テーマ：Concierge spirit** 授業内容：To know the spirit, character and philosophy of concierge 事前学修 2.0hr：consider what kind of character is preferred for the professional concierge 事後学修 2.0hr：clarify the difference of character, spirit and philosophy as hospitality professionals
5回	**授業テーマ：Concierge spirit** 授業内容：To know the performance in practice of concierge spirits 事前学修 2.0hr：consider what ”professional performance” of hospitality is 事後学修 2.0hr：confirm what is necessary for performance of professional hospitality
6回	**授業テーマ：Guest satisfaction** 授業内容：To know how to render professional service 事前学修 2.0hr：consider who the customer is and what the satisfaction is in the professional hospitality field 事後学修 2.0hr：clarify and confirm who your customer is, and what you can do for their satisfaction
7回	**授業テーマ：Japanese hospitality** 授業内容：To know and find out the features of the Japanese hospitality 事前学修 2.0hr：find the unique characteristics of Japanese hospitality 事後学修 2.0hr：clarify the strength and weakness of Japanese hospitality and what we can do for it
8回	**授業テーマ：Workshop – Suggestion for guests** 授業内容：To know how to render professional service 事前学修 2.0hr：review the key points for high quality performance of hospitality 事後学修 2.0hr：find strength and weakness of yourself in the performance of hospitality
9回	**授業テーマ：Presentation – Suggestion for guests** 授業内容：Group work and presentation 事前学修 2.0hr：review the key points for high quality performance of hospitality 事後学修 2.0hr：find strength and weakness of yourself in the performance of hospitality

10回	**授業テーマ：Feedback for workshop** 授業内容：Giving feedback and consider further actions 事前学修 2.0hr：review the key points for outstanding performance of professional concierge 事後学修 2.0hr：clarify the essential points for professional concierge
11回	**授業テーマ：Professional networking** 授業内容：To know the importance of the business networking among hospitality professionals 事前学修 2.0hr：consider why networking is important for hospitality business 事後学修 2.0hr：clarify and confirm what ”business networking” is
12回	**授業テーマ：Tourism oriented country and professional hospitality** 授業内容：To know the roles and responsibility in the course of the further development of the tourism industry 事前学修 2.0hr：consider how professional hospitality can work for tourism oriented country 事後学修 2.0hr：clarify and confirm what we can do for Japan as hospitality professionals
13回	**授業テーマ：Workshop** 授業内容：Arrangement for welcoming VIP guests 事前学修 2.0hr：review the important points for high qualify arrangement of professional concierge 事後学修 2.0hr：confirm the meaning of each action of arrangement of professional hospitality
14回	**授業テーマ：Concierge history** 授業内容：To know the history of concierge profession and Les Clefs d’Or 事前学修 2.0hr：find what you know about concierge 事後学修 2.0hr：clarify the history and the meaning of concierge and Les Clefs d’Or
15回	**授業テーマ：Review and wrapping up** 授業内容：Review and wrapping up the professionalism and strong capability to feel others 事前学修 2.0hr：review and try to explain what is ”professional hospitality” 事後学修 2.0hr：make sure if you are able to explain your own idea on what professional hospitality is

Tourism and the Law

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

吉田　成利（よしだ　なるとし）

▌授業の概要

Students study what the Japanese law is and its esprit, comparing different nations' rules.
Prior reading is required.
The lecturer asks students to summarise the reading,
and coordinate the discussion about the topic.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Students understand the significance of law and learn the legal way of thinking through the Japanese law.
個別目標：(1) Students precisely use laws as useful tools in their daily lives.
(2) Students explain why we need to learn the legal way of thinking.

▌履修条件

Every student must actively and sincerely participate in each lecture.

▌評価基準・方法

・Performance and attitude: 30 percent
・Essay: 30 percent
・Final exam: 40 percent
In each class, the lecturer will give you feedback on short essays, etc.

▌フィードバック方法

Feedback will be done time to time after your performance and submission.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Certainly, the course must be active learning.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Definitely, you must use your own PC in each class.）

▌教科書

Will be specified in each class.

▌参考書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』(慶應義塾大学出版会、2020 年)
Luis Pedriza, Lectures on Japanese Law,
(Osaka University Press, 2017)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Orientation 事前学修 2.0hr：Skim the textbook. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
2回	**授業テーマ：Sources of Japanese Law** 授業内容：Learn the sources of Japanese Law. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
3回	**授業テーマ：The Legal Profession in Japan** 授業内容：Learn the Japanese Legal Profession. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
4回	**授業テーマ：The Japanese Judiciary** 授業内容：Understand the Japanese Judiciary System. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
5回	**授業テーマ：Civil and Criminal Litigation** 授業内容：Understand the Procedure Laws in Japan. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
6回	**授業テーマ：The National Diet and the Cabinet** 授業内容：Understand the national legislative body and its function 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
7回	**授業テーマ：Human Rights in Japan** 授業内容：Understand the basic human rights in Japan. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
8回	**授業テーマ：The US Japan Security Treaty** 授業内容：Learn the most significant treaty for Japanese national security. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
9回	**授業テーマ：Basics of Civil Law** 授業内容：Understand the contracts. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
10回	**授業テーマ：Real Rights and Possession** 授業内容：Understand the real property law. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.

11回	**授業テーマ：Obligations** 授業内容：Learn the civil obligations in Japan. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
12回	**授業テーマ：Family and Inheritance Law** 授業内容：Understand the family law in Japan. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
13回	**授業テーマ：Basics of Criminal Law** 授業内容：Learn the basics of criminal law and crimes. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
14回	**授業テーマ：Crimes** 授業内容：Learn the sort of crime and punishments. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
15回	**授業テーマ：Jury System and Conclusion** 授業内容：Conclusion 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Review this course.

Events & Meeting Management

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT2 ｜ 備考：GMM 対象科目

岩本　英和 (いわもと　ひでかず)

▌授業の概要

This course introduces the origins of event and convention, globalization of the conference industry, event marketing, roles of destination marketing organization, international organizations and associations and future of MICE industry.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Understand origin and structure of MICE industry
個別目標：Students will be able to understand and explain about the basic concept, socio-economic impact and a broader picture of MICE industry.

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class sessions by reading assigned material.

▌評価基準・方法

Short tests through Manaba (40%), and final exam (60%).

▌フィードバック方法

If you have any questions or requests regarding lecture content, we will provide feedback through lectures and manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Short tests through Manaba）

▌教科書

Not specified.

▌参考書

Reading materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Outline of Hospitality & Tourism** 授業内容：We will learn the basic knowledge of hospitality management. 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review to understand further about Hospitality & Tourism
2回	**授業テーマ：Introduction to MICE industry** 授業内容：This lecture introduces the MICE industry through case study of Japanese industry. 事前学修 2.0hr：Pre-reading assignment and terminology of the second class 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about the history of the event and convention industry
3回	**授業テーマ：The organizers and sponsors of MICE industry** 授業内容：This lecture explains the role of organizers and sponsors in MICE industry. 事前学修 2.0hr：Pre-reading assignment and terminology of the third class 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about the organizers and sponsors of MICE industry
4回	**授業テーマ：The role and functions of destination marketing organization (DMO)** 授業内容：This lecture introduces DMO and explain its role. 事前学修 2.0hr：Pre-reading assignment and terminology of the fourth class 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about the role and functions fo destination marketing organization(DMO)
5回	**授業テーマ：The importance of meeting venue and its finanical structure impact** 授業内容：Through the case study of meeting venue in Japan, we will learn the importance of meeting venue and deepen the knowledge of its financial structure. 事前学修 2.0hr：Pre-reading assignment and terminology of the fifth class 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about the importance of meeting venue and its finanical structure impact
6回	**授業テーマ：The role of the exhibitor and fundamentals of exhibit planning** 授業内容：This lecture explains the role of the exhibitor and fundamentals of exhibit planning. 事前学修 2.0hr：Pre-reading assignment and terminology of the sixth class 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about the role of the exhibitor and fundamentals of exhibit planning
7回	**授業テーマ：Service contractors and their role in MICE industry** 授業内容：This lecture explains service contractors and their role in MICE industry. 事前学修 2.0hr：Pre-reading assignment and terminology of the seventh class 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about service contractors and their role in MICE industry
8回	**授業テーマ：The role of destination management companies** 授業内容：This lecture explains the role of destination management companies. 事前学修 2.0hr：Pre-reading assignment and terminology of the eighth class 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about the role of destination management companies
9回	**授業テーマ：The basic operations and components of a special event** 授業内容：This lecture introduces the basic operations and components of a special event. 事前学修 2.0hr：Pre-reading assignment and terminology of the ninth class 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about the basic operations and components of a special event
10回	**授業テーマ：Evaluation of meeting planning: a needs analysis, site selection and budgetary goals** 授業内容：Using the research papers, this lecture explains a needs analysis, site selection and budgetary goals in MICE industry. 事前学修 2.0hr：Pre-reading assignment and terminology of the tenth class 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about evaluation of meeting planning: a needs analysis, site selection and budgetary goals
11回	**授業テーマ：Types of catering operations and caterers** 授業内容：Types of catering operations and caterers are shown in the lecture. 事前学修 2.0hr：Pre-reading assignment and terminology of the eleventh class 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about types of catering operations and caterers
12回	**授業テーマ：Importance of negotiation between the organizers and suppliers** 授業内容：This lecture shows the Importance of negotiation between the organizers and suppliers through the case study. 事前学修 2.0hr：Pre-reading assignment and terminology of the twelfth class 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about importance of negotiation between the organizers and suppliers

13回	**授業テーマ：New technologies that support MICE industry** 授業内容：In the Post Covid-19, new technologies that support MICE industry are continuously invented, so this lecture shows the examples of new technologies. 事前学修 2.0hr：Pre-reading assignment and terminology of the thirteenth class 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about new technologies that support MICE industry
14回	**授業テーマ：Green movements of MICE industry** 授業内容：From the perspective of sustainability in tourism industry, we will discuss the importance of sustainability in MICE industry. 事前学修 2.0hr：Pre-reading assignment and terminology of the fourteenth class 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research about green movements of MICE industry
15回	**授業テーマ：Summary** 授業内容：In the summary, we will review the whole session and exchange opinions to think about the future of MICE industry. 事前学修 2.0hr：Review all the class works and prepare for questions 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and prepare for the final exam

Tourism Planning and Development

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1 ｜ 備考：GMM 対象科目

白木　秀典（しらき　ひでのり）

▌授業の概要

In this course, we will learn about the principles of planning and development of tourism destinations in Japan, with case studies. The Cases include relatively newly planned and developed areas, rather than traditional ones, to cover the various features of development. In addition, the overseas tourist destinations will be also introduced as a reference, based on the lecturer's experience in the Pacific areas.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：To get an overall features of tourism destinations and issues by types.
To understand what are and how to develop tourism destinations.
個別目標：To be able to name the factors necessary for the development of tourism destinations.
To understand success and failure factors of tourism destination development by type.
To understand the difference between tourism destination development in Japan and overseas.

▌履修条件

In addition to lectures by the instructor, the course will consist of research and presentations by students.
This work is a major part of the evaluation.

▌評価基準・方法

Class Participation 30%
Research and Presentation 40%
Homework assignment and Report 30%

▌フィードバック方法

The feedback of the report will be provided through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussion,Presentation）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Presentation）

▌教科書

None. The reading materials will be posted in manaba before each session.

▌参考書

None. Some information source will be provided in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to Tourism Planning and Development** 授業内容：- Overview of Japanese tourism industry - Role of investment projects in tourism development - Analysis of existing tourism infrastructure and facilities 事前学修 2.0hr：Write a short report based on the reading material and submit it to manaba. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing the class materials and your own notes.
2回	**授業テーマ：Tourism Investment Strategies** 授業内容：- Types of tourism investments; accommodation, attractions, IR etc. - Financing options for tourism projects - Risk assessment and management in tourism investment 事前学修 2.0hr：Write a short report based on the reading material and submit it to manaba. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing the class materials and your own notes.
3回	**授業テーマ：Destination Management and Governance** 授業内容：- DMO and Governance structures for destination management - Stakeholder engagement and community involvement - Environmental impacts of development 事前学修 2.0hr：Write a short report based on the reading material and submit it to manaba. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing the class materials and your own notes.
4回	**授業テーマ：Cases of Destination Management and Governance** 授業内容：- Development Cases of the Ski or Golf Resort - Presentation of research findings by students 事前学修 2.0hr：Write a short report based on the reading material and submit it to manaba. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing the class materials and your own notes.
5回	**授業テーマ：Tourism Product Development** 授業内容：- Conceptualizing and designing tourism products - Integrating cultural, natural and heritage assets - Sustainable design and management practices 事前学修 2.0hr：Write a short report based on the reading material and submit it to manaba. 事後学修 2.0hr：As assigned, students are expected to research the next topic and prepare a presentation for the class.
6回	**授業テーマ：Cases of Tourism Product Development** 授業内容：- Theme Parks in Japan - Presentation of research findings by students 事前学修 2.0hr：As assigned, students are expected to research the topic and prepare a presentation for the class. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing the class materials and your own notes.
7回	**授業テーマ：Community Engagement and Empowerment** 授業内容：- Importance of community involvement in tourism planning - Collaborative models for public-private partnerships - Strategies for empowering local communities in tourism decision-making 事前学修 2.0hr：Write a short report based on the reading material and submit it to manaba. 事後学修 2.0hr：As assigned, students are expected to research the next topic and prepare a presentation for the class.

8回	**授業テーマ：Cases of Community Engagement and Empowerment** 授業内容：- Hot Spring or SPA Development in Japan. - Presentation of research findings by students 事前学修 2.0hr：As assigned, students are expected to research the topic and prepare a presentation for the class. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing the class materials and your own notes.
9回	**授業テーマ：Nature-Based Tourism and Ecotourism** 授業内容：- Opportunities and challenges in nature-based tourism development - Principles of ecotourism and responsible nature-based tourism - Environmental protection and conservation initiatives 事前学修 2.0hr：Write a short report based on the reading material with problems and submit it to manaba. 事後学修 2.0hr：As assigned, students are expected to research the next topic and prepare a presentation for the class.
10回	**授業テーマ：Cases of Nature-Based Tourism and Ecotourism** 授業内容：- Food and Drink Tourism or Rural Tourism in Japan - Presentation in research findings by students 事前学修 2.0hr：As assigned, students are expected to research the topic and prepare a presentation for the class. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing the class materials and your own notes.
11回	**授業テーマ：Entrepreneurship in Tourism** 授業内容：- Entrepreneurial opportunities in tourism destinations - Case studies of successful entrepreneur-developed tourism destinations - Financing and marketing strategies for tourism startups 事前学修 2.0hr：Write a short report based on the reading material with problems and submit it to manaba. 事後学修 2.0hr：As assigned, students are expected to research the topic and prepare a presentation for the class.
12回	**授業テーマ：Cases of Entrepreneurship in Tourism** 授業内容：- Hoshino Resort and the other Ryokan revitalization groups - Presentation of research findings by students 事前学修 2.0hr：As assigned, students are expected to research the topic and prepare a presentation for the class. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing the class materials and your own notes.
13回	**授業テーマ：Tourism Investment Project Evaluation** 授業内容：- Methods for evaluating the feasibility - Tourism investment and government laws and regulations - Socio-economic impacts of project 事前学修 2.0hr：Write a short report based on the reading material and submit it to manaba. 事後学修 2.0hr：As assigned, students are expected to research the next topic and prepare a presentation for the class.
14回	**授業テーマ：Cases of Tourism Investment Project Evaluation** 授業内容：- Development concept of IR or MICE in Japan. - Presentation of research findings by students 事前学修 2.0hr：As assigned, students are expected to research the topic and prepare a presentation for the class. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing the class materials and your own notes.
15回	**授業テーマ：Overview of this course** 授業内容：- Reflecting the student presentation. - Reviewing the course. 事前学修 2.0hr：Write a short report based on the reading material and submit it to manaba. 事後学修 3.0hr：Revie the course and write a final report to submit.

Tourism and the Society

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1 ｜ 備考：GMM 対象科目

中野　実（なかの　みのる）

▌授業の概要

Tourism is an industry dependent on peace. To think about peace, it is important to understand the world's major actors, the nation-states, and the history of wars. In this class, based on international relations theory, we will consider how modern states were born and what kind of history they have followed, incorporating theory, and examine problems between states that continue to the present day. It also looks at how the world is working to avoid conflict. Then, we will consider peace and tourism by looking at some cases that have actually affected tourism. Finally, based on this understanding, we will consider the current relationship between Japan and its surrounding states.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Students will learn about the modern international system, the mechanisms by which conflicts occur, and efforts to build peace, and deepen their understanding of the importance of peace and the aviation and tourism industries that depend on it.

個別目標：・ Be able to present one of tourist destinations or world heritage sites around the world, including past conflicts that occurred there and the recovery process up to now.

・ Also, students will be able to explain some of the international phenomena covered in this class from multiple perspectives, and be able to present issues that need to be addressed.

▌履修条件

For 3rd grade and above only.

For those students who are interested in International Relations.

▌評価基準・方法

Examination (50%), Presentation (20%), Assignment (20%), Attendance, engagement and contribution (10%)

▌フィードバック方法

Direct feedback at the time of presentation and feedback of assignments through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Presentation, Discussion, Group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Presentation, Group work）

▌教科書

No textbook specified.

▌参考書

Joseph Grieco, G. John Ikenberry and Michael Mastanduno (2015), "Introduction to International Relations", Palgrave

And others

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction: What is peace?** 授業内容：Explanation of a course plan and evaluation criteria. Then, understand a basis of international peace. Briefly looking at the current structure of the world, systems, causes of war, peacebuilding efforts, and current axes of conflict that will covered in this course. 事前学修 2.0hr：Watched latest world news and understand the conflicts currently occurring in various places in the world 事後学修 2.0hr：Review and summrise the class contents of the day.
2回	**授業テーマ：Nation-states and sovereignty: understanding the modern state system** 授業内容：How did the nation-state we know today come into being? Then consider what kind of relationship between states we can recognise in this world. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
3回	**授業テーマ：Nation-states and war: Examining the history of war.** 授業内容：Since the establishment of modern nation-states, the world has experienced repeated wars between states. Think about what changes those wars brought about in relations between those states. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
4回	**授業テーマ：Cold War: Was the Cold War a state of peace? Understanding of the Cold War.** 授業内容：After World War II, the world's great powers were in conflict but did not fight directly. Understand why it started, how it worked, and why it ended. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
5回	**授業テーマ：International relations theory: Realism, Liberalism and Constructivism (+ Presentation)** 授業内容：Understand the three theories that are said to be the three major trends in international relations theory, and understand the behaviour of states. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
6回	**授業テーマ：EU: History of European integration and history of attempts aimed at peace in the region (+ Presentation)** 授業内容：Why did Europe aim for integration? Understand the history of that integration. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
7回	**授業テーマ：United Nations: Understand the role of the United Nations (+ Presentation)** 授業内容：Understand the creation and structure of the United Nations and its role in peacebuilding. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
8回	**授業テーマ：Case study 1: Impact of the Gulf War on tourism (+ Presentation)** 授業内容：Review and consider the impact of the Gulf War that occurred in 1991 on tourism. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.

9回	**授業テーマ：The nation-states and terrorism (+ Presentation)** 授業内容：Thinking about terrorism, which continues to increase in the 21st century, in relation to the nation-states. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
10回	**授業テーマ：Case study 2: Impact of the 9/11 terrorist attacks on tourism (+ Presentation)** 授業内容：Review and consider the impact of the terrorist attacks in the United States that occurred in 2001 on tourism 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
11回	**授業テーマ：Democracy and authoritarianism: Considering the current axis of conflict (+ Presentation)** 授業内容：Why are there democratic and authoritarian states that are at odds with each other in the world? Understand the characteristics of them with a view of both citizen and government sides, including their perspectives. Debate or Discussion depending on the number of students. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
12回	**授業テーマ：Peacebuilding by tourism: Group Work** 授業内容：Have a group discussion and present how tourism contributes to the peacebuilding. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
13回	**授業テーマ：Thinking about peace in Japan ①: Japan-US relations and security treaty** 授業内容：Understand why Japan is allied with the United States and why there are American bases in Japan by reviewing the Japan-US relationship since the arrival of the American Black Ships and post-World War II national security. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
14回	**授業テーマ：Thinking about peace in Japan ②: Wars in Japan** 授業内容：Understand the views and consciousness of the government and people at the time, which were constructed in Japan between the isolationism of the Edo period and World War II, and understand why they began those wars and finally surrendered unconditionally. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day.
15回	**授業テーマ：Thinking about peace in Japan ③: International relations between Japan and neighboring states** 授業内容：Consider international relations surrounding Japan, such as Japan-China, Japan-Korea, and Japan-Russia. In particular, examine postwar territorial issues and emotional issues. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review and summarise the class contents of the day and the whole course.

eCommerce

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT2 ｜ 備考：GMM 対象科目

三輪　祥宏（みわ　よしひろ）

▌授業の概要

This course is designed to provide principles and practices that lead to successful digital transformation for each student.
This course also inspires you to: Devise an industry-transforming business model; Minimize risk using discovery-driven transformation; Leverage torrents of data more strategically; Prepare yourselves for the future of work; Prioritize the right initiatives; Compete in the age of AI.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：1. Acquiring basic knowledge and frameworks to understand Digitalization and Digital transformation.
2. Understanding the approach to realizing innovative ideas with Digital transformation.
3. Preparing a mindset to lead transformation with Digital technologies.

個別目標：Finding your own principle/standard for visioning/leading/driving Digital Transformation.

▌履修条件

1. This course is designed to have students participate in all classes.
2. All students are required to send short and main essays to the lecturer via Meikai email account.

▌評価基準・方法

+ Class Contribution: 40 pt (2 pt * 15 classes + assigned lecturer 10 pt)
+ Short Essays & Peer Review: 28 pt (4 pt * 7 weeks)
+ Final Exam: 32 pt (4 pt * 8 questions)

* Feedback on assignments will be provided through manaba.

▌フィードバック方法

Feedback is available via Manaba or Classroom.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （There is experiential learning through simulated experiences with case studies and the use of actual digital services.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （There is experiential learning through using of actual digital services.）

▌教科書

HBR's 10 Must Reads on Leading Digital Transformation (with bonus article "How Apple Is Organized for Innovation")
ISBN-13: 978-1647822163 /Harvard Business Review Press

▌参考書

Other reading materials will be specified in class.
Make it a habit to access business news on media, such as Internet or Newspaper,TV etc.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance and introduction** 授業内容：Define and understand the rule, procedures,s and grading guidelines. 事前学修 2.0hr：Describe your opinion on Digital Transformation as you read this syllabus 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
2回	**授業テーマ：Digitization, Digitalization, and Digital transformation** 授業内容：1. Explain the difference among the three terms digitization, digitalization, and digital transformation 2. Understand the process of Digital transformation 3. Imagine how digital affect real 事前学修 2.5hr：Preparing for your Lecture about the article with finding 3 key take-aways from this article. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
3回	**授業テーマ："The Age of Continuous Connection"** 授業内容：1. Understand the characteristics of Digital Marketing 2. Explain the difference between Internet /Online Marketing, and Digital Marketing 3. Propose Digital Marketing to traditional business 事前学修 2.5hr：Preparing for your Lecture about the article with finding 3 key take-aways from this article. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
4回	**授業テーマ：Digital Marketing Workshop** 授業内容：1. Understand the characteristics of Digital Marketing 2. Explain the difference between Internet /Online Marketing, and Digital Marketing 3. Propose Digital Marketing to traditional business 事前学修 2.5hr：Preparing for your Lecture about the article with finding 3 key take-aways from this article. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
5回	**授業テーマ："What's Your Data Strategy?"** 授業内容：1. Explain the difference between Data, information, knowledge, intelligence, and wisdom 2. Explain the value of a Data Architecture 3. Understand the differences between a Data warehouse and a Data lake 事前学修 2.5hr：Preparing for your Lecture about the article with finding 3 key take-aways from this article. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
6回	**授業テーマ：Data management Workshop** 授業内容：1. Explain the difference between Data, information, knowledge, intelligence, and wisdom 2. Explain the value of a Data Architecture 3. Understand the differences between a Data warehouse and a Data lake 事前学修 2.5hr：Preparing for your Lecture about the article with finding 3 key take-aways from this article. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
7回	**授業テーマ："Competing in the Age of AI"** 授業内容：1. Explain the impact of AI on business 2. Understand how humans collaborate with AI effectively. 3. Understand the difficulties to collaborate with AI 事前学修 2.5hr：Preparing for your Lecture about the article with finding 3 key take-aways from this article. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture

8回	**授業テーマ：”Building the AI-Powered Organization?”** 授業内容：1. Explain the impact of AI on business 2. Understand how humans collaborate with AI effectively. 3. Understand the difficulties to collaborate with AI 事前学修 2.0hr：Read again the assigned article and find 3 key take-aways of this article 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
9回	**授業テーマ：”Demystifying the metaverse”** 授業内容：1. Explain what Metaverse means for business 2. Understand what makes a metaverse 3. Understand what we prepare for the Metaverse era 事前学修 2.5hr：Preparing for your Lecture about the article with finding 3 key take-aways from this article. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
10回	**授業テーマ：Metaverse walk through** 授業内容：1. Explain what Metaverse means for business 2. Understand what makes a metaverse 3. Understand what we prepare for the Metaverse era 事前学修 2.5hr：Preparing for your Lecture about the article with finding 3 key take-aways from this article. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
11回	**授業テーマ：”The Transformative Business Model** 授業内容：1. Understand what kinds of transform required in the digital transformation 2. Explain how Digital Transformation affects legacy business 3. Imagine how to transform legacy businesses to beat the new business 事前学修 2.5hr：Preparing for your Lecture about the article with finding 3 key take-aways from this article. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
12回	**授業テーマ：”The Problem with Legacy Ecosystems”** 授業内容：1. Understand what kinds of transform required in a business ecosystem 2. Explain how Digital Transformation affects legacy business 3. Imagine how to transform legacy businesses to beat the new business 事前学修 2.5hr：Preparing for your Lecture about the article with finding 3 key take-aways from this article. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
13回	**授業テーマ：”How Smart, Connected Products Are Transforming Companies”** 授業内容：1. Explain how the smart, connected products(SCP) affect companies 2. Understand how SCP transforms the value chains 3. Understand how SCP transforms the organizations 事前学修 2.5hr：Preparing for your Lecture about the article with finding 3 key take-aways from this article. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
14回	**授業テーマ：”Digital Transformation Comes Down to Talent in Four Key Areas”** 授業内容：1. Explain how the value of the blockchain in a business 2. Understand how blockchain transforms the business ecosystem 3. Understand how blockchain transforms the business models 事前学修 2.5hr：Preparing for your Lecture about the article with finding 3 key take-aways from this article. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
15回	**授業テーマ：”Your Workforce Is More Adaptable Than You Think”** 授業内容：1. Understand what kinds of transform required for the workforce 2. Explain how Digital Transformation affects human resources 3. Imagine what kind of skills, capabilities, or talents are required for the Digital Transformation era 事前学修 3.5hr：Preparing for your Lecture about the article with finding 3 key take-aways from this article. 事後学修 3.5hr：Prepare for the Final Exam

Cruise Line Business and Operations

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

上杉　恵美（うえすぎ　めぐみ）

▌授業の概要

This course will give students an opportunity to gain basic knowledge of the cruise industry. The course will study the history and development of the cruise industry and characteristics of the cruise experience. Major cruise destinations in the world will be introduced and cruise operation management will be analyzed from hospitality perspectives.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Students will develop knowledge of the cruise industry.
Students will create an original cruise plan based on the knowledge and information gained in this course.
個別目標：Students will learn history and development of the cruise industry.
Students will understand characteristics of cruise experiences.
Students will study a wide range of cruise destinations.
Studetns will create their original cruise plan.

▌履修条件

None

▌評価基準・方法

Students will be evaluated by the criteria below.
-50 % Assignments
-30 % Cruise plan and presentaions
-20 % Final exam

▌フィードバック方法

Feedback will be conducted through the learning support system manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Cruise planning, presentations）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Small tests, cruise planning, presentations）

▌教科書

Materials will be distributed in class.

▌参考書

Cruise Operations Management: Hospitality Perspectives Third Edition (Philip Gibson /Richard Parkman, Routledge 2019)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction: Overview of Cruise Industry** 授業内容：The images of cruising, the global cruise market 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
2回	**授業テーマ：Cruise Brands and Vessel Classification** 授業内容：Major cruise brands and their characteristics, classification of cruise ships 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
3回	**授業テーマ：Culture and Hospitality of Cruise Ships** 授業内容：Terminology found in cruise industry, characteristics of culture and hospitality of cruise ships 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
4回	**授業テーマ：Working on Board** 授業内容：Various occupations related to cruise ships 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
5回	**授業テーマ：Cruise Destination 1** 授業内容：World's major cruise destinations and shore excursions (1) 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
6回	**授業テーマ：Cruise Destination 2** 授業内容：World's major cruise destinations and shore excursions (2) 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
7回	**授業テーマ：Cruise Destination 3** 授業内容：World's major cruise destinations and shore excursions (3) 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
8回	**授業テーマ：Cruise Destination 4** 授業内容：World's major cruise destinations and shore excursions (4) 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
9回	**授業テーマ：Cruise Destination 5** 授業内容：World's major cruise destinations and shore excursions (5) 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
10回	**授業テーマ：Cruise Destination 6** 授業内容：World's major cruise destinations and shore excursions (6) 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review

11回	**授業テーマ：Creating a Cruise Plan 1** 授業内容：The elements of planning, designing the tour, planning the itinerary 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
12回	**授業テーマ：Ceating a Cruise Plan 2** 授業内容：Creating a cruise plan based on the knowledge and information gained in class 事前学修 2.0hr：Class review 事後学修 2.0hr：Preparation for presentation
13回	**授業テーマ：Presentations of Cruise Plans 1** 授業内容：Presentations of cruise plans and evaluation 事前学修 2.0hr：Preparation for presentation 事後学修 2.0hr：Review of presentations
14回	**授業テーマ：Presentations of Cruise Plans 2** 授業内容：Presentations of cruise plans and evaluation 事前学修 2.0hr：Preparation for presentation 事後学修 2.0hr：Review of presentations
15回	**授業テーマ：Conclusion** 授業内容：Cruise ships and the environment, the future direction and challenges of cruise industry Review all the lessons and write what you have acheived in this course. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Review the course

Introduction to Marketing

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2/FT1 ｜ 備考：GMM 対象科目

水野　徹（みずの　とおる）

▌授業の概要

Marketing: Course Description:

We will walk through the basic principles and analytical tools of marketing through a combination of case analysis and lectures. You are expected to read the cases and be ready for case questions in advance of each session. It is very important that you will be ready for in-class case discussions which will be followed by lectures on the underlying marketing principles and analytical tools behind the cases.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Overall Objective:

(1) To understand the basic principles and analytical tools of marketing

(2) To read and analyze business cases and apply the basic principles and analytical tools

個別目標：Expected Achievements:

(1) To be able to read marketing-related articles with basic understanding on underlying principles.

(2) To be able to apply analytical tools of marketing to the real world business cases.

▌履修条件

Prerequisite:

Should be able to communicate with the instructor through manaba. Should be able to submit assignments through manaba.

▌評価基準・方法

Grading Policy:

The performance will be graded based on final exam (50%), case write-ups (20%) and class participation and contribution (30%). The grading of the assignments will be communicated through manaba.

▌フィードバック方法

manaba will be used to send out the feedback to the students.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Analysis on business cases has to be completed prior to each session）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （Reading the business cases and responding to the case questions required PCs.）

▌教科書

Text Books: Case packet and hand-outs will be provided in manaba.

▌参考書

Reference Book:

Philip Kotler, Kevin Keller ”Marketing Management 15th Edition” Pearson

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Class guidance and Case Analysis** 授業内容：I will be explaining 1) overview of this course, 2) grading policy, 3) weekly assignments, and 4) how the marketing is positioned in the academia. 事前学修 1.5hr：Read class guidance and syllabus, prepare to express your goal in this class 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for case analysis
2回	**授業テーマ：Definition of Marketing** 授業内容：Class discussions on the business case ”Nike”, lectures on the definition of marketing, scope of marketing, and the video ”Eskimo Joe”. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Nike” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
3回	**授業テーマ：Know your customer** 授業内容：Class discussions on the business case ”Chantale and Clinton Call for Service”, lectures on new consumer capabilities, new marketing realities, and dimensions of holistic marketing. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Chantale and Clinton Call for Service” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review the case and hand-out
4回	**授業テーマ：Consumer Behavior** 授業内容：Class discussions on the business case ”IKEA” and lectures on consumer behavior, cognition model, micromodel of consumer behavior, AIDMA model, and purchase funnel model. 事前学修 1.5hr：Read the case ”IKEA” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review the case and hand-out
5回	**授業テーマ：Marketing Research** 授業内容：Class discussions on the business case ”Campbell Soup” and lectures on basic principles of marketing research and different types of marketing research, such as observational research, focus group, survey research, behavioral research, and experimental research. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Campbell Soup” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
6回	**授業テーマ：Competitive Strategy** 授業内容：Class discussions on the business case ”Nespresso” and lectures on tools for competitive analysis, such as 3C, SWOT, five forces of competitive strategy, and three generic strategies. 事前学修 1.5hr：Read the case ”NESPRESSO” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review the case and hand-out
7回	**授業テーマ：Segmentation, Targeting, Positioning** 授業内容：Class discussions on the business case ”United Airlines” and lectures on segmentation, targeting and positioning. We will also view a video on how the segmentation, targeting and positioning process is implemented in McDonalds. 事前学修 1.5hr：Read the cases ”United Airlines” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review the cases and hand-out

8回	**授業テーマ：Marketing Mix** 授業内容：Class discussions on the business case ”Kellogg’s” and lectures on overview of marketing mix, AKA four P’s. We will also touch base on how to create market dominance. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Kellogg’s” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review the case and hand-out
9回	**授業テーマ：Product** 授業内容：Class discussions on the business case ”Apple” and lectures on product value, brand equity, product differentiation, and product life cycle. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Apple” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review the case and hand-out
10回	**授業テーマ：Price** 授業内容：Class discussions on the business case ”Ryanair” and lectures on issues for today’s pricing, the process of setting the price, different pricing methodologies, and break-even calculations. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Ryanair” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review the case and hand-out
11回	**授業テーマ：Marketing Channel** 授業内容：Class discussions on the business case ”Amazon.com” and lectures on the roles of marketing channel, management of distribution channels, and examples of marketing channels in the hospitality & toursim industry. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Amazon.com” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review the case and hand-out
12回	**授業テーマ：Promotion** 授業内容：Class discussions on the business case ”Hacienda del Sol” and lectures on push and pull types of promotion, macro & micro models of communication processes, and current spending of promotion based on the medias. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Hacienda del Sol” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review the case and hand-out
13回	**授業テーマ：Loyalty Marketing** 授業内容：Class discussions on the business case ”Amazon Prime” and lectures on the loyalty programs in the hospitality & toursim industry, customer life value, retention dynamics, Pareto principle, and long tail strategy. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Amazon Prime” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review the case and hand-out
14回	**授業テーマ：Basic Principles and Analytical Tools of Marketing** 授業内容：We will be reviewing important principles and analytical tools of marketing in the previous 13 weeks. 事前学修 1.5hr：Review all hand-outs from sessions 1 through 13 事後学修 2.5hr：Review hand-out
15回	**授業テーマ：Wrap-up and case analysis excercise** 授業内容：We will review the course with particular emphasis on how the students should prepare for the final exam. We will also adress the issue of grading policy. 事前学修 1.5hr：Review all hand-outs from sessions 1 through 14 事後学修 2.5hr：Review hand-out

Introduction to Management

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1 ｜ 備考：GMM 対象科目

白木　秀典（しらき　ひでのり）

▌授業の概要

This course is an introduction to basic management. We provide a comprehensive overview of general management principles and incorporating elements relevant to the global business environment and culture. The topics to be covered are Function of Management, Strategic Management, Marketing Management, International Management, Organization Behavior, Entrepreneurship and Innovation etc. with practical cases. It lays the foundation for students to further explore specialized areas of management as they progress in their studies.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：・To understand the basic concepts and mechanisms of management.
・To understand the manager's role and skills.
・To understand the contemporary issues of management.

個別目標：・To be able to present the basic concepts and structures of management.
・To be able to analyze problems in the actual cases by utilizing basic management theories.

▌履修条件

Each student is required to read the relevant chapters of the textbook to get ready for the class discussion.
In accordance with the posting on manaba, each session will require a written report of short essay (400-500 words), or preparation of group presentation.

▌評価基準・方法

- Participation in class discussion 30%
- Written assignment and Presentation 30%
- Final exam 40%

▌フィードバック方法

The feedback will be sent through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussion, Presentation）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Management, Fifteenth Edition, Global Edition, by Stephen P. Robbins, Mary Coulter, Pearson Education Limited, 2021

▌参考書

The reading materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Managers and You in the Workplace (Chapter 1)** 授業内容：- Introduction, - Why do you study Management? - Managment History 事前学修 3.0hr：Describe your experience of a manager or a person under the manager briefly after you have read Chapter 1. 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
2回	**授業テーマ：Making Decisions (Chapter 2)** 授業内容：- The Decision-Making Process - Types of Decisions - Decision-Making Bias and Errors 事前学修 3.0hr：Describe why James Dyson is called a man of a thousand failures.(Learning from FAILURE) 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
3回	**授業テーマ：Influence of the External Environment and the Organization Culture (Chapter 3)** 授業内容：- Manager: Omnipotent or Symbolic - The External Environment Constraints and Challenges - Organizational Culture: Constraints and Challenges 事前学修 3.0hr：Summarize what were the problems in the corporate culture of Wells Fargo.(Learning from FAILURE) 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
4回	**授業テーマ：Managing in a Global Environment (Chapter 4)** 授業内容：- A Brief History of Globalization - Different Types of International Organizations - How Organizations Go International 事前学修 3.0hr：Summarize why Euro Disney didn't go well at the initial stage. (Learning from FAILURE) 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
5回	**授業テーマ：Managing Diversity (Chapter 5)** 授業内容：- What is Workplace Diversity - Types of Workplace Diversity - Challenges in Managing Diversity 事前学修 3.0hr：Look around you and summarize the different forms of diversity you can find at your university or workplace. (REVIEW AND DISCUSSION QUESTIONS 5-5) 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
6回	**授業テーマ：Managing Social Responsibility and Ethics (Chapter 6)** 授業内容：- What is Social Responsibility? - Green Management and Sustainability - Current issues in Social Responsibility and Ethics 事前学修 3.0hr：Read the Renault － Nissan case and think about why it was not possible to prevent misconduct by its top executives.(Case Application 2) 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.

7回	**授業テーマ：Managing Change and Disruptive Innovation (Chapter 7)** 授業内容：- The Change Process - Contemporary Issues in Managing Change - Disruptive Innovation 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
8回	**授業テーマ：Managing Strategy (Chapter 9)** 授業内容：- Types of Strategies - The Strategic Management Process - Competitive Strategies 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
9回	**授業テーマ：Entrepreneurial Ventures (Chapter 10)** 授業内容：- The Context of Entrepreneurship - Start-up and Planning Issues - Control Issues 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
10回	**授業テーマ：Designing Organizational Structure (Chapter 11)** 授業内容：- Six Elements of Organizational Design - Traditional Organizational Design Options - Organizing for Flexibility in the Twenty-First Century 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
11回	**授業テーマ：Managing Human Resources (Chapter 12)** 授業内容：- Explaining the Importance of Human Resource Management - Identifying and Selecting Competent Employees - Describing Strategies for Retaining Competent, High-performing Employees 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
12回	**授業テーマ：Managing Groups and Teams (Chapter 13)** 授業内容：- Group and Group Development - Turning Groups into Effective Teams - Describing the Major Components that Determine Group Performance 事前学修 3.0hr：Read ”Developing Your Coaching Skills” in the text (IT’S YOUR CAREER) and answer the questions in manaba. 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
13回	**授業テーマ：Understanding and Managing Individual Behavior (Chapter 15)** 授業内容：- Focus and Goals of Organizational Behavior - Describing Different Personality Theories - Describing Perception and the Factors of Individual Behavior 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
14回	**授業テーマ：Motivating Employees (Chapter 16)** 授業内容：- Comparing Early Theories of Motivation - Comparing Contemporary Theories of Motivation - Current Issues in Motivation 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.
15回	**授業テーマ：Being an Effective Leader (Chapter 17)** 授業内容：- Early Leadership Theories - Contemporary Views of Leadership - Leadership Issues in the Twenty-First Century 事前学修 3.0hr：Read the posted article and answer the questions in manaba. 事後学修 1.0hr：Reflect on the class discussion, by utilizing your own notes and the chapter summary at the end of the text.

Introduction to Management

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1 ｜ 備考：GMM 対象科目

木内　伸樹（きうち　のぶき）

▌授業の概要

This course is designed to provide each student a basic understanding of management skills including planning, controlling and leading an organization. It also provides an overview for understanding issues involved in both managing and being managed which will help students to be a more effective contributor to organizations that they join in the future.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：1. Acquiring basic knowledge and frameworks to understand business administration.
2. Finding your own principle of investigating business or management.
3. Building a mindset to learn business in a global perspective.

個別目標：1. Ability to explain some business frameworks.
2. Analyzing case studies with your own perspectives.
3. Explaining differences between Japanese and foreign businesses.

▌履修条件

1. This course is designed to have students participate in all classes.
2. All students are required to send short essays to the lecturer via Meikai email account.

▌評価基準・方法

Class Contribution　40 %
Short Essays & Peer Review　30 %
Final Exam　30 %

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Respon and lecturer by yourselves）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Management, 15th Edition, Global Edition. by Stephen P. Robbins and Mary A. Coulter.
Pearson Education Limited. 978-1292340883. https://amzn.to/36pJJxt

▌参考書

Other Reading materials will be specified in class.
Make it a habit to access business news on media, such as Internet or Newspaper,TV etc.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Principle of a company /corporation** 授業内容：Think and discuss the principle of a company 事前学修 1.0hr：Describe your opinion on ”principle of a company /corporation”. 事後学修 2.0hr：Correct your own opinion on the basis of this lecture.
2回	**授業テーマ：Managers and You in the Workplace (Chap.1)** 授業内容：Think and discuss Managers and You in the Workplace 事前学修 2.0hr：Describe your opinion about Managers. 事後学修 2.5hr：Reflect your own opinions as you noticed through this lecture.
3回	**授業テーマ：Making Decisions (Chap.2)** 授業内容：Think and discuss how to make good decisions. 事前学修 1.5hr：Describe your opinion about managing in Global Environment. 事後学修 2.0hr：Reflect your own opinions as you noticed through this lecture.
4回	**授業テーマ：Influence of the External Environment and the Organization’s culture (Chap.3)** 授業内容：Think and discuss the influence of the External Environment and the Organization’s culture. 事前学修 2.0hr：Describe your opinion about the External Environment and the Organization’s culture. 事後学修 2.5hr：Reflect your own opinions as you noticed through this lecture.
5回	**授業テーマ：Managing in a Global Environment (Chap.4)** 授業内容：Think and discuss managing in a global environment 事前学修 2.0hr：Describe your opinion about managing in Global Environment. 事後学修 2.5hr：Reflect your own opinions as you noticed through this lecture.
6回	**授業テーマ：Managing diversity (Chap.5)** 授業内容：Think and discuss managing diversity in the organizations. 事前学修 2.0hr：Describe your opinion about managing Diversity. 事後学修 2.5hr：Reflect your own opinions as you noticed through this lecture.
7回	**授業テーマ：Managing Social Responsibility and Ethics (Chap.6)** 授業内容：Think and discuss managing social responsibility and ethics in the organizations. 事前学修 2.0hr：Describe your opinion about Social Responsibility and Ethics. 事後学修 0.5hr：Reflect your own opinions as you noticed through this lecture.
8回	**授業テーマ：Managing Change and Disruptive Innovation (Chap.7)** 授業内容：Think and discuss change management and disruptive innovation. 事前学修 2.0hr：Describe your opinion about change management and Innovation management. 事後学修 2.5hr：Reflect your own opinions as you noticed through this lecture.
9回	**授業テーマ：Planning- Foundations and Strategy (Chap.8 and 9)** 授業内容：Think and discuss strategy. 事前学修 2.0hr：Describe your opinion about Strategy Planning. 事後学修 2.0hr：Reflect your own opinions as you noticed through this lecture.

10回	**授業テーマ：Planning- Entrepreneurial Ventures (Chap.10)** 授業内容：Think and discuss entrepreneurship. 事前学修 2.0hr：Describe your opinion about entrepreneurship 事後学修 0.5hr：Reflect your own opinions as you noticed through this lecture.
11回	**授業テーマ：Organizing- Designing and Managing Human resources(Chap.11 and 12)** 授業内容：Think and discuss human resources management. 事前学修 2.0hr：Describe your opinion about designing organization and human resource management 事後学修 2.5hr：Reflect your own opinions as you noticed through this lecture.
12回	**授業テーマ：Organizing- Managing groups and teams (Chap.13)** 授業内容：Think and discuss managing teams and groups. 事前学修 2.0hr：Describe your opinion about Managing groups and teams 事後学修 2.5hr：Reflect your own opinions as you noticed through this lecture.
13回	**授業テーマ：Leading- Communication and Individual Behavior(Chap.14 and 15)** 授業内容：Think and discuss individual behaviors in business. 事前学修 2.0hr：Describe your opinion about communication and individual behavior 事後学修 2.5hr：Reflect your own opinions as you noticed through this lecture.
14回	**授業テーマ：Leading- Motivation and Effectiveness(Chap.16 and 17)** 授業内容：Think and discuss motivation and effectiveness in leadership. 事前学修 2.0hr：Describe your opinion about how to be effective leaders 事後学修 2.5hr：Reflect your own opinions as you noticed through this lecture.
15回	**授業テーマ：Controlling (Chap.18)** 授業内容：Think and discuss controlling in organizations. 事前学修 2.0hr：Describe your opinion about Controlling 事後学修 4.0hr：Preparing for exam

Principles of Accounting

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1 ｜ 備考：GMM 対象科目

白木　秀典（しらき　ひでのり）

▌授業の概要

This is an introductory course for those learning the basics of financial accounting. The textbook is in the form of workbook designed for self-study, and each class will consist of a short lecture followed by exercises and cases, assuming that the students have already studied the subject matter on their own.　Therefore, students are expected to work on the corresponding part of the textbook in advance, and it is important that they attend class without missing.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：-To understand the basic principles and structure of financial accounting.
-To understand the role of financial statements and their implications.
個別目標：-To be able to read balance sheets, income statements, and cash flow statement.
-To be able to prepare basic and simple 3 financial statements.

▌履修条件

No prerequisite coursework.
Each session requires self-study of the textbook in the workbook format in advance and homework assignment afterwards.
You definitely need a copy of the textbook.

▌評価基準・方法

Contribution to Class 30%
Homework Assignment 30%
Final Examination 40%

▌フィードバック方法

The feedback for the assignment will be done in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussion）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Essentials of Accounting (International edition) 11th edition, Leslie K. Breitner and Robert N. Anthony, 2012, PEARSON Education Ltd.

▌参考書

None

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：(Part 1) Basic Concepts (1) Introduction** 授業内容：- The nature of balance sheet - The accounting meaning of assets, liabilities and equity 事前学修 2.0hr：Self-study Part 1-1 through 1-39 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter.
2回	**授業テーマ：(Part 1) Basic Concepts (2) Concepts of Accounting** 授業内容：- The first five of nine basic concepts of accounting - The meaning of the principal items reported on a balance sheet 事前学修 2.0hr：Self-study Part 1-40 through 1-87 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter. Try Post-Test 1
3回	**授業テーマ：(Part 2) Balance Sheet Changes (1) Transaction** 授業内容：- The meaning of the principal items reported on a balance sheet - How several types of transactions change the amounts reported on the balance sheet 事前学修 2.0hr：Self-study Part 2-1 through 2-63 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter.
4回	**授業テーマ：(Part 2) Balance Sheet Changes (2) Income Measurement** 授業内容：- The nature of income and the income statement 事前学修 2.0hr：Self-study Part 2-64 through 2-84 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter. Try Post-Test 2
5回	**授業テーマ：(Part 3) Accounting Records and Systems (1) Ledger and Journal** 授業内容：- The nature of the account and how entries are made to accounts - The meaning of debit and credit - Use of the ledger and the journal 事前学修 2.0hr：Self-study Part 3-1 through 3-50 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter.
6回	**授業テーマ：(Part 3) Accounting Records and Systems (2) Closing Process** 授業内容：- The closing process - Items reported on the income statement - Accounting with the computer 事前学修 2.0hr：Self-study Part 3-51 through 3-84 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter. Try Post-Test 3
7回	**授業テーマ：(Part 4) Revenue and Monetary Assets** 授業内容：- The accounting period and Accrual accounting - The three more of the nine basic accounting concepts - How monetary assets are measured 事前学修 2.0hr：Self-study Part 4-1 through 4-77 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter. Try Post-Test 4

8回	**授業テーマ：(Part 5) Expense Measurement; Income Statement** 授業内容：- Expense and expenditure - The last of the nine basic accounting concepts - The meaning of items reported on an income statement 事前学修 2.0hr：Self-study Part 5-1 through 5-98 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter. Try Post-Test 5
9回	**授業テーマ：(Part 6) Inventories and Cost of Sales** 授業内容：- Cost of sales and Inventories - When inventory amounts on the balance sheet are reduced - How inventory is measured in a manufacturing company 事前学修 2.0hr：Self-study Part 6-1 through 6-68 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter. Try Post-Test 6
10回	**授業テーマ：(Part 7) Noncurrent Assets and Depreciation** 授業内容：- Plant asset - Depreciation and Depletion - Intangible assets 事前学修 2.0hr：Self-study Part 7-1 through 7-68 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter. Try Post-Test 7
11回	**授業テーマ：(Part 8) Liabilities and Equity (1) Debt** 授業内容：- The nature of working capital - Debt and equity 事前学修 2.0hr：Self-study Part 8-1 through 8-49 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter.
12回	**授業テーマ：(Part 8) Liabilities and Equity (2) Equity** 授業内容：- Paid-in capital - The nature of consolidated financial statements 事前学修 2.0hr：Self-study Part 8-50 through 8-78 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter. Try Post-Test 8
13回	**授業テーマ：(Part 9) Statement of Cash Flows (1) Basics** 授業内容：- What is the statement of cash flow 事前学修 2.0hr：Self-study Part 9-1 through 9-35 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter.
14回	**授業テーマ：(Part 9) Statement of Cash Flows (2) Completing Statement** 授業内容：- The completing the statement of cash flows 事前学修 2.0hr：Self-study Part 9-36 through 9-65 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter. Try Post-Test 9
15回	**授業テーマ：(Part 10) Analysis of Financial Statements** 授業内容：- An approach to analyzing financial statements - Overall financial measures of performance 事前学修 2.0hr：Self-study Part 10-1 through 10-121 of the textbook in the workbook format. 事後学修 2.0hr：Reflect on the class and review the ”KEY POINTS TO REMEMBER” at the end of the chapter. Try Post-Test 10

Principles of Finance

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT2 ｜ 備考：GMM 対象科目

白木　秀典（しらき　ひでのり）

▌授業の概要

This course is an introduction to finance and is intended for students who wish to enhance their expertise and skills in investment decision making. It provides broad and comprehensive coverage of basic concepts and principles, with an emphasis on practical applications. Each class session will consist of short lecture and exercise.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：- To understand the basic principles and mechanics of corporate finance.
- To understand basic financial valuation and analysis.

個別目標：- To be able to use the principles of corporate finance to evaluate various investment opportunities.
- To understand the risk and return mechanisms associated with interest rates.

▌履修条件

No prerequisite, but mastery of basic accounting concepts is highly recommended.

▌評価基準・方法

Contribution to Class 30%
Homework Assignment 30%
Final Examination 40%

▌フィードバック方法

Feedback for assignments will be done in manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussion）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Computing discount cash flow by spread sheet）

▌教科書

None. Class materials will be distributed before the class.

▌参考書

”Essentials of Corporate Finance”, Asia Global Edition, by Stephen A. Ross, McGraw Hill, 2023

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：- Overview of Financial Management 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect the class discussion.
2回	**授業テーマ：Understanding of Financial Statements, Taxes and Cash Flow (1) Basics** 授業内容：- Accounting Income and Cash Flow - Operating Cash Flow and Net Working Capital 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect the class and try homework assignment.
3回	**授業テーマ：Understanding of Financial Statements, Taxes and Cash Flow (2) Advanced** 授業内容：- Net Capital Spending - Cash Flow to Stockholders and Creditors 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect the class and try homework assignment.
4回	**授業テーマ：Time Value of Money (1) Single** 授業内容：- Future Value and Compounding - Present Value and Discounting 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect the class and try homework assignment.
5回	**授業テーマ：Time Value of Money (2) Multiple** 授業内容：- Future and Present Values of Multiple Cash Flows - The Cash Flows of Annuities and Perpetuities 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect the class and try homework assignment.
6回	**授業テーマ：Discounted Cash Flow Valuation** 授業内容：- Determining future and present value of investments with multiple cash flows - Evaluating Cash Flows of Annuities and Perpetuities - Loan amortization 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect the class and try homework assignment.
7回	**授業テーマ：Net Present Value and Other Investment Criteria (1) NPV** 授業内容：- Net Present Value 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect the class and try homework assignment.
8回	**授業テーマ：Net Present Value and Other Investment Criteria (2) IRR** 授業内容：- The Internal Rate of Return (IRR) - The Rule of Payback Period - Analyzing the Projected Cash Flows 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect the class and try homework assignment.

9回	**授業テーマ：Risk and Return** 授業内容：- Capital Market History - Financial Concept of Risk 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect the class and try homework assignment.
10回	**授業テーマ：Diversification of Risk** 授業内容：- Investment Portfolio 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect the class and try homework assignment.
11回	**授業テーマ：Capital Market** 授業内容：- Market Values and Book Values - Analysis by Financial Ratios 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect the class and try homework assignment.
12回	**授業テーマ：Capital Efficiency** 授業内容：- ROE and the other financial indices - Dividends and Buy-back of Stocks 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect the class and try homework assignment.
13回	**授業テーマ：Cost of Capital** 授業内容：- The Cost of Equity and Debt - The Weighted Average Cost of Capital (WACC) 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect the class and try homework assignment.
14回	**授業テーマ：Leverage and Capital Structure** 授業内容：- The Effect of Financial Leverage - Capital Structure and the Cost of Equity Capital (M&M Proposition) - Optimal Capital Structure 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect the class and try homework assignment.
15回	**授業テーマ：Overview of this Course** 授業内容：- Overview of Financial Management 事前学修 2.0hr：Read through the class materials to prepare for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Reflect the class and review the course for the final exam.

Introduction to Business Innovation

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

前田　篤志（まえだ　あつし）

▌授業の概要

The goal of this class is to provide students with an introduction to basic idea of what innovation is. As a first step, having a discussion on what innovation is, and then deepen the discussion on why innovation is necessary.
The class provides project-based learning experience in innovative new product development, with a focus on electrical engineering systems.
Also, as an important factor in realizing innovation, this class will explain the role of the interface from a viewpoint of architecture theory.
Through this lecture, students will be able to understand the difference between innovation and invention.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：1. Acquiring basic knowledge and frameworks to understand innovation.
2. Understanding the approach to generate innovative ideas.
3. Preparing a mindset to learn innovation management from a global perspective.

個別目標：Understanding the difference between innovation and invention.

▌履修条件

1. This course is designed to have students participate in all classes.
2. All students are required to send short and main essays to the lecturer via Meikai email account.

▌評価基準・方法

+ Class Contribution: 40 pt (2 pt * 15 classes + assigned lecturer 10 pt)
+ Short Essays & Peer Review: 28 pt (4 pt * 7 weeks)
+ Presentation as Final Exam: 32 pt (4 pt * 8 questions)

* Feedback on assignments will be provided via manaba or email.

▌フィードバック方法

Providing feedback as appropriate via Classroom/manaba or email.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Creative thinking and innovative activities.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Presentation）

▌教科書

Nothing in particular.

▌参考書

「先生、イノベーションって、何ですか?」 伊丹敬之, PHP 研究所.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance and introduction** 授業内容：Introducing yourself /Grading guideline /Course management guidelines 事前学修 2.0hr：Preparing for 1 minute speech of yourself 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
2回	**授業テーマ：Innovation 101** 授業内容：What is innovation? 事前学修 2.0hr：It is recommended that you read the first chapter of Prof. Itami's book in advance. 事後学修 3.5hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture.
3回	**授業テーマ：Type of innovation** 授業内容：Learning about the types of innovation. 事前学修 3.5hr：It is recommended that you read the chapter 2 and 3 of Prof. Itami's book in advance. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture
4回	**授業テーマ：When will innovation occur?** 授業内容：Learning about incremental innovation and radical innovation. 事前学修 2.0hr：It is recommended that you read the chapter 4 of Prof. Itami's book in advance. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture
5回	**授業テーマ：History of innovation** 授業内容：Learning about: Appearance of big business/ Dynamics due to internalization and externalization of innovation/ Birth of the idea of startup 事前学修 3.5hr：Learn what a startup is in advance. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture
6回	**授業テーマ：Innovation and the prosperity of the company** 授業内容：Thinking about "the lost 30 years" in Japan. 事前学修 2.0hr：Learning about "the lost 30 years" in Japan is preferable. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture
7回	**授業テーマ：Industry and innovation** 授業内容：Learning why there are differences in the frequency of innovation in each industry. 事前学修 2.0hr：Prepare your own ideas for Apple Inc. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture
8回	**授業テーマ：Discussion on why companies need innovation** 授業内容：TBD 事前学修 2.0hr：It is recommended that you read Prof. Itami's book in advance. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
9回	**授業テーマ：Innovation measurement** 授業内容：Explainning the importance of data science. 事前学修 2.0hr：Preparing your own ideas about data science 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture

10回	**授業テーマ：Innovation and entrepreneurship** 授業内容：Learning: -Difference between entrepreneurs and managers. -Entrepreneur in the organization. 事前学修 2.0hr：Checking what entrepreneurship in advance. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture
11回	**授業テーマ：Framework of innovation** 授業内容：Learning about SECI model. 事前学修 3.5hr：Researching Prof. Ikujiro Nonaka in advance. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture
12回	**授業テーマ：New product development management** 授業内容：Learning about new product development management. 事前学修 3.5hr：What is Technial term ”R&D”? 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture
13回	**授業テーマ：Innovation and corporate strategy** 授業内容：Learn how successful companies have innovation. 事前学修 2.0hr：Let one innovative company. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture
14回	**授業テーマ：Innovative and economic policy** 授業内容：Learn about innovation as a policy. 事前学修 2.0hr：Investigating the Japan semiconductor business in advance. 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of the lecture
15回	**授業テーマ：Innovation and intellectual property rights** 授業内容：Learning about the management of intellectual property rights to create innovation. 事前学修 2.0hr：It is recommended that you read Prof. Itami’s book in advance. 事後学修 4.0hr：Prepare for the Final Exam

Introduction to Economics

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT2 ｜ 備考：GMM 対象科目

大石　隆介（おおいし　りゅうすけ）

▌授業の概要

This course is designed to help students learn basic economic concepts. Our aim is to enable students to interpret various economic phenomena using economic concepts.
It is assumed that students do not have any knowledge about economics prior to taking this course, and therefore, we begin by thinking about the basics, such as “what kind of subject is economics?”
We then attempt to understand the basic concepts of microeconomics and macroeconomics(i.e., demand and supply in the market, gross domestic product, and economic growth among other related aspects)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Understanding the basic concepts of microeconomics and macroeconomics.
個別目標：Interpreting various economic phenomena using economic concepts.

▌履修条件

There are no conditions for taking this course; however, student’s proficiency in English is preferred.

▌評価基準・方法

Coursework: 40%
Final exam: 60%

▌フィードバック方法

Feedback for coursework is provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion ）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Because the textbook in this course is e-book, students are required to bring laptop, tablet devices, etc. ）

▌教科書

Essentials of Economics 10th edition, N. Gregory Mankiw, Cengage Learning
In this course, students will use a study tool (Mind Tap) included in the designated textbook.
The lecturer will explain about Mind Tap in the first class (Guidance).
Please do not purchase the textbook before the first class.

▌参考書

Principles of Economics 8th edition, N. Gregory Mankiw, Cengage Learning

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance** 授業内容：The first class will be a guidance session. The lecturer and students confirm an overview and points to note when taking the course. 事前学修 2.0hr：Read the lecture summary and think about your expectations for this course. 事後学修 2.0hr：Review the guidance content.
2回	**授業テーマ：Ten principles of economics: Chapter 1 of the textbook** 授業内容：The second class will cover chapter 1 of the textbook and learn ’What are the principles of how people make decisions?’ and ’What are the principles of how the economy as a whole works?’. 事前学修 2.0hr：Investigate the ten principles of economics. 事後学修 2.0hr：Understand “how people make decisions,” “how people interact,” and “how the economy as a whole works” through the ten principles of economics .
3回	**授業テーマ：Thinking like an economist: Chapter 2 of the textbook** 授業内容：The third class will cover chapter 2 of the textbook and learn ’What are models?’ and ’How do economists use them?’. 事前学修 2.0hr：Think about how economists understand economic phenomena. 事後学修 2.0hr：Understand the terminologies and research methods used in economics.
4回	**授業テーマ：Interdependence and the gains from trade: Chapter 3 of the textbook** 授業内容：The fourth class will cover chapter 3 of the textbook and learn ’How can trade make everyone better off?’, ’What is absolute advantage?’ and ’What is comparative advantage?’. 事前学修 2.0hr：Think about the interdependence of people in their everyday lives. 事後学修 2.0hr：Understand the benefits from trade through the concepts of “comparative advantage” and “absolute advantage.”
5回	**授業テーマ：The market forces of supply and demand: Chapter 4 of the textbook** 授業内容：The fifth class will cover chapter 4 of the textbook and learn ’What factors affect buyers’ demand for goods?’, ’What factors affect sellers’ supply of goods?’ and ’How do markets allocate resources?’. 事前学修 2.0hr：Investigate concepts of supply and demand in the market. 事後学修 2.0hr：Understand supply, demand, and equilibrium in the market. Understand the three steps to analysing changes in equilibrium.
6回	**授業テーマ：Elasticity and its application: Chapter 5 of the textbook** 授業内容：The sixth class will cover chapter 5 of the textbook and learn ’What is elasticity?’ and ’What kinds of issues can elasticity help us understand?’. 事前学修 2.0hr：Investigate the concept of elasticity. 事後学修 2.0hr：Understand the determining factors and methods to calculate elasticity.
7回	**授業テーマ：Supply, demand, and government policies: Chapter 6 of the textbook** 授業内容：The seventh class will cover chapter 6 of the textbook and learn ’What are price ceilings and price floors?’. 事前学修 2.0hr：Investigate how government policies influence the market. 事後学修 2.0hr：Understand how price controls influence the market.
8回	**授業テーマ：Consumers, producers, and the efficiency of market: Chapter 7 of the textbook** 授業内容：The eighth class will cover chapter 7 of the textbook and learn ’What is consumer surplus?’ and ’What is producer surplus?’. 事前学修 2.0hr：Investigate the benefits for suppliers and consumers of goods at market equilibrium. 事後学修 2.0hr：Understand “consumer surplus,” “producer surplus,” and “market efficiency.”
9回	**授業テーマ：Review:Chapter 1～7** 授業内容：The ninth class will used to review chapter 1～7. 事前学修 2.0hr：Review the chapters learned so far. 事後学修 2.0hr：Review the topics covered by this lecture.

10回	**授業テーマ：Measuring a nation’ s income: Chapter 15 of the textbook** 授業内容：The tenth class will cover chapter 15 of the textbook and learn ’What is Gross Domestic Product (GDP)?’ and ’How is GDP related to a nation’ s total income and spending?’. 事前学修 2.0hr：Think about macroeconomic topics. 事後学修 2.0hr：Understand the definition of gross domestic product and differences between nominal and real gross domestic product.
11回	**授業テーマ：Measuring the cost of living: Chapter 16 of the textbook** 授業内容：The eleventh class will cover chapter 16 of the textbook and learn ’What is the Consumer Price Index (CPI)?’ and ’How does the CPI differ from the GDP deflator?’. 事前学修 2.0hr：Think about the meaning of the cost of living of people. 事後学修 2.0hr：Understand the consumer price index.
12回	**授業テーマ：Production and growth: Chapter 17 of the textbook** 授業内容：The twelfth class will cover chapter 17 of the textbook and learn ’What are the facts about living standards and growth rates around the world?’ and ’Why does productivity matter for living standards?’. 事前学修 2.0hr：Think about the difference in living standards and the average income of countries throughout the world. 事後学修 2.0hr：Understand productivity and relevant policies of the government.
13回	**授業テーマ：Saving, investment, and the financial system: Chapter 18 of the textbook** 授業内容：The thirteenth class will cover chapter 18 of the textbook and learn ’What’ s the difference between saving and investment?’ and ’How does the financial system coordinate saving and investment?’. 事前学修 2.0hr：Think about the financial system in macroeconomics. 事後学修 2.0hr：Understand the systems that constitute the financial system and the relations among saving, investment, and the financial system.
14回	**授業テーマ：The basic tools of finance: Chapter 19 of the textbook** 授業内容：The fourteenth class will cover chapter 19 of the textbook and learn ’What is present value?’ and ’How can we use it to compare sums of money from different times?’. 事前学修 2.0hr：Think about the roles that money plays in the economy. 事後学修 2.0hr：Understand “present value,” “managing risk,” and “asset valuation.”
15回	**授業テーマ：Summary** 授業内容：The fifteenth class will summarize the course. 事前学修 2.0hr：Review the topics covered in this course. 事後学修 2.0hr：Review the topics covered this lecture.

Logical Thinking

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ジェイコブ　シェア

▌授業の概要

This class explores strategies related to Logical and Critical Thinking. In this class, we will look at how to critique information, use thinking skills to logically solve problems, and improve our thinking skills. Lesson schedule may change order or topic depending on class needs.
授業のスケジュール、内容などは授業のニーズに応じて変更することがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：The goal is for students to increase their ability to analyze information, sources, and improve their logical thinking in their lives. The class will work together to critically examine the quality of the information they encounter and apply it to problem solving strategies.

個別目標：Students will be able to look at a variety of sources and be able to critique their usefulness. In addition, students will learn valuable skills to improve their Logical and Critical Thinking skills.

▌履修条件

This class will be valuable to all GMM students who wish to improve their Logical Thinking skills. Students must be willing to engage the instructor and their classmates in order to improve their Logical and Critical Thinking skills.

▌評価基準・方法

60% Final Project, 30% Participation, 10% Homework
Tests will include, but not be limited to, presentations, writing, speaking and listening using a variety of methods.

▌フィードバック方法

Feedback will be given on projects and in class work.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （discussion, brainstorming, planning）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （however, smart phone is useful）

▌教科書

None. Weekly prints and presentations will be provided to students by the instructor. There will be distribution of some materials online using Manaba

▌参考書

None; however, access to the internet is useful during classes.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction /Why Logical Thinking?** 授業内容：a look into why we will study logical thinking 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：group work
2回	**授業テーマ：Recognizing and Defining Problems** 授業内容：how do we recognize a problem before we can solve it 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group Work
3回	**授業テーマ：Focused Observation** 授業内容：focused observation will lead to a better understanding of problems 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group work
4回	**授業テーマ：Graphic Organizers /Goal Setting** 授業内容：a look into how graphic and visual representations can help us problem solve 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group work
5回	**授業テーマ：Setting Goals /Trouble Shooting** 授業内容：how do we set a goal, and plan to get there 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group work
6回	**授業テーマ：Resources /Evaluation** 授業内容：a look at the different kinds of resources and assess their trustworthiness 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group work
7回	**授業テーマ：Persuasion** 授業内容：a look into the methodology of persuasion 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group work
8回	**授業テーマ：Scientific Thinking** 授業内容：a brief look at the scientific process 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group Work
9回	**授業テーマ：Emotions** 授業内容：the different kinds of emotion and how they are used 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group work
10回	**授業テーマ：Deductive Reasoning** 授業内容：a brief look into deductive, using the premise to test a logical conclusion 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group Work

11回	**授業テーマ：Inductive Reasoning** 授業内容：contrasting the differences between deductive and inductive reasoning 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group work
12回	**授業テーマ：Fallacies** 授業内容：a look into fallacies in arguments and how to spot them 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group work
13回	**授業テーマ：Judgment Calls /Explanation vs Argument** 授業内容：a look at how to make a judgement calls, and the contrast of explanations vs arguments 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group Work
14回	**授業テーマ：Final Project** 授業内容：preparation for the final project 事前学修 2.0hr：Group work 事後学修 2.0hr：Group work
15回	**授業テーマ：final review and course review** 授業内容：the presentation of final projects, and course review 事前学修 2.0hr：Group work 事後学修 2.0hr：Group work

Statistics Ⅰ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ラッセル　ウエノ

▌授業の概要

This course will introduce students to the fundamental concepts, terms, and methods of statistical analysis. The focus will be on business and social science examples that are relevant and useful for students studying in HTM. There will be an emphasis on conceptual understanding of statistical information, to enable students of various levels of mathematics experience to benefit from the course.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：This course will teach you the basics of statistics.

個別目標：Students will develop the knowledge and skills to analyze, visualize, and present quantitative information.
Students will apply their knowledge and skills to practical, real-world data and situations.

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class sessions by reading assigned material.

▌評価基準・方法

Evaluation will be based on participation (30%), assignments (30%), and final exam (40%).

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC and internet connection is needed to take this course.）

▌教科書

The textbook will be specified by the instructor.

▌参考書

Will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：The structure and goals of the course will be reviewed, including: content framework, sequence of topics, grading method, classwork expectations, and learning objectives. 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review the introduction class
2回	**授業テーマ：The context of quantitative analysis** 授業内容：Quantitative vs qualitative data and types of analysis will be covered, along with the advantages and limitations of quantitative analysis. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
3回	**授業テーマ：Presenting quantitative information** 授業内容：How quantitative data can be presented, and the strengths and weaknesses of different presentation formats will be discussed. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
4回	**授業テーマ：Measurement** 授業内容：Measurement as the foundation of statistical analysis will be covered, focusing on practical and theoretical issues. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
5回	**授業テーマ：Basic types of statistical analysis** 授業内容：An overview of basic types of statistical analysis will be provided, to help students understand the context for the methods to be covered in this course. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
6回	**授業テーマ：Descriptive vs inferential statistics** 授業内容：The differences and purposes of descriptive vs inferential statistics will be presented. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
7回	**授業テーマ：Mean, variance, and standard deviation** 授業内容：The key concepts of a variable' s center (mean) and variation (standard deviation) will be introduced, emphasizing their importance to understanding statistical analysis. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
8回	**授業テーマ：T-tests** 授業内容：The various types of t-tests and their application to different types of statistical questions will be introduced. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
9回	**授業テーマ：Correlation, part 1** 授業内容：Correlation, as the foundational measure of the relationship between two variables, will be presented, focusing on the information that correlation provides and how it can be used in statistics. (Part 1) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
10回	**授業テーマ：Correlation, part 2** 授業内容：Correlation, as the foundational measure of the relationship between two variables, will be presented, focusing on the information that correlation provides and how it can be used in statistics. (Part 2) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson

11回	**授業テーマ：One-way ANOVA** 授業内容：Analysis of variance (ANOVA) will be introduced in its basic form (one-way ANOVA). 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
12回	**授業テーマ：Simple regression** 授業内容：Regression will be introduced in its basic form (simple regression), focusing on the key aspects and conceptual understanding of regression analysis. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
13回	**授業テーマ：Examples and applications 1** 授業内容：Examples of the various types of statistical analysis that have been covered will be presented to better enable students to understand how statistics can be used and when the different types of analysis are appropriate. (Part 1) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
14回	**授業テーマ：Examples and applications 2** 授業内容：Examples of the various types of statistical analysis that have been covered will be presented to better enable students to understand how statistics can be used and when the different types of analysis are appropriate. (Part 2) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
15回	**授業テーマ：Summary** 授業内容：The course content will be summarized and placed within the context of the more advanced topics in Statistics 2. 事前学修 2.0hr：Review all the topics covered by this course and pick up some questions 事後学修 3.0hr：Review all topics and prepare for the final exam

Statistics Ⅱ

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1 ｜ 備考：GMM 対象科目

ラッセル　ウエノ

▌授業の概要

This course will build on the fundamental concepts, terms, and methods of statistical analysis covered in Statistics 1. The focus will be on business and social science examples that are relevant and useful for students studying in HTM. Important types of analysis will be covered, including ANOVA, multiple regression, and factor analysis.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Overall knowledge of statistics and ability to use it in the real-world.

個別目標：Students will further develop the knowledge and skills to analyze, visualize, and present quantitative information using more advanced models. Students will apply their knowledge and skills to practical, real-world data and situations.

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class sessions by reading assigned material.

▌評価基準・方法

Evaluation will be based on attendance and participation (30%), assignments (30%), and final exam (40%).

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC and internet connection is needed to take this course.）

▌教科書

The textbook will be specified by the instructor.

▌参考書

The reading materials will be specified by the instructor.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：The structure and goals of the course will be reviewed, including: content framework, sequence of topics, grading method, classwork expectations, and learning objectives. 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review the introduction class
2回	**授業テーマ：Review of Statistics 1 concepts** 授業内容：The concepts and methods covered in Statistics 1 will be reviewed to ensure that students have the requisite background for Statistics 2. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
3回	**授業テーマ：Research design principles, part 1** 授業内容：A more extensive consideration of statistical design will covered, including: How do ensure that a statistical analysis is appropriate for the question/problem? How do we select the appropriate analysis? What are the limitations of different designs? (Part 1) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
4回	**授業テーマ：Research design principles, part 2** 授業内容：A more extensive consideration of statistical design will covered, including: How do ensure that a statistical analysis is appropriate for the question/problem? How do we select the appropriate analysis? What are the limitations of different designs? (Part 2) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
5回	**授業テーマ：Multiple regression, part 1** 授業内容：Understanding multiple regression analysis: research design, evaluating models and variables, diagnostics, and interpretation of results. (Part 1) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
6回	**授業テーマ：Multiple regression, part 2** 授業内容：Understanding multiple regression analysis: research design, evaluating models and variables, diagnostics, and interpretation of results. (Part 2) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
7回	**授業テーマ：ANOVA, part 1** 授業内容：Understanding analysis of variance (ANOVA): research design, one-way vs. two-way and factorial models, diagnostics, and interpretation of results. (Part 1) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
8回	**授業テーマ：ANOVA, part 2** 授業内容：Understanding analysis of variance (ANOVA): research design, one-way vs. two-way and factorial models, diagnostics, and interpretation of results. (Part 2) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
9回	**授業テーマ：Factor analysis** 授業内容：A brief introduction to exploratory factor analysis: when it is used, basic idea of correlation analysis, concept of factors/components. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
10回	**授業テーマ：Logistic regression** 授業内容：A brief introduction to logistic regression: when it is used, how it differs from multiple regression, how its results can be interpreted. 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson

11回	**授業テーマ：Advanced methods 1** 授業内容：Other types of analysis will be discussed, building on the concepts of multiple regression, ANOVA, and factor analysis. (Part 1) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
12回	**授業テーマ：Advanced methods 2** 授業内容：Other types of analysis will be discussed, building on the concepts of multiple regression, ANOVA, and factor analysis. (Part 1) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
13回	**授業テーマ：Examples and applications 1** 授業内容：Examples of the various types of statistical analysis that have been covered will be presented to better enable students to understand how statistics can be used and when the different types of analysis are appropriate. (Part 1) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
14回	**授業テーマ：Examples and applications 2** 授業内容：Examples of the various types of statistical analysis that have been covered will be presented to better enable students to understand how statistics can be used and when the different types of analysis are appropriate. (Part 2) 事前学修 2.0hr：Prepare next lesson 事後学修 2.0hr：Review today's lesson
15回	**授業テーマ：Summary** 授業内容：The course content will be summarized and placed within the context of real world applications of statistics. 事前学修 2.0hr：Review all the topics covered by this course and pick up some questions 事後学修 3.0hr：Review all topics and prepare for the final exam

Ethics and Compliance

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

吉田　成利 (よしだ　なるとし)

▌授業の概要

Students discuss various contemporary ethical topics in view of compliance.
Prior reading is required.
The lecturer asks students to summarise the reading,
and coordinate the discussion about the topic.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Students understand the necessity of compliance in our ethical society.
個別目標：(1)Students analyse and discuss social issues based on their own ethical views.
(2)Students explain the significance of compliance in contemporary society.

▌履修条件

Every student must actively and sincerely participate in each lecture.

▌評価基準・方法

・Performance and attitude: 30 per cent
・Essay: 30 per cent
・Final exam: 40 per cent
In each class, the lecturer will give you the feedback of short essays, etc. clearly.

▌フィードバック方法

Feedback will be done time to time after your performance and submission.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Certainly, the course must be active learning.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Definitely, you must use your own PC in each class.）

▌教科書

Reading materials including the text book will be specified in class.

▌参考書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』(慶應義塾大学出版会、2020 年)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introdutory session. 事前学修 2.0hr：Skim the textbook. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
2回	**授業テーマ：What is ethics and compliance?** 授業内容：Understand the notion of ethics and the significance of compliance 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
3回	**授業テーマ：The principle of a company** 授業内容：Understand the company system. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
4回	**授業テーマ：The difference between ethics and morals** 授業内容：Searching the examples of ethical issues in Japan. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
5回	**授業テーマ：Whistle-blowing** 授業内容：Understand the Whistle-blowing system. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
6回	**授業テーマ：Harassment** 授業内容：Understand the notion and the sort of Harassment. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
7回	**授業テーマ：Religion and racial discrimination** 授業内容：Understand the religious issues and ethics in Japan 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
8回	**授業テーマ：Pregnancy and childcare** 授業内容：Learn the recent Japanese childcare system and ethics 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
9回	**授業テーマ：Antitrust law and rigging** 授業内容：Understand the rigging with some antitrust cases. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
10回	**授業テーマ：Bribery and intimidation** 授業内容：Understand the jury and judge tampering. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.

11回	**授業テーマ：Environmental protection** 授業内容：Understand the significance of environmenal protecton and ethics in Japan 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
12回	**授業テーマ：International law and compliance** 授業内容：Understand the International legal framework and its limitation in terms of ethics 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
13回	**授業テーマ：Jury duty and business** 授業内容：Understand the Jury duty and the business issues. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
14回	**授業テーマ：Progress and ethics** 授業内容：Understand the examples of recent legal reform and ethical issues in Japan. 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Read the next chapter.
15回	**授業テーマ：Conclusion** 授業内容：Conclusive session 事前学修 2.0hr：Prepare the next class. 事後学修 2.0hr：Review this course.

Leadership

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2 ｜ 備考：GMM 対象科目

大屋　了三（おおや　りょうぞう）

▌授業の概要

Course description: Leadership

There are many definitions of leadership. However, the absolute truth is that leadership cannot exist without an organization. While there are many different types of organizations in the world, this course focuses on the business organization as a group of people with a common purpose. The role of the leader is to harness the power of these people to achieve their objectives. Throughout the 15 classes, we will consider the essence of leadership, focusing on the following points:

1. The relationship between organizations and leadership, and the attitudes and behaviors required of leaders
2. Experience several leadership education programs compiled by the instructor
3. A deep look at ”how to build your own leadership style” based on your personality and experience

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：Overall objectives:

1.Understand why leadership is needed within an organization
2.Understand the attitudes and behaviors that are essential as a leader

個別目標：Specific achievements expected:

1.Explain the need for leadership, and attitudes and behaviors required as a leader
2.Demonstrate own leadership styles that students would like to build

▌履修条件

Prerequisite:

1.Each assignment must be submitted by the deadline
2.Each student must actively participate in group tasks

▌評価基準・方法

Grading policy

Examination:50%, Class contribution:30%, Report:20%.

Feedback on exams and submitted assignments will be given through MANABA

▌フィードバック方法

1. Feedback on submitted assignments will be provided in MANABA.
2. Feedback on the results of group work will be given in class in a timely manner.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussion and self assessment）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Textbook: None, but teaching materials will be uploaded in MANABA prior to each class

▌参考書

Reference books: None, but the relevant internet websites or other information sources will be introduced in classes if necessary

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance and instruction** 授業内容：1.Knowing each other by self-introduction 2.Guidance of grading, how to carry out the class, instructor’s expectation for students 3.Sharing the definition of key words in the class by group discussion 事前学修 2.0hr：Read the class guidance and syllabus 事後学修 2.0hr：Review the class guidance and syllabus and do the homework assigned in today’s class
2回	**授業テーマ：Your own definition of leadership** 授業内容：Come up to the common definition and understanding of leadership by learning the following points: 1.Various perspectives on the ideal leader image 2.Top Ten Leaders Respected by Business Leaders in the World(Researched by PWC) 3.Notorious leaders: Hitler, Stalin, etc. 4.Difference between the respected leaders and notorious leaders(dictators) 事前学修 2.0hr：Read today’s class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today’s lecture and complete any assignments given in class
3回	**授業テーマ：Why do we need a leader? (The role of a leader)** 授業内容：Understand the role of a leader by learning the following points: 1.Learn about organizations 2.Essential elements of a company 3.Why do we need a leader? 4.The role of a leader 事前学修 2.0hr：Read today’s class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today’s lecture and complete any assignments given in class
4回	**授業テーマ：Leadership competency 1：Fundamental Criteria** 授業内容：Understand the fundamentals of Competency by learning the following points: 1.What is “competency”? 2.Purpose and development process of competency models 3.Design competency model for an organization 事前学修 2.0hr：Read today’s class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today’s lecture and complete any assignments given in class

5回	**授業テーマ：Leadership competency 2 : Attitudes and behaviors required for a leader** 授業内容：Think the attitudes and behaviors required for a leader by digging deeper the following points: 1.Differnce between competency and job description 2.Different competency models for different industries 3.Competency models in a hospitality company 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
6回	**授業テーマ：The leadership education program 1: Personal ambition and purpose** 授業内容：1.Know how current values, aspirations, and ambitions were formed by describing the student's own past history. 2.Learn that the need to transform vague dreams and hopes into life purpose is an important element for leaders. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
7回	**授業テーマ：The leadership education program 2: One on one dialog about ambition and purpose** 授業内容：One-on-one discussions among students based on their own history and what they perceive from it, to deepen their understanding of the importance of having a purpose in life. Instructor will give them several tips as to how to conduct the one-one one discussions in advance. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
8回	**授業テーマ：The leadership education program 3: Purpose of Coaching** 授業内容：Coaching is the most appropriate way to develop leadership. In this class, students will learn an overview of coaching, its purpose, and how it actually works 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
9回	**授業テーマ：The leadership education program 4: Coaching exercise** 授業内容：Students will experience coaching exercises in small groups of three, following the instructor's instructions 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
10回	**授業テーマ：Various leadership styles** 授業内容：It is important to know ourself objectively in order to develop our leadership. As a method of observing people objectively,it is effective to focus on our communication style and divide them into several types, because the communication style is relevant to the leadership style. In this class, for knowing ourself, we will check our own communication style by the Communication Type Checklist developed by a coaching firm. In addition to the above we will learn various leadership styles by reading several leadership stories. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
11回	**授業テーマ：Maxims about leadership** 授業内容：Maxim is a heritage of human wisdom that transcends time and space and still inspires us. There are so many words about leadership among the maxims. In this class, various maxims about leadership will be introduced, then each student selects few maxims that are inspiring, along with the reasons of selection to share those in the class. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
12回	**授業テーマ：Changes in leadership due to changes in the world** 授業内容：We now live in so called VUCA situation. VUCA stands for Volatility, Uncertainty, Complexity and Ambiguity. Then, our business environment constantly changes. In this VUCA situation and constantly changing environment, the leadership required is also changing. In this class, we will explore what kind of leadership is required now and in the future. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
13回	**授業テーマ：True leaders create a new world** 授業内容：This class will focus on leadership in business. The business environment is constantly changing, and companies must constantly change. This transformation is the most important mission of a leader. Focusing on the history of a particular company, we will consider through group discussions why it is important for leaders to lead change. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
14回	**授業テーマ：Demonstrate the leadership style that you want to build** 授業内容：Review the essential points of leadership styles in the past classes, then each student describes the leadership style that they aim to develop for the presentation at the next class. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
15回	**授業テーマ：Wrap up** 授業内容：1. Presentation of leadership style to develop by each student 2. Review key points emphasized in each class 事前学修 2.0hr：Review all the lectures 事後学修 4.0hr：Prepare for the final exam

Cross Cultural Management

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2 ｜ 備考：GMM 対象科目、2022 年度入以降入学生のみ履修可能

白木　秀典（しらき　ひでのり）

▌授業の概要

Understanding different cultures and how they influence business practices is essential for global management. In this course, students will learn how to communicate effectively with people from diverse cultural background and develop cultural sensitivity. Consequently, it will help them to improve their ability of working in global teams.

Course materials includes journal articles, cases, videos. We cover the field of diversity management such as racial equity, too.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：To understand the global business environment and cross-cultural issues
To build a global mindset

個別目標：To be able to analyze cultural differences and their impact on global business organizations
To be able to work collaboratively in cross-cultural and diverse teams

▌履修条件

Before each session, students must submit a short essay (400-500 words) through manaba, based on the topic of the articles posted.

▌評価基準・方法

- Class Contribution 30 %
- Short Essays and Presentation 30 %
- Final Case Analysis Report 40 %

▌フィードバック方法

Feedback will be sent through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussion）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

None. Reading materials are distributed via manaba.

▌参考書

HBR's 10 MUST READS On Managing Across Cultures. Harvard Business Review Press. 2016

HBR's 10 MUST READS On Diversity, Harvard Business Review Press, 2019.

"The Culture Map", Erin Meyer, Public Affairs, 2016.

"Cultures and Organizations: Software of the Mind, third edition", Geert Hofstede, Gert Jan Hofstede, and Michael Minkov, McGraw Hill, 2010.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction (1) Multiculture Management** 授業内容：- Managing Multicultural Teams 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your experience. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
2回	**授業テーマ：Introduction (2) Diversity Training** 授業内容：- Problems in Training Programs of Diversity 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your experience. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
3回	**授業テーマ：Diversity Management (1) US** 授業内容：- Racial Equity in the US 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
4回	**授業テーマ：Diversity Management (2) Asia** 授業内容：- Racial Equity in Global Organizations 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
5回	**授業テーマ：Neurodiversity (1) Communication** 授業内容：- Neurodivergent People and Communication 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
6回	**授業テーマ：Neurodiversity (2) Development** 授業内容：- Neurodiversity as a Competitive Advantage 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
7回	**授業テーマ：Culture Map (1) Leadership** 授業内容：- Multicultural Leadership 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
8回	**授業テーマ：Culture Map (2) Communication** 授業内容：- Multicultural Communication - High context and Low Context 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
9回	**授業テーマ：Culture Map (3) Persuading and Trusting** 授業内容：- The Art of Persuasion in a Multicultural World - Two Types of Trust 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.

10回	**授業テーマ：Culture Map (4) Disagreeing and Scheduling** 授業内容：- Confrontation versus Emotional expressiveness - Scheduling and Cross-Cultural Perceptions of Time 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
11回	**授業テーマ：GLOBE Project (1) Mindset** 授業内容：- Global Mindset 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
12回	**授業テーマ：GLOBE Project (2) Trust** 授業内容：- Interpersonal Trust 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
13回	**授業テーマ：Hofstede Framework (1) Cultures** 授業内容：- Culture's Consequences 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
14回	**授業テーマ：Hofstede Framework (2) Organizations** 授業内容：- Cultures and Organizations 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.
15回	**授業テーマ：Course Review** 授業内容：- Review this course and pre-study for the final case. 事前学修 3.0hr：Read the assigned article well for the class discussion and write and submit a short essay about your opinion on this topic. 事後学修 1.0hr：Review the article based on your understanding of this lecture.

International Business Relations

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1 ｜ 備考：GMM 対象科目、2022 年度入以降入学生のみ履修可能

大屋　了三（おおや　りょうぞう）

▌授業の概要

Course Description: International Business Relations

International business in a nutshell can be defined in many different ways. However, there are two elements that are essential to the study of the internationalization of business. First, the internationalization of business has a history, and to talk about the internationalization of business without studying that history is only superficial. The second is to look at the world today objectively. The mass media sometimes tends to report only sensational events, and if we rely only on that, we may lose sight of the truth of things. The most effective way to prevent this from happening is to understand officially published objective data. By the way, the internationalization of business is so extensive that it is impossible to study the internationalization of all businesses. Therefore, this course will focus primarily on the tourism industry, especially the hotel industry. We will then consider the internationalization of business more specifically according to the following points.

1. History and current status of globalization
2. Companies that have achieved globalization and its factors
3. Cultural diversity and its impact on business
4. What internationalization means to us

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Overall objectives

1.Acquire knowledge about the international business in the hospitality and tourism industry

2.Learn the importance of cross culture communication and its impact to a business

個別目標：Specific achievements expected:

1. Understand the factors behind successful and unsuccessful global expansion

2. Internationalization of business has various aspects. Students can express their own thoughts on internationalization in business, based on the company case studies and the cross culture communications.

▌履修条件

Prerequisite:

1.Each assignment must be submitted by the deadline

2.Each student must actively participate in group tasks

▌評価基準・方法

Examination 50%, Class contribution 30%, Report 20%

Feedback on submitted assignments will be given through MANABA

▌フィードバック方法

1. Feedback on submitted assignments will be provided in MANABA.
2. Feedback on the results of group work will be given in class in a timely manner.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Cross-culture exercise and various group tasks）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Textbook: None, but teaching materials will be uploaded in MANABA just prior to each class

▌参考書

Reference books: None, but the relevant internet websites or other information sources will be introduced in classes if necessary

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance and instruction** 授業内容：1.knowing each other in the class by self-introduction 2.Guidance of grading, how to carry out the class, instructor's expectation for students 3.Sharing the definition of key words in the class by group discussion 事前学修 2.0hr：Read the class guidance and syllabus. 事後学修 2.0hr：Review the class guidance and Syllabus
2回	**授業テーマ：Approaches to study international business** 授業内容：1. Confirm common interpretations of the keywords that were discussed in the previous class 2. The instructor will explain how to approach the study of international business relations 3. A preliminary exercise on the subject of the next class, "Recognize the world objectively and correctly" will be conducted 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
3回	**授業テーマ：Recognize the world objectively and correctly** 授業内容：It is extremely important to have an objective and correct understanding of the world when studying international business. However, it is not easy to get an objective view of the big picture. In particular, many media outlets tend to focus on the sensational parts of things, and we tend to miss the big picture. In this class, we will learn the essential points to see the whole picture objectively, based on published data. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
4回	**授業テーマ：Historical approach and the outlook for the world in the future** 授業内容：To learn about the internationalization and globalization of business, it is necessary to study the history of how countries and regions have developed and reached the present through international exchange. In this class, after learning such history, we will consider the relevance of history to modern society and what kind of world we can expect in the future. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class

5回	**授業テーマ：Internationalization and globalization for companies** 授業内容：In this class, we will learn about the motivations for companies to internationalize and the factors necessary for internationalization. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
6回	**授業テーマ：Cross culture exercise** 授業内容：Our behavior is more or less influenced by the culture of the country or region in which we were born and raised. In this class, we will do an exercise to explore cultural influences on our behavior based on indicators such as communication style, decision making, etc. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
7回	**授業テーマ：Cultural diversity** 授業内容：Analysis and commentary on the cross-cultural exercise we did in the last class. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
8回	**授業テーマ：Inbound business: Workshop1** 授業内容：After learning about inbound business in the tourism industry and its economic benefits, the class will be divided into several teams to come up with ideas to promote inbound business according to the points indicated by the instructor (Inbound workshop). 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Work on the group task
9回	**授業テーマ：Inbound business: Workshop2** 授業内容：Continuing the discussion from the previous class, the team will compile an action plan to promote inbound business as a team and prepare a PowerPoint presentation material.　Each team will give a presentation based on the materials and share the results with the class. 事前学修 2.0hr：Work on the group task 事後学修 2.0hr：Wrap-up the outcome of the workshop
10回	**授業テーマ：Government initiatives to promote tourism industry, Globalization and tourism** 授業内容：1. Learn about government initiatives to promote the tourism industry in three Southeast Asian countries. 2. Learn about the impact of globalization on the tourism industry and the impact of the tourism industry on globalization. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
11回	**授業テーマ：Global Hotel Operators** 授業内容：Learn about three hotel chains that are recognized as global hotel companies in the world, including their history and business models for globalization. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
12回	**授業テーマ：Overseas expansion of Japanese companies in hotel business** 授業内容：Based on the case studies of several Japanese companies that have conducted hotel business overseas, we will explore the reasons why these companies failed to expand their business globally. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
13回	**授業テーマ：Essential factors of globalization in the hotel business** 授業内容：Based on the examples of hotel companies that have succeeded in globalization and Japanese companies that have failed in globalization learned in the previous class, students will learn about the essential factors for developing business on a global scale. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete any assignments given in class
14回	**授業テーマ：What does international business mean for you?** 授業内容：Based on what we have learned in previous classes about understanding the world objectively and correctly, recognizing cultural diversity, and the essential elements of corporate internationalization, we will consider how we should act in the international work environment in the future. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and complete group task
15回	**授業テーマ：Wrap up** 授業内容：Review key points emphasized in each class 事前学修 2.0hr：Review all the lectures 事後学修 4.0hr：Prepare for the examination

Business Strategy

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT2 ｜ 備考：GMM 対象科目

大屋　了三（おおや　りょうぞう）

▌授業の概要

Course description: Business Strategy

Marketing is the most important of the various business activities. In this course, students will learn the basic principles of marketing and what a business strategy is while gaining hands-on experience in developing a strategic marketing plan.

The class will be divided into small teams, each team will be assigned a target hotel, and each team will create a strategic marketing plan for their assigned hotel.

The class will be conducted through interactive communication between the instructor and each team, utilizing MANABA's project feature.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Overall objectives:

1.Students are expected to explain why marketing is so important in a business

2.Understand the following points through creating a strategic marketing plan:

What a good strategy is.

Logical and contextual way of thinking.

How to perform tasks as a team.

個別目標：Specific achievements expected:

1.Understand the process of developing a strategic marketing plan through various measures such as hotel inspection tours and workshops

2.Through the exercise of developing a strategic marketing plan as a team, understand the importance of sound teamwork and leadership that are indispensable in a business organization.

▌履修条件

Prerequisite:

1.Each assignment must be submitted by the deadline

2.Each student must actively participate in group tasks.

▌評価基準・方法

Grading policy:

Examination: 40%, Class contribution: 40%, Report 20%.

Feedback on submitted assignments will be given through MANABA

▌フィードバック方法

1. Feedback on submitted assignments will be provided in MANABA.

2. Feedback on workshops is provided in a timely manner through MAMABA's Project function.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group task to develop a strategic marketing plan including hotel visits）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Textbook: None, but teaching materials will be uploaded in MANABA just prior to each class

▌参考書

Reference books: None, but the internet websites or other information sources will be introduced in classes if necessary

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance and instruction** 授業内容：1.knowing each other in the class by self-introduction 2.Guidance of grading, how to carry out the class, instructor's expectation for students. 3.Sharing the definition of key words in the class by group discussion. 事前学修 2.0hr：Read the class guidance and syllabus 事後学修 2.0hr：Review the class guidance and syllabus
2回	**授業テーマ：The purpose and mission of a company** 授業内容：In this class, we will learn the purpose of business and basic principles of marketing. also, we will learn the basics of hotel marketing that is marketing activities and methods specific to the hotel business. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and study the points emphasized by the instructor
3回	**授業テーマ：Know our customers and their needs** 授業内容：Customer is always in the center of business. In this class, we will focus on customers by elaborating who they are and what they need. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and study the points emphasized by the instructor
4回	**授業テーマ：Hotel inspection tour 1** 授業内容：An inspection tour will be conducted at Hotel A. Students will record their observations in the format provided by the instructor. 事前学修 2.0hr：Find out about the hotel we are visiting. 事後学修 2.0hr：Record your observations
5回	**授業テーマ：What is "Strategy": Definition of strategy and SWOT** 授業内容：In this class, students will learn the basics of strategy, including the purpose of strategy, the position of strategy in corporate activities, and its relationship to other activities, through theories and arguments put forward by prominent management authorities. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and study the points emphasized by the instructor
6回	**授業テーマ：Hotel inspection tour 2** 授業内容：An inspection tour will be conducted at Hotel B. Students will record their observations in the format provided by the instructor. 事前学修 2.0hr：Find out about the hotel we are visiting. 事後学修 2.0hr：Record your observations

7回	**授業テーマ：Workshop1; Formation of 2 teams and and objectives of the workshops** 授業内容：In this course, students will be divided into two teams and assigned one of the hotels visited for each team. Each team will then create a strategic marketing plan for their assigned hotel. This class will provide guidance on the goals of each workshop, the sequence of all workshops, and the template to be used when creating the actual marketing plan. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and study the points emphasized by the instructor
8回	**授業テーマ：Workshop 2: Fact base and Bsiness Environment** 授業内容：The instructor will provide macro and specific micro data necessary to develop a marketing plan and micro data about the target hotels, and students will use these data to develop a statement about the business environment. Each team will record their description of business environment as the outcome of the group task in the project section of MANABA. Subsequent workshops will follow the same approach, with the instructor providing feedback as needed. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 2.0hr：Access and understand the content of websites related to the business environment presented in the class
9回	**授業テーマ：Workshop 3: SWOT analysis and Value Proposition** 授業内容：In this workshop, the instructor will explain the SWOT analysis methodology and value propositions, provide examples, and then the students will conduct a SWOT analysis of all the hotels. Each team will then develop a SWOT and value proposition for their assigned hotel. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 3.0hr：Work on the group task of workshop 2 and 3
10回	**授業テーマ：Workshop 4: Set our vision and goals** 授業内容：Each team will develop a "vision" statement for the assigned hotel and specific short- and medium-term goals for performance, guest satisfaction, and human resources. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 3.0hr：Work on the group task of Workshop 4
11回	**授業テーマ：Workshop 5: Turn our strategies into acton plans** 授業内容：Each team will develop specific action plans to realize or achieve its vision and goals. 事前学修 2.0hr：Read today's class material in advance and research relevant information on the Internet, etc. 事後学修 3.0hr：Complete the group task of workshop 4
12回	**授業テーマ：Workshop 6: Review project reports** 授業内容：Each team will review all the project tasks and complete the assigned project reports 事前学修 2.0hr：Work on the assigned project reports instructed in the previous class 事後学修 3.0hr：Complete the group task of workshop 5
13回	**授業テーマ：Workshop 7: Final tune up considering the instructor's feedback** 授業内容：Group task to develop the presentation material of Strategic Marketing Plan 事前学修 2.0hr：Through review of the instructor's feedback on the project reports. 事後学修 4.0hr：Prepare the presentation material of Strategic Marketing plan
14回	**授業テーマ：Workshop 8: Finalize the presentation materials for the next class** 授業内容：Each team will complete the PowerPint presentation material of Strategic Marketing plan. 事前学修 3.0hr：Finalize the presentation material as a team 事後学修 2.0hr：Review today's class and study the points emphasized by the instructor
15回	**授業テーマ：Wrap up** 授業内容：Each team will present their completed strategic marketing plan using presentation materials. Review key points emphasized in each class 事前学修 2.0hr：Review all the lectures 事後学修 4.0hr：Prepare for the examination

Services Marketing

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT2 ｜ 備考：GMM 対象科目

水野　徹（みずの　とおる）

▌授業の概要

Services Marketing: Course Description
The course will focus on marketing in the service industries. We will first review basic principles and analytical tools of marketing. We will then turn to the cases in different services industries, such as lodging, airlines, tourism, food & beverage, and entertainment. Focus will be placed on how the marketing in service industries differs from industries with actual product goods. We will deploy the case method to facilitate the understanding of the tools and underlying marketing principles.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Overall Objective:
1. To understand the basic principles and analytical tools of services marketing
2. To read and analyze business cases and apply the basic principles and analytical tools of services marketing on the cases

個別目標：Expected Achievements:
1. Students should be able to read and understand articles on services marketing in newspapers and magazines
2. Students should be able to analyze actual business cases and write up a summary on their case analysis

▌履修条件

Prerequisite: 1. Should be able to access the case packet in manaba, 2. Complete the reading assignments prior to each session, 3. Proactively speak out in the class based on your response to the case questions, 4. Papers must be submitted by the defined due date, 5. Should be able to communicate with the instructor through manaba.

▌評価基準・方法

Grading Policy: The performance will be graded on the basis of final exam (50%), case write-ups (20%), and class participation, contribution, and weekly assignments (30%). The grading of the assignments will be communicated through manaba. Feedbacks, if any, will be provided in manaba.

▌フィードバック方法

manaba will be used to send out the feedback to the students.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Analysis on business cases has to be completed prior to each session）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Reading the business cases and responding to the case questions required PCs.）

▌教科書

Textbooks:　Case packet and hand-outs will be provided in manaba.

▌参考書

Reference Book: Kotler, Bowen, Makens, Baloglu, ”Marketing for Hospitality and Tourism”

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Class Guidance and Case Studies** 授業内容：Class guidance, overview of the course and its objectives, grading policy, weekly assignments, and how the students should read business cases will be addressed during this session. 事前学修 1.5hr：Read class guidance and syllabus, prepare to express your goal in this course 事後学修 2.5hr：Review hand-out
2回	**授業テーマ：Analytical tools of Marketing** 授業内容：Review on the basic principles and analytical tools of marketing. 事前学修 1.5hr：Review basic principles and analytical tools of marketing 事後学修 2.5hr：Review hand-out
3回	**授業テーマ：Unique nature of service products** 授業内容：Class discussions on the business case ”Grand Targhee” and lectures on the definition of service, characteristics of services marketing, major differences between goods marketing and service markerting, and three dimensions of services marketing. 事前学修 1.5hr：Read ”Grand Targhee” and be ready for discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
4回	**授業テーマ：Segmentation, Targeting, and Positioning** 授業内容：Class discussions on the business case ”Allegiant Air” and lectures on segmentation variables, airline segmentation example, differentiated & concentrated marketing, positioning, perceptual mapping, and vidoes on Qantas positioning. We will also view a video on GAP marketing if time allows. 事前学修 1.5hr：Read ”Alligient Air” and be ready for discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
5回	**授業テーマ：Designing and Managing Products and Brands** 授業内容：Class discussions on the business case ”The Hunt Room” and lectures on product levels, advantages of strong brands, multi brands strategy, designing new service products, and crowd sourcing. 事前学修 1.5hr：Read ”The Hunt Room” and be ready for discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
6回	**授業テーマ：Pricing: Understanding and capturing customer value** 授業内容：Class discussions on the business case ”Spirit Airlines” and lectures on the process of pricing, break-even pricing, product bundle pricing, and discriminatory pricing. 事前学修 1.5hr：Read ”Spirit Airlines: The lowest possible price - at all costs” and be ready for discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
7回	**授業テーマ：Distribution Channel: Delivering customer value** 授業内容：Class discussions on the business case ”Spirit Airlines” and lectures on channel levels, channel design decisions, distribution channel functions, major hospitality industry distribution channels, and marketing evolution. 事前学修 1.5hr：Read ”Tropicana Fishing Lodge” and be ready for discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out

8回	**授業テーマ：Promotinal Activities of Service Industry** 授業内容：We will review multiple TV adverts of different airlines and try to analyze the messages behind them. There will also be a lecture on the promotion mix, nature of promotional tools, and advert spending in Japan. 事前学修 1.5hr：Be ready to share your favorite TV advert for any airline 事後学修 2.5hr：Review hand-out
9回	**授業テーマ：Service Encounter and Service Recovery** 授業内容：Class discussions on the business case ”Nordstrom” and ”United Airlines”, and lectures on service encounter, moment of truth, and service recovery & customer loyalty. 事前学修 1.5hr：Read ”Nordstrom” and ”United Airlines” and be ready for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
10回	**授業テーマ：Managing Demand and Capacity** 授業内容：Class discussions on the business case ”Northwest Airlines Revenue Management” and lectures on the nature of service demand & capacity, the notion of revenue management, and elastic & inelastic demands. 事前学修 1.5hr：Read ”Northwest Airlines Revenue Management” and be ready for discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
11回	**授業テーマ：Integrated Marketing** 授業内容：Class discussions on the business case ”Disney” and video interview for a Disney executive. 事前学修 1.5hr：Read ”Disney” and be ready for discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
12回	**授業テーマ：Digital Marketing** 授業内容：Class discussions on the business case ”Northwest Airlines Revenue Management” and lectures on digital versus traditional marketing, Five A’s in customer path, digital, online, social media marketing, and PAR and BAR. 事前学修 1.5hr：Read ”Hawaiian Sights” and be ready for discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out
13回	**授業テーマ：Student Presentation on Service Industry** 授業内容：Each student will be required to present their analysis on one company in the service sector with emphasis on marketing. 事前学修 1.5hr：Prepare your presentation in powepoints, no more than 15 pages. 事後学修 2.5hr：Review hand-out
14回	**授業テーマ：Review on Analytical Tools of Service Marketing** 授業内容：We will be reviewing the principles and analytical tools of the services marketing in the sessions 1 through 12. 事前学修 1.5hr：Review all hand-outs from session #1 through 13 事後学修 2.5hr：Review hand-out
15回	**授業テーマ：Case Review and Wrap-up** 授業内容：Wrap up of the course with particular emphasis on the final exam. 事前学修 1.5hr：Review all hand-outs from session #1 through 14 事後学修 2.5hr：Review hand-out

Service Economics

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1 ｜ 備考：GMM 対象科目

大石　隆介（おおいし　りゅうすけ）

▌授業の概要

This course is designed to help students to analyze service industries. Specifically, this course helps students to learn skills and knowledge to work in the hospitality industry. It is assumed that students do not have any knowledge regarding hospitality; therefore, we start from the beginning by thinking about basic ideas such as what hospitality actually means. We then attempt to learn important topics, such as the knowledge and skills required of frontline supervisors, managerial topics, and business strategy content.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Understanding the basic ideas of hospitality.

個別目標：Learning the important skills of hospitality, such as the skills required of frontline supervisors, managerial topics, and business strategy content.

▌履修条件

There are no prerequisites for this course. However, proficiency in English is preferred.

▌評価基準・方法

Coursework 40%,
Final exam 60%

▌フィードバック方法

Feedback for coursework is provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion ）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Because the textbook in this course is e-book, students are required to bring laptop, tablet devices, etc.）

▌教科書

Hospitality Management 4e, Lynn van der Wagen, Cengage Learning.
The lecturer will explain about the textbook in the first class (Guidance), please do not purchase the textbook before the first class.

▌参考書

Essentials of Economics 10th edition, N. Gregory Mankiw, Cengage Learning

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance** 授業内容：The first class will be a guidance session. The lecturer and students confirm an overview and points to note when taking the course. 事前学修 2.0hr：Read the lecture summary and ponder over your expectations from this course. 事後学修 2.0hr：Review the guide's content.
2回	**授業テーマ：Enhance customer service experiences (Chapter 2 of the textbook)** 授業内容：The second class will cover chapter 2 of the textbook and learn skills such as a quality service experience by determining customer needs and preferences. 事前学修 2.0hr：Read chapter 2 of the textbook and learn about customer service experiences. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 2 of the textbook and work on a homework.
3回	**授業テーマ：Monitor work operations (Chapter 3 of the textbook)** 授業内容：The third class will cover chapter 3 of the textbook and learn skills such as a monitoring skill to improve workplace relations. 事前学修 2.0hr：Read chapter 3 of the textbook and learn about monitor work operations. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 3 of the textbook and work on a homework.
4回	**授業テーマ：Implement and monitor work health and safety practices (Chapter 4 of the textbook)** 授業内容：The fourth class will cover chapter 4 of the textbook and learn skills such as providing information on health, safety and security to staff. 事前学修 2.0hr：Read chapter 4 of the textbook and learn about implement and monitor work health and safety practices. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 4 of the textbook and work on a homework.
5回	**授業テーマ：Manage finances within a budget (Chapter 5 of the textbook)** 授業内容：The fifth class will cover chapter 5 of the textbook and learn skills such as allocate resources (mainly financial) according to budget. 事前学修 2.0hr：Read chapter 5 of the textbook and learn about budget allocation. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 5 of the textbook and work on a homework.
6回	**授業テーマ：Lead and manage people (Chapter 6 of the textbook)** 授業内容：The sixth class will cover chapter 6 of the textbook and learn skills such as modeling high standards of performance. 事前学修 2.0hr：Read chapter 6 of the textbook and learn about management of people. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 6 of the textbook and work on a homework.
7回	**授業テーマ：Develop and manage quality customer service (Chapter 7 of the textbook)** 授業内容：The seventh class will cover chapter 7 of the textbook and learn skills such as developing quality customer service practices based on research and feedback from customers and staff. 事前学修 2.0hr：Read chapter 7 of the textbook and learn about development of quality customer services. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 7 of the textbook and work on a homework.
8回	**授業テーマ：Manage operational plan (Chapter 8 of the textbook)** 授業内容：The eighth class will cover chapter 8 of the textbook and learn skills such as developing an operational plan through research and consultation. 事前学修 2.0hr：Read chapter 8 of the textbook and learn about management of operational plans. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 8 of the textbook and work on a homework.
9回	**授業テーマ：Prepare and monitor budgets (Chapter 9 of the textbook)** 授業内容：The nineth class will cover chapter 9 of the textbook and learn skills such as preparing budget information, analysing internal and external factors that impact on budget. 事前学修 2.0hr：Read chapter 9 of the textbook and learn about management of budget. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 9 of the textbook and work on a homework.
10回	**授業テーマ：Research and comply with regulatory requirements (Chapter 10 of the textbook)** 授業内容：The tenth class will cover chapter 10 of the textbook and learn skills such as research information required for legal compliance. 事前学修 2.0hr：Read chapter 10 of the textbook and learn about regulatory requirements in service industries. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 10 of the textbook and work on a homework.

11回	**授業テーマ：Establish and conduct business relationships (Chapter 11 of the textbook)** 授業内容：The eleventh class will cover chapter 11 of the textbook and learn skills such as building business relationships using effective communication and negotiation skills. 事前学修 2.0hr：Read chapter 11 of the textbook and learn about establishment of business relationships. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 11 of the textbook and work on a homework.
12回	**授業テーマ：Manage diversity in the workplace (Chapter 13 of the textbook)** 授業内容：The twelfth class will cover chapter 13 of the textbook and learn skills such as implementing diversity policy, ensuring that it is understood and implemented by all parties. 事前学修 2.0hr：Read chapter 13 of the textbook and learn about management of diversity in the workplace. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 13 of the textbook and work on a homework.
13回	**授業テーマ：Manage conflict and crisis (Chapter 14 of the textbook)** 授業内容：The thirteenth class will cover chapter 14 of the textbook and learn skills such as identifying conflict situations and taking action to prevent its escalation. 事前学修 2.0hr：Read chapter 14 of the textbook and learn about management of conflict and crisis. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 14 of the textbook and work on a homework.
14回	**授業テーマ：Develop and implement a business plan (Chapter 15 of the textbook)** 授業内容：The fourteenth class will cover chapter 15 of the textbook and learn skills such as developing a business plan. 事前学修 2.0hr：Read chapter 15 of the textbook and learn about development and implementment of business plans. 事後学修 2.0hr：Revise chapter 15 of the textbook and work on a homework.
15回	**授業テーマ：Summary** 授業内容：The fifteenth class summarizes this course. 事前学修 2.0hr：Review the topics covered in this course. 事後学修 2.0hr：Review the topics covered in the lectures.

Destination Marketing

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ラッセル　ウエノ

▌授業の概要

This lecture will be conducted in a synchronous online format by Dr. Uyeno from Hawaii.
The course analyzes different types of destinations and important current issues related to destination marketing. These issues include: developing a brand image, recovering from adverse events, handling controversial activities, adjusting to political and social changes, and dealing with ethical considerations. Through a careful analysis of these destinations and issues, students will be better prepared to understand and deal with marketing challenges from a more strategic and flexible perspective.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：This course will present current issues related to destination marketing.
個別目標：Students will expand their understanding of destinations, destination marketing organizations, and strategies to compete in the global tourism market.
Students will be able to analyze a destination in terms of the strategic marketing issues and challenges it faces.

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class by reading the assigned material.

▌評価基準・方法

Evaluation will be based on attendance and participation (30%), assignments (30%), and final exam (40%).

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC and internet connection is needed to take this course.）

▌教科書

No textbook required.

▌参考書

Readings will be provided by the instructor.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction and Course Preview** 授業内容：The structure and goals of the course will be reviewed, including: content framework, sequence of topics, grading method, classwork expectations, and learning objectives. 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review materials in the first class
2回	**授業テーマ：Historical Development of Tourism Business** 授業内容：Key developments in the development of mass tourism will be covered, with an emphasis on changes in technology. 事前学修 2.0hr：Think about historical development of tourism business 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand about the historical development
3回	**授業テーマ：Recent and Current Trends of Tourism Business (Economic Impact)** 授業内容：The current situation of global tourism will be covered, focusing on key statistical measures and current trends. 事前学修 2.0hr：Research about current trends and the economic impact of tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
4回	**授業テーマ：Recent and Current Trends of Tourism Business (Events, Olympics and Tourism)** 授業内容：The current situation of global tourism will be covered, focusing on several recent developments and events. 事前学修 2.0hr：Research about the recent and current trends of tourism business 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
5回	**授業テーマ：Controversial Issues in Tourism** 授業内容：Several controversial issues related to tourism will be covered, emphasizing the importance of politics and social impacts. 事前学修 2.0hr：Research about controversial issues in tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
6回	**授業テーマ：Poverty and Tourism** 授業内容：Poverty tourism (also called slum tourism) will be covered, along with other types of reality tourism. 事前学修 2.0hr：Research about the relationship between poverty and tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
7回	**授業テーマ：Accessible Tourism** 授業内容：The problems and promise of making tourism more accessible to handicapped, elderly, and other travelers, will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about accessible tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
8回	**授業テーマ：Destination Branding** 授業内容：Various examples of destination branding will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about destination branding 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
9回	**授業テーマ：Special topics** 授業内容：Special topics based on current issues and events and/or student feedback will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about special topics 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
10回	**授業テーマ：Ethical Travel and Destinations** 授業内容：Ethical destinations and ethical travel will be covered within the context of sustainable travel. 事前学修 2.0hr：Research about ethics and tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand

11回	**授業テーマ：Climate Change and Tourism** 授業内容：Travel and tourism as both contributor to, and victim of, climate change will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about the relationship between climate change and tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
12回	**授業テーマ：Overtourism** 授業内容：Recent examples of overtourism will be covered, with consideration of policies that can help destinations deal with the impacts of too much tourism. 事前学修 2.0hr：Research about overtourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
13回	**授業テーマ：Tourism Business and Technology: Key issues** 授業内容：Recent advances in information technology and their impacts on travel and tourism will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about the key issues between tourism business and technology 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
14回	**授業テーマ：Future directions and why we travel** 授業内容：Philosophical and psychological issues regarding the need for travel will be discussed, along with consideration of what they mean for the future of global travel. 事前学修 2.0hr：Research of future directions of tourism and what motivates people to travel 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
15回	**授業テーマ：Course Summary and Conclusion** 授業内容：The course content will be summarized and placed within the context of the future of the global travel industry. 事前学修 3.0hr：Review all the topics covered by this course and pick up some questions 事後学修 3.0hr：Think about the future of these destinations and prepare for the final exam

Destination Management

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ラッセル　ウエノ

▌授業の概要

This lecture will be conducted in a synchronous online format by Dr. Uyeno from Hawaii.
In this course, we will use Hawaii as a case study to understand the basics of destination management. Welcoming many visitors from around the world, Hawaii has become one of the most popular destinations in the world. Studying this world-class tourism destination will deepen your understanding of destination management through tourism organizations, policies, strategic planning, development, and issues. The final goal is to understand the importance of managing the destination and how to become sustainable.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Through the tourism business in Hawaii, you will be able to understand important factors in destination management.
In addition, you can deepen your knowledge through various issues and problems in tourism business.
個別目標：After taking this course you will be able to understand well about,
1) tourism policies and planning
2) promotion and marketing strategies
3) tourism issues and problems
4) sustainability

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class by reading the assigned material.

▌評価基準・方法

Evaluation will be based on attendance and participation (30%), assignments (30%), and final exam (40%).

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC and internet connection is needed to take this course.）

▌教科書

No textbook required.

▌参考書

Readings will be provided by the instructor.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction and Course Preview** 授業内容：The structure and goals of the course will be reviewed, including: content framework, sequence of topics, grading method, classwork expectations, and learning objectives. 事前学修 2.0hr：Read the syllabus and class schedule 事後学修 2.0hr：Preparing for all of this course
2回	**授業テーマ：Geographical and Historical Overview of Hawaii** 授業内容：The geography and history of Hawaii will be briefly reviewed, including: major destination areas, primary natural features and attractions, and key historical developments. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
3回	**授業テーマ：Development of the Tourism Business, 1900-present** 授業内容：The early development of tourism will be examined, with emphasis on key factors that enabled Hawaii's tourism industry to expand. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
4回	**授業テーマ：Government Policy and Planning for Tourism** 授業内容：The role and actions of the Hawaii Tourism Authority will be covered, including: source of funding, key areas of responsibility, and current issues. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
5回	**授業テーマ：Strategic Issues for Tourism** 授業内容：Tourism's role in contributing to important social, environmental, and political challenges will be examined. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
6回	**授業テーマ：Current Profile of the Industry: Demand** 授業内容：Understanding tourism from the perspective of the visitor/customer, based primarily on survey results, will be covered. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
7回	**授業テーマ：Current Profile of the Industry: Supplier** 授業内容：Understanding tourism from the perspective of the local resident will be covered, emphasizing the role of the industry in generating jobs and social impacts. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
8回	**授業テーマ：Economic Impact of Tourism** 授業内容：The role of tourism as the most important industry in Hawaii's economy will be discussed, including historical and current alternatives to the tourism industry. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture

9回	**授業テーマ：Market Research** 授業内容：Hawaii’ s major geographic and demographic markets will be covered, along with brand marketing methods and strategies. (Part 1) 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
10回	**授業テーマ：Branding** 授業内容：Hawaii’ s major geographic and demographic markets will be covered, along with brand marketing methods and strategies. (Part 2) 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
11回	**授業テーマ：Product Development: Natural Resources** 授業内容：Key issues and challenges related to Hawaii’ s natural resources and their use as tourist attractions will be covered. 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
12回	**授業テーマ：Product Development: Cultural Resources** 授業内容：Key issues and challenges related to Hawaii’ s cultural resources and their use as tourist attractions will be covered. 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
13回	**授業テーマ：Product Development: Major Events** 授業内容：Major festivals and events that enhance Hawaii’ s image and attractiveness will be studied, focusing on those that receive public funding. 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
14回	**授業テーマ：Media Images** 授業内容：A brief examination of how Hawaii’ s image has been created and maintained over the years by companies and popular media, especially movies and tv shows. 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
15回	**授業テーマ：Course Summary and Conclusion** 授業内容：The course content will be summarized and placed within the context of destination management of other tourism destinations. 事前学修 2.0hr：Review all articles in this course. 事後学修 3.0hr：Prepare for the final exam

Human Resource Management

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT2 ｜ 備考：GMM 対象科目

木内　伸樹（きうち　のぶき）

▌授業の概要

Companies are operated by employees. Those employees are important resource for companies. It is quite important for companies to efficiently manage human resources to achieve their goal and vision. And making such efficient management system is the main purpose of Human Resource Management.

Students will study the framework of Human Resource Management through lecture, group discussions, and exercise of HR appraisal.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Students will understand the importance of Human Resource Management and close co-working with Management.
Students will also recognize how Human Resource Management is in progress as well as its current structures.

個別目標：Students will be able to use the basic knowledge about Human Resource Management, which are necessary for management in future business opportunities.

▌履修条件

Students who wish to be in management in future, and have interest in Human Resource Management.

▌評価基準・方法

Class Contribution　40 %

Short Essays & Peer Review　30 %

Final Exam　30 %

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(All classes have group discussion and presentation regarding each theme）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Provide class resume.

▌参考書

Introduce in the class if necessary

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Basic knowledge about Human Resource management Confirm the course schedule 事前学修 2.0hr：What is Human Resource Management 事後学修 2.0hr：Review the class
2回	**授業テーマ：Organization structure** 授業内容：Which is the suitable organization structure for the industry? 事前学修 2.0hr：HR Strategy to achieve corporate goal 事後学修 2.0hr：Review the class
3回	**授業テーマ：Recruiting** 授業内容：Important points for staff recruiting 事前学修 2.0hr：How to recreuit suitable Human Resource? 事後学修 2.0hr：Review the class
4回	**授業テーマ：Employment status** 授業内容：Employment status and working condition 事前学修 2.0hr：：Various status of employment agreements and their features 事後学修 2.0hr：Review the class
5回	**授業テーマ：Staff classification and development** 授業内容：How to improve your own carrier and position? 事前学修 2.0hr：Organization development and Talent development 事後学修 2.0hr：Review the class
6回	**授業テーマ：Appraisal** 授業内容：How employee is evaluated based in which point? 事前学修 2.0hr：HR appraisal and Feedback 事後学修 2.0hr：Review the class
7回	**授業テーマ：Competency and People analysis** 授業内容：What is competency? Why competency is important? 事前学修 2.0hr：Use the examples and evaluate employees 事後学修 2.0hr：Review the class
8回	**授業テーマ：Compensation** 授業内容：How company provides satisfactory compensation? 事前学修 2.0hr：Salary and Bonus system 事後学修 2.0hr：Review the class
9回	**授業テーマ：Fringe benefit** 授業内容：Know thw various kinds of fringe benefit 事前学修 2.0hr：Social insurance and other benefit 事後学修 2.0hr：Review the class
10回	**授業テーマ：Job rotation and carrier path** 授業内容：Specialist or Generalist ? 事前学修 2.0hr：Group Discussion 事後学修 2.0hr：Review the class

11回	**授業テーマ：Industrial relations and Life work balance** 授業内容：Super worker is good for the organization? 事前学修 2.0hr：Job rotation, promotion, and career path 事後学修 2.0hr：Review the class
12回	**授業テーマ：Effective utilization of Human Resource** 授業内容：Shrinking population and worker shortage 事前学修 2.0hr：Working power management 事後学修 2.0hr：Review the class
13回	**授業テーマ：Different HR system** 授業内容：Review the difference in HR systems between Japan and Western countries. 事前学修 2.0hr：Comparing Japanese HR system and Foreign HR system 事後学修 2.0hr：Review the class
14回	**授業テーマ：Considering ” Diversity”** 授業内容：Diversity is in progress in various aspects 事前学修 2.0hr：Group discussion 事後学修 2.0hr：Review the class
15回	**授業テーマ：Wrap up** 授業内容：Review the whole course 事前学修 2.0hr：Review the whole course and conclusion 事後学修 2.0hr：Review the class

Risk Management

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2 ｜ 備考：GMM 対象科目

神末　武彦（こうずえ　たけひこ）

▌授業の概要

This course covers the risk factors that are confronting society in general and how they impact the travel and hospitality industry. The course focuses on effectively managing travel risks and guest safety and strategies to respond to incidents. Students will learn about all aspects of risks, which are related to tourism security and safety in preparation for dealing with these concerns in their daily lives and in their future careers in hospitality and tourism.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：The competencies/learning outcomes connect to the student learning outcomes of GMM’s Diploma Policy #1, “Ability to become a leader in the domestic and/or global fields requiring advanced communication skills, with extensive knowledge of management”, students should be able to

1.Lead with the knowledge with the foundations of “Hospitality & Tourism management” with a responsible and sustainable approach.
2.Demonstrate knowledge of multicultural perspective to meet the diverse community of tourism.
3.Develop skills by applying key management concepts and principles.
4.Use knowledge and skills associated with logical and critical thinking, problem solving and decision making to function effectively in the community and industry.
5.Demonstrate leadership and teamwork to achieve common goals.
6.Demonstrate “professionalism” by conducting in a professional and ethical manner.

個別目標：Upon successful completion of this course, the student should be able to:

1.Evaluate procedures used by travel and tourism operations to manage risk, protect property, assets, and limit loss of funds.
2.Assess and prioritize security and safety procedures in a variety of tourism operations.
(Accommodations, Tourist Attractions, Transportation, Restaurants, Convention Centers etc.)
3.Identify the procedures and processes that would represent a responsible crisis management response plan in the event of a disaster.
4.Explain the social and economic significance of tourism and the detrimental impact risks can have on a destination.
5.Evaluate elements of a safety/security plan that synthesizes government and private organizations for the protection of both residents and destination visitors.
6.Identify the key security measures to consider in preparing for a special/public event (e.g. sporting events, concerts, and festivals).
7.Discuss the legal issues relevant to travel and tourism operations.
8.Explain current issues and trends related to cybercrimes and identify methods for the protection of data and guest information.

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class sessions by reading assigned materials.

▌評価基準・方法

Participation 6%
Reflection papers 24%
Presentation 20%
Mid-Term Exam 20%
Final Exam 30%

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussions, group work, and problem-solving-learning）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Recommended to bring your Laptop to class. Course materials will be distributed through Manaba.）

▌教科書

Not specified

▌参考書

Not specified. All needed materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to risk management in tourism** 授業内容：Basics of risk management in tourism. 事前学修 2.0hr：Read the syllabus and prepare for class 事後学修 2.0hr：Review to further understand about risks in tourism
2回	**授業テーマ：Thinking about travel risks through history /Security and Safety** 授業内容：We will start this course with an introduction and overview of Tourism Security and Safety. You should be able to acknowledge the importance of learning about tourism security and safety. We need to build a great environment so people will feel safe to visit, work, and live or Tourism will not be there. 事前学修 2.0hr：Think of what kind of risks are there when you travel 事後学修 2.0hr：Review today’s lecture
3回	**授業テーマ：Basics of risk management** 授業内容：We will learn about the basic theory of Tourism Security and Safety (Surety). The three basic management theories will be Risk, Crisis, and Recovery Management. This week we will focus on Risk Management. 事前学修 2.0hr：Think about ways to manage the risks 事後学修 2.0hr：Review today’s lecture
4回	**授業テーマ：Risk assessment** 授業内容：We will discuss how we could assess the risks. 事前学修 2.0hr：Think of ways to assess risks 事後学修 2.0hr：Review today’s lecture

5回	**授業テーマ：Crisis Management** 授業内容：We have understood Risk Management to minimize the impact of incidents or crises that might happen. This week, we will think about Crisis management. 事前学修 2.0hr：Think of what you can do to manage the tourism crisis 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
6回	**授業テーマ：Recovery Management** 授業内容：The last part of risk management will be considering recovery. This week we will think about how we could recover from the crisis. 事前学修 2.0hr：What kind of strategy could you think of to recover from a crisis 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
7回	**授業テーマ：Risks in the industry 1 (Hotels)** 授業内容：Risk management in accommodations. 事前学修 2.0hr：Think about the risk factors in hotels 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
8回	**授業テーマ：Risks in the industry 2 (Transportation/Airports & Airline companies)** 授業内容：Risk management in transportation (Aviation), 事前学修 2.0hr：Think about the risk factors in airports and airline companies 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
9回	**授業テーマ：Risks in the industry 3 (Transportation /Trains and Cruises)** 授業内容：Risk management in transportation (Trains and Cruises). 事前学修 2.0hr：Think about the risk factors in trains and cruises 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
10回	**授業テーマ：Risks in the industry 4 (Public gathering places /Events, Conventions)** 授業内容：Risk management in public gathering places. 事前学修 2.0hr：Think about the risk factors in Public gathering places /Events, Conventions 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
11回	**授業テーマ：Risks in tourism 1 (Cyber Security)** 授業内容：Risk management in cyber security. 事前学修 2.0hr：Think about cyber security in tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
12回	**授業テーマ：Risks in tourism 2 (Legal issues)** 授業内容：The legal issues in tourism. 事前学修 2.0hr：Think about the legal issues in tourism 事後学修 2.0hr：Review today's lecture
13回	**授業テーマ：Risks in Tourism 3 (Human Trafficking and Harassment)** 授業内容：Human trafficking and harassment issues related to tourism. 事前学修 2.0hr：Think about the risks of human trafficking and harassment 事後学修 4.0hr：Review today's lecture /Prepare for the presentation
14回	**授業テーマ：Risks in Tourism 4 (Pandemic)** 授業内容：The pandemic situation and tourism. 事前学修 2.0hr：Think about the risks of epidemic and pandemic 事後学修 4.0hr：Review today's lecture /Prepare for the presentation
15回	**授業テーマ：Risk Management final presenatation** 授業内容：Students will present their own finding through research related to risk management in the industry. 事前学修 4.0hr：Preparation for the final presentation 事後学修 4.0hr：Prepare for the final exam

Distinguished Lectures in Hospitality & Tourism Management A

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2 ｜ 備考：GMM 対象科目

シュルーター　キャロリン

▌授業の概要

This course offers students a comprehensive introduction to international sport management, with a particular emphasis on sports marketing. Key topics include the history of sport management, understanding sports consumers, managing sports brands, sports sponsorship, the role of social media in sports, and emerging trends in the future of sport management. By the end of the course, students will gain valuable knowledge and practical skills, enabling them to pursue advanced studies in sport management and navigate the dynamic and expanding field of international sport.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Understand the fundamental principles of sport management, with an emphasis on international perspectives.
Gain familiarity with key topics in sport management, including sports marketing, branding, sponsorship, and the impact of social media on sports.
Develop an understanding of the historical context of sport management and its evolution over time.
Explore the role of sports consumers and how to effectively engage with them in the global sports market.
Analyze current trends and challenges in sport management and anticipate future directions in the industry.
Equip students with the knowledge and skills necessary to pursue further studies in sport management and thrive in the rapidly growing field.

個別目標：Understand the key concepts of international sport management and how they differ from domestic sport management practices.
Analyze the role of sports marketing in driving the global sports industry, including strategies for managing sports brands and engaging sports consumers.
Examine the dynamics of sports sponsorship and how it plays a critical role in the commercial success of sports organizations and events.
Evaluate the influence of social media on sports marketing, fan engagement, and brand development in an international context.
Investigate the historical evolution of sport management and how past trends influence current practices and future developments.
Explore the emerging trends and challenges in sport management, including technological advancements, globalization, and sustainability issues in the sport industry.
Develop practical skills for analyzing and managing sports organizations, focusing on key aspects such as marketing, sponsorship, and consumer behavior in the sports sector.

▌履修条件

None

▌評価基準・方法

Students will be assessed based on three in-class tests (75%) and a presentation (25%).

▌フィードバック方法

Regular feedback will be provided after each assignment.
Students are welcome to contact the instructor at any time to receive additional feedback.
At the end of the course, a survey will be conducted where students can rate the class and provide overall feedback to the instructor.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （The class is on demand, so students will need their laptops to watch the videos provided.）

▌教科書

Contemporary Sport Management, Pedersen & Thibault, 6th Edition

▌参考書

The Business of Sport Management, Beech & Chadwick, 2nd Edition
Sport Marketing, Stern, 4th Edition

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：In this session, we will review the syllabus and grading criteria for the course. Additionally, we will explore the final project together and provide a brief introduction to Sport Sponsorship. 事前学修 2.0hr：Read and familiarize yourself with the syllabus and class schedule 事後学修 2.0hr：Review the syllabus and class schedule and contact the instructor regarding any questions
2回	**授業テーマ：Defining Sport Management and the Sport Industry, Managing Sport** 授業内容：We will explore examples of both traditional and non-traditional sports, identify various settings where sports take place, and discuss different ways the sport industry is organized. 事前学修 2.0hr：Read Chapter 1 Contemporary Sport Management 事後学修 2.0hr：Review Chapter 1 Contemporary Sport Management
3回	**授業テーマ：Historical Aspects of the Sport Industry** 授業内容：We will examine the evolution of the sport business industry from its historical origins to the present day. 事前学修 2.0hr：Read Chapter 3 Contemporary Sport Management 事後学修 2.0hr：Review Chapter 3 Contemporary Sport Management
4回	**授業テーマ：The Economics of Competitive Balance in Sport** 授業内容：We will explore the unique economics of professional team sports, focusing on competitive balance and the uncertainty of outcomes. 事前学修 2.0hr：Read Chapter 5 The Business of Sport Management 事後学修 2.0hr：Review Chapter 5 The Business of Sport Management
5回	**授業テーマ：The Impacts of Sport** 授業内容：We will examine mega sporting events and their various impacts. Additionally, we will conduct our first in-class test. 事前学修 2.0hr：Read Chapter 6 of The Business of Sport Management and review for our first in-class test. 事後学修 2.0hr：Review Chapter 6 The Business of Sport Management

6回	**授業テーマ：Final Project Preparation** 授業内容：You will use class time to begin working on your final project. By the end of the session, you are required to submit a rough outline to demonstrate your understanding of the project requirements. 事前学修 2.0hr：Review the agenda for the final project 事後学修 2.0hr：Finish the first assignment relating to the final project
7回	**授業テーマ：The Special Nature of Sport Marketing** 授業内容：We will examine the market forces that drive the need for innovative marketing strategies in the sport industry. 事前学修 2.0hr：Read Chapter 1 Sport Marketing 事後学修 2.0hr：Review Chapter 1 Sport Marketing
8回	**授業テーマ：Understanding the Sport Consumer** 授業内容：We will explore the differences between socialization, involvement, and commitment among sport consumers. 事前学修 2.0hr：Read Chapter 3 Sport Marketing 事後学修 2.0hr：Review Chapter 3 Sport Marketing
9回	**授業テーマ：Managing Sport Brands** 授業内容：We will focus on understanding the scope and importance of brand management and branding within the sport industry. 事前学修 2.0hr：Read Chapter 7 Sport Marketing 事後学修 2.0hr：Review Chapter 7 Sport Marketing
10回	**授業テーマ：Sponsorship, Corporate Partnerships, and the Role of Activation** 授業内容：We will take an in-depth look at sports sponsorship, focusing on the key elements required for a successful sponsorship activity. This topic is essential for your final project. Additionally, we will have our second in-class test during this session. 事前学修 2.0hr：Read Chapter 9 Sport Marketing and review the previous lessons for our in-class test #2 事後学修 2.0hr：Review Chapter 9 Sport Marketing
11回	**授業テーマ：The Internationalization of Sport** 授業内容：We will define internationalization in general and then examine it from the perspective of the sport industry. 事前学修 2.0hr：Read Chapter 23 The Business of Sport Management 事後学修 2.0hr：Review Chapter 23 The Business of Sport Management
12回	**授業テーマ：Final Project Preparation** 授業内容：You will use class time to continue working on your final project. 事前学修 2.0hr：Review sport sponsorship in general and begin research for the company you have chosen 事後学修 2.0hr：Finish what you haven’t been able to in class and contact me in case of any questions
13回	**授業テーマ：Social Media in Sport** 授業内容：We will explore how athletes, teams, and organizations engage with social media and the intentions behind their engagement. 事前学修 2.0hr：Read Chapter 12 Sport Marketing 事後学修 2.0hr：Review Chapter 12 Sport Marketing
14回	**授業テーマ：The Future of Sport Management** 授業内容：We will examine the unique challenges posed by the era of instant communication for those pursuing a career in the sport industry. Additionally, we will have our final in-class test during this session. 事前学修 2.0hr：Read Chapter 25 The Business of Sport Management and review for our in-class test #3 事後学修 2.0hr：Review Chapter 25 The Business of Sport Management
15回	**授業テーマ：Final Project Preparation** 授業内容：Use this class time to make final adjustments to your presentation and practice it before recording. 事前学修 2.0hr：Finish your final project 事後学修 2.0hr：Review the class and provide your feedback

Airline Management

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1 ｜ 備考：GMM 対象科目

水野　徹（みずの　とおる）

▌授業の概要

Airline Management: Course Description

We will walk through the managerial aspects of the airline business model through a combination of case analysis and lectures. You are expected to read the cases and be ready for case questions in advance of each session. It is very important that you will be ready for in-class case discussions which will be followed by lectures on the underlying marketing principles and analytical tools behind the cases.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Overall Objectives:

1. To understand the managerial aspects of the airline business model (DP1)
2. To read and analyze business cases and apply the basic principles and analytical tools (DP1)

個別目標：Expected Achievements:

1. Students should be able to read airline-related articles in newspapers and magazines
2. Students should be able to analyze actual airline business cases and write up a summary of their analysis

▌履修条件

Prerequisite:

1. Bring the case packet with you for every session
2. Complete the reading assignments prior to each session
3. Proactively speak out in the class
4. Papers must be submitted by the defined deadline date
5. Should be able to communicate with the instructor through emails

▌評価基準・方法

Grading Policy:　The performance will be graded on the basis of final exam (50%), case write-ups (20%) and class participation and contribution (30%). Attendance of 80% or higher will be the prerequisite for granting a credit for this course. The grading of the assignments will be communicated through manaba.

▌フィードバック方法

manaba will be used to send out the feedback to the students.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Analysis on business cases has to be completed prior to each session）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Reading the business cases and responding to the case questions required PCs.）

▌教科書

Textbooks:　Case packet and hand-outs will be provided in manaba.

▌参考書

None

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Class Guidance and Industrial Structure of Airline Industry** 授業内容：Class guidance, overview of the course and its objectives, grading policy, weekly assignments, and how the students should read business cases will be addressed during this session. 事前学修 1.5hr：Read the syllabus and prepare your goal in this course 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
2回	**授業テーマ：Current Issues** 授業内容：Class discussions on the case ”Singapore Airlines: Surviving the COVID-19 Pandemic” and lectures on the current issues of the airline industry, with particular emphasis on the challenges of managing demand and capacity. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Singapore Airlines: Surviving the COVID-19 Pandemic” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
3回	**授業テーマ：Regulation and Deregulation** 授業内容：Class discussions on the case ”The good, the bad, and the ugly: 30 years of US deregulation” and lectures on historic milestones of the airline regulation and deregulation. 事前学修 1.5hr：Read the article ”The good, the bad, and the ugly: 30 years of US deregulation” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
4回	**授業テーマ：Finance and Metric (1)** 授業内容：Class discussions on the case ”apan Airlines: Turning around to take off again” and lectures on metric unique to the airline industry and analysis of a financial statement of American Airlines. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Japan Airlines: Turning around to take off again” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
5回	**授業テーマ：Finance and Metric (2)** 授業内容：Class discussions on the case ”Evaluating Financial and Operational Performance” and lectures on financial vulnerability of the airline industry and its recovery from COVID-19. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Evaluating Financial & Operational Performance” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
6回	**授業テーマ：Human Resource Management** 授業内容：Class discussions on the case ”Scandinavian Airlines System” and lectures on the agent-principal model, and the relationship with organized labor.Malaysia Airlines Culture Transformation 事前学修 1.5hr：Read the cases ”Malaysia Airlines Culture Transformation” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis

7回	**授業テーマ：Aircraft Manufacturers and Airlines** 授業内容：Class discussions on the case ”Boeing & Airbus: Large Commercial Aircraft 2000-2021” and lectures on engineering, cabin comfort, size, range, price & financing of aircraft. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Boeing & Airbus: Large Commercial Aircraft 2000-2021” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
8回	**授業テーマ：Procurement** 授業内容：Class discussions on the case ”Value Added Buying at Air Catering Chefs” and lectures on procurement in catering, fuel, equipment & vehicles, and engines. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Value Added Buying at Air Catering Chefs” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
9回	**授業テーマ：Network Management (1)** 授業内容：Class discussions on the case ”Sustainable Airline Business Model” and lectures on hub & spoke network and point-to-point network. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Sustainable Airline Business Model” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
10回	**授業テーマ：Network Management (2)** 授業内容：Class discussions on the case ”Emirates Airlines: Hub of the world” and lectures on airport landing slots, big data for airlines, and QSI analysis on network. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Emirates Airlines: Hub of the World” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
11回	**授業テーマ：Alliances and M&A** 授業内容：Class discussions on the case ”Air India/Vistara Brand Merger” and lectures on levels of airline cooperation, codeshare, FFP, global alliance, joint businesses, and M&A. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Air India/Vistara Brand Merger” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
12回	**授業テーマ：Safety & Security** 授業内容：Class discussions on the case ”United Airline’s Growing Troubles” and lectures on evolution of safety management, accidents, organizational approach, IOSA, and safety culture models. 事前学修 1.5hr：Read the case ”United Airlines’ Growing Troubles” 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
13回	**授業テーマ：IT and Innovation** 授業内容：Class discussions on the case ”Cathay Pacific’s Customer-centric thinking journey” and lectures on long tail strategy, top 12 trends in the airline industry, and Gartner top strategic technology trends. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Cathay Pacific’s Customer-centric thinking journey” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
14回	**授業テーマ：Corporate Restructuring** 授業内容：Class discussions on the case ”Qantas Historic Turnaround” and lectures on recapitalization, network review , fleet downsizing and renewal, staff rationalization, brand re-positioning. 事前学修 1.5hr：Read the case ”Qantas Historic Turnaround” and prepare your answers to the case questions for class discussions 事後学修 2.5hr：Review hand-out and be ready for the next case analysis
15回	**授業テーマ：Wrap-up and case analysis exercise** 授業内容：We will be reviewing the sessions 1 through 14 with implication on the final exam. 事前学修 1.5hr：Review all hand-outs from sessions 1 through 14 事後学修 2.5hr：Review hand-out

Tourism Business Management

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1 ｜ 備考：GMM 対象科目

髙松　正人（たかまつ　まさと）

▌授業の概要

The class overlooks the travel business in a timeline: what roles they have played (past), what are the challenges and issues (today) and how they will change (future). It helps the students better understand the travel business by showcasing different business models they have developed, the structure of the sector and the travel market both domestic and international.
Furthermore, the class will discuss how to create a sustainable travel industry amidst the growing awareness of the SDGs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：The goal of this class is to understand the historical development and business model of the travel industry as well as the current travel market. The students are expected to foresee the future of the industry with consideration of issues and challenges that the travel industry encounters.

個別目標：1. Understand the history and the roles of the travel and tourism industry
2. Understand the changes in the travel market
3. Understand the diverse forms of business operation in the travel and tourism industry
4. Deduce the managerial challenges and the future of the travel industry

▌履修条件

Everyone who is interested in the travel and tourism business is welcome to sign up for this class. Students are expected to actively participate in the group/individual work and share their own knowledge, thoughts and experiences in the class.

▌評価基準・方法

Understanding level of the class is evaluated through the end-of-term report. Attendance to the class is also included in the scores based on the university’s guideline. Even a student attends the class, her/his attendance is only recognized with the submission of the group/individual work sheet or class report.
The grade evaluation consists of the evaluation of end-of-term report (40%) and attendance (40%) and participation to the group/individual work (20%).

▌フィードバック方法

Feedback of the essay/report of each class is done during the next week’s class. The end of the term report is feedback through ‘manaba’.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group work & discussion, individual work, presentation ）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Students are encourage to use own PC for group works and presentation.）

▌教科書

Text books are not used in the class

▌参考書

Nothing in particular.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Orientation to the class** 授業内容：The lecturer briefly introduces the contents of the class and some of the tips to participate in the class. It is followed by self-introduction of the lecturer’s 40 year experience in travel and tourism business. Each student makes a self-introduction, including what she/he expects to learn in the class, why she/he has chosen this class and experience to work in the travel & tourism business if any. 事前学修 2.0hr：Read through the syllabus and identify the reasons to register this class. Prepare a three minute self-introduction. 事後学修 2.0hr：Review what to expect with reference to other students’ introduction
2回	**授業テーマ：History of travel business in the world and Japan** 授業内容：Overlook the history of travel business in Japan in comparison with that in the rest of the world, Europe in particular. 事前学修 2.0hr：Study the history of travel business in home country. 事後学修 2.0hr：Identify what have changed through the history of travel business and what have remained unchanged.
3回	**授業テーマ：Definition of travel industry and its business models** 授業内容：Learn how ’travel business’ is defined globally and in Japan. Compare the definition in the Travel Agency Law in Japan and in relevant laws, guidelines of other nations. 事前学修 2.0hr：Study the definition of ’travel business’ in the relevant laws and guidelines in student’s home country. 事後学修 2.0hr：Make a brief report on the benefit of having a clear definition of travel business for the travel operator and for traveling consumers.
4回	**授業テーマ：Travel service products (package tours, group tours, FITs)** 授業内容：Different travel services provided by travel companies in Japan are compared in their legal definition. Students will learn the difference among such services and what service is better fit for different markets. 事前学修 2.0hr：Study what kind of travel services are provided by the travel companies of students’ home country. 事後学修 2.0hr：Short report on which travel service is better fit for someone traveling abroad for the first time.
5回	**授業テーマ：Operation of travel business 1 (tour planning, purchasing)** 授業内容：Learn how a package tour is planned and operated, and how contents of the tour, such as flights, hotels, ground transportation, attractions are booked and purchased by a travel company. 事前学修 2.0hr：Pick up a package tour offered in Japan or in student’s home country and review the contents of the tour. 事後学修 2.0hr：Prepare for tour planning at the next class.
6回	**授業テーマ：Operation of travel business 2 (tour planning exercise)** 授業内容：Students plans an original tour just as a travel planner does. Students are encoraged to consult with the lecturer for advice on their draft plans. 事前学修 2.0hr：Briefly plan an original tour before the class. The draft plan will be completed with guidance from the lecturer. 事後学修 2.0hr：Refine the planned tour program based on the consultation with the lecturer.
7回	**授業テーマ：Operation of travel business 3 (tour planning exercise: continued)** 授業内容：Finalize the tour planning including pricing and revenue estimation. 事前学修 4.0hr：Prepare the tour plan for presentation in detail. 事後学修 2.0hr：Prepare for the presentation of the planned tour

8回	**授業テーマ：Operation of travel business 4 (tour plan presentation)** 授業内容：Students make presentation of the tour that they plan during the previous class. 事前学修 2.0hr：Prepare for the presentation of the planned tour 事後学修 2.0hr：Evaluate the tour plans of other student
9回	**授業テーマ：Operation of travel business 5 (store sales, media sales, online sales)** 授業内容：Learn different kinds of tour product distribution/sales channels and recent trends of channel shift. 事前学修 2.0hr：Study recent trends of travel distribution in students' home countries. 事後学修 2.0hr：Brief report on future trends of travel product retail channel
10回	**授業テーマ：Operation of travel business 6 (Corporate travel, MICE operation, educational travel)** 授業内容：Learn marketing and operation of corporate travel. The focus will be on the needs of corporate clients and the corporate travel service that meet the needs as a solution service. 事前学修 2.0hr：Study what kind of travel services are offered to corporate and organization clients in students' home countries. 事後学修 2.0hr：Pick a corporate or organization, identify their needs, and suggest what corporate travel services can be offered as a solution to their needs
11回	**授業テーマ：Travel market trends in Japan and the world and the future market trends** 授業内容：Travel market trends are discussed with statistical data, followed by a discussion on future trends of the travel market in the world, in Japan and students' home countries. 事前学修 2.0hr：Study travel markets trends in students' home country. 事後学修 2.0hr：Short essay on future trends of travel market
12回	**授業テーマ：Newly emerging travel and tourism activities** 授業内容：Travel companies are expanding their business field from travel operation to developing and offering solutions to wider society. The class explores recent emerging trends of business activities of travel companies. 事前学修 2.0hr：Research new activities of travel companies in Japan or in students' home country 事後学修 2.0hr：Short essay on future business model of travel companies besides travel operation
13回	**授業テーマ：New travel distribution (domestic/international outbound/inbound travel)** 授業内容：New actors are coming into travel and tourism business with new travel distribution service based on new ICT technologies. 事前学修 2.0hr：Research travel distribution offered by newly emerging service providers other than traditional travel companies. 事後学修 2.0hr：Prepare for the term essay including the impact of new travel distribution to the existing travel companies.
14回	**授業テーマ：Sustainability of travel and industry' s contribution to the destinations and the SDGs** 授業内容：Learn what travel and tourism businesses are doing to contribute to the SDGs and to make their business operation more sustainable. 事前学修 2.0hr：Research sustainable activities of travel and tourism business in students' home countries that contribute to achieve SDGs. 事後学修 2.0hr：Prepare for the term essay including enhancing sustainability of the travel and tourism business.
15回	**授業テーマ：What the travel industry looks like in the future** 授業内容：Students make presentation of their term essay on the future of travel business. 事前学修 4.0hr：Prepare for presentation of the term essay. 事後学修 2.0hr：Reflect learning from other students' presentation on each student's term essay draft for finalization.

Hotel Business Management

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

立石　貴子（たていし　たかこ）

▌授業の概要

The class will study mainly about management of hotel industry to establish stable operation and achieve corporate goals through smooth conduct of operation.
Through the course, students have opportunities to study Management of various industries.
Basics of hotel management are in management of organization・customer・marketing・profit・cost・human resource and so on.　This class will study and understand each factor through lecture and discussion.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM1）

一般目標：Students will understand how hotel manages its organization to achieve the goal and enable further development.
Students will also understand the importance of thinking and solving by themselves through hotel management and achieve goals.
個別目標：① Students will be able to think how to manage the organization and operation in hotel industry.
② Students will understand the relationship between ES and CS, and hospitality and added value.
③ Students will acquire the way to analyze IR information and find out its corporate strategy and action assignment.

▌履修条件

Interested in management of hotel industry.

▌評価基準・方法

Examination：50 %、Class contribution：50 %

▌フィードバック方法

The review for the assignment is given in the next class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （group discussion）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

NA

▌参考書

Introduce in the class if necessary

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Learn the feature of Hotel Business 事前学修 2.0hr：Think about features of Hotel business 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
2回	**授業テーマ：Company mission statement, concept, and strategy** 授業内容：Learn how company's mission statement relates to its corporate strategy. 事前学修 2.0hr：Research mission statement and concept of hotel companies 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
3回	**授業テーマ：Organization management of hotel industry** 授業内容：Learn what is the suitable corporate structure for hotel industry. 事前学修 2.0hr：Research hotel organization 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
4回	**授業テーマ：Management of lodging division** 授業内容：Study about management of Lodging division. 事前学修 2.0hr：Research lodging division of hotel 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
5回	**授業テーマ：Management of F&B division** 授業内容：Study about management of F&B division. 事前学修 2.0hr：Research F&B division of hotel 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
6回	**授業テーマ：Customer management** 授業内容：Study about the features of customer management of hotel industry. 事前学修 2.0hr：Make report about experienced impressive hotel service, hospitality, and added value. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
7回	**授業テーマ：Marketing, Direct sales and Travel agent** 授業内容：Study about Marketing strategy of hotel industry. 事前学修 2.0hr：Research hotel marketing 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
8回	**授業テーマ：Management of HR division** 授業内容：Now the biggest issue for hotel industry is lacking Human Resources. Study how hotel makes efforts to react the situation. 事前学修 2.0hr：Research HR in hotel industry 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
9回	**授業テーマ：Management of Finance accounting, and GA divisions** 授業内容：Feature on the back side of Hotel industry and study the importance of their works. 事前学修 2.0hr：Research accounting of hotel 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
10回	**授業テーマ：Risk management** 授業内容：Study about various Risks of hotel business and how to hedge them. 事前学修 2.0hr：Research risks in hotel 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class

11回	**授業テーマ：Business plan** 授業内容：Study the importance of the business plan to achieve the target and the mission. 事前学修 2.0hr：Research the business plan of the existing hotel 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
12回	**授業テーマ：Business model 1** 授業内容：A business model is a framework for earning profit. Refer to Business models of various industries and understand their importance. 事前学修 2.0hr：Research the business model of several industries. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
13回	**授業テーマ：Business model 2** 授業内容：Refer Business model of HT industries, especially the hotel industry, and understand how hotels make efforts to maximize hir profit. 事前学修 2.0hr：Research the business model of HT industries. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
14回	**授業テーマ：Financial strategy of hotel industry** 授業内容：During the COVID-19 pandemic, lots of hotels faced Bankruptcy. Why it happened, and how to avoid it? 事前学修 2.0hr：Research IR report and make report about corporate strategy and action assignment. 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class
15回	**授業テーマ：Future task of Hotel industry and Wrap up** 授業内容：Think about the tasks of hotel industry, and review the whole course to wrap up. 事前学修 2.0hr：Review whole class 事後学修 2.0hr：Review today's lecture and research the things instructed in class

Practicum A (Product Planning and Sales Promotion)

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST2 ｜ 備考：GMM 対象科目

ディーン　ナカソネ

▌授業の概要

Hotel Management Case Studies – Evaluating Components of Success at Select
Lodging Operations at Various Locations, Domestic and Overseas
Students will apply learned coursework to real-world settings, enhancing academic and practical skills. In addition to online research, observational learning, and forming assessments are strongly encouraged.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：The competencies/learning outcomes connect to the student learning outcomes of GMM’s Diploma Policy #1, “Ability to become a leader in the domestic and/or global fields requiring advanced communication skills, with extensive knowledge of management,” students should be able to

1. Lead with knowledge of the foundations of Hospitality Management, taking a responsible and sustainable approach.
2. Demonstrate knowledge of multicultural perspective to meet the diverse community てぇ Hospitality Industry.
3. Develop skills by applying key management concepts and principles.
4. Use knowledge and skills associated with logical and critical thinking, problem-solving, and decision-making to function effectively in the community and industry.
5. Demonstrate leadership and teamwork to achieve common goals.
6. Demonstrate “professionalism” by conducting professionally and ethically.

個別目標：Upon successful completion of this course, the student should be able to:

1. Apply learned classroom knowledge to actual workplace situations
2. Become aware of the complexities of the various components that contribute to the success of a hotel in its destination
3. Complete the assigned projects in a timely manner
4. Be receptive to constructive feedback to improve outcomes
5. Practice effective verbal and written communication
6. Display professionalism and effectively work with team members

▌履修条件

1. Students will be expected to prepare for class sessions by reading assigned material
2. Class Attendance is mandatory
3. Internet access, quality internet connection required

▌評価基準・方法

Weekly reflections and team project, and exam will be used for evaluation.

- Participation -40%
- Weekly Reflection - 20%
- Team Project - 20%
- Final Exam - 20%

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussions, group work, and problem-solving-learning）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Recommended to bring your Laptop to class. Course materials will be distributed through Manaba）

▌教科書

Not specified; current news articles will supplement class discussions

▌参考書

Not specified

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction and overview of this practicum course** 授業内容：Self-introductions and course overview 事前学修 2.0hr：Review the syllabus. Think about successful hotels. 事後学修 2.0hr：Review hotel case studies.
2回	**授業テーマ：What makes a hotel successful? Discussion 1** 授業内容：Selection and Discussion on Urayasu Hotels (TBD) 事前学修 2.0hr：Reserach the hotels in Urayasu and prepare for the lecture 事後学修 2.0hr：Reflection Paper – Urayasu Hotels
3回	**授業テーマ：Discussion Session 1** 授業内容：Discussion on Urayasu Hotels 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion (Research Urayasu Hotels) 事後学修 2.0hr：Review the discssion
4回	**授業テーマ：What makes a hotel successful? Discussion 2** 授業内容：Selection and Discussion on Disneyland, California hotels (TBD) 事前学修 2.0hr：Reserach the hotels in Disneyland, California and prepare for the discussion 事後学修 2.0hr：Reflection Paper – Disneyland, California Hotels
5回	**授業テーマ：Discussion Session 2** 授業内容：Discussion on Disneyland, California Hotels 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion (Disneyland, California Hotels) 事後学修 2.0hr：Review the discssion

6回	**授業テーマ：What makes a hotel successful? Discussion 3** 授業内容：Selection and Discussion on Greater Tokyo Area Hotels (TBD) 事前学修 2.0hr：Reserach the hotels in Greater Tokyo Area and prepare for the disscusion 事後学修 2.0hr：Reflection Paper – Tokyo Hotels
7回	**授業テーマ：Discussion Session 3** 授業内容：Discussion on Greater Tokyo Area Hotels 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion (Reseearch Greater Tokyo Area Hotels) 事後学修 2.0hr：Review the discssion
8回	**授業テーマ：What makes a hotel successful? Discussion 4** 授業内容：Selection and Discussion on Kanazawa and Maui, Hawaii Hotels (TBD) 事前学修 2.0hr：Reserach the hotels in Kanazawa and Maui, Hawaii and prepare for the discussion 事後学修 2.0hr：Reflection Paper - Kanazawa and Maui, Hawaii hotels
9回	**授業テーマ：Discussion Session 4** 授業内容：Discussion on Kanazawa and Maui, Hawaii Hotels 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion (Research Kanazawa and Maui, Hawaii Hotels) 事後学修 2.0hr：Review the discssion
10回	**授業テーマ：What makes a hotel successful? Discussion 5** 授業内容：Selection and Discussion on Expo 2025 (Osaka Hotels TBD) 事前学修 2.0hr：Research the hotels in Osaka for the Expo 2025 事後学修 2.0hr：Reflection Paper – Expo 2025 Hotels
11回	**授業テーマ：Discussion Session 5** 授業内容：Discussion on Expo 2025 Hotels 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion (Research Expo 2025, Osaka Hotels) 事後学修 2.0hr：Review the discssion
12回	**授業テーマ：Group Project Preparation Session** 授業内容：Give guidance on how to proceed with your group project. 事前学修 2.0hr：Think about what kind of hotel you wish to reserach 事後学修 2.0hr：Start Preparing for your presentation
13回	**授業テーマ：Group Project Preparation** 授業内容：Fukk time will be given to prepare for your presentation 事前学修 4.0hr：Prepare for the presentation 事後学修 4.0hr：Prepare for the presentation
14回	**授業テーマ：Team Project Due – Presentation and Discussion** 授業内容：Presentation to be given in class. 事前学修 4.0hr：Prepare for the presentation 事後学修 2.0hr：Review others presernation.
15回	**授業テーマ：Course Review and Final Exam** 授業内容：Before the final exam, a full review of the course will be given 事前学修 2.0hr：Review all the topics covered by this course 事後学修 4.0hr：Prepare for the exam

Practicum B (Destination Studies)

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

川村　一司（かわむら　かずし）

▌授業の概要

Practicum style course to study how to analyze and understand respective areas in view of tourism industry.
Mainly through workshop and discussion, students will analyze and differentiate respective areas.
To find what we can positively take action for further development.
The schedule or contents may be changed or combined.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：to obtain basic knowledge on how to read and analyze the fact and the character of each area.
to obtain the skill and the knowledge to logically suggest new ideas for the development of local area.
個別目標：to understand what the tourism-oriented country is.
to become able to analyze the facts and the characteristics of each area.
to find what we can do to revitalize the tourism at each area.

▌履修条件

none

▌評価基準・方法

80% presence is mandatory.
presentation and report 60%
positive challenge at group work with proper manner 40%

▌フィードバック方法

Feedback for your work would be mainly provided in the session.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion and presentation）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Presentation and report）

▌教科書

none

▌参考書

to be announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance** 授業内容：Summarize the course overview and objectives 事前学修 2.0hr：find the fact and character of district 事後学修 2.0hr：confirm the purpose of the class
2回	**授業テーマ：Lecture** 授業内容：Making a lecture on the tourism oriented country and the character of district 事前学修 2.0hr：study the character of some familiar area 事後学修 2.0hr：study the area for group work
3回	**授業テーマ：Group work** 授業内容：Study the reason and the condition of successful region of tourism 1 事前学修 2.0hr：study about the tourism successful area 事後学修 2.0hr：study and understand the reason and the factor of success of tourism
4回	**授業テーマ：Lecture** 授業内容：Study the reason and the condition of success for tourism of each area 事前学修 2.0hr：study about the area 事後学修 2.0hr：review on the reason and the fact of successful tourism area
5回	**授業テーマ：Group work** 授業内容：Study the reason and the condition of successful area of tourism 2 事前学修 2.0hr：study about the tourism successful area 2 事後学修 2.0hr：study and review on the selected area
6回	**授業テーマ：Group work and presentation** 授業内容：Analyzing the area and having discussion on the selected one 事前学修 2.0hr：study on the selected area 事後学修 2.0hr：study and review on the selected area
7回	**授業テーマ：Group work and presentation** 授業内容：Analyzing the area and having a presentation 事前学修 2.0hr：study on the selected area 事後学修 2.0hr：preparation for the presentation
8回	**授業テーマ：Lecture** 授業内容：Analyzing the area and having discussion among group 事前学修 2.0hr：preparation for the group work 事後学修 2.0hr：review the way how to develop the tourism
9回	**授業テーマ：Group work** 授業内容：Group discussion on how to revitalize the tourism of the selected area 事前学修 2.0hr：preparation for the group work 事後学修 2.0hr：review and understand the way how to develop the tourism
10回	**授業テーマ：Group presentation** 授業内容：Having a presentation on how to revitalize the tourism in the selected area 事前学修 2.0hr：preparation for the presentation 事後学修 2.0hr：review and understand the way how to develop the tourism

11回	**授業テーマ：Lecture** 授業内容：Review local tourism and feedback for the group presentation 事前学修 2.0hr：review and understand the way of developing tourism 事後学修 2.0hr：understand how to develop local tourism
12回	**授業テーマ：Group work** 授業内容：Group work and discussion on the factor of developing district and the responsibility of hospitality 事前学修 2.0hr：research for group work 事後学修 2.0hr：preparation for presentation
13回	**授業テーマ：Group presentation** 授業内容：Having a presentation on the factor of developing district and the responsibility of hospitality 事前学修 2.0hr：preparation for presentation 事後学修 2.0hr：understand the condition and factors to develop area tourism
14回	**授業テーマ：Report** 授業内容：Pick up the area and make plan to revitalize its tourism 事前学修 2.0hr：study the area 事後学修 2.0hr：complete report
15回	**授業テーマ：Lecture** 授業内容：Relate and devise the ideas for the necessary factors for the success of tourism, and the responsibility of hospitality for success 事前学修 2.0hr：get the idea on the necessary factor for the tourism success 事後学修 2.0hr：make action for developing the area tourism

Practicum C (Critical Thinking)

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT2 ｜ 備考：GMM 対象科目

白木　秀典（しらき　ひでのり）

▌授業の概要

This course cultivates the ”basic skill” of studying business administration, ”the ability to think logically and coherently.” This course consists of two classes per week. Every week in the first class, you will learn the basics of ”how to set up and break down logic” in a lecture format, and in the second class, you will learn practical cases of ”logical thinking” that you might encounter in the real business world. You will also learn techniques for creating logical slides and expressing messages using graphs and tables.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：To understand the skill of critical thinking.
　　To understand the logical structure of argument.
個別目標：To be able to breakdown the logical structure into diagram.
　　To be able to propose the claim by the logical model.

▌履修条件

The students are required to do homework assignment, and that is the important part of the student evaluation.

▌評価基準・方法

Class participation 30%
Homework assignment and Presentation in the class 30%
Final Exam 40%

▌フィードバック方法

Feedback will be sent through manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussion, Presentation ）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

None. Class materials will be distributed via manaba.

▌参考書

Gary Seay and Susana Nuccelelli ”HOW TO THINK LOGICALLY”, second edition, Pearson, 2012

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to Critical Thinking** 授業内容：- Course Orientation. - What is Critical Thinking？ - Structure of Argument 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try homework assignment to submit.
2回	**授業テーマ：Practice of Logical Thinking (1) Introduction** 授業内容：- Effective Reasoning - Objective and Specific Reasoning 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try homework assignment to submit.
3回	**授業テーマ：Toulmin Model** 授業内容：- Implicit Logic and Reasoning - Rebuttal and Qualification 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try homework assignment to submit.
4回	**授業テーマ：Practice of Logical Thinking (2) Breakdown** 授業内容：- Dimension of Reasoning - Front and Back Reasoning 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try homework assignment to submit.
5回	**授業テーマ：Analyzing Types of Argument** 授業内容：- Inductive Argument - Deductive Argument 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try homework assignment to submit.
6回	**授業テーマ：Practice of Logical Thinking (3) Wider Scope** 授業内容：- Multiple Viewpoints - Pitfall Model 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try homework assignment to submit.
7回	**授業テーマ：Logical Flow Diagram (1) Single Issue** 授業内容：- Converting a simple logical structure into a diagram 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try homework assignment to submit.
8回	**授業テーマ：Reading Tables and Graphs** 授業内容：- Finding the Trend - Identifying the Segment 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try homework assignment to submit.

9回	**授業テーマ：Logical Flow Diagram (2) Multiple Issues** 授業内容：- Converting a complex logical structure into a diagram 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try homework assignment to submit.
10回	**授業テーマ：Illustrating Data with Tables and Graphs** 授業内容：- Expressing the intended message by the relevant diagram 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try homework assignment to submit.
11回	**授業テーマ：Creating Slides (1) Introduction** 授業内容：- The Basic Rule of Creating Slides 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try homework assignment to submit.
12回	**授業テーマ：Fermi Estimation (1) Introduction** 授業内容：- Impromptu Inference by Logical Thinking - Hady Number 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try homework assignment to submit.
13回	**授業テーマ：Creating Slides (2) Basic** 授業内容：- The Art of Writing Logical Diagrams 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the class discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try homework assignment to submit.
14回	**授業テーマ：Fermi Estimation (2) Business Model** 授業内容：- Logical Simulation of Business Model 事前学修 2.0hr：Read the assigned article well for the classr discussion. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and try homework assignment to submit.
15回	**授業テーマ：Slide Presentation** 授業内容：- Making a Logical and Persuasive Presentation with Diagram 事前学修 2.0hr：Prepare for the presentation. 事後学修 2.0hr：Review the class discussion and prepare for the final exam.

Practicum D (Presentation and Debate)

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：集中 ｜ 備考：GMM 対象科目

伊勢　佳奈 (いせ　よしな)

▌授業の概要

The course is on Debates. The course is designed to prepare students on how to debate. Students learn what debate is and how to debate. Students not only improve their language skills and strategies, but also improve the skills of cognitive and critical thinking, analyzing, interpreting, evaluating, and delivering supporting/dissenting opinions quickly and clearly. Students also learn to overcome fears of public speaking and discover confidence and creativity.

The course syllabus is subject to change depending on the class needs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：Students use knowledge of the basic language skills in practice and offer/receive challenges of cognitive and critical thinking. Students recognize how others think, learn to think and speak well.

個別目標：Students show progress in their ability to express opinions and defend ideas, which is a vital tool especially in this world of globalization where opinions are valued.

▌履修条件

Not limited to, but recommended to have previously taken Advanced English Skills C (Communication Studies) and
Advanced English Skills D (Presentations) courses.

▌評価基準・方法

Grades will be based strictly on attendance/attitude/performance, assignments/research project, debates, and a written test.

▌フィードバック方法

Feedback to the students will be given in the class for the class works, and through Google Classroom for the assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Required for debating activities.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC required for class works and assignments.）

▌教科書

None.

PDF materials prepared by the instructor.

▌参考書

Speak Out! Debate and Public Speaking in the Middle Grades (Kate Shuster & John Meany),

Think Speak Win: Discover the Art of Debate (Gaurav Keerthi), Introduction to Debating in Schools: A Guide to Hosting Your Own Debates, and other materials as appropriate may be introduced.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction/Introduction to Public Speaking** 授業内容：Course Orientation/What is Public Speaking? 事前学修 0.5hr：preview the subject 事後学修 2.0hr：review as specified
2回	**授業テーマ：Introduction to Debating** 授業内容：Debate, Its Structure, Basic Elements, and Formats 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
3回	**授業テーマ：Supporting, Organizing & Presenting Your Opinion** 授業内容：Argument Structure of ARE 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
4回	**授業テーマ：Predicting & Refuting the Arguments** 授業内容：”Clash” and Basic Refutation Forms 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
5回	**授業テーマ：Judge, A Debate Evaluator** 授業内容：What is the Role of a Judge? 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
6回	**授業テーマ：One-on-One Debates** 授業内容：Pair Practices 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
7回	**授業テーマ：One-on-One Debates** 授業内容：Pair Debates 事前学修 3.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
8回	**授業テーマ：Introduction to Team Debating** 授業内容：What are the Roles of The Speakers in Affirmative and Negative Teams? 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
9回	**授業テーマ：Supporting, Organizing & Presenting the Team’s Opinion** 授業内容：Practice in Teams 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

10回	**授業テーマ：Refuting & Rebutting the Team's Opinion** 授業内容：Practice in Teams 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
11回	**授業テーマ：Written Test** 授業内容：Test on the Materials Covered 事前学修 2.5hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
12回	**授業テーマ：Preparation for Team Debates** 授業内容：Preparation in Teams 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
13回	**授業テーマ：Team Debates** 授業内容：Team Debates 事前学修 3.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
14回	**授業テーマ：Impromptu Pair Debates** 授業内容：Impromptu Pair Debates 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified
15回	**授業テーマ：Final Class** 授業内容：Course Review 事前学修 2.0hr：prepare as specified 事後学修 2.0hr：review as specified

Pre Seminar Ⅰ-a

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

吉田　成利（よしだ　なるとし）・**三木　和見**（みき　かずみ）

▌授業の概要

Understand that manners are necessary in social life, and gain skills to live better.
Through learning manners, you will be grateful to people and nature, and learn how to express those feelings to others.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：You will be able to notice the importance of manners and be able to be have politely.
Have flexible thinking and tolerance for others.
個別目標：1.Communicate the feeling of the hospitality with words and manners.
2.Acquire eating manners that do not cause discomfort to the other person.
3.Learn about ceremonial occasions, annual event, and learn about customs.

▌履修条件

This course is a compulsory subject for each GMM student.
Every student should actively and sincerely participate in each lecture.

▌評価基準・方法

Assignment and end-of-term reports.

▌フィードバック方法

Evaluate the activities in the class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and role-playing）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba）

▌教科書

『Manners and conventions of daily life in Japan』　By Keishosai Ogasawara（Tankosha Publishing Co.,Ltd）

▌参考書

Nothing

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Orientation, Good posture, How to bow,** 授業内容：Learn to understand the need for manners and think of others first. Learn the important of first impressions. 事前学修 2.0hr：Read a textbook p3-5「Preface」 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report.
2回	**授業テーマ：Language** 授業内容：The impression that words give to the other person and manners when using words. 事前学修 2.0hr：Read a textbook p15-23 Business Occasions 1-4 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report.
3回	**授業テーマ：How to hold** 授業内容：The height of holding thing, how to hand over, how to receive it. 事前学修 2.0hr：Write what you should be careful about when you hand over things to other person. 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report.
4回	**授業テーマ：Dealing with visitors** 授業内容：Preparations for welcoming visitors. Place to sit. How to serve tea. Hospitality. 事前学修 2.0hr：Read a textbook p27-29 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report
5回	**授業テーマ：Manners of visiting** 授業内容：Gifts'manners. Manners of visiting time. Clothing. 事前学修 2.0hr：Read a textbook p47-63 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report.
6回	**授業テーマ：Business manner** 授業内容：Manners of chair, door, elevator, cars, guide, tea, see a person off. 事前学修 2.0hr：Read a textbook p25-43 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report.
7回	**授業テーマ：Manners of phone calls and letters** 授業内容：How to talk on the phone. How to write business letters. 事前学修 2.0hr：Write what you need to be careful when you talk on the phone. 事後学修 2.0hr：Write a thank you letter to the company you visited.
8回	**授業テーマ：Japanese tea** 授業内容：Types of Japanese tea. How to serve and enjoy Japanese tea. 事前学修 2.0hr：Read a textbook p107 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report.
9回	**授業テーマ：Manners of Japanese food** 授業内容：About chopsticks and Japanese Food. 事前学修 2.0hr：Read a textbook p79-105 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report.
10回	**授業テーマ：Manners of Japanese style room.** 授業内容：About tatami, tokonoma, kakejiku, shoji, and so on. 事前学修 2.0hr：Read a textbook p69-77 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report.

11回	**授業テーマ：Manners for ceremonial occasions 1** 授業内容：The ritual of life. Wedding manners. 事前学修 2.0hr：Read a textbook p119-131 事後学修 2.0hr：Make a gift money envelopes.
12回	**授業テーマ：Manners for ceremonial occasions 2** 授業内容：Funeral manners. 事前学修 2.0hr：Read a text book p133-143 事後学修 2.0hr：Make a gift money envelopes.
13回	**授業テーマ：Annual Festivals** 授業内容：New Years, the five seasonal festivals and annual festivals. 事前学修 2.0hr：Read a text book p153-169 事後学修 2.0hr：Make New Year's gift wrapping.
14回	**授業テーマ：Interview manners** 授業内容：How to have an interview. 事前学修 2.0hr：Review posture, bowing, chair manners, and door manners. 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report.
15回	**授業テーマ：Total review** 授業内容：Practical test of what you have learned. 事前学修 2.0hr：Review what you have learned 事後学修 2.0hr：Write a report and turn in your report.

Pre Seminar Ⅰ-a

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM9 月入学生対象科目

吉田　成利（よしだ　なるとし）

▌授業の概要

The course aims to support each student to enjoy a meaningful academic life.
A student creates one's pride as a "young expert in Japanese hospitality".
She or he sharpens one's study skills and clarifies one's vision and mission.
The contents of the lectures may be changed subject to educational circumstances.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：A student learns basic study skills: reading, listening, writing and speaking.
This course gives each student a more sophisticated understanding of one's personality.
A student also learns the Japanese culture, history, social system, and esprit.
個別目標：Emphasis on group work.
Completing efficient academic presentations.
Spontaneous attitude at classroom discussions and extracurricular studies.

▌履修条件

This course is a compulsory subject for each GMM student.
Every student must actively and sincerely participate in each lecture.

▌評価基準・方法

Essays, presentations and in-class performance.
In each class, the lecturer will give you the feedback of short essays, etc. clearly.

▌フィードバック方法

Feedback will be done time to time after your performance and submission.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Certainly, the course must be active learning.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Definitely, you must use your own PC in each class.）

▌教科書

Reading materials will be specified in class.

▌参考書

Supplementary reading materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introduction 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
2回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
3回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
4回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
5回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
6回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
7回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
8回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
9回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
10回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.

11回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
12回	**授業テーマ：Reading articles/presentations/discussions** 授業内容：Learning the basic skills of Reading, presentations and discussions. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
13回	**授業テーマ：Career planning for job hunting 1-1** 授業内容：Understanding the career planning and imagine your goal after the graduation. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
14回	**授業テーマ：Recruitment examinations for job hunting** 授業内容：Understanding the recent recruitment system in Japan. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
15回	**授業テーマ：Conclusion and review** 授業内容：Conclusive session of this course. 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review this course.

Pre Seminar Ⅰ-b

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2/FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

吉田　成利（よしだ　なるとし）

▌授業の概要

The course aims to support each student to enjoy a meaningful academic life.
A student creates one's pride as a "young expert in Japanese hospitality".
She or he sharpens one's study skills and clarifies one's vision and mission.
The contents of the lectures may be changed subject to educational circumstances.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：A student learns basic study skills: reading, listening, writing and speaking.
This course gives each student a more sophisticated understanding of one's personality.
A student also learns the Japanese culture, history, social system, and esprit.
個別目標：Emphasis on group work.
Completing efficient academic presentations.
Spontaneous attitude at classroom discussions and extracurricular studies.

▌履修条件

This course is a compulsory subject for each GMM student.
Every student must actively and sincerely participate in each lecture.

▌評価基準・方法

Essays, presentations and in-class performance.
In each class, the lecturer will give you the feedback of short essays, etc. clearly.

▌フィードバック方法

Feedback will be done time to time after your performance and submission.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Certainly, the course must be active learning.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Definitely, you must use your own PC in each class.）

▌教科書

Reading materials will be specified in class.

▌参考書

Supplementary reading materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introductory session 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
2回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Research your favurite HT industry 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
3回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Continue your HT industry research 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
4回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Continue your HT industry research 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
5回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Continue your HT industry research 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
6回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Continue your HT industry research 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
7回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Continue your HT industry research 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
8回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Continue your HT industry research 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
9回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Prepare your final presentation 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
10回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Prepare your final presentation 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.

11回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Prepare your final presentation 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
12回	**授業テーマ：Career planning for job hunting 1-2** 授業内容：Complete your final presentation 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
13回	**授業テーマ：Researching the hospitality and tourism industry** 授業内容：Give your fina presentation 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
14回	**授業テーマ：Prepare your current Career Design Plan** 授業内容：Preare you most recent career design plan 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review the previous class.
15回	**授業テーマ：Conclusion and review** 授業内容：Conclusive session 事前学修 2.0hr：Prepare for the next class. 事後学修 2.0hr：Review this course.

Pre Seminar Ⅱ-a

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

中野　実（なかの　みのる）

▌授業の概要

The course aims to support each student to enjoy valuable academic life in Japan in their second year. Students will develop their own pride as ”young experts” in the Japanese hospitality environment and sharpen their study skills, and trying to clarify their vision and life mission. Also, this is a pre-Seminar Course that will lead to the ”Seminar” of the 3rd grade and helps students narrow down which industry or company they would like to work in the future. The classes will be conducted by Active Learning Methods including discussions, presentations, group works, field works, office visits, and guest speakers.

-The contents of the curriculum are subject to change depending on teaching environments and the interests of the students.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：A student develops a more sophisticated understanding of one’s study skills: reading, listening, writing, and speaking. This course gives each student a clear understanding of one’s personality. A student also learns the Japanese culture, history, social system, and spirit.

個別目標：Exercising leadership.
Completing academic level presentation and sophisticated discussion skills.

▌履修条件

This course is a compulsory subject for all GMM students.
Every student must actively and sincerely participate in each lecture.

▌評価基準・方法

Essays, presentations and in-class performance. 80% attendance record is required.

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided individually.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Didcussion, Group work, Presentation, Fieldwork）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Reading materials will be specified in class.

▌参考書

Supplementary reading materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Orientation of the course and Self Introduction** 授業内容：Discuss what theme or area members want to focus on and how they will work on those themes throughout the year. Each member presents a theme of interest and its goal. Then the class discuss it whether individual goal is achievable and how it can work on. Also Each member presents and introduce own background, current interests and future career plan in order to know well each other, so that other members will be able to give more effective suggestions or feedback. 事前学修 2.0hr：Summarise your expectations and prepare your introduction. 事後学修 2.0hr：Create your action plans based on the feedbacks that were given in the class and Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
2回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
3回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
4回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
5回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
6回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
7回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
8回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
9回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.

10回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
11回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
12回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
13回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
14回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and prepare for presenting in the beginning of the next class.
15回	**授業テーマ：Conclusion and Presentation (Setting goals for the summer vacation)** 授業内容：Summarise what we have done so far and set objectives of members' summer study plan. 事前学修 2.0hr：Prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Summarise the discussion and review this course.

Pre Seminar Ⅱ-b

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

中野　実（なかの　みのる）

▌授業の概要

The course aims to support each student to enjoy valuable academic life in Japan in their second year. Students will develop their own pride as ˝young experts˝ in the Japanese hospitality environment and sharpen their study skills, and trying to clarify their vision and life mission. Also, this is a pre-Seminar Course that will lead to the ˝Seminar˝ of the 3rd grade and helps students narrow down which industry or company they would like to work in the future. The classes will be conducted by Active Learning Methods including discussions, presentations, group works, field works, office visits and guest speakers.

-The contents of the curriculum are subject to change depending on teaching environments and the interests of the students.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：A student develops a more sophisticated understanding of one's study skills: reading, listening, writing, and speaking.
This course gives each student a clear understanding of one's personality.
A student also learns the Japanese culture, history, social system, and spirit.

個別目標：Exercising leadership.
Completing academic level presentation and sophisticated discussion skills.

▌履修条件

This course is a compulsory subject for all GMM students.
Every student must actively and sincerely participate in each lecture.

▌評価基準・方法

Essays, presentations and in-class performance. 80% attendance record is required.

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided individually.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion, Group work, Presentation, Fieldwork）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Reading materials will be specified in class.

▌参考書

Supplementary reading materials will be specified in class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Presentation of the Summer Vacation goal achievements** 授業内容：All members present what they have achieved and discuss their progress each other. 事前学修 2.0hr：Prepare for the presentation 事後学修 2.0hr：Prepare for the next class
2回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
3回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
4回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
5回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
6回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
7回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
8回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
9回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
10回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.

11回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
12回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
13回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
14回	**授業テーマ：Discussion (Specific topics that the members will decide)** 授業内容：Discussion topics will be determined what members would like to know more about their current interests or research plans. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Summarise how you can contribute to the wishes of other members of the class.
15回	**授業テーマ：Conclusion and review** 授業内容：Summarise and review all works members have done throughout the year and discuss for the 3rd grade. 事前学修 2.0hr：Prepare for the discussion. 事後学修 2.0hr：Review this course.

Seminar Ⅰ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

吉田　成利（よしだ　なるとし）

▌授業の概要

Bringing justice and fairness is the ultimate purpose of the law.
Legal way of thinking must be essential for global management.
In this seminar, students study law, especially, constitution and comparative hospitality law.
Through the seminar, students find the topics and ideas of their graduation dissertations.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：Through the seminar, students shall find what they want to do
in their lives, and clarify one's mission after the graduation.
個別目標：Use legal way of thinking to achieve one's dream.
Broaden one's horizon by legal study at this seminar.

▌履修条件

This is a compulsory subject for a GMM student.
Students must actively and sincerely join the class.

▌評価基準・方法

Essays, Presentations, In-class performance.
In each class, the lecturer will give you the feedback of short essays, etc. clearly.

▌フィードバック方法

Feedback will be done time to time after your performance and submission.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Certainly, the course must be active learning.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Definitely, you must use your own PC in each class.）

▌教科書

Reading Materials will be specified at the class.

▌参考書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』（慶應義塾大学出版会、2020 年）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introductory session 事前学修 2.0hr：Preparing for the introduction 事後学修 2.0hr：Reviewing
2回	**授業テーマ：Legal case study 1** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
3回	**授業テーマ：Legal case study 2** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
4回	**授業テーマ：Legal case study 3** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
5回	**授業テーマ：Legal case study 4** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
6回	**授業テーマ：Legal case study 5** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
7回	**授業テーマ：Legal case study 6** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
8回	**授業テーマ：Legal case study 7** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
9回	**授業テーマ：Legal case study 8** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
10回	**授業テーマ：Legal case study 9** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing

11回	**授業テーマ：Legal case study 10** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
12回	**授業テーマ：Legal case study 11** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
13回	**授業テーマ：Legal case study 12** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
14回	**授業テーマ：Final presentation** 授業内容：Give your final presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
15回	**授業テーマ：Conclusion and Reviewing the course** 授業内容：Conclusive session 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing

Seminar Ⅰ-b

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

吉田　成利（よしだ　なるとし）

▌授業の概要

Bringing justice and fairness is the ultimate purpose of the law.
Legal way of thinking must be essential for global management.
In this seminar, students study law, especially, constitution and comparative hospitality law.
Through the seminar, students find the topics and ideas of their graduation dissertations.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：Through the seminar, students shall find what they want to do
in their lives, and clarify one's mission after the graduation.
個別目標：Use legal way of thinking to achieve one's dream.
Broaden one's horizon by legal study at this seminar.

▌履修条件

This is a compulsory subject for a GMM student.
Students must actively and sincerely join the class.
Students must prepare Wi-Fi & microphone condition precisely, and participate in this Google Meet course punctually.

▌評価基準・方法

Presentations (30%)
Short essays (30%)
Active performance and contribution to class (40%)
In each class, the lecturer will give you the feedback of short essays, etc. clearly.

▌フィードバック方法

Feedback will be done time to time after your performance and submission.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Certainly, the course must be active learning.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Definitely, you must use your own PC in each class.）

▌教科書

Reading Materials will be specified at the class.

▌参考書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』(慶應義塾大学出版会、2020 年)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introductory session 事前学修 2.0hr：Preparing for the introduction 事後学修 2.0hr：Reviewing
2回	**授業テーマ：Legal case study 13** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
3回	**授業テーマ：Legal case study 14** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
4回	**授業テーマ：Legal case study 15** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
5回	**授業テーマ：Legal case study 16** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
6回	**授業テーマ：Legal case study 17** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
7回	**授業テーマ：Legal case study 18** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
8回	**授業テーマ：Legal case study 19** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
9回	**授業テーマ：Legal case study 20** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing

10回	**授業テーマ：Legal case study 21** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
11回	**授業テーマ：Legal case study 22** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
12回	**授業テーマ：Legal case study 23** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
13回	**授業テーマ：Legal case study 24** 授業内容：Understand the legal case in Japan and the other countries 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
14回	**授業テーマ：Final presentation** 授業内容：Give your final presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
15回	**授業テーマ：Conclusion and Reviewing the course** 授業内容：Conclusive session 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing

Seminar Ⅱ-a

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：ST1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

吉田　成利（よしだ　なるとし）

▌授業の概要

Bringing justice and fairness is the ultimate purpose of the law.
Legal way of thinking must be essential for global management.
In this seminar, students study law, especially, constitution and comparative hospitality law.
Through the seminar, students complete their graduation dissertations.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：Through the seminar, students shall find what they want to do
in their lives, and clarify one's mission after the graduation.
個別目標：Use legal way of thinking to achieve one's dream.
Broaden one's horizon by legal study at this seminar.

▌履修条件

This is a compulsory subject for a GMM student.
Students must actively and sincerely join the class.

▌評価基準・方法

Graduation Dissertations, Essays, Presentations, In-class performance.
In each class, the lecturer will give you the feedback of short essays, etc. clearly.

▌フィードバック方法

Feedback will be done time to time after your performance and submission.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Certainly, the course must be active learning.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Definitely, you must use your own PC in each class.）

▌教科書

Reading Materials will be specified at the class.

▌参考書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』（慶應義塾大学出版会、2020 年）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introductory session of this course. 事前学修 2.0hr：Preparing for the introduction 事後学修 2.0hr：Reviewing
2回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 1** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
3回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 2** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
4回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 3** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
5回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 4** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
6回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 5** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
7回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 6** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
8回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 7** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
9回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 8** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
10回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 9** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing

11回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 10** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
12回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 11** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
13回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 12** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
14回	**授業テーマ：Dissertation Preparation 13** 授業内容：Prepare for writing your dissertation. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
15回	**授業テーマ：Conclusion and Reviewing the course** 授業内容：Conclusive session of this course. 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing

Seminar Ⅱ-b

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：FT1・2 ｜ 備考：GMM 対象科目

吉田　成利（よしだ　なるとし）

▌授業の概要

Bringing justice and fairness is the ultimate purpose of the law.
Legal way of thinking must be essential for global management.
In this seminar, students study law, especially, constitution and comparative hospitality law.
Through the seminar, students complete their graduation dissertations.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GMM3）

一般目標：Through the seminar, students shall find what they want to do
in their lives, and clarify one's mission after the graduation.
個別目標：Use legal way of thinking to achieve one's dream.
Broaden one's horizon by legal study at this seminar.

▌履修条件

This is a compulsory subject for a GMM student.
Students must actively and sincerely join the class.
Students must prepare Wi-Fi & microphone condition precisely, and participate in this Google Meet course punctually.

▌評価基準・方法

Graduation Dissertations,Essays, Presentations, In-class performance.
In each class, the lecturer will give you the feedback of short essays, etc. clearly.

▌フィードバック方法

Feedback will be done time to time after your performance and submission.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Certainly, the course must be active learning.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Definitely, you must use your own PC in each class.）

▌教科書

Reading Materials will be specified at the class.

▌参考書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』（慶應義塾大学出版会、2020 年）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introductory session 事前学修 2.0hr：Preparing for the introduction 事後学修 2.0hr：Reviewing
2回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 1** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
3回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 2** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
4回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 3** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
5回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 4** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
6回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 5** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
7回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 6** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
8回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 7** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
9回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 8** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
10回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 9** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing

11回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 10** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
12回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 11** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
13回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 12** 授業内容：Prepare your dissertaton and the presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
14回	**授業テーマ：Dissertation Presentation 13** 授業内容：Give your final presentation 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing
15回	**授業テーマ：Conclusion and Reviewing the course** 授業内容：Conclusive session 事前学修 2.0hr：Preparing for the class 事後学修 2.0hr：Reviewing

Academic English Ⅰ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

菅原　千津（すがわら　ちづ）・**野上　文子**（のがみ　あやこ）・**森川　慶子**（もりかわ　けいこ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された A2 レベル到達を目指す。総合英語では、Listening（聞く)と Reading（読む)を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させ、基礎段階の言語使用者としての英語運用能力を身につける。

個別目標：基本的な個人情報や家族情報・買い物・地元の地理・仕事など直接的関係がある領域に関しては、文や良く使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

下記の英語検定試験のスコア(*)取得状況と、授業参加状況・小テスト・中間テスト・期末試験・キクタンドリルの学修状況等を総合的に評価して単位を認定する。検定試験は、前学期開講の場合は 2025 年 7 月 30 日まで、後学期開講の場合は 2026 年 1 月 27 日までにスコアが確認でき、学部のプレゼミナール担当教員に報告できるものに限る。

(*) 検定試験と単位取得の基礎となるスコア

ケンブリッジ英語検定：134 点以上

GTEC Academic：460 点以上

TEAP:199 点以上

TEAP CBT：360 点以上

実用英語技能検定(英検、S-CBT を含む) CSE スコア：1880 点以上

IELTS Academic：4.0 点以上

TOEFL IBT：45 点以上

TOEFL Essentials：4.0 点以上

TOEIC Listening& Reading, Speaking & Writing の合計値：900 点以上

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用単語ドリルに PC を使用する）

▌教科書

Michele Lewis, Richard O'Neill『Prism Reading Level 1』 Student's Book (Cambridge University Press)

アルク文教編集部『改訂第 2 版 キクタン【Entry】2000 語レベル』(アルク)

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 1 Places pp.14-17 Preparing to read 数字の読み取り、語彙の確認、文章の大意の把握、詳細の理解、必要な情報の検索、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：Listening & Reading (1)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 1 Places pp.18-19 Reading 1 Megacities 数字の読み取り、語彙の確認、文章の大意の把握、詳細の理解、必要な情報の検索、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：Listening & Reading (2)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 1 Places pp.18-21 Reading 1 Megacities 数字の読み取り、語彙の確認、文章の大意の把握、詳細の理解、必要な情報の検索、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：Listening & Reading (3)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 1 pp.28-29 Language Development 名詞、動詞、形容詞の用法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：Listening & Reading (4)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 2 Festivals and Celebations pp.32-37 Reading 1 Celebrate! 予測、語彙の確認、事前知識を活用する、メモを取る、詳細の理解、文章の形態を理解する、主題を見つける、推測するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6 回	**授業テーマ：Listening & Reading (5)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 2 Festivals and Celebations pp.36-39 Reading 1 Celebrate! 予測、語彙の確認、事前知識を活用する、メモを取る、詳細の理解、文章の形態を理解する、主題を見つける、推測するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

7回	**授業テーマ：Listening & Reading (6)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 2 pp.46-47 Language Development 時間と場所を示す前置詞、頻度を表す副詞。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 1-2。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Listening & Reading (7)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 3 The Internet and Technology pp.50-55 Reading 1 Tech Expert Today 主題を見つける、推測する、語彙の確認、コンテンツの予測、詳細の理解、事前知識を使う、メモを取る、文章の形態を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Listening & Reading (8)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 3 The Internet and Technology pp.54-57 Reading 1 Tech Expert Today 主題を見つける、推測する、語彙の確認、コンテンツの予測、詳細の理解、事前知識を使う、メモを取る、文章の形態を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Listening & Reading (9)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 3 pp.64-65 Language Development 複合名詞、意見を表明する方法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Listening & Reading (10)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 4 Weather and Climate pp.68-73 Reading 1 Extreme Weather 詳細を理解する、自分の知識を活用してコンテンツを予測する、語彙の確認、主題を見つける、文章の形態を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Listening & Reading (11)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 4 Weather and Climate pp.72-75 Reading 1 Extreme Weather 詳細を理解する、自分の知識を活用してコンテンツを予測する、語彙の確認、主題を見つける、文章の形態を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Listening & Reading (12)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 4 pp.82-83 Language Development 気温の表現、グラフの説明の方法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Listening & Reading (13)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 3-4 総復習 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

Academic English Ⅰ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

番場　直之（ばんば　なおゆき）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された A2 レベル到達を目指す。総合英語では、Listening（聞く)と Reading（読む)を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させ、基礎段階の言語使用者としての英語運用能力を身につける。

個別目標：基本的な個人情報や家族情報・買い物・地元の地理・仕事など直接的関係がある領域に関しては、文や良く使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

下記の英語検定試験のスコア(*)取得状況と、授業参加状況・小テスト・中間テスト・期末試験・キクタンドリルの学修状況等を総合的に評価して単位を認定する。検定試験は、前学期開講の場合は 2025 年 7 月 30 日まで、後学期開講の場合は 2026 年 1 月 27 日までにスコアが確認でき、学部のプレゼミナール担当教員に報告できるものに限る。

(*) 検定試験と単位取得の基礎となるスコア

ケンブリッジ英語検定：134 点以上

GTEC Academic：460 点以上

TEAP:199 点以上

TEAP CBT：360 点以上

実用英語技能検定(英検、S-CBT を含む) CSE スコア：1880 点以上

IELTS Academic：4.0 点以上

TOEFL IBT：45 点以上

TOEFL Essentials：4.0 点以上

TOEIC Listening& Reading, Speaking & Writing の合計値：900 点以上

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用単語ドリルに PC を使用する）

▌教科書

Michele Lewis, Richard O'Neill『Prism Reading Level 1』 Student's Book (Cambridge University Press)

アルク文教編集部『改訂第 2 版 キクタン【Entry】2000 語レベル』(アルク)

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 1 Places pp.14-17 Preparing to read 数字の読み取り、語彙の確認、文章の大意の把握、詳細の理解、必要な情報の検索、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：Listening & Reading (1)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 1 Places pp.18-19 Reading 1 Megacities 数字の読み取り、語彙の確認、文章の大意の把握、詳細の理解、必要な情報の検索、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：Listening & Reading (2)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 1 Places pp.18-21 Reading 1 Megacities 数字の読み取り、語彙の確認、文章の大意の把握、詳細の理解、必要な情報の検索、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：Listening & Reading (3)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 1 pp.28-29 Language Development 名詞、動詞、形容詞の用法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：Listening & Reading (4)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 2 Festivals and Celebations pp.32-37 Reading 1 Celebrate! 予測、語彙の確認、事前知識を活用する、メモを取る、詳細の理解、文章の形態を理解する、主題を見つける、推測するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6 回	**授業テーマ：Listening & Reading (5)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 2 Festivals and Celebations pp.36-39 Reading 1 Celebrate! 予測、語彙の確認、事前知識を活用する、メモを取る、詳細の理解、文章の形態を理解する、主題を見つける、推測するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

7回	**授業テーマ：Listening & Reading (6)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 2 pp.46-47 Language Development 時間と場所を示す前置詞、頻度を表す副詞。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 1-2。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Listening & Reading (7)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 3 The Internet and Technology pp.50-55 Reading 1 Tech Expert Today 主題を見つける、推測する、語彙の確認、コンテンツの予測、詳細の理解、事前知識を使う、メモを取る、文章の形態を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Listening & Reading (8)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 3 The Internet and Technology pp.54-57 Reading 1 Tech Expert Today 主題を見つける、推測する、語彙の確認、コンテンツの予測、詳細の理解、事前知識を使う、メモを取る、文章の形態を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Listening & Reading (9)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 3 pp.64-65 Language Development 複合名詞、意見を表明する方法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Listening & Reading (10)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 4 Weather and Climate pp.68-73 Reading 1 Extreme Weather 詳細を理解する、自分の知識を活用してコンテンツを予測する、語彙の確認、主題を見つける、文章の形態を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Listening & Reading (11)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 4 Weather and Climate pp.72-75 Reading 1 Extreme Weather 詳細を理解する、自分の知識を活用してコンテンツを予測する、語彙の確認、主題を見つける、文章の形態を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Listening & Reading (12)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 4 pp.82-83 Language Development 気温の表現、グラフの説明の方法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Listening & Reading (13)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 3-4 総復習 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

Academic English Ⅱ／総合英語Ⅱ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

傍島　由美子（そばじま　ゆみこ）・**野上　文子**（のがみ　あやこ）・**番場　直之**（ばんば　なおゆき）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された A2 レベル到達を目指す。総合英語では、Listening（聞く)と Reading（読む)を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させ、基礎段階の言語使用者としての英語運用能力を身につける。

個別目標：基本的な個人情報や家族情報・買い物・地元の地理・仕事など直接的関係がある領域に関しては、文や良く使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

下記の英語検定試験のスコア(*)取得状況と、授業参加状況・小テスト・中間テスト・キクタンドリルの学修状況等を総合的に評価して単位を認定する。検定試験は、前学期開講の場合は 2025 年 7 月 30 日まで、後学期開講の場合は 2026 年 1 月 27 日までにスコアが確認でき、学部のプレゼミナール担当教員に報告できるものに限る。

(*) 検定試験と単位取得の条件となるスコア

ケンブリッジ英語検定：134 点以上

GTEC Academic：460 点以上

TEAP:199 点以上

TEAP CBT：360 点以上

実用英語技能検定(英検、S-CBT を含む) CSE スコア：1880 点以上

IELTS Academic：4.0 点以上

TOEFL IBT：45 点以上

TOEFL Essentials：4.0 点以上

TOEIC Listening& Reading, Speaking & Writing の合計値：900 点以上

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用単語ドリルに PC を使用する）

▌教科書

Michele Lewis, Richard O'Neill『Prism Reading Level 1』 Student's Book (Cambridge University Press)

アルク文教編集部『改訂第 2 版 キクタン【Entry】2000 語レベル』(アルク)

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 5 Sports and Competition pp.86-89 Reading 1 Five Unusual Sports 要旨を予測する、語彙の確認、主題を理解する、詳細を理解する、文章の形態を理解する、視覚を使った理解促進、メモを取る、対話を理解する、意味の解釈などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：Listening & Reading (1)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 5 Sports and Competition pp.90-91 Reading 1 Five Unusual Sports 要旨を予測する、語彙の確認、主題を理解する、詳細を理解する、文章の形態を理解する、視覚を使った理解促進、メモを取る、対話を理解する、意味の解釈などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：Listening & Reading (2)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 5 Sports and Competition pp.90-93 Reading 1 Five Unusual Sports 要旨を予測する、語彙の確認、主題を理解する、詳細を理解する、文章の形態を理解する、視覚を使った理解促進、メモを取る、対話を理解する、意味の解釈などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：Listening & Reading (3)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 5 pp.100-101 Language Development 移動を表す前置詞。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：Listening & Reading (4)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 6 Business pp.104-109 Reading 1 Survey: Are you ready for the world of work? 前後関係から意味を推察する、注釈をつける、語彙の確認、主題を理解する、詳細を読み取る、意見を述べる、聞き手を特定する、推察するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

6回	**授業テーマ：Listening & Reading (5)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 6 Business pp.108-111 Reading 1 Survey: Are you ready for the world of work? 前後関係から意味を推察する、注釈をつける、語彙の確認、主題を理解する、詳細を読み取る、意見を述べる、聞き手を特定する、推察などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：Listening & Reading (6)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 6 pp.118-119 Language Development ビジネス用語。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 5-Unit 6。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Listening & Reading (7)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 7 People pp.122-127 Reading 1 Incredible People ベン図の使い方、語彙の確認、コンテンツの予測、主題の理解、詳細の理解、メモを取る、意味の解読、目的の特定、推察などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Listening & Reading (8)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 7 People pp.126-129 Reading 1 Incredible People ベン図の使い方、語彙の確認、コンテンツの予測、主題の理解、詳細の理解、メモを取る、意味の解読、目的の特定、推察などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Listening & Reading (9)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 7 pp.136-137 Language Development of を伴う名詞句、人を修飾する形容詞。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Listening & Reading (10)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 8 The Universe pp.140-145 Reading 1 The New Space Race 筆者の意図の理解、語彙の確認、事前知識の活用、主題の理解、詳細の理解、コンテンツの予測、注釈のつけ方、推測、事実と意見の区別などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Listening & Reading (11)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 8 The Universe pp.144-147 Reading 1 The New Space Race 筆者の意図の理解、語彙の確認、事前知識の活用、主題の理解、詳細の理解、コンテンツの予測、注釈のつけ方、推測、事実と意見の区別などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Listening & Reading (12)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 8 pp.154-155 Language Development 立証と論理の展開、目的を表す不定詞。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Listening & Reading (13)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 7-8 総復習 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

Academic English Ⅱ／総合英語Ⅱ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

傍島　由美子（そばじま　ゆみこ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された A2 レベル到達を目指す。総合英語では、Listening（聞く)と Reading（読む)を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させ、基礎段階の言語使用者としての英語運用能力を身につける。

個別目標：基本的な個人情報や家族情報・買い物・地元の地理・仕事など直接的関係がある領域に関しては、文や良く使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

下記の英語検定試験のスコア(*)取得状況と、授業参加状況・小テスト・中間テスト・キクタンドリルの学修状況等を総合的に評価して単位を認定する。検定試験は、前学期開講の場合は 2025 年 7 月 30 日まで、後学期開講の場合は 2026 年 1 月 27 日までにスコアが確認でき、学部のプレゼミナール担当教員に報告できるものに限る。

(*) 検定試験と単位取得の条件となるスコア

ケンブリッジ英語検定：134 点以上

GTEC Academic：460 点以上

TEAP:199 点以上

TEAP CBT：360 点以上

実用英語技能検定(英検、S-CBT を含む) CSE スコア：1880 点以上

IELTS Academic：4.0 点以上

TOEFL IBT：45 点以上

TOEFL Essentials：4.0 点以上

TOEIC Listening& Reading, Speaking & Writing の合計値：900 点以上

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用単語ドリルに PC を使用する）

▌教科書

Michele Lewis, Richard O'Neill『Prism Reading Level 1』 Student's Book (Cambridge University Press)

アルク文教編集部『改訂第 2 版 キクタン【Entry】2000 語レベル』(アルク)

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 5 Sports and Competition pp.86-89 Reading 1 Five Unusual Sports 要旨を予測する、語彙の確認、主題を理解する、詳細を理解する、文章の形態を理解する、視覚を使った理解促進、メモを取る、対話を理解する、意味の解釈などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：Listening & Reading (1)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 5 Sports and Competition pp.90-91 Reading 1 Five Unusual Sports 要旨を予測する、語彙の確認、主題を理解する、詳細を理解する、文章の形態を理解する、視覚を使った理解促進、メモを取る、対話を理解する、意味の解釈などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：Listening & Reading (2)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 5 Sports and Competition pp.90-93 Reading 1 Five Unusual Sports 要旨を予測する、語彙の確認、主題を理解する、詳細を理解する、文章の形態を理解する、視覚を使った理解促進、メモを取る、対話を理解する、意味の解釈などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：Listening & Reading (3)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 5 pp.100-101 Language Development 移動を表す前置詞。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：Listening & Reading (4)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 6 Business pp.104-109 Reading 1 Survey: Are you ready for the world of work? 前後関係から意味を推察する、注釈をつける、語彙の確認、主題を理解する、詳細を読み取る、意見を述べる、聞き手を特定する、推察するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

6回	**授業テーマ：Listening & Reading (5)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 6 Business pp.108-111 Reading 1 Survey: Are you ready for the world of work? 前後関係から意味を推察する、注釈をつける、語彙の確認、主題を理解する、詳細を読み取る、意見を述べる、聞き手を特定する、推察などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：Listening & Reading (6)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 6 pp.118-119 Language Development ビジネス用語。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 5-Unit 6。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Listening & Reading (7)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 7 People pp.122-127 Reading 1 Incredible People ベン図の使い方、語彙の確認、コンテンツの予測、主題の理解、詳細の理解、メモを取る、意味の解読、目的の特定、推察などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Listening & Reading (8)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 7 People pp.126-129 Reading 1 Incredible People ベン図の使い方、語彙の確認、コンテンツの予測、主題の理解、詳細の理解、メモを取る、意味の解読、目的の特定、推察などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Listening & Reading (9)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 7 pp.136-137 Language Development of を伴う名詞句、人を修飾する形容詞。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Listening & Reading (10)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 8 The Universe pp.140-145 Reading 1 The New Space Race 筆者の意図の理解、語彙の確認、事前知識の活用、主題の理解、詳細の理解、コンテンツの予測、注釈のつけ方、推測、事実と意見の区別などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Listening & Reading (11)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 8 The Universe pp.144-147 Reading 1 The New Space Race 筆者の意図の理解、語彙の確認、事前知識の活用、主題の理解、詳細の理解、コンテンツの予測、注釈のつけ方、推測、事実と意見の区別などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Listening & Reading (12)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 8 pp.154-155 Language Development 立証と論理の展開、目的を表す不定詞。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Listening & Reading (13)** 授業内容：Prism Reading Level 1 Unit 7-8 総復習 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

Academic English Ⅲ／総合英語Ⅲ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

野上　文子（のがみ　あやこ）**・番場　直之**（ばんば　なおゆき）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された B1 レベル到達を目指す。総合英語では、Listening（聞く)と Reading（読む)を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させ、自立した言語使用者としての英語運用能力を身につける。

個別目標：仕事・学校・娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要な点が理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について筋の通った簡単な文章を作ることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

下記の英語検定試験のスコア(*)取得状況と、授業参加状況・小テスト・中間テスト・期末試験・キクタンドリルの学修状況等を総合的に評価して単位を認定する。検定試験は、前学期開講の場合は 2025 年 7 月 30 日まで、後学期開講の場合は 2026 年 1 月 27 日までにスコアが確認でき、学部のプレゼミナール担当教員に報告できるものに限る。

(*) 検定試験と単位取得の基礎となるスコア

ケンブリッジ英語検定：142 点以上

GTEC Academic：510 点以上

TEAP:235 点以上

TEAP CBT：435 点以上

実用英語技能検定(英検、S-CBT を含む) CSE スコア：1996 点以上

IELTS Academic：4.0 点以上

TOEFL IBT：45 点以上

TOEFL Essentials：5.0 点以上

TOEIC Listening& Reading, Speaking & Writing の合計値：1200 点以上

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用単語ドリルに PC を使用する）

▌教科書

Lida Baker, Carolyn Westbrook『Prism Reading Level 2』Student's Book（Cambridge University Press）

アルク文教編集部『改訂第 2 版キクタン【Basic】4000 語レベル』(アルク）

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 1 Animals pp.14-17 Reading 1 Endangered Species 主題を理解する、ベン図の使い方、語彙の確認、事前知識の活用、詳細を理解する、解釈する、視覚を使ってコンテンツを予測する、メモを取る、要約、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：Listening & Reading (1)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 1 Animals pp.18-19 Reading 1 Endangered Species 主題を理解する、ベン図の使い方、語彙の確認、事前知識の活用、詳細を理解する、解釈する、視覚を使ってコンテンツを予測する、メモを取る、要約、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：Listening & Reading (2)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 1 Animals pp.18-21 Reading 1 Endangered Species 主題を理解する、ベン図の使い方、語彙の確認、事前知識の活用、詳細を理解する、解釈する、視覚を使ってコンテンツを予測する、メモを取る、要約、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：Listening & Reading (3)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 1 pp.28-29 Language Development 動詞、形容詞の比較級 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：Listening & Reading (4)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 2 The Environment pp.32-37　Reading 1 Our Chaniging Planet 詳細の理解、因果関係についてメモを取る、語彙の理解、視覚を使ってコンテンツを予測する、主題を理解する、目的の特定、要約、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

6回	**授業テーマ：Listening & Reading (5)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 2 The Environment pp.36-39　Reading 1 Our Chaniging Planet 詳細の理解、因果関係についてメモを取る、語彙の理解、視覚を使ってコンテンツを予測する、主題を理解する、目的の特定、要約、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：Listening & Reading (6)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 2 pp.46-47 Language Development 語彙、環境用語 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 1-2。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Listening & Reading (7)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 3 Transportation pp.50-55 Reading 1. Masdar: the Future of Cities 視覚を使った予測、語彙の確認、主題を理解する、詳細を理解する、推測、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Listening & Reading (8)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 3 Transportation pp.54-57 Reading 1. Masdar: the Future of Cities 視覚を使った予測、語彙の確認、主題を理解する、詳細を理解する、推測、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Listening & Reading (9)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 3 pp.64-65 Language Development 交通関連用語、動詞の同義語 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Listening & Reading (10)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 4 Customs and Traditions pp.68-73 Reading 1 Customs around the World 注釈のつけ方、語彙の確認、事前知識の活用、メモを取る、主題を理解する、推測、詳細を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Listening & Reading (11)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 4 Customs and Traditions pp.72-75 Reading 1 Customs around the World 注釈のつけ方、語彙の確認、事前知識の活用、メモを取る、主題を理解する、推測、詳細を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Listening & Reading (12)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 4 pp.82-83 Language Development 一般化の回避、頻度を表す副詞の使い方、繰り返しを回避するための同意語 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Listening & Reading (13)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 3-4 総復習 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

Academic English Ⅲ／総合英語Ⅲ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

野上　文子（のがみ　あやこ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された B1 レベル到達を目指す。総合英語では、Listening（聞く)と Reading（読む)を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させ、自立した言語使用者としての英語運用能力を身につける。

個別目標：仕事・学校・娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要な点が理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について筋の通った簡単な文章を作ることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

下記の英語検定試験のスコア(*)取得状況と、授業参加状況・小テスト・中間テスト・期末試験・キクタンドリルの学修状況等を総合的に評価して単位を認定する。検定試験は、前学期開講の場合は 2025 年 7 月 30 日まで、後学期開講の場合は 2026 年 1 月 27 日までにスコアが確認でき、学部のプレゼミナール担当教員に報告できるものに限る。

(*) 検定試験と単位取得の基礎となるスコア

ケンブリッジ英語検定：142 点以上

GTEC Academic：510 点以上

TEAP:235 点以上

TEAP CBT：435 点以上

実用英語技能検定(英検、S-CBT を含む）CSE スコア：1996 点以上

IELTS Academic：4.0 点以上

TOEFL IBT：45 点以上

TOEFL Essentials：5.0 点以上

TOEIC Listening& Reading, Speaking & Writing の合計値：1200 点以上

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用単語ドリルに PC を使用する）

▌教科書

Lida Baker, Carolyn Westbrook『Prism Reading Level 2』Student's Book（Cambridge University Press）

アルク文教編集部『改訂第 2 版キクタン【Basic】4000 語レベル』(アルク）

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 1 Animals pp.14-17 Reading 1 Endangered Species 主題を理解する、ベン図の使い方、語彙の確認、事前知識の活用、詳細を理解する、解釈する、視覚を使ってコンテンツを予測する、メモを取る、要約、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Listening & Reading (1)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 1 Animals pp.18-19 Reading 1 Endangered Species 主題を理解する、ベン図の使い方、語彙の確認、事前知識の活用、詳細を理解する、解釈する、視覚を使ってコンテンツを予測する、メモを取る、要約、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Listening & Reading (2)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 1 Animals pp.18-21 Reading 1 Endangered Species 主題を理解する、ベン図の使い方、語彙の確認、事前知識の活用、詳細を理解する、解釈する、視覚を使ってコンテンツを予測する、メモを取る、要約、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Listening & Reading (3)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 1 pp.28-29 Language Development 動詞、形容詞の比較級 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Listening & Reading (4)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 2 The Environment pp.32-37　Reading 1 Our Chaniging Planet 詳細の理解、因果関係についてメモを取る、語彙の理解、視覚を使ってコンテンツを予測する、主題を理解する、目的の特定、要約、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

6回	**授業テーマ：Listening & Reading (5)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 2 The Environment pp.36-39　Reading 1 Our Chaniging Planet 詳細の理解、因果関係についてメモを取る、語彙の理解、視覚を使ってコンテンツを予測する、主題を理解する、目的の特定、要約、推測などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：Listening & Reading (6)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 2 pp.46-47 Language Development 語彙、環境用語 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 1-2。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Listening & Reading (7)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 3 Transportation pp.50-55 Reading 1. Masdar: the Future of Cities 視覚を使った予測、語彙の確認、主題を理解する、詳細を理解する、推測、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Listening & Reading (8)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 3 Transportation pp.54-57 Reading 1. Masdar: the Future of Cities 視覚を使った予測、語彙の確認、主題を理解する、詳細を理解する、推測、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Listening & Reading (9)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 3 pp.64-65 Language Development 交通関連用語、動詞の同義語 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Listening & Reading (10)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 4 Customs and Traditions pp.68-73 Reading 1 Customs around the World 注釈のつけ方、語彙の確認、事前知識の活用、メモを取る、主題を理解する、推測、詳細を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Listening & Reading (11)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 4 Customs and Traditions pp.72-75 Reading 1 Customs around the World 注釈のつけ方、語彙の確認、事前知識の活用、メモを取る、主題を理解する、推測、詳細を理解するなどの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Listening & Reading (12)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 4 pp.82-83 Language Development 一般化の回避、頻度を表す副詞の使い方、繰り返しを回避するための同意語 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Listening & Reading (13)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 3-4 総復習 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

Academic English Ⅳ／総合英語Ⅳ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

菅原　千津（すがわら　ちづ）**・野上　文子**（のがみ　あやこ）**・番場　直之**（ばんば　なおゆき）**・森川　慶子**（もりかわ　けいこ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された B1 レベル到達を目指す。総合英語では、Listening（聞く)と Reading（読む)を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させ、自立した言語使用者としての英語運用能力を身につける。

個別目標：仕事・学校・娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点が理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について筋の通った簡単な文章を作ることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

【観光専攻】

下記の英語検定試験のスコア(*)取得状況と、授業参加状況・小テスト・中間テスト・キクタンドリルの学修状況等を総合的に評価して単位を認定する。検定試験は、前学期開講の場合は 2025 年 7 月 30 日まで、後学期開講の場合は 2026 年 1 月 27 日までにスコアが確認でき、学部のプレゼミナール担当教員に報告できるものに限る。

(*) 検定試験と単位取得に必要となるスコア

ケンブリッジ英語検定：142 点以上

GTEC Academic：510 点以上

TEAP:235 点以上

TEAP CBT：435 点以上

実用英語技能検定(英検、S-CBT を含む) CSE スコア：1996 点以上

IELTS Academic：4.0 点以上

TOEFL IBT：45 点以上

TOEFL Essentials：5.0 点以上

TOEIC Listening& Reading, Speaking & Writing の合計値：1200 点以上

【経営情報専攻】

上記の英語検定試験のスコア取得状況あるいは学内で実施する期末テストと、授業参加状況・小テスト・中間テスト・キクタンドリルの学修状況等を総合的に評価して単位を認定する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用単語ドリルに PC を使用する）

▌教科書

Lida Baker, Carolyn Westbrook『Prism Reading Level 2 』Student's Book (Cambridge University Press)

アルク文教編集部 『改訂第 2 版キクタン【Basic】4000 語レベル』(アルク)

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 5 Health and Fitness pp.86-89 Reading 1 推測する、語彙の確認、視覚を使ってコンテンツを予測する、飛ばし読み、主題を理解する、事前知識の使い方、コンテンツの予測、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：Listening & Reading (1)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 5 Health and Fitness pp.90-91 Reading 1 推測する、語彙の確認、視覚を使ってコンテンツを予測する、飛ばし読み、主題を理解する、事前知識の使い方、コンテンツの予測、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：Listening & Reading (2)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 5 Health and Fitness pp.90-93 Reading 1 推測する、語彙の確認、視覚を使ってコンテンツを予測する、飛ばし読み、主題を理解する、事前知識の使い方、コンテンツの予測、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：Listening & Reading (3)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 5 pp.100-101 Language Development 動詞と名詞の形、健康関連用語。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：Listening & Reading (4)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 6 Discovery and Invention pp.104-109 Reading 1 The Magic of Mimicry 情報検索、表の活用、語彙の確認、主題の理解、注釈のつけ方、推測、事前知識の活用、詳細の理解。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

6回	**授業テーマ：Listening & Reading (5)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 6 Discovery and Invention pp.108-111 Reading 1 The Magic of Mimicry 情報検索、表の活用、語彙の確認、主題の理解、注釈のつけ方、推測、事前知識の活用、詳細の理解。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：Listening & Reading (6)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 6 pp.118-119 Language Development 助動詞を使用して予測を表現する、確率を表す副詞、接頭語。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 5-6。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Listening & Reading (7)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 7 Fashion pp.122-127 Reading 1 Is fast fashion taking over? 事実と意見の区別、語彙の確認、事前知識の活用、主題を理解する、詳細を理解する、推測、飛ばし読み、情報の検索、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Listening & Reading (8)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 7 Fashion pp.126-129 Reading 1 Is fast fashion taking over? 事実と意見の区別、語彙の確認、事前知識の活用、主題を理解する、詳細を理解する、推測、飛ばし読み、情報の検索、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Listening & Reading (9)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 7 pp.136-137 Language Development ファッション業界の用語。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Listening & Reading (10)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 8 Economics pp.140-145 Reading 1 Investing: Two Alternatives to Consider 飛ばし読み、線グラフの読み取り方、語彙の確認、主題の理解、詳細の理解、推測、情報の検索、注釈のつけ方、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Listening & Reading (11)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 8 Economics pp.144-147 Reading 1 Investing: Two Alternatives to Consider 飛ばし読み、線グラフの読み取り方、語彙の確認、主題の理解、詳細の理解、推測、情報の検索、注釈のつけ方、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Listening & Reading (12)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 8 pp.154-155 Language Development 経済関連の名詞・形容詞、景気動向に関連する名詞。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Listening & Reading (13)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 7-8 総復習 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

Academic English Ⅳ／総合英語Ⅳ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

野上　文子（のがみ　あやこ）

▌授業の概要

英語 4 技能（読む・聞く・話す・書く）のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠）で定義された B1 レベル到達を目指す。総合英語では、Listening（聞く）と Reading（読む）を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させ、自立した言語使用者としての英語運用能力を身につける。

個別目標：仕事・学校・娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点が理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について筋の通った簡単な文章を作ることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

【観光専攻】

下記の英語検定試験のスコア（*）取得状況と、授業参加状況・小テスト・中間テスト・キクタンドリルの学修状況等を総合的に評価して単位を認定する。検定試験は、前学期開講の場合は 2025 年 7 月 30 日まで、後学期開講の場合は 2026 年 1 月 27 日までにスコアが確認でき、学部のプレゼミナール担当教員に報告できるものに限る。

(*) 検定試験と単位取得に必要となるスコア

ケンブリッジ英語検定：142 点以上

GTEC Academic：510 点以上

TEAP:235 点以上

TEAP CBT：435 点以上

実用英語技能検定（英検、S-CBT を含む）CSE スコア：1996 点以上

IELTS Academic：4.0 点以上

TOEFL IBT：45 点以上

TOEFL Essentials：5.0 点以上

TOEIC Listening& Reading, Speaking & Writing の合計値：1200 点以上

【経営情報専攻】

上記の英語検定試験のスコア取得状況あるいは学内で実施する期末テストと、授業参加状況・小テスト・中間テスト・キクタンドリルの学修状況等を総合的に評価して単位を認定する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用単語ドリルに PC を使用する）

▌教科書

Lida Baker, Carolyn Westbrook『Prism Reading Level 2 』Student's Book (Cambridge University Press)

アルク文教編集部 『改訂第 2 版キクタン【Basic】4000 語レベル』（アルク）

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 5 Health and Fitness pp.86-89 Reading 1 推測する、語彙の確認、視覚を使ってコンテンツを予測する、飛ばし読み、主題を理解する、事前知識の使い方、コンテンツの予測、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：Listening & Reading (1)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 5 Health and Fitness pp.90-91 Reading 1 推測する、語彙の確認、視覚を使ってコンテンツを予測する、飛ばし読み、主題を理解する、事前知識の使い方、コンテンツの予測、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：Listening & Reading (2)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 5 Health and Fitness pp.90-93 Reading 1 推測する、語彙の確認、視覚を使ってコンテンツを予測する、飛ばし読み、主題を理解する、事前知識の使い方、コンテンツの予測、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：Listening & Reading (3)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 5 pp.100-101 Language Development 動詞と名詞の形、健康関連用語。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：Listening & Reading (4)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 6 Discovery and Invention pp.104-109 Reading 1 The Magic of Mimicry 情報検索、表の活用、語彙の確認、主題の理解、注釈のつけ方、推測、事前知識の活用、詳細の理解。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

6回	**授業テーマ：Listening & Reading (5)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 6 Discovery and Invention pp.108-111 Reading 1 The Magic of Mimicry 情報検索、表の活用、語彙の確認、主題の理解、注釈のつけ方、推測、事前知識の活用、詳細の理解。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：Listening & Reading (6)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 6 pp.118-119 Language Development 助動詞を使用して予測を表現する、確率を表す副詞、接頭語。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 5-6。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Listening & Reading (7)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 7 Fashion pp.122-127 Reading 1 Is fast fashion taking over? 事実と意見の区別、語彙の確認、事前知識の活用、主題を理解する、詳細を理解する、推測、飛ばし読み、情報の検索、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Listening & Reading (8)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 7 Fashion pp.126-129 Reading 1 Is fast fashion taking over? 事実と意見の区別、語彙の確認、事前知識の活用、主題を理解する、詳細を理解する、推測、飛ばし読み、情報の検索、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Listening & Reading (9)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 7 pp.136-137 Language Development ファッション業界の用語。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Listening & Reading (10)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 8 Economics pp.140-145 Reading 1 Investing: Two Alternatives to Consider 飛ばし読み、線グラフの読み取り方、語彙の確認、主題の理解、詳細の理解、推測、情報の検索、注釈のつけ方、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Listening & Reading (11)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 8 Economics pp.144-147 Reading 1 Investing: Two Alternatives to Consider 飛ばし読み、線グラフの読み取り方、語彙の確認、主題の理解、詳細の理解、推測、情報の検索、注釈のつけ方、メモを取る、などの読み取り技法。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Listening & Reading (12)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 8 pp.154-155 Language Development 経済関連の名詞・形容詞、景気動向に関連する名詞。 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Listening & Reading (13)** 授業内容：Prism Reading Level 2 Unit 7-8 総復習 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Grammar Ⅰ-a

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

西村　美樹（にしむら　みき）・**濵﨑　潤之輔**（はまさき　じゅんのすけ）・**番場　直之**（ばんば　なおゆき）・**溝口　優美子**（みぞぐち　ゆみこ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された A2 レベル到達を目指す。GrammarI-a では、英文法の基礎学習に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させる上で必要な英文法の基礎を定着させる。

個別目標：英文法の基礎学習を生かして、基本的な個人情報や家族情報・買い物・地元の地理・仕事など直接的関係がある領域に関しては、文や良く使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

定期試験(中間・期末) 60%、授業参加状況・小テスト等 40%にて評価する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用ドリルに PC を使用する）

▌教科書

・佐藤誠司・長田哲文『ATLAS English Grammar and Expressions』(桐原書店)
・『アトラス総合英語 English Grammar Explorer Workbook』(桐原書店)
・アルク文教編集部『改訂第 2 版 キクタン【Entry】2000 語レベル』(アルク)

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 0-1 pp.16-30 品詞分類、英語の語順ルール(主語と述語動詞) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：Grammar (1)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 2 pp.32-36 文の種類(文の基本的な 3 つの形、否定文、疑問文、命令文・感嘆文) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：Grammar (2)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 3 pp.38-76 時制(現在形・現在進行形、過去形・過去進行形、未来を表す形、現在完了形・現在完了進行形、過去完了形・過去完了進行形、未来完了形) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：Grammar (3)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 4 pp.78-106 助動詞(能力・可能・許可、必要・義務・当然・忠告、依頼・提案・勧誘、可能性・推量、助動詞+have+過去分詞、その他の注意すべき助動詞、助動詞を含む慣用表現) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：Grammar (4)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 5 pp.108-126 態(受動態の基本的な用法、受動態の述語動詞の形、文構造と受動態、注意すべき受動態) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6 回	**授業テーマ：Grammar (5)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 6 pp.128-166 不定詞(名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法、不定詞の意味上の主語、S+V+O+to do、不定詞と否定語、自動詞+不定詞・完了形の不定詞など、進行形と受動態の不定詞、原型不定詞、不定詞を含む重要表現) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7 回	**授業テーマ：Grammar (6)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 7 pp.168-182 動名詞(動名詞のはたらき、＜ V+動名詞＞と＜ V+不定詞＞、動名詞の意味上の主語、動名詞の様々な形、動名詞を含む慣用表現) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8 回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 0-7 ＋『キクタン 2000』Week 1-7。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9 回	**授業テーマ：Grammar (7)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 8 pp.184-210 分詞(名詞を修飾する分詞、補語のはたらきをする分詞、分詞構文、現在分詞を使った様々な表現) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

10回	**授業テーマ：Grammar (8)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 9 pp.212-244 関係詞（関係代名詞、関係副詞、関係詞の継続用法、関係代名詞の What、特殊な関係詞、複合関係詞） 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Grammar (9)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 10 pp.246-280 比較（原級を使った比較、比較級を使った比較、最上級を使った比較、不規則な形の比較級と最上級、比較級と最上級の強調、比較級の注意すべき用法、比較の慣用表現、最上級の意味を表す原級・比較級） 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Grammar (10)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 12 pp.306-332 動詞と文型（第 1 文型で使う動詞、第 2 文型で使う動詞、第 3 文型で使う動詞、第 4 文型で使う動詞、第 5 文型で使う動詞、動詞に続く要素、形がまぎらわしい動詞） 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Grammar (11)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 13 pp.334-352 名詞（名詞の種類と基本的な用法、名詞の単複、名詞に関するその他の注意） 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Grammar (12)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 14 pp.354-384 代名詞（人称代名詞、it の用法、指示代名詞、不定代名詞） 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Grammar (13)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 15 pp.386-402 冠詞（不定冠詞、定冠詞、無冠詞、冠詞の位置） 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Grammar Ⅰ-b

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

野上　文子（のがみ　あやこ）・**濵﨑　潤之輔**（はまさき　じゅんのすけ）・**溝口　優美子**（みぞぐち　ゆみこ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された A2 レベル到達を目指す。GrammarI-b では、英文法の基礎学習に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させる上で必要な英文法の基礎を定着させる。

個別目標：英文法の基礎学習を生かして、基本的な個人情報や家族情報・買い物・地元の地理・仕事など直接的関係がある領域に関しては、文や良く使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

定期試験(中間・期末) 60%、授業参加状況・小テスト等 20 %、夏季休暇中の課題 20%にて評価する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用単語ドリルに PC を使用する）

▌教科書

・佐藤誠司・長田哲文『ATLAS English Grammar and Expressions』(桐原書店)
・『アトラス総合英語 English Grammar Explorer Workbook』(桐原書店)
・アルク文教編集部『改訂第 2 版 キクタン【Entry】2000 語レベル』(アルク)

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 16 pp.404-417 形容詞(前半)(限定用法、叙述用法、形容詞のはたらきを持つ分詞、形容詞+that 節、使い方に注意すべき形容詞) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：Grammar (1)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 16 pp.418-430 形容詞(後半)(形・意味に注意すべき形容詞、数量を表す形容詞、数詞・数量の表し方) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：Grammar (2)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 17 pp.432-456 副詞(副詞の主な意味と位置、副詞のはたらき、注意すべき副詞、副詞と前置詞など、副詞の注意すべき用法) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：Grammar (3)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 18 pp.458-472 接続詞(前半)(等位接続詞、名詞句を作る従属接続詞、副詞節を作る従属接続詞) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：Grammar (4)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 18 pp.472-484 接続詞(後半)(副詞節を作る従属接続詞、相関接続詞) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6 回	**授業テーマ：Grammar (5)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 19 pp.486-499 前置詞(前半)(前置詞のはたらき、基本的な前置詞の意味と用法) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7 回	**授業テーマ：Grammar (6)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 19 pp.500-516 前置詞(後半)(主な前置詞の意味と用法、群前置詞) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8 回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 16-19。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9 回	**授業テーマ：Grammar (7)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 11 pp.282-304 仮定法(if を使う仮定法、仮定法を含む慣用表現、if を使わずに「もしも」の意味を表す仮定法、仮定法を使ったていねいな表現) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

10回	**授業テーマ：Grammar (8)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 20 pp.518-540 疑問詞と疑問文(疑問代名詞・疑問形容詞の基本的な用法、疑問副詞の基本的な用法、様々な疑問文、間接疑問、疑問詞の注意すべき用法、疑問詞を含む慣用表現) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Grammar (9)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 21 pp.542-556 否定(否定語による否定、特殊な否定) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Grammar (10)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 22 pp.558-566 強調と倒置(強調、倒置) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Grammar (11)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 23 pp.568-584 特殊構文(挿入・省略、同格、名詞構文・無生物主語構文) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Grammar (12)** 授業内容：ATLAS English Grammar and Expressions Unit 24 pp.586-594 文の転換(句と節の転換、話法の転換) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Grammar (13)** 授業内容：総復習と演習 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Grammar Ⅱ-a

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

濵﨑　潤之輔（はまさき　じゅんのすけ）・**溝口　優美子**（みぞぐち　ゆみこ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された B1 レベル到達を目指す。Grammar II-a では、英文法の基礎固めと応用演習を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を更に向上させる上で必要な英文法の応用力を身に付ける。

個別目標：英文法の応用力を生かして、仕事・学校・娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要な点が理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について筋の通った簡単な文章を作ることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

定期試験(中間・期末) 60%、授業参加状況・小テスト等 40%にて評価する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用ドリルに PC を使用する）

▌教科書

Raymond Murphy『マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) 第 4 版』(Cambridge University Press)
アルク文教編集部『改訂第 2 版 キクタン【Basic】4000 語レベル』(アルク)

▌参考書

佐藤誠司・長田哲文『ATLAS English Grammar and Expressions』(桐原書店)
その他、授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 1-4 現在進行形、単純現在形、現在進行形と単純現在形 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Grammar (1)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 5-8 単純過去、過去進行形、現在完了形、現在完了形と過去 (1) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Grammar (2)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 9, Unit 11-13 現在完了進行形、How long have you (been)...?、for と since・When...?と How long...?、現在完了形と過去形 (2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Grammar (3)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 14-17 過去完了形、過去完了進行形、have と have got、used to+動詞の原形 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Grammar (4)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 18-21 未来の意味を表す現在時制、I'm going to (do)、will 1～2 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Grammar (5)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 22-24 I will と I'm going to、will be doing と will have done、when I do/when I've done、if と when（従属節内の時制） 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：Grammar (6)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 25-28 can, could と (be) able to、could と could have、must と can't、may と might(1) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 1～28 の授業内学習範囲 ＋『キクタン 4000』Week 1-5。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Grammar (7)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 30-33 have to と must、should、仮定法 (I suggest you do)、I'd better...、It's time... 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

10回	**授業テーマ：Grammar (8)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 35-37, Unit 39 Can/Could/Would you...?(要求・申し出・許可・勧誘)、if I do... と if I did...、if I knew...、I wish I knew...、wish の用法 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Grammar (9)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 40, Unit 42-44 受動態 1・3、It is said that...、He is said to...、He is supposed to...、have/get〜done 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Grammar (10)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 45-48 間接話法 1〜2、疑問文 1〜2 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Grammar (11)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 49-52 助動詞、付加疑問、動詞+ing、動詞+to 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Grammar (12)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 53-56 動詞(+目的語)+to ...、動詞 + -ing と動詞+to+動詞の原形 1〜3 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Grammar (13)** 授業内容：前学期の総復習と演習 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Grammar Ⅱ-b

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

菅原　千津（すがわら　ちづ）・**西村　美樹**（にしむら　みき）・**濵﨑　潤之輔**（はまさき　じゅんのすけ）・**溝口　優美子**（みぞぐち　ゆみこ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された B1 レベル到達を目指す。Grammar II-b では、英文法の基礎固めと応用演習を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を更に向上させる上で必要な英文法の応用力を身に付ける。

個別目標：英文法の応用力を生かして、仕事・学校・娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要な点が理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について筋の通った簡単な文章を作ることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

定期試験(中間・期末) 60%、授業参加状況・小テスト等 20 %、夏季休暇中の課題 20%にて評価する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （復習用ドリルに PC を使用する）

▌教科書

Raymond Murphy『マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) 第 4 版』(Cambridge University Press)
アルク文教編集部『改訂第 2 版 キクタン【Basic】4000 語レベル』(アルク)

▌参考書

佐藤誠司・長田哲文『ATLAS English Grammar and Expressions』(桐原書店)
その他、授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 57-59 prefer と would rather、前置詞+-ing、be/get used to do ... 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Grammar (1)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 60-62 動詞+前置詞＋-ing、There is no point in -ing、It's worth -ing、to+動詞の原形(目的を表す表現) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Grammar (2)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 63-66 形容詞+to+動詞の原形、to+動詞の原形と前置詞+-ing、see 〜 do と see 〜 doing、-ing 句 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Grammar (3)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 67-70 可算名詞と不可算名詞 1〜2、可算名詞の前に置く a/an や some、a/an と the 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Grammar (4)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 71-74 the の用法 1〜4 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Grammar (5)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 77-79, Unit 81 単数か複数か注意すべき名詞、名詞+名詞で作られる名詞、-'s と of...、a friend of mine, my own house, on my own/by myself 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：Grammar (6)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 82-85 there ... と it、some と any、no/none/any、nothing/nobody、much, many, little, few, a lot, plenty 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。範囲は Unit 57-85 の授業内学習範囲。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Grammar (7)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 86-89 all/all of, most/most of, no/none of, both/both of, neither/neither of, either/either of, all, every, whole 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

10回	**授業テーマ：Grammar (8)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 90-93 関係詞節 1〜4 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Grammar (9)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 95-98 -ing 句と-ed 句、-ing や-ed の語尾を持つ形容詞、形容詞の語順、形容詞と副詞 1 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Grammar (10)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 101-102, Unit 104-105 enough と too、比較 1・3、最上級 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Grammar (11)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 106-107, Unit 110-111 語順 1〜2、although/though/even though/in spite of/despte、in case 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Grammar (12)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 112-113, Unit 116-117 unless/as long as/provided、as の用法、during/for/while、by と until、by the time... 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Grammar (13)** 授業内容：マーフィーのケンブリッジ英文法 (中級編) Unit 118, Unit 120-122 時を表す前置詞（at/on/in）、場所を表す前置詞（in/at/on）1〜3 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Writing Ⅰ-a

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

西村　美樹 (にしむら　みき)

▌授業の概要
英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された A2 レベル到達を目指す。Writing I-a では、記述表現を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、HTM2）
一般目標：英語 4 技能の実力を向上させる上で必要な英文 Writing の基礎力を身に付ける。
個別目標：英文 Writing の基礎学習を生かして、基本的な個人情報や家族情報・買い物・地元の地理・仕事など直接的関係がある領域に関しては、文や良く使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることが出来る。

▌履修条件
学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法
授業参加状況・小テスト・期末試験等を総合的に評価して、S/A/B/C/D の評価を行う。

▌フィードバック方法
manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
なし

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （学生の英作文の提出・教員の添削を manaba で行うことがある。）

▌教科書
松香洋子, Suzy Nachtsheim『TAGAKI Advanced 1 Three Reasons』(mpi 松香フォニックス)

▌参考書
授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 1 ”Apartments or Houses” 1) Think of three good points about houses. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Writing (1)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 2 ”Cash or Cashless” 1) Think of three good points about going cashless. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Writing (2)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 3 ”Cold Countries or Hot Countries” 1) Think of three good points about hot countries. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Writing (3)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 4 ”Country Life or City Life” 1) Think of three good points about city life. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Writing (4)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 5 ”Cycling or Running” 1) Think of three good points about running. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Writing (5)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 6 ”Digital Books or Paper Books” 1) Think of three good points about paper books. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：Writing (6)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 7 ”Entrepreneurs or Artists” 1) Think of three good points about artists. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。第 1 回～第 7 回の授業で学修した範囲。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習

9回	**授業テーマ：Writing (7)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 8 ”Family Trips or School Trips” 1) Think of three good points about school trips. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Writing (8)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 9 ”Fingers or Chopsticks” 1) Think of three good points about chopsticks. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Writing (9)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 10 ”Free Clothes or School Uniforms” 1) Think of three good points about school uniforms. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Writing (10)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 11 ”Home-cooked Food or Fast Food” 1) Think of three good points about fast food. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Writing (11)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 12 ”Individual Sports or Team Sports” 1) Think of three good points about team sports. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Writing (12)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 13 ”Living Pets or Robot Pets” 1) Think of three good points about robot pets. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Writing (13)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 14 ”Making Phone Calls or Texting”, Unit 15 ”Night People or Morning People 1) Think of three good points about texting (Unit 14)/morning people (Unit 15). 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Writing Ⅰ-b

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

西村　美樹（にしむら　みき）

▌授業の概要
英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された A2 レベル到達を目指す。Writing I-b では、記述表現を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、HTM2）
一般目標：英語 4 技能の実力を向上させる上で必要な英文 Writing の基礎力を身に付ける。
個別目標：英文 Writing の基礎学習を生かして、基本的な個人情報や家族情報・買い物・地元の地理・仕事など直接的関係がある領域に関しては、文や良く使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることが出来る。

▌履修条件
学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法
授業参加状況・小テスト・期末試験等を総合的に評価して、S/A/B/C/D の評価を行う。

▌フィードバック方法
manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
なし

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （学生の英作文の提出・教員の添削を manaba で行うことがある。）

▌教科書
松香洋子, Suzy Nachtsheim『TAGAKI Advanced 1 Three Reasons』(mpi 松香フォニックス)

▌参考書
授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 16 ”Online Schools or Regular Schools” 1) Think of three good points about regular schools. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Writing (1)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 17 ”Physical Sports or Esports” 1) Think of three good points about esports. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Writing (2)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 18 ”Real Views or Pictures” 1) Think of three good points about pictures. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Writing (3)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 19 ”Shopping at Stores or Online” 1) Think of three good points about online. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Writing (4)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 20 ”Short Hair or Long Hair” 1) Think of three good points about long hair. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Writing (5)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 21 ”Showers or Baths” 1) Think of three good points about baths. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：Writing (6)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 22 ”Single-sex Schools or Co-ed Schools” 1) Think of three good points about co-ed schools. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。第 1 回～第 7 回の授業で学修した部分が範囲。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストテストの予習 事後学修 2.5hr：テストテストの復習

9回	**授業テーマ：Writing (7)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 23 ”Smart Friends or Good-looking Friends” 1) Think of three good points about good-looking friends. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Writing (8)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 24 ”Space Travel or Deep-Sea Travel” 1) Think of three good points about deep-sea travel . 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Writing (9)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 25 ”Spending Money or Saving Money” 1) Think of three good points about saving money. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Writing (10)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 26 ”Staying at a Hotel or Camping” 1) Think of three good points about camping. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Writing (11)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 27 ”Sunsets or Sunrises” 1) Think of three good points about sunrises. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Writing (12)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 28 ”Traveling Abroad or in my Country” 1) Think of three good points about traveling in my country. 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Writing (13)** 授業内容：TAGAKI Advanced 1 Three Reasons Unit 29 ”Volunteer Work or Part-time Work”/Unit 30 ”Watching Movies at a Theater or at Home” 1) Think of three good points about part-time work (Unit 29)/watching movies at home (Unit 30). 2) Write more than 70 words. Use some of the useful expressions, if you like. 3) Express your opinion. 4) After writing, share your ideas with your friends. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Writing Ⅱ-a

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

菅原　千津（すがわら　ちづ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された B1 レベル到達を目指す。Writing II-a では記述表現を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を更に向上させる上で必要な英文 Writing の応用力を身に付ける。

個別目標：英文 Writing の応用力を生かして、仕事・学校・娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点が理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について筋の通った簡単な文章を作ることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

授業参加状況・小テスト・期末試験等を総合的に評価して、S/A/B/C/D の評価を行う。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （学生の英作文の提出・教員の添削を manaba で行うことがある。）

▌教科書

松香洋子, Damien Pratt『TAGAKI Advanced 3 SDGs:Problems and Solutions』(mpi 松香フォニックス)

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 1 ”No Poverty” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Writing (1)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 1 ”No Poverty” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Writing (2)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 2 ”Zero Hunger” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Writing (3)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 2 ”Zero Hunger” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Writing (4)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 3 ”Good Health and Well-being” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Writing (5)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 3 ”Good Health and Well-being” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

7回	**授業テーマ：Writing (6)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 4 ”Quality Education” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。第 1 回～第 7 回の授業で学修した部分が範囲。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Writing (7)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 5 ”Gender Equality” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Writing (8)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 5 ”Gender Equality” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Writing (9)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 6 ”Clean Water and Sanitation” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Writing (10)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 6 ”Clean Water and Sanitation” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Writing (11)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 7 ”Affordable and Clean Energy” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Writing (12)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 7 ”Affordable and Clean Energy” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Writing (13)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 8 ”Decent Work and Economic Growth” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Writing Ⅱ-b

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

菅原　千津（すがわら　ちづ）**・傍島　由美子**（そばじま　ゆみこ）

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された B1 レベル到達を目指す。Writing II-b では記述表現を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を更に向上させる上で必要な英文 Writing の応用力を身に付ける。

個別目標：英文 Writing の応用力を生かして、仕事・学校・娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点が理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について筋の通った簡単な文章を作ることが出来る。

▌履修条件

特に無し。

▌評価基準・方法

授業参加状況・小テスト・期末試験等を総合的に評価して、S/A/B/C/D の評価を行う。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （学生の英作文の提出・教員の添削を manaba で行うことがある。）

▌教科書

松香洋子, Damien Pratt『TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions』(mpi 松香フォニックス)

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 9 ”Industry, Innovation and Infrastructure” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Writing (1)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 9 ”Industry, Innovation and Infrastructure” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Writing (2)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 10 ”Reduced Inequalities” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Writing (3)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 10 ”Reduced Inequalities” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Writing (4)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 11 ”Sustainable Cities and Communities” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Writing (5)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 11 ”Sustainable Cities and Communities” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

7回	**授業テーマ：Writing (6)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 12 ”Responsible Consumption and Production” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：対面によるペーパーテスト実施。第 1 回～第 7 回の授業で学修した部分が範囲。制限時間 60 分。 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
9回	**授業テーマ：Writing (7)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 13 ”Climate Action” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Writing (8)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 13 ”Climate Action” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：Writing (9)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 14 ”Life below Water” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Writing (10)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 14 ”Life below Water” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Writing (11)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 15 ”Life on Land” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Writing (12)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 15 ”Life on Land” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Writing (13)** 授業内容：TAGAKI Advanced 3 SDGs: Problems and Solutions Unit 16 ”Peace, Justice and Strong Institutions” 1) Find out about the goal by reading the comic and the fact box, 2) Check your understanding by answering the questions, 3) Read the sample sentences to get some ideas for writing, 4) Research something to do with the topic. Write around 150 words. Use some of the useful expressions, if you like. 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Speaking Ⅰ-a

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

ジェイコブ　シェア・マーティン　クロウリー・ロウェナ　ジョンソン

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された A2 レベル到達を目指す。Speaking I-a では、口頭表現を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させるために必要な英語運用能力を身につける。

個別目標：基本的な個人情報や家族情報・買い物・地元の地理・仕事など直接的関係がある領域に関しては、文や良く使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

進級要件に定められた英語検定試験のスコア取得状況と、授業参加状況・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内で配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introduction Class & Conversations focusing on Present Tense #1 Introducing yourself 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Speaking (1)** 授業内容：Conversations focusing on Present Tense #2 Introducing someone else, What's new? 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Speaking (2)** 授業内容：Conversations focusing on Past Tense #3 What's new in the past, Talking about the past 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Speaking (3)** 授業内容：Conversations focusing on Past Tense #4 Talking about someone' s past, prepositions, Job interview 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Speaking (4)** 授業内容：Conversations focusing on Future Tense #5 What's new? Talking about the future 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Speaking (5)** 授業内容：Preparation for midterm exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：Midterm Exam 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
8回	**授業テーマ：Speaking (6)** 授業内容：Conversations focusing on Tense Mixing #6 What's new with mixed tenses 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：Speaking (7)** 授業内容：Conversations focusing on Present and Past Progressive Tenses #7 Present and past progressive tenses, Adverbs frequency and manner 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Speaking (8)** 授業内容：Conversations focusing on Present Perfect Tense #8 Present perfect, talking about unusual experiences, for and since 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

11回	**授業テーマ：Speaking (9)** 授業内容：Conversations focusing on Infinitives #9 Talking about orders, requests and obligations, used to & reminiscing 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Speaking (10)** 授業内容：Conversations focusing on Comparatives and Superlatives #10 Comparatives and superlatives, talking about things, and the best 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Speaking (11)** 授業内容：Preparation for Final Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：期末テスト** 授業内容：Final Exam 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
15回	**授業テーマ：Speaking (12)** 授業内容：Final Lesson/Sum Up and Final Exam Make-up-day 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Speaking Ⅰ-b

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

ジェイコブ　シェア・マーティン　クロウリー・ロウェナ　ジョンソン

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された A2 レベル到達を目指す。Speaking I-b では、口頭表現を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を向上させるために必要な英語運用能力を身につける。

個別目標：基本的な個人情報や家族情報・買い物・地元の地理・仕事など直接的関係がある領域に関しては、文や良く使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

進級要件に定められた英語検定試験のスコア取得状況と、授業参加状況・小テスト等を総合的に評価する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内で配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introduction Class &Conversations focusing on Review + Directions #11 Grammar review, directions, and talking about a city 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Speaking (1)** 授業内容：Conversations focusing on Gerunds and Present Participles #12 Giving opinions of a variety of topics 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Speaking (2)** 授業内容：Conversations focusing on Phrasal Verbs #13 Interrogation and intensive questions with phrasal verbs 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Speaking (3)** 授業内容：Conversations focusing on Passive Speech #14 Explaining about something 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Speaking (4)** 授業内容：Conversations focusing on Reported Speech #15 Talking about what someone said 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Speaking (5)** 授業内容：Preparation for Midterm Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：Midterm Exam 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
8回	**授業テーマ：Speaking (6)** 授業内容：Conversations focusing on Possibility & Speculation #16 Speculation and possibility, giving information and advice 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：Speaking (7)** 授業内容：Conversations focusing on Conditional #17 Using conditionals to talk about suggestions 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Speaking (8)** 授業内容：Conversations focusing on Relative Clauses: Defining #18 Talking about specific people and things 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

11回	**授業テーマ：Speaking (9)** 授業内容：Conversations focusing on Relative Clauses: Non-Defining #19 Telling more about specific people and things 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Speaking (10)** 授業内容：Conversations focusing on Idioms #20 A brief introduction to idioms 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Speaking (11)** 授業内容：Preparation for Final Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：期末テスト** 授業内容：Final Exam 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
15回	**授業テーマ：Speaking (12)** 授業内容：Final Lesson/Sum up and Final Makeup Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Speaking Ⅱ-a

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

ジェイコブ　シェア・マーティン　クロウリー

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された B1 レベル到達を目指す。Speaking II-a では、口頭表現を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を更に向上させるために必要な英語運用能力を身につける。

個別目標：仕事・学校・娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点が理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

進級要件に定められた英語検定試験のスコア取得状況と、授業参加状況・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内で配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introduction Class & Conversation Function: Talking About Travel #1 Explaining about vacations, and travel 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Speaking (1)** 授業内容：Conversation Function: Travel Agency #2 Suggesting and planning a trip at the travel agency 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Speaking (2)** 授業内容：Conversation Function: At the Airport #3 Going over an itinerary and checking in at the airport, security check 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Speaking (3)** 授業内容：Conversation Function: On the Plane #4 Request commands and boarding the plane, assisting passengers 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Speaking (4)** 授業内容：Conversation Function: Transferring Planes #5 Asking for information, giving advice, and explaining directions 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Speaking (5)** 授業内容：Preparation for Midterm Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：Midterm Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：Speaking (6)** 授業内容：Conversation Function: Immigration #6 Asking questions, going through immigration at the airport 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：Speaking (7)** 授業内容：Conversation Function: Car Rental Agency #7 Talking about renting a car 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Speaking (8)** 授業内容：Conversation Function: Checking in the Hotel #8 Checking in at the hotel with no problems, How to do something 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

11回	**授業テーマ：Speaking (9)** 授業内容：Conversation Function: Checking in the Hotel - Problems #9 Checking in at the hotel with problems, and apologizing 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Speaking (10)** 授業内容：Conversation Function: At the Hotel #10 Discussing possibilities and life changes 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Speaking (11)** 授業内容：Preparation for Final Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：期末テスト** 授業内容：Final Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Speaking (12)** 授業内容：Final Lesson/Sum up and Final Makeup Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

English Speaking Ⅱ-b

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

ジェイコブ　シェア・マーティン　クロウリー

▌授業の概要

英語 4 技能(読む・聞く・話す・書く)のバランスの取れた実力を向上させ、CEFR（外国語の学習・授業・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)で定義された B1 レベル到達を目指す。Speaking II-b では、口頭表現を中心に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、HTM2）

一般目標：英語 4 技能の実力を更に向上させるために必要な英語運用能力を身につける。

個別目標：仕事・学校・娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点が理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について筋の通った簡単な文章を作ることが出来る。

▌履修条件

学部で設定する補習に必ず出席し、英語学修の時間を十分確保すること。

▌評価基準・方法

進級要件に定められた英語検定試験のスコア取得状況と、授業参加状況・小テスト等を総合的に評価する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内で配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Introduction Class & Conversation Function: Restaurant #11 Serving customers, and explaining about unknown food 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：Speaking (1)** 授業内容：Conversation Function: Restaurant - Problems #12 Using reported speech to talk about problems 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：Speaking (2)** 授業内容：Conversation Function: Concierge #13 Concierge helping with emergencies and using opinions 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：Speaking (3)** 授業内容：Conversation Function: Tour #14 Using the passive voice to explain things on a tour 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：Speaking (4)** 授業内容：Conversation Function: Temple of Dagon #15 Talking about what may happen in the future 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：Speaking (5)** 授業内容：Preparation for Midterm Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：中間テスト** 授業内容：Midterm Exam 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
8回	**授業テーマ：Speaking (6)** 授業内容：Conversation Function: Trouble in Paradise #16 Explaining what happened using causative verbs 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：Speaking (7)** 授業内容：Conversation Function: Checking Out #17 Assisting customers checking out of their rooms 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：Speaking (8)** 授業内容：Conversation Function: Checking Out - Problems #18 Checking out of a hotel with problems 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

11回	**授業テーマ：Speaking (9)** 授業内容：Conversation Function: Customs #19 Going through customs at the airport 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：Speaking (10)** 授業内容：Conversation Function: Hospitality & Tourism Career #20 Talking about future careers in the HT industry 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Speaking (11)** 授業内容：Preparation for Final Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：期末テスト** 授業内容：Final Exam 事前学修 1.5hr：テストの予習 事後学修 2.5hr：テストの復習
15回	**授業テーマ：Speaking (12)** 授業内容：Final Lesson/Sum Up and Final Makeup Exam 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

Advanced English skills A

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

マーティン　クロウリー・ロウェナ　ジョンソン

▌授業の概要

ホスピタリティ・ツーリズム業界での中上級レベルの英語を使用したコミュニケーション能力の向上を目指す。前半ではホスピタリティ・ツーリズム業界での特有の英語表現、丁寧な英語の使い方などを学ぶ。後半はホスピタリティ・ツーリズム業界での英語による面接を念頭に置き、口頭表現、表現力などの学修を行う。授業のスケジュール、内容などは授業のニーズに応じて変更することがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：中上級レベルの英語力と、ホスピタリティ・ツーリズム業界での英語によるコミュニケーション能力の習得

個別目標：・平易な英語、フォーマルな英語でホスピタリティ・ツーリズム業界の話題が表現できる。
・ホスピタリティ・ツーリズム業界に関連した話題について、中上級レベルの英語で議論することができる。
・ホスピタリティ・ツーリズム業界の用語を英語で学習し、就職面接などに対応する能力を身につける。

▌履修条件

・最大人数 25 人とする。
・履修登録者数が 25 人を超えた場合には履修登録者の選抜を行うので、第 1 回授業には必ず出席すること。
・Speaking I-a/I-b、Writing I-a/b の 4 科目を履修済みであること。
・上記の要件を満たさないものの当該科目の履修を希望する学生は、担当教員と面談して履修の可否を判断してもらうこと。

▌評価基準・方法

期末テスト、授業への参加・貢献度、レポート、小テストなどを総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業資料を配信する。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction Class, Presentation 1：Casual/Formal How to do Something** 授業内容：Introduction to the class. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
2 回	**授業テーマ：Presentation 2: Casual Explanation** 授業内容：Explaining casually. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
3 回	**授業テーマ：Presentation 3: Formal Explanation** 授業内容：Explaining formally. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
4 回	**授業テーマ：Presentation 4: Business Report** 授業内容：Making a business report. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
5 回	**授業テーマ：Presentation 5: Real Debate** 授業内容：constructing a debate. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
6 回	**授業テーマ：Preparation and Midterm Exam** 授業内容：Write for the exam. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
7 回	**授業テーマ：Preparation and Midterm Exam** 授業内容：Practice for the exam. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
8 回	**授業テーマ：Debate 1: Casual/Formal　'Expressing Opinions'** 授業内容：How to express an opinion in a casual and formal way. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
9 回	**授業テーマ：Debate 2: Casual/　'Formal Discussions'** 授業内容：How to discuss in both a casual and formal way. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
10 回	**授業テーマ：Debate 3: Casual Acceptance/Refusal** 授業内容：How to accept or decline in a casual way. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review

11回	**授業テーマ：Debate 4: Formal Acceptance/Refusal** 授業内容：How to accept or decline in a formal way. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
12回	**授業テーマ：Debate 5: Real Debate** 授業内容：Debate practice. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
13回	**授業テーマ：Preparation and Final Exam** 授業内容：Write for the final exam. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
14回	**授業テーマ：Final Lesson and Final Exam Make-up-day** 授業内容：Speaking exam. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
15回	**授業テーマ：Final Lesson and Final Exam Make-up-day** 授業内容：Final exams and make up exams. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review

Advanced English skills B

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

ジェイコブ　シェア

▌授業の概要

ホスピタリティ・ツーリズム業界での中上級レベルの英語を使用したコミュニケーション能力の向上を目指す。前半ではホスピタリティ・ツーリズム業界での特有の英語表現、丁寧な英語の使い方などを学ぶ。後半はホスピタリティ・ツーリズム業界での英語による面接を念頭に置き、口頭表現、表現力などの学修を行う。授業のスケジュール、内容などは授業のニーズに応じて変更することがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：中上級レベルの英語力と、ホスピタリティ・ツーリズム業界での英語によるコミュニケーション能力の習得
個別目標：・平易な英語、フォーマルな英語でホスピタリティ・ツーリズム業界の話題が表現できる。
・ホスピタリティ・ツーリズム業界に関連した話題について、中上級レベルの英語で議論することができる。
・ホスピタリティ・ツーリズム業界の用語を英語で学習し、就職面接などに対応する能力を身につける。

▌履修条件

・最大人数 25 人とする。
・履修登録者数が 25 人を超えた場合には履修登録者の選抜を行うので、第 1 回授業には必ず出席すること。
・Speaking I-a/I-b、Writing I-a/b の 4 科目を履修済みであること。
・上記の要件を満たさないものの当該科目の履修を希望する学生は、担当教員と面談して履修の可否を判断してもらうこと。

▌評価基準・方法

期末テスト、授業への参加・貢献度、レポート、小テストなどを総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業資料を配信する。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction Class, The World of H&T: Travel Agency** 授業内容：Introduction Class & The World of H&T: Travel Agent Brainstorming the pros and cons of being a travel agent 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
2 回	**授業テーマ：The World of H&T: Flight Attendant** 授業内容：The World of H&T: Flight Attendant Brainstorming the pros and cons of being a flight attendant 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
3 回	**授業テーマ：The World of H&T: Tour Guide** 授業内容：The World of H&T: Tour Guide Brainstorming the pros and cons of being a tour guide 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
4 回	**授業テーマ：The World of H&T: Hotel Jobs** 授業内容：The World of H&T: Hotel Jobs Brainstorming the pros and cons of working at a hotel 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
5 回	**授業テーマ：The World of H&T: Airport Jobs** 授業内容：The World of H&T: Airport Jobs Brainstorming the pros and cons of working in an airport 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
6 回	**授業テーマ：Preparation and Midterm Exam** 授業内容：Preparation for Midterm Exam (Interview about Imagined Job that the student's have chosen) 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
7 回	**授業テーマ：Midterm Exam** 授業内容：Midterm Exam (Interview about Imagined Job that the student's have chosen) 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
8 回	**授業テーマ：Job Interview 1: The Good Interview and the Bad Interview** 授業内容：Job Interview 1: Good/Bad Interview and Midterm Makeup Exam Talking about the keys to having a good job interview 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
9 回	**授業テーマ：Job Interview 2:　'Tell me about yourself-question'** 授業内容：Job Interview 2: Preparation +　'Tell me about yourself-question' Preparing for the tell me about yourself part of the job interview question 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review

10回	**授業テーマ：Job Interview 3: Questions & Answers** 授業内容：Job Interview 3: Questions & Answers Practicing common job interview questions and how to answer them. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
11回	**授業テーマ：Job Interview 4: Overall View** 授業内容：Job Interview 4: Overall View A step-by-step overview of the job interview process. 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
12回	**授業テーマ：Job Interview 5: Overcoming Speaking Problems** 授業内容：Job Interview 5: Overcoming Speaking Problems A review of common problems in job interview, and how to overcome 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
13回	**授業テーマ：Preparation for Final Exam** 授業内容：Preparation for Final Exam (Interview: Applying for Job of the student's choice) 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
14回	**授業テーマ：Final Exam (Interview: Applying for Job)** 授業内容：Final Exam (Interview: Applying for Job) (Interview: Applying for Job of the student's choice) 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review
15回	**授業テーマ：Final Lesson/Sum Up and Final Makeup Exam** 授業内容：Final Lesson/Sum Up and Final Makeup Exam 事前学修 2.0hr：Class preparation 事後学修 2.0hr：Class review

Advanced English skills C

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

番場　直之（ばんば　なおゆき）

▌授業の概要

TOEIC Listening & Reading テストの学習にバランスよく取り組みながら、英語を正しく聴き取り、読み取る力をつける。英語を正しく発音する力と共に、語彙力、文法力、読解力を養っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：TOEIC Listening & Reading テストで 650 点以上のスコアを取得する英語力を身につける。

個別目標：・リスニング問題を解くためのスキルを身につける。
・TOEIC の頻出語句を覚える。
・問題演習を通して文法力を鍛える。
・英文の音読とシャドーイングを通して速読力を養う。

▌履修条件

2 年生までの進級条件を満たしていること。

▌評価基準・方法

TOEIC Listening & Reading 公開テストのスコア取得状況(650 点以上) と、授業参加状況・小テスト・期末試験等を総合的に評価して単位を認定する。

▌フィードバック方法

小テストの返却や課題等のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （小テストやフィードバック等で使用する。）

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

開講時に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：TOEIC の概要と学習法についての説明 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：Listening & Reading 1** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(1) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：Listening & Reading 2** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：Listening & Reading 3** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(3) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：Listening & Reading 4** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(4) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6 回	**授業テーマ：Listening & Reading 5** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(5) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7 回	**授業テーマ：Listening & Reading 6** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(6) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8 回	**授業テーマ：Listening & Reading 7** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(1) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
9 回	**授業テーマ：Listening & Reading 8** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10 回	**授業テーマ：Listening & Reading 9** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(3) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11 回	**授業テーマ：Listening & Reading 10** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(4) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

12回	**授業テーマ：Listening & Reading 11** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(5) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Listening & Reading 12** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(6) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Listening & Reading 13** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　総復習(1) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Listening & Reading 14** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　総復習(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

Advanced English skills C

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

濱﨑　潤之輔（はまさき　じゅんのすけ）

▌授業の概要

TOEIC Listening & Reading テストの学習にバランスよく取り組みながら、英語を正しく聴き取り、読み取る力をつける。英語を正しく発音する力と共に、語彙力、文法力、読解力を養っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：TOEIC Listening & Reading テストで 650 点以上のスコアを取得する英語力を身につける。

個別目標：・リスニング問題を解くためのスキルを身につける。
・TOEIC の頻出語句を覚える。
・問題演習を通して文法力を鍛える。
・英文の音読とシャドーイングを通して速読力を養う。

▌履修条件

2 年生までの進級条件を満たしていること。

▌評価基準・方法

TOEIC Listening & Reading 公開テストのスコア取得状況(650 点以上) と、授業参加状況・小テスト・期末試験等を総合的に評価して単位を認定する。小テストの返却、manaba の個別指導コレクション等を通じて適宜フィードバックする。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （小テストやフィードバック等で使用する。）

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

開講時に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：TOEIC の概要と学習方法についての説明 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：Listening & Reading 1** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(1) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：Listening & Reading 2** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：Listening & Reading 3** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(3) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：Listening & Reading 4** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(4) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
6 回	**授業テーマ：Listening & Reading 5** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(5) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
7 回	**授業テーマ：Listening & Reading 6** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　基礎演習(6) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
8 回	**授業テーマ：Listening & Reading 7** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(1) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
9 回	**授業テーマ：Listening & Reading 8** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
10 回	**授業テーマ：Listening & Reading 9** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(3) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
11 回	**授業テーマ：Listening & Reading 10** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(4) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

12回	**授業テーマ：Listening & Reading 11** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(5) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：Listening & Reading 12** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　応用演習(6) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：Listening & Reading 13** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　総復習(1) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：Listening & Reading 14** 授業内容：TOEIC Listening Section・Reading Section　総復習(2) 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 2.5hr：授業の復習

Advanced English skills E

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

ジェイコブ　シェア・マーティン　クロウリー

▌授業の概要

In this class we will look at themed entertainment (テーマ・エンターテイメント) around the world. Each class will focus on a reading on the class topic. A combination of using English communication skills of reading, writing and discussion on the topic. For example, why is Disney so successful?

CEFR B2 レベル(自立した言語使用者)並みの英語運用能力を有する学生向けに、より高度なコミュニケーション能力を養成するために開講する授業。4 技能のうち、「読む」(Reading)を中心に学習するが、併せて「読む」以外の 3 技能(「聞く」「話す」「書く」についても運用能力を底上げすることを目指す。

Lesson schedule may change order or topic depending on class needs. 授業のスケジュール、内容などは授業のニーズに応じて変更することがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：CEFR C1 レベルの「熟練した言語使用者」として、学問上又は職業上のより難易度の高い英語に触れ、理解できる能力を身につける。
Students will be able to research topics related to themed entertainment.

個別目標：いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できること。
Students are encouraged to bring ideas, and research on class topics.

▌履修条件

・最大人数 25 人とする。
・履修登録者数が 25 人を超えた場合には履修登録者の選抜を行うので、第 1 回授業には必ず出席すること。
・Speaking I-a/I-b、Writing I-a/b の 4 科目を履修済みであること。
• Students should have a desire to communicate in English.
・上記の要件を満たさないものの当該科目の履修を希望する学生は、担当教員と面談して履修の可否を判断してもらうこと。
・課題等のフィードバックは、manaba を通して行う。
• Students should have the desire to communicate in English

▌評価基準・方法

期末テスト、授業への参加・貢献度、レポート、小テストなどを総合的に評価する。
There will be some in class and semester projects.

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （group work and research）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （no, but smartphone or tablet is very useful）

▌教科書

The instructor will provide prints for each lesson.

▌参考書

授業内で紹介する/in class Internet research

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction /Reading 1** 授業内容：Reading on Universal Studios Japan 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
2 回	**授業テーマ：Reading 1** 授業内容：Reading on Universal Studios Japan 事前学修 0.5hr：lecture on the topic 事後学修 1.0hr：group work
3 回	**授業テーマ：Reading 2** 授業内容：Reading on Disney Imagineers 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
4 回	**授業テーマ：Reading 3** 授業内容：Reading on themed restaurants 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
5 回	**授業テーマ：Reading 4** 授業内容：Reading on themed restaurants part 2 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
6 回	**授業テーマ：Preparation for project or exam** 授業内容：Students in groups or individually will prepare their project. 事前学修 1.0hr：Group or individual work 事後学修 0.5hr：Group or individual work
7 回	**授業テーマ：Project or Exam** 授業内容：Students in groups or individually will present their project. 事前学修 1.0hr：Group or individual work 事後学修 0.5hr：Group or individual work
8 回	**授業テーマ：Reading 6** 授業内容：Reading on shopping as entertainment, Ikea case study 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group Work

9回	**授業テーマ：Reading 7** 授業内容：Reading on music entertainment business in Japan 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
10回	**授業テーマ：Reading 8** 授業内容：Reading on the popularity of instagramable food 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group Work
11回	**授業テーマ：Reading 9** 授業内容：Reading on airports as entertainment 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
12回	**授業テーマ：Reading 10** 授業内容：Reading on the future of media and social media 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
13回	**授業テーマ：Preparation for exam or project** 授業内容：Students in groups or individually prepare for there final project. 事前学修 1.0hr：Group or individual work 事後学修 0.5hr：Group or individual work
14回	**授業テーマ：Exam or project** 授業内容：Students present their final projects. 事前学修 1.0hr：Group or individual work 事後学修 0.5hr：Group or individual work
15回	**授業テーマ：Review up of the course** 授業内容：Students will sum up, and give feedback on the course. 事前学修 1.0hr：Group work 事後学修 0.5hr：Group work

Advanced English skills F

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

ジェイコブ　シェア・マーティン　クロウリー

▌授業の概要

In this class we will look at themed entertainment (テーマ・エンターテイメント) around the world. Each class will focus on a exploring the creation of different kinds of themed entertainment.A combination of English skills focusing on discussion and creation of original ideas on the topic. For example, What makes souvenirs, rides so popular? CEFR B2 レベル(自立した言語使用者)並みの英語運用能力を有する学生向けに、より高度なコミュニケーション能力を養成するために開講する授業。4 技能のうち、「読む」(Reading)を中心に学習するが、併せて「読む」以外の 3 技能(「聞く」「話す」「書く」についても運用能力を底上げすることを目指す。Lesson schedule may change order or topic depending on class needs. 授業のスケジュール、内容などは授業のニーズに応じて変更することがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 2、経営情報専攻 2、HTM2）

一般目標：CEFR C1 レベルの「熟練した言語使用者」として、学問上又は職業上のより難易度の高い英語に触れ、理解できる能力を身につける。
Students will be able to use English to discuss topics related to themed entertainment.

個別目標：いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できること。
Students are encouraged to express themselves through study of topics they are interested in.

▌履修条件

・最大人数 25 人とする。
・履修登録者数が 25 人を超えた場合には履修登録者の選抜を行うので、第 1 回授業には必ず出席すること。
・Speaking I-a/I-b、Writing I-a/b の 4 科目を履修済みであること。
* A desire to use English for communication
・上記の要件を満たさないものの当該科目の履修を希望する学生は、担当教員と面談して履修の可否を判断してもらうこと。
・課題等のフィードバックは、manaba を通して行う。

▌評価基準・方法

Focusing on team, and or individual themed entertainment ideas through writing.
期末テスト、授業への参加・貢献度、レポート、小テストなどを総合的に評価する。

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （group work and research）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （no, but smartphone or tablet is very useful）

▌教科書

The instructor will provide prints for each lesson.

▌参考書

授業内で紹介する/in class Internet research

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：01 Introduction /What is themed entertainment?** 授業内容：a brief history of themed entertainment 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
2 回	**授業テーマ：02 The Attractions** 授業内容：Learning about the different kinds of attractions 事前学修 0.5hr：lecture on the topic 事後学修 1.0hr：group work
3 回	**授業テーマ：03 Attraction Case Study (Pirates of the Caribbean)** 授業内容：Learning about the uniqueness of the Pirates of the Caribbean 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
4 回	**授業テーマ：04 Themed Restaurants and Food** 授業内容：Discussion about the history of themed food, and restaurants. 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
5 回	**授業テーマ：05 Souvenirs and Gifts** 授業内容：Researching what makes a successful souvenir and gift 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
6 回	**授業テーマ：Preparation for project or exam** 授業内容：preparing individual, and or group projects 事前学修 1.0hr：Group or individual work 事後学修 0.5hr：Group or individual work
7 回	**授業テーマ：Project or Exam** 授業内容：Presenting individual, and or group projects 事前学修 1.0hr：Group or individual work 事後学修 0.5hr：Group or individual work
8 回	**授業テーマ：06 Creation of an Original Souvenir** 授業内容：through research and team students will create an original souvenir 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group Work
9 回	**授業テーマ：07 Creation of an Original Attraction** 授業内容：Students working in teams 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work

10回	**授業テーマ：08 Creation of an Original Food item /Menu** 授業内容：Focus in on the creation of an original food, or menu item 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group Work
11回	**授業テーマ：09 Store Layout** 授業内容：How are stores designed to be enjoyable and get customers to spend money while enjoying shopping. 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
12回	**授業テーマ：10 Press Release** 授業内容：Creating a press release for one of the items created in the class. 事前学修 0.5hr：Lecture on the topic 事後学修 1.0hr：Group work
13回	**授業テーマ：Preparation for exam or project** 授業内容：students in groups or individually prepare their project 事前学修 1.0hr：Group or individual work 事後学修 0.5hr：Group or individual work
14回	**授業テーマ：Exam or project** 授業内容：students in groups or individually present their project. Students are encouraged to give feedback to their classmates. 事前学修 1.0hr：Group or individual work 事後学修 0.5hr：Group or individual work
15回	**授業テーマ：Review up of the course** 授業内容：students receive and give feedback on the course and other students projects. 事前学修 1.0hr：Group work 事後学修 0.5hr：Group or individual work

パーソナル・コミュニケーションリテラシーⅠ／ホテルサービス論

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

阿部　佳 (あべ　けい)

▌授業の概要

プロのサービスコミュニケーションスキルと姿勢を身につけることを目的とする。
ホテルサービスにおけるコミュニケーションについての講義、およびその理解を深めるためのグループワーク、課題提出、プレゼンテーション等。講義でホテルサービスの仕事内容と、場面ごとのコミュニケーションを知り、それを実践できるようになるために参加型で研究、考察、理解する。
授業内容、スケジュールは、諸条件、状況により、変更する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、HTM1）

一般目標：ホテルサービスにおけるサービスコミュニケーションの基本姿勢と知識、スキルを身につけ、円滑かつ正確なプロのコミュニケーションを実践できるようになる。
個別目標：・プロのサービスの場面において、相手の真意を理解できるようになる
・自分の意見を整理し、的確に伝えられるようになる
・ホテルにおけるコミュニケーションの意味と効率的な方法を知り、実践できるようになる

▌履修条件

プロのコミュニケーションを身につける意欲があり、授業、課題に積極的に取り組むこと

▌評価基準・方法

・課題・レポート・プレゼンテーション・各種テスト等 70 %
授業内でのディスカッション・ワーク等への参加姿勢、積極的発言 30 %　を基本として総合評価。
・出席 80 %、期限内の課題提出 80 %は必須。

▌フィードバック方法

・課題等は、全員の参考になるように授業を通じてフィードバックする

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション準備）

▌教科書

特になし

▌参考書

適宜紹介

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・ホテルの仕事概論、組織** 授業内容：この授業の目的とプランの説明。 ホテルの仕事全般の概論講義 事前学修 2.0hr：ホテルについて自分が知っていることをまとめておく 事後学修 2.0hr：授業の趣旨、概要についての自身の理解確認と疑問点の整理
2回	**授業テーマ：ホテルサービスの特性** 授業内容：ホテルのサービスの特徴を、グループディスカッションで考えたうえで講義で整理、理解する 事前学修 2.0hr：ホテルサービスの特徴を考えておく 事後学修 2.0hr：ホテルサービスの特性についての自身の理解確認と疑問点の整理
3回	**授業テーマ：ホテルサービスにおけるコミュニケーションの役割** 授業内容：ホテルサービスにおいてコミュニケーションはどういう役割を果たせるのか、講義とグループディスカッション 事前学修 2.0hr：ホテルサービスにはどんなコミュニケーションが必要かを考えておく 事後学修 2.0hr：ホテルサービスにおけるコミュニケーションの役割と意味についての自身の理解確認と疑問点の整理
4回	**授業テーマ：ホテル組織のいろいろとそれによるさまざまなコミュニケーション** 授業内容：さまざまなホテル組織、およびそれによって生じるコミュニケーションについての講義 事前学修 2.0hr：ホテルの組織について知っていることをまとめておく 事後学修 2.0hr：さまざまなホテル組織についての自身の理解確認と疑問点の整理
5回	**授業テーマ：フロントサービスのサービスとコミュニケーション** 授業内容：フロントサービスのコミュニケーションの仕事と実態を知るためのグループディスカッションと講義 事前学修 2.0hr：フロントサービスの仕事とそこにどんなコミュニケーションがあるかを想像し、まとめておく 事後学修 2.0hr：フロントサービスにおけるコミュニケーションについての自身の理解確認と疑問点の整理
6回	**授業テーマ：フロントデスクのサービスとコミュニケーション** 授業内容：フロントデスクの仕事とコミュニケーションの実態を知るためのグループディスカッションと講義 事前学修 2.0hr：フロントの仕事とそこにどんなコミュニケーションがあるかを想像し、まとめておく 事後学修 2.0hr：フロントのコミュニケーションについての自身の理解確認と疑問点の整理
7回	**授業テーマ：ハウスキーピングのサービスとコミュニケーション** 授業内容：ハウスキーピングの仕事とコミュニケーションの実態を知るためのグループディスカッションと講義 事前学修 2.0hr：ハウスキーピングの仕事とそこにどんなコミュニケーションがあるかを想像し、まとめておく 事後学修 2.0hr：ハウスキーピングについての自身の理解確認と疑問点の整理
8回	**授業テーマ：インフォメーションサービスのコミュニケーション** 授業内容：インフォメーションサービスのコミュニケーションの意味と実態を知るための講義とグループディスカッション 事前学修 2.0hr：インフォメーションサービスの仕事の意味と、コミュニケーションを想像し、まとめておく 事後学修 2.0hr：インフォメーション提供についての自身の理解確認と疑問点の整理
9回	**授業テーマ：コンシェルジュのサービスとコミュニケーション** 授業内容：コンシェルジュのコミュニケーションの意味と実態を知るための講義とグループディスカッション 事前学修 2.0hr：コンシェルジュの仕事の意味と、コミュニケーションを想像し、まとめておく 事後学修 2.0hr：コンシェルジュについての自身の理解確認と疑問点の整理
10回	**授業テーマ：レストランのサービスとコミュニケーション** 授業内容：ホテルのレストランの仕事と、そこでのコミュニケーションの実態とスキルを知るためのグループディスカッションと講義 事前学修 2.0hr：ホテルレストランのコミュニケーションを想像し、まとめておく 事後学修 2.0hr：ホテルレストランのサービスとコミュニケーションについての自身の理解確認と疑問点の整理

11回	**授業テーマ：ホテル宴会部門のサービスとコミュニケーション** 授業内容：ホテルの宴会部門の仕事と、そこでのコミュニケーションの実態とスキルを知るためのグループディスカッションと講義 事前学修 2.0hr：ホテル宴会部門のコミュニケーションを想像し、まとめておく 事後学修 2.0hr：ホテル宴会部門についての自身の理解確認と疑問点の整理
12回	**授業テーマ：プロのサービス現場におけるコミュニケーション** 授業内容：ホテルマンをゲストスピーカーに招き、ホテル内のサービスコミュニケーションの基本について、実情を聴く 事前学修 2.0hr：実社会の仕事、コミュニケーションについての質問をまとめておく 事後学修 2.0hr：ホテルサービスの実態について自身の理解確認と疑問点の整理
13回	**授業テーマ：インバウンド受入れのコミュニケーション** 授業内容：インバウンドゲストとのコミュニケーションスキルについての講義 事前学修 2.0hr：インバウンドゲストとのコミュニケーションの特徴を考え、まとめておく 事後学修 2.0hr：インバウンドゲストとのコミュニケーションについての自身の理解確認と疑問点の整理
14回	**授業テーマ：ホテルサービスにおけるパーソナルコミュニケーション** 授業内容：ホテルサービスにおけるコミュニケーションの役割と責任についての講義 事前学修 2.0hr：これまでの授業で知ったホテル各部門のサービスを復習しておく 事後学修 2.0hr：ホテルサービスにおけるパーソナルコミュニケーションについての自身の理解確認と疑問点の整理
15回	**授業テーマ：まとめ―上質なパーソナルコミュニケーション** 授業内容：ホスピタリティ産業全般におけるプロのサービスコミュニケーションについてのまとめと復習 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容を復習しておく 事後学修 2.0hr：プロのホスピタリティ全般におけるコミュニケーションについてまとめ、理解を明確にする

パーソナル・コミュニケーションリテラシーⅡ／エアラインサービス論

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

木内　伸樹（きうち　のぶき）

▌授業の概要

エアラインで日々交わされているコミュニケーション場面を切り取り、場面ごとに必須なコミュニケーションやその特徴を学び、基本的なコミュニケーション知識やスキルを身につける。そのために特にコミュニケーションの機会が多い国際線フルサービス路線の利用を前提として、航空旅行の流れを順に追って、旅行前、空港、機内、旅行後に交わされているコミュニケーションを取り上げる。そこではエアラインスタッフと顧客とのコミュニケーションに限らず、エアライン組織内や同僚同士でのコミュニケーションも含めて多岐にわたってカバーする。また一人一人が企業研究として世界のエアラインを調べ発表する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、HTM1）

一般目標：エアラインを利用する、あるいはエアラインで働く際に必要となる基本的なコミュニケーション知識を学ぶ。そして実際に顧客になって、あるいはスタッフになって伝える内容を考え、コミュニケーションの重要性を理解する。

個別目標：高度で効果的なパーソナル・コミュニケーションを実行できるようにするため

・場面ごとに相手が何を伝えようとしているのか的確に理解できるようになる。(読む・聞く)

・自分が伝えたい考えや意図を整理し効果的な方法で伝えることができる。(書く・話す)

▌履修条件

航空業界に興味があり、そこでのコミュニケーションスキルを学びたい学生

▌評価基準・方法

- 定期試験 50 %、発表 20%、課題 20 %、授業への貢献、受講態度等 10 %。
- 原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
- 最終評価は到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

定期試験のフィードバックは、学修支援システム Manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、ロールプレイ）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポン、発表、試験）

▌教科書

教科書は使用せず、講義資料を提示する。

▌参考書

授業中に適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、および国際線航空旅行の流れ** 授業内容：講義の内容、流れ、評価方法の説明。また国際線の航空旅行の流れをチケット購入から確認する。 事前学修 2.0hr：講義内容を予め確認し、航空会社が提供しているサービスを調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
2回	**授業テーマ：民間航空旅行の歴史** 授業内容：現在のエアラインサービスを理解するうえで、これまでの航空機による民間旅行の歴史を確認し、そのサービスの変遷を学ぶ。 事前学修 2.0hr：民間航空旅行の始まりを調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：チケット購入とチェックイン** 授業内容：航空機を利用するにあたり、まず航空券を購入する必要がある。航空券購入のやり方をいくつか実際に試して料金を確認する。またオンラインチェックインについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：航空会社のウェブサイトで自分の行きたい空港までのチケット料金を調べる。 事後学修 2.0hr：出発前に行われるコミュニケーションを整理する。
4回	**授業テーマ：空港①-　チェックイン、ラウンジ、ゲート** 授業内容：空港でのチェックイン、空港ラウンジ、そして搭乗ゲートでの手続きやコミュニケーションを確認し、基本的なコミュニケーションを身につける。 事前学修 2.0hr：空港で行われるコミュニケーションを想定して書き出しておく。 事後学修 2.0hr：実際に空港で交わされているコミュニケーションを理解し整理する。
5回	**授業テーマ：グランドスタッフの役割** 授業内容：冒頭学生発表。グランドスタッフが実際にどこでどのような役割を担い、そしてどのようなコミュニケーションをとっているのかを学び、自分がそこで働いていることを想像し、同僚とのあるいはチームとしてのコミュニケーションの重要性を理解する。 事前学修 2.0hr：空港グランドスタッフの仕事内容を調べておく。 事後学修 2.0hr：空港グランドスタッフ同士のコミュニケーションをまとめる。
6回	**授業テーマ：客室乗務員①　採用から初飛行まで** 授業内容：冒頭学生発表。客室乗務員の採用の様子、訓練の様子、そして初飛行までの様子を確認し、実際の客室乗務員になるまでの流れと必要な資質を理解する。 事前学修 2.0hr：いくつかの航空会社の採用条件を確認しておく。 事後学修 2.0hr：客室乗務員になるまでのプロセスをまとめ理解する。
7回	**授業テーマ：客室乗務員②　通常フライト** 授業内容：冒頭学生発表。通常フライトにおける客室乗務員の役割を理解し、お客様にどのような応対をしているのかを学び理解する。 事前学修 2.0hr：飲食サービスでのコミュニケーションを想定し書き出しておく。 事後学修 2.0hr：実際の飲食サービスでのコミュニケーションを理解し整理する。
8回	**授業テーマ：客室乗務員③　役割とライフスタイル** 授業内容：冒頭学生発表。客室乗務員に求められているその他の役割や、そのライフスタイルを理解し、客室乗務員に求められているスキルや能力を学び理解する。 事前学修 2.0hr：客室乗務員のサービス要員と保安要員以外の面を確認しておく。 事後学修 2.0hr：客室乗務員に必要な資質や能力をまとめる。
9回	**授業テーマ：空港②　グランドハンドリング他** 授業内容：冒頭学生発表。グランドハンドリングの職種を理解し、飛行機がどのようにして到着や出発が可能になっているのかを理解する。 事前学修 2.0hr：グランドハンドリングという職種を調べておく。 事後学修 2.0hr：グランドハンドリングについてその役割をまとめる。

10回	**授業テーマ：ゲストスピーカー** 授業内容：冒頭学生発表。航空関係で働いてる方をゲストスピーカーで招聘し、仕事内容や求める資質について話をしてもらう。 事前学修 2.0hr：ゲストスピーカーの航空会社が分かったらその会社について調べておく。 事後学修 2.0hr：話してもらった内容をまとめる。
11回	**授業テーマ：パイロットと航空管制官** 授業内容：冒頭学生発表。航空機の運航に欠かせないパイロットと航空管制官について、その役割や職種の特徴を学び理解する。 事前学修 2.0hr：パイロットや航空管制官について調べておく。 事後学修 2.0hr：パイロットや航空管制官の役割をまとめる。
12回	**授業テーマ：LCC と日本の航空会社** 授業内容：冒頭学生発表。LCC について、その特徴やフルサービスのエアラインとの違いを学び、日本の主なエアラインをピックアップして違いを理解する。 事前学修 2.0hr：LCC とは何かを調べておく。 事後学修 2.0hr：LCC の特徴をまとめる。
13回	**授業テーマ：アライアンスとランキング** 授業内容：冒頭学生発表。世界の航空連合について学ぶ。また Skytrax 社が発表する世界のエアラインランキングを確認し、ランキングに利用されている評価基準についてディスカッションし理解する。 事前学修 2.0hr：どんなアライアンスがあるか調べておく。 事後学修 2.0hr：評価基準についてまとめておく。
14回	**授業テーマ：組織と航空関連機関** 授業内容：冒頭学生発表。空港関連以外のエアラインの組織を理解する。また関りがある国内外の機関について学び、それぞれの役割を理解する。 事前学修 2.0hr：エアラインの企業ページを確認し、組織を確認しておく。 事後学修 2.0hr：学んだ様々な機関をまとめる。
15回	**授業テーマ：お客様の声と PR** 授業内容：冒頭学生発表。航空会社に寄せられるお客様の声からエアラインに求められているサービスの本質を理解する。またエアライン各社がお客様に発信しているメッセージを過去の CM や現在の SNS から確認し、お客様が求めていることとの相違を理解する。 事前学修 2.0hr：SNS で各エアラインの発信を確認しておく。 事後学修 2.0hr：この会の内容を含め、エアライン全体での役割や求められていることをまとめる。

パーソナル・コミュニケーション探究 A（ビジネスネットワーキング）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

阿部　佳（あべ　けい）

▌授業の概要

プロのパーソナルコミュニケーションスキルを知り、実社会で実践できるようになることを目的とする。
ホスピタリティ産業は、広い業種にかかわる世界共通の産業であり、その業務は多岐にわたる。また観光先進国を目指す日本では、今後ますます重視されることは間違いない。
この授業では、ホスピタリティ提供の専門職といわれる「コンシェルジュ」を教材に、ホスピタリティのプロに必要なパーソナルコミュニケーションを参加型で身につけると共に、その実践に不可欠なプロのネットワークについて正しく理解する。
授業内容、スケジュールは、諸条件・状況により、変更する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3）

一般目標：・いかなる業種、場面にも活かせる、プロのホスピタリティを理解し、パーソナルコミュニケーションを身につける
　　・その実践に不可欠なビジネスネットワークの役割と責任、構築方法を知る
個別目標：・プロのホスピタリティ、およびホスピタリティ産業を正しく理解し、その基礎知識とスキルを習得する。
　　・コンシェルジュの仕事を知り、あらゆる分野に活かせるプロのパーソナルコミュニケーションを身につける。
　　・プロのホスピタリティにおけるネットワークの意味と役割を知る。
　　・プロのネットワーク構築、強化拡大の方法を知る。

▌履修条件

参加型授業に積極的に取り組み、自ら研究、考察、発言する意欲ある者

▌評価基準・方法

・テスト・レポート等の提出状況と内容、プレゼンテーション 70 %
　授業でのディスカッション、ワークセッション等への取り組み姿勢、積極的発言、ホスピタリティ実践度 30 %　を基本として総合評価。
・授業出席 80 %、提出物期限内提出 80 %必須。

▌フィードバック方法

課題、ワーク等に対しては、授業でとりあげ、ポイントを共有し、自身で考える機会を含めてフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （相互コメント・ディスカッションを通じ、自ら考え、発信する）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション準備）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

適宜紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の目的、進行、内容の説明を聞き、理解する 事前学修 2.0hr：プロのホスピタリティとは何か、を自分なりに説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：ホスピタリティの目的とコンシェルジュの職務の確認
2 回	**授業テーマ：コンシェルジュとは？　仕事の特徴と概要** 授業内容：コンシェルジュの仕事の特徴と、役割を理解する 事前学修 2.0hr：コンシェルジュの仕事の特徴は何か、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：コンシェルジュの仕事についての確認と、疑問点のまとめ
3 回	**授業テーマ：コンシェルジュの”日常業務”とそのゴール** 授業内容：今後の授業の基礎知識として、コンシェルジュの日々の業務を知る 事前学修 2.0hr：コンシェルジュの日常業務はどんなことか、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：コンシェルジュの日常業務内容についての整理と、疑問点のまとめ
4 回	**授業テーマ：コンシェルジュの精神・哲学・資質** 授業内容：ホスピタリティのプロの心の持ちよう、考え方を知り、自身の強みを探る 事前学修 2.0hr：コンシェルジュに求められている「基本姿勢」は何か、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：コンシェルジュに重要なマインドとスピリットの確認と、疑問点のまとめ
5 回	**授業テーマ：コンシェルジュスピリットの実践** 授業内容：伝わるホスピタリティ発信のスキルを知る 事前学修 2.0hr：プロのホスピタリティの可視化、ホスピタリティを実践する、とは何をすることか、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：プロのホスピタリティ実践の心構えと手順について、確認と、疑問点のまとめ
6 回	**授業テーマ：プロのホスピタリティにおける顧客満足** 授業内容：プロにとって顧客とは誰か、満足とは何かを明確に理解する 事前学修 2.0hr：顧客とは誰か、満足とは何か、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：自分の顧客は誰か、その人に対して何ができるか、確認と、疑問点のまとめ
7 回	**授業テーマ：グループワーク①　お客様への提案** 授業内容：グループワーク　– お客様への提案内容を検討する 事前学修 2.0hr：ホスピタリティ提供に役立つお客様の特徴のとらえ方を考えておく 事後学修 2.0hr：相手の気持ちを読み解く視点、それに合わせた提案を整理
8 回	**授業テーマ：グループワーク②　お客様への提案** 授業内容：グループワーク　– お客様への提案の理由を明確にする 事前学修 2.0hr：提案内容を整理しておく 事後学修 2.0hr：相手の気持ちを読み解く視点、それに合わせた提案に不可欠な要素は何かを整理
9 回	**授業テーマ：グループプレゼンテーション** 授業内容：グループプレゼンテーション　– お客様への提案 事前学修 2.0hr：高品質のホスピタリティ提供のポイントを確認しておく 事後学修 2.0hr：自身のホスピタリティ実践における強み、弱みを確認

10回	**授業テーマ：グループプレゼンテーションへのフィードバック** 授業内容：グループワークへのフィードバックを通し、自身のホスピタリティの特徴を知る 事前学修 2.0hr：お客様の提案について、ほかの人の意見を理解、疑問点を挙げておく 事後学修 2.0hr：ホスピタリティ実践のさまざまな方法と効果を確認
11回	**授業テーマ：日本のホスピタリティ** 授業内容：その特徴、強み、弱みと今後の挑戦を知る 事前学修 2.0hr：日本のホスピタリティの特徴を説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：日本のホスピタリティの特徴と今後の課題について、確認と、疑問点のまとめ
12回	**授業テーマ：ホスピタリティのプロのネットワークの役割と責任** 授業内容：ホスピタリティ産業におけるネットワークの役割と責任を認識する 事前学修 2.0hr：ホスピタリティのプロのネットワークとはどういうことか説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：ホスピタリティのプロのネットワークについて、確認と、疑問点のまとめ
13回	**授業テーマ：個人ワーク　真心を伝える～** 授業内容：VIP を迎える手配を自ら考え、プロのネットワークの活用法を知る 事前学修 2.0hr：お客様の気持ちを読み取ってホスピタリティを実践することについて確認しておく 事後学修 2.0hr：ホスピタリティ実践を体験、ひとつひとつの意味を見直す
14回	**授業テーマ：コンシェルジュの歴史とレ・クレドール** 授業内容：コンシェルジュの歴史と　プロのホテルコンシェルジュのネットワーク組織について知識を得る 事前学修 2.0hr：現代のコンシェルジュの役割、位置づけを、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：現代のホスピタリティの役割、レ・クレドールの概要について整理する
15回	**授業テーマ：まとめ　ホスピタリティのプロになる　気づく力を身につける** 授業内容：プロ意識～きく力・みる力・感じ取る力を身につける 事前学修 2.0hr：観ること、感じ取ることの意味、重要性を説明できるように準備しておく 事後学修 2.0hr：自身の、今後のホスピタリティとのかかわり方を考える

パーソナル・コミュニケーション探究 B（国際平和と観光）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中野　実（なかの　みのる）

▌授業の概要

国際平和を考えるには国家の存在が前提としてあります。そして平和を理解するとは戦争の歴史を知ることでもあります。国際関係論を基礎学問として近代国家がどのようにして生まれ、どのような歴史を辿ってきたのかを理論を交えて考え、現在に至る国家間の問題を考察していきます。また争いを避けるために世界がどのように取り組んでいるのかに注目します。そのうえで実際に観光に影響を与えたケースを取り上げ平和と観光について考えます。また観光による平和構築の可能性も考えていきます。そして最後に、これらの理解をベースに私たち日本を取り巻く国際情勢を考えます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3）

一般目標：近代国家システムの中で紛争が起きるメカニズムや平和構築のための取り組みなどを学び、平和の大切さとそれに大きく依存している航空・観光業について理解を深める。

個別目標：・世界の観光地について、そこで起こった争いの歴史を調べ、どのような被害があり、そしてどのように復興への道をたどったのか説明できる。

・また授業で取り扱ったいくつかの国際的な仕組みや事象を複数の視点を交えて説明でき、取り組むべき課題を提示できるようになる。

▌履修条件

3 年次以上

国際平和に興味をもって積極的に授業に参加する意思があること

▌評価基準・方法

試験（50 %）、発表（20 %）、課題（20 %）、受講態度（10 %）

▌フィードバック方法

適宜 manaba の個別指導で行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発表、ディスカッション、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポン、発表、試験）

▌教科書

教科書指定なし。授業資料（レジメ）を毎回配布予定。

▌参考書

三船恵美（2012）基礎から学ぶ国際関係論、泉文堂

吉川直人・野口和彦編（2017）国際関係理論　勁草書房　他

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション：国際平和を考えるとは？** 授業内容：授業計画や評価基準を明確にし、国際平和を考えるとはどういうことなのかを理解する。 現在の世界の成り立ち、システム、戦争の原因、平和構築の努力、現在の対立軸など。 事前学修 2.0hr：ニュースなどで現在起きている戦争について理解しておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
2 回	**授業テーマ：国民国家と主権：近代国家システムの理解** 授業内容：いま当たり前のように存在している国家はどのようにしてできたのか？ そして世界中にある国家はどのような関係で成り立っているのかを考える。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
3 回	**授業テーマ：国家と戦争：戦争の歴史を考察する。** 授業内容：近代国家成立後、世界は国家間戦争を繰り返してきた。それらの戦争は国家間関係にどのような変化をもたらせたのかについて考える。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
4 回	**授業テーマ：冷戦：冷戦は平和だったのか？ 冷戦について理解を深める。** 授業内容：第 2 次世界大戦後、大国は直接戦うことなく対立してきた。それはなぜ始まって、どういう仕組みで、なぜ終結したのかについて理解する。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
5 回	**授業テーマ：国際関係理論：リアリズム、リベラリズム、コンストラクティビズム　＋【発表】** 授業内容：国際関係理論の三大潮流と言われる三つの理論を考察し、国家の行動を理解する。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
6 回	**授業テーマ：EU：ヨーロッパ統合の歴史。平和を目指した試みの歴史　＋【発表】** 授業内容：なぜヨーロッパが統合を目指したのか？ その統合の歴史を理解する。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
7 回	**授業テーマ：国際連合：国際連合の役割を理解する。　＋【発表】** 授業内容：国際連合の創設から仕組み、そして平和構築を担う現在の役割に至るまでを理解する。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
8 回	**授業テーマ：事例研究①　湾岸戦争の観光への影響　＋【発表】** 授業内容：1991 年に発生した湾岸戦争の観光への影響を考察する。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
9 回	**授業テーマ：国家とテロリズム　＋【発表】** 授業内容：21 世紀に入って増え続けているテロについて考える。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する

10回	**授業テーマ：事例研究②　9.11 同時多発テロの観光への影響　＋【発表】** 授業内容：2001 年に発生した同時多発テロの観光への影響を考察する。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
11回	**授業テーマ：民主主義と権威主義：現在の世界の対立軸を考える　＋【発表】** 授業内容：なぜ世界には対立軸となっている民主主義と権威主義の国々があるのか？ 市民側と統治側両方の視点を含めてそれぞれの特徴を理解する。ディベートまたはディスカッション。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
12回	**授業テーマ：観光による平和構築とは？** 授業内容：人々の観光行動はどのような平和構築をもたらすのかをグループに分かれ話し合い各グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：観光が平和構築に及ぼす影響を調べて来る 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
13回	**授業テーマ：日本の平和を考える①　日米関係と安全保障条約** 授業内容：なぜ日本はアメリカと同盟を結び日本国内にアメリカの基地があるのかを考える。そして黒船来航からの日米関係と戦後安全保障について理解する。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
14回	**授業テーマ：日本の平和を考える②　日本の戦争** 授業内容：明治以降、日本はなぜ何度も戦争をし、なぜ周辺アジア諸国に侵攻し、そしてなぜ本土が焦土と化するまで戦争を続けたのかを考える。鎖国から太平洋戦争終結まで日本のその当時の見方や意識を理解して戦争へと導かれた意識の構築を考える。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日に学んだ内容を整理する
15回	**授業テーマ：日本の平和を考える③　日本と周辺国の国際関係** 授業内容：日中、日韓、日露など日本を取り巻く国際関係を考える。戦後の領土問題や感情の問題について背景も含めて考察し問題点を理解し、最終的に平和を維持し続ける意味を考える。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて調べておく 事後学修 2.0hr：その日とこれまでに学んだ内容を整理する

パーソナル・コミュニケーション探究 C（マイノリティと共生社会）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

肖　子睿（しょう　しえい）

▌授業の概要

本講義では、マイノリティ、マジョリティ、共生社会の概念と関係性についてまず理解したうえ、日本社会におけるマイノリティの現状を取り上げて考察する。具体的に高齢者と障がい者を通して、共生社会作りにフォーカスして講義を進めていく。そして、共生社会構築にあたり、様々な手法のうち、本講義ではユニバーサルデザインやバリアフリーを提起し、その理念と概念を応用し、社会におけるユニバーサルデザインとバリアフリーの重要性と必要性に対する認識を深めていく。さらに事例研究を通して、高齢者、障がい者と共生社会の現状を把握して、その取り組みについて、深く探求していく。

なお、授業内容は諸条件により変更する場合がある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3）

一般目標：・マイノリティ、マジョリティと共生社会の関係性を理解し、認識を深めること。
・どのようにして共生社会を構築していくかを考察すること。
・観光におけるユニバーサルデザインとバリアフリーの事例研究を通して、日本、海外の現状を知ること
・身近の観光地の事例研究調査を行い、地域振興、観光振興のために意義のある提案をし、貢献できること。

個別目標：・共生社会に対して、自分自身の理解を深めること。
・共生社会で生きる価値観を身に着けること。
・課題研究で役割を分担し、よく協調をし、ともに成長して、よい発表を作るために貢献ができること。

▌履修条件

・マイノリティ、障碍者や高齢者、共生社会の実現について興味と意欲があること。
・観光におけるユニバーサルデザインとバリアフリーについて、理論と実践について、勉強意欲あること
・学習、研究調査にまじめに取り込み、チャレンジ精神を持つこと。
・講義に出席していることを前提とすること。

▌評価基準・方法

・レポート 30%（中間、最終）
・プレゼン発表 20 %
・授業参加 50 %（態度、出席）
講義でのディスカッション、プレゼンテーション、レポート提出、調査研究などの面を総合的に考慮し、評価する
原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を 通して行う、又は個別に実施する。
また、質問や感想を毎週積極的に投稿することを期待する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （個人ワーク、グループワーク、グループディスカッションを実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （利用する場合事前にお知らせします）

▌教科書

特になし
適時に資料配布する

▌参考書

「これからの共生社会を考える」
「建築・交通・まちづくりをつなぐ共生バリアフリーデザイン」
「尊厳なきバリアフリー」
「観光のユニバーサルデザイン」

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義内容全体の紹介、講義の進め方、講義スケジュールの確認、成績評価の基準について説明する。 事前学修 2.0hr：講義の概要をよく理解して、共生社会について各自、調べる。 事後学修 2.0hr：共生社会について各自調べたものをミニレポートにまとめる
2回	**授業テーマ：共生社会ってどんな社会？** 授業内容：定義と概念について、事例を通して、マイノリティと共生社会の重要性と関係性を学習する。 事前学修 2.0hr：テーマについて自分なりの見解と問題点をまとめる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
3回	**授業テーマ：日本におけるマイノリティと共生社会** 授業内容：日本におけるマイノリティと共生社会の全体像について考える 事前学修 2.0hr：テーマについて自分なりの見解と問題点をまとめる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
4回	**授業テーマ：偏見ってなんだろう？** 授業内容：偏見について考える 事前学修 2.0hr：テーマについて自分なりの見解と問題点をまとめる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
5回	**授業テーマ：障がい者と共生社会について（ゲストレクチャー）** 授業内容：日本の障がい者と共生社会について考える 障がい者と共生社会の現状、政策の取り組み 海外事例と比べる 事前学修 2.0hr：テーマについて自分なりの見解と問題点をまとめる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
6回	**授業テーマ：グループワーク・ディスカッション** 授業内容：グループごとに「身近にある共生社会に関する課題」を取り上げて、ミニプレゼンテーションをする。 事前学修 2.0hr：テーマについて再確認する 事後学修 2.0hr：他者の考え方と自分の見解との比較、レポートをまとめ、提出する

7回	**授業テーマ：人権を守るための法律を知ろう** 授業内容：日本の法律、海外の法律について 事前学修 2.0hr：テーマについて自分なりの見解と問題点をまとめる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
8回	**授業テーマ：学校でできる共生の取り組み** 授業内容：学校での取り組みについて 事前学修 2.0hr：テーマについて自分なりの見解と問題点をまとめる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
9回	**授業テーマ：メディアに登場するマイノリティ** 授業内容：メディアがマイノリティに及ぼす影響 事前学修 2.0hr：テーマについて自分なりの見解と問題点をまとめる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
10回	**授業テーマ：障がい者と共生社会について（ゲストレクチャー）** 授業内容：アメリカの事例 事前学修 2.0hr：テーマについて自分なりの見解と問題点をまとめる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
11回	**授業テーマ：共生社会の成功事例（日本、世界）** 授業内容：日本の事例や海外の事例について 事前学修 2.0hr：テーマについて自分なりの見解と問題点をまとめる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
12回	**授業テーマ：地域でできることを考える（ゲストレクチャー）** 授業内容：行政の取り組みについて 事前学修 2.0hr：行政の取り組みについて調べる 事後学修 2.0hr：調査の結果をまとめる
13回	**授業テーマ：観光におけるバリアフリー・ユニバーサルデザイン** 授業内容：観光におけるマイノリティ、共生社会、ユニバーサルデザインやバリアフリーの考え方 事前学修 2.0hr：観光におけるマイノリティ、共生社会、ユニバーサルデザインやバリアフリーの考え方について調べる 事後学修 2.0hr：調査の結果まとめ
14回	**授業テーマ：課題発表** 授業内容：講義で取り扱った内容に関連するものを各自で自由にテーマを設定し、調べ発表の準備をする 事前学修 2.0hr：発表の準備 事後学修 2.0hr：調査の振り返り
15回	**授業テーマ：課題発表、講義の総括** 授業内容：「共生社会の実現にむけて」の現状把握と問題点と対策について、まとめる。 事前学修 2.0hr：レポートテーマについて自分なりの見解と問題点を考える 事後学修 2.0hr：学習した内容を今後に生かせることを確認する

パーソナル・コミュニケーション探究 D（グローバル化と SDGs）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

米倉　義友（よねくら　よしとも）

▌授業の概要

SDG s は答えがすべて書かれており、答えを導くのではなく、答えにどうすればたどり着けるのか、そのプロセスを考える問題集です。ときには社会の仕組みを知らないことが力になることもあり、若い世代のほうが、より柔軟で、良い発想をもつ場合があります。しかし、仕組みを知らなければ、どうすればそれができるかを考えることは出来ません。環境・社会・経済の切り口で仕組みを理解し、自らの将来を考察しましょう。なお、指導環境や学生の希望などの状況により、内容が変更となる場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3）

一般目標：グローバルな課題を、現在、過去、未来を通して理解したうえで、データ分析や事実確認を正しく行い、激変する社会の中で、適切な判断ができる素養を身につけます。

個別目標：講義で取り上げる SDG s や ESG などについて、自分の意見を述べることができます。環境・社会・経済の基本的な知識を習得出来ます。

▌履修条件

SDG s に興味があり、能力を高めたい学生

事前学修課題を履行すること

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提条件とします。

発言・質問等授業への取り組み姿勢（30 %）、試験（70 %）の割合で総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

講義ごとに資料を配布します

▌参考書

適宜紹介します

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：グローバルな課題とは何か、評価や出席の取り扱いを解説します。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで、講義内容を確認する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
2 回	**授業テーマ：ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）誕生の背景** 授業内容：ＳＤＧｓ誕生までの流れを解説します。 事前学修 2.0hr：京都議定書、ミレニアム開発目標を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
3 回	**授業テーマ：ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）とは　①** 授業内容：１７の目標の貧困、飢餓、健康と福祉、教育、ジェンダー平等を解説します。 事前学修 2.0hr：偏る富、フェアトレード、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
4 回	**授業テーマ：ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）とは　②** 授業内容：１７の目標の安全な水、クリーンなエネルギー、経済成長、技術革新、不平等の是正を解説します。 事前学修 2.0hr：インダストリー　4.0、ニュー資本主義を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
5 回	**授業テーマ：ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）とは　③** 授業内容：１７の目標の持続可能な都市＆住居、持続可能な生産消費形態、気候変動、海洋• 海洋資源の保全、陸の豊かさを守ろうを解説します。 事前学修 2.0hr：エシカル消費、スマートシティ、地球温暖化を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
6 回	**授業テーマ：ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）とは　④** 授業内容：１７の目標の平和と公正、パートナーシップで目標達成を解説します。 事前学修 2.0hr：パートナーシップの必要性を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
7 回	**授業テーマ：持続可能な開発とは** 授業内容：3 要素（経済開発、社会的包摂、環境保護）の調和、5 つの主要原則（普遍性、包摂性、参画型、統合性、透明性と説明責任）を解説します。 事前学修 2.0hr：3 要素の調和を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
8 回	**授業テーマ：ＥＳＧとは** 授業内容：ＥＳＧ経営を解説します。 事前学修 2.0hr：Governance　ガバナンスを理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
9 回	**授業テーマ：ＥＳＧまでの流れ** 授業内容：ESG と CSR、CSV の違いを解説します。 事前学修 2.0hr：PRI(Principles for Responsible) Investment を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
10 回	**授業テーマ：ESG 投資** 授業内容：投資の現状を解説します。 事前学修 2.0hr：各国の状況とその背景を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
11 回	**授業テーマ：SX(sustainability transformation)** 授業内容：サステナビリティ経営とは何か、なぜサステナビリティ経営が必要なのかを解説する 事前学修 2.0hr：S X の戦略を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する

12回	**授業テーマ：GX(Green Transformation)** 授業内容：日本の現状を解説します。 事前学修 2.0hr：GX の取り組み事例を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
13回	**授業テーマ：日本の SDG ｓ& ESG** 授業内容：目指すべき未来を解説します。 事前学修 2.0hr：ジェンダー平等を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
14回	**授業テーマ：航空産業の SDGs の取り組み** 授業内容：解決に向けた取り組みを解説します。 事前学修 2.0hr：航空産業の課題を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：全体の振り返りを行います 事前学修 2.0hr：講義全体を振り返る 事後学修 2.0hr：試験準備

サービスコミュニケーション実習Ⅰ-a

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前/後

藤井　直子（ふじい　なおこ）

▌授業の概要

社会人として必要不可欠なマナーとコミュニケーションスキルを学びます。社会人としての心構えやマナーの重要性を理解し、ロールプレイングやグループワークを通じて、好感と信頼感を与える挨拶、表情、立ち居振る舞い、身嗜み、言葉遣いを実践的に修得します。
また、ホスピタリティマインドを身につけ、異なる立場や価値観を尊重し、日常のコミュニケーションにおいて活かす方法を学びます。相手の心情や状況に応じた柔軟な対応と円滑なコミュニケーションの基本スキルを習得し、信頼される社会人の基盤を築きます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3、HTM3）

一般目標：１．良好な人間関係を築き、円滑なコミュニケーションを図るために、ホスピタリティマインドを基盤としたマナーやコミュニケーションスキルの重要性を理解し、それを身につける。
２．チームや組織の目標達成に向け、自らの役割と責任を果たし、他者と協力しながら成果を上げる力を養う。

個別目標：⑴社会人としての心構えとマナーの重要性を理解し、説明できる。
⑵ホスピタリティの意味と重要性を理解し、マナー修得を通じてホスピタリティマインドを身につける。
⑶円滑なコミュニケーションを理解し、相手に好感と信頼感を与える振る舞いや言動ができる。
⑷敬語の基本を理解し、日常的に実践できる。
⑸来客応対や訪問時のマナーを理解し、実践できる。
⑹学んだマナーやコミュニケーションスキルを活かし、良好な人間関係を構築できる。
⑺演習や課題に主体的に取り組み、自分の意見を的確に伝えられる。
⑻グループディスカッションなどの共同作業において、他者と協力し、成果を上げ目標を達成できる。

▌履修条件

ホスピタリティに興味・関心を持つ学生が望ましい。
授業や課題において、目標を持ち主体的に取り組むこと。
協調性を持ち、グループワークやグループディスカッションに積極的に参画すること。
課題やレポートなどの提出物は、期限厳守を必須とする。

▌評価基準・方法

定期試験（筆記・実技）60%、授業での参画態度および課題 40%の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。授業態度や課題も重要な評価要素であり、主体的な授業参画と的確な課題提出が求められる。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題・レポート等のフィードバックは、各回の授業または学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、グループワーク、ロールプレイング、ケーススタディ）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （配布資料閲覧）

▌教科書

使用しない。資料は manaba で配信する。

▌参考書

必要に応じて授業内で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：①授業概要の説明：授業内容、到達目標、成績評価方法、授業共通ルールについて理解する。 ②自己紹介：学生同士が自己紹介を行い、交流を深める。 ③大学生と社会人の違いについてのディスカッション：グループディスカッションを通じて学生と社会人の違いを考察し、社会人としての心構えを理解し、身につける。 事前学修 2.0hr：①シラバスを読み、授業の流れや内容を把握する。 ②本講義で達成したい目標を考える。 ③自己紹介の内容を整理し、考えておく。 事後学修 2.0hr：①授業テーマへの関心を深めるとともに、全 15 回の授業内容を振り返り確認する。 ②社会人に求められる要素を整理し、自分の今後の目標を設定する。
2回	**授業テーマ：1. 円滑なコミュニケーションにおけるホスピタリティ・マナーと第一印象の重要性　2. マナーとコミュニケーションの基本 5 要素** 授業内容：①グループディスカッションを通じてマナーについて考察を深め、マナーとホスピタリティの意味や重要性について講義内容を理解する。 ②コミュニケーションにおける第一印象の重要性を理解し、マナーとコミュニケーションの基本要素を学ぶ。 事前学修 2.0hr：①マナーの重要性と意味について自分の考えをまとめる。 ②第一印象に影響を与える視覚的要素（外見、表情など）について考察する。 事後学修 2.0hr：マナーやコミュニケーション、第一印象がどのように職場やビジネスシーンで重要なのかを整理し、自分の考えをまとめる。
3回	**授業テーマ：マナー・コミュニケーションの基本 5 要素　1. 挨拶 2. 姿勢とお辞儀** 授業内容：①挨拶についてのディスカッション：日頃感じている挨拶に関することをグループディスカッションし、挨拶の効果について考察する。 ②気持ちが伝わる挨拶とお辞儀：気持ちが伝わる挨拶やお辞儀について学び、グループワークで実践する。 事前学修 2.0hr：挨拶の重要性について自分の考えをまとめ、感じの良い挨拶と好ましくない挨拶について、実際の経験談を交えて整理する。 事後学修 2.0hr：学修した感じの良い挨拶とお辞儀を日常生活で実践し、意識的に取り入れて習慣化する。
4回	**授業テーマ：マナー・コミュニケーションの基本５要素　3. 表情とアイコンタクト** 授業内容：①表情によるコミュニケーションの重要性について理解し、グループワークで好感を与える笑顔の練習をする。 ②歓迎、感謝、喜び、共感など気持ちの表現方法をグループワークを通して身につける。 事前学修 2.0hr：自分の日頃の表情について振り返り、どのような表情をしているかを自己分析する。特に、感情や状況に応じた表情の変化に注目する。 事後学修 2.0hr：学修した感じの良い表情を日常生活で実践し、意識的に表情を使ってコミュニケーションを図る。
5回	**授業テーマ：マナー・コミュニケーションの基本５要素　4. 信頼される社会人に必要な身嗜みの整え方** 授業内容：①ホスピタリティ産業における身嗜みの重要性を理解し、好感や信頼感をもたれる身嗜みの整え方を学ぶ。 ②身嗜みチェックシートに基づき、グループ内で互いの身嗜みをチェックし、出来ている点・改善点について共有する。 事前学修 2.0hr：①スーツを着用し、身嗜みを整えて授業に出席する。 ②身嗜みとは何かを考え、身嗜みの重要性についてまとめる。 事後学修 2.0hr：身嗜みチェックリストに基づき、日常的に身嗜みを整える習慣を身につける。

6回	**授業テーマ：マナー・コミュニケーションの基本５要素　5. 立ち居振る舞い・態度** 授業内容：①座り姿勢、歩き方、物の受け渡し方、言葉添えなど、信頼と好感を与える立ち居振る舞いについて学び、実践する。 ②気を付けるべき態度について理解し、適切な態度を身につける。 事前学修 2.0hr：好印象を与える立ち居振る舞いについて考え、どのような態度や行動が好印象を与えるかを整理し、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：学修した美しい立ち居振る舞いを練習し、日常生活で意識的に実践する。
7回	**授業テーマ：人間関係と話し方　1. 声の印象と発声の仕方** 授業内容：①声の印象とその重要性について学び、コミュニケーションにおける声の役割を理解する。 ②正しい発声方法を学び、グループワークで発声練習を行い、声による円滑なコミュニケーションの取り方を実践する。 事前学修 2.0hr：自分の声の印象を振り返り、どのように聞こえるかを分析する。具体的には、声のトーンやスピード、発音などに注意を払い、改善点を見つける。 事後学修 2.0hr：発声練習を継続的に行い、声の印象を向上させるための練習を日常的に実践する。
8回	**授業テーマ：人間関係と話し方　2. 言葉遣い　①敬語の基本** 授業内容：①人間関係における敬語の意味や役割について解説する。 ②敬語の基本を学び、グループワークを通じて、敬語の使い方を練習する。 事前学修 2.0hr：①配布資料「敬語の基本」を予習し、敬語の基本的な使い方を確認する。②日常生活で正しく敬語が使えているかを自己分析し、改善すべき点を見つける。 事後学修 2.0hr：正しい敬語遣いを復習し、日常生活で継続的に実践することで、敬語の使い方を定着させる。
9回	**授業テーマ：人間関係と話し方　2. 言葉遣い　②間違いやすい敬語　③信頼を失う表現** 授業内容：①間違いやすい敬語や信頼感を失う表現について理解し、誤解を招く表現がどのようなものかを学ぶ。 ②グループワークを通して、円滑なコミュニケーションに必要な適切な表現方法を身につける。 事前学修 2.0hr：①配布資料「間違いやすい敬語表現」を予習する。②自分が日頃使っている敬語や表現について、不安に思う点をまとめ、確認する。 事後学修 2.0hr：間違いやすい敬語を復習し、正しい使い方を日常生活で意識的に練習する。
10回	**授業テーマ：人間関係と話し方　3. 円滑なコミュニケーションにおける言語表現　④クッション言葉と依頼形　⑤接遇用語** 授業内容：①相手の心情や状況に応じたクッション言葉と表現方法について学び、適切な使い方を理解する。 ②グループワークで実際にクッション言葉を使った表現方法を練習し、円滑なコミュニケーションを図るためのスキルを身につける。 事前学修 2.0hr：配布資料「クッション言葉と依頼形・ビジネスシーンでの表現・接遇用語」を予習し、各表現方法を理解する。 事後学修 2.0hr：クッション言葉や接遇用語を復習し、日常のコミュニケーションで意識的に実践する。
11回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：身嗜みを整え、テーマに基づいたプレゼンテーションを実施する。(実技試験) 事前学修 2.0hr：①テーマについて 1 分以内でプレゼンテーションできるよう準備する。 ※テーマは事前に授業内および manaba で告知する。 ②身嗜みの確認 スーツ着用、表情、姿勢、目線、話し方など、プレゼンテーションに必要な身嗜みを整える。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの振り返り：自身のプレゼンテーションで良かった点と今後の課題を明確にし、改善に向けて具体的な行動を起こす。
12回	**授業テーマ：来客応対　1. 来客応対のマナー** 授業内容：受付からお見送りまでの手順とポイント ①受付～ご案内の仕方：受付からお客様をご案内する手順とポイントを学び、実践トレーニングを行う。 ②エレベーター・応接室での応対：エレベーターや応接室での席次や退室のマナーを学び、適切な応対を実践する。 ③お見送り：お見送りの際のポイントを学び、適切な応対を実践する。 以上の内容をロールプレイングで実践し、場面に応じた柔軟な応対力を養う。 事前学修 2.0hr：配布資料「来客応対のマナー」を予習し、来客応対の基本的なマナーを理解する。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ来客応対のマナーや手順について復習し、実践的に活用できるようにする。
13回	**授業テーマ：来客応対　2. 訪問のマナー** 授業内容：①訪問時の基本マナー：訪問前の準備、当日のマナー、手順について学び、ロールプレイングで実践トレーニングを行う。 ②名刺交換のマナー：名刺の考え方や交換の仕方について学び、ロールプレイングで実践する。 事前学修 2.0hr：配布資料「訪問のマナー」を予習し、訪問時の基本的なマナーと手順を理解する。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ訪問時のマナーや名刺交換の方法について復習し、実際の場面で活用できるようにする。
14回	**授業テーマ：振り返りと理解度チェック** 授業内容：これまでの授業内容を振り返り、自身のマナー・コミュニケーションスキルを確認する。 事前学修 2.0hr：授業内容の理解度チェックに備え、これまでの授業内容を復習し、確認すべきポイントを整理する。 事後学修 2.0hr：授業で明らかになった自分の課題を振り返り、改善方法を考え実践する。特に難しいと感じた部分に焦点を当てて克服する。
15回	**授業テーマ：前期の総括** 授業内容：①これまでの授業内容を振り返り、学んだ知識やスキルの定着度を確認する。 ②学んだマナーやコミュニケーションの基本について理解を深め、スキルの定着を目指す。 事前学修 2.0hr：①これまで学んだ授業内容を振り返り、理解したポイントと改善点を整理する。 ②自身が設定した目標を確認し、その達成度を振り返る。今後の目標に向けた行動計画を立てる。 事後学修 2.0hr：①自分の目標実現に向けて、現在の課題を再確認し、具体的な改善点を洗い出す。 ②目標達成に向けた行動計画を立て、実践する。

サービスコミュニケーション実習Ⅰ-b

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前/後

藤井　直子（ふじい　なおこ）

▌授業の概要

サービスコミュニケーション実習 1a で学修したホスピタリティマインド及びマナー・コミュニケーションスキルを基盤に、ビジネス社会で役立つ実践的なスキルを修得する授業です。ロールプレイングやケーススタディなどの演習を通して、相手の真意を理解するための話しの聴き方や自分の意見を的確に伝える方法を学ぶほか、電話応対や指示の受け方・報告の仕方など円滑かつ的確な業務遂行のためのスキルを身につけます。また、ビジネス文書の作成を通して、文書による基本的なコミュニケーション能力を身につけます。さらに、グループディスカッションを重ねることで、チームワークや協調性を発揮しながら、各自の役割を果たす責任感や目標達成能力を培います。多様なビジネスシーンで主体的かつ臨機応変にコミュニケーションを図る力を養い、社会で通用する人材としての基盤を築きます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3、HTM3）

一般目標：多様なビジネスシーンで求められる主体性、協調性、論理的思考力、柔軟性、臨機応変な対応力を養い、円滑なコミュニケーションを実現する能力を身につけます。

個別目標：①相手の真意を理解する「傾聴力」の重要性を理解し、そのスキルを修得して円滑なコミュニケーションを図ることができる。
②自分の意見や考えを論理的に整理し、的確に伝えることができる。
③相手からの指示を正しく理解し、課題提出やグループワークなど大学生活に必要な取り組みを的確に遂行する力を身につける。また、これを通して、社会で業務を円滑に遂行する力を修得する。
④ビジネス文書の特徴とマナー、作成方法を理解し、基本的な文書を作成できる。
⑤グループディスカッションやグループワークを通して、自分の役割を果たし、他者と協力しながら目標を達成できる。
⑥日常生活での諸活動において、ホスピタリティマインドを醸成し、相手や状況に応じた適切な言動や振る舞いを実践できる。

▌履修条件

授業や課題に対して目標を持ち、主体的に取り組む姿勢を持つこと。
協調性を持ち、グループワークやディスカッションに積極的に参画すること。
課題やレポートなどの提出物は、必ず期限を守ること。

▌評価基準・方法

定期試験（筆記・実技）60%、授業での参画態度および課題 40%の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。授業態度や課題も重要な評価要素であり、主体的な授業参画と的確な課題提出が求められる。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、各回の授業において、または学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、グループワーク、ロールプレイング、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業資料の閲覧、ビジネスメール作成、グループディスカッション時の意見まとめ）

▌教科書

なし。資料を配布する。

▌参考書

なし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：円滑なコミュニケーションスキル　1. 傾聴スキルの基本** 授業内容：相手の真意を理解するための心構えと傾聴スキルについて学び、ロールプレイングで実践的な演習を行い、傾聴スキルを養う。 事前学修 2.0hr：聴き方のセルフチェックを行い、話しを聴く際の自分の傾向や癖をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、自身の聴き方の傾向や良い点、改善点を明確にし、日常生活で傾聴スキルを実践できるようにする。
2回	**授業テーマ：円滑なコミュニケーションスキル　2. 伝わる話し方の基本** 授業内容：自分の意見や考え、情報を的確に分かりやすく伝える話し方の基本を学び、ケーススタディで実践力を身につける。 事前学修 2.0hr：自身の話し方の癖を分析し、どのような点が改善可能かを整理する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、自分の意見や情報の伝え方の傾向や良い点、改善点を明確にした上で、日常生活で実践する。
3回	**授業テーマ：円滑なコミュニケーションスキル　3. 的確に仕事を進めるための指示の受け方とメモの取り方** 授業内容：的確な指示の受け方、メモの取り方の重要性とそのポイントを学び、ケーススタディで実践力を養う。 事前学修 2.0hr：配布資料「指示の受け方・メモの取り方」を予習し、過去に指示を正確に受け取れなかった経験や、それによるトラブルを振り返り、まとめる。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ指示の的確な受け方を再確認し、実践ワークを復習する。学んだスキルを日常生活で実践する。
4回	**授業テーマ：円滑なコミュニケーションスキル　4. 報告・連絡・相談のポイント** 授業内容：報告の重要性と、的確な報告の仕方について学び、グループワークで演習を行い、実践力を修得する。 事前学修 2.0hr：配布資料「報告の仕方」を予習し、報告に関する基本的な考え方を整理する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、日常生活で実際に報告を行う際に実践する。
5回	**授業テーマ：電話応対　1. 電話の受け方** 授業内容：電話の受け方に必要な心構えとマナー、状況に応じた適切な表現について学び、ロールプレイングで実践力を身につける。 事前学修 2.0hr：配布資料「電話応対：電話の受け方」を読み、ポイントを整理する。 事後学修 2.0hr：授業で実施したロールプレイングを復習し、間違いやすい箇所や曖昧な表現を確認しながら声に出して練習する。
6回	**授業テーマ：電話応対　2. 電話のかけ方** 授業内容：電話のかけ方に必要な心構えとマナー、状況に応じた適切な表現について学び、ロールプレイングで実践力を身につける。 事前学修 2.0hr：配布資料「電話応対：電話のかけ方」を読み、ポイントを整理する。 事後学修 2.0hr：授業で実施したロールプレイングを復習し、間違いやすい箇所や曖昧な表現を確認し、声に出して練習する。
7回	**授業テーマ：ビジネス文書 1. ビジネスメールのマナーと相手に伝わる書き方** 授業内容：相手に伝わるメールのマナーと書き方について学び、演習を通して実践力を身につける。 事前学修 2.0hr：配布資料「ビジネスメールのマナー」を読み、重要なポイントを把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容および実践ワークを復習し、理解を深める。

8回	**授業テーマ：ビジネス文書　2. 社内文書と社外文書のマナーおよび相手に伝わる書き方** 授業内容：①社内文書の特徴とマナー、書き方について学び、演習を通して実践力を身につける。 ②社外文書の基本形式と慣用句について学修する。 事前学修 2.0hr：配布資料「社内文書・社外文書」を読み、重要なポイントを把握する。 事後学修 2.0hr：社内外文書作成のワークを振り返り、曖昧な箇所を正確に実践できるようする。
9回	**授業テーマ：クレーム対応とホスピタリティ** 授業内容：①クレーム対応時に必要な心構えや基本的な対応の流れ、ポイントを学び、実践に活かせる基本的な心構えとスキルを身につける。 ②グループワークで、実際のケーススタディを基にクレーム対応の演習を行い、適切な基本対応を実践できるようになる。 事前学修 2.0hr：配布資料「クレーム対応とホスピタリティ」を読み、クレーム対応時に必要な心構えや基本的な対応の流れを確認する。 事後学修 2.0hr：クレーム対応の心構えや基本を復習し、グループワークでのケーススタディを振り返り、課題と改善策を考える。
10回	**授業テーマ：伝わるプレゼンテーションの基礎** 授業内容：相手の行動変容を促すプレゼンテーション技法について学び、身近なテーマでプレゼンテーションを実施する。(テーマは事前に manaba で提示する) 事前学修 2.0hr：時事問題やホスピタリティ業界についての情報を収集し、自分の考えを整理する。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの技法について確認し、日頃から身近なテーマや時事問題に関心をもち、プレゼンテーションの練習をする。
11回	**授業テーマ：グループディスカッション　1. グループディスカッションの基本要素とステップ** 授業内容：グループディスカッションで必要な能力や役割及びステップについて理解し、グループディスカッションを通しそのスキルを養う。 事前学修 2.0hr：配布資料「グループディスカッション」を読み、授業内容を把握する。 事後学修 2.0hr：グループディスカッションで発揮できた能力や役割について振り返り、今後の課題を明確にする。
12回	**授業テーマ：グループディスカッション　2. コンセンサス** 授業内容：コンセンサスの意味と重要性を学び、グループディスカッションで、コンセンサスのとり方について実践する。 チーム内での目標設定をし、メンバー全員で、コンセンサスに基づき結論を導き出す。 事前学修 2.0hr：テーマについて自分の意見をまとめ伝え方を考える。 事後学修 2.0hr：グループ内での自分の役割やスキルをどのように果たせたかを振り返り、課題点を今後に生かす。
13回	**授業テーマ：グループディスカッション　3. プレゼンテーション** 授業内容：テーマについて、メンバー全員で意見やアイディアを出し合い、コンセンサスに基づき時間内に結論をまとめプレゼンテーションを行う。 事前学修 2.0hr：興味関心がある企業が提供している事業内容及びサービスについてリサーチし考察する。スーツ着用、身嗜みを整え、出席すること。 事後学修 2.0hr：ディスカッションを振り返り、良かった点、課題点を明確にし、今後のコミュニケーションの場面で生かす。
14回	**授業テーマ：学修内容の振り返りと理解度チェック** 授業内容：これまでの授業内容の理解度チェックを実施し、自身の理解度を確認する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容を復習をする。 事後学修 2.0hr：理解度チェック及びこれまでの授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：総括と今後の目標設定** 授業内容：これまでの授業で修得したこと、成長した点、課題を打ち出し、今後のキャリア形成へのプランを考える。 事前学修 2.0hr：授業の総復習をする。キャリア形成において今後の目標を設定する。 事後学修 2.0hr：設定した目標達成に向け計画を立て、行動をする。

サービスコミュニケーション実習Ⅱ

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

藤井　直子（ふじい　なおこ）

▌授業の概要

現代のビジネス環境で企業が取り組んでいる顧客体験価値について学び、各グループでテーマを設定しプレゼンテーションを実施します。円滑なコミュニケーションスキルの向上を目指し、ビジネスで活かせる論理的思考力やプレゼンテーション能力を養います。さらに、慶弔時のマナーや食事のマナー、グローバル社会で求められるプロトコール（国際儀礼）についても学び、場面に応じた柔軟な対応力を身につけます。
グループワークや意見交換等も活発に行い、楽しく実践的に学びながら、ビジネスパーソンに求められる知識やスキル、能力を修得することを目指します。
この授業を通して得る学びは、就職活動やキャリア形成にも活かせるものになります。共に学び合い成長していきましょう！
＊進捗状況に応じ、授業内容や順序に変更の可能性があります。
＊就職活動のための欠席は、証明書を提出完了で、3 回までを公欠扱いとします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3、HTM3）

一般目標：1. 良好な人間関係を構築し、円滑にビジネスを進めるために必要なコミュニケーション力を修得する。
2. 顧客体験価値を理解し、望ましい顧客体験の実現に向けた課題やアイディアを考察し、提案できる。
3. 異文化コミュニケーションの場面で必要とされる、状況に応じて柔軟かつ適切な判断力と対応力を身につける。

個別目標：⑴円滑なコミュニケーションとビジネスに求められる論理的思考力を身につけ、相手の行動を促すプレゼンテーションや情報発信ができる。
⑵グループ活動において自分の役割を果たし、協力しながら、時間内にテーマに沿った成果をプレゼンテーションで発表できる。
⑶顧客体験価値を理解し、顧客視点に立った柔軟な発想力と課題解決能力を養う。
⑷慶事・弔事に関する知識を深め、場面に応じたマナーを身につけ、実践できる。
⑸和食・洋食など食事のマナーを理解し、心構えと作法を修得し実践できる。
⑹国際儀礼の知識を身につけ、場面に応じた対応力を養う。

▌履修条件

ホスピタリティ、接遇、国際儀礼に興味・関心がある学生や、コミュニケーション力を向上させたいと考えている学生に最適です。
授業及び課題に目標を持ち主体的に取り組み、グループワークやディスカッション、プレゼンテーションを通じて協力し合いながら学ぶ姿勢を大切にすること。
課題やレポートなど提出物の期限厳守は必須である。

▌評価基準・方法

定期試験（筆記・実技）60%、授業での参画態度および課題 40%の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。授業態度や課題も重要な評価要素であり、主体的な授業参画と的確な課題提出が求められる。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、各回の授業において実施、または学修支援システム manaba の講評を各自で読み確認する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、プレゼンテーション、グループディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション）

▌教科書

マナー＆プロトコールの基礎知識
適宜資料を配布する。

▌参考書

必要に応じ授業内で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：①授業の概要、到達目標、成績評価方法、および共通ルールについて理解する。 ②自己紹介を行う。 ③事前学修で作成したホスピタリティ業界のリストをグループで共有し、整理・分類する。さらに、特に関心のある業界について話し合い、共通点を見つける。 事前学修 2.0hr：①シラバスを読み、本講義での自身の目標を考える。 ②ホスピタリティ産業に含まれる業界を 3 つ挙げ、中から最も興味のあるものを選び、その業界に属する企業を 2～3 社挙げる。 事後学修 2.0hr：授業テーマへの関心を持ち、全 15 回の授業内容について確認し、目標設定をする。
2回	**授業テーマ：ホスピタリティ産業における顧客体験価値の重要性と実践的活用** 授業内容：①プレゼンテーション発表の流れと内容：第 12～13 回で行うプレゼンテーション発表に向けた準備方法とその内容について詳しく説明する。 ②顧客体験価値の理解：顧客体験価値とは何か、その重要性と要素について学び、実際の事例を通じて理解を深める。 ③グループディスカッションとプレゼンテーション準備：各グループで顧客体験価値とホスピタリティについてのディスカッションを行い、プレゼンテーションテーマの決定や役割分担などリサーチ計画の策定を進める。 事前学修 2.0hr：最近利用したサービスや商品について、以下の点を振り返り考察する。 購入前：期待していたことや感じていた感情、選んだ理由を考える。 購入時：実際の体験や満足度について振り返る。 購入後：その体験が自分にとってどのような意味や価値を持ったかを考察する。 事後学修 2.0hr：顧客体験価値について復習し、グループでプレゼンテーションの準備を進める。
3回	**授業テーマ：1. 複数人での名刺交換　2. プレゼンテーションテーマについての考察（グループワーク）** 授業内容：①複数人での名刺交換：1 対 1 での名刺交換とは異なり、複数人での名刺交換に特有のマナーや順序を体得する。複数人の場での名刺交換を通じて、グループ全体での円滑なコミュニケーションを学ぶ。 ②グループワーク：プレゼンテーションテーマ「ホスピタリティ産業における顧客体験価値（CX）」について議論し、各グループで考察をまとめる。 事前学修 2.0hr：サービスコミュニケーション実習 1a で学んだ名刺交換のマナーや重要性を復習し、複数人での名刺交換に備える。 プレゼンテーションの準備として、テーマに関連する情報をリサーチし、グループ内で議論の土台となる資料や考えを整理する。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ名刺交換のスキルやビジネスマナーを振り返り、今後のビジネスシーンにどのように活かせるかを考える。 プレゼンテーションの準備として、グループでの議論内容をさらに深め、具体的なアイデアや発表資料の作成を進める。

4回	**授業テーマ：慶弔時のマナー１．慶事のマナー** 授業内容：結婚式やお祝い事など慶事における基本的な知識とマナーを学び、実際のビジネスや生活で活用できるスキルを修得する。 事前学修 2.0hr：テキスト第 8 章を予習し、慶事に関する基本的な知識とマナーを理解する。 事後学修 2.0hr：慶事のマナーについて復習し、授業で学んだ内容を日常生活やビジネスシーンでどう活用するかを考える。
5回	**授業テーマ：慶弔時のマナー２．弔事のマナー** 授業内容：葬儀などの弔事における基本的な知識とマナーを学び、ビジネスや生活で適切な対応ができるようにする。 事前学修 2.0hr：テキスト第 9 章を予習し、弔事に関する基本的な知識とマナーを理解する。 事後学修 2.0hr：弔事のマナーについて復習し、授業で学んだ内容を実際のシーンでどう活かすかを考える。
6回	**授業テーマ：食事のマナー** 授業内容：和食と洋食のテーブルマナーを学び、動画視聴を通じて食事の際の心得や作法を修得する。 ビジネスや日常生活で適切に振る舞えることを目指す。 事前学修 2.0hr：テキスト第 5 章を予習し、食事のマナーや食事中の心得について基本的な知識を理解する。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ食事のマナーと心得を復習し、実際の食事シーンでどのように活かすかを考え日常で実践する。
7回	**授業テーマ：国際人としてのプロトコール** 授業内容：異文化コミュニケーションを円滑に進めるための心構えと、グローバル社会で即役立つプロトコールマナーの基本知識を学ぶ。実際の国際的なビジネスや交流の場で必要な実践力を身につけることを目的とする。 事前学修 2.0hr：テキスト「序章～第 2 章」を予習し、異文化コミュニケーションに必要な心構えやプロトコールマナーの基本を理解する。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ異文化コミュニケーションのマナーや実践力を復習する。
8回	**授業テーマ：ロジカルシンキング　1. ロジカルシンキングの基礎** 授業内容：ロジカルシンキングの基本である演繹的思考・帰納的思考を学び、論理的に考える力を養う。さらに、MECE やロジックツリーといったフレームワークを活用し、日常生活やビジネスの場面でどのように役立てられるかを考える。実践的なワークを通じて、楽しみながら思考力を高めていく。 事前学修 2.0hr：配布資料「ロジカルシンキングの基礎」を読み、講義の流れを把握する。 事後学修 2.0hr：①授業で学んだ演繹的思考・帰納的思考を復習し、日常生活や学業でどのように活用できるかを考える。 ②授業中に取り組んだ課題を振り返り、論理的思考のプロセスで気づいた点や改善点を整理する。 ③次回のグループワークやプレゼンテーションに、学んだ思考法をどのように応用できるかを具体的にまとめる。
9回	**授業テーマ：ロジカルシンキング　2. ロジカルシンキングの実践** 授業内容：ロジカルシンキングの基礎を踏まえ、演習を通じて円滑なコミュニケーションを実現するための筋道の通った論理的思考力を身につける。複雑な情報を整理する方法を学び、日常やビジネスシーンで役立つ思考のフレームワークを実践的に活用できる力を養う。 事前学修 2.0hr：各グループでプレゼンテーションの準備を進めながら、ロジカルシンキングを実践的に考えていく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションに向けて、ロジカルシンキングを実際に活かす方法をグループで議論し準備を整えていく。
10回	**授業テーマ：相手の行動を促すプレゼンテーション** 授業内容：ビジネスや日常生活で実践的に使える、相手の行動を促すプレゼンテーション技法を学ぶ。プレゼンの全体像を理解し、わかりやすい構成を作成できるようにする。また、相手を動かすための説得力のある要素を整理し、実際に活用できるスキルを身につける。 事前学修 2.0hr：各グループでプレゼンテーションの準備を進める。 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを活かして、プレゼンテーションをさらにブラッシュアップ！ チームで議論し、改善を加えていく。
11回	**授業テーマ：プレゼンテーションテーマについての考察（グループワーク）** 授業内容：各グループでテーマについてディスカッションを行い、プレゼンテーションの準備を進める。 ① テーマに関する主張や結論、根拠を明確にし、筋道の通ったプレゼンテーション構成ができているか確認する。 ② プレゼンテーション実施に向けて、最終的な仕上げを行う（パワーポイント作成、機材確認、役割分担、発表練習などを含む） 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備を進める。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション実施に向けた最終準備を進める。
12回	**授業テーマ：プレゼンテーション発表** 授業内容：① 各グループがプレゼンテーションを実施する。② これまでのプレゼンテーションの成果を振り返り、学びや改善点を共有する。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション発表の準備・確認をする。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの振り返りを行い、改善点や学びを共有する。
13回	**授業テーマ：プレゼンテーション発表及び総括** 授業内容：① 各グループがプレゼンテーションを実施する。② これまでのプレゼンテーションの成果を振り返り、学びや改善点を共有する。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備・確認をする。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの振り返りを行い、改善点や学びを共有する。
14回	**授業テーマ：授業内容の理解度チェック** 授業内容：これまでの学びを振り返り、理解度を確認する。実際のケースを通して、自身の考えを整理し、より深く理解する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：理解度チェックで間違えた箇所や、知識があいまいな箇所を再度復習し、理解を深める。
15回	**授業テーマ：総括と今後の目標** 授業内容：これまでの学びを振り返り、自分の成長を実感する時間とする。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容を振り返り、自身の学びを整理する。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を再確認し、理解を深める。今後のキャリア形成に向けて、学びをどのように活かすかを考え、次のステップに向けて具体的に行動計画を立てる。

サービスコミュニケーション実習Ⅲ

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

三木　和見（みき　かずみ）

▌授業の概要

・社会生活においてコミュニケーションを豊かにするには、マナーが欠かせないことを理解し、さらにより豊かに生きるためのスキルを得る(SocialSkillの必要性)

・マナーを学ぶことをとおして、人や自然に対する感謝の気持ち、思いやるこころを育み、その「こころ」を「かたち」にして伝えることができることを目標とする

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3、HTM3）

一般目標：・生活文化を通じてマナーを多角的に学び、理解を深め、マナーやエチケットの大切さに気づき、実践できるようになる
・多様化する社会において、固定観念にとらわれず、柔軟な発想と他者に対する寛容さを備えるようになる

個別目標：1. 接遇マナーを学び、他者に対するおもてなしの気持ちを養い、適切な態度やことば遣い、マナーで交流できる
2. 食事マナーについて学び、会食時における適切なマナー、不快感を与えないエチケットを身につける
3. 冠婚葬祭や年中行事を学び、季節ごとの行事や人生における通過儀礼、そして現代にも息づく習慣を知る

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

・授業時の活動及び課題と期末レポートで評価

▌フィードバック方法

・課題等へのフィードバックは学修支援システム manaba をとおして実施

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （テーマに関しペアワーク、ロールプレーを実施します）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業内の課題を各自 PC から manaba にアクセスし、課題を提出します）

▌教科書

『イラストでわかる礼儀作法基本テキスト』小笠原敬承斎 著(日本能率協会マネジメントセンター)

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション、姿勢、お辞儀** 授業内容：・マナーとルールの必要性を理解し、まずは他者を第一に考えることが大切であることを理解する ・相手の立場に立ってものごとを考えること、気配りの大切さを理解する ・第一印象の重要性について学習(姿勢、立礼、身だしなみ、表情) 事前学修 1.0hr：教科書　P.3「はじめに」、P.12～「礼儀作法について」、P.22～「正しい姿勢」、P.26～「立礼について」を読む 事後学修 1.0hr：学習内容をふり返り、レポート 400 字にまとめて提出　manaba
2回	**授業テーマ：ことば遣い** 授業内容：・気持ちを言動をとおして伝えることの大切さ ・ことば遣いで相手に与える印象、ことばを使う際のこころ遣い、ことばの持つ力 事前学修 1.0hr：教科書 P.36～ 第 3 章 美しいことば遣い について読む 事後学修 1.0hr：教科書 P.42,43「理解度チェック」を行う
3回	**授業テーマ：物の持ち方** 授業内容：動作でこころを伝えることを理解し、相手に対して敬意を持って接する (物の持ち方、渡し方、物を持つ高さ、受け取り方) 事前学修 1.0hr：物を持つ時、物を渡す時、気をつけるべきこと、すべきことをまとめておく 事後学修 1.0hr：学習内容をふり返り、400 字レポート
4回	**授業テーマ：来客対応** 授業内容：お客様を迎える時の準備、席次の心得、茶菓の出し方、もてなしのこころ 事前学修 0.5hr：教科書 P.92～95 第 6 章 4「どの席に座るか」、6「茶菓の出し方」、7「自宅に招待する時」を読む 事後学修 1.0hr：学習内容をふり返り、自分の考えを 400 字レポートにまとめる　manaba
5回	**授業テーマ：訪問のマナー** 授業内容：・他家を訪問する際のこころ遣い、荷物について、手土産、そして訪問時間について ・洋室・和室でのこころ遣いを学習 事前学修 1.0hr：教科書 第 6 章 1,2,3,5「招かれた時(訪問)の心得」を読む 事後学修 1.0hr：教科書 P.96～「理解度チェック」を行う
6回	**授業テーマ：会社訪問、対応マナー** 授業内容：・他社訪問のマナー(ドアのマナー、椅子のマナー、アポイントメントのとり方、訪問時間など) ・来客対応のマナー(エレベーター、車、案内、呈茶、お見送りなど) 事前学修 1.0hr：教科書 第 10 章 1「ビジネスシーンでの身だしなみ」を読む 事後学修 1.0hr：学習内容をふり返り、400 字レポートにまとめる
7回	**授業テーマ：電話と手紙のマナー** 授業内容：電話応対の心得(受け方、取り次ぎ方、言葉遣いなど) ビジネス文書、手紙の書き方、お礼状の書き方 事前学修 1.0hr：教科書 P.46～ 第 4 章を読む 事後学修 1.0hr：教科書 P.60～「理解度チェック」を行う、訪問先へのお礼状を書く
8回	**授業テーマ：煎茶** 授業内容：美味しいお茶の入れ方、お茶の種類 事前学修 1.0hr：これまでの学習内容(呈茶、頂き方)を復習 事後学修 1.0hr：学習内容をふり返り、400 字レポート
9回	**授業テーマ：会食のマナー 1** 授業内容：・食事作法を身につける(箸について、箸の種類、自分に合う箸、正しい箸の持ち方) ・会食時におけるこころ遣い 事前学修 1.0hr：教科書 P.64～ 第 5 章 1 日本料理の基本、2 基本マナー、3 正しい箸の使い方を読む 事後学修 1.0hr：正しい箸の持ち方を実践

10回	**授業テーマ：会食のマナー 2** 授業内容：• 洋食をいただく際のマナー • ビュッフェ形式の食事マナー(ナプキン・カトラリーの扱い、乾杯の心得) 事前学修 1.0hr：教科書 第 5 章 P.70～74 /7 西洋料理のマナー、アルコール、立食パーティーについて を読む 事後学修 1.0hr：教科書 P.78～「理解度チェック」を行う
11回	**授業テーマ：冠婚葬祭のマナー 1** 授業内容：• 人生儀礼、結婚式のマナー • 祝い包み(金子包み)のマナー 事前学修 1.0hr：教科書 P.100～ 第 7 章 1～3 人生儀礼と結婚披露宴の心得 を読む 事後学修 1.0hr：祝い包みに表書をして提出
12回	**授業テーマ：冠婚葬祭のマナー 2** 授業内容：• 葬儀と忌みことば • 不祝儀の金子包み(焼香の心得) 事前学修 0.5hr：教科書 P.106～111 /4～6 葬儀について、慶弔のあいさつについて を読む 事後学修 1.0hr：教科書 P.112～「理解度チェック」を行う
13回	**授業テーマ：年中行事について** 授業内容：• 日本古来の正月行事と五節供、年中行事 事前学修 1.0hr：教科書 P.116～ 第 8 章 年中行事について を読む 事後学修 1.0hr：教科書 P.122～「理解度チェック」を行う
14回	**授業テーマ：面接マナー** 授業内容：面接の受け方(入室から退室まで一連の動作) 事前学修 1.0hr：これまでに学んだ姿勢、お辞儀、椅子のマナー、ドアのマナーを確認 事後学修 1.0hr：400 字レポート (manaba)
15回	**授業テーマ：復習(実技の確認)** 授業内容：これまでに学習した実技を総復習、補足説明 事前学修 1.0hr：これまでに学習した内容を確認 事後学修 4.0hr：400 字レポート

日本文化論

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

信常　幸恵（のぶつね　ゆきえ）

▌授業の概要

日本を訪れる外国人に自信を持って日本文化を紹介できるようになる知識を得るのが本講義の目的とする。グループディスカッション、ペアワークも取り入れ、双方向で授業を行うので、積極的な発言を期待する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、HTM1）

一般目標：日本文化、日本事象を海外からの目線を意識した上で理解し、自分の言葉で説明できるようになる知識を習得する。外国人の視点を踏まえた上で、訪日外国人が日本に対して持つ典型的な疑問のポイントを即座にとらえられるようになる。

個別目標：訪日外国人から質問を受けた際、的確に具体的に答えられるようになる。外国人からの質問を多面的に捉え、様々な視点を考慮にいれた上で、中身の濃い外国人が納得できる答えができるようになる。

▌履修条件

日本の文化、社会や歴史に関して幅広く興味と好奇心を持ち様々な事象を観察できるようになることを目指す学生を対象とする。

▌評価基準・方法

授業内ミニテスト 40 %、授業内における参加姿勢及び発言等 60 %の結果及び到達目標の達成度に基づき、総合的に評価する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。
対面にて補完的なフィードバックも行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、ペアワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。必要に応じてプリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス(評価方法の具体的説明)** 授業内容：インバウンドの旅客の視点で日本文化を考察する方法について学ぶ。 事前学修 1.0hr：情報収集 事後学修 3.0hr：本日の復習
2 回	**授業テーマ：日本の地理．歴史 1** 授業内容：縄文時代から安土桃山時代を中心に日本の歴史を学ぶ。日本の地理的特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
3 回	**授業テーマ：日本の地理．歴史 2** 授業内容：江戸時代以降を中心に日本の歴史を学ぶ。日本の地理的特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
4 回	**授業テーマ：観光** 授業内容：日本の観光地(東京、京都その他)の特徴及びインバウンド旅客が観光に何を求めて来るのかを考察する。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
5 回	**授業テーマ：和食** 授業内容：和食の特徴及びインバウンド旅客が興味を持つ和食の特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
6 回	**授業テーマ：舞台芸術．音楽** 授業内容：日本の伝統文化(歌舞伎、能、文楽等)の特徴について学ぶ。邦楽の特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
7 回	**授業テーマ：美術．工芸** 授業内容：日本画、陶芸等、日本美術の特徴について考察する。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
8 回	**授業テーマ：スポーツ．娯楽** 授業内容：日本の国技、人気のあるスポーツや娯楽について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
9 回	**授業テーマ：宗教** 授業内容：神道、仏教を中心に日本の宗教の特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
10 回	**授業テーマ：文化行事．祝祭日** 授業内容：日本の年中行事について文化的側面を中心に学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
11 回	**授業テーマ：生活様式** 授業内容：日本独特の生活様式について学ぶ。インバウンド旅客が疑問に思う点について考察する。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習

12回	**授業テーマ：教育** 授業内容：日本の義務教育、高等教育の特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
13回	**授業テーマ：ビジネス** 授業内容：日本のビジネス慣習の特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
14回	**授業テーマ：訪日外国人から見た日本人** 授業内容：江戸時代以降の参考文献を中心に日本を訪れた外国人が見た日本文化の特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に資料を読み要点をチェックする。 事後学修 2.0hr：本日の復習
15回	**授業テーマ：まとめ及び最終ミニテスト** 授業内容：日本文化全般のまとめと各自がインバウンド旅客に日本文化の説明を行う時の要点を再確認する。 事前学修 2.0hr：今までの授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：本日の復習

世界遺産論

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

山田　正芳（やまだ　まさよし）

▌授業の概要

世界遺産は、人類や自然によって過去から現在へと引き継がれてきたかけがえのない宝物であると同時に、未来へと引き継がなければならない貴重なものでもある。そして旅行業界においても、国内外ツアーを作成するにあたり、世界遺産は不可欠な観光素材になっている。そんな世界遺産に関し、基礎知識から遺産そのものの文化的、歴史的知識を講義する。また、アクティブラーニングの手法を導入し、随時学生には質疑意見を求め、双方向の授業を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、HTM1）

一般目標：講義を通じて、世界遺産の成り立ちを学び、世界遺産の存在価値、重要性等を認識する。
個別目標：世界遺産の価値、重要性を学ぶことで、世界遺産検定３級の取得を目指す。

▌履修条件

世界遺産に関し、深い探求心と興味を持っている学生。または世界遺産検定３級の取得を希望する学生。

▌評価基準・方法

授業態度（１０%）、適宜行う小テスト又はコメントシート（２０%）、期末試験（７０%）の要素を総合的に勘案し判断する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （随時ディスカッションにより、検定内容の理解を深める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

「きほんを学ぶ世界遺産１００　世界遺産検定３級公式テキスト」NPO 法人世界遺産アカデミー監修・発行

▌参考書

授業内で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　授業ガイダンス** 授業内容：シラバスに従い、授業の進め方、評価方法など説明する。また、世界遺産検定について、検定までの日程、検定試験の内容などを説明する。さらに導入講義として、人気の世界遺産を学ぶ。 事前学修 2.0hr：情報収集 事後学修 2.0hr：本日の復習
2回	**授業テーマ：世界遺産の基礎知識について** 授業内容：世界遺産の歴史や成り立ち、世界遺産条約制定のきっかけになった事象、世界遺産に登録されるまでの流れや条件など、世界遺産に関する基本的な知識を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
3回	**授業テーマ：日本の世界遺産（１）** 授業内容：日本の世界遺産（知床、白神山地、平泉等）とその遺産に関連する世界の世界遺産を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
4回	**授業テーマ：日本の世界遺産（２）** 授業内容：日本の世界遺産（小笠原諸島、富士山、白川五箇山の合掌造り等）とその遺産に関連する世界の世界遺産を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
5回	**授業テーマ：日本の世界遺産（３）** 授業内容：日本の世界遺産（奈良、法隆寺、百舌鳥古市古墳群等）とその遺産に関連する世界の世界遺産を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
6回	**授業テーマ：日本の世界遺産（４）** 授業内容：日本の世界遺産（石見銀山、厳島神社、原爆ドーム等）とその遺産に関連する世界の世界遺産を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
7回	**授業テーマ：日本の世界遺産（５）** 授業内容：日本の世界遺産（沖ノ島、沖縄、屋久島等）とその遺産に関連する世界の世界遺産を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
8回	**授業テーマ：人類の誕生と古代文明** 授業内容：テキストのチャプター３を中心に学ぶ。特に地中海沿岸に勃興した文明に関する遺産や、ローマ帝国に関する遺産を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
9回	**授業テーマ：アジア世界の形成と宗教** 授業内容：テキストのチャプター４を中心に学ぶ。特に中国や東南アジアに存在する遺産や、仏教やイスラム教に関する遺産を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
10回	**授業テーマ：ヨーロッパ中世とルネサンス、大航海時代** 授業内容：テキストのチャプター５を中心に学ぶ。特に中世ヨーロッパの大きな出来事、例えばレコンキスタの舞台はグラナダ、ルネッサンス発祥地のフィレンツェなどを学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習

11回	**授業テーマ：アメリカ、アフリカ、オセアニアの文明と東アジアの変動** 授業内容：テキストのチャプター６を中心に学ぶ。特にアメリカ大陸には、現在も謎な部分が多い古代文明がたくさん存在する。例えばインカ遺跡のマチュピチュ、マヤ遺跡のチチェンイッツァなどを学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
12回	**授業テーマ：近代国家の成立と世界の近代化** 授業内容：テキストのチャプター７を中心に学ぶ。特に、絶対王政の象徴ヴェルサイユ宮殿、ハプスブルク家の離宮シェーンブルン宮殿、歴史のない首都ブラジリアなどを学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
13回	**授業テーマ：テーマ(文化的景観、戦争、紛争等)でみる世界遺産** 授業内容：テキストのチャプター８を中心に学ぶ。具体的には、自然と文化が融合した遺産(文化的景観)や、戦争や紛争、災害などで危機的な状況になっている遺産(危機遺産)や、今後決して現れてはいけない建造物等(負の遺産)を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
14回	**授業テーマ：世界の自然遺産** 授業内容：テキストのチャプター９を中心に世界の自然遺産を集中的に学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習
15回	**授業テーマ：世界遺産の総復習** 授業内容：今まで学んだ世界遺産に関するすべてを復習することで、今後の世界遺産の在り方、存在意義などを考えてみる。 事前学修 2.0hr：事前にテキストを講読 事後学修 2.0hr：本日の復習

デスティネーション研究 A（日本）

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

山田　正芳（やまだ　まさよし）

▌授業の概要

日本という国は、北海道から沖縄までの東西、南北に長く、四季を持つことも含め、大変見所が多い国である。しかしながら世界的に見て、日本という国が観光立国かというと訪日外国人数は順調に伸びているとはいえ、世界の名だたる観光立国と比較するとまだまだ差があるという現実もある。こういった点からこの講義では、日本全国の観光地を取り上げ、日本人のみならず外国人の方々にも日本のすばらしい文化、歴史、観光などが案内できるように講義する。また、アクティブラーニングの手法を導入し、随時学生には質疑意見を求め、双方向の授業を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、HTM1）

一般目標：日本各地の幅広い観光知識を身につけ、同時に日本ならではの文化・自然を知る。

個別目標：日本各地の様々な観光知識を身につけ、全国各地に旅行する者(外国人観光客を含む)に、わかりやすく説明できるようになる。また、国内ツアーの商品開発等もできるようになる。

▌履修条件

国内観光に関して幅広く興味を持っている人、好奇心旺盛な人など旅行を商品として扱う人に必要な条件を持つ、又は持つために努力できることが履修条件です。

▌評価基準・方法

期末テスト(７０%)、適宜行う小テスト又はコメントシート(２０%)、授業態度など(１０%)に基づき総合的に評価する。また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （随時ディスカッションにより、各国の理解を深める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。プリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　授業についてのガイダンス** 授業内容：シラバスを基に、到達目標、授業概要、評価方法及び評価基準並びに授業の進め方について説明する。また、地図等を用いて日本各地の観光地を簡単に紹介し、学習する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、日本の有名観光地のイメージを挙げておく 事後学修 2.0hr：興味を持った都道府県に関する事を調べる
2回	**授業テーマ：山陽地方の観光研究１** 授業内容：山陽地方で最も人気の高い広島県を中心に学習する。特に、2 つの世界遺産(原爆ドーム、厳島神社)に関しては深く学ぶ。 事前学修 2.0hr：広島県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
3回	**授業テーマ：山陽地方の観光研究２** 授業内容：山陽地方、特に山口県を中心に学習する。自然観光地(秋吉台、秋芳洞)や、幕末の志士が多く生まれた萩などを深く学ぶ。 事前学修 2.0hr：山口県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
4回	**授業テーマ：四国地方の観光研究１** 授業内容：四国周遊ツアーをモデルとして、香川県、愛媛県などを学習する。香川県は「こんぴら参り」で有名な金刀比羅宮、愛媛県は日本三古湯でもある道後温泉などを深く学ぶ。 事前学修 2.0hr：香川県、愛媛県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
5回	**授業テーマ：四国地方の観光研究２** 授業内容：四国周遊ツアーをモデルとして、高知県、徳島県などを学習する。高知県は坂本龍馬ゆかりの桂浜、徳島県は自然観光地(渦潮、渓谷)などを深く学ぶ。 事前学修 2.0hr：高知県、徳島県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
6回	**授業テーマ：東北地方の観光研究１** 授業内容：東北周遊ツアーをモデルとして、青森県を学習する。青森県は奥入瀬渓谷や十和田湖といった自然観光地から、弘前城などの歴史的建造物も学ぶ。 事前学修 2.0hr：青森県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
7回	**授業テーマ：東北地方の観光研究２** 授業内容：東北周遊ツアーをモデルとして、岩手県を学習する。岩手県には平泉という世界遺産があり、美しい渓谷美などが多く、そういった部分を深く学ぶ。 事前学修 2.0hr：岩手県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
8回	**授業テーマ：東北地方の観光研究３** 授業内容：東北周遊ツアーをモデルとして、秋田県、宮城県を学習する。秋田県発祥の「なまはげ伝説」や、宮城県の偉人、伊達政宗公ゆかりの地などを深く学ぶ。 事前学修 2.0hr：秋田県、宮城県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
9回	**授業テーマ：北陸地方の観光研究１** 授業内容：北陸周遊ツアーをモデルとして、日本人にも外国人にも高い人気がある石川県を学習する。日本三名園の一つ兼六園を始め、歴史深い建物が並ぶひがし茶屋街、焼物、染物といった名産品なども学ぶ。 事前学修 2.0hr：石川県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる

10回	**授業テーマ：北陸地方の観光研究２** 授業内容：北陸周遊ツアーをモデルとして、富山県を学習する。富山県には立山連峰がそびえるが、その山々を様々な乗り物でダイナミックに観光するアルペンルートを中心に学ぶ。 事前学修 2.0hr：富山県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
11回	**授業テーマ：北陸地方の観光研究３** 授業内容：北陸周遊ツアーをモデルとして、福井県を学習する。特に北陸の名刹永平寺や、海に突き出した東尋坊など絶景観光地を学ぶ。 事前学修 2.0hr：福井県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
12回	**授業テーマ：南九州地方の観光研究１** 授業内容：南九州周遊ツアーをモデルとして、宮崎県を学習する。「神話の国」と呼ばれる宮崎県には神々を祀るパワースポットが多く、そういった観光地を中心に学ぶ。 事前学修 2.0hr：宮崎県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
13回	**授業テーマ：南九州地方の観光研究２** 授業内容：南九州周遊ツアーをモデルとして、鹿児島県を学習する。１年に千回近く噴火する桜島や、太平洋戦争末期の悲しい歴史の中心地、知覧などを中心に学ぶ。 事前学修 2.0hr：鹿児島県の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
14回	**授業テーマ：北海道地方の観光研究** 授業内容：「行ってみたい都道府県」で常に１位を取るほどの人気の北海道について、札幌、函館を中心に学ぶ。 事前学修 2.0hr：北海道の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
15回	**授業テーマ：国内観光の将来性** 授業内容：今まで様々な日本の観光地を学んできて、今後どのような観光地を目指すべきか、問題点はないか、新しい観光資源を生むことは出来るか、といったことを学んでいく。 事前学修 2.0hr：今まで学んだ都道府県の復習をする 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理する

デスティネーション研究 B（ヨーロッパ）

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

山田　正芳（やまだ　まさよし）

▌授業の概要

ヨーロッパの国々、特に日本人観光客に人気のある国をピックアップして講義する。中でも特別な 5 カ国(イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン)に関しては、各旅行会社も多彩なツアーを催行していることから 2 回づつ重点的に講義する。ヨーロッパの観光、歴史、風習、食事、スポーツなどのテーマを通じて、ヨーロッパの幅広い観光知識を持てるようにする。また、アクティブラーニングの手法を導入し、随時学生には質疑意見を求め、双方向の授業を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、HTM1）

一般目標：ヨーロッパ各国、とりわけ旅行業界で商品となりうる国々の様々な観光知識を身につけ、同時にヨーロッパの深い文化・歴史を知る。
個別目標：ヨーロッパ各国の様々な観光知識を身につけ、それらの国へ渡航する旅行者に対し、わかりやすく説明できるようになる。また、ヨーロッパツアーの商品開発等もできるようになる。

▌履修条件

ヨーロッパ各国に関して幅広く興味を持っている人、それらの国々に行ってみたい人、好奇心旺盛な人など、旅行を商品として扱う人に必要な条件を持つ、又は持つために努力できることが履修条件です。

▌評価基準・方法

期末試験(７０%)、適宜行う小テスト又はコメントシート(２０%)、授業態度など(１０%)に基づき総合的に評価する。また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （随時ディスカッションにより、各国の理解を深める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。プリントを配布する。

▌参考書

適宜授業内で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　授業ガイダンス** 授業内容：シラバスを基に、到達目標、授業概要、評価方法及び評価基準並びに授業の進め方について説明する。また、地図等を用いてヨーロッパ各国の観光地を簡単に紹介し、学習する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、ヨーロッパの国々のイメージを挙げておく 事後学修 2.0hr：興味を持ったヨーロッパの国に関する事を調べる
2回	**授業テーマ：イギリスの観光研究(1)** 授業内容：イギリスの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、首都ロンドンの観光資源(バッキンガム宮殿やビッグベン等)についても深く学ぶ。 事前学修 2.0hr：イギリスの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
3回	**授業テーマ：イギリスの観光研究(2)** 授業内容：イギリスの様々な文化(アフタヌーンティ、パブ等)についてや、ロンドン以外の観光地(シェイクスピアゆかりの地、絵本作家ポターゆかりの地)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：イギリスの地方都市について調べる 事後学修 2.0hr：イギリスで最も興味を持った都市をさらに調べる
4回	**授業テーマ：フランスの観光研究(1)** 授業内容：フランスの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、首都パリの観光資源(凱旋門、エッフェル塔等)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：フランスの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
5回	**授業テーマ：フランスの観光研究(2)** 授業内容：フランスの美術館や、パリ以外の地方の観光地(ヴェルサイユ宮殿、モンサンミシェル等)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：フランスの地方都市について調べる 事後学修 2.0hr：フランスで最も興味を持った都市をさらに調べる
6回	**授業テーマ：ドイツの観光研究(１)** 授業内容：ドイツの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、日本人に最も人気のある観光街道(ロマンチック街道)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：ドイツの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、ドイツの文化をさらに調べる
7回	**授業テーマ：ドイツの観光研究(２)** 授業内容：前回に続き、日本人に高い人気を誇る観光街道(古城街道)沿いの街を学ぶ。さらに、ドイツの様々な文化(祭り、ビール、名産品等)も学ぶ。 事前学修 2.0hr：ドイツの観光街道について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
8回	**授業テーマ：イタリアの観光研究(1)** 授業内容：イタリアの国情報(国名、人口、面積、食文化等)を学び、首都ローマの観光資源(コロッセオ、トレビの泉等)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：イタリアの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
9回	**授業テーマ：イタリアの観光研究(2)** 授業内容：ローマ以外のイタリアの人気観光地(フィレンツェ、ベネチア、ミラノ)を学ぶ。特にフィレンツェではイタリア絵画を、ベネチアでは水の都になった理由を、ミラノではダビンチの名画を、それぞれ学ぶ。 事前学修 2.0hr：イタリアのミラノ、フィレンツェ、ベニスについて調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
10回	**授業テーマ：スペインの観光研究(1)** 授業内容：スペインの国情報(国名、人口、面積、言語等)を学び、さらにスペインの文化(スペインバル、フラメンコ、祭)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：スペインの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、文化歴史をさらに調べる

11回	**授業テーマ：スペインの観光研究(2)** 授業内容：スペインの二大観光都市(マドリード、バルセロナ)を学ぶ。特にマドリードではプラド美術館を、バルセロナではガウディの建築群を、それぞれ学ぶ。 事前学修 2.0hr：マドリード、バルセロナについてさらに調べる 事後学修 2.0hr：スペインで興味を持った地方都市をさらに調べる
12回	**授業テーマ：オランダの観光研究** 授業内容：オランダの国情報(国名、人口、面積、言語等)を学び、さらに首都アムステルダムの観光資源(国立美術館、運河クルーズ等)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：オランダの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
13回	**授業テーマ：ベルギーの観光研究** 授業内容：ベルギーの国情報(国名、人口、面積、言語等)を学び、さらに首都ブリュッセルの観光資源や、日本でも人気の物語の舞台でもあるアントワープについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：ベルギーの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
14回	**授業テーマ：オーストリアの観光研究** 授業内容：オーストリアの国情報(国名、人口、面積、言語等)を学び、さらに首都ウィーンの観光資源やハプスブルク家の歴史、そしてオーストリアのカフェ文化などについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：オーストリアの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
15回	**授業テーマ：その他の小国の観光研究** 授業内容：ヨーロッパの小国をいくつかピックアップし、学ぶ。スイスの山々やチェコの首都プラハの美しい街並みなどを学ぶ。 事前学修 2.0hr：スイス、チェコの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理する

デスティネーション研究Ｃ（南北アメリカ）

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

山田　正芳（やまだ　まさよし）

▌授業の概要

南北アメリカ大陸において毎年多くの日本人観光客が訪れるアメリカ合衆国を中心に、各都市ごとの観光地や文化などを講義する。また、アメリカ合衆国に勝るとも劣らない人気国カナダの大自然観光地や、絶景世界遺産が多い南米各国の観光資源を講義し、南北アメリカ大陸の幅広い観光知識を持てるように講義する。また、アクティブラーニングの手法を導入し、随時学生には質疑意見を求め、双方向の授業を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、HTM1）

一般目標：南北アメリカ各国の様々な観光知識を身につけ、同時に南北アメリカ各国の深い自然・文化を知る。

個別目標：南北アメリカ各国の様々な観光知識を身につけ、それらの国々に渡航する旅行者に対し、わかりやすく説明できるようになる。また、南北アメリカツアーの商品開発等もできるようになる。

▌履修条件

南北アメリカ各国に関して幅広く興味を持っている人、それらの国々に行ってみたい人、好奇心旺盛な人など、旅行を商品として扱う人に必要な条件を持つ、又は持つために努力できることが履修条件です。

▌評価基準・方法

期末試験（７０%）、適宜行う小テスト又はコメントシート（２０%）、授業態度など（１０%）に基づき総合的に評価する。また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （随時ディスカッションにより、各国の理解を深める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。プリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　授業ガイダンス** 授業内容：シラバスを基に、到達目標、授業概要、評価方法及び評価基準並びに授業の進め方について説明する。また、地図等を用いて北米及び南米各国の観光地を簡単に紹介し、学習する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、南北アメリカの国々のイメージを挙げておく 事後学修 2.0hr：興味を持った南北アメリカの国に関する事を調べる
2回	**授業テーマ：カナダの観光研究(1)** 授業内容：カナダの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、カナダ観光の玄関口、バンクーバーやビクトリアについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：カナダの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
3回	**授業テーマ：カナダの観光研究(2)** 授業内容：カナダ観光の最重要地でもある世界遺産カナディアンロッキーについて学ぶ。内容としては、カナディアンロッキーの国立公園、特に美しい湖や山や滝などについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：カナディアンロッキーについて自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
4回	**授業テーマ：カナダの観光研究(3)** 授業内容：カナダ東海岸に伸びる人気観光街道、メープル街道沿いの街(モントリオール、オタワなど)や、世界三大瀑布の一つナイアガラの滝について学ぶ。 事前学修 2.0hr：カナダ東海岸の都市について自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
5回	**授業テーマ：アメリカ合衆国の観光研究(1)** 授業内容：アメリカ合衆国の国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、首都ワシントンＤＣの観光地(ホワイトハウス、国会議事堂等)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：アメリカ合衆国の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
6回	**授業テーマ：アメリカ合衆国の観光研究(2)** 授業内容：観光客に一番人気になっている国内最大都市ニューヨークを取り上げ、特に自由の女神やブロードウェイ、セントラルパークなどを中心に学ぶ。 事前学修 2.0hr：アメリカ東部の観光都市について自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
7回	**授業テーマ：アメリカ合衆国の観光研究(3)** 授業内容：アメリカ南部の観光地を中心に学ぶ。具体的には「音楽の都」ニューオーリンズや、テーマパーク王国のオーランドなどを学ぶ。 事前学修 2.0hr：アメリカ南部の観光都市について自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
8回	**授業テーマ：アメリカ合衆国の観光研究(4)** 授業内容：アメリカに多数ある国立公園の中で、特に日本人観光客に人気の高い国立公園をピックアップして学ぶ。さらに国立公園の由来なども学ぶ。 事前学修 2.0hr：アメリカの国立公園や自然について自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
9回	**授業テーマ：アメリカ合衆国の観光研究(5)** 授業内容：アメリカ西海岸の人気都市をピックアップし、学ぶ。具体的には、ロサンゼルスのハリウッド、サンフランシスコのゴールデンゲートブリッジ、ラスベガスのカジノビジネスなどについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：アメリカ西海岸の観光地について自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる

10回	**授業テーマ：メキシコの観光研究（1）** 授業内容：メキシコの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、さらにメキシコの様々な文化(食、祭、音楽等)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：メキシコの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
11回	**授業テーマ：メキシコの観光研究（2）** 授業内容：メキシコの首都メキシコシティの観光施設を学ぶ。さらに、ユカタン半島に広がるマヤ遺跡(特にチチェンイッツァ)に関し深く学ぶ。 事前学修 2.0hr：メキシコシティの観光地について自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
12回	**授業テーマ：ペルーの観光研究** 授業内容：ペルーの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、さらにインカ帝国時代の遺跡(マチュピチュなど)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：ペルーの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
13回	**授業テーマ：ブラジルの観光研究** 授業内容：ブラジルの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、さらに世界遺産に登録されているリオデジャネイロの観光施設やカーニバルについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：ブラジルの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
14回	**授業テーマ：アルゼンチンの観光研究** 授業内容：アルゼンチンの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、さらにアルゼンチンの音楽や南米のパリと呼ばれる首都ブエノスアイレスの観光施設を学ぶ。 事前学修 2.0hr：アルゼンチンの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
15回	**授業テーマ：その他の南米の観光地について** 授業内容：ここまでの講義で触れることのなかった南米の絶景観光地を学ぶ。具体的には、ボリビアの塩湖、ブラジルの砂丘、アルゼンチンの氷河などを学ぶ。 事前学修 2.0hr：シラバスに明記されている南米の観光地を調べておく 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理する

デスティネーション研究 D（アジア）

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

山田　正芳（やまだ　まさよし）

▌授業の概要

日本人観光客の行ってみたい旅行先としてアジアは常に上位にランクされている。そういった見地からアジア各国の観光、歴史、食事、特産品といった広範囲な情報を講義する。特に韓国や中国といった訪日観光客が多い国などは、その国の文化なども掘り下げて講義し、総合的にアジアという大陸文化を理解出来るように講義する。また、アクティブラーニングの手法を導入し、随時学生には質疑意見を求め、双方向の授業を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、HTM1）

一般目標：アジア各国、とりわけ旅行業界で商品となりうる国々の観光知識を身につけ、同時にアジアの深い歴史文化を知る。

個別目標：アジア各国の様々な観光知識を身につけ、それらの国々へ渡航する旅行者に対し、わかりやすく説明できるようになる。また、アジアツアーの商品開発等もできるようになる。

▌履修条件

アジア各国に関して幅広く興味を持っている人、それらの国々に行ってみたい人、好奇心旺盛な人など、旅行を商品として扱う人に必要な条件を持つ、又は持つために努力できることが履修条件です。

▌評価基準・方法

期末試験（７０%）、適宜行う小テスト又はコメントシート（２０%）、授業態度など（１０%）に基づき総合的に評価する。また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。なお、定期試験のフィードバックは、学習支援システム manaba を通して行う。

▌フィードバック方法

学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （随時ディスカッションにより、各国の理解を深める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。プリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　授業のガイダンス** 授業内容：シラバスを基に、到達目標、授業概要、評価方法及び評価基準並びに授業の進め方について説明する。また、地図等を用いてアジア各国の観光地を簡単に紹介し、学習する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、アジアの国々のイメージを挙げておく 事後学修 2.0hr：興味を持ったアジアの国に関する事を調べる
2回	**授業テーマ：大韓民国の観光研究（１）** 授業内容：韓国の国情報（国名、人口、面積、通貨等）を学び、国内最大都市ソウルの観光施設（宮殿、市場等）についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：韓国の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
3回	**授業テーマ：大韓民国の観光研究（２）** 授業内容：ソウル以外の韓国の人気観光地をピックアップし、学ぶ。具体的には、港町の釜山や韓国のハワイとも呼ばれる済州島などを学ぶ。 事前学修 2.0hr：韓国の地方都市について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
4回	**授業テーマ：中国の観光研究（１）** 授業内容：中国の国情報（国名、人口、面積、通貨等）を学び、首都北京の観光施設（天安門、故宮等）や郊外の万里の長城についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：中国の基本情報と北京について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
5回	**授業テーマ：中国の観光研究（２）** 授業内容：国内随一の経済都市上海の観光施設について学ぶ。また、上海郊外に位置する「水の都」蘇州や、近年日本から直行便も運航されている杭州についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：中国の地方都市について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
6回	**授業テーマ：中国の観光研究（３）** 授業内容：北京や上海のような大都会以外の地方都市（秦の始皇帝ゆかりの西安、絶景が見られる世界自然遺産等）をいくつかピックアップし、学ぶ。 事前学修 2.0hr：中国の地方都市について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
7回	**授業テーマ：中国の観光研究（４）** 授業内容：香港・マカオの都市情報（正式名称、人口、面積、等）を学び、香港の観光施設や食文化、またマカオでは巨大なカジノビジネスについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：香港・マカオの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
8回	**授業テーマ：台湾の観光研究** 授業内容：台湾の情報（正式名称、人口、面積、通貨等）を学び、最大都市台北の観光施設（龍山寺、故宮博物院等）や食文化についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：台湾の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
9回	**授業テーマ：ベトナムの観光研究** 授業内容：ベトナムの国情報（国名、人口、面積、通貨等）を学び、首都ハノイ、及び国内最大都市ホーチミンシティの観光施設、名産品についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：ベトナムの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
10回	**授業テーマ：タイの観光研究** 授業内容：タイの国情報（国名、人口、面積、通貨等）を学び、首都バンコクの観光施設、及びタイフードについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：タイの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる

11回	**授業テーマ：シンガポールの観光研究** 授業内容：シンガポールの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、シンガポール市内の観光施設、市内に多く建つコロニアルホテルの特徴、シンガポールフードについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：シンガポールの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
12回	**授業テーマ：マレーシアの観光研究** 授業内容：マレーシアの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、首都クアラルンプールの観光施設(モスク、市場等)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：マレーシアの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
13回	**授業テーマ：インドの観光研究** 授業内容：インドの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学ぶ。また、通称ゴールデントライアングルと呼ばれる３つの街からデリーとアーグラの観光施設を取り上げ、さらにヒンドゥー教の聖地についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：インドの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
14回	**授業テーマ：東南アジアの小国の観光研究(１)** 授業内容：スリランカ、カンボジアの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、スリランカではブッダの歯が祀られる仏歯寺、カンボジアではアンコール遺跡について学ぶ。 事前学修 2.0hr：予告された国の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
15回	**授業テーマ：東南アジアの小国の観光研究(２)** 授業内容：ラオス、フィリピン他の国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、ラオスではルアンパバーン、フィリピンではいろいろな島について学ぶ。 事前学修 2.0hr：予告された国の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる

デスティネーション研究 E（オセアニア、太平洋地域）

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

山田　正芳（やまだ　まさよし）

▌授業の概要

オセアニア、太平洋地域には、オーストラリア、ニュージーランドのように発展した地域がある一方、地図で見ると点にしかならないような小さな島々も多く存在する。豊かな海に恵まれたこの地域は自然資源に恵まれているが、観光という点ではまだまだ未開発の地域も多く、今後、これらの地域の発展に観光産業が大きな役割を果たすことは間違いない。このような地域の特性を歴史や文化を踏まえて理解をすることが今後の観光と地域発展にとって重要である。この講義では、多くの観光客が訪れる国および島々を取り上げ、観光資源だけでなく、自然・文化についても講義していく。また、アクティブラーニングの手法を導入し、随時学生には質疑意見を求め、双方向の授業を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、HTM1）

一般目標：オセアニア・太平洋地域の概要とディスティネーションとしての魅力を理解し、旅行商品の企画や説明に必要な基本事項の習得を目的とする。(概要、文化、歴史、経済、政治、観光資源等)

個別目標：オセアニア・太平洋地域の様々な観光知識を身につけ、それらの国々へ渡航する旅行者に対し、わかりやすく説明できるようになる。また、オセアニア・太平洋地域の商品開発等もできるようになる。

▌履修条件

オセアニア・太平洋地域の各国に関して幅広く興味を持っている人、それらの国々に行ってみたい人、好奇心旺盛な人など、旅行を商品として扱う人に必要な条件を持つ、又は持つために努力できることが履修条件です。

▌評価基準・方法

期末試験（７０%）、適宜行う小テスト又はコメントシート（２０%）、授業態度など（１０%）に基づき総合的に評価する。また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

フィードバックは、学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （随時ディスカッションにより、各国の理解を深める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。プリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　授業ガイダンス** 授業内容：シラバスを基に、到達目標、授業概要、評価方法及び評価基準並びに授業の進め方について説明する。また、地図等を用いてオセアニア各国の観光地を簡単に紹介し、学習する。 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読んで、オセアニア・南太平洋地域の国々のイメージを挙げておく 事後学修 2.0hr：オセアニア、南太平洋地域の概略について復習する
2回	**授業テーマ：ニュージーランドの観光研究（１）** 授業内容：ニュージーランドの国情報(国名、人口、面積、通貨等)を学び、国内最大都市オークランドの観光施設や、ニュージーランド固有の動物についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：ニュージーランドの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
3回	**授業テーマ：ニュージーランドの観光研究（２）** 授業内容：オークランド以外の観光地について学ぶ。具体的には、ガーデンシティと呼ばれるクライストチャーチや、ダイナミックなフィヨルドが美しいミルフォードサウンドなどを学ぶ。 事前学修 2.0hr：南島について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、南島の観光地をさらに調べる
4回	**授業テーマ：オーストラリアの観光研究（１）** 授業内容：オーストラリアの国情報(国名、人口、面積、通貨、歴史、航空会社等)を学ぶ。また、オーストラリア固有の動物についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：オーストラリアの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
5回	**授業テーマ：オーストラリアの観光研究（２）** 授業内容：国内最大都市シドニーの歴史や観光施設、特に世界遺産のオペラハウスについて深く学ぶ。 事前学修 2.0hr：シドニーの観光地、歴史などを調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、シドニーについてさらに調べる
6回	**授業テーマ：オーストラリアの観光研究（３）** 授業内容：日本から直行便も就航している人気の街メルボルンについて学ぶ。メルボルン市内の観光施設を始め、郊外にある可愛い動物を見ることができるフィリップ島なども学ぶ。 事前学修 2.0hr：メルボルンの観光地、歴史などを調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、地方都市についてさらに調べる
7回	**授業テーマ：オーストラリアの観光研究（４）** 授業内容：シドニー、メルボルンといった大都会以外の人気都市をピックアップして学ぶ。具体的には、西オーストラリア州の州都パースや、マリンスポーツが楽しめるケアンズなどを学ぶ。 事前学修 2.0hr：パース、ケアンズについて調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、自然観光地についてさらに調べる
8回	**授業テーマ：ニューカレドニアの観光研究** 授業内容：ニューカレドニアの国情報(国名、人口、面積、通貨、歴史、航空会社等)を学ぶ。また、島の中心地ヌーメアの観光施設や、離島観光について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ニューカレドニアについて事前調査をする 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、ニューカレドニアの特徴や観光資源について復習する
9回	**授業テーマ：フィジーの観光研究** 授業内容：フィジーの国情報(国名、人口、面積、通貨、歴史等)を学ぶ。また、フィジーの様々な文化や、名産品なども学ぶ。 事前学修 2.0hr：フィジーについて事前調査をする 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、フィジーの特徴や観光資源について復習する

10回	**授業テーマ：ハワイ州の観光研究（1）** 授業内容：ハワイ州の基本情報(人口、面積、歴史、禁止事項等)を学ぶ。また、フラやウクレレといったハワイ独特の文化等も学ぶ。 事前学修 2.0hr：ハワイの各島について事前調査をする 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、ハワイ諸島の文化について復習する
11回	**授業テーマ：ハワイ州の観光研究（2）** 授業内容：ハワイ州の島々の中で日本人観光客に最も人気のあるオアフ島を中心に歴史や観光地について学ぶ。また、ハワイの人気フードなども学ぶ。 事前学修 2.0hr：オアフ島の観光地について事前調査をする 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、オアフ島の特徴と観光地について復習する
12回	**授業テーマ：ハワイ州の観光研究（3）** 授業内容：ハワイ州の島々の中で最大の面積を誇るハワイ島の観光地や、現在も噴火活動をしている火山群などについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ハワイ島の観光地について事前調査をする 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、ハワイ島の特徴と観光地について復習する
13回	**授業テーマ：イースター島(ラパヌイ)の観光研究（1）** 授業内容：イースター島の基本情報(人口、面積、歴史等)を学ぶ。また、モアイ像の歴史も学ぶ。 事前学修 2.0hr：イースター島について事前調査をする 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、イースター島の全般と歴史について復習する
14回	**授業テーマ：イースター島(ラパヌイ)の観光研究（2）** 授業内容：前回の講義で学べなかったモアイに関する事項(モアイはどうやって作った、どうやって運んだ等)を学ぶ。また、イースター島の土産や、モアイ以外の観光地を学ぶ。 事前学修 2.0hr：モアイ像について事前調査をする 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、ラパヌイの全てについて復習する
15回	**授業テーマ：グアム・パラオの観光研究** 授業内容：グアム、パラオの基本情報(人口、面積、歴史等)を学ぶ。また、グアムの観光エリアやパラオの美しい島々などを学ぶ。 事前学修 2.0hr：グアム・パラオについて事前調査をする 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、グアム・パラオの特徴と観光地について復習する

デスティネーション研究 F（アフリカ、中東地域等）

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

山田　正芳（やまだ　まさよし）

▌授業の概要

アフリカ・中東地域は日本人にとってなじみの薄いデスティネーションかもしれない。2010 年に起きた民主化運動「アラブの春」以降、治安が不安定になった北アフリカ各国や、宗教間の争いが絶えない中東各国を見ると、旅行先としては安全性の確保から考慮してもリスクがあるかもしれない。しかしそのような地域の中でも、観光資源に恵まれ、さらに治安が安定している国があるのも事実である。この講義では、アフリカ・中東の国々のうち日本人観光客に比較的人気のある国を中心に、観光資源だけでなく、宗教や文化についても講義していく。また、アクティブラーニングの手法を導入し、随時学生には質疑意見を求め、双方向の授業を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、HTM1）

一般目標：アフリカ・中東各国、とりわけ旅行業界で商品となりうる国々の観光知識を身につけ、同時にアフリカ・中東各国の深い歴史・文化を知る。
個別目標：アフリカ・中東各国の様々な観光知識を身につけ、それらの国へ渡航する旅行者に対し、わかりやすく説明できるようになる。また、アフリカツアー、中東ツアーの商品開発等もできるようになる。

▌履修条件

アフリカ・中東各国に関して幅広く興味を持っている人、それらの国々へ行ってみたい人、好奇心旺盛な人など、旅行を商品として扱う人に必要な条件を持つ、又は持つために努力できることが履修条件です。

▌評価基準・方法

期末試験（７０%）、適宜行う小テスト又はコメントシート（２０%）、授業態度など（１０%）の結果に基づき総合的に評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。なお、定期試験のフィードバックは、学習支援システム manaba を通して行う。

▌フィードバック方法

学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （随時ディスカッションにより、各国の理解を深める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。プリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　授業ガイダンス** 授業内容：シラバスを基に、到達目標、授業概要、評価方法及び評価基準並びに授業の進め方について説明する。また、地図等を用いて中東やアフリカの各国の観光地を簡単に紹介し、学習する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、中東・アフリカの国々のイメージを挙げておく 事後学修 2.0hr：興味を持った中東・アフリカの国に関する事を調べる
2回	**授業テーマ：トルコの観光研究（１）** 授業内容：トルコの国情報（国名、人口、面積、通貨、歴史等）を学び、国内最大都市イスタンブールの歴史や観光施設についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：トルコの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
3回	**授業テーマ：トルコの観光研究（２）** 授業内容：トルコの遺跡や自然観光地を中心に学ぶ。具体的には、木馬で有名なトロイ遺跡、真っ白な温泉地のパムッカレ、奇岩が並ぶカッパドキアなどを学ぶ。 事前学修 2.0hr：トルコの地方都市について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
4回	**授業テーマ：トルコの観光研究（３）** 授業内容：トルコで見られる様々な文化（踊り、サウナ、料理など）を学ぶ。また、名産品も学ぶ。 事前学修 2.0hr：トルコの文化について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
5回	**授業テーマ：アラブ首長国連邦の観光研究（１）** 授業内容：アラブ首長国連邦の国情報（国名、人口、面積、通貨等）を学び、首都アブダビの巨大モスクや豪華ホテルなどを学ぶ。また、民族衣装などについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：アラブ首長国連邦の基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
6回	**授業テーマ：アラブ首長国連邦の観光研究（２）** 授業内容：アラブ首長国連邦の中で、観光客が最も集まるドバイについて様々事柄（歴史、観光施設など）を学ぶ。また、中東独特の市場、マーケットについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：アラブ首長国連邦のドバイについて調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
7回	**授業テーマ：中東の宗教研究（イスラム教）** 授業内容：中東における主要な宗教であるイスラム教を学ぶ。特に、イスラム教の始まりや発展、聖地などについて学び、観光と宗教の関連性を研究する。 事前学修 2.0hr：について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
8回	**授業テーマ：イスラエルの観光研究（１）** 授業内容：イスラエルの国情報（国名、人口、面積、通貨等）を学び、三大宗教（ユダヤ、キリスト、イスラム）の聖地が集まるエルサレムについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：イスラエルの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
9回	**授業テーマ：イスラエルの観光研究（２）** 授業内容：新約聖書の舞台となっている町々を学ぶと同時に、聖書の内容も理解する。キリストが生まれた場所に建つ教会や、キリストが磔になった場所に建つ教会なども学ぶ。 事前学修 2.0hr：旧約・新約聖書について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる

10回	**授業テーマ：南アフリカの観光研究（1）** 授業内容：南アフリカの国情報（国名、人口、面積、通貨等）を学ぶ。また、南アフリカの悪法アパルトヘイト（人種隔離政策）なども学ぶ。さらに野生動物の宝庫である国立公園も学ぶ。 事前学修 2.0hr：南アフリカの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
11回	**授業テーマ：南アフリカの観光研究（2）** 授業内容：南アフリカ観光の中心都市ケープタウンや、その沖合にある世界遺産のロベン島などを学ぶ。また、アフリカ大陸最南西端に位置する喜望峰なども学ぶ。 事前学修 2.0hr：ケープタウンについて調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
12回	**授業テーマ：モロッコの観光研究（1）** 授業内容：モロッコの国情報（国名、人口、面積、通貨、歴史等）を学び、国内最大都市カサブランカやモロッコ料理についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：モロッコの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
13回	**授業テーマ：モロッコの観光研究（2）** 授業内容：国内最大都市カサブランカ以外の観光都市をピックアップして学ぶ。具体的には、世界最大の迷路と言われるフェズや、アフリカの交易都市マラケシュなどを学ぶ。 事前学修 2.0hr：モロッコの地方都市について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
14回	**授業テーマ：エジプトの観光研究（1）** 授業内容：エジプトの国情報（国名、人口、面積、通貨、歴史等）を学ぶ。さらにエジプトの食文化やピラミッドについても学ぶ。 事前学修 2.0hr：エジプトの基本情報について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、観光都市をさらに調べる
15回	**授業テーマ：エジプトの観光研究（2）** 授業内容：エジプトの観光客に人気の観光地、ルクソールとアブシンベル神殿を学ぶ。特にアブシンベル神殿は世界遺産条約との関係についても深く学ぶ。さらにエジプトの名産品なども学ぶ。 事前学修 2.0hr：エジプトの観光地について調べる 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理する

ホスピタリティ論

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

立石　貴子 (たていし　たかこ)

▌授業の概要

“ホスピタリティ”の語源から始まり、その重要性、時代の背景などによって、これからも変化することを理解する。
相手の見えない気持ちを洞察し、その気持ちに寄り添い満たすことによってしか成り立たない技術としての“ホスピタリティ”を
ロジックで捉え、さらにサービス業界やホスピタリティ業界などのコラムや事例研究をグループワークやディスカッションを通じ
“ホスピタリティ”を身近に感じ実生活に生かして行けるようにする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：ホスピタリティだけではなく、マナーやサービスの違いも理解し、相手の感じ方、捉え方を把握するための「相手への配慮」、
その技術の習得を目指す。また、アルバイト先や普段の生活の中でその時、目の前の相手に、いま何ができるのかを考え、
一歩踏み出せるようにする。

個別目標：心の問題ではなく、技術としてのホスピタリティを理解し、これからのアルバイト先、インターンシップ先や普段の生活の中で、
相手に寄り添うことがどういうことなのか感じ取り、実際に動ける力を身に付ける。

▌履修条件

必修科目のため、該当する学生

▌評価基準・方法

期末試験 40%、授業態度・授業への参加姿勢 20%、気付きのミニレポート (複数回)40%
原則、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは次回の授業内で行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、ディスカッション等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業内で使用する資料の配布等）

▌教科書

使用しない

▌参考書

必要に応じて、授業内で紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ホスピタリティ・イントロダクション** 授業内容：講義の進め方、評価方法等の説明 一般的なホスピタリティの理解とこの授業で学ぶホスピタリティの違い 事前学修 2.0hr：ホスピタリティを重要視している業界、職種を探し、ホスピタリティの意味を発表できるようにする 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、次回授業内容について調べる
2 回	**授業テーマ：ホスピタリティとは** 授業内容：一般的に理解されているホスピタリティとこの授業で進めていくホスピタリティ理論を理解する 事前学修 2.0hr：一般的に理解されているホスピタリティの意味を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習と理解
3 回	**授業テーマ：ホスピタリティの語源、歴史背景** 授業内容：ホスピタリティの語源を理解し、その歴史的な時代の変遷を把握する 同時に混同されているマナーやサービスの言葉の違いを理解する 事前学修 2.0hr：ホスピタリティの語源を調べ、関連する言葉や変遷を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
4 回	**授業テーマ：なぜ、今、ホスピタリティが重要視されているのか** 授業内容：戦後の時代の変遷、その中で求められたサービスやホスピタリティを理解する また、21 世紀はホスピタリティの時代とも言われ、重要視された背景を理解する 事前学修 2.0hr：戦後の日本の変遷、成長、時代の変化を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
5 回	**授業テーマ：求められる「チーム力」** 授業内容：一人では成し得ないホスピタリティ コラムを読んで、グループワークをする中で「チーム力」の必要性を考える 事前学修 2.0hr：コラムを読んで、自分の考えをまとめる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、他のチームの意見と自分たちの意見の違いを考える
6 回	**授業テーマ：求められる「360°意識」** 授業内容：満足と不満足の評価を考えながら、常に全方向への意識が必要であることを理解する 事前学修 2.0hr：顧客の満足と不満足がどのような場合、どのような行動で起こるのかを考える 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
7 回	**授業テーマ：ホスピタリティ実現への 10 の基本行動　1)①** 授業内容：ホスピタリティを実現するために必要となる基本行動を理解する コラムを読んで、グループワークをする中で一番大切な行動について考える 事前学修 2.0hr：コラムを読んで、自分の考えをまとめる 事後学修 2.0hr：次回授業の事前下調べ (授業中に指示)
8 回	**授業テーマ：ホスピタリティ実現への 10 の基本行動　2)②～④** 授業内容：ホスピタリティを実現するために必要となる基本行動を理解する 事前学修 2.0hr：前回の基本行動以外に大切だと思う行動を考える 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
9 回	**授業テーマ：ホスピタリティ実現への 10 の基本行動　3)⑤～⑩** 授業内容：ホスピタリティを実現するために必要となる基本行動を理解する 事前学修 2.0hr：前々回、前回の基本行動以外に大切だと思う行動を考える 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、自身の行動を振り返り、その理由を考える

10回	**授業テーマ：お客様の評価** 授業内容：アルバイト先で自分がお客様からどのように評価されるかを考えるのと同時に、自身が客体として 相手を評価するときを考え、コラムを読んだ感想も含めグループディスカッションを通じ、お客様の評価を理解する 事前学修 2.0hr：コラムを読んで、自分の考えをまとめる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、他のチームの意見と自分たちの意見の違いを考える
11回	**授業テーマ：事例研究　1)　レストラン編** 授業内容：実際のホテルの現場で起きている事例を紹介し、「せつない」思いをさせてしまったお客様に 満足のいくサービス、そしてホスピタリティにまで高められるかをグループワークで行う 事前学修 2.0hr：自身のアルバイト等での接客体験から失敗事例を見つけ、改善策を考える 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、他のチームの意見と自分たちの意見の違いを考える
12回	**授業テーマ：事例研究　2)　飲食店** 授業内容：飲食現場で起きている事例を複数取り上げ、同様の事例や類似した事例をグループワークを しながら、サービスとして行えること、またどのようなことでその事例がホスピタリティに 繋がるかを考える 事前学修 2.0hr：自身のアルバイト等での変化や気づきをまとめる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、他のチームの意見と自分たちの意見の違いを考える
13回	**授業テーマ：事例研究　3)　ホテルの取組み** 授業内容：ある地方シティホテルでの顧客サービスの取組みを取り上げ、スタッフとして、また顧客の立場 としての感じ方をグループワークをしながら考察していく 事前学修 2.0hr：資料を読んで、自身の考えをまとめる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、他のチームの意見と自分たちの意見の違いを考える
14回	**授業テーマ：「顧客配慮」を考える** 授業内容：顧客配慮の説明を行ったのち、ペアワークで行う どのようなことが「配慮」となるのか、配慮する側と配慮される側の感じ方を学びとる 事前学修 2.0hr：「顧客配慮」を調べ、自身の考えをまとめる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、実生活で行い相手の反応がどうだったのかまとめる
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：この授業内容の総復習を行い、学んだこと、感じたこと、実生活で行ってみたこと それらによって自身の変化に気づきながら、ホスピタリティを理解する 事前学修 2.0hr：学習内容を復習する 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、実生活で行い相手の反応がどうだったのかまとめる

ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅰ

開講学科等：HT ｜ 1年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前

岩本　英和 (いわもと　ひでかず)

▌授業の概要

この授業はホスピタリティ・ツーリズム(ＨＴ)について学ぶにあたり入門となるコースです。理論学習を中心に設計された授業は、ツーリズムの定義、概念、歴史、ニューツーリズムや地域振興をはじめ、経済、文化、環境、貧困など社会的な事象との関連についても学習し、ツーリズムへの理解を深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：ディプロマ・ポリシーに基づき、ホスピタリティ・ツーリズムについて必要な基本的な知識の修得する。ホスピタリティ関連の基礎知識を習得することで、今後の学びの向上につなげる。

個別目標：①ツーリズムの定義について理解、説明できるようになる。
②社会とツーリズムの関わりについて理解、説明できるようになる。
③ツーリズムの必要性について理解、説明できるようになる。

▌履修条件

特に無し。

▌評価基準・方法

manaba を通じて講義内課題(60 %)、中間レポート及び期末試験(40 %)により評価する。

▌フィードバック方法

講義内容に関するご質問やリクエストについては、講義や manaba を通じてフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba での講義内課題で使用）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

岡本伸之「観光学入門　ーポスト・マス・ツーリズムの観光学ー」有斐閣アルマ
その他、授業時に紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(講義目的、講義進行、評価説明)ＨＴ学へのアプローチ** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム学にはどのようなアプローチが存在するのかを関連する学問領域を紹介しながら解説する。 事前学修 2.0hr：講義概要をしっかりと読み、ツーリズムとは何かについて考え、まとめる 事後学修 2.0hr：ツーリズムの定義について復習する
2回	**授業テーマ：ツーリズムの社会的役割、現状について分析** 授業内容：ツーリズムを活性化させることは、社会的貢献につながる。そこで、具体的などのような点が社会的貢献につながるのかを解説する。 事前学修 2.0hr：ツーリズムがどのような役割を社会で果たしているのか考察しておく 事後学修 2.0hr：講義の復習と疑問点をまとめる
3回	**授業テーマ：ツーリズムの歴史Ⅰ(世界)** 授業内容：世界のツーリズムに焦点をあて、現在のツーリズムがどのように発展してきたのかを解説する。 事前学修 2.0hr：どのように世界でツーリズムの流れが出来てきたのか考える 事後学修 2.0hr：講義の復習と疑問点をまとめる
4回	**授業テーマ：ツーリズムの歴史Ⅱ(日本)** 授業内容：日本のツーリズムに焦点をあて、現在、日本国内のツーリズムがどのように発展してきたのか、世界の事例と比較しながら解説する。 事前学修 2.0hr：日本では、どのようにツーリズムの流れが出来てきたのか考える 事後学修 2.0hr：講義の復習と疑問点をまとめる
5回	**授業テーマ：ツーリズムと経済の関係** 授業内容：ツーリズムは、観光地周辺の経済波及効果をもたらす点で重要な役割を担っています。そこで、経済面を事例に、ツーリズムの重要性を解説する。 事前学修 2.0hr：ツーリズムと経済にはどのような関係があり、相互作用するのか考える 事後学修 2.0hr：講義の復習と疑問点をまとめる
6回	**授業テーマ：ツーリズムと文化の関係** 授業内容：文化は、観光資源として非常に多くの観光客を魅了します。そこで、ツーリズムと文化の関係について解説する。 事前学修 2.0hr：ツーリズムと文化にはどのような関係があり、相互作用するのか考える 事後学修 2.0hr：講義の復習と疑問点をまとめる
7回	**授業テーマ：ツーリズムと環境の関係(サステナブルツーリズムなど)** 授業内容：観光客の増加は、しばしば環境問題を引き起こします。そこで、ツーリズムにおける持続可能性をテーマにサステナブルツーリズムを解説する。 事前学修 2.0hr：ツーリズムと環境にはどのような関係があるのか考える 事後学修 2.0hr：講義の復習と疑問点をまとめる
8回	**授業テーマ：ツーリズムと貧困の関係(プロプアツーリズムなど)** 授業内容：ツーリズムの活性化は、貧困削減につながるかについて、皆さんと意見交換をしながら解説を行う。 事前学修 2.0hr：ツーリズムで貧困を無くすことはできるのか考える 事後学修 2.0hr：講義の復習と疑問点をまとめる
9回	**授業テーマ：ツーリズムとスポーツの関係** 授業内容：スポーツイベントは、幅広い年齢層に人気があり、ツーリズムとしても非常に重要な活動となるため、スポーツツーリズムの観点から、ツーリズムとスポーツの関係性を解説する。 事前学修 2.0hr：スポーツとツーリズムの関係性を考える 事後学修 2.0hr：講義の復習と疑問点をまとめる
10回	**授業テーマ：ニューツーリズム(グルーンツーリズム、ヘルスツーリズム、ロングステイ等)** 授業内容：ニューツーリズムのカテゴリーを紹介し、テーマ性を活かしたツーリズムを紹介し、その重要性について解説する。 事前学修 2.0hr：さまざまなツーリズムの形態について事前に学習をしておく 事後学修 2.0hr：講義の復習と疑問点をまとめる

11回	**授業テーマ：ツーリズムと地域振興Ⅰ** 授業内容：ツーリズムは、地域振興において重要な役割を担っています。まず地域観光の重要性について解説する。 事前学修 2.0hr：ツーリズムが、どように地域を活性化させることができるのか事前に学習しておく 事後学修 2.0hr：講義の復習と疑問点をまとめる
12回	**授業テーマ：ツーリズムと地域振興Ⅱ** 授業内容：観光による地域振興を行っている地域に焦点をあて、事例を通じて現状と課題について考える。 事前学修 2.0hr：ツーリズムが、どように地域を活性化させることができるのか事前に学習しておく 事後学修 2.0hr：講義の復習と疑問点をまとめる
13回	**授業テーマ：ツーリズムと倫理** 授業内容：倫理的観点は、ツーリズムの行動パターンにとって重要です。そこで、ツーリズムと倫理の関係性について解説する。 事前学修 2.0hr：ツーリズムと倫理の関係について考える 事後学修 2.0hr：講義の復習と疑問点をまとめる
14回	**授業テーマ：ツーリズムが起こす問題** 授業内容：ツーリズムは、地域活性化に貢献する一方で、あらゆる問題を引き起こします。そこで、ツーリズムがもたらす課題について考察し、その解決案について検討する。 事前学修 2.0hr：ツーリズムが及ぼす問題点について、どのような事象が起こるのか考える 事後学修 2.0hr：講義の復習と疑問点をまとめる
15回	**授業テーマ：日本の観光政策とツーリズムの未来** 授業内容：ポストコロナ時代におけるツーリズムの役割について、日本国内の観光政策を参考に今後の方向性を紹介し、現状の課題についての理解を深める。 事前学修 2.0hr：ツーリズムの今後はどうなって行くのか、授業前に考えておくこと 事後学修 2.0hr：講義の総復習

ホスピタリティ・ツーリズム学Ⅱ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

五十嵐　潤子（いがらし　じゅんこ）

▌授業の概要

1 年次前期のホスピタリティ・ツーリズム学Ⅰで、ツーリズムとは何か、その意味や、社会における役割や新たな潮流、課題などを、概念的、理論的に学びました。後期で学ぶ本講義では、そのツーリズムの担い手となる、各種産業や事業、行政、実際の取り組みなどについての知識を深めます。2 年次以降の、各産業別のより詳しい専門科目や、産業研究を選択履修する上でのベースとなる講義です。
※授業内容は、諸条件・状況により、変更します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：ツーリズム産業界の裾野の広さと、その産業間の関係性、あるいは各々の事業者が何を目指して事業を推進しているか、事業が持つ機能特性や社会に果たす役割、実際の職種の多様性などを学ぶことにより、ツーリズムを発展させていく社会的意義や、そのプロセスに関する知識を修得する。

個別目標：・ツーリズム産業に関わっている業種をある程度理解し、説明できる。
・ツーリズム産業に関わっている主要な事業者名とその特徴を理解し、説明できる。
・ツーリズムの発展に関わる代表的な行政や団体について、その特徴を理解し、説明できる。
・社会におけるツーリズム産業の意義や、各事業者が何を目指しているか、代表的なものについて理解し、説明できる。

▌履修条件

・出席者間でのグループディスカッションをする場合もあるため積極的に参加する意欲を持つこと。
・manaba の 1 機能である、「respon」を活用するため、事前に respon アプリをダウンロードすること（方法は授業開始前にコースニュースで掲示）
・授業資料は、manaba のコースコンテンツ、臨時的な情報類は manaba のコースニュースを使用。必ず manaba のコースニュース、新規課題告知機能を有効にすること。

▌評価基準・方法

【出席要件】
「①授業への出席（＝冒頭の respon による出席投稿）」＋「②授業中のすべての respon 投稿（複数回あり）」＋「③授業コメント」の 3 セットが揃えば「出席」。
【成績要件】
各授業回ごとの出席状況・課題の提出内容・受講時参画態度・意欲など（70 %）・期末試験（30 %）
※詳細は、第一回の授業（オリエンテーション回）で説明します。

▌フィードバック方法

・原則として、前回の授業に対して提出いただいた授業コメントについて、フィードバックを次回授業内で行います。課題によっては、manaba のフィードバック機能を使います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （数回程度、グループディスカッションあり。毎回、レスポンによる投稿あり。授業課題の発表機会と履修者による評価機会あり。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、授業内 respon の投稿用にスマホを含め、respon 投稿を可能にする環境を必要とする）

▌教科書

使用しない。原則として、講義資料を、講義前日の昼までにコースコンテンツより配信予定。

▌参考書

特になし。必要に応じて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション（授業の進め方、授業評価等）「ホスピタリティツーリズム」に関わっている仕事について、考えてみましょう** 授業内容：・当授業に関するオリエンテーション（授業の進め方、授業評価基準、出欠基準など） ・社会人基礎力とは ・タビマエ、タビナカ、タビアトで出会う仕事 事前学修 2.0hr：1 年次前期の必修「HT 学Ⅰ」の講義内容を振返っておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
2 回	**授業テーマ：ホスピタリティツーリズムとは？　概論** 授業内容：＜「人はなぜ旅をするのか」を考える＞ ・旅の歴史 ・ツーリズムにおけるホスピタリティの価値を考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
3 回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業を取り巻く業界① －運輸業界（運輸業界の役割・航空・鉄道）** 授業内容：＜ツーリズムにおける各業界について考える＞ ・観光と交通の関わり ・航空業界について概論 ・鉄道業界について概論 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
4 回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業を取り巻く業界② －運輸業界（自動車輸送・船舶）** 授業内容：＜ツーリズムにおける各業界について考える＞ ・自動車運送業界について概論 ・船舶業界について概論 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
5 回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業を取り巻く業界③ －宿泊業界（ホテル・旅館）** 授業内容：＜ツーリズムにおける各業界について考える＞ ・宿泊業界について概論 ・宿泊業界の課題 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する

6回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業を取り巻く業界④ －旅行業界** 授業内容：＜ツーリズムにおける各業界について考える＞ ・ツーリズムにおける旅行業の役割を考える ・旅行業が提供するサービス ・旅行業を管理する法律 ・旅行業が取り扱うビジネス領域 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
7回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業を取り巻く業界⑤ －ブライダル業界・クルーズ業界** 授業内容：＜ツーリズムにおける各業界について考える＞ ・ブライダル業界を取り巻く環境を考える ・ブライダル事業の仕事 ・海外ウェディングとは ・クルーズの歴史 ・クルーズの種類、クルーズ業界の仕事 ・クルーズの流通 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
8回	**授業テーマ：飲食業界・テーマパーク** 授業内容：＜ツーリズムにおける各業界について考える＞ ・日本の食文化について ・ツーリズムにおける飲食業界 ・フードツーリズムについて ・テーマパークの歴史 ・テーマパークとは ・テーマパークビジネスの特性 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
9回	**授業テーマ：外国人の訪日旅行(インバウンド)がもたらす、 ツーリズム産業への変化** 授業内容：・インバウンドの意味 ・訪日客の推移と新型コロナウィルスの影響 ・日本の観光競争力を考える ・訪日客の消費内容と旅行目的を考える ・訪日客の購買ルート(流通)を考える ・インバウンド市場で重要な MICE 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
10回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業を取り巻く業界⑦ －日本のツーリズム産業を支える公的機関　政府・地方行政など業界団体** 授業内容：＜ツーリズムにおける各業界について考える＞ ・ツーリズムに関係する監督省庁を知る ・観光庁の政策からツーリズムの未来を考える ・その他の公的団体、業界関係企業が作る業界団体についてその役割を知る 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
11回	**授業テーマ：最前線のおもてなし戦略を考える** 授業内容：業界で実際に働く方々をお招きし、最前線でお客様に接している方の、ホスピタリティやおもてなしに関する考え方をパネルディスカッションスタイルでお聞きします。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
12回	**授業テーマ：ツーリズムとダイバーシティ(障がい者、高齢者、訪日外国人などへの対応)** 授業内容：・ダイバーシティとは ・ホスピタリティ・ツーリズム業界において知っておくべき多様性に関する知識を考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
13回	**授業テーマ：MICE とスポーツイベント** 授業内容：・MICE とは ・MICE におけるおもてなしシーンを考える ・MICE に関わる仕事を知る ・スポーツイベントとホスピタリティ・ツーリズムとの関わりを考える ・大型スポーツイベントにおける新たなおもてなしビジネスを知る 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
14回	**授業テーマ：課題発表** 授業内容：授業内で提出したレポートの中から優秀者の、レポート発表 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
15回	**授業テーマ：まとめ(総復習)** 授業内容：過去 13 回の総復習 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：試験に向けて学修する

エアラインビジネス論

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

米倉　義友 (よねくら　よしとも)

▌授業の概要

航空会社の実務経験に基づき、今日の世界及びわが国の航空業界の現状をわかりやすく解説するとともに、国が政策として掲げるアジアゲートウェイ構想、戦略的新航空政策ヴィジョン、交通政策基本計画、観光立国実現に向けたアクション・プログラムを理解しながら、航空産業の将来と航空政策のあり方について、関心を深めます。なお、指導環境や学生の希望などの状況により、内容が変更となる場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：業界研究を通して航空産業が人、モノの輸送を担うことにより、地方活性化のための交流人口の増加、国際文化交流の促進に貢献していることを理解することができます。

個別目標：①世界の航空産業の過去、現在を理解し、航空産業の将来を見通す力を身につけます。
②政治、経済、外交の諸問題に目を向けて、自らの視野を広げられます。

▌履修条件

内外の政治・経済・文化・環境問題などの動向が航空・ツーリズム業界に与える影響について、常日頃から関心を持ってその背景を考えてください
事前学習課題を履行すること

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提条件とします。
発言・質問等授業への取り組み姿勢、レポート提出等(30 %)、試験(70 %)の割合で総合的に評価します。

▌フィードバック方法

「課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。」

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

講義ごとに資料を配布します

▌参考書

適宜紹介します

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：航空産業の特性、評価や出席の取り扱いを解説します。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで、講義内容を確認する 事後学修 2.0hr：講義の全体像を理解する
2回	**授業テーマ：規制の変遷と産業構造の変化①** 授業内容：欧米における規制緩和政策の進展を解説します。 事前学修 2.0hr：国際航空の歴史と制度等を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
3回	**授業テーマ：規制の変遷と産業構造の変化②** 授業内容：日本における規制緩和政策の進展を解説します。 事前学修 2.0hr：日本の航空輸送の発展、規制緩和の促進等を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
4回	**授業テーマ：規制の変遷と産業構造の変化③** 授業内容：航空会社の集約、アライアンスを解説します。 事前学修 2.0hr：世界の航空会社とアライアンスを理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
5回	**授業テーマ：規制の変遷と産業構造の変化④** 授業内容：オープンスカイ政策、アライアンスの進化と JV(Joint Venture) を解説します。 事前学修 2.0hr：アライアンスの活動，戦略，消費者利益を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
6回	**授業テーマ：航空運賃・流通政策①** 授業内容：運賃規制と自由化(国内)、イールドマネジメントを解説します。 事前学修 2.0hr：プライシングとレベニュー・マネジメントを理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
7回	**授業テーマ：航空運賃・流通政策②** 授業内容：運賃規制と自由化(国際) 事前学修 2.0hr：FFP(Frequent　Flyers　Program) を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
8回	**授業テーマ：システムと ANA グループのプラットフォーム戦略** 授業内容：エアラインビジネスを支える IT システムを解説します。 事前学修 2.0hr：プラットフォーム戦略を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
9回	**授業テーマ：ビジネスモデルの変化①** 授業内容：LCC(Low Cost Carrier) の台頭を解説します。 事前学修 2.0hr：LCC を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
10回	**授業テーマ：ビジネスモデルの変化②** 授業内容：ネットワークキャリア (Network Carrier) の戦略を解説します。 事前学修 2.0hr：ネットワーク戦略を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
11回	**授業テーマ：ホスピタリティ経営とブランド戦略　①** 授業内容：ブランディングと商品戦略を解説します。 事前学修 2.0hr：ブランドを理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する

12回	**授業テーマ：ホスピタリティ経営とブランド戦略　②** 授業内容：CS(Customer　Satisfaction)、ES(Employee Satisfaction) を解説します。 事前学修 2.0hr：CS を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
13回	**授業テーマ：日本の空港整備** 授業内容：民営化、今後の空港政策の方向性を解説します。 事前学修 2.0hr：空港に関する課題を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
14回	**授業テーマ：航空産業の現状と展望** 授業内容：ESG 経営(Environment・Social・Governance)、DEI（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン）を解説します。 事前学修 2.0hr：環境対策について理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：全体の振り返りを行います 事前学修 2.0hr：講義全体を振り返る 事後学修 2.0hr：試験準備

ホテルビジネス論

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

渭東　史江 (いとう　ちかえ)

▌授業の概要

ホテル業の歴史、ホテルの分類や組織構造、主要な機能や役割、業務内容について等、広くホテルに関連する内容を講義する。観光市場の動向を把握したうえで、ホテル産業の現状を理解し、課題や将来性についても考える。
また講義で得た知識を通して、ホテルのみならずホスピタリティ業界におけるキャリア形成の機会とする。
なお講義内容、順序は変更されることがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：ホスピタリティ業界におけるホテル産業の動向や多様なホテル機能、運営について理解し、自身のキャリア形成の機会とする。
個別目標：1. ホテルの分類、主要な機能、組織構造、具体的な業務内容の理解。
2. ホテル産業の現状を理解し、課題や将来性を考えられるようになる。
3. ホスピタリティ業界におけるキャリア形成。

▌履修条件

ホテル産業について積極的に学び、そこで得た知識を将来のキャリア形成の一助とする意欲のあること。
授業や課題にまじめに、積極的に取り組むこと。

▌評価基準・方法

期末試験 40 %、授業への参加姿勢、課題等の内容 60 %の要素を総合的に勘案し評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、課題解決型授業など）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （manaba や Respon にてコメント投稿あり）

▌教科書

必要に応じて資料等を配布または配信。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、ホテルの概念** 授業内容：ホテルの定義、機能と特徴を理解する。授業の概要や進行方法、到達目標について確認。 事前学修 2.0hr：これまでにホテルを利用した際の気づきをまとめる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
2回	**授業テーマ：宿泊産業の現状** 授業内容：ホテルと他の宿泊施設の違いを理解。ホテルを含む宿泊産業の特徴や動向をデータを元に理解する。 事前学修 2.0hr：観光白書等からホテル産業について調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
3回	**授業テーマ：ホテルの分類** 授業内容：ホテルの分類法や様々なホテルタイプの特徴等を理解する。 事前学修 2.0hr：ホテルの種類や分類について調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
4回	**授業テーマ：ホテル業の経営形態** 授業内容：ホテルの所有、経営、運営の違いを理解し、その組み合わせによって存在する経営形態とそれぞれの形態の特徴を理解する。 事前学修 2.0hr：ホテルの経営について調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
5回	**授業テーマ：ホテル業の歴史(海外)** 授業内容：欧米、アジアのホテル業の歴史を紹介する。ホテルの発祥から現在に至るまでを把握し、現在のホテル業の背景を理解する。 事前学修 2.0hr：ホテルの歴史(海外)を調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
6回	**授業テーマ：ホテル業の歴史(日本)** 授業内容：日本のホテル業の歴史を紹介する。日本に伝わったホテル業がどのように発展したかを把握し、現在の日本のホテル業の背景を理解する。 事前学修 2.0hr：ホテルの歴史(日本)を調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
7回	**授業テーマ：ホテルチェーン(外資系)** 授業内容：数多くあるホテルチェーンの中から、世界的なチェーンを紹介する。チェーンがなぜ発展したか等を考える。 事前学修 2.0hr：興味のある外資系ホテルチェーンについて調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
8回	**授業テーマ：ホテルチェーン(日系)** 授業内容：日系のホテルチェーンを紹介する。日系チェーンの特徴を把握し、チェーンのメリット等を考える。 事前学修 2.0hr：興味のある日系ホテルチェーンについて調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
9回	**授業テーマ：ホテルの組織構造** 授業内容：ホテルの標準的な組織構造を理解する。タイプによる組織構造の違いや収益構造の違いも把握する。 事前学修 2.0hr：ホテルの役割から、必要となる組織を考える 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
10回	**授業テーマ：宿泊部門** 授業内容：宿泊部門をフロントオフィス、ハウスキーピング、その他に分けて説明する。宿泊部門の特徴や役割を理解し、その業務内容を確認し理解を深める。部屋タイプについても説明する。 事前学修 2.0hr：興味のあるホテルについて、ホームページなどで客室を確認する 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示

11回	**授業テーマ：料飲部門** 授業内容：料飲部門を大きくレストラン、宴会、調理に分けて説明する。料飲部門の特徴や役割を理解し、その業務内容を確認し理解を深める。喫食率を上げるための考察をする。 事前学修 2.0hr：興味のあるホテルのレストランについて、ホームページなどを確認する 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
12回	**授業テーマ：営業部門** 授業内容：営業部門を大きくセールスとマーケティングに分けて説明する。営業部門の特徴や役割を理解し、その業務内容を確認し理解を深める。収益を上げるためのレベニューマネジメントについても理解する。 事前学修 2.0hr：ホテルの営業方法について調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
13回	**授業テーマ：管理部門** 授業内容：管理部門と言われる総務部門、経理部門、施設管理部門を説明する。それぞれの部門の特徴や役割を理解し、それらの業務内容を確認し理解を深める。ここまで学修した部門間の繋がりや連携について考える。 事前学修 2.0hr：ホテルの管理部門とは何か考える 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
14回	**授業テーマ：ホテル産業の課題と戦略** 授業内容：ホテル産業の特徴や動向を再確認し、ホテル産業の課題やそれを解決する戦略を実例とともに紹介する。ホテル産業の現状を把握する。 事前学修 2.0hr：これまで学習した内容をもとに、ホテル産業の課題を考える 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
15回	**授業テーマ：講義のまとめ** 授業内容：ここまで学修した内容を復習し、ホテル産業の課題、戦略を再確認し、今後の動向や将来性を考える。それらを将来のキャリア形成の一助とする。 事前学修 2.0hr：第 1 回から 14 回までの授業内容を見直し、質問事項をまとめる 事後学修 3.0hr：復習課題と期末テストに向けての準備

交流創造ビジネス論／トラベルエージェンシービジネス論

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

五十嵐　潤子（いがらし　じゅんこ）

▌授業の概要

1 年次のホスピタリティ・ツーリズム学で学んだように観光業界は非常に裾野の広い業界です。また、新型コロナウィルスの影響はもちろん、IT 化・個人ニーズの多様化等世の中が急速に変化することにより業界全体のビジネスモデルも変化してきております。それに対応するかたちで、ツーリズム業界の業務内容・ビジネスモデルも変化し多岐に渡ってきています。

本講義では、このような状況下、ツーリズムの原点とも言える、「交流」を通じて、ツーリズムにおいて広い裾野をネットワークする産業である旅行業を中心に、「交流」に関わるビジネスや「交流」がもたらす社会における効能などについて、全体像を把握していきます。

※授業内容は、諸条件・状況により、変更します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：「交流」の仕掛け役を担う業界の一つである旅行業を核としつつ、ツーリズム産業を取り巻く様々な仕組みやサービス内容、おかれている課題や地域とのつながりについて理解できるようになる。

個別目標：・「交流」が生まれる様々な事業領域を理解し、説明できるようになる。
・多様化した環境下でのビジネスの変化について理解し、説明できるようになる。
・さまざまな旅行業をとりまく情報について関心が高まるようになり、自身が特に関心を持ったビジネスについては、一定の考察ができるようになる。

▌履修条件

・出席者間でのグループディスカッションをする場合もあるため積極的に参加する意欲を持つこと。
・manaba の 1 機能である、「respon」を活用するため、事前に respon アプリをダウンロードすること（方法は授業開始前にコースニュースで掲示）
・授業資料は、manaba のコースコンテンツ、臨時的な情報類は manaba のコースニュースを使用。必ず manaba のコースニュース、新規課題告知機能を有効にすること。

▌評価基準・方法

【出席要件】
「①授業への出席（＝冒頭の respon による出席投稿）」＋「②授業中の respon 投稿（複数回あり）」＋「③授業コメント」の 3 セットが揃えば「出席」

【成績要件】
各授業回ごとの出席状況・課題の提出内容・受講時参画態度・意欲など（70 %）・期末試験（30 %）

※詳細は、第一回の授業（オリエンテーション会）で説明します。

▌フィードバック方法

・原則として、前回の授業に対して提出いただいた授業コメントについて、フィードバックを次回授業内で行います。課題によっては、manaba のフィードバック機能を使います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （数回程度、グループディスカッションあり。毎回、レスポンによる投稿あり。授業課題の発表機会と履修者による評価機会あり。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、授業内 respon の投稿用にスマホを含め、respon 投稿を可能にする環境を必要とする）

▌教科書

使用しないが、毎回、講義の前日 12:00 を目処に、講義資料を manaba のコースコンテンツを介して配布します。

▌参考書

JATA：数字が語る旅行業　【デジタル版（無料）】https://www.jata-net.or.jp/data/stats/number/index.html
トラベルボイス：日刊、デジタル配信（無料）
他、必要に応じて紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション（講義目的、講義進行、評価説明）と HT 学 Review** 授業内容：・当授業に関するオリエンテーション（授業の進め方、授業評価基準、出欠基準など） ・1 年次に学修した「ホスピタリティ・ツーリズム学 II」の復習 ・交流を創造するとは何か！？ 事前学修 2.0hr：1 年次の必修「HT 学Ⅰ・Ⅱ」の講義内容を振返っておく。授業資料を学修する 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
2 回	**授業テーマ：交流を創造する中核事業としての旅行業①（その事業領域）** 授業内容：・「人はなぜ旅をするのか」を考える ・個人の様々な旅行スタイルに関わる旅行業の役割を考える ・旅行だけではない旅行業の事業領域 ・旅行業の法律と商品 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
3 回	**授業テーマ：交流を創造する中核事業としての旅行業②（個人向け旅行事業）** 授業内容：・旅行業が生み出す効果的な市場を考える ・富裕層市場 ・海外ウェディング市場 ・クルーズ市場 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
4 回	**授業テーマ：感動を生み出す旅行企画とは①～外部講師による講演** 授業内容：～授業を通じた重要課題を前提とした専門家による講演 ・旅行企画の変遷 ・企画において重要な考え方 ・感動をもたらす企画のコツ 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する

5回	**授業テーマ：感動を生み出す旅行企画とは②～課題対象デスティネーションに関する外部講師による講演** 授業内容：外部の専門家より、課題の対象となるデスティネーションについてその特徴や魅力についての講演 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
6回	**授業テーマ：デスティネーションの魅力の開発について①(国内編)** 授業内容：新たな交流の要素となる、「行きたくなるデスティネーションの開発」に果たす業界の役割や事例を考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
7回	**授業テーマ：デスティネーションの魅力の開発について②(海外編)** 授業内容：・国内旅行と海外旅行との違いについて知る ・新たな交流の要素となる、「行きたくなるデスティネーションの開発」に果たす業界の役割や事例を考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
8回	**授業テーマ：OTA と IT がもたらすツーリズムの未来について** 授業内容：・OTA とは何かを知る ・国内 OTA とグローバル OTA について知る ・OTA がもたらすツーリズム業界や既存旅行業への影響を考える ・IT がもたらすツーリズムへの変化を考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
9回	**授業テーマ：ツーリズムにおける法人ビジネス(BtoB) について** 授業内容：・法人ビジネス(BtoB)とは？ ・ツーリズムにおける法人ビジネスにおける多様な領域ともたらす効果を知る ・自ら興味を持てる法人ビジネスを見つける 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
10回	**授業テーマ：外国人の訪日旅行(インバウンド)について** 授業内容：・国策としてのインバウンド誘致の意義を考える ・インバウンドを取り扱う上での法律を知る ・インバウンドの活性化事例を知る 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
11回	**授業テーマ：広がる〇〇ツーリズム** 授業内容：・地域における観光収入の構造と経済効果を考える ・様々なタイプのツーリズムを知る ・〇〇ツーリズムがもたらす意義と効能を考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
12回	**授業テーマ：スポーツイベントがツーリズムにもたらす影響を考える** 授業内容：・スポーツイベントとツーリズム、イベントと地域の関わりを考える ・どのようなイベントがあるかを考える ・各種イベントにどのような取り組みやサービスを考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
13回	**授業テーマ：海外旅行企画コンテスト** 授業内容：課題として提出された企画内容の中から、優秀者が発表する。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
14回	**授業テーマ：ツーリズム業界とダイバーシティ** 授業内容：・1 年生の HT 学 II の復習(ツーリズムに関わる上で、多様性について知っておくべき知識) ・働く上でのダイバーシティ(働き方改革)の動きを考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
15回	**授業テーマ：総復習(まとめ)** 授業内容：全授業回をおさらいする。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する

ラクシャリー論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

神末　武彦（こうずえ　たけひこ）

▌授業の概要

ラグジュアリーブランドビジネスとは何か、単に高価格帯のものではなく、高品質で高付加価値のある製品のことを指します。それらの製品を生み出している”ブランド”について多角的に検証する。ラグジュアリーブランドはどのように変遷を辿ってきたのか、ビジネスモデルは、マーケッティング戦略等を体系的に網羅し、理論と実際の事例を用いて講義を進め、ラグジュアリーブランドとは何かについて考察し明らかにする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1）

一般目標：この講義を通じて、ラグジュアリーブランドとは何かについて正しい知識を得ること目標とする
個別目標：以下のラグジュアリーブランドに関する知識を得ることを個別目標とする
-定義、価値、社会における位置づけについて知ることができる
-理論のみならず、事例も多用し現状を理解できるようになる
-ブランディングとマーケティングについて知識を深めることができる
-知的財産権について知識を得ることができる

▌履修条件

マーケティング概論の授業を履修していることが好ましい

▌評価基準・方法

レポート課題 (30%)
中間テスト (20%)
期末テスト（40%）
参加姿勢（10%）
で評価を行う。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは MANABA を通じて行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、ケーススタディ等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前・事後学習に必要）

▌教科書

指定なし

▌参考書

①「ラグジュアリー戦略―真のラグジュアリーブランドをいかに構築しマネジメントするか」
東洋経済新報社 (2011/1/28)　Kapferer, Jean-Noel, and Vincent Bastien
ISBN-13:978-4492556825
②「ラグジュアリー戦略で「夢」を売る: 続・高くても売れるブランドをつくる!」
長沢伸也、同友館 (2021/9/1)
ISBN-13:978-4496055546

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業オリエンテーション** 授業内容：授業の概要・目標、評価方法について解説、 講義：ラグジュアリーとは 事前学修 1.0hr：シラバスを良く読むこと 事後学修 2.0hr：ラグジュアリーとは何かについて自分の考えをまとめる
2回	**授業テーマ：ラグジュアリーブランド概要** 授業内容：ラグジュアリーブランドの定義、特異性、進化過程について考察する 事前学修 2.0hr：ラグジュアリーブランドとは何かについて考察する 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
3回	**授業テーマ：ラグジュアリー小史** 授業内容：ラグジュアリーの歴史、変遷について考察する 事前学修 2.0hr：知っているブランドについて歴史を調べる 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
4回	**授業テーマ：プレミアムとラグジュアリー** 授業内容：２つの言葉の違いは、実際の製品の違いは何かについて考察する 事前学修 2.0hr：プレミアムとラグジュアリー、２つの違いについて考える 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
5回	**授業テーマ：ブランド価値の重要性** 授業内容：ラグジュアリーセグメントにおける”ブランド”の価値の重要性について考察する 事前学修 2.0hr：ブランドとな何かについて考える 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
6回	**授業テーマ：ラグジュアリーブランド：価格設定** 授業内容：高価格で販売される製品がどのように価格設定されているのか検証する 事前学修 2.0hr：ブランド品の価格について事前に調べる 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
7回	**授業テーマ：ラグジュアリーブランド：付加価値の創造** 授業内容：ラグジュアリーセクターはより高付加価値のある商品の創造が必須である。どのように付加価値を創り出しているのか実際の事例を用いて考察する 事前学修 2.0hr：付加価値とな何かについて考える 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習

8回	**授業テーマ：ラグジュアリーブランド：ターゲット顧客** 授業内容：時代の変遷とともに顧客層も大きく変化している。ターゲットジェネレーションを良く知ることが重要である。 事例を用いて解説する 事前学修 2.0hr：ターゲット顧客は誰なの考える 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
9回	**授業テーマ：ラグジュアリーブランド：カスタマー・ジャーニー** 授業内容：顧客がブランドに興味を持ち、購入を検討、実際に購入、アフターサービスの一連の流れ(ジャーニー)が、ラグジュアリーブランドではどのように設計されているのか解説する 事前学修 2.0hr：顧客体験とは何かについて考える 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
10回	**授業テーマ：ラグジュアリーブランド：ブランドアドボカシー** 授業内容：顧客が自発的にブランドを SNS 等で発信する宣伝することは今では自然なことで大切なマーケティングツールとなっている。ラグジュアリーブランドはどのようにブランドアドボカシーを高めているのか考察する 事前学修 2.0hr：ブランドアドボカシーとは何かについて考える 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
11回	**授業テーマ：ラグジュアリーブランド：サステイナビリティ(概要)** 授業内容：ビジネスにおいて地球環境・社会・経済活動という 3 つの観点すべてにおいて「持続可能な状態」を実現する経営が、今後の企業の競争優位性を左右する。ラグジュアリービジネスも同じである。持続可能な状態を作るためにどうのようなことが行われるいるのか、必要なのか考察する 事前学修 2.0hr：ラグジュアリーブランドにおける持続可能性とは何かについて考える 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
12回	**授業テーマ：ラグジュアリーブランド：サステイナビリティ(レバレッジポイント)** 授業内容：レバレッジ・ポイントとは、小さな力で大きく持続的な成果を生み出すことです。ラグジュアリーブランドにおいて持続可能性を高めるためのレバレッジポイントについて考察する 事前学修 2.0hr：レバレッジポイントとは何かについて考える 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
13回	**授業テーマ：ラグジュアリーブランド：サステイナビリティ(認証制度)** 授業内容：持続可能性を高めるために認証制度が多く用いられる。事例を多く紹介しどのように利用されているのか考察する 事前学修 2.0hr：持続可能な認証制度について事前に調べる 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
14回	**授業テーマ：コロナ禍とラグジュアリーブランド** 授業内容：コロナ禍でどのように顧客の心理、購買方法が変化したのか考察する 事前学修 2.0hr：コロナ禍で消費者心理がどのように変化したのかについて考える 事後学修 2.0hr：授業の復習と次の授業の予習
15回	**授業テーマ：ラグジュアリーブランド：知的財産権** 授業内容：ラグジュアリーブランドは多くの模倣品、類似品が出回ることから、知的財産権を守ることは大切である。 知的財産権の基礎知識を知る 事前学修 2.0hr：知的財産権とは何かについて事前に調べる 事後学修 4.0hr：授業の復習と次の授業の予習

ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅰ（インフィニ国際線予約システム予約編-初中級）

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

白木　一恵（しらき　かずえ）

▌授業の概要

GDS とは、世界中の航空会社、ホテルなどの予約・発券ができるコンピュータシステムである（Global Distribution System の頭文字の略）。
本 GDS 講座では実際に旅行会社が使用する国際航空予約端末（INFINI LINX 端末）を使って航空予約記録を作成する実践的な講座である。航空業界に必要な専門用語や端末操作時に必要なキーワード（空港コード、都市コード、航空会社コード）も習得可能である。観光流通論等の他の授業と連携した航空券流通の実践的学習が可能となる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1）

一般目標：旅客が希望する旅程（スケジュール）に基づいて予約記録（PNR）を作成し、旅客のリクエストに応じで PNR 内に追加情報を入力したり、またその修正やキャンセル、予約便の変更など初歩的な予約手配業務ができることを目指す。
個別目標：空席照会や、予約記録を読み取って説明できる。日程や行先など条件に見合った予約記録を作成することができる。基本の予約記録に加えて、旅客のリクエストを入力することができる。航空会社に必要な情報を送信することができる。

▌履修条件

ホスピタリティツーリズム学部 2022 年 4 月以降入学全学年
検定受験料（3500 円税別）が必要。

▌評価基準・方法

定期試験（インフィニ検定）70 %、小テスト 20 %、授業態度 10 %（授業における発言などの参加姿勢、宿題の提出など）で総合的に評価する。また原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

WEB で宿題実施時、回答と同時に誤りと解説を確認。PNR 作成練習は、作成後プリントアウトにて入力エラーを確認しフィードバック。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （INFINI LINX（国際線予約システム））

▌教科書

INFINI RESERVATION

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：本講座の目的、目標の説明、GDS の基本機能を案内、INFINI LINX（国際線予約システム）の機能概要説明** 授業内容：GDS とは何かを理解する。実際に INIFNI LINX を操作してみる。実際に予約記録を作って、これからどんな学習をしていくかを体験する。世界の都市・空港・航空会社について検索してみる。 事前学修 0.5hr：自分が好きな世界の都市を 5 つ選ぶ。行ったことがある、映画で見た、好きな俳優がいるなど理由も考えてみる。 事後学修 0.5hr：INFINI LINX 特有のキーボートの位置を覚えておく。
2回	**授業テーマ：航空券流通の仕組み、航空会社の種類、航空会社のアライアンス** 授業内容：航空券手配までの流れ、アライアンスや、各航空会社の違いなどを学習する。また航空会社での予約から搭乗までの流れや、サービスなども細かく見ていく。 事前学修 0.5hr：パソコンの基本的なキーの位置を確認しておく。 事後学修 0.5hr：授業で学習した都市・空港コード、航空会社コードを覚える。
3回	**授業テーマ：コードの確認（小テスト）、情報検索（コードの復習と空港の乗り継ぎ時間について）空席照会（基本空席照会）** 授業内容：各種コードの小テストを実施。コード検索や、検索したコードを使って基本の空席照会をし INFINI LINX の操作に慣れる。空席照会の基本を学習する。日付と区間を指定して、就航航空会社や空席状況などを確認し、検索結果画面の読み取り方法を学習する。 事前学修 1.0hr：小テストに向けて、都市・空港コード、航空会社コードを暗記する。 事後学修 0.5hr：空席照会の基本エントリーをテキストと予約早見表で確認する。
4回	**授業テーマ：空席照会（2 種類の空席照会とオプション入力、ショートカット）、スケジュール照会** 授業内容：基本空席照会の復習。基本の空席照会入力とオプション入力の練習。ダイレクトアクセス空席照会の操作と、結果画面の読み取り及びショートカット入力。２種類の違いを学習する。スケージュール照会。 事前学修 0.5hr：空席照会について、予約早見表を確認しておく。 事後学修 0.5hr：空席照会の入力方法をテキストとプリントで確認できるように復習する。
5回	**授業テーマ：PNR（予約記録）作成必須項目について、予約記録作成（大人）、予約完了後の記録の見方について** 授業内容：予約記録を作成するために必要な項目を理解し、それぞれの入力方法、予約作成方法を学習する。大人 1 名の予約記録を作成する。作成された予約記録をみながら、その内容の読み取り、航空会社に送信する流れを学習する。 事前学修 0.5hr：２種類の空席照会エントリーを、それぞれ入力できるように覚えておく。 事後学修 0.5hr：予約記録作成に必要な必須項目の入力方法をテキストとプリントで復習する。
6回	**授業テーマ：空席照会とスケジュール照会について（小テスト）、予約記録作成（マルチインプット、削除と修正）、旅程の変更操作** 授業内容：空席照会及びスケジュール照会の入力方法と結果画面読み取りの小テスト。予約記録作成のオプションと航空便予約の変更やキャンセル方法の操作と航空会社へのデータの流れを学習する。 事前学修 0.5hr：小テストに向けて、予約早見表で空席照会とスケジュール照会の入力方法を確認する。 事後学修 0.5hr：旅程のキャンセル方法、旅客指名入力時の削除と訂正をテキストとプリントで復習する。
7回	**授業テーマ：PNR（予約記録）作成と旅客情報の入力（OSI）** 授業内容：基本の予約記録作成に加えて複数旅客の入力に慣れる。OSI にて旅客情報を実際に航空会社に送信する入力方法を学習する。 事前学修 0.5hr：基本の予約記録作成の流れを予約早見表で確認する。 事後学修 0.5hr：OSI にて旅客情報入力方法を、テキストとプリントにて復習する。
8回	**授業テーマ：PNR（予約記録）作成（小テスト）、PNR の確認方法、小児を含む PNR の作成** 授業内容：基本の予約記録作成の小テストを実施。作成された予約記録を再表示する方法。基本の PNR 作成に加えて、小児連れの場合航空会社に伝えるべき必要な情報を学習し、実際に航空会社に情報を送信する入力方法を学習する。 事前学修 0.5hr：小テストに向けて、予約作成必須項目の入力方法を予約早見表で確認する。 事後学修 0.5hr：小児の氏名、小児情報の入力をテキストとプリントにて復習する。

9回	**授業テーマ：幼児を含む PNR（予約記録）の作成と、予約便の変更・取り消し** 授業内容：基本の予約記録作成に加えて、小児連れの場合航空会社に伝えるべき必要な情報を学習し、実際に航空会社に情報を送信する入力方法を学習する。予約便変更時の操作方法を学習する。 事前学修 0.5hr：PNR の再表示方法と、小児情報の入力を予約早見表にて確認する。 事後学修 0.5hr：幼児の氏名入力、幼児情報をテキストとプリントにて復習する。
10回	**授業テーマ：PNR 付加情報入力（ミールリクエスト、携帯電話番号、E メールアドレス）** 授業内容：基本の予約記録に、旅客が希望する食事のリクエストを入力したり、航空会社に旅客の携帯電話番号や E メールアドレスを連絡する方法を学習する。 事前学修 0.5hr：すでに学習した付加情報入力の各エントリーをテキストと予約早見表で確認する。 事後学修 0.5hr：それぞれの旅客情報の入力方法を、テキストとプリントで復習する。
11回	**授業テーマ：PNR 付加情報入力（パスポート情報入力、マイレージ情報入力）** 授業内容：国際線利用時に必要なパスポート情報に関して、必要な内容を確認し入力方法を学習する。マイルを加算するためのマイレージ情報に関する入力方法を学習する。 事前学修 0.5hr：すでに学習した付加情報入力の各エントリーをテキストと予約早見表で確認する。 事後学修 0.5hr：今までに学習した各種入力方法を、テキストと予約早見表で復習する。
12回	**授業テーマ：PNR 付加情報入力（座席指定とリマークス入力）** 授業内容：前回学習したことに加えて、座席位置の空き状況を検索し座席指定や取り消しのエントリーを学習する。予約記録に航空会社には送信されない情報の入力方法を学習する。 事前学修 0.5hr：すでに学習した付加情報入力の各入力方法をテキストと予約早見表で確認する。 事後学修 0.5hr：座席指定について復習する。
13回	**授業テーマ：付加情報に関する小テスト、PNR の分割、キュー処理** 授業内容：基本予約記録と旅客の様々な情報やリクエストを含めた記録作成の小テストを実施。リクエストした情報に関して航空会社からの返信など、航空会社とのやり取りの確認方法を学習する。複数旅客の一部変更の際の操作方法を学習する。 事前学修 1.0hr：小テストに向けて、予約早見表で入力方法を確認する。（特に予約早見表③） 事後学修 0.5hr：キュー処理の流れをテキストとプリントで復習する。
14回	**授業テーマ：総復習（予約）** 授業内容：予約記録を作成するための空席照会と結果画面の読み取り。基本情報に加えてどの付加情報が必要かを考えて入力し、予約記録を作成する。作成された予約記録の内容を読み取る。 事前学修 0.5hr：予約操作の不明点をまとめておく。予約早見表を活用して整理する。 事後学修 1.0hr：不明点、苦手な部分で理解できたところを忘れないようにまとめておく。予約早見表でも確認する。
15回	**授業テーマ：インフィニ検定にむけた模擬練習問題** 授業内容：予約記録作成の復習と、インフィニ検定に向けた模擬練習問題を解いてみる。 事前学修 0.5hr：実際に検定受験のつもりで準備する。過去の練習問題やエントリーの確認など予約早見表を活用して準備する。 事後学修 1.0hr：今日間違った部分を検定に向けて復習しておく。テキストで確認し、予約早見表にも必要に応じて記入して活用する。

ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅱ（インフィニ国際線予約システム運賃編-上級）

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

白木　一恵（しらき　かずえ）

▌授業の概要

本講座では前期に学んだ予約知識をもとに運賃計算を行い運賃規則及び、運賃詳細を学んでいく。
例えば、同時刻に同じ目的地へ行く航空運賃は航空会社毎、座席クラス毎に様々である。
購入時期によって変動することもあり、また同じエコノミークラスに座っているのに数千円から数万円異なる場合もある。このように異なる運賃種別を INFINI LINX 端末からリアルタイムで航空運賃の検索が可能である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1）

一般目標：前期で学んだ旅客が希望する旅程（スケジュール）に基づいて予約記録（PNR）を作成し、旅客のリクエストに応じで PNR 内に追加情報を入力したり、また修正やキャンセルなど初歩的な予約手配業務に加えて、旅程に応じた運賃計算を行い、計算した運賃の TAX 情報など運賃詳細を理解し、計算した運賃規則を確認することができるようになることを目指す。
個別目標：作成した旅程から運賃計算ができるようになる。計算した運賃の規則を確認できる。予約記録を作成と同時に運賃計算をし、その運賃詳細が理解できるようになる。

▌履修条件

ホスピタリティツーリズム学部 2022 年 4 月以降入学全学年で、「ホスピタリティ・ツーリズム実習Ⅰ」を受講済者。
検定受験料（3500 円税別）が必要。

▌評価基準・方法

定期試験（インフィニ検定）70 %、小テスト 20 %、授業態度 10 %（授業における発言などの参加姿勢、宿題の提出など）で総合的に評価する。また原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

WEB で宿題実施時、回答と同時に誤りと解説を確認。小テストはプリントで実施し、採点して返却時、全体の解説をする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （INFINI LINX（国際線予約システム））

▌教科書

INFINI FARE PRICING

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：予約の復習** 授業内容：前期で学習した予約操作全般に関する復習。 事前学修 0.5hr：予約記録作成方法、必須項目、付加情報などのエントリーを復習しておく。 事後学修 0.5hr：実際に復習した内容で、忘れていたことを再確認しておく。
2回	**授業テーマ：予約の復習、ロールプレイ** 授業内容：前期で学習した予約操作で、さまざまな付加情報をいれながらロールプレイを実施する。数名でチームを組んで、実際に旅行会社の係員としてお客様のニーズにあった予約記録を作成する。 事前学修 0.5hr：予約記録の作成、付加情報入力を予約早見表にて復習しておく。 事後学修 0.5hr：ロールプレイを通して、疑問に思ったことや感想をまとめる。
3回	**授業テーマ：国際航空運賃概要①基礎知識** 授業内容：国際航空運賃の特徴、基礎知識、種類と、基本的な運賃の検索方法を学習する。IATA（国際航空運送協会）地域の定義で、各都市がどこに分類されるかを確認する。 事前学修 0.5hr：テキストの国際航空運賃の概要を読んでおく。 事後学修 0.5hr：運賃の基本的な考え方をプリントで復習する。
4回	**授業テーマ：国際航空運賃概要②国際運賃の種類** 授業内容：IATA（国際航空運送協会）地域の定義を元に、様々な飛行路線の Global Indicator を考える。国際運賃の種類と登録について学習する。 事前学修 0.5hr：国際航空運賃の概要をテキストにて復習しておく。 事後学修 0.5hr：各飛行路線が、どの Global Indicator に属するかを復習する。
5回	**授業テーマ：国際運賃概要について（小テスト）INFINI LINX を使って運賃照会** 授業内容：交際運審概要について小テストを実施。運賃照会の基本入力と、運賃照会結果画面の読み取りを学習する。航空会社ごとに設定された運賃を読み取ることができるように練習する。 事前学修 0.5hr：小テストに向けて、国際航空運賃概要をテキストとプリントで復習する。 事後学修 0.5hr：運賃照会エントリーと運賃照会結果画面をテキストとプリントで確認する。
6回	**授業テーマ：航空便を予約取得後、自動運賃計算** 授業内容：予約された便について公示運賃を表示させる。自動運賃計算後、計算結果画面の読み取り、INFINI の自動運賃計算の仕組みを学習する。 事前学修 0.5hr：前回の運賃照会と、運賃照会結果画面の読み取りをテキストとプリントで復習する。 事後学修 0.5hr：自動運賃計算と運賃計算結果画面を運賃早見表で復習する。
7回	**授業テーマ：自動運賃計算後の運賃詳細画面の読み取り** 授業内容：自動運賃計算後、運賃詳細画面にて、各国で徴収される諸税及び航空会社で徴収されるサーチャージの内容を確認し、理解する。また運賃詳細画面から内容を読み取ることができるように学習する。 事前学修 0.5hr：自動運賃計算のエントリーを復習する。 事後学修 0.5hr：運賃詳細画面の内容と、各国諸税の調べ方をテキストとプリントにて復習する。
8回	**授業テーマ：自動運賃計算のオプション入力、運賃データ保存、運賃規則確認** 授業内容：基本的なオプション入力。自動運賃計算をする際に、予約記録の一部だけを計算したり、販売日を指定して運賃計算を行うオプション入力を学習する。計算した運賃データを予約記録に保存し、その運賃規則を確認して内容を理解する。 事前学修 0.5hr：基本の自動運賃計算と運賃詳細画面を復習する。 事後学修 0.5hr：自動運賃計算をオプションも含めてテキストと運賃早見表で復習する。

9回	**授業テーマ：運賃照会のオプション入力** 授業内容：最初に学習した運賃照会エントリーに、複数航空会社指定や、通貨指定をするオプションエントリーなど、さまざまなオプション入力を操作してみる。空席照会やセグメントから直接運賃照会するエントリーを学習する。 事前学修 0.5hr：運賃計算後の運賃規則の確認と運賃データ保存方法を復習する。運賃照会の基本エントリーを復習する。 事後学修 0.5hr：運賃照会に様々な条件を付加するエントリーを復習する。
10回	**授業テーマ：自動運賃計算に関する小テストと運賃のしくみ①運賃額の設定** 授業内容：自動運賃計算全般と、運賃照会オプションについての小テストを実施。運賃設定の世界共通単位と、各国の通貨への換算方法について学習する。 事前学修 0.5hr：自動運賃計算についてテキストとプリントで復習する。 事後学修 0.5hr：運賃の世界共通単位と換算方法を復習する。
11回	**授業テーマ：運賃のしくみ②運賃換算の演習** 授業内容：前回学んだ運賃の世界共通単位から、実際に各国通貨への換算を計算して、2 ヶ国の異なる通貨の国から出発する旅程で計算してみる。 事前学修 0.5hr：世界共通単位について復習する。 事後学修 0.5hr：実際に計算して通貨換算したことを復習する。
12回	**授業テーマ：さまざまな運賃計算** 授業内容：今までの自動運賃計算に加えて、安い運賃の検索について学習する。また単に安い運賃だけでなく旅客のニーズに合うように、オプションを加えて運賃を探していくことを学習する。 事前学修 0.5hr：自分が旅客なら、どんな運賃を希望するかを考えてみる。 事後学修 0.5hr：オプションを含めて、安い運賃検索のエントリーを運賃早見表で復習する。
13回	**授業テーマ：総復習(運賃)** 授業内容：今まで学習してきた運賃の各項目について、復習をする。苦手なところや忘れているところなどを、問題を解きながらひとつずつ解決していく。 事前学修 0.5hr：テキストと運賃早見表で、エントリーを復習する。 事後学修 0.5hr：不明点、苦手な部分で理解できたところを忘れないようにまとめておく。運賃早見表でも確認する。
14回	**授業テーマ：ロールプレイ** 授業内容：数名でチームを組んで、実際に係員としてお客様のニーズにあった予約記録を作成し運賃計算を行う。運賃計算をしながら予約記録を作成するために必要な項目を復習確認し予約記録を作成する。作成後は、実際に案内してみる。予約と運賃の学習をしたので、その後発券をして旅客が飛行機に搭乗するまでの流れをみていく。 事前学修 0.5hr：テキストと予約早見表、運賃早見表で、エントリーなどを復習しておく。 事後学修 0.5hr：ロールプレイを通して、疑問に思ったことや感想をまとめる。
15回	**授業テーマ：インフィニ検定にむけた模擬練習問題** 授業内容：インフィニ検定は後期は運賃に関する検定となるので、今までやってきた運賃に関する問題を解いてみる。 事前学修 0.5hr：実際に検定受験のつもりで準備する。運賃計算エントリーなどを運賃早見表で確認する。 事後学修 1.0hr：今日間違った部分を検定に向けて復習しておく。テキストで確認し、運賃早見表にも必要に応じて記入して活用する。

ホスピタリティ・ツーリズム産業実地研修 A・B・C・D・E・F・G・H

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 各 4 単位

単位認定科目

▌授業の概要

ホスピタリティ業界およびツーリズム業界におけるインターンシップで、職業実習を行うものである。卒業後の的確な職業選択と要求される初歩的技能の早期習得を目的とする。インターンシップ担当教員、プレゼミナールやケーススタディ担当教員の事前・事後指導を要する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3、HTM3）

一般目標：ホスピタリティ業界、ツーリズム業界での就業体験を通して、企業活動や就業内容を理解し、将来のキャリアについて考える。

個別目標：①高い就業意識をもち、就職に向けて学生の間にするべきことを考える。
②企業や業務について、事前に抱いていたイメージと実際とのギャップを解消する。
③自分の適性にあった職業について考える。
④社会におけるマナーやビジネスマナーを習得する。

▌履修条件

進級要件を満たしている事

▌評価基準・方法

・各 120 時間以上の研修時間を要する。

・本人レポート、派遣先企業からの報告書、インターンシップ担当教員、プレゼミやケーススタディ担当教員の事前・事後の指導の報告内容によって単位を認定する。

▌フィードバック方法

フィードバックはインターンシップ報告会にて実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （実地研修）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しない

▌参考書

適宜紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

実技訓練をかねて、企業の指示に従い行う。

授業内容

研修先企業の指示、決められたトレーニングに従い実地研修を行う。

事前学修

研修先企業に関する企業研究を行う。
研修先企業における自身の業務の確認準備をし、備える。

事後学修

研修先企業での当日の業務内容等復習及び反省を行なう。
インターンシップがすべて終わった後、大学で開催するインターンシップ報告会に参加し、報告を行う。

ホスピタリティ・ツーリズム産業海外研修 A・B

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要
ホスピタリティ業界およびツーリズム業界におけるインターンシップで、海外の施設で行なうものである。あわせて渡航前指導、渡航しての研修、職業実習を行なうものである。インターンシップ担当教員、プレゼミやケーススタディ担当教員の事前・事後指導を要する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3、HTM3）
一般目標：社会におけるマナー及び職種形態に触れることにより、事前に抱いていたイメージとのギャップを解消することができる。
個別目標：実務的な能力を身に着け、社会人として責任ある行動ができるようになる。

▌履修条件
進級条件を満たしていること。

▌評価基準・方法
・各１２０時間以上の研修時間を要する。
・本人レポート、派遣先企業からの報告書、インターンシップ担当教員、プレゼミやケーススタディ担当教員の事前・事後の指導の報告内容によって単位を認定する。
・課題等のフィードバックは、manaba を通して行う。

▌フィードバック方法
manaba を使用する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
なし

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
使用しない

▌参考書
適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ
実技訓練をかねて、企業の指示に従い行なう。

授業内容
ホスピタリティ・ツーリズム業界での実務就業体験

事前学修
研修先企業における業務の確認準備をし備える。

事後学修
研修先企業での当日の業務内容等復習及び反省を行なう。

ホスピタリティ・ボランティア活動

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 4 単位

単位認定科目

▌授業の概要

国内におけるボランティア活動を行なうものである。事前学修、現場での活動および研修、事後学修、報告会を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3、HTM3）

一般目標：・活動を行なう施設や団体等の沿革・事業などを理解する。
・社会貢献としてのボランティア活動の意義を体得する。
個別目標：・ボランティア活動を通して視野を広げる。
・幅広い年齢層や様々な立場の人々と接することにより、コミュニケーション力と柔軟な対応力を身に付ける。

▌履修条件

社会貢献としてのボランティア活動を行う意志があること。

▌評価基準・方法

・指定された施設や団体等において、合計 150 時間以上、20 日程度以上のボランティア活動を行う。1 日の活動時間は 8 時間を上限とする（休憩時間は活動時間に含まれない）。
・レポートに関しては次の通りとする。
(1) 活動先の指示・依頼に基づくレポート
作成時間はボランティア活動の一環として算入可。（作成場所は原則としてボランティア実施施設内）
(2) 事後学修としてのレポート
作成時間はボランティア活動には算入不可。（作成場所は原則として自宅等）
・活動日誌、レポート、活動先からの報告、ボランティア活動担当教員あるいはプレゼミナール・ケーススタディ担当教員の指導結果報告、報告会での発表、事前学修と事後学修の参加等によって単位を認定する。

▌フィードバック方法

活動やレポートに関するフィードバックはメールで行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （1 つの施設で合計 150 時間以上のボランティア活動を行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レポートの作成と提出）

▌教科書

特に指定しない。

▌参考書

金子郁容『ボランティア』岩波書店、秦辰也『ボランティアの考え方』岩波書店。そのほかは担当教員の指示による。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

浦安市内の公共施設でのボランティア活動を通して地域社会について学び、コミュニケーション力と柔軟な対応力を養う。

授業内容

指定された施設や団体等において合計 150 時間以上のボランティア活動を行なう。
現場での活動の他に、事前学修、事後学修、レポート作成、報告会での発表を行う。詳細は別途指示する。

事前学修

活動先に関する事前学修や、ボランティア活動の取り組み方、留意点等についての研修を行う。

事後学修

事後学修として、活動全体を総括するレポートを作成し、報告会で発表を行う。

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究 A（フード・ビバレッジ）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

渭東　史江 (いとう　ちかえ)

▌授業の概要

日常生活に深く関わる「食・飲料」＝「Food & Beverage」に関する基礎知識から、ホスピタリティ産業である飲食業、飲食サービスについてなど、多方向から「食・飲料」について講義する。また食のマナーを理解し、安全性についても考える機会とする。料飲関係に就職した際のみならず、将来多くの場面で活用できる知識、教養の構築を目指す。外部講師による講義も数回予定。
なお講義内容、順序は変更される場合がある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：食文化、歴史から始まり、各国料理、マナー、食品衛生、飲食店のサービス・経営など「食・飲料」に関する多様な知識、教養を構築する。
個別目標：1. 食文化、歴史、食育について理解し、バランスのよい食生活を送る。
2. 各国料理、マナーについて理解し、正しいマナーを実践できる。
3. 食品衛生、安全管理の重要性を理解し、必要な場面で実践する。
4. 飲食業界、レストランの経営、オペレーション等の知識を構築する。

▌履修条件

「食・料飲」に興味があり、多くの知識を修得しようという意欲があること。
授業や課題にまじめに、積極的に取り組むこと。

▌評価基準・方法

授業に取り組む姿勢、課題の内容 40%、期末テスト 60%の要素を総合的に勘案し判断する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、課題解決型授業など）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （manaba や Respon にてコメント投稿あり）

▌教科書

必要に応じて資料の配布または配信。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：「食・飲料」＝「Food & Beverage」に関わる事項について確認。重要性について理解する。授業概要や今後の授業進行について説明。 事前学修 2.0hr：食・飲料に関わる事項を考える 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
2回	**授業テーマ：食材の基礎、食文化** 授業内容：基礎食品を確認し、把握する。食文化とは何かを理解し、食文化として食の歴史や郷土料理、行事食を見直す。海外の食文化についても理解する。 事前学修 2.0hr：普段使用している(食べている)食材について調べる 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
3回	**授業テーマ：食育、食環境** 授業内容：現在の食環境や食育について確認する。食生活指針や食事バランスガイドを取り入れ、正しい食生活を送るきっかけとする。食料自給率や食品ロスなどの問題点についても考える。 事前学修 2.0hr：自身の食生活について見直す 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
4回	**授業テーマ：西洋料理** 授業内容：西洋料理としてフランス料理とイタリア料理を取り上げ、特徴、食材、調理法、メニュー、マナーなどを紹介。西洋料理の教養とマナーを身に付ける。 事前学修 2.0hr：西洋料理の特徴やマナーについて調べる 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
5回	**授業テーマ：日本料理** 授業内容：日本料理の基本として影響を与えた陰陽五行説についてや、日本料理の特徴、種類、食材、マナーなどを紹介。盛り付けや器など、日本料理の食事を超えた思想についても知る機会とする。 事前学修 2.0hr：日本料理の特徴やマナーについて調べる 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
6回	**授業テーマ：中国料理** 授業内容：中国料理の特徴、食材、調理、特徴的な調理器具、マナーなどを紹介。地方料理の特徴についても理解する。メニュー構成を理解し、メニューの選び方を実践する。 事前学修 2.0hr：中国料理の特徴やマナーについて調べる 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
7回	**授業テーマ：飲料** 授業内容：アルコール飲料の分類法、種類やそれぞれの原料、製造法などを紹介。コーヒーや紅茶等についても紹介する。 事前学修 2.0hr：普段利用している飲料について調べる 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
8回	**授業テーマ：外食業界** 授業内容：外食業の種類や業界の現状について確認する。外食チェーンの特徴や仕組み、フランチャイズ契約などを理解する。外食業界の社会での役割を考察する。 事前学修 2.0hr：外食チェーンの種類や仕組みを調べる 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
9回	**授業テーマ：飲食店経営(1)外部講師** 授業内容：飲食店を経営する外部講師を招聘し、店舗経営の経緯や方法、ビジョン等の講義を聞く。理解を深めるために質問する。 事前学修 2.0hr：外部講師の経営する飲食店について調べる 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示

10回	**授業テーマ：飲食店経営(2)外部講師** 授業内容：飲食店を経営する外部講師を招聘し、店舗経営の経緯や方法、ビジョン等の講義を聞く。理解を深めるために質問する。 事前学修 2.0hr：外部講師の経営する飲食店について調べる 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
11回	**授業テーマ：飲食店経営(3)外部講師** 授業内容：飲食店を経営する外部講師を招聘し、店舗経営の経緯や方法、ビジョン等の講義を聞く。理解を深めるために質問する。 事前学修 2.0hr：外部講師の経営する飲食店について調べる 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
12回	**授業テーマ：飲食店のサービス** 授業内容：飲食店のサービススタイル、手順、サービスする際のマナー等を確認する。テーブルセッティングや食器、カトラリーについて把握する。 事前学修 2.0hr：レストランでのサービス内容を調べる 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
13回	**授業テーマ：飲食店運営・経営** 授業内容：飲食店運営の手順、コンセプトやメニュー開発、運営システムの構築方法等を確認する。理想の飲食店運営、経営を考える。 事前学修 2.0hr：レストラン運営、サービスについて、前回の内容を復習 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
14回	**授業テーマ：食品衛生、安全管理** 授業内容：食品衛生と安全管理に関して、食中毒、腐敗・変敗、アレルギー食品、また労働災害や火災等を確認する。それらを防ぐのはもちろん、事業者や関わる者の責務について理解する。 事前学修 2.0hr：食の安全性について考える 事後学修 2.0hr：授業時間内に指示
15回	**授業テーマ：飲食業の現状、授業の復習、まとめ** 授業内容：飲食業界の動向や課題等、現状をデータを通して把握する。今後の動向や将来性を考え、キャリア形成の一助とする。授業全体を振り返り、知識と教養を身に付ける。 事前学修 2.0hr：14 回分の内容を復習し、疑問点をあげる 事後学修 3.0hr：期末テストに向けて準備する

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究 B

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2021 年度以前入学生対象

阿部　佳 (あべ　けい)

▌授業の概要

プロのパーソナルコミュニケーションスキルを知り、実社会で実践できるようになることを目的とする。
ホスピタリティ産業は、広い業種にかかわる世界共通の産業であり、その業務は多岐にわたる。また観光先進国を目指す日本では、今後ますます重視されることは間違いない。
この授業では、ホスピタリティ提供の専門職といわれる「コンシェルジュ」を教材に、ホスピタリティのプロに必要なパーソナルコミュニケーションを参加型で身につけると共に、その実践に不可欠なプロのネットワークについて正しく理解する。
授業内容、スケジュールは、諸条件・状況により、変更する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：HTM1）

一般目標：・いかなる業種、場面にも活かせる、プロのホスピタリティを理解し、パーソナルコミュニケーションを身につける
　　・その実践に不可欠なビジネスネットワークの役割と責任、構築方法を知る
個別目標：・プロのホスピタリティ、およびホスピタリティ産業を正しく理解し、その基礎知識とスキルを習得する。
　　・コンシェルジュの仕事を知り、あらゆる分野に活かせるプロのパーソナルコミュニケーションを身につける。
　　・プロのホスピタリティにおけるネットワークの意味と役割を知る。
　　・プロのネットワーク構築、強化拡大の方法を知る。

▌履修条件

参加型授業に積極的に取り組み、自ら研究、考察、発言する意欲ある者

▌評価基準・方法

・テスト・レポート等の提出状況と内容、プレゼンテーション 70 %
　授業でのディスカッション、ワークセッション等への取り組み姿勢、積極的発言、ホスピタリティ実践度 30 %　を基本として総合評価。
・授業出席 80 %、提出物期限内提出 80 %必須。

▌フィードバック方法

課題、ワーク等に対しては、授業でとりあげ、ポイントを共有し、自身で考える機会を含めてフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （相互コメント・ディスカッションを通じ、自ら考え、発信する）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション準備）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

適宜紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の目的、進行、内容の説明を聞き、理解する 事前学修 2.0hr：プロのホスピタリティとは何か、を自分なりに説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：ホスピタリティの目的とコンシェルジュの職務の確認
2 回	**授業テーマ：コンシェルジュとは？　仕事の特徴と概要** 授業内容：コンシェルジュの仕事の特徴と、役割を理解する 事前学修 2.0hr：コンシェルジュの仕事の特徴は何か、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：コンシェルジュの仕事についての確認と、疑問点のまとめ
3 回	**授業テーマ：コンシェルジュの”日常業務”とそのゴール** 授業内容：今後の授業の基礎知識として、コンシェルジュの日々の業務を知る 事前学修 2.0hr：コンシェルジュの日常業務はどんなことか、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：コンシェルジュの日常業務内容についての整理と、疑問点のまとめ
4 回	**授業テーマ：コンシェルジュの精神・哲学・資質** 授業内容：ホスピタリティのプロの心の持ちよう、考え方を知り、自身の強みを探る 事前学修 2.0hr：コンシェルジュに求められている「基本姿勢」は何か、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：コンシェルジュに重要なマインドとスピリットの確認と、疑問点のまとめ
5 回	**授業テーマ：コンシェルジュスピリットの実践** 授業内容：伝わるホスピタリティ発信のスキルを知る 事前学修 2.0hr：プロのホスピタリティの可視化、ホスピタリティを実践する、とは何をすることか、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：プロのホスピタリティ実践の心構えと手順について、確認と、疑問点のまとめ
6 回	**授業テーマ：プロのホスピタリティにおける顧客満足** 授業内容：プロにとって顧客とは誰か、満足とは何かを明確に理解する 事前学修 2.0hr：顧客とは誰か、満足とは何か、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：自分の顧客は誰か、その人に対して何ができるか、確認と、疑問点のまとめ
7 回	**授業テーマ：グループワーク①　お客様への提案** 授業内容：グループワーク　– お客様への提案内容を検討する 事前学修 2.0hr：ホスピタリティ提供に役立つお客様の特徴のとらえ方を考えておく 事後学修 2.0hr：相手の気持ちを読み解く視点、それに合わせた提案を整理
8 回	**授業テーマ：グループワーク②　お客様への提案** 授業内容：グループワーク　– お客様への提案の理由を明確にする 事前学修 2.0hr：提案内容を整理しておく 事後学修 2.0hr：相手の気持ちを読み解く視点、それに合わせた提案に不可欠な要素は何かを整理
9 回	**授業テーマ：グループプレゼンテーション** 授業内容：グループプレゼンテーション　– お客様への提案 事前学修 2.0hr：高品質のホスピタリティ提供のポイントを確認しておく 事後学修 2.0hr：自身のホスピタリティ実践における強み、弱みを確認

10回	**授業テーマ：グループプレゼンテーションへのフィードバック** 授業内容：グループワークへのフィードバックを通し、自身のホスピタリティの特徴を知る 事前学修 2.0hr：お客様の提案について、ほかの人の意見を理解、疑問点を挙げておく 事後学修 2.0hr：ホスピタリティ実践のさまざまな方法と効果を確認
11回	**授業テーマ：日本のホスピタリティ** 授業内容：その特徴、強み、弱みと今後の挑戦を知る 事前学修 2.0hr：日本のホスピタリティの特徴を説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：日本のホスピタリティの特徴と今後の課題について、確認と、疑問点のまとめ
12回	**授業テーマ：ホスピタリティのプロのネットワークの役割と責任** 授業内容：ホスピタリティ産業におけるネットワークの役割と責任を認識する 事前学修 2.0hr：ホスピタリティのプロのネットワークとはどういうことか説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：ホスピタリティのプロのネットワークについて、確認と、疑問点のまとめ
13回	**授業テーマ：個人ワーク　真心を伝える～** 授業内容：VIP を迎える手配を自ら考え、プロのネットワークの活用法を知る 事前学修 2.0hr：お客様の気持ちを読み取ってホスピタリティを実践することについて確認しておく 事後学修 2.0hr：ホスピタリティ実践を体験、ひとつひとつの意味を見直す
14回	**授業テーマ：コンシェルジュの歴史とレ・クレドール** 授業内容：コンシェルジュの歴史と　プロのホテルコンシェルジュのネットワーク組織について知識を得る 事前学修 2.0hr：現代のコンシェルジュの役割、位置づけを、説明できるように考えておく 事後学修 2.0hr：現代のホスピタリティの役割、レ・クレドールの概要について整理する
15回	**授業テーマ：まとめ　ホスピタリティのプロになる　気づく力を身につける** 授業内容：プロ意識～きく力・みる力・感じ取る力を身につける 事前学修 2.0hr：観ること、感じ取ることの意味、重要性を説明できるように準備しておく 事後学修 2.0hr：自身の、今後のホスピタリティとのかかわり方を考える

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究 B（ブライダル・フューネラル ビジネス）／ブライダル・ヒューネラルビジネス論

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2022 年度以降入学生のみ履修可能

中川　貴之（なかがわ　たかゆき）

▌授業の概要
結婚式と葬儀という儀礼文化について、実際にそれらを担う会社が登壇し、講義を行います。
歴史的背景から現在の業界ビジネス論まで幅広い範囲の概論となり、
結婚式と葬儀の概要から仕事の詳細な内容まで幅広く最新の情報を学べる講義です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）
一般目標：現代のセレモニーの形がどのような歴史的背景のもと創り上げられたのかを理解し、セレモニーの本質を知る。
個別目標：結婚式業界・葬儀業界の最新知識を説明できる。
セレモニーの歴史を説明できる。
積極的な授業への参加を通して、ホスピタリティ業界における生徒自身の適性について判断できる。

▌履修条件
結婚式業界・葬儀業界に興味を持って積極的に履修すること。

▌評価基準・方法
授業貢献度及び参加態度等 60 %、授業ごとのレポート 40 %及び到達目標の達成度に基づき総合的に判断する。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法
授業ごとのレポートのフィードバックは、必要に応じて次回授業時に直接行う。もしくは学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
なし

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
適宜プリントを配布する

▌参考書
中川貴之著『Time of Eternity －告別－』幻冬舎メディアコンサルティング 、2006 年出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション (ブライダル・フューネラル総合) 授業の方針** 授業内容：授業の方針の説明 事前学修 2.0hr：ブライダル、フューネラルについて考える。 事後学修 2.0hr：授業の方針を理解する。
2回	**授業テーマ：数多くの外資系一流ホテルのコーディネート、ブライダルフラワーを手がける『株式会社ユー花園』の講義①** 授業内容：葬儀におけるお花のコーディネートと、働く人の想い ※講義内容は順番が入れ替わることがあります。 事前学修 2.0hr：現代の各種セレモニー生花装飾の情報収集。(主にフューネラル) 事後学修 2.0hr：「生花」の効果と花を通してより良い社会づくりにも貢献している事業内容についての情報も学べる。
3回	**授業テーマ：葬儀の価値　現代の葬儀のスタンダードをつくりあげた業界注目度ナンバーワン『むすびす株式会社』の講義** 授業内容：お葬式の本質に迫り、世の中にとって在るべき葬儀とは、を学ぶ。 ※講義内容は順番が入れ替わることがあります。 事前学修 2.0hr：冠婚葬祭のマナーを調べる。葬儀概論 儀礼文化の観点から考察。 事後学修 2.0hr：葬儀の役割をまとめる。
4回	**授業テーマ：数多くの外資系一流ホテルのコーディネート、ブライダルフラワーを手がける『株式会社ユー花園』の講義②** 授業内容：ブライダルにおけるお花のコーディネートと、働く人の想い ※講義内容は順番が入れ替わることがあります。 事前学修 2.0hr：現代の各種セレモニー生花装飾の情報収集。(主にブライダル) 事後学修 2.0hr：「生花」の効果と花を通してより良い社会づくりにも貢献している事業内容についての情報も学べる。
5回	**授業テーマ：お葬式におけるホスピタリティ/グリーフケア　『むすびす株式会社』の講義** 授業内容：究極のサービス・究極の気遣いについて学ぶ。 ※講義内容は順番が入れ替わることがあります。 事前学修 2.0hr：グリーフとは何かを調べ、グリーフケアを通じて葬儀のあり方を考える。 事後学修 2.0hr：相手に寄り添う姿勢が一方的に励ますことよりも大切であるとされている「グリーフケア」について学べる。
6回	**授業テーマ：真心をこめて葬儀をおつとめする『仙行寺』より講義** 授業内容：古来の日本人の考え方、冠婚葬祭の必要性を学ぶ。 ※講義内容は順番が入れ替わることがあります。 事前学修 2.0hr：古来の日本人の考え方、葬儀の歴史を考える。 事後学修 2.0hr：日本ならではの文化と由緒ある日本庭園。日本人ならではの気遣いと細やかなおもてなしについて学べる。
7回	**授業テーマ：ハウスウェディングを手がける『株式会社ディアーズ・ブレイン』より講義** 授業内容：現代のウエディング業界について、ウエディング業界で働くとは。 ※講義内容は順番が入れ替わることがあります。 事前学修 2.0hr：ブライダル・ドレス・レストラン・コンサルティングの総合を考察する。 事後学修 2.0hr：常に先を捉え、一歩先を行くサービスを創出してきたディアーズ・ブレインの魅力を学べる。
8回	**授業テーマ：映像、アルバムナンバーワン企業。『KRK プロデュース株式会社』より写真撮影・映像・企画・制作についての講義①** 授業内容：一生に一度の大切な場において、感動を創る映像とは。 ※講義内容は順番が入れ替わることがあります。 事前学修 2.0hr：現代には、欠かせない「映像」について、慶弔双方の面から考察する。 事後学修 2.0hr：最新の映像制作技術・企画について学べる。

9回	**授業テーマ：むすびす株式会社【人事部】より講義** 授業内容：この先仕事をするみなさんへ、「働く」「キャリアを形成する」とは。 ※講義内容は順番が入れ替わることがあります。 事前学修 2.0hr：仕事の使命→「命を輝かせる・命をむすぶ」なぜ？ なんのために？　考察する。 事後学修 2.0hr：「まず大切なことは、私たちが企業人である前に人間だということ」この世に命を授かり、その命を全うしていくことについて
10回	**授業テーマ：海外挙式、リゾートウェディングの『株式会社グットラック・コーポレーション』より海外挙式事情の講義** 授業内容：リゾートウェディングとは。リゾートウェディングを通じてどんな価値を創っているのかを学ぶ。 ※講義内容は順番が入れ替わることがあります。 事前学修 2.0hr：海外挙式やリゾートウェディングを調べる。 事後学修 2.0hr：海外挙式、リゾートウェディングはどのような仕事、業界なのかを理解する。
11回	**授業テーマ：ブライダル産業を中心としたサービス業の経営コンサルティングソリューションを提供する『株式会社 TIPLOG』より講義** 授業内容：ブライダル業界のトレンドと TIPLOG の事業について学ぶ。 ※講義内容は順番が入れ替わることがあります。 事前学修 2.0hr：ブライダル衣装の最新情報を収集。 事後学修 2.0hr：ブライダルにおける衣装について。仕事と業界を理解する。
12回	**授業テーマ：映像、アルバムナンバーワン企業。『KRK プロデュース株式会社』より写真撮影・映像・企画・制作についての講義②** 授業内容：一生に一度の大切な場において、感動を創る映像とは。 ※講義内容は順番が入れ替わることがあります。 事前学修 2.0hr：現代において欠かせない「写真」について、最新の撮影テクニックなども学べる。 事後学修 2.0hr：最新の撮影技術・制作・企画について学べる。
13回	**授業テーマ：むすびす株式会社の『新卒メンバー』より講義** 授業内容：目線が近い先輩だからこその、就職活動へのアドバイス・会社の選び方を学ぶ ※講義内容は順番が入れ替わることがあります。 事前学修 2.0hr：自分がどんな職業につきたいか、就活の軸は何かを考察する。 事後学修 2.0hr：就職活動に活かす。
14回	**授業テーマ：ハウスウェディングナンバーワン企業。常に新しい提案をする『株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ』より講義** 授業内容：業界最大手の企業から、現代のウェディング業界について・想いを学ぶ。 ※講義内容は順番が入れ替わることがあります。 事前学修 2.0hr：「One Heart Wedding」とは何か？　一軒家完全貸切スタイル・一顧客一担当制スタイルの意味。海外挙式の魅力を考察する。 事後学修 2.0hr：T&G スタンダード「感動づくりへの想いをひとつにする」の内容や意味を学べる。
15回	**授業テーマ：復習** 授業内容：講義のまとめ 事前学修 2.0hr：本授業 1 回～14 回までの振り返り 事後学修 2.0hr：本授業で学んだ事を振り返り、心で感じた内容をまとめる。

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ｃ（法規）

開講学科等：HT ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後

山田　正芳（やまだ　まさよし）

▌授業の概要

ツーリズム業界に従事する上で必須の法律である「旅行業法」及び「旅行業約款」の基本的な考え方について、実際の事例(特に旅行契約、旅行の取消、旅行業者の責任など)を用いながら講義していく。また、アクティブラーニングの手法を導入し、随時学生には質疑意見を求め、双方向の授業を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：旅行業務における法律の考え方や約款を理解する。

個別目標：約款を学ぶことにより、旅行現場におけるトラブルを解決できるようになる。さらに、旅行業法を学ぶことにより、旅行会社を創業するための知識を得る。

▌履修条件

ツーリズム業界に従事することを希望し、特に旅行業で用いられている法律、約款について学ぶ意欲のある学生。

▌評価基準・方法

期末試験（７０%）、適宜行う小テスト又はコメントシート（２０%）、授業態度など（１０%）に基づき総合的に評価する。また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （随時ディスカッションにより、検定内容の理解を深める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

講義時、資料を配布する。詳しくはガイダンスで案内する。

▌参考書

必要に応じ、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(講義目的・講義の進め方・評価など)についてのガイダンス** 授業内容：シラバスを基に、到達目標、授業概要、評価方法及び評価基準並びに授業の進め方について説明する。また、法規にはどのような種類があり、どのような内容なのか、大まかに学ぶ。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返しておく。
2回	**授業テーマ：旅行業約款①** 授業内容：約款とは、消費者(旅行者)との契約内容を記したものである。この回では約款の基礎を実例に沿って学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
3回	**授業テーマ：旅行業約款②** 授業内容：この回では約款の第１歩、つまり契約をどのように結ぶのか、契約を拒否することは可能なのか、などという事を様々な契約パターンを例にとり、学習する。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
4回	**授業テーマ：旅行業約款③** 授業内容：この回では、契約の変更について学ぶ。例えば、契約通りの旅行日程にならなくなった場合、旅行業者の責任範囲はどのように決められているのか、などという事を様々な実例から学習する。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
5回	**授業テーマ：旅行業約款④** 授業内容：この回では、契約の解除(キャンセル)について学ぶ。例えば、旅行者の都合で旅行を取りやめる場合、どのような流れになるか、また、旅行業者から契約を解除することは可能なのか、その時はペナルティなどはあるのか、などという事を様々な実例から学習する。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
6回	**授業テーマ：旅行業約款⑤** 授業内容：旅行業者の重要な債務である旅程管理を学ぶ。具体的には、旅行に同行するツアーコンダクターのことを言う。この旅程管理の内容を学ぶ。また実際のツアーで起きたトラブルをツアーコンダクターがどのように回避したかなどを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
7回	**授業テーマ：旅行業約款⑥** 授業内容：旅行業者には、旅行を安全かつ円滑に進めるためにどのような責任を持っているか、またその責任を取るにはどのような方法があるのか、旅行業者の責任にはなり得ないトラブルはあるのか、などという事を様々な実例から学習する。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
8回	**授業テーマ：旅行業約款⑦** 授業内容：前回に引き続き、旅行業者の責任について学ぶ。特に特別補償規程を中心に学ぶが、この規程は旅行者が被った損害を旅行業者が補償するという内容で、きわめて細かい約束事項になる。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
9回	**授業テーマ：旅行業法①** 授業内容：旅行業の最重要法規は旅行業法である。旅行会社を立ち上げるためにやらなければいけないことを学ぶ。この回は、旅行業とは具体的にどのような行為を言うのか、学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。

10回	**授業テーマ：旅行業法②** 授業内容：旅行会社を営む場合は、国に旅行業の登録を申請しなければならない。ただし、条件が満たされない場合、この登録申請は拒否される。どのような拒否条件があるか、そういった部分を実例を挙げながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
11回	**授業テーマ：旅行業法③** 授業内容：旅行業は登録がなされただけでは営業を始めることができない。では具体的にどのようなステップを踏むことで営業が開始されるのか、といったことを実例を挙げながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
12回	**授業テーマ：旅行業法④** 授業内容：旅行業を営む場合、営業を開始する前に決めておかなければけない事柄がいくつかある。標識、外務員証、取扱料金などであるが、実例を挙げながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
13回	**授業テーマ：旅行業法⑤** 授業内容：旅行の広告を出す場合のルールや、旅程管理者(ツアーコンダクター)の研修要件、さらに、自社商品を他社で販売してもらうという受託契約について、実例を挙げながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
14回	**授業テーマ：旅行業法⑥** 授業内容：旅行業法には、ある行為により、営業停止や旅行業の登録取消といった重いペナルティを受ける事象がある。そういった部分を実例を挙げながら学ぶ。さらに、様々なクレームに対し、対処法を考えてみる。 事前学修 2.0hr：前回までに配布した資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、資料を読み直しておく。
15回	**授業テーマ：旅行業約款、旅行業法の総まとめ** 授業内容：今まで学んだ約款と法律を復習し、旅行会社にとって、旅行関連法規がいかに重要かを考える。 事前学修 2.0hr：前回までに配布した資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：事例を振り返り、資料を読み直しておく。

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究D（エンターテイメント／テーマパークビジネス）

開講学科等：HT ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前/後

森崎　泰助（もりさき　たいすけ）

▌授業の概要
テーマパーク、映画、アニメ、ゲーム、各種舞台、等のエンターテイメントビジネスを考察することによって、分類・エンターテイメントビジネスの課題と展開を検証する。
課題等のフィードバックは、学習支援システム manaba・個人メール・対面等、状況に応じて行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）
一般目標：一般目標：日本におけるエンターテイメントビジネスの現状の把握と今後のエンターテイメントビジネスの推測が可能になる。
個別目標：個別目標：グループワークとして、アトラクションを企画してみる

▌履修条件
特になし

▌評価基準・方法
（1）期末テスト又は期末レポート
（2）授業参加、授業態度、小レポート

▌フィードバック方法
授業の中での質疑応答
小レポートの内容評価

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
なし

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
必要に応じて講義毎に資料（プリント等）を配布（教科書は特に指定しない）

▌参考書
適時紹介するが特に指定しない

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業に関するガイダンス** 授業内容：今期の授業のテーマと内容の概要紹介 事前学修 2.0hr：エンターテイメントビジネスについて考えてみる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
2回	**授業テーマ：エンターテイメントビジネスの分類と市場** 授業内容：エンターテイメントビジネスの分類、テーマパーク等の市場動向 事前学修 2.0hr：エンターテイメントビジネス市場を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
3回	**授業テーマ：エンターテイメントビジネスの考察１（映画業界の現状）** 授業内容：映画業界の現状と映画から派生するエンターテイメントビジネス 事前学修 2.0hr：映画ビジネスを調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
4回	**授業テーマ：エンターテイメントビジネスの考察２（舞台とショータイプの分類）** 授業内容：舞台の分類、コンテンツの紹介、関連会社の構造、他 事前学修 2.0hr：舞台について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
5回	**授業テーマ：エンターテイメントビジネスの考察３（マジック、イリュージョンショー、サーカスとレビュー）** 授業内容：各演目ショーの歴史、テクニック、今後の展望 事前学修 2.0hr：マジックショー、サーカスについて調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
6回	**授業テーマ：エンターテイメントビジネスの考察４（アイスショー、ミュージカル）** 授業内容：ディズニーオンアイスの事業ケーススタディ、ミュージカルについて 事前学修 2.0hr：ミュージカルについて調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
7回	**授業テーマ：エンターテイメントビジネスの考察５（クールジャパンコンテンツの考察１キャラクターの検証）** 授業内容：キャラクターライセンスビジネスについて、取り巻く環境を事例をもって紹介しながらのスタディ 事前学修 2.0hr：クールジャパンについて調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
8回	**授業テーマ：エンターテイメントビジネスの考察６（クールジャパンコンテンツの考察２アニメから広がるビジネス）** 授業内容：アニメビジネスの許諾の仕組み、国の支援事業等紹介 事前学修 2.0hr：クールジャパンについて調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
9回	**授業テーマ：テーマパークビジネスの考察１** 授業内容：テーマパーク開発の事例をもって紹介しながらのスタディ 事前学修 2.0hr：テーマパークについて調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
10回	**授業テーマ：テーマパークビジネスの考察２（アトラクション）** 授業内容：アトラクションの仕組み、技術を紹介しながらのスタディ 事前学修 2.0hr：について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
11回	**授業テーマ：キャラクターライセンスビジネスの考察１（キャラクターライセンスビジネス）** 授業内容：世界が注目するアニメについて事業規模・展開の事例紹介しながらのスタディ 事前学修 2.0hr：キャラクターライセンスビジネスについて調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理

12回	**授業テーマ：キャラクターライセンスビジネスの考察2（グループワーク）** 授業内容：ＴＤＬ、ＵＳＪ、他　キャラクターを展開するキャラクターの事業的活用のスタディ アトラクションを考える 事前学修 2.0hr：テーマパークを中心としたキャラクターを調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
13回	**授業テーマ：テーマパークの考察3（グループワーク）** 授業内容：テーマパークの事業目線の分析 アトラクションを考える 事前学修 2.0hr：ＴＤＲで行われているショーを調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
14回	**授業テーマ：テーマパークビジネスの考察4（グループワーク）** 授業内容：アトラクションを考える 事前学修 2.0hr：アトラクションを調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の整理
15回	**授業テーマ：エンターテイメントビジネスの今後** 授業内容：アトラクション企画の発表 これからのエンターテイメントビジネスの今後の展望 事前学修 2.0hr：エンターテイメントビジネスの展望を考える 事後学修 2.0hr：授業内容の整理

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ｅ（ＭＩＣＥ）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

五十嵐　潤子（いがらし　じゅんこ）

▌授業の概要

ツーリズム産業における大きな市場として、MICE 市場があります。MICE とは、「Meeting（会議）· Incentive（報奨）· Convention（コンベンション）· Event（イベント）」の頭文字をとったもので、「マイス」と読みます。主催者の性質や目的、規模、参加形態なども様々で、レジャー目的のツーリズムとは、関わる参加事業者や団体、また提供されるサービスなども異なることも多く、ユニークな特性を持っています。特に、日本で開催される国際 MICE は、「観光立国」日本を掲げる政府にとっても、重要なマーケットと位置付けられ、官民をあげた取り組みが期待されています。本授業では、政府・自治体・企業・地域の様々な取組や MICE それぞれの市場特性などを学びます。

※授業内容は、諸条件・状況により、変更します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：MICE に関わる事業領域の多様性や、MICE 主催者が求める価値、それに対する事業者やサービスの特徴などを学ぶことにより、MICE 市場が果たす社会的意義や、そのプロセスに関する知識を修得する。

個別目標：・MICE それぞれの頭文字ごとの種別とその特徴について、理解し説明できる。
・MICE 市場に関わる事業者や団体の種別、提供されるサービス、関連する職種について理解し、説明できる。
・MICE に関わる情報について、一定レベルを、Web 上から収集することができる。
・MICE 市場における日本の状況を、世界の主要国との比較において理解し、説明できる。
・簡易なイベントについて、そのイベント運営マニュアルを作ることができる。

▌履修条件

・出席者間でのグループディスカッションをする場合もあるため積極的に参加する意欲を持つこと。
・manaba の 1 機能である、「respon」を活用するため、事前に respon アプリを使用できる環境を用意すること（方法は授業開始前にコースニュースで掲示）
・授業資料は、manaba のコースコンテンツ、臨時的な情報類は manaba のコースニュースを使用。必ず manaba のコースニュース、新規課題告知機能を有効にすること。

▌評価基準・方法

【出席要件】
「①授業への出席（＝冒頭の respon による出席投稿）」＋「②授業中のすべての respon 投稿（複数回あり）」＋「③授業コメント」の 3 セットが揃えば「出席」
【成績要件】
各授業回ごとの出席状況・課題の提出内容・受講時参画態度・意欲など（70 %）· 期末試験（30 %）
※詳細は、第一回の授業（オリエンテーション回）で説明します。

▌フィードバック方法

・原則として、前回の授業に対して提出いただいた授業コメントについて、フィードバックを次回授業内で行います。課題によっては、manaba のフィードバック機能を使います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （数回程度、グループディスカッションあり。毎回、レスポンによる投稿あり。授業課題の発表機会と履修者による評価機会あり。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、授業内 respon の投稿用にスマホを含め、respon 投稿を可能にする環境を必要とする）

▌教科書

使用しない。原則として授業資料は、manaba 上で前日 12:00 を目安に公開。

▌参考書

特になし。必要に応じて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（講義目的、授業の進め方、評価等説明）、MICE とは―ツーリズム産業における MICE** 授業内容：・当授業に関するオリエンテーション（授業の進め方、授業評価基準、出欠基準など） ・MICE とは何か、基本の考え方を知る ・MICE がもたらす経済効果と、国策としての意義を考える 事前学修 2.0hr：ツーリズム産業のすそ野の広さについて改めて確認しておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
2回	**授業テーマ：MICE 概論 ―MICE の歴史、国家戦略としての MICE 誘致** 授業内容：MICE の成り立ちや歴史を学ぶほか、コロナ禍を経て変化した MICE 市場やその存在意義について考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
3回	**授業テーマ：M&I：ミーティング&インセンティブビジネス①概論** 授業内容：MICE の中でも、企業ニーズの大きな「M」と「I」について、市場規模や企業が実施する目的や効果など、その詳細を学ぶ 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
4回	**授業テーマ：M&I：ミーティング、インセンティブビジネス② M&I に関わる業務** 授業内容：M&I を成功させるために、関わる事業領域や事業者特性を学ぶ 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
5回	**授業テーマ：M&I　実際のイベント実施の現場から M&I の意義を知る～基礎的な運営マニュアルの構成を知ろう** 授業内容：M&I 事業に従事するプロフェッショナルをお招きし、実際に事例を交えながら、実際に M&I の現場で必要となるオペレーション上のマニュアルにどのような要素が必要かなどについて、外部の専門家が講演 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
6回	**授業テーマ：C：コンベンションビジネスについて** 授業内容：MICE の中の C、コンベンションについて、その意味やイベント特性、実施の意義や経済効果などを学ぶ 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する

7回	**授業テーマ：E：イベント、展示会について** 授業内容：MICE の中の E、イベントや展示会、見本市などについて、その意味やイベント特性、実施の意義や経済効果などを学ぶ 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
8回	**授業テーマ：地域にとっての MICE 誘致の意義と取り組み① ー MICE を誘致する政府組織・団体・地域コンベン ションビューロー概論** 授業内容：MICE を国策として推進するに際しての関連団体や、地域の誘致機関などの役割や目的などを学ぶ 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
9回	**授業テーマ：地域にとっての MICE 誘致の意義と取り組み②ーちば国際コンベンションビューローの取り組み** 授業内容：明海大学の最も身近で MICE 誘致に取り組む公益団体「ちば国際コンベンションビューロー」の方を外部講師としてお招きし、地域の誘致の現場の実情についてお話しいただくことを通して、リアルな仕事内容や役割への理解を深める 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
10回	**授業テーマ：業界におけるプレイヤー** 授業内容：実際に MICE 領域で活躍する代表的な企業名などを取り上げながら、MICE を行う上で必要な強みや特性を学ぶことを通して、未来の自身の仕事観の醸成にも繋げる 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
11回	**授業テーマ：MICE にとって重要な会場・施設の考え方「ユニークベニュー」について I** 授業内容：MICE の成功に重要な鍵を握る「会場(=ベニュー)」について、そのユニークさ、貴重さが果たす役割や具体的なユニークベニューについて考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
12回	**授業テーマ：IR―統合型リゾートのビジネスチャンス** 授業内容：外部講師を招き、概念が誤解されやすい、またわかりにくい、IR：統合型リゾートについて、その法的位置付けや、効果、経済効果への期待などを学び、その意義について考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
13回	**授業テーマ：世界の MICE 市場について** 授業内容：１２回までは主に、日本の MICE 市場について学んできましたが、本回では、海外における MICE 市場について学び、日本との違いなどについて考える 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
14回	**授業テーマ：地域にとっての MICE 誘致の意義と取り組み③―(課題共有)** 授業内容：「地域のコンベンションビューローについて調べる」というテーマでの課題の中から優秀者が発表する 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
15回	**授業テーマ：まとめ(14 回の復習)** 授業内容：全 14 回の総復習 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究 F（地域創生）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

五十嵐　潤子（いがらし　じゅんこ）

▌授業の概要

日本は人口減少・少子高齢化を向かえています。経済、とりわけ人口減少度合いが著しい地域経済の活性化のためには流入人口の拡大を図る必要があります。そのため、観光地・観光施設・観光事業者等は様々な知恵を出し流入人口を増やそうと努力しています。本授業では、地域の活性化にとって重要なツーリズムとの関連性やまちづくりの取組事例を検証し、効果について学びます。
※授業内容は、諸条件・状況により、変更します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 3、HTM1）

一般目標：観光が地域・施設に与える影響について理解する。
個別目標：①各観光地の取組や課題、置かれている社会環境について理解し説明できる。
②観光に携わる様々な団体や事業者等の相互関係性を理解し、地域を活性化させるための様々な戦略について理解を深める。
③地域がまちづくりに取り組む上で、どのようなことが重要なのかを、まちづくりとは何か、という観点から自身の意見を述べることができる。

▌履修条件

・原則、毎回、教員の指定した座席配置によるグループディスカッションがあるため、グループディスカッションに意欲的に参加すること。
・manaba の 1 機能である、「respon」を活用するため、事前に respon アプリを使用できる環境を用意すること（方法は授業開始前にコースニュースで掲示）。
・授業資料は、manaba のコースコンテンツ、臨時的な情報類は manaba のコースニュースを使用。必ず manaba のコースニュース、新規課題告知機能を有効にすること。

▌評価基準・方法

【出席要件】
「①授業への出席（＝冒頭の respon による出席投稿）」＋「②授業中のすべての respon 投稿（複数回あり）」＋「③授業コメント」の 3 セットが揃えば「出席」
【成績要件】
各授業回ごとの出席状況・課題の提出内容・受講時参画態度・意欲など（70 %）· 期末試験（30 %）
※詳細は、第一回の授業で説明します。
【課題等のフィードバック方法】
・原則として授業内で行います。課題によっては、manaba のフィードバック機能を使います。

▌フィードバック方法

・原則として、前回の授業に対して提出いただいた授業コメントについて、フィードバックを次回授業内で行います。課題によっては、manaba のフィードバック機能を使います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回、グループディスカッションあり。その他授業中に自分の考えを投稿する respon 数回あり。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しない。必要に応じて資料を配布。

▌参考書

書籍「熱海の奇跡」市来広一郎著　東洋経済新報社刊・・・レポート提出あり（授業内で詳細を説明）
⇨購入、図書館等からの借用等自由。（ファカルティオフィスにも、貸出用書籍あり）
他、適宜紹介予定。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション（講義目的、講義進行、評価説明）「まちづくりとは何か、観光がもたらす力とは何かを考える」** 授業内容：・当授業に関するオリエンテーション（授業の進め方、授業評価基準、出欠基準など） ・まちづくりを学ぶ上で必須となる、日本に横たわる人口減少などの背景を考えるほか、まちづくりとは一体何か、について考えます。 事前学修 2.0hr：出身地など、自身の関心ある町の観光産業について調べておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
2 回	**授業テーマ：観光地の魅力開発に向けた様々な取り組み ～まちづくりの事例に学ぶ①** 授業内容：まちづくりの事例第一弾として、草津町の事例を取り上げます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
3 回	**授業テーマ：観光地の魅力開発に向けた様々な取り組み ～まちづくりの事例に学ぶ②** 授業内容：まちづくりの事例をいくつか取り上げ、実際に、まちを魅力的にしていくための手法について考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
4 回	**授業テーマ：旅行業が関わる地域活性化への取り組み（外部講師予定）** 授業内容：まちづくりをする上で、外部の知識やノウハウを活かしながら連携する手法などを通して、重要な視点を学ぶ 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
5 回	**授業テーマ：地域観光に関わる公的団体について** 授業内容：地域観光に関わる、DMO やコンベンションビューロー、観光協会といった各種団体の役割や事例を学びます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
6 回	**授業テーマ：インバウンドがもたらす新たな地域の魅力を考える** 授業内容：地域がインバウンド（訪日外国人）を受け入れる意義を理解し、具体的にどんな地域がどんな取り組みによってどんな市場にアプローチしているかなどの具体的な取り組みを学びます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する

7回	**授業テーマ：オーバーツーリズムを考える** 授業内容：SDGs の考え方との関係の深い、オーバーツーリズム。観光客が増えることによってどのようなメリット・デメリットが生じるのかその功罪を考えると共に、実際の事例や取り組みなどを学びます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
8回	**授業テーマ：○○ツーリズム～持続可能な観光のあり方を考える** 授業内容：テーマを串刺しにすることを通して、様々な地域の観光資源に日が当たり、新たな誘客装置となりうると同時に、そのことが持続可能なツーリズムに発展していく背景と、その具体的な事例を考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
9回	**授業テーマ：特定の○○ツーリズム～ロケツーリズムについて（外部講師予定）** 授業内容：コンテンツツーリズムとも言われる、映画やアニメ、配信コンテンツなどのロケ地になることによって外部からの交流人口を増やす考え方について、課題や重要な視点をプロデューサー的な経験を持つ外部講師より学ぶ。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
10回	**授業テーマ：地域の課題と Maas の取り組み** 授業内容：・二次交通がまだまだ行き届かないことによってなかなか個人の観光客の誘致につながりにくい現状を打破する新たな ICT の活用による非乙の考え方が MaaS（Mobility as a Service）です。MaaS とは何かを知り、この活用が具体的にどのような変化を地域にもたらしうるのかを考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
11回	**授業テーマ：関係人口という考え方に伴う様々な取り組みを考える** 授業内容：「交流人口」でも「定住人口」でもない、その中間的な機能を果たしうる、「関係人口」という考え方を学び、地域の活性化につながる活動力は何かを考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
12回	**授業テーマ：観光地の魅力開発に向けた様々な取り組み事例（海外編）** 授業内容：これまでは主に日本国内のまちづくりを見てきましたが、本回では、海外の DMO やまちづくり事例などを学び、多様な取り組みがあることを知ることで視野を広げます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
13回	**授業テーマ：発表：「熱海の奇跡」にまちづくりを学ぶ** 授業内容：事前に提出いただいた、「熱海の奇跡」に関するレポートについて、優秀者に発表いただきます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
14回	**授業テーマ：大災害からの地域復興を考える ~東日本大震災と復興の１４年** 授業内容：日本にとって忘れてはいけない大災害となった東日本大震災。その震災の最中にあっても、自らの旅館施設を避難場所として提供し、人々の経済が少しでも回るように、子供たちが未来への希望を無くさないように、震災の教訓を決して忘れられないように、様々な取り組みを行ってきた「南三陸ホテル観洋」の女将を招いて（オンライン出演）、その軌跡をたどりながら、まちづくりに欠かせないリーダーの存在をリアルに考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
15回	**授業テーマ：まとめ（14 回の復習）** 授業内容：全１４回をおさらいします。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ｇ（ブライダルⅠ）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

村田　順子（むらた　じゅんこ）

▌授業の概要

ブライダル(婚礼)全般の基礎知識とブライダル営業・接客現場のエキスパートである「ブライダルコーディネーター」として必要な専門知識を学ぶ。また、テキストだけではなく、現役で活躍する外部講師による講義やグループワーク等を通じて、ブライダル業界について学修する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：ブライダル業界に従事する者として不可欠な一般常識や文化・法令・慣習・宗教・儀礼・作法等に関する幅広い知識はもとより、ブライダル独自の専門知識を習得する。また、コミュニケーションの重要性を理解し、その能力を身につける。

個別目標：①ブライダルに関する知識(一般・専門)が説明できる。
②信頼関係を構築するコミュニケーションを図ることができる。
③プレゼンテーション(企画提案)の重要性を説明できる。
④国家検定資格「ブライダルコーディネート技能検定 3 級」を取得する知識を身につけることができる。

▌履修条件

①ブライダル業界に興味があり、進路として視野に入れていること
②国家検定資格「ブライダルコーディネート技能検定 3 級」の取得をめざす学生
③後学期授業「ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ｈ(ブライダルⅡ)」が履修可能な者
※履修希望多数の場合は、オリエンテーション後の課題提出により選出

▌評価基準・方法

①試験(小テスト含む) 50 %
②課題内容(レポート・グループワーク等) 30 %
③授業参加姿勢(グループワーク等)及び到達目標の達成度 20 %
上記項目に基づき、総合的に判断する。

▌フィードバック方法

小テストや課題内容に応じて、以下に記載した方法を用いてフィードバックを行う。
① manaba（個別コレクション・コースニュース等)を利用し、個別または履修者全員へフィードバック
②授業内にて資料及び口頭によるフィードバック

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワーク時に使用）

▌教科書

著書名：Bridal Coordinator Text Standard ブライダルコーディネーターテキスト　スタンダード
発行　：BIA　公益社団法人日本ブライダル文化振興協会
※学科でまとめて購入しますので、個別に購入する必要はありません。購入方法は manaba で通知します。

▌参考書

書著名：Bridal Dictionary　ブライダル用語辞典
発行　：BIA　公益社団法人日本ブライダル文化振興協会
※購入は任意

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(授業内容／ブライダルとは？)** 授業内容：「この授業で学ぶこと」及び「ブライダルとは」を学び、ブライダル業界の職種、ブライダルコーディネーターの役割について理解をする。 事前学修 2.0hr：manaba のコースニュース、コンテンツの「授業資料」を目を通しておくこと 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
2回	**授業テーマ：結婚とは①(結婚の定義とは／日本の結婚式)** 授業内容：結婚とは何か、具体的にどのようなことを指すのか、また最初に知っておくべき結婚の法律上の定義や言葉の意味、日本の結婚式の歴史や文化について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト P.2～Lesson1 第 1・2 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
3回	**授業テーマ：結婚とは②(欧米の結婚式)** 授業内容：キリスト教式の結婚式など日本の結婚式にも大きな影響を与えている欧米の結婚式について、歴史や文化的な観点から学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson1 第 3 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
4回	**授業テーマ：ブライダルビジネス①(市場・業種・関連業種)** 授業内容：ブライダルビジネスは、結婚式・披露宴関連の業種だけではなく、様々な業種があり、幅広いマーケットを含んでいる。この授業では、ブライダルビジネスの基本とその動向について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson2 第 1・2・3・4 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
5回	**授業テーマ：ブライダルビジネス②(外部講師講義)** 授業内容：外部講師の講義にて、ブライダルの知識を深め、また業界の現状を知ることを目的とする。 事前学修 2.0hr：ブライダル関連業について復習しておくこと。また、外部講師の企業について調べ、把握しておく。 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
6回	**授業テーマ：ブライダルビジネス③(エリア特性・集客)** 授業内容：結婚式において風習や地域の特性は、しきたりやマナーの点で大事な意味を持つ。この授業では、特に知っておくべき風習のエリア特性について学ぶ。また、ブライダル業界の集客システムについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson2　第 5・6 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む

7回	**授業テーマ：ブライダルの基礎①（見合い・婚約・結納）** 授業内容：結婚式のプロフェッショナルとして接客時に不可欠となる知識を学ぶ。この授業では、見合い・結納・婚約から結婚式・披露宴という一連の基礎について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson3 第 1・2 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
8回	**授業テーマ：ブライダルの基礎③（ブライダル準備／キリスト教式）** 授業内容：結納・婚約に始まり、結婚式・披露宴、新婚旅行、結婚報告を含むブライダル全体の準備と日本における結婚式のスタイルの中で、最も人気のあるキリスト教式について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson3 第 3・4 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
9回	**授業テーマ：ブライダルの基礎④（外部講師講義：「神前式」について）** 授業内容：外部講師の講義にて知識を深め、日本固有の結婚式スタイルである「神前式」を知ることを目的とする。 事前学修 2.0hr：外部講師が所属する挙式場所について調べ、把握しておく。 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
10回	**授業テーマ：ブライダルの基礎⑤（神前式・仏前式・人前式）** 授業内容：日本における結婚式のスタイルで、キリスト教式以外の神前式・仏前式・人前式について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson3　第 5・6・7・8 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
11回	**授業テーマ：ブライダルの基礎⑥（披露宴）** 授業内容：結婚式が新郎新婦とその家族・親族を中心とした儀式であるのに対し、お披露目を目的として招待客に社会的に認知してもらう披露宴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson3　第 9 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
12回	**授業テーマ：ブライダルの基礎⑦（海外ウエディング、二次会）** 授業内容：海外での挙式と披露宴を行う海外ウエディング、新婚旅行及びアフターウエディングについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson3 第 10・11 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
13回	**授業テーマ：グループワーク①** 授業内容：講義で学んだ授業内容をもとに、提示された課題についてグループで考え、発表資料を作成する。 事前学修 2.0hr：課題に対する自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：グループの意見をまとめ、発表用の資料を作成する。また、課題の提示がある場合は課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：グループワーク②（発表）** 授業内容：講義で学んだ授業内容をもとに、グループで考えた課題内容についてグループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：グループの意見をまとめ、発表用の資料を作成する。 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にしながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
15回	**授業テーマ：前学期授業まとめ** 授業内容：前学期に学んだ「ブライダルの基礎知識」についてのまとめを行う。 事前学修 2.0hr：前学期の講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習しておく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究 H（ブライダルⅡ）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

村田　順子（むらた　じゅんこ）

▌授業の概要

ブライダル(婚礼)全般の基礎知識とブライダル営業・接客現場の総合エキスパートである「ブライダルコーディネーター」としての必要な専門知識を学ぶ。また、テキストだけではなく、現役で活躍する外部講師による講義やグループワーク等を通じて、ブライダル業界について学修する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：ブライダル業界に従事する者として不可欠な一般常識や文化・法令・慣習・宗教・儀礼・作法等に関する幅広い知識はもとより、ブライダル独自の専門知識を習得する。また、コミュニケーションの重要性を理解し、その能力を身につける。

個別目標：①ブライダルに関する知識(一般・専門)が説明できる。
②信頼関係を構築するコミュニケーションを図ることができる。
③プレゼンテーション(企画提案)の重要性を説明できる。
④国家検定資格「ブライダルコーディネート技能検定 3 級」の取得が可能な知識を身につけることができる。

▌履修条件

①ブライダル業界に興味があり、進路として視野にいれていること
②国家検定資格「ブライダルコーディネート技能検定 3 級」の取得をめざす学生
③前学期授業「ホスピタリティ・ツーリズム産業研究 G（ブライダルⅠ）」を履修済であること
※履修希望多数の場合は、オリエンテーション後の課題提出により選出

▌評価基準・方法

①試験(小テスト含む) 50 %
②課題レポート内容 30 %
③授業参加姿勢及び到達目標の達成度 20 %
上記項目に基づき、総合的に判断する。

▌フィードバック方法

小テストやレポートなど内容に応じて、以下に記載した方法を用いてフィードバックを行う。
① manaba（個別コレクション・コースニュース等)を利用し、個別または履修者全員へフィードバック
②授業内にて資料及び口頭によるフィードバック

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワーク時に使用）

▌教科書

著書名：Bridal Coordinator Text Standard ブライダルコーディネーターテキスト　スタンダード
発行　：BIA　公益社団法人日本ブライダル文化振興協会
※学部でまとめて購入しますので、個別に購入する必要はありません。購入方法は manaba で通知します。

▌参考書

書著名：Bridal Dictionary　ブライダル用語辞典
発行　：BIA　公益社団法人日本ブライダル文化振興協会
※購入は任意

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：後学期授業内容について／コーディネーター業務①(新規業務)** 授業内容：後学期の授業内容とブライダルコーディネーターの業務とは何かを学び、結婚式を考えているゲストの会場への初来館から成約するまでの一連の業務である「新規業務」について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前期授業のテキスト Lesson1～3 を復習し、Lesson4 第 1・2・3 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
2回	**授業テーマ：コーディネーター業務①(ホスピタリティ営業から成約業務)** 授業内容：新規業務で成約につなげるには顧客のニーズの把握が最も重要である。その顧客ニーズの把握及び会場との本契約を結ぶ一連の業務である「成約業務」について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson4 第 4・5・6・7・8．9 勝を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
3回	**授業テーマ：コーディネーター業務②(打合せ業務)／ブライダルアイテムの選定①(コーディネート)** 授業内容：成約担当コーディネーターが結婚式・披露宴に係る全ての要素を決定し手配していくための各回の打合せ内容と、新郎新婦が選定する各ブライダルアイテムについての基本知識を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson5 第 1・2・3・4 章、Lesson6 第 1 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
4回	**授業テーマ：ブライダルアイテムの選定②(衣装・洋装)** 授業内容：新郎新婦の衣装選定の実務的な業務は衣装スタッフが行うが、コーディネーターとして知っておくべき洋装衣装の基本的なルールなどの基礎知識ついて学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson6 第 2 章 1・2 を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
5回	**授業テーマ：ブライダルアイテムの選定②(衣装・洋装)／ブライダルアイテムの選定③(衣装・和装)** 授業内容：花婿の洋装についてと和装衣装の基本的なルールなどの基礎知識について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson6 第 3・4・5・6・7 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
6回	**授業テーマ：ブライダルアイテムの選定④(ブーケ・フラワーアイテム・美容)／ブライダルアイテムの選定⑤(会場コーディネート・テーブルコーディネート)** 授業内容：ウエディングには欠かせないアイテムである花の重要性について認識し、衣装と深く関りを持つ美容について学ぶ。また、ウエディングのテーマを具現化するための重要なポイントである会場コーディネートの考え方とテーブルコーディネート、コーディネートの一部であるペーパーアイテムについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson6 第 3・4・5・6 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む

7回	**授業テーマ：ブライダルアイテムの選定⑤(ペーパーアイテム)／ブライダルアイテムの選定⑥(料理・飲物)** 授業内容：全体のコーディネートの一部となるペーパーアイテムを学ぶ。また、披露宴でおもてなしの象徴とされる料理の代表的な各種コース料理と飲物について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson6 第 7・8 章を読んおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
8回	**授業テーマ：ブライダルアイテムの選定⑦(披露宴の演出)** 授業内容：披露宴には欠かせない司会・音響・証明・映像の基本演出とおもな演出プランについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson6 第 9・10 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
9回	**授業テーマ：ブライダルアイテムの選定⑧(引出物・引菓子／記録・記念アイテム)／手配業務①(ペーパーアイテム)** 授業内容：結婚式に出席いただいた招待客に感謝の気持ちを込めて贈る引出物・引菓子と結婚式・披露宴の思い出を残す記録・記念アイテムについて、また、打合せ業務には欠かせない手配業務のペーパーアイテムについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson6 第 11・12 章、Lesson7 第 1 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
10回	**授業テーマ：実際の業務から学ぶ①(外部講師講義：披露宴の演出、記録商品について)** 授業内容：外部講師の講義にて、ブライダルの知識を深め、業界のトレンドを把握することを目的とする。 事前学修 2.0hr：講義で学んだ「披露宴の演出」と「記録・記念アイテム商品」について復習をしておく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
11回	**授業テーマ：手配業務②(衣装、美容、演出、引出物、記録商品、装花)／当日業務** 授業内容：打合せ業務には欠かせない手配業務及び挙式・披露宴当日のブライダルコーディネーターの当日の役割とサービス業務、挙式・披露宴の進行について実践的な知識を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト Lesson7 第 2・3・4・5・6 章、Lesson8 第 1・2・3・4・5・6 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
12回	**授業テーマ：実際の業務から学ぶ②(外部講師講義：ブライダルコーディーネーター業務について)** 授業内容：外部講師の講義にて、ブライダルの知識を深め、業界の現状や業務内容を知ることを目的とする。 事前学修 2.0hr：後学期の授業で学んだブライダルコーディネーターの業務について復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む
13回	**授業テーマ：グループワーク①** 授業内容：講義で学んだ授業内容をもとに、提示された課題についてグループワークを行い、グループ発表資料を作成する。 事前学修 2.0hr：後学期の授業内容を踏まえ、課題に対する自分の意見をまとめておく。 事後学修 2.0hr：グループの意見をまとめ、発表用の資料を作成する。
14回	**授業テーマ：グループワーク②** 授業内容：講義で学んだ授業内容をもとに、グループで考えた提案内容についてグループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：グループの意見をまとめ、発表用の資料を作成する。 事後学修 2.0hr：後学期の講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にしながら復習しておく。
15回	**授業テーマ：後学期まとめ** 授業内容：後学期に学んだ「ブライダルの基礎知識とブライダルコーディネーターの役割」についてまとめを行う。 事前学修 2.0hr：後学期の講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にしながら復習しておく。 事後学修 2.0hr：講義で学んだ内容をテキスト及び授業資料を参考にながら復習し、課題の提示がある場合は課題に取り組む

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究 I（クルーズビジネス）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

上杉　恵美（うえすぎ　めぐみ）

▌授業の概要

本授業はクルーズビジネス研究入門として、クルーズの歴史と発展、クルーズの特色、クルーズ企画、国内・海外のおもなクルーズ・デスティネーションと寄港地ツアー、クルーズビジネスの現状と展望、クルーズ業界の職種等を紹介する。授業で学んだことを活用して、各自でクルーズ企画の作成を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：・国内外のクルーズビジネスに関する基礎知識を身につけ、その現状と展望について学ぶ。
・学修内容を活用して、クルーズ企画の作成を行う。

個別目標：・クルーズの歴史と発展の経緯を知る。
・クルーズの特色や他の旅行形態との違いを研究する。
・国内外のクルーズ・デスティネーションと寄港地ツアーについて学ぶ。
・クルーズ業界の幅広い職種について知る。
・オリジナリティのあるクルーズ企画を考案する。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

提出課題（小テスト・レポート等）50 %、クルーズ企画 30 %、期末試験 20 %

▌フィードバック方法

課題、レポート、クルーズ企画等のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （クルーズ企画の作成）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba を使用した小テスト、レポートやクルーズ企画の作成と提出）

▌教科書

授業内で指示する。

▌参考書

授業内で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：授業概要・目標・成績評価 クルーズの特色と魅力 世界と日本のクルーズ業界の現況 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：クルーズの歴史と発展（欧米編）** 授業内容：欧米におけるクルーズの歴史と発展　世界のクルーズ業界の動向 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：クルーズの歴史と発展（日本編）** 授業内容：日本におけるクルーズの歴史と発展　日本のクルーズ業界の動向 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：船上生活の楽しみ** 授業内容：クルーズの種類　船上での過ごし方 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：クルーズ・デスティネーション研究 (1)　クルーズ企画の作成 (1)** 授業内容：満足度の高いクルーズ　世界のおもなクルーズ・デスティネーション (1)　クルーズ企画における寄港地ツアー 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
6 回	**授業テーマ：クルーズ・デスティネーション研究 (2)** 授業内容：世界のおもなクルーズ・デスティネーション (2) 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
7 回	**授業テーマ：クルーズ・デスティネーション研究 (3)** 授業内容：世界のおもなクルーズ・デスティネーション (3) 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
8 回	**授業テーマ：クルーズ・デスティネーション研究 (4)** 授業内容：世界のおもなクルーズ・デスティネーション (4) 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
9 回	**授業テーマ：クルーズ業界の仕事（1）** 授業内容：クルーズの企画から販売まで クルーズ船に関わる業種と仕事内容 (1) 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
10 回	**授業テーマ：クルーズ・デスティネーション研究 (5)　クルーズ企画の作成 (2)** 授業内容：世界のおもなクルーズ・デスティネーション (5)　クルーズ企画作成の準備 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
11 回	**授業テーマ：クルーズ・デスティネーション研究 (6)** 授業内容：世界のおもなクルーズ・デスティネーション (6) 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習

12回	**授業テーマ：クルーズ業界の仕事 (2)** 授業内容：クルーズ船に関わる様々な業種と仕事内容 (2) 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：クルーズ・デスティネーション研究 (7)** 授業内容：世界のおもなクルーズ・デスティネーション (7) 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：クルーズ業界の展望** 授業内容：世界と日本のクルーズ業界の今後 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：クルーズ企画優秀作品の紹介 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究Ｊ（トラベルエージェント実務）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2022 年度以降入学生のみ履修可能

山田　正芳（やまだ　まさよし）

▌授業の概要

旅行会社における実務というものは、単に旅行サービス(鉄道、航空、宿泊など)を手配するだけではありません。快適で安全な旅行を可能にするため、様々な情報(出入国情報、旅券取得情報、観光地情報など)をお客様に与えることも重要な実務になります。そしてこの実務は国内から海外まで幅広い知識が必要とされます。この講座では、このような国内・海外実務に関して深く学び、旅行業の実務の根幹を身につけることを目標にします。また、アクティブラーニングの手法を導入し授業を実施します。随時学生に質疑意見を求め、双方向の授業を行っていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1）

一般目標：国内旅行、海外旅行に関する業務全般(鉄道手配、観光地理、航空手配、宿泊手配、旅券申請等)の理解を深めることを目標とします。
個別目標：旅行業務全般の理解を深め、様々な旅行実務に関し説明ができることを目標とします。

▌履修条件

旅行業界に興味を持つと同時に旅行会社の細かい業務内容にも興味がある、という点が履修条件です。

▌評価基準・方法

授業態度(１０%)、適宜行う小テスト又はコメントシート(２０%)、期末試験(７０%)の要素を総合的に勘案し判断します。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とします。

▌フィードバック方法

学習支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （随時ディスカッションにより、観光法規の理解を深める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。プリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　授業ガイダンス** 授業内容：シラバスを基に、到達目標、授業概要、評価方法及び評価基準並びに授業の進め方について説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、この講義に期待することを考える 事後学修 2.0hr：興味を持った実務内容に関し、学びたいことを整理しておく
2回	**授業テーマ：旅行業の歴史** 授業内容：旅行業における多くの実務を学ぶ前に、そもそも旅行業はどのような過程で発展してきたか、今後の旅行業の大まかな展望を、旅の歴史とともに学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
3回	**授業テーマ：海外実務①　世界の航空会社の手配実務** 授業内容：世界の有名(人気)航空会社をいくつかピックアップし、航空会社コード(２レター)とともに学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
4回	**授業テーマ：海外実務②　世界の時差と所要時間の計算方法** 授業内容：世界各地と日本との時差計算を学び、同時に航空機移動による２地点間の所要時間の計算方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
5回	**授業テーマ：海外実務③　世界の特徴ある宿泊施設の手配実務** 授業内容：海外旅行を作成するにあたり、宿泊施設の選定及び手配は重要である。そこで、世界の様々なタイプの宿泊施設の特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
6回	**授業テーマ：海外実務④　旅券(パスポート)の発給申請実務** 授業内容：海外旅行に必須のアイテムといえば旅券だが、お客様によっては旅券申請を旅行会社に依頼する場合がある。旅券の申請から取得までの流れを旅券法とともに学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
7回	**授業テーマ：海外実務⑤　日本における出入国の実務** 授業内容：日本から出国する際の流れとルール、そして日本に入国する際の流れとルールを、出入国法令とともに学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
8回	**授業テーマ：海外実務⑥　世界の鉄道会社の手配実務** 授業内容：世界の有名かつ人気の鉄道を国ごとにいくつかピックアップし、日本の鉄道と比較しながら特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
9回	**授業テーマ：国内実務①　運送宿泊サービスの手配実務(ＪＲ運賃計算の基礎)** 授業内容：国内旅行にとって重要な運送機関であるＪＲの運賃計算の基礎を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
10回	**授業テーマ：国内実務②　運送宿泊サービスの手配実務(ＪＲ運賃計算の特例)** 授業内容：前回のＪＲ運賃計算の基礎を理解した上で、さらに様々なＪＲ乗車パターンによる運賃の計算方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、計算問題を解く
11回	**授業テーマ：国内実務③　運送宿泊サービスの手配実務(ＪＲ料金計算の基礎)** 授業内容：運賃計算と料金計算は異なるルールになる。この回ではＪＲの料金計算の基礎を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、計算問題を解く

12回	**授業テーマ：国内実務④　運送宿泊サービスの手配実務（ＪＲ運賃料金計算のまとめ）** 授業内容：ＪＲ運賃料金計算の総まとめを、練習問題を用いておこなう。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、計算問題を解く
13回	**授業テーマ：国内実務⑤　運送宿泊サービスの手配実務（宿泊料金、貸切バス料金、航空料金）** 授業内容：ＪＲ以外の運送宿泊サービス（ホテル、貸切バス、航空など）の料金や運賃を学び、どのように手配しているか学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、計算問題を解く
14回	**授業テーマ：海外実務の総復習** 授業内容：講義前半に学んだ海外実務の総まとめを、練習問題とともに改めて学ぶ。 事前学修 2.0hr：今までのプリントを一読する 事後学修 2.0hr：海外実務の学習内容を振り返り、整理する
15回	**授業テーマ：国内実務の総復習** 授業内容：講義後半に学んだ国内実務の総まとめを、練習問題とともに改めて学ぶ。 事前学修 2.0hr：今までのプリントを一読する 事後学修 2.0hr：国内実務の学習内容を振り返り、整理する

ホスピタリティ・ツーリズム産業研究J（トラベルエージェント実務）

開講学科等：HT ｜ 1年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2020・2021年度入学生のみ履修可能

山田　正芳（やまだ　まさよし）

▌授業の概要

旅行会社における実務というものは、単に旅行サービス(鉄道、航空、宿泊など)を手配するだけではありません。快適で安全な旅行を可能にするため、様々な情報(出入国情報、旅券取得情報、観光地情報など)をお客様に与えることも重要な実務になります。そしてこの実務は国内から海外まで幅広い知識が必要とされます。この講座では、このような国内・海外実務に関して深く学び、旅行業の実務の根幹を身につけることを目標にします。また、アクティブラーニングの手法を導入し授業を実施します。随時学生に質疑意見を求め、双方向の授業を行っていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：HTM1）

一般目標：国内旅行、海外旅行に関する業務全般(鉄道手配、観光地理、航空手配、宿泊手配、旅券申請等)の理解を深めることを目標とします。
個別目標：旅行業務全般の理解を深め、様々な旅行実務に関し説明ができることを目標とします。

▌履修条件

旅行業界に興味を持つと同時に旅行会社の細かい業務内容にも興味がある、という点が履修条件です。

▌評価基準・方法

授業態度(１０%)、適宜行う小テスト又はコメントシート(２０%)、期末試験(７０%)の要素を総合的に勘案し判断します。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とします。

▌フィードバック方法

学習支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （随時ディスカッションにより、観光法規の理解を深める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。プリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　授業ガイダンス** 授業内容：シラバスを基に、到達目標、授業概要、評価方法及び評価基準並びに授業の進め方について説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、この講義に期待することを考える 事後学修 2.0hr：興味を持った実務内容に関し、学びたいことを整理しておく
2回	**授業テーマ：旅行業の歴史** 授業内容：旅行業における多くの実務を学ぶ前に、そもそも旅行業はどのような過程で発展してきたか、今後の旅行業の大まかな展望を、旅の歴史とともに学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
3回	**授業テーマ：海外実務①　世界の航空会社の手配実務** 授業内容：世界の有名(人気)航空会社をいくつかピックアップし、航空会社コード(２レター)とともに学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
4回	**授業テーマ：海外実務②　世界の時差と所要時間の計算方法** 授業内容：世界各地と日本との時差計算を学び、同時に航空機移動による２地点間の所要時間の計算方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
5回	**授業テーマ：海外実務③　世界の特徴ある宿泊施設の手配実務** 授業内容：海外旅行を作成するにあたり、宿泊施設の選定及び手配は重要である。そこで、世界の様々なタイプの宿泊施設の特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
6回	**授業テーマ：海外実務④　旅券(パスポート)の発給申請実務** 授業内容：海外旅行に必須のアイテムといえば旅券だが、お客様によっては旅券申請を旅行会社に依頼する場合がある。旅券の申請から取得までの流れを旅券法とともに学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
7回	**授業テーマ：海外実務⑤　日本における出入国の実務** 授業内容：日本から出国する際の流れとルール、そして日本に入国する際の流れとルールを、出入国法令とともに学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
8回	**授業テーマ：海外実務⑥　世界の鉄道会社の手配実務** 授業内容：世界の有名かつ人気の鉄道を国ごとにいくつかピックアップし、日本の鉄道と比較しながら特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
9回	**授業テーマ：国内実務①　運送宿泊サービスの手配実務(ＪＲ運賃計算の基礎)** 授業内容：国内旅行にとって重要な運送機関であるＪＲの運賃計算の基礎を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、整理しておく
10回	**授業テーマ：国内実務②　運送宿泊サービスの手配実務(ＪＲ運賃計算の特例)** 授業内容：前回のＪＲ運賃計算の基礎を理解した上で、さらに様々なＪＲ乗車パターンによる運賃の計算方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、計算問題を解く
11回	**授業テーマ：国内実務③　運送宿泊サービスの手配実務(ＪＲ料金計算の基礎)** 授業内容：運賃計算と料金計算は異なるルールになる。この回ではＪＲの料金計算の基礎を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、計算問題を解く

12回	**授業テーマ：国内実務④　運送宿泊サービスの手配実務（ＪＲ運賃料金計算のまとめ）** 授業内容：ＪＲ運賃料金計算の総まとめを、練習問題を用いておこなう。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、計算問題を解く
13回	**授業テーマ：国内実務⑤　運送宿泊サービスの手配実務（宿泊料金、貸切バス料金、航空料金）** 授業内容：ＪＲ以外の運送宿泊サービス（ホテル、貸切バス、航空など）の料金や運賃を学び、どのように手配しているか学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを一読する 事後学修 2.0hr：学習内容を振り返り、計算問題を解く
14回	**授業テーマ：海外実務の総復習** 授業内容：講義前半に学んだ海外実務の総まとめを、練習問題とともに改めて学ぶ。 事前学修 2.0hr：今までのプリントを一読する 事後学修 2.0hr：海外実務の学習内容を振り返り、整理する
15回	**授業テーマ：国内実務の総復習** 授業内容：講義後半に学んだ国内実務の総まとめを、練習問題とともに改めて学ぶ。 事前学修 2.0hr：今までのプリントを一読する 事後学修 2.0hr：国内実務の学習内容を振り返り、整理する

マーケティング概論

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

水野　徹（みずの　とおる）

▌授業の概要

教科書掲載のケース「たまや」を使用しながら、前半はマーケティングの定義、消費者行動、マーケティング調査、競争戦略、マーケティングの STP などの基礎知識を学習する。後半は、実際のビジネス・ケースを活用しながら、マーケティングの 4P などについて学習する。予習としてケース分析を課題として提示し、授業では分析例のフィードバックと理論の説明を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：1. マーケティングの基礎知識やツールを学習し、初歩的な分析や使用方法を身につける (DP1)。
2. 実際のビジネス・ケースを読み、課題を発見し、学習したツールを応用しながら、主体的に解決する、思考力や判断力を養う（DP1)。

個別目標：1. マーケティングの基礎用語の意味を理解し、新聞や雑誌のマーケティング関連の記事が理解できるようになる。
2. マーケティングの分析ツールを活用して、自分で実際のビジネスケースの分析を行い、簡潔なサマリーを記述できるようになる。

▌履修条件

①教科書と manaba に掲示するビジネス・ケース集にアクセスできること、②事前学習課題を履行すること、③授業で積極的に発言すること、④レポート提出期限を遵守すること、⑤教員との連絡に manaba の個別指導が使用できること

▌評価基準・方法

期末テスト（50%）、ケース分析（20%）、授業参加姿勢・貢献度（30%）で評価を行う。ケース分析は、授業中にケースを指定して、manaba で提出。授業参加姿勢は、授業中の発言に応じて加点するので、積極的に授業中に発言することが望まれる。課題等のフィードバックは、manaba を通して行う。

▌フィードバック方法

manaba を使用する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ケーススタディーは事前に学習し、質問に対して manaba に回答する）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前学習の回答に必要）

▌教科書

安田貴志「マンガでやさしくわかるマーケティング」日本能率協会マネジメントセンター
高校とは異なり、大学では授業で教科書を 1 ページずつ解説することはしません。予習として当該ページをあらかじめ読むように指示しますので、それに従って自学を進めてください。そのほかに毎回資料を manaba に掲示予定。

▌参考書

フィリップ・コトラー、ケヴィン・ケラー「コトラー&ケラーのマーケティング・マネジメント」Pearson Education Japan
フィリップ・コトラー、ゲイリー・アームストロング、恩蔵直人「マーケティング原理」丸善出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業ガイダンスとケース・スタディーの学習方法** 授業内容：授業の概要・目標、採点方針、ビジネスケースの予習の仕方、週次の課題提出方法、マーケティングの学問上の位置づけと系譜について講義する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、本講義に期待することをまとめておく。 事後学修 2.5hr：配布資料でケース・スタディーの学習方法を復習しておく。
2回	**授業テーマ：マーケティングの定義** 授業内容：ビジネスケース「ナイキ」の分析（クラス内ディスカッション）、マーケティングの定義、マーケティングの適用範囲についての講義を行う。 事前学修 2.0hr：ケース「ナイキ」を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 40〜53 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
3回	**授業テーマ：顧客を知る** 授業内容：ケース「たまや」Story 1, 2 の分析（クラス内ディスカッション）、顧客分析の基礎的なツールについての講義。 事前学修 2.0hr：ケース「たまや」Story 1, 2 を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 40 ページ〜53 ページ、66 ページ〜74 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
4回	**授業テーマ：消費者行動** 授業内容：ケース「たまや」Story 3 分析（クラス内ディスカッション）、購買の意思決定プロセス、AIDMA モデル、マーケティングの進化に関する講義。 事前学修 2.0hr：ケース「たまや」Story 3 を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 86 ページ〜100 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
5回	**授業テーマ：マーケティング調査** 授業内容：ケース「P&G」(クラス内ディスカッション)、マーケティング調査の基本知識、代表的なモデルの紹介に関する講義。 事前学修 2.0hr：ケース「P&G」を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 54 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
6回	**授業テーマ：競争戦略** 授業内容：ケース「たまや」Story 4（クラス内ディスカッション）、3C 分析、SWOT 分析、5 つの競争要因分析、3 つの基本戦略など、競争関係の分析ツールの紹介に関する講義。 事前学修 2.0hr：ケース「たまや」Story 4 を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 112 ページ〜130 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
7回	**授業テーマ：マーケティングの STP** 授業内容：ケース「たまや」Story 5（クラス内ディスカッション）、市場細分化（Segmentation）、市場絞り込み（Targeting）、商品の位置づけ（Positioning）に関する講義。 事前学修 2.0hr：ケース「たまや」Story 5 を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 140 ページ〜154 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。

8回	**授業テーマ：マーケティング・ミックス** 授業内容：ケース「たまや」Story 6（クラス内ディスカッション）、商品（Product）・価格（Price）・流通チャネル（Place）・プロモーション（Promotion）の 4 つの P に関する講義。 事前学修 2.0hr：ケース「たまや」Story 6 を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。「ヘルシア緑茶」「保湿クリーム」を読む。教科書の 180 ページ～181 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
9回	**授業テーマ：商品** 授業内容：ケース「アップル」（クラス内ディスカッション）、商品の価値、ブランドとは何か、商品・サービスの差別化、商品の寿命に関する講義。 事前学修 2.0hr：ケース「アップル」を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 182 ページ～191 ページを読んでおく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
10回	**授業テーマ：価格** 授業内容：ケース「ライアンエア」（クラス内ディスカッション）、価格設定の意義と課題、価格決定のステップ、価格設定の代表的モデルの紹介、損益分岐点方式の計算方法に関する講義。 事前学修 2.0hr：ケース「ライアンエア」を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 202 ページ～207 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
11回	**授業テーマ：流通チャネル** 授業内容：ケース「ZARA」（クラス内ディスカッション）、流通チャネルとは何か、流通チャネルの設計・管理・選択基準、デジタル時代の流通チャネルに関する講義。 事前学修 2.0hr：ケース「ZARA」を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 208 ページ～214 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
12回	**授業テーマ：プロモーション** 授業内容：ケース「ハーゲンダッツ」（クラス内ディスカッション）、プル型・プッシュ型プロモーション、コミュニケーションのミクロモデルとマクロモデル、コミュニケーション・ミックス、デジタル時代のプロモーションに関する講義。 事前学修 2.0hr：ケース「ハーゲンダッツ」を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 192 ページ～201 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
13回	**授業テーマ：ロイヤルティ・マーケティング** 授業内容：ケース「たまや」Story 7（クラス内ディスカッション）、顧客満足と顧客価値、顧客の生涯価値のモデル紹介、パレートの法則、ロングテール戦略、苦情処理に関する講義。 事前学修 2.0hr：ケース「たまや」Story 7 を読み、設問に回答できるよう manaba の小テストに回答を入力する。教科書の 230 ページ～239 ページを読んでおく。 事後学修 2.5hr：配布資料を読み返し、復習しておく。
14回	**授業テーマ：マーケティングの基礎知識** 授業内容：第 13 回までに紹介したマーケティングの基礎知識、分析ツール、理論などの復習。 事前学修 2.0hr：これまで配布した資料を整理しておく。 事後学修 2.5hr：小テストに取り組む
15回	**授業テーマ：講義のまとめ** 授業内容：講義のまとめと期末テスト、採点方針に関する説明と注意事項。 事前学修 2.0hr：これまで配布した資料を整理しておく。 事後学修 2.5hr：小テストに取り組む

マネジメント総論

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

二宮　秀生 (にのみや　ひでお)

▌授業の概要

本講義は「学ぶ楽しさ」を感じながら、一般教養としての「マネジメント」のエッセンスを理解することを目的とする。
「全ては仮説である」ということを知った上で、人を生かし、成果をあげる「ドラッカーのマネジメント」を一つの軸に理解を深める。
ドラッカーとも親和性の高い稲盛和夫氏の「経営 12 か条」や渋沢栄一氏の「論語と算盤」についても共有する。
組織社会の前提となる近代資本主義についてマックスウェーバーの学説を共有する。
外部講師の講義や事例の共有を行い、実例を知ることで理解を深める。適宜レポートの提出を行う。
マネジメントの基本となる「セルフマネジメント(自己目標管理)」を課題を通じて実践する。
グループ討議もおこなうため積極的な参加が求められる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：組織社会の中で誰しもが求められる「人を生かすマネジメント」を理解する。
　　主体的に取り組む「セルフマネジメント力」を体得する。
個別目標：人を生かすマネジメントとは何か、そのエッセンスを自分事として理解する。
　　組織に使われるのではなく「組織という道具を使って、社会貢献・自己実現をする」という姿勢を身につける。
　　企業の目的、マーケティング、イノベーションについて、その概要を理解する。
　　自分の仮説(意見や軸)を持ち、それを表現できるようになる。
　　セルフマネジメント課題の実践により、成果をあげる習慣力を身につける。

▌履修条件

講義への出席を前提に進める。
セルフマネジメント(自己目標管理)の課題を履行すること。
専用ノートを持参すること。
教員との連絡に e-mail が使用できること。

▌評価基準・方法

期末テスト 30 %、課題 40 %(レポート、自己目標管理ノート)、出席・参加姿勢 30 %、を総合的に評価する。
5 分の 4 の出席を前提とし、欠席は減点する。

▌フィードバック方法

フィードバックは授業中に行うほか、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （事例の輪読　ペアワーク　グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

別途指示(適宜資料を配布)

▌参考書

都度紹介

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクションとガイダンス** 授業内容：本講義の概要の説明。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、本講義に期待することをまとめておく。 事後学修 2.0hr：なりたいじぶんをイメージし、中間目標を考える。
2 回	**授業テーマ：マネジメントとは何か(頭出し)と自己目標管理の課題の説明** 授業内容：マネジメントとは何か、3 つの役割について共有する。 マズローの 5(6) 段階の欲求など幸せについて考えてみる。 ノートを活用した自己目標管理の課題について説明する。 事例を共有する。 事前学修 2.0hr：なりたいじぶんを仮置きし、具体的な中間目標を設定する。 事後学修 2.0hr：ノートを作成し、課題を行う。
3 回	**授業テーマ：資本主義の精神** 授業内容：マックスウェーバーの「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」の概要を共有するとともに、仮説の力を知る。 はたくとは何かを考える。 事例を共有する。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：資料を読み返し仮説の力を復習しておく。
4 回	**授業テーマ：講義(外部講師)** 授業内容：社会の問題に貢献するというマネジメントの役割を踏まえ、株式会社 JIMOTO の社長から企業が大切にしていること共有いただく。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業のレポートを提出する。自分なりの見解を考えてみる。
5 回	**授業テーマ：企業とは①** 授業内容：企業の目的や機能について共有する。 事例を共有する。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：資料を読み返し企業について復習しておく。
6 回	**授業テーマ：講義(外部講師)** 授業内容：第 5 回の実践例としてリンベル株式会社の方に講義をいただく。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業のレポートを提出する。講義を通じて自分の見解を適宜補正する。

7回	**授業テーマ：企業とは②** 授業内容：企業とは何かを共有する。 マネジメントの事例を共有する。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：資料を読み返し復習しておく。
8回	**授業テーマ：稲盛経営　経営 12 カ条①** 授業内容：稲森和夫氏の経営 12 カ条を共有する。 マネジメントの事例を共有する。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：資料を読み返し復習しておく。自分の見解を考えてみる。
9回	**授業テーマ：経営 12 カ条②　成果をあげるポイント** 授業内容：経営 12 カ条を共有する。 成果を上げる５つのポイントについて共有する。 マネジメントの事例を共有する。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：講義を踏まえて課題に生かす。
10回	**授業テーマ：経営者への 5 つの問い** 授業内容：「問い」の大切さについて共有する。 事例を共有する。 新明海大学をグループごとに構想する。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：演習課題についてあらためて考える。
11回	**授業テーマ：マネージャーの大切な５つの仕事** 授業内容：マネージャーの役割を共有する。 グループワークのフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：資料を読み返し自分の見解を適宜補正する。
12回	**授業テーマ：講義(外部講師)** 授業内容：成果をあげるチームの実践例を立教大学教授(元日本航空宣伝部長)に講義をいただく。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業のレポートを提出する。講義を通じて自分の見解を適宜補正する。
13回	**授業テーマ：ドラッカーと渋沢栄一** 授業内容：ドラッカーと渋沢栄一の共通点などを共有する。 マネジメントの事例を共有する。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：資料を読み返し自分の見解を適宜補正する。
14回	**授業テーマ：論語と算盤** 授業内容：ドラッカーが最も認める渋沢栄一と「論語と算盤」について共有する。 マネジメントの事例を共有する。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行い 1 週間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：資料を読み返し自分の見解を適宜補正する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：マネジメントのエッセンスをあらためておさらいする。 事前学修 2.0hr：セルフマネジメント課題を行いこれまでを振り返っておく。 事後学修 2.0hr：これまでの資料を復習しておく。

アカウンティング基礎

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

矢住　直子（やずみ　なおこ）

▌授業の概要

本講義では、複式簿記ならびに財務諸表をはじめとする会計に関する基礎的な知識をマスターすることが中心的な内容である。特に複式簿記システムは世界共通であることからこの学習の重要性を理解していただきたい。会社は経営成績を財務諸表によって公表することが義務付けられている。複式簿記をマスターすることで、この財務諸表の概要を理解することができるようになる。クラスでは数字で表すことの大切さを学び演習とケースを行う。また簡単な財務諸表を作成したり、特定テーマでディスカッションの機会を設ける予定である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：将来仕事をする際には様々な会社の経営状況を知ることが求められる。財務会計の基本原則と構造を理解し、
　　財務諸表の役割とその意味を習得して数字の裏にある意味を理解できるようになる。
　　またその基礎となる簿記のしくみを理解する
個別目標：貸借対照表、損益計算書を読むことができる。
　　簿記のしくみを利用して基本的で簡単な財務諸表の作成ができる。

▌履修条件

後期のファイナンス基礎を同時に履修すると学習効果が高まるので、履修をすすめる。
毎回、電卓またはそれに代わるものを持参すること。
5 分の 4 以上の出席を評価の前提とする。
なお、定期試験のときは携帯の持ち込みは禁止ですので、電卓を必ず持参すること。

▌評価基準・方法

出席率および授業参加姿勢および発言、30-40 %
授業中に復習の目的で行う小テスト 20-30 %
定期試験 40 %の結果、および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
なお、5 分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題および定期試験のフィードバックは manaba または次回の授業内でおこなう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション　および　グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （財務諸表作成時に使用）

▌教科書

スッキリわかる日商簿記 3 級－ TAC 出版　瀧澤ななみ著
および授業レジュメを使用

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、会計学とは** 授業内容：オリエンテーション、企業にとっての数字の大切さ、財務諸表の意味 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、本講義に期待する内容を考えておくこと。普段の生活にとっての数字の大切さを考えておく 事後学修 2.0hr：授業の復讐
2 回	**授業テーマ：簿記会計の基礎** 授業内容：簿記の流れを理解する 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
3 回	**授業テーマ：簿記会計の基礎** 授業内容：簿記の仕組みや主要な財務諸表(損益計算書、貸借対照表)の意味を学ぶ 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
4 回	**授業テーマ：簿記会計の基礎** 授業内容：簿記の仕組みや主要な財務諸表(損益計算書、貸借対照表)について構造を学ぶ 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
5 回	**授業テーマ：現金、預金に関する会計処理** 授業内容：現金の処理や預金口座についての会計処理を理解する 事前学修 2.0hr：自分が普段行っている現金の取引や銀行口座について考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
6 回	**授業テーマ：仕入れ、販売に関する会計処理** 授業内容：商品売買の取引を理解する 事前学修 2.0hr：自分が商品を買ったときの取引にどういうものがあるか考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
7 回	**授業テーマ：掛け取引、手形取引** 授業内容：商品の支払いのさまざまな方法について学ぶ 事前学修 2.0hr：掛取引についての意味を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
8 回	**授業テーマ：その他の債権、債務の取引について** 授業内容：さまざまな債権、債務に関する会計処理 事前学修 2.0hr：どのような種類の債権、債務があるか調べてみる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
9 回	**授業テーマ：その他の費用および貸倒引当金に関する会計処理** 授業内容：色々な費用の取引や貸倒引当金とはどういうものかについて考える 事前学修 2.0hr：今まで学習した費用以外にどのような費用があるか考えてみる 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する

10回	**授業テーマ：固定資産に関する会計処理** 授業内容：有形固定資産にかかわる会計処理 事前学修 2.0hr：減価償却の意義や目的について調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
11回	**授業テーマ：株式の発行、余剰金の配当についての会計処理** 授業内容：株式会社を設立した場合の会計処理、会社にまつわる会計取引 事前学修 2.0hr：自分が会社を設立するという前提でその取引を考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
12回	**授業テーマ：税金に関する取引** 授業内容：消費税、法事前に関する会計処理 事前学修 2.0hr：どのような税金があるか考えてみる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
13回	**授業テーマ：収益と費用の見越しと繰り延べについての会計処理** 授業内容：決算における収益、費用の見越し、繰延べに関する会計取引 事前学修 2.0hr：決算にするべきことにはどんなことがあるか調べてみる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
14回	**授業テーマ：総復習①　簿記の一巡、仕分けの復讐** 授業内容：今まで学習した簿記の知識を使って仕分けを実際に行う。 事前学修 2.0hr：今まで学習したことを見返し復讐する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
15回	**授業テーマ：総復習②　財務諸表** 授業内容：14 回の授業で復讐した仕分けを使用して簡単な財務諸表を作成する。 事前学修 2.0hr：今まで学習したことを見返し復讐する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する

ファイナンス基礎

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

矢住　直子（やずみ　なおこ）

▌授業の概要

ファイナンスにおける基本的な考え方を例を用いて紹介する。会計とファイナンスの違い、お金の時間価値について考え、現在価値の概念を理解する。
実際の会社の財務諸表を用いて、財務諸表を読み取る力をつけられるようにする。　将来役にたつような株式投資についての知識も習得する。
NISA について学習する。プレゼンテーションを作成し理解を深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：ファイナンスの概念、基礎知識を習得する。
　　将来のマネーライフに役立つようにどのような投資があるかを理解する。特に NISA については理解を深める。
個別目標：色々な会社の財務諸表を理解し、その会社がどのような事業構造であるかを読み取れるようにする。時間とお金の価値の概念を理解し、現在価値について習得する。
　　金融市場をとりまく状況を理解し株式投資についての基礎を学ぶ

▌履修条件

より良い理解のためにはできる限り前期にアカウンティング基礎を履修していることが望ましい。

▌評価基準・方法

出席率および授業参加姿勢 40 %
ケーススタディーなどプレゼンテーションおよびレポート 30 %
定期試験 30 %
すべてを総合して最終評価とする。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは次回の授業内または manaba
を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワークについてはパワーポイントでプレゼン資料を作成する。）

▌教科書

超ざっくりわかるファイナンス　　光文社　石野雄一著
および授業レジュメを使用

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、ファイナンスとは** 授業内容：授業の講師紹介、授業の概要、オリエンテーション 事前学修 2.0hr：ファイナンスについて自分が知っていることを確認する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する。
2 回	**授業テーマ：会計とファイナンスの違い** 授業内容：過去の実績を検証するアカウンティングと現在、将来のお金の流れを検証するファイナンスとの違い。 財務諸表の見方 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
3 回	**授業テーマ：財務諸表の見方ー財務三表の説明** 授業内容：財務三表について、それが何を意味するかを理解する 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
4 回	**授業テーマ：財務諸表の見方ー損益計算書** 授業内容：損益計算書の読み方を習得する 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
5 回	**授業テーマ：財務諸表の見方ー貸借対照表** 授業内容：貸借対照表の読み方を習得する。 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
6 回	**授業テーマ：財務諸表の見方ーキャッシュフロー計算書** 授業内容：キャッシュフローについて理解する 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
7 回	**授業テーマ：財務諸表の見方ーさまざまな会社の財務諸表を読み解く** 授業内容：色々な会社の財務諸表を比較して、その会社の事業構造や事業状況について理解を深める 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
8 回	**授業テーマ：財務諸表の見方ーさまざまな会社の財務諸表を分析する** 授業内容：グループワークを用い財務諸表についてのケーススタディーを行う 事前学修 2.0hr：グループワークで話をしたところを復讐する。 事後学修 2.0hr：グループワークで話をしたところを復讐する
9 回	**授業テーマ：財務諸表の見方ー財務諸表の分析を発表する** 授業内容：財務諸表の見方について、ケーススタディーでおこなった分析を発表する 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する

10回	**授業テーマ：資金調達について** 授業内容：資金調達の方法、「負債による調達」と「資本による調達を理解する。」 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
11回	**授業テーマ：お金と時間価値について** 授業内容：現在価値と将来価値について習得する。 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
12回	**授業テーマ：投資についての考え方** 授業内容：投資とは何か、どんなものがあるのかを習得する 事前学修 2.0hr：株式投資について知っていることをまとめておく 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
13回	**授業テーマ：資産運用を考えるー自分の将来の財産について考える** 授業内容：資産運用の方法を考えてみる、特に株式投資についての簡単な知識を得る 企業に入社した場合に選択をしなければならない年金運用について考える NISA について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回および今回に関す資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
14回	**授業テーマ：NISA について深く知る** 授業内容：自分で調べることにより、より一層 NISA について知識を深める。プレゼンテーションを作成する。 事前学修 2.0hr：NISA について WEB などで検索してみる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する
15回	**授業テーマ：総復習** 授業内容：今まで学習したファイナンスの基礎、財務諸表の見方、など取得した内容を復習する。 事前学修 2.0hr：前回および今回に関する資料を読んで授業の概要を把握する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復讐する

イノベーション概論

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

久保田　英男（くぼた　ひでお）

▌授業の概要

多様性と変化の求められる現代において、新しい「もの」「考え方」「システム」などを創造すること、そして、新しい流れを的確につかみ、適応することが重要だと考えられます。刻々と変わる技術や価値観に適応できるよう、イノベーションとは何か、事例や理論を学び見えないものを具体化するプロセスをシュンペーター、ドラッカー、クリステンセンなどのイノベーション理論を引用しつつ学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：イノベーションとは何か、新しいものを生み出す思考やその行動過程を様々な研究や事例を通じ、将来実社会において新しいアイデアが活かされ、また状況の変化へ対応できるよう知識を習得する。

個別目標：1. アイデア創出のアプローチを学び、イノベーションの生み出される仕組みを理解する
2. 事例からアイデアを実現するためのプロセス・リソースを収集する力を養う
3. 変化に対応適応するよう、イノベーションの必要性を理解すること

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

評価は、授業・課題に取り組む姿勢 30%、テスト 70 %を基準に総合的に判断する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム”manaba”を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

最強の「イノベーション理論」集中講義 (安部徹也著) 日本実業出版社

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション：ガイダンス** 授業内容：「イノベーションとは」をテーマにこの講義の紹介をします。全 15 回の講義について簡単な説明と授業の進め方や課題・試験などについてもガイダンスします。 事前学修 2.0hr：イノベーションとは何か漠然とでもいいので考え、調べてみましょう 事後学修 2.0hr：この授業で学ぶ内容を整理し、学修計画を立てましょう
2回	**授業テーマ：イノベーションとは何か** 授業内容：シュンペーターの理論からイノベーションの基礎的な概要を学びます。 事前学修 2.0hr：10 年前と現在、変化したと思うものを探してみましょう 事後学修 2.0hr：シュンペーターの示したイノベーション論が現代に通じる点はどこにあるのか、整理しましょう
3回	**授業テーマ：変革の起し方** 授業内容：P.F. ドラッカーのイノベーションにつながる「7つの機会」から、「イノベーション」、「変革」はどのように起こすのかを学びます。 事前学修 2.0hr：P.F. ドラッガーが語るイノベーションについて調べてみましょう 事後学修 2.0hr：「変革」は何故必要なのでしょう、授業内容から考えてみましょう
4回	**授業テーマ：イノベーションを起こすための戦略** 授業内容：「イノベーションを起こすための戦略」ドラッカー教授に学び、イノベーションを起こす戦略とは何を指すのか、ドラッカーに学びます。 事前学修 2.0hr：イノベーションを起こすための戦略とは何か考えてみましょう 事後学修 2.0hr：ドラッカーは何故、イノベーションには戦略が必要としたのか考えてみましょう
5回	**授業テーマ：破壊的イノベーション・持続的イノベーション** 授業内容：クリステンセン「イノベーションのジレンマ」から「破壊的イノベーション」「持続的イノベーション」について学びます。 事前学修 2.0hr：教科書「3時間目」CASE を読み破壊的イノベーションの概略をまとめましょう 事後学修 2.0hr：「破壊的イノベーション」の事例を探してみましょう
6回	**授業テーマ：新しい価値を生み出す** 授業内容：「新しい価値を生み出す」をテーマにクリステンセン「破壊的イノベーション」の開発プロセスからコモディティ化への対処法までを学びます。 事前学修 2.0hr：既存の価値観を変えるとはどのようなことなのか考えてみましょう 事後学修 2.0hr：「新しい価値」を生み出す方法を考えてみて下さい
7回	**授業テーマ：バリューイノベーションの基礎知識** 授業内容：バリュー・イノベーションとはどのようなイノベーションか、その基本の部分を考えます。 事前学修 2.0hr：教科書「4時間目」CASE を読みバリューイノベーションの概略をまとめましょう 事後学修 2.0hr：ブルーオーシャン戦略とはどのようなことを指しているのでしょうか、整理しておきましょう
8回	**授業テーマ：バリューイノベーション 実行プロセス** 授業内容：ブルーオーシャン戦略よりバリュー・イノベーションを実行するプロセスについて学びます。 事前学修 2.0hr：教科書からバリューイノベーションの実行プロセスのメカニズムを読み解いてみましょう 事後学修 2.0hr：戦略を実行するにあたり、ビジュアル化することの重要性についてまとめましょう
9回	**授業テーマ：リバースイノベーションとは** 授業内容：リバース・イノベーションとはどのようなことを指すのか、そしてその戦略について学びます。 事前学修 2.0hr：教科書「5時間目」CASE を読みリバースイノベーションの概略をまとめましょう 事後学修 2.0hr：リバースイノベーションが何故注目されているのか考えてみましょう
10回	**授業テーマ：イノベーションの理論と戦略** 授業内容：リバース・イノベーションの仕組みから、実践に移すプロセスやポイント、そしてこれまでのイノベーション理論の応用についても触れます。 事前学修 2.0hr：これまでのイノベーションを起こす戦略の条件や前提はどのようなバックグラウンドであったのか、まとめましょう 事後学修 2.0hr：これまでのイノベーションを起こす戦略とリバースイノベーションとの相違点を比較してみましょう

11回	**授業テーマ：様々な事例からイノベーションとは何かを考える** 授業内容：事例から、これまでの授業で紹介したイノベーション理論がどのように実践されているかを照らし合わせ、イノベーションとは何か、何をもたらすのか、を考えます。 事前学修 2.0hr：身近なところにあるイノベーションと思われるものを探してみましょう 事後学修 2.0hr：事例として紹介されたもの以外のイノベーションモデルを見つけ、どの様な戦略があったのか考えてみましょう
12回	**授業テーマ：アイデアを創出する** 授業内容：イノベーションを起こすには、一つのアイデアから始まります。そのアイデアをどのように探し出し、実行に移すのか、フレームワークなども紹介しながら、手法を考えてみます。 事前学修 2.0hr：アイデアを考えそれを実現するにはどのようなプロセスが必要か考えてみましょう 事後学修 2.0hr：授業で行ったフレームワークを使ってアイデアを具体的してみましょう
13回	**授業テーマ：シュンペーターとドラッカー** 授業内容：イノベーション理論について、シュンペーターとドラッカーの相違点から、イノベーションの未来の姿を考えていきます。 事前学修 2.0hr：シュンペーターとドラッカーのイノベーションに関する考えを比較しつつまとめましょう 事後学修 2.0hr：実際の事例をもとにこれらの理論・戦略がどこにどのように活用されているか、検証してみましょう
14回	**授業テーマ：戦略としてのイノベーション** 授業内容：イノベーションを社会に展開するためにどのような戦略が有効なのか、そして、どの様な戦略があるのかを考察します。 事前学修 2.0hr：「イノベーションのジレンマ」「ブルーオーシャン戦略」について調べましょう 事後学修 2.0hr：イノベーションを起こすためにはなにが必要かこれらの戦略から考えてみましょう
15回	**授業テーマ：まとめ/これまでの内容を振り返る** 授業内容：第１回～第 14 回授業を振り返り「イノベーション」についてまとめます。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、分からない点、もう少し深く知りたい内容などを整理しておきましょう 事後学修 2.0hr：これまでの内容を総合的に復習して、体系的にまとめましょう

統計学Ⅰ

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

高橋　奈佳（たかはし　なか）

▌授業の概要

この科目では、統計学の基礎的な知識と能力としてデータ分析の手法により身近な問題に生かす力を身に付ける。具体的には身近にある様々なデータについて収集する術を知ることから、それを分類、集計、視覚化、特徴の把握を行い、そこから読み取れる情報を解釈することを学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：この科目を履修することによって、データの整理、統計量の計算・読み方・解釈、そして図表の作成ができるようになる。
個別目標：この科目では OdysseyCommunications のビジネス統計スペシャリスト・ベーシックのテキストを教科書として使用するので、受講する学生はこのビジネス検定の取得を目標に頑張ってみよう。

▌履修条件

1 年次必修科目である「学修の基礎Ⅲ B」で使用する教科書の Excel 部分を理解できていることを前提として授業を進めていく。
自宅にて MicrosoftExcel2010 以降、Office365 有償版（アドインで分析ツールが使える）を使用できる環境にあること。
受講希望者が教室の席数を上回る場合は抽選とする。このため、1 回目の授業には遅刻をせず必ず出席すること。

▌評価基準・方法

試験 70%、課題など科目への取り組み 30%の割合で総合的に評価する。ただし試験に替えてレポート提出とする場合がある。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、教科書不携帯、欠席や遅刻が多い、私語など教室内での態度がよろしくない場合は減点する。
30 分以上の遅刻は欠席とみなす。

▌フィードバック方法

それぞれの課題や提出物については、manaba を用いてフィードバックする。
また次回の開始時に、前回の提出課題の出来栄えや間違いの多かった点等について解説を行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Excel を使った実習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC 教室での開講ではあるが、自分のパソコンを持参して取り組んでもかまわない）

▌教科書

玄場公規、湊宣明、豊田裕貴著『公式テキスト　ビジネス統計スペシャリスト　Excel 分析一般』Odyssey 社　2024 年 12 月初版（昨年度まで使用していた教科書とは内容がかなり変わっているので、先輩のプレゼントは使えない）

▌参考書

木村幸子著　『Excel ピボットテーブル　データ集計・分析の「引き出し」が増える本』　翔泳社　2020 年初版 5 刷
1 年次開講科目　「学修の基礎Ⅲ B」の教科書
後藤正幸著　『ビジネス統計のための基礎理論』　Odyssey communications 社　2023 年 2 月

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・質的変数と量的変数** 授業内容：この科目の進め方を確認する。質的変数と量的変数について理解（2 年生以上は思い出し）する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで、授業内容を確認する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：代表値の考え方と処理** 授業内容：代表値の計算方法を関数と分析ツールを使って実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 1～第 5 章）予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
3 回	**授業テーマ：はずれ値の考え方と処理** 授業内容：はずれ値についての考え方を理解し、その方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 6 章）を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：フィルターで数える** 授業内容：フィルター機能と関数を用いた度数の数え方を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する学習内容を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：絶対参照で数える** 授業内容：絶対参照・複合参照を用いた度数の数え方を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する内容を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
6 回	**授業テーマ：ピボットテーブルで数える** 授業内容：ピボットテーブルの機能を用いて度数の数え方を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する内容を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
7 回	**授業テーマ：度数分布表の考え方と処理** 授業内容：度数分布表はいかなるものかを理解し、その利用方法を実習・体得する。またそのための関数である FREQUENCY 関数を使いこなせるようにする。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 7 章）、事前に提示する内容を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
8 回	**授業テーマ：ここまで学修の総括①（テスト方式）** 授業内容：量的・質的変数の違い、代表値の処理方法、度数分布の処理方法を確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 1～7 章）、これまでの内容を復習する。 事後学修 2.0hr：時間後に提示する確認内容と自分の取り組みを整理し、内容を復習する。
9 回	**授業テーマ：標準化の考え方と処理** 授業内容：標準化の考え方を理解し、処理方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 8 章）を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。

10回	**授業テーマ：移動平均の考え方と処理** 授業内容：移動平均について理解し、処理方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 9 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：季節調整の考え方と処理** 授業内容：季節調整について理解し、処理方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 10 章)を復習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：集計の考え方と処理** 授業内容：ピボットテーブルの機能を利用して、2 変数の関係性を理解する方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 11 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：相関・散布図の考え方と処理** 授業内容：相関係数とそれを図(グラフ)の形で表示する散布図を用いて 2 変数の関係性を理解する方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 12・13 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：これまでの学修の総括②(テスト方式)** 授業内容：これまでに学修した、標準化から散布図と相関の内容を確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 8〜13 章)を復習する。 事後学修 2.0hr：時間後に提示する確認内容と自分の取り組みを整理し、内容を復習する。
15回	**授業テーマ：回帰分析と最適化の考え方と処理** 授業内容：回帰分析と最適化の考え方を理解し、単回帰分析の処理方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 14・第 15 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。

統計学Ⅱ

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

高橋　奈佳（たかはし　なか）

▌授業の概要

この科目では、統計学の基礎的な知識と能力としてデータ分析の手法により身近な問題に生かす力を身に付ける。具体的には身近にある様々なデータについて収集する術を知ることから、それを分類、集計、視覚化、特徴の把握を行い、そこから読み取れる情報を解釈することを学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：この科目を履修することによって、データの整理、統計量の計算・読み方・解釈、そして図表の作成ができるようになる。
個別目標：この科目では OdysseyCommunications のビジネス統計スペシャリスト・エクセル分析スペシャリストのテキストを教科書として使用するので、受講する学生はこのビジネス検定の取得を目標に頑張ってみよう。

▌履修条件

「統計学Ⅰ」(髙橋奈佳担当)の単位を取得済みであること。
未取得の場合は履修確認課題を課し、履修可の判断を行う。
自宅にて MicrosoftExcel2010 以降、Office365 有償版（アドインで分析ツールが使える）を使用できる環境にあること。
受講希望者が教室の席数を上回る場合には抽選とする。このため、1 回目の授業には遅刻せず必ず出席をすること。

▌評価基準・方法

試験 70%、課題など科目への取り組み 30%の割合で総合的に評価する。ただし試験に替えてレポート提出とする場合がある。
なお、5 分の 4 以上の出席（もしくは毎回のレポート提出）を評価の前提条件とし、教科書不携帯、欠席や遅刻が多い、私語など教室内での態度がよろしくない場合は減点する。
30 分以上の遅刻は欠席とみなす。

▌フィードバック方法

それぞれの課題や提出物については、manaba を用いてフィードバックする。
また次回の開始時に、前回の提出課題の出来栄えや間違いの多かった点等について解説を行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Excel を使った実習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC 教室での開講ではあるが、自分のパソコンを持参して取り組んでもかまわない）

▌教科書

豊田裕貴著『Excel で学ぶ実践ビジネスデータの分析　ビジネス統計スペシャリスト・エクセル分析スペシャリスト対応』　Odyssey 社

▌参考書

木村幸子著『Excel ピボットテーブル　データ集計・分析の「引き出し」が増える本』翔泳社　2020 年初版 5 刷
玄場公規、湊宣明、豊田裕貴著　『公式テキスト　ビジネス統計スペシャリスト　Excel 分析一般』　Odyssey 社　2024 年 12 月初版（前期開講科目統計学Ⅰの教科書）
後藤正幸著　『ビジネス統計のための基礎理論』　Odyssey_communications 社　2023 年初版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンスと財務関数の初歩** 授業内容：この科目の進め方について説明する。 教科書外の財務関数を用いて Excel を愉しむ。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおく。財務関数は、教員の配布資料を使う。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
2回	**授業テーマ：データの理解について（おさらいを兼ねて）** 授業内容：さまざまな形態のデータを確認し、データ数と予測精度の関係を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 1 章）を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：1 変量データのまとめ方** 授業内容：1 つの変数を容易に理解するためのグラフと代表値について確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 2・第 3 章）を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
4回	**授業テーマ：2 変量データのまとめ方** 授業内容：2 つの変数の関係性を理解するためのグラフとクロス表について確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 4 章）を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
5回	**授業テーマ：χ^2（かいじじょう）検定の考え方と処理** 授業内容：χ^2 検定は質的変数間の関係性を検定する大基本である。「検定」という考え方、利用方法と手順を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 5 章）を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
6回	**授業テーマ：平均の比較とその検定についての考え方と処理（1）** 授業内容：量的変数間の関係性を検定するための「平均値の差の検定」には教科書で扱っている 3 種類が基本となる。その 3 種類を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 6 章）を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
7回	**授業テーマ：平均の比較とその検定についての考え方と処理（2）** 授業内容：量的変数間の関係性を検定するための「平均値の差の検定」を教科書では扱っていない関数で計算する方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 6 章）、事前提示内容を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
8回	**授業テーマ：ここまでの総括 1（テスト方式）** 授業内容：ここまで学んできた内容を総括して復習する。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を総復習する。 事後学修 2.0hr：時間後に提示する確認内容と自分の取り組みを整理し、内容を復習する。

9回	**授業テーマ：相関・回帰分析の考え方と処理** 授業内容：相関関係の検定についての方法を実習し、単回帰分析の方法を確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 7 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
10回	**授業テーマ：質的変数を結果にした回帰分析の考え方と処理** 授業内容：質的変数は量化して(ダミー変数)回帰分析に投入する。ここではダミー変数を用いての回帰分析を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 8 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：重回帰分析の考え方と処理(1)** 授業内容：複数の原因系変数を用いて、量的変数を結果系変数として行う回帰分析を実習し、解釈方法を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 9 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：重回帰分析の考え方と処理(2)** 授業内容：複数の原因系変数を用いて、質的変数を結果系変数として行う回帰分析を実習し、解釈方法を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 10 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：回帰分析の応用** 授業内容：回帰分析を教科書以外の利用法としていくつか紹介する。利用方法が変わればさまざまに応用できることを体得する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する内容を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：次回総括での出題ポイントを概説する** 授業内容：この科目で取り組んだ仮説を検証するための全手法(χ^2 検定、平均値の差の検定、相関の検定、回帰分析)を再度レビューし、確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 5〜10 章)を復習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：これまでの学修の総括 2（テスト方式）** 授業内容：これまでに学修した仮説検証方法と回帰分析を確認する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容(特に教科書 5 章以降)を総復習する。 事後学修 2.0hr：時間後に提示する確認内容と自分の取り組みを整理し、内容を復習する。

倫理とコンプライアンス

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

吉田　成利 (よしだ　なるとし)

▌授業の概要

人間は利と理のバランスを取りながら生きている。
そのバランスを取る道具が法律である。
本講義では、現代の様々な倫理的問題を法的視点から議論し、
法令順守がもたらすメリットと矛盾について考える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 3、HTM1）

一般目標：法的思考を用いて倫理的に生きる。
個別目標：(1) 現代社会における倫理的問題について自分の意見を形成する。
(2) 法的思考の重要性を理解し、法律を道具として用いる。

▌履修条件

（1）柔軟な思考で客観的に現実を分析し、公正な判断をするために努力する人。
（2）レポートなどの提出や担当教員との連絡を SNS ではなく、電子メールアカウントにて迅速かつ確実に行うことを約束すること。
（3）期末試験は自分の氏名と自筆の書き込みのある（試験会場で確認します）指定された教科書のみ持込可能なので、第 3 回の講義までに必ず指定された教科書を購入すること。第 3 回の講義までに教科書を購入・持参していない場合、平常点より減点する。

▌評価基準・方法

期末試験（指定された教科書のみ持込可）60%、レポート 30%、授業内での発言・姿勢 10%
毎回の講義冒頭に、前回の講義内容および小レポートについてフィードバックがなされる。

▌フィードバック方法

毎回の小レポート提出後に講義内でフィードバックを行います。必ず期限までに小レポートを提出してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回または 2 回に一度、教員にあてられ自分の意見を求められる）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回の講義資料を Manaba にアップし、レポート作成も PC で行う。）

▌教科書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』（慶應義塾大学出版会、2020 年）

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：序論とオリエンテーション。 事前学修 2.0hr：法と道徳の違いについて考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：法的思考と倫理** 授業内容：Legal Way of Thinking とは何かを考える。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3 回	**授業テーマ：尊厳死と医療機関** 授業内容：人が尊厳を維持して自らの最後を決める権利とは何か考える。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：著作権と表現の自由** 授業内容：言いたいことを言う自由と著作権について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：肖像権と SNS** 授業内容：人の顔に対する権利と SNS の発展について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
6 回	**授業テーマ：ハラスメント** 授業内容：いやがらせから自分や仲間・家族や組織を守るにはどのようにすればよいのかを考える。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
7 回	**授業テーマ：宗教・人種とビジネス** 授業内容：信じたいものを信じる自由とビジネスとの関係について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
8 回	**授業テーマ：障がい者とバリアフリー社会** 授業内容：障がい者をどのように法規や倫理は保護していけばよいのであろうか、考える。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
9 回	**授業テーマ：薬害と科学の進歩** 授業内容：薬と科学の進歩について考える。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
10 回	**授業テーマ：クローンと AI** 授業内容：クローンや AI は社会を便利にする一方で、複雑化していく。これについて法律や倫理はどのように対応するべきなのか、考える。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

11回	**授業テーマ：多数決と独裁** 授業内容：多数決や民主主義は絶対的なものなのであろうか？ 考える。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：納税とタックスヘブン** 授業内容：納税の義務と租税回避について考える。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：国内法と国際法** 授業内容：日本の法律と国際的な約束事との関係について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：非常事態と法令順守** 授業内容：コロナや自然災害や戦争のような非常事態に日本の法律や倫理は対応できているのか？ 考える。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：ポスト・コロナ時代における倫理とコンプライアンス** 授業内容：結論。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

リーダーシップ論

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

米倉　義友 (よねくら　よしとも)

▌授業の概要

「リーダーシップとは、何か」を、人類のパラダイムと組織の発達・人間としての脳科学、成長発達理論を基に理解し、リーダーシップにチャレンジし、習得する。なお、指導環境や学生の希望などの状況により、内容が変更となる場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 3、HTM3）

一般目標：様々なリーダーシップ研究の基礎を理解する。リーダーとフォロワーとの関係構築について基礎知識を習得する。様々なリーダーの行動、考え方をケーススタディを通じて学習する。

個別目標：フォロワーとのコミュニケーションの目的と技法を説明出来る。リーダーの具体的行動を説明できる。自身のリーダーシップスタイルの基礎を確立することができる。

▌履修条件

リーダーシップに興味があり、能力を高めたい学生

事前学習課題を履行すること

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提条件とします。

発言・質問等授業への取り組み姿勢(30 %)、試験(70 %)の割合で総合的に評価します。

▌フィードバック方法

「課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。」

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

講義ごとに資料を配布します

▌参考書

適宜紹介します

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：X 理論・Y 理論等、講義全体のイメージ、評価や出席の取り扱いを解説します。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで、講義内容を確認する 事後学修 2.0hr：講義の全体像を理解する
2回	**授業テーマ：リーダーシップとは何か** 授業内容：リーダーシップとマネジメントの違い、信頼されるリーダーとはを解説します。 事前学修 2.0hr：事例研究(心理的安全性) 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
3回	**授業テーマ：最強のチームをつくる絶対法則** 授業内容：安心できる環境が、組織を強くする(サークル・オフ・セーフティ)、コルチゾールの功罪を解説します。 事前学修 2.0hr：事例研究(支援している人と実際会う、つねに自分を優先するリーダーたち) 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
4回	**授業テーマ：インスパイヤ型リーダーとは** 授業内容：インスピレーション、ゴールデン・サークルを解説します。 事前学修 2.0hr：事例研究(ＷＨＹ発見プロセス) 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
5回	**授業テーマ：進化型　「ティール組織」** 授業内容：衝動型・順応型・達成型・多元型組織を解説します。 事前学修 2.0hr：ティール組織について理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
6回	**授業テーマ：心の知能指数を高めるために(EQ)** 授業内容：知能と知性の違い、やり抜く力、共感力、感情管理、エゴを解説します。 事前学修 2.0hr：事例研究(感情のコントロール) 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
7回	**授業テーマ：ＮＶＣ (Non-violent　Communication)** 授業内容：思いやる気持ちを妨げるコミュニケーション、感情を見極め表現する、感情を表現する語彙を増やすを解説します。 事前学修 2.0hr：事例研究(ＮＶＣ) 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
8回	**授業テーマ：マインドフルネス** 授業内容：ＶＵＣＡワールドで求められるセルフマネジメント、マインドフルネスの必要性を解説します。 事前学修 2.0hr：マインドフルネスの由来を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
9回	**授業テーマ：成人発達理論** 授業内容：リーダーシップにおける水平的発達と垂直的発達、俯瞰力、自己変容を解説します。 事前学修 2.0hr：学習する組織を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
10回	**授業テーマ：サーバント・リーダーシップ/アサーション** 授業内容：ガンジー「塩の行進」、リーダーはフォロワーのために存在するという考え、自分も相手も大切にする自己表現法を解説します。 事前学修 2.0hr：「人を動かす」を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
11回	**授業テーマ：権限によらないリーダーシップ** 授業内容：リーダーシップに不可欠な「三要素」、フィードバックは何のためにするのか、ジョハリの窓を解説します。 事前学修 2.0hr：事例研究(ビジョンをつくるだけでなく、全員を同じ土俵に乗せる過程が大切、アドバイス) 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する

12回	**授業テーマ：自己肯定感** 授業内容：十人十色の自己肯定感、自己受容、ナルシストと自尊心の高い人はちがいを解説します。 事前学修 2.0hr：事例研究（最強チームをつくる方法） 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
13回	**授業テーマ：ミッション・リーダーシップ** 授業内容：命令から「使命＝ミッション」へ、リーダーアイデンティティを解説します。 事前学修 2.0hr：事例研究（ウォルマ-トの圧倒的な強さの秘密） 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
14回	**授業テーマ：オーセンティック・リーダーシップ** 授業内容：「弱さ」や「涙」もリーダーの強みになる、自分らしさを貫くリーダーを解説します。 事前学修 2.0hr：事例研究（組織行動のマネジメント） 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
15回	**授業テーマ：講義まとめ** 授業内容：講義全体の振り返りを行います 事前学修 2.0hr：自身のリーダーシップとは、「何か」をイメージする 事後学修 2.0hr：試験準備

異文化マネジメント論

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2022 年度以降入学生のみ履修可能

三輪　祥宏（みわ　よしひろ）

▌授業の概要

VUCA（変動性が高く、確実ではなく、複雑で、曖昧な）時代を、職業人として生き抜いていくためには、目的意識を持ち、創造性を活かした多様性に基づく協働が重要になってくる。そのために本講義では、多様性を活かした企業活動＝ダイバシティマネジメントに関する諸問題を網羅的に概観し、現在的な課題としての理解を深めることで、将来の実務での活用に貢献することを目的とする。「誰かと分かりあえない」と感じる学生に解き方のヒントを提示できることを目指していく。また、受講にあたっては、各講義に先立って提示される課題への事前準備とともに、自己の価値観を振り返り、積極的に参加することが求められる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 3）

一般目標：① 自分の価値観に固執せず、違う価値観の人との共感を生み出すための視点を獲得することができる。
② グローバル社会に多様で多重な文化が存在し、文化差が価値観の形成やコミュニケーションを多様化させる状況を理解できる。
③ 国境以外のボーダー（境界線）が社会の中に存在しており、そこにも多様化の要因があることを理解することができる。

個別目標：① 視点・視座・視野について、移動できる感覚を身に着けること
②「自分とは違うひと」の存在について自分なりに近くして定義していること
③「自分とは違うひと」が存在してしまう世の中の仕組みについて自分の言葉で説明できること

▌履修条件

・Google Classroom を併用する可能性があるので、明海大学の電子メールアカウントを利用すること。
・知識や思考のクセは発揮してみないと体得できないので、必ず事前準備を行う心構えが必要。

▌評価基準・方法

・講義での貢献　：30 点（2 点× 15 回）
・manaba /respon 等での貢献：14 点 (1 点× 14 回)
・ミニレポート　：28 点（2 点× 14 回）
・レポートピアレビュー　：14 点 (1 点× 14 回)
・最終試験　：14 点
※ 課題等のフィードバックは講義を通じて実施する。

▌フィードバック方法

1. 教場で、主に Respon 回答中の時間を使って、口頭で行う。
2. フィードバックの内容を盛り込んだ講義を行う
3. 個別コレクションで回答する

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ダイバシティについて、模擬的なワークショップを通じて体感的な学修を取り入れます）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

三輪祥宏著『 ダイバシティを活かす経営とリーダシップ』三恵社　2014 年（http://amzn.to/1iHL53M）

▌参考書

講義中に適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクションとガイダンス** 授業内容：講義全体のアウトラインと期待される取組姿勢、成績評価の基準等について説明します。 事前学修 0.5hr：講義概要をよく読み、講義への期待について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.5hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
2 回	**授業テーマ：働くうえで課題になる文化的多様性** 授業内容：個人の属性が多層で多重であることから、企業やビジネスにおいて文化的な多様性が課題になっていることについて概観します。 事前学修 3.0hr：「ビジネスに影響を与える『文化』」と「違うこと・異なること」について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
3 回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線（ボーダー）①：ジェンダー・セクシャリティ** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、性差や性的志向性がビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：ジェンダーやセクシャリティに関する多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
4 回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線（ボーダー）②：人種・民族・国籍** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、日本人として普段あまり意識することのない人種・民族・国籍を明確に区分しつつ、ビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：人種・民族・国籍に関する多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
5 回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線（ボーダー）③：経歴・履歴・経験** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、馴染みのある経歴（学歴・職歴等）や履歴（賞罰等）がビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：経歴や職歴、経験に関する多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
6 回	**授業テーマ：小括：ビジネスに存在する境界線（ボーダー）を超えるメリットとデメリット** 授業内容：３回にわたって具体的に検討してきた、ビジネスに存在する境界線（ボーダー）を超えるためのの議論に基づき、影響についてメリットとデメリットに分けて整理していきます。 事前学修 3.0hr：多様性がビジネスに与える影響を、メリットとデメリットに区分して自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
7 回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線（ボーダー）④：年齢・世代・在職期間** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、馴染みのある年令（就業制限や定年制等）や職場での経験年数等がビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：年齢や在職期間に関する多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する

8回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線(ボーダー)⑤：身体性・ニューロン** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、馴染みのある美醜や体格差、疾病、障がいの有無等がビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：心身の特徴や障害についての多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
9回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線(ボーダー)⑥：ライフスタイル・宗教** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、内面的な価値の差異(ライフスタイルや宗教等)がビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：ライフスタイルや宗教に関する多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
10回	**授業テーマ：ダイバシティへのマインドセット(1) Mapping-直視する** 授業内容：これまで見てきた多様性のメリットやデメリットの具体的事例をもとに、それを乗り越えるためのステップとして、まず、Mapping すること＝「直視する力」について考えていきます。 事前学修 3.0hr：ダイバシティマネジメントの実践に向けて「直視する力」について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
11回	**授業テーマ：ダイバシティへのマインドセット(2) Bridging-学ぶ・理解する** 授業内容：これまで見てきた多様性のメリットやデメリットの具体的事例をもとに、それを乗り越えるためのステップとして、「直視」した後に必要となる Bridging すること＝「学ぶ力」について考えていきます。 事前学修 3.0hr：ダイバシティマネジメントの実践に向けて「学ぶ力」について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
12回	**授業テーマ：ダイバシティへのマインドセット(3) Integration-連帯する** 授業内容：これまで見てきた多様性のメリットやデメリットの具体的事例をもとに、それを乗り越えるためのステップとして、「直視」し「学」んだ後に必要となる Integration ＝「連帯する力」について考えていきます。 事前学修 3.0hr：ダイバシティマネジメントの実践に向けて「連帯する力」について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
13回	**授業テーマ：ダイバシティへのマインドセット(4) Inclusion-助け合う** 授業内容：これまで見てきた多様性のメリットやデメリットの具体的事例をもとに、それを乗り越えるためのステップとして、「直視」し「学」び「連帯」したものを深化させる Inclusion ＝「助け合う力」について、SDG ｓの考え方も交えて考えていきます。 事前学修 3.0hr：ダイバシティマネジメントの実践に向けて「助け合う力」について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
14回	**授業テーマ：デジタル化と新しいダイバシティ** 授業内容：これまでの講義内容を包括して、デジタルトランスフォーメーションで変革されるダイバシティについて議論していきます。 事前学修 3.0hr：デジタルトランスフォーメーション(主に AI)が「ダイバシティマネジメント」に与える影響について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
15回	**授業テーマ：ダイバシティマネジメントの実現とまとめ** 授業内容：この講義の総まとめとして、学んだ内容を実践に結びつけていくことについて議論をしながら、受講生の内面的な価値の変化を促していきます。 事前学修 3.0hr：講義からの学びをもとに、具体的な事例企業でのダイバシティマネジメントの実現に向けた自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 4.0hr：期末テストに向けて対策すること

異文化マネジメント論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2017～2021 年度入学生のみ履修可能

三輪　祥宏（みわ　よしひろ）

▌授業の概要

VUCA（変動性が高く、確実ではなく、複雑で、曖昧な）時代を、職業人として生き抜いていくためには、目的意識を持ち、創造性を活かした多様性に基づく協働が重要になってくる。そのために本講義では、多様性を活かした企業活動＝ダイバシティマネジメントに関する諸問題を網羅的に概観し、現在的な課題としての理解を深めることで、将来の実務での活用に貢献することを目的とする。「誰かと分かりあえない」と感じる学生に解き方のヒントを提示できることを目指していく。また、受講にあたっては、各講義に先立って提示される課題への事前準備とともに、自己の価値観を振り返り、積極的に参加することが求められる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：HTM1）

一般目標：① 自分の価値観に固執せず、違う価値観の人との共感を生み出すための視点を獲得することができる。
② グローバル社会に多様で多重な文化が存在し、文化差が価値観の形成やコミュニケーションを多様化させる状況を理解できる。
③ 国境以外のボーダー（境界線）が社会の中に存在しており、そこにも多様化の要因があることを理解することができる。

個別目標：① 視点・視座・視野について、移動できる感覚を身に着けること
②「自分とは違うひと」の存在について自分なりに近くして定義していること
③「自分とは違うひと」が存在してしまう世の中の仕組みについて自分の言葉で説明できること

▌履修条件

・Google Classroom を併用する可能性があるので、明海大学の電子メールアカウントを利用すること。
・知識や思考のクセは発揮してみないと体得できないので、必ず事前準備を行う心構えが必要。

▌評価基準・方法

・講義での貢献　：30 点（2 点× 15 回）
・manaba /respon 等での貢献：14 点 (1 点× 14 回)
・ミニレポート　：28 点（2 点× 14 回）
・レポートピアレビュー　：14 点 (1 点× 14 回)
・最終試験　：14 点
※ 課題等のフィードバックは講義を通じて実施する。

▌フィードバック方法

1. 教場で、主に Respon 回答中の時間を使って、口頭で行う。
2. フィードバックの内容を盛り込んだ講義を行う
3. 個別コレクションで回答する

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ダイバシティについて、模擬的なワークショップを通じて体感的な学修を取り入れます）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

三輪祥宏著『 ダイバシティを活かす経営とリーダシップ』三恵社　2014 年（http://amzn.to/1iHL53M）

▌参考書

講義中に適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクションとガイダンス** 授業内容：講義全体のアウトラインと期待される取組姿勢、成績評価の基準等について説明します。 事前学修 0.5hr：講義概要をよく読み、講義への期待について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.5hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
2回	**授業テーマ：働くうえで課題になる文化的多様性** 授業内容：個人の属性が多層で多重であることから、企業やビジネスにおいて文化的な多様性が課題になっていることについて概観します。 事前学修 3.0hr：「ビジネスに影響を与える『文化』」と「違うこと・異なること」について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
3回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線（ボーダー）①：ジェンダー・セクシャリティ** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、性差や性的志向性がビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：ジェンダーやセクシャリティに関する多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
4回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線（ボーダー）②：人種・民族・国籍** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、日本人として普段あまり意識することのない人種・民族・国籍を明確に区分しつつ、ビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：人種・民族・国籍に関する多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
5回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線（ボーダー）③：経歴・履歴・経験** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、馴染みのある経歴（学歴・職歴等）や履歴（賞罰等）がビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：経歴や職歴、経験に関する多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
6回	**授業テーマ：小括：ビジネスに存在する境界線（ボーダー）を超えるメリットとデメリット** 授業内容：３回にわたって具体的に検討してきた、ビジネスに存在する境界線（ボーダー）を超えるためのの議論に基づき、影響についてメリットとデメリットに分けて整理していきます。 事前学修 3.0hr：多様性がビジネスに与える影響を、メリットとデメリットに区分して自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
7回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線（ボーダー）④：年齢・世代・在職期間** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、馴染みのある年令（就業制限や定年制等）や職場での経験年数等がビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：年齢や在職期間に関する多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する

8回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線(ボーダー)⑤：身体性・ニューロン** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、馴染みのある美醜や体格差、疾病、障がいの有無等がビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：心身の特徴や障害についての多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
9回	**授業テーマ：ビジネスに存在する境界線(ボーダー)⑥：ライフスタイル・宗教** 授業内容：ビジネスにおいて課題となる多様性のうち、内面的な価値の差異(ライフスタイルや宗教等)がビジネスに与える影響について考えていきます。 事前学修 3.0hr：ライフスタイルや宗教に関する多様性がビジネスに与える影響について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
10回	**授業テーマ：ダイバシティへのマインドセット(1) Mapping-直視する** 授業内容：これまで見てきた多様性のメリットやデメリットの具体的事例をもとに、それを乗り越えるためのステップとして、まず、Mapping すること＝「直視する力」について考えていきます。 事前学修 3.0hr：ダイバシティマネジメントの実践に向けて「直視する力」について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
11回	**授業テーマ：ダイバシティへのマインドセット(2) Bridging-学ぶ・理解する** 授業内容：これまで見てきた多様性のメリットやデメリットの具体的事例をもとに、それを乗り越えるためのステップとして、「直視」した後に必要となる Bridging すること＝「学ぶ力」について考えていきます。 事前学修 3.0hr：ダイバシティマネジメントの実践に向けて「学ぶ力」について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
12回	**授業テーマ：ダイバシティへのマインドセット(3) Integration-連帯する** 授業内容：これまで見てきた多様性のメリットやデメリットの具体的事例をもとに、それを乗り越えるためのステップとして、「直視」し「学」んだ後に必要となる Integration ＝「連帯する力」について考えていきます。 事前学修 3.0hr：ダイバシティマネジメントの実践に向けて「連帯する力」について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
13回	**授業テーマ：ダイバシティへのマインドセット(4) Inclusion-助け合う** 授業内容：これまで見てきた多様性のメリットやデメリットの具体的事例をもとに、それを乗り越えるためのステップとして、「直視」し「学」び「連帯」したものを深化させる Inclusion ＝「助け合う力」について、SDG ｓの考え方も交えて考えていきます。 事前学修 3.0hr：ダイバシティマネジメントの実践に向けて「助け合う力」について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
14回	**授業テーマ：デジタル化と新しいダイバシティ** 授業内容：これまでの講義内容を包括して、デジタルトランスフォーメーションで変革されるダイバシティについて議論していきます。 事前学修 3.0hr：デジタルトランスフォーメーション(主に AI)が「ダイバシティマネジメント」に与える影響について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
15回	**授業テーマ：ダイバシティマネジメントの実現とまとめ** 授業内容：この講義の総まとめとして、学んだ内容を実践に結びつけていくことについて議論をしながら、受講生の内面的な価値の変化を促していきます。 事前学修 3.0hr：講義からの学びをもとに、具体的な事例企業でのダイバシティマネジメントの実現に向けた自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 4.0hr：期末テストに向けて対策すること

国際ビジネス関係論

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

肖　子睿（しょう　しえい）・三輪　祥宏（みわ　よしひろ）

▌授業の概要

本講義は「企業の国際化」についての実践事例の分析を通じて、基本的な仕組みとコンセプトを理解し、その全体像を実感をもとに体得することを目的とする。

将来においては、会社＝企業組織が国際的な文脈で活動するための定石を理解し、それを超えて対応することが必要となる。そこで在日中国企業協会の協力を得て、日本でビジネスを展開する中国企業の事例を分析し、国境を超えてビジネスを展開する難しさのみならず、楽しさや新たな可能性などについて学ぶ。なお、シラバスの順番は企業側の事情により変動することがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 3、HTM1）

一般目標：将来において、企業組織とにおいて国際化と関わるあらゆる場面で必要となる基本的な知識の獲得とそれに対する自分なりの「モノの見方」を獲得することが最終目標となる。とくに、内なる国際化が求められる現代的なビジネス環境を 40 年以上にわたって生き抜くためには、日本の常識を知りながら常識にとらわれない思考スタイルが求められる。そのために必要とされる自分なりの「武器」を準備できることを目指していく。

個別目標：国際的なヒトの移動とビジネスの関わりについてイメージができること
国際的なモノの移動とビジネスの関わりについてイメージができること
国際的なカネの移動とビジネスの関わりについてイメージができること
国際的な情報の移動とビジネスの関わりについてイメージができること

▌履修条件

講義に出席していることを前提として講義は進行する。

また、毎回のミニレポートの提出を、明海大学の電子メールアカウントにて行える環境があること。

「武器」となる知識や思考のクセは発揮してみないと体得できないので、必ず事前準備を行う心構えが必要。

▌評価基準・方法

・講義での貢献　：45 点（3 点× 15 回）
・ミニレポート　：28 点（2 点× 14 回）
・レポートピアレビュー　：14 点 (1 点× 14 回)
・最終試験　：13 点

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは講義を通じて実施するので、質問や感想を毎週積極的に投稿することが望まれる

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッションを通じて学びを深めていきます）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教場にて別途支持します。

▌参考書

講義中にその都度指定します。ただし、普段より Web や新聞雑誌等のメディアには関心を持って目を通しておくこと。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクションとガイダンス** 授業内容：講義全体のアウトラインと期待される取組姿勢、成績評価の基準等について説明します。 事前学修 0.5hr：講義概要をよく読み、企業の国際化について自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 2.5hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
2 回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際①：メディカルツーリズム（検査）** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業（中国人経営者）の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 3.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
3 回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際②：メディカルツーリズム（治療）** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業（中国人経営者）の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 1.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 3.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
4 回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際③：保険・金融ビジネス** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業（中国人経営者）の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 3.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
5 回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際④：IT ビジネス** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業（中国人経営者）の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 1.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 3.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
6 回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際⑤：政府機関** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業（中国人経営者）の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 3.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
7 回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際⑥：人材ビジネス** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業（中国人経営者）の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 1.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 3.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
8 回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際⑦：エアライン** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業（中国人経営者）の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 3.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する

9回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際⑧：コンサルティングビジネス** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業(中国人経営者)の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 1.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 3.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
10回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際⑨：イノベーション支援機構** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業(中国人経営者)の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 3.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
11回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際⑩：試験・検査・認証ビジネス** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業(中国人経営者)の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 1.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 3.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
12回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際⑪：コングロマリットの日本法人** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業(中国人経営者)の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 3.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
13回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際⑫：法律サービス** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業(中国人経営者)の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 1.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 3.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
14回	**授業テーマ：国際ビジネスの実際⑬：不動産投資** 授業内容：日本でビジネスをする中国企業(中国人経営者)の生の声から、国際ビジネスの難しさや楽しさを探究する 事前学修 3.0hr：事前課題にも基づき、対象となる企業について自分の見解をまとめてくる 事後学修 1.0hr：講義を通じて気づいたことから、自分の見解を補正する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：この講義の総まとめとして、学んだ内容を実践に結びつけていくことについて議論をしながら、受講生が国際的に活躍するための気づきを促していく 事前学修 2.0hr：講義全体を通じて気づいた、国際ビジネスにおいて大切なことについて自分なりの見解をまとめてくる 事後学修 4.0hr：最終試験に向けて全体の内容を復習する

経営戦略論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

白木　秀典（しらき　ひでのり）

▌授業の概要

このコースでは経営戦略の本質や基本概念を学び、企業活動における戦略の重要性を実例に照らしながら学習します。
授業では予習しやすいように、テキストの各章に沿って進行し、各回とも前半に「経営環境」「事業戦略」「企業戦略」「経営組織」などの経営戦略における概念を幅広く学び、後半は具体的なケースを学びます。適宜グループ・ディスカッションを取り入れます。また毎回復習としてだされる課題を通じ、経営戦略立案の分析ツールに親しんでもらい、応用力をつける練習も行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：・経営戦略の概念とそのメカニズムを理解している。
・経営戦略の基本的な枠組み（フレームワーク）や分析ツールを理解している。
・戦略的な思考能力を包括的に習得する
個別目標：・経営戦略の基本的な概念について説明することができる。
・経営課題に対応した概念や分析の基本ツールをあげることができる。
・分析の基本ツールを使って問題を整理し、解決策を論じることができる。

▌履修条件

事前にテキストの該当箇所を読んで予習し、クラス討論やグループ・ディスカッションに積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

・授業への参加姿勢と貢献度（30 %）
・レポート課題（30 %）
・期末テスト（40 %）

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは manaba や授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループ・ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

嶋口充輝、内田和成、黒岩健一郎編著『1 からの戦略論（第２版）』碩学舎、2016 年。

▌参考書

三枝 匡『決定版 戦略プロフェッショナル 戦略独創経営を拓く』KADOKAWA、2022 年。
M.E. ポーター『競争の戦略（新訂版）』ダイヤモンド社、1995 年。
M.E. ポーター『競争優位の戦略』ダイヤモンド社、1985 年。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、戦略とは** 授業内容：経営戦略がどのようなものかについての概要を理解する。ケース：あさひ自転車 事前学修 2.0hr：テキストの序章を読んでケースについてのクラス討論に備える。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、章末の３つの「考えてみよう」から一つを選んでレポートを manaba に提出する
2回	**授業テーマ：業界の構造** 授業内容：ファイブフォーシズの理論を使って、企業経営における外部環境の影響について、業界の構造から考える。ケース：シャープ 事前学修 2.0hr：テキストの第１章を読んでケースについてのクラス討論に備える。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、章末の３つの「考えてみよう」から一つを選んでレポートを manaba に提出する。
3回	**授業テーマ：取り巻く環境** 授業内容：自社の視点からその経営環境を PEST 分析、３ C 分析、SWOT 分析などのツールを使って分析する。ケース：トヨタ自動車 事前学修 2.0hr：テキストの第２章を読んでケースについてのクラス討論に備える。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、章末の３つの「考えてみよう」から一つを選んでレポートを manaba に提出する。
4回	**授業テーマ：基本戦略** 授業内容：事業戦略を考える上で基本となる、競争優位性を構築した戦略の定石とその経済性について学ぶ。ケース：しまむら 事前学修 2.0hr：テキストの第３章を読んでケースについてのクラス討論に備える。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、章末の３つの「考えてみよう」から一つを選んでレポートを manaba に提出する。
5回	**授業テーマ：製品ライフサイクル戦略** 授業内容：製品のライフサイクル理論とそのサイクルのステージ別の戦略について学ぶ。ケース：富士ゼロックス 事前学修 2.0hr：テキストの第４章を読んでケースについてのクラス討論に備える。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、章末の３つの「考えてみよう」から一つを選んでレポートを manaba に提出する。
6回	**授業テーマ：市場地位別戦略** 授業内容：競争戦略論においては、市場における地位によって採用する戦略が異なることを学ぶ。ケース：アサヒビール 事前学修 2.0hr：テキストの第５章を読んでケースについてのクラス討論に備える。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、章末の３つの「考えてみよう」から一つを選んでレポートを manaba に提出する。
7回	**授業テーマ：リソース・ベースド・ビュー** 授業内容：外部環境に関わりなく、他社にはない卓越した能力や資源が企業内部に蓄積されていることが競争力の源泉となるという考え方について学ぶ。ケース：富士フィルム 事前学修 2.0hr：テキストの第６章を読んでケースについてのクラス討論に備える。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、章末の３つの「考えてみよう」から一つを選んでレポートを manaba に提出する。
8回	**授業テーマ：事業システム** 授業内容：顧客に価値を提供するビジネスの仕組みを、バリューチェーン（価値連鎖）の概念を使った分析で学ぶ。ケース：アスクル 事前学修 2.0hr：テキストの第７章を読んでケースについてのクラス討論に備える。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、章末の３つの「考えてみよう」から一つを選んでレポートを manaba に提出する。
9回	**授業テーマ：事業領域** 授業内容：企業の事業領域について、それを設定する意義や決め方、成長に伴う変化について学ぶ。ケース：黒川温泉 事前学修 2.0hr：テキストの第 8 章を読んでクラス討論に備える。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、章末の３つの「考えてみよう」から一つを選んでレポートを manaba に提出する。

10回	**授業テーマ：成長戦略** 授業内容：事業の多角化など、企業が長期にわたって成長するために重要な成長戦略の考え方について学ぶ。ケース：ニコン 事前学修 2.0hr：テキストの第 9 章を読んでケースについてのクラス討論に備える。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、章末の３つの「考えてみよう」から一つを選んでレポートを manaba に提出する。
11回	**授業テーマ：資源展開** 授業内容：複数の異なった事業を持つ企業が、限りある資源をどのように配分していくのか、という戦略的課題について、PPM というキャッシュに焦点を当てた手法を使って考える。ケース：サントリー 事前学修 2.0hr：テキストの第 10 章を読んでケースについてのクラス討論に備える。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、章末の３つの「考えてみよう」から一つを選んでレポートを manaba に提出する。
12回	**授業テーマ：戦略の社会的側面** 授業内容：SDGs が全世界の開発目標になってきている昨今、企業が社会的な責任を果たしながら、どのように戦略を策定していけばよいのか、について考える。ケース：伊藤園 事前学修 2.0hr：テキストの第 11 章を読んでケースについてのクラス討論に備える。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、章末の３つの「考えてみよう」から一つを選んでレポートを manaba に提出する。
13回	**授業テーマ：組織構造** 授業内容：組織構造の具体的なモデルについての基本形を学び、組織と戦略の関係について考える。ケース：星野リゾート 事前学修 2.0hr：テキストの第 12 章を読んでクラス討論に備える。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、章末の３つの「考えてみよう」から一つを選んでレポートを manaba に提出する。
14回	**授業テーマ：組織文化** 授業内容：組織を機能させる「ソフト」としての組織文化がどのような役割を持つのか、そしてそれがどのように事業戦略と関係づけられるのか、について学ぶ。ケース：ウォルトディズニー 事前学修 2.0hr：テキストの第 13 章を読んでクラス討論に備える。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、章末の３つの「考えてみよう」から一つを選んでレポートを manaba に提出する。
15回	**授業テーマ：企業変革** 授業内容：企業は取り巻く環境の変化に応じて、これまでの戦略や組織、人材の行動を大きく変革して変身してゆくことが求められる。最後の回ではこうした企業変革について学ぶ。ケース：コマツ 事前学修 2.0hr：テキストの第 14 章を読んでケースについてのクラス討論に備える。 事後学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、要点をまとめておく。

サービス・マーケティング論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

米倉　義友 (よねくら　よしとも)

▌授業の概要

マーケティングが変革する中での過去、現在、未来を考察し、顧客や企業の変化を学び、トレンドを捉える。
なお、指導環境や学生の希望などの状況により、内容が変更となる場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：マーケティングの基礎知識を習得する
　　サービス・マーケティングの課題を発見し、学習したツールを応用しながら、主体的に解決する、思考力や判断力を養う
個別目標：顧客心理を理解し、マーケティングを踏まえた思考を向上させる
　　サービス・マーケティングに関するビジネスケースをマーケティングのツールを活用・分析して、簡易なサマリーを作成できる

▌履修条件

マーケティング全般に関心があり、今後のキャリアプランに役立てたいと前向きに考えている
事前学習課題を履行すること

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提条件とします。
発言・質問等授業への取り組み姿勢、レポート提出等(30 %)、試験(70 %)の割合で総合的に評価します.

▌フィードバック方法

「課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。」

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

講義ごとに資料を配布します

▌参考書

講義において適宜紹介します

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：マーケティングとセールスとの違い、評価や出席の取り扱いを解説します。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで、講義内容を確認する 事後学修 2.0hr：講義の全体像を理解する
2回	**授業テーマ：マーケティング戦略　①** 授業内容：マーケティング 1.0～3.0、カスタマー・ジャーニー等を解説します。 事前学修 2.0hr：４ P、STP を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
3回	**授業テーマ：マーケティング戦略　②** 授業内容：デジタル・マーケティング、コンテンツ・マーケティング、エンゲージメント等を解説します。 事前学修 2.0hr：４ C、O 3 等を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
4回	**授業テーマ：サービス・マーケティング①** 授業内容：サービスの特性・分類・構成要素等を解説します。 事前学修 2.0hr：マーケティング近視眼を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
5回	**授業テーマ：サービス・マーケティング②** 授業内容：サービスの達人、サービス・エンカウンター、サービス・マーケティング・ミックス等を解説します。 事前学修 2.0hr：８ P を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
6回	**授業テーマ：サービス・マーケティング③** 授業内容：サービス・リカバリー、経験価値等を解説します。 事前学修 2.0hr：サービス・リカバリーについて理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
7回	**授業テーマ：サービス・マーケティング④** 授業内容：感情労働等を解説します。 事前学修 2.0hr：感情労働について理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
8回	**授業テーマ：星野リゾートの戦略** 授業内容：ＳＴＰ、４Ｐ、製品ライフサイクル等を解説します。 事前学修 2.0hr：企業研究(顧客起点の経営) 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
9回	**授業テーマ：顧客体験** 授業内容：グッドマンの法則、SAS(真実の瞬間) 等を解説します。 事前学修 2.0hr：企業研究(顧客志向) 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
10回	**授業テーマ：顧客インタラクション** 授業内容：「おもてなし」の裏側、「サービスとは価値共創」等を解説します。 事前学修 2.0hr：企業研究(スターバックスの成功要因) 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
11回	**授業テーマ：カスタマーサクセス** 授業内容：カスタマー・サポートとの違い、サブスクリプション等を解説します。 事前学修 2.0hr：企業研究(「らしさ」を磨き続けろ) 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する

12回	**授業テーマ：超顧客主義** 授業内容：自他非分離等を解説します。 事前学修 2.0hr：超顧客主義について理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
13回	**授業テーマ：ジョブ理論** 授業内容：「ジョブ」と「ニーズ」の違い、行き当たりばったりのイノベーションとの決別等を解説します。 事前学修 2.0hr：ジョブ理論、イノベーションのジレンマ等について理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
14回	**授業テーマ：サービス・イノベーション** 授業内容：デザイン思考、ダブル・ダイヤモンド等を解説します。 事前学修 2.0hr：企業家とは何か、ZERO to ONE 等について理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：講義全体を振り返ります。 事前学修 2.0hr：自身のキャリアとして、「何が」役立つのか、イメージする 事後学修 2.0hr：試験準備

デスティネーション・マーケティング論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

ラッセル　ウエノ

▌授業の概要

This lecture will be conducted in a synchronous online format by Dr. Uyeno from Hawaii.
The course analyzes different types of destinations and important current issues related to destination marketing. These issues include: developing a brand image, recovering from adverse events, handling controversial activities, adjusting to political and social changes, and dealing with ethical considerations. Through a careful analysis of these destinations and issues, students will be better prepared to understand and deal with marketing challenges from a more strategic and flexible perspective.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 3、HTM1）

一般目標：This course will present current issues related to destination marketing.
個別目標：Students will expand their understanding of destinations, destination marketing organizations, and strategies to compete in the global tourism market.
Students will be able to analyze a destination in terms of the strategic marketing issues and challenges it faces.

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class by reading the assigned material.

▌評価基準・方法

Evaluation will be based on attendance and participation (30%), assignments (30%), and final exam (40%).

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC and internet connection is needed to take this course.）

▌教科書

No textbook required.

▌参考書

Readings will be provided by the instructor.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction and Course Preview** 授業内容：The structure and goals of the course will be reviewed, including: content framework, sequence of topics, grading method, classwork expectations, and learning objectives. 事前学修 2.0hr：Prepare for the first class 事後学修 2.0hr：Review materials in the first class
2回	**授業テーマ：Historical Development of Tourism Business** 授業内容：Key developments in the development of mass tourism will be covered, with an emphasis on changes in technology. 事前学修 2.0hr：Think about historical development of tourism business 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand about the historical development
3回	**授業テーマ：Recent and Current Trends of Tourism Business (Economic Impact)** 授業内容：The current situation of global tourism will be covered, focusing on key statistical measures and current trends. 事前学修 2.0hr：Research about current trends and the economic impact of tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
4回	**授業テーマ：Recent and Current Trends of Tourism Business (Events, Olympics and Tourism)** 授業内容：The current situation of global tourism will be covered, focusing on several recent developments and events. 事前学修 2.0hr：Research about the recent and current trends of tourism business 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
5回	**授業テーマ：Controversial Issues in Tourism** 授業内容：Several controversial issues related to tourism will be covered, emphasizing the importance of politics and social impacts. 事前学修 2.0hr：Research about controversial issues in tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
6回	**授業テーマ：Poverty and Tourism** 授業内容：Poverty tourism (also called slum tourism) will be covered, along with other types of reality tourism. 事前学修 2.0hr：Research about the relationship between poverty and tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
7回	**授業テーマ：Accessible Tourism** 授業内容：The problems and promise of making tourism more accessible to handicapped, elderly, and other travelers, will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about accessible tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
8回	**授業テーマ：Destination Branding** 授業内容：Various examples of destination branding will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about destination branding 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
9回	**授業テーマ：Special topics** 授業内容：Special topics based on current issues and events and/or student feedback will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about special topics 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
10回	**授業テーマ：Ethical Travel and Destinations** 授業内容：Ethical destinations and ethical travel will be covered within the context of sustainable travel. 事前学修 2.0hr：Research about ethics and tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand

11回	**授業テーマ：Climate Change and Tourism** 授業内容：Travel and tourism as both contributor to, and victim of, climate change will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about the relationship between climate change and tourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
12回	**授業テーマ：Overtourism** 授業内容：Recent examples of overtourism will be covered, with consideration of policies that can help destinations deal with the impacts of too much tourism. 事前学修 2.0hr：Research about overtourism 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
13回	**授業テーマ：Tourism Business and Technology: Key issues** 授業内容：Recent advances in information technology and their impacts on travel and tourism will be covered. 事前学修 2.0hr：Research about the key issues between tourism business and technology 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
14回	**授業テーマ：Future directions and why we travel** 授業内容：Philosophical and psychological issues regarding the need for travel will be discussed, along with consideration of what they mean for the future of global travel. 事前学修 2.0hr：Research of future directions of tourism and what motivates people to travel 事後学修 2.0hr：Review and research to further understand
15回	**授業テーマ：Course Summary and Conclusion** 授業内容：The course content will be summarized and placed within the context of the future of the global travel industry. 事前学修 3.0hr：Review all the topics covered by this course and pick up some questions 事後学修 3.0hr：Think about the future of these destinations and prepare for the final exam

デスティネーション・マネジメント論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

ラッセル　ウエノ

▌授業の概要

This lecture will be conducted in a synchronous online format by Dr. Uyeno from Hawaii.
In this course, we will use Hawaii as a case study to understand the basics of destination management. Welcoming many visitors from around the world, Hawaii has become one of the most popular destinations in the world. Studying this world-class tourism destination will deepen your understanding of destination management through tourism organizations, policies, strategic planning, development, and issues. The final goal is to understand the importance of managing the destination and how to become sustainable.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 3、HTM1）

一般目標：Through the tourism business in Hawaii, you will be able to understand important factors in destination management.
In addition, you can deepen your knowledge through various issues and problems in tourism business.

個別目標：After taking this course you will be able to understand well about,
1) tourism policies and planning
2) promotion and marketing strategies
3) tourism issues and problems
4) sustainability

▌履修条件

Students will be expected to prepare for class by reading the assigned material.

▌評価基準・方法

Evaluation will be based on attendance and participation (30%), assignments (30%), and final exam (40%).

▌フィードバック方法

Feedback on assignments will be provided through Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC and internet connection is needed to take this course.）

▌教科書

No textbook required.

▌参考書

Readings will be provided by the instructor.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction and Course Preview** 授業内容：The structure and goals of the course will be reviewed, including: content framework, sequence of topics, grading method, classwork expectations, and learning objectives. 事前学修 2.0hr：Read the syllabus and class schedule 事後学修 2.0hr：Preparing for all of this course
2回	**授業テーマ：Geographical and Historical Overview of Hawaii** 授業内容：The geography and history of Hawaii will be briefly reviewed, including: major destination areas, primary natural features and attractions, and key historical developments. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
3回	**授業テーマ：Development of the Tourism Business, 1900-present** 授業内容：The early development of tourism will be examined, with emphasis on key factors that enabled Hawaii's tourism industry to expand. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
4回	**授業テーマ：Government Policy and Planning for Tourism** 授業内容：The role and actions of the Hawaii Tourism Authority will be covered, including: source of funding, key areas of responsibility, and current issues. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
5回	**授業テーマ：Strategic Issues for Tourism** 授業内容：Tourism's role in contributing to important social, environmental, and political challenges will be examined. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
6回	**授業テーマ：Current Profile of the Industry: Demand** 授業内容：Understanding tourism from the perspective of the visitor/customer, based primarily on survey results, will be covered. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
7回	**授業テーマ：Current Profile of the Industry: Supplier** 授業内容：Understanding tourism from the perspective of the local resident will be covered, emphasizing the role of the industry in generating jobs and social impacts. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
8回	**授業テーマ：Economic Impact of Tourism** 授業内容：The role of tourism as the most important industry in Hawaii's economy will be discussed, including historical and current alternatives to the tourism industry. 事前学修 2.0hr：Investigate this week's theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture

9回	**授業テーマ：Market Research** 授業内容：Hawaii’ s major geographic and demographic markets will be covered, along with brand marketing methods and strategies. (Part 1) 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
10回	**授業テーマ：Branding** 授業内容：Hawaii’ s major geographic and demographic markets will be covered, along with brand marketing methods and strategies. (Part 2) 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
11回	**授業テーマ：Product Development: Natural Resources** 授業内容：Key issues and challenges related to Hawaii’ s natural resources and their use as tourist attractions will be covered. 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
12回	**授業テーマ：Product Development: Cultural Resources** 授業内容：Key issues and challenges related to Hawaii’ s cultural resources and their use as tourist attractions will be covered. 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
13回	**授業テーマ：Product Development: Major Events** 授業内容：Major festivals and events that enhance Hawaii’ s image and attractiveness will be studied, focusing on those that receive public funding. 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
14回	**授業テーマ：Media Images** 授業内容：A brief examination of how Hawaii’ s image has been created and maintained over the years by companies and popular media, especially movies and tv shows. 事前学修 2.0hr：Investigate this week’s theme in advance 事後学修 2.0hr：Review and adjust your own opinion based on your understanding of this lecture
15回	**授業テーマ：Course Summary and Conclusion** 授業内容：The course content will be summarized and placed within the context of destination management of other tourism destinations. 事前学修 2.0hr：Review all articles in this course. 事後学修 3.0hr：Prepare for the final exam

ヒューマンリソースマネジメント論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

久保田　英男（くぼた　ひでお）

▌授業の概要

変化や多様性を求められる現代、人的資源が組織において目標を達成するキーポイントとなります。業務環境に素早く適応でき、組織の中で効率よく、かつ実践的に活性化するための人材マネジメントが求められ、ここでは人事システム、人材育成など、人材マネジメントとは何かを基礎から学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：人材を育成し、円滑な組織運営をするために有用な手法や事例を学び、実社会にでた際にその知識を活かせる基礎的知識を習得します。

個別目標：1. ヒューマンリソースマネジメントと労務管理の違いを理解する。

2. 目標達成にむけたマネジメントのメカニズムを理解する。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

評価は、授業・課題に取り組む姿勢 30%、テスト 70 %を基準に総合的に判断する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム”manaba”を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （1～2回程度、少人数でのグループワークを実施予定）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

人材マネジメントの基本 (HR インスティテュート著/三坂健編著者) 日本実業出版社

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ヒューマンリソースマネジメント (HRM) で学ぶこと** 授業内容：「ヒューマンリソースマネジメント」とはどのようなことをテーマとするのか。この講義の紹介をします。各講義の簡単な説明と授業の進め方や課題・試験などについてもガイダンスします。 事前学修 2.0hr：テーマから概要をイメージしてみましょう 事後学修 2.0hr：この授業で学ぶ内容を整理し、学修計画を立てましょう
2回	**授業テーマ：労務管理と HRM の違い** 授業内容：企業・組織内において様々な部門分野と密接に関わっています。それらの各々の役割、機能や期待される成果などの違いを比較しつつ、人材マネジメント (HRM) とはどのようなマネジメントかを描いてみます。 事前学修 2.0hr：労務管理と人材マネジメントの違いとは何か調べ、考えてみましょう 事後学修 2.0hr：労務管理と人材マネジメントの違いを明確にし、人材マネジメントの目的について考えましょう
3回	**授業テーマ：日本ビジネス社会における人材マネジメントの特徴と歴史** 授業内容：日本におけるビジネス社会の人材マネジメントの来歴からその特徴を理解し、これからの日本の人材マネジメントがどのように変化していくのか考えてみます。 事前学修 2.0hr：戦後の日本ビジネス社会の人材管理のイメージしてみましょう 事後学修 2.0hr：昭和の日本ビジネス環境が、現代に及ぼす影響を考えてみましょう
4回	**授業テーマ：人材マネジメントの役割と目的** 授業内容：人材マネジメント (HRM) は、企業・組織内においてどの様な役割を果たすべきなのか、人材マネジメントの目標・目的はどのように設定するのかを通じ、HRM に期待される成果とは何かを考えていきます。 事前学修 2.0hr：人材マネジメントの目的とは何か考えてみます 事後学修 2.0hr：人材マネジメントの役割から導き出されるこのマネジメントの目的・目標について考えてみましょう
5回	**授業テーマ：目標管理** 授業内容：目標管理とは、どのようなことを指すのか、目標を達成するためにどのような手法が有効であるのか、を具体例などより学びます。 事前学修 2.0hr：目標を達成するためになにをすればよいのか考えましょう 事後学修 2.0hr：実際に自分自身の目標を管理してみましょう
6回	**授業テーマ：人材を育成する** 授業内容：人材の育成方法、手法を事例を紹介し、実際にグループワークを通じて疑似体験をしてみます。 事前学修 2.0hr：「OJT」とは何か調べてみましょう 事後学修 2.0hr：人材育成の手法を復習し、効果的に実施する方法を考えてみましょう
7回	**授業テーマ：人材の評価 (評価の役割)** 授業内容：人材を評価するとは、どういうことなのか。また、それが目標達成など経営戦略に果たす役割について考えます。 事前学修 2.0hr：なぜ評価が人材育成になるのか考えてみましょう 事後学修 2.0hr：経営戦略において人事評価はどのような役割を果たしているのか、整理しましょう
8回	**授業テーマ：人材の評価方法** 授業内容：プロセス評価「KPI マネジメント」などについて学びます。 事前学修 2.0hr：評価の目的とは何かを前回授業より考えてみましょう 事後学修 2.0hr：人材マネジメントにおいて「評価」はどのような効果をもたらすのか考えてみましょう
9回	**授業テーマ：人材を活用する** 授業内容：企業組織の人的リソースの活かし方について学びます。 事前学修 2.0hr：人材を活用するとはどのようなことを指しているか、自分の就職活動等を振り返り考えてみます 事後学修 2.0hr：人材の活用できる望ましい環境とは、考えてみましょう
10回	**授業テーマ：組織をデザインする** 授業内容：人材を有効に、そして、より効果的に快適に活躍できる組織を作るにはどのようなことが重要であるかを考えます。 事前学修 2.0hr：「組織をデザインする」とはどのようなことなのでしょう、これまでの知識から自分でイメージしてみましょう 事後学修 2.0hr：「適材適所」の見つけ方とはどのようにすればよいのか考えてみましょう
11回	**授業テーマ：HRM におけるリスクマネジメント** 授業内容：ヒューマンリソースマネジメント (人材マネジメント) において注意しなければならないリスクについて考えます。 事前学修 2.0hr：人材マネジメントにおけるリスクを考えます 事後学修 2.0hr：リスクが起きないようにする、回避するには、などリスクマネジメントについてまとめてみましょう

12回	**授業テーマ：人材開発 (人員配置・採用など)** 授業内容：人材の獲得手法やその変化について学び、その対応と新しい変革への対応を考えます。 事前学修 2.0hr：人材の獲得方法にはどのようなものがあるか調べましょう 事後学修 2.0hr：人材開発の新しいアイデアを考えてみましょう
13回	**授業テーマ：円滑な人間関係を保ち、チームを活性化する** 授業内容：組織の中での人間関係を良好に保つことは、業務遂行の上で重要な要素であり、チームの活性化につながります。その手法や注意点などを簡単なグループワークを通じて学びます。 事前学修 2.0hr：職場における良好な人間関係とは何か考えましょう 事後学修 2.0hr：個人とチームの関係性や価値について考えてみましょう
14回	**授業テーマ：目標を達成する為に** 授業内容：組織の目標を達成するために「適材適所」そして個の成長と組織の成功へ導く理想の人材マネジメントとはどのようなものかを考えます。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り人材マネジメントの役割と期待される効果を整理します 事後学修 2.0hr：目標達成のために個人と組織はどのように連携すべきか考えてみましょう
15回	**授業テーマ：まとめ/これまでの内容を振り返る** 授業内容：これまでの授業を振り返り「ヒューマンリソースマネジメントとは」をまとめます。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、分からない点、もう少し深く知りたい内容などを整理しておきましょう 事後学修 2.0hr：これまでの内容を総合的に復習して、体系的にまとめましょう

ヒューマンリソースマネジメント論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

米倉　義友（よねくら　よしとも）

▌授業の概要

変化の激しい環境の中、限られたリソースで、高い目標に向けて、どうにかこうにか成果を出すことが企業には求められています。
戦略の実行を効果的に行うため、組織目標へ向け人を効果的に動かす「仕組み」(人材マネジメント)について学んでいきます。
授業では、主に人材マネジメントの全体像と、人事戦略を遂行するための、人事システムと組織構造について理解を深めていきます。
現代は競争のルールが大きく変わる時代です。進化論にもあるように、「強いものが勝つのではなく、環境に適応できるものが残る」ということです。
無駄な残業や、多様性の小ささなども、併せて変えていくべき課題です。なお、指導環境や学生の希望などの状況により、内容が変更となる場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：人事システムは経営戦略を支え企業経営の目的に向かうものになることが求められます。
　　人材マネジメントの目的は「人事」つまり「人をもって事を成す」こと。
　　人材マネジメントは全体を貫くコンセプトを持ち、それによって施策間が整合していること、つまり一貫性が重要であることを学びます。
個別目標：H RMを一貫性あるシステムとするために、各領域(等級、評価、報酬、人材開発、リソースフロー、組織開発)の機能を体系的に理解し、機能間の影響を把握します。そしてミッション(経営理念)を実現するコンセプト(設計思想)によって、それらを有機的に繋いでいきます。

▌履修条件

HR（ヒューマンリソース)に興味があり、能力を高めたい学生
事前学習課題を履行すること

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提条件とします。
発言・質問等授業への取り組み姿勢(30 %)、試験(70 %)の割合で総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業　　）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

講義ごとに資料を配布します

▌参考書

講義にて、適宜紹介します

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：ヒューマンリソース全般、評価・出席の取り扱いを解説します 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで、講義内容を確認する 事後学修 2.0hr：講義の全体像を理解する
2回	**授業テーマ：人材マネジメント** 授業内容：人材マネジメント全体の目的、歴史、構造、日本の特徴、効果的に行う方法などを解説します。 事前学修 2.0hr：マネジメントとはを理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
3回	**授業テーマ：人事評価** 授業内容：人材マネジメントの判断情報となる「人事評価」。その目的、対象と主な方法、これからの展望について解説します。 事前学修 2.0hr：評価について理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
4回	**授業テーマ：賃金・退職金** 授業内容：働くことによって得られる「賃金・退職金」。その内訳と決定方法、重要な納得感の醸成について解説します。 事前学修 2.0hr：賃金について理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
5回	**授業テーマ：等級** 授業内容：人材マネジメントの方針を具現化した骨格である「等級」。その歴史と種類、自社に適した等級について解説します。 事前学修 2.0hr：等級の種類について理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
6回	**授業テーマ：採用　①** 授業内容：人材の流れである［リソースフロー］の入り口［採用］。人員計画、人材要件、選考の手法について解説します。 事前学修 2.0hr：人材ポートフォリオ設計を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
7回	**授業テーマ：採用　②** 授業内容：現在の採用状況について解説します。 事前学修 2.0hr：会社の求める人材像を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
8回	**授業テーマ：異動ー代謝** 授業内容：ソースフローの中心であり適材適所の重要な手法である「異動」。その方法と日本の特徴について解説します。 事前学修 2.0hr：人事異動を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
9回	**授業テーマ：人材開発　①** 授業内容：企業が投資して人を育成する「人材開発」。対象となる能力、方法について解説します。 事前学修 2.0hr：能力の分類を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する

10回	**授業テーマ：人材開発　②** 授業内容：これからの展望について解説します。 事前学修 2.0hr：リーダーシップ開発を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
11回	**授業テーマ：欧米と日本の雇用システム** 授業内容：職務主義と職能主義の違い、日本型雇用の問題について解説します。 事前学修 2.0hr：ジョブ型の本質を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
12回	**授業テーマ：組織開発** 授業内容：組織の効果を高める計画的な取り組みである［組織開発］。その定義、対象、方法について解説します。 事前学修 2.0hr：組織文化を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
13回	**授業テーマ：キャリアデザイン** 授業内容：キャリアアンカー論などについて解説します。 事前学修 2.0hr：ブランド・ハップンスタンス理論を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
14回	**授業テーマ：人的資本経営** 授業内容：「企業は人なり」について解説します。 事前学修 2.0hr：人的資本開示について理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：全体の振り返りを行います 事前学修 2.0hr：講義全体を振り返る 事後学修 2.0hr：試験準備

リスクマネジメント論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

久保田　英男（くぼた　ひでお）

▌授業の概要

事故やトラブルは未然に防げることができるものでありながら、その要因を認識せず見逃し、発生してしまうと、時間・労力・費用などだけではなく企業の倒産など大きな損害になることがあります。ここでは、リスクマネジメントの基礎、要因 (リスク) とは何かなどを学び、日常に潜むエラーを回避等する方法を学び、発生しても迅速に対応し損害を最小限に抑え、素早く事業復旧・継承できるよう、様々な事例なども交え学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：様々なリスクを理解し、事故を未然防ぐ能力や知識、そしてリスク対処できる力を養うとともに、危機管理や事業継続に関する基礎的な知識の習得を目標とする。

個別目標：1. リスクを察知し、未然に回避・対応できる手法を取得する。
2. リスクマネジメントのメカニズムを理解する。
3. 危機管理・事業継続計画 (BCP) などを理解する。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

評価は、授業・課題に取り組む姿勢 30%、テスト 70 %を基準に総合的に判断する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム”manaba”を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （少人数グループワーク (１～２回程度) を実施予定）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし (必要に応じて資料の配布または配信)

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション/ガイダンス** 授業内容：「リスク」とは何か、「リスクを管理する」にはどうすればよいのか。本講義内容の紹介と概要を説明します。 事前学修 2.0hr：「リスク」とは何か考えてみましょう 事後学修 2.0hr：日常における「リスク」を探してみましょう
2回	**授業テーマ：リスクマネジメントの概念** 授業内容：「リスクマネジメント」とは、どのようなことを指し、何のために必要なのか、その目的像をイメージさせます。 事前学修 2.0hr：何故「リスクマネジメント」の必要なのでしょうか、考えてみて下さい 事後学修 2.0hr：目標達成とリスクマネジメントの関連性について考えてみましょう
3回	**授業テーマ：危機管理とリスク管理** 授業内容：危機管理とリスクマネジメントとの違いを理解します。 事前学修 2.0hr：危機管理とリスク管理の違いを考えてみましょう 事後学修 2.0hr：危機管理とは何をするものであり、何を何から守るのかを考えましょう
4回	**授業テーマ：リスクの定義と管理対象** 授業内容：何を目的としたリスクマネジメントであるかを、明確にしなくてはなりません。管理すべきリスクとは何か、その対象となるものの考え方を今回は学びます。 事前学修 2.0hr：リスクマネジメントで管理するものは何か考えましょう 事後学修 2.0hr：何をもって「リスク」とするのか、様々な状況や環境で考えてみましょう
5回	**授業テーマ：リスクマネジメントの全体像** 授業内容：リスクマネジメントを実践するにあたり、その準備から実行までのフローを考えていきます。 事前学修 2.0hr：どのようにリスクをマネジメントするのか考えましょう 事後学修 2.0hr：実際の業務環境を想定してリスクマネジメントのフローを作ってみましょう
6回	**授業テーマ：基本方針・基本計画の策定** 授業内容：リスクマネジメント実行のステップとして、まず何を目的、目標としているのかを整理し、管理する対象を探し出す、ということについて学びます。 事前学修 2.0hr：リスクマネジメントは何のために必要なのでしょうか、考えましょう 事後学修 2.0hr：リスクマネジメントの目的と目標を考えてみましょう
7回	**授業テーマ：リスクアセスメントとは** 授業内容：目的・目標から管理すべき対象を明確にして計画作ります。さらにその達成の障害となるリスクを洗い出していくところまでを学びます。 事前学修 2.0hr：前回の授業より目標を達成する方法を探してみましょう 事後学修 2.0hr：計画策定の手順から仮想の計画を作成しましょう
8回	**授業テーマ：リスク管理の実施** 授業内容：基本方針・基本計画の策定、そして特定されたリスクに対し、どのようなマネジメントを行いリスクに備えるのかを考えます。 事前学修 2.0hr：リスクマネジメントの PDCA サイクルについて調べてみましょう 事後学修 2.0hr：リスクマネジメントを実施するに際し、注意すべき点をまとめましょう
9回	**授業テーマ：リスクマネジメントの評価** 授業内容：PDCA サイクルの中で、リスクマネジメント活動が形骸化しないように評価するにはどうのようにするのが良いのか考えます。 事前学修 2.0hr：リスクマネジメントをどのように評価するか自分の考えをまとめてみましょう 事後学修 2.0hr：リスクマネジメントが形骸化しないために何をしたらよいのか考えてみましょう
10回	**授業テーマ：全社的リスクマネジメント (ERM)** 授業内容：全社的リスクマネジメントとはどのようなものか、COSO-ERM や ISO31000 などから学びます。 事前学修 2.0hr：組織の中でリスクマネジメントの実務とは何か考えましょう 事後学修 2.0hr：全社的リスクマネジメントの概要を整理しましょう

11回	**授業テーマ：事業継続計画** 授業内容：「事業継続計画」とは何か、リスクマネジメントとの関係性やその役割とは。近年、注目重要視されている「事業継続計画」について学修します。 事前学修 2.0hr：「事業継続計画」について調べましょう 事後学修 2.0hr：「事業継続計画」の必要性について考えてみましょう
12回	**授業テーマ：企業をとりまく様々なリスク** 授業内容：現代社会における企業や組織における様々なリスクについて事例を交えて学びます。 事前学修 2.0hr：企業や組織にとって注意すべきリスクとはどのようなものがあるか考えましょう 事後学修 2.0hr：授業で上げられた事例の事故が発生しないためにどのようなリスクマネジメントがあればよかったのか考えてみましょう
13回	**授業テーマ：日常で注意すべきリスク** 授業内容：自分自身がミスやエラーを起こさないようにするために、また、現代社会にある様々なリスクについて知り、自分の周囲の危機を回避できる手段・手法のヒントを学びます。 事前学修 2.0hr：直近の自分自身のミスやエラーを思い出し、その前後の行動を振り返ってみましょう 事後学修 2.0hr：日常の環境で注意すべきリスクをリストアップしてみる
14回	**授業テーマ：効果的なリスクマネジメント** 授業内容：総合的にリスクマネジメントを振り返り、効果的なリスクマネジメントについて考えます。 事前学修 2.0hr：リスクを管理する必要性を改めて考えてみます 事後学修 2.0hr：企業戦略におけるリスクマネジメントの重要性についてまとめましょう
15回	**授業テーマ：まとめ/これまでの内容を振り返る** 授業内容：第１回～第 14 回授業を振り返り「リスクマネジメント」についてまとめます。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、分からない点、もう少し深く知りたい内容などを整理しておきましょう 事後学修 2.0hr：これまでの内容を総合的に復習して、体系的にまとめましょう

交通経済システム論 A

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

宮田　淳（みやた　じゅん）

▌授業の概要

現代の我々の日常生活に密接な関わりを持ち、また国際未来社会での重要性が増しつつある交通問題について、最新の事例等を毎週配布するプリントにより紹介、またその裏付けとなる基礎理論から、現代の交通の諸問題や、将来の可能性などを広く学ぶ。
毎回の講義では、最新事例のプリントを配布し、プリントに沿った講義を行うとともに、毎回の【授業内容】に従い、講義を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：航空・空港、鉄道、バス、道路、自動車などの交通に対して興味を持って接することができるようになることを目標とする
個別目標：1. 社会で当たり前に興味を持って話されている常識的な知識レベルに達すること
2. 交通に関する諸問題について、自身で問題提起出来るようになること
3. 交通に関する諸問題の解決策、ひいてはその他の諸問題解決における応用力を身につけること

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

講義への準備と理解（資料・講義動画のチェック等）、講義参加、課題提出、定期試験によって総合的に評価する。
※定期試験を受験するには、4/5 以上の出席が必要。
（就職活動、課外活動など特別の理由がある欠席については個別に相談のこと）

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （講義内プリントの閲覧、用語検索など）

▌教科書

毎回プリントと講義資料による。

▌参考書

新聞各紙、経済誌など

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：授業内容ガイダンス（毎回出席を取ります）** 授業内容：第 1 回目の授業では、これからの授業のガイダンスを行います。授業の進め方、課題の提出方法、評価の仕組みなどについて説明します。 『配付プリント』は、最新の交通市場の事例の他に、就職を目前に控える学生の皆さんに是非知っておいてもらいたい日経平均株価をはじめとした市場の動向や為替、そして交通産業の個別銘柄株価などの動きをお伝えしていきます。 このプリントについては、毎週レポート形式で課題を提出してもらいます。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
2 回	**授業テーマ：交通産業にも市場（いちば）があるのか？（市場メカニズムと完全競争市場）** 授業内容：「市場メカニズムと完全競争市場」について学びます。 皆さんが学ぶ交通経済では、交通産業という特殊な市場のことを学びます。なぜ特殊なのか、他の産業とどのように違うのかなどの基礎的なことを理解することを今回の目標にします。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
3 回	**授業テーマ：売る人も買う人も満足する市場（パレート最適）** 授業内容：「交通市場のパレート最適」について学びます。 完全競争市場で売る人と買う人の両方が目指す状態を学び、一般的な市場の特性を理解します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
4 回	**授業テーマ：情報に偏りがある競争（情報の不完全性・非対称性）** 授業内容：「交通産業における市場の失敗の例（情報の不完全性・非対称性）」について学びます。 パレート最適が達成されない事例を学び、交通市場の特性を理解することを目的とします。 また、授業の前半では、毎週配布するプリントを読み、現代の交通問題への理解を深めていきます。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
5 回	**授業テーマ：大企業との競争に勝ち目はあるか（規模の経済）** 授業内容：「交通産業における市場の失敗の例（規模の経済）」について学びます。 パレート最適が達成されない事例を学び、交通市場の特性を理解することを目的とします。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
6 回	**授業テーマ：開発によって得をする人・損をする人（外部性）** 授業内容：「交通産業における市場の失敗の例（外部経済・外部不経済）」について学びます。 パレート最適が達成されない事例を学び、交通市場の特性を理解することを目的とします。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
7 回	**授業テーマ：公共性ってどういう意味？（公共財・準公共財の供給）** 授業内容：「交通産業における市場の失敗の例（公共財・準公共財の供給）」について学びます。 市場の失敗の 4 つめの事例について理解します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
8 回	**授業テーマ：他人の利益は自分の不利益（外部性の内部化）** 授業内容：「市場の失敗の解決手法（外部性の内部化）」について学びます。 「外部性」の事例への対策方法について解説します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習

9回	**授業テーマ：その規制は時代に合っていますか？(コンテスタブル市場)** 授業内容：「コンテスタブル市場から新しい規制を考える」について学びます。 新しい時代の規制のスタイルについて理解します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
10回	**授業テーマ：規制の中でも競争をさせる(競争入札理論)** 授業内容：「規制の中での競争(競争入札理論)」について学びます。 新しい時代の規制のスタイルについて理解します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
11回	**授業テーマ：インフラ整備で利益を得る(開発利益の還元)** 授業内容：「インフラ整備のための予算を捻出する(開発利益と還元)」について学びます。 外部性の内部化として学んだ開発利益の問題についてより具体的に理解します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
12回	**授業テーマ：通学・通勤手段の特徴 (1) (交通手段のタイプ分け)** 授業内容：「交通手段のタイプ分け」について学びます。 普段皆さんが使用している交通手段の特徴や新しい交通手段などを紹介します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
13回	**授業テーマ：通学・通勤手段の特徴 (2) (交通手段のタイプ分け)** 授業内容：『講義資料』を使い「交通手段のタイプ分け」について学びます。 普段皆さんが使用している交通手段の特徴や新しい交通手段などを紹介します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
14回	**授業テーマ：インフラ整備の限界 (1) (交通需要マネジメント)** 授業内容：『新しい交通渋滞の解消手法(交通需要マネジメント)』について学びます。 新しい混雑緩和の手法を学びます。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
15回	**授業テーマ：インフラ整備の限界 (2) (交通需要マネジメント)** 授業内容：先週に引き続き『新しい交通渋滞の解消手法(交通需要マネジメント)』を学びます。 新しい混雑緩和の手法を学びます。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習

交通経済システム論 B

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

宮田　淳（みやた　じゅん）

▌授業の概要

現代の我々の日常生活に密接な関わりを持ち、また国際未来社会での重要性が増しつつある交通問題について、最新の事例等を毎週配布するプリントにより紹介、またその裏付けとなる基礎理論から、現代の交通の諸問題や、将来の可能性などを広く学ぶ。
Manaba 上に講義前日には当日配布用プリントと当日分の講義資料をアップします。
講義の前半部分は、プリントに沿って講義を行う。後半は、講義資料に基づき【授業内容】の中から講義を行う。
講義は録画し、後ほど Google Drive 上にアップロードします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：航空・空港、鉄道、バス、道路、自動車などの交通に対して興味を持って接することができるようになることを目標とする
個別目標：1. 社会で当たり前に興味を持って話されている常識的な知識レベルに達すること
2. 交通に関する諸問題について、自身で問題提起出来るようになること
3. 交通に関する諸問題の解決策、ひいてはその他の諸問題解決における応用力を身につけること

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

講義への準備と理解（資料・講義動画のチェック等）、講義参加、課題提出、定期試験によって総合的に評価する。
※定期試験を受験するには、4/5 以上の出席が必要。
（就職活動、課外活動など特別の理由がある欠席については個別に相談のこと）

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （講義内プリントの閲覧、用語検索など）

▌教科書

特定の教科書は使用せず、毎回プリントを配布する。

▌参考書

新聞各紙、経済誌

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：授業内容ガイダンス（毎回出席を取ります）** 授業内容：この講義では授業の全般に『配付プリント』を紹介し、最新の交通市場の事例を解説を行いながら学んでいきます。この『配付プリント』については、毎週配付し、課題を出しますので Manaba 内のレポート形式で提出してもらいます。 『配付プリント』は、最新の交通市場の事例の他に、就職を目前に控える学生の皆さんに是非知っておいてもらいたい日経平均株価をはじめとした市場の動向や、為替、そして航空産業や鉄道事業など交通産業の個別銘柄株価などの動きをお伝えしていきます。第 1 回目は、前期の授業最終日のデータと比較する形でグラフにして掲載してあります。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
2 回	**授業テーマ：交通の需要はなぜ決まるのか（交通需要を決定する要因）** 授業内容：交通の需要はなぜ決まるのか学びます。 交通という特殊な市場において、その需要がどのような理由によって変動するのかを理解します。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
3 回	**授業テーマ：運賃の値上げと需要の落ち込み (1)（交通需要の価格弾力性）** 授業内容：運賃の値上げと需要の落ち込みについて学びます。 「弾力性」とは、「価格弾力性」とは、そして「需要の価格弾力性」とは何なのか、そして、「交通需要の価格弾力性」にはどのような傾向があるのかを理解します。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
4 回	**授業テーマ：運賃の値上げと需要の落ち込み (2)（交通需要の価格弾力性）** 授業内容：先週に引き続き、運賃の値上げと需要の落ち込みについて学びます。 先週学んだ「需要の価格弾力性」にはどのような傾向があるのかを理解します。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
5 回	**授業テーマ：運賃にはどのような目的があるのか（運賃の機能と目的）** 授業内容：運賃にはどのような目的があるのかを学びます。 そもそも運賃とは何なのか、根本を理解するとともに、その機能と目的について理解していきます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
6 回	**授業テーマ：今の時代にマッチした規制（インセンティブ規制）** 授業内容：今の時代にマッチした規制について学びます。 規制緩和が進められる近年において、規制の緩和だけが現代にあった方法ではなく、新しい規制の形があることを学んでいきます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
7 回	**授業テーマ：格安航空券のカラクリ（正規国際航空運賃と格安航空券）** 授業内容：「格安交通券のカラクリ」について学びます。 国内の航空運賃、国際航空運賃について学び、続いて馴染み深い旅行代理店による格安航空券の仕組みについて理解します。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作

8回	**授業テーマ：航空会社が販売する格安航空券** 授業内容：「航空会社が販売する格安航空券」について学びます。 旅行代理店に依存することなく、航空会社が直販できる時代が到来しました。それぞれの顧客が求めている航空券を適切に購入させるよう仕向けるために航空会社は会社にとって有利な条件を付して航空券を販売しました。この航空会社にとって有利な条件とは一体何か学びます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
9回	**授業テーマ：マイレージプログラムと座席管理（イールドマネジメント）** 授業内容：「マイレージプログラムと座席管理」について学びます。 航空機を満席にして運航するために様々な努力をしていますが、今回は、他の航空会社との連携と座席管理手法について学びます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
10回	**授業テーマ：航空憲法によって大きく成長した航空市場（国内航空産業の歴史）** 授業内容：「航空憲法によって大きく成長した航空市場（国内航空産業の歴史）」について学びます。 日本の航空産業の生い立ちから、現在に至るまで様々な出来事を時代を追いかけながら学びます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
11回	**授業テーマ：アメリカの航空戦争（1）（米国の航空産業の歴史）** 授業内容：「アメリカの航空戦争（米国の航空産業の歴史）」について学びます。 アメリカ国内の航空産業に対する規制から、規制緩和などを紹介します。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
12回	**授業テーマ：アメリカの航空戦争（2）（米国の航空産業の歴史）** 授業内容：「アメリカの航空戦争（米国の航空産業の歴史）」について学びます。 航空産業に対する規制緩和後に起こった国内各社の激しい争いや、競争の中で生まれた効率的な輸送体制などについて紹介します。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
13回	**授業テーマ：ハブ空港神話の崩壊（ハブスポークシステム）** 授業内容：「ハブ空港神話の崩壊」について学びます。 アメリカ国内の競争から生まれた効率的な輸送体制は世界を巻き込んでいきました。 アジア各国の航空産業・空港事業の現況と日本を比較検討してみます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
14回	**授業テーマ：新たな交通インフラ (1)（MaaS）** 授業内容：MaaS について学びます。 サービスとしての交通（MaaS）とは何か学んでいきます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
15回	**授業テーマ：新たな交通インフラ (2)（MaaS）** 授業内容：先週に引き続き MaaS について学びます。 サービスとしての交通（MaaS）とは何か国内外の事例から学んでいきます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作

特別講義 A

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

二宮　秀生 (にのみや　ひでお)

▌授業の概要

この授業は、ホスピタリティ・ツーリズム(HT)産業を中心とした様々な企業の幅広い層の講師陣(経営トップから若手社員まで)によるオムニバス形式で行われる。各社の考えや各講師それぞれの試行錯誤などの体験談、学生へのメッセージなどを直に聞くことで、学生が社会人への意識を高め、将来の方向について深く考えることにつなげる。
なお、講師については、それぞれの都合により期中に変更される場合がある。
【授業方法】講義
【実務家教員と当該授業科目との関連性】
就職意識あるいは起業意識を高め、将来進むべき方向について早期に考えさせることを目的として、我が国のホスピタリティ・ツーリズム産業を代表する企業の経営者等によるオムニバス形式の授業により、ホスピタリティ・ツーリズム産業の基礎知識を与え、それぞれの企業の考え、求める人材等について講話する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1，経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：実際の企業の取組みや個人の取組みを知り、社会が必要としている人材像を知ること。
個別目標：自分の将来について自分で考え、なりたい自分をより具体的にイメージできるようになること。

▌履修条件

外部からの講師陣なので、HT 学部の名に恥じない言動。必ずスーツ着用で授業に臨むこと。

▌評価基準・方法

出席・参加姿勢 20 %、課題レポート 30 %、試験 50 %、を総合的に評価する。
5 分の 4 以上の出席を前提とし、欠席は減点する。
5 分の 4 以上のレポート提出を前提とし、提出の遅延は減点する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし （各回必ず数名に質問をしてもらう）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：講義の概要や聴講姿勢、課題などについて説明する。 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
3 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
4 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
5 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
6 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
7 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
8 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
9 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習

10回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
11回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
12回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
13回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
14回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：会社の紹介や講師自身の試行錯誤などの体験談、会社選びの軸、学生へのメッセージなどをお話しいただく。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：講師の方々の話しのそれぞれの差や共通点を振り返る。 課題のレポートを書く。 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習

特別講義 B

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

内苑　孝美（うちぞの　たかみ）

▌授業の概要

この授業は、わが国のホスピタリティ産業を代表する企業の経営トップによるオムニバス形式で行われる。それぞれの企業の考え、求める人材等について経営トップから直に聞くことにより、各業界の基礎知識を修得すると同時に、就職意識或いは起業意識を高め、将来の進むべき方向について早期に考えさせることを目的とする。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

就職意識あるいは起業意識を高め、将来進むべき方向について早期に考えさせることを目的として、我が国のホスピタリティ・ツーリズム産業を代表する企業経営者のオムニバス形式による授業により、ホスピタリティ・ツーリズム産業の基礎知識を与え、それぞれの企業の考え、求める人材等について講話する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1，経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：業界および企業の基礎知識や必要としている人材像を知ることができる。

個別目標：自分の将来について自分で考えることが出来るようになること。

▌履修条件

講師陣が HT 業界を代表する経営トップなので、HT 学部の名に恥じない言動、服装(原則としてスーツ着用)で授業に臨むこと。

▌評価基準・方法

出席・参加姿勢 20 %、課題レポート 30 %、試験 50 %、を総合的に評価する。

5 分の 4 以上の出席を前提とし、欠席は減点する。

5 分の 4 以上のレポート提出を前提とし、未提出および提出の遅延は減点する。

▌フィードバック方法

manaba にてフィードバックします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の講師紹介。成績(出席・課題レポート・まとめ)の付け方。授業中の注意等説明。 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の確認
2 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
3 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
4 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
5 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
6 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
7 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
8 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
9 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
10 回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習

11回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
12回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
13回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
14回	**授業テーマ：特別講師による講義** 授業内容：業界及び企業の状況や未来への展開などお話し頂く。 事前学修 2.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：前期の総まとめ 事前学修 2.0hr：授業のまとめの整理 事後学修 2.0hr：授業の復習

エアラインマネジメント論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

米倉　義友 (よねくら　よしとも)

▌授業の概要

「エアラインビジネス論」(2年次開講)を履修し、世界の航空業界の動向について基礎的な知識を修得していることを前提として、本講義では、航空業界を取り巻く様々な環境変化、そしてその中でどのような戦略で臨んでいるのか、さらに掘り下げて検証します。また実際の統合報告書、決算状況を理解する為に、ESG 経営、人材開発、決算書の見方、分析のポイントについても学びます。なお、指導環境や学生の希望などの状況により、内容が変更となる場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：航空会社の戦略、航空業界の動向を理解するとともに、環境分析を中心とした戦略策定のプロセスを学びます。
　　企業の活動を財務・非財務の両面で理解し、適切な意思決定や実行をするのに必要な基本知識を身につけます。
個別目標：①世界の航空産業の過去、現在を理解し、航空産業の将来を見通す力を身につけます。
　　②政治、経済、外交の諸問題に目を向けて、自らの視野を広げられます

▌履修条件

「エアラインビジネス論」(2年次開講)を既に履修し、航空業界に関心があれば、他に条件はありません。事前学習課題を履行すること

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提条件とします。
発言・質問等授業への取り組み姿勢(30 %)、試験(70 %)の割合で総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

講義ごとに資料を配布します

▌参考書

適宜紹介します

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：航空産業の推移、各航空会社の決算、評価や出席の取り扱いを解説します 事前学修 2.0hr：「エアラインビジネス論」をレビューし、要点を整理する 事後学修 2.0hr：2000 年以降の激動の航空業界を振り返る
2回	**授業テーマ：航空市場の発展と航空政策①** 授業内容：航空運送の事業特性を解説します。 事前学修 2.0hr：世界の航空輸送の発展を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
3回	**授業テーマ：航空市場の発展と航空政策②** 授業内容：世界と日本の航空産業を解説します。 事前学修 2.0hr：日本の航空輸送の発展について理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
4回	**授業テーマ：戦略のカタチとは？ ①** 授業内容：経営戦略の策定の目的を解説します。 事前学修 2.0hr：ロジカルシンキングを理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
5回	**授業テーマ：戦略のカタチとは？ ②** 授業内容：環境分析、SWOT 分析等を解説します。 事前学修 2.0hr：企業研究(5 FORCES)を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
6回	**授業テーマ：オペレーション戦略とは** 授業内容：戦略を実行する為に必要なオペレーションを解説します。 事前学修 2.0hr：オペレーションを理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
7回	**授業テーマ：航空会社の経営戦略①** 授業内容：ANA、JAL の戦略等を解説します。 事前学修 2.0hr：企業研究(創発的戦略)を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
8回	**授業テーマ：航空会社の経営戦略②** 授業内容：ESG 経営等を解説します。 事前学修 2.0hr：環境対策を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
9回	**授業テーマ：航空会社の経営戦略③** 授業内容：DEI（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン）等を解説します。 事前学修 2.0hr：ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン意識の醸成等を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
10回	**授業テーマ：航空会社の経営戦略④** 授業内容：DX 戦略、人財開発等を解説します。 事前学修 2.0hr：DX を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
11回	**授業テーマ：決算書を読む①** 授業内容：B/S（貸借対照表）、P/L(損益計算書) を解説します。 事前学修 2.0hr：B/S、P/L を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する

12回	**授業テーマ：決算書を読む②** 授業内容：C/S(キャッシュ・フロー)、ファイナンスを解説します。 事前学修 2.0hr：C/S、ファイナンス思考を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
13回	**授業テーマ：航空会社の決算書を読む** 授業内容：航空会社決算を解説します。 事前学修 2.0hr：B/S と P/L との関連性を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
14回	**授業テーマ：エアラインの安全への取り組み** 授業内容：エアラインの安全について解説します。 事前学修 2.0hr：失敗の科学を理解する 事後学修 2.0hr：講義の論点を整理する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：全体の振り返りを行います 事前学修 2.0hr：講義全体を振り返る 事後学修 2.0hr：試験準備

観光事業マネジメント論／トラベルエージェンシーマネジメント論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

五十嵐　潤子（いがらし　じゅんこ）

▌授業の概要

2 年次の交流創造ビジネス論／トラベルエージェンシービジネス（CEB ／ TAB）論で学んだように、観光産業は非常に裾野の広い業界です。コロナ禍の影響を多大に受けた業界でもあります。また、IT 化・個人ニーズの多様化、SDGs や Society5.0 など、世の中が急速に変化することにより業界全体のビジネスモデルも激変しています。その変化に対応していくためには、客観的に現状を知り、課題を見つけ、解決のための仮説を立て、具体的な方策を実行していくという、マネジメントが必要となります。

今年度は、2 年次よりもより高い視点で、ツーリズム業界、とりわけ旅行業を核とする業種を取り巻く様々な事例を学び、また自ら調べ考えることを通して、様々な産業にも応用の効くマネジメント的視野を広げます。

※授業内容は、諸条件・状況により、変更します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：旅行業に限らず、ツーリズム産業を取り巻く様々な仕組みやサービス内容、おかれている課題や地域とのつながりに関する知識をベースに、具体的な事例などの要因や関係性について理解できるようになる。

個別目標：・与えられた情報に対して「なぜ」と疑問を持つことができるようになり、その疑問について自分なりの答えや考えを述べられるようになる。
・旅行事業の社会的役割と地域とのつながりとその成功事例の要因などについて理解、説明できるようになる。
・多様化した環境下でのビジネスの変化について説明できるようになる。

▌履修条件

・出席者間でのグループディスカッションをする場合もあるため積極的に参加する意欲を持つこと。

・manaba の 1 機能である、「respon」を活用するため、事前に respon アプリを使用できる環境を用意すること（方法は授業開始前にコースニュースで掲示）

・授業資料は、manaba のコースコンテンツ、臨時的な情報類は manaba のコースニュースを使用。必ず manaba のコースニュース、新規課題告知機能を有効にすること。

▌評価基準・方法

【出席要件】

「①授業への出席（＝冒頭の respon による出席投稿）」＋「②授業中のすべての respon 投稿（複数回あり）」＋「③授業コメント」の 3 セットが揃えば「出席」

【成績要件】

各授業回ごとの出席状況・課題の提出内容・受講時参画態度・意欲など（70 %）· 期末試験（30 %）

※詳細は、第一回の授業で説明します。

▌フィードバック方法

・原則として、前回の授業に対して提出いただいた授業コメントについて、フィードバックを次回授業内で行います。課題によっては、manaba のフィードバック機能を使います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （数回程度、グループディスカッションあり。毎回、レスポンによる投稿あり。授業課題の発表機会と履修者による評価機会あり。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、授業内 respon の投稿用にスマホを含め、respon 投稿を可能にする環境を必要とする）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

JATA：数字が語る旅行業　【デジタル版（無料）】https://www.jata-net.or.jp/data/stats/number/index.html

トラベルボイス：日刊、デジタル配信（無料）

他、必要に応じて紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション （講義目的・講義進行・評価説明）&　トラベルエージェンシービジネス論 Review** 授業内容：・当授業に関するオリエンテーション（授業評価基準、出欠基準など） ・トラベルエージェンシービジネス論 Review 事前学修 2.0hr：2 年次の必修「トラベルエージェンシービジネス論」の講義内容を振返っておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
2 回	**授業テーマ：コロナ後のツーリズム業界① ―数字が語るコロナ禍の観光業界** 授業内容：業界への影響を数字で確認します。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
3 回	**授業テーマ：コロナ後のツーリズム業界② ―変わるビジネスモデル** 授業内容：コロナ禍を経たからこその新サービスや発展したビジネスモデルについて考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
4 回	**授業テーマ：個人旅行における黒船 ―ビジネスモデル・仕入戦略の地殻変動** 授業内容：従来型の旅行業にとって黒船ともいえる OTA、それもグローバル OTA などによる業界のビジネスモデル構造への変化などについて考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
5 回	**授業テーマ：旅行業における法人事業概論① ―各種ビジネスモデル** 授業内容：総合旅行業において、表に見えにくい法人事業についてその事業領域や、ビジネスモデル、新たなソリューション領域について考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
6 回	**授業テーマ：旅行業界と地域振興 ―発地から着地発想への転換** 授業内容：かつての旅行業と地域との関係から、新たな発想の転換による地域振興の捉え方を考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する

7回	**授業テーマ：ツーリズム産業が模索する SDGs** 授業内容：ツーリズムと SDGs との関わり、旅行業における SDGs への取り組みの方向性や具体的な事例を考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
8回	**授業テーマ：インバウンドの隆盛と取り巻くビジネスモデル(外部講師を予定)** 授業内容：外部のインバウンド事業に従事する専門家をお招きして、現在置かれているインバウンド市場の分析と、今後の展望についてお聞きします。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
9回	**授業テーマ：旅行業と人材戦略** 授業内容：旅行業の事業領域とあるべき人材や人材の活用戦略について考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
10回	**授業テーマ：旅行業界のリスクマネジメント（自然災害、感染症・テロ・事故・急激な経済不況等）** 授業内容：旅行業界に特有のリスクとリスク回避やリスクが生じた際の考え方や対応を考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
11回	**授業テーマ：旅行業における法人事業戦略② ー<パネルディスカッション>変わる法人営業** 授業内容：既存の総合型旅行会社においては、法人事業のサービス内容が旅行ではなくなってきています。その新たな法人事業のサービス領域について、実際の現場で活躍する方々をお招きし、パネルディスカッションを通じて考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
12回	**授業テーマ：主要旅行業者の決算を読む** 授業内容：コロナ禍を前後にして、主要な旅行業の業績がどのように変化したのか、その理由が各社によって異なる理由も踏まえて考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
13回	**授業テーマ：ツーリズムの未来を考えるキーワードー DX** 授業内容：ツーリズムに未来に影響を与えそうな DX について、すでに現れている事例や今後の可能性を考えます。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
14回	**授業テーマ：【全体共有】これからの新たな潮流を予感させるビジネスモデル課題** 授業内容：課題の提出者の中から優秀者に発表いただきます。履修者は発表者に対してフィードバックを行います。 事前学修 2.0hr：発表大会に伴う各種準備 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する
15回	**授業テーマ：まとめ(14 回の復習)** 授業内容：全 14 回をおさらいします。 事前学修 2.0hr：本授業テーマに基づく、事前学修を行い、まとめておく 事後学修 2.0hr：指定された課題を学修・提出する

フード&ビバレッジマネジメント論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

久保田　英男（くぼた　ひでお）

▌授業の概要

フードサービスビジネス・飲食サービス全般に必要となる知識を理解・活用できるよう、食材、料理、飲料、マナー、食品衛生管理、接客応対などを中心に、飲食サービスやホスピタリティサービス・フードビジネス基礎情報など広く学びます。また、健康に直結する日常での食生活などの知識や環境問題などについても考えていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：飲食サービス業だけではなく、ホスピタリティサービス全般においても「食」は様々なシーンに欠かせないものであることから、質の高いサービスを提供できるよう、「Food & Beverage(食・飲料)」の基礎知識を習得します。また食の安全や食糧問題・食文化などを学ぶことで、食の多様性やサスティナビリティについて考える機会につなげます。

個別目標：1. 食の安全を学び、健康で安全な食を提供できるようにする。
2. 料理・飲料の歴史を通じ、食文化への造詣を深める。
3. 日本の食文化を理解し、伝統的な習慣や知識を学ぶ。
4. マナーをおぼえ、サービスの基本を学ぶ。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

評価は、授業・課題に取り組む姿勢 30%、テスト 70 %を基準に総合的に判断する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム”manaba”を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし。(必要に応じて資料を配布または配信をする)

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション/ガイダンス** 授業内容：全講義について簡単な説明と授業の進め方や課題などについてもガイダンスします。 事前学修 2.0hr：「食」というテーマに関する自分自身の知識をまとめてみましょう 事後学修 2.0hr：この授業で学ぶ内容を整理し、学修計画を立てましょう
2回	**授業テーマ：食環境・食の歴史** 授業内容：日本の食文化の歴史を学び、現代の食環境について考えていきます。 事前学修 2.0hr：前日の全食事メニューを記録しましょう 事後学修 2.0hr：自分の食生活を見直してみましょう
3回	**授業テーマ：食材** 授業内容：食材の種類や分類、主な調理法などを紹介します。 事前学修 2.0hr：昨日の夕食の主菜のメニューと食材を記録してみます 事後学修 2.0hr：身近な食材の種類や価格などを調べてみましょう
4回	**授業テーマ：食品衛生** 授業内容：「食」の安全と安心は、衛生管理がなくてはなりません。どの様な危険やリスクがあるのか、その対処対応について今回は学びます。 事前学修 2.0hr：食品衛生で平素気をつけていることをまとめましょう 事後学修 2.0hr：手洗いの実践、自宅の衛生環境のチェックをおこなってみましょう
5回	**授業テーマ：中国料理・アジアの料理** 授業内容：中国料理とアジアの料理について、料理の特色やマナー、また、これらの料理や食文化と日本料理との関係やその影響について学びます。 事前学修 2.0hr：知っている中国・アジア料理をまとめ、好きなもの、食べてみたいものなどを上げてみましょう 事後学修 2.0hr：今回の授業で得た知識情報以外の料理を探したり、創作してみましょう
6回	**授業テーマ：欧米の料理** 授業内容：ヨーロッパと南北アメリカ大陸の料理について、料理の特色やマナー、また、これらの料理や食文化と日本料理との関係やその影響について学びます。 事前学修 2.0hr：知っている欧米料理をまとめ、好きなもの、食べてみたいものなどを上げてみましょう 事後学修 2.0hr：今回の授業で得た知識情報以外の料理を探したり、創作してみましょう
7回	**授業テーマ：和食** 授業内容：「和食」をテーマに日本料理について学びます。 事前学修 2.0hr：好きな和食を一つ考えてみましょう (その理由も) 事後学修 2.0hr：今回の授業で得た知識情報以外の料理を探したり、創作してみましょう
8回	**授業テーマ：日本の食と生活の文化** 授業内容：季節ごとの行事や古来から残る伝統文化に関連する食習慣などから日本の地域ごとの食文化について学びます。 事前学修 2.0hr：自分の家や地域の行事で振舞われる料理をまとめてみましょう 事後学修 2.0hr：自分の地域での料理と他の地域の食文化を比較してみましょう
9回	**授業テーマ：お菓子とデザート** 授業内容：なぜ間食や食後の甘味が必要なのかを考え、和菓子、洋菓子、デザートなどについて学びます。 事前学修 2.0hr：好きなお菓子、普段よく食べる甘味類をまとめておきましょう 事後学修 2.0hr：今回の授業で得た知識情報以外のお菓子やデザートを探したり、創作してみましょう
10回	**授業テーマ：飲料・お酒** 授業内容：お茶やコーヒー、清涼飲料水やジュースのほか、日本酒などのアルコール飲料など「飲み物」に関する知識を学びます。 事前学修 2.0hr：日常的によく飲む飲み物を一つ選び、そのものの詳細を調べてみましょう 事後学修 2.0hr：興味を持った飲み物があれば、それについて深く調べてみましょう

11回	**授業テーマ：調理器具と食器・厨房** 授業内容：調理器具の種類や食器の種類と取り扱い、そして料理を作るキッチン・厨房などの設備を紹介します。 事前学修 2.0hr：家やアルバイト先などで「どのように使うかわからない」など疑問に思った調理器具を探して調べてみましょう 事後学修 2.0hr：授業で紹介されなかった調理器具を探し、それがどのような用途で使用されるのか調べてみましょう
12回	**授業テーマ：フードサービス I(飲食店の運営)** 授業内容：心地のよいサービスとは何か、自分の体験などから探っていきます。 事前学修 2.0hr：過去に経験した印象の良かった接客を選び、その良い点を書き出しておきましょう 事後学修 2.0hr：もし自分が飲食店オーナーになるとするならどんなお店を経営したいか考えてみましょう
13回	**授業テーマ：フードサービス II (接客応対・フードサービスのリスクマネジメントほか)** 授業内容：飲食店に求められ喜ばれる接客について考えます。また一方でトラブルなどが起きないためにどのようにすればよいのか、もし発生してしまった場合どのように対処し回復するかを考えてみます。 事前学修 2.0hr：過去に経験した印象の悪かった接客を選び、その具体的な点を書き出しておきましょう 事後学修 2.0hr：よい印象を与えるサービスを実践するために接客サービスマニュアルを作ってみましょう
14回	**授業テーマ：食の安全・飲食サービスに関わる法律など** 授業内容：食の安全と安心について考えます。また、食の安全を守るために制定された食に関わる法律などを紹介ながら国の食に対する取り組みについても理解を深めていきます。 事前学修 2.0hr：購入した食品に記載されている食品表示をよく読み、そこ情報が何に役立つか考えてみて下さい 事後学修 2.0hr：「食の安全」を守る取り組みについて考えてみましょう
15回	**授業テーマ：まとめ/これまでの内容を振り返る** 授業内容：第１回～第 14 回授業を振り返り「フード&ビバレッジ」そして「フードサービス」についてまとめます。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、分からない点、もう少し深く知りたい内容などを整理しておきましょう 事後学修 2.0hr：これまでの内容を総合的に復習して、体系的にまとめましょう

ホテルマネジメント論

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

立石　貴子 (たていし　たかこ)

▌授業の概要

宿泊業であるホテルと言っても、様々な形態が存在している現在。ブランド、運営会社、経営会社等々
多種多様なホテルがあることを知る。基本となるヒト・モノ・金・情報による組織を理解し、ホテル特有の
部門、マーケティング、経理、購買、コスト管理、人事などホテルの表と裏の業務を通し、マネジメントの
構築を理解する。儲かるホテル、スタッフの給与を上げられるこれからのホテルマネジメントを探っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1、HTM1）

一般目標：経営に必要な組織を理解し、それぞれの組織の数字を見ることで、その管理方法の基礎を習得する。華やかに
　　見える表舞台を支えるバック部門 (heart of house) の業務を知り、ホテル経営の両輪を把握する。
個別目標：ホテルの組織とそれぞれの業務内容を理解し、将来マネジメントに携わる際に基礎となる数字による管理方法を
　　把握できるようにする。
　　マニュアルによるサービスやＯＪＴの手法も理解し、付加価値やホスピタリティの醸成を考える。

▌履修条件

ホテル業界で働くことに興味があり、接客現場だけではなくマネジメント面にも将来携わってみたいと
考えている学生。

▌評価基準・方法

授業への積極的参加姿勢：50%、期末試験：50%
原則、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする

▌フィードバック方法

必要に応じ、Manaba にて対応する

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、ディスカッション等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業で使用する配布資料）

▌教科書

使用しない

▌参考書

必要に応じて授業内で紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：講義内容、評価方法の説明 ホスピタリティの理解とホテル業界全体の今 事前学修 2.0hr：ホテル業界全般 (ブランド・ランキング・業態等) を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
2 回	**授業テーマ：日本のホテルの歴史** 授業内容：日本のホテルの歴史を開国から現在までの変遷を学ぶ 事前学修 2.0hr：ホテルの歴史を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
3 回	**授業テーマ：ホテルの分類ホテルブランドとその経営や運営** 授業内容：日本及び海外のホテルブランドとそれらのグレード感の違いによるハードウエア・ソフトウエア・ ヒューマンウエアの違いを探っていくホテルブランドによる経営や運営の違いを考察する 事前学修 2.0hr：ホテルブランドによる違いを各ホテルのホームページより調べる経営と運営の違いを調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
4 回	**授業テーマ：ホテルブランドとその経営や運営** 授業内容：ホテルブランドによる経営や運営の違いを考察する 事前学修 2.0hr：経営と運営の違いを調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
5 回	**授業テーマ：ホテルの組織管理** 授業内容：企業組織の成り立ちを理解し、ホテルの組織との違いを学ぶ 事前学修 2.0hr：自身の家族の仕事、属する組織等を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
6 回	**授業テーマ：ホテルの宿泊事業** 授業内容：ホテルの宿泊部門の特性、稼働率やレベニューマネジメント等マネジメントを考える上で必要となる 数字にも触れていく 事前学修 2.0hr：ホテルの宿泊部門にある仕事を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
7 回	**授業テーマ：ホテルのレストラン事業** 授業内容：ホテルの料飲・レストラン部門の特性、その多種多様な展開を考察する 事前学修 2.0hr：ホテルの料飲部門 (レストラン、バー等) にある仕事を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
8 回	**授業テーマ：ホテルの宴会事業** 授業内容：ホテルの料飲・宴会部門の特性、婚礼やＭＩＣＥ等の動きを考察する 事前学修 2.0hr：ホテルの宴会部門にある仕事を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
9 回	**授業テーマ：ホテルのマーケティング戦略** 授業内容：ホテル全体や販売商品等のマーケティング戦略と昨今の多様な媒体を含め考察する 事前学修 2.0hr：ホテルで販売している商品、宣伝方法、特徴を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習

10回	**授業テーマ：ホテルの人事管理** 授業内容：ホテルの人事部門の仕事を考察する 学生では採用担当との接点しかないが、ホテルの人を支える仕事を知る 事前学修 2.0hr：ホテルの採用情報を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
11回	**授業テーマ：ホテルの数字管理・購買/ＦＢＣ** 授業内容：ホテル内で使用する財務管理、宿泊特有の数値管理、料飲特有の数値管理の基本を学ぶ 事前学修 2.0hr：ホテルで使用している数値管理にどのようなものがあるか調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
12回	**授業テーマ：ホテルのサービスマニュアルの意義** 授業内容：ホスピタリティ産業と言われるホテルではあるが、サービスをおろそかにしてはホスピタリティは 成し得ない。ホテル以外で使われているマニュアルを例として、マニュアルの役目や意義をグループ ワークで考える 事前学修 2.0hr：アルバイト先等でどのようなマニュアルが存在するのか調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
13回	**授業テーマ：ＯＪＴマニュアル作成** 授業内容：実際の現場で作成するであろうタスクを基にマニュアルをグループワークで作成する 事前学修 2.0hr：アルバイト先等でマニュアルをどのように使用しているか調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習とマニュアルを完成させる
14回	**授業テーマ：ビジネスモデルとしてのホテル・旅館** 授業内容：日本の宿泊業の中でもホテルと旅館で求められるもの、提供するものが大きく違う この経営形態の違うなかで、提供されるサービス、ホスピタリティの違いや利益を どのように出していくべきなのかを考察する 事前学修 2.0hr：ホテルと旅館の違いを調べる 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：ホテル業界を取り巻く課題、今後のホテルのあり方、管理の仕方を総括する 事前学修 2.0hr：ホテル業界の現状とこれからの姿を考える 事後学修 2.0hr：ホテルの業務、管理、運営等に関し復習し、管理する数字の意義を考える

IoTテクノロジー基礎

開講学科等：HT ｜ 1年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前/後

番場　直之（ばんば　なおゆき）

▌授業の概要

コンピュータに関する基礎的な知識を中心に学ぶ。また、企業経営や会計に関する基礎知識も学ぶことにより、情報処理技術者試験の1つであるITパスポート試験に合格できる知識を身につける。IoT（アイオーティー）はInternet of Thingsを略した言葉で、モノをインターネットにつなぐことを意味する。技術的な基礎知識を学ぶことで、IoTが進む社会に適応できる能力を身につける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻1、経営情報専攻1）

一般目標：IoTが進む社会に適応できる技術的な知識を身につけるとともに、社会人として求められる企業経営、会計等に関する知識を身につける。
個別目標：①コンピュータのハードウェアとソフトウェアの働きを説明できる。
②システム開発の流れを理解し、簡単なプログラムを作ることができる。
③企業活動における業務改善と分析手法を説明できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

情報処理技術者試験の1つであるITパスポート試験の合格を必須とし、授業参加状況・小テスト・期末試験の学修状況を総合的に評価して単位を認定する。また、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とし、欠席・遅刻は減点とする。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システムmanabaを通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内でのグループワークを適宜行う。）

▌授業でのPCの利用（利用内容）

あり （授業内容(表計算ソフト)により使用する。）

▌教科書

きたみりゅうじ著「キタミ式イラストIT塾ITパスポート令和07年」技術評論社

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション／コンピュータの仕組み** 授業内容：授業の進め方・評価方法、ITパスポート試験の概要、コンピュータの5大装置、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
2回	**授業テーマ：ディジタルデータのあらわし方** 授業内容：10進数・2進数の変換方法、2進数の計算、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
3回	**授業テーマ：ハードディスクとソフトウェア** 授業内容：ハードディスクの構造と記録方法、OSとアプリケーション、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
4回	**授業テーマ：表計算ソフト(PC利用)** 授業内容：表計算ソフトでの演算方法、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
5回	**授業テーマ：データベース** 授業内容：データベース管理システムの働き、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
6回	**授業テーマ：ネットワーク** 授業内容：LANとWAN、プロトコル、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
7回	**授業テーマ：前半復習** 授業内容：第1回から第6回の内容の復習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
8回	**授業テーマ：セキュリティ** 授業内容：情報セキュリティ、コンピュータウイルス、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
9回	**授業テーマ：システム開発** 授業内容：システムを開発の流れ、システムの開発手法、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
10回	**授業テーマ：プログラムの作り方** 授業内容：プログラミング言語、アルゴリズムとフローチャート、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
11回	**授業テーマ：システム構成と故障対策** 授業内容：システム構成、性能指標、故障対策、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。

12回	**授業テーマ：企業活動と関連法規** 授業内容：組織形態、電子商取引、経営戦略、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
13回	**授業テーマ：経営戦略のための業務改善と分析手法** 授業内容：PDCA サイクル、グラフ、品質管理手法、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
14回	**授業テーマ：財務会計** 授業内容：費用と利益、問題演習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。
15回	**授業テーマ：総復習** 授業内容：第 1 回から第 14 回の内容の復習 事前学修 2.0hr：教科書の対象範囲の内容を事前に読んでおく。(練習問題を除く) 事後学修 2.0hr：教科書の対象範囲の復習をする。

デジタライゼーション概論

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

橋本　尚興 (はしもと　ひさおき)

▌授業の概要

デジタライゼーションとは、デジタル技術を活用しサービスや製品の付加価値を高め、利用者にメリットをもたらすことです。これを実現するためには、デジタル技術のみではなく、サービスや製品の利用者としてのニーズや、提供者としてのアイデアと課題認識も重要になります。
本授業では、デジタル技術そのものの中身ではなく、デジタライゼーション活用事例などに触れることで、デジタル技術に親しみ、アイデアやニーズを考える力を養います。
なお、事業内容は環境や諸条件により変更する場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 1）

一般目標：・デジタライゼーションの意味を理解し、デジタライゼーションの活用アイデアを考えることができる。(DP1)
個別目標：・デジタライゼーションと求められる人財像について説明することができる。
・事例などを通じてデジタル技術を活用する様々なアイデアを知り、自らもラフなアイデアを考えることができるようになる。

▌履修条件

・「デジタライゼーション」に興味を持っていること。
・自らの考えを話し、積極的に授業に参加する意欲を持っていること。

▌評価基準・方法

・学期末テスト　　（４０%）
・授業への積極的な参加と貢献（１５%）
・授業毎の課題　　（２５%）
・中間レポート　　（２０%）
なお、全授業の８０%以上の出席、および学期末テストの受験を前提として評価します。

▌フィードバック方法

フィードバックは授業中、および manaba を通じて行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （個人ワークを行い、その内容を発表します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業時間外にて個人ワーク、課題対応のために利用する場合があります）

▌教科書

特にありません
適時資料を配布します

▌参考書

特にありません

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　授業の進め方** 授業内容：この授業の狙い、および進め方とスケジュールについて説明します 事前学修 2.0hr：「デジタライゼーション」とは何か？　について調べてくる 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
2回	**授業テーマ：デジタライゼーション基礎** 授業内容：基礎としての知識および、デジタライゼーションという言葉の意味について説明します 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
3回	**授業テーマ：GAFA について** 授業内容：IT プラットフォームを構築した GAFA について学ぶことで、IT のもつ威力について説明します 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
4回	**授業テーマ：Google のビジネス拡大方法** 授業内容：HT 産業における事例を使って、巨大 IT 企業,Google におけるビジネス拡大の手法について説明します 事前学修 2.0hr：Google の HT 産業向けの活用動画を視聴しておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
5回	**授業テーマ：日本企業の DX について** 授業内容：日本企業におけるプラットフォーム構築、および DX（デジタルトランスフォーメーション）の事例を紹介します 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
6回	**授業テーマ：日本企業の DX について (HT 産業)** 授業内容：日本のホスピタリティ・ツーリズム産業における DX 化について説明します 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
7回	**授業テーマ：アイデアシート（1）** 授業内容：DX 化を推進するためには、まず何をしたいか？ というアイデアが非常に大切となります。事例を使って、このアイデアのまとめ方について説明します 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する。
8回	**授業テーマ：アイデアシート(2)** 授業内容：実際に皆さんにアイデアシートを作成していただきます 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく。この事例におけるアイデアやニーズ、デジタル技術をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する　とともに、中間レポートの準備を行う
9回	**授業テーマ：アイデアシートからアイデアをふくらませる　中間レポート** 授業内容：皆さんが作成した中間レポートを確認するとともに、さらにアイデアをふくらませます 事前学修 3.0hr：中間レポートを作成する。 事後学修 1.0hr：中間レポートを見直すとともに、授業内容を整理する

10回	**授業テーマ：システム開発プロジェクト(1)** 授業内容：アイデアから実際に IT サービスを実現するために、システム開発プロジェクトを行います。このシステム開発プロジェクトのプロセスについて説明します 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
11回	**授業テーマ：システム開発プロジェクト(2)** 授業内容：アイデアから実際に IT サービスを実現するために、システム開発プロジェクトを行います。このシステム開発プロジェクトのプロセスについて説明します 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
12回	**授業テーマ：プロジェクトマネジメント(1)** 授業内容：システム開発プロジェクトの失敗原因を参照しつつ、プロジェクトマネジメント(管理)の重要性について説明します 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
13回	**授業テーマ：プロジェクトマネジメント(2)とソフトウェア開発モデル** 授業内容：システム開発プロジェクトのプロジェクトマネジメント(管理)の重要性について説明します。 さらに、ソフトウェア開発のさまざま方法のうち現在主流となっているモデルについて、IT 業界の構図とともに説明します。 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
14回	**授業テーマ：IT ベンダーの業務内容** 授業内容：外部講師をお招きし、IT ベンダーの業務内容についてお話を伺います 事前学修 2.0hr：事前課題に対応するとともに、IT ベンダーに関する疑問点をまとめておくく 事後学修 2.0hr：お聞きした内容をふりかえり、感想や疑問点をまとめる
15回	**授業テーマ：授業のまとめ　と　期末テストの説明** 授業内容：今までの授業をふりかえるとともに、期末テストの出題形式について説明します 事前学修 3.0hr：今までの授業内容を復習し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：今までの授業内容を復習する

データ解析基礎

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

前田　篤志（まえだ　あつし）

▌授業の概要

本講義では、直感や経験だけでなく、客観的なデータに基づいた意思決定が重要であるというデータサイエンスの要諦を学ぶ。その表現方法のひとつとしてデータ解析がある。データ解析は、ビジネス、研究、マーケティングなど、さまざまな分野で役立つ。データサイエンスは、文系やり系の垣根を越えるこれからの一般常識になる。その入門として本講義を位置付ける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 3）

一般目標：客観的、論理的な表現を学習することによって、意思決定の質を向上させる。
個別目標：Excel を用いた基本的なデータ分析ができるようになる。
　　データ解析は、機械学習や人工知能(AI)とも密接に関係しており、これらの分野の基礎となる科目である。
　　AI を活用するためにはデータ解析の知識が不可欠である。

▌履修条件

提出期限は必ず守ること。
原則、PC を用いての講義になるため、必要最低限の PC 操作に習熟しておくこと。
毎授業での課題をクリアすること。
emai//manaba/Classroom を介したコミュニケーション・ルールを守ること。

▌評価基準・方法

毎授業の課題提出 (15%)
出席 (30%)
最終試験/発表 (55%)

▌フィードバック方法

email/manaba/classroom を介して適宜個別に実施。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （状況によって適宜指示）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （原則、情報処理演習室を使用。適宜、各自の PC を使用）

▌教科書

特になし(随時プリント配布)

▌参考書

Excel に関する操作が不安なものは各自で学習すること。
本講義は Excel の授業ではない、ことに十分留意すること。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：初回ガイダンス** 授業内容：公共の PC 環境に関する説明。 講義に関する諸注意。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでくること。 事後学修 2.0hr：課題提出
2回	**授業テーマ：Excel による分析** 授業内容：Excel の使い方/Excel を使ってできる分析について 事前学修 2.0hr：Excel の基本的な操作 事後学修 2.0hr：課題提出
3回	**授業テーマ：定性的と定量的について** 授業内容：データには定性データと定量データがあることについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回までの学習を確実に履行できる様にしておくこと。 事後学修 2.0hr：課題提出
4回	**授業テーマ：回帰分析について 1** 授業内容：回帰分析について学ぶ 事前学修 2.0hr：Excel マクロの設定 事後学修 2.0hr：課題提出
5回	**授業テーマ：回帰分析について 2** 授業内容：回帰分析について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回までの学習を確実に履行できる様にしておくこと。 事後学修 2.0hr：課題提出
6回	**授業テーマ：回帰分析について 3** 授業内容：回帰分析について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回までの学習を確実に履行できる様にしておくこと。 事後学修 2.0hr：課題提出
7回	**授業テーマ：仮説について** 授業内容：なぜ仮説が必要なのかについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回までの学習を確実に履行できる様にしておくこと。 事後学修 2.0hr：課題提出
8回	**授業テーマ：実証分析と事例分析について** 授業内容：実証分析と事例分析について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回までの学習を確実に履行できる様にしておくこと。 事後学修 2.0hr：課題提出
9回	**授業テーマ：問いを立てる/仮説の構築** 授業内容：自分の問題意識をどのようにして仮説に仕上げるかについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回までの学習を確実に履行できる様にしておくこと。 事後学修 2.0hr：課題提出

10回	**授業テーマ：因果推論/中間発表** 授業内容：自分の問題意識をどのようにして仮説に仕上げるかについてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：中間発表の準備をすること。 事後学修 2.0hr：課題提出
11回	**授業テーマ：回帰分析の実施/回帰式** 授業内容：仮説を回帰式に書き換えることについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回までの学習を確実に履行できる様にしておくこと。 事後学修 2.0hr：課題提出
12回	**授業テーマ：回帰分析の実施 2/説明変数と目的変数** 授業内容：説明変数と目的変数について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回までの学習を確実に履行できる様にしておくこと。 事後学修 2.0hr：課題提出
13回	**授業テーマ：回帰分析結果を理解する** 授業内容：回帰分析結果はどのように判断したらよいかについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回までの学習を確実に履行できる様にしておくこと。 事後学修 2.0hr：課題提出
14回	**授業テーマ：回帰分析の評価** 授業内容：仮説から回帰分析の結果まで、論理的に説明するにはどうしたらいいかについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回までの学習を確実に履行できる様にしておくこと。 事後学修 2.0hr：課題提出
15回	**授業テーマ：成果発表** 授業内容：問題意識からどのようなリサーチクレスチョンをたて、それを基に仮説を構築したのか。 そこから回帰分析を実施した結果について、どのように評価するのか、論理的に説明すること。 事前学修 2.0hr：発表準備 事後学修 2.0hr：成果物提出

プロポーザル管理基礎

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

式町　久美子（しきまち　くみこ）

▌授業の概要

社会で活躍する上で欠かせない「提案」スキルを習得する授業である。
IT 関連企業にて提案業務に従事した経験と、プロポーザルマネジメントの国際的な資格を有する教員が、その実務経験と専門知識を活かし、実践的かつ主体的な学習に導く。
この授業では、さまざまな利害関係が存在する組織に対する提案で成功するマネジメントプロセスを、実例を交えて体系的に学習する。
これにより、顧客や組織、社会に価値をもたらす提案を生産性高く生み出す基礎知識を獲得する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、経営情報専攻 3）

一般目標：価値をもたらす「提案」を生むマネジメントプロセスを習得する
個別目標：・相手の立場に立ってわかりやすく伝える適切な手段を説明することができる
・ビジネスの課題を自分ごととして捉える必要性とその適切な手段を説明できる
・多様な価値観や利害関係を捉えた上で協力や賛同を引き出す適切なコミュニケーション手段を説明できる
・顧客の立場に立って良い提案を引き出す提案依頼方法の基本ステップを説明できる
・提案内容の価値とその妥当性を適切に伝える方法を説明できる
・相手にとって有益と思える提案を限られた時間で効率よく作成する基本ステップを説明できる

▌履修条件

・質問や意見を積極的に行い、クラス全体の学びに貢献すること
・授業は毎回出席し、内容をしっかり理解すること
・遅刻や早退をしないこと

▌評価基準・方法

・提出物（50 %）
・テスト（25 %）
・発言点（クラスへの貢献度）（25 %）
及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する
・原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転学習、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （スライド作成ツール、ファイル共有）

▌教科書

式町久美子
受注を勝ち取るための外資系「提案」の技術　　日本人の知らない世界標準メソッド （ダイヤモンド社）

▌参考書

式町久美子
IT エンジニアの必須スキル　　顧客に響くシステム提案メソッド （日経 BP 社）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス ・プロポーザルマネジメントとは何か** 授業内容：このクラスで学習するプロポーザルマネジメントとは何か、活用場面やその効果について理解する。また学び合うためのクラスのグランドルールを検討し共有する。 事前学修 2.0hr：シラバスや動画を視聴しこの科目で学べることのイメージを持つ 家庭や学校生活を通じて、他者に対し「提案」を行った経験を振り返り、その経験について発言できるように備える 事後学修 2.0hr：「提案」および「プロポーザルマネジメント」の全体概要について復習する
2回	**授業テーマ：基礎知識　良い提案なのに相手に伝わらない根本原因とは何か** 授業内容：良い提案であるはずなのに相手に伝わらない根本原因を知り、的確に伝え賛同を得るために必要なフレームワークについて解説する。 事前学修 2.0hr：動画を視聴し授業でディスカッションができるように内容を理解する 事後学修 2.0hr：説得技法（FAB+PD）の枠組みについて復習する
3回	**授業テーマ：顧客分析（1）顕在ニーズを理解する** 授業内容：企業からの提案依頼書をもとに、依頼目的、企業のニーズ、企業のステークホルダーの存在を理解する 事前学修 2.0hr：動画を視聴し授業でディスカッションができるように内容を理解する 事後学修 2.0hr：提案依頼書（RFP）やクライアントのホームページの企業情報などをよみ、ヒアリング時の質問を考える
4回	**授業テーマ：顧客分析（2）潜在ニーズを理解する** 授業内容：企業からの提案依頼説明会及びヒアリングにて顧客の要求を理解する疑似体験をする。 事前学修 2.0hr：動画を視聴し授業でディスカッションができるように内容を理解する 事後学修 2.0hr：説明会にて得た情報をもとに顧客分析をオポ゜チュニティプランにアウトプットする
5回	**授業テーマ：解決策の検討（1）エグゼクティブサマリーを作る** 授業内容：提案内容の要旨を少ない枚数で簡潔に伝える「エグゼクティブサマリー」のまとめ方とその活用方法について解説する。企業からの提案依頼書を題材に作成を体験する。 事前学修 2.0hr：動画を視聴し授業でディスカッションができるように内容を理解する 事後学修 2.0hr：企業の提案依頼書をもとに、前段の顧客分析を踏まえたエグゼクティブサマリーを書く
6回	**授業テーマ：解決策の検討（2）オポチュニティプランレビュー** 授業内容：優位性あるポジションを獲得するための Win ストラテジーの策定方法を理解したうえで、戦略検討に活用するオポチュニティプランを作成し、レビューを行う。 事前学修 2.0hr：動画を視聴し授業でディスカッションができるように内容を理解する 事後学修 2.0hr：企業の提案依頼書をもとに、前段の顧客分析を踏まえたエグゼクティブサマリーを書く

7回	**授業テーマ：解決策の検討(3)顧客と対話する** 授業内容：グループで作成したエグゼクティブサマリーを企業に提示し、企業のニーズに即した提案となっているかを検証する。企業の責任者のコメントにより修正すべき点を明らかにし、エグゼクティブサマリーの内容を確定させる。 事前学修 2.0hr：動画を視聴し授業でディスカッションができるように内容を理解する 事後学修 2.0hr：エグゼクティブサマリーをもとに、提案内容詳細のラフアイデアを検討する
8回	**授業テーマ：解決策の検討(4)コンプライアンスマトリクスを活用する** 授業内容：顕在・潜在ニーズをとらえた上で、それらを満たす解決策を検討するステップを理解した上で、考えをまとめるツールであるコンプライアンスマトリクスを活用して、具体的な提案内容の検討を開始する。 事前学修 2.0hr：提案内容を検討する 事後学修 2.0hr：コンプライアンスマトリクスをブラッシュアップする
9回	**授業テーマ：提案内容の検討(1)コンテンツプランを作成する** 授業内容：高評価を獲得する提案書を効率よく作成するためのスケジュール設定や章立ての計画方法について解説を受けたのち、提案依頼に対する提案書の目次、テーマ、全体構成を検討する。 事前学修 2.0hr：授業で行うワークショップの準備として、動画を視聴し、ケースを読む 事後学修 2.0hr：作成した提案内容を見直し、第 10 回での提案内容の検討(2)に繋げる
10回	**授業テーマ：提案内容の検討(2)コンテンツプランレビュー** 授業内容：コンテンツプランを客観的にレビューを行い、提案書への記載方法について方針をまとめる。 事前学修 2.0hr：授業で行うワークショップの準備として、動画を視聴し、ケースを読む 事後学修 2.0hr：作成した提案内容を見直し、第 11 回での提案書の作成(1)に繋げる
11回	**授業テーマ：提案書の作成(1)評価者が評価をしやすい提案書を作成する** 授業内容：提案書の主要なメッセージを、相手の心に響く形で作成する方法を説明する。提案依頼書に対するキーメッセージ作成を体験する。 事前学修 2.0hr：提案書のドラフトを作成する 事後学修 2.0hr：提案書のドラフトを作成する
12回	**授業テーマ：提案書の作成(2)ビジュアル要素を検討する** 授業内容：読み手にとってわかりやすく視認性の高い資料を組織的に作成するためのレイアウトや配色の基本原則について解説する。理論に基づき、自身の PC を用いてビジュアル要素を編集する。 事前学修 2.0hr：提案書のドラフトを作成し、表や図を挿入する 事後学修 2.0hr：提案書の体裁を整えて最終化する
13回	**授業テーマ：ファイナルレビュー** 授業内容：プレゼンテーションに備えた最終レビューを実施する。 事前学修 2.0hr：提案書 事後学修 2.0hr：提案書の体裁を整えて最終化する
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：個人またはグループで提案をプレゼンテーションし、顧客の立場から提案書の評価基準に従って各人の提案書を採点し評価する。提案依頼側の立場に立って改善ポイントを見出す。(録画する) 事前学修 2.0hr：提案書を作成する 事後学修 2.0hr：改善ポイントを振り返る
15回	**授業テーマ：顧客フィードバック、全体振り返り** 授業内容：作成した提案書に対して、顧客から評価結果をもらう。これまで学習した内容を元に、提案業務のマネジメントプロセス全体をグループワークにて描き学びを振り返る。 事前学修 2.0hr：動画を視聴し授業でディスカッションができるように内容を理解する 事後学修 2.0hr：全体を振り返り理解を深める

デジタル・イノベーション実地研修

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

単位認定科目

▌授業の概要

ホスピタリティ・ツーリズム業界に関わるデジタル技術を活用する企業における実地研修を行うものである。卒業後の的確な職業選択に寄与するとともに、就職後に必要となる初歩的技能・技術を早期に習得することも目的とする。経営情報専攻担当教員、プレゼミナールやケーススタディ担当教員の事前・事後指導を要する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 3）

一般目標：ホスピタリティ・ツーリズム業界に関わるデジタル技術を活用する企業での、IT パスポート試験で得た知識の活用した実地研修を通して、企業活動や就業内容を理解し、将来のキャリアについて知識及び経験を深める。

個別目標：①高い就業意識をもち、就職に向けて学生の間にするべきことを考えることができる。
②企業や業務について、事前に抱いていたイメージと実際とのギャップを解消できる。
③自分の適性や知識・能力にあった職業について考えることができる。
④社会におけるマナーやビジネスマナーを習得できる。

▌履修条件

IT パスポート試験に合格していること

▌評価基準・方法

以下の項目で評価を行う

①研修時間 90 時間以上（下記 a〜d の総計）

a. 事前学修：派遣先に応じて 0〜8 時間

b. 実施研修実働時間：派遣先に応じて 60 時間以上

※ 1 日の研修時間は 8 時間を上限とする（休憩時間は研修時間に含まない）

c. 資料作成等研修外作業：派遣先に応じて 20 時間以内

※レポート等提出で確認。原則は派遣先だが在宅を認めることがある。

d. 事後学修：毎日の報告書作成と報告会での発表（準備を含む）20 時間

②報告会での報告

③報告書の提出

▌フィードバック方法

専攻内で実施する報告会での報告と派遣先企業からのフィードバックに基づき個別に実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （地域や企業における実地研修である。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （業務における情報整理等、常にパソコンは必要である。）

▌教科書

使用しない

▌参考書

適宜紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

実技訓練を含めて、学部が指定する派遣先企業における個別の指示に従って実施される実地研修である。

授業内容

研修先企業の指示、決められたトレーニングに従って実地研修を行う。

事前学修

研修先企業に関する企業研究を行う。
研修先企業における自身が担当する業務について日々確認準備をし、研修に備える。

事後学修

研修先企業での当日の業務内容等復習及び反省を行ない、日次の報告書を通じて報告する。
実地研修がすべて終わった後、学部で開催する実地研修報告会に参加して報告を行う。

パーソナル・コミュニケーション実践演習 A（ホテル商品企画）／ホスピタリティ・ツーリズム実践演習 A（ホテル商品企画）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

渭東　史江（いとう　ちかえ）

▌授業の概要

ホテルの業態が多様化する中で、それを選ぶ側の嗜好、ニーズも多様化している。また、個人旅行、インターネット予約が主流となり、こうした社会環境の中で、ホテルの企画商品は顧客がホテルを選ぶ際の重要な要素となる。この講義では、ホテルの商品企画について体系的に学び、顧客訴求力のある商品とは何かについて考える。実践的にタイプやテーマごとにホテルの商品を企画、造成し、レポート(3 回)を提出する。それぞれの企画商品をグループ内で議論し、グループを代表する企画商品を造成、プレゼンテーションを行う。
なお講義内容、順序は変更されることがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、HTM3）

一般目標：1. ホテルの企画商品の特性や効果を理解し、社会環境や顧客ニーズを把握した企画立案ができる。
2. 企画することにより、分析力、発想力、企画力を伸ばす機会とする。

個別目標：1. ホテル等の企画商品の特性、役割を理解する。
2. 企画におけるマーケティングの必要性を知る。
3. 企画や課題解決のために、発想、提案ができるようになる。
4. グループワークによる協調性、プレゼンテーション能力を醸成する。

▌履修条件

「商品企画」に興味があり、自ら創意工夫して商品を作る意欲があること。
授業や課題に積極的に取り組み、グループメンバーと協働できること。

▌評価基準・方法

企画レポート(3 回必須)の内容：60 %、授業、グループワーク、プレゼンテーションへの取り組み姿勢：40 %の要素を総合的に勘案し評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba や授業でのグループプレゼンテーション時に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、グループワーク、プレゼンテーションなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （manaba や Respon にてコメント投稿あり）

▌教科書

必要に応じて資料等を配布または配信。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、企画商品の特性** 授業内容：ホテルの企画商品とは何か、なぜ必要なのか等、その特性について理解する。演習講義の進め方等についても説明する。 事前学修 2.0hr：ホテルの企画商品について考える 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
2回	**授業テーマ：企画商品の造成方法** 授業内容：ホテルの企画商品の造成方法や手順を、マーケティングの手法に基づいて講義する。魅力的な特典を考えるのみではなく、現実的な商品造成に向けて、料金設定等についても理解する。 事前学修 2.0hr：実際にあるホテルの企画商品を調べ、そのアピールポイントを考える 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
3回	**授業テーマ：シティホテルの商品企画(1)(グループワーク)** 授業内容：シティホテルの特徴の確認。グループで、対象ホテルの強み・弱みを考え、ターゲットを絞る。企画のための情報や要素を集める。 事前学修 2.0hr：シティホテルの特徴を調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
4回	**授業テーマ：シティホテルの商品企画(2)** 授業内容：対象ホテルの特徴を再確認し、グループで設定したターゲットのニーズに合った商品を、各自で企画する。必要な条件に基づいて企画商品を造成する。 事前学修 2.0hr：企画のための情報や要素を再確認する 事後学修 2.0hr：対象ホテルの商品を企画、造成し、レポートを作成する
5回	**授業テーマ：シティホテルの商品企画(3)(グループワーク)** 授業内容：自ら造成した商品について、グループ内でプレゼンテーションを実施する。各自のアイデアをもちより、グループを代表する企画商品を造成。 事前学修 2.0hr：グループワークや発表の準備をする 事後学修 2.0hr：グループワークの内容をふまえ、グループで商品を完成させる
6回	**授業テーマ：シティホテルの商品企画(4)(プレゼンテーション)** 授業内容：グループで造成した企画商品について、全体へのプレゼンテーションを実施する。評価基準にそって他グループの内容を評価する。 事前学修 2.0hr：全体発表の準備をする 事後学修 2.0hr：企画のプロセスや商品を振り返り、次回に向けて課題や改善点を考える
7回	**授業テーマ：ビジネスホテルの商品企画(1)(グループワーク)** 授業内容：ビジネスホテルの特徴の確認。グループで、対象ホテルの強み・弱みを考え、ターゲットを絞る。企画のための情報や要素を集める。 事前学修 2.0hr：ビジネスホテルの特徴を調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
8回	**授業テーマ：ビジネスホテルの商品企画(2)** 授業内容：対象ホテルの特徴を再確認し、グループで設定したターゲットのニーズに合った商品を、各自で企画する。必要な条件に基づいて企画商品を造成する。 事前学修 2.0hr：企画のための情報や要素を再確認する 事後学修 2.0hr：対象ホテルの商品を企画、造成し、レポートを作成する

9回	**授業テーマ：ビジネスホテルの商品企画(3)(グループワーク)** 授業内容：自ら造成した商品について、グループ内でプレゼンテーションを実施する。各自のアイデアをもちより、グループを代表する企画商品を造成。 事前学修 2.0hr：グループワークや発表の準備をする 事後学修 2.0hr：グループワークの内容をふまえ、グループで商品を完成させる
10回	**授業テーマ：ビジネスホテルの商品企画(4)(プレゼンテーション)** 授業内容：グループで造成した企画商品について、全体へのプレゼンテーションを実施する。評価基準にそって他グループの内容を評価する。 事前学修 2.0hr：全体発表の準備をする 事後学修 2.0hr：企画のプロセスや商品を振り返り、次回に向けて課題や改善点を考える
11回	**授業テーマ：地域のホテルの商品企画(1)(グループワーク)** 授業内容：新浦安に立地するホテルの特徴の確認。グループで、対象ホテルの強み・弱みを考え、ターゲットを絞る。企画のための情報や要素を集める。 事前学修 2.0hr：新浦安に立地するホテルの特徴を調べる 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示
12回	**授業テーマ：地域のホテルの商品企画(2)** 授業内容：対象ホテルの特徴を再確認し、グループで設定したターゲットのニーズに合った商品を、各自で企画する。必要な条件に基づいて企画商品を造成する。 事前学修 2.0hr：企画のための情報や要素を再確認する 事後学修 2.0hr：対象ホテルの商品を企画、造成し、レポートを作成する
13回	**授業テーマ：地域のホテルの商品企画(3)(グループワーク)** 授業内容：自ら作成した商品について、グループ内でプレゼンテーションを実施する。各自のアイデアをもちより、グループを代表する企画商品を造成。 事前学修 2.0hr：グループワークや発表の準備をする 事後学修 2.0hr：グループワークの内容をふまえ、グループで商品を完成させる
14回	**授業テーマ：地域のホテルの商品企画(4)(プレゼンテーション)** 授業内容：グループで造成した企画商品について、全体へのプレゼンテーションを実施する。評価基準にそって他グループの内容を評価する。 事前学修 2.0hr：全体発表の準備をする 事後学修 2.0hr：企画のプロセスや商品を振り返り、課題や改善点を考える
15回	**授業テーマ：講義のまとめ** 授業内容：商品企画を振り返り、講義内容の復習とまとめ。ホテルの商品企画の目的と企画商品の必要性を再認識する。 事前学修 2.0hr：講義内容や企画のプロセスを振り返り、疑問点があれば整理する 事後学修 2.0hr：復習課題他授業時間内に指示

パーソナル・コミュニケーション実践演習 B（地域研究）／ホスピタリティ・ツーリズム実践演習 B（地域研究）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

木内　伸樹（きうち　のぶき）

▌授業の概要

大学が位置する浦安市を中心として、この地域の歴史的背景や観光資源、年中行事など基礎知識を増やし観光学の視点から地域の魅力について考察する。また浦安市の行政機関などと連携しながら、まちづくりの軌跡と、まちづくりの課題、地域ごとの景観の特徴やルールを理解し地域連携の在り方など主体的に考察する。合わせて、この地域の魅力を広めるための観光コースを作成し、フィールドワークを通じて理解を深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 1、HTM3）

一般目標：・地域の景観の特徴、まちづくりをの政策や課題について理解する。
・明海大学が位置する地域との連携を通して、大学の地域への貢献のあり方を理解する 。
・地域の観光資源を活かした観光コース作りを通して、地域の魅力を活かした地域の活性化とディスティネーション・マーケティングの知識を身につける。

個別目標：・浦安市周辺の観光の魅力について具体的に外部の人に説明できる 。
・浦安市について理解し、その魅力を観光コースを作成する企画力を身につける。
・コンセプト作りから観光プランを作成し、フィールドワークをおこない観光プランの正誤性の検証をおこなう。

▌履修条件

・地域活性に興味があり、フィールドワークなど積極的に参加できること。
・フィールドワークなどの実践においては、授業時間帯ではおさまらない活動もあることを理解すること。
・グループワーク等、実践内容には積極的、自律的に参加することとし、与えられた役割には責任をもって取り組む。

▌評価基準・方法

・方法 定期試験 50 %、発表 20%、課題 20 %、授業への積極性・態度・取組み姿勢 10 %。
・原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
・最終評価は到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

・原則として、前回の授業に対して提出された授業コメントについて、フィードバックを次回授業内で行う。課題によっては、manaba のフィードバック機能を使用する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （原則、各回グループワークに基づくレポート作成）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （適宜グループワーク内で使用）

▌教科書

授業内で適宜紹介する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　授業の内容・具体的な授業運営・シラバス内容・目指すゴール・評価基準** 授業内容：・当授業に関するオリエンテーション(授業評価基準、出欠基準など) ・当授業で取り上げる内容と到達目標について理解する。 事前学修 2.0hr：浦安市の魅力について調べる 事後学修 2.0hr：浦安市の観光資源を調べる
2回	**授業テーマ：地域の魅力とは** 授業内容：自身が居住する地域の魅力を整理する 事前学修 2.0hr：自身の居住する地域の魅力 事後学修 2.0hr：自身の居住する地域と浦安市の魅力を比較検討する
3回	**授業テーマ：浦安の観光資源について** 授業内容：観光資源の定義と浦安市の観光資源について、地域ごとに整理する 事前学修 2.0hr：浦安市の観光資源について調べる 事後学修 2.0hr：浦安市の観光資源を地域ごとに整理し、観光資源を理解する
4回	**授業テーマ：景観まちづくり** 授業内容：浦安市内における地域ごとの景観の特徴やルールを理解する。 事前学修 2.0hr：浦安市内で景観が美しいと思う場所と時間帯を考え選定する。 事後学修 2.0hr：実際に現地へ出向いて風景を撮影する。撮影した画像は授業での考察や発表の際に活用する。
5回	**授業テーマ：浦安市のまちづくりの歴史と展望** 授業内容：浦安市のまちづくりの軌跡と、直面する課題、今後の展望などを理解する。 事前学修 2.0hr：「都市計画」「まちづくり」に関連する基本的な概念や日本国内の成功事例・課題について文献やウェブサイトで調査する。 事後学修 2.0hr：授業で得た知識をもとに、浦安市のまちづくりの軌跡や直面する課題について自身の視点でまとめる。
6回	**授業テーマ：町の魅力、地域が活性化するために必要なことを考える** 授業内容：地域が活性化するために必要な要素や事例について、グループで調べ話し合う 事前学修 2.0hr：地域の観光資源の活性化に必要だと思う内容を整理する 事後学修 2.0hr：グループで共有した内容を整理し、グループの意見も取り入れる
7回	**授業テーマ：地域の観光資源を活かした観光コース作成** 授業内容：整理した町の観光資源を組み合わせ、観光コースの原案を作成する 事前学修 2.0hr：観光資源の詳細について必要な情報を集める 事後学修 2.0hr：観光資源の詳細を説明できるように理解する
8回	**授業テーマ：観光コースと観光交通** 授業内容：交通手段観光コースへの移動手段を考える 事前学修 2.0hr：それぞれの観光資源に移動するために必要な交通手段を調べる 事後学修 2.0hr：交通手段によって、観光コースがどれ位の時間がかかるか検証する

9回	**授業テーマ：観光コースと SNS** 授業内容：実際に作成した観光コースと SNS 配信 事前学修 2.0hr：作成した観光コースを SNS で発信するにはどのような手段が有効であるか 事後学修 2.0hr：観光資源を SNS で発信するにはどのような発信が有効であるか
10回	**授業テーマ：フィールドワーク** 授業内容：作成した観光コースの実証検証 事前学修 2.0hr：実際に作成した観光コースを訪れ、観光資源が魅力、時間配分など、フィールドワークで検証が必要な内容を検討する 事後学修 2.0hr：フィールドワークを通して検証した内容を精査する
11回	**授業テーマ：観光コースを確定する** 授業内容：フィールドワークを通して精査した観光コースにテーマ性を持たせ、1 つの観光コースとしてかたちにする 事前学修 2.0hr：観光コースのテーマを明確にするための準備 事後学修 2.0hr：観光コースのテーマ性にあった内容に落とし込み、プレゼンテーションに備えて準備する
12回	**授業テーマ：観光コースを広め地域活性化に役立てる** 授業内容：作成した観光コースの効果的な共有方法を検討する 事前学修 2.0hr：作成した観光コースを一般に広めるためにはどうしたらいいかを検討する 事後学修 2.0hr：観光コースのプレゼンテーションの準備をする
13回	**授業テーマ：観光コースのプレゼンテーション** 授業内容：作成した観光コースを全員が発表し、履修者は、発表内容に対して、質問やフィードバックを行う 事前学修 2.0hr：観光コースのプレゼンテーションの準備・練習をする 事後学修 2.0hr：発表者へのフィードバックを行う/発表者はそのフィードバックを受けて気づきを提出する
14回	**授業テーマ：観光コースのプレゼンテーション** 授業内容：作成した観光コースを全員が発表し、履修者は、発表内容に対して、質問やフィードバックを行う 事前学修 2.0hr：観光コースのプレゼンテーションの準備・練習をする 事後学修 2.0hr：発表者へのフィードバックを行う/発表者はそのフィードバックを受けて気づきを提出する
15回	**授業テーマ：浦安市の観光活性化の総括** 授業内容：観光コースを通しての浦安市活性化に繋げる礎を、浦安市などに提案する 事前学修 2.0hr：浦安市への提案をまとめる 事後学修 2.0hr：課題として期限までに発表資料を提出する

パーソナル・コミュニケーション実践演習Ｃ（ロジカルシンキング・ディベート）／ホスピタリティ・ツーリズム実践演習Ｃ（ロジカルシンキング）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

橋本　尚興（はしもと　ひさおき）

▌授業の概要

ロジカルシンキング(論理的思考)とは「根拠から主張に至る道筋が誰にでも理解してもらえるように考えること」であり、コミュニケーションの基本となります。皆さんも、「自分の主張が相手に通じない」、もしくは「相手の主張が理解できない」といった経験があったと思います。これらは、ロジカルシンキングを活用することで、相手に伝わるコミュニケーションに変えることができます。また、「相手に伝わるか？」をつきつめて考えることで、物事を様々な角度から見られるようになり、結果として非論理的な考え方にも気が付くことが出来るようになります。
この授業では、基本的なツール類を活用したロジカルシンキングを実践することにより、社会で必須となっている「相手が理解し納得できるコミュニケーション能力」の獲得を目指します。
なお、授業内容は環境や諸条件により変更する場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、HTM3）

一般目標：・ロジカルシンキングの基本的な意味を理解し、実践する能力を得ることができる。(DP3)
個別目標：・ロジカルシンキングの基本的なツール類を使い、自分の考えを相手が理解できるように表現することができる。
　　・批判的に物事を見ることで、非論理的な事柄に気が付くことができる。

▌履修条件

・ロジカルシンキングに興味があり、コミュニケーション能力の向上を目指す学生
・自らの考えを話し、積極的に授業に参加する意欲を持っている学生

▌評価基準・方法

・期末テスト　　２９点
・授業への貢献　　１５点
・授業ごとの課題　　２６点 （１３回）
・ディベート＆ＧＤ　１０点
・中間レポート提出　２０点
なお、全授業の８０%以上の出席、および学期末テストの受験を前提として評価します。

▌フィードバック方法

授業および manaba を通じてフィードバックを行います

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （個人ワーク、グループワークを行います）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （なお、利用する場合は事前に教員がお知らせします）

▌教科書

特にありません
適時資料を配布します

▌参考書

特にありません

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：ロジカルシンキングの定義、授業の進め方、履修条件、およびスケジュールについて説明します 事前学修 2.0hr：ロジカルとは何か？ について考えてくる 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
2回	**授業テーマ：ロジカルシンキングの基本①　メリットと基本の形** 授業内容：事例を通してロジカルシンキングの必要性やメリットを説明します 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
3回	**授業テーマ：ロジカルシンキングの基本②　論理展開** 授業内容：主張と根拠、および根拠どうしが So-what（だから何なのか？）　Why-so（なぜそうなのか？）の関係を構築することで、飛躍の無い論理であることを確認します 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
4回	**授業テーマ：ロジカルシンキングの基本③　論理ピラミッド** 授業内容：事前に反論を考える批判的思考にて自分の考えを強固にするとともに、論理ピラミッドを活用して「見える化」し、そのまま序論・本論・結論というレポートにします。 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
5回	**授業テーマ：ロジカルシンキングの基本④　根拠/理由/前提の整理** 授業内容：因果関係や MECE、３ C、４ P などの基本的なフレームワークを活用して、納得感の高い根拠を見つけます 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
6回	**授業テーマ：ロジカルシンキングの基本⑤　ロジックツリー** 授業内容：皆さんの考えを整理するツール「ロジックツリー」を説明します。 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
7回	**授業テーマ：ロジカルシンキングの基本⑥　問題解決** 授業内容：いままでに学修した内容を利用して、社会で直面するであろう問題を例にして、問題解決に取り組みます 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する

8回	**授業テーマ：中間レポート作成** 授業内容：いままでに学修した様々な考え方やツールを利用して、皆さん自身について中間レポートを作成していただきます。 事前学修 2.0hr：いままでの学修内容を復習しておく 事後学修 2.0hr：中間レポートを作成した際の自身の思考過程を記録・整理しておく
9回	**授業テーマ：ディベート準備** 授業内容：ある論点に対して、肯定、否定それぞれの立場に分かれて根拠と主張を組み立て、ディベート(討論)の準備をします 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
10回	**授業テーマ：ディベート実践** 授業内容：実際に簡単なディベート(討論)を行い、論理的な組み立てになっているのか？　納得性のある説明になっているのか？　について確認します 事前学修 2.5hr：前回の授業で組み立てた論理を再確認しておく。事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：フィードバックと自身の論理展開を振り返っておく
11回	**授業テーマ：水平思考** 授業内容：ロジカルシンキングを補完する発想方法(水平思考)に触れることで、様々な角度からアイデアを考えます。 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
12回	**授業テーマ：効率的なメールの書き方** 授業内容：相手に正しく伝わり、相手の時間を節約できる効率的なメールを作成します。 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
13回	**授業テーマ：エントリーシート** 授業内容：論理的に考える応用として「エントリーシート」をとらえることにより、就活における「ロジカルシンキング」の活用について考えます 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
14回	**授業テーマ：グループディスカッション** 授業内容：論理的に考える応用として「グループディスカッション」をとらえることにより、就活における「ロジカルシンキング」の活用について考えます 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する。　学生同士での評価内容を見返し、自身の論理展開を振り返っておく
15回	**授業テーマ：フェルミ推定とまとめ** 授業内容：就活への準備として、論理的な思考力が試されるフェルミ推定を知り、実際に使ってみます。 また、いままでのまとめと、期末テストについて説明します。 事前学修 2.0hr：事前課題に対応し、疑問点をまとめておく 事後学修 2.0hr：すべての授業の内相を振り返り、日ごろからロジカルシンキングを行う習慣について再確認する

パーソナル・コミュニケーション実践演習 D（プレゼンテーション技法）／ホスピタリティ・ツーリズム実践演習 D（プレゼンテーション技法）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

ジェイコブ　シェア

▌授業の概要

This class explores English for students wanting to study/live/travel overseas, apply for internships, job hunt and improve their English communication. Topics will include: culture, HT current topics, living abroad, and travel. Students will communicate in English through, discussions, presentations, reading, writing, and group work. Students are encouraged to bring and communicate their ideas to the class. Lesson schedule may change order or topic depending on class needs.
授業のスケジュール、内容などは授業のニーズに応じて変更することがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、HTM3）

一般目標：The goal is for students to increase their communication, confidence, and understanding in English through the course of study. Students will learn about and be able to discuss cultural topics.

個別目標：Students will be able to present, discuss and demonstrate their ideas in English, prepare presentations, short topic research, prepare for English interviews and living abroad. Students will learn creative problem solving using English language skills.

▌履修条件

A desire to communicate in English is required. Also, completion of first year English classes.

▌評価基準・方法

30% Midterm Presentation, 30% Final Presentation, 30% Participation, 10% Homework
Tests will include, but not be limited to, writing, speaking and listening using a variety of methods.

▌フィードバック方法

There will be feedback on presentations, and in class work.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （group work ）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （not needed, but a smartphone, or tablet is useful）

▌教科書

None. Weekly prints will be provided to students by the instructor, or distributed online on Manaba.

▌参考書

Only a dictionary and access to the internet for research.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction /Why we travel** 授業内容：a brief history on why people travel. 事前学修 2.0hr：lecture on the topic 事後学修 2.0hr：group work
2 回	**授業テーマ：food and world wide cuisine** 授業内容：a look at different food cultures around the world and special health and religious diets. 事前学修 2.0hr：lecture on the topic 事後学修 2.0hr：group work
3 回	**授業テーマ：Using the Web for travel/research** 授業内容：how to use the English web to research for travel. Looking at the large about of information about travel online. 事前学修 2.0hr：lecture on the topic 事後学修 2.0hr：group work
4 回	**授業テーマ：Culture Shocks (Customs & Taboos)** 授業内容：a discussion on culture shocks, taboos and customs from around the world. 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：group work
5 回	**授業テーマ：Worldwide Entertainment** 授業内容：A look at the variety of popular and unique entertainment around the world. 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：group work
6 回	**授業テーマ：Review and preparation for the midterm exam/project** 授業内容：group work preparation for presentations. 事前学修 2.0hr：group work 事後学修 2.0hr：Group work
7 回	**授業テーマ：Presentations/Project** 授業内容：presentations 事前学修 2.0hr：Presentations 事後学修 2.0hr：Presentations
8 回	**授業テーマ：Creating a Character/Mascot for Promotion** 授業内容：How to create a mascot to promote tourism, or other service. 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：group work
9 回	**授業テーマ：Over Tourism /Custom Tour Plans** 授業内容：looking at over-tourism and how the world is dealing with it, and making a plan to a less traveled destination in Japan. 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：group work
10 回	**授業テーマ：Japanese Culture/Customs** 授業内容：comparing and contrasting Japanese culture and customs. 事前学修 2.0hr：lecture on the topic 事後学修 2.0hr：group work

11回	**授業テーマ：Life in Japan** 授業内容：A look at life in Japan as a foreigner. 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：Group work
12回	**授業テーマ：Internships /Job Preparation** 授業内容：looking at preparation for an internship and job hunting. 事前学修 2.0hr：Lecture on the topic 事後学修 2.0hr：group work
13回	**授業テーマ：Review and preparation for the final exam/project** 授業内容：team work on group presentations. 事前学修 2.0hr：group work 事後学修 2.0hr：group work
14回	**授業テーマ：final exam /projectct** 授業内容：presentations. 事前学修 2.0hr：presentations 事後学修 2.0hr：presentations
15回	**授業テーマ：final review and course reviewurse review** 授業内容：sum up of the course and final review. 事前学修 2.0hr：Group work 事後学修 2.0hr：group work

パーソナル・コミュニケーション実践演習 E（コンシェルジュ）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

川村　一司（かわむら　かずし）

▌授業の概要

世界の観光事業者は１０人に１人といわれているが、もはやホスピタリティの知識や技能は全産業においても必須のものとなっている。
ますます多様化し先の見えない世界となっても、そこに人がいれば、ホスピタリティの実践は欠かせない知識であり、成長の大きな原動力である。
この授業では、前半でコンシェルジュという職種の基本概要を学ぶ。後半からは、毎回の課題をグループワーク形式で行ってゆく。
授業内容、スケジュールは、状況によって変更することもある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3）

一般目標：ホスピタリティ業界に限らず、あらゆる業種においても対応できる、ホスピタリティの基本理念、実践方法をみにつける。
個別目標：人種、国籍、所属にとらわれることないプロのコミュニケーションが身につく。
　　他人や社会の通説ではなく、自分で考え、自分で価値判断をし、自走してゆくことができる。
　　ケーススタディー・演習を通じて、どのような場面でもホスピタリティに基づいた行動ができる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

テスト・レポートの提出・内容・授業に対する積極性により総合評価。目安としては、レポート等提出 40 %、プレゼンテーション 40 %、授業への取り組み 20 %

▌フィードバック方法

課題、ワーク等に対しては、授業で取り上げ、フィードバックしてゆく。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義中においてグループワークやディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーションに使用）

▌教科書

なし

▌参考書

「お客様の気持ちを読み解く仕事コンシェルジュ」2015 年　阿部佳著　秀和システム

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：初回ガイダンス** 授業内容：授業の目的、進行、内容を説明を聞いて、次回以降の講義に備える。 事前学修 2.0hr：コンシェルジュについて、調べて自分の言葉で説明できるように考えてくる 事後学修 2.0hr：ホスピタリティの目的とコンシェルジュの職務の確認
2 回	**授業テーマ：コンシェルジュとは** 授業内容：コンシェルジュの仕事の特徴と、役割を知る。 事前学修 2.0hr：コンシェルジュと他の仕事との違いを説明できるようにする。 事後学修 2.0hr：コンシェルジュの仕事についての確認と、疑問点をまとめる
3 回	**授業テーマ：コンシェルジュの哲学、精神、知識、態度とは** 授業内容：コンシェルジュに必要な知識、技能、スキルそして哲学について学ぶ。 事前学修 2.0hr：コンシェルジュとして必要な心構えや知識を調べておく。 事後学修 2.0hr：コンシェルジュに必要な心構え知識を確認する。
4 回	**授業テーマ：プロのネットワーク、コミュニケーション** 授業内容：ホスピタリティにおいて必要なプロのネットワーク、コミュニケーションについて知る。 事前学修 2.0hr：プロのネットワーク、コミュニケーションについて、自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を、確認しまとめる。
5 回	**授業テーマ：コンシェルジュの歴史、レ・クレドール** 授業内容：長い歴史あるコンシェルジュ業務を歴史的に考察し、未来のあるべき姿を考える。 事前学修 2.0hr：コンシェルジュの成り立ち、語源などを事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を、確認しまとめる。
6 回	**授業テーマ：演習、グループワーク** 授業内容：コンシェルジュとして必要な知識はどのようなものがあるか考察し、次回のプレゼンテーションの準備をする。 事前学修 2.0hr：コンシェルジュとして必要な知識を事前に考えておく。 事後学修 2.0hr：グループで決まったテーマに沿って、次回のプレゼンテーションの準備をする。
7 回	**授業テーマ：演習：グループプレゼンテーション** 授業内容：各グループごとに発表、全体でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備 事後学修 2.0hr：ディカッションで確認した疑問点を次回グループワークで取り上げる準備をする。
8 回	**授業テーマ：演習、グループワーク** 授業内容：コンシェルジュとして必要な知識はどのようなものがあるか考察し、次回のプレゼンテーションの準備をする。 事前学修 2.0hr：コンシェルジュとして必要な知識を事前に考えておく。 事後学修 2.0hr：グループで決まったテーマに沿って、次回のプレゼンテーションの準備をする。
9 回	**授業テーマ：演習：グループプレゼンテーション** 授業内容：各グループごとに発表、全体でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備 事後学修 2.0hr：ディカッションで確認した疑問点を次回グループワークで取り上げる準備をする。
10 回	**授業テーマ：演習、グループワーク** 授業内容：実際にコンシェルジュとしてバースデーやアニバーサリーへの特別手配を計画し、次回のプレゼンテーションの準備をする。 事前学修 2.0hr：特別手配する場合に必要な事柄を事前にリストアップしてくる。 事後学修 2.0hr：グループで決まったテーマに沿って、次回のプレゼンテーションの準備をする。
11 回	**授業テーマ：演習：グループプレゼンテーション** 授業内容：各グループごとに発表、全体でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備 事後学修 2.0hr：ディカッションで確認した疑問点を次回グループワークで取り上げる準備をする。

12回	**授業テーマ：演習、グループワーク** 授業内容：実際にコンシェルジュとして特別な体験の特別手配を計画し、次回のプレゼンテーションの準備をする。 事前学修 2.0hr：　特別手配する場合の必要な事柄を事前にリストアップしてくる。 事後学修 2.0hr：グループで決まったテーマに沿って、次回のプレゼンテーションの準備をする。
13回	**授業テーマ：演習：グループプレゼンテーション** 授業内容：各グループごとに発表、全体でディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備 事後学修 2.0hr：ディカッションで確認した疑問点を次回グループワークで取り上げる準備をする。
14回	**授業テーマ：演習　個別　プレゼンテーション　グループ１と２** 授業内容：全体を通じて学んだホスピタリティ・コンシェルジュの現状そして未来のあるべき姿を提案する。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備 事後学修 2.0hr：前期で学んだことをまとめて、今後に生かしてゆく。
15回	**授業テーマ：演習　個別　プレゼンテーション　グループ１と２** 授業内容：全体を通じて学んだホスピタリティ・コンシェルジュの現状そして未来のあるべき姿を提案する。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備 事後学修 2.0hr：前期で学んだことをまとめて、今後に生かしてゆく。

ロジカル思考

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

櫻井　俊輔（さくらい　しゅんすけ）

▌授業の概要

この科目は、プロジェクトを円滑に推進するうえで必要な論理的思考の体得を目的とする。
具体的には、実習・グループワーク・プレゼンテーション・ディベート・ディスカッション等の体験的学習を通して訓練を積み重ねていく。
論理的思考の獲得は、今後の様々な場面で多様なステークホルダー（利害関係者）と発生する意思疎通（コミュニケーション）において、物事の理解を共通化する共通言語の獲得に匹敵する。
※なお、以下は諸事情により変更が生じる場合もある。manaba のコースニュースや講義中に告知するので留意すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 3）

一般目標：プロジェクトを円滑に推進するために、多様なステークホルダーとの意思疎通に欠かせない論理的思考を身につける
個別目標：①ロジカル思考の基礎を理解できる
②口頭でも書面でも、より効果的な（＝説得力を持った）コミュニケーションが出来るようになる
③論理的思考について説明できるとともに実践できるようになる

▌履修条件

・授業に必要な連絡手段を確保するため、manaba からの通知を受信する手段を確保できること
・授業中もインターネットを活用するため、アクセスできる端末（スマートフォン・タブレット・パソコン）を持参できること
・一方通行の講義よりも双方向の実習が多いため、自力で日本語での意思疎通が可能であり、積極的に参画する自主性があること

▌評価基準・方法

レポート 60 点（4 点× 15 回）· レポートピアレビュー 30 点 (2 点× 15 回) · 貢献度（相互評価）10 点及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席をしないものは評価しない。
※定期試験なし

▌フィードバック方法

課題のフィードバックや諸連絡は、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （実習・グループワーク・ディスカッション・プレゼンテーション・ディベート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （インターネットは使用するが PC は必須としない（スマートフォンやタブレットで問題ない））

▌教科書

使用しない

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション（目標、全体スケジュール、その他）** 授業内容：履修にあたり、講師のひととなり・一緒に学ぶ仲間のひととなり・履修のルール・次回までの課題などを理解することで、本講義の受講に向けた気づきを得る。 事前学修 0.5hr：論理的に考えることについて自分の考えをまとめてくる 事後学修 0.5hr：講義内容の復習
2 回	**授業テーマ：世の中の非論理的なことについて考える** 授業内容：「論理的であること」を考えるために「論理的ではない」と感じられたり考えられたりするものについて、論理的でない理由・論理的でないものが正当化される背景などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
3 回	**授業テーマ：論理的であるということ：トゥールミンモデル** 授業内容：「論理的であること」を理解するために、論理的に議論をする構造についてのモデルの理解や解釈などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
4 回	**授業テーマ：論理的であるための前提条件　①曖昧性の排除・事実と意見** 授業内容：日常会話や世の中にある情報には論理性を阻害する要因があふれている。論理的であることをより理解するために、曖昧な情報や意見が混在している情報を精査する方法を実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
5 回	**授業テーマ：論理的であるための前提条件　②主張することについて** 授業内容：論理的思考の主要な構成要素である「主張すること」の意義について、主張することの確からしさ・主張することの難しさなどを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
6 回	**授業テーマ：論理的であるための前提条件　③根拠の整理：ＭＥＣＥ／ロジックツリー** 授業内容：論理的思考の主要な構成要素である「論拠の整理」について、漏れなく・重なりなく論拠を準備する意義や手段などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
7 回	**授業テーマ：論理的であるための前提条件　④主張と根拠をつなぎ合わせる：ピラミッドストラクチャー** 授業内容：論理的思考の主要な構成要素である「主張」と「根拠」をつなげる手段の「論拠」と「裏付け」について、「主張」に説得力を生むための「論拠」の作り方・「論拠」から「主張」を生み出す手段などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
8 回	**授業テーマ：論理の展開：帰納法と演繹法** 授業内容：自分の主張を「論理的」に誰かに伝えるための方法について、演繹法で伝える方法・帰納法で伝える方法・演繹法と帰納法の使い分けなどを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習

9回	**授業テーマ：ジレンマを解消する論理：ＴＯＣ理論** 授業内容：「論理的」に考えても生じるジレンマとの向き合い方について制約理論(TOC)に学び、その概要・ツール・利用場面などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
10回	**授業テーマ：ロジカルシンキングの実践①　ロジカル・コミュニケーション** 授業内容：論理的なコミュニケーションを実践するために、ロジカルシンキングを踏まえたコミュニケーション・論理展開のコツ・コミュニケーションを論理的に構成する前提条件などをディスカッションを交えて理解する。 事前学修 3.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
11回	**授業テーマ：ロジカルシンキングの実践②　グループディスカッション** 授業内容：論理的なコミュニケーションの応用の一つである「グループディスカッション」について論理的思考で捉え、グループディスカッションでの論理展開のコツや論理的なグループディスカッションを構成する前提条件などを実習を通じて理解する。 事前学修 3.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
12回	**授業テーマ：ロジカルシンキングの実践③　ロジカル・プレゼンテーション** 授業内容：論理的なコミュニケーションの応用の一つである「プレゼンテーション」について論理的思考でとらえ、プレゼンテーションでの論理展開のコツやプレゼンテーションを論理的に構成する前提条件などを実習を通じて理解する。 事前学修 3.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
13回	**授業テーマ：ロジカルシンキングの実践④　ディベート** 授業内容：論理的なコミュニケーションの応用の一つである「ディベート」について論理的思考でとらえ、その概要・ルール・コツなど実習を通じて理解する。 事前学修 3.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 1.0hr：講義内容の復習
14回	**授業テーマ：ロジカルシンキングを補完する考え方(システム思考)** 授業内容：ここまで本講義においては「論理的」に思考するための知見を伝達してきたが、現実では「論理」だけでは解を導けないこともある。そこで、今回は「論理的思考」を補う思考法など実習を交えて理解する。 事前学修 3.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 1.0hr：講義内容の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：ここまで伝達してきた知見を総括し、様々な応用例を紹介することで、今後の活用に向けた洞察を深める。 事前学修 3.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 2.0hr：講義内容の復習

デザイン思考

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

櫻井　俊輔（さくらい　しゅんすけ）

▌授業の概要

この科目は、創造的な問題解決のアイデアを創出するうえで必要なデザイン思考の体得を目的とする。
具体的には、ディスカッションやグループワーク等の体験的学習を通して訓練を積み重ねていく。
デザイン思考の獲得は、今後の社会において問題を発見し、それらの未知の課題に対して本質的なイノベーションを推進するために現状を打破するスキルの獲得に匹敵する。
※なお、以下は諸事情により変更が生じる場合もある。manaba のコースニュースや講義中に告知するので留意すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 3）

一般目標：本質的なイノベーションを推進するために、創造的な問題解決のアプローチに欠かせないデザイン思考を身につける
個別目標：①デザイン思考の基礎を理解できる
②各回のテーマとなるツールや技法を理解し、提示される課題を作成できる
③デザイン思考について説明できるとともに実践できるようになる

▌履修条件

・「ロジカル思考」で既習した内容と関連する説明も多く含まれるため「ロジカル思考」を履修済みであること
・授業に必要な連絡手段を確保するため、manaba からの通知を受信する手段を確保できること
・授業中もインターネットを活用するため、アクセスできる端末（スマートフォン・タブレット・パソコン）を持参できること
・一方通行の講義よりも双方向の実習が多いため、自力で日本語での意思疎通が可能であり、積極的に参画する自主性があること

▌評価基準・方法

レポート 60 点（4 点× 15 回）・レポートピアレビュー 30 点 (2 点× 15 回)・貢献度（相互評価）10 点及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席をしないものは評価しない。
※定期試験なし

▌フィードバック方法

課題のフィードバックや諸連絡は、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （実習・ディスカッション・プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （インターネットは使用するが PC は必須としない（スマートフォンやタブレットで問題ない））

▌教科書

使用しない

▌参考書

特になし
※必要に応じて授業内で随時紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション（目標、全体スケジュール、その他）** 授業内容：履修にあたり、講師のひととなり・一緒に学ぶ仲間のひととなり・履修のルール・次回までの課題などを理解することで、本講義の受講に向けた気づきを得る。 事前学修 2.0hr：「デザイン」や「イノベーション」について自分のイメージをまとめてくる 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
2 回	**授業テーマ：デザイン思考の概念** 授業内容：デザイン思考は何であって何でないのか。ここでは、デザイン思考を他の思考法と対比しながら解説し、基本的な概念やその重要性などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
3 回	**授業テーマ：社会の理解** 授業内容：デザイン思考の要点である共感性を養う土台として、多様な社会や世代・人の特性を理解することが重要である。ここでは、社会全体について事例検討やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
4 回	**授業テーマ：ユーザー中心性（共感性）** 授業内容：ユーザー中心性（共感性）はデザイン思考の重要な概念の一つである。ここでは、ユーザーのニーズや観点の理解、それらの概念や重要性などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
5 回	**授業テーマ：ユーザー理解** 授業内容：ユーザー理解はユーザー中心性を達成する第一歩である。ここでは、ユーザーのニーズの捉え方や問題に対する具体的なアプローチ方法などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
6 回	**授業テーマ：問題の定義** 授業内容：デザイン思考は「厄介な問題」で特に有効とされる。ここでは、デザイン思考が扱う問題の概念や問題を明確に定義することの大切さとその手法などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
7 回	**授業テーマ：アイデア生成・概念化** 授業内容：アイデアは、より多く、より質の高いものを生み出すためのアプローチが存在する。ここでは、ブレーンストーミング技法など創造的なアイデアを生成する方法について実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践

8回	**授業テーマ：解決策の選定・評価** 授業内容：生成されたアイデアは全てが有効とは言えず、仮に有効であっても最も効果的なアイデアを選定することが効率的である。ここでは、ビューコンセプトセレクションなど複数の解決策から最適なものを選定するための方法について実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
9回	**授業テーマ：プロトタイピング** 授業内容：選定した解決策を実際に形にすることで、さらに有効性が検証できる。ここでは、ペーパープロトタイピングなどプロトタイピングの手法について実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
10回	**授業テーマ：アジャイル・アプローチ** 授業内容：プロトタイピングを進めるうえで鍵となる考え方が「アジャイル」である。ここでは、アジャイル型開発の起源や価値と原則を紹介し、その実践手法について実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
11回	**授業テーマ：テストとフィードバック** 授業内容：プロトタイプはテストし、フィードバックを受け取り、改善を重ねることで進化する。ここでは、それらの概念や手法などを実習やグループワークを交えて理解する。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
12回	**授業テーマ：デザイン思考におけるコミュニケーション①モチベーション(コーチング)** 授業内容：デザイン思考はメンバーの主体的な意識が求められる。ここでは、参画意識を持たせるための手法を実習やグループワークを交えて理解し、今後の活用に向けた実践力を高める。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
13回	**授業テーマ：デザイン思考におけるコミュニケーション②ファシリテーション** 授業内容：デザイン思考は活発な議論によって成立している。ここでは、議論やチームでの活動を円滑にするための手法を実習やグループワークを交えて理解し、今後の活用に向けた実践力を高める。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
14回	**授業テーマ：デザイン思考におけるコミュニケーション④プレゼンテーション** 授業内容：ここまで伝達してきたデザイン思考の観点から改めてプレゼンテーションを捉え直し、今後の活用に向けた実践力を高める。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：ここまで伝達してきた知見を総括し、様々な応用例を紹介することで、今後の活用に向けた洞察を深める。 事前学修 2.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践

デジタル・イノベーション探究 A（デジタライゼーション・ビジネスモデル・プラットフォームビジネス）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

桑本　謙介（くわもと　けんすけ）

▌授業の概要

本講義では、デジタル時代におけるビジネスモデルの革新とプラットフォームビジネスの台頭の事例やそこでのナレッジを探求する。最新のデジタル・イノベーション事例を分析しながら、受講者がビジネスモデルを構築・評価する能力を養成していくことを目的とする。同時に、将来のキャリアに不可欠なコミュニケーション能力と「伝える力」の向上も目指す。結果、現代社会に適応した「効果的な問題解決やビジネスモデルの作成」と「効果的な伝達方法」を学び、最終的には自身のアイデアを魅力的なプレゼンテーションにまとめ上げる実践的なスキルを身につける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 1）

一般目標：一般目標：実際のビジネス事例を学び、自らビジネスモデルを構築する模擬的な体験を行う。一方で過去の講義から情報を収集して多くの意見を取りまとめて相手に伝えるという部分の習熟が必要と考え、複雑な事象を抽象化し、論理的に伝えるための論理展開や表現方法を学ぶことに時間を割く。

個別目標：個別目標：数あるフレームワークやテクニックの中から自分が使えそうなものを選択して、自ら伝えたい内容を構成してプレゼンテーションを作成ができるようになる。また多くの人材や案の中から自分が携わったのもが選ばれやすくなるためにどうするのが良いかを考えられるスキルをつける。

▌履修条件

授業内容を理解し、将来これらのスキルを役立てていく意欲を持っていること。PC の操作が可能であること。(成果物作成は携帯電話等でも作成可能であるが、PC での作成を前提とする)本講座内容は講座の進捗に応じて新しい題材を行うこともある。

▌評価基準・方法

最終プレゼンテーション提出：60 %
授業への参加：40 %
試験は行わない

▌フィードバック方法

体調不良等様々な理由により出席できない場合には授業内容をフィードバックするなど個別に対応するなどで極力対応することとする。提出物提出後、改善が必要な提出物についてはレビューとともに返却し、再提出させる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （自分もしくはグループで自ら題材を考え、プレゼンテーションを作成する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業スライドの閲覧とメモ）

▌教科書

教科書は使用しない。資料は manaba にて配布する。

▌参考書

講座の中で適宜推奨図書や引用を紹介することとする。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：本授業の目的やゴールの確認と講座全体の説明を行う。可能な限り講師と受講者の双方向で会話を行い授業の方向性に関して合意を取る。 事前学修 2.0hr：本授業への期待を考えてくること 事後学修 2.0hr：自分なりにゴールを設定すること
2 回	**授業テーマ：デジタル・イノベーションの概要と質問の技術** 授業内容：デジタル・イノベーションの定義と重要性に関して学ぶ。またテクニックとしての「聞く力」について考える。 事前学修 2.0hr：コミュニケーションにおける質問の役割を自分なりに考えておくこと 事後学修 2.0hr：授業内容を意識して日常で質問を行うことでの問題解決を行ってみること
3 回	**授業テーマ：デジタライゼーションがもたらす企業変革とファシリテーションとそれを用いたコミュニケーション** 授業内容：デジタライゼーションとデジタルトランスフォーメーションについて学ぶ。また会議体をうまく運営するための技法としてファシリテーションの基礎を学ぶ。 事前学修 2.0hr：自分が仕切るような話し合いがあった際に何を準備するかを考えておくこと 事後学修 2.0hr：日常生活でファシリテーションが使えるところを考えて実践してみること
4 回	**授業テーマ：デジタルビジネスモデルの類型とプレゼンテーションの構造と作成** 授業内容：従来型ビジネスモデルとデジタルビジネスモデルの違いを考える。またプレゼンテーション技法の概要を学ぶ。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションが必要なシーンを想像しておくこと 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成にあたっての必要な準備について自分なりに整理をしておくこと
5 回	**授業テーマ：メモと議事録を取る技術** 授業内容：ビジネスは相手があることで、相手の言いたいことを理解し、文章化することが極めて重要になる。そのため Youtube を見ながら実際にメモを取ってみて、それを議事録にすることを行う。 事前学修 2.0hr：自分がとるメモを見直してみること 事後学修 2.0hr：機会を見つけて自分のメモを議事録の体裁にしてみること
6 回	**授業テーマ：論理学とロジカルシンキング第 1 回** 授業内容：論理的に物事を考えて表現するためのスキルを学ぶ。単なるフレームワークだけではなく、その背景にある歴史や文化にも触れる。 事前学修 2.0hr：可能であればロジカルシンキングが何かということを Web 等で調べてから講義に望むこと 事後学修 2.0hr：内容が難しいため、授業内容を復習すること
7 回	**授業テーマ：論理学とロジカルシンキング第 2 回** 授業内容：論理的に物事を考えて表現するためのスキルを学ぶ。単なるフレームワークだけではなく、その背景にある歴史や文化にも触れる。また最終提出物のための課題を検討する。 事前学修 2.0hr：第 6 回の講座内容を復習すること 事後学修 2.0hr：最終提出物 (レポート) に向け、課題を検討すること

8回	**授業テーマ：プレゼンテーション実施にあたっての確認ポイント** 授業内容：プレゼンテーションは、うまくやるよりも、やってはいけないことをやらないという観点が必要になる。そのために自らが作成したプレゼンテーションを実施する際に確認しておいた方が良いポイントを学ぶ。 事前学修 2.0hr：第 4 回の講座の復習をしてくること 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションを行うイメージを付けて復習をすること
9回	**授業テーマ：問題解決とネゴシエーション第 1 回** 授業内容：ビジネスや日常生活において遭遇する問題や課題に対処し、効果的な解決策を見つける方法について学ぶ。(本講座内容は講座の進捗に応じて新しい題材を行うこともある) 事前学修 2.0hr：第 2 回の講座の復習をすること 事後学修 2.0hr：内容が難しいため、授業内容を復習すること
10回	**授業テーマ：問題解決とネゴシエーション第 2 回** 授業内容：ビジネスや日常生活において遭遇する問題や課題に対処し、効果的な解決策を見つける方法について学ぶ。第 1 回で学びきれなかった内容を扱う。　(本講座内容は講座の進捗に応じて新しい題材を行うこともある) 事前学修 2.0hr：第 9 回の講座内容を復習すること 事後学修 2.0hr：日常生活で本手法を 1 回実践すること
11回	**授業テーマ：サービスデザインとサービスのリスクから提案を考える(第 1 回)** 授業内容：自分達がビジネスを行うことを考えた時に、サービスの設計やそのための情報収集が必要になる。そのためのサービスデザインの基礎を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に Web 等でサービスデザインはどういうものかを調査すること 事後学修 2.0hr：内容が難しいため、授業内容を復習すること
12回	**授業テーマ：図の効果的な使い方** 授業内容：プレゼンテーション作成にあたって図や表を使ってわかりやすく表現する技術を学ぶ。 事前学修 2.0hr：どのようなものでもよいのでプレゼンテーション資料を入手し、図の使い方について考察すること 事後学修 2.0hr：授業前に自分が作った図を題材に相手に伝わりやすいように考え直してみること
13回	**授業テーマ：サービスデザインとサービスのリスクから提案を考える(第 2 回)** 授業内容：カスタマージャーニーマップの基礎を学び、IT を使った課題解決を例にカスタマージャーニーマップがどのようなものであるかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：第 11 回の講座内容を復習すること 事後学修 2.0hr：授業内容を復習すること
14回	**授業テーマ：サービスデザインとサービスのリスクから提案を考える(第 3 回)** 授業内容：今までの授業を通して、自分で考えた題材で、サービスをデザインし、安心してサービスを使えるようなプレゼンテーション資料を作成する 事前学修 2.0hr：自分の最終提出物の題材と誰に対するプレゼンテーションであるかを決定しておくこと 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションのシナリオを作成すること
15回	**授業テーマ：最終提出物作成にあたってのブレーンストーミング** 授業内容：最終提出物作成に向けての質疑応答や、受講者のモデルのケースを扱いどのようにプレゼンテーションを組み立てていくかを考える。 事前学修 2.0hr：自分の最終提出物のイメージをつけてくること 事後学修 3.0hr：最終提出物の作成を行うこと

デジタル・イノベーション探究 B（顧客価値・顧客データ分析・CRM）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

前田　篤志（まえだ　あつし）

▌授業の概要

従来の経験則による顧客を状況として把握するのではなく、もっと多角的な視野から顧客を捉えるためには、情報量が膨大になる。そこで、顧客をデータとして把握することによって、多角的に顧客分析を実施する方法についてデータサイエンスの視点で学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 1）

一般目標：①顧客が何を求めているのかを把握することができる
②主観的/客観的の区別ができる
③定性的/定量的の違いを理解できる

個別目標：(1) データサイエンスに基づく分析ができる
(2) 実証分析とケーススタディの違いがわかる
(3) 社会科学と自然科学におけるアプローチの違いがわかる

▌履修条件

中間発表および最終発表で、PC/タブレットが必要。

▌評価基準・方法

演習: 35 点（適宜実施）
Contribution: 15 点（1 点× 15 回）
プレゼンテーション試験: 50 点

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba もしくは Classroom を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （顧客のニーズを把握するためのディスカッションを実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （担当教員の許可のもと、使用可）

▌教科書

特になし。

▌参考書

適宜アナウンスする。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：初回ガイダンス** 授業内容：本講義の進め方/評価方法について説明する。 事前学修 2.0hr：どの様な授業が実施されるのかを把握しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容および進め方についてチェックする。
2 回	**授業テーマ：お客様は神様か** 授業内容：-「お客様は神様です」という考え方について議論する。 -なぜ顧客を知る必要があるのかについて考える。 事前学修 2.0hr：お客様は神様という考え方は日本固有なのかについて予習する。 事後学修 2.0hr：講義内容の把握
3 回	**授業テーマ：分析とは何か** 授業内容：様々な分析手法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：分析と集計の違いについて調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の把握
4 回	**授業テーマ：ケーススタディについて** 授業内容：ケーススタディについて学ぶ。 定量分析と定性分析について学ぶ。 事前学修 2.0hr：自分のアルバイトや興味のあることについて議論できるようにお準備しておくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容の把握
5 回	**授業テーマ：自分の問題意識は何か-リサーチクエスチョンをたてる-** 授業内容：自分の調べたいことを明確にするために、リサーチクエスチョンの立て方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：自分のアルバイトや興味のあることについて議論できるようにお準備しておくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容の把握
6 回	**授業テーマ：中間試験/中間発表** 授業内容：これまでの分析方法を用いて顧客提案資料を作成する。 事前学修 3.0hr：中間試験準備 事後学修 2.0hr：講義内容の把握
7 回	**授業テーマ：定量的と定性的** 授業内容：定量データと定性データの取扱いについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：リサーチクエスチョンを研ぐ。 事後学修 2.0hr：講義内容の把握
8 回	**授業テーマ：データに基づくマーケティングについて** 授業内容：経験則ではなくデータに基づくマーケティングについて学ぶ 事前学修 2.0hr：リサーチクエスチョンを研ぐ。 事後学修 2.0hr：講義内容の把握
9 回	**授業テーマ：ケーススタディの選定** 授業内容：ケーススタディの選定 （昨年度実施例: TDL を科学する） 事前学修 2.0hr：リサーチクエスチョンを研ぐ。 事後学修 2.0hr：講義内容の把握
10 回	**授業テーマ：仮説構築** 授業内容：データ分析を実施する上で重要な仮説の立て方について学ぶ。 事前学修 2.0hr：筆記用具持参すること 事後学修 2.5hr：講義内容の把握

11回	**授業テーマ：SWOT 分析** 授業内容：SWOT 分析について学ぶ。 事前学修 2.0hr：筆記用具持参すること 事後学修 2.5hr：講義内容の把握
12回	**授業テーマ：SWOT 分析** 授業内容：SWOT 分析について討議する。 事前学修 2.0hr：筆記用具持参すること 事後学修 2.5hr：講義内容の把握
13回	**授業テーマ：SWOT 分析を顧客分析に活かす** 授業内容：顧客分析について学ぶ。 事前学修 2.0hr：筆記用具持参すること 事後学修 3.0hr：講義内容の把握
14回	**授業テーマ：最終発表の準備** 授業内容：最終発表の準備をする。 事前学修 2.0hr：発表の論理を明確にする。 事後学修 4.0hr：講義内容の把握
15回	**授業テーマ：最終発表** 授業内容：最終発表 事前学修 4.0hr：発表準備 事後学修 0.5hr：反省および自己講評

デジタル・イノベーション探究 C（プロジェクト管理）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

櫻井　俊輔（さくらい　しゅんすけ）

▌授業の概要

この科目は、最新版のグローバル・スタンダード(PMBOK ®ガイド第 7 版)及び進化型組織デザインプログラム『DXO（ディクソー)』に基づき、多様なステークホルダー(利害関係者)との連携による目標達成の手法「プロジェクトマネジメント」の基本的な知識と技術の体得を目的とする。
具体的には、PBL（課題解決型学習)による実践を中心に、実習・グループワーク等の体験的学習を通して訓練を積み、その知見の表面的な理解に留まらず、現実に適用するための感性を養う。
プロジェクトマネジメントの体得は、デジタル領域に限らず広く社会全般でイノベーションを推進できるリーダーとして活躍するための第一歩である。
※なお、以下は諸事情により変更が生じる場合もある。manaba のコースニュースや講義中に告知するので留意すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 1）

一般目標：目標達成の手法である「プロジェクトマネジメント」の基本的な知識と技術を体得する
個別目標：①プロジェクトマネジメントの全体像や要素の関係性を理解し、説明できる
②各回のテーマとなるツールや技法を理解し、提示される課題を作成できる
③円滑にプロジェクトを推進するために必要な人間力について実感できる

▌履修条件

・各々の技法を用いるためには論理的思考力が必須であるため「ロジカル思考」を履修済みであること
・授業に必要な連絡手段を確保するため、manaba からの通知を受信する手段を確保できること
・授業中もインターネットを活用するため、アクセスできる端末(スマートフォン・タブレット・パソコン)を持参できること
・一方通行の講義よりも双方向の実習が多いため、自力で日本語での意思疎通が可能であり、積極的に参画する自主性があること

▌評価基準・方法

レポート 60 点(4 点× 15 回)・レポートピアレビュー 30 点 (2 点× 15 回)・貢献度(相互評価) 10 点及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席をしないものは評価しない。
※定期試験なし

▌フィードバック方法

課題のフィードバックや諸連絡は、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （PBL（課題解決型学習)・実習・ディスカッション・プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （インターネットは使用するが PC は必須としない(スマートフォンやタブレットで問題ない)）

▌教科書

使用しない

▌参考書

特になし
※必要に応じて授業内で随時紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション(目標、全体スケジュール、その他)** 授業内容：履修にあたり、講師のひととなり・一緒に学ぶ仲間のひととなり・履修のルール・次回までの課題などを理解することで、本講義の受講に向けた気づきを得る。 事前学修 1.0hr：自分なりのプロジェクト経験をまとめてくる 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
2 回	**授業テーマ：社会構造の変化とプロジェクトマネジメントの在り方** 授業内容：プロジェクトとは独自の価値を実現する有期的な活動である。ここでは、社会構造の変化を理解し、それに伴いプロジェクトやプロジェクトマネジメントの在り方がどのように変化してきているかをディスカッションを交えて理解する。 その上で、将来自分自身がプロジェクト管理を行う際の選択肢を持てるようにする。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
3 回	**授業テーマ：プロジェクトマネジメントの土台①　DOJYO BASE** 授業内容：プロジェクトを円滑に進めるために必要な組織の土壌づくりを実習やディスカッションを交えて理解する。また、プロジェクト組織が目指すべき『北極星』の定め方を習得する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
4 回	**授業テーマ：プロジェクトマネジメントの土台②　組織 OS の種類とプロジェクトマネジメント** 授業内容：プロジェクト組織の種類によって、情報伝達・意思疎通の仕方が異なります。ここではプロジェクト組織の OS の違いによって、プロジェクトマネジメントがどのように変わるかを具体的な実例やディスカッションを交えて理解する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
5 回	**授業テーマ：プロジェクトマネジメントの土台③　RINGO PROCESS** 授業内容：これからの社会で当たり前になっていく自律分散型組織のおける意思決定の仕組みを実習やディスカッションを交えて理解し、習得する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
6 回	**授業テーマ：戦略文書(プロジェクト概要)** 授業内容：プロジェクトの開始前や開始時には、プロジェクトについての戦略を文書化する。ここでは、それらの戦略文書の概要・考え方・書き方などを PBL（課題解決型学習)による実習やディスカッションを交えて理解する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
7 回	**授業テーマ：計画書　コミュニケーション・マネジメント計画書／プロジェクトマネジメント計画書** 授業内容：プロジェクトの目標達成とはプロジェクトマネジメントを計画的に継続した結果に他ならない。ここでは、プロジェクトマネジメント計画と、プロジェクトを推進する中で度々発生する変更の概念・考え方・計画書の書き方などを PBL（課題解決型学習)による実習やディスカッションを交えて理解する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践

8回	**授業テーマ：不確かさ(リスク)** 授業内容：プロジェクトが目標達成するまでの過程には多くの不確定要素が存在する。ここでは、それらの概念・考え方・分析方法などを PBL(課題解決型学習)による実習やディスカッションを交えて理解する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
9回	**授業テーマ：アジャイルプロジェクトマネジメント①** 授業内容：変化が激しい現代に求められるアジャイル的なプロジェクトマネジメントの概念やステークホルダーの役割、マネジメントプロセス、要求の決定方法について実習やディスカッションを交えて理解する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
10回	**授業テーマ：アジャイルプロジェクトマネジメント②** 授業内容：アジャイル的なプロジェクトマネジメントのプロセス実行方法について実習やディスカッションを交えて理解する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
11回	**授業テーマ：階層チャート(WBS)** 授業内容：プロジェクトは、目標達成に必要な「要素」に分解することで、詳細な計画となり、実行に移せるようになる。ここでは、その細分化のための技術である WBS（作業分解図)の概念・考え方・作成方法などを PBL（課題解決型学習)による実習やディスカッションを交えて理解する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
12回	**授業テーマ：視覚的データと視覚的情報　ガントチャート、プロジェクト・スケジュール・ネットワーク図** 授業内容：視覚化されたデータはプロジェクトにおいて意思決定と優先順位付けに活用される。ここでは、スケジュールの概念・見積もり方・視覚化の方法などを PBL（課題解決型学習)による実習やディスカッションを交えて理解する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
13回	**授業テーマ：ベースライン(予算)** 授業内容：プロジェクト活動には、人件費や原材料費など様々なコスト(費用)が発生する。ここでは、見積もり手法・コスト管理表の作成方法・コストオーバー時の対応などを PBL（課題解決型学習)による実習やディスカッションを交えて理解する。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践
14回	**授業テーマ：報告** 授業内容：プロジェクトでは、様々なステークホルダーに情報を伝達する必要がある。ここでは、報告が求められる場面について考え、効果的な報告のあり方や具体的な方法などを PBL（課題解決型学習)による実習やディスカッションを交えて理解する。 事前学修 3.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 1.0hr：講義内容の復習・課題の実践
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：ここまで体得してきた知見を総括し、今後の実社会での実践に向けて理解を深める。 事前学修 1.0hr：前週の講義で提示された課題について準備して参加すること 事後学修 3.0hr：講義内容の復習・課題の実践

デジタル・イノベーション探究 D（デジタライゼーションと SDGs・国際社会）

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

谷本　浩治 (たにもと　こうじ)

▌授業の概要

大きく分けて 3 つのフェーズから講義を行う
1) デジタライゼーションの概要説明・ディスカッション
2) SDGs の課題感と解決方法を学ぶ
3) 国際社会の課題感と解決方法を学ぶ

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 3）

一般目標：一般目標:1) 知識: デジタライゼーションとは何かを学び、他者に説明できるようになる。また、SDGs や国際社会の課題を理解し、ソリューションを検討するプロセスと判断軸を学ぶ。
2) 態度: 他の講義同様学生同士で活発なコミュニケーションを取り・クラスの学びに貢献すること
3) 技能: デジタライゼーションを通して課題に対するソリューション提供プロセスを理解し、第一の地球・第二の地球/リアル・オンラインの使い分けができるようになる。
個別目標：同上

▌履修条件

1 年次の履修科目を全て履修済みの学生

▌評価基準・方法

出席・講義中の発言及び試験結果

▌フィードバック方法

manaba 及び講義中にフィードバックを実施予定

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （動画及び教育コンテンツ）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワークに利用する可能性あり）

▌教科書

事前に配布する資料・及び講師指定の教育コンテンツ

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：チュートリアル** 授業内容：チュートリアル:自己紹介 (チェックイン) 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
2 回	**授業テーマ：デジタライゼーションとは (第一の地球・第二の地球/リアル・オンライン)** 授業内容：株式会社 KT VACE 代表取締役社長 谷本浩治 先生 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
3 回	**授業テーマ：デジタライゼーションとは (第一の地球・第二の地球/リアル・オンライン)** 授業内容：株式会社 KT VACE 代表取締役社長 谷本浩治 先生 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
4 回	**授業テーマ：デジタライゼーション (AI)** 授業内容：CPA エクセレントパートナーズ株式会社 情報システム部 AI プロジェクトリーダー 曽我 健二郎 先生 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
5 回	**授業テーマ：デジタライゼーション (AI)** 授業内容：CPA エクセレントパートナーズ株式会社 情報システム部 AI プロジェクトリーダー 曽我 健二郎 先生 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
6 回	**授業テーマ：デジタルイノベーション×ＳＤＧ s** 授業内容：■ 株式会社 ADK マーケティング・ソリューションズ　シニアプランニングディレクター 大山 晋 先生 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
7 回	**授業テーマ：デジタルイノベーション×ＳＤＧ s** 授業内容：株式会社 ADK ホールディングス 大山 晋 先生 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
8 回	**授業テーマ：デジタライゼーションから見る SDGs** 授業内容：合同会社 みなもと 代表社員/書道家 遠藤 夕幻 先生 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
9 回	**授業テーマ：デジタライゼーションから見る SDGs** 授業内容：合同会社 みなもと 代表社員/書道家 遠藤 夕幻 先生 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
10 回	**授業テーマ：デジタライゼーションから見る SDGs** 授業内容：NLP コーチングスクール Heart Cross Over LLC.CEO/環境活動団体 EarthCrossOver 代表 橋詰 牧先生 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出

11回	**授業テーマ：デジタライゼーションから見る SDGs** 授業内容：NLP コーチングスクール Heart Cross Over LLC.CEO/環境活動団体 EarthCrossOver 代表 橋詰 牧先生 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
12回	**授業テーマ：医療のデジタライザーションと国際社会** 授業内容：株式会社 pharmake 代表取締役社長 田口 恵実 先生 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
13回	**授業テーマ：医療のデジタライザーションと国際社会** 授業内容：株式会社 pharmake 代表取締役社長 田口 恵実 先生 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
14回	**授業テーマ：デジタライゼーション (大手 EC プラットフォーム) から見る国際社会** 授業内容：Life Quest Alliance 代表社員 福永 博臣 先生 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出
15回	**授業テーマ：デジタライゼーション (大手 EC プラットフォーム) から見る国際社会** 授業内容：Life Quest Alliance 代表社員 福永 博臣 先生 事前学修 2.0hr：事前課題 事後学修 2.0hr：課題提出

デジタル・イノベーション探究 E（オムニチャネル・OMO・D2C）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

渡辺　泰輔（わたなべ　たいすけ）

▌授業の概要

このコースは、デジタル変革における「顧客」、「競争」という 2 つのビジネス戦略領域をトピックとして学習することを目的としています。オムニチャネル戦略、実店舗とオンラインストアの融合（OMO）・顧客との直接的なつながりによる直接販売（D2C）などの事例を通じて、企業におけるこれら 2 つの領域の意味と応用について探究・分析します。
授業はオンライン実施日とオフライン実施日があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 1）

一般目標：デジタル変革で起こっている変化の基礎的な知識を持っている
個別目標：①デジタル変革についてを自ら考察している。②オムニチャネル、OMO、D2C とは何かを理解している。③マーケティング視点での DX を理解している。

▌履修条件

授業に参加し、デジタル変革によって起こっている変化を理解し、ケーススタディを通して、自ら考察し、課題を提出すること

▌評価基準・方法

出席 (30%) 質問や発言で加点、レポート提出 (30%)、最終発表 (40%)

▌フィードバック方法

レポートに対するフィードバックと発表内容に対する講義でのフィードバック

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （個人またはグループワークを行い、その内容を発表する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （オンライン開講日の Zoom での授業参加、レポート課題作成と発表）

▌教科書

① DX 戦略立案書 (デビッド・ロジャース, 白桃書房)　②世界最先端のマーケティング（奥谷孝司・岩井琢磨, 日経 BP）
必要に応じて資料を manaba にて配布する。

▌参考書

③リテールデジタルトランスフォーメーション（三嶋憲一郎, インプレス）
授業の中で適宜推奨図書や引用を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：本講義の目的や進め方、評価方法について説明を行う。可能な限り講師と受講者の双方向で会話を行い授業の方向性に関して合意を取る。また自己紹介（クラスの履修理由・希望業種を含む）も行う。 事前学修 2.0hr：どのような授業が行われるのかを把握し、その期待を考えてくること 事後学修 2.0hr：講義内容および進め方についてチェックする。 デジタルトランスフォーメーションロードマップ（デビット・ロジャース, 東洋経済新報社)　1 章を読む
2 回	**授業テーマ：講義: デジタル変革と戦略の 5 つのドメイン** 授業内容：社会全体のデジタル変革がもたらす変化を学ぶ。 事前学修 2.0hr：デジタルトランスフォーメーションロードマップ（デビット・ロジャース, 東洋経済新報社)　第 1 章を読む 事後学修 2.0hr：デジタルトランスフォーメーションロードマップ（デビット・ロジャース, 東洋経済新報社)　第 2 章を読む
3 回	**授業テーマ：講義：カスタマーネットワーク** 授業内容：カスタマーネットワークモデル、マーケティングファネル、関連する顧客行動について学びます。 事前学修 2.0hr：デジタルトランスフォーメーションロードマップ（デビット・ロジャース, 東洋経済新報社)　第 2 章を読む 事後学修 2.0hr：デジタルトランスフォーメーションロードマップ（デビット・ロジャース, 東洋経済新報社)　第 2 章を読む
4 回	**授業テーマ：講義：カスタマーネットワーク戦略ジェネレーター** 授業内容：新しいマーケティングコミュニケーション、顧客体験、新製品・サービスイノベーションを生み出すカスタマーネットワークの中核的行動について学ぶ。 事前学修 2.0hr：デジタルトランスフォーメーションロードマップ（デビット・ロジャース, 東洋経済新報社)　第 2 章を読む 事後学修 2.0hr：世界最先端のマーケティング（奥谷孝司・岩井琢磨, 日経 BP）Part1-3 を読む
5 回	**授業テーマ：講義：チャネルシフト (オムニチャネル)** 授業内容：デジタル変革がもたらすチャネル（顧客接点）の変化、複数接点を持つオムニチャネルへの進化を学ぶ 事前学修 2.0hr：世界最先端のマーケティング（奥谷孝司・岩井琢磨, 日経 BP）Part1-3 を読む 事後学修 2.0hr：世界最先端のマーケティング（奥谷孝司・岩井琢磨, 日経 BP）Part1-3 を読む
6 回	**授業テーマ：ケーススタディ (オムニチャネル)：ツルハドラッグ** 授業内容：オムニチャネルの考え方に基づき、ツルハドラッグの事業変化をケースとして学ぶ。 事前学修 2.0hr：世界最先端のマーケティング（奥谷孝司・岩井琢磨, 日経 BP）Part1-3 を読む 事後学修 2.0hr：レポート（A4・1 枚程度）：①ツルハドラッグの事業内容を見る ②ツルハドラッグが実現している顧客体験を考察してください。 世界最先端のマーケティング（奥谷孝司・岩井琢磨, 日経 BP）Part4 を読む
7 回	**授業テーマ：講義: チャネルを超えた顧客体験（OMO）** 授業内容：デジタル変革がもたらす顧客の購買行動の変化に伴う、チャネルを組み合わせた顧客体験の提供を学ぶ。 事前学修 2.0hr：レポート（A4・1 枚程度）：①ツルハドラッグの事業内容を見る ②ツルハドラッグが実現している顧客体験を考察してください。 ＊講義当日に提出してください。 世界最先端のマーケティング（奥谷孝司・岩井琢磨, 日経 BP）Part4 を読む 事後学修 2.0hr：世界最先端のマーケティング（奥谷孝司・岩井琢磨, 日経 BP）Part5 を読む
8 回	**授業テーマ：ケーススタディ (OMO)：無印良品** 授業内容：OMO の考え方に基づき無印良品の顧客体験を学ぶ。 事前学修 2.0hr：世界最先端のマーケティング（奥谷孝司・岩井琢磨, 日経 BP）Part5 を読む 事後学修 2.0hr：レポート（A4・1 枚程度）：①無印良品の事業内容や図書を読む②無印良品が実現している顧客体験を考察し論じてください。 デジタルトランスフォーメーションロードマップ（デビット・ロジャース, 東洋経済新報社)　3 章を読む
9 回	**授業テーマ：講義：ビジネスプラットフォーム** 授業内容：ビジネスプラットフォームの性質・種類について学び、デジタルがプラットフォームにどのような影響を与えるかを分析する。 事前学修 2.0hr：デジタルトランスフォーメーションロードマップ（デビット・ロジャース, 東洋経済新報社)　3 章を読む レポート（A4・1 枚程度）：①無印良品の事業内容や図書を読む②ウォルマートが実現している顧客体験を顧客体験モデルで考察し論じてください。 ＊講義当日に提出してください。 事後学修 2.0hr：あなたが最終発表で取り上げる企業の①事業目的 ②事業目標 ③事業内容 ④業績概要 ⑤組織形態をまとめてください（形式自由）

10回	**授業テーマ：中間発表：研究対象企業** 授業内容：あなたの研究対象として取り上げる企業を決め、その企業の概要を発表する。 事前学修 2.0hr：デジタルトランスフォーメーションロードマップ（デビット・ロジャース, 東洋経済新報社)　3 章を読む 自身が取り上げる企業の①事業目的 ②事業目標 ③事業内容 ④業績概要 ⑤組織形態をまとめる（形式自由）　＊講義当日に持参提出してください。 事後学修 2.0hr：デジタルトランスフォーメーションロードマップ（デビット・ロジャース, 東洋経済新報社)　3 章を読む
11回	**授業テーマ：講義：プラットフォームの競争上の利点** 授業内容：ビジネスプラットフォームの強力な利点について学び、特定の企業がどのようにプラットフォームビジネスモデルに基づいて事業を構築してきたかを研究する。 事前学修 2.0hr：デジタルトランスフォーメーションロードマップ（デビット・ロジャース, 東洋経済新報社)　3 章を読む 事後学修 2.0hr：②リテールデジタルトランスフォーメーション(三嶋憲一郎, インプレス)第 1 章を読む
12回	**授業テーマ：講義：顧客との距離が近いブランド(D2C)** 授業内容：デジタル変革がもたらす企業の顧客への価値提案、コミュニケーションの変化を学ぶ。 事前学修 2.0hr：②リテールデジタルトランスフォーメーション(三嶋憲一郎, インプレス)第 1 章を読む 事後学修 2.0hr：レポート(A4・1 枚程度)：① FABRIC TOKYO の事業進化を確認する。② FABRIC TOKYO が実現している顧客価値を顧客価値モデルで考察し論じてください。
13回	**授業テーマ：ケーススタディ (D2C)：FABRIC TOKYO** 授業内容：D2C 企業のビジネスモデルの考え方に基づき、FABRIC TOKYO の価値提案を学ぶ。 事前学修 2.0hr：レポート(A4・1 枚程度)：① FABRIC TOKYO の事業を確認する。② FABRIC TOKYO が実現している顧客価値を考察し論じてください。 ＊講義当日に提出してください。 事後学修 2.0hr：自身が取り上げる企業のこれからあるべき①顧客価値モデル ②顧客提案モデル を発表する（形式自由）
14回	**授業テーマ：最終発表** 授業内容：自身の研究対象として取り上げた企業への改善提言を発表する。 事前学修 2.0hr：自身が取り上げる企業のこれからあるべき①顧客価値モデル ②顧客提案モデル を発表する（形式自由）　＊講義当日に持参提出 事後学修 2.0hr：レポート(A4・1 枚程度)：ここまでの自身の気づきを総括してまとめてください。
15回	**授業テーマ：フィードバック** 授業内容：発表へのフィードバック・質疑と協議 事前学修 2.0hr：レポート(A4・1 枚程度)：ここまでの自身の気づきを総括してまとめてください。　＊講義前日に提出 事後学修 2.0hr：レポート(A4・1 枚程度)：ここまでの自身の気づきを総括したものにフィードバックを記述し考察してください。 *提出不要

デジタル・イノベーション探究 F（経営情報システムと情報セキュリティ）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

橋本　尚興（はしもと　ひさおき）

▌授業の概要

経営情報システムとは、会社を経営するために必要となるシステムであり、経理、人事、管理など多岐にわたりますが、この授業では会社の中で日々行われている「意思決定」をサポートするシステムを中心に説明します。また、セキュリティシステムは重要な経営情報システムのひとつとして位置づけられており、かつ即応が求められます。このため、皆さんが中小企業のセキュリティ担当者になったと想定して、必要となる対応を実践形式で説明します。なお、授業内容は環境や諸条件により変更する場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 1）

一般目標：自身が所属する会社/組織に対して
　　意思決定に資するシステムについて理解できるようになる。(経営情報 1)
　　基礎的なセキュリティ対応を理解できるようになる。（経営情報 1）
個別目標：IT を利活用して意思決定に必要なデータ収集を行う方法を学び理解する。
　　セキュリティの基礎を学び、自身の組織/会社に対するファーストアクションがとれるようになる。

▌履修条件

IT に関する基礎的知識を有していること。
自らの考えを話し、積極的に授業に参加する意欲を持っていること。

▌評価基準・方法

・学期末テスト　　（４３%）
・授業への積極的な参加と貢献（１５%）
・授業毎の課題　　（４２%）
なお、全授業の８０%以上の出席、および学期末テストの受験を前提として評価します。

▌フィードバック方法

フィードバックは授業中、および manaba を通じて行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （個人にて演習を行い、その結果を発表します）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業での個人ワーク、課題対応のために利用します）

▌教科書

特にありません
適時資料を配布します

▌参考書

独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)　「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　授業の進め方** 授業内容：この授業の狙い、および進め方とスケジュールについて説明します。 事前学修 2.0hr：「経営情報システム」について調べておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
2回	**授業テーマ：経営情報システムと意思決定** 授業内容：経営情報システムについて説明するとともに、意思決定のためにも利用されていることを説明します。 事前学修 2.0hr：意思決定に必要なデータについて検討しておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
3回	**授業テーマ：代表的な経営情報システム(1)** 授業内容：代表的な経営情報システムのうち全社の基盤となるシステムについて説明します 事前学修 2.0hr：授業で指定した経営情報システムについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
4回	**授業テーマ：代表的な経営情報システム(2)** 授業内容：代表的な経営情報システムのうち知識やデータの利活用に用いるシステムについて説明します 事前学修 2.0hr：授業で指定した経営情報システムについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
5回	**授業テーマ：経営情報システムの導入** 授業内容：経営情報システムの構築にあたって留意しなければならないポイントについて説明します。 事前学修 2.0hr：経営情報システムの導入方法について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
6回	**授業テーマ：情報セキュリティとは　イントロダクション** 授業内容：情報セキュリティと基本概念と必要性とともに、守るべき「情報資産」について説明します 事前学修 2.0hr：情報セキュリティとは　について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
7回	**授業テーマ：セキュリティ担当者としての取り組み(1)** 授業内容：中小企業のセキュリティ担当者になった場合に、まず行うべきことについて説明します。 事前学修 2.0hr：セキュリティ担当者のファーストアクションについて検討しておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する。
8回	**授業テーマ：セキュリティ担当者としての取り組み(2)** 授業内容：セキュリティ管理体制を構築したのち、通常のシステム導入の際に必要となるセキュリティ対策について説明します 事前学修 2.0hr：セキュリティ管理体制について検討しておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する　アイデアシートを作成する
9回	**授業テーマ：セキュリティ担当者としての取り組み(3)** 授業内容：詳細リスク分析を説明するとともに、実際にリスク分析を行い、対策を検討します。 事前学修 2.0hr：リスク分性とは何かについて調べておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する

10回	**授業テーマ：セキュリティ担当者としての取り組み（4）** 授業内容：企業/組織におけるセキュリティに関する規定類の作成を行います 事前学修 2.0hr：セキュリティ規定について調べておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
11回	**授業テーマ：より強固にするための方策（1）** 授業内容：テレワークへの対応やクラウドサービスを利用する際の注意点など、より強固にするためのポイントについて説明します。 事前学修 2.0hr：テレワークに対応したセキュリティ対策を検討しておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
12回	**授業テーマ：プライバシーマーク** 授業内容：外部講師をお招きして「プライバシーマーク」の認定作業について勉強します。 事前学修 2.0hr：プライバシーマークについて事前に調べておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
13回	**授業テーマ：より強固にするための方策（2）** 授業内容：基礎的なセキュリティ対策に必要となるテクノロジーについて確認をします。 事前学修 2.0hr：今までに学修したセキュリティに関する技術を復習しておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
14回	**授業テーマ：情報セキュリティ　インシデント対応** 授業内容：セキュリティ事故への対応など、より強固にするためのポイントについて説明します。 事前学修 2.0hr：セキュリティ事故を起こした事例について調べておく 事後学修 2.0hr：配布資料を読み返し、授業内容を整理する
15回	**授業テーマ：情報セキュリティと経営者　および　学期末テストの概要** 授業内容：情報セキュリティと経営者の関わりについて説明するとともに、この授業の「まとめ」を行います 事前学修 2.0hr：いままでの授業内容を振り返り、疑問や確認したいポイントをまとめておく。 事後学修 3.0hr：学期末テストに向けて授業の総復習を行う

デジタル・イノベーション探究 G（AI・RPA・深層学習）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

前田　篤志（まえだ　あつし）

▌授業の概要

我々の生活は「技術」によって支えられている。ここで使われている技術に着目し、技術を設計する思想について、人間からみた視点と、機械/コンピュータからみた視点で考えてみる。複数の視点を持つことが AI を理解する第一歩となり、この複眼視点が AI リテラシーを養う上では重要であることを理解する。本講義は、もはや「知っている」だけでは物事の真偽を判断できない時代において、何を以て「正しい」と判断できる AI リテラシーの醸成を目的とする。従って、オープンディスカッションを積極的に取り入れていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 1）

一般目標：① AI, 機械学習, 深層学習の違いが理解できること
② AI, 機械学習, 深層学習によって、何ができるのかをイメージできること
③ AI, 機械学習, 深層学習の概要を専門的な知識を要しないレベルで理解すること

個別目標：(1) AI リテラシーの向上
(2) マナー, リテラシー, ルールの違いを理解する
(3) G 検定合格を目標とする

▌履修条件

授業に必要な連絡は原則、メール、Classroom で行う。
よって、授業に関する情報は小まめにチェックすること。

▌評価基準・方法

演習/Excercize: 30 点 (2 点× 15 回)
Contribution: 15 点(1 点× 15 回)
試験: 55 点

▌フィードバック方法

課題などのフィードバックは manaba/mail/Classroom を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （UX 設計に関するディスカッション(ディベート形式)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （担当教員の許可のもと、使用可）

▌教科書

使用しない

▌参考書

”Deep Learning” by Ian Goodfellow, and Yoshua Bengio, The MIT Press.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：初回ガイダンス** 授業内容：各自自己紹介/授業の目標/スケジュール/その他 「知っている」と「理解している」の違いについて 事前学修 2.0hr：1 分間スピーチ(自己紹介)の内容を準備する 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
2 回	**授業テーマ：AI リテラシーについて** 授業内容：リテラシーとは何かについて理解する 事前学修 2.0hr：自分が「知っている」(ジャンル不問)ことを最低 10 項目書き出しておく 事後学修 2.0hr：自分が「知っている」ことを第三者に理解させることができたかを確認する
3 回	**授業テーマ：これからの社会に必要な技術について** 授業内容：現在、我々の生活の中で使われている「技術」について学ぶ 事前学修 2.0hr：自分が生活していく中で欠かせない技術についてまとめておく 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
4 回	**授業テーマ：定量的と定性的/人間ができること、機械ができること** 授業内容：定量的評価と定性的評価の違いについて学ぶ 人間ができる作業、機械ができる作業について学ぶ 「問い」の設定について学ぶ 事前学修 2.0hr：理系と文系という考え方について自分なりの考えを準備する 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
5 回	**授業テーマ：AI 101** 授業内容：AI の歴史について学ぶ 事前学修 2.0hr：AI とは何かについて調べる 事後学修 2.0hr：世の中に使われている AI を調べてレポート提出(最低 5 つ以上)〆切: 次回講義時
6 回	**授業テーマ：コンピューターはどのように動いているのか** 授業内容：「答えを出す」と「理解する」は別物であることを理解する 事前学修 2.0hr：自分が使用している PC/スマートフォンの技術仕様を把握しておく 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
7 回	**授業テーマ：論理について** 授業内容：コンピュータの論理と人間の論理について学ぶ アルゴリズムという考え方について学ぶ 中間試験(次回)の概要説明 事前学修 2.0hr：これまで教わったロジカルシンキングについて復習しておく 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
8 回	**授業テーマ：中間試験** 授業内容：中間試験/プレゼンテーション 事前学修 2.0hr：アルゴリズムを説明できるようにする 事後学修 2.0hr：試験後講評を受け止め次回の試験に臨める様にする

9回	**授業テーマ：機械学習** 授業内容：「教師あり学習」と「教師なし学習」について学習する 事前学修 2.0hr：機械学習の具体例について調べる 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
10回	**授業テーマ：深層学習(ディープラーニング)** 授業内容：深層学習(ディープラーニング)について学ぶ 事前学修 2.0hr：深層学習(ディープラーニング)の使われている例について調べる 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
11回	**授業テーマ：深層学習(ディープラーニング)と AI リテラシー 1/ディスカッション(議論の発散)** 授業内容：ディープフェイクについて議論する 事前学修 2.0hr：深層学習(ディープラーニング)の Pro/Con を準備しておく 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
12回	**授業テーマ：深層学習(ディープラーニング)と AI リテラシー 2/議論をまとめる** 授業内容：自分たちに必要な AI リテラシーについて前回議論したものをまとめる 事前学修 2.0hr：前回の議論を把握する 事後学修 2.0hr：講義内容の復習/成果物として保存
13回	**授業テーマ：生成 AI について** 授業内容：生成 AI について学ぶ 事前学修 2.0hr：ChatGPT をインストールする 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
14回	**授業テーマ：シンギュラリティについて** 授業内容：シンギュラリティについて学ぶ 事前学修 2.0hr：能力の限界について予習しておく 事後学修 2.0hr：講義内容の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまでの授業についてまとめる 事前学修 2.0hr：これまでの授業で理解できなかったこと、わからなかったことを列記しておく 事後学修 3.0hr：試験準備

デジタル・イノベーション実践演習 B（プロポーザル管理・交渉）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

式町　久美子（しきまち　くみこ）

▌授業の概要

この授業では、IT でビジネスの課題解決を目指す組織への提案で成功するマネジメントプロセスを、実例を交えて体系的に学習する。
プロポーザル管理基礎で学習した知識をもとに、実案件を忠実に再現した IT ソリューションの提案依頼のケースを用いて企画から提案までの一連のプロセスを実践する。
IT 関連企業にて提案業務に従事した経験と、プロポーザルマネジメントの国際的な資格を有する教員が、その実務経験と専門知識を活かし、実践的かつ主体的な学習に導く。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 3）

一般目標：ビジネス課題を解決する IT ソリューションの提案において成功するためのマネジメントプロセスを実践を通じて理解する。
個別目標：・相手の立場に立ってわかりやすく伝えることができる
・ビジネスの課題を自分ごととして捉え、提案内容に反映するプロセスを説明できる
・多様な価値観や利害関係を捉えた上で協力や賛同を引き出す適切なコミュニケーションの仕方を説明できる
・顧客や提案者の双方に有益な成果を得られるよう、提案依頼に対する影響力の与え方を理解し説明できる
・限られた時間で最大の成果をあげる提案での計画の立て方を学び実施することができる
・提案内容の価値とその妥当性を適切に伝える方法を説明できる

▌履修条件

・プロポーザル管理基礎を受講していること
・授業は毎回出席し、内容をしっかり理解すること
・遅刻や早退をしないこと
・質問や意見を積極的に行い、クラス全体の学びに貢献すること

▌評価基準・方法

・原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする
・提出物（50 %）
・テスト（25 %）
・発言点（クラスへの貢献度）（25 %）
及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転学習、グループワーク、プレゼンテーション、ヒアリング）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PowerPoint、Excel を利用できるノートパソコンを持参すること）

▌教科書

式町久美子
IT エンジニアの必須スキル　　顧客に響くシステム提案メソッド （日経 BP 社）

▌参考書

式町久美子
受注を勝ち取るための外資系「提案」の技術　　日本人の知らない世界標準メソッド （ダイヤモンド社）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス ・本講座の学び方** 授業内容：このクラスの目的や進め方、学び合うためのクラスのグランドルールを検討し共有する。2 年次で履修したプロポーザル管理基礎での学びを振り返り、プロセスの全体像を捉える。 事前学修 2.0hr：2 年次のプロポーザル管理基礎で学んだことを振り返り、クラスで発言できるように準備する 事後学修 2.0hr：ケースや提案ソリューションのホームページを読み内容を理解する
2 回	**授業テーマ：提案ソリューションを理解する** 授業内容：提案素材としてのクラウドソリューションについての理解を深める。ターゲット市場、競合状況、提供価値、当該ソリューションの提案プロセスについて、実務者へのインタビューを通じ実態をつかむ。 事前学修 2.0hr：当該ソリューションに関する質問リストを準備する 事後学修 2.0hr：提案ソリューションについて理解したことを整理する
3 回	**授業テーマ：オポチュニティアセスメント** 授業内容：IT ソリューションの提案時のプロセスや、チーム編成、社内のステークホルダーの関与とマネジメントの必要性についてレクチャーを受けたのち、ある企業からの提案依頼の内容を読み解き、要求に適した役割分担や案件獲得に向けた計画書となるオポ゜チュニティプランを作成する。 事前学修 2.0hr：ケースを読み込みオポチュニティプランのフォーマットを用いて顧客分析や計画の叩き台を作成する 事後学修 2.0hr：オポチュニティプランに分析結果をアップデートする
4 回	**授業テーマ：顧客分析** 授業内容：潜在ニーズの理解に必要なコミュニケーション方法について理解をしたのち、顧客企業へのヒアリングを実施する。対話を通じて、当該企業が抱える課題に対する理解を深める。 事前学修 2.0hr：顧客への質問リストを用意する 事後学修 2.0hr：ヒアリングから得られた情報をもとにオポチュニティプランを更新する
5 回	**授業テーマ：オポチュニティ戦略の開発** 授業内容：顧客ニーズの理解を深め、差別化を図り優位性あるポジションを獲得するための、戦略検討会議を実践する。顧客の社内を動かすビジネスケースに繋がる「エグゼクティブサマリー」を作成する。 事前学修 2.0hr：オポチュニティプランをブラッシュアップする 事後学修 2.0hr：戦略会議の結果を踏まえてオポチュニティプランを更新する

6回	**授業テーマ：RFP シェイピング** 授業内容：提案依頼に関する顧客の考え方に影響を与える RFP シェイピングの概念を学習した上で、顧客からの提案依頼書の内容を理解し、提案依頼者と提案者双方にとって有益な結果を目指し、提案依頼に対する意見を提示する。 事前学修 2.0hr：コンプライアンスマトリクスの叩き台を作って持参する 事後学修 2.0hr：提案依頼に対する意見を整理する
7回	**授業テーマ：顧客との相互理解と提案の方向性の合意** 授業内容：グループで作成したエグゼクティブサマリーを顧客に提示し、企業のニーズに即した提案となっているかを検証する。対話を通じ修正すべき点を明らかにし、顧客と共に提案の方向性を定める。 事前学修 2.0hr：顧客との対話ができるレベルにエグゼクティブサマリーを整理しておく 事後学修 2.0hr：顧客との対話をもとにエグゼクティブサマリーをアップデートする
8回	**授業テーマ：コンプライアンスとレスポンシブネス** 授業内容：明示された要件やその背後にあるニーズにも理解を示し、両方を満たす提案内容を検討する手法を学び、それを活用して提案内容を具体的に検討する。 事前学修 2.0hr：コンプライアンスマトリクスのフォーマットを利用し、顧客要件と提案内容の叩き台を作成し準備する 事後学修 2.0hr：コンプライアンスマトリクスの内容をブラッシュアップする
9回	**授業テーマ：価格設定とバリュープロポジション** 授業内容：適正な価格設定を行うために必要となる価格と価値の関係性を理解する。また顧客に価値が正しく認識される、バリュープロポジションの表現方法を理解し、この一連の提案活動のワークにて実践する。 事前学修 2.0hr：ソリューションに関する価格情報を収集する 事後学修 2.0hr：バリュープロポジションの表現をブラッシュアップする
10回	**授業テーマ：プロポーザルプランの検討** 授業内容：高評価を獲得する提案書を効率よく作成するためのスケジュール設定やコンテンツプランを作成する。合意した計画に基づき、提案原稿の作成を開始する。 事前学修 2.0hr：コンテンツプランのフォーマットを用いて、提案書の章立てやテーマステートメントの叩き台を作って持参する 事後学修 2.0hr：コンテンツプランの内容をブラッシュアップする
11回	**授業テーマ：キックオフミーティングマネジメント** 授業内容：提案に関与するステークホルダーを関与させ、提案書作成を生産性高く行うための会議運営の方法を学び、実践する。 事前学修 2.0hr：キックオフミーティングのアジェンダを用意しチームで共有する 事後学修 2.0hr：提案書のテンプレートを作成しチームメンバーと共有する
12回	**授業テーマ：提案書作成** 授業内容：オポチュニティ戦略を提案内容に反映させ、評価を勝ち取る提案書の作成方法を学んだ上で、PowerPoint を利用して提案書を作成する。 事前学修 2.0hr：提案書のドラフトを作成する 事後学修 2.0hr：提案書のドラフトを作成する
13回	**授業テーマ：レビューマネジメント** 授業内容：ステークホルダーからの賛同を獲得するレビューのあり方を学んだ上で、翌週のプレゼンテーションに備え、提案内容について最終レビューを実践する。 事前学修 2.0hr：オポチュニティプランをブラッシュアップする 事後学修 2.0hr：レビューの結果をオポチュニティプランや提案書・プレゼンテーションに反映する
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：これまで作り上げてきた提案内容を、顧客に向けてプレゼンテーションを行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備をし、発表資料を提出する 事後学修 2.0hr：発表を通じて得た気づきを振り返る
15回	**授業テーマ：ラーニングレビュー** 授業内容：作成した提案書に対して、顧客から評価結果をもらう。これまで学習した内容を元に、提案業務のマネジメントプロセス全体をグループワークにて描き学びを振り返る。 事前学修 2.0hr：講義全体での学びを振り返る 事後学修 2.0hr：顧客や講師からのフィードバックから得られた学びを振り返る

デジタル・イノベーション実践演習 C（データマイニング）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

前田　篤志（まえだ　あつし）

▌授業の概要

本講義は、R を用いてデータマイニングができることを目標とする。
本授業の評価方法は、毎講義ごとに与えられる課題を実践することによって、確実に基本的なアルゴリズムの構築は自力でやり遂げることを目的としている。本講義は演習形式のため、毎回、R の動作する PC/タブレットの持参を要する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 1）

一般目標：① テクストマイニングできるようになる
② データ分析ができるようになる
③ データ分析した結果を説明すろことができる
個別目標：(1) 基本的な R の使い方を理解する
(2) アルゴリズムを構築することができる
(3) 自分で作ったアルゴリズムを説明することができる

▌履修条件

R が動作する PC/タブレットを持参すること。
R Cloud に login できる環境は各自で整えること。
授業に必要な連絡は原則、メール/manaba/Classroom で行う。
授業に関する情報は小まめにチェックすること。
課題等の提出期限は守ること。

▌評価基準・方法

最終試験: 50 点（4 点× 15 回）
授業中の Contribution: 15 点（1 点× 15 回）
課題: 35 点
ただし、出席不足の場合は、如何なる場合でも不合格とする。

▌フィードバック方法

課題などのフィードバックは manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プログラミングは教え合うことが重要である）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （担当教員の許可のもと使用すること）

▌教科書

使用しない（適宜プリント配布）

▌参考書

R ／ RStudio でやさしく学ぶプログラミングとデータ分析

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：初回ガイダンス** 授業内容：R インストール/R Cloud 設定 なぜ R を使うのか 事前学修 2.0hr：自分の PC 仕様を把握する 事後学修 2.0hr：R が動作することを確認する
2 回	**授業テーマ：R 101 part.1** 授業内容：R Cloud の使い方について学ぶ R で四則演算を行う プログラミングの基礎「代入」について理解する 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
3 回	**授業テーマ：R に必要な知識について** 授業内容：R プログラミング時に必要な最低限の知識について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
4 回	**授業テーマ：データマイニングとテキストマイニング** 授業内容：データマイニングとテキストマイニングについて学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
5 回	**授業テーマ：R 101 part.2** 授業内容：R で用いる関数について学ぶ 条件分岐について学ぶ 繰り返し処理について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
6 回	**授業テーマ：テキストマイニングの実践** 授業内容：形態素分析について学ぶ MeCab のインストール 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
7 回	**授業テーマ：ライブラリについて** 授業内容：形態素分析を実施する上での R ライブラリの使い方について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成

8回	**授業テーマ：R 分析** 授業内容：Bag of Words について学ぶ ネットワーク分析について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
9回	**授業テーマ：アンケート分析** 授業内容：アンケート分析について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
10回	**授業テーマ：クラスター分析** 授業内容：クラスター分析について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
11回	**授業テーマ：ビックデータ** 授業内容：ビックデータとは何かについて学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
12回	**授業テーマ：データサイエンス** 授業内容：データサイエンスについて学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
13回	**授業テーマ：データ分析** 授業内容：データの分析の仕方について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
14回	**授業テーマ：データ分析結果をどのように評価するか** 授業内容：データ分析の評価の仕方について学ぶ 事前学修 2.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと 事後学修 2.0hr：講義内容の把握/課題作成
15回	**授業テーマ：成果発表** 授業内容：これまで学んできたことを基に Python 分析した結果を発表する 事前学修 3.0hr：前回の講義でわからない点を事前に整理しておくこと/プレゼンテーション資料作成 事後学修 3.0hr：講義内容の把握/成果物作成

デジタル・イノベーション実践演習 D（デジタル・マーケティング技術）

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：経営情報専攻対象科目

渡辺　泰輔（わたなべ　たいすけ）

▌授業の概要

デジタルマーケティングとは、インターネットやソーシャルメディア、モバイルアプリ、IoT 等、あらゆるデジタル技術を活用したマーケティングを指しています。インターネットや情報通信技術の発達により、デジタルテクノロジーやデータを積極的に用いて科学的にマーケティング意思決定を行うアプローチが重要視されています。この講義では、デジタルマーケティングの基礎となる理論や概念、戦略を体系的に学び、企業のマーケティング戦略の事例を交えながら、実践に生かすことのできる知識とスキルを身につけることとします。
授業はオンライン実施日とオフライン実施日があります（ハイブリッド実施はない予定）。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：経営情報専攻 1）

一般目標：デジタルを背景としたデジタルマーケティングの全体像を理解している。
個別目標：①デジタル・マーケティング・マネジメントの位置づけについて述べられる。②デジタルマーケティングの基本概念と技術を習得し提示できる。③実際のマーケティングマネジメントプロセスにおける課題に対して適切な手法を判断し活用できる。

▌履修条件

授業に参加し、デジタル時代のマーケティングを理解し、ケーススタディを通して、考察し、課題を提出すること

▌評価基準・方法

出席 (30%) 質問や発言で加点、レポート提出 (30%)、最終発表 (40%)

▌フィードバック方法

レポートに対するフィードバックや、発表内容に対する講義でのフィードバック

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （個人またはグループワークを行い、その内容を発表する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （オンライン開講日の Zoom での授業参加、レポート課題作成と発表）

▌教科書

① 1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社)
必要に応じて資料を manaba にて配布する。

▌参考書

③デジタルマーケティングの教科書 (牧田幸裕, 東洋経済新報社)
授業の中で適宜推奨図書や引用を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション、講義: デジタルマーケティングの概念** 授業内容：本講義の目的や進め方、評価方法について説明を行います。可能な限り講師と受講者の双方向で会話を行い授業の方向性に関して合意を取る。また自己紹介（クラスの履修理由・希望業種を含む）も行う。 事前学修 2.0hr：どのような授業が行われるのかを把握し、その期待を考えてくること 事後学修 2.0hr：デジタルマーケティングの教科書 (牧田幸裕, 東洋経済新報社)　第 1 章を読む、 1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 1 章を読む
2 回	**授業テーマ：講義: デジタルマーケティングの概念、デジタル時代のマーケティング- Amazon** 授業内容：マーケティングの基本とデジタルマーケティングの概念を知る。 従来のマーケティングの前提が大きく変わることになった背景について学ぶ。 事前学修 2.0hr：デジタルマーケティングの教科書 (牧田幸裕, 東洋経済新報社)　第 1 章を読む、 1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 1 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 2 章を読む
3 回	**授業テーマ：講義: デジタル時代の消費者行動 - 食べログ** 授業内容：デジタル時代の消費者がどのように意思決定を行っているかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 2 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 3 章を読む
4 回	**授業テーマ：講義: デジタル時代のビジネス・モデル - メルカリ** 授業内容：デジタル時代のプラットフォームビジネスについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 3 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 4 章を読む
5 回	**授業テーマ：講義: デジタルマーケティングの基本概念 - 無印良品** 授業内容：デジタル時代における顧客コミュニティとマーケティングミックスについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 4 章を読む 事後学修 2.0hr：中間レポート（A4・1 枚以上）：自身が取り上げる企業の①製品戦略、②価格戦略、③チャネル戦略、④プロモーション戦略の概要を簡単にまとめる（形式自由）、1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 5 章を読む
6 回	**授業テーマ：講義: デジタル・マーケティングにおける製品戦略 - アップル** 授業内容：デジタルマーケティングにおける製品戦略の基本について、企業側からの視点で学ぶ。 事前学修 2.0hr：中間レポート（A4・1 枚以上）：自身が取り上げる企業の①製品戦略、②価格戦略、③チャネル戦略、④プロモーション戦略の概要をまとめる（形式自由）　＊講義当日に持参提出してください。 1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 5 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 6 章を読む
7 回	**授業テーマ：講義: デジタル・マーケティングにおける製品戦略の拡張 - レゴ** 授業内容：デジタルマーケティングの製品戦略における共創の手法と有効性について学ぶ。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 6 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 7 章を読む、レポート（A4・1 枚程度）：①アップルまたはレゴの事業内容を読みとく②アップルまたはレゴが実現している製品戦略を考察し論じてください。
8 回	**授業テーマ：講義: デジタル・マーケティングにおける価格戦略 - ANA** 授業内容：デジタルマーケティングにおける価格戦略の基本的な考え方について学ぶ。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 7 章を読む、レポート（A4・1 枚程度）：①アップルまたはレゴの事業内容を読みとく②アップルまたはレゴが実現している製品戦略を考察し論じてください。 ＊講義当日に提出してください。 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 7 章を読む

9回	**授業テーマ：講義: デジタル・マーケティングにおける価格戦略の拡張 - Airbnb** 授業内容：デジタル時代における価格の役割と価格戦略の拡張を学ぶ。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 8 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 9 章を読む、レポート（A4・1 枚程度）：① ANA または Airbnb の事業内容を読みとく② ANA または Airbnb が実現している価格戦略を考察し論じてください。
10回	**授業テーマ：講義: デジタル・マーケティングにおけるチャネル戦略 - ユニクロ** 授業内容：デジタル時代におけるチャネル戦略の基本的考え方であるオムニチャネルや D2C について学ぶ。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 9 章を読む レポート（A4・1 枚程度）：① ANA の事業内容を読みとく② ANA が実現している価格戦略を考察し論じてください。 ＊講義当日に提出してください。 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 10 章を読む
11回	**授業テーマ：講義: デジタル・マーケティングにおけるチャネル戦略の拡張 - ウーバー** 授業内容：シェアリングエコノミーと呼ばれる従来と違った形態のサービスを見ながら、チャネル戦略の拡張について学ぶ。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 10 章を読む 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 11 章を読む レポート（A4・1 枚程度）：①ユニクロまたはウーバーの事業内容を読みとく②ユニクロまたはウーバーが実現しているチャネル戦略を考察し論じてください。
12回	**授業テーマ：講義: デジタル・マーケティングにおけるプロモーション戦略** 授業内容：インターネットを活用したプロモーション活動の目的や手法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 11 章を読む、レポート（A4・1 枚程度）：①ユニクロまたはウーバーの事業内容を読みとく②ユニクロまたはウーバーが実現しているチャネル戦略を考察し論じてください。 ＊講義当日に提出してください。 事後学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 12 章を読む
13回	**授業テーマ：講義: デジタル・マーケティングにおけるプロモーション戦略の拡張 - トリップアドバイザー** 授業内容：消費者主体の情報の受発信が活発となったデジタル時代のプロモーションの概念の進化について学ぶ。 事前学修 2.0hr：1 からのデジタル・マーケティング　(西川英彦・澁谷覚, 碩学社) 第 12 章を読む 事後学修 2.0hr：自身が取り上げる企業の①製品戦略、②価格戦略、③チャネル戦略、④プロモーション戦略を発表する（形式自由）
14回	**授業テーマ：最終発表** 授業内容：自身の研究対象として取り上げた企業のデジタルマーケティング戦略を発表する。 事前学修 2.0hr：自身が取り上げる企業の①製品戦略、②価格戦略、③チャネル戦略、④プロモーション戦略を発表する（形式自由）　＊講義当日に持参提出 事後学修 2.0hr：レポート（A4・1 枚程度）：ここまでの自身の気づきを総括してまとめてください。
15回	**授業テーマ：フィードバック** 授業内容：発表へのフィードバック・質疑と協議 事前学修 2.0hr：レポート（A4・1 枚程度）：ここまでの自身の気づきを総括してまとめてください。　＊講義前日に提出 事後学修 2.0hr：レポート（A4・1 枚程度）：ここまでの自身の気づきを総括したものにフィードバックを記述し考察してください。 *提出不要

プレゼミナールⅠ-a

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

HT 学部専任教員

▌授業の概要

一人ひとりの学生が、健全で充実した学生生活を送れるように支援するのが、HT 学部・プレゼミナールⅠ-a の目的である。大学生であることの意義を探り、スタディ・スキルを磨くとともに、将来の夢やビジョンについて明確化する。　あわせて、学生一人ひとりの人間力の向上、ホスピタリティマインドを培い、それぞれが希望するキャリアの実現につながる、4 年間の学修計画の立案・実施を支援する。
なお、講義内容および順序については、担任教員の判断等により変更されることがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3）

一般目標：①読める、聴ける、書ける、話せる、のスタディ・スキル及び就職のための基礎学力を身につけることができる
②クラスメンバー同士が積極的にコミュニケーションをとり、チームワークを発揮しながらメンバー全員でゼミクラスの運営に参加することができる
個別目標：①新聞、図書、テレビその他媒体に積極的に目を通し、世の中の動きを把握できる
②理解できないこと、分からないことを放置することなく、必ず確認できる
③メンバーと積極的に関わり、相手を思いやりながら円滑なコミュニケーションをとることができる

▌履修条件

全員必修である　少人数クラスによる運営であるため、全回出席・積極的な参加が基本である

▌評価基準・方法

レポート・試験・授業への参加意欲・チーム力の発揮等を総合的に判断し、各教員が評価を行う

▌フィードバック方法

各授業の課題等については学修支援システム manaba を通じてや授業内に行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （必要があれば事前に連絡する）

▌教科書

成美堂出版編・刊 『就職試験これだけ覚える 一般常識』
世界思想社編・刊　『大学生　学びのハンドブック』

▌参考書

各授業にて指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：プレゼミナールとは。授業概要や到達目標、活動計画について説明する。必要に応じて学内ツアーを実施。 事前学修 2.0hr：キャンパスガイド、履修の手引きを確認 事後学修 2.0hr：授業から得た情報を整理、今後したいこと、するべきことを考える
2回	**授業テーマ：自己紹介** 授業内容：教員、学生自己紹介。協働のために仲間を知る。HT 学部教員紹介。写真撮影、クラス名簿作成など。 事前学修 2.0hr：自己紹介の準備 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえゼミの中で自分ができることを考える
3回	**授業テーマ：大学生活について** 授業内容：大学生に求められること、大学生活には危険が多いこと等を理解。大学生活に関する不安を解決する。 事前学修 2.0hr：教科書「大学生学びのハンドブック」の該当部分を予習 事後学修 2.0hr：学修内容を整理・復習
4回	**授業テーマ：資料の探し方、大学図書館の使い方、図書館ツアー** 授業内容：大学の勉強のカギとなる資料探しや、資料の使い分け、資料探しのための図書館の使い方を理解する。 図書館を案内してもらい、使い方を実地で確認する。(図書館ツアーの回は変更の可能性あり) 事前学修 2.0hr：教科書「大学生学びのハンドブック」の該当部分を予習 事後学修 2.0hr：学修内容を整理・復習、図書館を利用する
5回	**授業テーマ：英語学修について** 授業内容：進級要件や英語学修について、英語担当教員の説明を受け理解する。自身の状況を確認する。 事前学修 2.0hr：英語の進級要件を把握し、自身の学修方法を確認 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ、自身の英語学修計画を作成
6回	**授業テーマ：ノートのとり方・テキストの読み方** 授業内容：高校の授業と大学の講義の違いを明確にし、ノートの取り方を考える。 学術的なテキストの読み方、文章の形式を学び、読み方のテクニックを身につける。 事前学修 2.0hr：教科書「大学生学びのハンドブック」の該当部分を予習 事後学修 2.0hr：学修内容を整理・復習
7回	**授業テーマ：プレゼンテーションの仕方** 授業内容：発表の手順、準備等を学ぶ。実際に発表し、聞き手の心得も理解する。 事前学修 2.0hr：教科書「大学生学びのハンドブック」の該当部分を予習 事後学修 2.0hr：学修内容を整理・復習
8回	**授業テーマ：外部講師(浦安市役所より)による講演** 授業内容：明海大学のある浦安について、講師の講演を積極的に聴き、浦安についての理解を深める。 事前学修 2.0hr：市役所のホームページや資料を確認 事後学修 2.0hr：講演内容を整理し、気づいたこと、学んだことを記録
9回	**授業テーマ：プレゼンテーションコンテスト準備①(グループワーク、フィールドワーク)** 授業内容：グループワークについて確認する。グループでテーマを決めてディスカッションやグループワークを行う。必要に応じてフィールドワークを行う。グループの中での自身の役割を考え、グループに貢献する。 事前学修 2.0hr：教科書「大学生学びのハンドブック」の該当部分を予習、浦安について情報収集 事後学修 2.0hr：グループで決めた内容を整理、グループに貢献できかたどうかや改善点等を確認

10回	**授業テーマ：プレゼンテーションコンテスト準備②（グループワーク）** 授業内容：グループで決めたテーマにそって、調査、研究し、発表資料の作成など準備をすすめる。グループの中での自身の役割を考え、グループに貢献する。 事前学修 2.0hr：グループで決めたテーマについて、関連のある情報収集 事後学修 2.0hr：発表内容を整理、グループに貢献できかたどうかや改善点等を確認
11回	**授業テーマ：プレゼンテーションコンテスト　ゼミ内発表会** 授業内容：グループでプレゼンテーションの準備をし、発表する。各グループの発表内容を評価基準に従って評価し、ゼミ代表グループを決める。 事前学修 2.0hr：発表に向けて、グループ内の役割に応じた準備 事後学修 2.0hr：グループの発表を振り返り、改善点等を確認
12回	**授業テーマ：プレゼンテーションコンテスト** 授業内容：各ゼミの代表グループが順次テーマにそったプレゼンテーションをする。各グループのプレゼンテーションを評価基準に従って評価する。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの内容を確認し、発表の準備 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションコンテストまでの一連の内容を振り返り、改善点等を確認
13回	**授業テーマ：ＨＴ学部就職対策 一般常識模擬試験** 授業内容：成美堂出版編・刊 『就職試験これだけ覚える 一般常識』より出題の模擬試験を行う。試験後は答え合わせをし、知識を深める。 事前学修 3.0hr：教科書『就職試験　これだけ覚える一般常識』を学修 事後学修 2.0hr：試験結果を再確認し、間違えた部分を学修
14回	**授業テーマ：客員講師による特別講義** 授業内容：客員講師より、ホスピタリティ・ツーリズム関連がテーマの講義を受ける。講義内容を積極的に考えながら聴き、理解する。 事前学修 2.0hr：客員講師やその企業について調査 事後学修 2.0hr：講義内容から得た情報の整理、気づいたこと、学んだことを記録
15回	**授業テーマ：レポートの書き方、前期のまとめ** 授業内容：レポートの構成、書き方のルールを学ぶ。夏季課題のレポートを書く準備をする。 前期の活動を振り返り、できたこと、できなかったことを考える。 事前学修 2.5hr：教科書「大学生学びのハンドブック」の該当部分を予習、半期の成果を振り返る 事後学修 2.5hr：半期 15 回の授業のレビュー、年間行動計画の修正と確定、夏季休暇の行動計画を確定

プレゼミナールⅠ-b

開講学科等：HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

HT 学部専任教員

▌授業の概要

一人ひとりの学生が、健全で充実した学生生活を送れるように支援するのが、HT 学部・プレゼミナールⅠ-b の目的である。大学生であることの意義を探り、スタディ・スキルを磨くとともに、将来の夢やビジョンについて明確化する。あわせて、学生一人ひとりの人間力の向上、ホスピタリティマインドを培い、それぞれが希望するキャリアの実現につながる、4 年間の学修計画の立案・実施を支援する。
講義内容(やり方も含)および順序については、担任教員の判断等により変更されることがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3）

一般目標：①読める、聴ける、書ける、話せる、のスタディ・スキル及び就職のための基礎学力を身につけ、活かすことができる
②クラスメンバー同士が積極的にコミュニケーションをとり、チームワークを発揮しながらメンバー全員でゼミクラスの運営に参加することができる

個別目標：①新聞、図書、テレビその他媒体に積極的に目を通し、世の中の動きを把握できると同時に、自分の見解を自分の言葉で伝えることができる
②理解できないこと、分からないことを放置することなく、必ず確認し、他のメンバーと共有することができる
③メンバーに積極的に関わり、相手を思いやりながら円滑なコミュニケーションをとることができる
④ゼミクラスの運営において、リーダーシップを発揮することができる

▌履修条件

全員必修である。少人数クラスによる運営であるため、全回出席・積極的な参加が基本である

▌評価基準・方法

レポート・試験・授業への参加意欲等を総合的に判断し、各教員が評価を行う

▌フィードバック方法

各授業の課題等については学修支援システム manaba を通じてや授業内に行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （必要があれば事前に連絡する）

▌教科書

成美堂出版編・刊 『就職試験これだけ覚える 一般常識』
世界思想社編・刊 『大学生　学びのハンドブック』

▌参考書

各授業にて指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：前期のゼミ活動を振り返る。各自の夏季休暇時の行動結果を確認し、後期の活動を計画する。 事前学修 2.0hr：前期及び夏季休暇中の行動を振り返る 事後学修 2.0hr：年間行動計画および夏季休暇時の行動計画の検証、検証結果をふまえ年間行動計画の修正と確定
2回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業と言われるいくつかの業界についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：HT 産業に関する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
3回	**授業テーマ：ハワイ研修に参加した 3 年生による報告会** 授業内容：夏季休暇中にハワイ研修に参加した 3 年生による、研修中のテーマや内容、学べたことについての報告を聞く。自身が研修に行くことを目標とし、選考プロセスや研修での学びを知る。 事前学修 2.0hr：ハワイの産業や文化について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容から得た情報の整理、自身の行動計画を再確認する
4回	**授業テーマ：英語学修** 授業内容：英語担当教員による英語学修成果の確認。今後の英語学修の目的、方法を考える。 事前学修 2.0hr：英語の成果や自身の学習方法を確認 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ、今後の英語学修計画を作成
5回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業と言われるいくつかの業界についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：HT 産業に関する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
6回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業と言われるいくつかの業界についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：HT 産業に関する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
7回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業と言われるいくつかの業界についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：HT 産業に関する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
8回	**授業テーマ：外部講師による特別講義** 授業内容：外部講師より、ホスピタリティ・ツーリズム関連の講義を受ける。講義内容を積極的に考えながら聴き、理解する。 事前学修 2.0hr：外部講師やその企業について情報収集 事後学修 2.0hr：講義内容から得た情報の整理、気づいたこと、学んだことを記録

9回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業と言われるいくつかの業界についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：HT 産業に関する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
10回	**授業テーマ：外部講師による特別講義** 授業内容：外部講師より、ホスピタリティ・ツーリズム関連の講義を受ける。講義内容を積極的に考えながら聴き、理解する。 事前学修 2.0hr：外部講師やその企業について情報収集 事後学修 2.0hr：講義内容から得た情報の整理、気づいたこと、学んだことを記録
11回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業と言われるいくつかの業界についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：HT 産業に関する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
12回	**授業テーマ：HT 学部就職対策　4 年生招聘パネルディスカッション** 授業内容：就職活動を終え、様々な業界に採用が内定した 4 年生を招聘し、学生生活や就職活動についてパネルディスカッションを行う。4 年生の話を聴き自らの将来を考える。 事前学修 2.0hr：4 年生が採用内定した企業について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容から得た情報の整理、自身の目的、行動計画を再確認
13回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業と言われるいくつかの業界についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：HT 産業に関する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
14回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業と言われるいくつかの業界についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：HT 産業に関する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
15回	**授業テーマ：新年度へ向けて** 授業内容：授業内容、後期の活動を振り返り、できたこと、できなかったことを考える。春季休暇や次年度に向けて行動計画を発表する。 事前学修 2.0hr：半期の成果に関するまとめ、春季休暇の行動計画作成 事後学修 2.0hr：半期 15 回の授業レビュー、具体的な成果や課題のとりまとめ、新年度の年間行動計画の確定

プレゼミナールⅡ-a

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

HT 学部専任教員

▌授業の概要

「人間と文化」「社会の動き」「グローバル化」「業界・企業研究」「将来の夢とその実現」などの共通キーワードのもとに、各担当教員が掲げたテーマに沿って基礎学力の養成、ホスピタリティマインドの涵養、責任感や自主性・リーダーシップの発揮等を含む人間力の向上を図ることを目的とする。少人数制による個別的指導と、グループワークを通じた活動により、主体的な学びを促していく。
なお、講義内容および順序については、担当教員の判断等により変更されることがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：①積極的に出席することで、ゼミ活動に深く関与し、他のメンバーと協力しながら自分の担当分野や役割を積極的に広げ、果たしていくことができる
②考える力・コミュニケーション・プレゼンテーション・レポート作成等の能力向上を図り、就職を見据えた基礎学力を定着させることができる

個別目標：①ゼミ活動で実施するグループワークやディスカッションへの積極的な関与により、自ら考え行動できる
②自分の考えや行動の理由・根拠について、自分の言葉で説明できる
③社会や時事ニュースを把握し、多角的な知識や思考で、物事を判断できる
④この授業で培った様々な能力を、他の授業やインターンシップ、アルバイト、また将来の就職活動においても発揮できる

▌履修条件

全員必修である。少人数クラスによる運営であるため、全回出席・積極的な参加が基本である

▌評価基準・方法

レポート・試験・チームワークの発揮・授業への参加意欲等を総合的に判断し、各教員が評価を行う

▌フィードバック方法

各授業の課題等については学修支援システム manaba を通じてや授業内に行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （必要であれば事前に連絡する）

▌教科書

成美堂出版編・刊 『就職試験これだけ覚える 一般常識』(1 年次購入のもの)
毎日新聞出版『ニュース検定　公式テキスト＆問題集「時事力」基礎編(3・4 級対応)』

▌参考書

各授業にて指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション・自己紹介** 授業内容：授業概要や到達目標、活動計画について説明する。教員、学生自己紹介。協働のために仲間を知る。HT 学部教員紹介。写真撮影、クラス名簿作成など。 事前学修 2.0hr：1 年間の行動計画を考える 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ年間行動計画を作成
2回	**授業テーマ：大学生活について** 授業内容：大学生に求められること、大学生活には危険が多いこと等を再確認。 事前学修 2.0hr：自身の大学生活を再確認 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
3回	**授業テーマ：英語学修** 授業内容：英語担当教員による英語学修成果の確認。今後の英語学修の目的、方法を考える。 事前学修 2.0hr：英語の成果、自身の状況、学習方法を確認 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ、今後の英語学修計画を作成
4回	**授業テーマ：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション** 授業内容：事前に決めたテーマや目的に合わせてディスカッションをする等、グループで活動する。必要に応じてプレゼンテーションやお互いにフィードバックをする。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
5回	**授業テーマ：外部講師による特別講義** 授業内容：外部講師より、ホスピタリティ・ツーリズム関連の講義を受ける。講義内容を積極的に考えながら聴き、理解する。 事前学修 2.0hr：外部講師やその企業について調べる 事後学修 2.0hr：講義内容から得た情報の整理、気づいたこと、学んだことを記録
6回	**授業テーマ：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション** 授業内容：事前に決めたテーマや目的に合わせてディスカッションをする等、グループで活動する。必要に応じてプレゼンテーションやお互いにフィードバックをする。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
7回	**授業テーマ：HT 学部就職対策　キャリアデザイン** 授業内容：就職活動にむけて就職することの意味や、企業採用の動向、求められる人材等について講義を受ける。後悔しないよう就職活動の準備を進めるきっかけとする。 事前学修 2.0hr：就職することの意味や意義の確認　自分が目指す業界や企業の調査 事後学修 2.0hr：講義内から得た情報の整理、自身の目的、行動計画を再確認する
8回	**授業テーマ：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション** 授業内容：事前に決めたテーマや目的に合わせてディスカッションをする等、グループで活動する。必要に応じてプレゼンテーションやお互いにフィードバックをする。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理

9回	**授業テーマ：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション** 授業内容：事前に決めたテーマや目的に合わせてディスカッションをする等、グループで活動する。必要に応じてプレゼンテーションやお互いにフィードバックをする。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
10回	**授業テーマ：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション** 授業内容：事前に決めたテーマや目的に合わせてディスカッションをする等、グループで活動する。必要に応じてプレゼンテーションやお互いにフィードバックをする。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
11回	**授業テーマ：外部講師による特別講義** 授業内容：外部講師より、ホスピタリティ・ツーリズム関連がテーマの講義を受ける。講義内容を積極的に考えながら聴き、理解する。 事前学修 2.0hr：外部講師やその企業について調べる 事後学修 2.0hr：講義内容から得た情報の整理
12回	**授業テーマ：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション** 授業内容：事前に決めたテーマや目的に合わせてディスカッションをする等、グループで活動する。必要に応じてプレゼンテーションやお互いにフィードバックをする。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
13回	**授業テーマ：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション** 授業内容：事前に決めたテーマや目的に合わせてディスカッションをする等、グループで活動する。必要に応じてプレゼンテーションやお互いにフィードバックをする。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
14回	**授業テーマ：外部講師によるレストランマナー講座** 授業内容：夏季休暇中に帝国ホテルのレストランにマナーを学びに行くにあたり、帝国ホテルより講師を招聘し、事前に座学でレストランマナーを学修する。 事前学修 2.5hr：レストランマナーについて調べる 事後学修 2.5hr：講義内容から得た情報の整理
15回	**授業テーマ：まとめ　夏季休暇の行動計画の発表** 授業内容：前期の活動を振り返り、できたこと、できなかったことを考える。夏季休暇や後期に向けて行動計画を発表する。 事前学修 2.5hr：半期の成果に関するまとめ、年間行動計画のレビュー、夏季休暇の行動計画作成 事後学修 2.5hr：半期 15 回の授業のレビュー、年間行動計画の修正と確定、夏季休暇の行動計画確定

プレゼミナールⅡ-b

開講学科等：HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

HT 学部専任教員

▌授業の概要

「人間と文化」「社会の動き」「グローバル化」「業界・企業研究」「将来の夢とその実現」などの共通キーワードのもとに、各担当教員が掲げたテーマに沿って基礎学力の養成、ホスピタリティマインドの涵養、責任感や自主性・リーダーシップの発揮等を含む人間力を向上させることを目的とする。少人数制による個別的指導とグループワークを通じた活動により、主体的な学びをさらに促していく。
なお、講義内容および順序については、担当教員の判断等により変更されることがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：①積極的に出席することで、ゼミ活動に深く関与し、他のメンバーと協力しながら自分の担当分野や役割を積極的に広げ、果たしていくことができる
②考える力・コミュニケーション・プレゼンテーション・レポート作成等の能力向上を図り、就職を見据えた基礎学力を定着させることができる

個別目標：①リーダーシップ発揮のために、他のメンバーの状況をよく観察し、寛容さや思いやりの気持ち、また時に厳しさをもって接することができる
②授業を通じて培ってきた様々な能力を発揮しつつ、他のメンバーの手本となるような考え方や言動ができる
③社会や時事ニュースを把握し、多角的な知識や思考で、物事を判断できる
④この授業で培った様々な能力を、他の授業やインターンシップ、アルバイト、また将来の就職活動においても発揮できる

▌履修条件

全員必修である　少人数クラスによる運営であるため、全回出席・積極的な参加が基本である

▌評価基準・方法

レポート・試験・チームワークやリーダーシップの発揮・授業への参加意欲等を総合的に判断し、各教員が評価を行う

▌フィードバック方法

各授業の課題等については学修支援システム manaba を通じてや授業内に行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （必要になれば事前に連絡する）

▌教科書

成美堂出版編・刊 『就職試験これだけ覚える 一般常識』(1 年次購入のもの)
毎日新聞出版『ニュース検定　公式テキスト＆問題集「時事力」基礎編(3・4 級対応)』

▌参考書

各授業にて指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：前期のゼミ活動を振り返る。各自の夏季休暇時の行動結果を確認し、後期の活動を計画する。 事前学修 2.0hr：前期及び夏季休暇中の行動結果に関する検証 事後学修 2.0hr：年間行動計画および夏季休暇の行動計画の検証、検証結果を踏まえた年間行動計画の修正と確定
2回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業と言われるいくつかの業界についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
3回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業と言われるいくつかの業界についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
4回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業と言われるいくつかの業界についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
5回	**授業テーマ：駐日大使・公使による特別講義** 授業内容：駐日大使・公使を招聘し、出身国について広く講義を受ける。講義を聴き、他国についても興味を持ち視野を広げるきっかけとする。 事前学修 2.0hr：講師の出身国全般に関する情報収集 事後学修 2.5hr：講義内容から得た情報の整理と研究
6回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業と言われるいくつかの業界についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
7回	**授業テーマ：外部講師による特別講義** 授業内容：外部講師より、ホスピタリティ・ツーリズム関連の講義を受ける。講義内容を積極的に考えながら聴き、理解する。 事前学修 2.0hr：外部講師やその企業について調査 事後学修 2.0hr：講義内容から得た情報の整理、気づいたこと、学んだことを記録
8回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業と言われるいくつかの業界についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理

9回	**授業テーマ：「ニュース時事能力検定」受験** 授業内容：ニュース報道を理解し、活用する力を資格として認定する「ニュース時事能力検定」を学内で受験する。 事前学修 3.0hr：『ニュース検定　公式テキスト＆問題集』を学修 事後学修 2.0hr：試験内容を振り返り、できなかった部分を再度学修
10回	**授業テーマ：HT 学部就職対策　キャリアデザイン　企業人事の方によるパネルディスカッション** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業のいくつかの企業から、人事担当者を招聘して、企業の特徴や採用状況等についてパネルディスカッションを行う。登壇者の話を聴き、自らの将来を考える。 事前学修 2.0hr：パネルディスカッション登壇の人事担当者が所属する企業の調査・研究 事後学修 2.5hr：講義内で得た情報の整理、就職に関する自身の目的、行動計画を作成
11回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業と言われるいくつかの業界についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
12回	**授業テーマ：ホスピタリティ・ツーリズム産業研究** 授業内容：ホスピタリティ・ツーリズム産業と言われるいくつかの業界についてテーマや目的を決めて研究する。状況に応じてグループディスカッションやグループ活動、プレゼンテーション等を行う。 事前学修 2.0hr：テーマに関連する情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容をふまえ情報の整理
13回	**授業テーマ：客員講師による特別講義** 授業内容：客員講師より、ホスピタリティ・ツーリズム関連の講義を受ける。講義内容を積極的に考えながら聴き、理解する。 事前学修 2.0hr：客員講師やその企業について調べる 事後学修 2.0hr：講義内容から得た情報の整理、気づいたこと、学んだことを記録
14回	**授業テーマ：3 年生による学修成果発表会** 授業内容：3 年生がケーススタディを通して得た成果について、ゼミ単位で発表する。積極的に質問をし、各ゼミでの活動内容や成果を理解する。 事前学修 2.0hr：来年度のケーススタディで取り組みたいことを考える 事後学修 2.0hr：各ゼミの活動内容を整理、自身の目的や取り組みたいことを整理
15回	**授業テーマ：新年度へ向けて** 授業内容：授業内容、後期の活動を振り返り、できたこと、できなかったことを考える。春季休暇や次年度に向けて行動計画を発表する。 事前学修 2.0hr：半期の成果に関するまとめ、春季休暇の行動計画作成 事後学修 2.0hr：半期 15 回の授業レビュー、具体的な成果や課題のとりまとめ、新年度の年間行動計画確定

ケーススタディⅠ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

五十嵐　潤子（いがらし　じゅんこ）

▌授業の概要

次の組み合わせを参考に、チームごとにテーマを設定し、調査・分析活動を活動の核としながら、提言の発表まで行います。
＜デジタルトランスフォーメーション・インバウンド・With/after コロナ＞×＜まちづくり・ツーリズム・SDGs ＞×＜企業・組織・自治体＞
【特徴】
・2 年にわたるチームを形成し、チームごとに主体的なプロジェクト活動となります。基礎となる事実を自ら調べ、仮説を出し、その検証のために現場を視察・インタビューし、最終的に自らの意見を何らかの形でまとめ、全員で共有していきます。
・授業以外の時間を活用した調査・分析活動等も前提としています。
・前期に、日月を使って、1泊2日のフィールドワークを想定しています。一人当たり 1 万円前後の費用がかかることを想定ください。
・ケーススタディⅠ-a では、チームごとに、テーマとターゲット企業や行政、地域を決め、課題や疑問点の洗い出しを行います。可能な範囲でその会社へのインタビューを実施、就活が本格的に動き出す夏を前に、プチまとめを共有し合います。前半では、主に、教員が設定した「佐原」を取り上げます。後半では、JTB の全国まちづくりコンテストに応募することを前提に課題に取り組みます。
・Ⅱ-a と共同で別途チームを編成し、年間を通して1チーム1回、コミュニケーションイベントを企画、実施、運営を行うことを通して、イベントを成功させるためのプロセスを学びます。
なお、授業の進め方は、適宜変更する場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・ゼミの課題であるプロジェクトを通して、社会人になっても通用する、チームワーク力、問題設定力、情報収集力、コミュニケーション力、自己分析力、自己肯定感などの醸成を目指します。
・社会課題に関心を持つ好奇心を養い問題設定能力を高めると同時に、多様な意見を受け容れる柔軟さと、より良い結論を導き出そうとする責任感の醸成を目指します。
個別目標：・プロジェクトに自律的・積極的に関わることを通して、自身が達成感を実感できるようになること
・選択したプロジェクトテーマについて、一定程度の問題意識や課題認識を自ら説明できるようになること
・分析に必要なデータを自身で収集し、分析のための加工ができるようになること

▌履修条件

・仲間を敬うこと
・テーマに関心を持ち、チームで成し遂げる成果に対して自律的に役割を果たす積極性と責任感を持てること
・4 年次のフィールドワーク実施を前提に積立金を実施予定
・ノート型 PC を持参できる環境が望ましい（EXCEL、PowerPoint、Word ソフト含む）※必須ではない

▌評価基準・方法

各回の出席状況・授業参加態度および前後の学修状況（60%）、発表の成果物（30%）、自主課題のレポート（10%）を大まかな指標として総合的に評価します。

▌フィードバック方法

原則として、ゼミ生同士でそれぞれのアウトプットに対してのフィードバックを行う環境を設定します。その上で、指導教員として総括的なフィードバックを必要に応じて適宜実施します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （原則、毎回グループワークあり。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （適宜グループワーク内で使用）

▌教科書

特にありません。

▌参考書

・トラベルボイス（日刊のオンライン情報）を購読（無料）
・適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（授業の進め方、テーマについて、メンバーを知る）** 授業内容：・当授業に関するオリエンテーション（授業の進め方、授業評価基準、出欠基準など） ・4 年生による 3 年生次の活動内容の紹介 ・自己紹介 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、関心のあるテーマについてまとめておく 事後学修 2.0hr：次回の授業に向けて必要な学修を行う
2回	**授業テーマ：まちづくりの「視点」についての知識共有** 授業内容：・教員が用意した各種事例から、チームで選び、各チームでその内容を自らの視点で調べる 事前学修 2.0hr：本授業に向けて必要な学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
3回	**授業テーマ：「佐原」について研究テーマを設定** 授業内容：・前期のメインフィールドワーク　佐原に赴くに際し、チームごとに何を調べるかを検討する 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
4回	**授業テーマ：「佐原」について研究テーマの調査・研究** 授業内容：・前期のメインフィールドワーク　佐原に赴くに際し、チームごとに設定したテーマに基づき深掘り調査を行う ・フィールドワーク時において、それぞれの役割を確認する 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
5回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント①** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントについてフィードバックを行う

6回	**授業テーマ：「佐原」についてのテーマとその調査・研究内容の全体共有(発表)** 授業内容：・前期のメインフィールドワーク　佐原に赴くに際し、テーマ及び調査内容を全体共有する 事前学修 2.0hr：チームごとに、佐原で学ぶことの内容を事前共有 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
7回	**授業テーマ：佐原へのフィールドワークの実施** 授業内容：佐原へのフィールドワーク(土日、または日月を活用する可能性あり)の実施 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
8回	**授業テーマ：「佐原」フィールドワークを受けた活動の共有** 授業内容：・前半：全体でのトークセッション「佐原に行く前と後で何が違ったか」(ファシリテート：ゼミ長) 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
9回	**授業テーマ：JTB まちづくりコンテストへの取り組みに向けた調査・研究** 授業内容：5 月に発表される予定の「JTB まちづくりコンテスト」への応募を想定した、取り組み内容の調査・研究 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
10回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント②** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントについてフィードバックを行う
11回	**授業テーマ：JTB まちづくりコンテストへの取り組みに向けた調査・研究** 授業内容：・5 月に発表される予定の「JTB まちづくりコンテスト」への応募を想定した、取り組むテーマを調べたい「街選び」「テーマ(SDGs、DX、インバウンド、その他)」「(必要に応じて)関わる企業」をチームごとに検討 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
12回	**授業テーマ：JTB まちづくりコンテストへの取り組みに向けた調査・研究** 授業内容：・設定したテーマに基づいてチームで調査・研究 ・発表に向けた準備 ・教員向けの個別プレゼン(途中経過) 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
13回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント③** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントについてフィードバックを行う
14回	**授業テーマ：JTB まちづくりコンテストへの取り組みに向けた調査・研究** 授業内容：・教員プレゼンを受けた応募内容案への修正・必要な追加調査・フィールドワークの確認 事前学修 2.0hr：発表に向けて、発表内容を整理し、一定程度の品質の資料にまとめておく 事後学修 2.0hr：教員からのフィードバック内容を受けてチームごとに発表案を修正する
15回	**授業テーマ：JTB まちづくりコンテストへの応募内容案を発表** 授業内容：・各チームごとに発表 ・相互フィードバックを実施 事前学修 2.0hr：発表資料を仕上げ、チーム内の発表時の役割を明確にし、事前にプレゼンテーション練習を行う 事後学修 2.0hr：発表課題について、フィードバックを反映させた修正レポートを出す(チーム別)

ケーススタディⅠ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

渭東　史江（いとう　ちかえ）

▌授業の概要

① 「ホスピタリティ」、「コミュニケーション」、「マネジメント」など社会人として必要な様々な資質、能力を開発するためにケーススタディの内容を自ら提案、計画、チームで協力して実行する。

② ホテルなどの宿泊施設、またはホスピタリティ業界に関連する事項を研究する。たとえばホテルの実地見学などを通して、「特徴」、「オペレーション」、「戦略」、「実績」などを比較して理解する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：様々な体験を通して、ホテル等ホスピタリティ産業を理解する。学びの集大成として研究、考案、企画等をする。
ビジネスに必要な資質、能力などを伸ばす。

個別目標：① 多様化するホテル全般を理解する。
② ホスピタリティ産業について理解を深め、自身の興味や方向性を考える。
③ ホテルや旅行企画の考案や、研究成果を発表する。
④ ビジネスに必要な資質、能力、また自分が伸ばしたい部分を伸ばす。

▌履修条件

① ホスピタリティ精神をもち、ホテルなどホスピタリティ産業に関心があること
② 自主性をもち、何事にも挑戦する気持ちがあること
③ 学習、研究にまじめに取り組むこと

▌評価基準・方法

ディスカッション、プレゼンテーション、チームへの貢献度などを考慮し総合評価。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通してや授業内に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （必要になれば事前に連絡する）

▌教科書

必要に応じて資料等を配布。

▌参考書

必要に応じて紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：ケーススタディの内容、授業の進め方等の説明。 事前学修 2.0hr：自分の興味のあることについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ活動について把握し、何をするべきか考える
2回	**授業テーマ：自己紹介・発表** 授業内容：お互いを知り、協働のために自己紹介をする。 事前学修 2.0hr：自己紹介のための準備をする 事後学修 2.0hr：ゼミメンバーを把握し、お互いに影響し合えることを考える
3回	**授業テーマ：チームビルディング** 授業内容：お互いを知り強いチームになるためにチームで活動する。チームで協力して成果をあげる。 事前学修 2.0hr：理想のチームを考える 事後学修 2.0hr：内容を振り返り、うまくできたこととそうでないことを理解する
4回	**授業テーマ：ホスピタリティ業界研究** 授業内容：ホスピタリティ産業全体について調査し、発表する。発表を聞くことで業界を広く把握する。 事前学修 2.0hr：ホスピタリティ業界について調べる 事後学修 2.0hr：ホスピタリティ業界全体についてや現在の動向を把握する
5回	**授業テーマ：研究・企画課題決定・目標設定** 授業内容：今後のケーススタディで研究や企画をするテーマをグループディスカッションにより決定する。 事前学修 2.0hr：取り上げたい課題について考える 事後学修 2.0hr：決まった課題をどのように研究するか考える
6回	**授業テーマ：グループディスカッション** 授業内容：研究や企画のテーマ、課題について研究・調査方法、進め方をグループディスカッションにより決定する。 事前学修 2.0hr：課題の進め方を考える 事後学修 2.0hr：決まったことをまとめる
7回	**授業テーマ：課題研究** 授業内容：課題についてメンバーが分担して企画・研究・調査する。内容は必要に応じて発表し、まとめていく。 事前学修 2.0hr：研究に必要なものを調べる 事後学修 2.0hr：研究内容をまとめる
8回	**授業テーマ：フィールドワーク** 授業内容：課題について、現地で調査する。 事前学修 2.0hr：フィールドワークする場所について調べる 事後学修 2.0hr：フィールドワークの感想をまとめる
9回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：フィールドワークで得た内容をグループ内で発表する。 事前学修 2.0hr：フィールドワークの感想などを発表できるようにする 事後学修 2.0hr：決まったことをまとめる
10回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：グループディスカッション等により、企画・研究、資料作成をすすめる。 事前学修 2.0hr：企画・研究をすすめるのに必要なものを考える 事後学修 2.0hr：決まったことをまとめる

11回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：グループディスカッション等により、企画・研究、資料作成をすすめる。 事前学修 2.0hr：企画・研究をすすめるのに必要なものを考える 事後学修 2.0hr：決まったことをまとめる
12回	**授業テーマ：発表準備** 授業内容：グループで内容をまとめて資料作成、発表の準備、練習をする。 事前学修 2.0hr：発表内容をまとめる 事後学修 2.0hr：発表の練習をする
13回	**授業テーマ：研究発表(1)** 授業内容：グループごとに発表をする。他グループの発表を聞き評価する。 事前学修 2.0hr：担当者は研究発表の準備をする 事後学修 2.0hr：グループのフィードバックをまとめる
14回	**授業テーマ：研究発表(2)** 授業内容：グループごとに発表をする。他グループの発表を聞き評価する。 事前学修 2.0hr：担当者は研究発表の準備をする 事後学修 2.0hr：グループのフィードバックをまとめる
15回	**授業テーマ：前期まとめ** 授業内容：前期中の活動を振り返り、できたこと、できなかったことを考える。後期に向けて目標を立てる。 事前学修 2.0hr：前期中にしたこと、するべきことをまとめる 事後学修 2.0hr：前期中にするべきことを終了し、後期に向けてできる準備をする

ケーススタディⅠ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

木内　伸樹（きうち　のぶき）

▌授業の概要

地域資源を活かした観光振興と持続可能なまちづくりをテーマに、実践的な学びをおこないます。フィールドワーク、観光関連企業・自治体との連携を通じて、観光課題への具体的な解決策を探求します。また、観光・航空業界におけるホスピタリティの意義を学び、地域社会との協働を体験します。最終的に、地域や業界の課題解決に向けた提案をまとめ、発表を通じて学びを深めます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・常に『明るく』『前向き』で『利他の心』を持ち、ゼミメンバーとの積極的な交流の中で自分自身を成長させることができる
・自ら考え行動し、かつその考え方や行動の根拠や理由を自分の言葉で論理的に説明することができる
・観光立国を目指す日本の、地方自治体の取組み、受入れ側のホスピタリティのあり方、およびそれを実現、持続させるために自分が何ができるかを見つけ、実践、説明できるようになる。

個別目標：・自分の強みは意識して伸ばし、課題 (弱み) は「自分が成長するチャンス」と捉えることができる
・企業研究やゲストスピーカーとのディスカッション等を通して就業意欲を高め、就職活動準備を積極的に行えるようになる
・不明なことは決して放置せず必ず確認できる
・大切なことは日常的にメモを取り、後に活かすことができる

▌履修条件

・ホスピタリティ実践に興味と意欲があること
・積極的に新しいことに挑戦し、好奇心が旺盛で積極的にゼミ活動に関与できる学生
・新たなゼミメンバーの中で積極的に友人を作って協力し合い、自分の視野を拡げていける学生
・人の話を聴き、自ら考え、自分の意見を述べ、自己成長ができる学生

▌評価基準・方法

・ゼミへの参画意欲と積極的な活動
・ゼミメンバーとの協働姿勢
・企画・プレゼンテーションのプロセスや結果
これらを総合的に判断し、評価する

▌フィードバック方法

一人ひとりと面談形式でフィードバックをおこなう

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッションを通じて学びを深めていきます）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

必要時に資料を配付

▌参考書

適宜紹介する　学生同士も参考になる文献や情報を適宜紹介しあい、共有すること

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　【今後のゼミの運営方法】** 授業内容：ゼミ運営について確認と計画を行います。 事前学修 2.0hr：自分がこのゼミにどのような期待をするのか、再確認しておく 事後学修 2.0hr：ゼミにおける自身の役割の再確認
2回	**授業テーマ：『自己紹介』** 授業内容：就職活動への準備もかねて、自分自身を他人に理解してもらうための紹介を行うとともに、他者を的確に理解する実践を行う 事前学修 2.0hr：自分自身をゼミメンバーに理解してもらうため準備を行なう 事後学修 2.0hr：ゼミメンバーの自己紹介を再確認し、理解を深める
3回	**授業テーマ：事例研究 (1)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
4回	**授業テーマ：事例研究 (2)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.5hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
5回	**授業テーマ：事例研究 (3)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：ディベートのテーマについて調査・研究を行なう 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
6回	**授業テーマ：事例研究 (4)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて調査・研究を行なう 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
7回	**授業テーマ：事例研究 (5)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて調査・研究を行なう 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
8回	**授業テーマ：事例研究 (6)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習

9回	**授業テーマ：事例研究 (7)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
10回	**授業テーマ：事例研究 (8)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
11回	**授業テーマ：企業研究 (9)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
12回	**授業テーマ：事例研究 (10)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
13回	**授業テーマ：事例研究 (11)　企業研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 3.0hr：ゼミ内容に基づく復習
14回	**授業テーマ：事例研究 (12)　企業研究プレゼンテーション** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 3.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
15回	**授業テーマ：事例研究 (13)　前期のまとめ** 授業内容：前学期のゼミ活動やその他の学生生活での活動を通じて得た学びや気付きを各々にプレゼンテーションし、夏季休暇を有効に活用するための準備を行います 事前学修 2.0hr：これまでの授業で得たことをまとめ、夏季休暇の行動計画を作成する 事後学修 3.0hr：前期の活動をふまえ、後期に向けての研究テーマを決める

ケーススタディⅠ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

肖　子睿（しょう　しえい）

▌授業の概要

本講義では、受講生が観光業及びサービス業におけるユニバーサルデザインの重要性と必要性に対する認識と理解を深めて、事例研究を通じて、その実践的な展開方法について学ぶことにある。

特定分野(観光産業とサービス業を対象に)の事例(ケーススタディ)研究を行い、その分野の理論を考察したうえ、理論土台を固め、理解を深めること。とくに高齢化が進んでいる日本において、現実的に意義のある研究課題を定めて、資料収集、現地調査を実施し、結果分析をして、その結果をプレゼンし、レポート作成などの実践を踏まえて、問題の発見と解決能力を身に着けることを目指していき、また次年度の卒論のために準備をすることになる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：　観光施設、観光地とサービス業におけるユニバーサルデザインの具体的な実践方法を学び、バリアフリーな環境を提供するための戦略や手法を理解することを目指す。ユニバーサルデザインの基礎理論の学修と基礎学力の向上を図り、観光のユニバーサルデザインの視野から、調査、研究を行い。今後社会での活躍能力を身につける。

現代観光の特徴として、すべての人々の参加である視点から、高齢者も身体障害者もその権利をもち、社会としてはその参加できる環境と基盤を提供すべきという認識を共有する。

個別目標：・学生が実際の観光施設やイベントに関するケーススタディをして、ユニバーサルデザインの観点から問題を特定し、解決策を提案する能力を養うことを目指すこと。

・学生がグループごとに、アイデアを共有し、コミュニケーション能力を向上させることを目指すこと。

・学生がユニバーサルデザインの実践における倫理的な問題や社会的責任について考え、共生社会実現の促進や地域社会への貢献に関心を持つことを目指すこと。

▌履修条件

・観光のユニバーサルデザインやバリアフリーと共生社会に関心があり、常に向上心と好奇心を持つこと
・グループの一員として積極的にゼミ活動に参加できること
・学習の過程において、障害と困難を乗り越えて、最後までやり遂げること
・事例研究を積極的に取り込み、チームワークができること。
・自ら考えて、自分の意見を述べて、ゼミ内で共有できること。

▌評価基準・方法

事例研究の調査参加 30 %
ディスカッション参加、プレゼン 40 %
レポート３０%
授業と課題の取り込み姿勢などを基に総合的に評価する。

▌フィードバック方法

個別又は学修支援 manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （チームワークがメイン）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料収集、整理、パワポで発表の準備などに使用）

▌教科書

特になし

▌参考書

必要に応じて配布

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義の進め方、講義スケジュールと内容などの確認、ケーススタディ、成績評価の基準などについて説明する 事前学修 2.0hr：ゼミの方針と活動内容を理解する 事後学修 2.0hr：ゼミ運営の目標を再確認する
2回	**授業テーマ：自己紹介、今後のゼミ研究活動の紹介** 授業内容：お互いに知り、今後の研究活動について話し合う。 事前学修 2.0hr：研究テーマと研究手法を考える 事後学修 2.0hr：チームメンバーと意見交換、研究事例の範囲と対象を絞る
3回	**授業テーマ：外部関係者のレクチャー** 授業内容：今後ゼミ活動内容に関する学び 事前学修 2.0hr：決めた研究テーマについて、再度確認する 事後学修 2.0hr：次回の準備として決めたテーマをチームで討論する
4回	**授業テーマ：ゼミの年間スケジュール作りと確認** 授業内容：活動の内容のスケジュール作りと確認 事前学修 2.0hr：活動内容の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備としてチームで
5回	**授業テーマ：チームワーク①** 授業内容：研究事例の再確認と調査手法について 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備としてチームで話し合う
6回	**授業テーマ：チームワーク②** 授業内容：現地調査の準備 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備としてチームで話し合う

7回	**授業テーマ：チームワーク③** 授業内容：現地調査の準備 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：現地調査のまとめ
8回	**授業テーマ：チームワーク④** 授業内容：現地調査の本調査の実施① 事前学修 2.0hr：現地調査票の回収 事後学修 2.0hr：調査の結果をまとめる
9回	**授業テーマ：チームワーク⑥** 授業内容：現地調査の本調査の実施② 事前学修 2.0hr：現地調査票の回収 事後学修 2.0hr：調査の結果をまとめる
10回	**授業テーマ：調査結果の分析①** 授業内容：チームごとにディスカッション 現地調査の結果を分析する。二次調査が必要であれば、追加調査を行う 二回目の現地調査に向けて準備 事前学修 2.0hr：現地調査の結果分析とまとめ 事後学修 2.0hr：続き現地調査への準備
11回	**授業テーマ：調査の結果の分析②** 授業内容：現地調査の結果の分析とまとめ 事前学修 2.0hr：分析の事前準備をする 事後学修 2.0hr：調査の結果の分析とまとめ③
12回	**授業テーマ：チームごとの調査分析結果の報告を準備する①** 授業内容：調査分析結果の報告書作成作業 事前学修 2.0hr：調査の準備 事後学修 2.0hr：調査をまとめる
13回	**授業テーマ：チームごとの調査分析結果の報告を準備する②** 授業内容：調査分析結果の報告書作成作業 事前学修 2.0hr：報告書作成について 事後学修 2.0hr：全体のまとめ
14回	**授業テーマ：中間報告** 授業内容：各グループが活動内容の報告を行う 事前学修 2.0hr：報告の準備 事後学修 2.0hr：報告のまとめ
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前期の活動のレビュー、総括する。 後期に向けてブラッシュアップ。 事前学修 2.0hr：前期を振り返る、感想をまとめる 事後学修 2.0hr：前期を踏まえて、後期の研究を改善する

ケーススタディⅠ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中野　実（なかの　みのる）

▌授業の概要

「世界とつながる」をメインテーマとし、将来の仕事から身近な生活まで、広い視野で世界とのつながりを意識する。そこに必要なコミュニケーション、ホスピタリティ、あるいは異文化理解を学び、そして浮かび上がる様々な課題を考察します。そのためにゼミメンバーの協働による企業研究・時事問題等の研究/検証を実施し、主として以下をゼミ活動の柱とする

①好奇心を育て、視野を広げるきっかけにするために、タイムリーな時事問題に関する情報共有やディベートを実施する。

②『誰が正しいか、ではなく、何が正しいか』という考え方や視点を確立し、人として正しい判断が行えるようにする

③第三者からの「自分の見え方」を大切にし、学年を問わずゼミメンバー同士で忌憚なくアドバイスし合う

④テーマ毎にゼミメンバーをグループ分けし、【協働】で調査・研究を行ったうえでプレゼンテーションを実施する

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・常に『明るく』『前向き』で『利他の心』を持ち、ゼミメンバーとの積極的な交流の中で自分自身を成長させることができる
・自ら考え行動し、かつその考え方や行動の根拠や理由を自分の言葉で論理的に説明することができる

個別目標：・自分の強みは意識して伸ばし、課題 (弱み) は「自分が成長するチャンス」と捉えることができる
・企業研究や OB/OG とのパネルディスカッション等を通して就業意欲を高め、就職活動準備を積極的に行えるようになる
・不明なことは決して放置せず必ず確認できる
・大切なことは日常的にメモを取り、後に活かすことができる

▌履修条件

・明海大学の学生であることに誇りを持ち、好奇心が旺盛で積極的にゼミ活動に関与できる学生
・新たなゼミメンバーの中で積極的に友人を作って協力し合い、自分の視野を拡げていける学生

▌評価基準・方法

・ゼミへの参画意欲と積極的な活動
・ゼミメンバーとの協働姿勢
・企画・プレゼンテーション・レポート等ののプロセスや結果
これらを総合的に判断し、評価する

▌フィードバック方法

適宜個人面談を実施していく。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッションを通じて学びを深めていきます）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

必要時に資料を配付

▌参考書

適宜紹介する　学生同士も参考になる文献や情報を適宜紹介しあい、共有すること

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　【今後のゼミの運営方法】と『自己紹介』** 授業内容：ゼミ運営について確認と計画を行います。また、就職活動への準備もかねて、自分自身を他人に理解してもらうための紹介を行うとともに、他者を的確に理解する実践を行う 事前学修 2.0hr：自分がこのゼミにどのような期待をするのか、再確認しておく。そして自分自身をゼミメンバーに理解してもらうため準備を行なう 事後学修 2.0hr：ゼミにおける自身の役割の再確認し、ゼミメンバーの自己紹介を聞いて理解を深める。
2回	**授業テーマ：事例研究 (1)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
3回	**授業テーマ：事例研究 (2)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
4回	**授業テーマ：事例研究 (3)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
5回	**授業テーマ：事例研究 (4)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
6回	**授業テーマ：事例研究 (5)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
7回	**授業テーマ：事例研究 (6)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
8回	**授業テーマ：事例研究 (7)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習

9回	**授業テーマ：事例研究 (8)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
10回	**授業テーマ：事例研究 (9)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
11回	**授業テーマ：事例研究 (10)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
12回	**授業テーマ：事例研究 (11)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
13回	**授業テーマ：事例研究 (12)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
14回	**授業テーマ：事例研究 (13)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前学期のゼミ活動やその他の学生生活での活動を通じて得た学びや気付きを各々にプレゼンテーションし、夏季休暇を有効に活用するための準備を行います。 事前学修 2.0hr：これまでのゼミで得たことをまとめ、夏季休暇の行動計画を作成する 事後学修 2.0hr：前期の活動をふまえ、後期に向けての研究テーマを決める

ケーススタディⅠ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

二宮　秀生 (にのみや　ひでお)

▌授業の概要

ホスピタリティに関するテーマにつき、チームでテーマの選定、研究、報告を行い、それに基づいて全員で討議をする。
情報収集にあたっては極力生の声を聴く。
役割を担うことで、責任感を持って、主体的、積極的に参加する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：組織社会で必要とされる様々な力をつける。
（主体性　責任感　目標設定　計画策定　実行力　情報収集力　分析力　コミュニケーション力　など）
個別目標：チーム内で役割を担うことで、主体性や責任感を醸成する。
共同で進める中でコミュニケーション力、情報収集力をつける。
研究発表と討議を行うことで、プレゼンテーション力をつけるとともに、多様な意見を聴き、尊重することを学ぶ。

▌履修条件

・自らのスキル向上に前向きであること
・自ら考えて行動できること

▌評価基準・方法

チームへの貢献度、研究成果、発表などを総合的に評価する。

▌フィードバック方法

授業中以外にも面談や manaba でのフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （チーム研究）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜資料を配布

▌参考書

適宜紹介

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　自己紹介** 授業内容：ゼミの進め方を共有する。 事前学修 2.0hr：やりたいことを考えておく。 事後学修 2.0hr：やりたいテーマを考える。
2回	**授業テーマ：やりたいテーマの発表　テーマ、チームの決定** 授業内容：チーム分けを行い、テーマを決定する。 事前学修 2.0hr：やりたいテーマを考えておく。 事後学修 2.0hr：やりたい役割を考える。
3回	**授業テーマ：計画の策定　役割分担** 授業内容：チーム内での役割を決め、計画をつくる。 事前学修 2.0hr：計画をイメージしておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
4回	**授業テーマ：テーマ研究①** 授業内容：研究を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。
5回	**授業テーマ：テーマ研究②** 授業内容：研究を行う。 事前学修 2.0hr：研究の進捗を確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。
6回	**授業テーマ：テーマ研究③** 授業内容：研究を行う。 事前学修 2.0hr：研究の進捗を確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。
7回	**授業テーマ：中間発表(レポート)準備** 授業内容：中間発表の準備を行う。 事前学修 2.0hr：中間発表をイメージしておく。 事後学修 2.0hr：中間発表内容を固める。
8回	**授業テーマ：中間発表　全体討議** 授業内容：中間発表を行う。 質問やコメントを行う。 事前学修 2.0hr：発表準備をする。 事後学修 2.0hr：討議で出た意見の反映について考える。
9回	**授業テーマ：テーマ研究④** 授業内容：研究を進める。 事前学修 2.0hr：研究の進捗を確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。
10回	**授業テーマ：テーマ研究⑤** 授業内容：研究を進める。 事前学修 2.0hr：研究の進捗を確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。

11回	**授業テーマ：テーマ研究⑥** 授業内容：研究を進める。 事前学修 2.0hr：研究の進捗を確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。
12回	**授業テーマ：発表(パワポプレゼン)の準備** 授業内容：発表の準備を行う。 事前学修 2.0hr：発表をイメージしておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を固める。
13回	**授業テーマ：発表　討議** 授業内容：発表を行う。 質問やコメントを行う。 事前学修 2.0hr：発表内容を確認しておく。 事後学修 2.0hr：討議で出た意見の反映を考える。
14回	**授業テーマ：発表資料の最終化　夏休みの計画づくり** 授業内容：発表資料の最終化を行う。 事前学修 2.0hr：夏休みの計画につき考えておく。 事後学修 2.0hr：これまでの振り返りを行う。
15回	**授業テーマ：まとめ　学んだことを発表** 授業内容：前期の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：これまでの学びを語る準備をする。 事後学修 2.0hr：夏休みの計画を確認する。

ケーススタディⅠ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

橋本　尚興 (はしもと　ひさおき)

▌授業の概要

分析・洞察力にあふれ、 社会や企業の問題に気が付き、 解決に向けて自ら考え主体的に行動することができる人財の育成を目的とします。そのため、ホスピタリティを軸とした自由なテーマにて課題を設定し、自ら考え・発信し、仲間達と協力して課題への対応に取り組みます。
なお、内容は環境や諸条件により変更する場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・さまざまなテーマの課題と解決方法の検討を通じて、社会人として必要となる課題への対応方法を学ぶ。(DP3)
・ゼミにおける仲間との交流を通じて自分自身の成長を感じることができる。(DP3)
個別目標：・さまざまな事象や自身の体験から問題点に気が付き、課題設定ができるようになる。
・課題の解決方法をチームで検討することにより、役割を認識し、役割に応じた結果を出せるようになる。
・自ら進んで課題解決に努力することを通じて達成感を実感できるようになる。

▌履修条件

・自身の意見を持ち、相手に伝えることができるとともに、相手の話も聞き理解しようと努める。
・仲間とともに課題解決に向けて自主的に 対応しようと努力する気概を持つ。

▌評価基準・方法

プレゼンテーション、ディスカッションの内容と参加態度、仲間への貢献度などを考慮して総合評価します。

▌フィードバック方法

フィードバックは、学修支援システム manaba やゼミを通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （チームにて調査研究活動を行います）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （研究や調査報告作成のために利用する場合があります）

▌教科書

特にありません

▌参考書

適宜配布します

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　【ゼミの運営方法】** 授業内容：前期のゼミ運営のスケジュールと活動内容の説明をおこなうとともに、皆さんからもゼミ運営のアイデアを募集する 事前学修 2.0hr：自分がこのゼミに何を期待し、そのためにどう行動したいのか確認しておく 事後学修 2.0hr：ゼミにおける自身の取り組みについて確認しておく
2回	**授業テーマ：自己紹介と、前期に取り組みたいテーマ(案)の検討** 授業内容：自己紹介と、取り組んでみたいテーマ(案)について発表を行う。「気になる記事の発表」の準備をする 事前学修 2.0hr：自分自身をゼミの仲間に理解してもらうことに加え、取り組んでみたい課題について説明できるように準備する 事後学修 2.0hr：仲間の自己紹介を再確認し、相互理解を深めるとともに、取り組みたい課題を選択する
3回	**授業テーマ：課題の検討／選択　チーム分け** 授業内容：皆と話し合い、前期で取り組むテーマを決めるとともにチーム分けと役割分担を行う。「気になる記事の発表」を行う。 事前学修 2.0hr：テーマを選択した理由を説明できるように準備する 事後学修 2.0hr：チーム内での役割分担に基づき、自身の行動計画を検討する
4回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとにテーマに基づき調査研究に向けた計画を作成する。「気になる記事の発表」を行う。 事前学修 2.0hr：チーム内での自身の行動を説明できるようにしておく 事後学修 2.5hr：調査研究計画に基づいて行動する
5回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む。「気になる記事の発表」を行う。 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
6回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む。「気になる記事の発表」を行う。 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
7回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む。「気になる記事の発表」を行う。 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
8回	**授業テーマ：中間発表** 授業内容：チームごとに中間発表を行う。また、相互に評価し、今後の活動の方向修正や微調整を行う。 事前学修 2.0hr：中間発表の準備をする 事後学修 2.0hr：コメントなどを踏まえ必要に応じて計画修正を行う
9回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む。「気になる記事の発表」を行う。 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
10回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む。「気になる記事の発表」を行う。 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
11回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む。「気になる記事の発表」を行う。 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する

12回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む。「気になる記事の発表」を行う。 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
13回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む。「気になる記事の発表」を行う。 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
14回	**授業テーマ：テーマに対する最終発表と相互評価** 授業内容：チームごとにテーマの最終発表を行うとともに、お互いに評価を行う。 事前学修 3.0hr：課題に対する最終プレゼンテーションの準備を行なう 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づき復習を行う
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前期のまとめと、夏休みのスケジュールや取り組みたい事柄について発表する。 事前学修 2.0hr：授業で得たことをまとめるとともに、夏季休暇の行動計画を作成する 事後学修 2.0hr：夏季休暇の行動計画の実現に向けて検討を行う

ケーススタディⅠ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

前田　篤志（まえだ　あつし）

▌授業の概要

コミュニケーションやネットワーク、コンテクストというキーワードを駆使することで「企業組織」について自分なりの見解をもって説明できることを目標とする。そこで、日々に各メディアから伝えられる企業活動や実際の企業訪問、あるいはインターンシップでの経験等を事例にした疑似体験を題材に、企業組織における働きかたの理想形を探りながら自分なりに問題を発見できるように進めていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：「自分なりの妄想や直感」を起点に、想像力と創造力を発揮してキャリア開発に役立つテーマを主体的に設定し、自分なりの計画に基づいて調査や分析を実行し続けていく。テーマの選び方や分析のやり方は自由。ただし、自分の計画を死守しつつ進める規律性、物事を体系的に筋道立てて考える論理的思考や、「なぜ」を繰り返すことで必要となるデータや理由を多く集めてより良い解決策の糸口を見つけ出す問題発見の涵養を目指していく。

個別目標：自身のテーマについて、問題を複数立てていること
自身のテーマについて仮説を構築できていること

▌履修条件

※ メモをとる習慣を身に付けること
※ 時間観念-必ず期限を守ること
※ 各種イベントやフィールドワークに参加する積極性と、自分の立てた計画をやりきる規律性

▌評価基準・方法

※ 出席率 (30%)、発表や課題の品質（40 %）、授業や課題への取組姿勢（30 %）を基に総合的に評価する。
※ 課題等のフィードバックは個別に実施する。

▌フィードバック方法

各授業の課題等については学修支援システム manaba/mail/Classroom を通じてフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （人間力を高めるための積極的なディベート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （担当教員の許可のもと、使用可）

▌教科書

特になし。
各自個別に指示する。

▌参考書

特になし。
授業の時に必要に応じて指示。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業の進行や内容について説明** 授業内容：初回ガイダンス 事前学修 3.0hr：講義概要を理解し、自分の興味ある分野についてまとめる 事後学修 2.0hr：初回のフィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
2回	**授業テーマ：出発点の確認　研究課題と研究手法について** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：相互の意見交換を通じて、テーマを深掘りしておく。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
3回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
4回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
5回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
6回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
7回	**授業テーマ：中間報告** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 3.0hr：中間報告をレポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
8回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
9回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。

10回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：次回の授業へ向けて、疑問点をまとめておく
11回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：プレ発表準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
12回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
13回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
14回	**授業テーマ：前期の進捗の整理と夏休みの課題の提示** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 3.0hr：発表準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに夏休みの行動計画を確定させる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：文献購読・プレゼンテーション・ディスカッション 事前学修 2.0hr：夏休みの行動計画を最終化しておく。 事後学修 2.0hr：夏休みの行動計画を具体化させる。

ケーススタディⅠ-a

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

三輪　祥宏（みわ　よしひろ）

▌授業の概要

コミュニケーションやネットワーク、コンテクストというキーワードを駆使することで「企業組織」について自分なりの見解をもって説明できることを目標とする。そこで、日々に各メディアから伝えられる企業活動や実際の企業訪問、あるいはインターンシップでの経験等を事例にした疑似体験を題材に、企業組織における働きかたの理想形を探りながら自分なりに問題を発見できるように進めていく。
来年のケーススタディⅡで、特定の企業の組織を対象に、自分なりの根拠と問題意識から、あるべき姿を提案できるケーススタディを作り上げることを目標に、その準備を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：「自分なりの妄想や直感」を起点に、想像力と創造力を発揮してキャリア開発に役立つテーマを主体的に設定し、自分なりの計画に基づいて調査や分析を実行し続けていく。テーマの選び方や分析のやり方は自由。ただし、自分の計画を死守しつつ進める規律性、物事を体系的に筋道立てて考える論理的思考や、「なぜ」を繰り返すことで必要となるデータや理由を多く集めてより良い解決策の糸口を見つけ出す問題発見の涵養を目指していく。

個別目標：○○× HT を基軸に特定の個人テーマを定義できていること
自身のテーマについて、問題を複数立てていること
自身のテーマについて仮説を構築できていること

▌履修条件

本テーマに興味を持ち、柔軟な発想とアンテナの感度を持ち、折れない心でテーマに取り組めること。
各種イベントやフィールドワークに参加する積極性と、自分の立てた計画を死守できる規律性。

▌評価基準・方法

発表や課題の品質（40 %）、授業や課題への取組姿勢（60 %）を基に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは個別に実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （地域や企業との連携を通じた学びに取り組みます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プロジェクト運営での情報整理等、常にパソコンは必要だと思われます。）

▌教科書

特になし。
各自個別に指示していきます。

▌参考書

特になし。授業の時に必要に応じて指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：初回ガイダンス 授業の進行や内容について説明** 授業内容：自己紹介・プロジェクト計画・ゼミ計画など 事前学修 3.0hr：講義概要を理解し、自分の興味ある分野についてまとめる 事後学修 2.0hr：初回のフィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
2回	**授業テーマ：出発点の確認　研究課題と研究手法について** 授業内容：課題探求の手法と手段について概説 事前学修 2.0hr：相互の意見交換を通じて、テーマを深掘りしておく。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
3回	**授業テーマ：プロジェクトワーク①** 授業内容：プロジェクト活動への参画にむけた初回の打ち合わせ 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
4回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：探究課題の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
5回	**授業テーマ：プロジェクトワーク②** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
6回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：探究課題の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
7回	**授業テーマ：プロジェクトワーク③** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 3.0hr：中間報告をレポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
8回	**授業テーマ：研究調査中間レビュー** 授業内容：探究課題の全体への発表 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
9回	**授業テーマ：研究調査中間レビュー** 授業内容：探究課題の全体への発表 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。

10回	**授業テーマ：プロジェクトワーク④** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：次回の授業へ向けて、疑問点をまとめておく
11回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：探究課題の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：プレ発表準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
12回	**授業テーマ：プロジェクトワーク④** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
13回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：探究課題の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
14回	**授業テーマ：前期のプロジェクト進捗のレビュー** 授業内容：プロジェクト活動の進捗レビューと評価 事前学修 3.0hr：発表準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに夏休みの行動計画を確定させる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：課題探求のレビューと評価 事前学修 2.0hr：夏休みの行動計画を最終化しておく。 事後学修 2.0hr：夏休みの行動計画を具体化させる。

ケーススタディⅠ-b

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

五十嵐　潤子（いがらし　じゅんこ）

▌授業の概要

次の組み合わせでテーマを設定し、チームごとに、調査・分析活動を活動の核としながら、提言の発表まで行います。
＜デジタルトランスフォーメーション・インバウンド・With/after コロナ＞×＜まちづくり・ツーリズム・SDGs ＞×＜企業・組織・自治体＞
【特徴】
・2 年にわたるチームを形成し、チームごとに主体的なプロジェクト活動となります。基礎となる事実を自ら調べ、仮説を出し、その検証のために現場を視察・インタビューし、最終的に自らの意見を何らかの形でまとめ、全員で共有していきます。
・授業以外の時間を活用した調査・分析活動等も前提としています。
・ケーススタディⅠ-b では、I-a で実施したプロジェクト活動を通じて、自身がより学びたいことを改め再設定し、プロジェクトチームも再編成します。
・一方、就職活動が本格化してくる時期と重なることもあり、プレゼンテーション力や企業分析力など就活にも役立つロールプレイや企業研究なども織り交ぜながら進めていきます。
・II-b のメンバーと共同で、年間を通して１チーム１回、コミュニケーションイベントを企画・運営・実施し、イベントを成功に導くプロセスを学びます。
なお、授業の進め方は、適宜変更する場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・ゼミの課題であるプロジェクトを通して、社会人になっても通用する、チームワーク力、問題設定力、情報収集力、コミュニケーション力、自己分析力、自己肯定感などの醸成を目指します。
・社会課題に関心を持つ好奇心を養い問題設定能力を高めると同時に、多様な意見を受け容れる柔軟さと、より良い結論を導き出そうとする責任感の醸成を目指します。
個別目標：・プロジェクトに自律的・積極的に関わることを通して、自身が達成感を実感できるようになること
・選択したプロジェクトテーマについて、一定程度の問題意識や課題認識を自ら説明できるようになること
・分析に必要なデータを自身で収集し、分析のための加工ができるようになること

▌履修条件

・I-a と同じ

▌評価基準・方法

各回の授業参加態度および前後の学修状況（60%）、発表の成果物（30%）、自主課題のレポート（10%）を大まかな指標として総合的に評価します。

▌フィードバック方法

・I-a と同じ

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （原則、毎回グループワークあり。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （適宜グループワーク内で使用）

▌教科書

特にありません。

▌参考書

・トラベルボイス（日刊のオンライン情報）を購読（無料）
・適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：夏休みの課題の発表** 授業内容：夏休み中の課題を全体で共有します。 事前学修 2.0hr：I-a で提示された夏休みの課題について学修、発表できるようにしておく 事後学修 2.0hr：I-a のプロジェクト活動などを通じて、I-b で学びたいテーマについてまとめておく
2回	**授業テーマ：テーマの再選択に向けたディスカッションとチーム再編成** 授業内容：前期とは異なるチームで、新たなテーマに挑みます 事前学修 2.0hr：I-a のプロジェクト活動などを通じて、I-b で学びたいテーマについてまとめておく 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
3回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
4回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント④** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントについてフィードバックを行う
5回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
6回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
7回	**授業テーマ：後期フィールドワークの実施** 授業内容：４、５限の時間を使って、後期のフィールドワークを実施（日程前後する可能性あり） 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う

8回	**授業テーマ：後期フィールドワークを受けた気付きの共有** 授業内容：・前半：全体セッション(ファシリテート：ゼミ長) ・後半：分科会セッション(各チーム別) 事前学修 2.0hr：フィールドワークで得た知識や考えなどを課題として提出する 事後学修 2.0hr：チームとして今後のテーマに活かせる内容を検討する
9回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント⑤** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントについてフィードバックを行う
10回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
11回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
12回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
13回	**授業テーマ：3 年生の課題発表** 授業内容：・3 年生のチーム別課題発表を行う 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
14回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント⑥** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントのフィードバックを行う
15回	**授業テーマ：総まとめ：4 年生の課題発表** 授業内容：・4 年生の課題発表(一人ずつ　4限から実施予定) 事前学修 1.0hr：4 年生は、事前に発表課題を提出 事後学修 3.0hr：3 年生は、発表に対するフィードバックを実施、4 年生は、発表課題を修正して提出

ケーススタディⅠ-b

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

渭東　史江（いとう　ちかえ）

▌授業の概要

① 「ホスピタリティ」、「コミュニケーション」、「マネジメント」など社会人として必要な様々な資質、能力を開発するためにケーススタディの内容を自ら提案、計画、チームで協力して実行する。
② ホテルなどの宿泊施設、またはホスピタリティ業界に関連する事項を研究する。たとえばホテルの実地見学などを通して、「特徴」、「オペレーション」、「戦略」、「実績」などを比較して理解する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：様々な体験を通して、ホテル等ホスピタリティ産業を理解する。学びの集大成として研究、考案、企画をする。
　　ビジネスに必要な資質、能力などを伸ばす。
個別目標：① 多様化するホテル全般を理解する。
　　② ホスピタリティ産業について理解を深め、自身の興味や方向性を考える。
　　③ ホテルや旅行企画の考案や、研究成果を発表する。
　　④ ビジネスに必要な資質、能力、また自分が伸ばしたい部分を伸ばす。

▌履修条件

① ホスピタリティ精神をもち、ホテルなどホスピタリティ産業に関心があること
② 自主性をもち、何事にも挑戦する気持ちがあること
③ 学習、研究にまじめに取り組むこと

▌評価基準・方法

ディスカッション、プレゼンテーション、チームへの貢献度などを考慮し総合評価。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通してや授業時間内に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （必要になった場合は事前に連絡する）

▌教科書

必要に応じて資料等を配布。

▌参考書

必要に応じて紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：前期のフィードバック・後期イントロダクション** 授業内容：前期の内容、活動を振り返る。後期にするべきことを確認し、進め方を考える。 事前学修 2.0hr：前期の活動を振り返り、反省点を整理 事後学修 2.0hr：ゼミ活動として、後期に何をするべきか考える
2回	**授業テーマ：各自の目標設定** 授業内容：各自が後期でやりたいこと、するべきことを考え、目標を設定する。 事前学修 2.0hr：興味のあることやするべきことを整理 事後学修 2.0hr：設定した目標達成のためにするべきことを考える
3回	**授業テーマ：チームビルディング** 授業内容：お互いに助け合えるチームとなるために、チームで活動する。チームで協力して成果をあげる。 事前学修 2.0hr：理想のチームを考える 事後学修 2.0hr：内容を振り返り、うまくできたこととそうでないことを理解する
4回	**授業テーマ：ホスピタリティ業界研究** 授業内容：ホスピタリティ産業全体について現状や動向を調査し、発表する。発表を聞くことで業界を広く把握する。 事前学修 2.0hr：ホスピタリティ業界について、前期とは別の観点から調べる 事後学修 2.0hr：ホスピタリティ業界全体についてや現在の動向を把握する
5回	**授業テーマ：自己分析・他己分析・自己 PR** 授業内容：自身が現在までにしてきたことを振り返り、性格や能力を客観的に知る。他者についても印象を率直に伝え、また自身の印象を伝えてもらう。それらをふまえて自己 PR を作成する。 事前学修 2.0hr：自己分析のために自分自身について考える 事後学修 2.0hr：自己分析の結果を把握し、それをどう活かすか考える
6回	**授業テーマ：社会人基礎力** 授業内容：社会人基礎力を一つずつ確認し、自身にその能力があるかどうか考える。自身の強み、弱みを把握する。 事前学修 2.0hr：社会人基礎力を見直す 事後学修 2.0hr：自身の長所、短所を把握し、今後何をするべきか考える
7回	**授業テーマ：グループディスカッション** 授業内容：テーマを決めてグループディスカッションする。ここではディスカッションの進め方、方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：ディスカッションの方法等を復習 事後学修 2.0hr：ディスカッションの成果を整理
8回	**授業テーマ：フィールドワーク** 授業内容：前もって決めたホスピタリティ産業の現場を訪れ、見学や経験により大学では得られない知識を得る。 事前学修 2.0hr：フィールドワークする場所について調べる 事後学修 2.0hr：フィールドワークで学んだことを整理
9回	**授業テーマ：ホスピタリティ業界研究（外部講師）** 授業内容：ホスピタリティ関連企業から外部講師を招聘し、講義を受ける。積極的に聴き、質問することで、より理解を深める。 事前学修 2.0hr：外部講師やテーマについて調べる 事後学修 2.0hr：講義の内容や気づいたことを整理

10回	**授業テーマ：4 年生によるゼミ運営（1）** 授業内容：担当する 4 年生が授業の内容を企画し、運営する。内容についてフィードバックする。 事前学修 2.0hr：担当者の指示に従って準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容により、別途指示
11回	**授業テーマ：4 年生によるゼミ運営（2）** 授業内容：担当する 4 年生が授業の内容を企画し、運営する。内容についてフィードバックする。 事前学修 2.0hr：担当者の指示に従って準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容により、別途指示
12回	**授業テーマ：4 年生によるゼミ運営（3）** 授業内容：担当する 4 年生が授業の内容を企画し、運営する。内容についてフィードバックする。 事前学修 2.0hr：担当者の指示に従って準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容により、別途指示
13回	**授業テーマ：4 年生による卒業研究発表（1）** 授業内容：4 年生が卒業研究の成果を順番に発表する。内容についてフィードバックする。 事前学修 2.0hr：発表準備をサポートする 事後学修 2.0hr：発表内容や気づいたことを整理
14回	**授業テーマ：4 年生による卒業研究発表（2）** 授業内容：4 年生が卒業研究の成果を順番に発表する。内容についてフィードバックする。 事前学修 2.0hr：発表準備をサポートする 事後学修 2.0hr：発表内容や気づいたことを整理
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：1 年間の活動を振り返り、できたこと、できなかったことを考える。次年度に向けて目標を設定する。 事前学修 2.0hr：1 年を統括し、できたこと、やり残したことを整理 事後学修 2.0hr：次年度の目標達成のために行動計画を立てる

ケーススタディⅠ-b

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

木内　伸樹（きうち　のぶき）

▌授業の概要

地域資源を活かした観光振興と持続可能なまちづくりをテーマに、実践的な学びをおこなう。フィールドワーク、観光関連企業・自治体との連携を通じて、観光課題への具体的な解決策を探求する。また、観光・航空業界におけるホスピタリティの意義を学び、地域社会との協働を体験する。最終的に、地域や業界の課題解決に向けた提案をまとめ、発表を通じて学びを深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・常に『明るく』『前向き』で『利他の心』を持ち、ゼミメンバーとの積極的な交流の中で自分自身を成長させることができる
・自ら考え行動し、かつその考え方や行動の根拠や理由を自分の言葉で論理的に説明することができる
・観光立国を目指す日本の、地方自治体の取組み、受入れ側のホスピタリティのあり方、およびそれを実現、持続させるために自分が何ができるかを見つけ、実践、説明できるようになる。

個別目標：・自分の強みは意識して伸ばし、課題 (弱み) は「自分が成長するチャンス」と捉えることができる
・企業研究やゲストスピーカーとのディスカッション等を通して就業意欲を高め、就職活動準備を積極的に行えるようになる
・不明なことは決して放置せず必ず確認できる
・大切なことは日常的にメモを取り、後に活かすことができる

▌履修条件

・明海大学の学生であることに誇りを持ち、好奇心が旺盛で積極的にゼミ活動に関与できる学生
・新たなゼミメンバーの中で積極的に友人を作って協力し合い、自分の視野を拡げていける学生

▌評価基準・方法

・ホスピタリティ実践に興味と意欲があること
・積極的に新しいことに挑戦し、好奇心が旺盛で積極的にゼミ活動に関与できる学生
・新たなゼミメンバーの中で積極的に友人を作って協力し合い、自分の視野を拡げていける学生
・人の話を聴き、自ら考え、自分の意見を述べ、自己成長ができる学生

▌フィードバック方法

一人ひとりと面談形式でフィードバックをおこなう

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要な際は、適宜指示する）

▌教科書

必要時に資料を配付

▌参考書

適宜紹介する　学生同士も参考になる文献や情報を適宜紹介しあい、共有すること

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：後学期のゼミ運営について確認を行います。 事前学修 2.0hr：夏季休暇時の体験やエピソードをまとめる 事後学修 2.0hr：夏季休暇中の体験やエピソードのプレゼンテーション準備を行なう
2回	**授業テーマ：事例研究 (14)　夏季休暇プレゼンテーション** 授業内容：夏季休暇の活動を通じて、気付きや発見等を中心に、各々の成長について確認するとともに、相互の学びを得ることを目指します。 事前学修 3.0hr：プレゼンテーションのためのパワーポイント資料を作成する 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの優れた点、改善すべき点をまとめる
3回	**授業テーマ：事例研究 (15)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
4回	**授業テーマ：事例研究 (16)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
5回	**授業テーマ：事例研究 (17)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
6回	**授業テーマ：事例研究 (18)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
7回	**授業テーマ：事例研究 (19)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
8回	**授業テーマ：事例研究 (20)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
9回	**授業テーマ：事例研究 (21)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習

10回	**授業テーマ：事例研究 (22)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
11回	**授業テーマ：事例研究 (23)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
12回	**授業テーマ：事例研究 (24)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
13回	**授業テーマ：事例研究 (25)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
14回	**授業テーマ：1 年間の総括 (1)** 授業内容：１年間のゼミ活動やその他の学生生活での活動を通じて得た学びや気付きを各々にプレゼンテーションし、本格化する就職活動に向けた準備の最終調整を行います。 事前学修 2.0hr：1 年間の自身の成長度を客観的に確認する 事後学修 3.0hr：次年度の自分自身に何を期待するかまとめる
15回	**授業テーマ：1 年間の総括 (2)** 授業内容：１年間のゼミ活動やその他の学生生活での活動を通じて得た学びや気付きを各々にプレゼンテーションし、本格化する就職活動に向けた準備の最終調整を行います。 事前学修 2.0hr：1 年間の自身の成長度を客観的に確認する 事後学修 3.0hr：次年度の自分自身に何を期待するかまとめ、就活に備える

ケーススタディⅠ-b

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

肖　子睿（しょう　しえい）

▌授業の概要

本講義では、受講生が観光業及びサービス業におけるユニバーサルデザインの重要性と必要性に対する認識と理解を深めて、事例研究を通じて、その実践的な展開方法について学ぶことにある。

特定分野(観光産業とサービス業を対象に)の事例(ケーススタディ)研究を行い、その分野の理論を考察したうえ、理論土台を固め、理解を深めること。とくに高齢化が進んでいる日本において、現実的に意義のある研究課題を定めて、資料収集、現地調査を実施し、結果分析をして、その結果をプレゼンし、レポート作成などの実践を踏まえて、問題の発見と解決能力を身に着けることを目指していき、また次年度の卒論のために準備をすることになる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：　観光施設、観光地とサービス業におけるユニバーサルデザインの具体的な実践方法を学び、バリアフリーな環境を提供するための戦略や手法を理解することを目指す。ユニバーサルデザインの基礎理論の学修と基礎学力の向上を図り、観光のユニバーサルデザインの視野から、調査、研究を行い。今後社会での活躍能力を身につける。

現代観光の特徴として、すべての人々の参加である視点から、高齢者も身体障害者もその権利をもち、社会としてはその参加できる環境と基盤を提供すべきという認識を共有する。

個別目標：・学生が実際の観光施設やイベントに関するケーススタディをして、ユニバーサルデザインの観点から問題を特定し、解決策を提案する能力を養うことを目指すこと。

・学生がグループごとに、アイデアを共有し、コミュニケーション能力を向上させることを目指すこと。

・学生がユニバーサルデザインの実践における倫理的な問題や社会的責任について考え、共生社会実現の促進や地域社会への貢献に関心を持つことを目指すこと。

▌履修条件

・観光のユニバーサルデザインやバリアフリーと共生社会に関心があり、常に向上心と好奇心を持つこと
・グループの一員として積極的にゼミ活動に参加できること
・学習の過程において、障害と困難を乗り越えて、最後までやり遂げること
・事例研究を積極的に取り込み、チームワークができること。
・自ら考えて、自分の意見を述べて、ゼミ内で共有できること。

▌評価基準・方法

・事例研究の調査参加 30 %
・ディスカッション参加、プレゼン 40 %
・レポート３０%
授業と課題の取り込み姿勢などを基に総合的に評価する。

▌フィードバック方法

個別又は学修支援 manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （チームワークがメイン）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料収集、整理、パワポで発表の準備などに使用）

▌教科書

特になし

▌参考書

必要に応じて配布

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、後期講義内容の説明、成績評価基準** 授業内容：後期のスケジュールの確認 事前学修 2.0hr：前期の調査を振り返る、問題点をみつける 事後学修 2.0hr：後期に向けての準備
2回	**授業テーマ：観光地におけるユニバーサルデザインについて** 授業内容：ユニバーサルデザインについて理解する。観光地のユニバーサルデザインについて調べる 事前学修 2.0hr：観光地のユニバーサルデザインについて調べる 事後学修 2.0hr：チームメンバーと意見交換、研究事例の対象を絞る
3回	**授業テーマ：観光の視点からみるユニバーサルデザイン** 授業内容：事例を取り上げながら、学ぶ。 事前学修 2.0hr：研究課題について再確認する 事後学修 2.0hr：次回の準備について、ディスカッション
4回	**授業テーマ：観光地のユニバーサルデザインの現地調査手法を学ぶ①** 授業内容：ヒヤリングの調査手法について 事前学修 2.0hr：調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
5回	**授業テーマ：観光地のユニバーサルデザインの現地調査手法を学ぶ②** 授業内容：ヒヤリング調査手法の勉強について 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
6回	**授業テーマ：チームワーク①** 授業内容：現地調査の準備、ヒヤリングの質問を作る① 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
7回	**授業テーマ：チームワーク②** 授業内容：現地調査の準備、ヒヤリングの質問を作る② 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション

8回	**授業テーマ：チームワーク③** 授業内容：現地調査のヒヤリング調査を行う 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
9回	**授業テーマ：チームワーク④** 授業内容：現地調査のヒヤリング調査結果のまとめ 事前学修 2.0hr：現地調査結果について 事後学修 2.0hr：調査の結果まとめと分析
10回	**授業テーマ：調査結果の分析と報告発表** 授業内容： 現地調査の結果分析と報告 事前学修 2.0hr：現地調査の結果分析の事前準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
11回	**授業テーマ：調査の結果分析と報告発表②** 授業内容：現地調査の結果の分析とまとめ 事前学修 2.0hr：分析の事前準備をする 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
12回	**授業テーマ：観光地のユニバーサルデザイン海外事例との比較研究** 授業内容：海外の事例研究 事前学修 2.0hr：海外事例の文献調査 事後学修 2.0hr：海外事例について、ディスカッション
13回	**授業テーマ：ゲストによる講義** 授業内容：日本の代表観光地を事例にして、観光地の魅力について 事前学修 2.0hr：観光地の魅力を考える 事後学修 2.0hr：講演内容を振り返る
14回	**授業テーマ：一年の振り返り** 授業内容：一年間習得したスキルを今後どう活躍するか、今後具体的な目標について話し合う 事前学修 2.0hr：一年間自身が学修したことのまとめ 事後学修 2.0hr：次年度に向けての目標や計画
15回	**授業テーマ：一年の振り返り** 授業内容：一年間習得したスキルを今後どう活躍するか、今後具体的な目標について話し合う 事前学修 2.0hr：一年間自分が学修したことのまとめ 事後学修 2.0hr：次年度に向けての目標や計画

ケーススタディⅠ-b

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中野　実（なかの　みのる）

▌授業の概要

引き続き「世界とつながる」をメインテーマとし、ゼミメンバーの協働による企業研究・時事問題等の研究/検証を実施し、主として以下をゼミ活動の柱とする

①好奇心を育て、視野を広げるきっかけにするために、タイムリーな時事問題に関する情報共有やディベートを実施する
②『誰が正しいか、ではなく、何が正しいか』という考え方や視点を確立し、人として正しい判断が行えるようにする
③第三者からの「自分の見え方」を大切にし、学年を問わずゼミメンバー同士で忌憚なくアドバイスし合う
④テーマ毎にゼミメンバーをグループ分けし、【協働】で調査・研究を行ったうえでプレゼンテーションを実施する

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・常に『明るく』『前向き』で『利他の心』を持ち、ゼミメンバーとの積極的な交流の中で自身を成長させることができる
・自ら考え行動し、かつその考え方や行動の根拠や理由を自分の言葉で論理的に説明することができる

個別目標：・自分の強みは意識して伸ばし、課題 (弱み) は「自分が成長するチャンス」と捉えることができる
・企業研究や OB/OG とのパネルディスカッション等、就業への意欲を高め、就職活動準備を積極的に行なうことができる
・不明なことは決して放置せず必ず確認できる
・大切なことは日常的にメモを取り、後に活かすことができる
・先輩と積極的に関わり、様々なことを学ぶことができる

▌履修条件

・明海大学の学生であることに誇りを持ち、好奇心が旺盛で積極的にゼミ活動に関与できる学生
・新たなゼミメンバーの中で積極的に友人を作って協力し合い、自分の視野を拡げていける学生

▌評価基準・方法

・ゼミへの参画意欲と積極的な活動
・ゼミメンバーとの協働姿勢
・企画・プレゼンテーション・レポート等のプロセスや結果
これらを総合的に判断し、評価する

▌フィードバック方法

適宜面談を実施する

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッションを通じて学びを深めていきます）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

必要時に資料を配付

▌参考書

適宜紹介する　学生同士も参考になる文献や情報を適宜紹介しあい、共有すること

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：後学期のゼミ運営について確認を行います。 事前学修 2.0hr：夏季休暇時の体験やエピソードをまとめる 事後学修 2.0hr：夏季休暇中の体験やエピソードのプレゼンテーション準備を行なう
2回	**授業テーマ：夏季休暇プレゼンテーション** 授業内容：夏季休暇の活動を通じて、気付きや発見等を中心に、各々の成長について確認するとともに、相互の学びを得ることを目指します。 事前学修 3.0hr：プレゼンテーションのためのパワーポイント資料を作成する 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの優れた点、改善すべき点をまとめる
3回	**授業テーマ：事例研究 (14)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
4回	**授業テーマ：事例研究 (15)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
5回	**授業テーマ：事例研究 (16)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
6回	**授業テーマ：事例研究 (17)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
7回	**授業テーマ：事例研究 (18)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
8回	**授業テーマ：事例研究 (19)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習

9回	**授業テーマ：事例研究 (20)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
10回	**授業テーマ：事例研究 (21)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
11回	**授業テーマ：事例研究 (22)** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
12回	**授業テーマ：4 年卒業研究発表** 授業内容：4 年生の卒業研究発表会を行います。 事前学修 2.0hr：自身の卒業研究テーマを考えておく 事後学修 2.0hr：発表内容を整理する
13回	**授業テーマ：4 年卒業研究発表** 授業内容：4 年生の卒業研究発表会を行います。 事前学修 2.0hr：自身の卒業テーマを考えておく 事後学修 2.0hr：発表内容を整理する
14回	**授業テーマ：4 年卒業研究発表と 3 年研究テーマ発表** 授業内容：4 年生の卒業研究発表会を行います。全員が終わった後に 3 年生の研究テーマを発表してもらいます。 事前学修 2.0hr：自身の卒業テーマを考えておく 事後学修 2.0hr：発表内容を整理する。
15回	**授業テーマ：1 年間の総括** 授業内容：1 年間のゼミ活動やその他の学生生活での活動を通じて得た学びや気付きを各々にプレゼンテーションし、本格化する就職活動に向けた準備の最終調整を行います。 事前学修 2.0hr：1 年間の自身の成長度を客観的に確認する 事後学修 2.0hr：次年度の自分自身に何を期待するかまとめ、就活に備える

ケーススタディⅠ-b

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

二宮　秀生（にのみや　ひでお）

▌授業の概要
学生で何をするかを話し合って運営する。
各自責任感を持って、主体的、積極的に参加する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）
一般目標：組織社会で必要とされる様々な力をつける。
（目標設定　計画策定　実行力　情報収集力　分析力　コミュニケーション力　責任感　主体性など）
個別目標：チーム共同で進める中で、主体性や責任感を醸成し、コミュニケーション力、情報収集力をつける。
多様な意見を聴き、尊重することを学ぶ。

▌履修条件
・自らのスキルの向上に前向きであること。
・自ら考えて行動できること。

▌評価基準・方法
チームへの貢献度、研究成果、発表などを総合的に評価する。

▌フィードバック方法
授業中のほか、面談や manaba でのフィードバックも行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （チーム討議を行う会を設ける）

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
適宜資料を配布。

▌参考書
適宜紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　次回以降の運営決定** 授業内容：ゼミの運営自体を学生に検討させ、主体的に運営してもらう。 計画の方向性を決める。 事前学修 2.0hr：やりたいテーマを考えておく。 事後学修 2.0hr：計画をイメージする
2回	**授業テーマ：計画確定** 授業内容：ゼミの各回の計画を固める。 事前学修 2.0hr：計画をイメージしておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
3回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正する。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
4回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正する。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
5回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正する。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
6回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正する。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
7回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正する。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
8回	**授業テーマ：4 年生卒業研究テーマ発表** 授業内容：4 年生が卒業研究のテーマを発表する。 必ず質問やコメントを行う。 事前学修 2.0hr：コメントにあたっての心構えを確認しておく。 事後学修 2.0hr：他の意見と自分の意見の違いを確認する。
9回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正する。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
10回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正する。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
11回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正する。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。

12回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正する。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
13回	**授業テーマ：4 年卒業研究発表** 授業内容：4 年生が卒業研究の発表を行う。 必ず質問やコメントを行う。 事前学修 2.0hr：コメントにあたっての心構えを確認しておく。 事後学修 2.0hr：他の意見と自分の意見の違いを確認する。
14回	**授業テーマ：4 年生卒業研究発表** 授業内容：4 年生が卒業研究の発表を行う。 必ず質問やコメントを行う。 事前学修 2.0hr：コメントにあたっての心構えを確認しておく。 事後学修 2.0hr：他の意見と自分の意見の違いを確認する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：1 年間を振り返る。 事前学修 2.0hr：1 年間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：春休みの計画を固める。

ケーススタディⅠ-b

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

橋本　尚興（はしもと　ひさおき）

▌授業の概要

分析・洞察力にあふれ、 社会や企業の問題に気が付き、 解決に向けて自ら考え主体的に行動することができる人財の育成を目的とします。そのため、ホスピタリティを軸とした自由なテーマにて課題を設定し、自ら考え・発信し、共感した仲間と協力して課題への対応に取り組みます。
なお、内容は環境や諸条件により変更する場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・さまざまなテーマの課題と解決方法の検討を通じて、社会人として必要となる課題への対応方法を学ぶ。(DP3)
・ゼミにおける仲間との交流を通じて自分自身の成長を感じることができる。(DP3)
個別目標：・さまざまな事象や自身の体験から問題点に気が付き、課題設定ができるようになる。
・課題の解決方法をチームで検討することにより、役割を認識し、役割に応じた結果を出せるようになる。
・自ら進んで課題解決に努力することを通じて達成感を実感できるようになる。

▌履修条件

・自身の意見を持ち、相手に伝えることができるとともに、相手の話も聞き理解しようと努める。
・仲間とともに課題解決に向けて自主的に 対応しようと努力する気概を持つ。

▌評価基準・方法

最終発表、ディスカッションの内容と参加態度、仲間への貢献度などを考慮して総合評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは、学修支援システム manaba やゼミを通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （チームにて調査活動を行います）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （研究や調査報告作成のために利用する場合があります）

▌教科書

特にありません

▌参考書

適宜配布する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：夏期休暇の振り返り** 授業内容：夏季休暇の計画と実際について振り返りを口頭説明するとともに、今後のゼミ運営におけるアイデアを出す 事前学修 2.0hr：夏季休暇の振り返りを行っておく 事後学修 2.0hr：後期に取り組んでみたい研究テーマについて説明できるように準備する
2回	**授業テーマ：研究テーマの検討／選択　チーム分け（1）** 授業内容：後期に取り組んでみたい研究テーマ(案)を検討する 事前学修 2.0hr：後期に取り組んでみたい研究テーマについて説明できるように準備する 事後学修 2.0hr：取り組みたい研究テーマを検討する
3回	**授業テーマ：研究テーマの検討／選択　チーム分け（2）** 授業内容：後期に取り組んでみたい研究テーマを決定し、チーム分けを行う。また、調査研究計画および役割分担も決める 事前学修 2.0hr：取り組みたい研究テーマについて検討する 事後学修 2.0hr：チーム内での役割分担に基づき、自身の行動計画を検討する
4回	**授業テーマ：研究テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む。　４年生の卒業研究のテーマを確認する。 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
5回	**授業テーマ：研究テーマへの対応** 授業内容：チームごとに計画に基づき調査研究に取り組む。ゼミ運営に主体的に参加する。 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
6回	**授業テーマ：研究テーマへの対応** 授業内容：チームごとに計画に基づき調査研究に取り組む。ゼミ運営に主体的に参加する。 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
7回	**授業テーマ：研究テーマのまとめ** 授業内容：チームごとに計画に基づき調査研究をまとめ、発表への準備を行う。ゼミ運営に主体的に参加する。 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
8回	**授業テーマ：研究テーマに対する発表** 授業内容：研究テーマに対する発表を行う。４年生による評価を受ける 事前学修 3.0hr：発表準備を行う 事後学修 2.0hr：評価内容を振り返る
9回	**授業テーマ：ゼミ運営内容の検討** 授業内容：第１０～１２、第１５回のゼミの運営内容を決め、計画と役割アサインを行う。 事前学修 2.0hr：ゼミ運営のアイデアを考える 事後学修 2.5hr：計画に基づき準備を行う
10回	**授業テーマ：ゼミ運営** 授業内容：ゼミ運営を行う 事前学修 2.0hr：計画に基づき準備を行う 事後学修 2.5hr：計画に基づき準備を行う
11回	**授業テーマ：ゼミ運営** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマ②に対して取り組む 事前学修 2.0hr：計画に基づき準備を行う 事後学修 2.5hr：計画に基づき準備を行う

12回	**授業テーマ：ゼミ運営** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマ②に対して取り組む 事前学修 2.0hr：計画に基づき準備を行う 事後学修 2.5hr：第１５回の準備を行う
13回	**授業テーマ：４年生　卒業研究の発表　その１** 授業内容：４年生の卒業研究の発表を聴き、次年度の自身の卒業研究のイメージを掴む 事前学修 3.0hr：４年生の卒研テーマを見直しておく 事後学修 2.0hr：次年度の自身の卒業研究テーマについて検討する
14回	**授業テーマ：４年生　卒業研究の発表　その２** 授業内容：４年生の卒業研究の発表を聴き、次年度の自身の卒業研究のイメージを掴む 事前学修 2.0hr：４年生の卒研テーマを見直しておく 事後学修 2.5hr：次年度の自身の卒業研究テーマについて検討する
15回	**授業テーマ：全体の振り返り** 授業内容：ゼミでの学修内容、テーマ研究や評価結果を踏まえ、ゼミの振り返りを行うともに、４年生への感謝を伝える 事前学修 2.0hr：ゼミで学修したことを事前に振り返っておく　ゼミ運営準備を行う 事後学修 2.0hr：自身の行動や成果物を振り返り、４年で取り組みたいテーマを考える

ケーススタディⅠ-b

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

前田　篤志（まえだ　あつし）

▌授業の概要

コミュニケーションやネットワーク、コンテクストというキーワードを駆使することで「企業組織」について自分なりの見解をもって説明できることを目標とする。そこで、日々に各メディアから伝えられる企業活動や実際の企業訪問、あるいはインターンシップでの経験等を事例にした疑似体験を題材に、企業組織における働きかたの理想形を探りながら自分なりに問題を発見できるように進めていく。来年のケーススタディⅡで、特定の企業の組織を対象に、自分なりの根拠と問題意識から、あるべき姿を提案できる卒業研究を作ることを目標に、その準備を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：「自分なりの妄想や直感」を起点に、想像力と創造力を発揮してキャリア開発に役立つテーマを主体的に設定し、自分なりの計画に基づいて調査や分析を実行し続けていく。テーマの選び方や分析のやり方は自由。ただし、自分の計画を死守しつつ進める規律性、物事を体系的に筋道立てて考える論理的思考や、「なぜ」を繰り返すことで必要となるデータや理由を多く集めてより良い解決策の糸口を見つけ出す問題発見の涵養を目指していく。

個別目標：自身のテーマについて、問題を複数立てていること
自身のテーマについて仮説を構築できていること

▌履修条件

※ 時間厳守

※ 本テーマに興味を持ち、柔軟な発想とアンテナの感度を持ち、折れない心でテーマに取り組めること。

※ 各種イベントやフィールドワークに参加する積極性と、自分の立てた計画を死守できる規律性。

▌評価基準・方法

出席率(20%)、発表や課題の品質(40 %)、授業や課題への取組姿勢(40 %)を基に総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは個別に実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （社会人なるための人間性、耐性を身に付けるためにディスカッションを実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （担当教員の許可のもと、使用可）

▌教科書

特になし。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：初回ガイダンス** 授業内容：後学期の授業の進行や内容について説明 中間発表にむけての準備 事前学修 3.0hr：講義概要を理解し、自分の興味ある分野についてまとめる 事後学修 1.0hr：初回のフィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
2回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：相互の意見交換を通じて、テーマを深掘りしておく。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
3回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
4回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
5回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
6回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
7回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：中間報告 事前学修 3.0hr：中間報告をレポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
8回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
9回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。

10回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
11回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
12回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
13回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：課題探求活動 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
14回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：年間の進捗の整理と来年度に向けた課題の提示 事前学修 3.0hr：発表準備 事後学修 1.0hr：フィードバックをもとに夏休みの行動計画を確定させる。
15回	**授業テーマ：課題探求活動** 授業内容：まとめ 事前学修 1.0hr：春休みの行動計画を最終化しておく。 事後学修 2.0hr：春休みの行動計画を具体化させる。

ケーススタディⅠ-b

開講学科等：HT ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

三輪　祥宏（みわ　よしひろ）

▌授業の概要

コミュニケーションやネットワーク、コンテクストというキーワードを駆使することで「企業組織」について自分なりの見解をもって説明できることを目標とする。そこで、日々に各メディアから伝えられる企業活動や実際の企業訪問、あるいはインターンシップでの経験等を事例にした疑似体験を題材に、企業組織における働きかたの理想形を探りながら自分なりに問題を発見できるように進めていく。
来年のケーススタディⅡで、特定の企業の組織を対象に、自分なりの根拠と問題意識から、あるべき姿を提案できるケーススタディを作り上げることを目標に、その準備を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：「自分なりの妄想や直感」を起点に、想像力と創造力を発揮してキャリア開発に役立つテーマを主体的に設定し、自分なりの計画に基づいて調査や分析を実行し続けていく。テーマの選び方や分析のやり方は自由。ただし、自分の計画を死守しつつ進める規律性、物事を体系的に筋道立てて考える論理的思考や、「なぜ」を繰り返すことで必要となるデータや理由を多く集めてより良い解決策の糸口を見つけ出す問題発見の涵養を目指していく。

個別目標：○○× HT を基軸に特定の個人テーマを定義できていること
自身のテーマについて、問題を複数立てていること
自身のテーマについて仮説を構築できていること

▌履修条件

本テーマに興味を持ち、柔軟な発想とアンテナの感度を持ち、折れない心でテーマに取り組めること。
各種イベントやフィールドワークに参加する積極性と、自分の立てた計画を死守できる規律性。

▌評価基準・方法

発表や課題の品質（40 %）、授業や課題への取組姿勢（60 %）を基に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは個別に実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （地域や企業との連携を通じた学びに取り組みます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プロジェクト運営での情報整理等、常にパソコンは必要だと思われます。）

▌教科書

特になし。
各自個別に指示していきます。

▌参考書

特になし。授業の時に必要に応じて指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：初回ガイダンス 後学期授業の進行や内容について説明** 授業内容：自己紹介・プロジェクト計画・ゼミ計画など 事前学修 3.0hr：講義概要を理解し、自分の興味ある分野についてまとめる 事後学修 2.0hr：初回のフィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
2回	**授業テーマ：前学期着地点の確認と後学期計画** 授業内容：課題探求の手法と手段について概説 事前学修 2.0hr：相互の意見交換を通じて、テーマを深掘りしておく。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
3回	**授業テーマ：プロジェクトワーク①** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
4回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：探究課題の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
5回	**授業テーマ：プロジェクトワーク②** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
6回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：探究課題の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
7回	**授業テーマ：プロジェクトワーク③** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 3.0hr：中間報告をレポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
8回	**授業テーマ：研究調査中間レビュー** 授業内容：探究課題の全体への発表 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
9回	**授業テーマ：研究調査中間レビュー** 授業内容：探究課題の全体への発表 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。

10回	**授業テーマ：プロジェクトワーク④** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：次回の授業へ向けて、疑問点をまとめておく
11回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：探究課題の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：プレ発表準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
12回	**授業テーマ：プロジェクトワーク④** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
13回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：探究課題の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
14回	**授業テーマ：前期のプロジェクト進捗のレビュー** 授業内容：プロジェクト活動の進捗レビューと評価 事前学修 3.0hr：発表準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに夏休みの行動計画を確定させる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：課題探求のレビューと評価 事前学修 2.0hr：夏休みの行動計画を最終化しておく。 事後学修 2.0hr：夏休みの行動計画を具体化させる。

ケーススタディⅡ-a

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

五十嵐　潤子（いがらし　じゅんこ）

▌授業の概要

【特徴】

・チームごとに主体的なプロジェクト活動となります。

・ケーススタディ I で、研究してきた課題について、さらに深掘りするのか、新たなテーマにチャレンジするのかをチームで方向性を決め、それに向けた活動を展開します。

・前期に、日月を使って、１泊２日のフィールドワークを想定しています。一人当たり 1 万円前後の費用がかかることを想定ください。

・基礎となる事実を自ら調べ、仮説を出し、その検証のために現場を視察・インタビューし、ケーススタデイ II-b の最終アウトプットを見据えた事業計画を作成します。

・II-a の最終回には、研究成果の途中経過をまとめ、I-a メンバーも含め、全員で共有していきます。

・授業以外の時間を活用した調査・分析活動等も前提としています。

・I-a と共同で別途チームを編成し、年間を通して１チーム１回、コミュニケーションイベントを企画、実施、運営を行うことを通して、イベントを成功させるためのプロセスを学びます。

なお、授業の進め方は、適宜変更する場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・ゼミの課題であるプロジェクトを通して、社会人になっても通用する、チームワーク力、問題設定力、情報収集力、コミュニケーション力、自己分析力、自己肯定感などの醸成を目指します。
・社会課題に関心を持つ好奇心を養い問題設定能力を高めると同時に、多様な意見を受け容れる柔軟さと、より良い結論を導き出そうとする責任感の醸成を目指します。

個別目標：・様々な現象に、多様な課題や視点が存在することを認識し、好奇心を育て深く掘り下げる喜びを感じられるようになること
・プロジェクトに自律的・積極的に関わることを通して、自身が達成感を実感できるようになること
・選択したプロジェクトテーマについて、一定程度の問題意識や課題認識を自ら説明できるようになること
・分析に必要なデータを自身で収集し、分析のための加工ができるようになること

▌履修条件

・仲間を敬うこと

・テーマに関心を持ち、チームで成し遂げる成果に対して自律的に役割を果たす積極性と責任感を持てること

・4 年次のフィールドワーク実施を前提に積立金を実施予定

・ノート型 PC を持参できる環境が望ましい（EXCEL、PowerPoint、Word ソフト含む）※必須ではない

▌評価基準・方法

各回の授業参加態度および前後の学修状況（60%）、発表の成果物（30%）、自主課題のレポート（10%）を大まかな指標として総合的に評価します。

▌フィードバック方法

原則として、ゼミ生間で、相互にそれぞれのアウトプットに対してのフィードバックを行う。その上で、必要に応じて、適宜指導教員が総括的なフィードバックを、主に教室での口頭によって行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （原則、毎回グループワークあり。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （適宜グループワーク内で使用）

▌教科書

特にありません。

▌参考書

・トラベルボイス（日刊のオンライン情報）を購読（無料）

・適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（授業の進め方、テーマについて、メンバーを知る）** 授業内容：・当授業に関するオリエンテーション（授業の進め方、授業評価基準、出欠基準など） ・4 年生による 3 年生次の活動内容の紹介 ・自己紹介 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、関心のあるテーマについてまとめておく 事後学修 2.0hr：次回の授業に向けて必要な学修を行う
2回	**授業テーマ：まちづくりの「視点」についての知識共有** 授業内容：・教員が用意した各種事例から、チームで選び、各チームでその内容を自らの視点で調べる 事前学修 2.0hr：本授業に向けて必要な学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
3回	**授業テーマ：まちづくりの「視点」についての知識共有** 授業内容：・教員が用意した各種事例から、チームで選び、各チームでその内容を自らの視点で調べる 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
4回	**授業テーマ：まちづくりの「視点」についての知識共有** 授業内容：・事例について、各チームの発表 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
5回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント①** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントについてフィードバックを行う

6回	**授業テーマ：「特定のまちづくり事例」について研究テーマを設定** 授業内容：・前期のメインフィールドワークとして　チームごとに何を調べ、どこに行くかを検討する 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
7回	**授業テーマ：選んだ「特定のまちづくり事例」について各グループごとのテーマに基づく調査・研究** 授業内容：・前期のメインフィールドワークに赴くに際し、グループごとに設定したテーマに基づき深掘り調査を行う ・フィールドワーク時において、それぞれの役割を確認する 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
8回	**授業テーマ：選んだ「特定のまちづくり事例」についてのテーマとその調査・研究内容の全体共有（発表）** 授業内容：・前期のメインフィールドワークに赴くに際し、テーマ及び調査内容を全体共有する 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
9回	**授業テーマ：全体＆グループワークショップ：「フィールドワークをした「まち」についてわかったこと」** 授業内容：・前半：全体でのトークセッション「行く前と後で何が違ったか」（ファシリテート：ゼミ長） ・後半：チームに分かれて、今後の課題発表に向けて調査・研究テーマの軌道修正 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
10回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント②** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントについてフィードバックを行う
11回	**授業テーマ：最終の発表課題に向けてテーマ選び** 授業内容：・チーム変更 ・改めて、調べたい「街選び」「テーマ（SDGs、DX、インバウンド、その他）」「（必要に応じて）関わる企業」を再検討 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
12回	**授業テーマ：最終の発表課題に向けた調査・研究作業** 授業内容：・前回で設定したテーマに基づいてチームで調査・研究 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
13回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント③** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントについてフィードバックを行う
14回	**授業テーマ：最終の発表課題に向けた調査・研究作業** 授業内容：・設定したテーマに基づいてチームで調査・研究 ・発表に向けた準備 ・教員向けの個別プレゼン（途中経過） 事前学修 2.0hr：発表に向けて、発表内容を整理し、一定程度の品質の資料にまとめておく 事後学修 2.0hr：教員からのフィードバック内容を受けてチームごとに発表案を修正する
15回	**授業テーマ：課題発表** 授業内容：・各チームごとに発表 ・相互フィードバックを実施 事前学修 2.0hr：発表資料を仕上げ、チーム内の発表時の役割を明確にし、事前にプレゼンテーション練習を行う 事後学修 2.0hr：発表課題について、フィードバックを反映させた修正レポートを出す（チーム別）

ケーススタディⅡ-a

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

渭東　史江（いとう　ちかえ）

▌授業の概要

① 「ホスピタリティ」、「コミュニケーション」、「マネジメント」など社会人として必要な様々な資質、能力を開発するためにケーススタディの内容を自ら提案、計画、チームで協力して実行する。

② ホテルなどの宿泊施設、またはホスピタリティ業界に関連する事項を研究する。たとえばホテルの実地見学などを通して、「特徴」、「オペレーション」、「戦略」、「実績」などを比較して理解する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：様々な体験を通して、ホテル等ホスピタリティ産業を理解する。学びの集大成として研究、考案、企画をする。
ビジネスに必要な資質、能力などを伸ばす。

個別目標：① 多様化するホテル全般を理解する。
② ホスピタリティ産業について理解を深め、自身の興味や方向性を考える。
③ ホテルや旅行企画の考案や、研究成果を発表する。
④ ビジネスに必要な資質、能力、また自分が伸ばしたい部分を伸ばす。

▌履修条件

① ホスピタリティ精神をもち、ホテルなどホスピタリティ産業に関心があること
② 自主性をもち、何事にも挑戦する気持ちがあること
③ 学習、研究にまじめに取り組むこと

▌評価基準・方法

ディスカッション、プレゼンテーション、チームへの貢献度などを考慮し総合評価。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通してや授業内に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （必要になった場合は事前に連絡する）

▌教科書

必要に応じて資料等を配布。

▌参考書

必要に応じて紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：ケーススタディの内容、授業の進め方等の説明。 事前学修 2.0hr：自分の興味のあることについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ活動について把握し、何をするべきか考える
2回	**授業テーマ：自己紹介・発表** 授業内容：お互いを知り、協働のために自己紹介をする。 事前学修 2.0hr：自己紹介のための準備をする 事後学修 2.0hr：ゼミメンバーを把握し、お互いに影響し合えることを考える
3回	**授業テーマ：チームビルディング** 授業内容：お互いを知り強いチームになるためにチームで活動する。チームで協力して成果をあげる。 事前学修 2.0hr：理想のチームを考える 事後学修 2.0hr：内容を振り返り、うまくできたこととそうでないことを理解する
4回	**授業テーマ：ホスピタリティ業界研究** 授業内容：ホスピタリティ産業全体について調査し、発表する。発表を聞くことで業界を広く把握する。 事前学修 2.0hr：ホスピタリティ業界について調べる 事後学修 2.0hr：ホスピタリティ業界全体についてや現在の動向を把握する
5回	**授業テーマ：研究・企画課題決定・目標設定** 授業内容：今後のケーススタディで研究や企画をするテーマをグループディスカッションにより決定する。 事前学修 2.0hr：取り上げたい課題について考える 事後学修 2.0hr：決まった課題をどのように研究するか考える
6回	**授業テーマ：グループディスカッション** 授業内容：研究や企画のテーマ、課題について研究・調査方法、進め方をグループディスカッションにより決定する。 事前学修 2.0hr：課題の進め方を考える 事後学修 2.0hr：決まったことをまとめる
7回	**授業テーマ：課題研究** 授業内容：課題についてメンバーが分担して企画・研究・調査する。内容は必要に応じて発表し、まとめていく。 事前学修 2.0hr：研究に必要なものを調べる 事後学修 2.0hr：研究内容をまとめる
8回	**授業テーマ：フィールドワーク** 授業内容：課題について、現地で調査する。 事前学修 2.0hr：フィールドワークする場所について調べる 事後学修 2.0hr：フィールドワークの内容や感想をまとめる
9回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：フィールドワークで得た内容をグループ内で発表する。 事前学修 2.0hr：フィールドワークの感想などを発表できるようにする 事後学修 2.0hr：決まったことをまとめる
10回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：グループディスカッション等により、企画・研究、資料作成をすすめる。 事前学修 2.0hr：企画・研究をすすめるのに必要なものを考える 事後学修 2.0hr：決まったことをまとめる

11回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：グループディスカッション等により、企画・研究、資料作成をすすめる。 事前学修 2.0hr：企画・研究をすすめるのに必要なものを考える 事後学修 2.0hr：決まったことをまとめる
12回	**授業テーマ：発表準備** 授業内容：グループで内容をまとめて資料作成、発表の準備、練習をする。 事前学修 2.0hr：発表内容をまとめる 事後学修 2.0hr：発表の練習をする
13回	**授業テーマ：研究発表(1)** 授業内容：グループごとに発表をする。他グループの発表を聞き評価する。 事前学修 2.0hr：担当者は研究発表の準備をする 事後学修 2.0hr：グループのフィードバックをまとめる
14回	**授業テーマ：研究発表(2)** 授業内容：グループごとに発表をする。他グループの発表を聞き評価する。 事前学修 2.0hr：担当者は研究発表の準備をする 事後学修 2.0hr：グループのフィードバックをまとめる
15回	**授業テーマ：前期まとめ** 授業内容：前期中の活動を振り返り、できたこと、できなかったことを考える。後期に向けて目標を立てる。 事前学修 2.0hr：前期中にしたこと、するべきことをまとめる 事後学修 2.0hr：前期中にするべきことを終了し、後期に向けてできる準備をする

ケーススタディⅡ-a

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

上杉　恵美（うえすぎ　めぐみ）

▌授業の概要

日本の観光に関連する地理・歴史・文化などについての基本事項を英語で説明する演習を行なう。また、日本文化体験やフィールドワークを実施し、成果を日本語と英語で発表する。その経験を生かして、後期のフィールドワークの計画を考案する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・上記の演習と体験を生かして、日本を英語で紹介できるような知識と技術を身につけ、コミュニケーション力を向上させる。
・日本文化体験やフィールドワークで見聞を広め、日本の魅力発信について自分なりの見地から考察できるようにする。
・日本文化体験やフィールドワークの成果を日本語と英語で発表する。

個別目標：・英語で観光案内や日本の伝統文化の簡潔な説明ができるような力を身に付ける。
・伝統文化体験やフィールドワークを通して発見した日本の魅力を、自分の言葉で発信できるようにする。
・グループワークに積極的に参加し、自分なりの役割を果たす。

▌履修条件

簡単な通訳案内が可能な英語力を有していること。

▌評価基準・方法

授業参加度 50 %　提出課題 25 %　発表 25 %

▌フィードバック方法

課題やレポート等のフィードバックは、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループによるフィールドワークとプレゼン）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （小テスト・課題提出）

▌教科書

Hospitality on the Scene（金星堂）

▌参考書

観光英語検定試験問題集・全国通訳案内士試験過去問題・東京シティガイド検定公式テキスト

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：ゼミメンバー自己紹介と前学期授業計画の説明 事前学修 2.0hr：自己紹介文作成 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
2回	**授業テーマ：英語観光案内の基本演習 (1)・前期フィールドワークの計画 (1)** 授業内容：英語で日本の観光案内をするための練習を行う・フィールドワーク案を話し合う 事前学修 2.0hr：資料の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
3回	**授業テーマ：日本伝統文化体験 (1)** 授業内容：日本船伝統のおもてなし「飾り毛布」の実習を行う 事前学修 2.0hr：資料の予習 事後学修 2.0hr：体験についてのレポート作成
4回	**授業テーマ：英語観光案内の基本演習 (2)・前期フィールドワークの計画 (2)** 授業内容：英語で日本の観光案内をするための練習を行う・フィールドワーク案を話し合い、グループを編成する 事前学修 2.0hr：資料の予習・フィールドワーク考案 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
5回	**授業テーマ：英語観光案内の基本演習 (3)・前期フィールドワークの計画 (3)** 授業内容：英語で日本の観光案内をするための練習を行う・グループ内でフィールドワークの計画を話し合う 事前学修 2.0hr：資料の予習・フィールドワークのための情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
6回	**授業テーマ：英語観光案内の基本演習 (4)・前期フィールドワークの計画 (4)** 授業内容：英語で日本の観光案内をするための練習を行う・グループ内でフィールドワークの計画を話し合う 事前学修 2.0hr：資料の予習・フィールドワークのための情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容の復習・フィールドワークの準備
7回	**授業テーマ：英語観光案内の基本演習 (5)・前期フィールドワークの計画 (5)** 授業内容：英語で日本の観光案内をするための練習を行う・グループ内でフィールドワークの実行準備を進める 事前学修 2.0hr：資料の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習・フィールドワークの準備
8回	**授業テーマ：英語観光案内の基本演習 (6)・前期フィールドワークの計画 (6)** 授業内容：英語で日本の観光案内をするための練習を行う・グループ内でフィールドワークの実行準備と確認を行う 事前学修 2.0hr：資料の予習・フィールドワークのための情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容の復習・フィールドワークの準備
9回	**授業テーマ：前期フィールドワークの実践** 授業内容：各グループによるフィールドワークを実行する 事前学修 2.0hr：フィールドワークの打ち合わせ 事後学修 2.0hr：フィールドワークの内容と成果のまとめ
10回	**授業テーマ：前期フィールドワークの成果発表 (1)** 授業内容：フィールドワークに関するグループプレゼンを行う 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンのフィードバック
11回	**授業テーマ：前期フィールドワークの成果発表 (2)** 授業内容：フィールドワークに関するグループプレゼンを行う 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンのフィードバック

12回	**授業テーマ：英語観光案内の基本演習 (7)・後期フィールドワークの計画 (1)** 授業内容：英語で日本の観光案内をするための練習を行う・後期に行う予定の他都道府県におけるフィールドワーク案を話し合う 事前学修 2.0hr：資料の予習・フィールドワークのための情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
13回	**授業テーマ：英語観光案内の基本演習 (8)・後期フィールドワークの計画 (2)** 授業内容：英語で日本の観光案内をするための練習を行う・後期に行う予定の他都道府県におけるフィールドワーク案を話し合い、グループを編成する 事前学修 2.0hr：資料の予習・フィールドワークのための情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
14回	**授業テーマ：英語観光案内の基本演習 (9)・後期フィールドワークの計画 (3)** 授業内容：英語で日本の観光案内をするための練習を行う・グループ内で後期フィールドワークの計画を立てる 事前学修 2.0hr：資料の予習・フィールドワークのための情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
15回	**授業テーマ：前学期授業のまとめ** 授業内容：前学期の授業内容と活動のふり返りを行う　後期フィールドワーク計画を確認する 事前学修 2.0hr：資料の予習・フィールドワークのための情報収集 事後学修 2.0hr：授業内容の復習

ケーススタディⅡ-a

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

木内　伸樹（きうち　のぶき）

▌授業の概要

地域資源を活かした観光振興と持続可能なまちづくりをテーマに、実践的な学びをおこなう。フィールドワーク、観光関連企業・自治体との連携を通じて、観光課題への具体的な解決策を探求する。また、観光・航空業界におけるホスピタリティの意義を学び、地域社会との協働を体験する。最終的に、地域や業界の課題解決に向けた提案をまとめ、発表を通じて学びを深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・常に『明るく』『前向き』で『利他の心』を持ち、ゼミメンバーとの積極的な交流の中で自分自身を成長させることができる
・自ら考え行動し、かつその考え方や行動の根拠や理由を自分の言葉で論理的に説明することができる
・観光立国を目指す日本の、地方自治体の取組み、受入れ側のホスピタリティのあり方、およびそれを実現、持続させるために自分が何ができるかを見つけ、実践、説明できるようになる。

個別目標：・自分の強みは意識して伸ばし、課題 (弱み) は「自分が成長するチャンス」と捉えることができる
・企業研究やゲストスピーカーとのディスカッション等を通して就業意欲を高め、就職活動準備を積極的に行えるようになる
・不明なことは決して放置せず必ず確認できる
・大切なことは日常的にメモを取り、後に活かすことができる

▌履修条件

・ケーススタディⅠを取得していること
・ホスピタリティ実践に興味と意欲があること
・積極的に新しいことに挑戦し、好奇心が旺盛で積極的にゼミ活動に関与できる学生
・新たなゼミメンバーの中で積極的に友人を作って協力し合い、自分の視野を拡げていける学生
・人の話を聴き、自ら考え、自分の意見を述べ、自己成長ができる学生

▌評価基準・方法

・ゼミへの参画意欲と積極的な活動
・ゼミメンバーとの協働姿勢
・企画・プレゼンテーションのプロセスや結果
これらを総合的に判断し、評価する

▌フィードバック方法

個人面談を定期的に設定し、個別にフィードバックを行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パワーポイント作成など。必要な際は、適宜指示する）

▌教科書

必要時に資料を配付

▌参考書

適宜紹介する　学生同士も参考になる文献や情報を適宜紹介しあい、共有すること

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　【今後のゼミの運営方法】と『自己紹介』** 授業内容：ゼミ運営について確認と計画を行います。また自分自身を他人に理解してもらうための紹介を行うとともに、他者を的確に理解する実践を行う。 事前学修 2.0hr：自分がこのゼミにどのような期待をするのか、再確認しておく 事後学修 2.0hr：ゼミにおける自身の役割の再確認
2回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
4回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
5回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
6回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
7回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
8回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習

9回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
10回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
11回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.5hr：ゼミ内容に基づく復習
12回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
13回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
14回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：前学期のゼミ活動やその他の学生生活での活動を通じて得た学びや気付きを他のゼミ生と共有し、夏季休暇を有効に活用するための準備を行います。 事前学修 2.0hr：これまでの授業で得たことをまとめ、夏季休暇の行動計画を作成する 事後学修 2.0hr：夏季休暇、および後期に向けての最終的な研究計画をまとめる

ケーススタディⅡ-a

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

肖　子睿（しょう　しえい）

▌授業の概要

本講義では、受講生が観光業及びサービス業におけるユニバーサルデザインの重要性と必要性に対する認識と理解を深めて、事例研究を通じて、その実践的な展開方法について学ぶことにある。

特定分野(観光産業とサービス業を対象に)の事例(ケーススタディ)研究を行い、その分野の理論を考察したうえ、理論土台を固め、理解を深めること。とくに高齢化が進んでいる日本において、現実的に意義のある研究課題を定めて、資料収集、現地調査を実施し、結果分析をして、その結果をプレゼンし、レポート作成などの実践を踏まえて、問題の発見と解決能力を身に着けることを目指していき、また次年度の卒論のために準備をすることになる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：　観光施設、観光地とサービス業におけるユニバーサルデザインの具体的な実践方法を学び、バリアフリーな環境を提供するための戦略や手法を理解することを目指す。ユニバーサルデザインの基礎理論の学修と基礎学力の向上を図り、観光のユニバーサルデザインの視野から、調査、研究を行い。今後社会での活躍能力を身につける。

現代観光の特徴として、すべての人々の参加である視点から、高齢者も身体障害者もその権利をもち、社会としてはその参加できる環境と基盤を提供すべきという認識を共有する。

個別目標：・学生が実際の観光施設やイベントに関するケーススタディをして、ユニバーサルデザインの観点から問題を特定し、解決策を提案する能力を養うことを目指すこと。

・学生がグループごとに、アイデアを共有し、コミュニケーション能力を向上させることを目指すこと。

・学生がユニバーサルデザインの実践における倫理的な問題や社会的責任について考え、共生社会実現の促進や地域社会への貢献に関心を持つことを目指すこと。

▌履修条件

・観光のユニバーサルデザインやバリアフリーと共生社会に関心があり、常に向上心と好奇心を持つこと
・グループの一員として積極的にゼミ活動に参加できること
・学習の過程において、障害と困難を乗り越えて、最後までやり遂げること
・事例研究を積極的に取り込み、チームワークができること。
・自ら考えて、自分の意見を述べて、ゼミ内で共有できること。

▌評価基準・方法

事例研究の調査参加 30 %
ディスカッション参加、プレゼン 40 %
レポート３０%
授業と課題の取り込み姿勢などを基に総合的に評価する。

▌フィードバック方法

個別又は学修支援 manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （チームワークがメイン）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料収集、整理、パワポで発表の準備などに使用）

▌教科書

特になし

▌参考書

必要に応じて配布

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義の進め方、講義スケジュールと内容などの確認、ケーススタディ、成績評価の基準などについて説明する 事前学修 2.0hr：ゼミの方針と活動内容を理解する 事後学修 2.0hr：ゼミ運営の目標を再確認する
2回	**授業テーマ：自己紹介、チーム作り** 授業内容：お互いに知り、今後の研究活動チームを作る。 事前学修 2.0hr：研究テーマと研究手法を考える 事後学修 2.0hr：チームメンバーと意見交換、研究事例の範囲と対象を絞る
3回	**授業テーマ：外部関係者レクチャー** 授業内容：今後ゼミ活動内容に関する学び 事前学修 2.0hr：決めた研究テーマについて、再度確認する 事後学修 2.0hr：次回の準備として決めたテーマをチームで討論する
4回	**授業テーマ：チームワーク①** 授業内容：活動内容のスケジュール作りと確認 事前学修 2.0hr：活動内容の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備としてチームで話し合う
5回	**授業テーマ：チームワーク②** 授業内容：研究事例の再確認と調査手法について 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備としてチームで話し合う
6回	**授業テーマ：チームワーク②** 授業内容：現地調査の準備 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備としてチームで話し合う
7回	**授業テーマ：チームワーク③** 授業内容：現地調査の準備 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：現地調査のまとめ

8回	**授業テーマ：チームワーク④** 授業内容：現地調査の本調査の実施① 事前学修 2.0hr：現地調査票の回収 事後学修 2.0hr：調査の結果をまとめる
9回	**授業テーマ：チームワーク⑤** 授業内容：現地調査の本調査の実施② 事前学修 2.0hr：現地調査票の回収 事後学修 2.0hr：調査の結果をまとめる
10回	**授業テーマ：調査結果の分析①** 授業内容：チームごとにディスカッション 現地調査の結果を分析する。二次調査が必要であれば、追加調査を行う 二回目の現地調査に向けて準備 事前学修 2.0hr：現地調査の結果分析とまとめ 事後学修 2.0hr：続き現地調査への準備
11回	**授業テーマ：調査の結果の分析②** 授業内容：現地調査の結果の分析とまとめ 事前学修 2.0hr：分析の事前準備をする 事後学修 2.0hr：調査の結果の分析とまとめ
12回	**授業テーマ：チームごとの調査分析結果の報告を準備する①** 授業内容：調査分析結果の報告書作成作業 事前学修 2.0hr：調査の準備 事後学修 2.0hr：調査をまとめる
13回	**授業テーマ：チームごとの調査分析結果の報告を準備する②** 授業内容：調査分析結果の報告書作成作業 事前学修 2.0hr：報告書作成について 事後学修 2.0hr：全体のまとめ
14回	**授業テーマ：最終報告** 授業内容：各グループが調査結果の報告を行 事前学修 2.0hr：報告の準備 事後学修 2.0hr：報告のまとめ
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前期の活動のレビュー、総括する 事前学修 2.0hr：前期を振り返る、感想をまとめる 事後学修 2.0hr：研究まとめを改善する

ケーススタディⅡ-a

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中野　実（なかの　みのる）

▌授業の概要

「世界とつながる」をメインテーマとし、将来の仕事から身近な生活まで、広い視野で世界とのつながりを意識する。そこに必要なコミュニケーション、ホスピタリティ、あるいは異文化理解を学び、そして浮かび上がる様々な課題を考察します。そのためにゼミメンバーの協働による企業研究・時事問題等の研究/検証を実施し、主として以下をゼミ活動の柱とする

①好奇心を育て、視野を広げるきっかけにするために、タイムリーな時事問題に関する情報共有やディベートを実施する。

②『誰が正しいか、ではなく、何が正しいか』という考え方や視点を確立し、人として正しい判断が行えるようにする

③第三者からの「自分の見え方」を大切にし、学年を問わずゼミメンバー同士で忌憚なくアドバイスし合う

④テーマ毎にゼミメンバーをグループ分けし、【協働】で調査・研究を行ったうえでプレゼンテーションを実施する

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・常に『明るく』『前向き』で『利他の心』を持ち、ゼミメンバーとの積極的な交流の中で自分自身を成長させることができる
　　・自ら考え行動し、かつその考え方や行動の根拠や理由を自分の言葉で論理的に説明することができる

個別目標：・自分の強みは意識して伸ばし、課題 (弱み) は「自分が成長するチャンス」と捉えることができる
　　・文献や資料を読み込み、自身の研究を積極的に進めることができる
　　・不明なことは決して放置せず必ず確認できる
　　・大切なことは日常的にメモを取り、後に活かすことができる

▌履修条件

・ケーススタディⅠを取得していること

・引き続き明海大学の学生であることに誇りを持ち、好奇心が旺盛で積極的にゼミ活動に関与できる学生

▌評価基準・方法

・ゼミへの参画意欲と積極的な活動

・ゼミメンバーとの協働姿勢

・企画・プレゼンテーションのプロセスや結果

これらを総合的に判断し、評価する

▌フィードバック方法

個人面談を定期的に設定し、個別にフィードバックを行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッションを通じて学びを深めていきます）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

必要時に資料を配付

▌参考書

適宜紹介する　学生同士も参考になる文献や情報を適宜紹介しあい、共有すること

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　【今後のゼミの運営方法】と『自己紹介』** 授業内容：ゼミ運営について確認と計画を行います。また自分自身を他人に理解してもらうための紹介を行うとともに、他者を的確に理解する実践を行う。 事前学修 2.0hr：自分がこのゼミにどのような期待をするのか、再確認しておく 事後学修 2.0hr：ゼミにおける自身の役割の再確認
2回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
4回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
5回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
6回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
7回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
8回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習

9回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
10回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
11回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.5hr：ゼミ内容に基づく復習
12回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
13回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
14回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：前学期のゼミ活動やその他の学生生活での活動を通じて得た学びや気付きを他のゼミ生と共有し、夏季休暇を有効に活用するための準備を行います。 事前学修 2.0hr：これまでの授業で得たことをまとめ、夏季休暇の行動計画を作成する 事後学修 2.0hr：夏季休暇、および後期に向けての最終的な研究計画をまとめる

ケーススタディⅡ-a

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

二宮　秀生 (にのみや　ひでお)

▌授業の概要

ホスピタリティに関するテーマにつきチームでテーマの選定、研究、報告を行い、それに基づいて全員で討議をする。
情報収集にあたっては極力生の声を聴く。
役割を担うことで、責任感を持って、主体的、積極的に参加する。
個人での卒業研究も行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：組織社会で必要とされる様々な力をつける。
（主体性　責任感　目標設定　計画策定　実行力　情報収集力　分析力　コミュニケーション力　など）
個別目標：個別目標チーム内で役割を担うことで、主体性や責任感を醸成する。
共同で進める中でコミュニケーション力、情報収集力をつける。
研究発表と討議を行うことで、プレゼンテーション力をつけるとともに、多様な意見を聴き、尊重することを学ぶ。
個人での卒業研究を進めることで自分に一層の自信をつける。

▌履修条件

ケーススタディⅠを履修済みであること。

▌評価基準・方法

チームへの貢献度、研究成果、発表などを総合的に評価。

▌フィードバック方法

授業中以外にも、面談や manaba によるフィードバックも行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （チーム討議）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜資料配布。

▌参考書

適宜紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　他己紹介** 授業内容：ゼミの進め方を共有する。 事前学修 2.0hr：やりたいことを考えておく。 事後学修 2.0hr：やりたいテーマを考える。
2回	**授業テーマ：やりたいテーマの発表　テーマ、チームの決定** 授業内容：チーム分けを行い、テーマを決定する。 事前学修 2.0hr：やりたいテーマを考えておく。 事後学修 2.0hr：やりたい役割を考える。
3回	**授業テーマ：計画の策定　役割分担** 授業内容：チーム内での役割を決め、計画をつくる。 事前学修 2.0hr：計画をイメージしておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
4回	**授業テーマ：テーマ研究①** 授業内容：計画に基づき研究を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。
5回	**授業テーマ：テーマ研究②** 授業内容：研究を行う。 事前学修 2.0hr：研究の進捗を確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。
6回	**授業テーマ：テーマ研究③** 授業内容：研究を行う。 事前学修 2.0hr：研究の進捗を確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。
7回	**授業テーマ：中間発表(レポート)準備** 授業内容：中間発表の準備を行う。 事前学修 2.0hr：中間発表をイメージしておく。 事後学修 2.0hr：中間発表内容を固める。
8回	**授業テーマ：中間発表　全体討議** 授業内容：中間発表を行う。 質問やコメントを行う。 事前学修 2.0hr：発表準備をする。 事後学修 2.0hr：討議で出た意見の反映について考える。
9回	**授業テーマ：テーマ研究④** 授業内容：研究を進める。 事前学修 2.0hr：研究の進捗を確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。
10回	**授業テーマ：テーマ研究⑤** 授業内容：研究を進める。 事前学修 2.0hr：研究の進捗を確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。

11回	**授業テーマ：テーマ研究⑥** 授業内容：研究を進める。 事前学修 2.0hr：研究の進捗を確認しておく。 事後学修 2.0hr：研究内容を深める。
12回	**授業テーマ：発表(パワポプレゼン)の準備** 授業内容：発表の準備を行う。 事前学修 2.0hr：発表をイメージしておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を固める。
13回	**授業テーマ：発表　討議** 授業内容：発表を行う。 質問やコメントを行う。 事前学修 2.0hr：発表内容を確認しておく。 事後学修 2.0hr：討議で出た意見の反映を考える。
14回	**授業テーマ：発表資料の最終化　夏休みの計画づくり** 授業内容：発表資料を仕上げる。 事前学修 2.0hr：夏休みの計画につき考えておく。 事後学修 2.0hr：これまでの振り返りを行う。
15回	**授業テーマ：まとめ　学んだことを発表** 授業内容：前期の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：これまでの学びを語る準備をする。 事後学修 2.0hr：夏休みの計画を確認する。

ケーススタディⅡ-a

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

橋本　尚興 (はしもと　ひさおき)

▌授業の概要

分析・洞察力にあふれ、 社会や企業の問題に気が付き、 解決に向けて自ら考え主体的に行動することができる人財の育成を目的とします。そのため、ホスピタリティを軸とした自由なテーマにて課題を設定し、自ら考え・発信し、共感した仲間と協力して課題への対応に取り組みます。
なお、内容は環境や諸条件により変更する場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・さまざまなテーマの課題と解決方法の検討を通じて、社会人として必要となる課題への対応方法を学ぶ。(DP3)
・ゼミにおける仲間との交流を通じて自分自身の成長を感じることができる。(DP3)
個別目標：・さまざまな事象や自身の体験から問題点に気が付き、課題設定ができるようになる。
・課題の解決方法をチームで検討することにより、役割を認識し、役割に応じた結果を出せるようになる。
・自ら進んで課題解決に努力することを通じて達成感を実感できるようになる。

▌履修条件

・自身の意見を持ち、相手に伝えることができるとともに、相手の話も聞き理解しようと努める。
・仲間とともに課題解決に向けて自主的に 対応しようと努力する気概を持つ。

▌評価基準・方法

プレゼンテーション、ディスカッションの内容と参加態度、仲間への貢献度などを考慮して総合評価します。

▌フィードバック方法

フィードバックは、学修支援システム manaba やゼミを通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （チームにて調査研究活動を行います）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （研究や調査報告作成のために利用する場合があります。）

▌教科書

特にありません

▌参考書

適宜配布します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　【ゼミの運営方法】** 授業内容：前期のゼミ運営のスケジュールと活動内容の説明をおこなうとともに、皆さんからもゼミ運営のアイデアを募ります。 事前学修 2.0hr：自分がこのゼミに何を期待し、そのためにどう行動したいのか確認しておく 事後学修 2.0hr：ゼミにおける自身の取り組みについて確認しておく
2回	**授業テーマ：自己紹介と、前期に取り組みたいテーマ(案)の検討** 授業内容：自己紹介と、取り組んでみたいテーマ(案)について発表する 事前学修 2.0hr：自分自身をゼミの仲間に理解してもらうことに加え、取り組んでみたい課題について説明できるように準備する 事後学修 2.0hr：仲間の自己紹介を再確認し、相互理解を深めるとともに、取り組みたい課題を選択する
3回	**授業テーマ：課題の検討／選択　チーム分け** 授業内容：皆さんと話し合い、前期で取り組むテーマを決めるとともにチーム分けと役割分担を行う。 事前学修 2.0hr：テーマを選択した理由を説明できるように準備する 事後学修 2.0hr：チーム内での役割分担に基づき、自身の行動計画を検討する
4回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとにテーマに基づき調査研究に向けた計画を作成する 事前学修 2.0hr：チーム内での自身の行動を説明できるようにしておく 事後学修 2.5hr：調査研究計画に基づいて行動する
5回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
6回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
7回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
8回	**授業テーマ：中間発表** 授業内容：チームごとに中間発表を行う。また、相互に評価し、今後の活動の方向修正や微調整を行う 事前学修 3.0hr：中間発表の準備をする 事後学修 2.0hr：コメントなどを踏まえ必要に応じて計画修正を行う
9回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
10回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
11回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する

12回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
13回	**授業テーマ：テーマへの対応** 授業内容：チームごとに調査研究計画に基づきテーマに対して取り組む 事前学修 2.0hr：調査研究計画に基づいて行動する 事後学修 2.5hr：ゼミで話し合った内容に基づき行動する
14回	**授業テーマ：テーマに対する最終発表と相互評価** 授業内容：チームごとにテーマの最終発表を行うとともに、お互いに評価を行む 事前学修 3.0hr：課題に対する最終プレゼンテーションの準備を行なう 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づき復習を行う
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前期のまとめと、夏休みのスケジュールや取り組みたい事柄について発表する 事前学修 2.0hr：授業で得たことをまとめるとともに、夏季休暇の行動計画を作成する 事後学修 2.0hr：夏季休暇の行動計画の実現に向けて検討を行う

ケーススタディⅡ-a

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

三輪　祥宏（みわ　よしひろ）

▌授業の概要

コミュニケーションやネットワーク、コンテクストというキーワードを駆使することで「企業組織」について自分なりの見解をもって説明できることを目標とする。そこで、日々に各メディアから伝えられる企業活動や実際の企業訪問、あるいはインターンシップでの経験等を事例にした疑似体験を題材に、企業組織における働きかたの理想形を探りながら自分なりに問題を発見できるように進めていく。
来年のケーススタディⅡで、特定の企業の組織を対象に、自分なりの根拠と問題意識から、あるべき姿を提案できるケーススタディを作り上げることを目標に、その準備を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：「自分なりの妄想や直感」を起点に、想像力と創造力を発揮してキャリア開発に役立つテーマを主体的に設定し、自分なりの計画に基づいて調査や分析を実行し続けていく。テーマの選び方や分析のやり方は自由。ただし、自分の計画を死守しつつ進める規律性、物事を体系的に筋道立てて考える論理的思考や、「なぜ」を繰り返すことで必要となるデータや理由を多く集めてより良い解決策の糸口を見つけ出す問題発見の涵養を目指していく。

個別目標：○○× HT を基軸に特定の個人テーマを定義できていること
自身のテーマについて、問題を複数立てていること
自身のテーマについて仮説を構築できていること

▌履修条件

本テーマに興味を持ち、柔軟な発想とアンテナの感度を持ち、折れない心でテーマに取り組めること。
各種イベントやフィールドワークに参加する積極性と、自分の立てた計画を死守できる規律性。

▌評価基準・方法

発表や課題の品質（40 %）、授業や課題への取組姿勢（60 %）を基に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは個別に実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （地域や企業との連携を通じた学びに取り組みます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プロジェクト運営での情報整理等、常にパソコンは必要だと思われます。）

▌教科書

特になし。
各自個別に指示していきます。

▌参考書

特になし。授業の時に必要に応じて指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：初回ガイダンス 授業の進行や内容について説明** 授業内容：自己紹介・プロジェクト計画・ゼミ計画など 事前学修 3.0hr：講義概要を理解し、自分の興味ある分野についてまとめる 事後学修 2.0hr：初回のフィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
2回	**授業テーマ：出発点の確認　研究課題と研究手法について** 授業内容：卒業研究の手法と手段について概説 事前学修 2.0hr：相互の意見交換を通じて、テーマを深掘りしておく。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
3回	**授業テーマ：プロジェクトワーク①** 授業内容：プロジェクト活動への参画にむけた初回の打ち合わせ 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
4回	**授業テーマ：卒業研究中間レビュー** 授業内容：卒業研究の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
5回	**授業テーマ：プロジェクトワーク②** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
6回	**授業テーマ：卒業研究中間レビュー** 授業内容：卒業研究の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
7回	**授業テーマ：プロジェクトワーク③** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 3.0hr：中間報告をレポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
8回	**授業テーマ：３年生研究調査へのレビュー** 授業内容：探究課題の全体発表へのコメント 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
9回	**授業テーマ：３年生研究調査へのレビュー** 授業内容：探究課題の全体発表へのコメント 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。

10回	**授業テーマ：プロジェクトワーク④** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：次回の授業へ向けて、疑問点をまとめておく
11回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：探究課題の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：プレ発表準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
12回	**授業テーマ：プロジェクトワーク④** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
13回	**授業テーマ：卒業研究進捗報告** 授業内容：卒業研究の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
14回	**授業テーマ：前期のプロジェクト進捗のレビュー** 授業内容：プロジェクト活動の進捗レビューと評価 事前学修 3.0hr：発表準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに夏休みの行動計画を確定させる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：卒業研究のレビューと評価 事前学修 2.0hr：夏休みの行動計画を最終化しておく。 事後学修 2.0hr：夏休みの行動計画を具体化させる。

ケーススタディⅡ-b

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

五十嵐　潤子（いがらし　じゅんこ）

▌授業の概要

【特徴】
・チームごとに主体的なプロジェクト活動となります。
・II-a で立てた事業計画に基づいて、最終的なレポート作成に向けて集大成構築に向けた活動を行います。
・4 年生の集大成としての卒業制作を完成させます。
・II-b の期間内において、積み立てた資金を活用してこれまでの学びを活かす卒業旅行を行います。
・II-b の最終回には、研究成果の途中経過をまとめ、I-b メンバーも含め、全員で共有していきます。
・I-b と共同で、コミュニケーションイベントを年間を通して 1 チーム 1 回企画・運営・実施をし、イベントを成功させるプロセスを学びます。
・授業以外の時間を活用した調査・分析活動等も前提としています。
・社会環境が整えば、宿泊を伴うフィールドワークによって自らの研究内容の肉付け、裏付けとする活動を行います。
なお、授業の進め方は、適宜変更する場合があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・大学生活の集大成となる個々の卒業制作を完成させます。
・ゼミの課題である各種のプロジェクトを通して、社会人になっても通用する、チームワーク力、問題設定力、情報収集力、コミュニケーション力、自己分析力、自己肯定感などの醸成を目指します。
・社会課題に関心を持つ好奇心を養い問題設定能力を高めると同時に、多様な意見を受け容れる柔軟さと、より良い結論を導き出そうとする責任感の醸成を目指します。

個別目標：・様々な現象に、多様な課題や視点が存在することを認識し、好奇心を育て深く掘り下げる喜びを感じられるようになること
・様々なタイプの異なるプロジェクトに自律的・積極的に関わることを通して、自身が達成感を実感できるようになること
・選択したプロジェクトテーマについて、一定程度の問題意識や課題認識を自ら説明できるようになること
・分析に必要なデータを自身で収集し、分析のための加工ができるようになること

▌履修条件

・仲間を敬うこと
・テーマに関心を持ち、チームで成し遂げる成果に対して自律的に役割を果たす積極性と責任感を持てること
・フィールドワーク実施を前提に積立金を実施予定
・ノート型 PC を持参できる環境が望ましい（EXCEL、PowerPoint、Word ソフト含む）※必須ではない

▌評価基準・方法

各回の授業参加態度および前後の学修状況（60%）、発表の成果物（30%）、自主課題のレポート（10%）を大まかな指標として総合的に評価します。

▌フィードバック方法

主にゼミ生が相互でフィードバックを行う環境づくりを行う。必要に応じて、指導教員が総括的に、教室で主に口頭で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （原則、毎回グループワークあり。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （適宜グループワーク内で使用）

▌教科書

特にありません。

▌参考書

・トラベルボイス（日刊のオンライン情報）を購読（無料）
・適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：夏休みの課題の発表** 授業内容：夏休みの課題を発表いただきます 事前学修 2.0hr：II-a で提示された夏休みの課題について学修、発表できるようにしておく 事後学修 2.0hr：II-a のプロジェクト活動などを通じて、I-b で学びたいテーマについてまとめておく
2回	**授業テーマ：テーマの再選択に向けたディスカッションとチーム再編成** 授業内容：・卒業に向けた集大成としてのテーマ設定とチームの再編成 事前学修 2.0hr：本授業に向けて必要な学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
3回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
4回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント④** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントについてフィードバックを行う
5回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
6回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う

7回	**授業テーマ：後期フィールドワークの実施** 授業内容：４、５限の時間を使って、後期のフィールドワークを実施(日程前後する可能性あり) 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
8回	**授業テーマ：後期フィールドワークを受けた気付きの共有** 授業内容：・前半：全体セッション(ファシリテート：ゼミ長) ・後半：分科会セッション(各チーム別) 事前学修 2.0hr：フィールドワークで得た知識や考えなどを課題として提出する 事後学修 2.0hr：チームとして今後のテーマに活かせる内容を検討する
9回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント⑤** 授業内容：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントのフィードバックを行う
10回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
11回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
12回	**授業テーマ：チームごとの調査研究・適宜全体共有** 授業内容：チームごとに、課題について調査・研究を行うグループワークセッションです。 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う
13回	**授業テーマ：3 年生の課題発表** 授業内容：・3 年生のチーム別課題発表を行う 事前学修 2.0hr：チームごとに割り振られた役割に伴う学修を行う 事後学修 2.0hr：各チームの発表内容を受けて、どのような質問、意見を持ったかをまとめておく
14回	**授業テーマ：コミュニケーションイベント⑥** 授業内容：・全員が交流するための効果的なイベントを、企画運営し、実行する 事前学修 2.0hr：どんなイベントであれば、成長機会や親睦が深化するイベントになるかについて企画し、準備する 事後学修 2.0hr：イベントのフィードバックを行う
15回	**授業テーマ：総まとめ：4 年生の課題発表** 授業内容：・4 年生の課題発表(一人ずつ　4限から実施予定) 事前学修 1.0hr：4 年生は、事前に発表課題を提出 事後学修 3.0hr：3 年生は、発表に対するフィードバックを実施、4 年生は、発表課題を修正して提出

ケーススタディⅡ-b

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

渭東　史江（いとう　ちかえ）

▌授業の概要

① 「ホスピタリティ」、「コミュニケーション」、「マネジメント」など社会人として必要な様々な資質、能力を開発するためにケーススタディの内容を自ら提案、計画、チームで協力して実行する。

② ホテルなどの宿泊施設、またはホスピタリティ業界に関連する事項を研究する。たとえばホテルの実地見学などを通して、「特徴」、「オペレーション」、「戦略」、「実績」などを比較して理解する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：様々な体験を通して、ホテル等ホスピタリティ産業を理解する。学びの集大成として研究、考案、企画をする。
ビジネスに必要な資質、能力などを伸ばす。

個別目標：① 多様化するホテル全般を理解する。
② ホスピタリティ産業について理解を深め、自身の興味や方向性を考える。
③ ホテルや旅行企画の考案や、研究成果を発表する。
④ ビジネスに必要な資質、能力、また自分が伸ばしたい部分を伸ばす。

▌履修条件

① ホスピタリティ精神をもち、ホテルなどホスピタリティ産業に関心があること
② 自主性をもち、何事にも挑戦する気持ちがあること
③ 学習、研究にまじめに取り組むこと

▌評価基準・方法

ディスカッション、プレゼンテーション、チームへの貢献度などを考慮し総合評価。
課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通してや授業中に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （必要になった場合は事前に連絡する）

▌教科書

必要に応じて資料等を配布。

▌参考書

必要に応じて紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：前期のフィードバック・後期イントロダクション** 授業内容：前期の内容、活動を振り返る。後期にするべきことを確認し、進め方を考える。 事前学修 2.0hr：前期の活動を振り返り、反省点を整理 事後学修 2.0hr：ゼミ活動として、後期に何をするべきか考える
2回	**授業テーマ：卒業研究のテーマ決定** 授業内容：ホスピタリティに関連するもので、興味のあるもの、経験したこと等をあげ、大学生活の集大成として行う卒業研究のテーマを考える。 事前学修 2.0hr：卒業研究のテーマの候補となるものを考える 事後学修 2.0hr：決定したテーマについて、研究するべきことを考える
3回	**授業テーマ：チームビルディング** 授業内容：お互いに助け合えるチームとなるために、チームで活動する。チームで協力して成果をあげる。 事前学修 2.0hr：理想のチームを考える 事後学修 2.0hr：内容を振り返り、うまくできたこととそうでないことを理解する
4回	**授業テーマ：卒業研究** 授業内容：研究計画を立て、進め方をイメージする。決めたテーマに関する資料や情報を集め、精査する等研究を進める。 事前学修 2.0hr：テーマに従って、研究するべきことを考え、情報収集する 事後学修 2.0hr：研究したことを整理
5回	**授業テーマ：ゼミ運営企画** 授業内容：グループに分かれ、各グループで授業内容を企画する。目的を設定し、内容・運営方法を決める。 事前学修 2.0hr：ゼミ活動として何をするか考える 事後学修 2.0hr：企画したことをまとめ、今後の進め方を考える、必要に応じてグループで相談を重ねる
6回	**授業テーマ：社会人基礎力** 授業内容：社会人基礎力を再度確認し、理解する。現時点での自身にの強み、弱みを把握する。 事前学修 2.0hr：社会人基礎力を見直す 事後学修 2.0hr：より高い社会人基礎力をもつため、今後何をするべきか考える
7回	**授業テーマ：グループディスカッション** 授業内容：テーマを決めてグループディスカッションする。ここでは 3 年生にディスカッションの進め方、方法を学んでもらうため、アドバイス、フィードバック等をする。 事前学修 2.0hr：ディスカッションの方法等を再確認する 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気付いたこと等をまとめる
8回	**授業テーマ：フィールドワーク** 授業内容：前もって決めたホスピタリティ産業の現場を訪れ、見学や経験により大学では得られない知識を得る。 事前学修 2.0hr：フィールドワークする場所について調べる 事後学修 2.0hr：フィールドワークで学んだことを整理
9回	**授業テーマ：ホスピタリティ業界研究（外部講師）** 授業内容：ホスピタリティ関連企業から外部講師を招聘し、講義を受ける。積極的に聴き、質問することで、より理解を深める。 事前学修 2.0hr：外部講師やテーマについて調べる 事後学修 2.0hr：講義の内容や気づいたことを整理

10回	**授業テーマ：4 年生によるゼミ運営（1）** 授業内容：担当する 4 年生が授業の内容を企画し、運営する。内容についてフィードバックする。自身が担当する場合は運営後フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：担当者はゼミ運営の計画をたて、準備する 事後学修 2.0hr：授業内容により、別途指示
11回	**授業テーマ：4 年生によるゼミ運営（2）** 授業内容：担当する 4 年生が授業の内容を企画し、運営する。内容についてフィードバックする。自身が担当する場合は運営後フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：担当者はゼミ運営の計画をたて、準備する 事後学修 2.0hr：授業内容により、別途指示
12回	**授業テーマ：4 年生によるゼミ運営（3）** 授業内容：担当する 4 年生が授業の内容を企画し、運営する。内容についてフィードバックする。自身が担当する場合は運営後フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：担当者はゼミ運営の計画をたて、準備する 事後学修 2.0hr：授業内容により、別途指示
13回	**授業テーマ：4 年生による卒業研究発表（1）** 授業内容：卒業研究の成果を順番に発表する。内容についてフィードバックする。自身の発表についてフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：発表準備をする 事後学修 2.0hr：発表について振り返り、良かった点、改善点等を把握する
14回	**授業テーマ：4 年生による卒業研究発表（2）** 授業内容：卒業研究の成果を順番に発表する。内容についてフィードバックする。自身の発表についてフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：発表準備をする 事後学修 2.0hr：発表について振り返り、良かった点、改善点等を把握する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：1 年間の活動を振り返り、成長できたことを考える。社会人になってしたいこと、するべきことを考える。 事前学修 2.0hr：大学生活を統括し、大学での成果を振り返る 事後学修 2.0hr：大学での成果をもとに、将来の目標をたてる

ケーススタディⅡ-b

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

上杉　恵美（うえすぎ　めぐみ）

▌授業の概要

ケーススタディ II-a で行った英語案内のための応用演習を行う。日本文化体験や第 2 回フィールドワークを計画・実施し、その成果を日本語と英語で発表する。1 年間のゼミ活動と各グループの発表内容をゼミ冊子にまとめる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・授業内容を生かして日本を英語で案内できるような知識と技術を身につけ、コミュニケーション力を向上させる。
・グループによるフィールドワークを行い、その成果を日本語と英語で発表する。
・発表内容をもとに原稿を作成し、ゼミ冊子にまとめる。

個別目標：・日本語と英語で観光案内や日本の伝統文化の説明できるような力をさらに伸ばす。
・体験やフィールドワークなどの活動に積極的に参加し、活動を通して得た考察や発見を自分の言葉で発信できるようにする。
・グループ活動を行うにあたり、計画を円滑かつ安全に実行できるように、グループでの自分の役割を責任を持って果たす。
・現地での資料収集や見学など積極的な活動を行う。
・1 年間の活動内容と成果をまとめて冊子原稿を作成する。

▌履修条件

簡単な通訳案内が可能な英語力を有していること。

▌評価基準・方法

授業参加度 50 % 提出物および冊子原稿作成 25 % 発表 25 %

▌フィードバック方法

課題やレポート、プレゼン原稿、冊子原稿等のフィードバックは、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループによるフィールドワークとプレゼン）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （小テスト、課題提出、プレゼン原稿・冊子原稿の作成）

▌教科書

Hospitality on the Scene（金星堂）

▌参考書

観光英語検定試験問題集・全国通訳案内士試験過去問題・東京シティガイド検定公式テキスト

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：後期のゼミ活動計画** 授業内容：夏季休暇中の活動報告を行う・後期の授業内容と活動について確認する 事前学修 2.0hr：夏季休暇中の活動報告の作成 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
2回	**授業テーマ：英語観光案内の応用演習 (1)・後期フィールドワークの計画 (1)** 授業内容：英語で日本の観光案内をするための応用練習を行う・グループでフィールドワークの計画を話し合う 事前学修 2.0hr：フィールドワーク計画の考案 事後学修 2.0hr：授業内容の復習・フィールドワークのための情報収集
3回	**授業テーマ：英語観光案内の応用演習 (2)・後期フィールドワークの計画 (2)** 授業内容：英語で日本の観光案内をするための応用練習を行う・グループでフィールドワークの計画をまとめる 事前学修 2.0hr：資料の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習・フィールドワークのための情報収集
4回	**授業テーマ：英語観光案内の応用演習 (3)・後期フィールドワークの計画 (3)** 授業内容：英語で日本の観光案内をするための応用練習を行う・グループでフィールドワークの準備を進める 事前学修 2.0hr：資料の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
5回	**授業テーマ：英語観光案内の応用演習 (4)・後期フィールドワークの計画 (4)** 授業内容：英語で日本の観光案内をするための応用練習を行う・グループでフィールドワークの準備を進める 事前学修 2.0hr：資料の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
6回	**授業テーマ：後期フィールドワークの実践 (1)** 授業内容：各グループによるフィールドワークを実行する 事前学修 2.0hr：フィールドワークの打ち合わせ 事後学修 2.0hr：フィールドワークの内容と成果のまとめ
7回	**授業テーマ：後期フィールドワークの実践 (2)** 授業内容：各グループによるフィールドワークを実行する 事前学修 2.0hr：フィールドワークの打ち合わせ 事後学修 2.0hr：フィールドワークの内容と成果のまとめ
8回	**授業テーマ：後期フィールドワーク報告プレゼンの準備** 授業内容：各グループでフィールドワークの内容と成果をまとめ、報告プレゼンのためのパワーポイントや説明原稿を作成する 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンの準備
9回	**授業テーマ：後期フィールドワークの報告 (1)** 授業内容：各グループでフィールドワークの内容と成果をまとめた報告プレゼンを行う 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンのフィードバック
10回	**授業テーマ：後期フィールドワークの報告 (2)** 授業内容：各グループでフィールドワークの内容と成果をまとめた報告プレゼンを行う 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンのフィードバック

11回	**授業テーマ：ゼミ冊子原稿の作成 (1)** 授業内容：1 年間の活動と成果・プレゼン内容をまとめ、ゼミ冊子原稿を作成する 事前学修 2.0hr：原稿作成 事後学修 2.0hr：原稿作成
12回	**授業テーマ：ゼミ冊子原稿の作成 (2)** 授業内容：1 年間の活動と成果・プレゼン内容をまとめ、ゼミ冊子原稿を作成する 事前学修 2.0hr：原稿作成 事後学修 2.0hr：原稿作成
13回	**授業テーマ：ゼミ冊子原稿の作成 (3)** 授業内容：1 年間の活動成果とプレゼン内容をまとめ、ゼミ冊子原稿を作成する・原稿の仕上げと校正を行う 事前学修 2.0hr：原稿作成と校正 事後学修 2.0hr：原稿作成と校正
14回	**授業テーマ：ゼミ冊子原稿の作成 (4)** 授業内容：ゼミ冊子原稿の仕上げと校正を行う 事前学修 2.0hr：原稿作成と校正 事後学修 2.0hr：原稿の最終確認
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：後学期の授業とゼミ活動をふりかえる 事前学修 2.0hr：後学期と１年間の活動のふりかえり 事後学修 2.0hr：ふりかえりをふまえて今後に生かすことを考える

ケーススタディⅡ-b

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

木内　伸樹（きうち　のぶき）

▌授業の概要

地域資源を活かした観光振興と持続可能なまちづくりをテーマに、実践的な学びをおこなう。フィールドワーク、観光関連企業・自治体との連携を通じて、観光課題への具体的な解決策を探求する。また、観光・航空業界におけるホスピタリティの意義を学び、地域社会との協働を体験する。最終的に、地域や業界の課題解決に向けた提案をまとめ、発表を通じて学びを深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・常に『明るく』『前向き』で『利他の心』を持ち、ゼミメンバーとの積極的な交流の中で自分自身を成長させることができる
・自ら考え行動し、かつその考え方や行動の根拠や理由を自分の言葉で論理的に説明することができる
・観光立国を目指す日本の、地方自治体の取組み、受入れ側のホスピタリティのあり方、およびそれを実現、持続させるために自分が何ができるかを見つけ、実践、説明できるようになる

個別目標：・自分の強みは意識して伸ばし、課題 (弱み) は「自分が成長するチャンス」と捉えることができる
・企業研究やゲストスピーカーとのディスカッション等を通して就業意欲を高め、就職活動準備を積極的に行えるようになる
・不明なことは決して放置せず必ず確認できる
・大切なことは日常的にメモを取り、後に活かすことができる

▌履修条件

・ケーススタディⅠを取得していること
・ホスピタリティ実践に興味と意欲があること
・積極的に新しいことに挑戦し、好奇心が旺盛で積極的にゼミ活動に関与できる学生
・新たなゼミメンバーの中で積極的に友人を作って協力し合い、自分の視野を拡げていける学生
・人の話を聴き、自ら考え、自分の意見を述べ、自己成長ができる学生

▌評価基準・方法

・ゼミへの参画意欲と積極的な活動
・ゼミメンバーとの協働姿勢
・企画・プレゼンテーションのプロセスや結果
これらを総合的に判断し、評価する

▌フィードバック方法

個人面談を定期的に設定し、個別にフィードバックを行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、フィールドワークなど)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション、パワーポイント作成など。必要な際は、適宜指示する）

▌教科書

必要時に資料を配付

▌参考書

個別の研究に合わせて適宜紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：後学期のゼミ運営について確認を行います。 事前学修 2.0hr：夏季休暇時の体験やエピソードをまとめる 事後学修 2.0hr：夏季休暇中の体験やエピソードのプレゼンテーション準備を行なう
2回	**授業テーマ：夏季休暇プレゼンテーション** 授業内容：夏季休暇の活動を通じて、気付きや発見等を中心に、各々の成長について確認するとともに、相互の学びを得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションのためのパワーポイント資料を作成する 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの優れた点、改善すべき点をまとめる
3回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
4回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
5回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
6回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
7回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
8回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習

9回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
10回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
11回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
12回	**授業テーマ：卒業研究発表** 授業内容：卒業研究成果の発表会を行います。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：フィードバックも含めて自身の研究の総括を行う
13回	**授業テーマ：卒業研究発表** 授業内容：卒業研究成果の発表会を行います。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：フィードバックも含めて自身の研究の総括を行う
14回	**授業テーマ：卒業研究発表** 授業内容：卒業研究成果の発表会を行います。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：フィードバックも含めて自身の研究の総括を行う
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：大学での学習及び生活の集大成を行います。 事前学修 2.0hr：これまでのゼミや学生生活をまとめておく 事後学修 2.0hr：社会人になるための準備を確認する

ケーススタディⅡ-b

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

肖　子睿（しょう　しえい）

▌授業の概要

本講義では、受講生が観光業及びサービス業におけるユニバーサルデザインの重要性と必要性に対する認識と理解を深めて、事例研究を通じて、その実践的な展開方法について学ぶことにある。

特定分野(観光産業とサービス業を対象に)の事例(ケーススタディ)研究を行い、その分野の理論を考察したうえ、理論土台を固め、理解を深めること。とくに高齢化が進んでいる日本において、現実的に意義のある研究課題を定めて、資料収集、現地調査を実施し、結果分析をして、その結果をプレゼンし、レポート作成などの実践を踏まえて、問題の発見と解決能力を身に着けることを目指していき、また次年度の卒論のために準備をすることになる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：　観光施設、観光地とサービス業におけるユニバーサルデザインの具体的な実践方法を学び、バリアフリーな環境を提供するための戦略や手法を理解することを目指す。ユニバーサルデザインの基礎理論の学修と基礎学力の向上を図り、観光のユニバーサルデザインの視野から、調査、研究を行い。今後社会での活躍能力を身につける。

現代観光の特徴として、すべての人々の参加である視点から、高齢者も身体障害者もその権利をもち、社会としてはその参加できる環境と基盤を提供すべきという認識を共有する。

個別目標：・学生が実際の観光施設やイベントに関するケーススタディをして、ユニバーサルデザインの観点から問題を特定し、解決策を提案する能力を養うことを目指すこと。

・学生がグループごとに、アイデアを共有し、コミュニケーション能力を向上させることを目指すこと。

・学生がユニバーサルデザインの実践における倫理的な問題や社会的責任について考え、共生社会実現の促進や地域社会への貢献に関心を持つことを目指すこと。

▌履修条件

・観光のユニバーサルデザインやバリアフリーと共生社会に関心があり、常に向上心と好奇心を持つこと
・グループの一員として積極的にゼミ活動に参加できること
・学習の過程において、障害と困難を乗り越えて、最後までやり遂げること
・事例研究を積極的に取り込み、チームワークができること。
・自ら考えて、自分の意見を述べて、ゼミ内で共有できること。

▌評価基準・方法

・事例研究の調査参加 30 %
・ディスカッション参加、プレゼン 40 %
・レポート３０%
授業と課題の取り込み姿勢などを基に総合的に評価する。

▌フィードバック方法

個別又は学修支援 manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （チームワークがメイン）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料収集、整理、パワポで発表の準備などに使用）

▌教科書

特になし

▌参考書

必要に応じて配布

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：後期のスケジュールの確認 事前学修 2.0hr：：前期の調査を振り返る、問題点をみつける 事後学修 2.0hr：後期に向けての準備
2回	**授業テーマ：観光地におけるユニバーサルデザインについて** 授業内容：ユニバーサルデザインについて理解する。観光地のユニバーサルデザインについて調べる 事前学修 2.0hr：観光地のユニバーサルデザインについて調べる 事後学修 2.0hr：チームメンバーと意見交換、研究事例の対象を絞る
3回	**授業テーマ：観光の視点からみるユニバーサルデザイン** 授業内容：事例を取り上げながら、学ぶ。 事前学修 2.0hr：研究課題について再確認する 事後学修 2.0hr：次回の準備について、ディスカッション
4回	**授業テーマ：観光地のユニバーサルデザインの現地調査手法を学ぶ①** 授業内容：ヒヤリングの調査手法について 事前学修 2.0hr：調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
5回	**授業テーマ：観光地のユニバーサルデザインの現地調査手法を学ぶ②** 授業内容：ヒヤリング調査手法の勉強について 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
6回	**授業テーマ：チームワーク①** 授業内容：現地調査の準備、ヒヤリングの質問を作る② 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
7回	**授業テーマ：チームワーク②** 授業内容：現地調査の準備、ヒヤリングの質問を作る② 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション

8回	**授業テーマ：チームワーク③** 授業内容：現地調査のヒヤリング調査を行う 事前学修 2.0hr：現地調査の準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
9回	**授業テーマ：チームワーク④** 授業内容：現地調査のヒヤリング調査結果のまとめ 事前学修 2.0hr：現地調査結果について 事後学修 2.0hr：調査の結果まとめと分析
10回	**授業テーマ：調査結果の分析と報告発表** 授業内容：現地調査の結果分析と報告 事前学修 2.0hr：現地調査の結果分析の事前準備 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
11回	**授業テーマ：調査の結果分析と報告発表②** 授業内容：現地調査の結果の分析とまとめ 事前学修 2.0hr：分析の事前準備をする 事後学修 2.0hr：次回の準備についてディスカッション
12回	**授業テーマ：観光地のユニバーサルデザイン海外事例との比較研究** 授業内容：海外の事例研究 事前学修 2.0hr：海外事例の文献調査 事後学修 2.0hr：海外事例について、ディスカッション
13回	**授業テーマ：ゲストによる講義** 授業内容：日本の代表観光地を事例にして、観光地の魅力について 事前学修 2.0hr：観光地の魅力を考える 事後学修 2.0hr：講演内容を振り返る
14回	**授業テーマ：一年の振り返り** 授業内容：一年間習得したスキルを今後どう活躍するか、今後具体的な目標について話し合う 事前学修 2.0hr：一年間自身が学修したことのまとめ 事後学修 2.0hr：次年度に向けての目標や計画
15回	**授業テーマ：一年の振り返り** 授業内容：一年間習得したスキルをどう活躍するか、今後具体的な目標について話し合う 事前学修 2.0hr：一年間自分が学修したことのまとめ 事後学修 2.0hr：社会人の目標や計画

ケーススタディⅡ-b

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中野　実（なかの　みのる）

▌授業の概要

引き続き「世界とつながる」をメインテーマとし、ゼミメンバーの協働による企業研究・時事問題等の研究/検証を実施し、主として以下をゼミ活動の柱とする

①好奇心を育て、視野を広げるきっかけにするために、タイムリーな時事問題に関する情報共有やディベートを実施する

②『誰が正しいか、ではなく、何が正しいか』という考え方や視点を確立し、人として正しい判断が行えるようにする

③第三者からの「自分の見え方」を大切にし、学年を問わずゼミメンバー同士で忌憚なくアドバイスし合う

④テーマ毎にゼミメンバーをグループ分けし、【協働】で調査・研究を行ったうえでプレゼンテーションを実施する

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・常に『明るく』『前向き』で『利他の心』を持ち、ゼミメンバーとの積極的な交流の中で自分自身を成長させることができる
・自ら考え行動し、かつその考え方や行動の根拠や理由を自分の言葉で論理的に説明することができる

個別目標：・自分の強みは意識して伸ばし、課題 (弱み) は「自分が成長するチャンス」と捉えることができる
・文献や資料を読み込み、自身の研究を積極的に進めることができる
・不明なことは決して放置せず必ず確認できる
・大切なことは日常的にメモを取り、後に活かすことができる

▌履修条件

・ケーススタディⅠを取得していること

・引き続き明海大学の学生であることに誇りを持ち、好奇心が旺盛で積極的にゼミ活動に関与できる学生

▌評価基準・方法

・ゼミへの参画意欲と積極的な活動

・ゼミメンバーとの協働姿勢

・企画・プレゼンテーションのプロセスや結果

これらを総合的に判断し、評価する

▌フィードバック方法

個人面談を定期的に設定し、個別にフィードバックを行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション）

▌教科書

必要時に資料を配付

▌参考書

個別の研究に合わせて適宜紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：後学期のゼミ運営について確認を行います。 事前学修 2.0hr：夏季休暇時の体験やエピソードをまとめる 事後学修 2.0hr：夏季休暇中の体験やエピソードのプレゼンテーション準備を行なう
2回	**授業テーマ：夏季休暇プレゼンテーション** 授業内容：夏季休暇の活動を通じて、気付きや発見等を中心に、各々の成長について確認するとともに、相互の学びを得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションのためのパワーポイント資料を作成する 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの優れた点、改善すべき点をまとめる
3回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
4回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
5回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
6回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
7回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
8回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
9回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習

10回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
11回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：事前に検討された事例研究の内容に従い、新たな学びや気付き等を得ることを目指します。 事前学修 2.0hr：事前に決めたテーマについて考える 事後学修 2.0hr：ゼミ内容に基づく復習
12回	**授業テーマ：卒業研究発表** 授業内容：卒業研究成果の発表会を行います。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：フィードバックも含めて自身の研究の総括を行う
13回	**授業テーマ：卒業研究発表** 授業内容：卒業研究成果の発表会を行います。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：フィードバックも含めて自身の研究の総括を行う
14回	**授業テーマ：卒業研究発表** 授業内容：卒業研究成果の発表会を行います。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 2.0hr：フィードバックも含めて自身の研究の総括を行う
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：大学での学習及び生活の集大成を行います。 事前学修 2.0hr：これまでのゼミや学生生活をまとめておく 事後学修 2.0hr：社会人になるための準備を確認する

ケーススタディⅡ-b

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

二宮　秀生（にのみや　ひでお）

▌授業の概要
学生で何をするかを話し合って運営する。
各自責任感を持って、主体的、積極的に参加する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）
一般目標：組織社会で必要とされる様々な力をつける。
（目標設定　計画策定　実行力　情報収集力　分析力　コミュニケーション力　責任感　主体性など）
個別目標：チーム共同で進める中で、主体性や責任感を醸成し、コミュニケーション力、情報収集力をつける。
多様な意見を聴き、尊重することを学ぶ。

▌履修条件
・自らのスキルの向上に前向きであること。
・自ら考えて行動できること。

▌評価基準・方法
チームへの貢献度、研究成果、発表などを総合的に評価する。

▌フィードバック方法
授業中以外にも、面談や manaba でのフィードバックも行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （チーム討議を行う会を設ける）

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
適宜資料を配布。

▌参考書
適宜紹介。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　次回以降の運営決定** 授業内容：ゼミの運営自体を学生に検討させ、主体的に運営してもらう。 計画の方向性を決める。 事前学修 2.0hr：やりたいテーマを考えておく。 事後学修 2.0hr：計画をイメージする
2回	**授業テーマ：計画確定** 授業内容：ゼミの各回の計画を固める。 事前学修 2.0hr：計画をイメージしておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
3回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
4回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
5回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
6回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
7回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
8回	**授業テーマ：4 年生卒業研究テーマ発表** 授業内容：4 年生は卒業研究のテーマを発表する。 質問やコメントを行う。 事前学修 2.0hr：テーマ発表の準備をしておく。 事後学修 2.0hr：他の意見と自分の意見の違いを確認する。
9回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
10回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
11回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。

12回	**授業テーマ：計画実行** 授業内容：プランを実行する。適宜軌道修正を行う。 事前学修 2.0hr：自分のやるべきことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：自分のやるべきことを考える。
13回	**授業テーマ：4 年卒業研究発表** 授業内容：4 年生は卒業研究を発表する。 質問やコメントを行う。 事前学修 2.0hr：発表の準備をしておく。 事後学修 2.0hr：他の発表と自分の発表の違いを確認する。
14回	**授業テーマ：4 年生卒業研究発表** 授業内容：4 年生は卒業研究を発表する。 質問やコメントを行う。 事前学修 2.0hr：コメントにあたっての心構えを確認しておく。 事後学修 2.0hr：他の意見と自分の意見の違いを確認する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：1 年間を振り返る。 事前学修 2.0hr：1 年間を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：新年度への決意を固める。

ケーススタディⅡ-b

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

橋本　尚興（はしもと　ひさおき）

▌授業の概要

大学で身に付けた知識、遂行能力および経験を活用して、自由なテーマにて大学生活の集大成としての卒業研究に取り組みます。これにより、自ら課題を設定し、自ら考え、自ら主体的に行動することができる人財の育成を目指します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：・さまざまなテーマの課題と解決方法の検討を通じて、社会人として必要となる課題への対応方法を学ぶ。(DP3)
・ゼミにおける仲間との交流を通じて自分自身の成長を感じることができる。(DP3)

個別目標：・さまざまな事象や自身の体験から問題点に気が付き、課題設定ができるようになる。
・課題の解決方法をチームで検討することにより、役割を認識し、役割に応じた結果を出せるようになる。
・自ら進んで課題解決に努力することを通じて達成感を実感できるようになる。
・大学生活の集大成となる卒業研究を完成させる。

▌履修条件

・自身の意見を持ち、相手に伝えることができるとともに、相手の話も聞き理解しようと努める。
・仲間とともに課題解決に向けて自主的に対応 しようと努力する気概を持つ。

▌評価基準・方法

最終発表、ディスカッションの内容と参加態度、仲間への貢献度などを考慮して総合評価します。

▌フィードバック方法

フィードバックは、学修支援システム manaba やゼミを通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （個人単位で調査・研究を行います）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （研究や調査報告作成のために利用します）

▌教科書

特にありません

▌参考書

適宜配布します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：夏期休暇の振り返りとゼミ運営のアイデア検討** 授業内容：夏季休暇の計画と実際について振り返りを行うとともに、今後のゼミ運営におけるアイデアを検討する 事前学修 2.0hr：夏季休暇の振り返りを説明する準備と、後期のゼミ運営のアイデアを検討しておく 事後学修 2.0hr：卒業研究として取り組みたいテーマを考える。ゼミ運営のアイデアを考える
2回	**授業テーマ：ゼミ運営の組み立て** 授業内容：前回のゼミにて出されたアイデア群から、実施するアイデアを選択するとともに、スケジュールと担当者アサインを行う 事前学修 2.0hr：ゼミ運営のアイデアを考える 事後学修 2.0hr：卒業研究として取り組みたいテーマを考える。ゼミ運営の準備を行う。
3回	**授業テーマ：卒業研究のテーマ検討（１）** 授業内容：個人ごとに卒業研究のテーマについて検討を行う 事前学修 2.0hr：卒業研究として取り組みたいテーマを考える。ゼミ運営の準備を行う。 事後学修 2.0hr：卒業研究として取り組みたいテーマを考える。ゼミ運営の準備を行う。
4回	**授業テーマ：卒業研究のテーマ検討(２)と発表** 授業内容：4 年全員にてゼミ運営を行う。個人ごとに卒業研究のテーマについて決定し、発表する 事前学修 2.0hr：卒業研究として取り組みたいテーマを考える。ゼミ運営の準備を行う。 事後学修 2.5hr：卒業研究について計画を考える。ゼミ運営の準備を行う。
5回	**授業テーマ：ゼミ運営と卒業研究** 授業内容：４年にてゼミを主体的に運営するとともに、卒業研究について調査を行う。 事前学修 2.0hr：卒業研究を行う。ゼミ運営の準備をする。 事後学修 2.5hr：卒業研究を行う。ゼミ運営の準備をする。
6回	**授業テーマ：ゼミ運営と卒業研究** 授業内容：４年生にてゼミを主体的に運営するとともに、卒業研究について調査を行う。 事前学修 2.0hr：卒業研究を行う。ゼミ運営の準備をする。 事後学修 2.5hr：卒業研究を行う。ゼミ運営の準備をする。
7回	**授業テーマ：ゼミ運営と卒業研究** 授業内容：４年生にてゼミを主体的に運営するとともに、卒業研究について調査を行う。 事前学修 2.0hr：卒業研究を行う。ゼミ運営の準備をする。 事後学修 2.5hr：卒業研究を行う。
8回	**授業テーマ：ゼミ運営と 3 年生の発表** 授業内容：３年生の発表に対する評価を行う。 事前学修 2.0hr：卒業研究を行う。 事後学修 2.5hr：卒業研究を行う。ゼミ運営の準備をする。
9回	**授業テーマ：卒業研究** 授業内容：卒業研究について調査・相談を行う。 事前学修 2.0hr：卒業研究を行う。 事後学修 2.5hr：卒業研究を行う。
10回	**授業テーマ：卒業研究** 授業内容：卒業研究について相談や内容確認を行う。 事前学修 2.0hr：卒業研究を行う。 事後学修 2.5hr：卒業研究を行う。
11回	**授業テーマ：卒業研究** 授業内容：卒業研究について相談や内容確認を行う。 事前学修 2.0hr：卒業研究を行う。 事後学修 3.0hr：卒業研究を行う。

12回	**授業テーマ：卒業研究の完成** 授業内容：卒業研究について内容確認、仕上げを行う。 事前学修 2.0hr：卒業研究の完成に向けての作業と確認を行う。 事後学修 3.0hr：卒業研究の完成に向けての作業と確認を行う。
13回	**授業テーマ：卒業研究の発表　その１** 授業内容：自分自身の４年間の集大成としての卒業研究を発表する　その１ 事前学修 3.0hr：卒業研究の発表準備を行う 事後学修 2.5hr：卒業研究に対する意見や質問について確認するとともに、発表の内容を振り返る。
14回	**授業テーマ：卒業研究の発表　その２** 授業内容：自分自身の４年間の集大成としての卒業研究を発表する　その２ 事前学修 3.0hr：卒業研究の発表準備を行う 事後学修 2.5hr：卒業研究に対する意見や質問について確認するとともに、発表の内容を振り返る。
15回	**授業テーマ：全体の振り返り** 授業内容：ゼミでの学修内容や、卒業研究を踏まえ、大学生活の振り返りを行う 事前学修 2.0hr：大学で学修したことを事前に振り返っておく 事後学修 2.0hr：自分自身の 4 年間の行動や卒業研究を振り返るとともに、社会人となる心構えを再度確認する。

ケーススタディⅡ-b

開講学科等：HT ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

三輪　祥宏（みわ　よしひろ）

▌授業の概要

コミュニケーションやネットワーク、コンテクストというキーワードを駆使することで「企業組織」について自分なりの見解をもって説明できることを目標とする。そこで、日々に各メディアから伝えられる企業活動や実際の企業訪問、あるいはインターンシップでの経験等を事例にした疑似体験を題材に、企業組織における働きかたの理想形を探りながら自分なりに問題を発見できるように進めていく。
来年のケーススタディⅡで、特定の企業の組織を対象に、自分なりの根拠と問題意識から、あるべき姿を提案できるケーススタディを作り上げることを目標に、その準備を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：観光専攻 3、経営情報専攻 3，HTM3）

一般目標：「自分なりの妄想や直感」を起点に、想像力と創造力を発揮してキャリア開発に役立つテーマを主体的に設定し、自分なりの計画に基づいて調査や分析を実行し続けていく。テーマの選び方や分析のやり方は自由。ただし、自分の計画を死守しつつ進める規律性、物事を体系的に筋道立てて考える論理的思考や、「なぜ」を繰り返すことで必要となるデータや理由を多く集めてより良い解決策の糸口を見つけ出す問題発見の涵養を目指していく。

個別目標：○○× HT を基軸に特定の個人テーマを定義できていること
自身のテーマについて、問題を複数立てていること
自身のテーマについて仮説を構築できていること

▌履修条件

本テーマに興味を持ち、柔軟な発想とアンテナの感度を持ち、折れない心でテーマに取り組めること。
各種イベントやフィールドワークに参加する積極性と、自分の立てた計画を死守できる規律性。

▌評価基準・方法

発表や課題の品質（40 %）、授業や課題への取組姿勢（60 %）を基に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは個別に実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （地域や企業との連携を通じた学びに取り組みます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プロジェクト運営での情報整理等、常にパソコンは必要だと思われます。）

▌教科書

特になし。
各自個別に指示していきます。

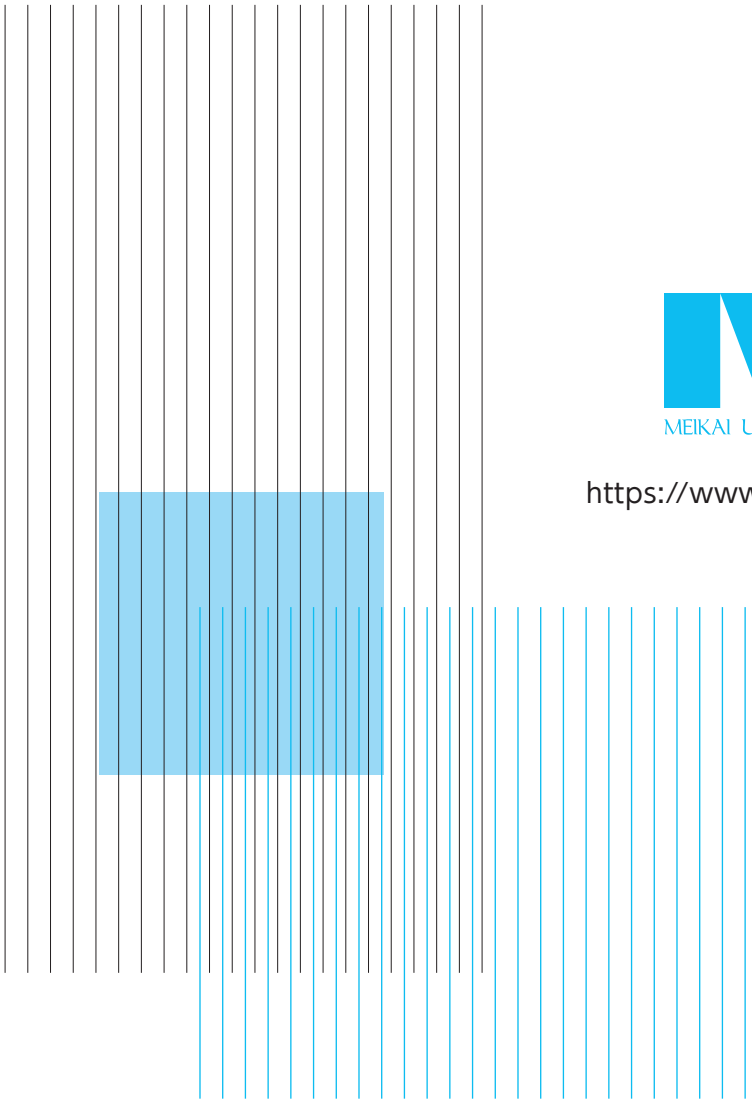
▌参考書

特になし。授業の時に必要に応じて指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：初回ガイダンス 後学期授業の進行や内容について説明** 授業内容：自己紹介・プロジェクト計画・ゼミ計画など 事前学修 3.0hr：講義概要を理解し、自分の興味ある分野についてまとめる 事後学修 2.0hr：初回のフィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
2回	**授業テーマ：前学期の着地点の確認と後学期計画** 授業内容：課題探求の手法と手段について概説 事前学修 2.0hr：相互の意見交換を通じて、テーマを深掘りしておく。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
3回	**授業テーマ：プロジェクトワーク①** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
4回	**授業テーマ：卒業研究中間レビュー** 授業内容：卒業研究の全体への発表 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
5回	**授業テーマ：プロジェクトワーク②** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
6回	**授業テーマ：卒業研究中間レビュー** 授業内容：卒業研究の全体への発表 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
7回	**授業テーマ：プロジェクトワーク③** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 3.0hr：中間報告をレポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
8回	**授業テーマ：３年生の探求課題進捗への中間レビュー** 授業内容：探究課題の発表報告へのコメント 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
9回	**授業テーマ：３年生の探求課題進捗への中間レビュー** 授業内容：探究課題の発表報告へのコメント 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。

10回	**授業テーマ：プロジェクトワーク④** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：次回の授業へ向けて、疑問点をまとめておく
11回	**授業テーマ：研究調査** 授業内容：探究課題の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：プレ発表準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
12回	**授業テーマ：プロジェクトワーク④** 授業内容：プロジェクト活動の達成ゴールの確認と進捗計画の確認 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
13回	**授業テーマ：卒業研究進捗報告** 授業内容：卒業研究の進化とディスカッションを通じた深化 事前学修 2.0hr：課題へ向けた準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに次回の準備として資料を準備する。
14回	**授業テーマ：年間のプロジェクト進捗のレビュー** 授業内容：プロジェクト活動の進捗レビューと評価 事前学修 3.0hr：発表準備 事後学修 2.0hr：フィードバックをもとに夏休みの行動計画を確定させる。
15回	**授業テーマ：卒業研究発表** 授業内容：卒業研究の発表 事前学修 2.0hr：夏休みの行動計画を最終化しておく。 事後学修 2.0hr：夏休みの行動計画を具体化させる。



https://www.meikai.ac.jp